

令和7年度（2025年度）健康福祉サービス等に関する
意識調査及び意向調査の実施結果について

1 目的

健康福祉施策等に係る区民等の実態ニーズを把握し、今後の事業の見直し・改善、目標の達成度を測る指標として活用するとともに、健康福祉・介護保険・障害福祉サービスの利用実態や今後の利用意向等を把握し、地域福祉計画、成年後見制度利用促進計画、スポーツ・健康づくり推進計画、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画、認知症施策推進計画並びに障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の検討に資することを目的としている。

2 調査の概要

次のとおり、「健康福祉に関する意識調査」、「高齢福祉・介護保険サービス意向調査」、「障害福祉サービス意向調査」の3調査を実施した。

調査名		調査対象者	調査標本数	有効回収数 (回収率)
健康福祉に関する意識調査		18歳以上の区民 (基準日：令和7年8月1日)	3,000人	1,090人 (36.3%)
高齢福祉・ 介護保険サ ービス意向 調査	高齢者調査 (介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査)	65歳以上の区民(介護予防・日常 生活支援総合事業対象者及び要支 援1・2認定者を含む)。ただし、 要介護認定者を除く (基準日：令和7年10月1日)	3,000人	1,810人 (60.3%)
	介護サービス利用調査 (在宅介護実態調査)	要支援1から要介護5までの認定 を受けている区民。ただし、施設 入所者を除く (基準日：令和7年10月1日)	3,000人	1,687人 (56.2%)
	ケアマネジャー調査	区内及び隣接区の居宅介護支援事 業所で区民のケアプランを10件 以上扱っている事業所に所属する ケアマネジャー (基準日：令和7年10月1日)	250人	141人 (56.4%)

障害福祉サービス意向調査	障害者調査	身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している区民及び難病等により障害福祉サービスを利用する区民。 ただし、施設入所支援の利用者を除く (基準日：令和7年8月1日)	1,500人	682人 (45.5%)
	施設入所者調査	身体障害者手帳、愛の手帳を所持している障害者のうち施設入所支援を利用している中野区の給付対象者 (基準日：令和7年8月1日)	170人	135人 (79.4%)
	発達支援等調査	0歳から18歳までの発達支援の対象児童及び身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している児童 (基準日：令和7年8月1日)	650人	355人 (54.6%)

3 調査期間

- (1) 健康福祉に関する意識調査、障害福祉サービス意向調査
令和7年9月19日～10月10日
- (2) 高齢福祉・介護保険サービス意向調査
令和7年11月14日～12月5日

4 調査方法

郵便配付、郵便回収またはウェブ回答

5 調査結果

前回調査（令和4年度）結果と比較し、変化が大きかった項目

(1) 健康福祉に関する意識調査

- ①近所とのつきあいの程度については、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりする等、親しくおつきあいしている」が80歳代以上で24.5%と10.7ポイント増加した。また、「つきあいがほとんどない」が30歳代で39.4%と9.3ポイント増加した一方で、40歳代で17.1%と9.6ポイント減少した。
- ②適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているかについては、「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」を合わせた＜実践している＞が20歳代以下で46.2%と12.9ポイント減少した。
- ③地域の救急医療体制については、「整っているとは思わない」が、全体で8.6%と10.4ポイント減少した。

④ヘルプマークの認知度については、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」が67.2%と12.3ポイント増加した。特に、50歳代で69.4%と21.6ポイント増加した。

(2) 高齢福祉・介護保険サービス意向調査

①運動器機能の低下リスク該当者について、要支援2における割合が、前回と比べ、19.5ポイント増加した。

②介護を受けたい場所として「自宅」と回答した人が、前回に比べ全体では3.8ポイント、要介護3～5では17.6ポイント増加した。

③施設等への入所・入居については、「検討していない」の割合が、前回に比べ全体では14.4ポイント、要支援1～要介護2では5.4ポイント、要介護3～5では18.1ポイント増加した。また、全体での割合は73.1%となっている。

④人生会議（ACP：アドバンスケアプランニング）について、「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が16.9ポイント、前回に比べ増加した。

⑤業務遂行上の問題として「文書の作成等事務処理に追われる」が前回同様、最も高くなっている。また、「ケアマネジャー業務の範囲が明確でない」が前回に比べ14ポイント増加した。

(3) 障害福祉サービス意向調査

①障害者が働くための環境整備は、「自分の障害に合った仕事があること」が51.2%で、前回より6.6ポイント増加し、「職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること」が38.9%で、前回より5.5ポイント増加した。

②障害者差別解消法の認知度は、「名前は知っている」が16.9%で、前回より6.7ポイント減少し、「知らない」が70.2%で、前回より8.2ポイント増加した。

③施設入所者が今後生活したいと考える場所は、「現在のように、入所施設で暮らしたい」が最も高く70.4%で、前回より20.4ポイント増加した。

④発達支援における充実してほしい施策・サービスは、「子どもが安心して利用でき過ごせる居場所」が54.1%で最も高く、次いで「お子さんの成長に伴った就園や就学の相談」、「利用できるサービス等情報の発信」、「より専門性が高い発達等の相談」が5割台となっている。

6 今後の予定

調査結果を区ホームページに掲載するとともに、調査報告書を図書館に備え、区民の閲覧に供する。

令和7年度（2025年度）
健康福祉に関する意識調査
報 告 書

令和8年（2026年）3月
中 野 区

は じ め に

区は「健康福祉都市なかの」の実現に向け、中野区地域福祉計画をはじめとした健康福祉に係る計画を策定し、健康福祉に関する区の施策に取り組んでいます。

本調査は、区民の方々に健康福祉への関心や意見をお聞きするとともに、区が取組が区民の意向に沿ったものになっているか、また、区民の求める水準にどの程度達しているかなどを把握することを目的とし、今後の各種計画や施策の見直し、改善の検討材料として活用を図っていきたいと考えております。

最後になりましたが、調査にご協力いただいた区民の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和8年（2026年）3月
中野区健康福祉部

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
3 調査の設計.....	3
4 回収状況.....	3
5 報告書を読む際の留意点.....	3

II 調査対象者の属性

1 性別.....	7
2 年齢.....	7
3 職業.....	8
4 世帯構成.....	9
5 18歳未満の子どもの有無（2世代世帯、3世代世帯、その他世帯のうち）.....	10
6 日常的に家族の介護をしているか.....	11
7 住居形態.....	12
8 居住年数.....	13
9 居住地域.....	14
10 母集団と調査回答者の推移.....	18

III 調査結果の分析

1 地域活動について.....	21
1.1 地域の活動への参加.....	21
1.2 近所とのつきあいの程度.....	23
1.3 人とのつきあいがないと感じるか.....	27
1.4 取り残されていると感じるか.....	28
1.5 他の人から孤立していると感じるか.....	29
1.6 相談相手.....	30
1.7 家族や友人以外の相談先.....	32
1.8 必要だと思う近隣同士の見守り・支えあい活動.....	34
1.9 近隣同士の日常的な見守り・支えあい活動の実施状況.....	36
1.10 地域の子どもに対する見守り・支えあい活動の実施状況.....	38
1.11 地域における住民同士の交流の場や機会の有無.....	39
1.12 障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策.....	41
1.13 高齢者会館の利用状況.....	44
1.13.1 高齢者会館を利用していない理由.....	46

2 医療・健康について.....	48
2.1 健康感.....	48
2.2 運動・スポーツを続けている期間.....	50
2.3 運動・スポーツを行う場所.....	52
2.4 運動・スポーツを行わない理由.....	55
2.5 この1年間にスタジアム等で実際にスポーツを観戦したか.....	58
2.6 区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこと.....	60
2.7 パラリンピックや障害者スポーツを理解し広めるために区が重点的に行うべきこと.....	65
2.8 スポーツ・ボランティア活動として関心のある内容.....	66
2.9 1日の座位（座っている姿勢）時間.....	68
2.10 最近1年間で関わったスポーツを支える活動.....	70
2.11 食生活で心がけていること.....	72
2.12 適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているか.....	74
2.13 健康診断の受診頻度.....	76
2.13.1 健康診断の受診場所.....	79
2.13.2 健康診断結果の活用方法.....	82
2.13.3 健康診断を受けなかった理由.....	84
2.14 かかりつけの診療所の有無.....	86
2.14.1 かかりつけの診療所からのアドバイス.....	88
2.15 歯科健診の受診状況.....	90
2.15.1 歯科健診の受診場所.....	91
2.15.2 歯科健診を受診しなかった理由.....	92
2.16 定期的にメンテナンスのために歯科医に通っているか.....	93
2.17 かかりつけの歯科診療所の有無.....	94
2.18 かかりつけの薬局の有無.....	96
2.19 地域の救急医療体制が整っているか.....	98
2.19.1 地域の救急医療体制が整っていない理由.....	100
2.20 医療・介護サービスや見守り環境が整っているか.....	101
2.21 長期療養が必要になった場合の生活.....	103
2.21.1 長期療養の際、入院・入所したい理由.....	107
2.22 自身や家族がうつ病になった際の相談先.....	111
2.23 自殺対策は自分自身に関わると思うか.....	112
2.24 今後必要な自殺対策.....	114
2.25 感染症の予防で心がけていること.....	117
2.26 加工食品等の栄養成分表示を参考にしているか.....	119
2.27 食中毒に関する認識.....	121
2.28 喫煙の状況.....	123
2.28.1 今後禁煙したいか.....	124

3	制度等について.....	125
3.1	「障害者差別解消法」についての認知度.....	125
3.1.1	「障害者差別解消法」の認知方法.....	127
3.2	障害者差別の解消に向けて、中野区が特に力を入れるべきこと.....	129
3.3	ヘルプマークの認知度.....	131
3.4	障害者虐待防止センターの認知度.....	133
3.5	介護保険制度の利用の仕方についての認知度.....	134
3.6	認知症についての理解度.....	136
3.7	人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の認知度.....	138
3.8	「成年後見制度」の認知度.....	139
3.9	ヤングケアラーの認知度.....	141
4	相談窓口について.....	142
4.1	健康福祉の相談機関の身近さ.....	142
4.2	区民活動センターの身近さ.....	144
4.3	犯罪被害者に対する相談窓口の認知度.....	146
5	その他.....	148
5.1	健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）.....	148

IV 調査票と単純集計

I 調査の概要

1 調査の目的

健康福祉に係わる関心や健康福祉サービスに対する意見などを把握し、区の事業や施策の達成状況の確認や、見直し・改善を図る指標として活用するため、18歳以上の区民を対象としたアンケート調査を実施した。

2 調査の内容

- (1) 調査対象者の属性
- (2) 地域活動について
- (3) 医療・健康について
- (4) 制度等について
- (5) 相談窓口について
- (6) その他

3 調査の設計

- ・調査対象：満18歳以上の区民（基準日：令和7年8月1日時点 308,434人）
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査方法：郵送による配布、郵送・インターネットによる回収
- ・調査期間：令和7年9月19日～10月10日
- ・調査機関：株式会社アイアールエス

4 回収状況

標本数	有効回収数	回収率
3,000	1,090	36.3%

5 報告書を読む際の留意点

- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- クロス集計の表の中で、上段の数値は回答者数（単位：人）を、下段の数値は割合（単位：%）を表す。
- 年齢とのクロス集計において、90歳以上については母数が少ないため、統計学的に有意のものとは言えないが、参考として数値を明示している場合がある。

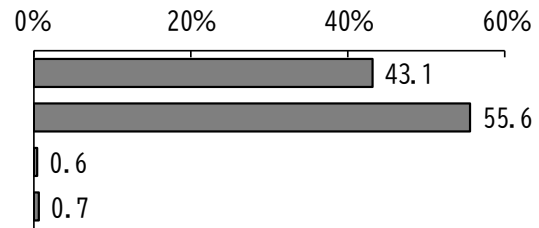
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

表記	約4割 (4割)	4割台前半	4割半ば	4割台後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

Ⅱ 調査対象者の属性

1 性別

	基数	構成比 (%)
男性	470	43.1
女性	606	55.6
その他	6	0.6
無回答	8	0.7
全体	1,090	100.0



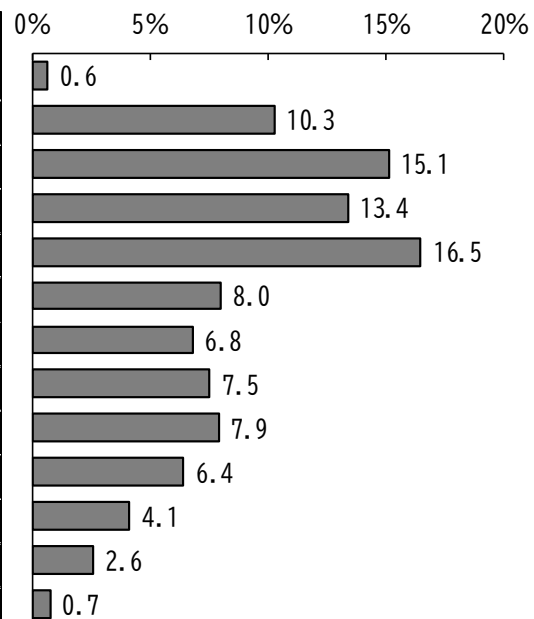
■年代別

上段:人、下段:%

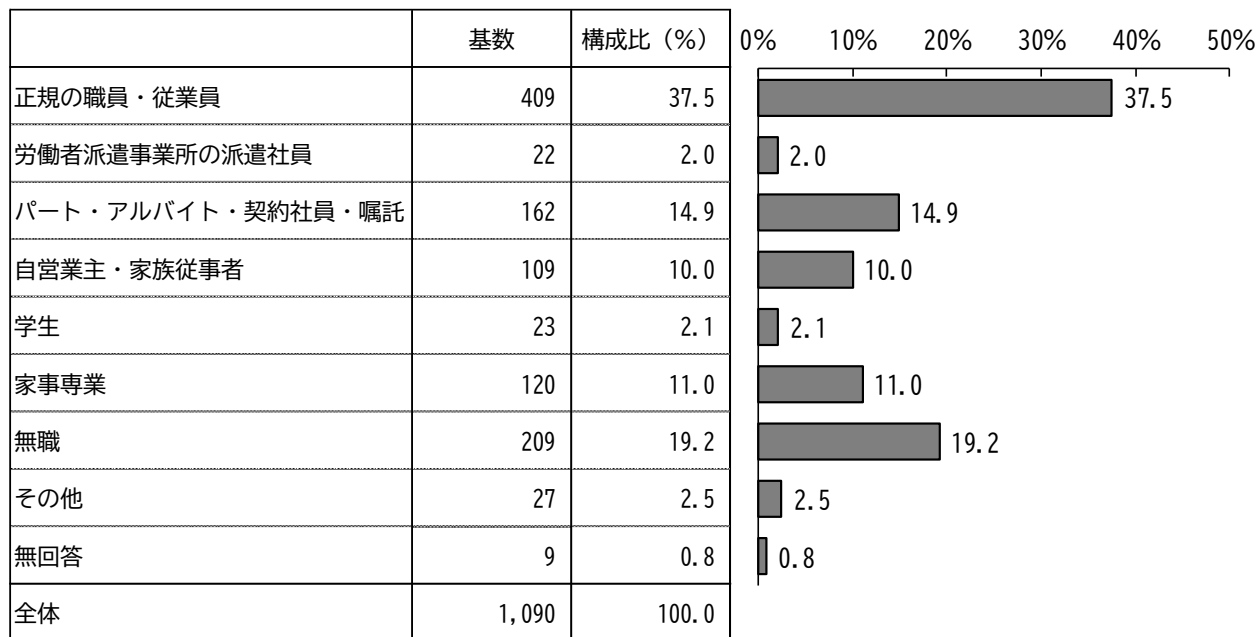
	n	男性	女性	その他	無回答
全体	1,090	470	606	6	8
	100.0	43.1	55.6	0.6	0.7
18歳・19歳	7	3	4	—	—
	100.0	42.9	57.1	—	—
20歳代	112	62	49	1	—
	100.0	55.4	43.8	0.9	—
30歳代	165	75	88	2	—
	100.0	45.5	53.3	1.2	—
40歳代	146	53	93	—	—
	100.0	36.3	63.7	—	—
50歳代	180	69	110	1	—
	100.0	38.3	61.1	0.6	—
60～64歳	87	33	53	1	—
	100.0	37.9	60.9	1.1	—
65～69歳	74	35	38	1	—
	100.0	47.3	51.4	1.4	—
70～74歳	82	40	42	—	—
	100.0	48.8	51.2	—	—
75～79歳	86	41	45	—	—
	100.0	47.7	52.3	—	—
80～84歳	70	28	42	—	—
	100.0	40.0	60.0	—	—
85～89歳	45	19	26	—	—
	100.0	42.2	57.8	—	—
90歳以上	28	12	16	—	—
	100.0	42.9	57.1	—	—

2 年齢

	基数	構成比 (%)
18歳・19歳	7	0.6
20歳代	112	10.3
30歳代	165	15.1
40歳代	146	13.4
50歳代	180	16.5
60～64歳	87	8.0
65～69歳	74	6.8
70～74歳	82	7.5
75～79歳	86	7.9
80～84歳	70	6.4
85～89歳	45	4.1
90歳以上	28	2.6
無回答	8	0.7
全体	980	100.0



3 職業

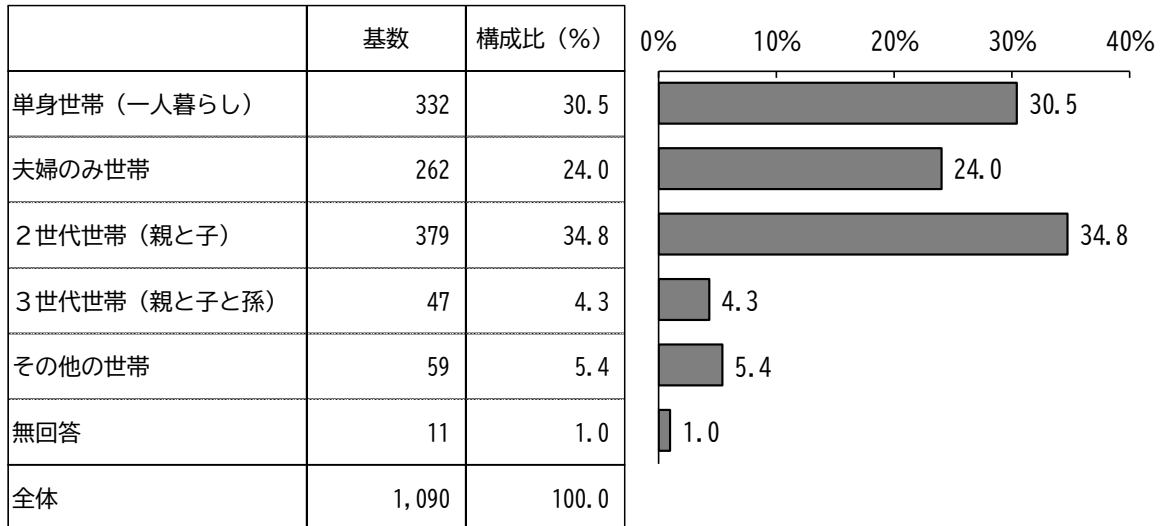


■年代別

上段:人、下段:%

	n	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・契約社員・嘱託	自営業主・家族従事者	学生	家事専業	無職	その他	無回答
全体	1,090 100.0	409 37.5	22 2.0	162 14.9	109 10.0	23 2.1	120 11.0	209 19.2	27 2.5	9 0.8
18歳・19歳	7 100.0	—	—	1 14.3	—	6 85.7	—	—	—	—
20歳代	112 100.0	77 68.8	1 0.9	8 7.1	7 6.3	16 14.3	1 0.9	2 1.8	—	—
30歳代	165 100.0	120 72.7	5 3.0	17 10.3	10 6.1	—	5 3.0	6 3.6	2 1.2	—
40歳代	146 100.0	88 60.3	3 2.1	22 15.1	15 10.3	—	10 6.8	5 3.4	3 2.1	—
50歳代	180 100.0	79 43.9	6 3.3	33 18.3	28 15.6	—	19 10.6	10 5.6	5 2.8	—
60～64歳	87 100.0	20 23.0	3 3.4	26 29.9	11 12.6	—	15 17.2	10 11.5	2 2.3	—
65～69歳	74 100.0	14 18.9	2 2.7	21 28.4	6 8.1	1 1.4	11 14.9	17 23.0	2 2.7	—
70～74歳	82 100.0	5 6.1	1 1.2	19 23.2	11 13.4	—	15 18.3	27 32.9	3 3.7	1 1.2
75～79歳	86 100.0	4 4.7	—	12 14.0	15 17.4	—	20 23.3	33 38.4	2 2.3	—
80～84歳	70 100.0	1 1.4	1 1.4	2 2.9	2 2.9	—	14 20.0	47 67.1	3 4.3	—
85～89歳	45 100.0	1 2.2	—	—	4 8.9	—	7 15.6	33 73.3	—	—
90歳以上	28 100.0	—	—	1 3.6	—	—	3 10.7	19 67.9	5 17.9	—

4 世帯構成

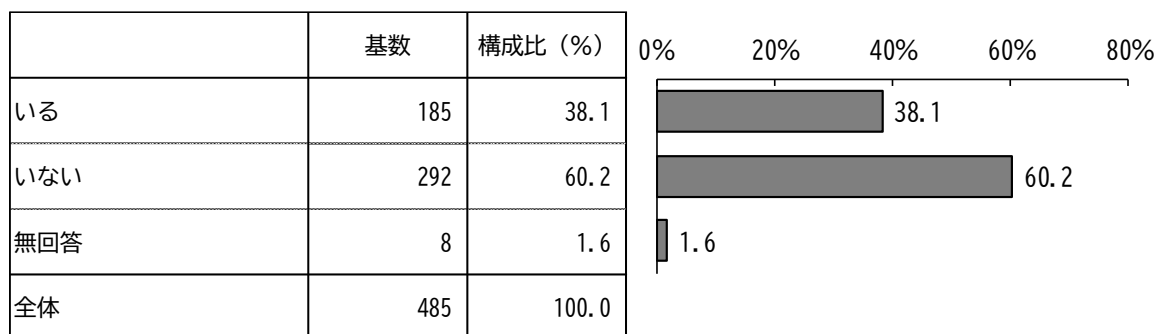


■年代別

上段：人、下段：%

	n	単身世帯 （一人暮らし）	夫婦のみ世帯	2世代世帯 （親と子）	3世代世帯 （親と子と孫）	その他の世帯	無回答
全体	1,090 100.0	332 30.5	262 24.0	379 34.8	47 4.3	59 5.4	11 1.0
18歳・19歳	7 100.0	3 42.9	— —	3 42.9	1 14.3	— —	— —
20歳代	112 100.0	55 49.1	14 12.5	24 21.4	4 3.6	15 13.4	— —
30歳代	165 100.0	58 35.2	46 27.9	52 31.5	3 1.8	6 3.6	— —
40歳代	146 100.0	34 23.3	17 11.6	84 57.5	3 2.1	8 5.5	— —
50歳代	180 100.0	41 22.8	37 20.6	84 46.7	8 4.4	10 5.6	— —
60～64歳	87 100.0	25 28.7	26 29.9	29 33.3	4 4.6	3 3.4	— —
65～69歳	74 100.0	22 29.7	22 29.7	24 32.4	3 4.1	3 4.1	— —
70～74歳	82 100.0	23 28.0	30 36.6	19 23.2	5 6.1	5 6.1	— —
75～79歳	86 100.0	19 22.1	32 37.2	24 27.9	6 7.0	4 4.7	1 1.2
80～84歳	70 100.0	23 32.9	24 34.3	13 18.6	6 8.6	3 4.3	1 1.4
85～89歳	45 100.0	14 31.1	11 24.4	15 33.3	3 6.7	1 2.2	1 2.2
90歳以上	28 100.0	15 53.6	3 10.7	8 28.6	1 3.6	1 3.6	— —

5 18歳未満の子どもの有無（2世代世帯、3世代世帯、その他世帯のうち）

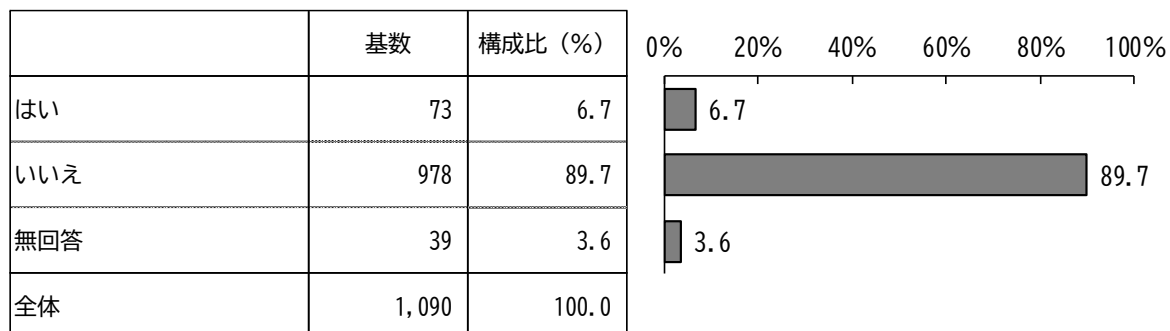


■年代別

上段：人、下段：%

	n	いる	いない	無回答
全体	485 100.0	185 38.1	292 60.2	8 1.6
18歳・19歳	4 100.0	3 75.0	1 25.0	— —
20歳代	43 100.0	8 18.6	34 79.1	1 2.3
30歳代	61 100.0	39 63.9	22 36.1	— —
40歳代	95 100.0	77 81.1	17 17.9	1 1.1
50歳代	102 100.0	42 41.2	57 55.9	3 2.9
60～64歳	36 100.0	1 2.8	34 94.4	1 2.8
65～69歳	30 100.0	4 13.3	26 86.7	— —
70～74歳	29 100.0	3 10.3	25 86.2	1 3.4
75～79歳	34 100.0	4 11.8	30 88.2	— —
80～84歳	22 100.0	2 9.1	19 86.4	1 4.5
85～89歳	19 100.0	1 5.3	18 94.7	— —
90歳以上	10 100.0	1 10.0	9 90.0	— —

6 日常的に家族の介護をしているか

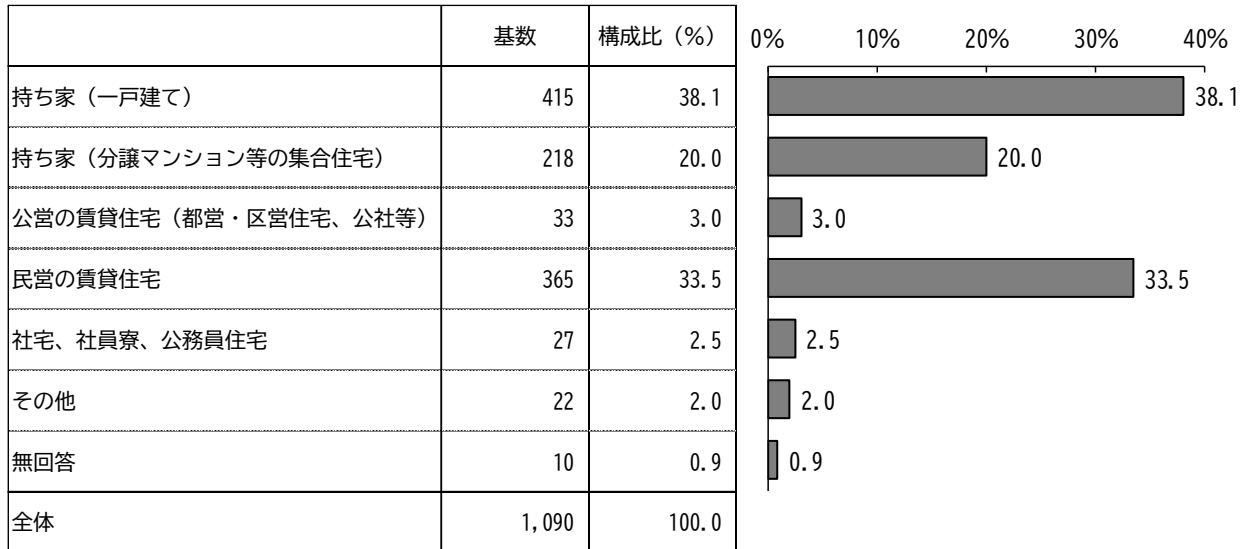


■年代別

上段：人、下段：%

	n	はい	いいえ	無回答
全体	1,090 100.0	73 6.7	978 89.7	39 3.6
18歳・19歳	7 100.0	1 14.3	6 85.7	— —
20歳代	112 100.0	3 2.7	106 94.6	3 2.7
30歳代	165 100.0	2 1.2	157 95.2	6 3.6
40歳代	146 100.0	5 3.4	140 95.9	1 0.7
50歳代	180 100.0	26 14.4	149 82.8	5 2.8
60～64歳	87 100.0	10 11.5	75 86.2	2 2.3
65～69歳	74 100.0	4 5.4	68 91.9	2 2.7
70～74歳	82 100.0	3 3.7	78 95.1	1 1.2
75～79歳	86 100.0	8 9.3	76 88.4	2 2.3
80～84歳	70 100.0	7 10.0	60 85.7	3 4.3
85～89歳	45 100.0	3 6.7	38 84.4	4 8.9
90歳以上	28 100.0	1 3.6	25 89.3	2 7.1

7 住居形態

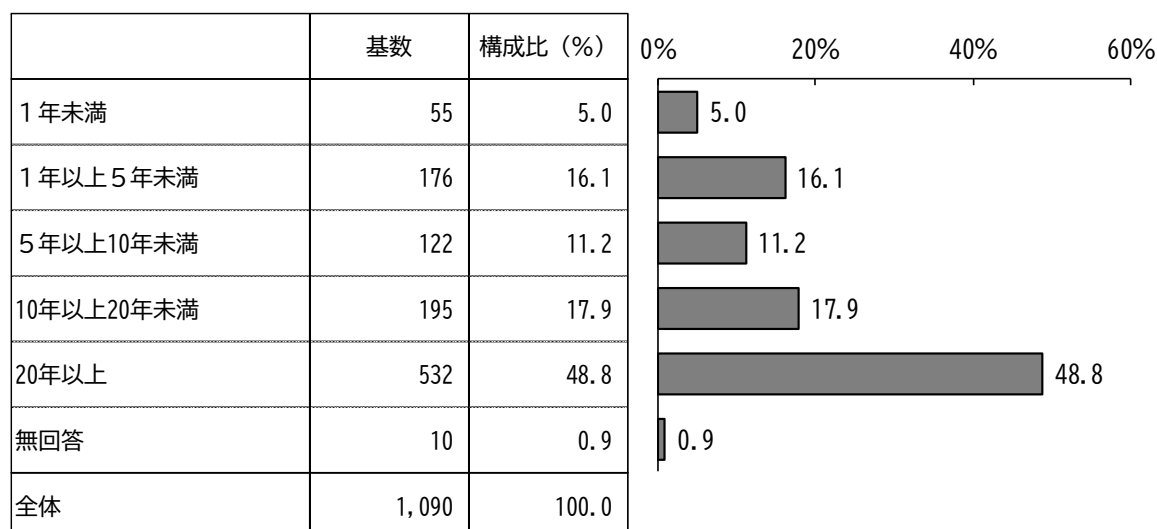


■年代別

上段：人、下段：%

	n	持ち家 （一戸建て）	持ち家 （分譲マンション等 の集合住宅）	公営の賃貸住宅 （都営・区営住宅、 公社等）	民営の賃貸住宅	社宅、社員寮、 公務員住宅	その他	無回答
全体	1,090 100.0	415 38.1	218 20.0	33 3.0	365 33.5	27 2.5	22 2.0	10 0.9
18歳・19歳	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	—	1 14.3	—
20歳代	112 100.0	16 14.3	19 17.0	2 1.8	61 54.5	12 10.7	2 1.8	—
30歳代	165 100.0	32 19.4	15 9.1	8 4.8	102 61.8	5 3.0	2 1.2	1 0.6
40歳代	146 100.0	43 29.5	30 20.5	3 2.1	62 42.5	5 3.4	3 2.1	—
50歳代	180 100.0	62 34.4	46 25.6	3 1.7	56 31.1	5 2.8	8 4.4	—
60～64歳	87 100.0	44 50.6	18 20.7	1 1.1	23 26.4	—	1 1.1	—
65～69歳	74 100.0	42 56.8	13 17.6	—	16 21.6	—	2 2.7	1 1.4
70～74歳	82 100.0	42 51.2	20 24.4	4 4.9	16 19.5	—	—	—
75～79歳	86 100.0	47 54.7	24 27.9	2 2.3	11 12.8	—	2 2.3	—
80～84歳	70 100.0	43 61.4	15 21.4	3 4.3	9 12.9	—	—	—
85～89歳	45 100.0	24 53.3	11 24.4	4 8.9	5 11.1	—	1 2.2	—
90歳以上	28 100.0	18 64.3	6 21.4	2 7.1	2 7.1	—	—	—

8 居住年数

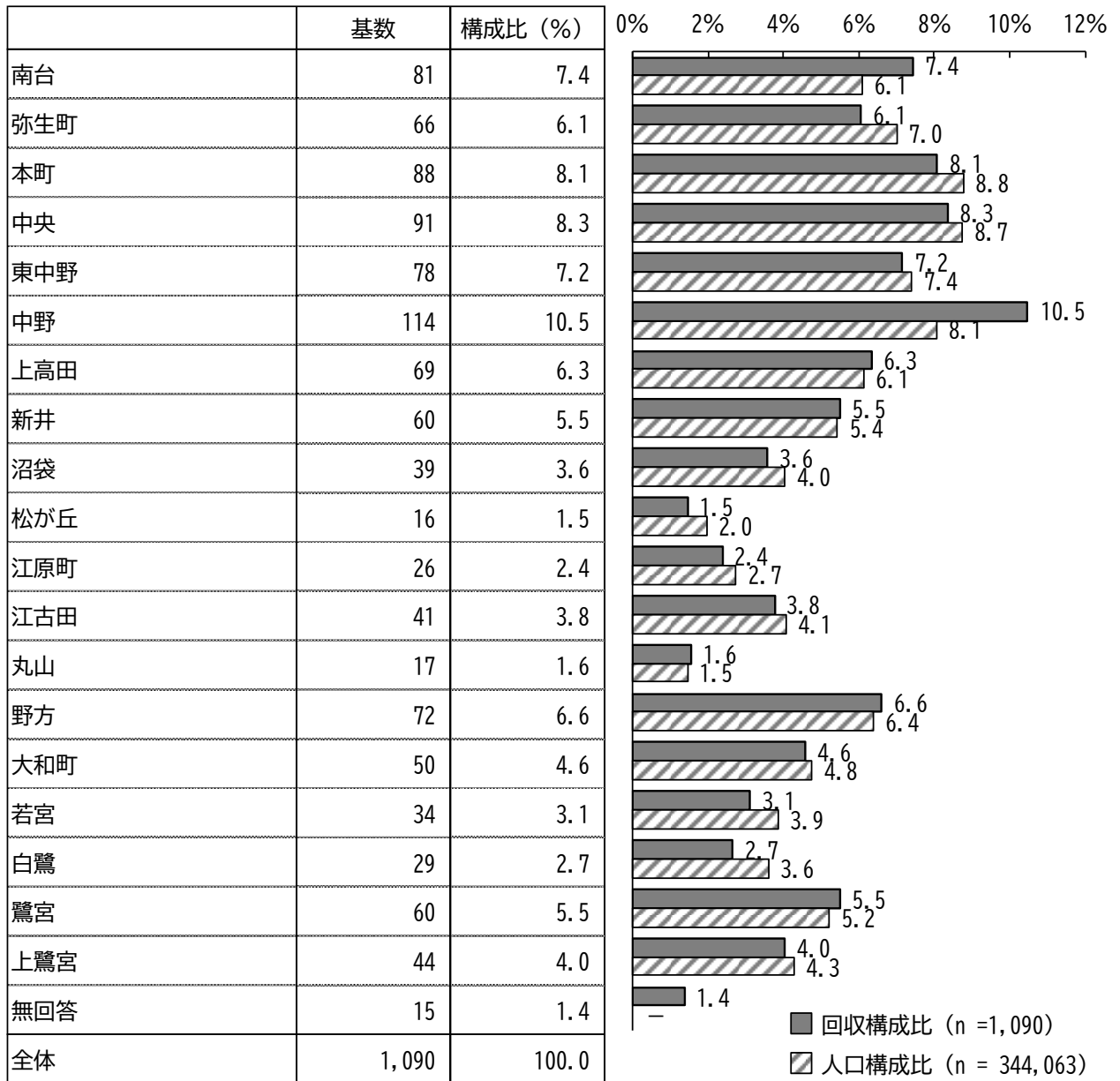


■年代別

上段：人、下段：%

	n	1 年未満	1 年以上 5 年未満	1 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	無回答
全体	1,090 100.0	55 5.0	176 16.1	122 11.2	195 17.9	532 48.8	10 0.9
18歳・19歳	7 100.0	3 42.9	— —	— —	4 57.1	— —	— —
20歳代	112 100.0	22 19.6	59 52.7	9 8.0	8 7.1	14 12.5	— —
30歳代	165 100.0	17 10.3	60 36.4	45 27.3	26 15.8	16 9.7	1 0.6
40歳代	146 100.0	6 4.1	24 16.4	31 21.2	56 38.4	29 19.9	— —
50歳代	180 100.0	3 1.7	16 8.9	16 8.9	53 29.4	92 51.1	— —
60～64歳	87 100.0	1 1.1	5 5.7	8 9.2	13 14.9	60 69.0	— —
65～69歳	74 100.0	1 1.4	3 4.1	6 8.1	7 9.5	56 75.7	1 1.4
70～74歳	82 100.0	— —	4 4.9	2 2.4	9 11.0	67 81.7	— —
75～79歳	86 100.0	1 1.2	1 1.2	2 2.3	8 9.3	74 86.0	— —
80～84歳	70 100.0	— —	2 2.9	2 2.9	5 7.1	61 87.1	— —
85～89歳	45 100.0	— —	1 2.2	1 2.2	5 11.1	38 84.4	— —
90歳以上	28 100.0	1 3.6	1 3.6	— —	1 3.6	25 89.3	— —

9 居住地域



(中野区町丁別人口 令和7年(2025年)8月1日現在)

※人口構成比には18歳未満の人口も含むため、対象者の割合とは異なる。

■年代別

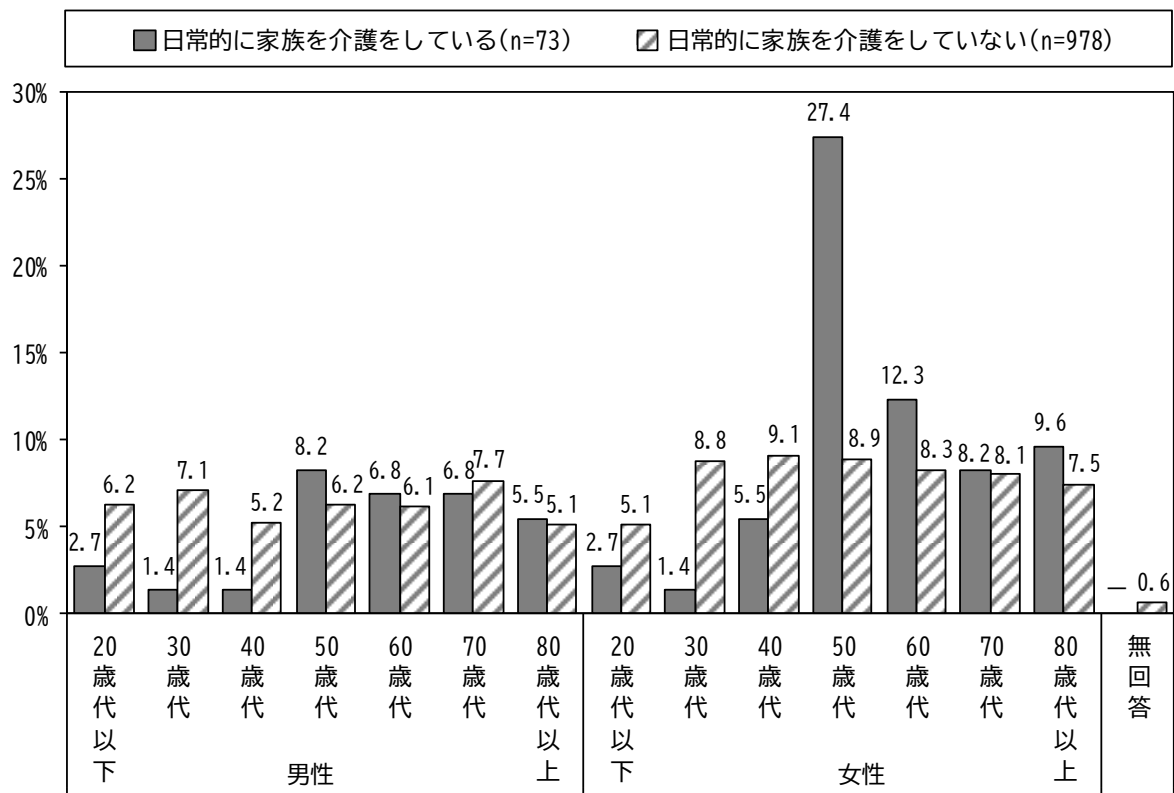
上段：人、下段：％

	n	南台	弥生町	本町	中央	東中野	中野	上高田	新井	沼袋	松が丘
全体	1,090 100.0	81 7.4	66 6.1	88 8.1	91 8.3	78 7.2	114 10.5	69 6.3	60 5.5	39 3.6	16 1.5
18歳・19歳	7 100.0	—	—	—	—	—	2 28.6	—	—	—	—
20歳代	112 100.0	9 8.0	3 2.7	9 8.0	5 4.5	14 12.5	12 10.7	7 6.3	13 11.6	4 3.6	2 1.8
30歳代	165 100.0	9 5.5	14 8.5	14 8.5	20 12.1	15 9.1	16 9.7	11 6.7	10 6.1	7 4.2	4 2.4
40歳代	146 100.0	13 8.9	9 6.2	11 7.5	19 13.0	9 6.2	14 9.6	5 3.4	9 6.2	4 2.7	1 0.7
50歳代	180 100.0	10 5.6	17 9.4	14 7.8	19 10.6	12 6.7	17 9.4	14 7.8	8 4.4	5 2.8	—
60～64歳	87 100.0	7 8.0	4 4.6	4 4.6	6 6.9	11 12.6	10 11.5	8 9.2	2 2.3	4 4.6	1 1.1
65～69歳	74 100.0	7 9.5	2 2.7	8 10.8	4 5.4	3 4.1	8 10.8	6 8.1	2 2.7	3 4.1	3 4.1
70～74歳	82 100.0	7 8.5	6 7.3	10 12.2	4 4.9	4 4.9	10 12.2	4 4.9	2 2.4	2 2.4	1 1.2
75～79歳	86 100.0	6 7.0	5 5.8	10 11.6	5 5.8	4 4.7	10 11.6	4 4.7	8 9.3	3 3.5	2 2.3
80～84歳	70 100.0	6 8.6	2 2.9	3 4.3	6 8.6	3 4.3	7 10.0	5 7.1	2 2.9	4 5.7	—
85～89歳	45 100.0	3 6.7	4 8.9	3 6.7	2 4.4	2 4.4	6 13.3	1 2.2	3 6.7	1 2.2	—
90歳以上	28 100.0	4 14.3	—	2 7.1	1 3.6	1 3.6	2 7.1	4 14.3	1 3.6	2 7.1	2 7.1

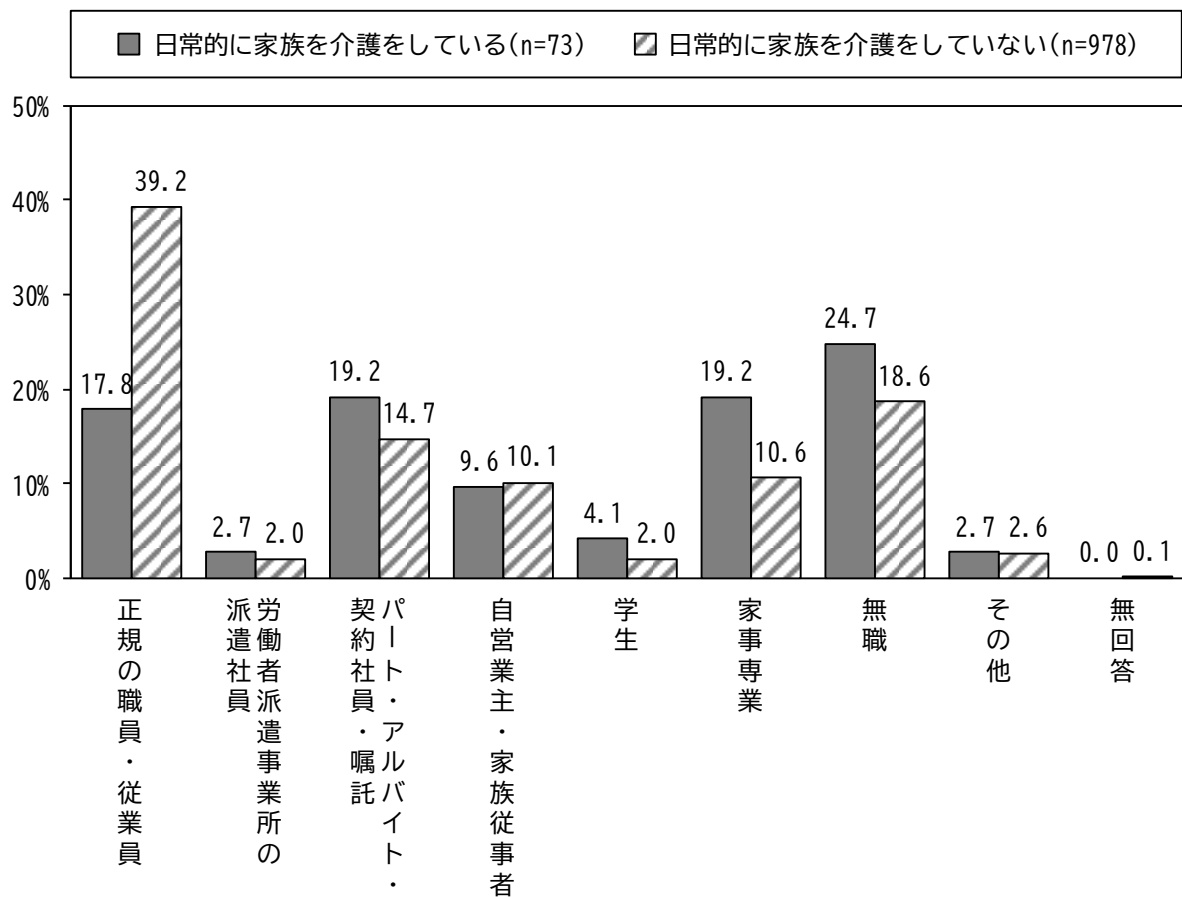
	n	江原町	江古田	丸山	野方	大和町	若宮	白鷺	鷺宮	上鷺宮	無回答
全体	1,090 100.0	26 2.4	41 3.8	17 1.6	72 6.6	50 4.6	34 3.1	29 2.7	60 5.5	44 4.0	15 1.4
18歳・19歳	7 100.0	—	—	—	1 14.3	—	—	—	2 28.6	2 28.6	—
20歳代	112 100.0	3 2.7	2 1.8	—	11 9.8	3 2.7	4 3.6	4 3.6	5 4.5	2 1.8	—
30歳代	165 100.0	3 1.8	3 1.8	—	9 5.5	6 3.6	7 4.2	2 1.2	10 6.1	4 2.4	1 0.6
40歳代	146 100.0	1 0.7	2 1.4	5 3.4	10 6.8	8 5.5	5 3.4	5 3.4	10 6.8	5 3.4	1 0.7
50歳代	180 100.0	7 3.9	10 5.6	6 3.3	8 4.4	7 3.9	4 2.2	4 2.2	9 5.0	7 3.9	2 1.1
60～64歳	87 100.0	6 6.9	4 4.6	1 1.1	11 12.6	2 2.3	1 1.1	—	2 2.3	3 3.4	—
65～69歳	74 100.0	—	5 6.8	—	5 6.8	6 8.1	—	2 2.7	5 6.8	4 5.4	1 1.4
70～74歳	82 100.0	1 1.2	4 4.9	1 1.2	3 3.7	4 4.9	6 7.3	4 4.9	7 8.5	2 2.4	—
75～79歳	86 100.0	2 2.3	3 3.5	3 3.5	5 5.8	4 4.7	3 3.5	1 1.2	3 3.5	4 4.7	1 1.2
80～84歳	70 100.0	1 1.4	4 5.7	—	5 7.1	6 8.6	2 2.9	3 4.3	3 4.3	8 11.4	—
85～89歳	45 100.0	2 4.4	2 4.4	—	3 6.7	3 6.7	2 4.4	2 4.4	3 6.7	2 4.4	1 2.2
90歳以上	28 100.0	—	2 7.1	1 3.6	1 3.6	1 3.6	—	2 7.1	1 3.6	1 3.6	—

【日常的な家族の介護の有無別】対象者の属性

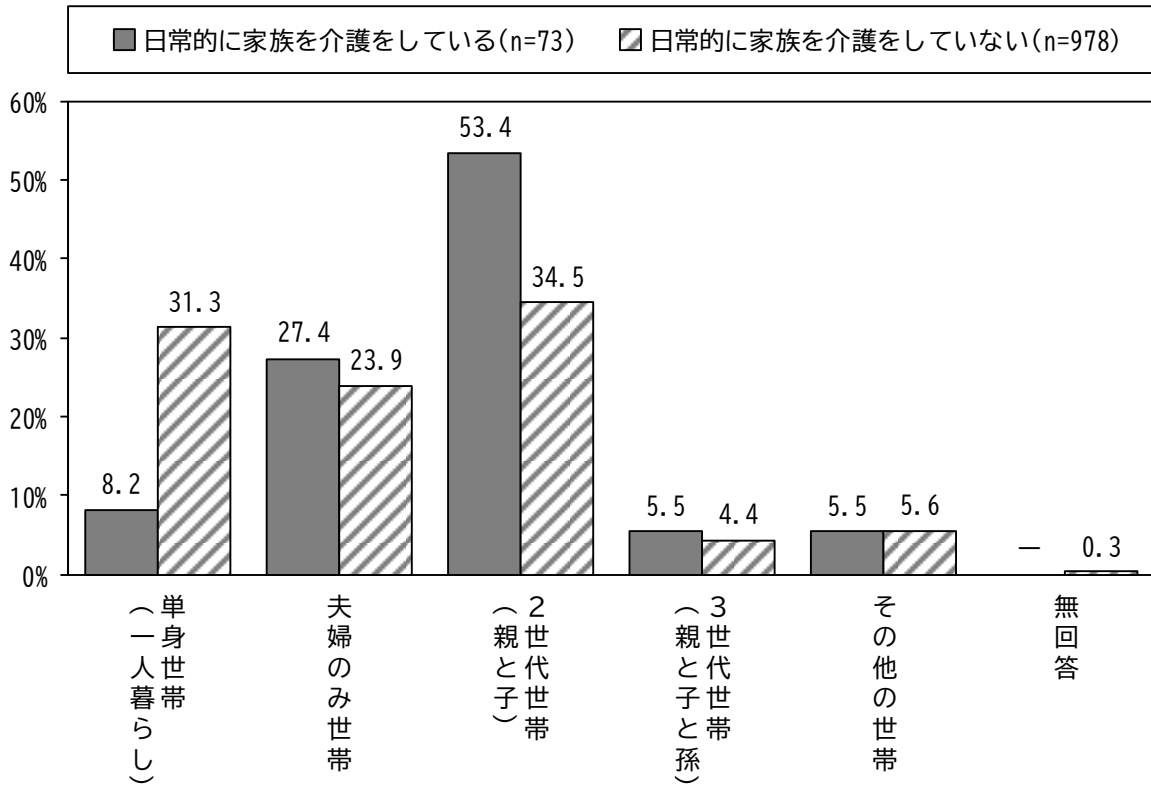
■【介護の有無別】性別・年齢



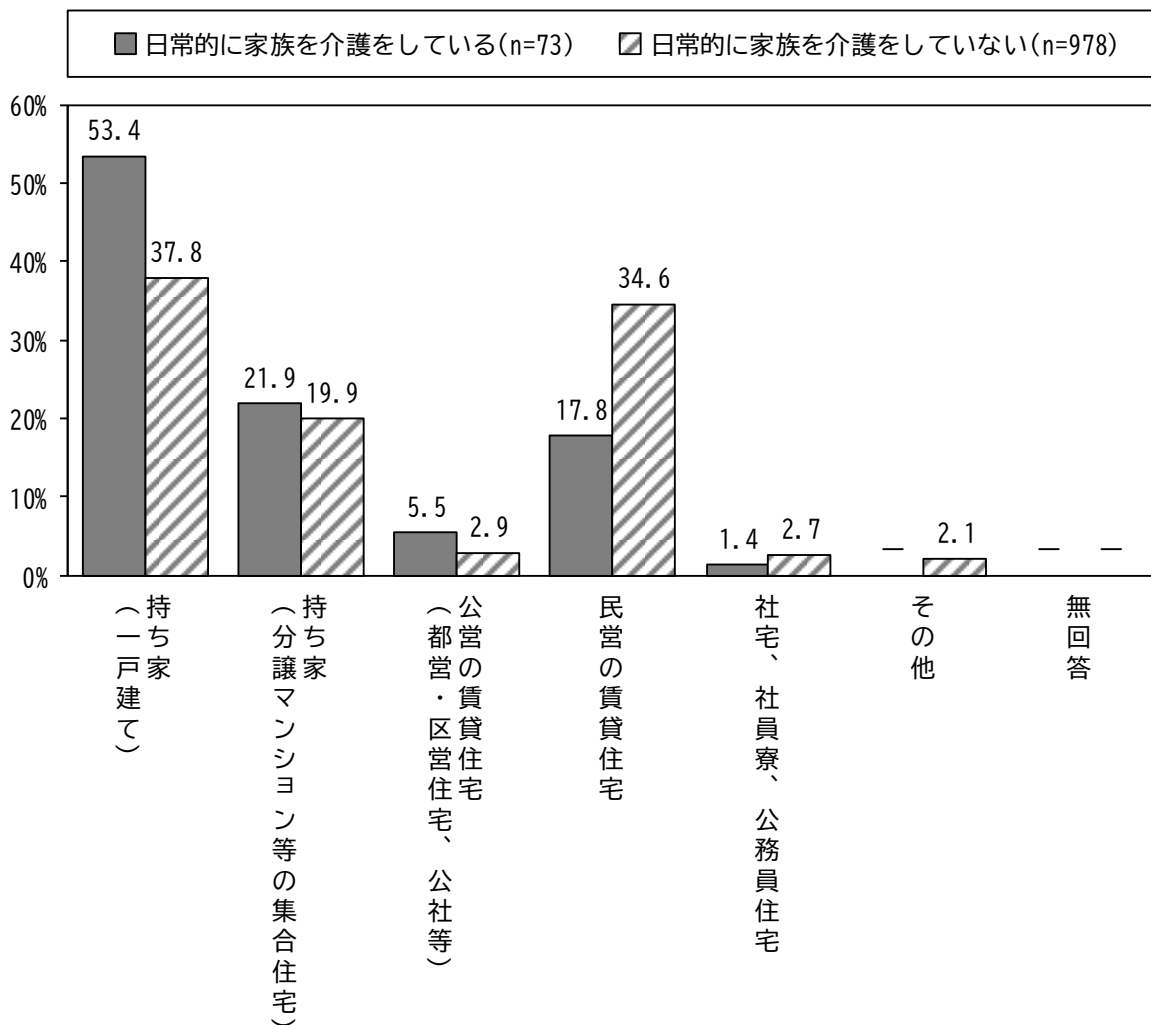
■【介護の有無別】職業



■【介護の有無別】世帯構成

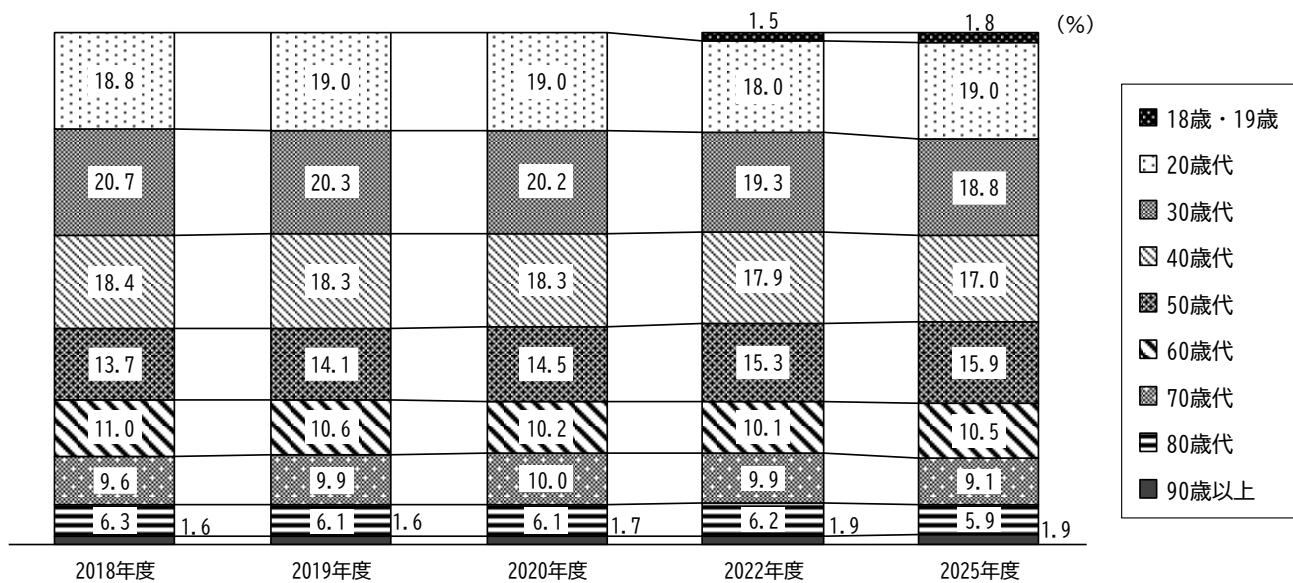


■【介護の有無別】住居形態

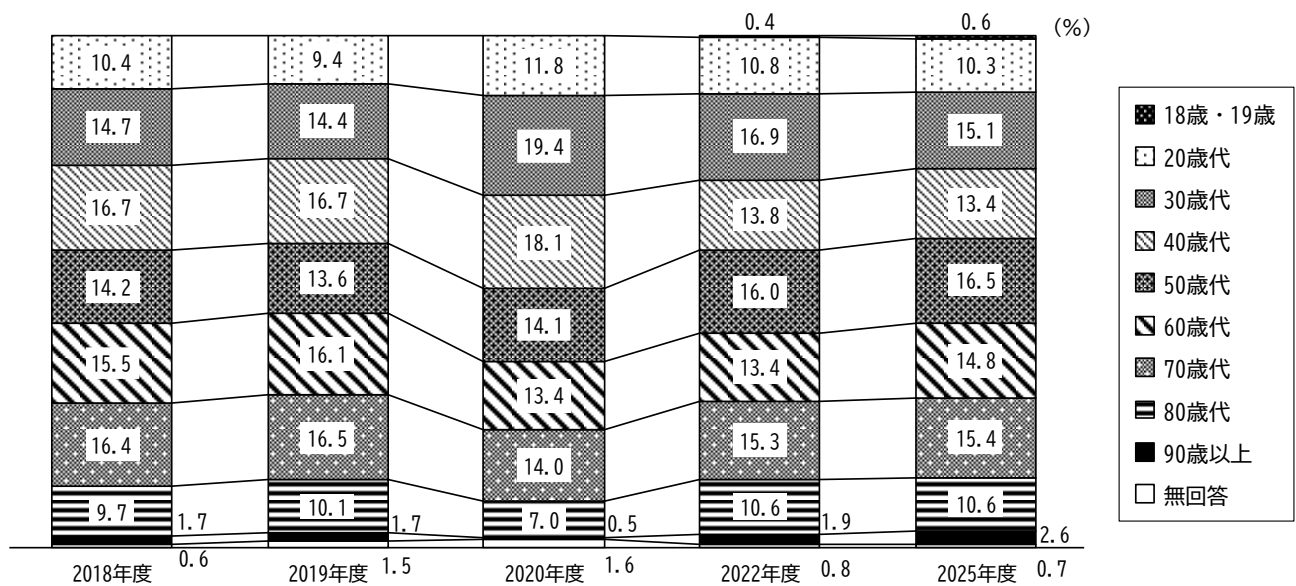


10 母集団と調査回答者の推移

■【年代別】母集団



■【年代別】回答者



※2020年度までは満20歳以上の区民を調査対象としていたが、2022年度からは満18歳以上の区民を調査対象とした。

Ⅲ 調査結果の分析

1 地域活動について

1.1 地域の活動への参加

◆参加している地域活動の中で、最も高いのは「町会・自治会の活動」

(全員の方に)

問1 あなたは、どのような内容の地域の活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

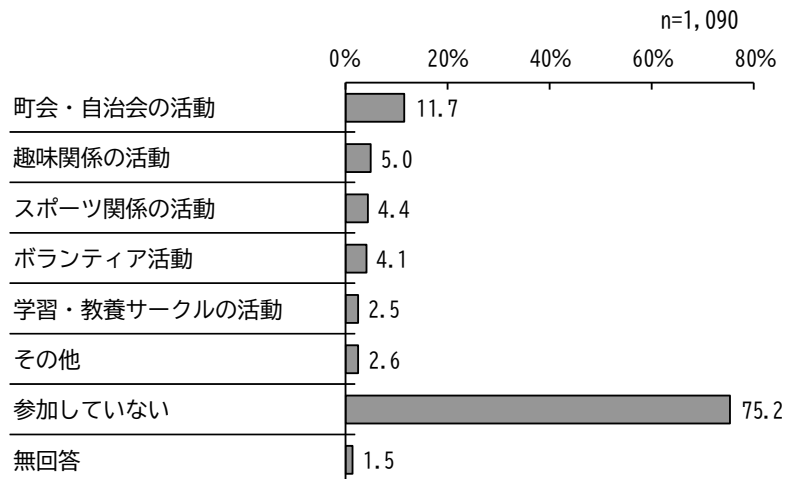


図 1-1 参加している地域活動

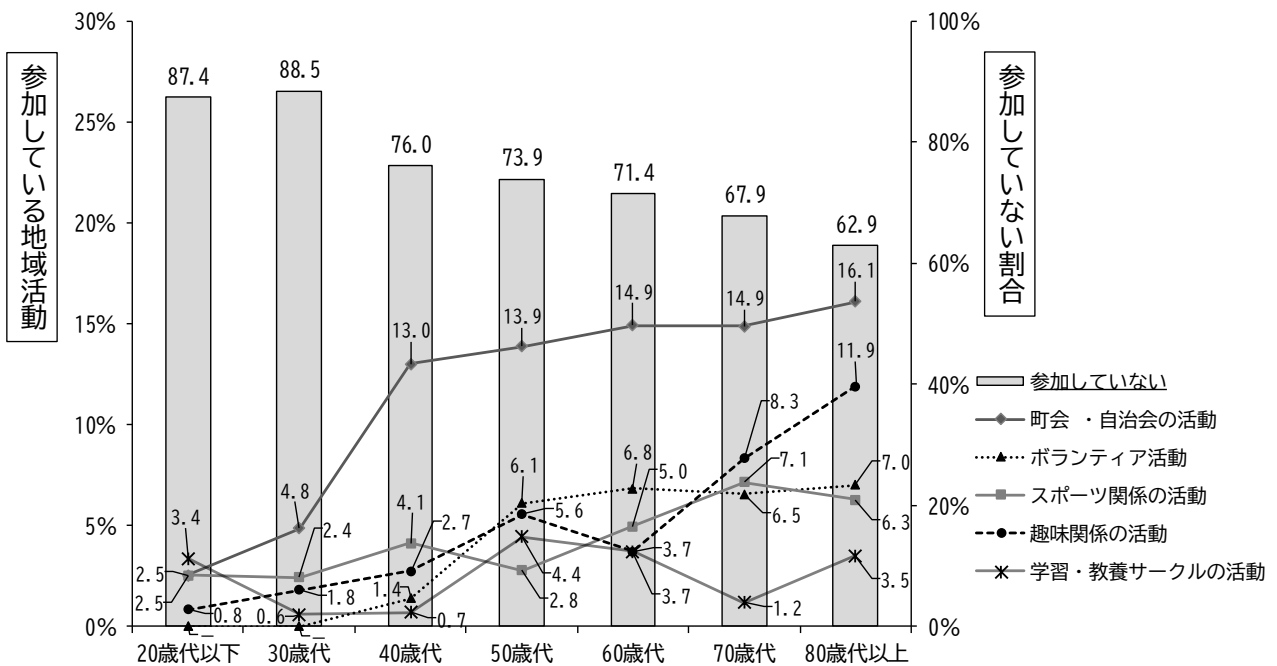
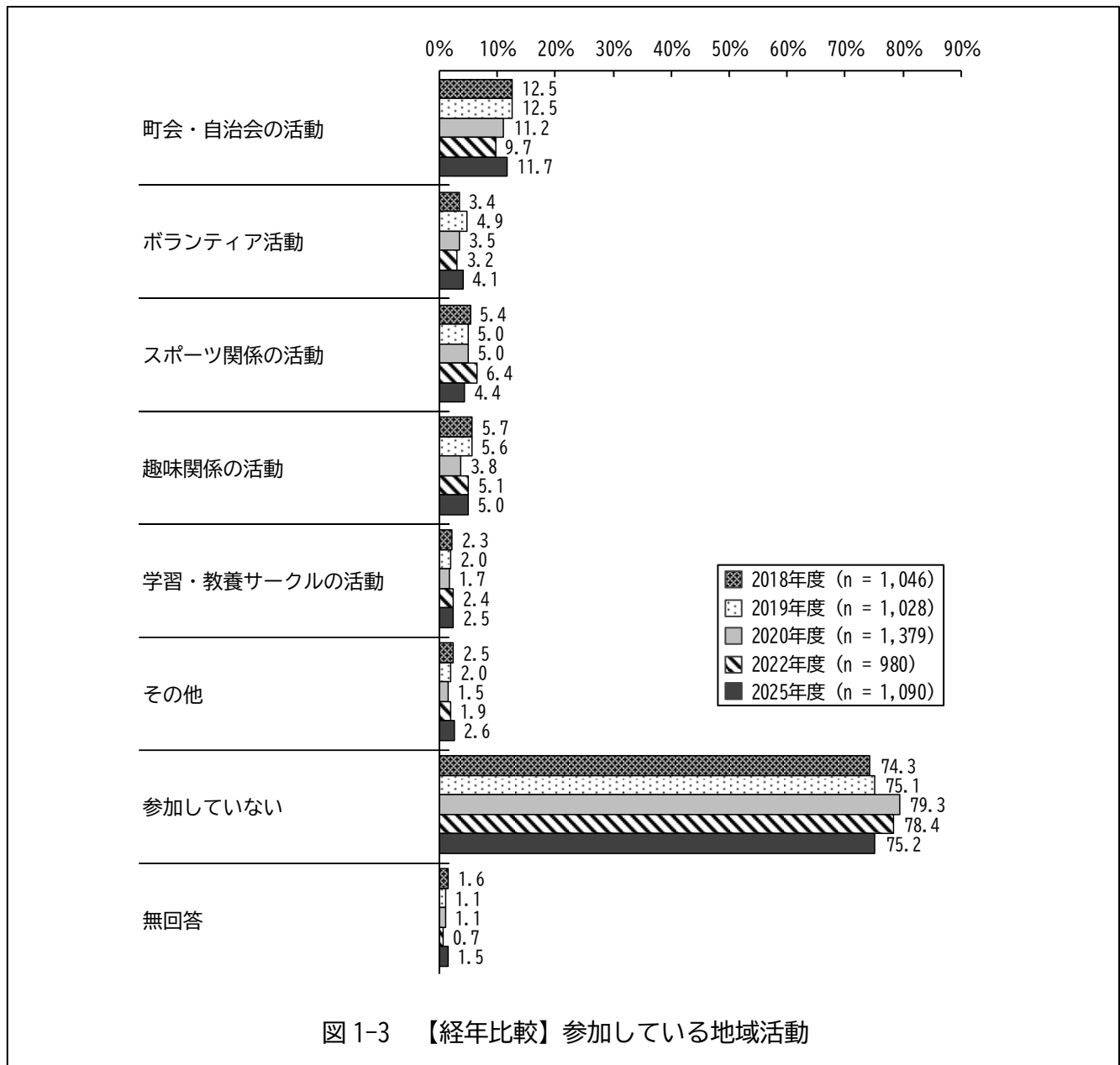


図 1-2 【年代別】参加している地域活動

地域活動への参加状況は、「参加していない」(75.2%)が最も高くなっている。年代別にみると、30歳代以下で「参加していない」の割合が8割台後半と高くなっている。参加している地域の活動としては「町会・自治会の活動」が40歳代以上で1割を超えている。



経年で比較すると、大きな差異はみられないが、「参加していない」割合は2020年度から減少傾向にある。

1.2 近所とのつきあいの程度

◆親しくおつきあいしている割合は 80 歳代以上で 2 割半ば

(全員の方に)

問2 あなたのご近所とのつきあいはどのようなものですか。(○は1つ)

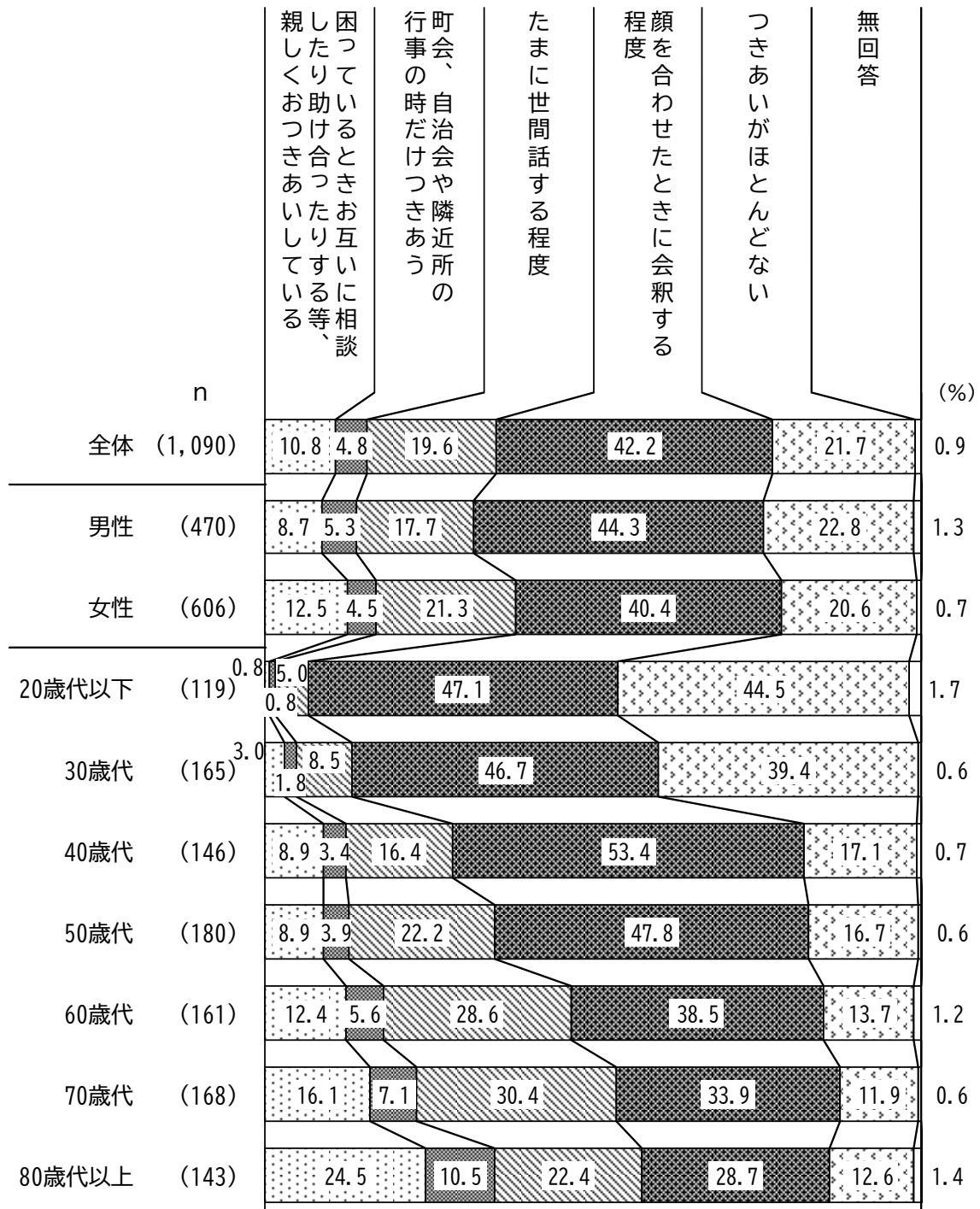
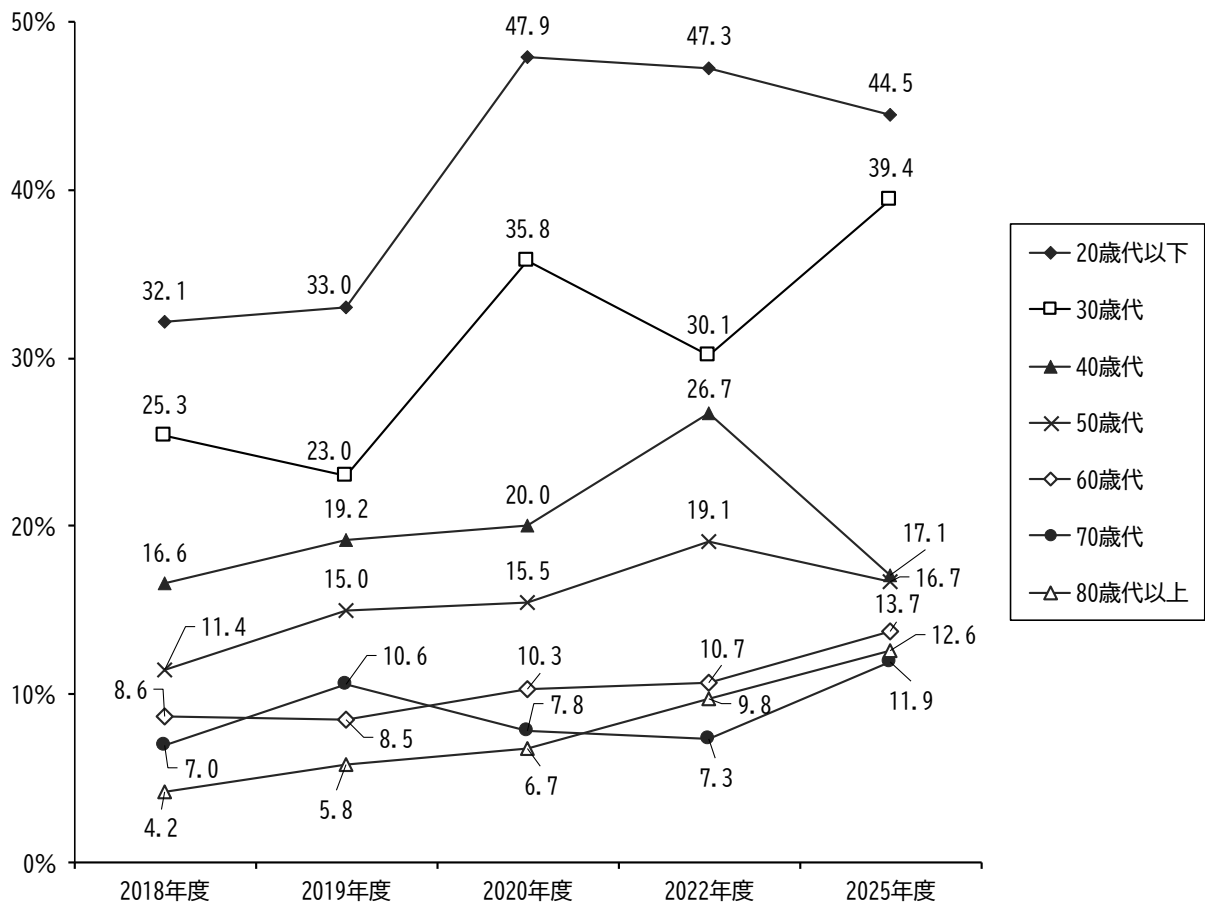


図 1-4 【性・年代別】近所とのつきあいの程度

ご近所とのつきあいの程度としては、「顔を合わせたときに会釈する程度」(42.2%) が最も高くなっている。性別にみると、「顔を合わせたときに会釈する程度」は、男性(44.3%)が女性(40.4%)を約4ポイント上回っている。年代別にみると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりする等、親しくおつきあいしている」の割合は、80歳代以上で2割半ばと高くなっている。

■年代別 「つきあいがほとんどない」の割合



※2022年度から18歳・19歳を調査対象としているため、2020年度以前は「20歳代以下」ではなく「20歳代」。
以下、年代別クロス集計の経年比較は全て同様。

図1-5 【経年比較】近所とのつきあいの程度

経年で比較すると、いずれの年度も「つきあいがほとんどない」の割合が20歳代以下で最も高くなっており、次いで30歳代の割合が高く、30歳代は2022年度に比べ9.3ポイント増加している。一方、40歳代は2022年度に比べ9.6ポイント減少している。

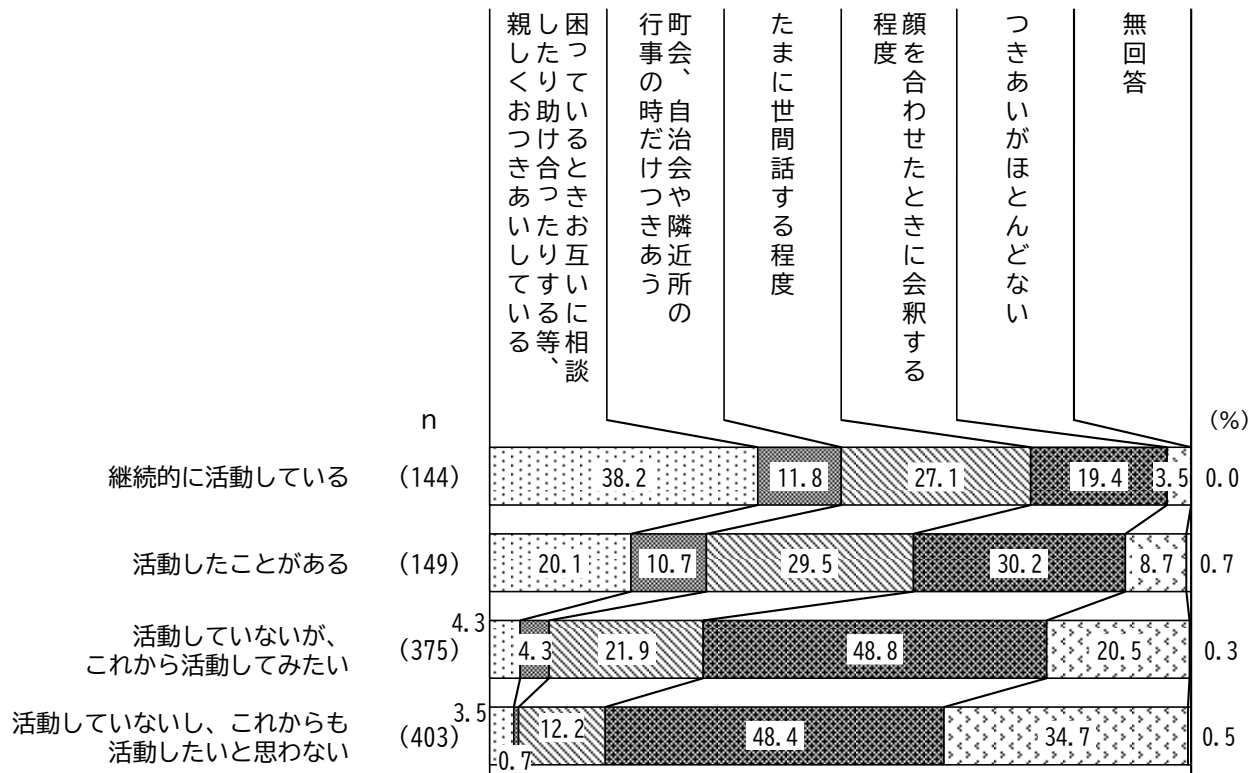
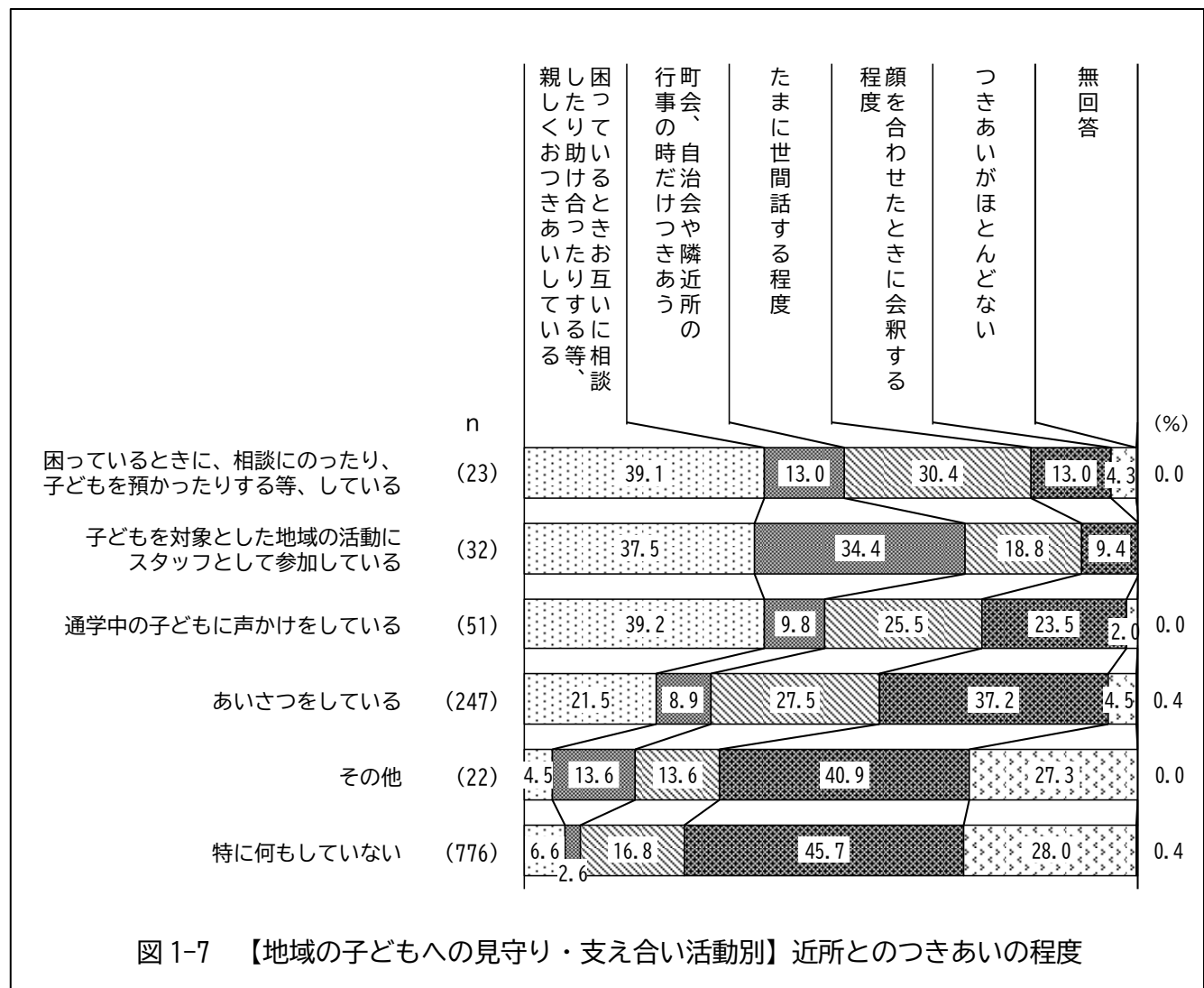


図 1-6 【見守り・支えあい活動別】近所とのつきあいの程度

見守り・支えあい活動別にみると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりする等、親しくおつきあいしている」の割合は、継続的に活動している人や活動したことがある人で高くなっており、継続的に活動している人で3割台後半、活動したことがある人で約2割となっている。



地域の子どもへの見守り・支え合い活動別にみると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりする等、親しくおつきあいしている」は、何らかの見守り・支え合い活動をしている人の方が3割台後半から約4割と高くなっている。一方、「つきあいがほとんどない」と「顔を合わせたときに会釈する程度」は、特に何もしていない人で割合が高くなっている。

1.3 人とのつきあいがないと感じるか

◆人とのつきあいがないと＜感じる＞は3割台後半

(全員の方に)

問3 自分には人とのつきあいがないと感じることはありますか。(○は1つ)

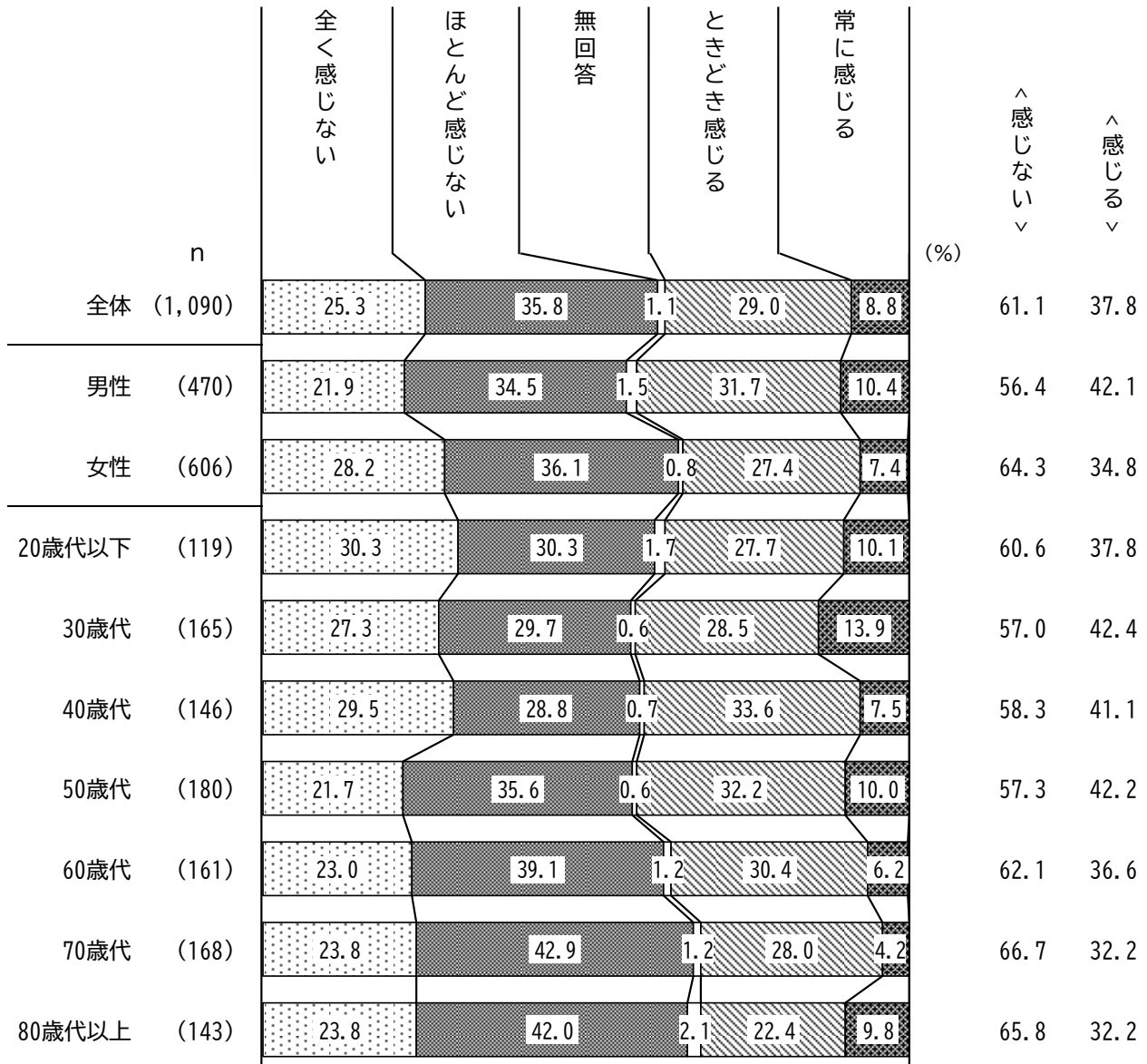


図1-8 【性・年代別】人とのつきあいがないと感じるか

人とのつきあいがないと感じるかどうかは、「全く感じない」(25.3%)と「ほとんど感じない」(35.8%)を合わせた＜感じない＞が約6割であるのに対し、「ときどき感じる」(29.0%)と「常に感じる」(8.8%)を合わせた＜感じる＞は3割台後半となっている。性別にみると、＜感じる＞は、男性(42.1%)が女性(34.8%)を約7ポイント上回っている。年代別にみると、30～50歳代で＜感じる＞の割合が4割を超えて高くなっている。

1.4 取り残されていると感じるか

◆取り残されていると<感じる>は1割台後半

(全員の方に)

問4 自分は取り残されていると感じることはありますか。(○は1つ)

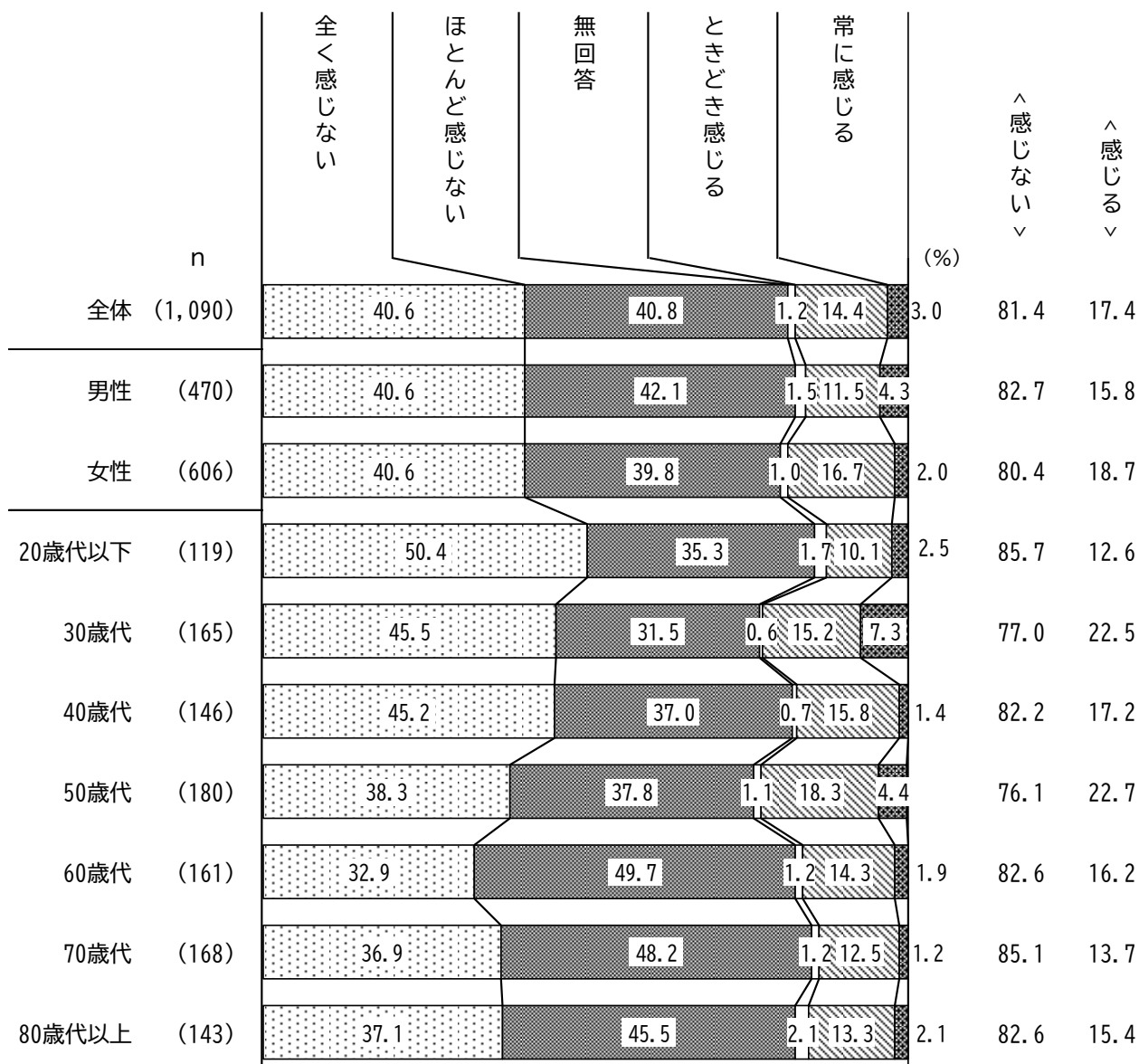


図1-9 【性・年代別】取り残されていると感じるか

自分は取り残されていると感じるかどうかは、「全く感じない」(40.6%)と「ほとんど感じない」(40.8%)を合わせた<感じる>が約8割であるのに対し、「ときどき感じる」(14.4%)と「常に感じる」(3.0%)を合わせた<感じる>は1割台後半となっている。年代別にみると、30歳代と50歳代で<感じる>の割合が2割台前半で高くなっている。

1.5 他の人から孤立していると感じるか

◆他の人から孤立していると感じるは1割台後半

(全員の方に)

問5 自分は他の人から孤立していると感じることはありますか。(○は1つ)

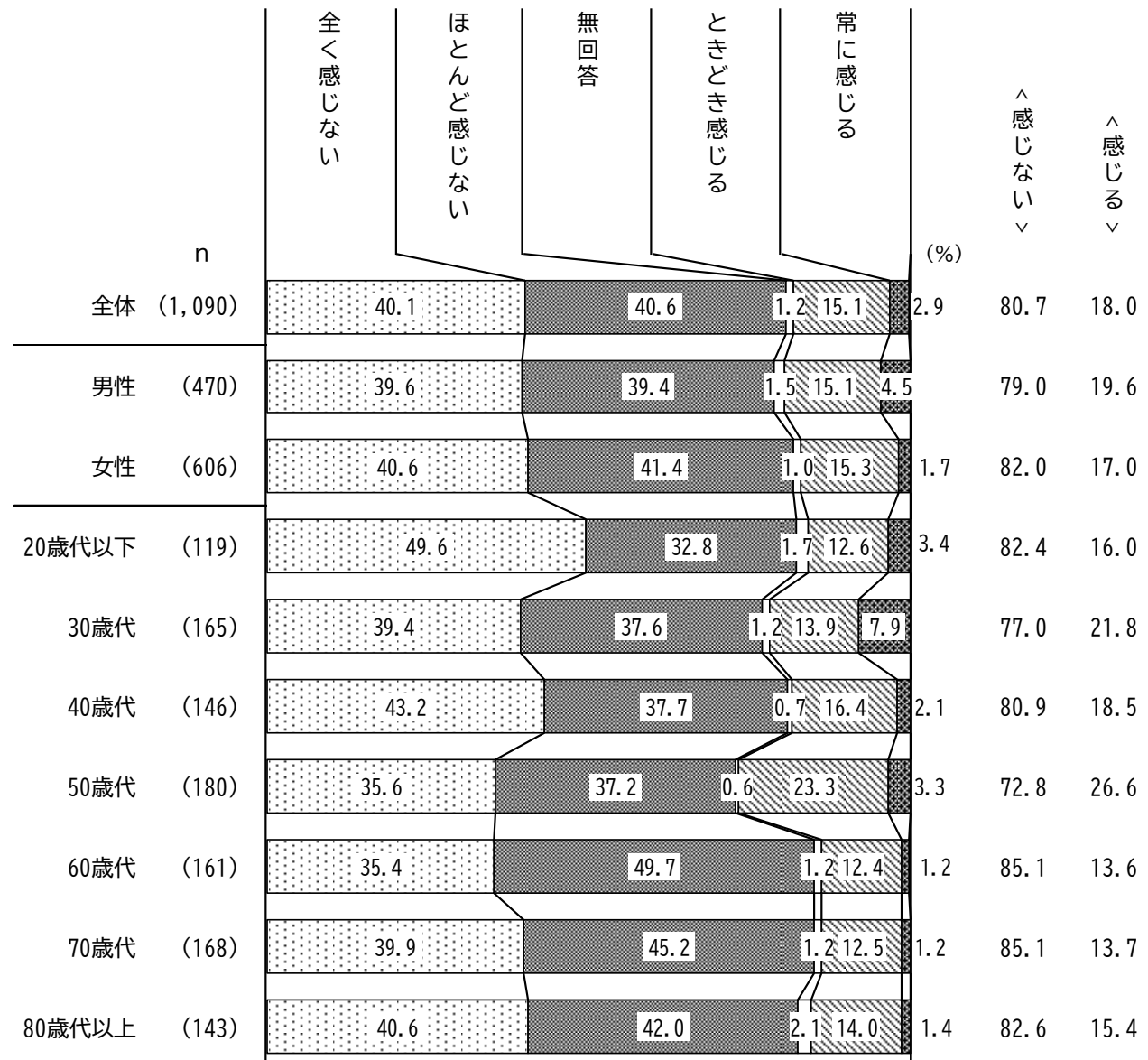


図1-10 【性・年代別】他の人から孤立していると感じるか

他の人から孤立していると感じるかかどうかは、「全く感じない」(40.1%)と「ほとんど感じない」(40.6%)を合わせた<感じる>が約8割であるのに対し、「ときどき感じる」(15.1%)と「常を感じる」(2.9%)を合わせた<感じる>は1割台後半となっている。年代別にみると、30歳代と50歳代で<感じる>の割合が2割台で高くなっている。

1.6 相談相手

◆相談相手は「知人・友人」が5割半ば

(全員の方に)

問6 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる、または相談できるのは誰ですか。
(あてはまるものすべてに○)

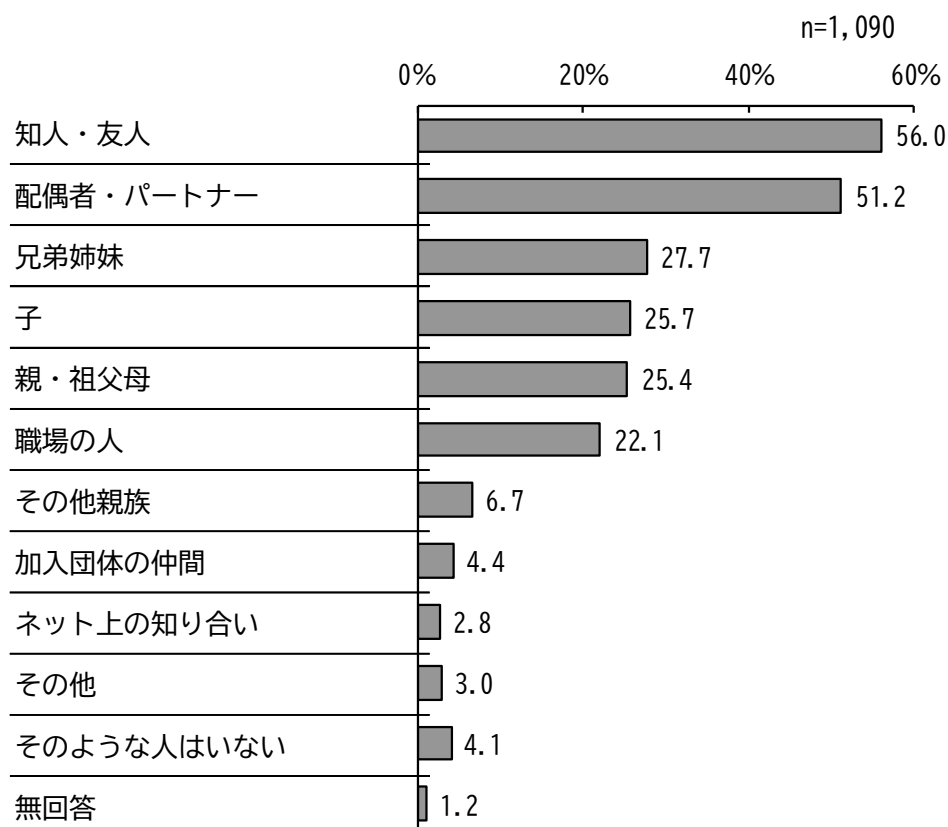


図 1-11 相談相手

心配事や愚痴を聞いてくれる、または相談できる相手は、「知人・友人」が 56.0%で最も高く、次いで「配偶者・パートナー」(51.2%)、「兄弟姉妹」(27.7%)となっている。

表 1-1 【年代別】上位 5 項目 相談相手

単位：％

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
20歳代以下 n=119	知人・友人 64.7	親・祖父母 51.3	配偶者・パートナー 39.5	職場の人 33.6	兄弟姉妹 26.9
30歳代 n=165	知人・友人 61.2	配偶者・パートナー 60.0	親・祖父母 52.1	職場の人 33.9	兄弟姉妹 27.9
40歳代 n=146	配偶者・パートナー 64.4	知人・友人 61.6	親・祖父母 45.9	職場の人 38.4	兄弟姉妹 25.3
50歳代 n=180	知人・友人 63.3	配偶者・パートナー 57.8	兄弟姉妹 29.4	子 28.3	職場の人 27.2
60歳代 n=161	知人・友人 59.6	配偶者・パートナー 50.9	兄弟姉妹 31.1	子 29.8	職場の人 18.0
70歳代 n=168	配偶者・パートナー／知人・友人 50.6		子 44.0	兄弟姉妹 29.8	その他親族 8.9
80歳代以上 n=143	子 58.0	配偶者・パートナー／知人・友人 30.1		兄弟姉妹 21.7	その他親族 11.2

心配事や愚痴を聞いてくれる、または相談できる相手を年代別にみると、30 歳代以下と 50～60 歳代で「知人・友人」、40 歳代で「配偶者・パートナー」、70 歳代で「配偶者・パートナー／知人・友人」、80 歳代以上で「子」の割合が特に高くなっている。

1.7 家族や友人以外の相談先

◆家族や友人以外の相談先は「そのような人はいない」が6割台前半

(全員の方に)

問7 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手・相談機関はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

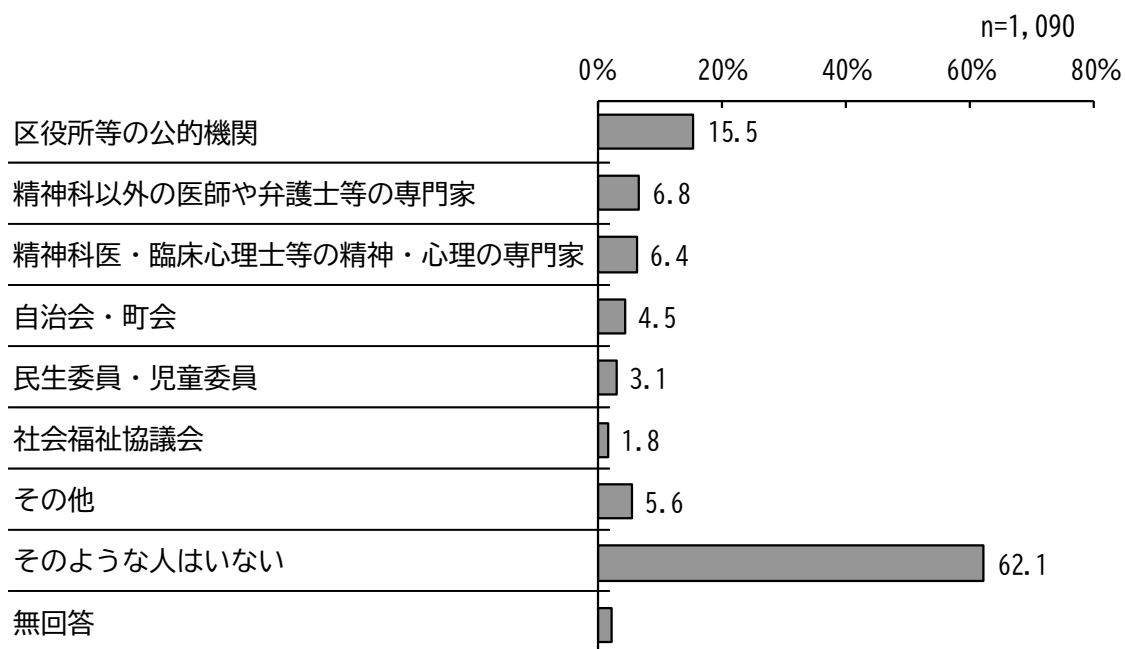


図 1-12 家族や友人以外の相談先

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手・相談機関は、「そのような人はいない」が62.1%で最も高く、次いで「区役所等の公的機関」(15.5%)となっている。

表 1-2 【年代別】上位 5 項目 家族や友人以外の相談先

単位：％

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
20歳代以下 n=119	そのような人はいない 84.0	区役所等の公的機関 7.6	精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家 3.4	民生委員・児童委員／社会福祉協議会／精神科以外の医師や弁護士等の専門家 0.8	
30歳代 n=165	そのような人はいない 68.5	区役所等の公的機関 14.5	精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家 10.3	精神科以外の医師や弁護士等の専門家 4.2	自治会・町会 1.2
40歳代 n=146	そのような人はいない 65.8	区役所等の公的機関 15.1	精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家 7.5	精神科以外の医師や弁護士等の専門家 5.5	自治会・町会／社会福祉協議会 2.1
50歳代 n=180	そのような人はいない 65.6	区役所等の公的機関 12.8	精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家 9.4	自治会・町会／精神科以外の医師や弁護士等の専門家 5.0	
60歳代 n=161	そのような人はいない 57.8	区役所等の公的機関 18.0	精神科以外の医師や弁護士等の専門家 11.8	精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家 6.8	自治会・町会 2.5
70歳代 n=168	そのような人はいない 56.5	区役所等の公的機関 19.0	精神科以外の医師や弁護士等の専門家 10.7	自治会・町会 9.5	民生委員・児童委員 3.0
80歳代以上 n=143	そのような人はいない 40.6	区役所等の公的機関 21.0	民生委員・児童委員 14.0	自治会・町会 10.5	精神科以外の医師や弁護士等の専門家 7.7

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手・相談機関を年代別にみると、いずれの年代でも「そのような人はいない」が最も高く、若い年代ほどその割合が高くなっている。

1.8 必要だと思う近隣同士の見守り・支えあい活動

◆必要だと思う近隣同士の見守り・支えあい活動は「日常的な声かけ」が4割台後半

(全員の方に)

問8 あなたは、地域で生活していくうえで、近隣同士のどのような見守り・支えあい活動が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

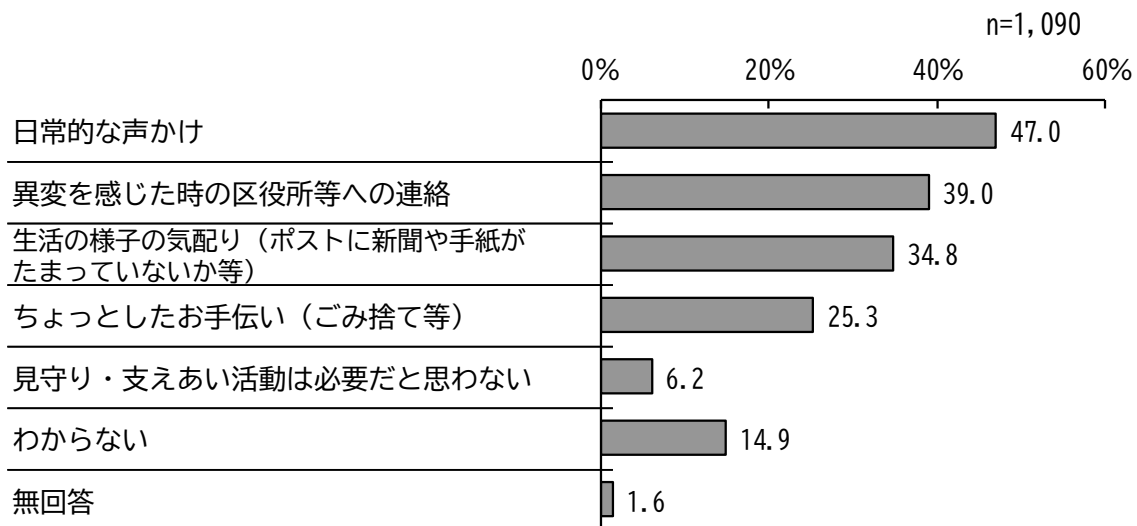
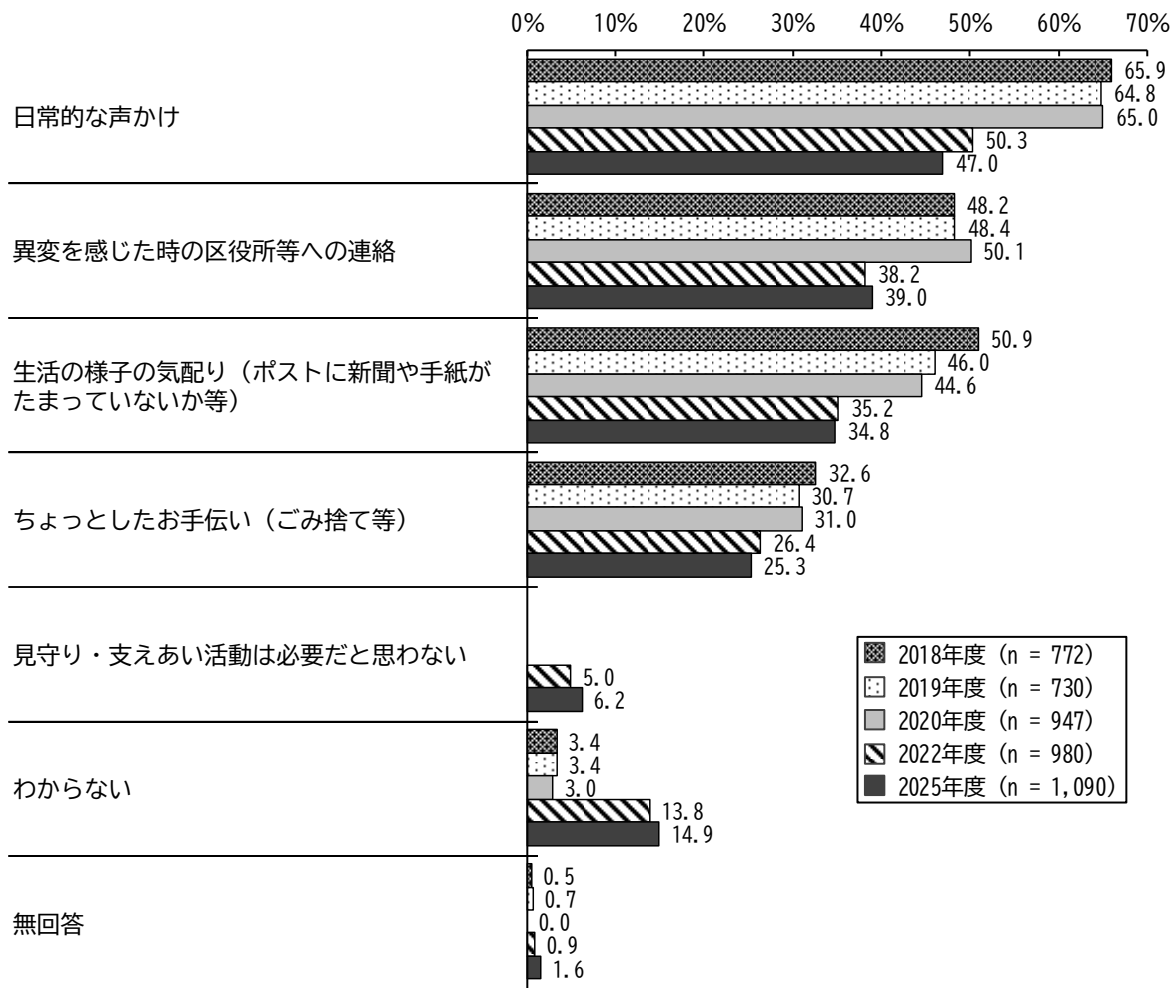


図 1-13 必要だと思う見守り・支えあい活動

必要だと思う近隣同士の見守り・支えあい活動は、「日常的な声かけ」が 47.0%で最も高く、次いで「異変を感じた時の区役所等への連絡」(39.0%)、「生活の様子の気配り (ポストに新聞や手紙がたまっていないか等)」(34.8%)となっている。



※2018～2020年度は「見守り・支えあい活動が『必要だと思う』人」に限定して聞いており、質問の条件が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

図 1-14 【経年比較】必要だと思う見守り・支えあい活動

1.9 近隣同士の日常的な見守り・支えあい活動の実施状況

◆近隣同士の日常的な見守り・支えあい活動を「これからしてみたい」人が3割半ば

(全員の方に)

問 9 あなたは、近隣同士の日常的な声かけなどの見守り・支えあい活動をしていますか。(○は1つ)

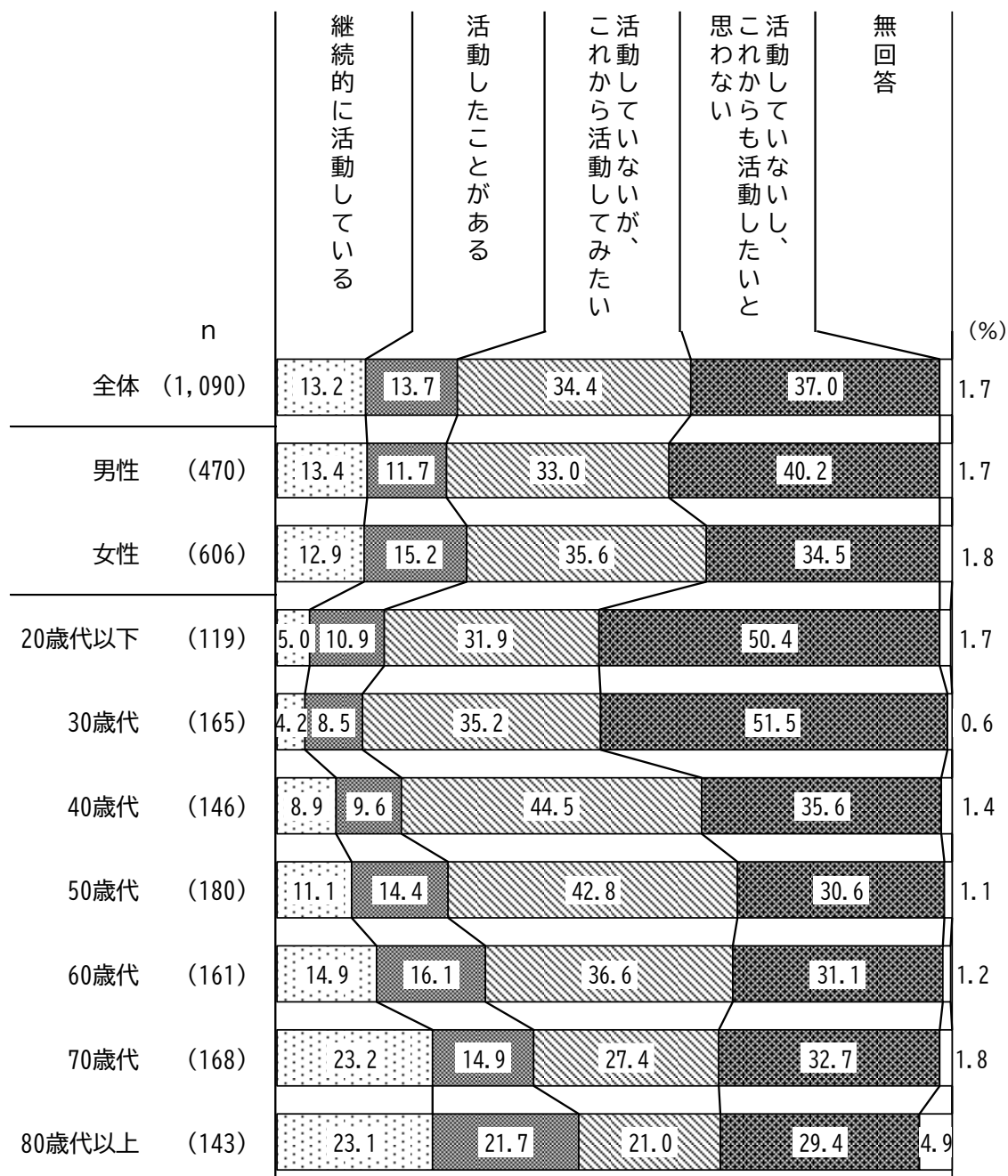
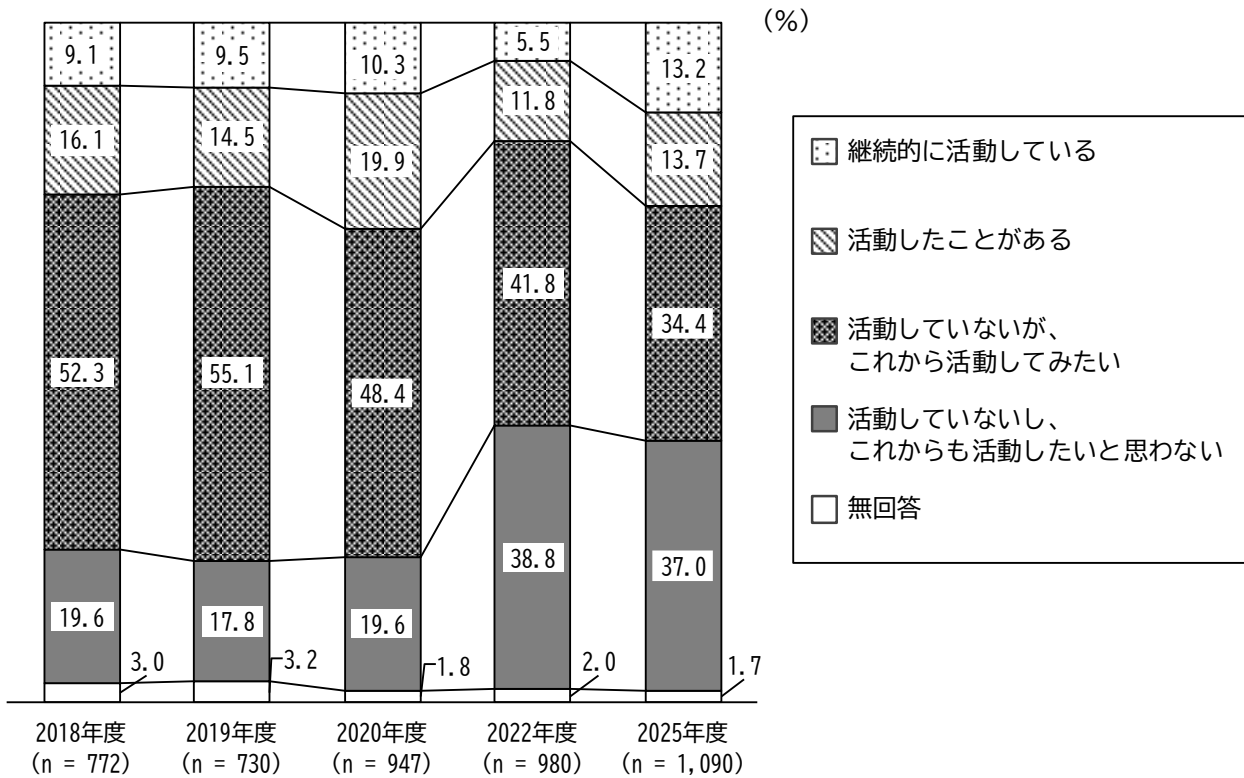


図 1-15 【性・年代別】近隣同士の日常的な見守り・支えあい活動の実施状況

近隣同士の日常的な見守り・支えあい活動の実施状況は、「活動していないし、これから活動したいと思わない」が 37.0%で最も高く、次いで「活動していないが、これから活動してみたい」(34.4%)となっている。性別にみると、「活動していないし、これから活動したいと思わない」は、男性(40.2%)が女性(34.5%)を約6ポイント上回っている。年代別にみると、「継続的に活動している」は70歳代以上で2割台前半と高くなっており、「活動していないが、これから活動してみたい」は40歳代で4割半ば、50歳代で4割台前半と高くなっている。



※2018～2020 年度は「見守り・支えあい活動が『必要だと思う』人」に限定して聞いており、質問の条件が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

図 1-16 【経年比較】近隣同士の日常的な見守り・支えあい活動の実施状況

1.10 地域の子どもに対する見守り・支えあい活動の実施状況

◆子どもに対する見守り・支えあい活動を「特に何もしていない」が約7割

(全員の方に)

問 10 あなたは、地域の子どもに対する見守り・支えあい活動をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

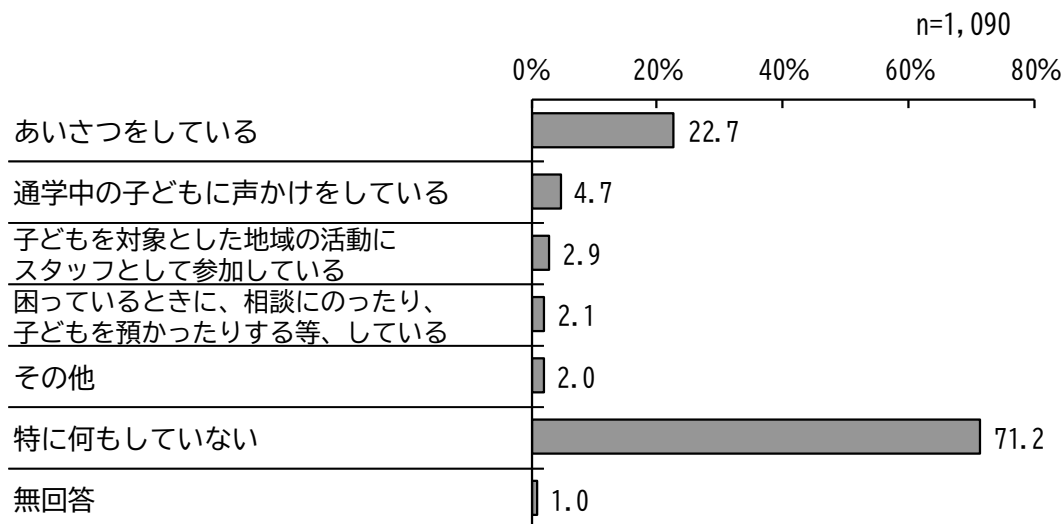


図 1-17 地域の子どもに対する見守り・支えあい活動の実施状況

地域の子どもに対する見守り・支えあい活動の実施状況は、「特に何もしていない」が 71.2%と最も高く、次いで「あいさつをしている」(22.7%)となっている。

表 1-3 【性・年代別】地域の子どもに対する見守り・支えあい活動の実施状況

単位：%

区分	有効回答数(件)	困っているときに、子どもを預かる等、している	子どもを対象とした地域活動に参加している	通学中の子どもに声かけをしている	あいさつをしている	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1,090	2.1	2.9	4.7	22.7	2.0	71.2	1.0
男性	470	1.7	1.7	1.7	21.3	2.3	73.4	1.1
女性	606	2.5	4.0	6.9	23.4	1.5	70.0	1.0
20歳代以下	119	1.7	0.0	0.8	10.1	1.7	85.7	1.7
30歳代	165	0.6	0.0	0.6	15.2	0.0	83.0	1.2
40歳代	146	4.8	4.1	9.6	23.3	2.1	67.8	0.7
50歳代	180	1.1	2.8	3.9	24.4	2.2	71.1	0.6
60歳代	161	1.2	5.6	2.5	23.0	2.5	68.3	1.2
70歳代	168	3.0	4.8	8.9	25.0	2.4	67.9	0.6
80歳代以上	143	2.8	2.8	5.6	35.0	2.1	58.0	1.4

性別にみると、「通学中の子どもに声かけをしている」は、女性(6.9%)が男性(1.7%)を約5ポイント上回っている。年代別にみると、いずれの年代でも「特に何もしていない」の割合が最も高く、特に30歳代以下で8割を超えて高くなっている。

1.11 地域における住民同士の交流の場や機会の有無

◆住民同士の交流の場や機会が＜ない＞が6割台前半

(全員の方に)

問Ⅱ 地域には、住民同士の交流の場所や機会がありますか。(○は1つ)

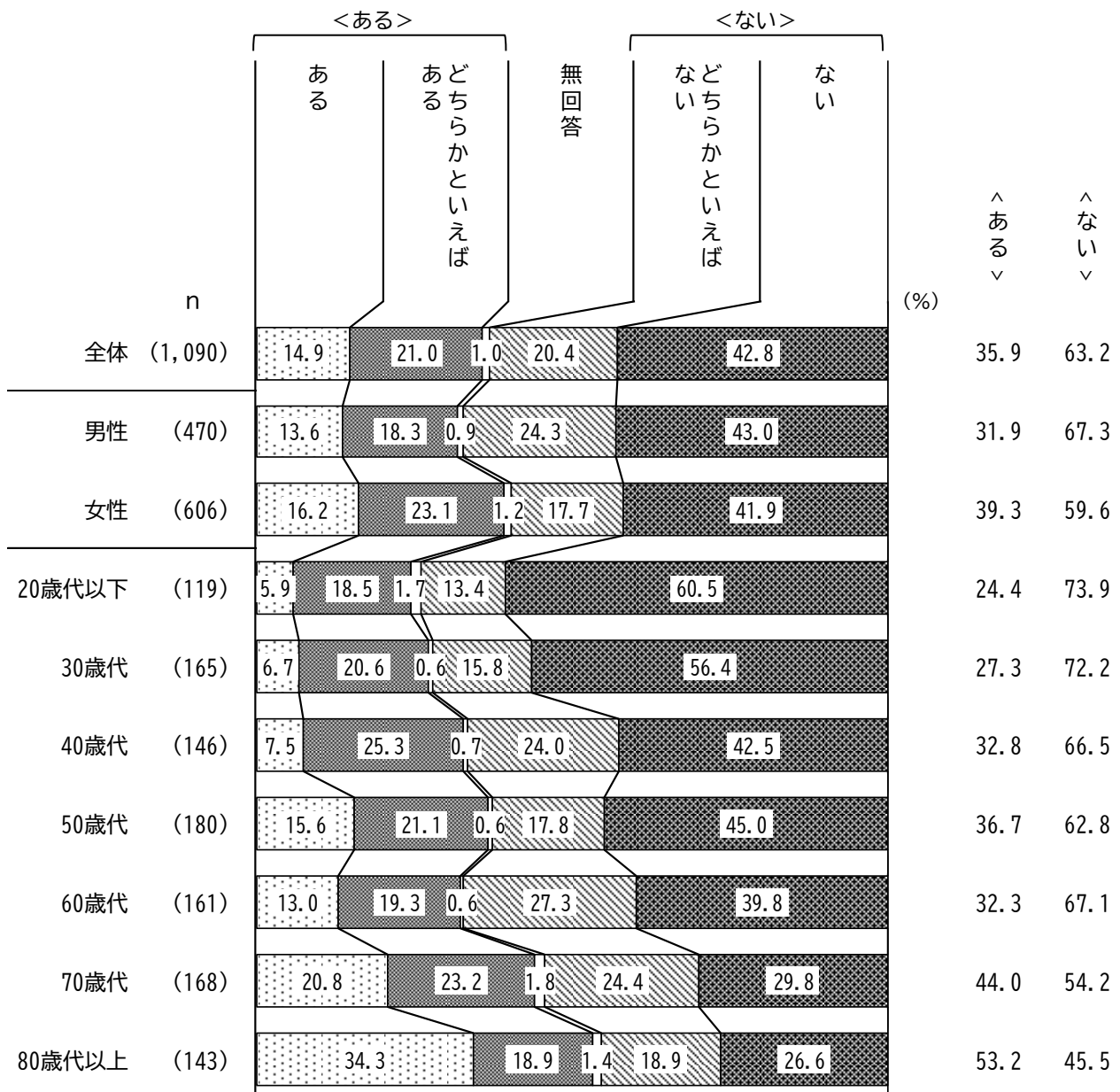
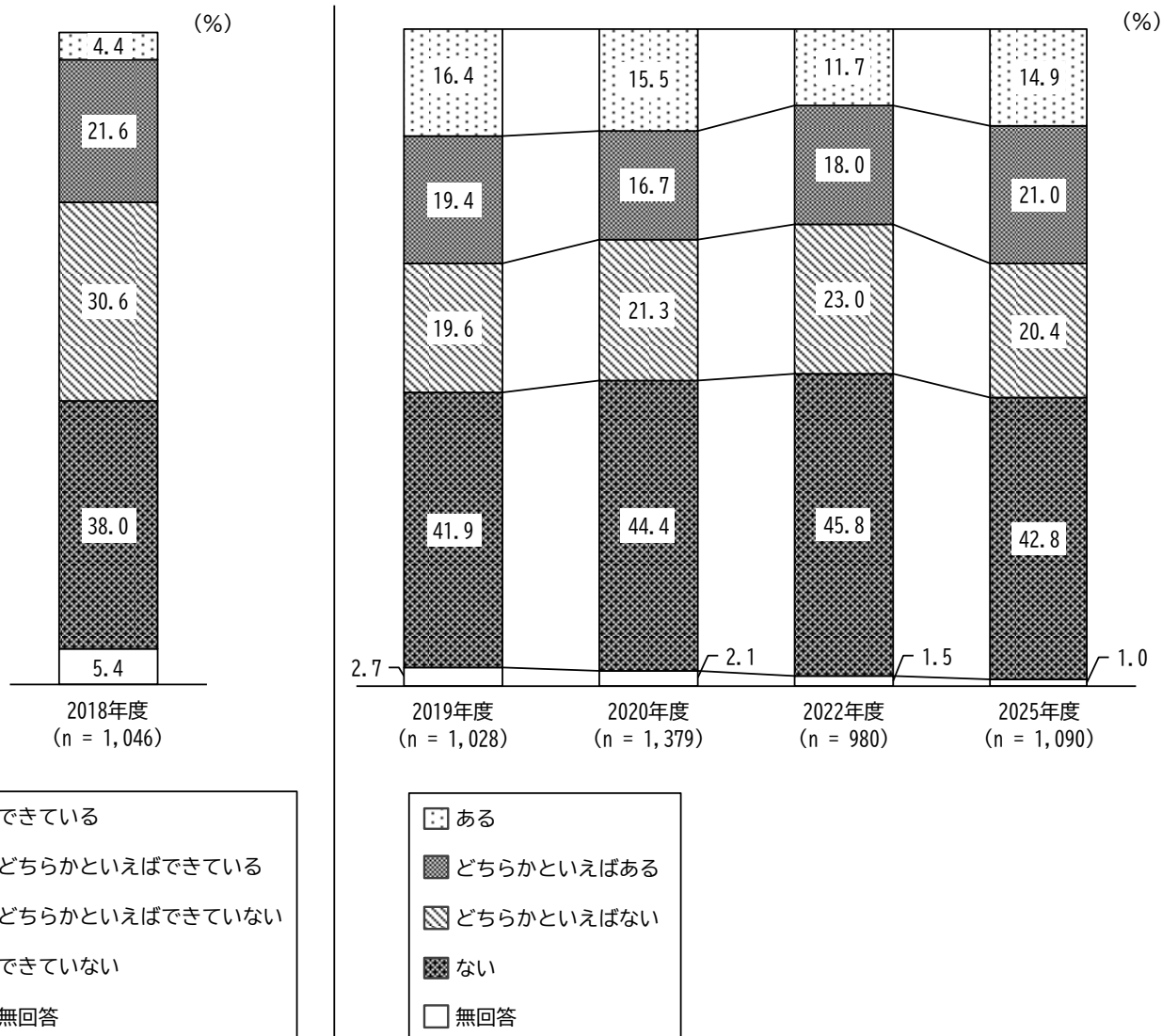


図 1-18 【性・年代別】住民同士の交流の場や機会の有無

地域における住民同士の交流の場や機会の有無は、「どちらかといえはない」(20.4%)と「ない」(42.8%)を合わせた＜ない＞が6割台前半であるのに対し、「ある」(14.9%)と「どちらかといえはある」(21.0%)を合わせた＜ある＞は3割半ばとなっている。性別にみると、＜ない＞は、男性(67.3%)が女性(59.6%)を約8ポイント上回っている。年代別にみると、30歳代以下で＜ない＞が7割台前半と特に高くなっている。



※2018 年度までは「交流する『場づくり』ができていないか」について調査しているため、参考として 2018 年度の結果を掲載する。

図 1-19 【経年比較】住民同士の交流の場や機会の有無

経年で比較すると、＜ある＞の割合は、2022 年度まで減少傾向となっていたが、2025 年度に増加に転じ、2019 年度とほぼ同じ割合になっている。

1.12 障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策

◆障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策は「障害のある子どもの相談・支援体制や学校教育の充実」が最も高い。

(全員の方に)

問 12 障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために、行政の施策としてどのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思うことを3つまでお選びください。(○は3つまで)

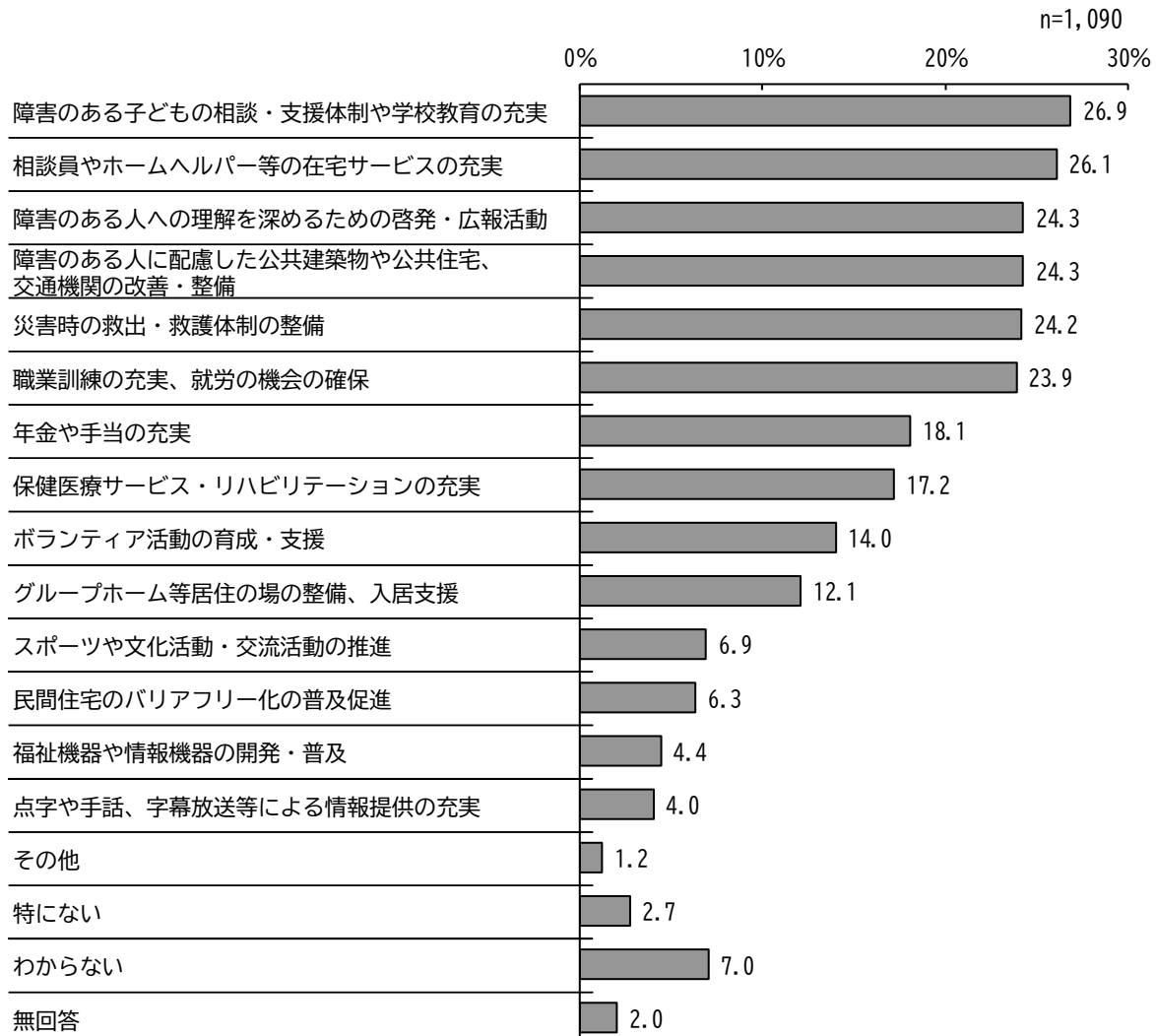


図 1-20 障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策

障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策は、「障害のある子どもの相談・支援体制や学校教育の充実」が26.9%で最も高く、次いで「相談員やホームヘルパー等の在宅サービスの充実」(26.1%)、「障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動」と「障害のある人に配慮した公共建築物や公共住宅、交通機関の改善・整備」(ともに24.3%)となっている。

表 1-4 【年代別】上位 5 項目 障害のある人となない人が
共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策

単位：％

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
20歳代以下 n=119	障害のある子どもの 相談・支援体制や学 校教育の充実 30.3	障害のある人への理 解を深めるための啓 発・広報活動 25.2	災害時の救出・救護 体制の整備 24.4	職業訓練の充実、就 労の機会の確保 23.5	年金や手当の充実／障害 のある人に配慮した公共 建築物や公共住宅、交通 機関の改善・整備 18.5
30歳代 n=165	障害のある子どもの 相談・支援体制や学 校教育の充実 33.9	職業訓練の充実、就 労の機会の確保 27.3	障害のある人への理解を深めるための啓 発・広報活動／相談員やホームヘルパー等 の在宅サービスの充実 21.8	障害のある人に配慮 した公共建築物や公 共住宅、交通機関の 改善・整備 20.6	
40歳代 n=146	障害のある子どもの 相談・支援体制や学 校教育の充実 39.7	職業訓練の充実、就 労の機会の確保 30.8	相談員やホームヘル パー等の在宅サービ スの充実 25.3	障害のある人に配慮 した公共建築物や公 共住宅、交通機関の 改善・整備 24.7	災害時の救出・救護 体制の整備 22.6
50歳代 n=180	相談員やホームヘル パー等の在宅サービ スの充実 33.3	障害のある人に配慮 した公共建築物や公 共住宅、交通機関の 改善・整備 32.2	障害のある人への理 解を深めるための啓 発・広報活動 27.2	障害のある子どもの相談・支援体制や学校 教育の充実／職業訓練の充実、就労の機会 の確保 26.7	
60歳代 n=161	相談員やホームヘル パー等の在宅サービ スの充実 30.4	障害のある人に配慮 した公共建築物や公 共住宅、交通機関の 改善・整備 29.8	障害のある人への理 解を深めるための啓 発・広報活動 28.6	障害のある子どもの 相談・支援体制や学 校教育の充実 25.5	職業訓練の充実、就 労の機会の確保 24.8
70歳代 n=168	災害時の救出・救護 体制の整備 32.7	障害のある人への理 解を深めるための啓 発・広報活動 27.4	相談員やホームヘル パー等の在宅サービ スの充実 26.8	保健医療サービス・ リハビリテーション の充実 23.8	障害のある人に配慮 した公共建築物や公 共住宅、交通機関の 改善・整備 22.6
80歳代以上 n=143	相談員やホームヘル パー等の在宅サービ スの充実 30.8	災害時の救出・救護 体制の整備 25.2	障害のある人への理 解を深めるための啓 発・広報活動 22.4	年金や手当の充実 18.9	障害のある人に配慮 した公共建築物や公 共住宅、交通機関の 改善・整備 18.2

障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策を年代別にみると、40 歳代以下では「障害のある子どもの相談・支援体制や学校教育の充実」、50～60 歳代と 80 歳代以上では「相談員やホームヘルパー等の在宅サービスの充実」、70 歳代では「災害時の救出・救護体制の整備」が 1 位となっている。

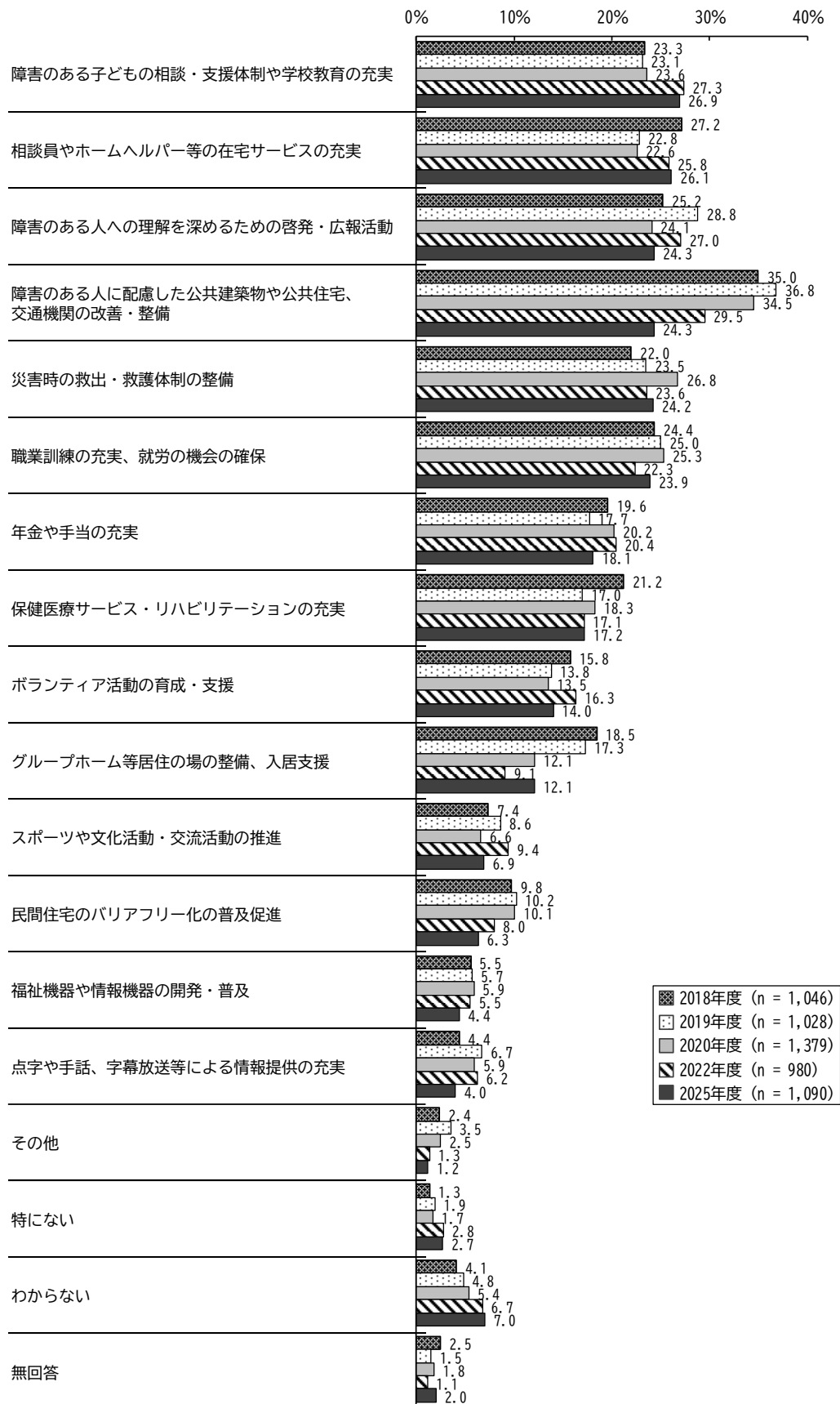


図 1-21 【経年比較】障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために重要な行政施策

経年で比較すると、「障害のある人に配慮した公共建築物や公共住宅、交通機関の改善・整備」や「民間住宅のバリアフリー化の普及促進」が 2019 年度から減少傾向にある。

1.13 高齢者会館の利用状況

◆高齢者会館を<全く利用したことがない>は約8割

(60歳以上の方に)

問 13 高齢者会館（いこいの家も含む）では、様々な自主活動、健康づくりや介護予防の講習会や、施設の貸し出しもしています。

あなたは高齢者会館を利用したことがありますか。（○は1つ）

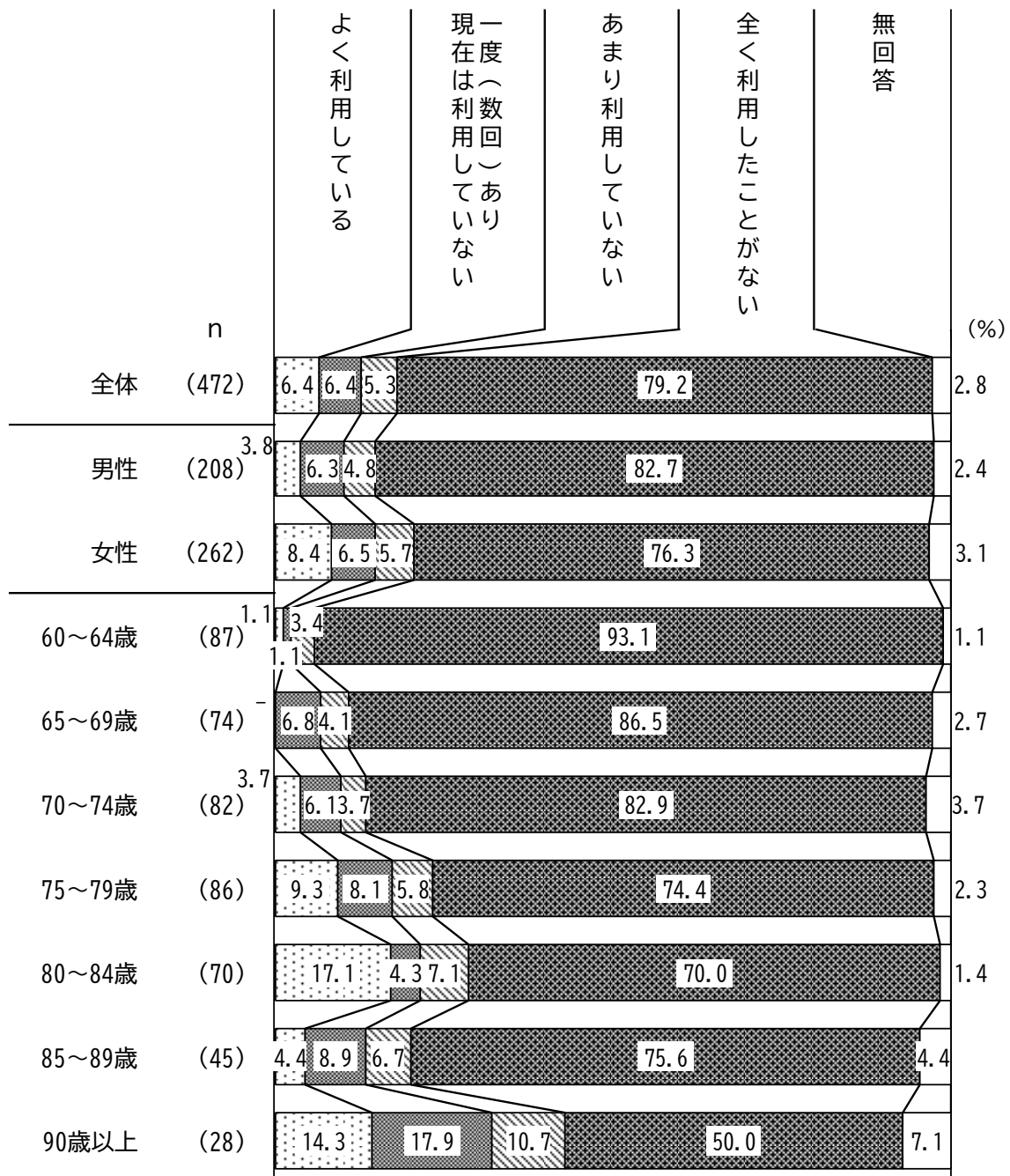
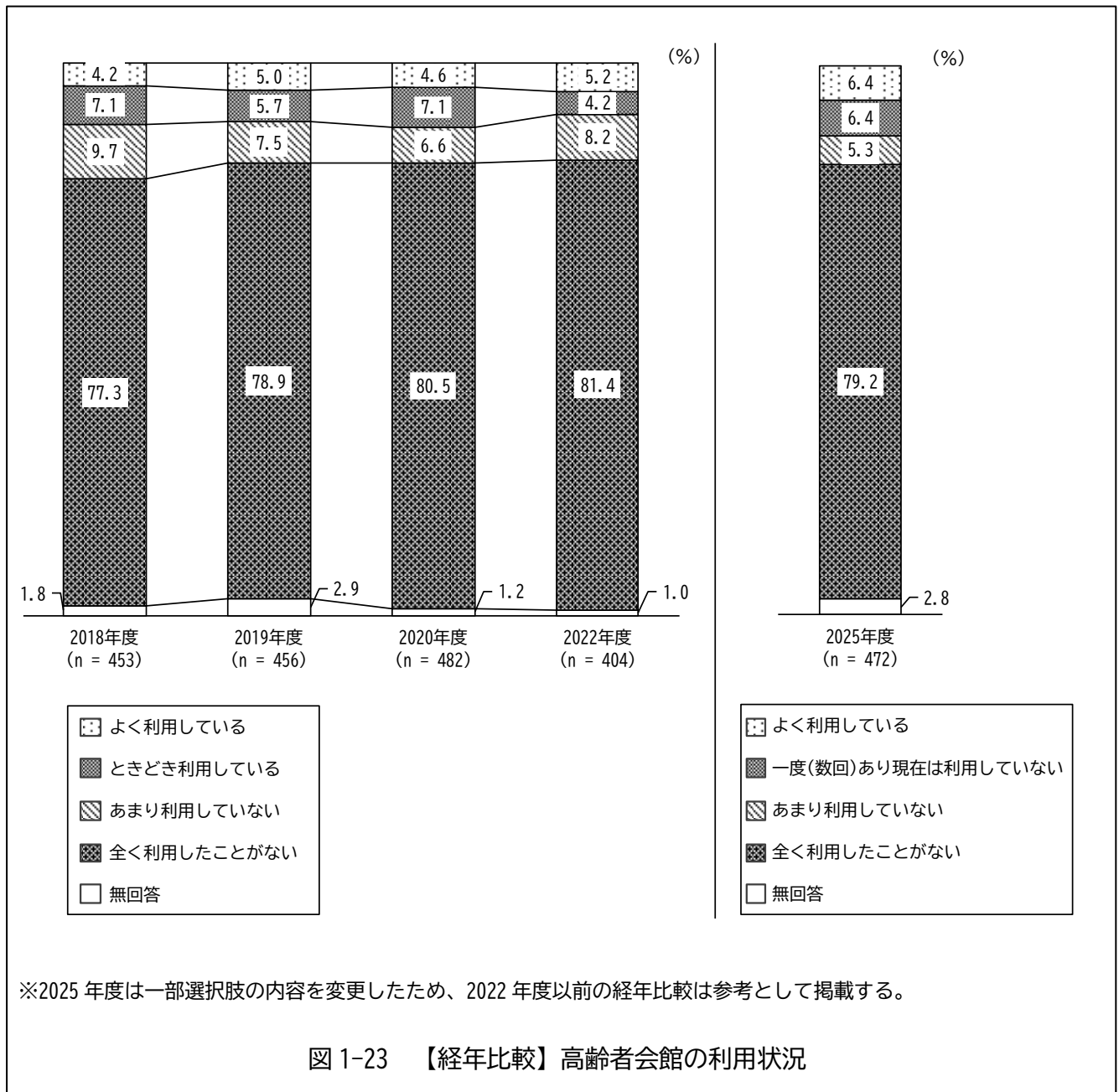


図 1-22 【性・年代別】高齢者会館の利用状況

60歳以上の方に高齢者会館の利用状況を聞いたところ、「全く利用したことがない」が79.2%と最も高くなっている。性別にみると、「よく利用している」は女性（8.4%）が男性（3.8%）を4.6ポイント上回っている。年代別にみると、80～84歳と90歳以上で「よく利用している」が1割台とやや高くなっている。



※高齢者会館は、令和8年4月より、名称を「健幸プラザ」に改正します。

1.13.1 高齢者会館を利用していない理由

◆高齢者会館を利用していない理由は「行く必要を感じないから」が5割台前半

(問13で「3.あまり利用していない」「4.全く利用したことがない」に○をつけた方に)
問13-1 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

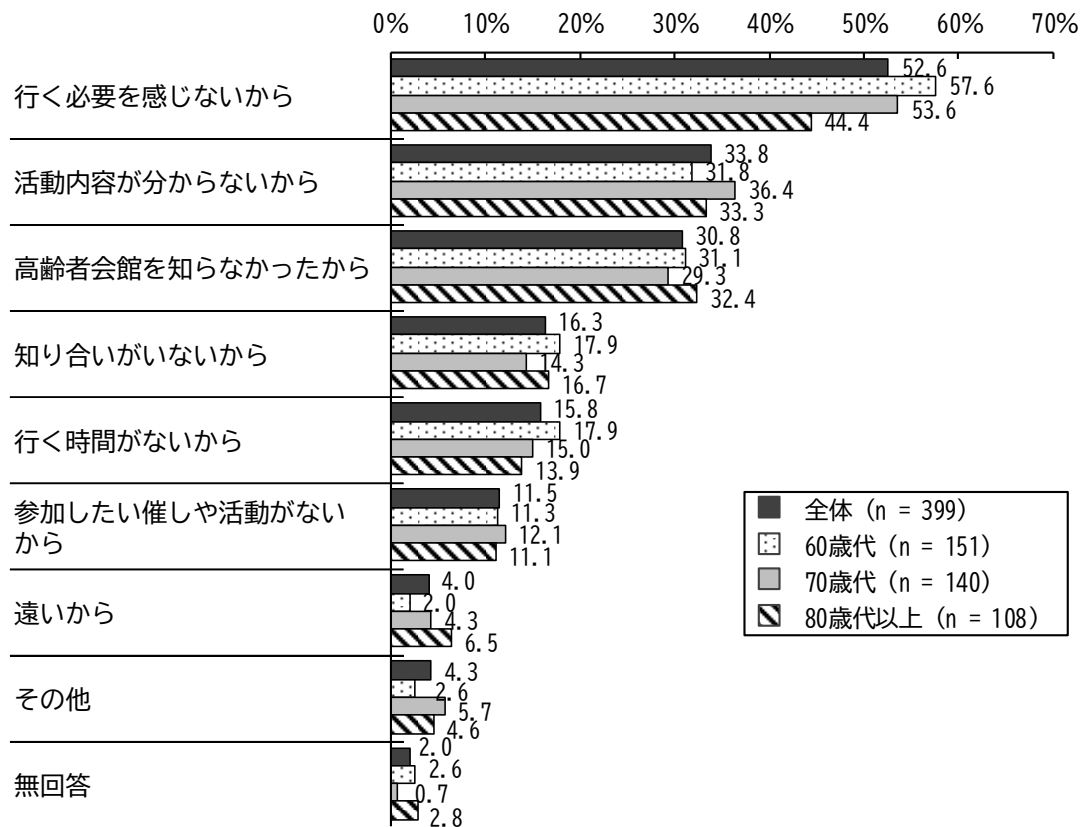
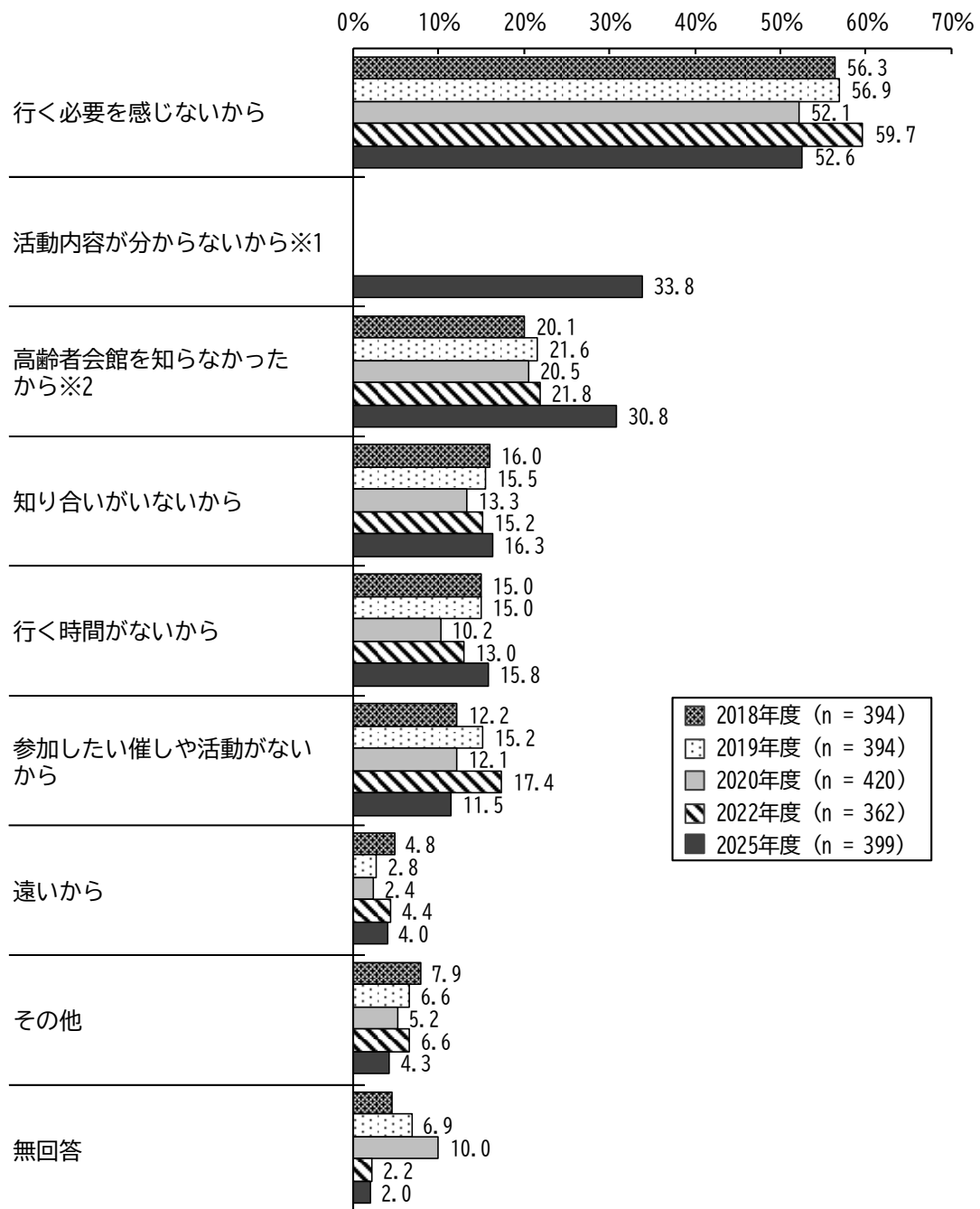


図1-24 【年代別】高齢者会館を利用していない理由

高齢者会館を利用していない方にその理由を聞いたところ、「行く必要を感じないから」が52.6%で最も高く、次いで「活動内容が分からないから」(33.8%)、「高齢者会館を知らなかったから」(30.8%)となっている。年代別にみると、いずれの年代でも「行く必要を感じないから」が最も高く、特に60歳代で5割台後半となっている。



※1：2022 年度以前は「活動内容がわからないから」の選択肢はなし

※2：2022 年度以前は「知らなかったから」

図 1-25 【経年比較】高齢者会館を利用していない理由

経年で比較すると、いずれの年度でも「行く必要を感じないから」が5割台で最も高くなっている。

2 医療・健康について

2.1 健康感

◆＜健康である＞と感じる人の割合は年代が上がるにつれ減少傾向

(全員の方に)

問 14 あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

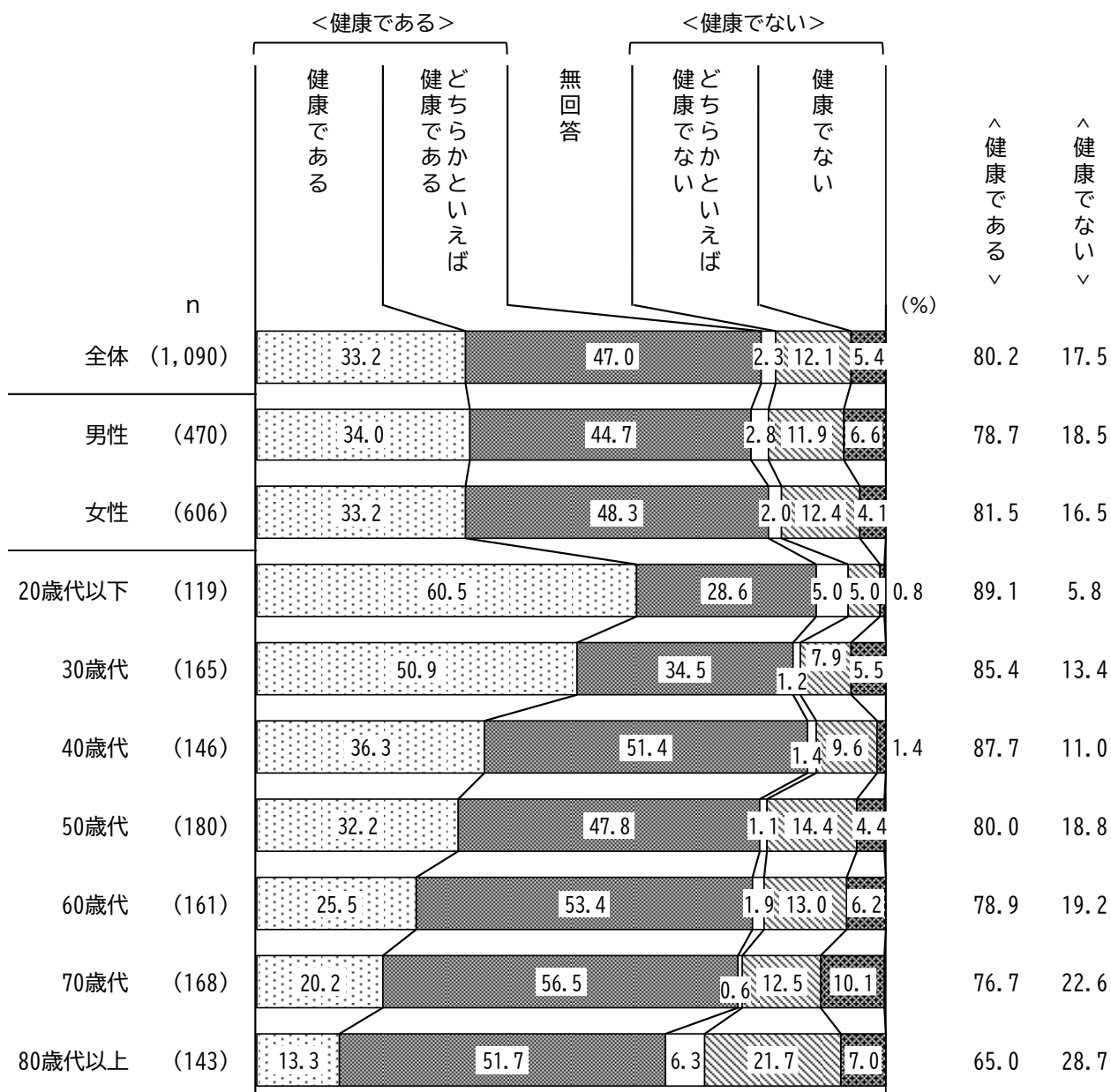


図 2-1 【性・年代別】健康感

現在の健康状態をどのように感じているかについては、「健康である」(33.2%)と「どちらかといえば健康である」(47.0%)を合わせた＜健康である＞で 80.2%となっている。年代別にみると、＜健康である＞は 40 歳代を除き、年代が上がるほど減少している。

■年代別 「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合

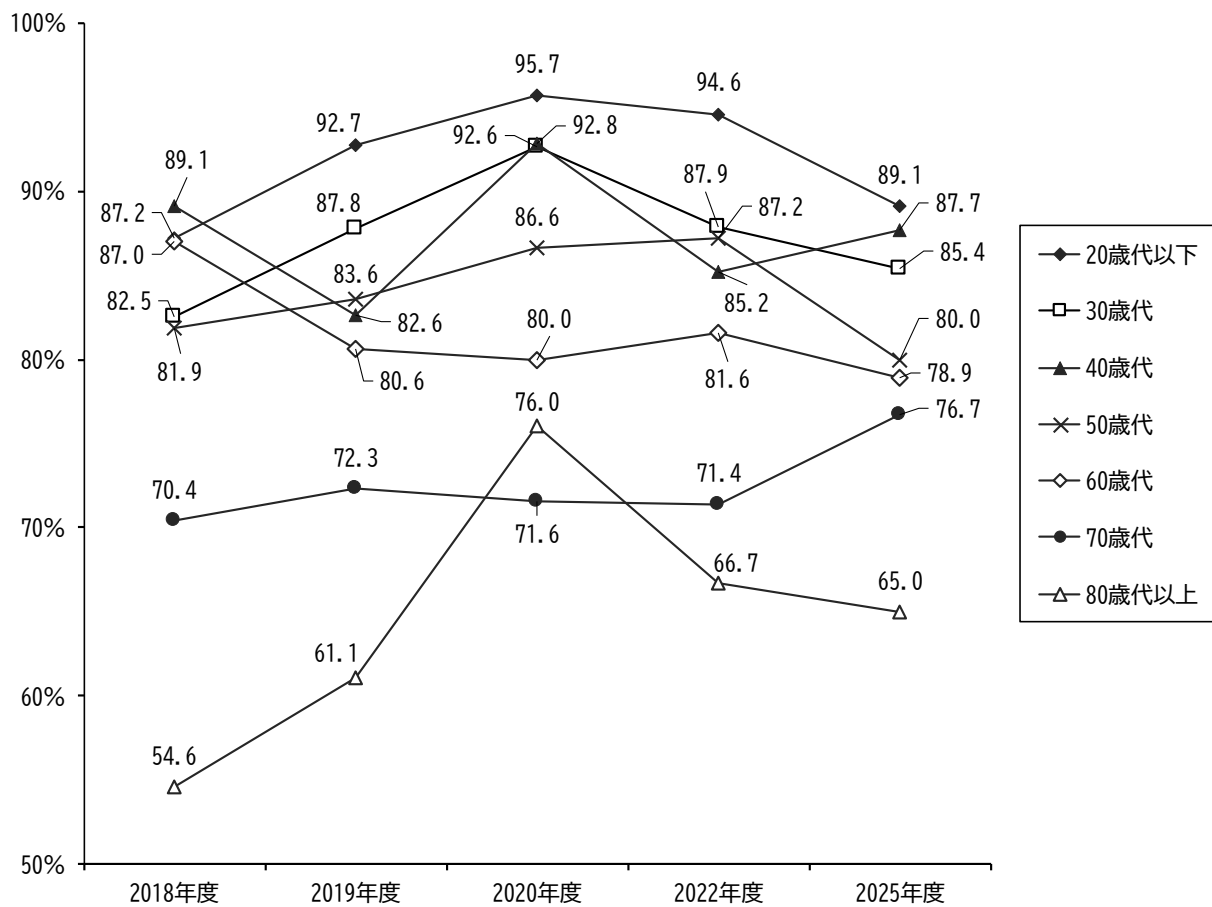


図 2-2 【経年比較】健康感

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度と比べ「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合が、40 歳代と 70 歳代を除く年代で減少しており、特に 50 歳代で大きく減少している。

2.2 運動・スポーツを続けている期間

◆運動・スポーツを1年以上継続している人が約4割

(全員の方に)

問15 あなたは、運動・スポーツを1年以上続けていますか。(○は1つ)

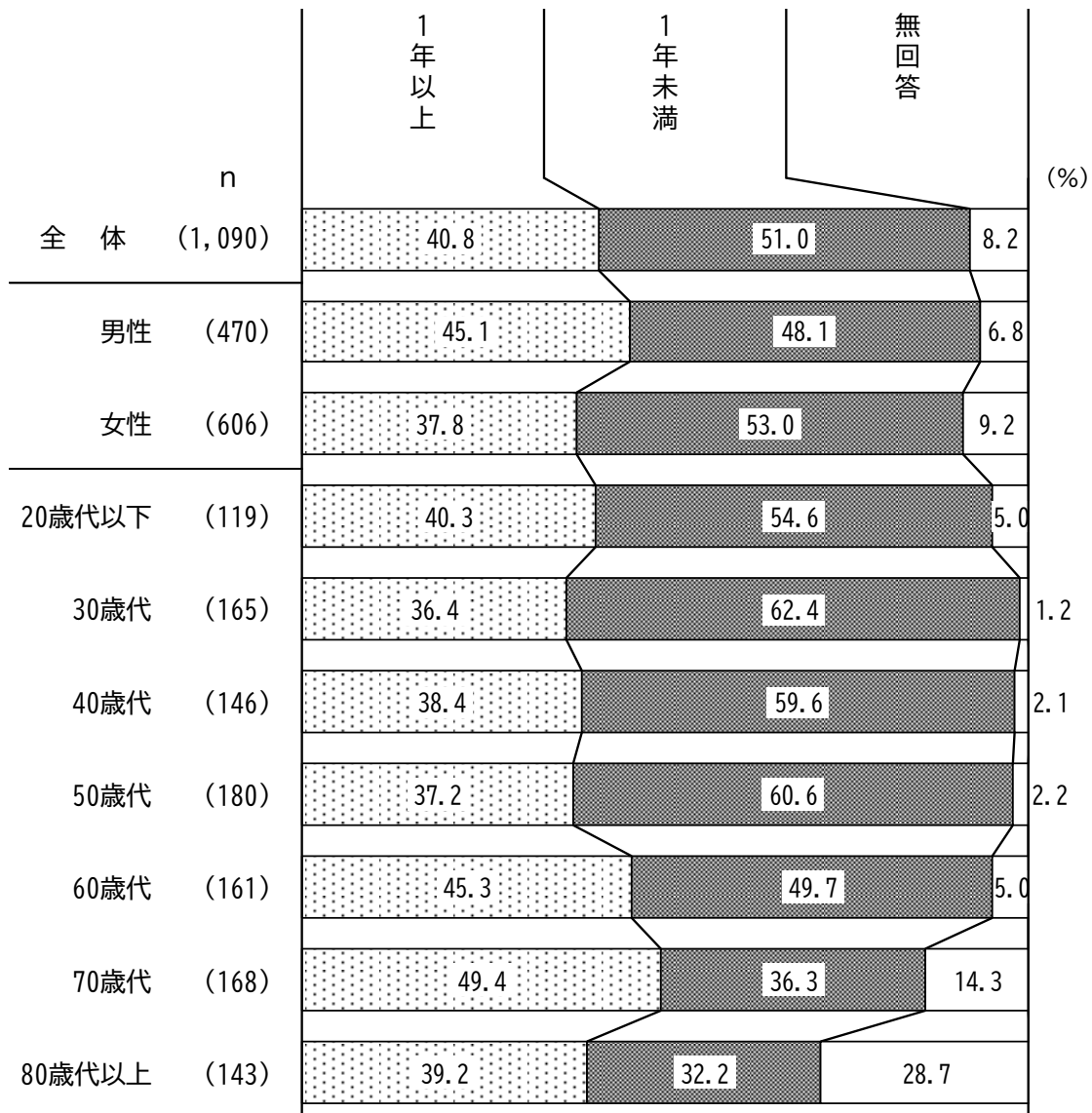
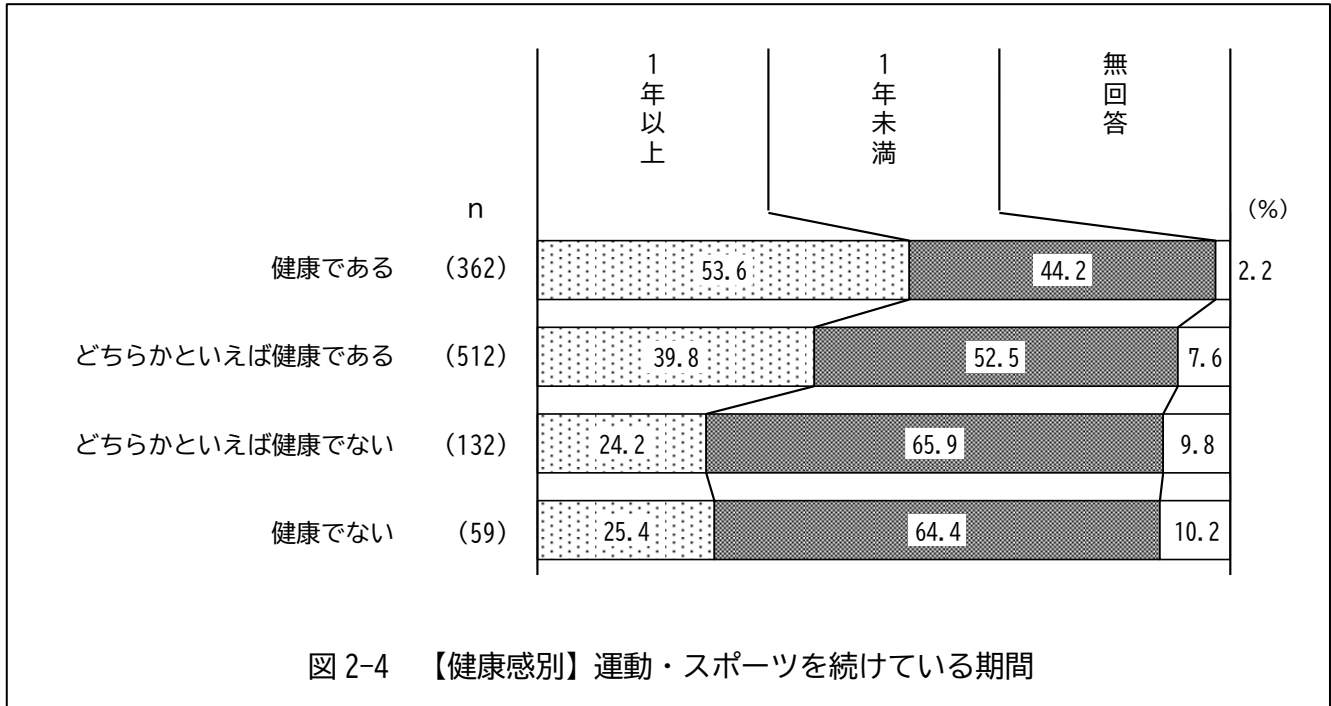


図2-3 【性・年代別】運動・スポーツを続けている期間

運動・スポーツを1年以上継続しているかについては、「1年以上」が40.8%、「1年未満」が51.0%となっている。性別にみると、「1年以上」は男性（45.1%）が女性（37.8%）を約7ポイント上回っている。年代別にみると、70歳代と80歳以上で「1年以上」の割合が「1年未満」を上回っている。



健康感別にみると、「健康である」の人の方が、「健康でない」人よりも1年以上運動・スポーツを続けている割合が高い。

2.3 運動・スポーツを行う場所

◆運動・スポーツを行う場所は「遊歩道」が最も高い

(全員の方に)

問 15-1 あなたは、運動・スポーツをどこに行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

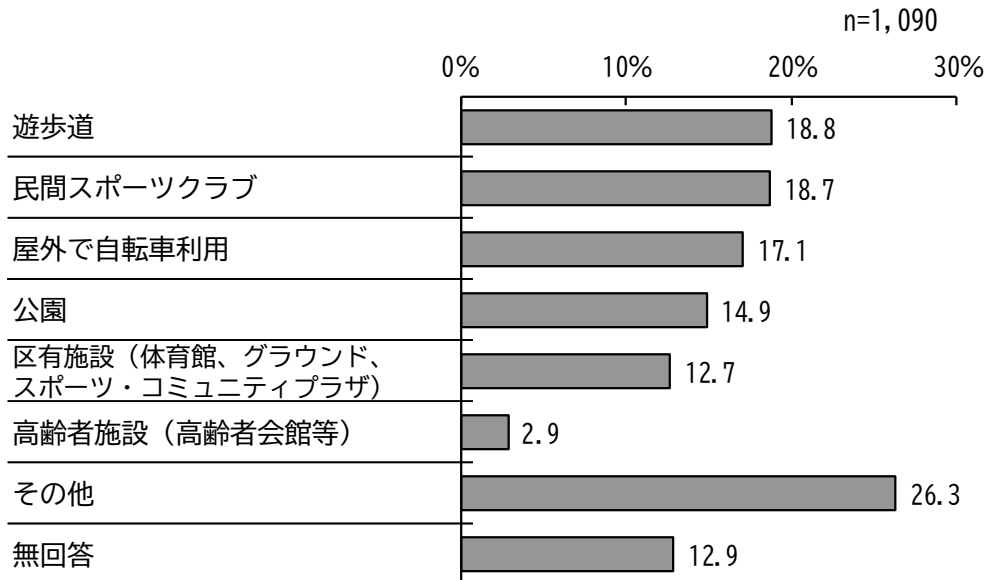


図 2-5 運動・スポーツを行う場所

運動・スポーツを行う場所としては、「遊歩道」が18.8%で最も高く、次いで「民間スポーツクラブ」(18.7%)、「屋外で自転車利用」(17.1%)となっている。

「その他」(26.3%)としては「自宅」、「職場・通勤」、「歩道・ウォーキング」、「ジム」などがあがっている。

表 2-1 【健康感別】運動・スポーツを行う場所

単位：%

区分	有効回答数 (件)	公園	遊歩道	区有施設 (体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ)	高齢者施設 (高齢者会館等)	民間スポーツクラブ	屋外で自転車利用	その他	無回答
全体	1,090	14.9	18.8	12.7	2.9	18.7	17.1	26.3	12.9
健康である	362	18.0	19.9	15.5	1.1	27.3	16.9	24.6	7.2
どちらかといえば健康である	512	14.3	18.0	13.3	4.1	18.0	18.2	25.8	12.3
どちらかといえば健康でない	132	13.6	22.7	7.6	4.5	5.3	13.6	34.1	17.4
健康でない	59	10.2	18.6	6.8	1.7	10.2	23.7	30.5	11.9

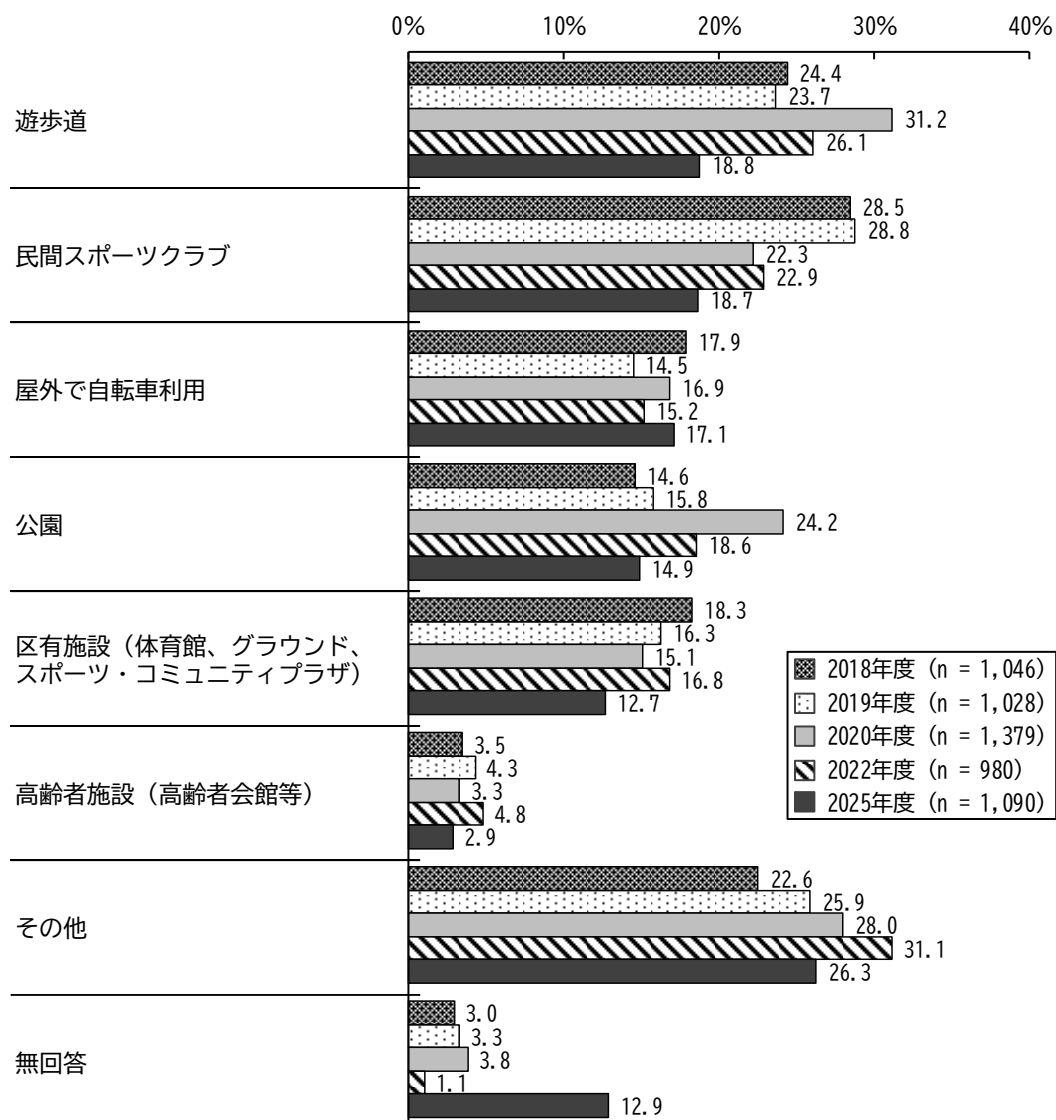
健康感別にみると、健康でないと感じている人よりも健康であると感じている人のほうが、「民間スポーツクラブ」や「区有施設 (体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ)」の割合が高くなっている。

表 2-2 【年代別】上位5項目 運動・スポーツを行う場所

単位：％

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代以下 n=119	遊歩道 26.9	公園 22.7	屋外で自転車利用 16.0	民間スポーツクラブ 15.1	区有施設（体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ） 14.3
30歳代 n=165	民間スポーツクラブ 26.1	公園／区有施設（体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ） 19.4	遊歩道／屋外で自転車利用 17.0		
40歳代 n=146	屋外で自転車利用 26.0	民間スポーツクラブ 22.6	遊歩道 19.9	公園 18.5	区有施設（体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ） 13.7
50歳代 n=180	遊歩道 21.7	民間スポーツクラブ／屋外で自転車利用 19.4	区有施設（体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ） 11.7	公園 10.0	
60歳代 n=161	民間スポーツクラブ 19.9	遊歩道 19.3	屋外で自転車利用 18.0	区有施設（体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ） 11.8	公園 9.9
70歳代 n=168	遊歩道／民間スポーツクラブ 16.7	屋外で自転車利用 14.9	公園 13.1	区有施設（体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ） 12.5	
80歳代以上 n=143	高齢者施設（高齢者会館等） 15.4	公園 13.3	遊歩道 11.2	民間スポーツクラブ 10.5	屋外で自転車利用 8.4

運動・スポーツを行う場所を年代別にみると、20歳代と50歳代では「遊歩道」、30歳代と60歳代では「民間スポーツクラブ」、40歳代では「屋外で自転車利用」、70歳代では「遊歩道／民間スポーツクラブ」、80歳以上では「高齢者施設（高齢者会館等）」が1位となっている。



※2022 年度以前は「1 回 30 分以上の運動を週 1 ～ 2 回以上『行っている』人」に限定して聞いており、質問の条件が異なるため、経年比較は参考として掲載とする。

図 2-6 【経年比較】運動・スポーツを行う場所

2.4 運動・スポーツを行わない理由

◆運動・スポーツを行わない理由は「時間がないから」が約2割

(全員の方に)

問 15-2 運動・スポーツを行っていない理由として最もあてはまるものをお選びください。
(○は1つ)

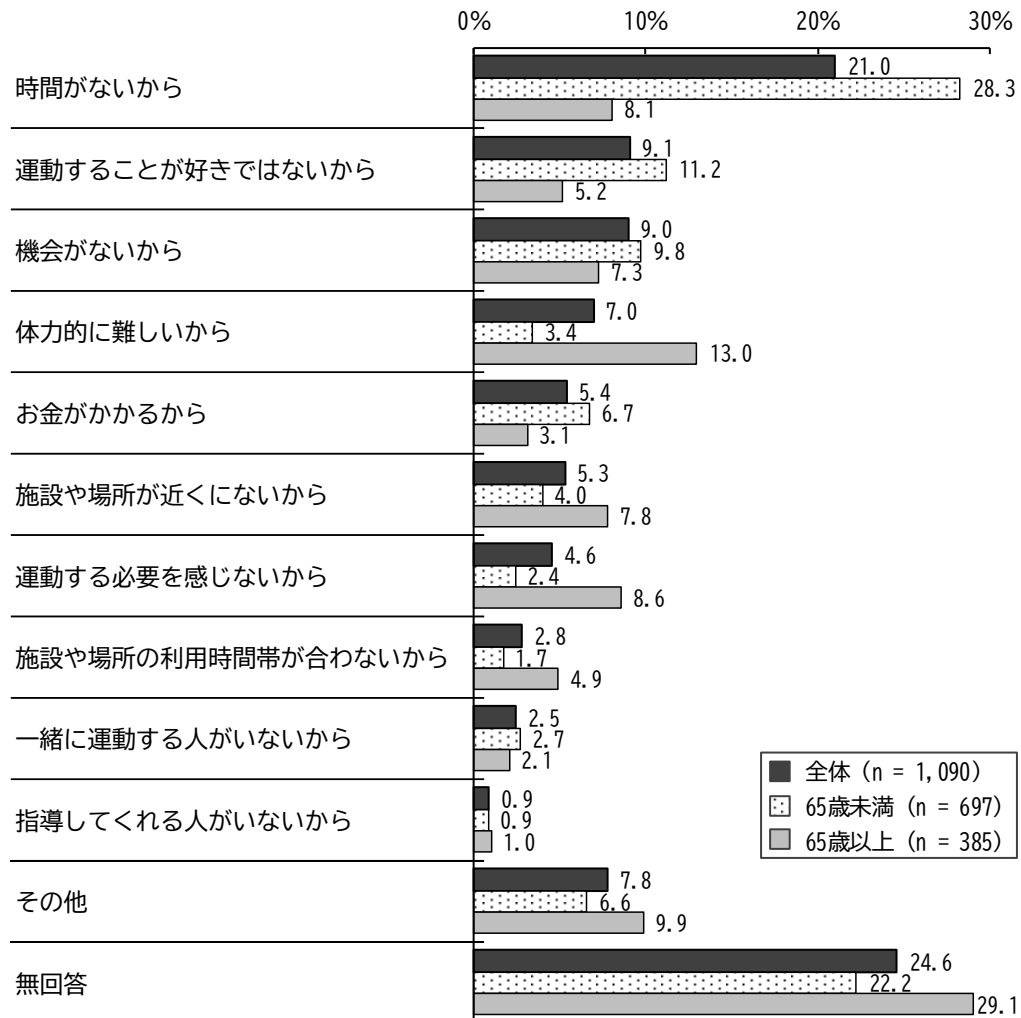


図 2-7 【年代別】運動・スポーツを行わない理由

運動・スポーツを行っていない方にその理由を聞いたところ、「時間がないから」が21.0%で最も高く、次いで「運動することが好きではないから」(9.1%)、「機会がないから」(9.0%)となっている。「その他」としては、「病気・ケガ・健康上の理由」「面倒だから」などがあげられている。

年代別にみると、65歳未満では「時間がないから」(28.3%)が最も高くなっているのに対し、65歳以上では「体力的に難しいから」(13.0%)が最も高くなっている。

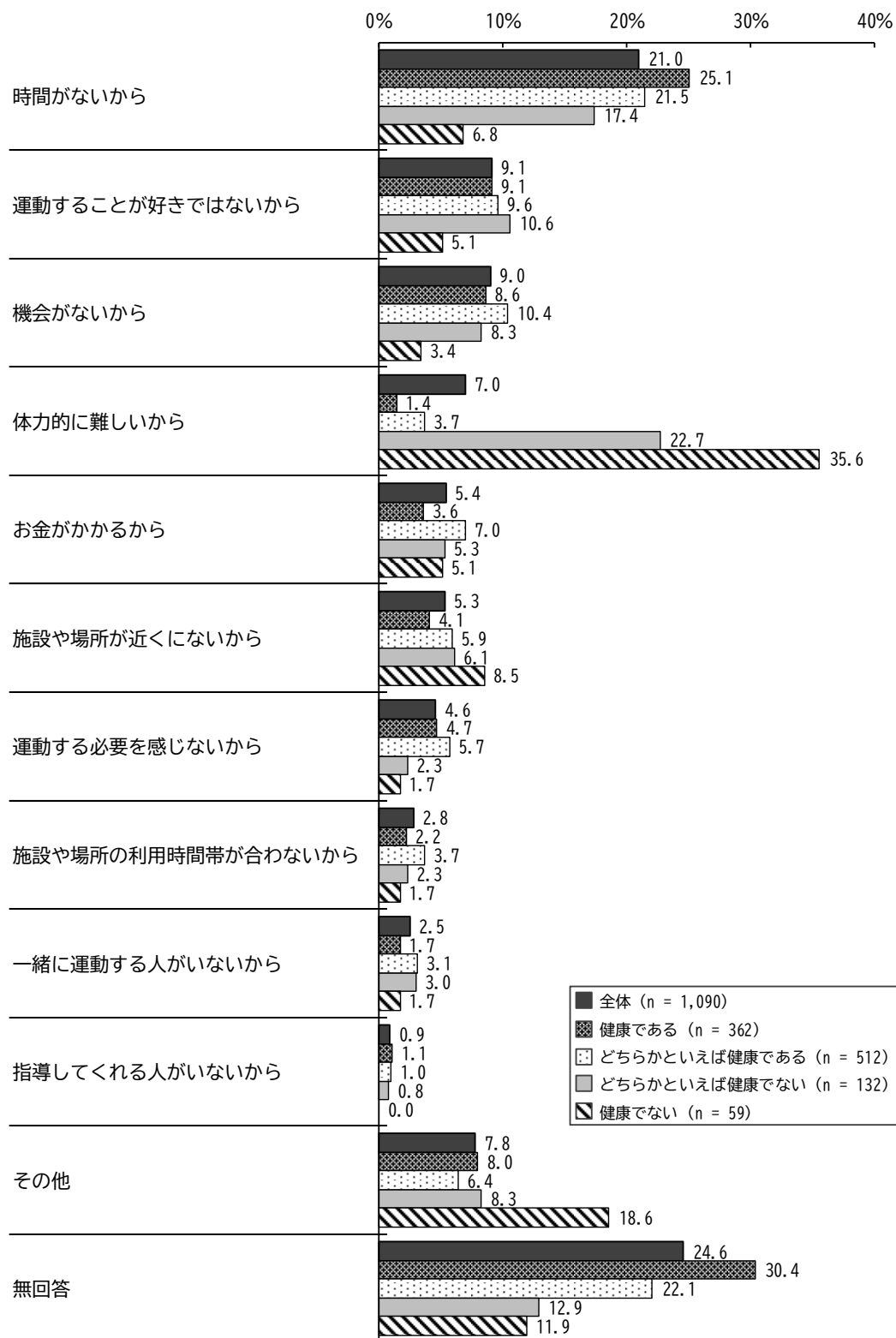
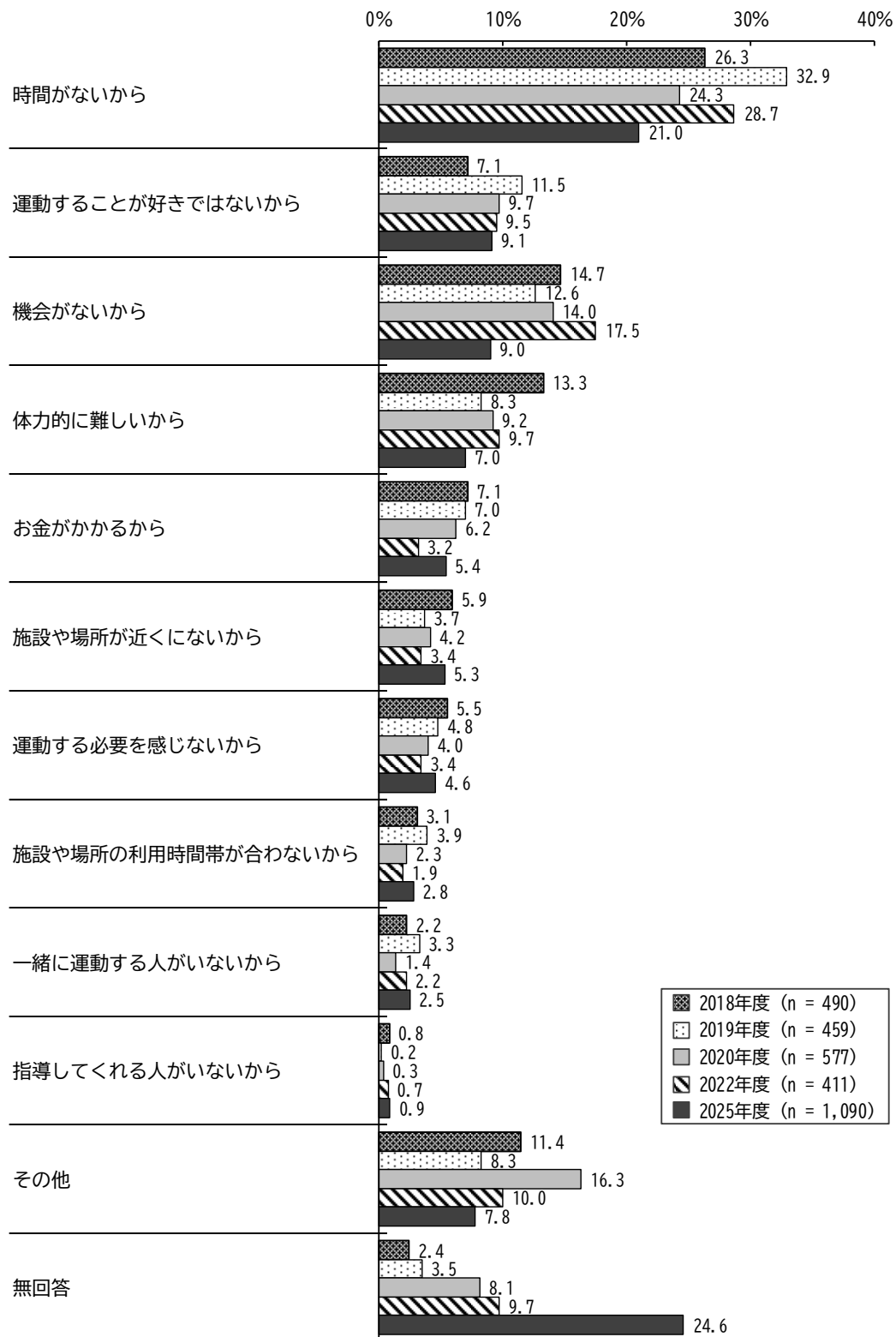


図 2-8 【健康感別】運動・スポーツを行わない理由

健康感別にみると、健康であると感じている人ほど「時間がないから」の割合が高くなっている一方、健康でないと感じている人ほど「体力的に難しいから」の割合が高くなっている。



※2022 年度以前は「1 回 30 分以上の運動を週 1 ～ 2 回以上『行っていない』人」に限定して聞いており、質問の条件が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

図 2-9 【経年比較】運動・スポーツを行わない理由

2.5 この１年間にスタジアム等で実際にスポーツを観戦したか

◆この１年間に観戦したスポーツは「野球」が１割台後半

(全員の方に)

問 16 この１年間に、プロ・アマチュアスポーツを問わず、スタジアム・体育館・沿道などで実際にスポーツを観戦したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

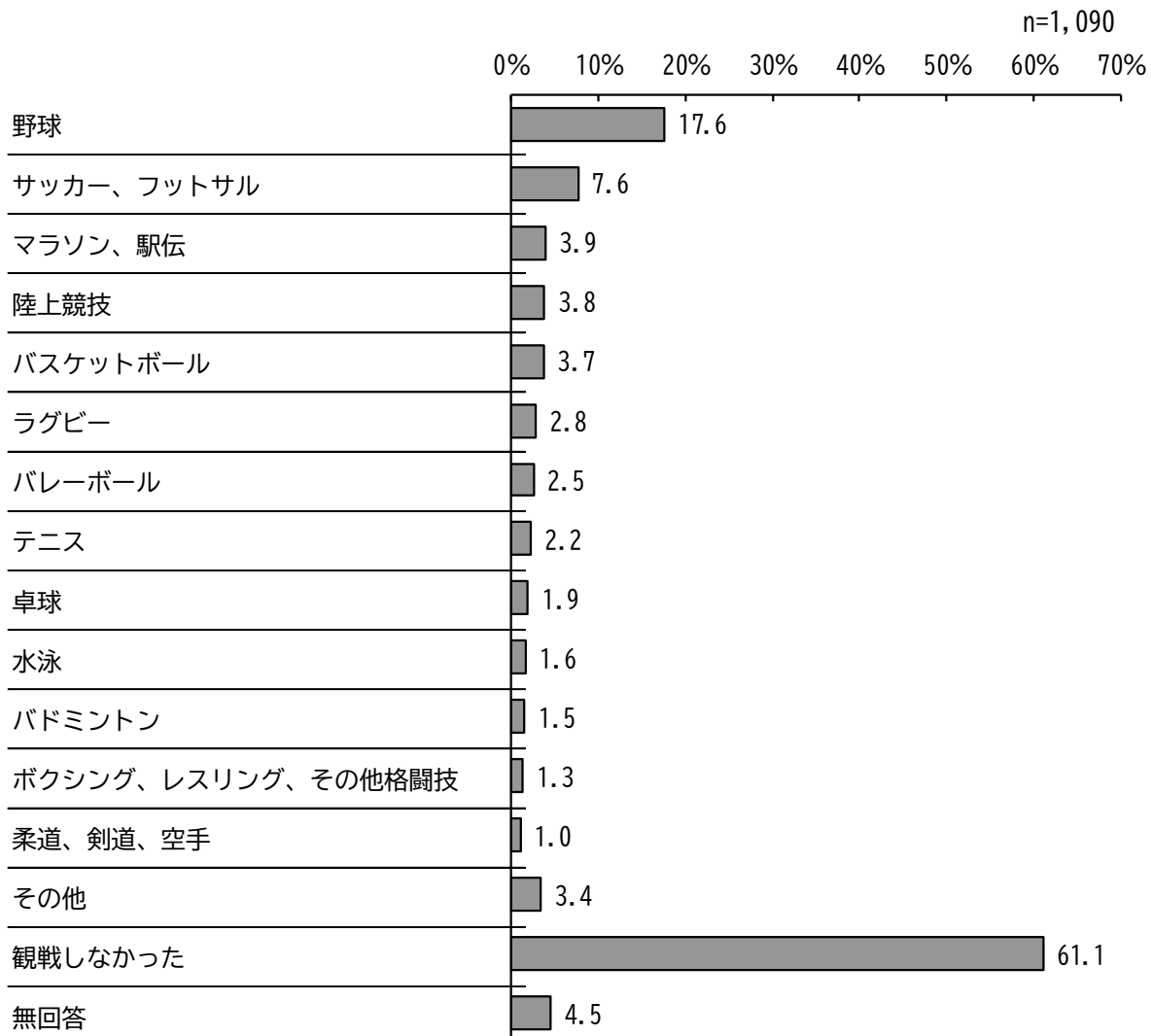


図 2-10 この１年間にスタジアム等で実際にスポーツを観戦したか

実際にスポーツを観戦したかについては、「観戦しなかった」が約６割となっている。観戦したスポーツでは、「野球」が17.6%と最も高くなっており、次いで「サッカー、フットサル」(7.6%)、「バスケットボール」(3.7%)となっている。

表 2-3 【年代別】上位5項目 この1年間にスタジアム等で実際にスポーツを観戦したか

単位：％

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代以下 n=119	野球 25.2	サッカー、フットサル 20.2	バスケットボール 5.9	バレーボール 4.2	テニス／マラソン、駅伝 3.4
30歳代 n=165	野球 15.8	サッカー、フットサル 9.1	バスケットボール 6.7	陸上競技 5.5	バレーボール／マラソン、駅伝 3.0
40歳代 n=146	野球 18.5	サッカー、フットサル 8.2	バスケットボール 5.5	マラソン、駅伝 4.8	テニス 4.1
50歳代 n=180	野球 23.3	サッカー、フットサル 7.2	陸上競技 6.7	バスケットボール／マラソン、駅伝 5.0	
60歳代 n=161	野球 19.3	サッカー、フットサル 6.8	マラソン、駅伝 5.0	ラグビー／陸上競技 4.3	
70歳代 n=168	野球 12.5	サッカー、フットサル 3.6	卓球／ラグビー／マラソン、駅伝 3.0		
80歳代以上 n=143	野球 9.8	卓球 5.6	マラソン、駅伝 3.5	テニス 2.8	バレーボール／水泳 2.1

実際に観戦したスポーツを年代別にみると、全ての年代で「野球」が1位にあげられている。

2.6 区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこと

◆区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むことは、「利用手続きの簡素化や利用時間の拡大（早朝、夜間等）などスポーツ施設の利便性の向上」が最も高い

（全員の方に）

問 17 あなたは、区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設について、何か望むことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

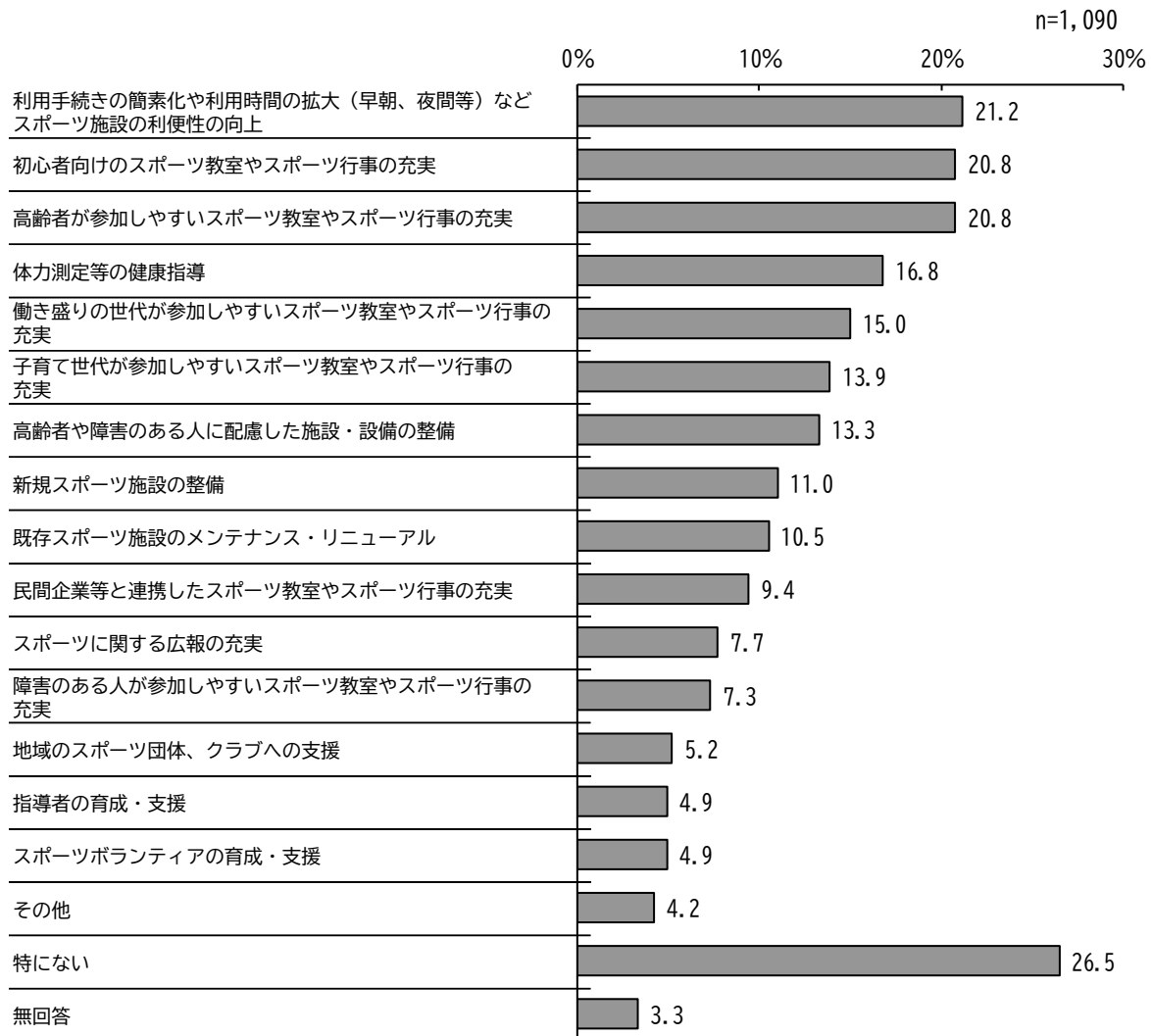


図 2-11 区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこと

区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこととしては、「利用手続きの簡素化や利用時間の拡大（早朝、夜間等）などスポーツ施設の利便性の向上」が21.2%で最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」と「高齢者が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」（ともに20.8%）、「体力測定等の健康指導」（16.8%）となっている。

表 2-4 【年代別】上位 5 項目 区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこと

単位：％

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代以下 n=119	利用手続きの簡素化 や利用時間の拡大 （早朝、夜間等）な どスポーツ施設の利 便性の向上 20.2	新規スポーツ施設の 整備 18.5	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事 の充実／働き盛りの世代が参加しやすいス ポーツ教室やスポーツ行事の充実 15.1	子育て世代が参加し やすいスポーツ教室 やスポーツ行事の充 実 14.3	
30歳代 n=165	働き盛りの世代が参 加しやすいスポーツ 教室やスポーツ行事 の充実 27.9	子育て世代が参加し やすいスポーツ教室 やスポーツ行事の充 実 27.3	初心者向けのスポー ツ教室やスポーツ行 事の充実 24.8	利用手続きの簡素化 や利用時間の拡大 （早朝、夜間等）な どスポーツ施設の利 便性の向上 22.4	新規スポーツ施設の 整備 16.4
40歳代 n=146	子育て世代が参加し やすいスポーツ教室 やスポーツ行事の充 実 31.5	働き盛りの世代が参 加しやすいスポーツ 教室やスポーツ行事 の充実 27.4	利用手続きの簡素化 や利用時間の拡大 （早朝、夜間等）な どスポーツ施設の利 便性の向上 23.3	初心者向けのスポー ツ教室やスポーツ行 事の充実 21.2	体力測定等の健康指 導／新規スポーツ施 設の整備 13.0
50歳代 n=180	利用手続きの簡素化 や利用時間の拡大 （早朝、夜間等）な どスポーツ施設の利 便性の向上 23.9	働き盛りの世代が参 加しやすいスポーツ 教室やスポーツ行事 の充実 21.1	初心者向けのスポー ツ教室やスポーツ行 事の充実 20.6	体力測定等の健康指 導 16.7	高齢者が参加しやす いスポーツ教室やス ポーツ行事の充実 15.6
60歳代 n=161	高齢者が参加しやす いスポーツ教室やス ポーツ行事の充実 33.5	利用手続きの簡素化 や利用時間の拡大 （早朝、夜間等）な どスポーツ施設の利 便性の向上 31.1	初心者向けのスポー ツ教室やスポーツ行 事の充実 26.1	体力測定等の健康指 導 23.6	高齢者や障害のある 人に配慮した施設・ 設備の整備 17.4
70歳代 n=168	高齢者が参加しやす いスポーツ教室やス ポーツ行事の充実 39.9	初心者向けのスポー ツ教室やスポーツ行 事の充実 25.6	高齢者や障害のある 人に配慮した施設・ 設備の整備 22.6	体力測定等の健康指 導 20.2	利用手続きの簡素化 や利用時間の拡大 （早朝、夜間等）な どスポーツ施設の利 便性の向上 16.7
80歳代以上 n=143	高齢者が参加しやす いスポーツ教室やス ポーツ行事の充実 31.5	高齢者や障害のある 人に配慮した施設・ 設備の整備 27.3	体力測定等の健康指 導 19.6	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事 の充実／利用手続きの簡素化や利用時間の 拡大（早朝、夜間等）などスポーツ施設の 利便性の向上	9.8

年代別にみると、20 歳代以下と 50 歳代では「利用手続きの簡素化や利用時間の拡大（早朝、夜間等）などスポーツ施設の利便性の向上」、30 歳代では「働き盛りの世代が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」、40 歳代では「子育て世代が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」、60 歳代以上では「高齢者が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が 1 位となっている。

表 2-5 【健康感別】区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこと

単位：％

区分	有効回答数（件）	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実	障害のある人が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実	高齢者が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実	子育て世代が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実	働き盛りの世代が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実	民間企業等と連携したスポーツ教室やスポーツ行事の充実	体力測定等の健康指導	地域のスポーツ団体、クラブへの支援	指導者の育成・支援
全体	1,090	20.8	7.3	20.8	13.9	15.0	9.4	16.8	5.2	4.9
健康である	362	17.1	5.0	14.1	19.1	20.7	8.8	13.5	7.7	5.8
どちらかといえば健康である	512	25.6	8.4	25.0	15.0	14.6	12.5	19.9	4.7	4.5
どちらかといえば健康でない	132	17.4	8.3	28.0	3.8	9.1	3.0	21.2	2.3	4.5
健康でない	59	16.9	13.6	18.6	1.7	3.4	3.4	6.8	3.4	5.1

区分	有効回答数（件）	スポーツボランティアの育成・支援	利用手続きの簡素化や利用時間の拡大（早朝、夜間等）などのスポーツ施設の利便性の向上	スポーツに関する広報の充実	新規スポーツ施設の整備	既存スポーツ施設のリニューアル	高齢者や障害のある人に配慮した施設・設備の整備	その他	特にない	無回答
全体	1,090	4.9	21.2	7.7	11.0	10.5	13.3	4.2	26.5	3.3
健康である	362	5.0	22.1	8.8	13.8	12.7	5.2	3.3	27.6	0.3
どちらかといえば健康である	512	5.3	23.0	7.2	11.3	10.2	15.4	4.9	24.6	1.0
どちらかといえば健康でない	132	3.8	15.9	7.6	4.5	6.8	25.0	3.8	31.8	4.5
健康でない	59	5.1	20.3	8.5	10.2	11.9	23.7	5.1	32.2	5.1

健康感別にみると、健康である、どちらかといえば健康であると感じている人は、「働き盛りの世代が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」「利用手続きの簡素化や利用時間の拡大（早朝、夜間等）などスポーツ施設の利便性の向上」の割合が高くなっており、どちらかといえば健康でない、健康でないと感じている人は「高齢者が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」「高齢者や障害のある人に配慮した施設・設備の整備」の割合が高くなっている。

表 2-6 【居住地域別】区のスポーツ施策や区立のスポーツ施設に望むこと

単位：％

区分	有効回答数（件）	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実	障害のある人が参加しやすいの充実	高齢者が参加しやすいスポーツ行事の充実	子育て世代が参加しやすいスポーツ行事の充実	働き盛りの世代が参加しやすいスポーツ行事の充実	民間企業等と連携したスポーツ教室やスポーツ行事の充実	体力測定等の健康指導	地域のスポーツ団体、クラブへの支援	指導者の育成・支援
全体	1,090	20.8	7.3	20.8	13.9	15.0	9.4	16.8	5.2	4.9
南台	81	23.5	6.2	21.0	12.3	12.3	8.6	17.3	2.5	6.2
弥生町	66	24.2	7.6	19.7	9.1	21.2	10.6	21.2	6.1	6.1
本町	88	9.1	5.7	14.8	11.4	15.9	6.8	5.7	8.0	3.4
中央	91	20.9	6.6	16.5	17.6	19.8	4.4	11.0	7.7	6.6
東中野	78	29.5	5.1	21.8	17.9	19.2	20.5	24.4	1.3	3.8
中野	114	21.9	8.8	21.9	15.8	14.9	12.3	18.4	10.5	7.0
上高田	69	17.4	11.6	26.1	15.9	13.0	8.7	7.2	2.9	4.3
新井	60	18.3	5.0	20.0	13.3	16.7	11.7	20.0	3.3	5.0
沼袋	39	17.9	2.6	17.9	12.8	15.4	10.3	20.5	2.6	-
松が丘	16	25.0	-	31.3	-	12.5	6.3	12.5	6.3	-
江原町	26	26.9	15.4	11.5	19.2	3.8	3.8	19.2	7.7	15.4
江古田	41	17.1	2.4	22.0	9.8	2.4	-	14.6	2.4	2.4
丸山	17	11.8	5.9	11.8	23.5	11.8	17.6	11.8	-	-
野方	72	20.8	9.7	18.1	8.3	11.1	6.9	23.6	4.2	2.8
大和町	50	24.0	2.0	20.0	8.0	8.0	8.0	20.0	10.0	6.0
若宮	34	26.5	14.7	26.5	23.5	26.5	8.8	23.5	5.9	11.8
白鷺	29	17.2	13.8	31.0	31.0	24.1	3.4	27.6	3.4	-
鷺宮	60	30.0	6.7	25.0	13.3	11.7	8.3	20.0	3.3	6.7
上鷺宮	44	15.9	9.1	25.0	11.4	15.9	15.9	9.1	2.3	-

居住地域別にみると、全体で上位にあげられたもの以外では、白鷺で「子育て世代が参加しやすいスポーツ教室やスポーツ行事の充実」の割合が高くなっている。

表 2-6 【居住地域別】区のスーポーツ施策や区立のスーポーツ施設に望むこと（続き）

単位：％

区分	有効回答数（件）	スポーツボランティアの育成・支援	利用手続きの簡素化や利用時間の拡大（早朝、夜間等）などスポーツ施設の利便性の向上	スポーツに関する広報の充実	新規スポーツ施設の整備	既存スポーツ施設のメンテナンス・リニューアル	高齢者や障害のある人に配慮した施設・設備の整備	その他	特にない	無回答
全体	1,090	4.9	21.2	7.7	11.0	10.5	13.3	4.2	26.5	3.3
南台	81	3.7	23.5	13.6	9.9	14.8	16.0	4.9	25.9	－
弥生町	66	4.5	25.8	7.6	10.6	15.2	19.7	6.1	28.8	3.0
本町	88	4.5	15.9	1.1	13.6	9.1	9.1	6.8	40.9	2.3
中央	91	6.6	20.9	8.8	16.5	12.1	9.9	5.5	22.0	3.3
東中野	78	5.1	28.2	11.5	14.1	16.7	7.7	1.3	21.8	5.1
中野	114	7.0	15.8	7.0	11.4	12.3	13.2	3.5	23.7	3.5
上高田	69	4.3	18.8	7.2	10.1	10.1	14.5	1.4	27.5	4.3
新井	60	6.7	25.0	15.0	20.0	11.7	16.7	5.0	20.0	－
沼袋	39	5.1	17.9	2.6	5.1	5.1	17.9	5.1	25.6	2.6
松が丘	16	－	12.5	12.5	6.3	－	12.5	12.5	31.3	6.3
江原町	26	3.8	19.2	15.4	11.5	3.8	－	3.8	34.6	7.7
江古田	41	2.4	17.1	7.3	7.3	7.3	7.3	2.4	29.3	4.9
丸山	17	－	11.8	5.9	11.8	5.9	－	－	41.2	5.9
野方	72	1.4	22.2	5.6	6.9	4.2	15.3	5.6	23.6	2.8
大和町	50	6.0	22.0	6.0	6.0	8.0	10.0	2.0	28.0	4.0
若宮	34	11.8	32.4	8.8	11.8	5.9	11.8	2.9	29.4	－
白鷺	29	6.9	27.6	6.9	13.8	17.2	27.6	10.3	20.7	3.4
鷺宮	60	1.7	21.7	5.0	5.0	8.3	18.3	1.7	21.7	5.0
上鷺宮	44	2.3	25.0	4.5	6.8	11.4	18.2	2.3	29.5	2.3

2.7 パラリンピックや障害者スポーツを理解し広めるために区が重点的に行うべきこと

◆「区報やホームページ等に障害者スポーツを紹介するなどの普及・宣伝活動」が約5割

(全員の方に)

問 18 パラリンピックや障害者スポーツ（ユニバーサルスポーツ）を理解し広めるために、区はどのようなことを重点的に行えば良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

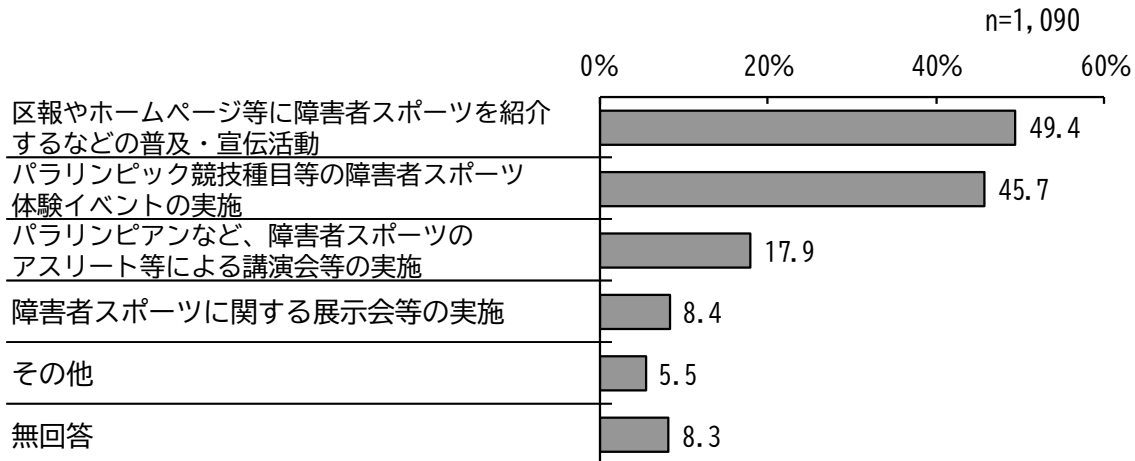


図 2-12 パラリンピックや障害者スポーツを理解し広めるために区が重点的に行うべきこと

パラリンピックや障害者スポーツを理解し広めるために区が重点的に行うべきことは、「区報やホームページ等に障害者スポーツを紹介するなどの普及・宣伝活動」が49.4%で最も高く、次いで「パラリンピック競技種目等の障害者スポーツ体験イベントの実施」(45.7%)、「パラリンピアンなど、障害者スポーツのアスリート等による講演会等の実施」(17.9%)となっている。

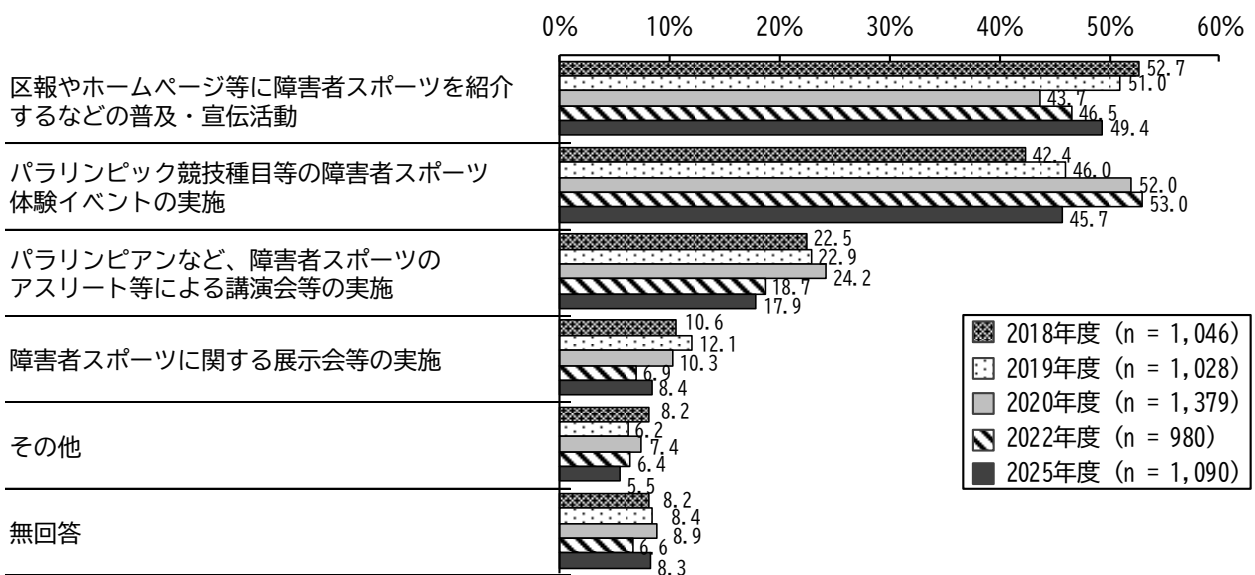


図 2-13 【経年比較】パラリンピックや障害者スポーツを理解し広めるために区が重点的に行うべきこと

経年で比較すると、「区報やホームページ等に障害者スポーツを紹介するなどの普及・宣伝活動」が2020年度から増加傾向にある。

2.8 スポーツ・ボランティア活動として関心のある内容

◆「区内スポーツイベント等の一般ボランティア（案内、受付、運搬など）」が1割台後半

（全員の方に）

問19 スポーツ・ボランティア活動として関心のある内容がありますか。

（あてはまるものすべてに○）

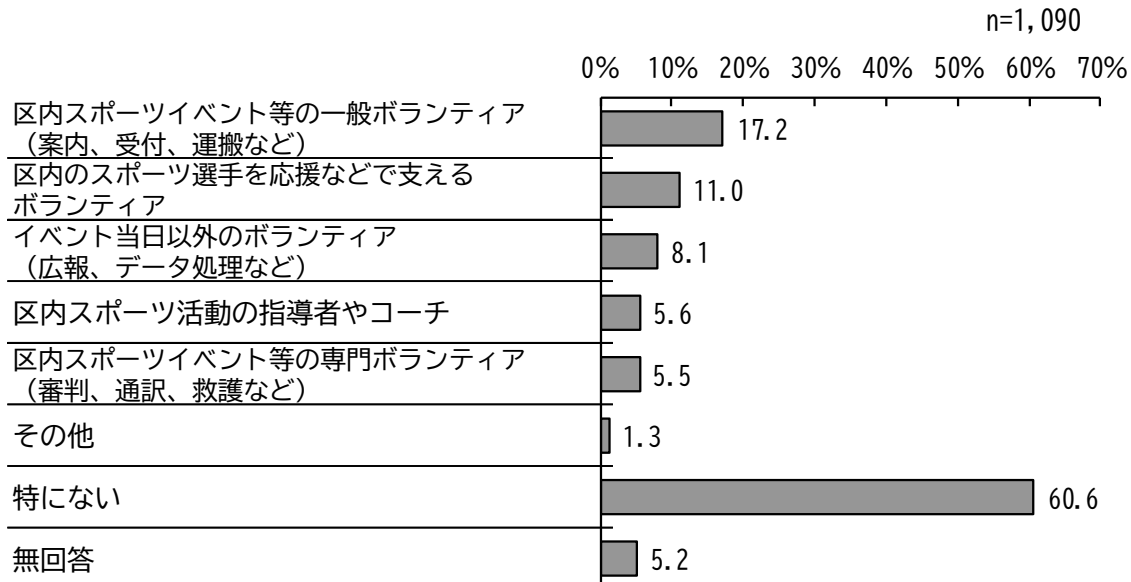
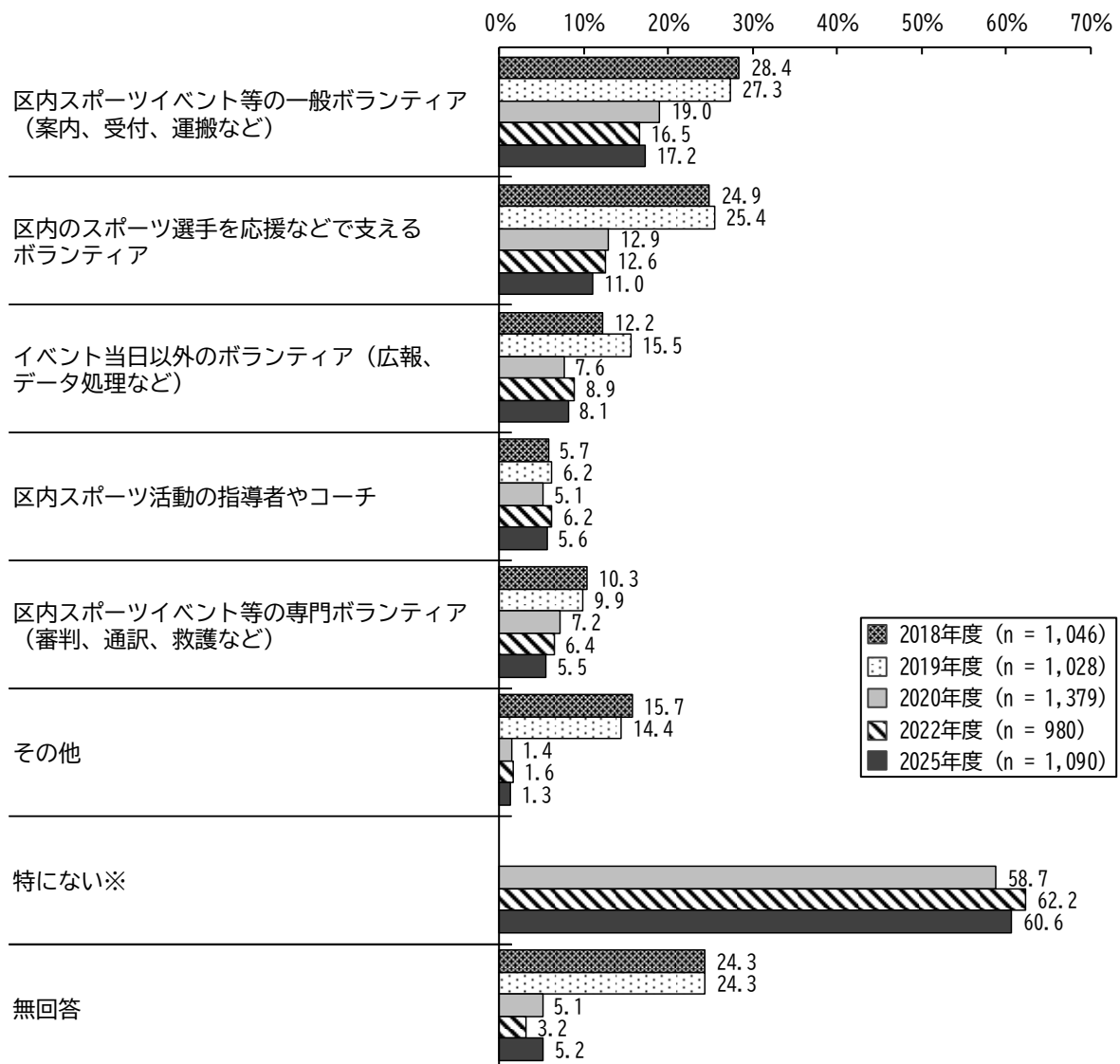


図2-14 スポーツ・ボランティア活動として関心のある内容

スポーツ・ボランティア活動として関心のある内容は、「特になし」（60.6％）を除き、「区内スポーツイベント等の一般ボランティア（案内、受付、運搬など）」が17.2％で最も高く、次いで「区内のスポーツ選手を応援などで支えるボランティア」（11.0％）、「イベント当日以外のボランティア（広報、データ処理など）」（8.1％）となっている。



※2019 年度以前は「特にない」の選択肢はなし

図 2-15 【経年比較】スポーツ・ボランティア活動として関心のある内容

経年で比較すると、2020 年度から大きな差異はみられない。

2.9 1日の座位（座っている姿勢）時間

◆ 1日の座位時間は＜3時間以上7時間未満＞が4割半ば

（全員の方に）

問 20 あなたは、1日にどのくらいの時間を座位姿勢で過ごしていますか。（○は1つ）

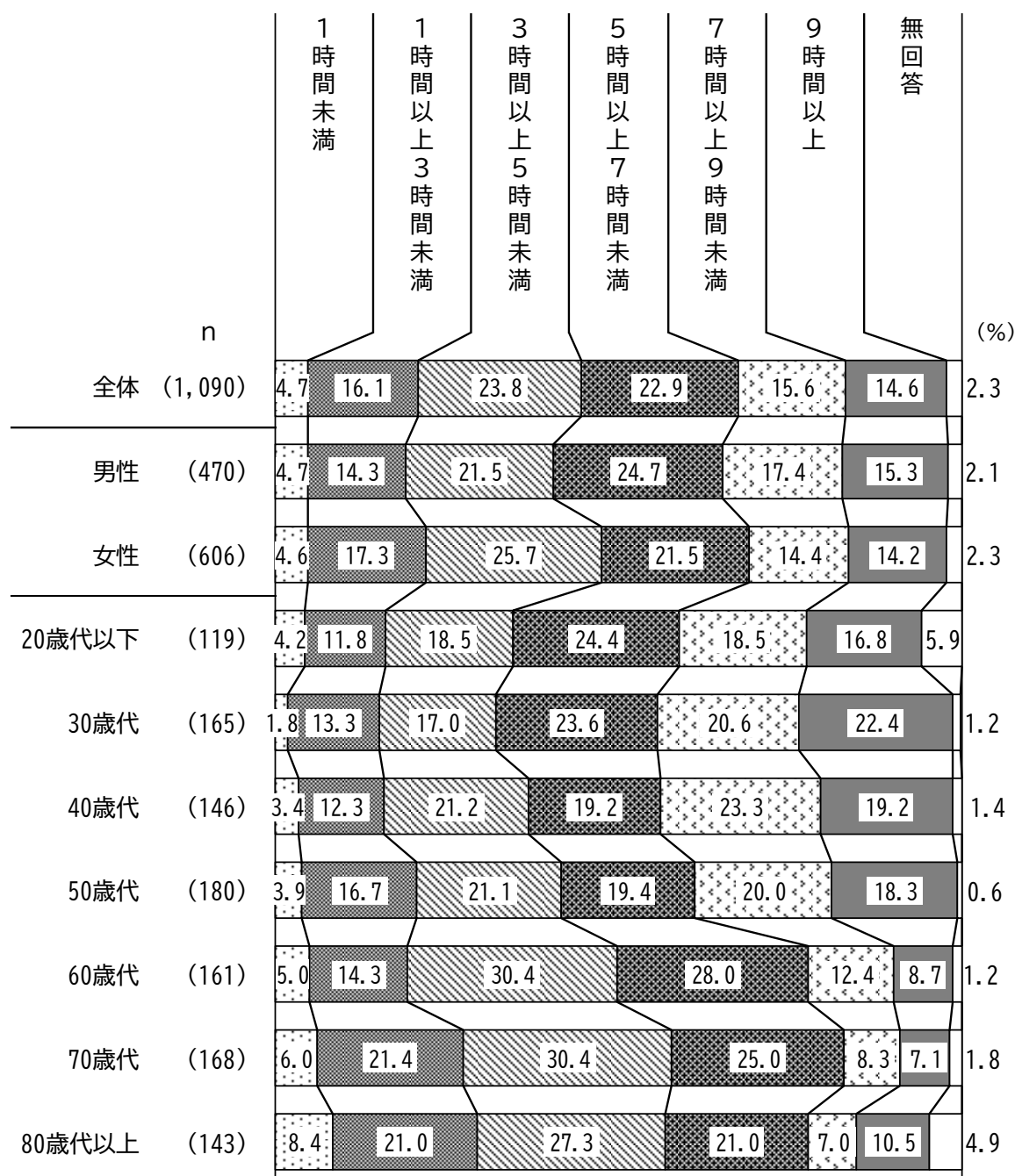


図 2-16 【性・年代別】1日の座位時間

1日にどのくらいの時間を座位姿勢で過ごしているかについては、「3時間以上5時間未満」(23.8%)と「5時間以上7時間未満」(22.9%)が2割台前半で、二つを合わせた＜3時間以上7時間未満＞が4割半ばとなっている。性別にみると、男性は「5時間以上7時間未満」(24.7%)、女性は「3時間以上5時間未満」(25.7%)が2割半ばで最も高くなっている。年代別にみると、30～40歳代で＜5時間以上＞が6割台と、他の年代と比較して高くなっている。

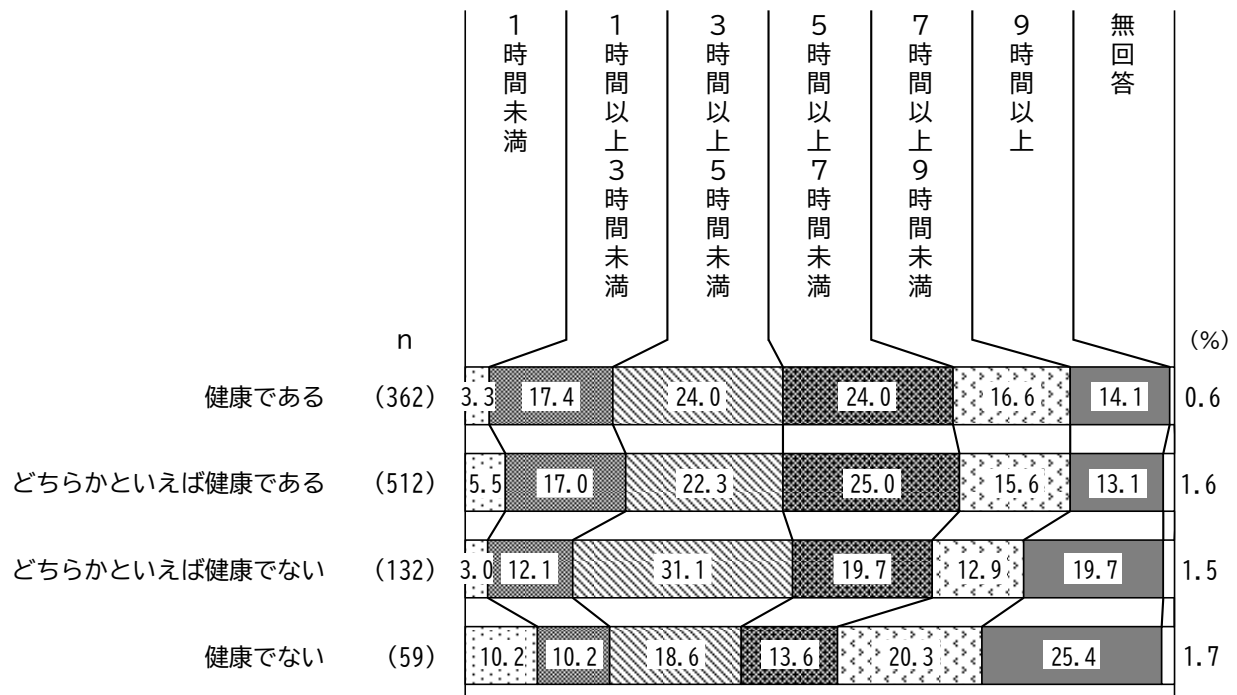


図 2-17 【健康感別】 1日の座位時間

健康感別にみると、「健康でない」と回答した人は＜7時間以上＞が4割半ばと高くなっている。

2.10 最近1年間で関わったスポーツを支える活動

◆最近1年間で関わったスポーツを支える活動は「スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など）」が約1割

（全員の方に）

問21 あなたが、最近1年間で関わった、スポーツを支える活動は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

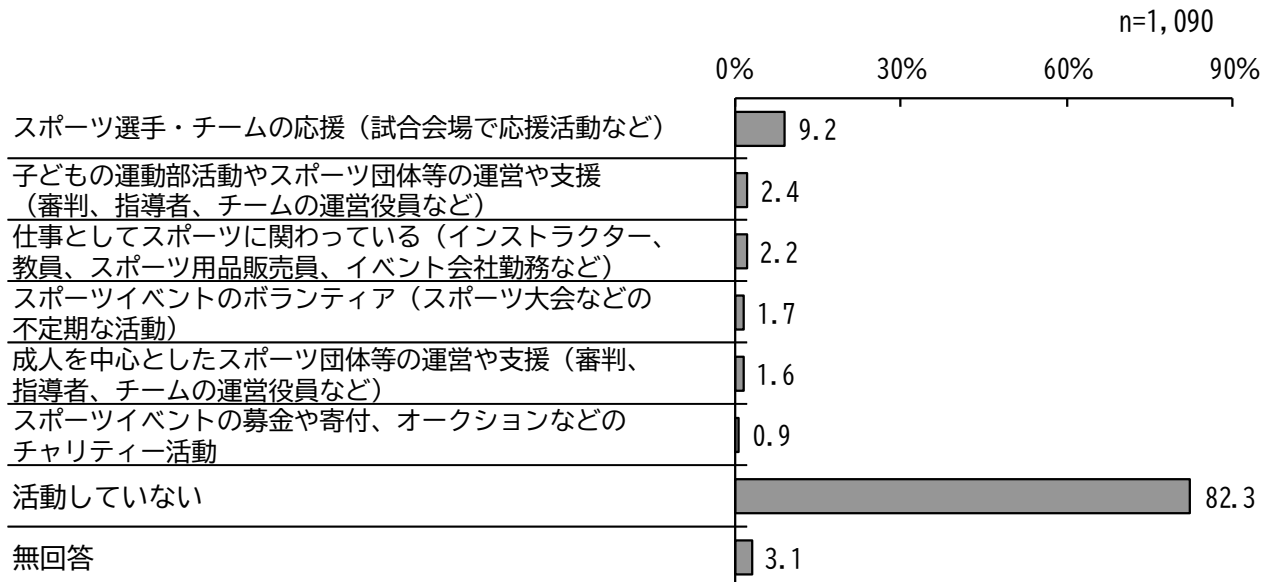


図 2-18 最近1年間で関わったスポーツを支える活動

最近1年間で関わったスポーツを支える活動は、「活動していない」を除くと、「スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など）」が9.2%で最も高く、次いで「子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）」（2.4%）、「仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など）」（2.2%）となっている。

表 2-7 【関心のあるスポーツ・ボランティア活動別】上位5項目
最近1年間で関わったスポーツを支える活動

単位：％

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代以下 n=119	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など） 15.1	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など） 5.0	成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など） 4.2	スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動） 2.5	
30歳代 n=165	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など） 9.1	成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など） 4.2	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など） 1.8	スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動） 1.2	
40歳代 n=146	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など） 9.6	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など） 4.8	仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など）／スポーツイベントの募金や寄付、オークションなどのチャリティー活動 2.1	スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動） 1.4	
50歳代 n=180	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など） 10.0	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動） 2.8	仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など） 1.7	成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など） 1.1	
60歳代 n=161	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など） 12.4	仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など） 5.0	スポーツイベントの募金や寄付、オークションなどのチャリティー活動 1.2	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動） 0.6	
70歳代 n=168	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など）／スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動） 3.0	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など） 1.2	成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など）／スポーツイベントの募金や寄付、オークションなどのチャリティー活動 0.6		
80歳代以上 n=143	スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など） 7.0	スポーツイベントの募金や寄付、オークションなどのチャリティー活動 2.8	子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など） 1.4	成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援（審判、指導者、チームの運営役員など）／仕事としてスポーツに関わっている（インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など） 0.7	

最近1年間で関わったスポーツを支える活動を年代別にみると、すべての年代で「スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など）」が1位となっている。また、70歳代では「スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期な活動）」も1位となっている。

2.11 食生活で心がけていること

◆食生活で心がけていることは「朝食を毎朝欠かさず食べる」が約6割

(全員の方に)

問 22 日ごろ、あなたが食べ物や食生活に関して心がけていることや、関心があることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

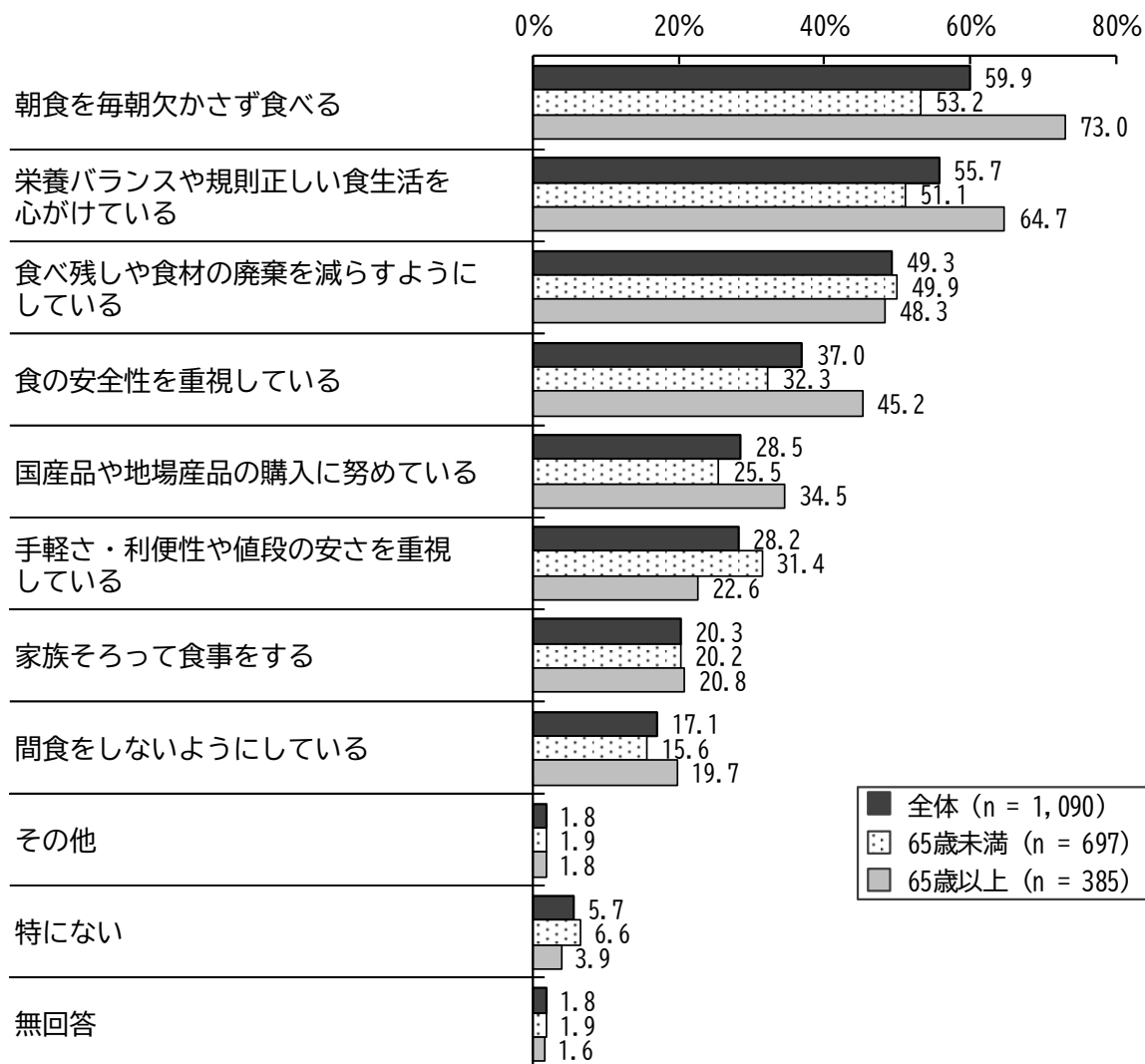


図 2-19 【年代別】食生活で心がけていること

食べ物や食生活に関して心がけていることや関心があることは、「朝食を毎朝欠かさず食べる」が59.9%で最も高く、次いで「栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている」(55.7%)、「食べ残しや食材の廃棄を減らすようにしている」(49.3%)となっている。年代別にみると、65歳以上の方が65歳未満の方より食べ物や食生活について、「食べ残しや食材の廃棄を減らすようにしている」「手軽さ・利便性や値段の安さを重視している」を除いて関心が高くなっている。

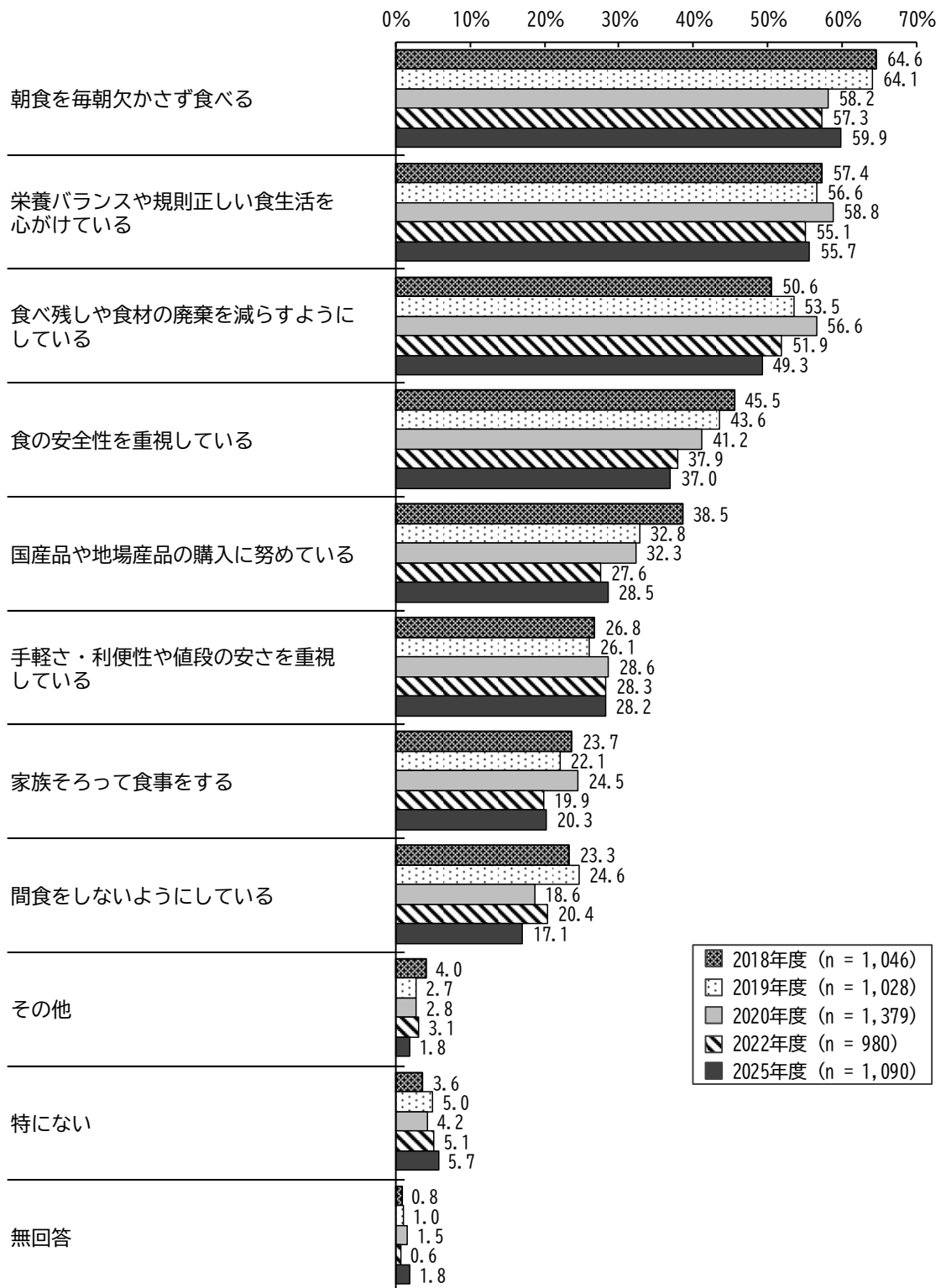


図 2-20 【経年比較】食生活で心がけていること

経年で比較すると、全体的に 2022 年度と比べ大きな差異はないが、「食の安全性を重視している」は減少傾向となっている。

2.12 適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているか

◆適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を＜実践している＞は6割台前半

(全員の方に)

問 23 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、普段から適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。(○は1つ)

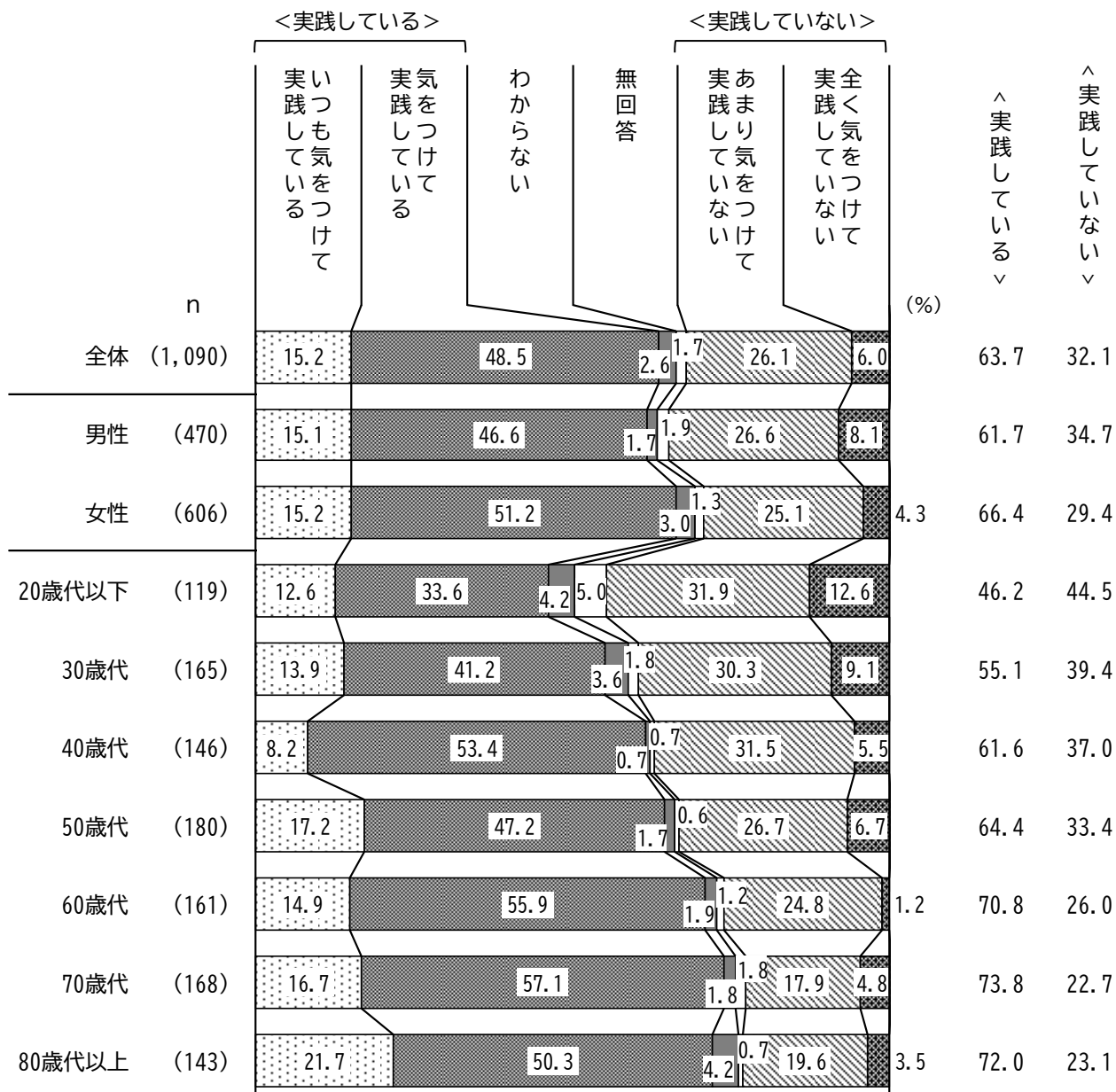


図 2-21 【性・年代別】適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているか

適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているかについては、「いつも気をつけて実践している」(15.2%)と「気をつけて実践している」(48.5%)を合わせた＜実践している＞は63.7%となっている。性別にみると、＜実践している＞は女性(66.4%)が男性(61.7%)を約6ポイント上回っている。年代別にみると、＜実践している＞は40歳代以上で6割、60歳代以上では7割を超えている。

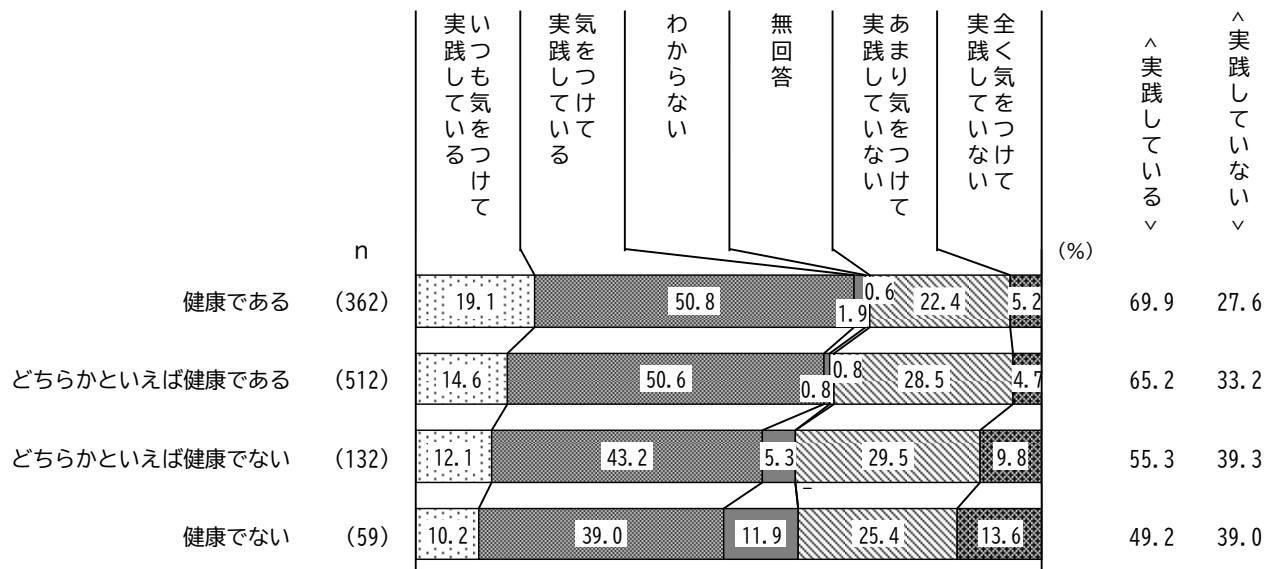


図 2-22 【健康感別】適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているか

健康感別にみると、健康であると感じている人は＜実践している＞の割合が高くなっている。

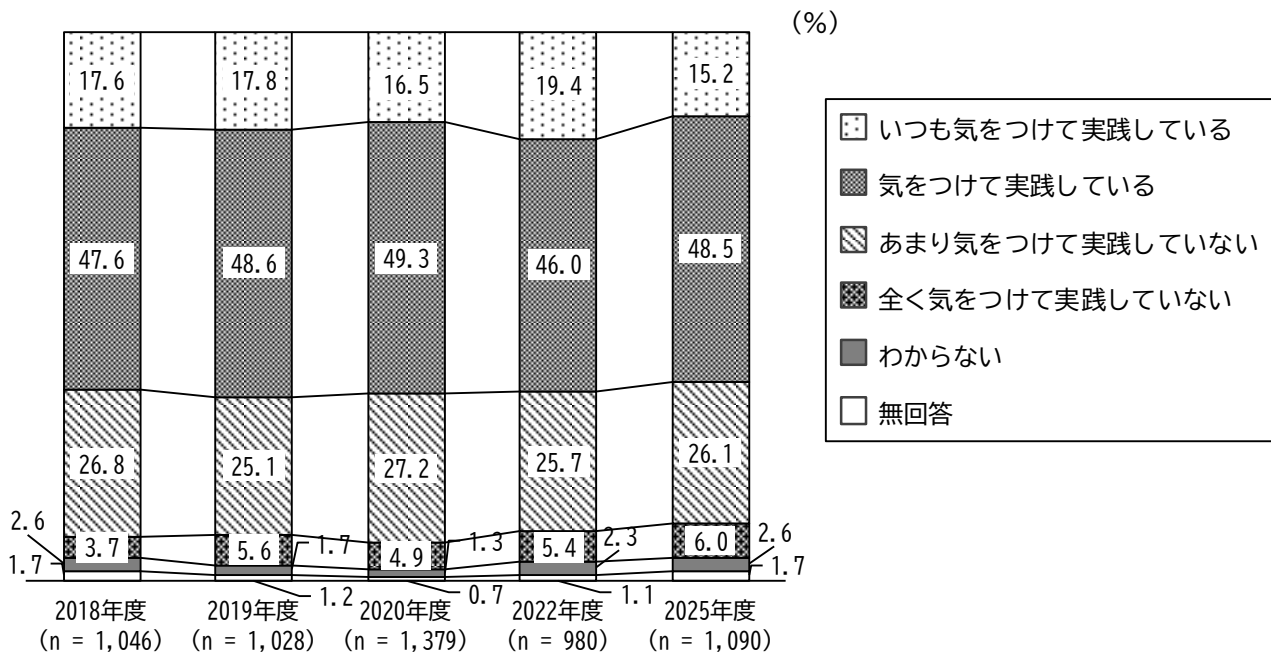


図 2-23 【経年比較】適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践しているか

経年で比較すると、大きな差異はみられない。

2.13 健康診断の受診頻度

◆健康診断を＜受けている＞は8割台前半

(全員の方に)

問 24 あなたは、健康診断を受けていますか。(○は1つ)

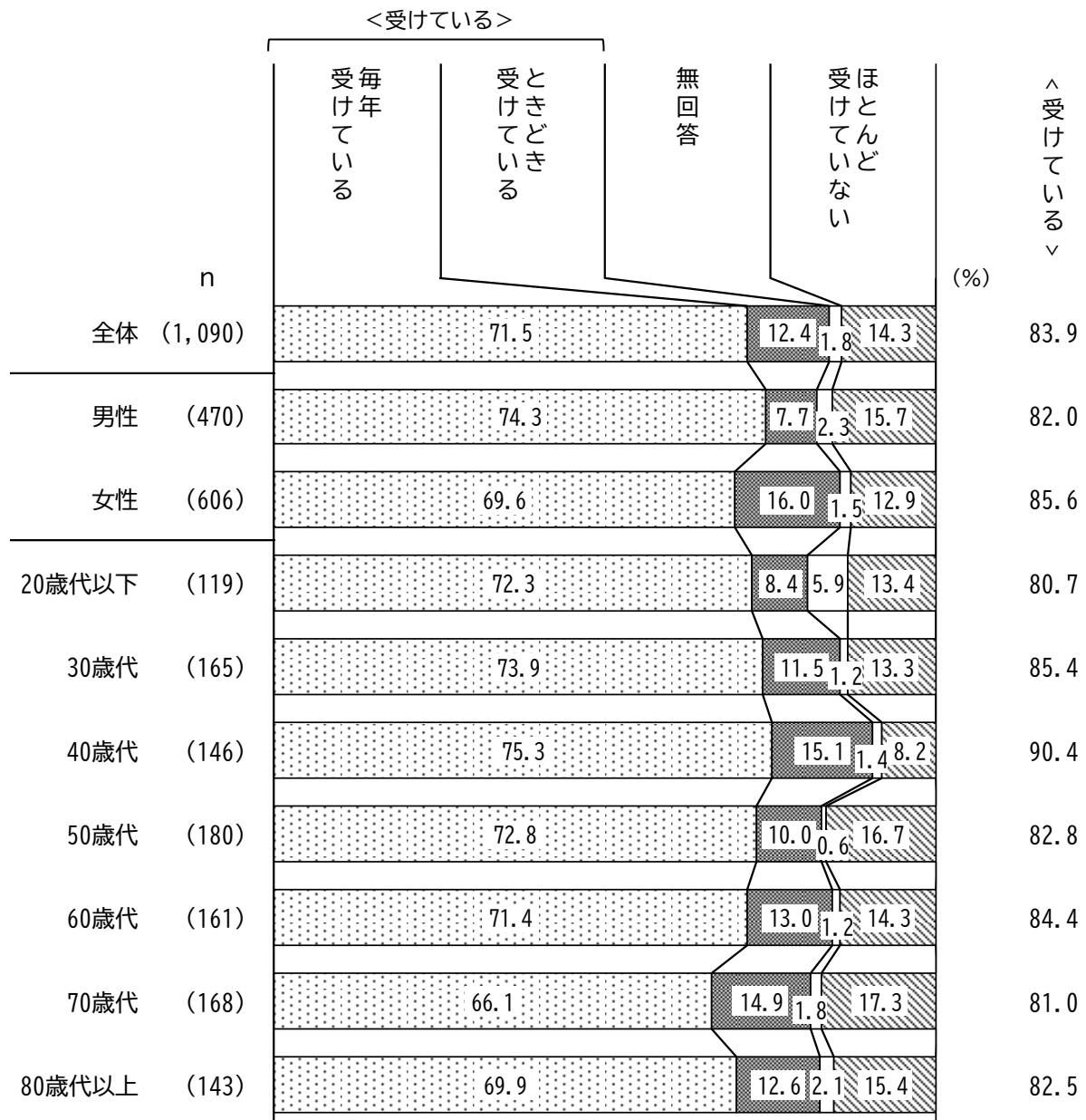


図 2-24 【性・年代別】健康診断の受診頻度

健康診断の受診頻度は、「毎年受けている」(71.5%)と「ときどき受けている」(12.4%)を合わせた＜受けている＞で83.9%となっている。性別にみると、「毎年受けている」は男性(74.3%)が女性(69.6%)を約5ポイント上回っている。年代別にみると、40歳代で＜受けている＞が約9割と高くなっている。

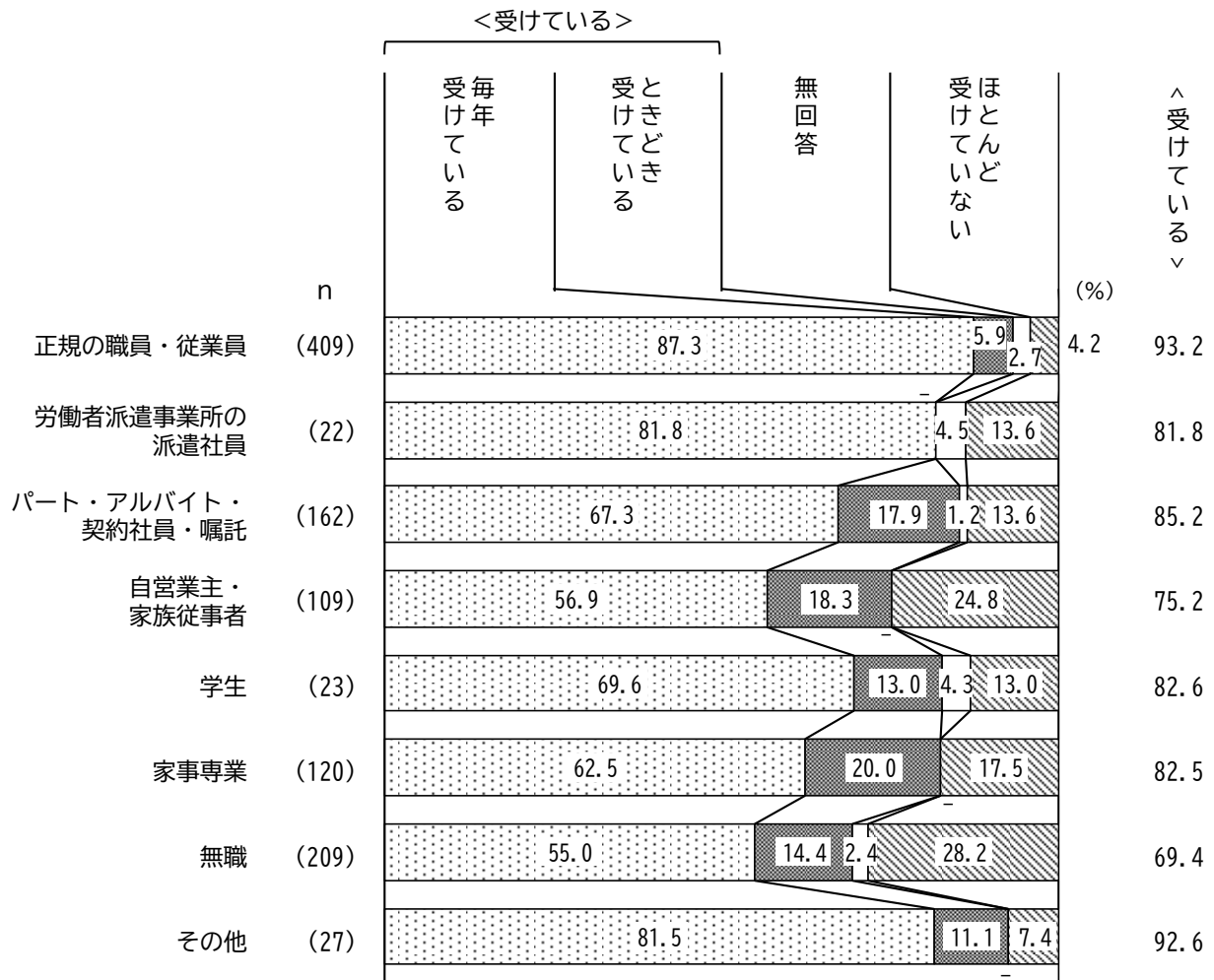


図 2-25 【職業別】健康診断の受診頻度

職業別にみると、＜受けている＞は「正規の職員・従業員」で 93.2%と最も高くなっている。一方、「無職」は＜受けている＞が 69.4%と低くなっている。

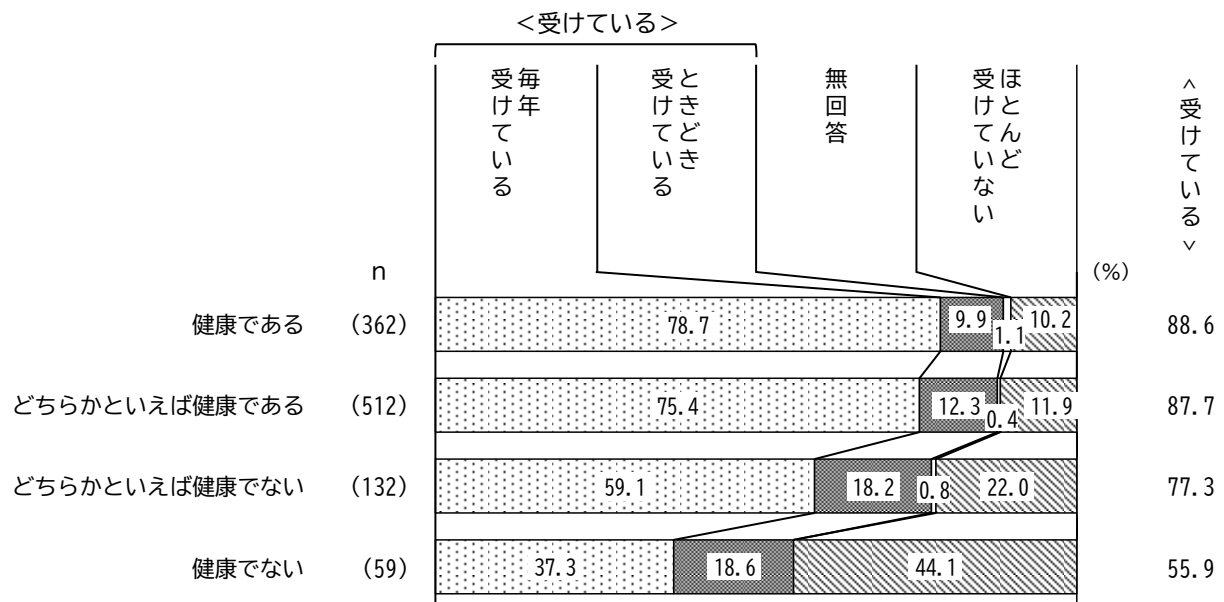


図 2-26 【健康感別】健康診断の受診頻度

「健康である」「どちらかといえば健康である」の方が、「どちらかといえば健康でない」「健康でない」よりも毎年健康診断を受診している割合が高くなっている。

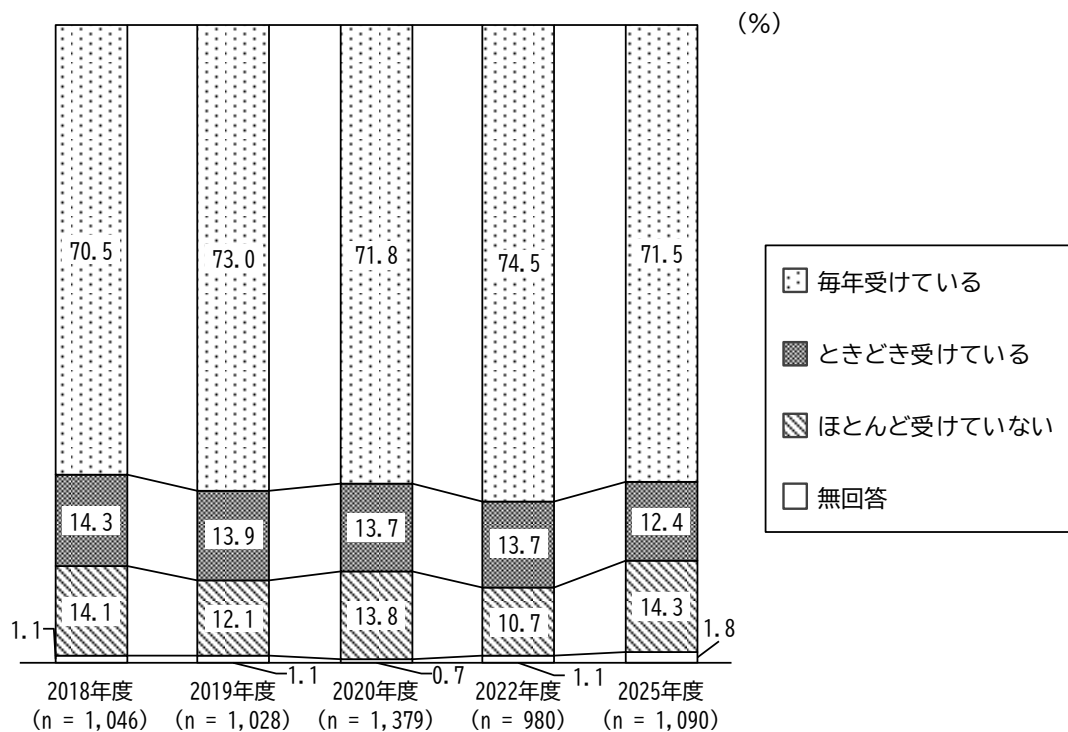


図 2-27 【経年比較】健康診断の受診頻度

経年で比較すると、大きな差異はみられない。

2.13.1 健康診断の受診場所

◆健康診断の受診場所は「職場や健康保険組合の健康診断」が約6割

(問24で「1.毎年受けている」「2.ときどき受けている」に○をつけた方に)
問24-1 あなたは、健康診断をどこで受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

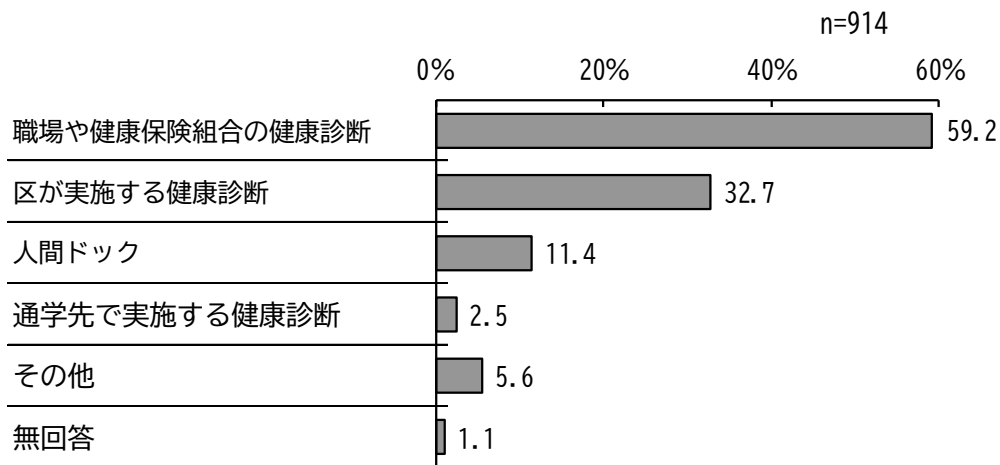


図2-28 健康診断の受診場所

健康診断を受けている方に受診場所を聞いたところ、「職場や健康保険組合の健康診断」が59.2%で最も高く、次いで「区が実施する健康診断」(32.7%)となっている。

表2-8 【性・年代別】健康診断の受診場所

単位：%

区分	有効回答数(件)	職場や健康保険組合の健康診断	区が実施する健康診断	通学先で実施する健康診断	人間ドック	その他	無回答
全体	914	59.2	32.7	2.5	11.4	5.6	1.1
男性	385	60.5	24.9	2.6	12.5	6.5	1.0
女性	519	58.4	38.3	2.5	10.6	5.0	1.0
20歳代以下	96	80.2	2.1	22.9	-	-	-
30歳代	141	95.0	4.3	-	5.0	1.4	1.4
40歳代	132	75.8	22.0	-	20.5	1.5	0.8
50歳代	149	81.2	17.4	0.7	19.5	1.3	-
60歳代	136	58.8	36.8	-	17.6	4.4	-
70歳代	136	19.1	66.2	-	8.1	15.4	2.2
80歳代以上	118	-	79.7	-	5.1	15.3	2.5

性別にみると、「区が実施する健康診断」は女性(38.3%)が男性(24.9%)を13.4ポイント上回っている。年代別にみると、20歳～60歳代は「職場や健康保険組合の健康診断」が最も高いのに対し、70歳代以上では「区が実施する健康診断」が最も高くなっている。また、40～60歳代は「人間ドック」が1割台後半から約2割と高くなっている。

表 2-9 【居住地域別】健康診断の受診場所

単位：％

区分	有効回答数 (件)	職場や健康保険組合の 健康診断	区が実施する 健康診断	通学先で実施する 健康診断	人間ドック	その他	無回答
全体	914	59.2	32.7	2.5	11.4	5.6	1.1
南台	67	55.2	35.8	－	14.9	7.5	－
弥生町	55	61.8	25.5	1.8	14.5	5.5	－
本町	71	66.2	31.0	4.2	4.2	7.0	－
中央	80	73.8	22.5	－	12.5	3.8	1.3
東中野	70	65.7	30.0	－	10.0	－	1.4
中野	94	51.1	35.1	4.3	14.9	6.4	1.1
上高田	56	64.3	25.0	1.8	10.7	7.1	1.8
新井	50	60.0	30.0	6.0	10.0	8.0	－
沼袋	35	62.9	28.6	－	8.6	5.7	2.9
松が丘	11	72.7	36.4	9.1	18.2	9.1	－
江原町	20	65.0	40.0	－	－	－	－
江古田	35	42.9	42.9	8.6	5.7	8.6	2.9
丸山	12	50.0	66.7	－	16.7	－	－
野方	64	51.6	37.5	3.1	12.5	3.1	3.1
大和町	43	58.1	39.5	2.3	18.6	4.7	－
若宮	29	55.2	41.4	－	－	6.9	－
白鷺	24	58.3	37.5	－	8.3	4.2	－
鷺宮	49	53.1	30.6	6.1	14.3	8.2	2.0
上鷺宮	38	52.6	31.6	2.6	18.4	10.5	－

居住地域別にみると、丸山を除く地域で「職場や健康保険組合の健康診断」が最も高くなっている。

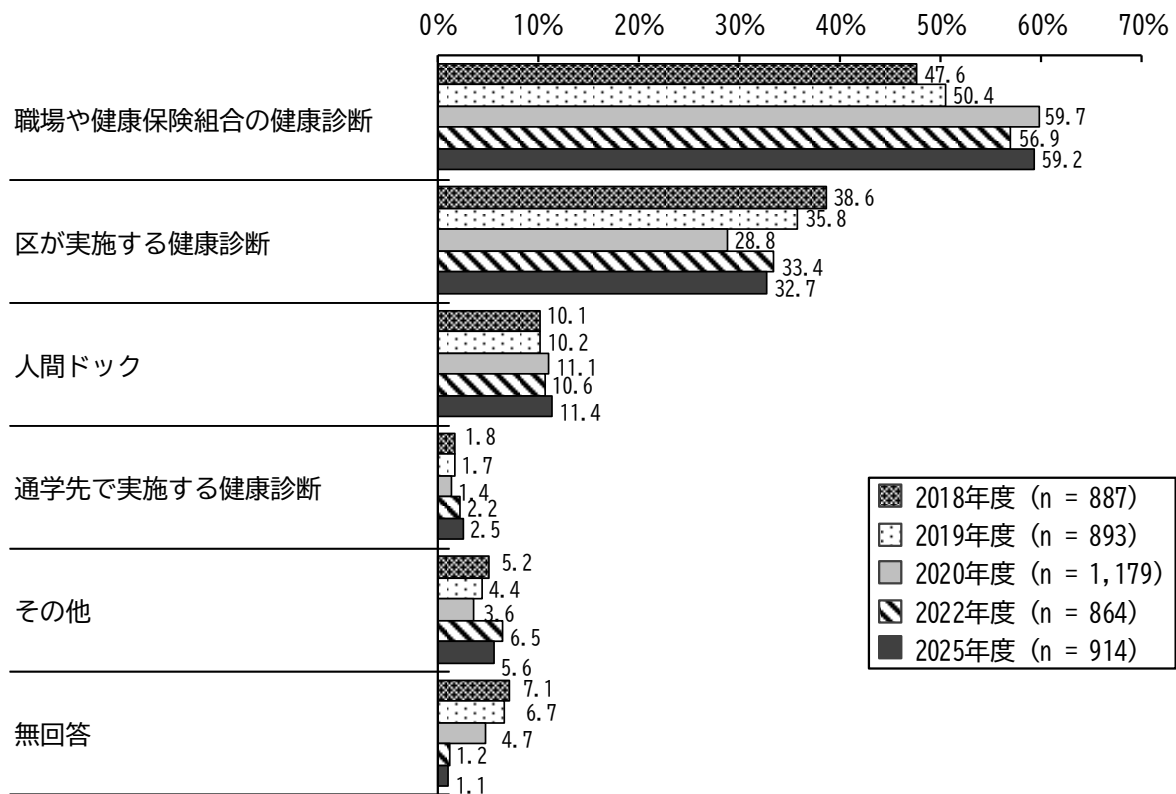


図 2-29 【経年比較】健康診断の受診場所

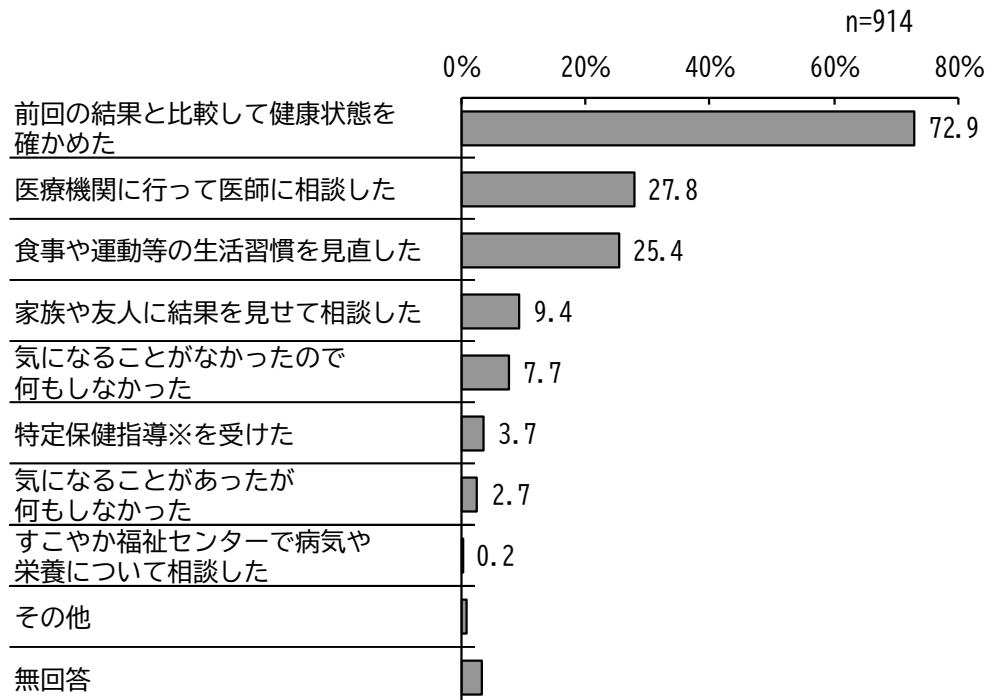
経年で比較すると、2022 年度と比べ大きな差異はみられない。

2.13.2 健康診断結果の活用方法

◆健康診断結果の活用方法は「前回の結果と比較して健康状態を確かめた」が7割台前半

(問 24 で「1. 毎年受けている」「2. ときどき受けている」に○をつけた方に)

問 24-2 健康診断の結果をどのように活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)



※特定保健指導…メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の早期発見を目的とした健康診査（特定健診）の結果、メタボリックシンドローム、あるいはその予備群とされた人に対して医療保険者が行う保健指導のこと。

図 2-30 健康診断結果の活用方法

健康診断を受けている方に健康診断結果の活用方法を聞いたところ、「前回の結果と比較して健康状態を確かめた」が 72.9%で最も高く、次いで「医療機関に行って医師に相談した」(27.8%)、「食事や運動等の生活習慣を見直した」(25.4%)となっている。

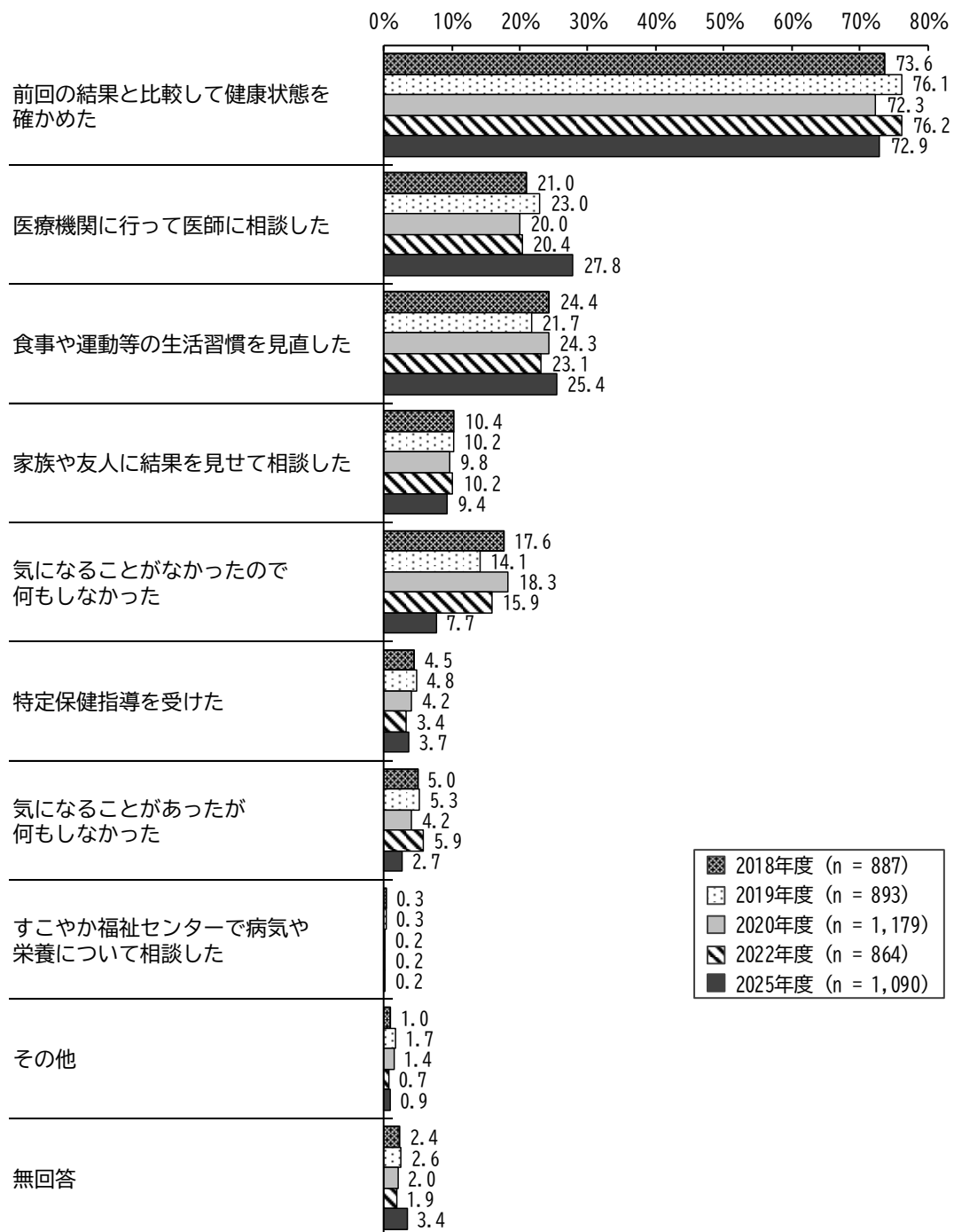


図 2-31 【経年比較】健康診断結果の活用方法

経年で比較すると、2022 年度と比べ、「医療機関に行って医師に相談した」が 7.4 ポイント増加し、「気になることがなかったので何もしなかった」が約 8 ポイント減少している。

2.13.3 健康診断を受けなかった理由

◆健康診断を受けなかった理由は「面倒なため」が3割半ば

(問 24 で「3. ほとんど受けていない」に○をつけた方に)

問 24-3 あなたが、健康診断を受けなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

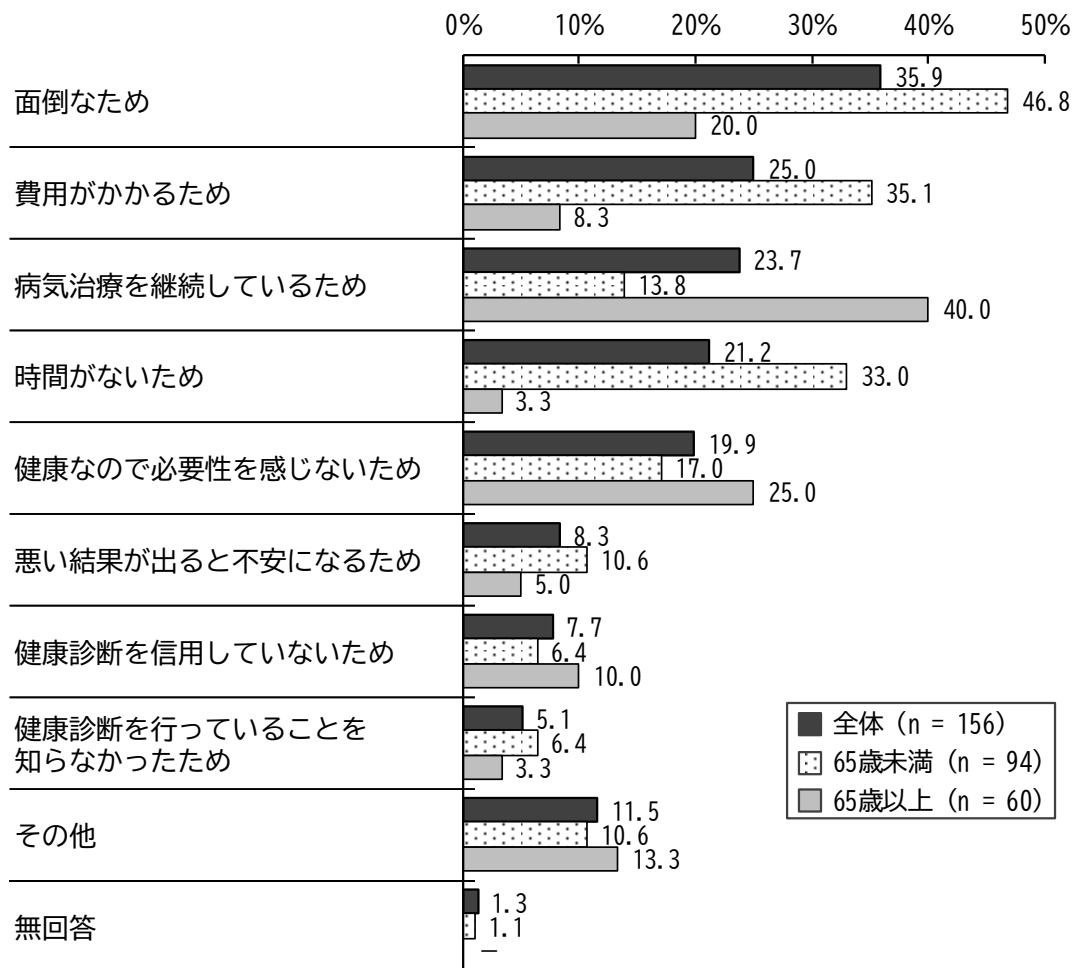


図 2-32 【年代別】健康診断を受けなかった理由

健康診断を受けなかった方にその理由を聞いたところ、「面倒なため」が 35.9%で最も高く、次いで「費用がかかるため」(25.0%)、「病気治療を継続しているため」(23.7%)となっている。年代別にみると、65 歳未満では「面倒なため」(46.8%)が最も高く、次いで「費用がかかるため」(35.1%)、「時間がないため」(33.0%)となっているのに対し、65 歳以上では「病気治療を継続しているため」(40.0%)が最も高く、次いで「健康なので必要性を感じないため」(25.0%)、「面倒なため」(20.0%)となっている。

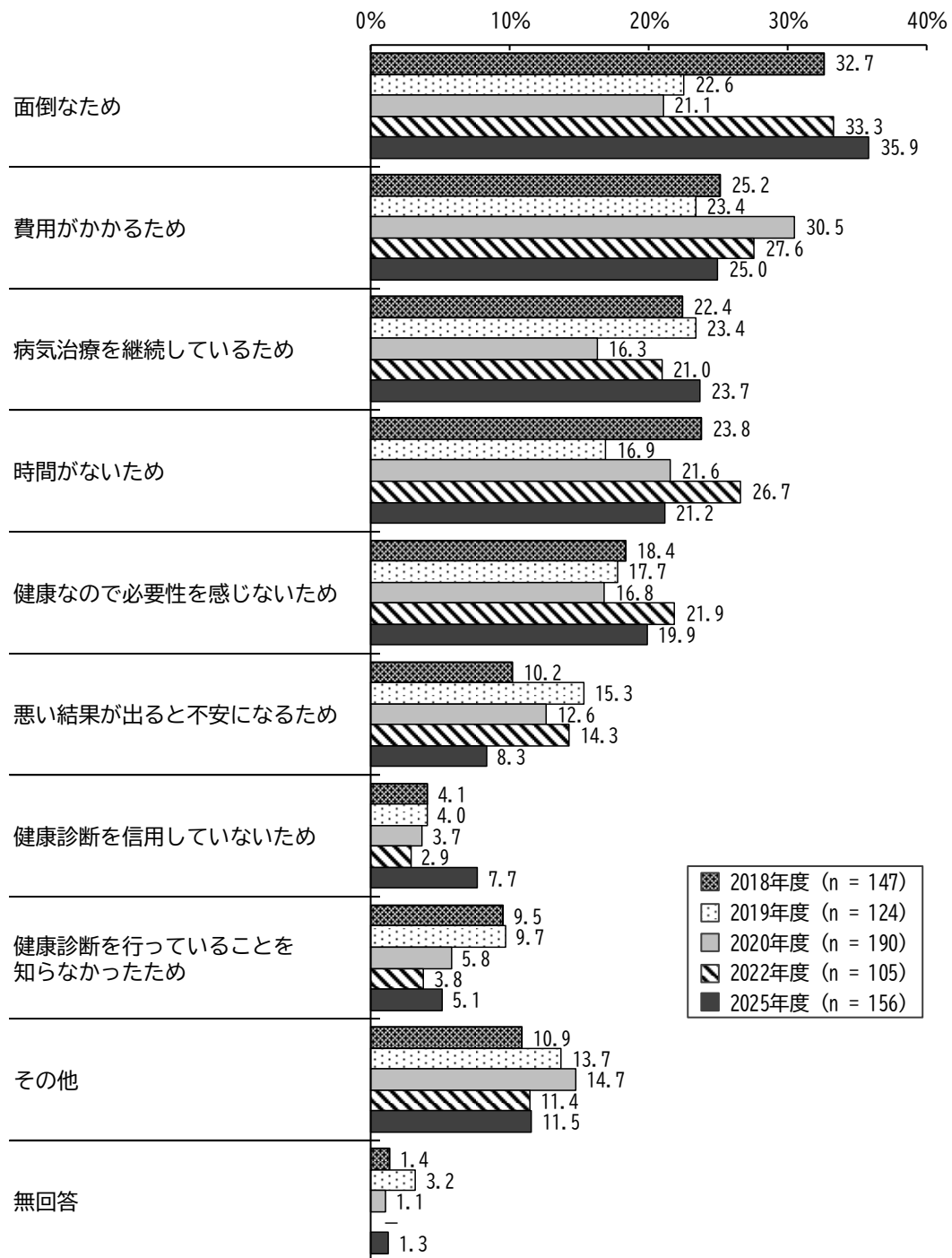


図 2-33 【経年比較】健康診断を受けなかった理由

経年で比較すると、2022 年度に比べ、「面倒なため」「病気治療を継続しているため」「健康診断を信用していないため」「健康診断を行っていることを知らなかったため」などが増加している。

2.14 かかりつけの診療所の有無

◆かかりつけの診療所を＜決めている＞割合は40歳代以上で7割超

(全員の方に)

問25 あなたは、自宅の近くで診察や健康相談をするかかりつけの診療所(医院・クリニック)を決めていますか。(○は1つ)

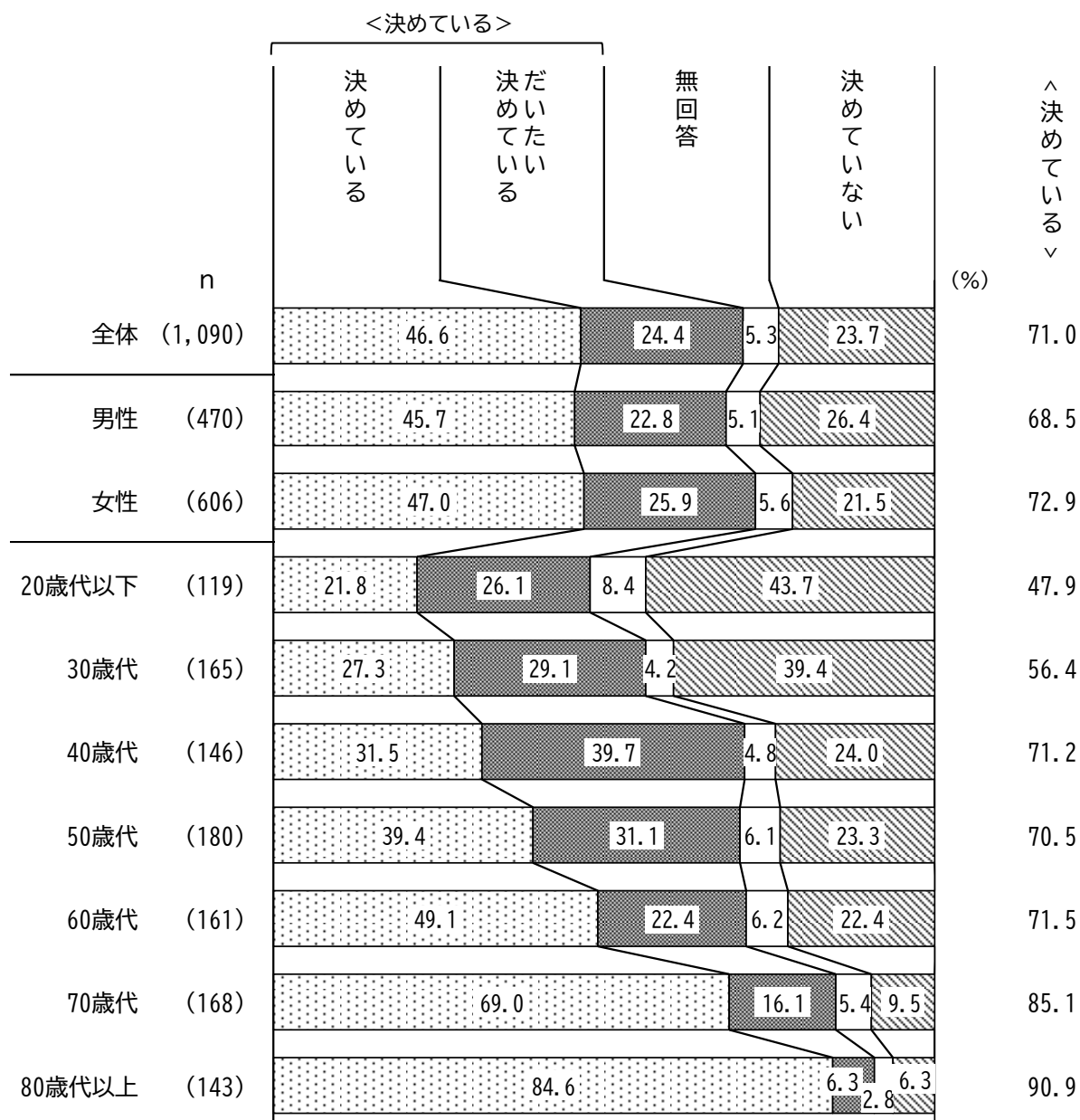


図2-34 【性・年代別】かかりつけの診療所の有無

かかりつけの診療所を決めているかについては、「決めている」(46.6%)と「だいたい決めている」(24.4%)を合わせた＜決めている＞で71.0%となっている。性別にみると、＜決めている＞では女性(72.9%)が男性(68.5%)を4.4ポイント上回っている。年代別にみると、＜決めている＞は概ね年代が上がるにつれ増加傾向となっており、40歳代以上で7割を超えている。

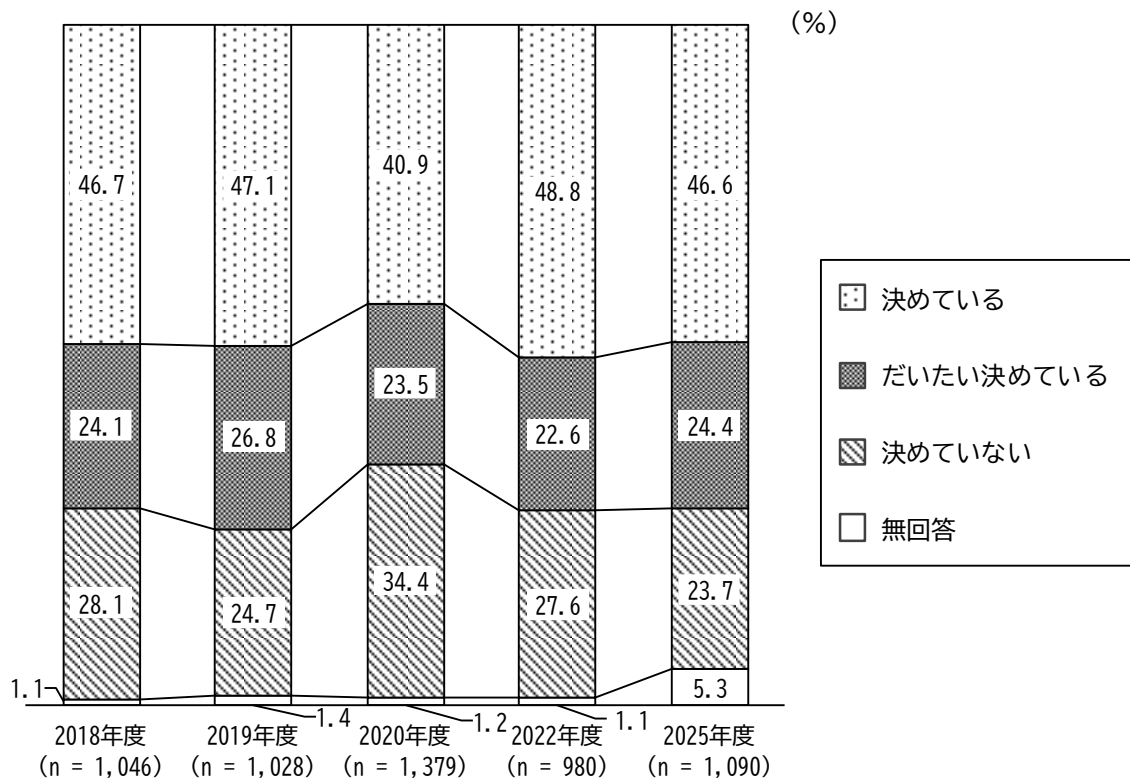


図 2-35 【経年比較】かかりつけの診療所の有無

経年で比較すると、2022 年度に比べ、「決めている」と「だいたい決めている」を合わせた＜決めている＞に大きな差異はみられない。

2.14.1 かかりつけの診療所からのアドバイス

◆かかりつけの診療所で健康についてのアドバイスを「受けている」は5割台前半

(問 25 で「1. 決めている」「2. だいたい決めている」に○をつけた方に)

問 25-1 あなたは、かかりつけの診療所（医院・クリニック）で、普段から本人や家族等の日常生活を含めた健康についてのアドバイスを受けていますか。（○は1つ）

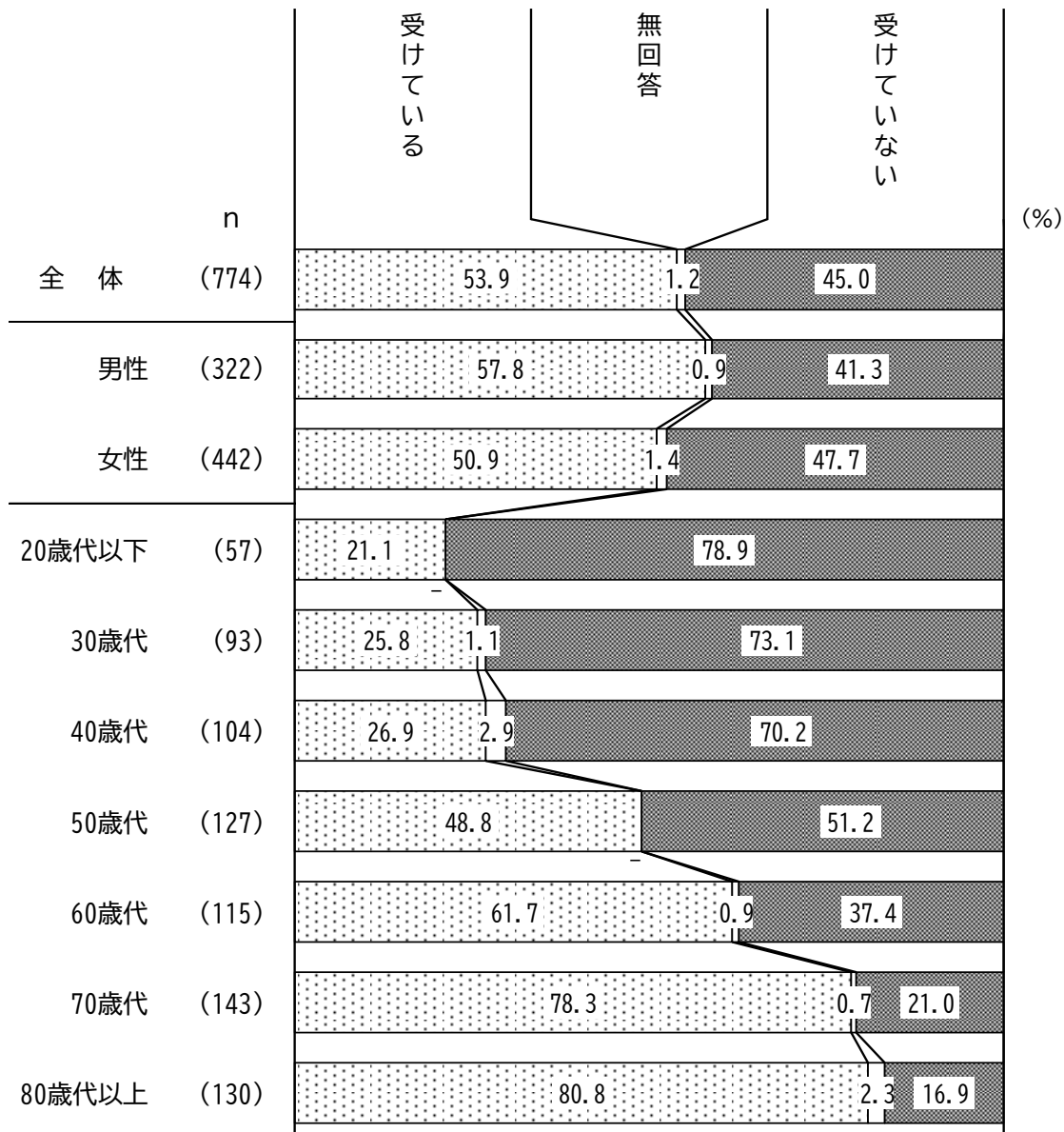


図 2-36 【性・年代別】かかりつけの診療所からのアドバイス

かかりつけの診療所を決めている方にかかりつけの診療所から健康についてのアドバイスを受けているか聞いたところ、「受けている」が53.9%に対し、「受けていない」は45.0%となっている。性別にみると、「受けている」では男性（57.8%）が女性（50.9%）を約7ポイント上回っている。年代別にみると、「受けている」は年代が上がるにつれ増加傾向にある。

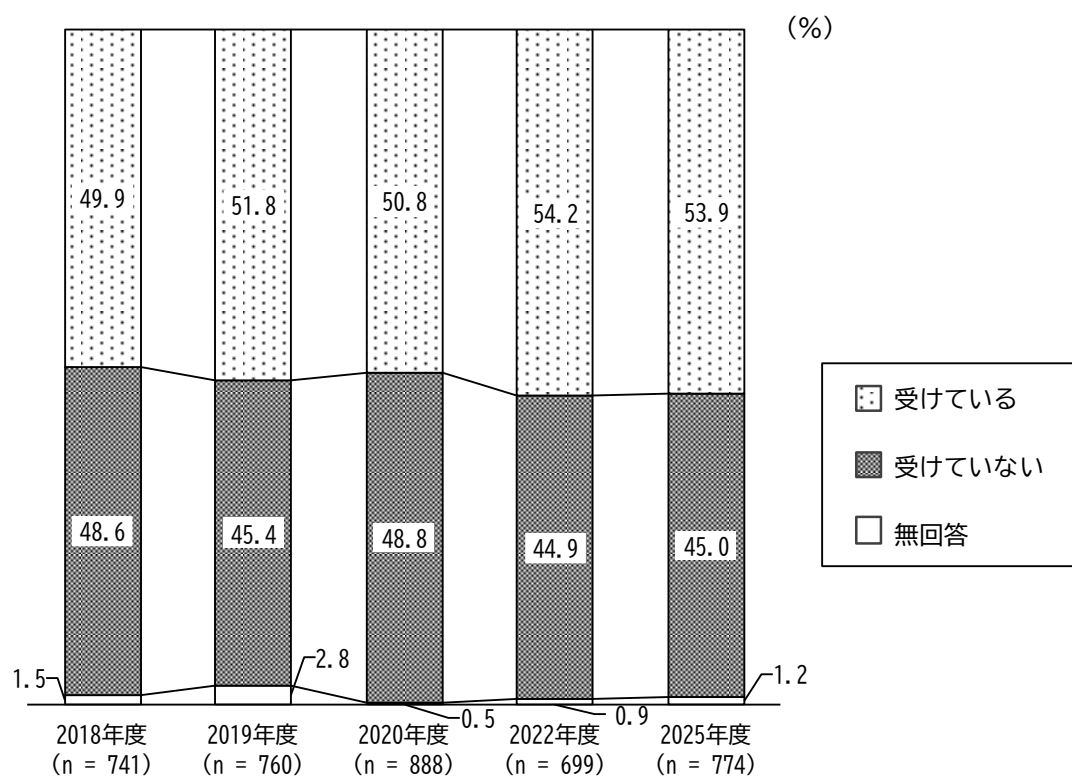


図 2-37 【経年比較】かかりつけの診療所からのアドバイス

経年で比較すると、大きな差異はみられない。

2.15 歯科健診の受診状況

◆歯科健診を「受けた」は約6割

(全員の方に)

問 26 あなたは、この1年間、歯科健診を受けましたか。(○は1つ)

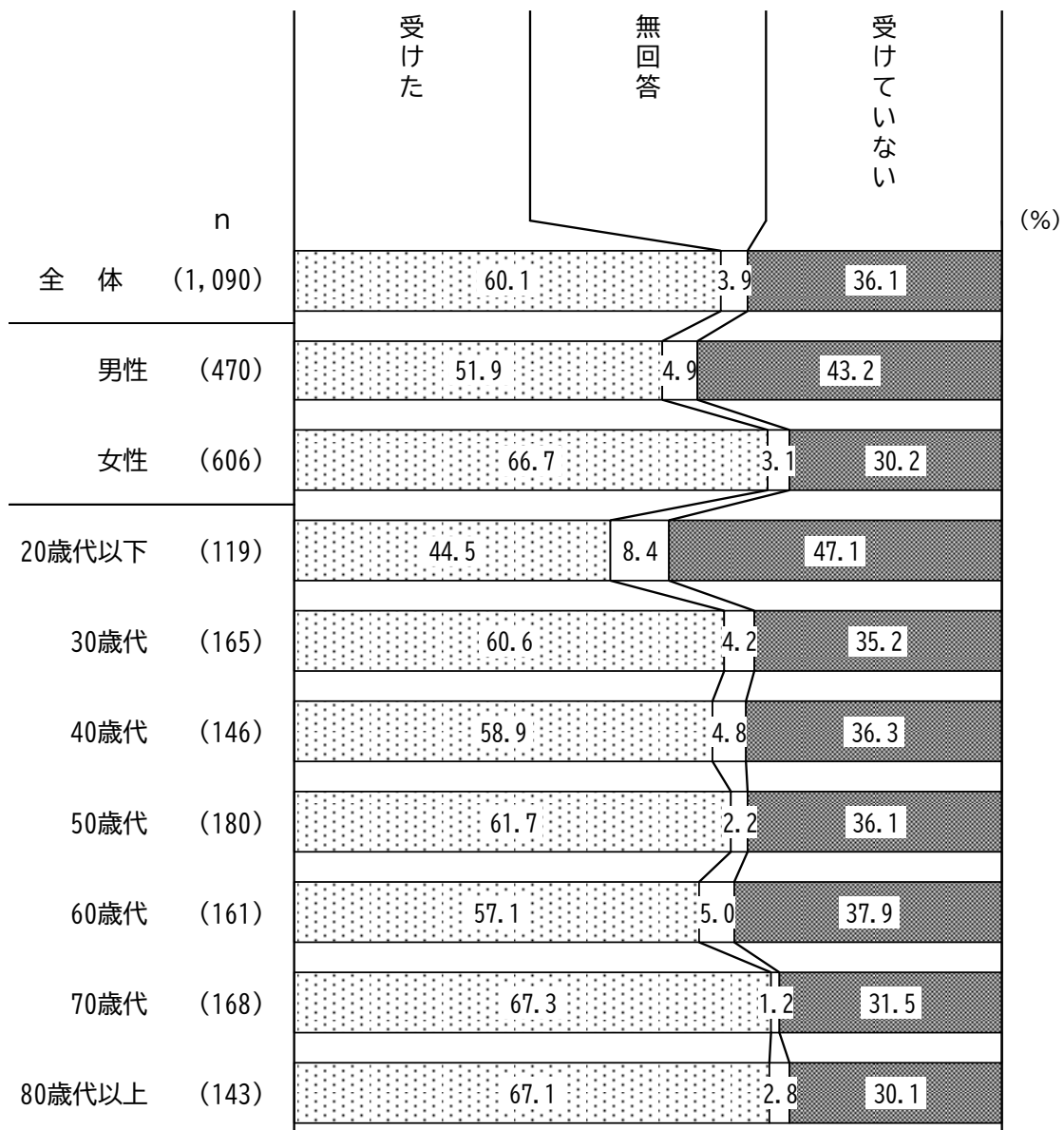


図 2-38 【性・年代別】歯科健診の受診状況

歯科健診の受診については「受けた」が60.1%に対し、「受けていない」が36.1%となっている。性別に見ると、「受けた」は女性(66.7%)が男性(51.9%)を約15ポイント上回っている。年代別にみると、20歳代以下で「受けていない」が4割台後半となっており、他の年代と比較して高くなっている。

2.15.1 歯科健診の受診場所

◆歯科健診の受診場所は「かかりつけの歯科医」が約9割

(問 26 で「1.受けた」に○をつけた方に)

問 26-1 あなたは、歯科健診をどこで受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

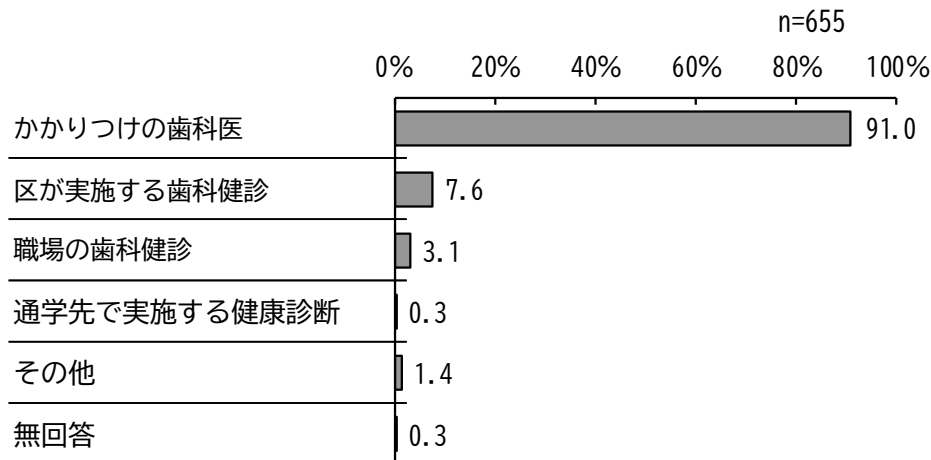


図 2-39 歯科健診の受診場所

歯科健診の受診場所については「かかりつけの歯科医」が 91.0%で最も高く、次いで、「区が実施する歯科健診」(7.6%)となっている。

表 2-10 【性・年代別】歯科健診の受診場所

単位：%

区分	有効回答数 (件)	職場の 歯科健診	区が 実施する 歯科健診	通学先で 実施する 健康診断	かかり つけの 歯科医	その他	無 回答
全体	655	3.1	7.6	0.3	91.0	1.4	0.3
男性	244	4.1	4.5	0.4	90.2	2.5	0.4
女性	404	2.5	9.4	0.2	91.3	0.7	0.2
20歳代以下	53	3.8	9.4	1.9	84.9	3.8	-
30歳代	100	8.0	5.0	-	92.0	1.0	1.0
40歳代	86	4.7	10.5	-	84.9	1.2	-
50歳代	111	3.6	9.9	-	89.2	1.8	-
60歳代	92	2.2	12.0	-	91.3	1.1	-
70歳代	113	-	6.2	0.9	93.8	0.9	-
80歳代以上	96	-	2.1	-	96.9	1.0	1.0

性別にみると、「区が実施する歯科健診」は女性の割合が高くなっている。年代別にみると、40歳代と60歳代で「区が実施する歯科健診」の割合が1割台で、他の年代と比較してやや高くなっている。

2.15.2 歯科健診を受診しなかった理由

◆歯科健診を受診しなかった理由は「面倒だから」「時間がないから」が2割台後半

(問 26 で「2.受けていない」に○をつけた方に)

問 26-2 あなたが、歯科健診を受診しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

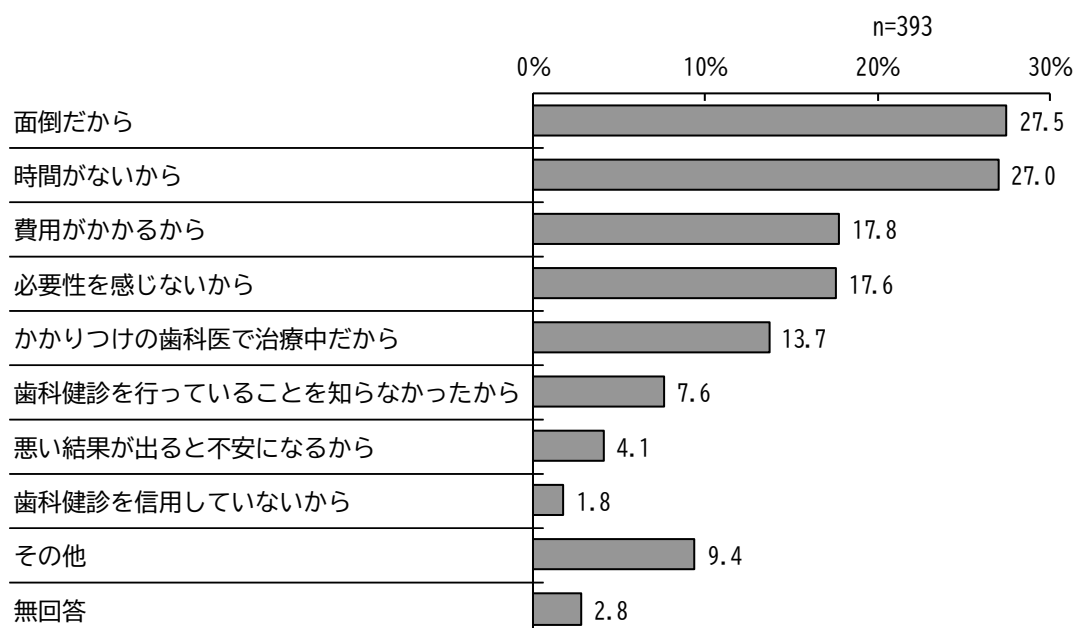


図 2-40 歯科健診を受診しなかった理由

歯科健診を受診しなかった理由については「面倒だから」が27.5%と最も高くなっており、次いで「時間がないから」(27.0%)、「費用がかかるから」(17.8%)となっている。

表 2-11 【性・年代別】歯科健診を受診しなかった理由

単位：%

区分	有効回答数 (件)	時間 がない から	費用 がかか るから	面倒 だから	でか 治り 中つ だけ の 歯 科 医	知 ら な い こ と を	行 っ て い な い か ら	信 用 し て い な い か ら	不 安 に な る が 出 る と	悪 い 結 果 が 出 る と	感 じ な い こ ら	必 要 性 を か ら	そ の 他	無 回 答
全体	393	27.0	17.8	27.5	13.7	7.6	1.8	4.1	17.6	9.4	2.8			
男性	203	26.6	18.7	33.5	10.3	7.4	2.0	4.4	20.7	5.9	2.5			
女性	183	27.9	15.8	21.3	18.0	8.2	1.1	3.8	14.2	12.6	3.3			
20歳代以下	56	35.7	35.7	42.9	3.6	3.6	3.6	3.6	14.3	-	-			
30歳代	58	39.7	34.5	44.8	5.2	5.2	1.7	-	13.8	1.7	1.7			
40歳代	53	50.9	15.1	28.3	13.2	9.4	1.9	9.4	9.4	7.5	-			
50歳代	65	24.6	13.8	29.2	24.6	9.2	1.5	3.1	7.7	9.2	1.5			
60歳代	61	23.0	6.6	23.0	18.0	13.1	-	6.6	16.4	16.4	1.6			
70歳代	53	7.5	9.4	15.1	22.6	1.9	3.8	3.8	26.4	17.0	1.9			
80歳代以上	43	2.3	4.7	4.7	7.0	11.6	-	2.3	41.9	16.3	16.3			

性別にみると、男性で「面倒だから」「必要性を感じないから」の割合が女性より高く、女性で「かかりつけの歯科医で治療中だから」が男性よりも高くなっている。年代別にみると、40歳代で「時間がないから」が約5割と、他の年代と比較して高くなっている。

2.16 定期的にメンテナンスのために歯科医に通っているか

◆定期的にメンテナンスのために歯科医に「通っている」は5割半ば

(全員の方に)

問 27 あなたは、定期的にメンテナンスのために歯科医に通っていますか。(○は1つ)

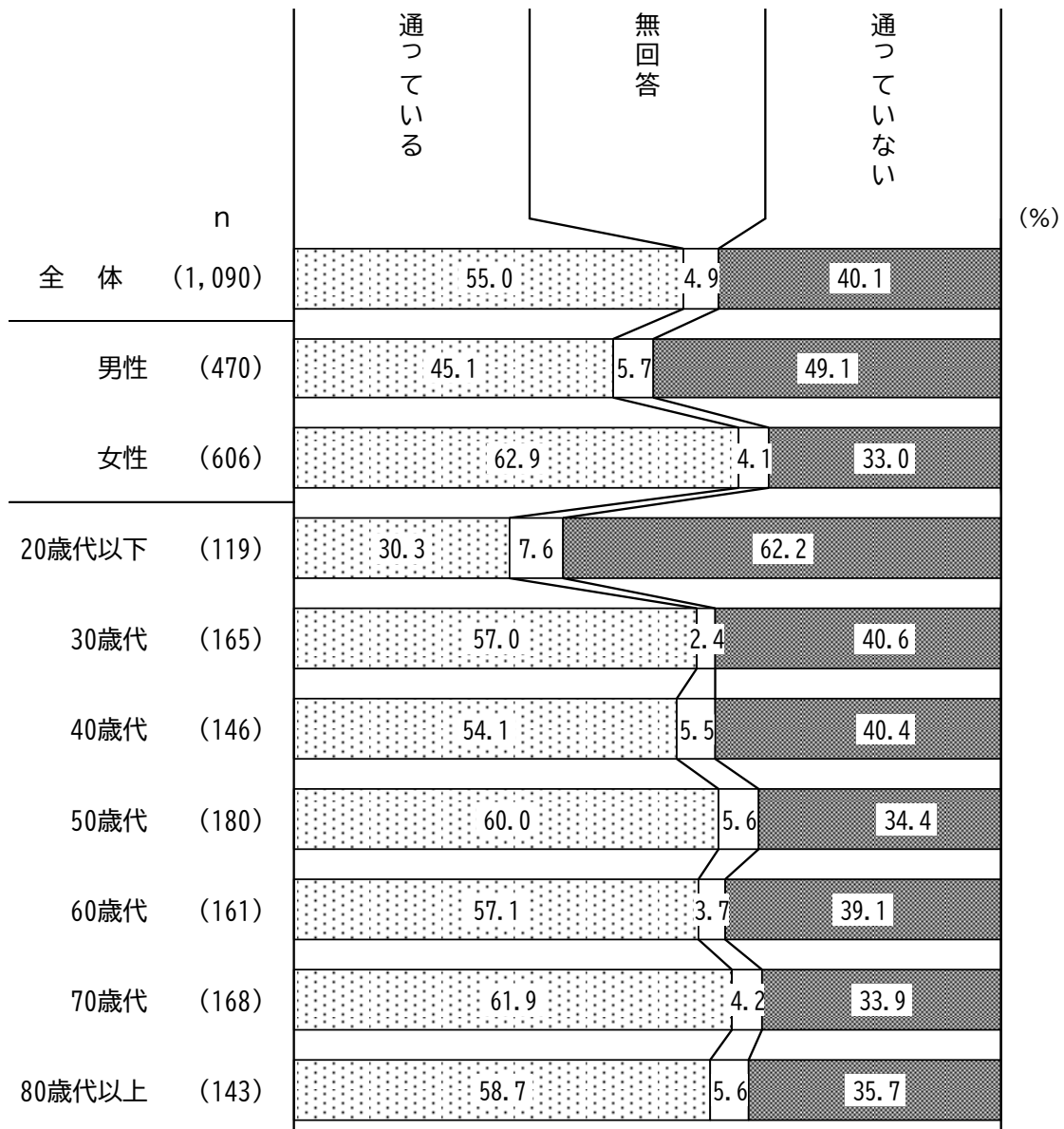


図 2-41 【性・年代別】定期的にメンテナンスのために歯科医に通っているか

定期的にメンテナンスのために歯科医に通っているかについては「通っている」が55.0%に対し、「通っていない」が40.1%となっている。性別に見ると、「通っている」は女性(62.9%)が男性(45.1%)を約18ポイント上回っている。年代別にみると、20歳代以下で「通っていない」が6割台前半となっており、他の年代と比較して高くなっている。

2.17 かかりつけの歯科診療所の有無

◆かかりつけの歯科診療所を<決めている>が7割台前半

(全員の方に)

問 28 あなたは、自宅の近くで診察や健康相談をするかかりつけの歯科診療所を決めていますか。(○は1つ)

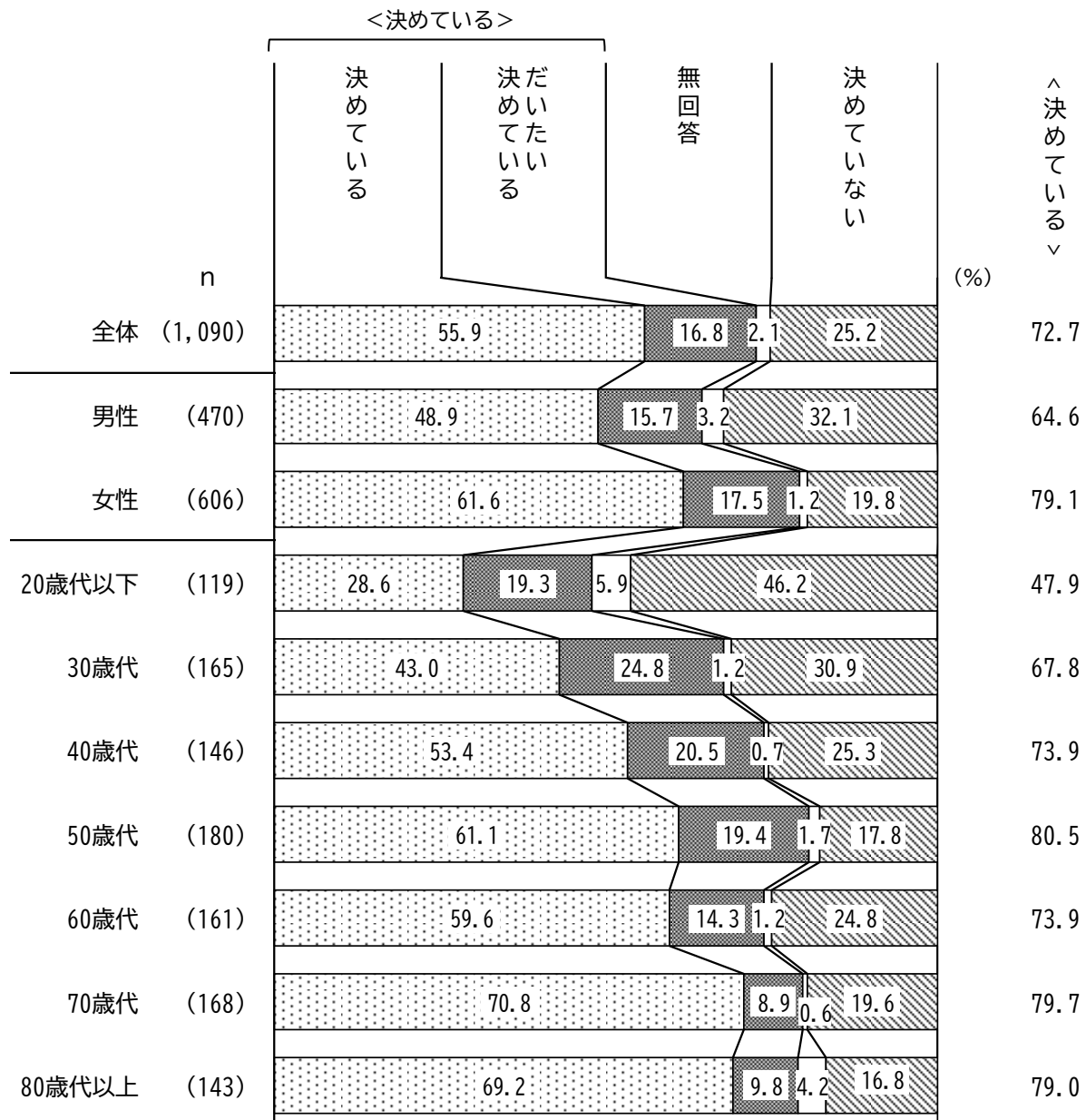


図 2-42 【性・年代別】かかりつけの歯科診療所の有無

かかりつけの歯科診療所を決めているかについては、「決めている」(55.9%)と「だいたい決めている」(16.8%)を合わせた<決めている>で 72.7%となっている。性別にみると、<決めている>は女性(79.1%)が男性(64.6%)を 14.5 ポイント上回っている。年代別にみると、<決めている>は 50 歳代と 70 歳代以上で約 8 割と特に高くなっている。

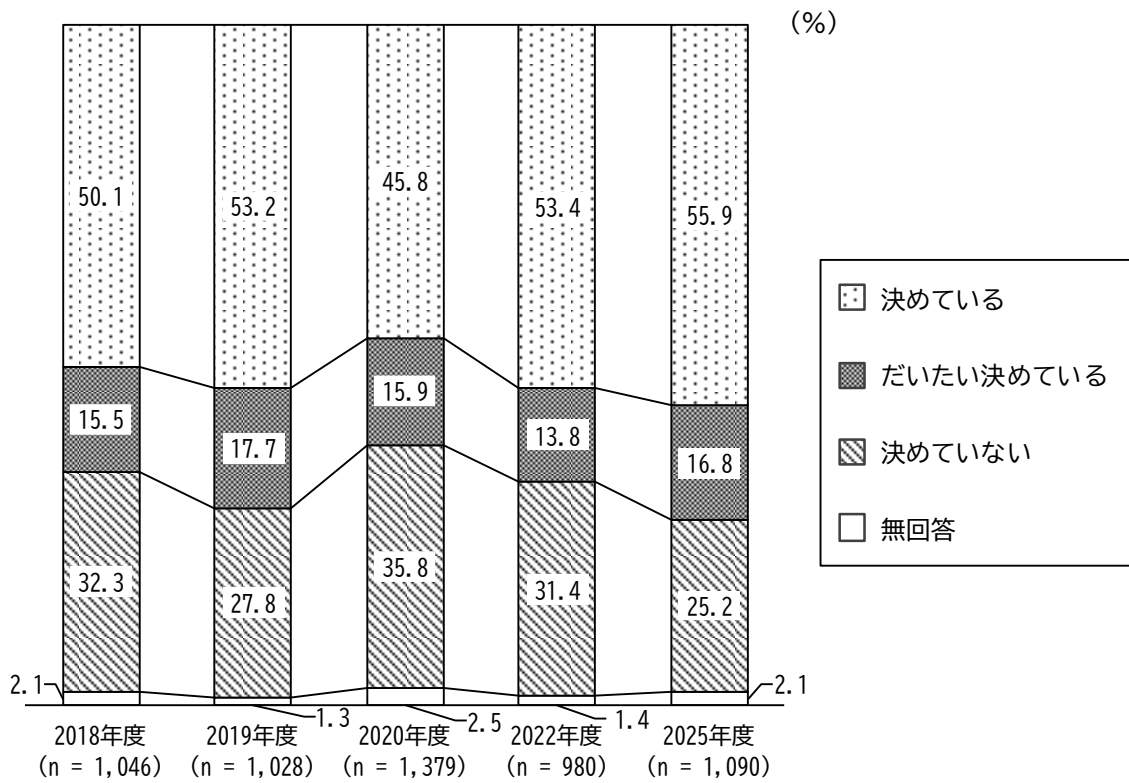


図 2-43 【経年比較】かかりつけの歯科診療所の有無

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度に比べ、「決めている」と「だいたい決めている」を合わせた「決めている」が 5.5 ポイント増加している。

2.18 かかりつけの薬局の有無

◆かかりつけの薬局を<決めている>が6割台前半

(全員の方に)

問 29 あなたは、自宅の近くで調剤をお願いしたり薬に関する相談をするかかりつけの薬局を決めていますか。(○は1つ)

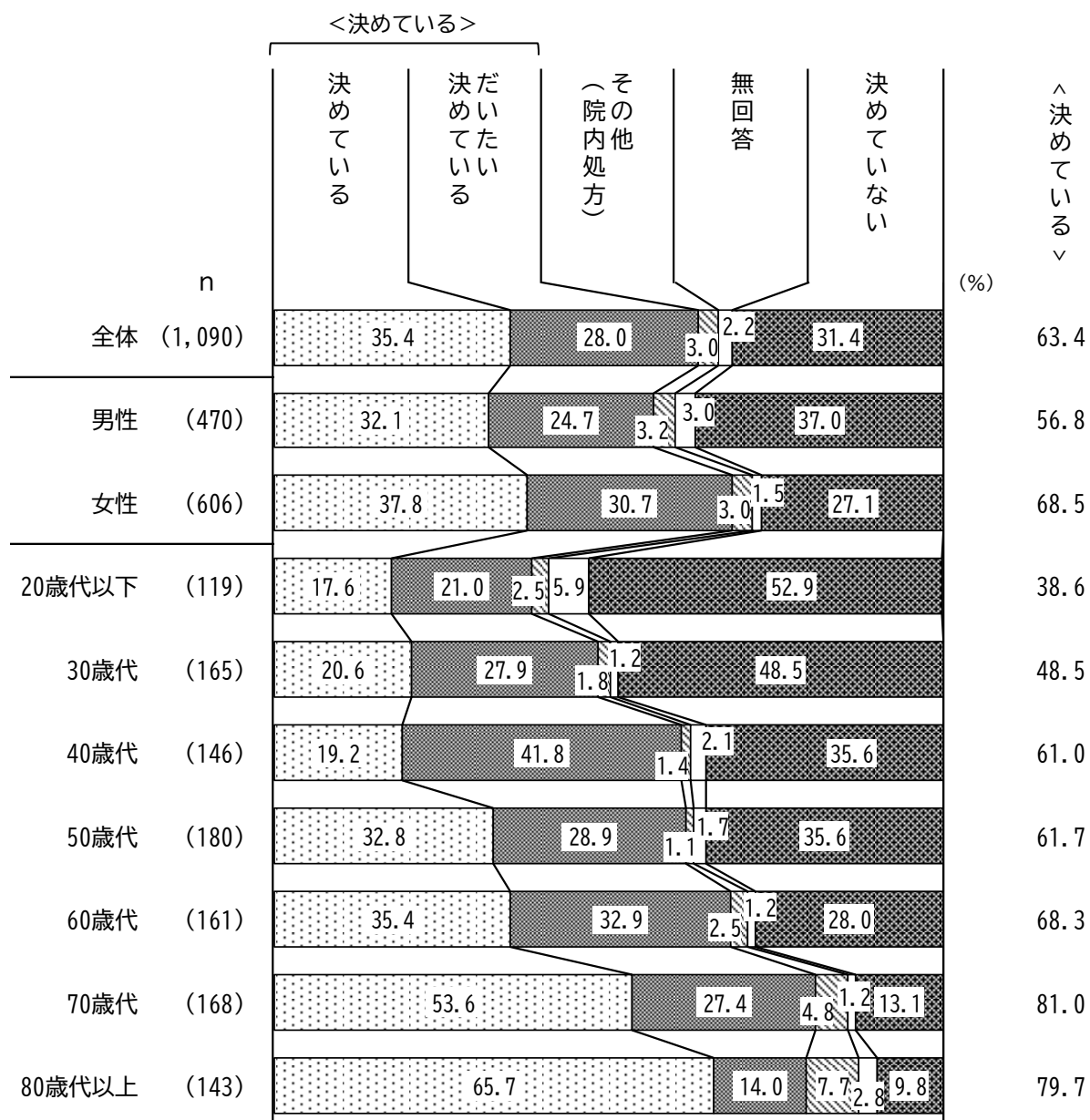


図 2-44 【性・年代別】かかりつけの薬局の有無

かかりつけの薬局を決めているかについては、「決めている」(35.4%)と「だいたい決めている」(28.0%)を合わせた<決めている>で 63.4%となっている。性別にみると、<決めている>は女性(68.5%)が男性(56.8%)を約12ポイント上回っている。年代別にみると、<決めている>は年代が上がるにつれて増加傾向にあり、70歳代以上で約8割と高くなっている。

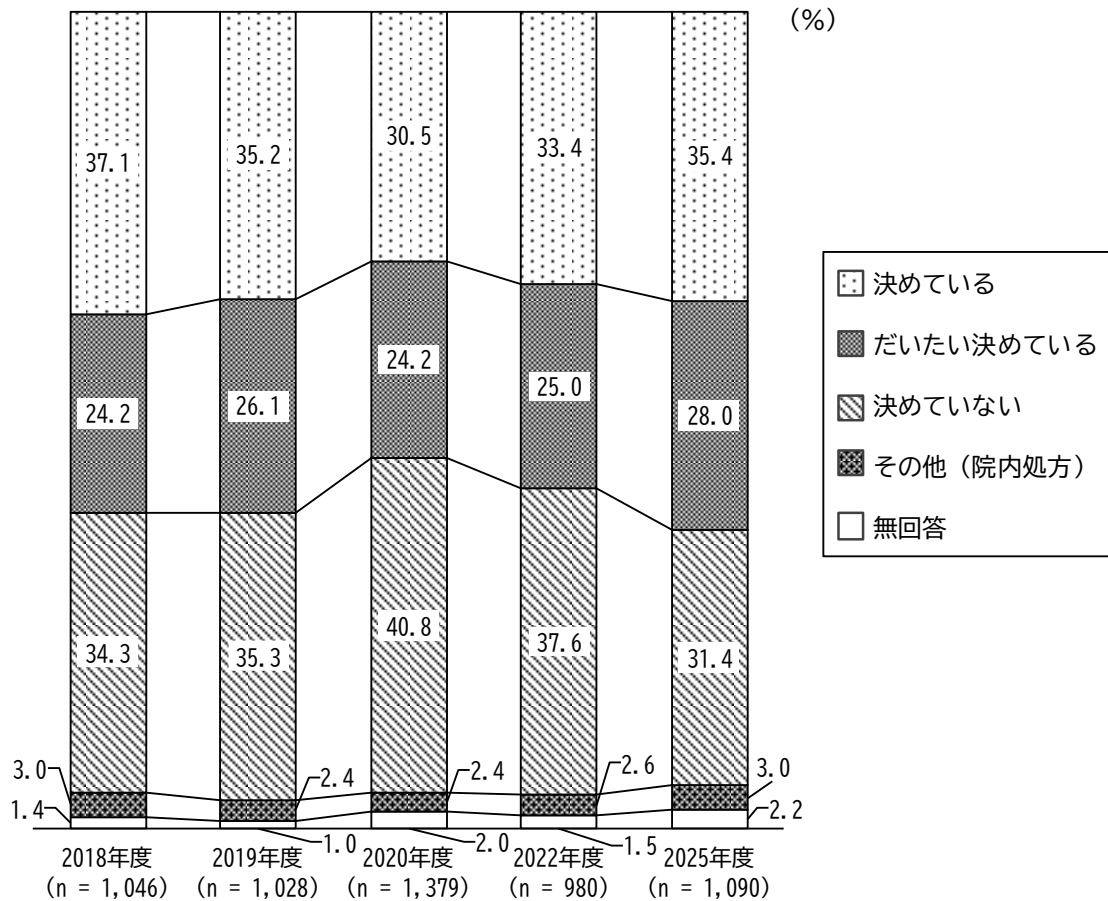


図 2-45 【経年比較】かかりつけの薬局の有無

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度に比べ、「決めている」と「だいたい決めている」を合わせた＜決めている＞が 5 ポイント増加している。

2.19 地域の救急医療体制が整っているか

◆地域の救急医療体制は＜整っている＞が8割台後半

(全員の方に)

問 30 あなたは、自宅のある地域で救急患者が出た場合に、病状に応じた適切な医療を受けられる環境が整っていると思いますか。(○は1つ)

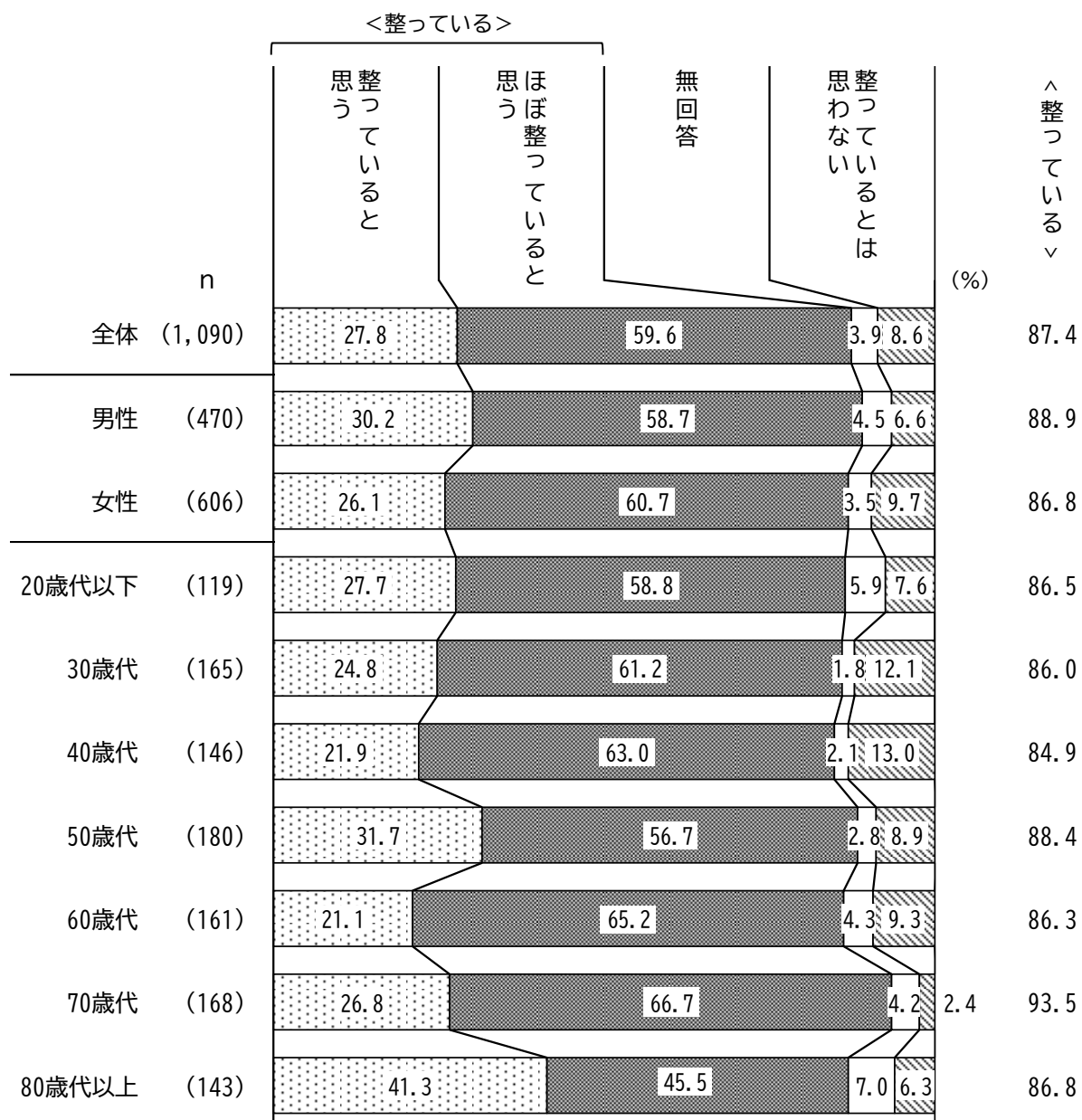


図 2-46 【性・年代別】地域の救急医療体制が整っているか

自宅のある地域で救急医療の体制が整っていると思うかについては、「整っていると思う」(27.8%)と「ほぼ整っていると思う」(59.6%)を合わせた＜整っている＞で 87.4%となっている。年代別にみると、＜整っている＞は 70 歳代で 9 割台前半となっており、他の年代と比較して高くなっている。

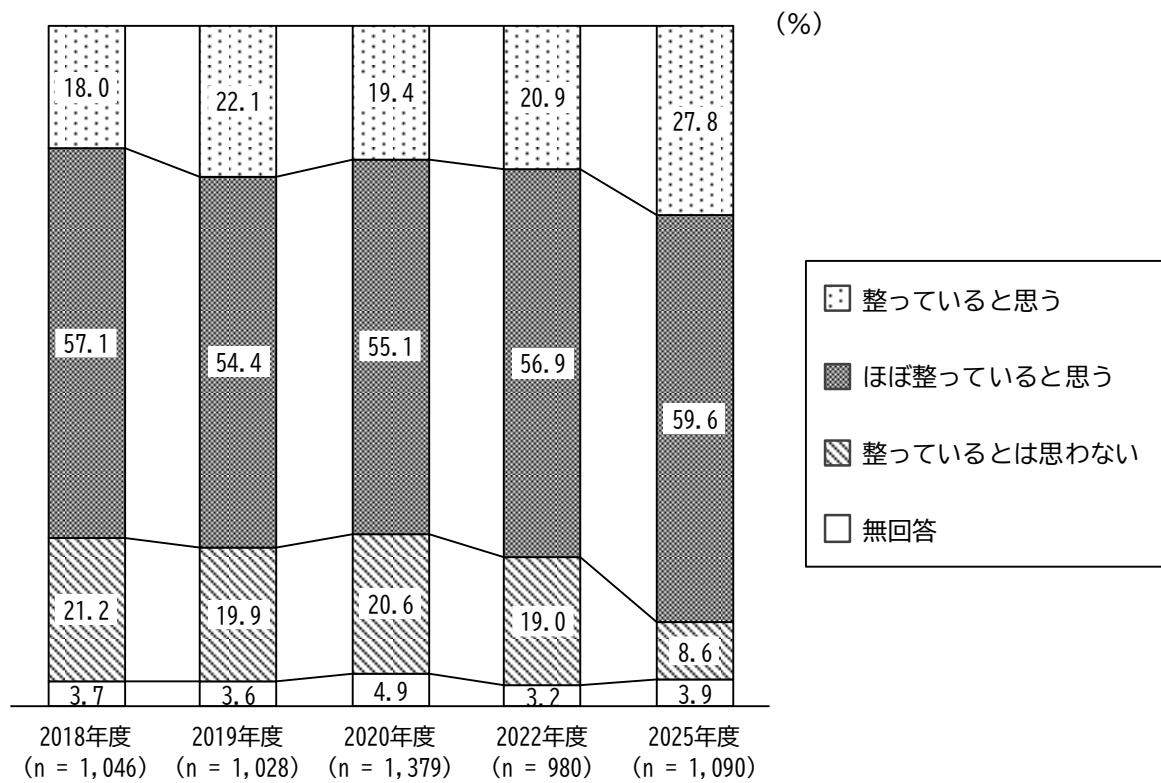


図 2-47 【経年比較】地域の救急医療体制が整っているか

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度に比べ、「整っていると思う」と「ほぼ整っていると思う」を合わせた＜整っている＞が 9.6 ポイント増加している。

2.19.1 地域の救急医療体制が整っていない理由

(問 30 で「3. 整っているとは思わない」に○をつけた方に)
問 30-1 整っているとは思わない理由をあげてください。(自由記述)

地域の救急医療体制が整っていないと回答した方に、整っているとは思わない理由を自由に記入していただいたところ、66 人の方から回答があった。その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

救急時の受け入れが整っていない 21 件

- 救急車のたらいまわし。(20 歳代以下)
- 突然の救急患者が症状に応じて受け入れられる準備があると思えない。(30 歳代)
- 以前救急を利用しようとした時に受け入れ先が遠く、乳児を連れての移動が大変だった。診てもらえるまでにかなり時間がかかった。(40 歳代)
- 緊急に医療が必要だった時、目の前の病院で診療できなかったから。(50 歳代)
- 以前に救急車を呼んだ時、病院さがしに時間がかかったことがある。(70 歳代)

近くに医療機関が整っていない・医療従事者がいない 17 件

- 家や職場の近くに病院は多い方だが、内科はあまりないように感じる。(20 歳代以下)
- 自宅の周囲に小さな病院しかない為、整っていないように思います。(30 歳代)
- 婦人科の病院が少ない。(40 歳代)
- 女医が少ない。総合診療医がいないため、たらい回し。(50 歳代)
- 近くに総合的な病院がない。(60 歳代)
- 病院が小さいから。(80 歳代以上)

情報がない・わからない 16 件

- 医療機関がどこにどれほどあるか把握していない。(20 歳代以下)
- いざとなったらどうしたら良いのか分からないので整っているとは思えない。(40 歳代)
- 引越して間がないので中野区医療体制がわかりません。どうしたらよいかわからないので整っているのかもわかりません。(60 歳代)

夜間・休日等の受け入れが整っていない 5 件

- 夜間、土日祝日に診察する医院が少ない。(30 歳代)
- 真夜中に体調不良でどうしようか苦しい中、ケイタイで検索した際に、救急車以外の手段を見つける事がなかなか出来なかった経験あり。(60 歳代)
- 個人医院は時間外診療を行っていないため、どうしても救急車頼みになってしまう。(60 歳代)

AED などが整っていない 2 件

- AED がある場所が少ない。近所の商店などにもあるといいと思う。(40 歳代)
- AED がどこにあるのか知らない、目に入らない。(60 歳代)

その他 5 件

- 中野区ははしっこなので(すぐ横が渋谷区)、最寄りの病院は必ずしも中野区ではなく、中野区と渋谷区で連携してほしい。(40 歳代)
- まずは地域の病院にかからないと、紹介状などが必要であるため。(40 歳代)

2.20 医療・介護サービスや見守り環境が整っているか

◆医療、介護サービスや地域の見守り等の環境が＜整っている＞は5割半ば

(全員の方に)

問 31 介護や病気で療養が必要になっても、医療、介護サービスや地域の見守り等を受けながら、身近な地域で暮らし続けられる環境が整っていると思いますか。(○は1つ)

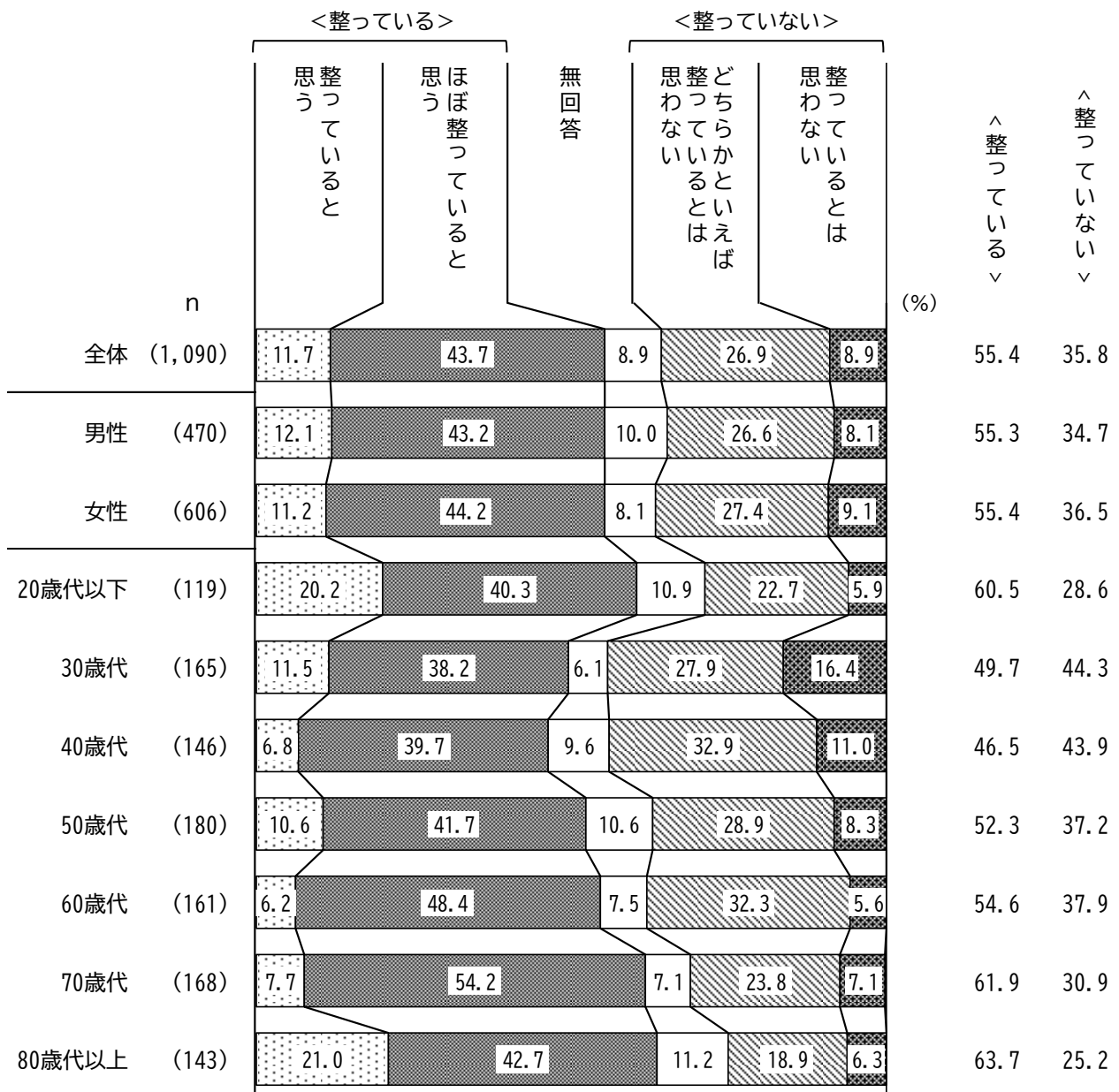
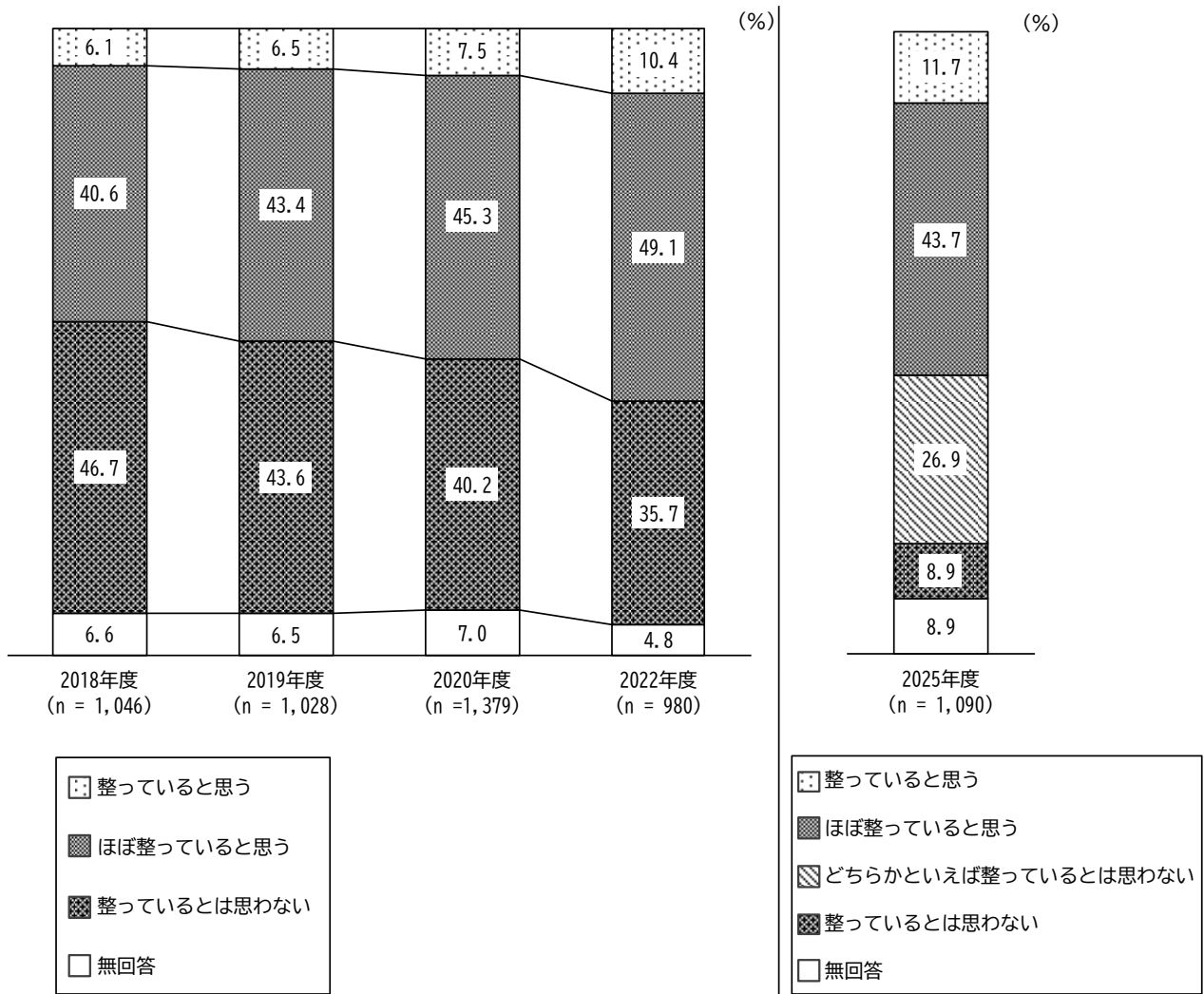


図 2-48 【性・年代別】医療、介護サービスや地域の見守り等の環境が整っているか

医療、介護サービスや地域の見守り等を受けながら、身近な地域で暮らし続けられる環境が整っていると思うかについては、「整っていると思う」(11.7%)と「ほぼ整っていると思う」(43.7%)を合わせた＜整っている＞で55.4%となっている。年代別にみると、30歳～40歳代で＜整っていない＞が4割を超えて高くなっている。



※2022年度までは「どちらかといえば整っているとは思わない」が選択肢にないため、参考として2018年度から2022年度までの経年比較を掲載する。

図2-49 【経年比較】医療、介護サービスや地域の見守り等の環境が整っているか

2.21 長期療養が必要になった場合の生活

◆長期療養が必要になった場合の生活は「医療機関や施設に入院・入所したい」が約４割

(全員の方に)

問 32 脳卒中の後遺症やがん等で長期の療養が必要となった場合、あなたはどのような生活をお考えですか。(○は1つ)

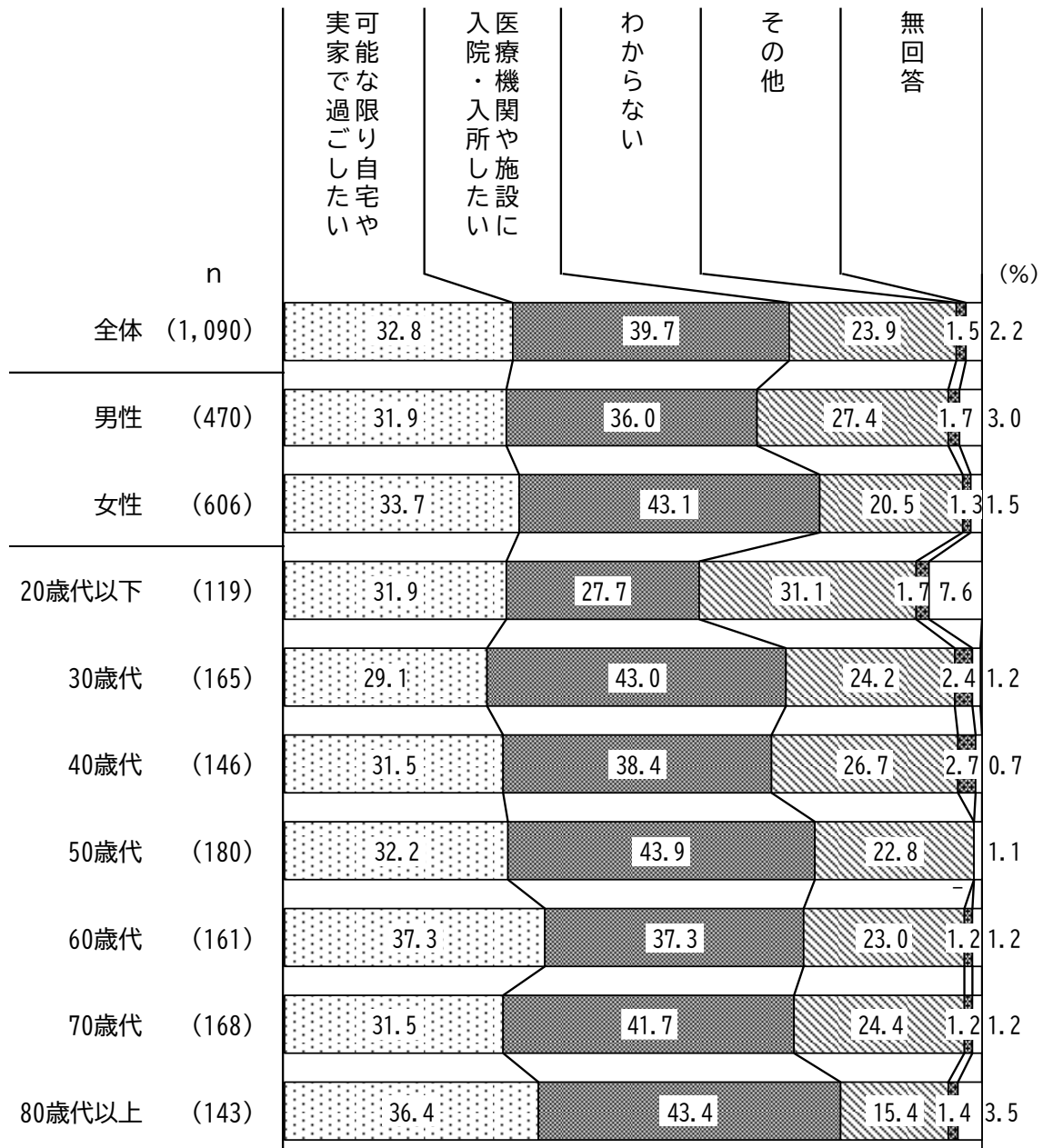


図 2-50 【性・年代別】長期療養が必要になった場合の生活

長期療養が必要になった場合の生活は、「医療機関や施設に入院・入所したい」が39.7%で最も高く、次いで「可能な限り自宅や実家で過ごしたい」が32.8%、「わからない」が23.9%となっている。性別にみると、「医療機関や施設に入院・入所したい」は女性(43.1%)が男性(36.0%)を約7ポイント上回っている。年代別にみると、20歳代以下と60歳代以外のすべての年代で「医療機関や施設に入院・入所したい」割合が「可能な限り自宅や実家で過ごしたい」を上回っている。

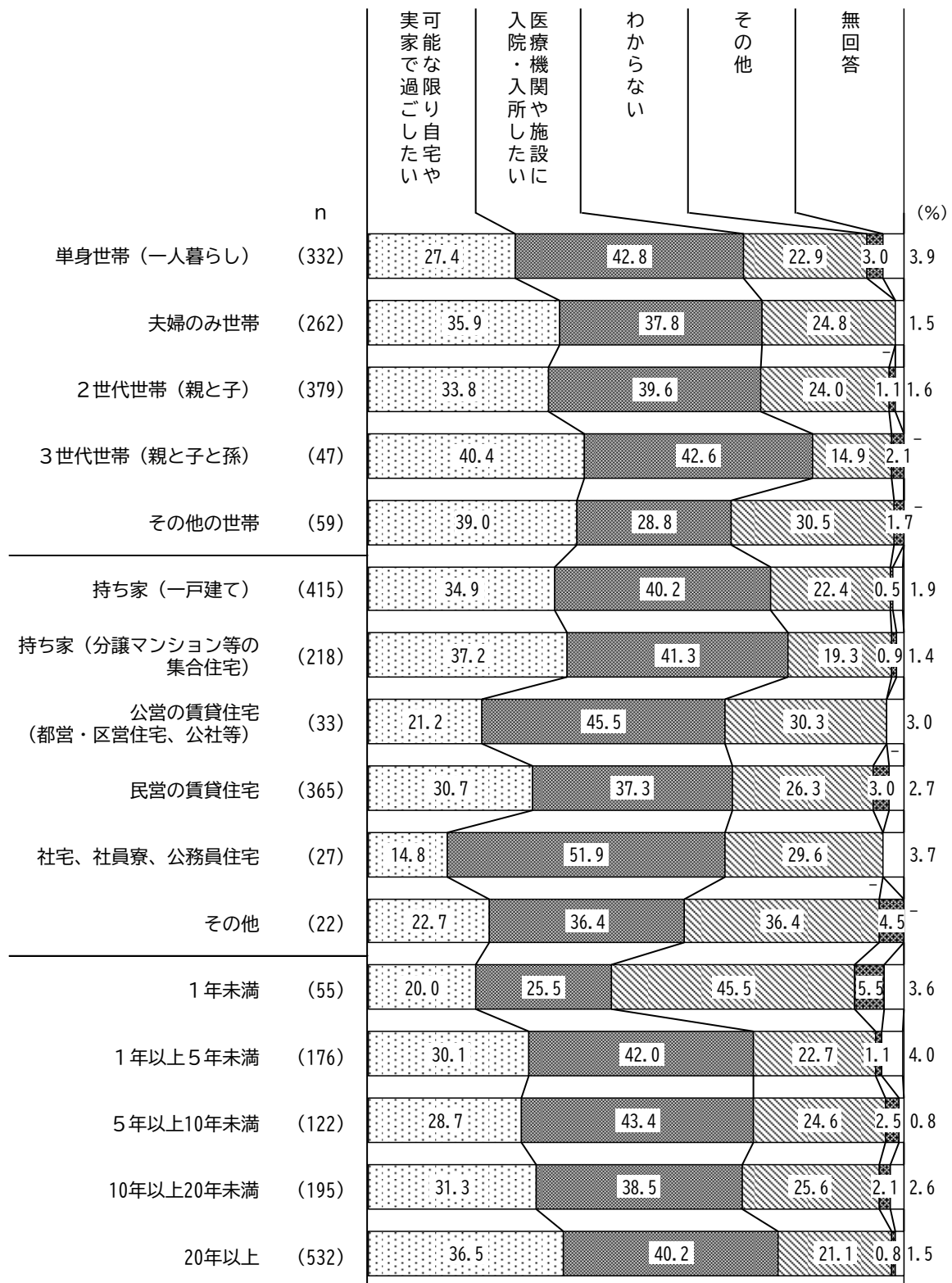


図 2-51 【世帯構成・住居形態・居住年数別】長期療養が必要になった場合の生活

長期療養が必要になった場合の生活を世帯構成・住居形態・居住年数別にみると、「可能な限り自宅や実家で過ごしたい」の割合は、世帯構成が「3世代世帯（親と子と孫）」「その他の世帯」、住居形態が「持ち家（分譲マンション等の集合住宅）」、居住年数が「20年以上」などで高くなっている。

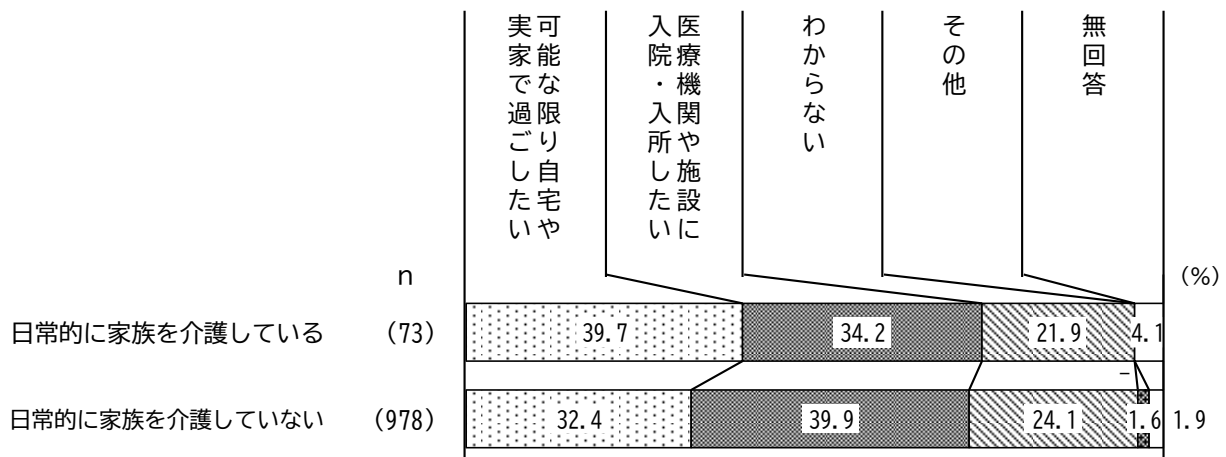


図 2-52 【介護の有無別】長期療養が必要になった場合の生活

長期療養が必要になった場合の生活を介護の有無別でみると、日常的に家族を介護している人は「可能な限り自宅や実家で過ごしたい」、日常的に家族を介護していない人は「医療機関や施設に入院・入所したい」の割合が高くなっている。

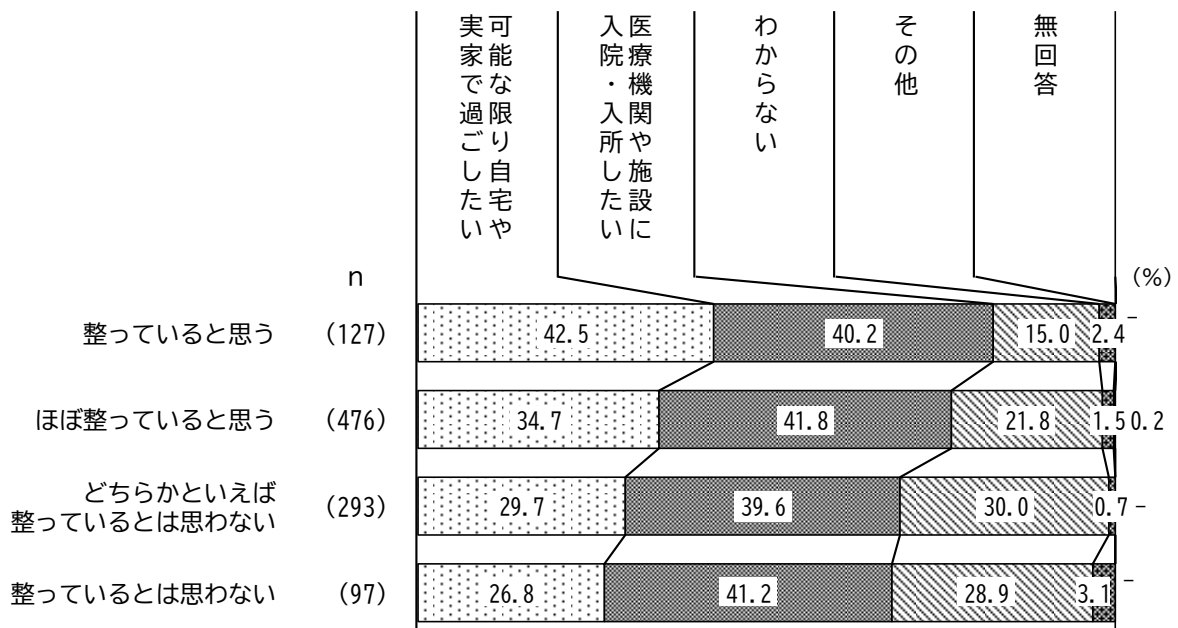


図 2-53 【問 31 の回答別】長期療養が必要になった場合の生活

問 31（医療、介護サービスや地域の見守り等を受けながら、身近な地域で暮らし続けられる環境が整っていると思うか）の回答別でみると、「整っていると思う」と回答した人は、「可能な限り自宅や実家で過ごしたい」の割合が高くなっている。

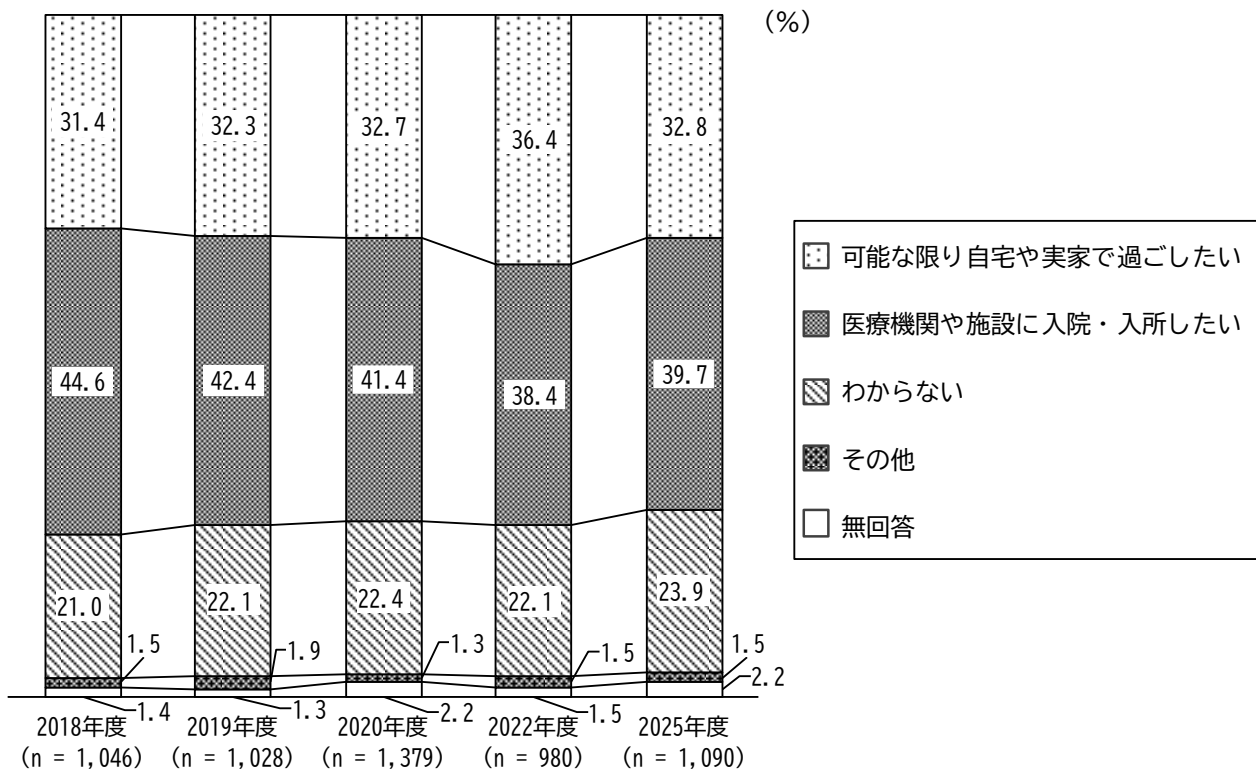


図 2-54 【経年比較】長期療養が必要になった場合の生活

経年で比較すると、大きな差異はみられない。

2.21.1 長期療養の際、入院・入所したい理由

◆長期療養の際に入院・入所したい理由は「家族に負担をかけるから」が約7割

（問 32 で「2. 医療機関や施設に入院・入所したい」に○をつけた方に）

問 32-1 あなたが医療機関や施設に入院・入所したいとお考えの理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

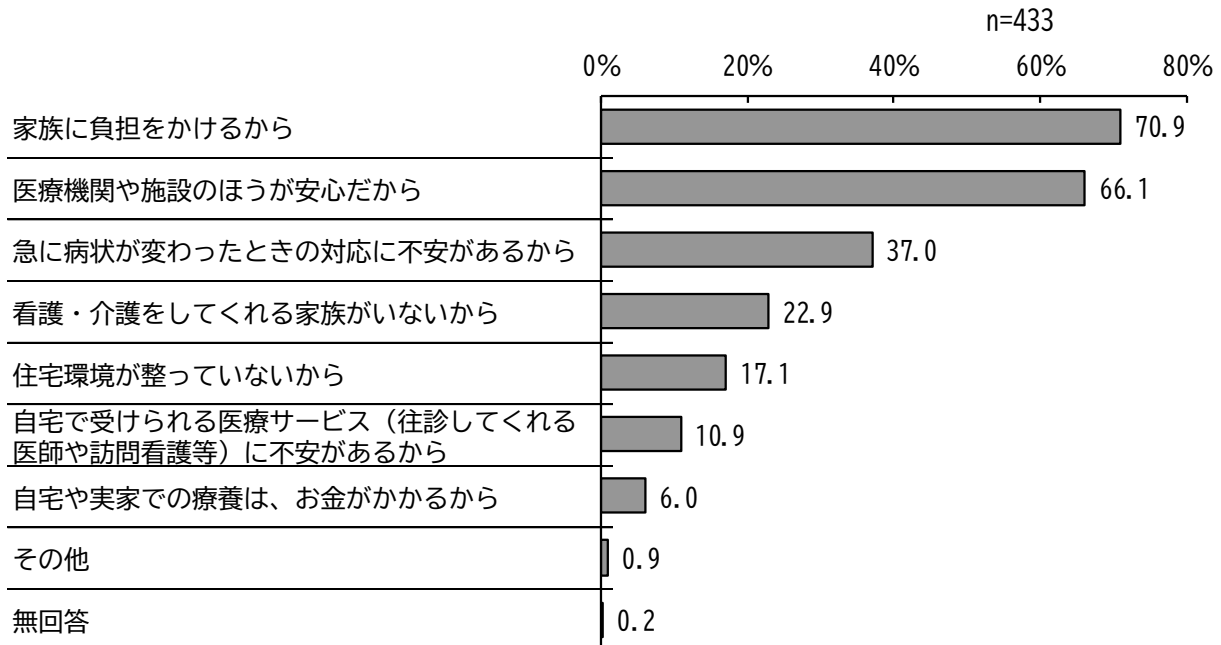
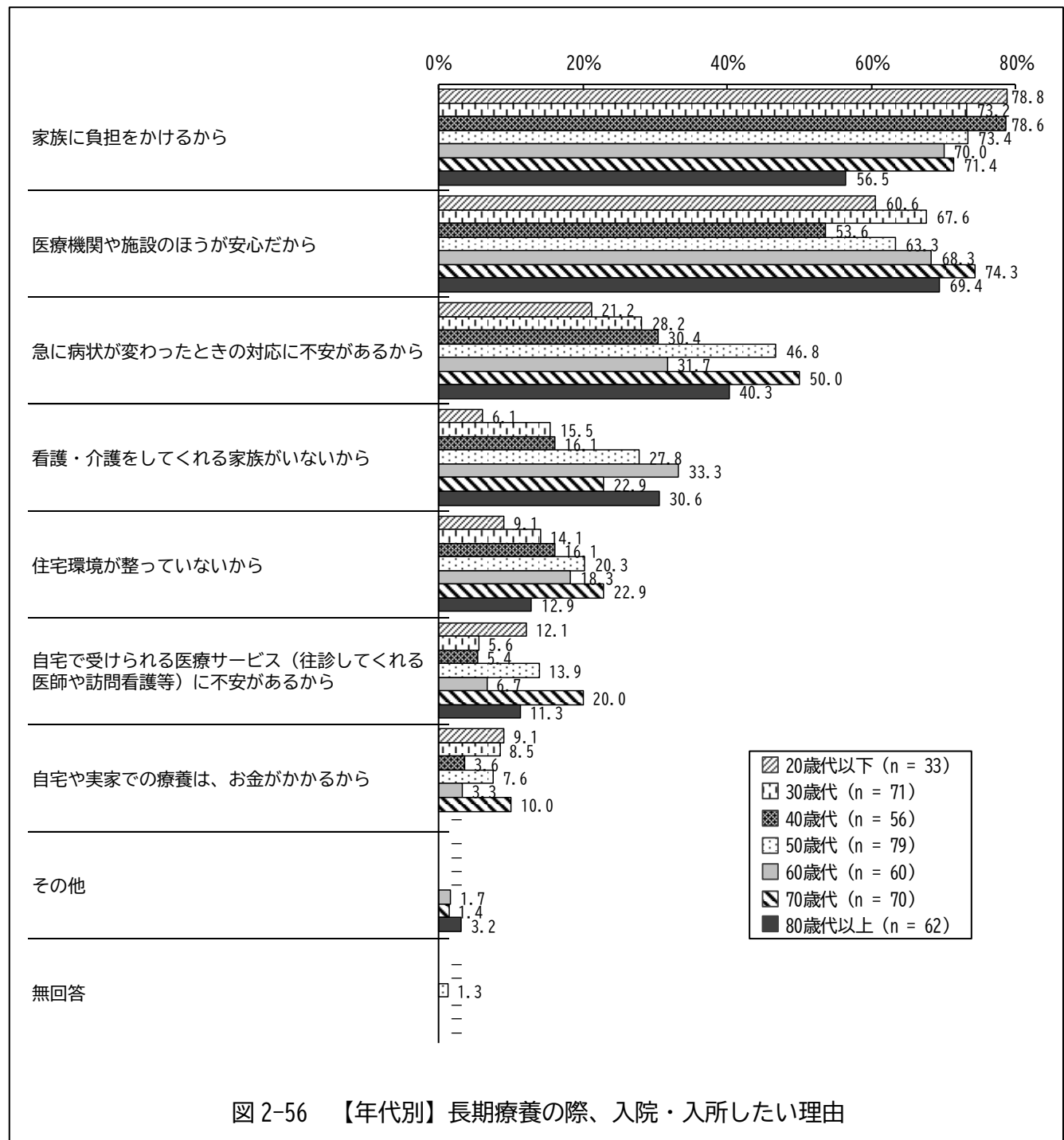
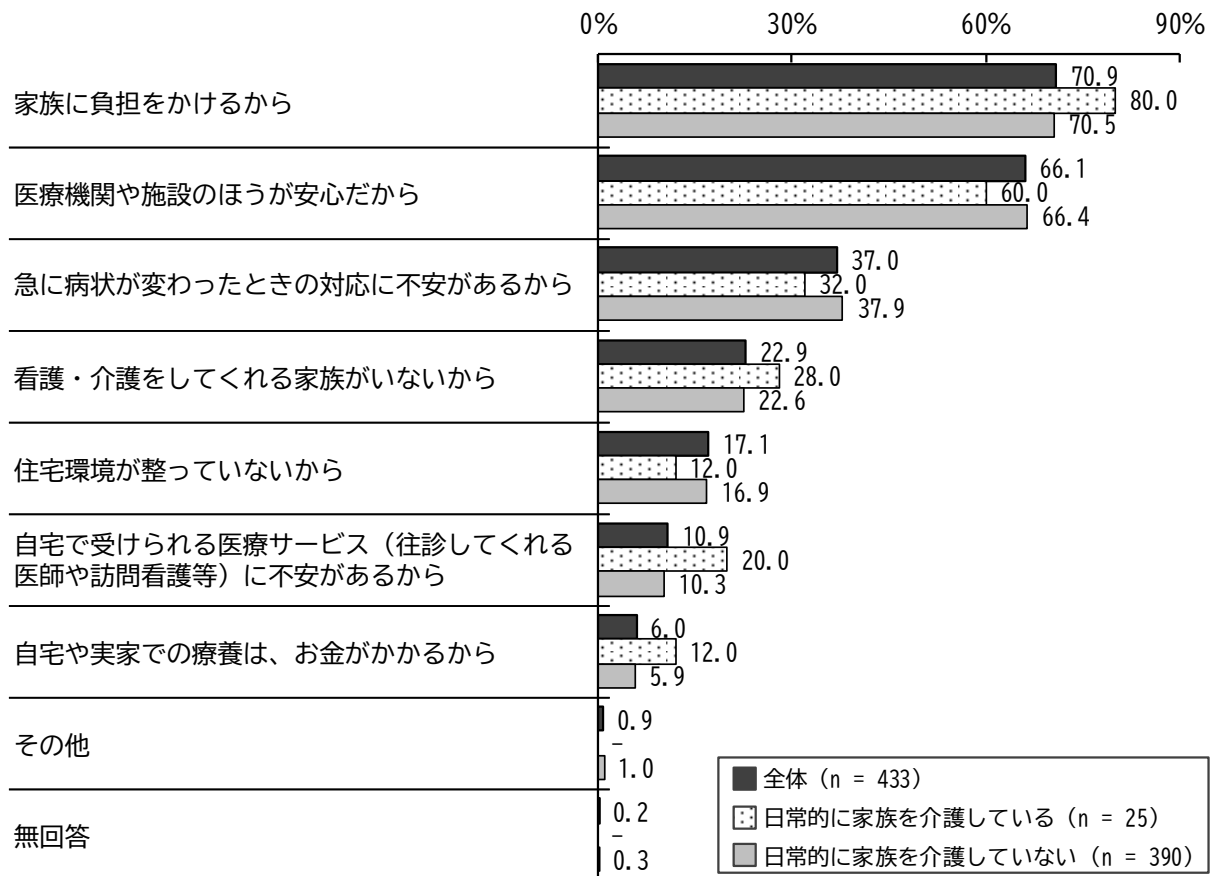


図 2-55 長期療養の際、入院・入所したい理由

長期療養が必要になった場合、医療機関や施設に入院・入所したい方にその理由を聞いたところ、「家族に負担をかけるから」が70.9%で最も高く、次いで「医療機関や施設のほうが安心だから」(66.1%)、「急に病状が変わったときの対応に不安があるから」(37.0%)となっている。

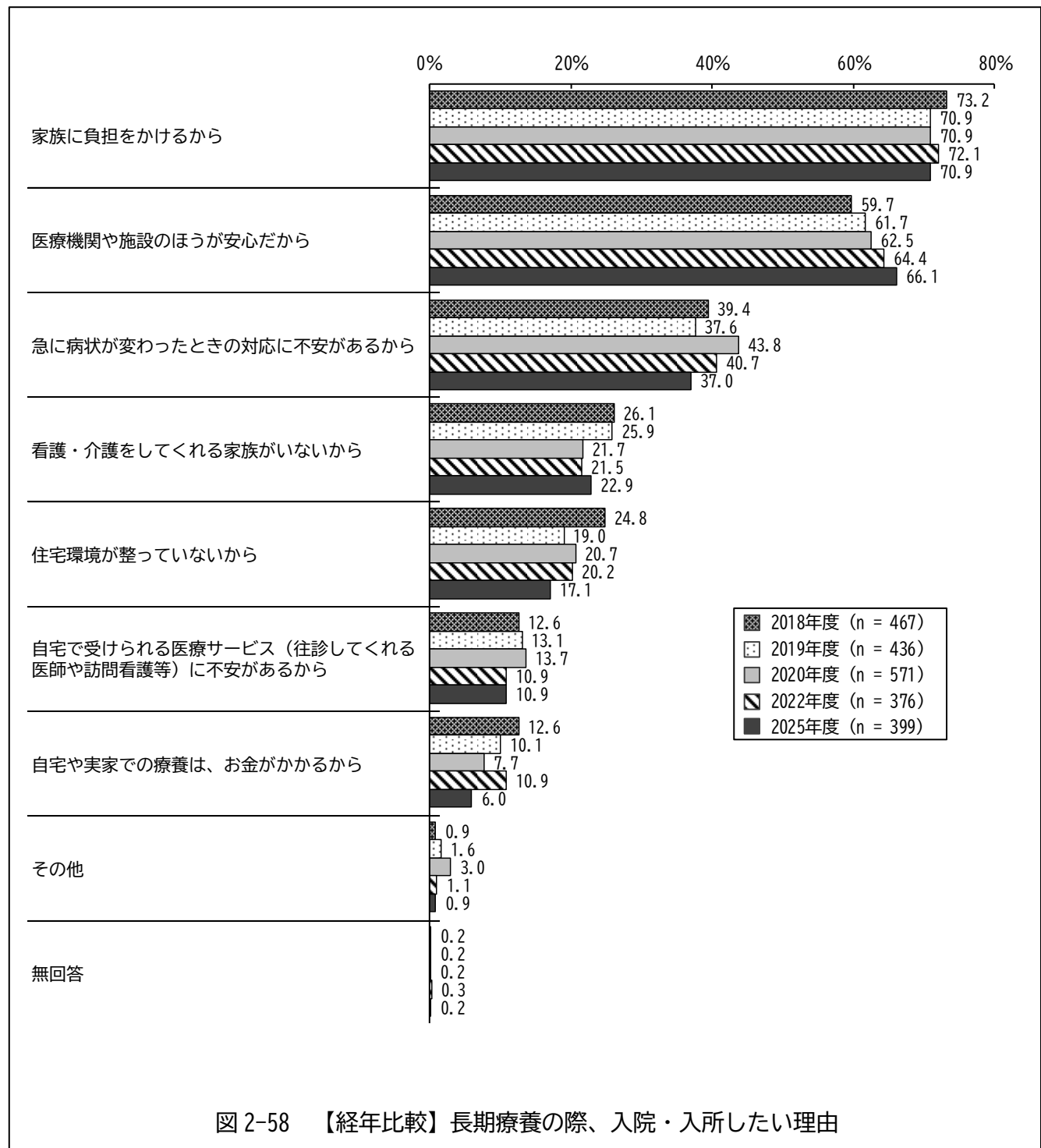


長期療養が必要になった場合、医療機関や施設に入院・入所したい理由を年代別にみると、20 歳代以下～60 歳代では「家族に負担をかけるから」、70 歳代以上では「医療機関や施設のほうが安心だから」の割合が最も高くなっている。



※日常的に家族を介護している方の基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 2-57 【介護の有無別】長期療養の際、入院・入所したい理由



経年で比較すると、「医療機関や施設のほうが安心だから」が増加傾向にある。

2.22 自身や家族がうつ病になった際の相談先

◆「うつ病」になった際は「精神科等の専門医療機関に相談（受診）する」が約4割

（全員の方に）

問 33 「うつ病」は誰でもかかる可能性があります。あなたもしくはあなたの家族がそういう状態になったとき、あなたが抵抗なく相談できると考えるところはどこですか。（○は1つ）

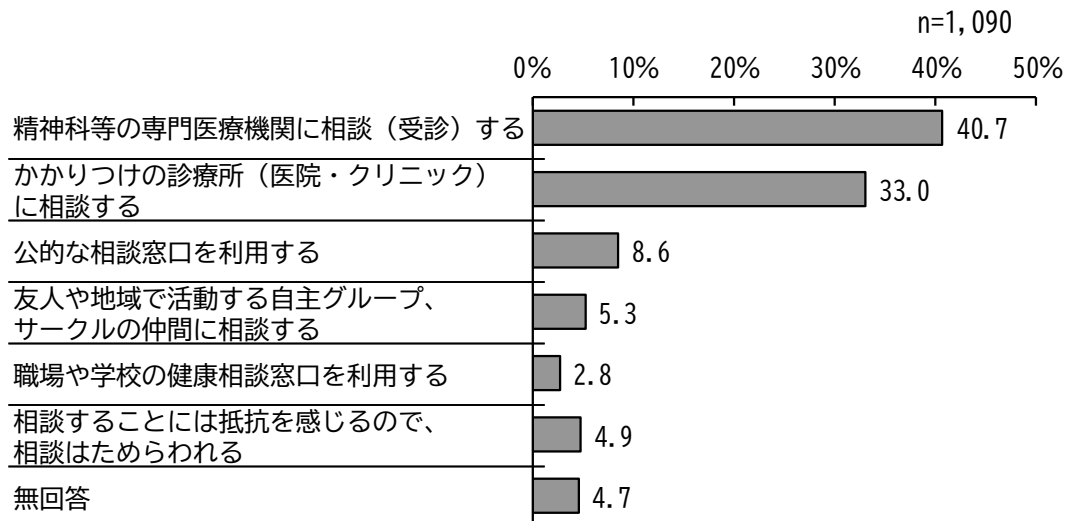


図 2-59 自身や家族がうつ病になった際の相談先

自身や家族がうつ病になった際の相談先として、「精神科等の専門医療機関に相談（受診）する」が40.7%と最も高く、次いで「かかりつけの診療所（医院・クリニック）に相談する」（33.0%）、「公的な相談窓口を利用する」（8.6%）となっている。

表 2-12 【経年比較】自身や家族がうつ病になった際の相談先

単位：％

区分	有効回答数（件）	かかりつけの診療所（医院・クリニック）に相談する	精神科等の専門医療機関に相談（受診）する	公的な相談窓口を利用する	職場や学校の健康相談窓口を利用する	友人や地域で活動する自主グループ、サークルの仲間に相談する	相談することには抵抗を感じるため、相談はためられる	無回答
2017年度	1,078	36.9	61.8	19.4	7.5	10.2	5.1	2.5
2018年度	1,046	46.0	59.4	21.2	6.7	8.3	6.0	1.7
2019年度	1,028	45.6	59.2	19.6	5.5	7.6	5.1	2.7
2020年度	1,379	45.1	57.5	17.7	5.4	8.8	6.4	1.8
2025年度	1,090	33.0	40.7	8.6	2.8	5.3	4.9	4.7

2020 年度まで質問が複数回答形式のため、経年比較は参考として掲載する。

2.23 自殺対策は自分自身に関わることと思うか

◆自殺対策は自分自身に関わることと＜思う＞が3割台前半

(全員の方に)

問 34 自殺対策は、自分自身に関わることだと思いますか。(○は1つ)

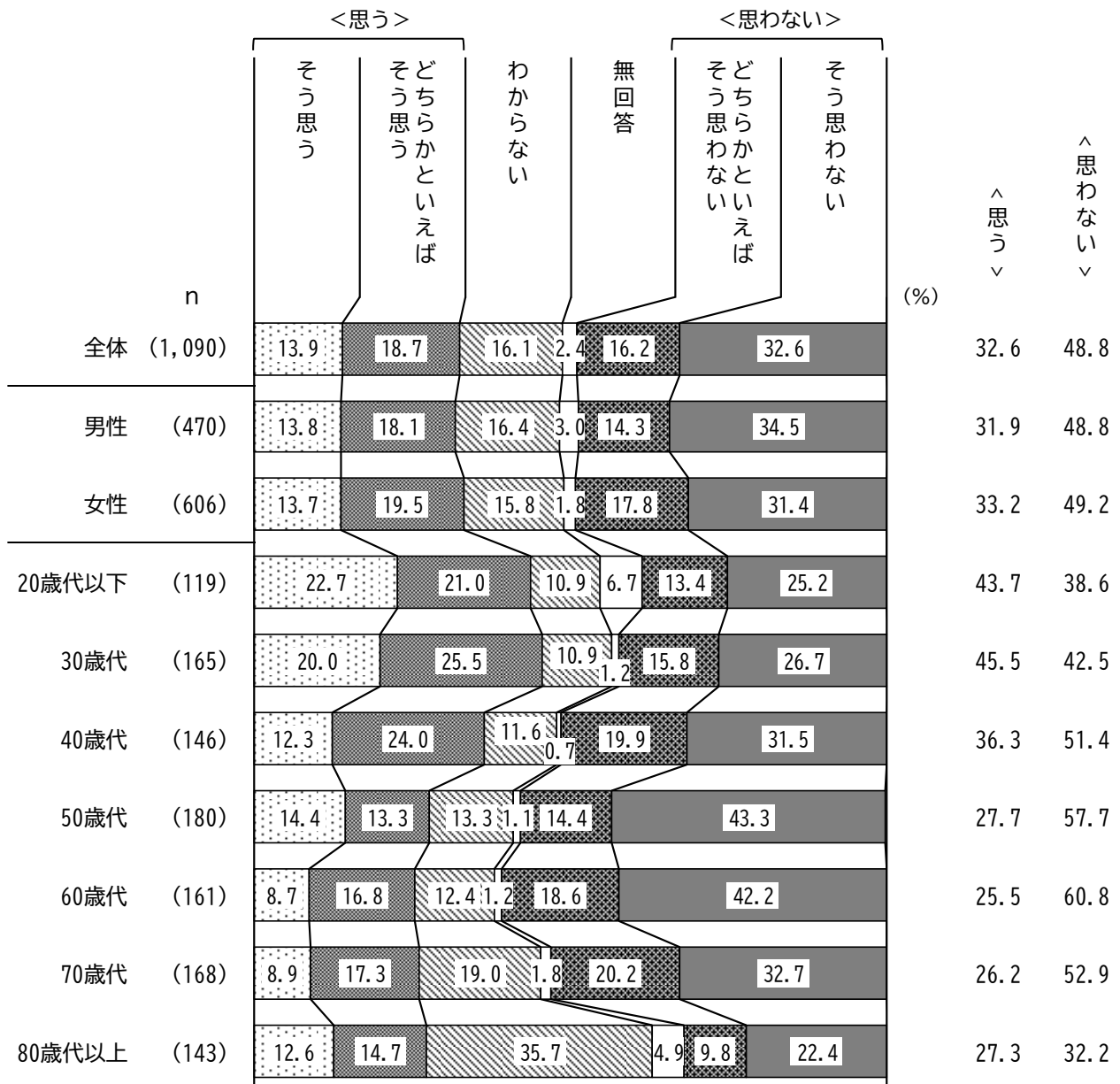


図 2-60 【性・年代別】自殺対策は自分自身に関わることと思うか

自殺対策は自分自身に関わることと思うかについては、「そう思う」(13.9%)と「どちらかといえばそう思う」(18.7%)を合わせた＜思う＞が32.6%に対し、「そう思わない」(32.6%)と「どちらかといえばそう思わない」(16.2%)を合わせた＜思わない＞は48.8%となっている。年代別にみると、30歳代以下で＜思う＞が4割を超えており、他の年代と比較して高くなっている。

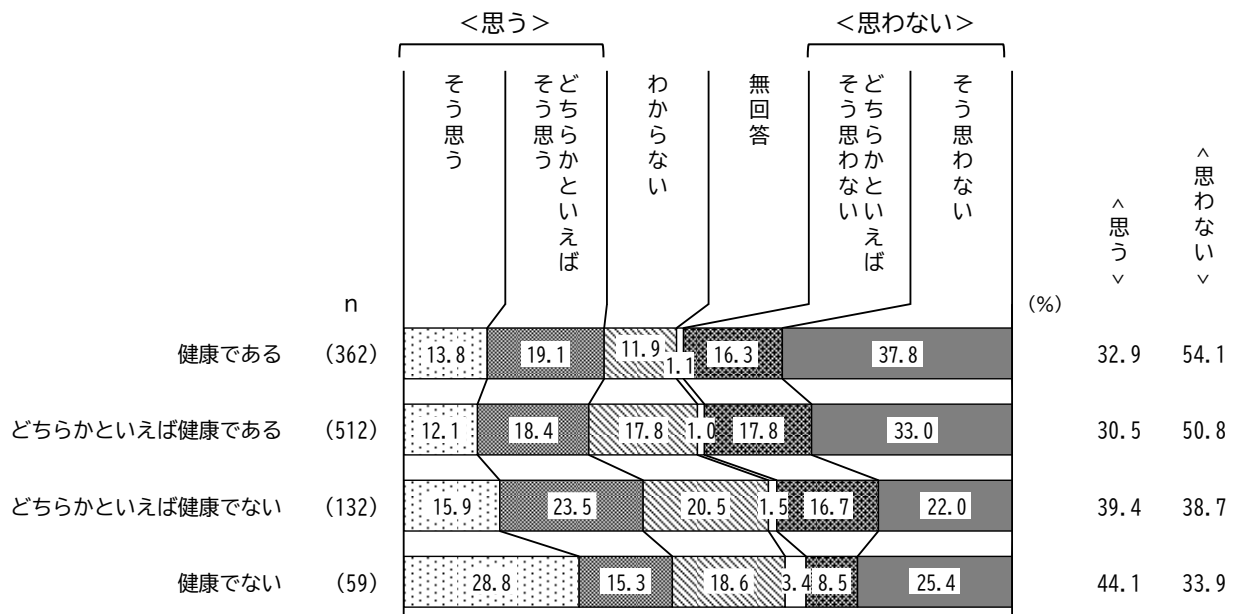


図 2-61 【健康感別】自殺対策は自分自身に関わると思うか

健康感別にみると、健康でないと感じている人の方が、自殺対策は自分自身に関わると思う割合が高くなっている。

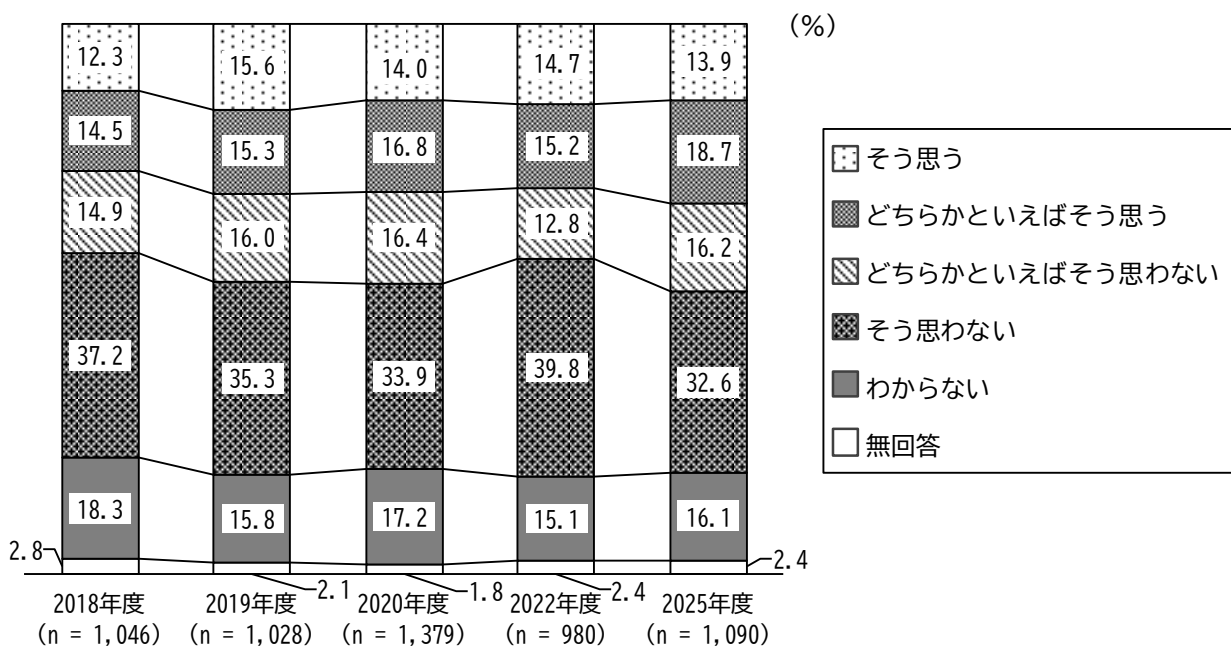


図 2-62 【経年比較】自殺対策は自分自身に関わると思うか

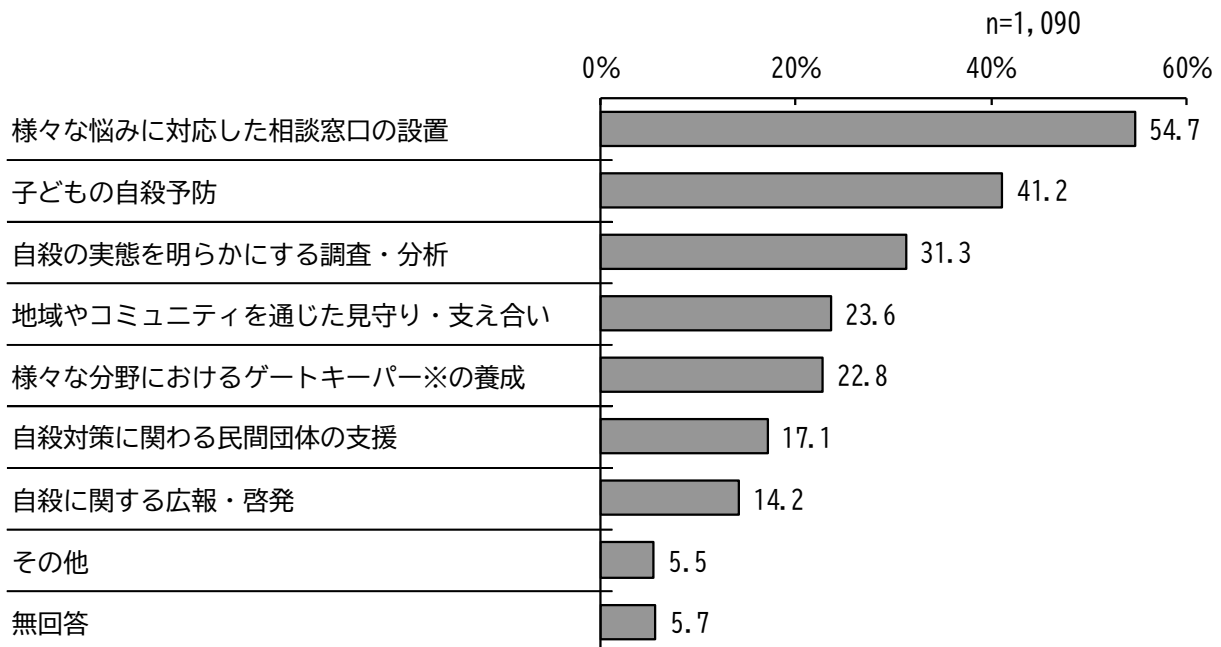
経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度と比べ「そう思わない」が約 7 ポイント減少している。

2.24 今後必要な自殺対策

◆今後必要な自殺対策は「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」が5割半ば

(全員の方に)

問 35 今後、どのような自殺対策が必要になると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



※ゲートキーパー…自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)をはかることができる人のこと。

図 2-63 今後必要な自殺対策

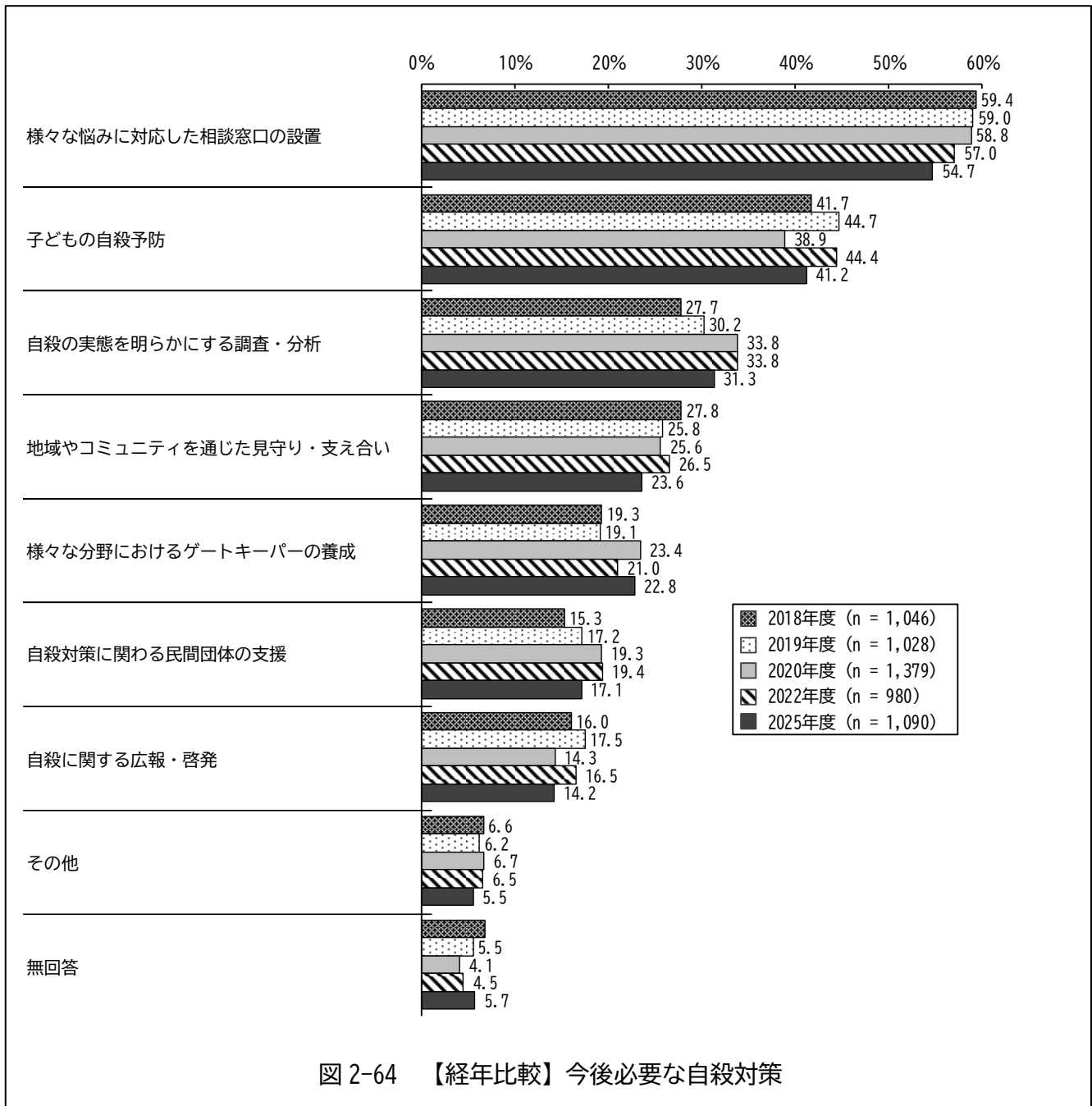
今後必要な自殺対策は、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」が 54.7%で最も高く、次いで「子どもの自殺予防」(41.2%)、「自殺の実態を明らかにする調査・分析」(31.3%)、「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い」(23.6%)となっている。

表 2-13 【性・年代別】今後必要な自殺対策

単位：％

区分	有効回答数（件）	自殺の実態を明らかにする調査・分析	様々な分野におけるゲートキーパーの養成	地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い	様々な悩みに対応した相談窓口の設置	自殺対策に関わる民間団体の支援	自殺に関する広報・啓発	子どもの自殺予防	その他	無回答
全体	1,090	31.3	22.8	23.6	54.7	17.1	14.2	41.2	5.5	5.7
男性	470	33.2	20.4	23.8	50.9	17.2	17.4	39.6	5.7	5.3
女性	606	29.7	24.8	23.3	57.6	16.2	11.9	42.6	5.4	5.9
20歳代以下	119	33.6	20.2	22.7	36.1	9.2	10.9	40.3	5.9	7.6
30歳代	165	32.1	31.5	24.8	47.3	14.5	13.3	44.2	7.9	3.0
40歳代	146	32.2	29.5	22.6	49.3	17.1	10.3	50.0	7.5	0.7
50歳代	180	31.1	27.8	22.2	59.4	19.4	15.6	43.3	3.9	2.8
60歳代	161	24.2	22.4	28.0	67.1	20.5	19.3	42.2	4.3	3.7
70歳代	168	36.3	15.5	21.4	64.9	18.5	15.5	41.7	4.8	6.5
80歳代以上	143	29.4	11.9	23.8	53.1	16.1	14.0	25.2	4.9	16.8

性別にみると、「自殺の実態を明らかにする調査・分析」「自殺に関する広報・啓発」は男性、「様々な分野におけるゲートキーパーの養成」「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」は女性の割合が高くなっている。年代別にみると、20歳代以下と40歳代では「子どもの自殺予防」、他の年代では「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」が最も高くなっている。



経年で比較すると、2025年度は2022年度と比べ、「様々な分野におけるゲートキーパーの養成」以外のすべての項目で減少している。

2.25 感染症の予防で心がけていること

◆感染症の予防では「感染症の流行時には手洗い・うがいをするよう心がけている」が7割台前半

(全員の方に)

問 36 あなたが、感染症の予防について考えたり、心がけていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

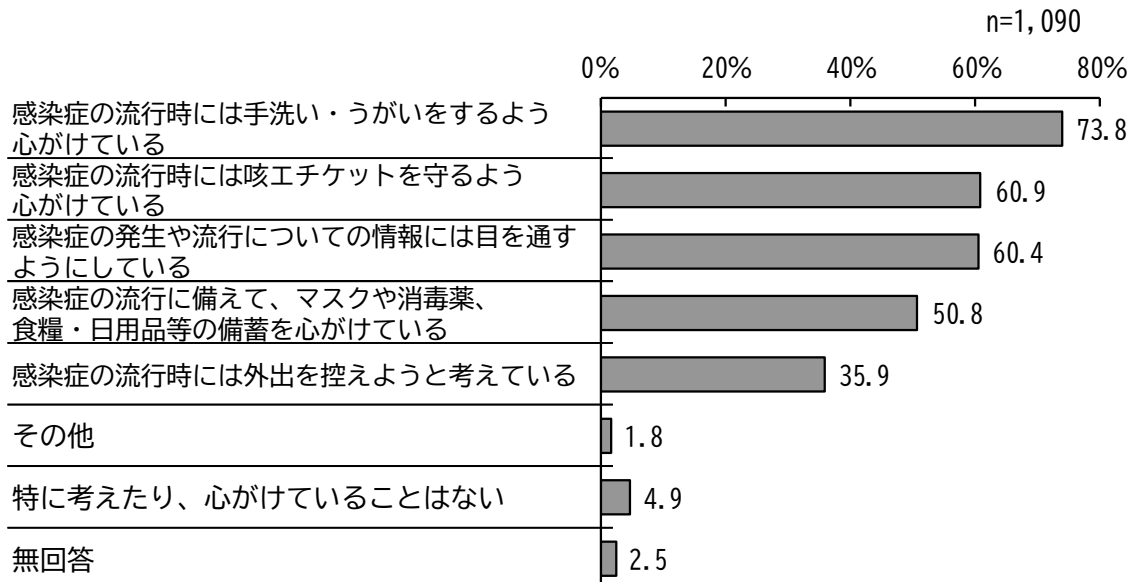
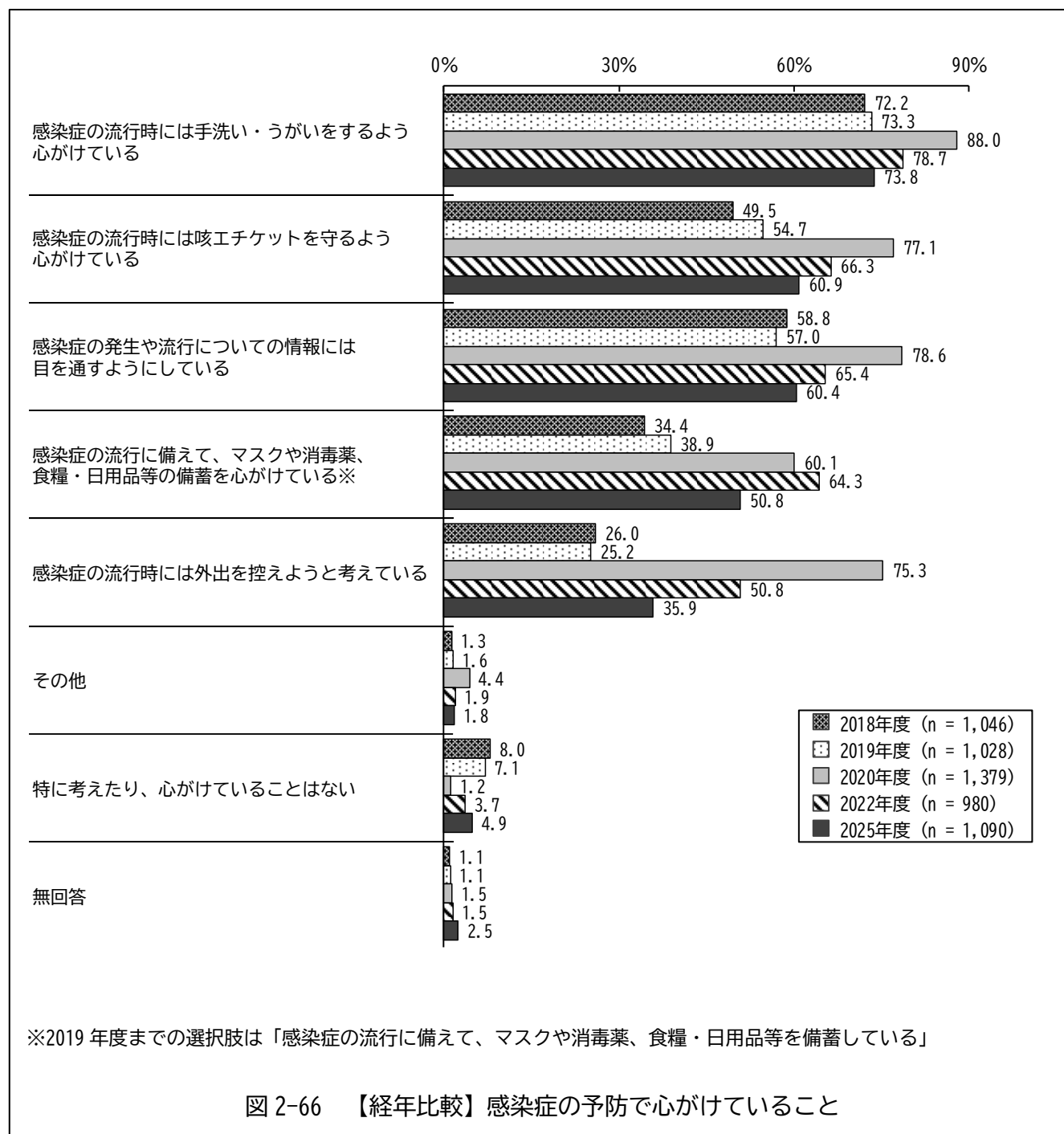


図 2-65 感染症の予防で心がけていること

感染症の予防について考えたり、心がけていることは、「感染症の流行時には手洗い・うがいをするよう心がけている」が73.8%で最も高く、次いで「感染症の流行時には咳エチケットを守るよう心がけている」(60.9%)、「感染症の発生や流行についての情報には目を通すようにしている」(60.4%)、「感染症の流行に備えて、マスクや消毒薬、食糧・日用品等の備蓄を心がけている」(50.8%)となっている。



経年で比較すると、感染症の予防について考えたり、心がけていることは、2025年度は2022年度と比べすべての項目で減少しており、特に「感染症の流行に備えて、マスクや消毒薬、食糧・日用品等の備蓄を心がけている」「感染症の流行時には外出を控えようと考えている」は10ポイント以上大幅に減少している。

2.26 加工食品等の栄養成分表示を参考にしているか

◆何らかの加工食品等の栄養成分表示を＜参考にしている＞が6割台前半

(全員の方に)

問 37 加工食品等のパッケージには、エネルギーやたんぱく質量等の表示がされている場合がありますが、それらの加工食品や調理済みの料理を購入する時に、表示されている栄養成分を参考にしていますか。(○は1つ)

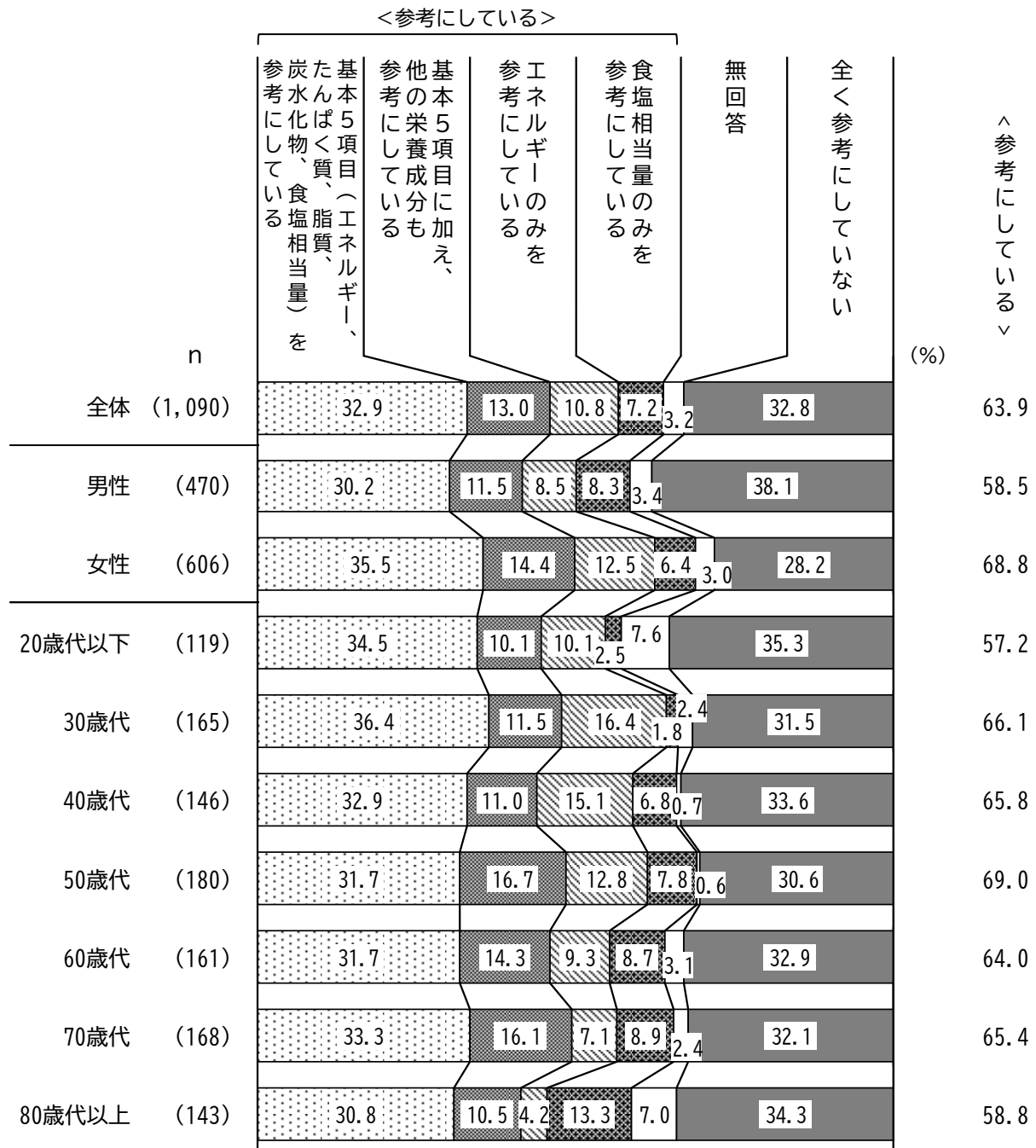
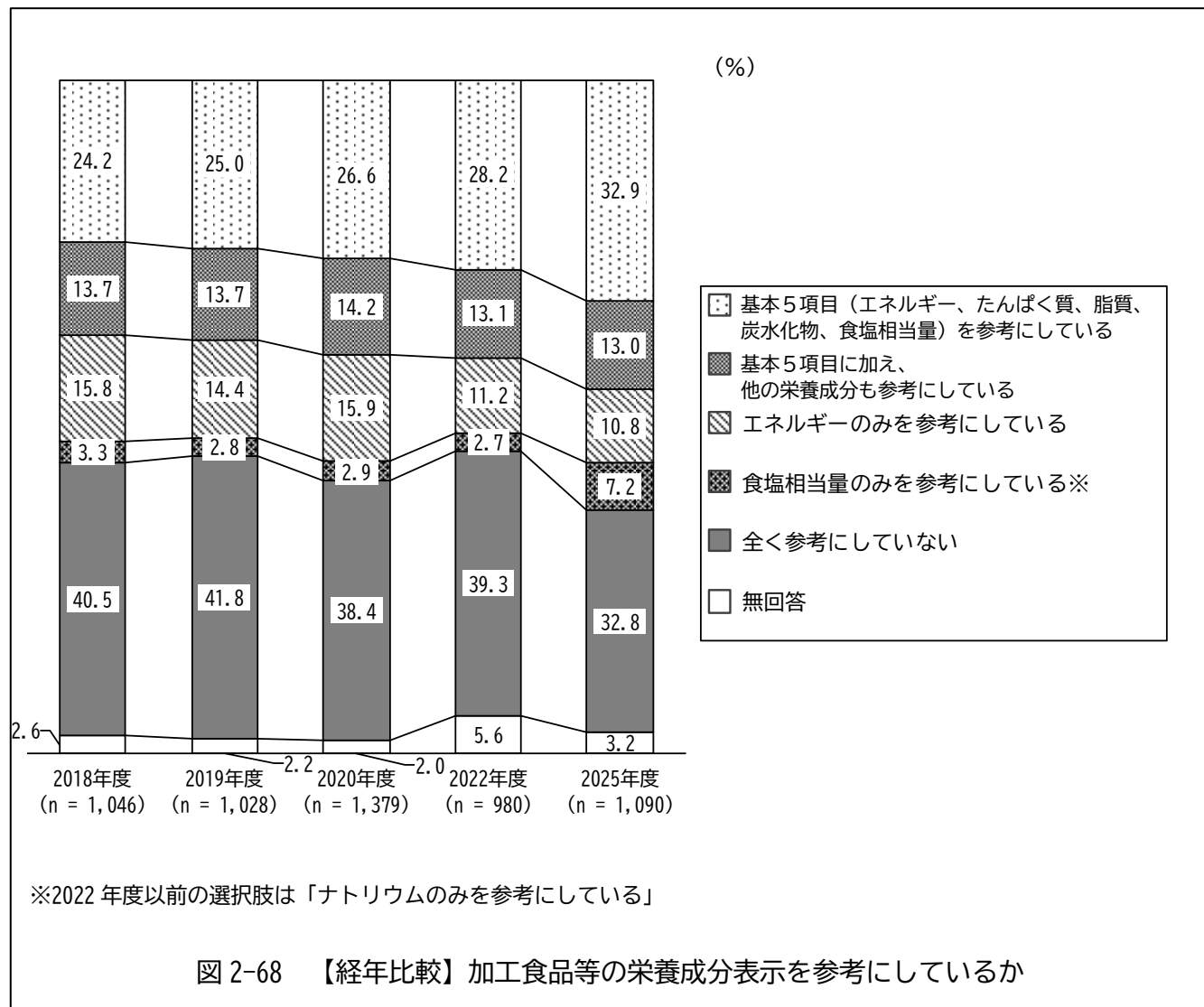


図 2-67 【性・年代別】加工食品等の栄養成分表示を参考にしているか

加工食品等の栄養成分表示の参考の度合いは、「基本5項目（エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量）を参考にしている」が32.9%で最も高く、次いで「全く参考にしていない」（32.8%）となっている。性別にみると、＜参考にしている＞は女性（68.8%）が男性（58.5%）を10.6ポイント上回っている。年代別にみると、＜参考にしている＞は30歳～70歳代で6割台となっている。



経年で比較すると、2025年度は2022年度と比べ、「基本5項目（エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量）を参考になっている」で4.7ポイント、「食塩相当量のみを参考になっている」で4.5ポイント増加している。

2.27 食中毒に関する認識

◆食中毒に関する認識は＜理解している＞が6割半ば

(全員の方に)

問 38 あなたの食中毒に関する認識に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

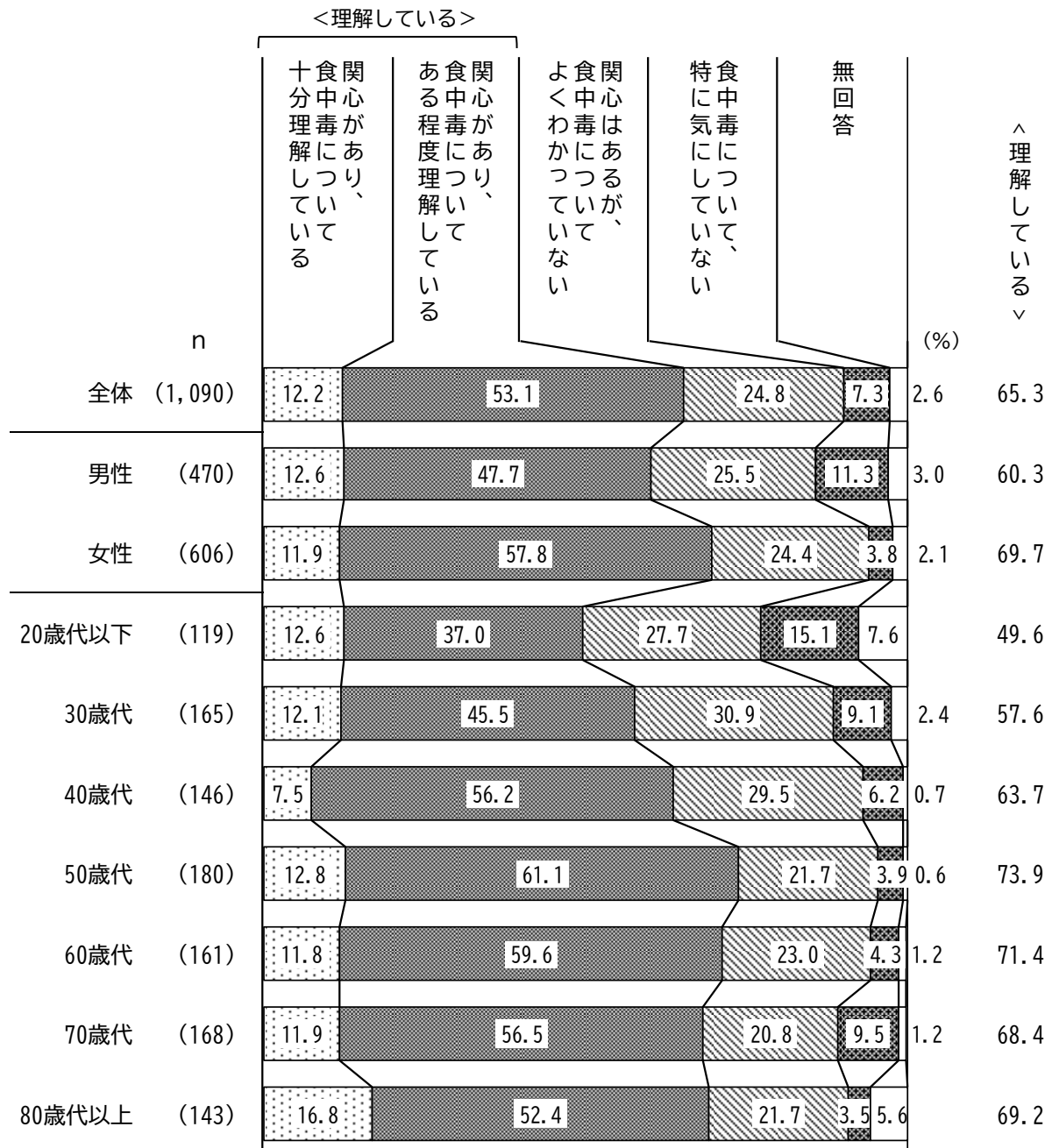


図 2-69 【性・年代別】食中毒に関する認識

食中毒に関する認識の度合いは、「関心があり、食中毒について十分理解している」(12.2%)と「関心があり、食中毒についてある程度理解している」(53.1%)を合わせた＜理解している＞で65.3%となっている。性別にみると、＜理解している＞は女性(69.7%)が男性(60.3%)を9.4ポイント上回っている。年代別にみると、＜理解している＞は50歳～60歳代で7割台と高くなっている。

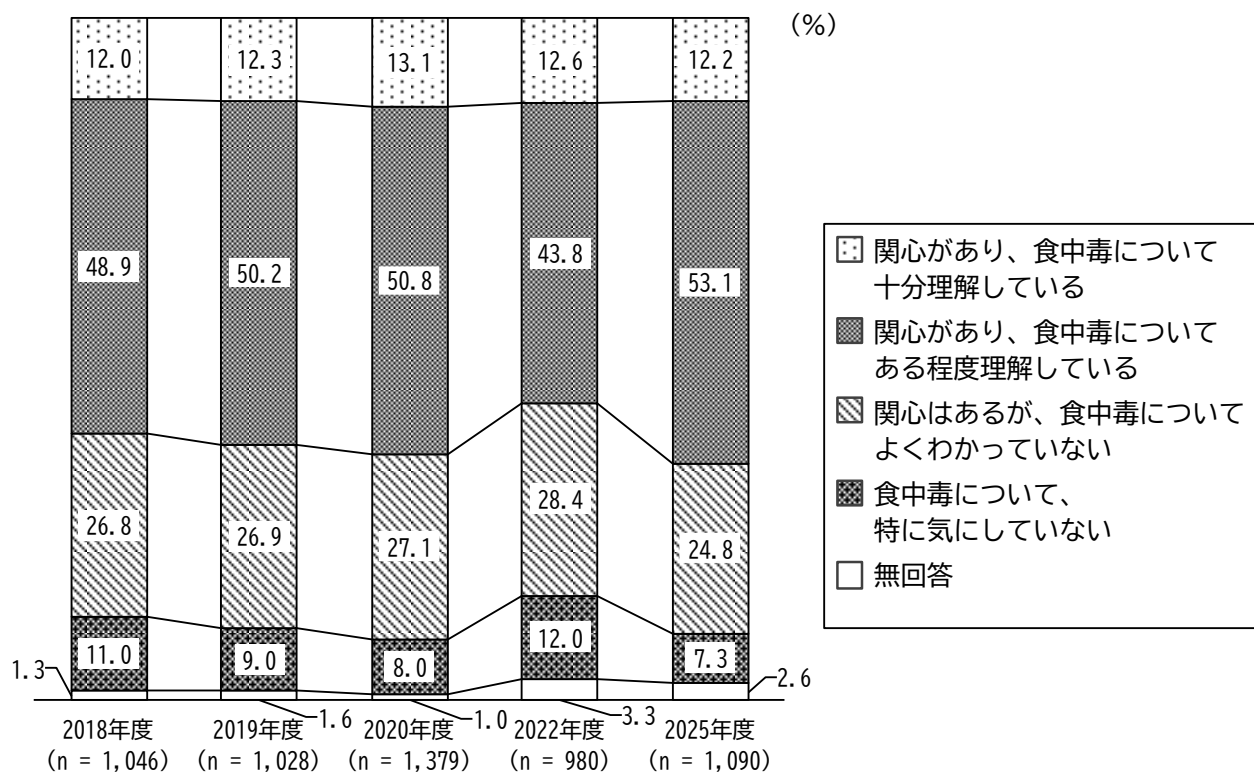


図 2-70 【経年比較】食中毒に関する認識

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度と比べ、「関心があり、食中毒についてある程度理解している」が約 9 ポイント増加している。

2.28 喫煙の状況

◆たばこを<吸っている>人は1割台前半

(全員の方に)

問 39 あなたはたばこを吸いますか。(○は1つ)

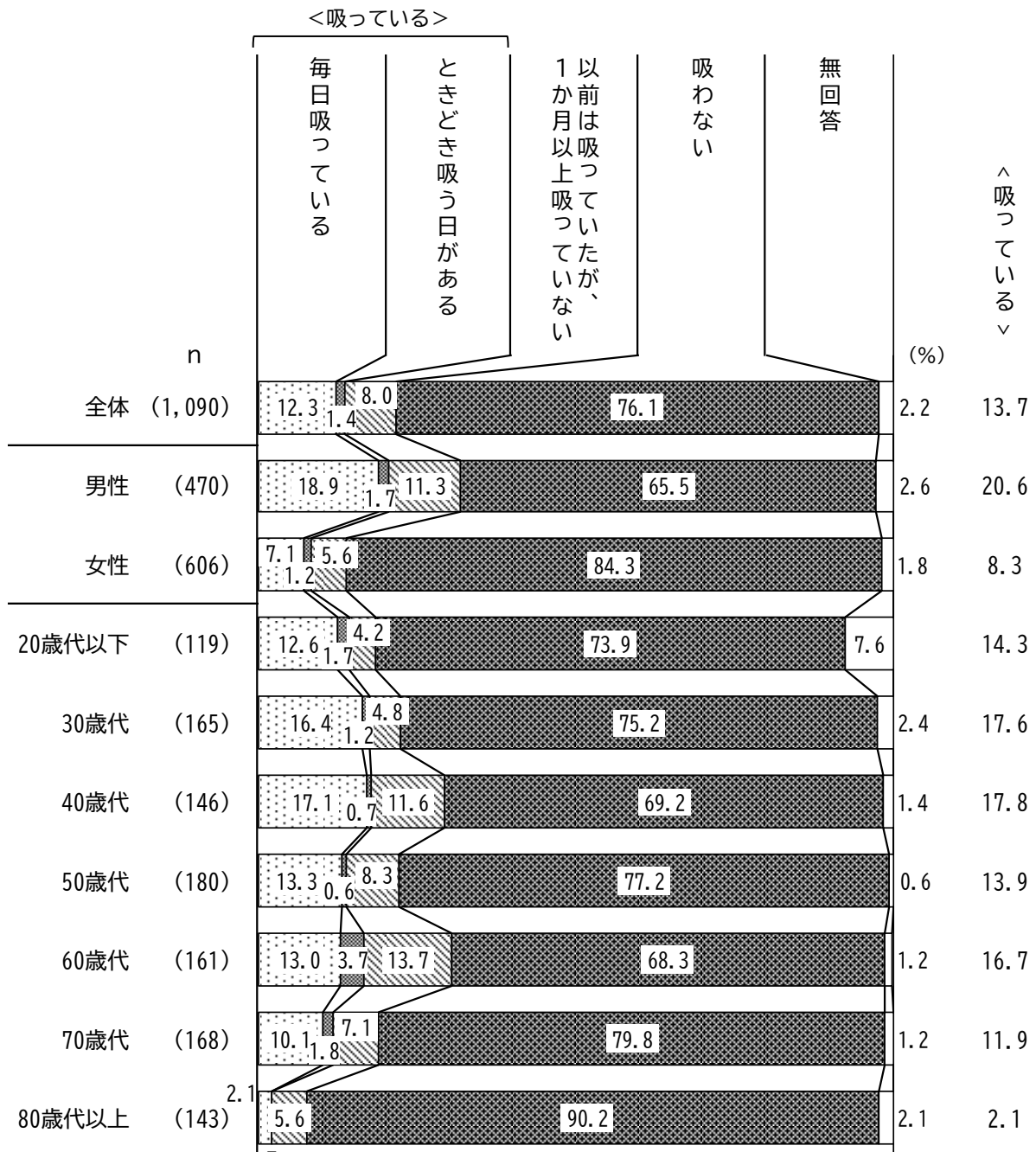


図 2-71 【性・年代別】喫煙の状況

喫煙の状況は、「毎日吸っている」(12.3%)と「ときどき吸う日がある」(1.4%)を合わせた<吸っている>で 13.7%となっている。性別にみると、<吸っている>は男性(20.6%)が女性(8.3%)を約 12 ポイント上回っている。年代別にみると、<吸っている>は 70 歳代以下の各年代でそれぞれ 1 割台となっている。

2.28.1 今後禁煙したいか

◆「禁煙したい」は1割台前半、「吸う本数を減らしたい」「現状通り喫煙を続けたい」が3割台後半

(問 39 で「1.毎日吸っている」「2.ときどき吸う日がある」に○をつけた方に)
問 39-1 今後禁煙したいと考えていますか。(○は1つ)

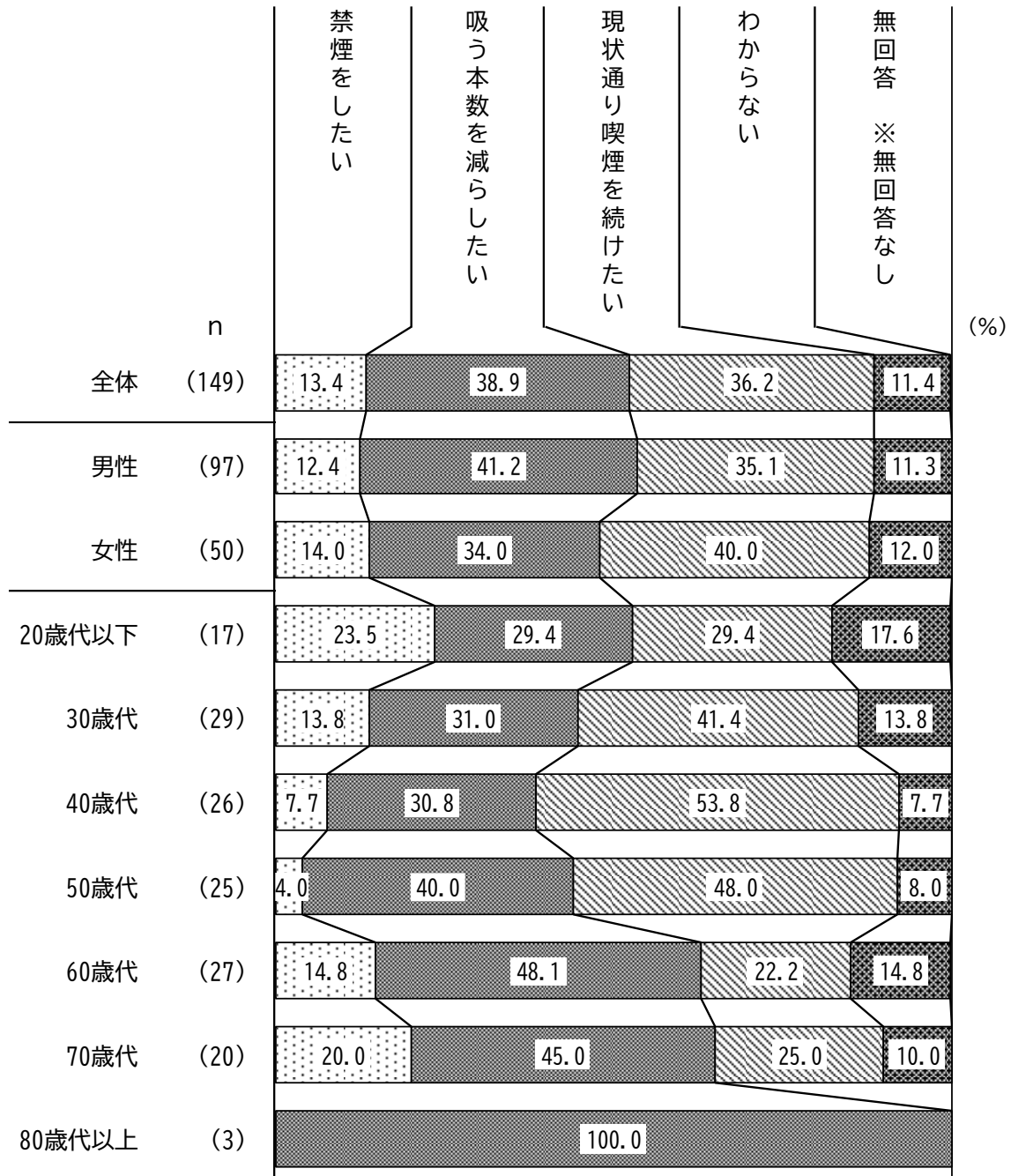


図 2-72 【性・年代別】 今後禁煙したいか

今後禁煙したいかについては、「吸う本数を減らしたい」が 38.9%で最も高く、次いで「現状通り喫煙を続けたい」(36.2%)、「禁煙したい」(13.4%)となっている。

3 制度等について

3.1 「障害者差別解消法」についての認知度

◆「障害者差別解消法」について<知っている>人は2割半ば

(全員の方に)

問 40 障害のある人への差別をなくし、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指して、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、あなたはこの法律について知っていますか。(○は1つ)

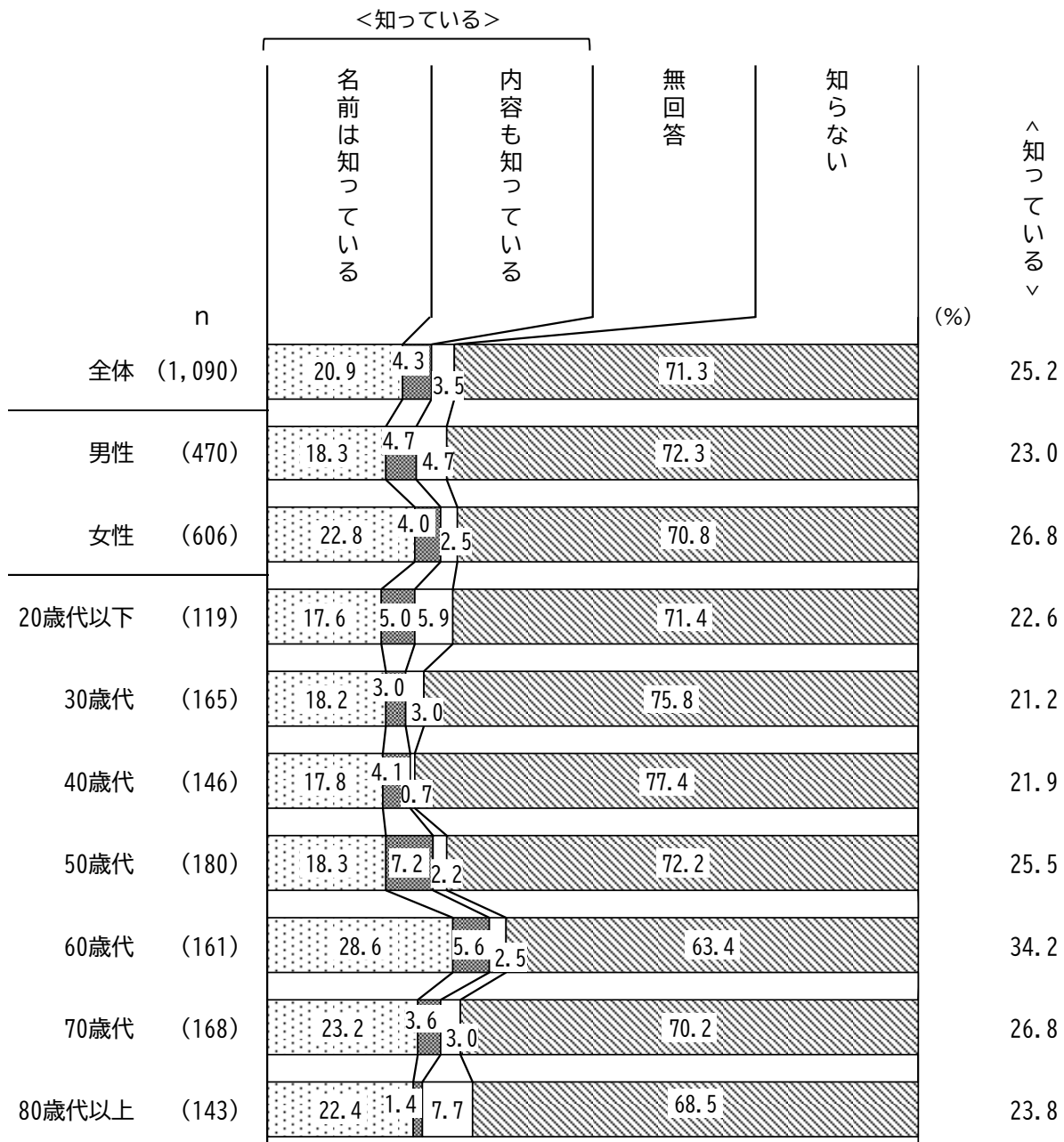


図 3-1 【性・年代別】「障害者差別解消法」についての認知度

「障害者差別解消法」についての認知度は、「名前を知っている」(20.9%)と「内容も知っている」(4.3%)を合わせた<知っている>が25.2%となっている。年代別にみると、<知っている>は60歳代以上で3割台半ばと、他の年代と比較して高くなっている。

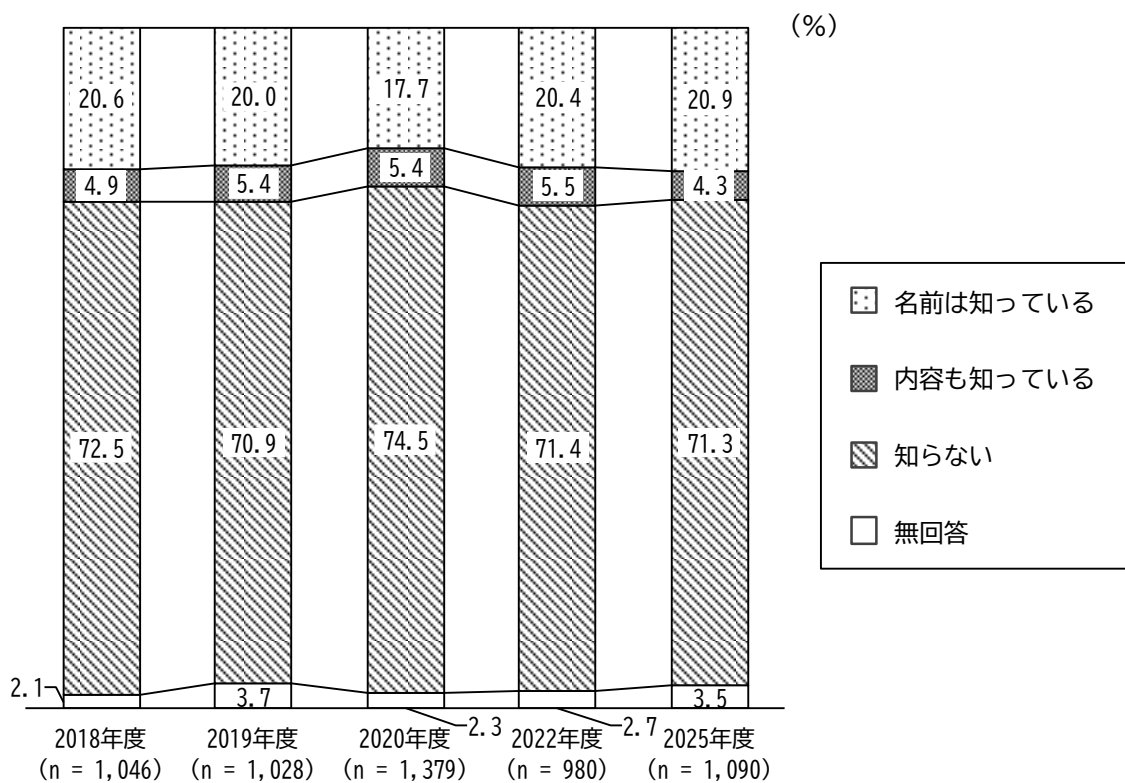


図 3-2 【経年比較】「障害者差別解消法」についての認知度

経年で比較すると、大きな差異はみられない。

3.1.1 「障害者差別解消法」の認知方法

◆「インターネット、新聞、テレビなどを通じて知った」が約6割

(問 40 で「1. 名前は知っている」「2. 内容も知っている」に○をつけた方に)
 問 40-1 あなたは、「障害者差別解消法」について、どのように知りましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

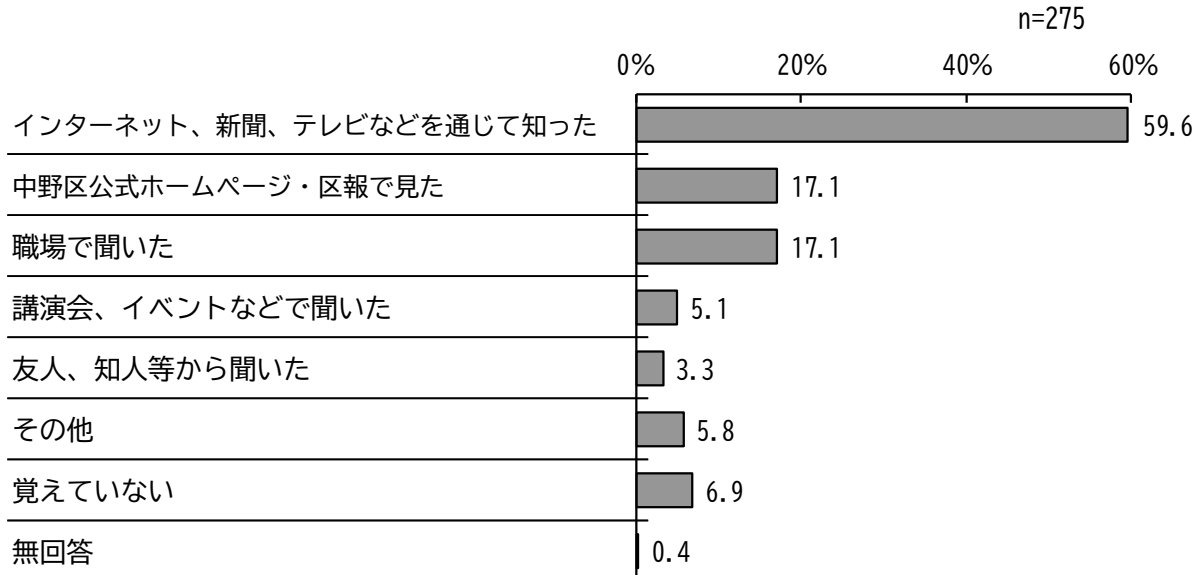


図 3-3 「障害者差別解消法」の認知方法

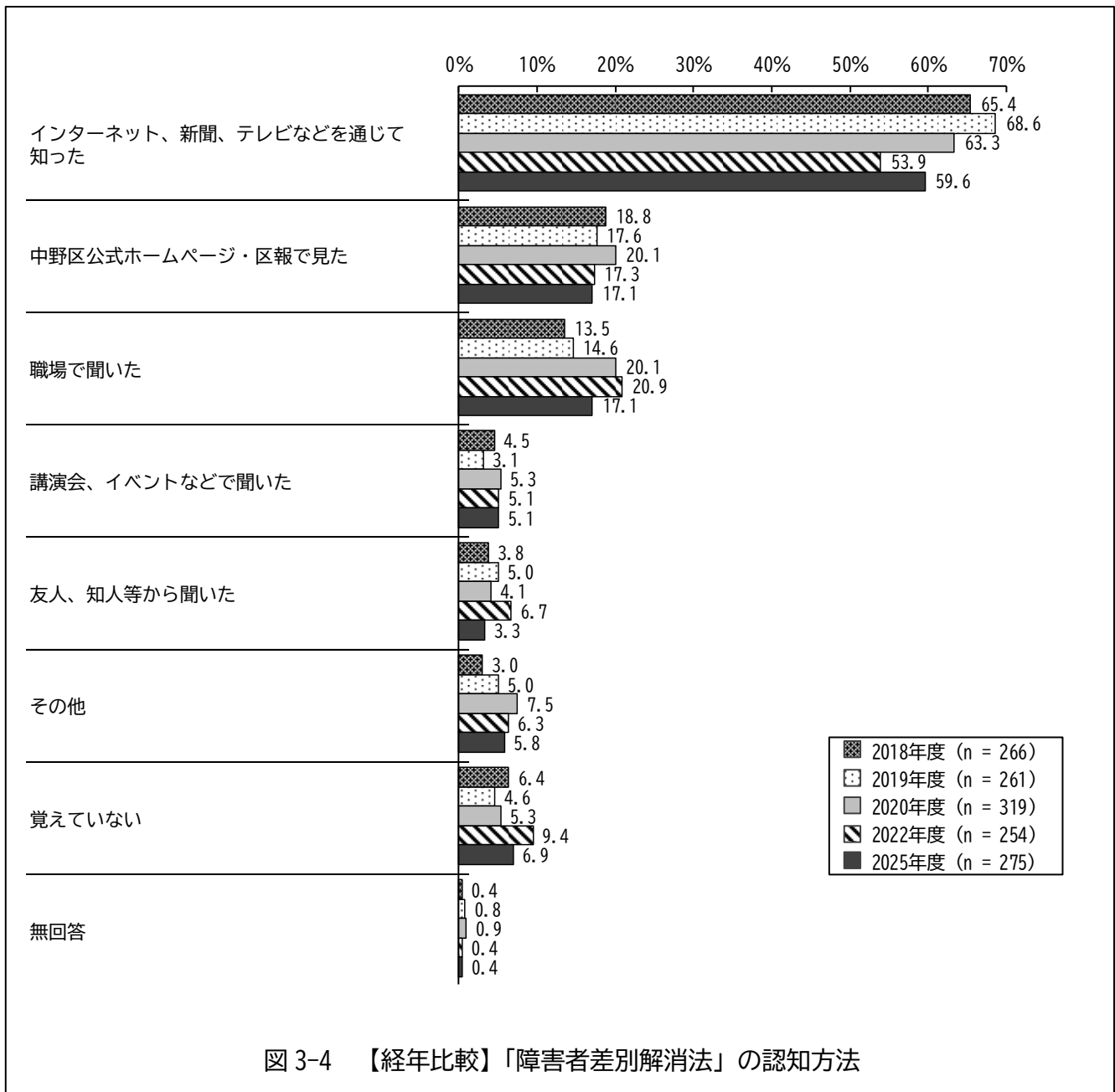
「障害者差別解消法」を<知っている>人に認知方法を聞いたところ、「インターネット、新聞、テレビなどを通じて知った」が59.6%と最も高くなっている。

表 3-1 【性・年代別】「障害者差別解消法」の認知方法

単位：％

区分	有効回答数(件)	中野区公式ホームページ・区報で見た	インターネット、新聞、テレビなどを通じて知った	講演会、イベントなどで聞いた	職場で聞いた	友人、知人等から聞いた	その他	覚えていない	無回答
全体	275	17.1	59.6	5.1	17.1	3.3	5.8	6.9	0.4
男性	108	22.2	64.8	2.8	18.5	1.9	3.7	4.6	0.0
女性	162	14.2	56.2	6.8	16.7	4.3	6.2	8.6	0.6
20歳代以下	27	7.4	37.0	3.7	25.9	0.0	18.5	11.1	0.0
30歳代	35	5.7	42.9	0.0	31.4	5.7	8.6	11.4	0.0
40歳代	32	3.1	78.1	3.1	15.6	3.1	0.0	6.3	0.0
50歳代	46	10.9	50.0	8.7	17.4	2.2	8.7	13.0	0.0
60歳代	55	9.1	67.3	7.3	23.6	3.6	7.3	1.8	0.0
70歳代	45	40.0	73.3	8.9	6.7	2.2	0.0	4.4	0.0
80歳代以上	34	41.2	58.8	0.0	0.0	5.9	0.0	2.9	2.9

性別にみると、「インターネット、新聞、テレビなどを通じて知った」「中野区公式ホームページ・区報で見た」は男性、「講演会、イベントなどで聞いた」は女性の割合が高くなっている。年代別にみると、30歳代で「職場で聞いた」、70歳代以上で「中野区公式ホームページ・区報で見た」の割合が、他の年代と比較して高くなっている。



経年で比較すると、いずれの年度も「インターネット、新聞、テレビなどを通じて知った」が最も高くなっており、2025年度は2022年度と比べ約6ポイント増加している。

3.2 障害者差別の解消に向けて、中野区が特に力を入れるべきこと

◆障害者差別解消のため中野区が特に力を入れるべきことは、「区民向けの啓発活動」「中野区公式ホームページ・区報による啓発」が4割台前半

(全員の方に)

問41 障害者差別の解消に向けて、区民などの理解や関心を深めるため、中野区が特に力を入れるべきことは何だと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

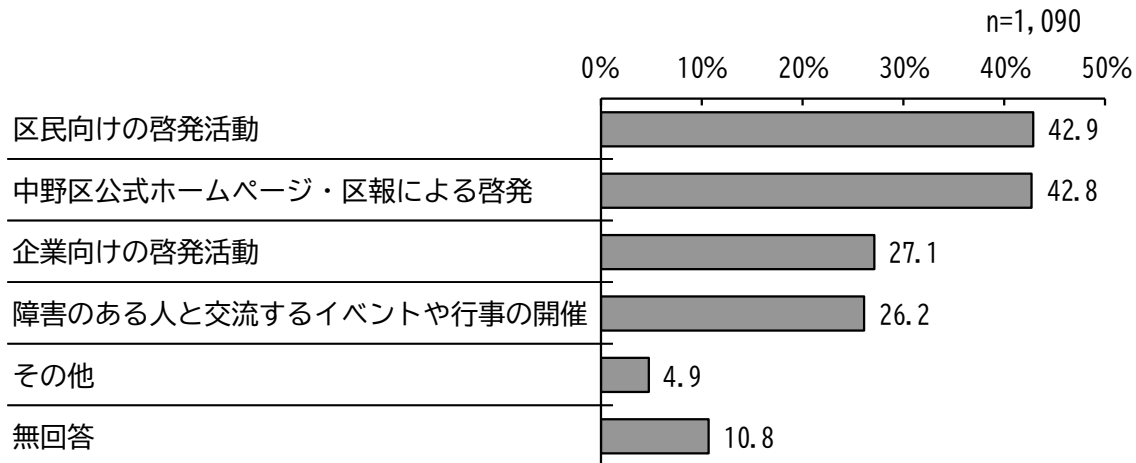


図 3-5 障害者差別の解消に向けて、中野区が特に力を入れるべきこと

障害者差別の解消のために、中野区が特に力を入れるべきことは、「区民向けの啓発活動」が 42.9% で最も高く、次いで「中野区公式ホームページ・区報による啓発」(42.8%)、「企業向けの啓発活動」(27.1%)となっている。

表 3-2 【性・年代別】障害者差別の解消に向けて、中野区が特に力を入れるべきこと

単位：％

区分	有効回答数（件）	中野区公式ホームページ・区報による啓発	区民向けの啓発活動	企業向けの啓発活動	障害のある人と交流するイベントや行事の開催	その他	無回答
全体	1,090	42.8	42.9	27.1	26.2	4.9	10.8
男性	470	42.8	44.5	26.4	24.7	5.1	11.3
女性	606	43.1	41.6	26.9	27.6	4.6	10.6
20歳代以下	119	27.7	31.1	35.3	26.1	5.0	10.9
30歳代	165	30.9	38.8	40.6	24.2	7.9	11.5
40歳代	146	39.7	39.7	30.1	24.0	6.2	9.6
50歳代	180	43.9	48.9	28.3	32.2	2.8	9.4
60歳代	161	46.0	54.0	26.7	26.1	5.0	7.5
70歳代	168	53.6	45.8	19.0	29.2	4.8	11.3
80歳代以上	143	55.2	37.1	9.1	21.7	2.8	16.1

性別にみると、「区民向けの啓発活動」は男性、「中野区公式ホームページ・区報による啓発」は女性の割合が最も高くなっている。年代別にみると、20～30歳代では「企業向けの啓発活動」、40歳～60歳代では「区民向けの啓発活動」、40歳代と70歳代以上では「中野区公式ホームページ・区報による啓発」の割合が最も高くなっている。

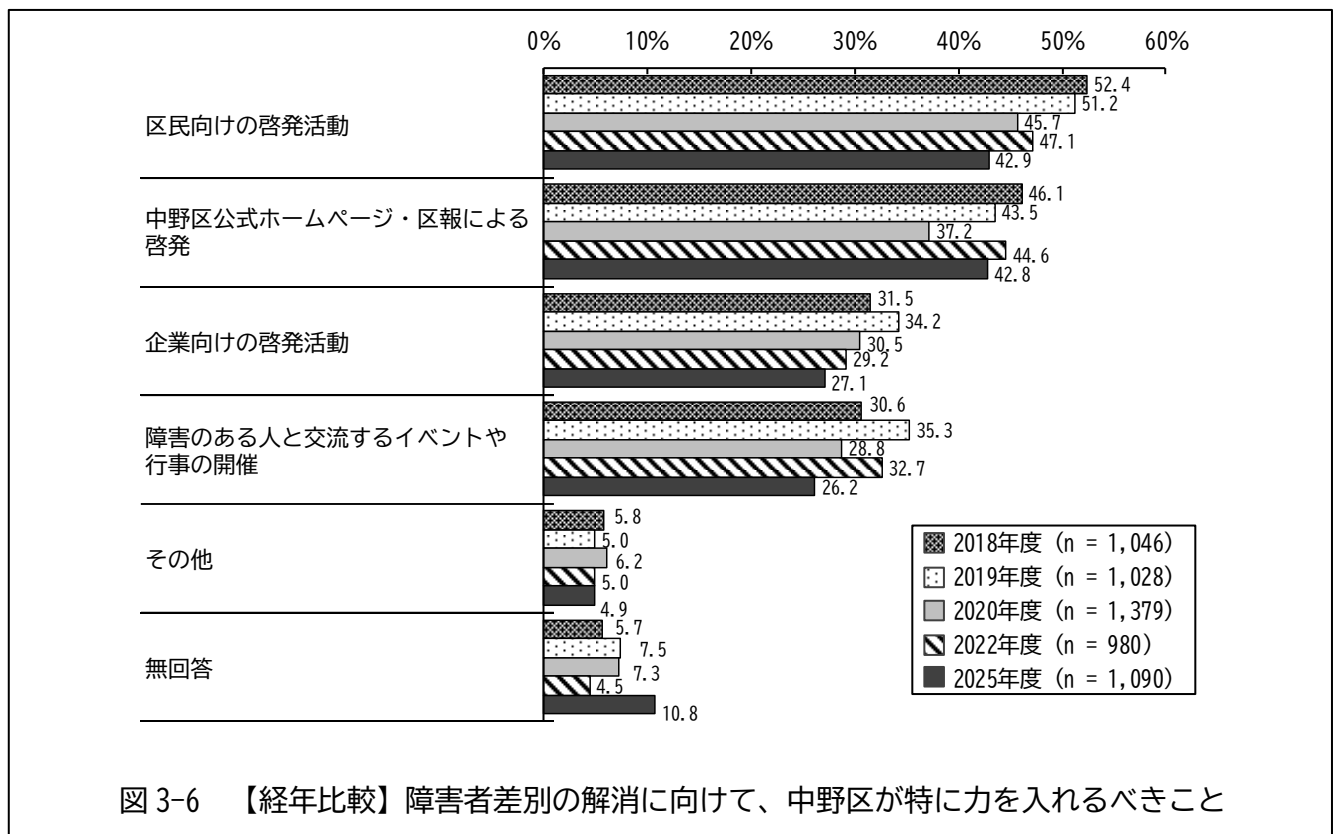


図 3-6 【経年比較】障害者差別の解消に向けて、中野区が特に力を入れるべきこと

経年で比較すると、2025年度は2022年度と比べ、「障害のある人と交流するイベントや行事の開催」で6.5ポイント、「区民向けの啓発活動」で約4ポイント減少している。

3.3 ヘルプマークの認知度

◆ヘルプマークについて「意味を含めて知っている」は6割台後半

(全員の方に)

問 42 あなたはヘルプマークを知っていますか。(○は1つ)

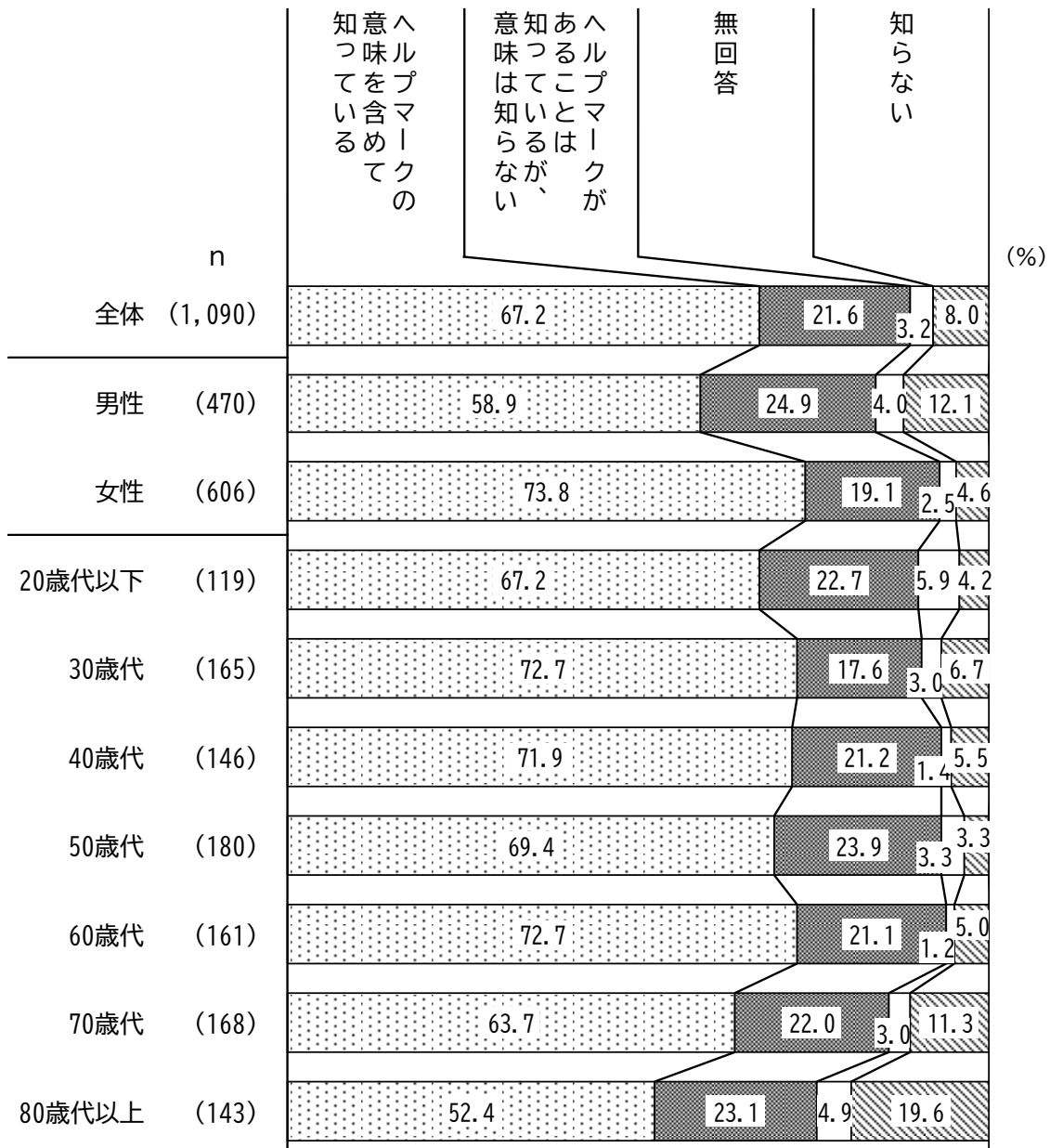


図 3-7 【性・年代別】ヘルプマークの認知度

ヘルプマークの認知度については、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」が67.2%で最も高く、「ヘルプマークがあることは知っているが、意味は知らない」が21.6%、「知らない」は8.0%となっている。性別にみると、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」は女性（73.8%）が男性（58.9%）を約15ポイント上回っている。年代別にみると、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」は30～60歳代で7割前後と高くなっている。

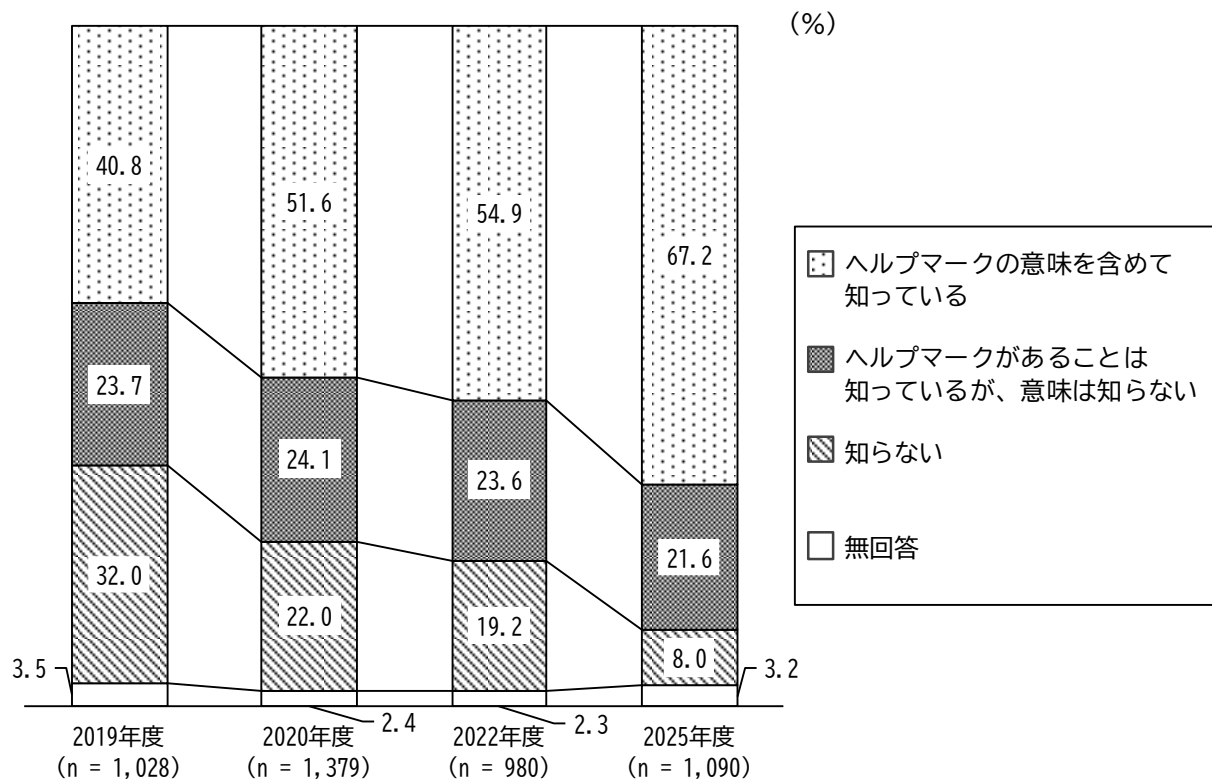


図 3-8 【経年比較】ヘルプマークの認知度

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度と比べ、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」が約 12 ポイント増加している。

3.4 障害者虐待防止センターの認知度

◆障害者虐待防止センターを「知っていた」は約1割

(全員の方に)

問 43 中野区では、障害者虐待に関する通報や相談窓口として、障害者虐待防止センターを設置しています。あなたは、障害者虐待防止センターを知っていますか。
(〇は1つ)

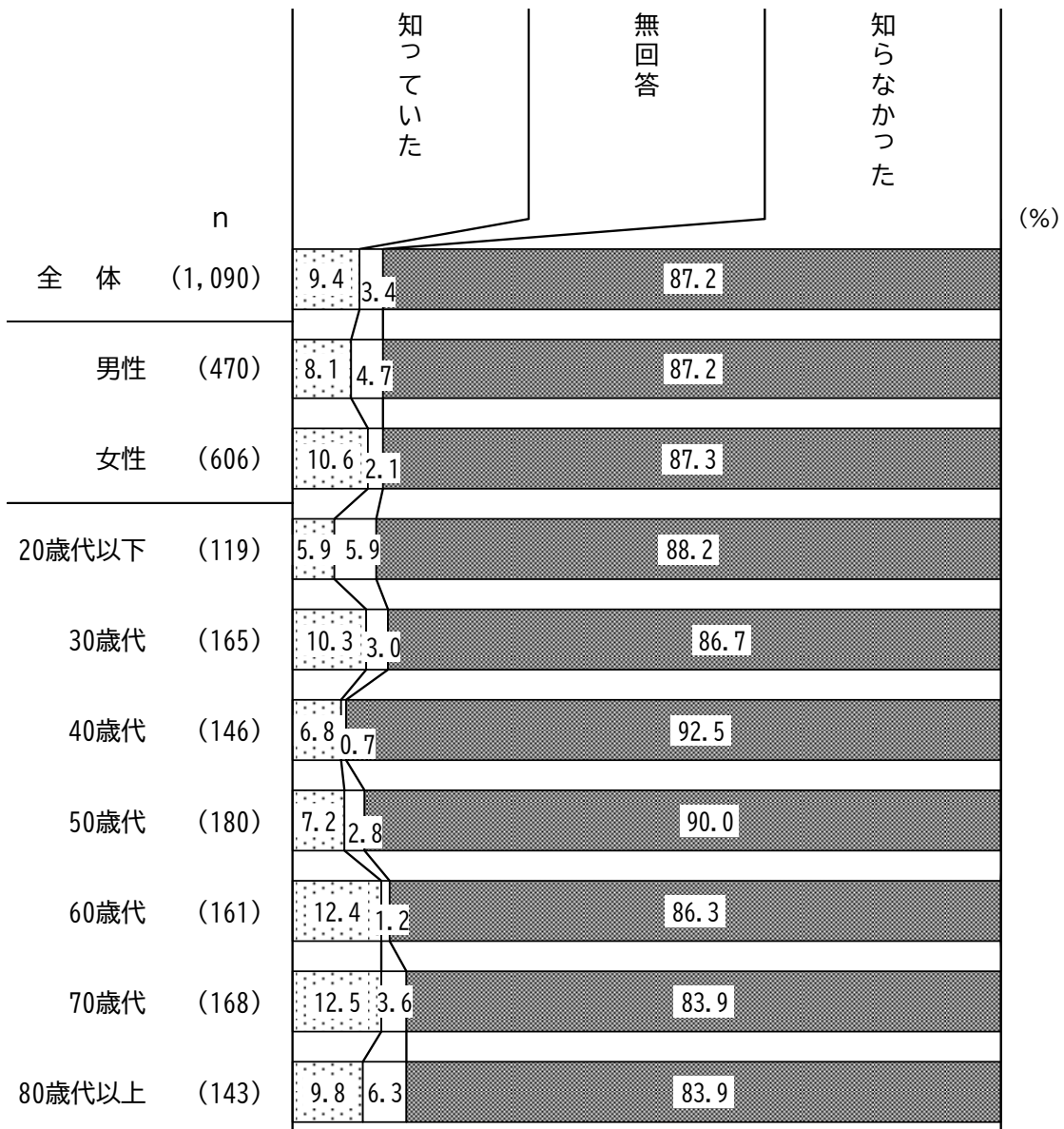


図 3-9 【性・年代別】障害者虐待防止センターの認知度

障害者虐待防止センターの認知度については「知っていた」が9.4%に対し、「知らなかった」が87.2%となっている。年代別にみると、30歳代と60～70歳代で「知っていた」が1割を超えて、他の年代と比較してやや高くなっている。

3.5 介護保険制度の利用の仕方についての認知度

◆介護保険制度の利用の仕方について<知っている>は約3割

(全員の方に)

問 44 あなたは、介護保険制度を利用できていますか。または、利用していない方は、必要となった時の利用の仕方を知っていますか。(○は1つ)

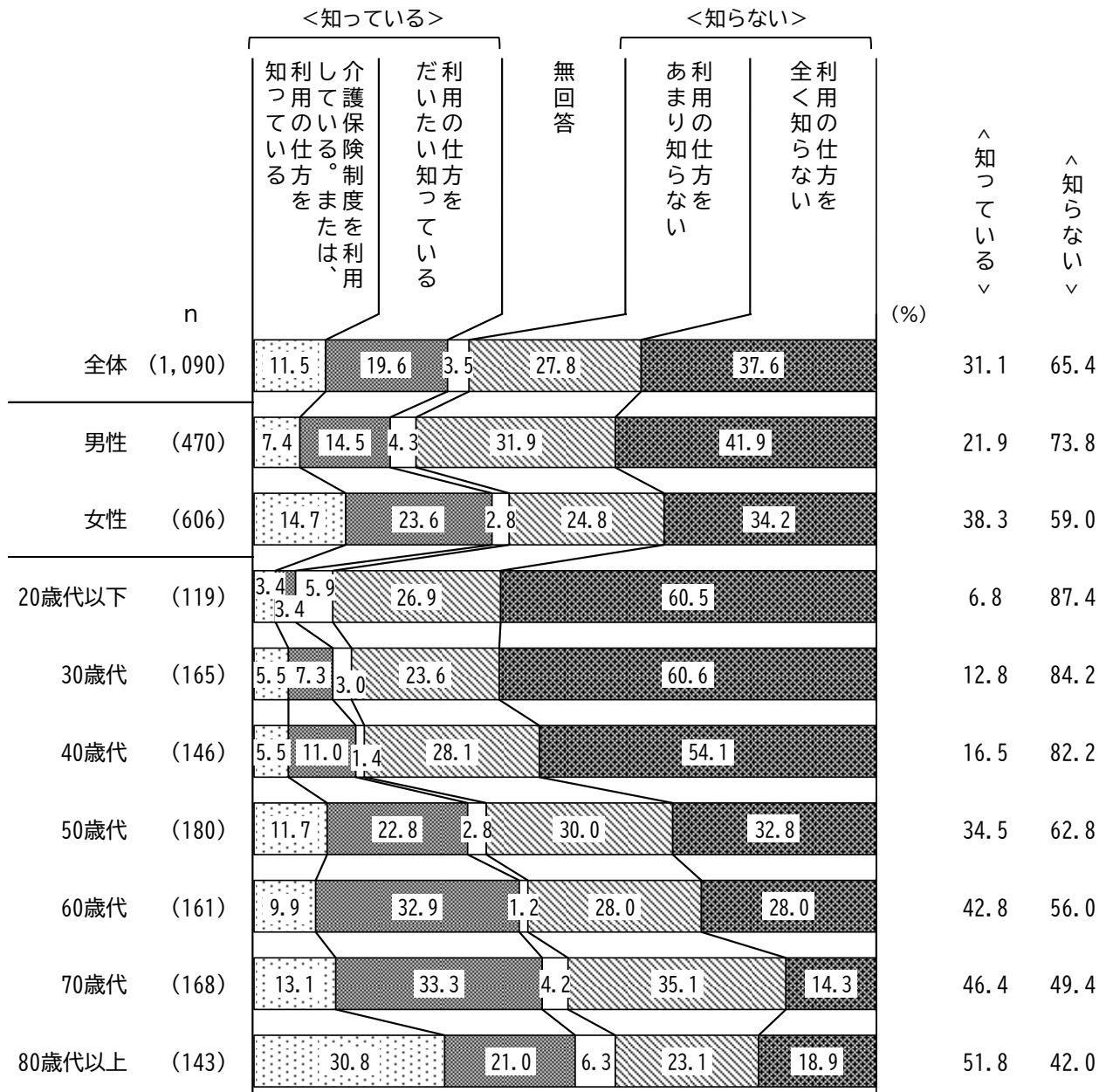
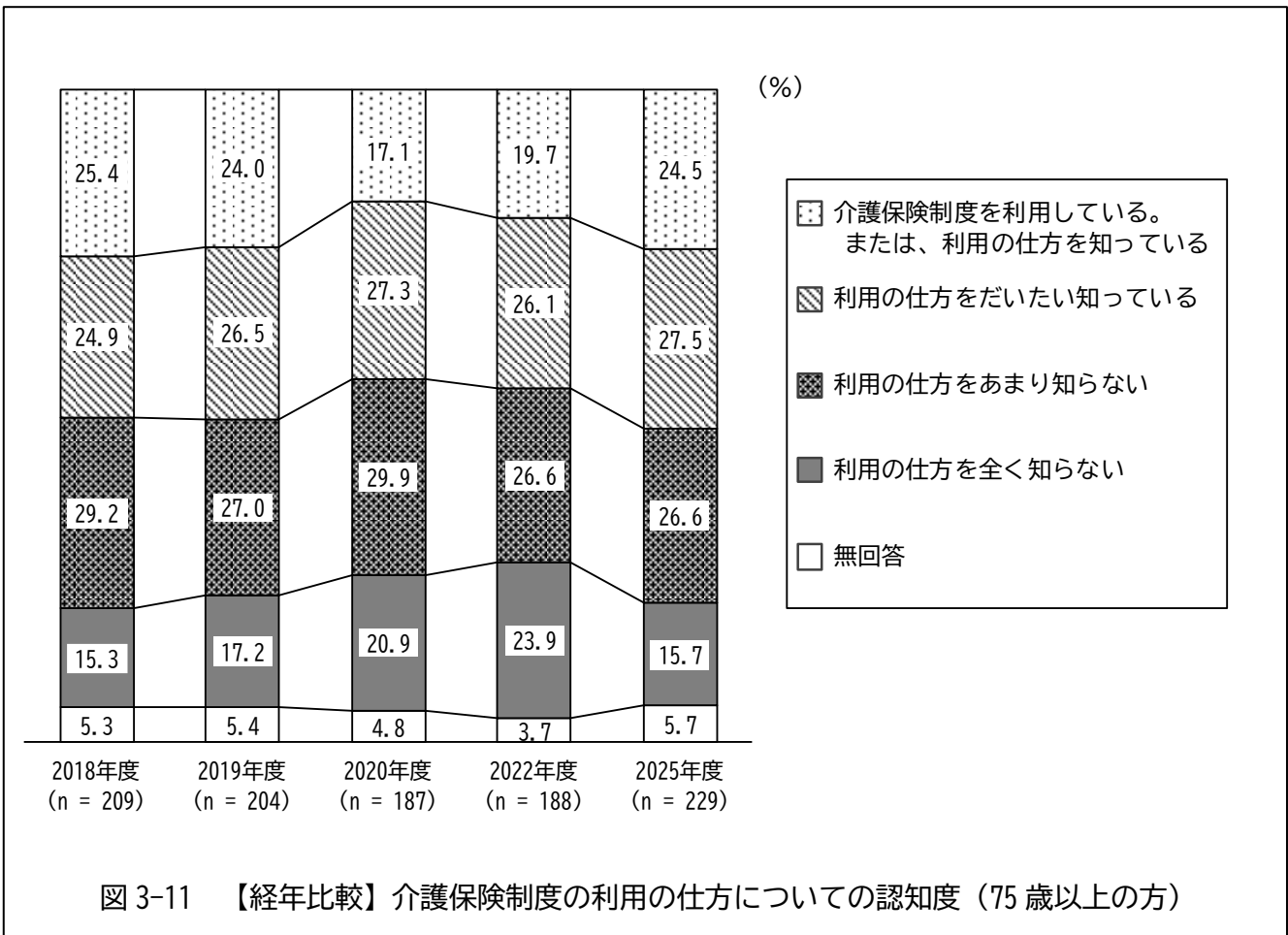


図 3-10 【性・年代別】介護保険制度の利用の仕方についての認知度

介護保険制度を利用できている、または必要となった時の利用の仕方を知っているかについては、「介護保険制度を利用している。または、利用の仕方を知っている」(11.5%)と「利用の仕方を知りたい方」(19.6%)を合わせた<知っている>は31.1%となっている。性別にみると、<知っている>は女性(38.3%)が男性(21.9%)を16.4ポイント上回っている。年代別にみると、年代が上がるにつれて<知っている>の割合が増加傾向にあり、80歳代以上で5割を超えている。



75 歳以上の方について経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度と比べ、「介護保険制度を利用している。または、利用の仕方を知っている」が約 5 ポイント増加し、「利用の仕方を全く知らない」が約 8 ポイント減少している。

3.6 認知症についての理解度

◆認知症について「基本的な対応方法を知っている」は2割台後半

(全員の方に)

問 45 あなたは、認知症の症状や対応方法について、どの程度理解していますか。(○は1つ)

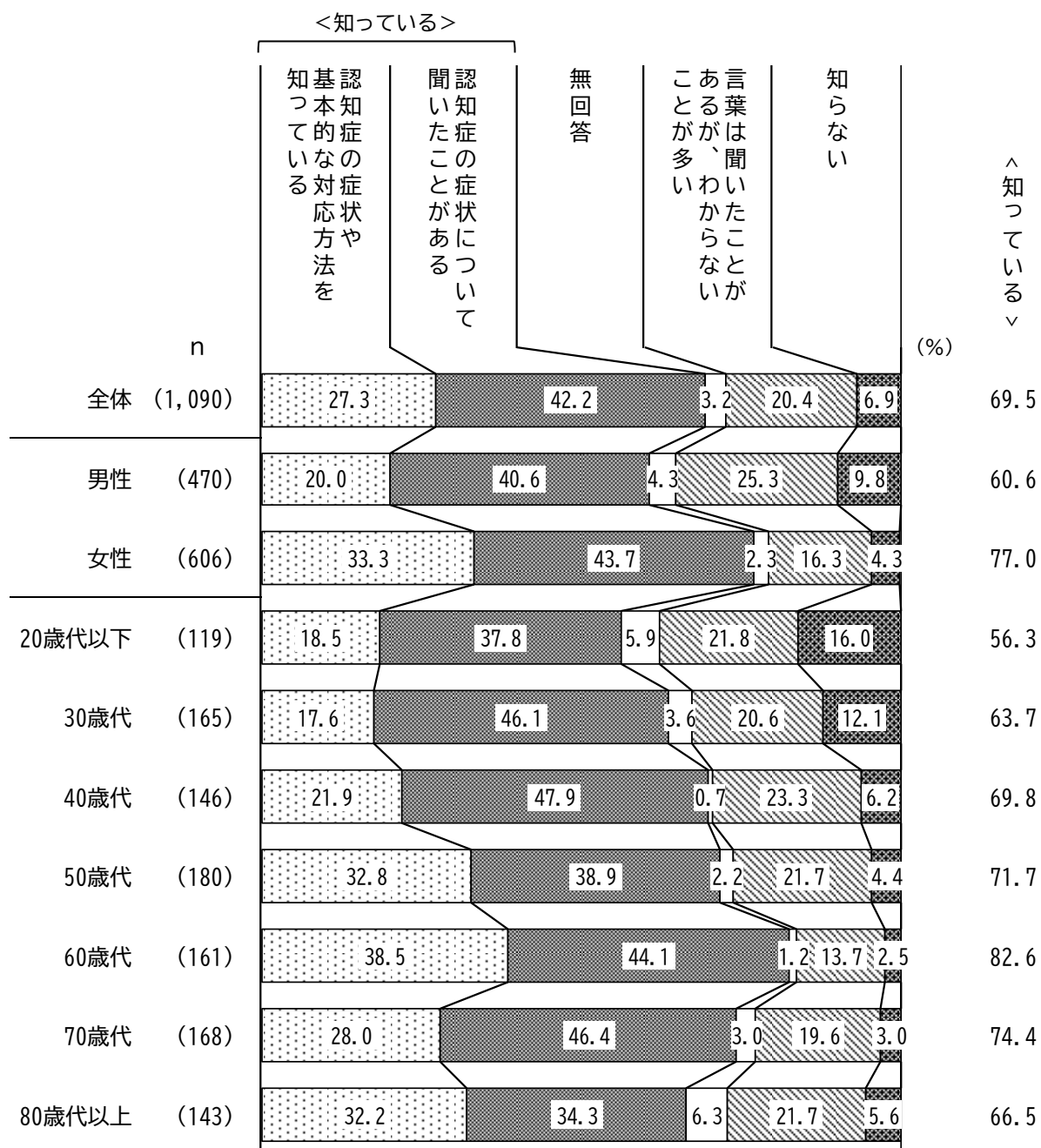


図 3-12 【性・年代別】認知症についての理解度

認知症の症状や対応方法についての理解度は、「認知症の症状について聞いたことがある」(42.2%)が最も高く、次いで「認知症の症状や基本的な対応方法を知っている」(27.3%)となっている。性別にみると、女性の方が男性より理解度が高くなっており、「認知症の症状や基本的な対応方法を知っている」で女性(33.3%)が男性(20.0%)を約13ポイント上回っている。年代別にみると、60歳代で「認知症の症状や基本的な対応方法を知っている」が3割台後半と、他の年代と比較して高くなっている。

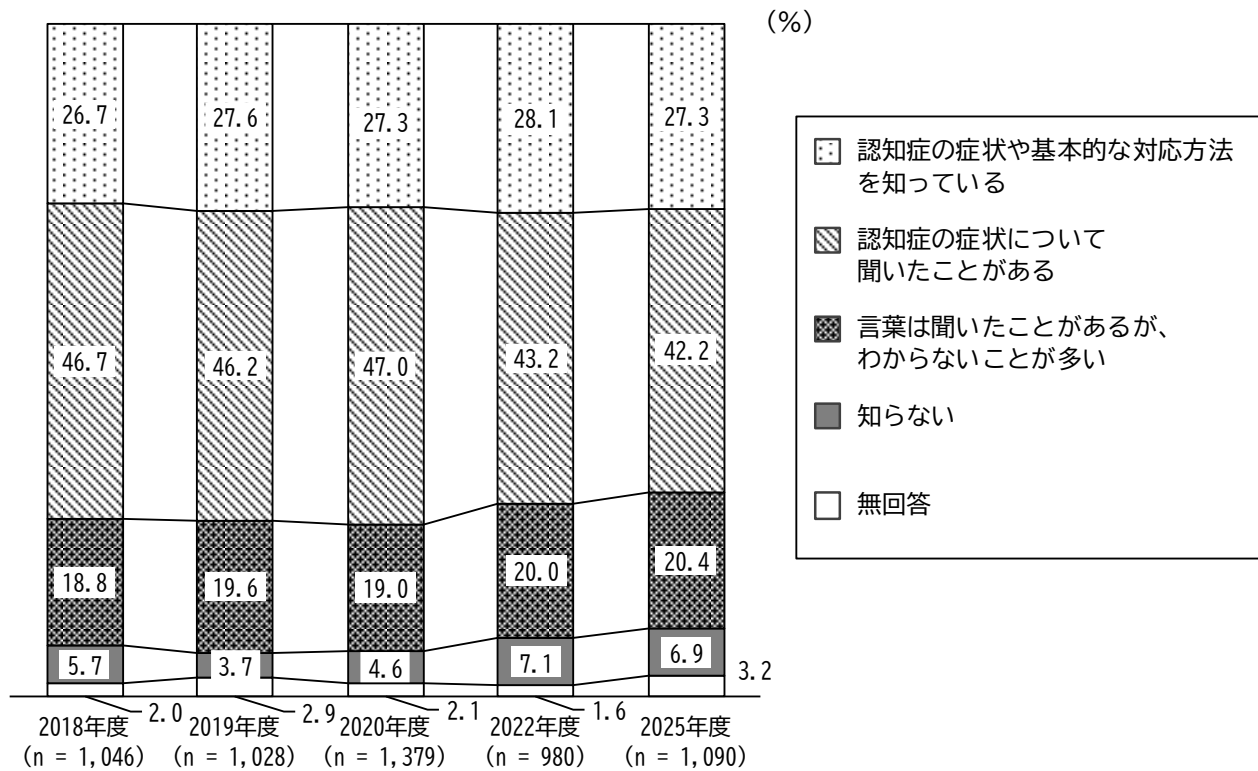


図 3-13 【経年比較】認知症についての理解度

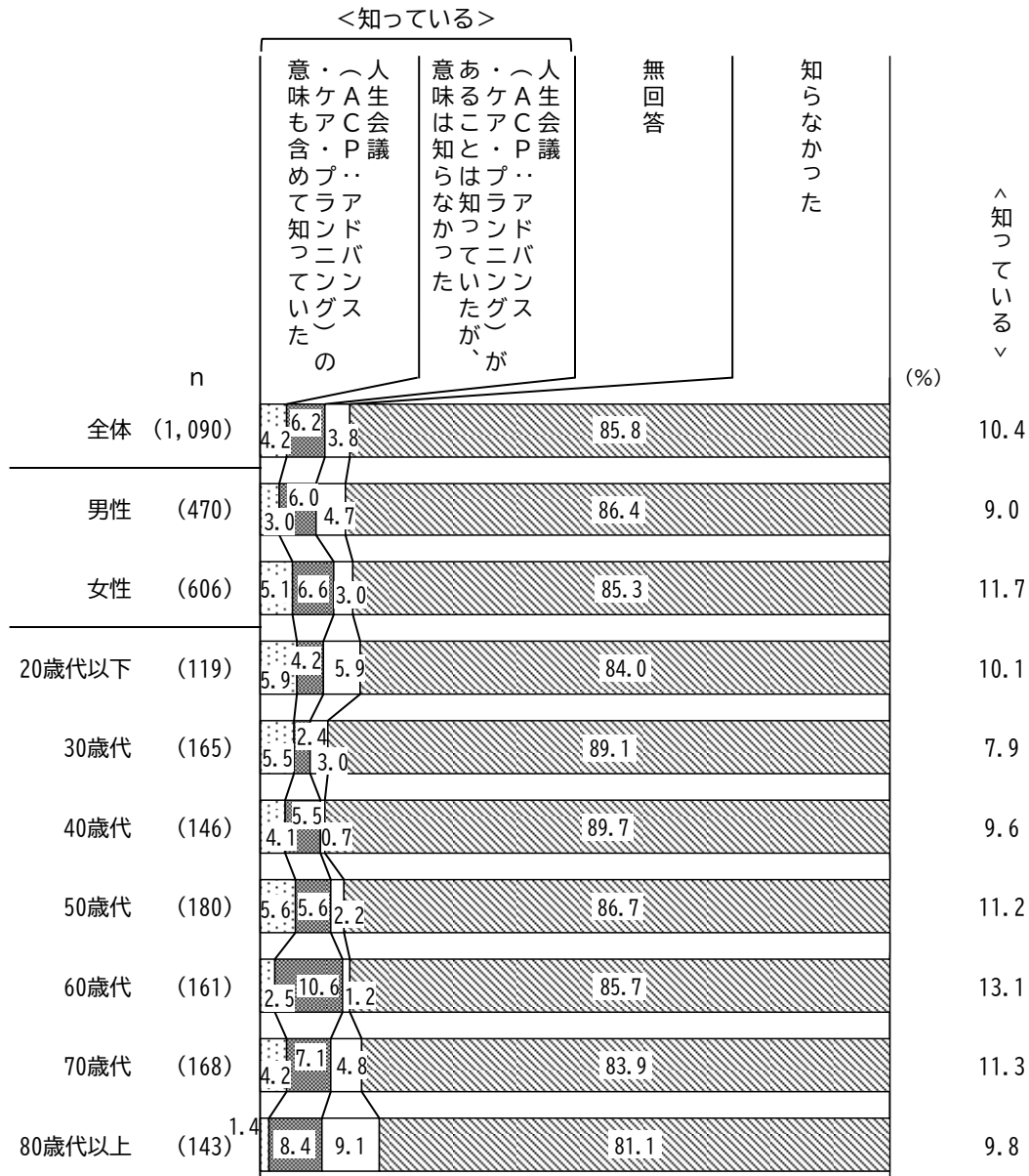
経年で比較すると、2022 年度と大きな差異はみられない。

3.7 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の認知度

◆人生会議という言葉や意味を「知らなかった」は8割半ば

（全員の方に）

問 46 あなたは、「人生会議（ACP※：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）



※ACP…アドバンス・ケア・プランニングとは、将来あなた自身が病気になったり、介護が必要になったりしたときに備えて、これまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを言います。平成30年度、厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。

図 3-14 【性・年代別】人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の認知度

人生会議の認知度については、「知らなかった」が85.8%で最も高く、「人生会議があることは知っていたが、意味は知らなかった」が6.2%、「人生会議の意味も含めて知っていた」が4.2%となっている。年代別にみると、60歳代で「人生会議があることは知っていたが、意味は知らなかった」が約1割と、他の年代と比較してやや高くなっている。

3.8 「成年後見制度」の認知度

◆「成年後見制度」という言葉やしくみを<知っている>は約3割

(全員の方に)

問 47 「成年後見制度」という言葉やしくみについてどの程度知っていますか。(○は1つ)

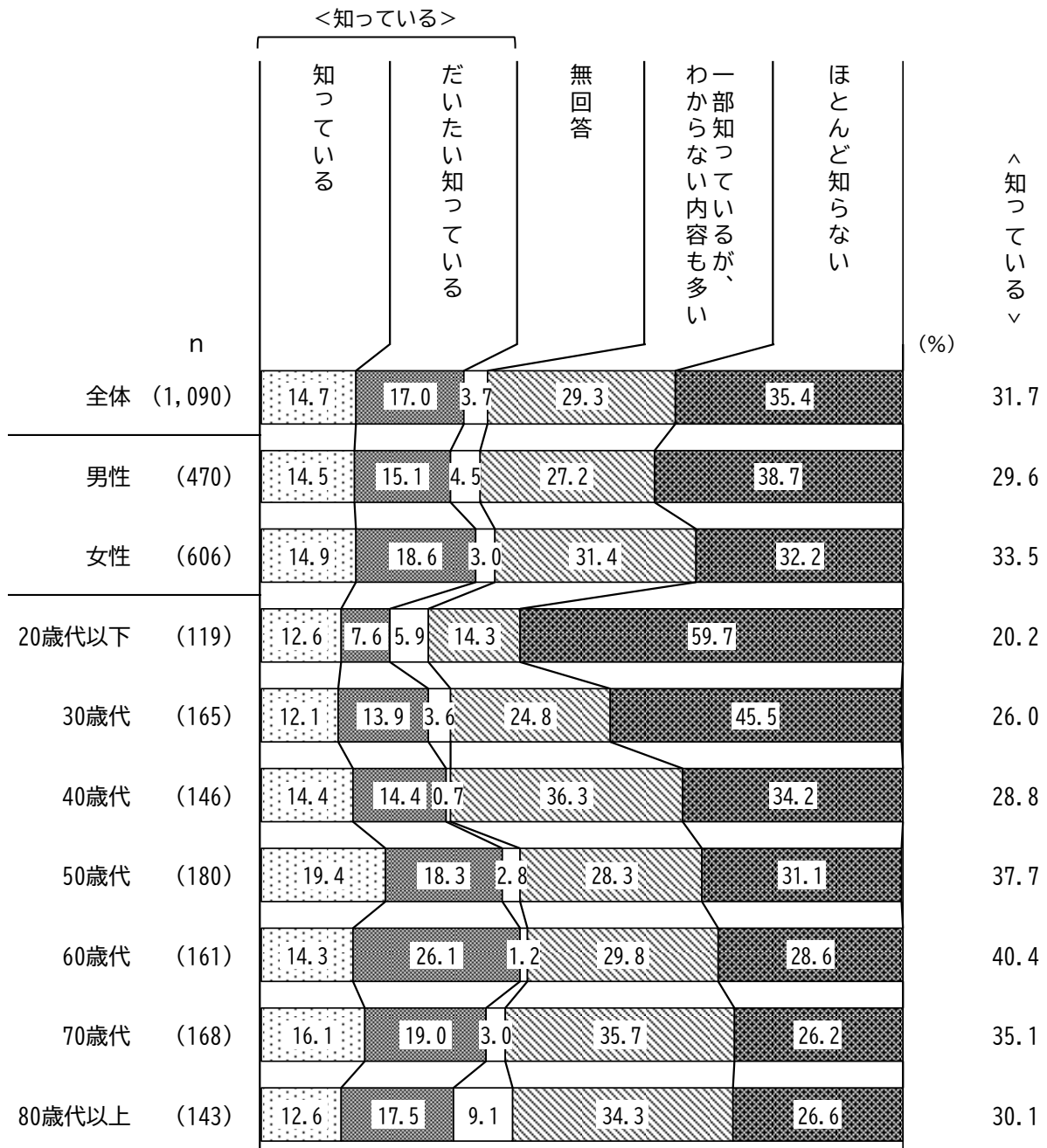


図 3-15 【性・年代別】「成年後見制度」の認知度

「成年後見制度」という言葉やしくみについての認知度は、「知っている」(14.7%)と「だいたい知っている」(17.0%)を合わせた<知っている>で31.7%となっている。一方、「ほとんど知らない」は35.4%となっている。性別にみると、<知っている>は女性(33.5%)が男性(29.6%)を約4ポイント上回っている。年代別にみると、60歳代で<知っている>が約4割と最も高くなっている。

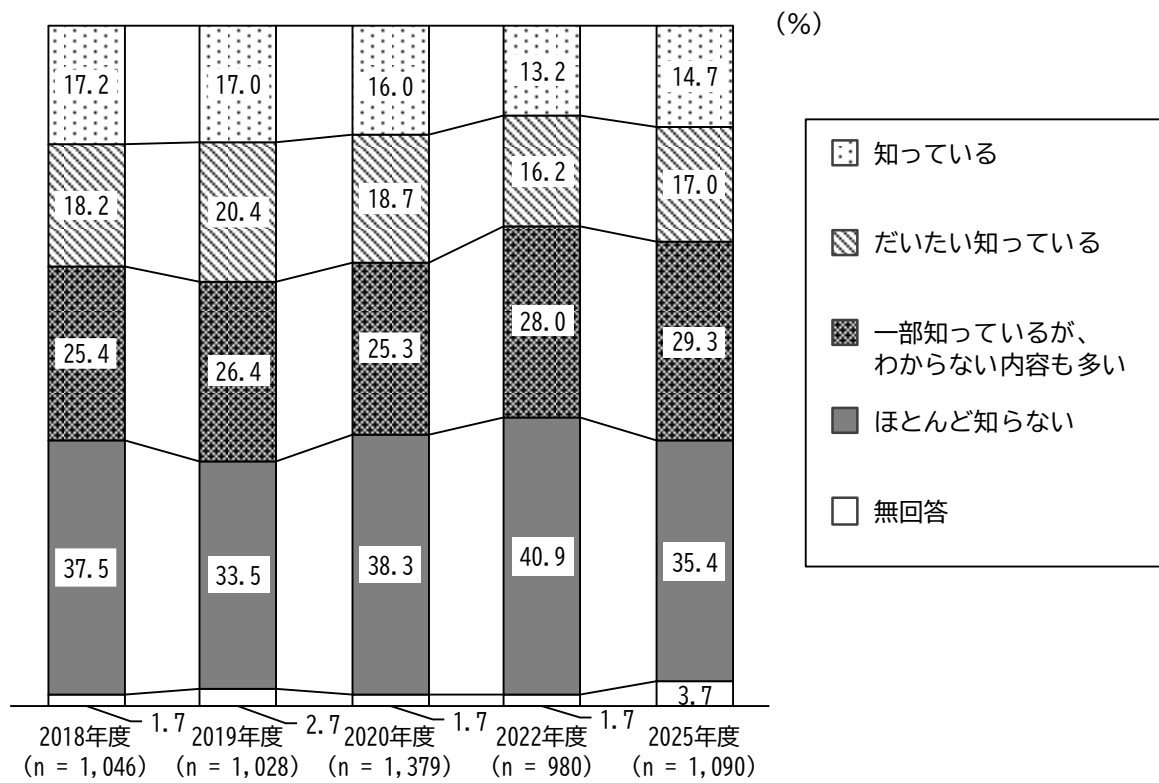


図 3-16 【経年比較】「成年後見制度」の認知度

経年で比較すると、2025 年度は 2022 年度と比べ、「ほとんど知らない」が 5.5 ポイント減少している。

3.9 ヤングケアラーの認知度

◆ヤングケアラーについて「聞いたことがあり、内容も知っている」は約6割

(全員の方に)

問 48 ヤングケアラーという言葉を知ったことがありますか。(○は1つ)

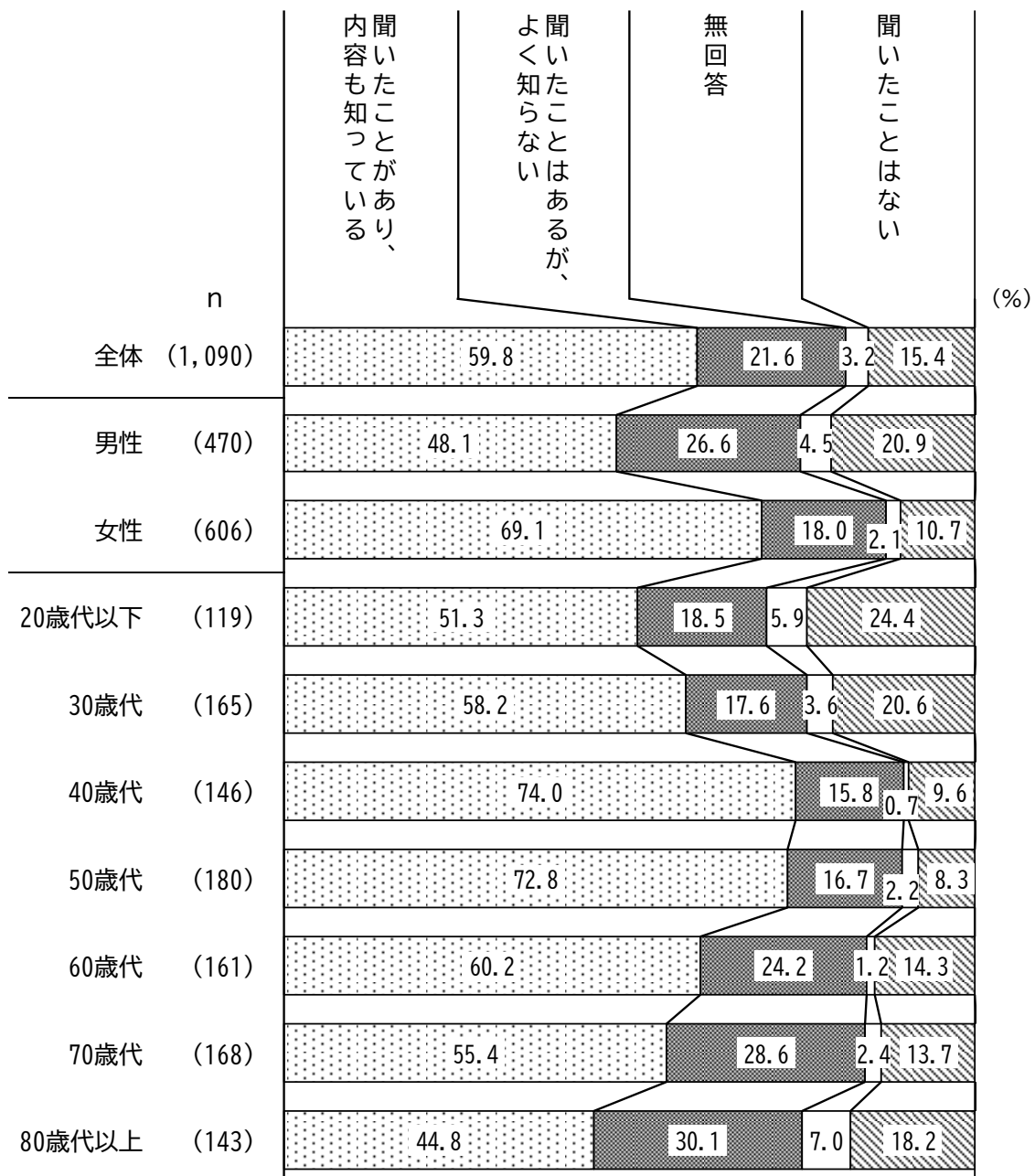


図 3-17 【性・年代別】ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が59.8%で最も高く、「聞いたことはあるが、よく知らない」が21.6%、「聞いたことはない」は15.4%となっている。性別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」は女性(69.1%)が男性(48.1%)を21ポイント上回っている。年代別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」は40～50歳代で7割台と特に高くなっている。

4 相談窓口について

4.1 健康福祉の相談機関の身近さ

◆「身近に感じる」の割合は「すこやか福祉センター」が1割半ば、「区民活動センター」が約2割

(全員の方に)

問 49 あなたは、次の地域の健康福祉の相談機関について、困っているときに相談できる窓口として、身近に感じますか。(それぞれ○は1つ)

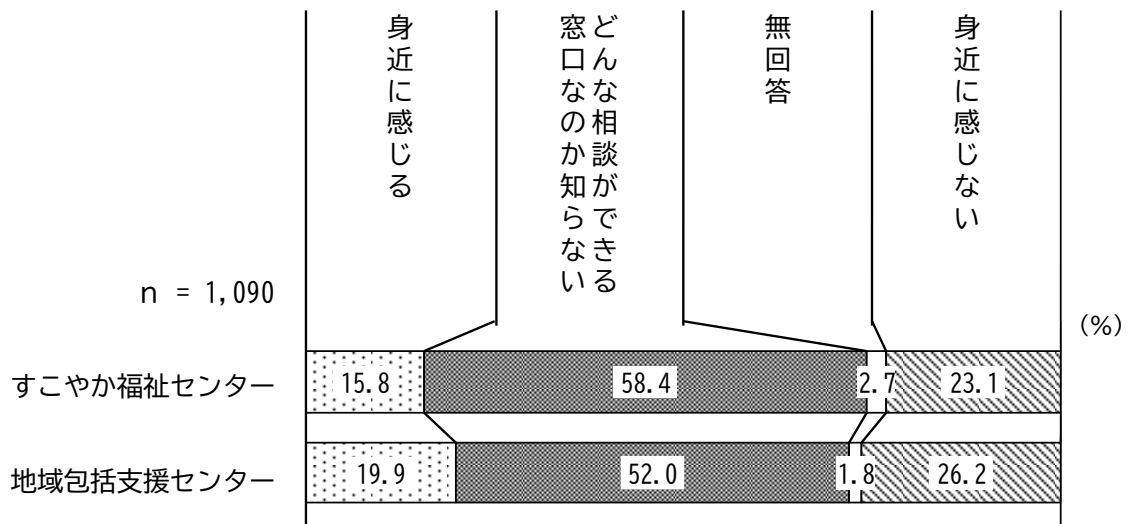


図 4-1 健康福祉の相談機関の身近さ

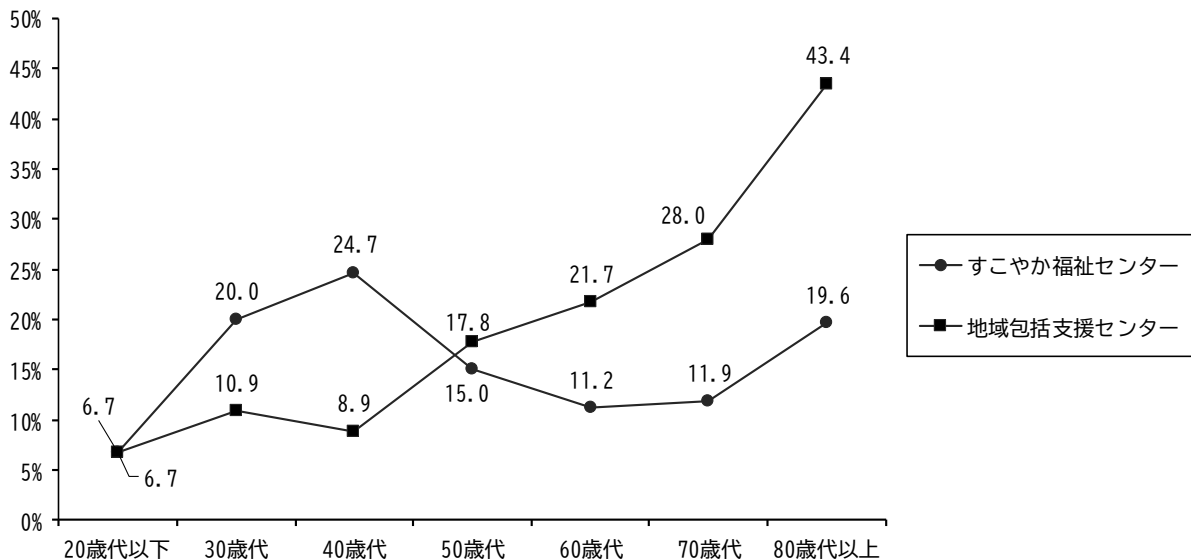
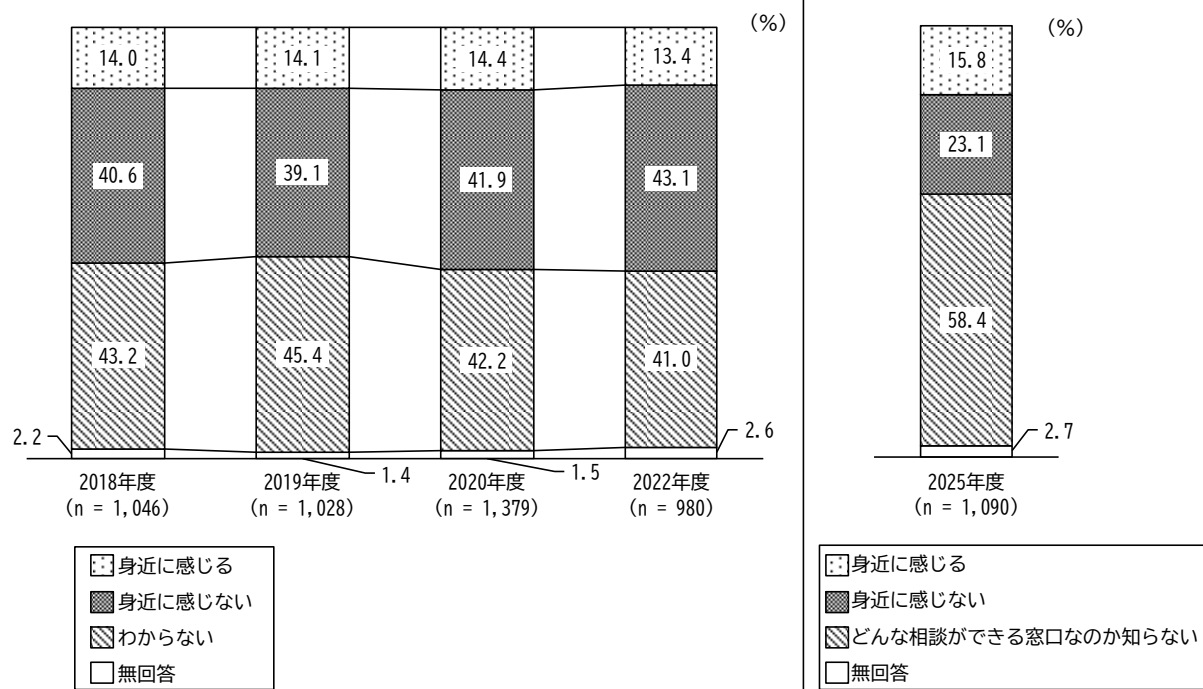


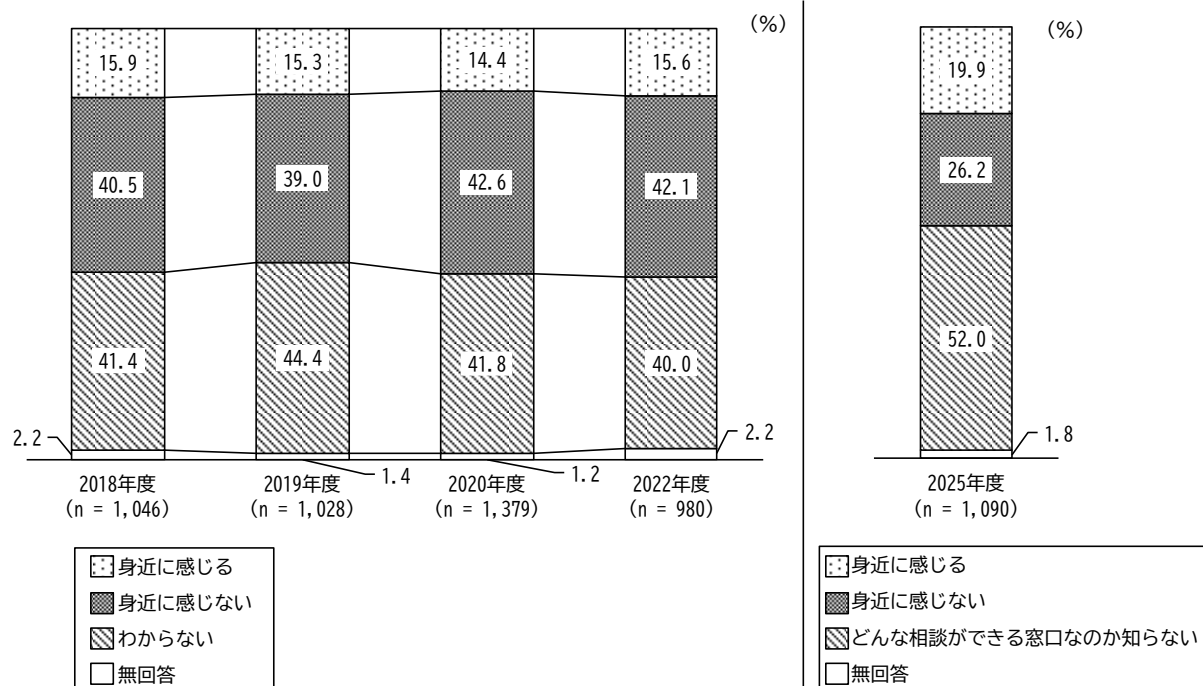
図 4-2 【年代別】健康福祉の相談機関を身近に感じると回答した人の割合

健康福祉の相談窓口として身近に感じる機関を年代別でみると、30～40 歳代では「すこやか福祉センター」、50 歳代以上では「区民活動センター」の方が高くなっている。

【すこやか福祉センター】



【地域包括支援センター】



※2025年度は一部選択肢の内容を変更したため、2022年度以前の経年比較は参考として掲載する。

図 4-3 【経年比較】健康福祉の相談機関の身近さ

4.2 区民活動センターの身近さ

◆「身近に感じる」割合は2割半ば

(全員の方に)

問 50 あなたは、区民活動センターを身近に感じますか。(○は1つ)

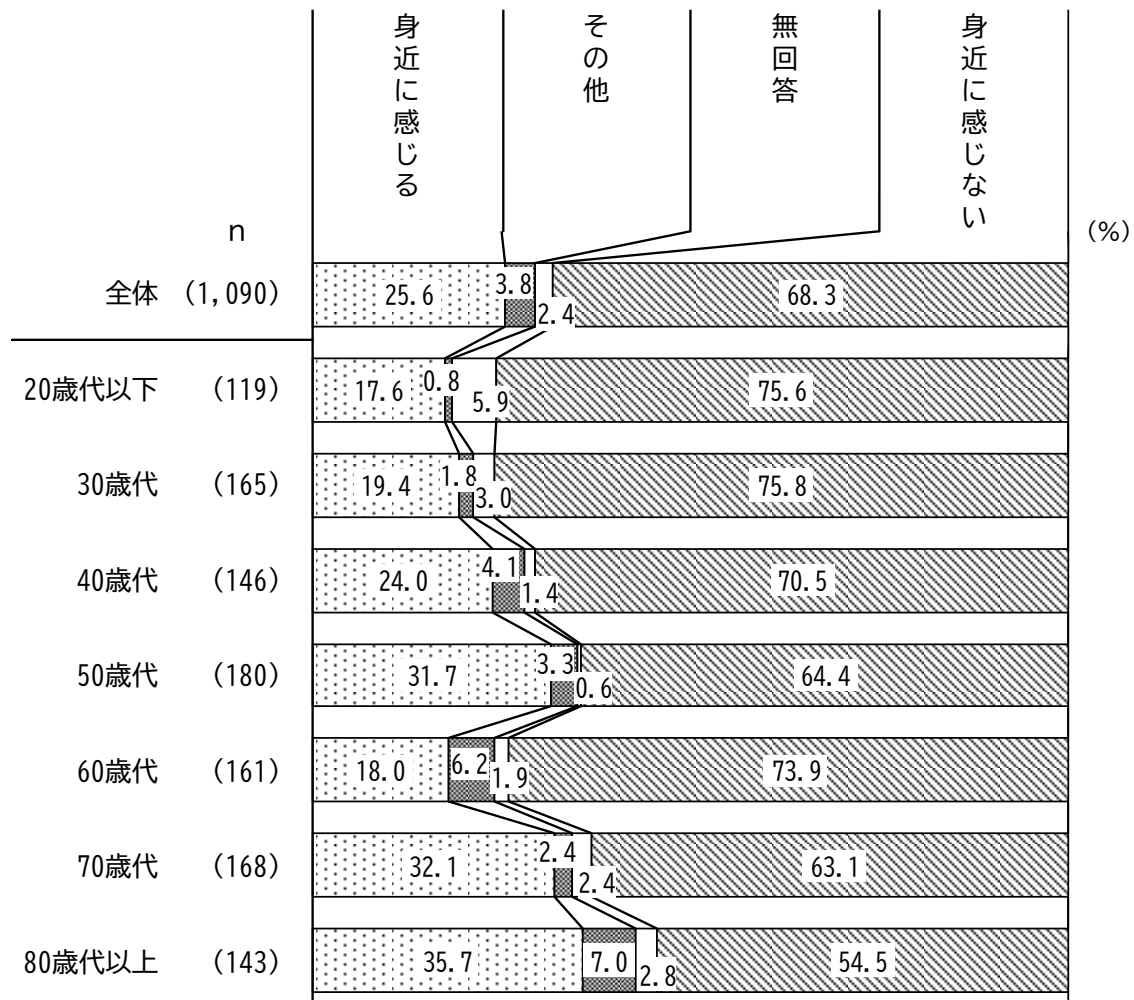
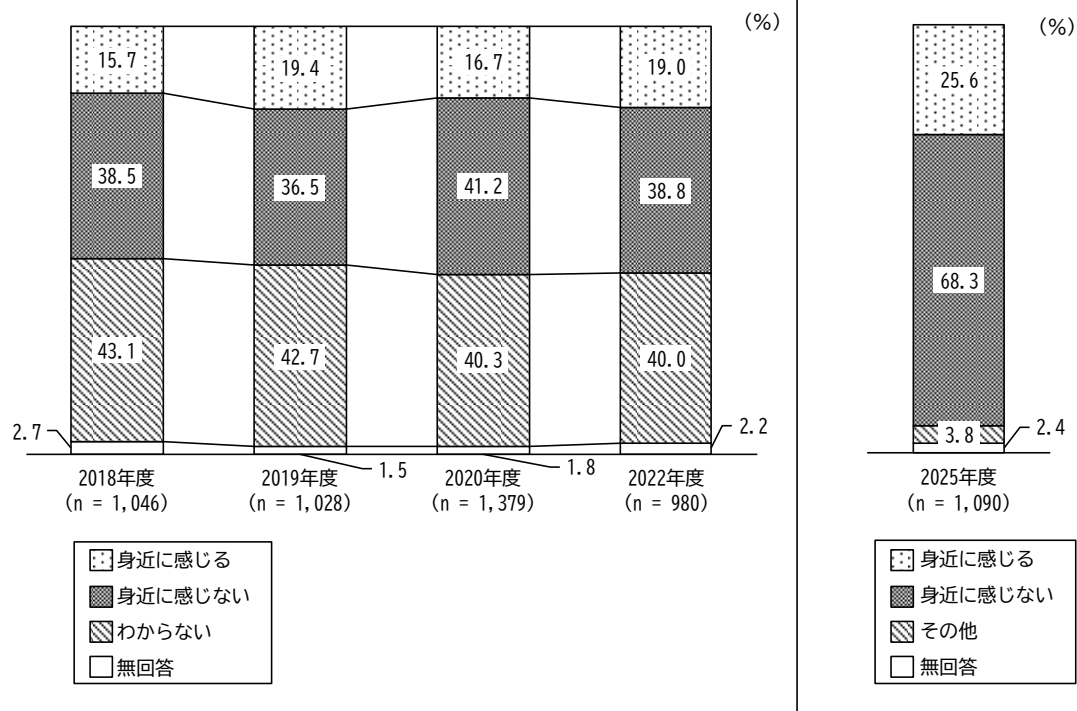


図 4-4 区民活動センターの身近さ

区民活動センターの身近さについては、「身近に感じない」が68.3%で最も高く、「身近に感じる」が25.6%、「その他」が3.8%となっている。年代別でみると、50歳代と70歳代以上では「身近に感じる」が3割台と、他の年代と比較して高くなっている。



※2025 年度は一部選択肢の内容を変更したため、2022 年度以前の結果は参考として掲載する。

図 4-5 【経年比較】区民活動センターの身近さ

4.3 犯罪被害者に対する相談窓口の認知度

◆犯罪被害者やその家族に対する相談窓口を<知っている>は3割半ば

(全員の方に)

問 51 犯罪被害者やその家族に対する相談窓口があることを知っていますか。(○は1つ)

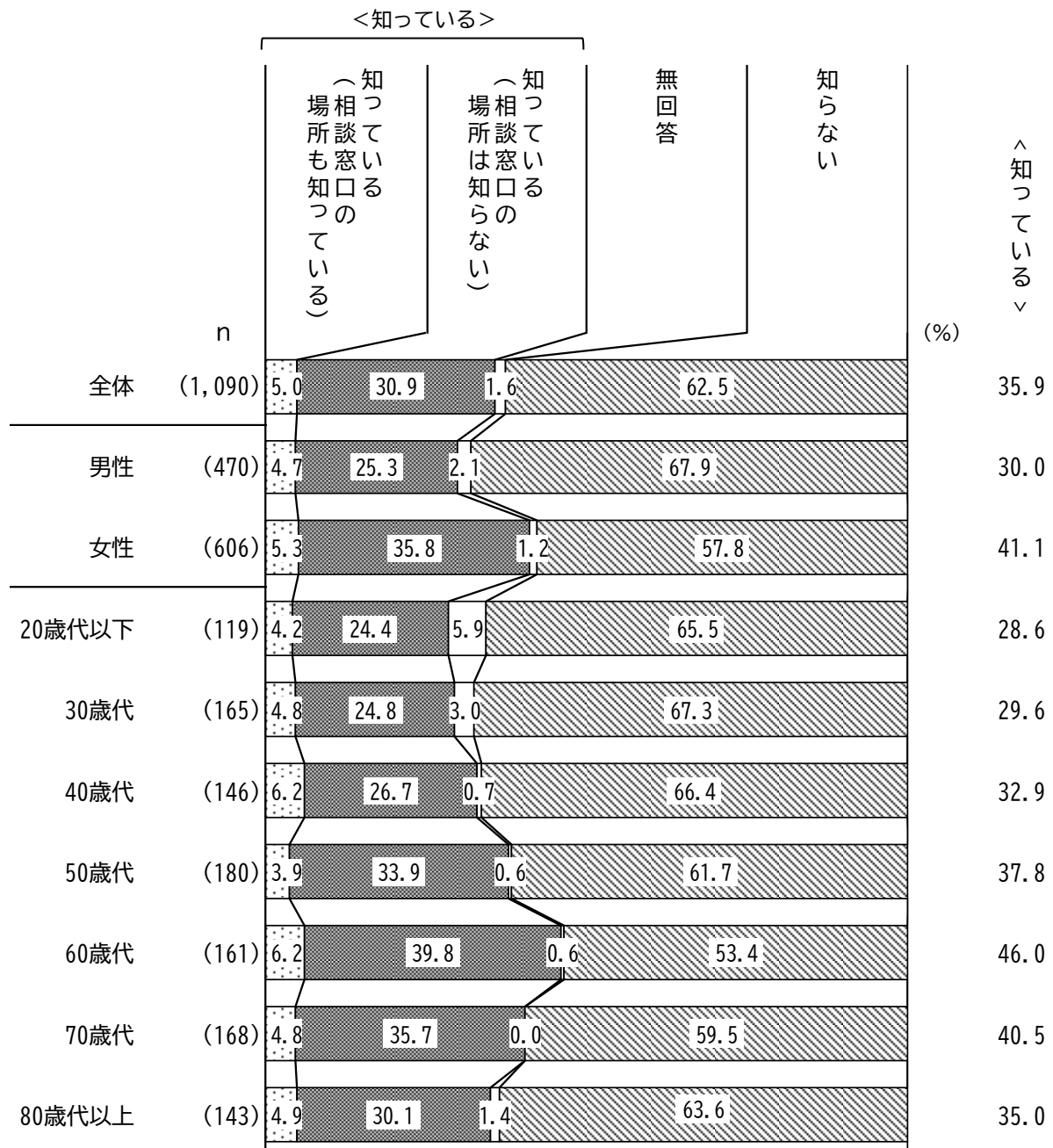
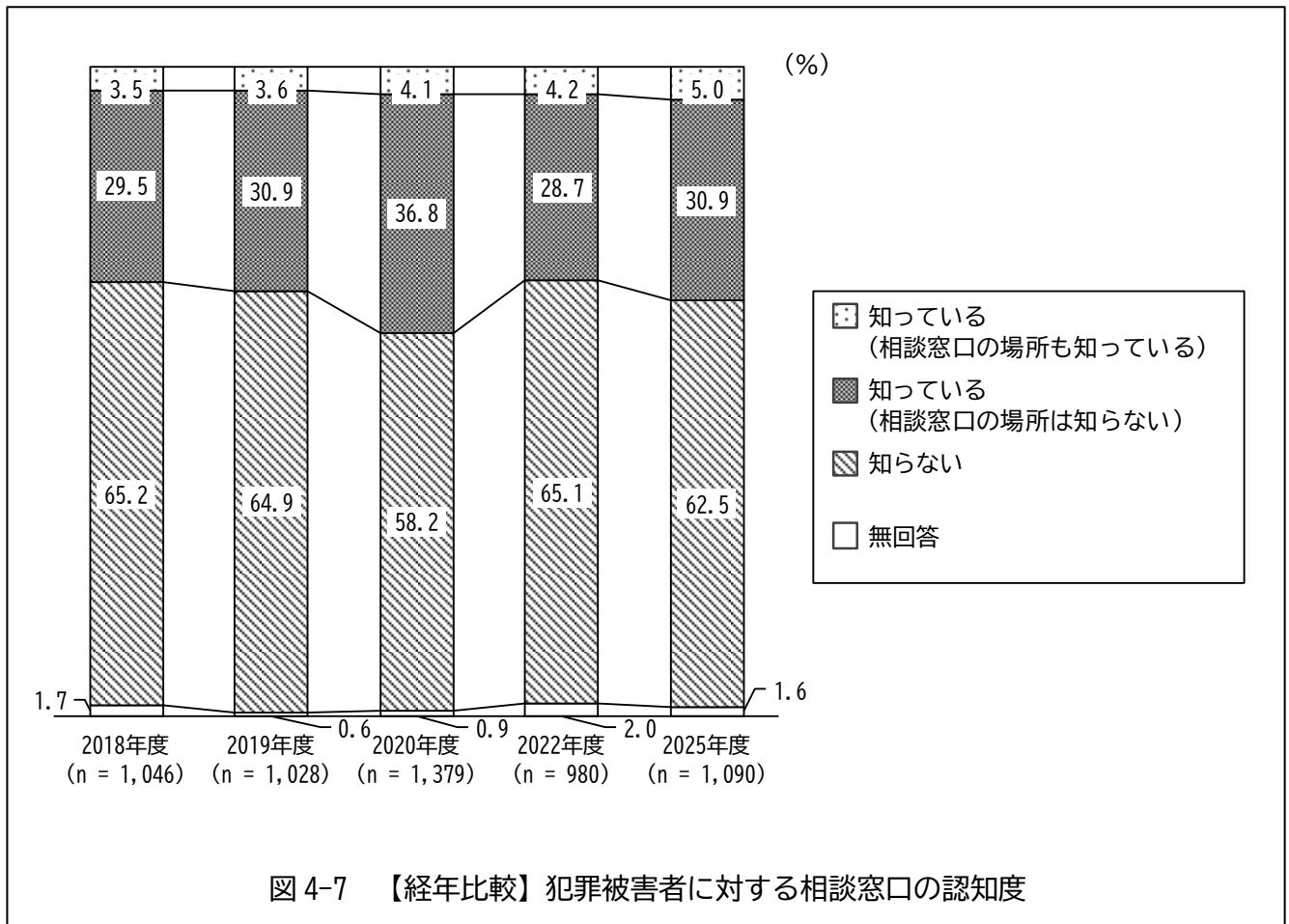


図 4-6 【性・年代別】犯罪被害者に対する相談窓口の認知度

犯罪被害者やその家族に対する相談窓口の認知度は、「知っている（相談窓口の場所も知っている）」（5.0%）と「知っている（相談窓口の場所は知らない）」（30.9%）を合わせた<知っている>で35.9%となっている。性別にみると、<知っている>で女性（41.1%）が男性（30.0%）を約11ポイント上回っている。年代別にみると、<知っている>は60～70歳代で4割台と、他の年代と比較して高くなっている。



経年で比較すると、2022 年度と大きな差異はみられない。

5 その他

5.1 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）

（全員の方に）

問 52 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体や今回の調査について、要望・意見を自由に記入していただいたところ、213 人の方から回答があった。その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

本調査について 78 件

- 自然と健康福祉に触れられるような制度などができると嬉しいです。ぜひ、回答を活用いただければと思います。（30 歳代）
- 知らないことが多いので、知らなければいけないと思うが、言葉も知らないので調べ方もわからない、と感じた。（40 歳代）
- 調査の結果がどの様に反映されるのかアンケートが形骸化しない事を願う。また項目が多すぎる感あり、加えて郵便代削減の為最初からインターネットにより対象者を増やした方がいいと思う。必ず回答を得られる様な仕組みを工夫すべき。（50 歳代）
- 回答することで、今後の健康福祉行政などの参考になり、役立ってもらえるとありがたいと思います。このような調査には、積極的に参加していきたいと思っておりますので、底力ではありますが、全ての人が幸福な暮らしが出来ますよう願っています。（50 歳代）
- 調査は大変良いと思います。内容を精査し、より充実したものにし、有意義な利用をお願いします。（60 歳代）
- 今回知らないことが沢山ありました。生活していくうえで、福祉相談、支援が必要になった時に調べて知ったり、相談することになるのだと思いました。あわてないで事前に知っておくことは、大切だと思いました。（60 歳代）
- この様な調査が行なわれている事をはじめて知りました。この機会にいろいろ考えて良い経験でした。近くにすこやかセンターがあり、たびたびいろいろと利用させてもらっています。（町会、スポーツ等）（70 歳代）

高齢福祉・介護・介護保険について 23 件

- 高齢者が増加し、親を施設に入所させたくとも都内の費用は高く、引き取ることも難しいと考えています。現実的に中野区は若者向けの物件が多く、町はバリアフリーとはいかず高齢になった時住み続けることは難しいと思います。世帯向けの物件も少なく、正直高齢者には住みづらいです。（40 歳代）
- 介護をしていると日々本当に大変で疲れているのですが、様々な更新の事務手続きもしなくては行けないので負担です。少しでも（介護保険の更新や難病受給者証の更新など）簡単になるとありがたいです。（50 歳代）
- 元気な前期高齢者向けの施策も検討して欲しい。（60 歳代）
- 単身世帯の高齢化が進み、今後介護保険申請が増加し続けると思います。初めて申請して被保険者となった場合のケアマネ選びは本人か家族に任されているのが現状ですか、知識のない者が選択決定するのは難しいと思います。包括支援センターも特定のケアマネを推薦出来ないようですし、何か良い方法はないでしょうか？（70 歳代）
- 身よりのない高齢者支援の決起が早く出来る事を望みます。死亡した時の保証人問題（70 歳代）
- 今後高齢者（80 才以上の方々）がますます増加します。私もその 1 人であります。行政府である中野区としても高齢者の見守りをますます重視してもらいたい。（80 歳代以上）

健康づくり・スポーツ施設や公園等について 11 件

- 未就学児向けのスポーツ教育などを充実してほしいです。(20 歳代以下)
- 私はスポーツ・運動を定期的に行うことがすごく大切なことだと感じています。そこで、すべての世代を対象としたスポーツイベント等をもっと企画していただくと、健康の促進にもつながりますし、地域とのつながりもできるため非常によろしいのかなと思います。(20 歳代以下)
- スポーツ関連の質問が、箱物など多額の公金を要する運動に偏っている。区民の健康増進が目的であれば、施策はヨガなどの家庭でできる運動でもよいはずである。その方向でとる施策としては、そういう動画を紹介したり、他自治体が既に実施した試みを紹介・採用したりということがあげられる。(20 歳代以下)
- 仕事終わりにスポーツができる施設を増やしていただきたいです。(30 歳代)
- こどもの運動不足が気になります。こどもが運動できる施設やイベント教室を増やしてほしい。小学校の放課後にスポーツ教室やイベント、体育館開放など学校で開催してほしい。(40 歳代)
- 気軽に運動が出来る場所が少ないので作って欲しいです。(50 歳代)

障害福祉について 6 件

- 特に精神障がいについては他人から理解されない。手帳を持っても、後めたくて使えない。目に見えないから困難さが伝わらない。どうやって障がい者差別を解消しますか？(30 歳代)
- 40 代後半に罹った ALS の夫との生活が5年以上経過しましたが、介護・医療・看護の支援のおかげで妻の私は仕事を辞めることなく過ごせています。ただ、病状がよくなるしない疾病いわゆる難病についての特定医療費控除等の更新手続きを、毎年、同内容で行うことに不便を感じます。申請に添付必須の診断書への作成にも料金がかかります。しかも診断書の内容は昨年度の複写です。改善をお願いしたいです。(50 歳代)
- 障害者がせっかく就職できても、周りの人の無理解によって仲間はずれにされたりして辞めざるを得なかった事を聞きます。障害者が職場では生かされるような支援を行政が考え企業や職場に啓発して頂きたい。(70 歳代)

医療・健診（検診）について 6 件

- 高齢者以外にも新型コロナワクチン接種費用の公的助成をお願いします。(40 歳代)
- 保険料が今後どれくらい高くなるか不安。健康保険の破綻が心配。(50 歳代)
- 区が行なう、健康診断の場所が少ない。人間ドック、脳ドックなども行なえると良い（手軽な金額で）。(60 歳代)
- 民間ではなく区営の診療施設を作って欲しい。(60 歳代)
- 区民健康診断の胃がん検診や大腸ガン検診を内視鏡検査を取り入れてほしい。(70 歳代)

地域活動について 3 件

- ボランティアに頼る福祉は限界があると思う。行政のすべきこととして区別してほしい (40 歳代)
- 私を含め他人と付き合う事が苦手な人がとても増えたなど日々感じています。私は生まれる前から両親が自営業をやっているため昔から付き合いのあるご近所さんはいますが、新しく引っ越してきた方々は知りませんし関心がないです。この状況を少しでも改善してネグレクトやご飯が食べられない子、障害のある方が孤立しないようにしてほしいと思います。(40 歳代)
- 家族がいる高齢者はまだいいのですが、高齢に限らず一人暮らしの方や近所付き合いがほとんどない方（家庭）などの緊急時に何かサポートができる体制（公的なもので）があれば（作れば）良いと考えます。ボランティア精神などという大げさなものではなくても、迷惑でなければ何かお手伝いしたいと考える住民もいますので… (70 歳代)

その他 86 件

- 健康福祉行政全般で日本で暮らす外国人に対する対応を改善させてほしいです。(30 歳代)
- 様々な相談窓口について、詳細は知りませんが、困った時に調べればそういう相談する場所はあるだろうことは知っています。実際に使用することがあったら自身のなやみを否定されことなく差別されことなく、相談員と話せることをいのります。相談員の方、窓口担当者はファーストコンタクトする方たちなので、その方達の教育、トレーニングをしっかりして欲しいです。(40 歳代)
- 健康福祉は多岐に渡り、考慮や配慮も多い大変なお仕事だと思いますが、引き続き区民のための行政をお願いします。(40 歳代)
- 福祉業界で働いている人々の離職者を減らす為に賃金UPなど、働きやすい環境が出来れば、利用者が増えても、より良い制度が受けられると思います。これから自分が年金生活者になった時に安心した生活と、余裕のある暮らしが出来る中野区を目指して頂きたいです。(40 歳代)
- それぞれの困った時に相談して解決にみちびいてくれる窓口があって、ということを目でわかような冊子や案内があればいいと思います。相談窓口を調べたり足を運ぶのもおっくうな場合もあると思うから。(50 歳代)
- 今回知らないことが沢山ありました。生活していくうえで、福祉相談、支援が必要になった時に調べて知ったり、相談することになるのだと思いました。あわてないで事前に知っておくことは、大切だと思いました。(60 歳代)
- 困った時、どこへ相談に行ったらいいか、知っていることで安心した生活が送れると思います。区報での啓発はありがたいと思います。(60 歳代)
- 相談機関のメニューや所在がわからない。うつ病対策で、働くことのできない、続かない若者世代にも、目を向けて欲しい。(60 歳代)
- 区健康福祉行政について見易く分かりやすい冊子みたいながあると便利と思います。コンパクトに分かりやすく連絡できる冊子があると便利と思います。(70 歳代)
- 各種相談窓口はたくさんあるみたいだが、本当に機能しているのか充分検証していただきたい。(70 歳代)
- 現在も介護のパートにて勤務していますが、高齢者も障害者もちろん健常者も生きていくのは大変な社会だと思います。自分自身もいろいろな相談窓口で対応させていただきましたが、やはり同じ経験したピアカウンセリングが1番良かったような気がします。(70 歳代)
- 最近区役所に行き車椅子を借りて妻が押して周りましたが、中野駅方面から行くと車寄せもなく、車椅子貸出返却も不便、車寄せと称する所にも椅子もなく帰りも難儀しました。健康福祉のモデルとして高齢者障害者が利用しやすくして欲しいと思いました。これは福祉行政にとって象徴的なのではないのでしょうか。(70 歳代)
- 結局のところ、誰しも普段の生活が特に問題なく送れている場合、何かことが起こって自分自身に関係してこない限りは興味を持って深く調べたり関わったりすることはないように思う。バックアップ体制が重要であることは理解しているが。(70 歳代)
- 年齢と共に少しの段差などが気になります。そこで1、歩道の敷石は見た目はきれいでもつまずきやすい(アスファルトに印刷などは…) 2、横断歩道は歩道より低い、そうではなく車道を高くし、歩道から段差なく渡れるように(都立多摩総合医療センターは正面玄関前一部そうになっている)(70 歳代)
- 福祉行政でケアマネさんにお世話になり、ありがとうございます。個人情報漏れを止めるのは大切ですが、当人の事を身内同様に心配したり、よく知っている人には、何処に入所して、どうしているかを知らせてもらいたい。最期のお別はしたいです。私の知人で、毎月我家に来て、楽しく過ごした方(女性)が認知症になられてからは、何も知らされず、亡くなられた事を知って聞いても、信じられず、又来てくれるような気がしています。(80 歳代以上)

IV 調査票と単純集計

れい わ ねん ど ねん ど
令和7年度（2025年度）
 けんこうふく し かん い し きちよう さ
健康福祉に関する意識調査
 ちょう さ ひょう
調 査 票

ちょうさ きにゆう ねが
【調査のご記入にあたってのお願い】

- この調査は、できる限りあて名のご本人がお答えください。ご本人がお答えになれない場合は、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場になってお答えください。
- 令和7年8月1日現在の状況でお答えください。
- 名前・住所を書いていただく必要はありません。
- ご記入は、必ず黒か青のボールペン又は鉛筆で、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
- 「その他（ ）」に○印をつけた場合は、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
- 回答方法

ゆうそう かいとう
【郵送による回答】

ほんちようさひよう どうふう へんしんようふうとう きってふよう い ゆうそう
 本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

かいとう
【インターネットによる回答】

みぎ にじげん よ と かいとうよう にゅうりよく
 右の二次元コードを読み取るか、回答用URLを入力して、
 さいしょ がめん にゅうりよく
 最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインして
 ください。

※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

※回答用URL: <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanokfq.php>

かいとうきげん ゆうそう きようつう
【回答期限（郵送・インターネット共通）】

れい わ ねん ねん がつ にち きんようび
令和7年（2025年）10月10日（金曜日）

と あ さき
【お問い合わせ先】

なかのくけんこうふくし ぶ ふくしすいしんか けんこうふくしきかくがかり
中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係

TEL. 03-3228-5421 FAX. 03-3228-5662

E-mail kenkofukusikikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に（全員のの方に）と記載のあるものは全員のの方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

《はじめに、あなたご自身のことについてうかがいます》

（全員のの方に）＜回答者数：1,090＞

（1） あなたの性別は、どちらですか。（○は1つ）

1. 男性(43.1%) 2. 女性(55.6%) 3. その他(0.6%) 無回答(0.7%)

（全員のの方に）＜回答者数：1,090＞

（2） あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 18歳・19歳(0.6%) 2. 20歳代(10.3%) 3. 30歳代(15.1%) 4. 40歳代(13.4%)
5. 50歳代(16.5%) 6. 60～64歳(8.0%) 7. 65～69歳(6.8%) 8. 70～74歳(7.5%)
9. 75～79歳(7.9%) 10. 80～84歳(6.4%) 11. 85～89歳(4.1%) 12. 90歳以上
(2.6%)無回答(0.7%)

（全員のの方に）＜回答者数：1,090＞

（3） あなたのご職業は、次のどれにあてはまりますか。
（○は1つ。複数ある方は、主なもの1つに○）

1. 正規の職員・従業員(37.5%) 2. 労働者派遣事業所の派遣社員(2.0%)
3. パート・アルバイト・契約社員・嘱託(14.9%) 4. 自営業主・家族従事者(10.0%)
5. 学生(2.1%) 6. 家事専業(11.0%)
7. 無職(19.2%) 8. その他(2.5%) 無回答(0.8%)

（全員のの方に）＜回答者数：1,090＞

（4） あなたの世帯構成は、次のどれにあたりますか。（○は1つ）

1. 単身世帯（一人暮らし）(30.5%) 2. 夫婦のみ世帯(24.0%)
3. 2世代世帯（親と子）(34.8%) 4. 3世代世帯（親と子と孫）(4.3%)
5. その他の世帯(5.4%) 無回答(1.0%)

((4) で、「3. 2世代世帯(親と子)」「4. 3世代世帯(親と子と孫)」「5. その他
の世帯」に○をつけた方に) <回答者数: 485>

(5) あなたの世帯に18歳未満の子どもはいますか。(○は1つ)

1. はい(38.1%) 2. いいえ(60.2%) 無回答(1.6%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,090>

(6) あなたは日常的に家族の介護をしていますか。(○は1つ)

1. はい(6.7%) 2. いいえ(89.7%) 無回答(3.6%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,090>

(7) お住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)(38.1%)
2. 持ち家(分譲マンション等の集合住宅)(20.0%)
3. 公営の賃貸住宅(都営・区営住宅、公社等)(3.0%)
4. 民営の賃貸住宅(33.5%)
5. 社宅、社員寮、公務員住宅(2.5%)
6. その他(2.0%) 無回答(0.9%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,090>

(8) あなたは中野区にお住まいになられて何年になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満(5.0%) 2. 1年以上5年未満(16.1%)
3. 5年以上10年未満(11.2%) 4. 10年以上20年未満(17.9%)
5. 20年以上(48.8%) 無回答(0.9%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,090>

(9) あなたがお住まいの地域はどこですか。(○は1つ)

1. 南台(7.4%) 2. 弥生町(6.1%) 3. 本町(8.1%) 4. 中央(8.3%)
5. 東中野(7.2%) 6. 中野(10.5%) 7. 上高田(6.3%) 8. 新井(5.5%)
9. 沼袋(3.6%) 10. 松が丘(1.5%) 11. 江原町(2.4%) 12. 江古田(3.8%)
13. 丸山(1.6%) 14. 野方(6.6%) 15. 大和町(4.6%) 16. 若宮(3.1%)
17. 白鷺(2.7%) 18. 鷺宮(5.5%) 19. 上鷺宮(4.0%) 無回答(1.4%)

ちい きかつどう
《地域活動についておたずねします》

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問1 あなたは、どのような内容の地域の活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 町会・自治会の活動(11.7%) | 2. ボランティア活動(4.1%) |
| 3. スポーツ関係の活動(4.4%) | 4. 趣味関係の活動(5.0%) |
| 5. 学習・教養サークルの活動(2.5%) | 6. その他(2.6%) |
| 7. 参加していない(75.2%) | 無回答(1.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問2 あなたのご近所とのつきあいはどのようなものですか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 困っているときお互いに相談したり助け合ったりする等、親しくおつきあいしている(10.8%) |
| 2. 町会、自治会や隣近所の行事の時だけつきあう(4.8%) |
| 3. たまに世間話する程度(19.6%) |
| 4. 顔を合わせたときに会釈する程度(42.2%) |
| 5. つきあいがほとんどない(21.7%) |
| 無回答(0.9%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問3 自分には人とのつきあいが無いと感じることはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 全く感じない(25.3%) | 2. ほとんど感じない(35.8%) |
| 3. ときどき感じる(29.0%) | 4. 常に感じる(8.8%) |
| | 無回答(1.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問4 自分は取り残されていると感じることはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 全く感じない(40.6%) | 2. ほとんど感じない(40.8%) |
| 3. ときどき感じる(14.4%) | 4. 常に感じる(3.0%) |
| | 無回答(1.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問5 自分は他の人から孤立していると感じることはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 全く感じない(40.1%) | 2. ほとんど感じない(40.6%) |
| 3. ときどき感じる(15.1%) | 4. 常に感じる(2.9%) |
| | 無回答(1.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問6 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる、または相談できるのは誰ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 配偶者・パートナー(51.2%) | 2. 子(25.7%) |
| 3. 親・祖父母(25.4%) | 4. 兄弟姉妹(27.7%) |
| 5. その他親族(6.7%) | 6. 知人・友人(56.0%) |
| 7. 職場の人(22.1%) | 8. 加入団体の仲間(4.4%) |
| 9. ネット上の知り合い(2.8%) | 10. その他(3.0%) |
| 11. そのような人はいない(4.1%) | 無回答(1.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問7 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手・相談機関はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 自治会・町会(4.5%) | 2. 民生委員・児童委員(3.1%) |
| 3. 社会福祉協議会(1.8%) | 4. 区役所等の公的機関(15.5%) |
| 5. 精神科医・臨床心理士等の精神・心理の専門家(6.4%) | |
| 6. 精神科以外の医師や弁護士等の専門家(6.8%) | |
| 7. その他(5.6%) | 8. そのような人はいない(62.1%) |
| | 無回答(2.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問8 あなたは、地域で生活していくうえで、近隣同士のどのような見守り・支えあい活動が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 日常的な声かけ(47.0%) |
| 2. 生活の様子の気配り(ポストに新聞や手紙がたまっていないか等)(34.8%) |
| 3. 異変を感じた時の区役所等への連絡(39.0%) |
| 4. ちょっとしたお手伝い(ごみ捨て等)(25.3%) |
| 5. 見守り・支えあい活動は必要だと思わない(6.2%) |
| 6. わからない(14.9%) |
| 無回答(1.6%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問9 あなたは、近隣^{きんりん}同士の日常的な声かけ^{こえかけ}などの見守り・^{みまも}支えあい活動^{かつどう}をしていますか。
(○は1つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 継続 ^{けいぞく} 的に活動 ^{かつどう} している(13.2%) | |
| 2. 活動 ^{かつどう} したことがある(13.7%) | |
| 3. 活動 ^{かつどう} していないが、これから活動 ^{かつどう} してみたい(34.4%) | |
| 4. 活動 ^{かつどう} していないし、これからも活動 ^{かつどう} したいと思 ^{おも} わない(37.0%) | 無回答(1.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問10 あなたは、地域^{ちいき}の子ども^こに対する見守り・^{みまも}支えあい活動^{かつどう}をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 困 ^{こま} っているときに、相談 ^{そうだん} にのったり、子ども ^こ を預 ^{あず} かったりする等 ^{とう} 、している(2.1%) | |
| 2. 子ども ^こ を対象 ^{たいしょう} とした地域 ^{ちいき} の活動 ^{かつどう} にスタッフとして参加 ^{さんか} している(2.9%) | |
| 3. 通学 ^{つうがく} 中 ^{ちゅう} の子ども ^こ に声かけ ^{こえかけ} をしている(4.7%) | |
| 4. あいさつ ^{あいさつ} をしている(22.7%) | |
| 5. その他 ^た (2.0%) | |
| 6. 特 ^{とく} に何 ^{なに} もしていない(71.2%) | 無回答(1.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問11 地域^{ちいき}には、住民^{じゅうみん}同士の交^{こう}流^{りゅう}の場^ば所^{しょ}や機^き会^{かい}がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------|
| 1. ある(14.9%) | 2. どちらかといえばある(21.0%) | |
| 3. どちらかといえばない(20.4%) | 4. ない(42.8%) | 無回答(1.0%) |

(全員の方向に) <回答者数：1,090>

問12 障害のある人となない人が共に地域社会で暮らしていくために、行政の施策としてどのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思うことを3つまでお選びください。
(○は3つまで)

1. 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動(24.3%)
2. ボランティア活動の育成・支援(14.0%)
3. 障害のある子どもの相談・支援体制や学校教育の充実(26.9%)
4. 職業訓練の充実、就労の機会の確保(23.9%)
5. 保健医療サービス・リハビリテーションの充実(17.2%)
6. 年金や手当の充実(18.1%)
7. 相談員やホームヘルパー等の在宅サービスの充実(26.1%)
8. 福祉機器や情報機器の開発・普及(4.4%)
9. 障害のある人に配慮した公共建築物や公共住宅、交通機関の改善・整備(24.3%)
10. 点字や手話、字幕放送等による情報提供の充実(4.0%)
11. 民間住宅のバリアフリー化の普及促進(6.3%)
12. スポーツや文化活動・交流活動の推進(6.9%)
13. グループホーム等居住の場の整備、入居支援(12.1%)
14. 災害時の救出・救護体制の整備(24.2%)
15. その他(1.2%) 16. 特にない(2.7%) 17. わからない(7.0%) 無回答(2.0%)

(60歳以上の方) <回答者数：472>

問13 高齢者会館(いこいの家も含む)では、様々な自主活動、健康づくりや介護予防の講習会や、施設の貸し出しもしています。

あなたは高齢者会館を利用したことがありますか。(○は1つ)

1. よく利用している(6.4%) 2. 一度(数回)あり現在は利用していない(6.4%)
3. あまり利用していない(5.3%) 4. 全く利用したことがない(79.2%)
- 無回答(2.8%)

(問13で「3. あまり利用していない」「4. 全く利用したことがない」に○をつけた方に)

<回答者数：399>

問13-1 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者会館を知らなかったから(30.8%) 2. 活動内容が分からないから(33.8%)
3. 行く必要を感じないから(52.6%) 4. 行く時間がないから(15.8%)
5. 遠いから(4.0%) 6. 参加したい催しや活動がないから(11.5%)
7. 知り合いがいないから(16.3%) 8. その他(4.3%) 無回答(2.0%)

いりよう けんこう
《医療・健康についておたずねします》

ぜんいん かた
(全員のの方に) <回答者数：1,090>

とい 問14 あなたは、げんざい けんこうじょうたい かん
現在の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. けんこう 健康である(33.2%) | 2. どちらかといえばけんこう 健康である(47.0%) |
| 3. どちらかといえばけんこう 健康でない(12.1%) | 4. けんこう 健康でない(5.4%) 無回答(2.3%) |

ぜんいん かた
(全員のの方に) <回答者数：1,090>

とい 問15 あなたは、うんどう スポーツを ねんいじょうつづ 1年以上続けていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|----------------------|-----------|
| 1. ねんいじょう 1年以上(40.8%) | 2. ねんみまん 1年未満(51.0%) | 無回答(8.2%) |
|-----------------------|----------------------|-----------|

ぜんいん かた
(全員のの方に) <回答者数：1,090>

とい 問15-1 あなたは、うんどう スポーツをどこで おこな 行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1. こうえん 公園(14.9%) | 2. ゆうほどう 遊歩道(18.8%) |
| 3. く ゆうしせつ たいいくかん 区有施設(体育館、グラウンド、スポーツ・コミュニティプラザ)(12.7%) | |
| 4. こうれいしゃしせつ こうれいしゃかいかんとく 高齢者施設(高齢者会館等)(2.9%) | 5. みんかん 民間スポーツクラブ(18.7%) |
| 6. おくがい じてんしゃりよう 屋外で自転車利用(17.1%) | 7. その他(26.3%) 無回答(12.9%) |

ぜんいん かた
(全員のの方に) <回答者数：1,090>

とい 問15-2 うんどう スポーツを おこな 行っていない理由として りゆう もっと もあてはまるものをおえら 選びください。(○は1つ)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. じかん 時間がないから(21.0%) | 2. きかい 機会がないから(9.0%) |
| 3. しせつ ばしょ りようじかんたい あ 施設や場所の利用時間帯が合わないから(2.8%) | |
| 4. しせつ ばしょ ちか 施設や場所が近くにないから(5.3%) | 5. かね お金がかかるから(5.4%) |
| 6. たいりよくてき むずか 体力的に難しいから(7.0%) | 7. うんどう す 運動することが好きではないから(9.1%) |
| 8. いっしょ うんどう ひと 一緒に運動する人がいないから(2.5%) | 9. しどう ひと 指導してくれる人がいないから(0.9%) |
| 10. うんどう ひつよう かん 運動する必要を感じないから(4.6%) | 11. その他(7.8%) 無回答(24.6%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問16 この1^{ねんかん}年間に、プロ・アマチュアスポーツを問わず、スタジアム・体育館・^{たいいくかん}沿道^{えんどう}などで
 実際^{じっさい}にスポーツを^{かんせん}観戦したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 野球 ^{やきゅう} (17.6%) | 2. サッカー、フットサル(7.6%) |
| 3. バスケットボール(3.7%) | 4. バレーボール(2.5%) |
| 5. 卓球 ^{たっきゅう} (1.9%) | 6. テニス(2.2%) |
| 7. バドミントン(1.5%) | 8. ラグビー(2.8%) |
| 9. 陸上競技 ^{りくじょうきょうぎ} (3.8%) | 10. マラソン、 ^{えきでん} 駅伝(3.9%) |
| 11. 水泳 ^{すいえい} (1.6%) | 12. 柔道 ^{じゅうどう} 、 ^{けんどう} 剣道、 ^{からて} 空手(1.0%) |
| 13. ボクシング、レスリング、その他格闘技 ^{たかくとうぎ} (1.3%) | 14. その他 ^た (3.4%) |
| 15. 観戦 ^{かんせん} しなかった(61.1%) | 無回答(4.5%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問17 あなたは、区^くのスポーツ施策^{しやく}や区立^{くりつ}のスポーツ施設^{しせつ}について、何か^{なに}望む^{のぞ}ことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 初心者^{しよしんしゃ}向けのスポーツ教室^{きょうしつ}やスポーツ行事^{ぎやうじ}の充実^{じゅうじつ}(20.8%)
2. 障害^{しょうがい}のある人^{ひと}が参加^{さんか}しやすいスポーツ教室^{きょうしつ}やスポーツ行事^{ぎやうじ}の充実^{じゅうじつ}(7.3%)
3. 高齢者^{こうれいしゃ}が参加^{さんか}しやすいスポーツ教室^{きょうしつ}やスポーツ行事^{ぎやうじ}の充実^{じゅうじつ}(20.8%)
4. 子育て世代^{こそだ}が参加^{さんか}しやすいスポーツ教室^{きょうしつ}やスポーツ行事^{ぎやうじ}の充実^{じゅうじつ}(13.9%)
5. 働き盛り^{はたら}の世代^{ざい}が参加^{さんか}しやすいスポーツ教室^{きょうしつ}やスポーツ行事^{ぎやうじ}の充実^{じゅうじつ}(15.0%)
6. 民間企業等^{みんかんきぎやうとう}と連携^{れんけい}したスポーツ教室^{きょうしつ}やスポーツ行事^{ぎやうじ}の充実^{じゅうじつ}(9.4%)
7. 体力測定等^{たいりよくそくていとう}の健康指導^{けんこうしどう}(16.8%)
8. 地域^{ちいき}のスポーツ団体^{だんたい}、クラブへの支援^{しえん}(5.2%)
9. 指導者^{しどうしゃ}の育成^{いくせい}・支援^{しえん}(4.9%)
10. スポーツボランティア^{りようてつづ}の育成^{いくせい}・支援^{しえん}(4.9%)
11. 利用手続き^{りようてつづ}の簡素化^{かんそか}や利用時間^{りようじかん}の拡大^{かくだい}(^{そうちやう}早朝^{やかんとう}、^{しせつ}夜間等)などスポーツ施設^{しせつ}の
 利便性^{りべんせい}の向上^{こうじやう}(21.2%)
12. スポーツに関する広報^{かんこうほう}の充実^{じゅうじつ}(7.7%)
13. 新規^{しんき}スポーツ施設^{しせつ}の整備^{せいび}(11.0%)
14. 既存^{きぞん}スポーツ施設^{しせつ}のメンテナンス・リニューアル(10.5%)
15. 高齢者^{こうれいしゃ}や障害^{しょうがい}のある人^{ひと}に配慮^{はいりょ}した施設^{しせつ}・設備^{せつび}の整備^{せいび}(13.3%)
16. その他^た(4.2%)
17. 特^{とく}にない(26.5%)

無回答(3.3%)

— IV 調査票と単純集計 —

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問18 パラリンピックや^{しょうがいしゃ}障害者スポーツ（ユニバーサルスポーツ）を^{りかい}理解し^{ひろ}広めるために、
区はどのようなことを^{じゅうてんてき}重点的に行^{おこな}えば^よ良いと思^{おも}いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. パラリンピック^{きょうぎしゆもくどう}競技種目等の^{しょうがいしゃ}障害者スポーツ^{たいけん}体験イベントの^{じっし}実施(45.7%)
2. パラリンピアンなど、^{しょうがいしゃ}障害者スポーツのアスリート等による^{こうえんかいどう}講演会等の^{じっし}実施(17.9%)
3. ^{しょうがいしゃ}障害者スポーツに関する^{かん}展示会等の^{じっし}実施(8.4%)
4. 区報^{くほう}やホームページ等に^{しょうがいしゃ}障害者スポーツを紹介^{しょうかい}するなどの^{ふきゅう}普及・^{せんでんかつどう}宣伝活動(49.4%)
5. その他^た(5.5%) 無回答(8.3%)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問19 スポーツ・ボランティア^{かつどう}活動として^{かんしん}関心のある^{ないよう}内容がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 区内スポーツイベント等の^{せんもん}専門ボランティア（^{しんぱん}審判、^{つうやく}通訳、^{きゅうご}救護など）(5.5%)
2. 区内スポーツイベント等の^{いっぱん}一般ボランティア（^{あんない}案内、^{うけつけ}受付、^{うんぱん}運搬など）(17.2%)
3. イベント当日以外のボランティア（^{こうほう}広報、^{しより}データ処理など）(8.1%)
4. 区内スポーツ^{かつどう}活動の^{しどうしゃ}指導者やコーチ(5.6%)
5. 区内のスポーツ選手を^{せんしゆ}応援などで^{ささ}支えるボランティア(11.0%)
6. その他^た(1.3%)
7. 特^{とく}にない(60.6%) 無回答(5.2%)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問20 あなたは、1日^{いち}にどのくらいの^{じかん}時間を^{ざいしせい}座位姿勢で^す過ごしていますか。（○は1つ）

- | | |
|---|---|
| 1. 1時間未満 ^{じかんみまん} (4.7%) | 2. 1時間以上3時間未満 ^{じかんいじょう じかんみまん} (16.1%) |
| 3. 3時間以上5時間未満 ^{じかんいじょう じかんみまん} (23.8%) | 4. 5時間以上7時間未満 ^{じかんいじょう じかんみまん} (22.9%) |
| 5. 7時間以上9時間未満 ^{じかんいじょう じかんみまん} (15.6%) | 6. 9時間以上 ^{じかんいじょう} (14.6%) 無回答(2.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問21 あなたが、最近1年間で関わった、スポーツを支える活動は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援(審判、指導者、チームの運営役員など) (2.4%)
2. 成人を中心としたスポーツ団体等の運営や支援(審判、指導者、チームの運営役員など) (1.6%)
3. スポーツ選手・チームの応援(試合会場で応援活動など) (9.2%)
4. 仕事としてスポーツに関わっている(インストラクター、教員、スポーツ用品販売員、イベント会社勤務など) (2.2%)
5. スポーツイベントのボランティア(スポーツ大会などの不定期な活動) (1.7%)
6. スポーツイベントの募金や寄付、オークションなどのチャリティー活動(0.9%)
7. 活動していない(82.3%) 無回答(3.1%)

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問22 日ごろ、あなたが食べ物や食生活に関して心がけていることや、関心があることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 朝食を毎朝欠かさず食べる(59.9%)
2. 家族そろって食事をする(20.3%)
3. 栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている(55.7%)
4. 国産品や地場産品の購入に努めている(28.5%)
5. 食べ残しや食材の廃棄を減らすようにしている(49.3%)
6. 食の安全性を重視している(37.0%)
7. 手軽さ・利便性や値段の安さを重視している(28.2%)
8. 間食をしないようにしている(17.1%)
9. その他(1.8%) 10. 特にない(5.7%) 無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問23 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、普段から適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。(○は1つ)

1. いつも気をつけて実践している(15.2%)
2. 気をつけて実践している(48.5%)
3. あまり気をつけて実践していない(26.1%)
4. 全く気をつけて実践していない(6.0%)
5. わからない(2.6%) 無回答(1.7%)

— IV 調査票と単純集計 —

(全員の^{ぜんいん}方に) ^{かた}＜回答者数：1,090＞

問24 あなたは、健康診断^{けんこうしんだん}を受けていますか。(○は1つ)

1. 毎年^{まいとし}受けている(71.5%) 2. ときどき^う受けている(12.4%)

3. ほとんど^う受けていない(14.3%)

問24-3へ

無回答(1.8%)

(問24で「1. 毎年^{まいとし}受けている」「2. ときどき^う受けている」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：914>

問24-1 あなたは、健康診断^{けんこうしんだん}をどこで受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場^{しょくば}や健康保険組合^{けんこうほけんくみあい}の健康診断^{けんこうしんだん}(59.2%) 2. 区^くが実施^{じっし}する健康診断^{けんこうしんだん}(32.7%)

3. 通学^{つうがく}先^{さき}で実施^{じっし}する健康診断^{けんこうしんだん}(2.5%) 4. 人間^{にんげん}ドック(11.4%)

5. その他^た(5.6%)

無回答(1.1%)

(問24で「1. 毎年^{まいとし}受けている」「2. ときどき^う受けている」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：914>

問24-2 健康診断^{けんこうしんだん}の結果^{けっか}をどのように活用^{かつよう}しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 前^{ぜん}回の結果^{けっか}と比較^{ひかく}して健康状態^{けんこうじょうたい}を確か^{たし}めた(72.9%)

2. 食事^{しょくじ}や運動^{うんどう}等の生活習慣^{せいかつしゅうかん}を見直^{みな}した(25.4%)

3. 特定保健指導^{とくていほけんしどう}※^うを受けた(3.7%)

4. 医療機関^{いりょうきかん}に行^いって医師^{いし}に相談^{そうだん}した(27.8%)

5. すこやか福祉センター^{ふくし}で病気^{びょうき}や栄養^{えいよう}について相談^{そうだん}した(0.2%)

6. 家族^{かぞく}や友人^{ゆうじん}に結果^{けっか}を見せ^みて相談^{そうだん}した(9.4%)

7. 気^きになることがなかつたので何^{なに}もしなかつた(7.7%)

8. 気^きになることがあつたが何^{なに}もしなかつた(2.7%)

9. その他^た(0.9%)

無回答(3.4%)

※特定保健指導…メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群^{ないぞうしぼうしやうこうぐん})の早期発見^{そうきはっけん}を目的^{もくてき}とした健康診査^{けんこうしんさ}(特定健診^{とくていけんしん})の結果^{しん}、メタボリックシンドローム、あるいはその予備群^{よびぐん}とされた人^{ひと}に対して医療保険^{いりょうほけん}者が行^{しや}う保健指導^{ほけんしどう}のことです。

(問24で「3. ほとんど^う受けていない」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：156>

問24-3 あなたが、健康診断^{けんこうしんだん}を受けなかつた理由^{りゆう}は何^{なん}ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間^{じかん}がないため(21.2%)

2. 費用^{ひよう}がかかるため(25.0%)

3. 面倒^{めんどう}なため(35.9%)

4. 病気治療^{びょうきちりょう}を継続^{けいぞく}しているため(23.7%)

5. 健康診断^{けんこうしんだん}を行^{おこな}っていることを知らなかつたため(5.1%)

6. 健康診断^{けんこうしんだん}を信用^{しんよう}していないため(7.7%) 7. 悪い結果^{わるいけっか}が出^でると不安^{ふあん}になるため(8.3%)

8. 健康^{けんこう}なので必要性^{ひつようせい}を感じないため(19.9%)

9. その他^た(11.5%)

無回答(1.3%)

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問25 あなたは、自宅^{じたく}の近く^{ちか}で診察^{しんさつ}や健康相談^{けんこうそうだん}をするかかりつけ^{かかりつけ}の診療所^{しんりょうじょ} (医院・クリニック^{いいん}) を決めて^きいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 決めて ^き いる(46.6%) | 2. だいたい決めて ^き いる(24.4%) |
| 3. 決めて ^き いない(23.7%) | 無回答(5.3%) |

(問25で「1. 決めて^きいる」「2. だいたい決めて^きいる」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：774>

問25-1 あなたは、かかりつけ^{かかりつけ}の診療所^{しんりょうじょ} (医院・クリニック^{いいん}) で、普段^{ふだん}から本人^{ほんにん}や家族等^{かぞくどう}の日常生活^{にちじょうせいかつ}を含めた健康^{けんこう}についてのアドバイス^うを受けて^ういますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 1. 受けて ^う いる(53.9%) | 2. 受けて ^う いない(45.0%) | 無回答(1.2%) |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------|

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問26 あなたは、この1年間^{ねんかん}、歯科健診^{しかけんしん}を受け^うましたか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|-----------|
| 1. 受けた ^う (60.1%) | 2. 受けて ^う いない(36.1%) | 無回答(3.9%) |
|-----------------------------|--------------------------------|-----------|

(問26で「1. 受けた^う」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：655>

問26-1 あなたは、歯科健診^{しかけんしん}をどこで受けて^ういますか (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 職場 ^{しょくば} の歯科健診 ^{しかけんしん} (3.1%) | 2. 区 ^く が実施 ^{じっし} する歯科健診 ^{しかけんしん} (7.6%) |
| 3. 通学先 ^{つうがくさき} で実施 ^{じっし} する健康診断 ^{けんこうしんだん} (0.3%) | 4. かかりつけ ^{かかりつけ} の歯科医 ^{しかい} (91.0%) |
| 5. その他 ^た (1.4%) | 無回答(0.3%) |

(問26で「2. 受けて^ういない」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：393>

問26-2 あなたが、歯科健診^{しかけんしん}を受診^{じゆしん}しなかった理由^{りゆう}は何^{なん}ですか (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 時間 ^{じかん} がないから(27.0%) | 2. 費用 ^{ひよう} がかかるから(17.8%) |
| 3. 面倒 ^{めんどう} だから(27.5%) | 4. かかりつけ ^{かかりつけ} の歯科医 ^{しかい} で治療 ^{ちりょうちゆう} 中だから(13.7%) |
| 5. 歯科健診 ^{しかけんしん} を行 ^{おこな} っていることを知ら ^し なかったから(7.6%) | |
| 6. 歯科健診 ^{しかけんしん} を信用 ^{しんよう} していないから(1.8%) | 7. 悪い結果 ^{わるいけつ} がでると不安 ^{ふあん} になるから(4.1%) |
| 8. 必要性 ^{ひつようせい} を感じないから(17.6%) | 9. その他 ^た (9.4%) |
| | 無回答(2.8%) |

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問27 あなたは、定期的^{ていきてき}にメンテナンス^{メンテナンス}のために歯科医^{しかい}に通^{かよ}っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 1. 通 ^{かよ} っている(55.0%) | 2. 通 ^{かよ} っていない(40.1%) | 無回答(4.9%) |
|--------------------------------|---------------------------------|-----------|

— IV 調査票と単純集計 —

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：1,090>

問28 あなたは、^{じたく}自宅^{ちか}の近くで^{しんさつ}診察や^{けんこうそうだん}健康相談をするかかりつけの^し歯科^か診療^{しんりょうじょ}所を決めていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------------------|---|-----------|
| 1. 決めて ^き いる(55.9%) | 2. だいたい ^き 決めて ^き いる(16.8%) | 無回答(2.1%) |
| 3. 決めて ^き いない(25.2%) | | |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：1,090>

問29 あなたは、^{じたく}自宅^{ちか}の近くで^{ちやうざい}調剤^{ねが}をお願いしたり^{くすり}薬^{かん}に関する^{そうだん}相談をするかかりつけの^{やっきょく}薬局を決めていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------------------|---|-----------|
| 1. 決めて ^き いる(35.4%) | 2. だいたい ^き 決めて ^き いる(28.0%) | 無回答(2.2%) |
| 3. 決めて ^き いない(31.4%) | 4. その他 ^た (院内 ^{いんない} 処方 ^{しよほう}) (3.0%) | |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：1,090>

問30 あなたは、^{じたく}自宅^{ちい}のある^{きゆうきゆうかんじや}地域で^で救急^{ばあい}患者が出た場合に、^{びやうじやう}病状^{おう}に応じた^{てきせつ}適切な^{いりやう}医療を受けられる^{かんきやう}環境が^{ととの}整っている^{おも}と思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--|--|-----------|
| 1. 整 ^{ととの} っている ^{おも} と思う(27.8%) | 2. ほぼ ^{ととの} 整 ^{おも} っている ^{おも} と思う(59.6%) | 無回答(3.9%) |
| 3. 整 ^{ととの} っている ^{おも} とは思 ^{おも} わない(8.6%) | | |

(問30で「3. 整^{ととの}っている^{おも}とは思^{おも}わない」に○をつけた^{かた}方に)

問30-1 整^{ととの}っている^{おも}とは思^{おも}わない理由^{りゆう}をあげてください。(自由記述)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：1,090>

問31 ^{かいご}介護や^{びやうき}病気で^{りやうよう}療養^{ひつよう}が必要になっても、^{いりやう}医療、^{かいご}介護サービスや^{ちい}地域の^{みまも}見守り^{とう}等を受けながら、^{みちか}身近な^{ちい}地域で^く暮らし^{つづ}続けられる^{かんきやう}環境が^{ととの}整っている^{おも}と思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--|--|-----------|
| 1. 整 ^{ととの} っている ^{おも} と思う(11.7%) | 2. ほぼ ^{ととの} 整 ^{おも} っている ^{おも} と思う(43.7%) | 無回答(8.9%) |
| 3. どちらかといえば ^{ととの} 整 ^{おも} っている ^{おも} とは思 ^{おも} わない(26.9%) | | |
| 4. 整 ^{ととの} っている ^{おも} とは思 ^{おも} わない(8.9%) | | |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問32 脳卒中の後遺症やがん等で長期の療養が必要となった場合、あなたはこういった生活をお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 可能な限り自宅や実家で過ごしたい(32.8%) | |
| 2. 医療機関や施設に入院・入所したい(39.7%) | 3. わからない(23.9%) |
| 4. その他(1.5%) | 無回答(2.2%) |

(問32で「2. 医療機関や施設に入院・入所したい」に○をつけた方に) <回答者数：433>

問32-1 あなたが医療機関や施設に入院・入所したいとお考えの理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 医療機関や施設のほうが安心だから(66.1%) | 2. 家族に負担をかけるから(70.9%) |
| 3. 看護・介護をしてくれる家族がいらないから(22.9%) | |
| 4. 住宅環境が整っていないから(17.1%) | |
| 5. 急に病状が変わったときの対応に不安があるから(37.0%) | |
| 6. 自宅で受けられる医療サービス(往診してくれる医師や訪問看護等)に不安があるから(10.9%) | |
| 7. 自宅や実家での療養は、お金がかかるから(6.0%) | |
| 8. その他(0.9%) | 無回答(0.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問33 「うつ病」は誰でもかかる可能性があります。あなたもしくはあなたの家族がそういう状態になったとき、あなたが抵抗なく相談できると考えるとどこですか。(○は1つ)

- | | |
|--|-----------|
| 1. かかりつけの診療所(医院・クリニック)に相談する(33.0%) | |
| 2. 精神科等の専門医療機関に相談(受診)する(40.7%) | |
| 3. 公的な相談窓口を利用する(8.6%) | |
| 4. 職場や学校の健康相談窓口を利用する(2.8%) | |
| 5. 友人や地域で活動する自主グループ、サークルの仲間に相談する(5.3%) | |
| 6. 相談することには抵抗を感じるので、相談はためられる(4.9%) | 無回答(4.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問34 自殺対策は、自分自身に関わることだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. そう思う(13.9%) | 2. どちらかといえばそう思う(18.7%) |
| 3. どちらかといえばそう思わない(16.2%) | 4. そう思わない(32.6%) |
| 5. わからない(16.1%) | 無回答(2.4%) |

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問35 今後、どのような自殺対策が必要になるとおもいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自殺の実態を明らかにする調査・分析(31.3%)
2. 様々な分野におけるゲートキーパーの養成(22.8%)
3. 地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い(23.6%)
4. 様々な悩みに対応した相談窓口の設置(54.7%)
5. 自殺対策に関わる民間団体の支援(17.1%)
6. 自殺に関する広報・啓発(14.2%)
7. 子どもの自殺予防(41.2%)
8. その他(5.5%) 無回答(5.7%)

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問36 あなたが、感染症の予防について考えたり、心がけていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 感染症の発生や流行についての情報には目を通すようにしている(60.4%)
2. 感染症の流行に備えて、マスクや消毒薬、食糧・日用品等の備蓄を心がけている(50.8%)
3. 感染症の流行時には外出を控えようと考えている(35.9%)
4. 感染症の流行時には手洗い・うがいをするよう心がけている(73.8%)
5. 感染症の流行時には咳エチケットを守るよう心がけている(60.9%)
6. その他(1.8%)
7. 特に考えたり、心がけていることはない(4.9%) 無回答(2.5%)

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問37 加工食品等のパッケージには、エネルギーやたんぱく質量等の表示がされている場合がありますが、それらの加工食品や調理済みの料理を購入する時に、表示されている栄養成分を参考にしていますか。(○は1つ)

1. 基本5項目(エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量)を参考にしている(32.9%)
2. 基本5項目に加え、他の栄養成分も参考にしている(13.0%)
3. エネルギーのみを参考にしている(10.8%)
4. 食塩相当量のみを参考にしている(7.2%)
5. 全く参考にしていない(32.8%) 無回答(3.2%)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問38 あなたの^{しよくちゆうどく}食中毒に関する^{にんしき}認識に最も^{もっと}近いものは^{ちか}どれですか。(○は1つ)

- | | |
|--|-----------|
| 1. 関 ^{かん} 心 ^{しん} があり、食中毒 ^{しよくちゆうどく} について十分 ^{じゆうぶんり} 理解 ^{かい} している(12.2%) | |
| 2. 関 ^{かん} 心 ^{しん} があり、食中毒 ^{しよくちゆうどく} についてある程度 ^{ていど} 理解 ^{かい} している(53.1%) | |
| 3. 関 ^{かん} 心 ^{しん} はあるが、食中毒 ^{しよくちゆうどく} についてよくわかっていない(24.8%) | |
| 4. 食中毒 ^{しよくちゆうどく} について、特に ^{とく} 気に ^き していない(7.3%) | 無回答(2.6%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,090>

問39 あなたは、たばこを^す吸いますか。(○は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1. 毎 ^{まい} 日 ^{にち} 吸 ^す っている(12.3%) | 2. ときどき吸 ^す う日 ^ひ がある(1.4%) |
| 3. 以前 ^{いぜん} は吸 ^す っていたが、1か月以上吸 ^す っていない(8.0%) | |
| 4. 吸 ^す わない(76.1%) | 無回答(2.2%) |

(問39で「1. 毎^{まい}日^{にち}吸^すっている」「2. ときどき吸^すう日^ひがある」に○をつけた方に^{かた})

<回答者数：149>

問39-1 今後^{こんご}禁煙^{きんえん}したいと考^{かんが}えていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1. 禁煙 ^{きんえん} をしたい(13.4%) | 2. 吸 ^す う本数 ^{ほんすう} を減 ^へ らしたい(38.9%) |
| 3. 現 ^{げん} 状 ^{じょう} 通 ^{とお} り喫煙 ^{きつえん} を続 ^{つづ} けたい(36.2%) | 4. わからない(11.4%) |
| | 無回答(0.0%) |

《制度等についておたずねします》

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問40 障害のある人への差別をなくし、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指して、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、あなたはこの法律について知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|----------------|
| 1. 名前は知っている(20.9%) | 2. 内容も知っている(4.3%) | 3. 知らない(71.3%) |
| 無回答(3.5%) | | |

(問40で「1. 名前は知っている」「2. 内容も知っている」に○をつけた方に)

<回答者数：275>

問40-1 あなたは、「障害者差別解消法」について、どのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 中野区公式ホームページ・区報で見た(17.1%) | |
| 2. インターネット、新聞、テレビなどを通じて知った(59.6%) | |
| 3. 講演会、イベントなどで聞いた(5.1%) | 4. 職場で聞いた(17.1%) |
| 5. 友人、知人等から聞いた(3.3%) | 6. その他(5.8%) |
| 7. 覚えていない(6.9%) | 無回答(0.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問41 障害者差別の解消に向けて、区民などの理解や関心を深めるため、中野区が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 中野区公式ホームページ・区報による啓発(42.8%) | |
| 2. 区民向けの啓発活動(42.9%) | 3. 企業向けの啓発活動(27.1%) |
| 4. 障害のある人と交流するイベントや行事の開催(26.2%) | 5. その他(4.9%) |
| 無回答(10.8%) | |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問42 あなたは、ヘルプマークを知っていますか。(○は1つ)

ヘルプマーク

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1. ヘルプマークの意味を含めて知っている(67.2%) | |
| 2. ヘルプマークがあることは知っているが、意味は知らない(21.6%) | |
| 3. 知らない(8.0%) | 無回答(3.2%) |



(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問43 中野区では、障害者虐待に関する通報や相談窓口として、障害者虐待防止センターを設置しています。あなたは、障害者虐待防止センターを知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 知っていた(9.4%) | 2. 知らなかった(87.2%) | 無回答(3.4%) |
|----------------|------------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問44 あなたは、介護保険制度を利用できていますか。または、利用していない方は、必要となった時の利用の仕方を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 介護保険制度を利用している。または、利用の仕方を知っている(11.5%) | |
| 2. 利用の仕方をだいたい知っている(19.6%) | 3. 利用の仕方をあまり知らない(27.8%) |
| 4. 利用の仕方を全く知らない(37.6%) | 無回答(3.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問45 あなたは、認知症の症状や対応方法について、どの程度理解していますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 認知症の症状や基本的な対応方法を知っている(27.3%) |
| 2. 認知症の症状について聞いたことがある(42.2%) |
| 3. 言葉は聞いたことがあるが、わからないことが多い(20.4%) |
| 4. 知らない(6.9%) 無回答(3.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問46 あなたは、「人生会議（ACP※：アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉や意味を知っていましたか。(○は1つ)

※ACP：アドバンス・ケア・プランニングとは、将来あなた自身が病気になったり、介護が必要になったりしたときに備えて、これまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを言います。平成30年度、厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。

- | |
|--|
| 1. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の意味も含めて知っていた(4.2%) |
| 2. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）があることは知っていたが、意味は知らなかった(6.2%) |
| 3. 知らなかった(85.8%) |
| 無回答(3.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問47 「成年後見制度」という言葉やしくみについて、どの程度知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 知っている(14.7%) | 2. だいたい知っている(17.0%) |
| 3. 一部知っているが、わからない内容も多い(29.3%) | |
| 4. ほとんど知らない(35.4%) | 無回答(3.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問48 ヤングケアラーという言葉聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 聞いたことがあります、内容も知っている(59.8%) |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない(21.6%) |
| 3. 聞いたことは無い(15.4%) |
| 無回答(3.2%) |

《相談窓口についておたずねします》

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問49 あなたは、次の地域の健康福祉の相談機関について、困っているときに相談できる窓口として、身近に感じますか。

(1) すこやか福祉センター (〇は1つ)

- | | | |
|------------------------------|-------------------|-----------|
| 1. 身近に感じる(15.8%) | 2. 身近に感じない(23.1%) | |
| 3. どんな相談ができる窓口なのか知らない(58.4%) | | 無回答(2.7%) |

(2) 地域包括支援センター (〇は1つ)

- | | | |
|------------------------------|-------------------|-----------|
| 1. 身近に感じる(19.9%) | 2. 身近に感じない(26.2%) | |
| 3. どんな相談ができる窓口なのか知らない(52.0%) | | 無回答(1.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問50 あなたは、区民活動センターを身近に感じますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|------------------|-------------------|--------------|-----------|
| 1. 身近に感じる(25.6%) | 2. 身近に感じない(68.3%) | 3. その他(3.8%) | 無回答(2.4%) |
|------------------|-------------------|--------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,090>

問51 犯罪被害者やその家族に対する相談窓口があることを知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 知っている(相談窓口の場所も知っている)(5.0%) | |
| 2. 知っている(相談窓口の場所は知らない)(30.9%) | |
| 3. 知らない(62.5%) | 無回答(1.6%) |

《その他》

(全員のの方に)

問52 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

令和7年度（2025年度）
健康福祉に関する意識調査
報告書

発行日／令和8年（2026年）3月

発行／中野区健康福祉部福祉推進課 健康福祉企画係

〒164-8501

東京都中野区中野 4-11-19

電話 03-3228-5421（直通）

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1 富澤ビル 7 F

電話 03-3357-7181（代表）

令和7年度（2025年度）

高齢福祉・介護保険サービス意向調査

報 告 書

令和8年（2026年）3月

中 野 区

はじめに

令和 7 年（2025 年）には、いわゆる団塊の世代のすべての人が後期高齢者（75 歳以上）となり、中野区においても高齢化率が上昇することが予想されるため、さらに創意工夫をした高齢者支援のあり方が求められています。

本調査は、令和 6 年（2024 年）3 月に策定した中野区高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画が改定時期を迎えるため、高齢者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握するために実施したものです。

今回の調査結果につきましては、計画の改定のみならず、今後の健康福祉に関する区の事業や施策の見直し、改善に反映させるなど、活用を図っていきたいと考えています。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和 8 年（2026 年）3 月
中野区健康福祉部
中野区地域支えあい推進部

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査の内容.....	3
3. 調査の設計.....	4
4. 報告書を読む際の留意点.....	4

II 調査結果の分析

高齢者調査

1. 回答者の属性.....	9
1.1. アンケートの回答者.....	9
1.2. 居住地域.....	10
1.3. 性別.....	11
1.4. 年齢.....	11
1.5. 家族構成.....	12
1.6. 要支援認定.....	12
1.6.1. 介護・介助の必要性.....	13
1.6.2. 介護・介助が必要になった主な原因.....	14
1.6.3. 介護、介助を行っている人.....	15
1.7. 世帯の昨年の合計収入.....	16
1.7.1. 現在の預貯金額.....	17
1.7.2. 暮らしの状況.....	21
1.8. 居住形態.....	23
2. からだを動かすことについて.....	25
2.1. 機能評価.....	25
2.1.1. 運動器機能.....	25
2.1.2. 転倒リスク.....	26
2.1.3. 閉じこもり傾向.....	27
2.2. 外出の回数.....	29
2.2.1. 外出が減っている理由.....	30
2.3. 外出する際の移動手段.....	31
3. 食べることについて.....	32
3.1. 機能評価.....	32
3.1.1. 低栄養.....	32
3.1.2. 口腔機能.....	33
3.2. 歯磨きの状況.....	35

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況.....	36
3.3.1. 噛み合わせの状況.....	37
3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか.....	38
3.4. 食事をともにする機会.....	39
4. 毎日の生活について.....	41
4.1. 機能評価.....	41
4.1.1. 認知機能.....	41
4.1.2. I A D L（手段的自立度）.....	47
4.1.3. 知的能動性.....	49
4.1.4. 社会的役割.....	51
4.2. 趣味の有無.....	53
4.3. 生きがいの有無.....	54
5. 地域での活動について.....	55
5.1. 会・グループ等への参加頻度.....	55
5.1.1. 地域活動に参加していない理由.....	56
5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか.....	57
5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか.....	58
5.4. 地域のひとから頼りにされているか.....	59
5.5. 現在の就労状態.....	60
6. たすけあいについて.....	61
6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	61
6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	62
6.3. 看病や世話をしてくれる人.....	63
6.4. 看病や世話をしてあげる人.....	64
6.5. 何かあったときに相談する相手.....	65
6.6. 孤独の状況.....	67
7. 健康について.....	69
7.1. 健康状態.....	69
7.2. 幸福度.....	71
7.3. 毎日の生活に充実感がない.....	76
7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない.....	77
7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる.....	78
7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない.....	79
7.7. わけもなく疲れたような感じがする.....	80
7.8. 機能評価.....	81
7.8.1. うつ傾向.....	81
7.9. 飲酒の状況.....	82
7.10. 喫煙の状況.....	83
7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気.....	84

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	86
8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無.....	86
8.2. 認知症の相談窓口を知っているか.....	87
9. 成年後見制度について.....	88
9.1. 成年後見制度の認知度.....	88
9.1.1. 成年後見制度の利用意向.....	90
9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由.....	92
10. その他.....	95
10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）.....	95

介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について.....	101
1.1. アンケートの回答者.....	101
1.2. 居住地域.....	102
1.3. 家族構成.....	103
1.3.1. 家族の人数.....	103
1.3.2. 同居家族の内訳.....	103
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無.....	104
1.4. 性別.....	105
1.5. 年齢.....	105
1.6. 要介護度.....	105
1.6.1. 介護・介助が必要になった原因.....	106
1.7. 住まいの種類.....	108
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか.....	109
1.7.2. エレベーターの設置.....	111
1.8. 介護を受けたい場所.....	112
1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況.....	114
1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由.....	115
1.9. 現在抱えている傷病.....	116
1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス.....	118
1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）.....	119
1.12. 介護保険サービス.....	121
1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和7年10月）.....	121
1.12.2. ケアプランへの不満.....	123
1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由.....	125
1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス.....	127
1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	129
1.15. 訪問診療の利用の有無.....	130
1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無.....	131

1. 17. 地域包括支援センターへの相談の有無.....	132
1. 18. 家族・親族からの介護の頻度.....	133
2. 主な介護者について.....	135
2. 1. 主な介護者.....	135
2. 2. 主な介護者の性別.....	135
2. 3. 主な介護者の年齢.....	136
2. 4. 介護を理由として、過去 1 年間の間に仕事を辞めた介助者の有無.....	137
2. 5. 主な介護者が行っている介護.....	138
2. 6. 主な介護者が不安に感じる介護.....	140
2. 7. 主な介護者の現在の勤務形態.....	141
2. 8. 主な介護者の就労形態の調整.....	143
2. 9. 仕事と介護の両立に効果がある支援.....	145
2. 10. 今後の介護の見通し.....	148

ケアマネジャー調査

1. 回答者の属性.....	151
1. 1. 所属する事業所の所在地.....	151
1. 2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）.....	151
1. 3. 年代.....	157
1. 4. 勤務体系.....	158
1. 5. ケアマネジャーとしての従事期間.....	158
1. 6. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数.....	159
1. 7. 過去 3 年間で、所属事業所を変わった回数.....	161
1. 8. 給付管理件数.....	161
1. 9. 作成する居宅サービス計画の件数.....	163
1. 10. 介護予防サービス計画の受託または作成人数.....	163
2. ケアプラン・介護予防について.....	165
2. 1. 作成するケアプランの件数について.....	165
2. 2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割.....	166
2. 3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか.....	167
2. 4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか.....	169
2. 5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源.....	171
2. 6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）.....	173
2. 7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス.....	174
2. 8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合.....	177
2. 9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか.....	178
2. 10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業.....	179
2. 11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの.....	180
2. 12. ケアマネジメントを行う際に工夫していること（自由回答）.....	181

2. 13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援	182
3. 連携について	184
3. 1. 地域包括支援センターとの連携	184
3. 2. 信頼できる地域包括支援センターの有無	185
3. 3. 主治医との連携	186
3. 4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源	187
3. 5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携	189
3. 6. サービス担当者会議を開催する上での問題点	190
4. 困難な事例への対応について	191
4. 1. ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース	191
4. 2. 要介護者や家族からの相談への対応	193
4. 3. 相談への対応に苦慮した時の相談先	195
4. 4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数	197
4. 5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと	198
5. 介護予防について	199
5. 1. 充実すべき区の介護予防事業	199
6. 成年後見制度について	201
6. 1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数	201
6. 2. 成年後見制度を活用する上での課題	202
7. 認知症に関する課題について	203
7. 1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ	203
7. 2. 認知症高齢者に関して必要な施策	204
8. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について	206
8. 1. 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか	206
8. 2. 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無	207
8. 3. 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点	208
9. 在宅介護の可能性の拡大について	209
9. 1. 要介護者等が居宅や地域での生活を続けるために充実すべき点	209
10. 業務遂行上の問題について	211
10. 1. 業務遂行上の問題について	211
10. 2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて	214
11. その他	215
11. 1. 介護保険制度に関する意見（自由回答）	215

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 高齢者調査	219
2. 介護サービス利用調査	239
3. ケアマネジャー調査	253

I 調査の概要

1. 調査の目的

高齢者、要支援・要介護認定者の健康福祉・介護保険サービスの利用実態や今後の利用意向等及び、ケアマネジャーの実態や業務遂行状況等を把握することを目的とする。

2. 調査の内容

① 高齢者調査

- (1) 回答者の属性
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食えることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) たすけあいについて
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) 成年後見制度について
- (10) 自由回答

② 介護サービス利用調査

- (1) 要支援・要介護認定者本人について
- (2) 主な介護者について

③ ケアマネジャー調査

- (1) 回答者の属性
- (2) ケアプラン・介護予防について
- (3) 連携について
- (4) 困難な事例への対応について
- (5) 介護予防について
- (6) 成年後見制度について
- (7) 認知症に関する課題について
- (8) 人生会議について
- (9) その他
- (10) 自由回答

3. 調査の設計

調査は、以下の①～③は郵送による配布・回収とインターネットによる回答を併用して実施した。

① 高齢者調査

- ・調査対象：基準日（令和7年10月1日）現在で65歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援1・2認定者を含む）。ただし、要介護認定者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,810（回収率60.3%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年11月14日～12月5日

② 介護サービス利用調査

- ・調査対象：要支援1から要介護5までの認定を受けている区民。ただし、施設入所者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,687人（回収率56.2%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年11月14日～12月5日

③ ケアマネジャー調査

- ・調査対象：区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを10件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー
- ・調査地域：中野区全域及び隣接区
- ・調査標本数：250人
- ・有効回収数：141人（回収率56.4%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年11月14日～12月5日

4. 報告書を読む際の留意点

- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

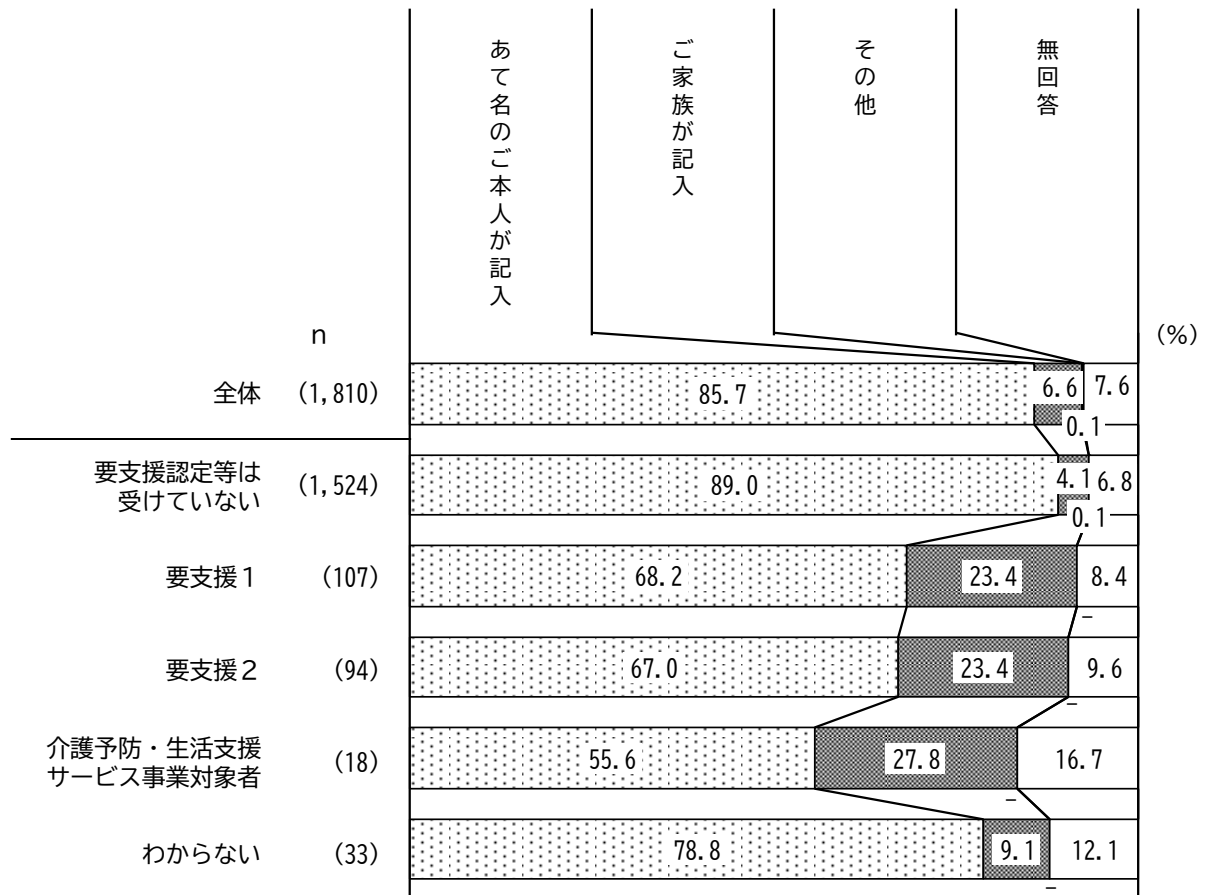
表記	約4割 (4割)	4割台前半	4割半ば	4割台後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

Ⅱ 調査結果の分析

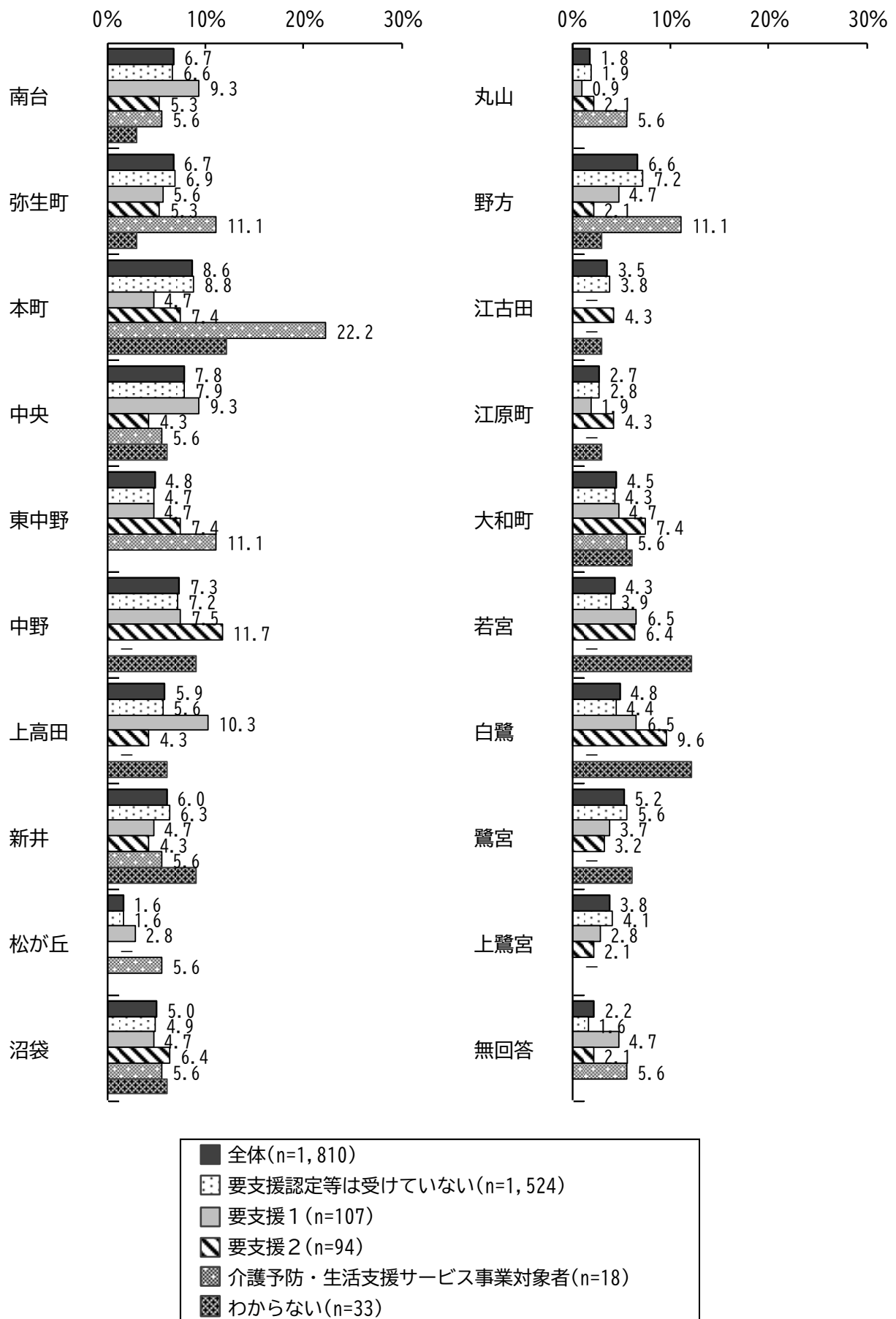
高齢者調査

1. 回答者の属性

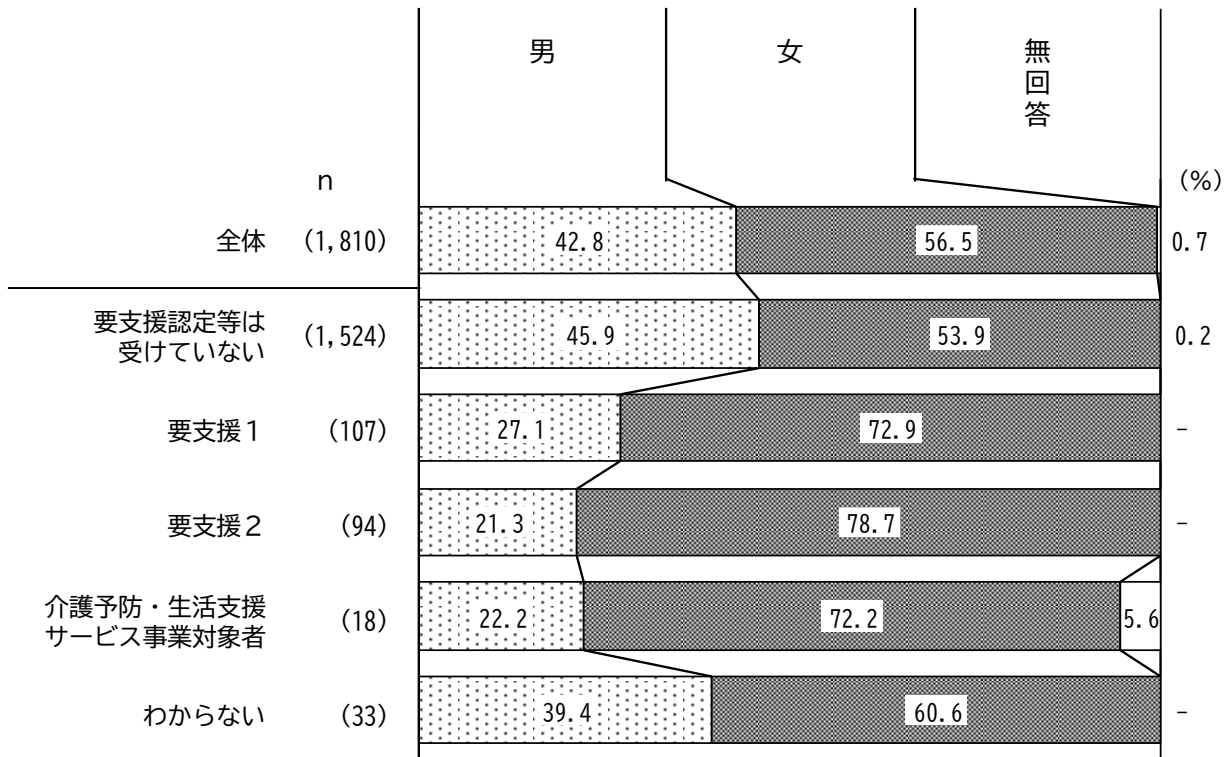
1.1. アンケートの回答者



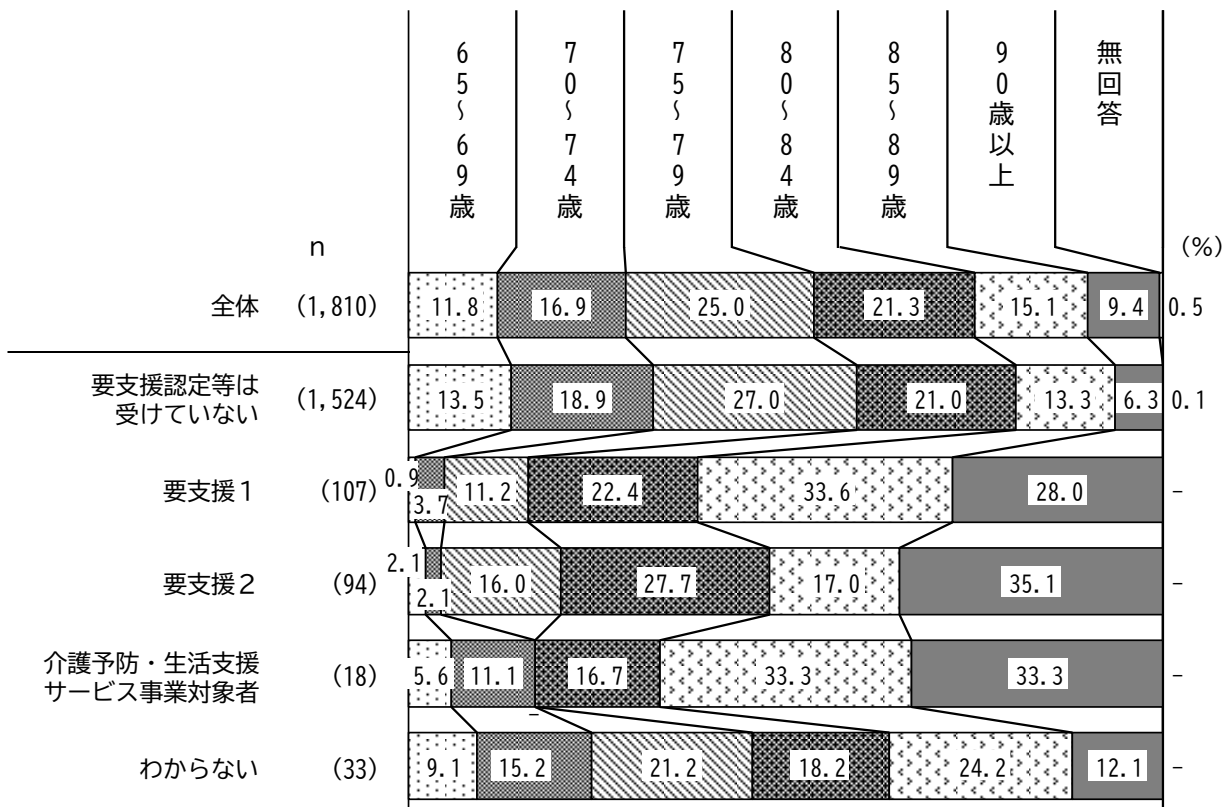
1.2. 居住地域



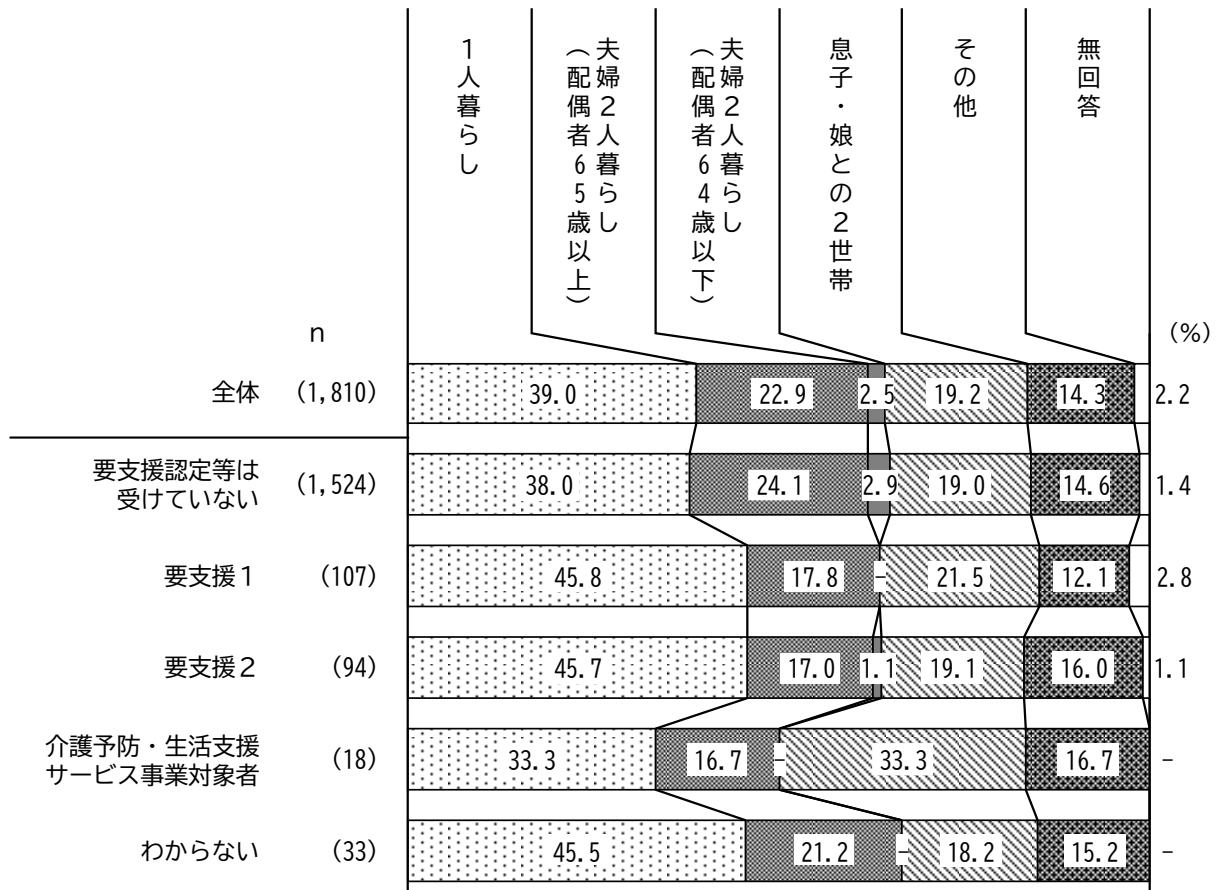
1.3. 性別



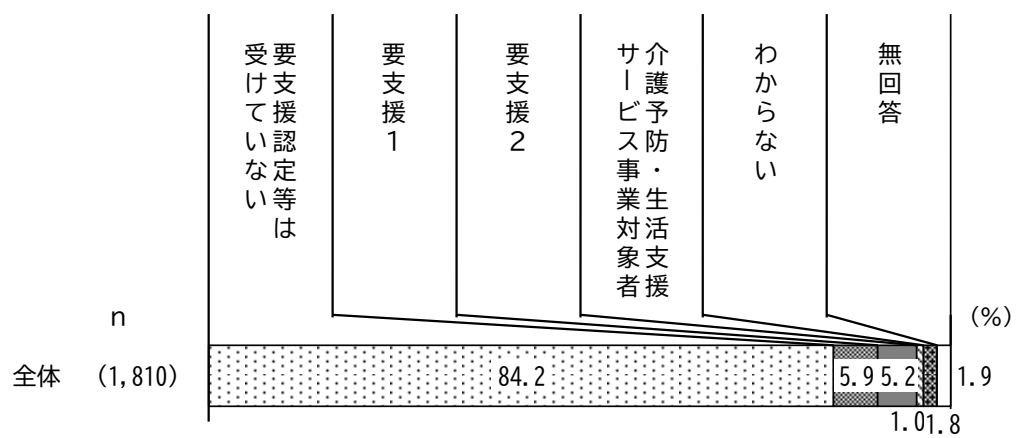
1.4. 年齢



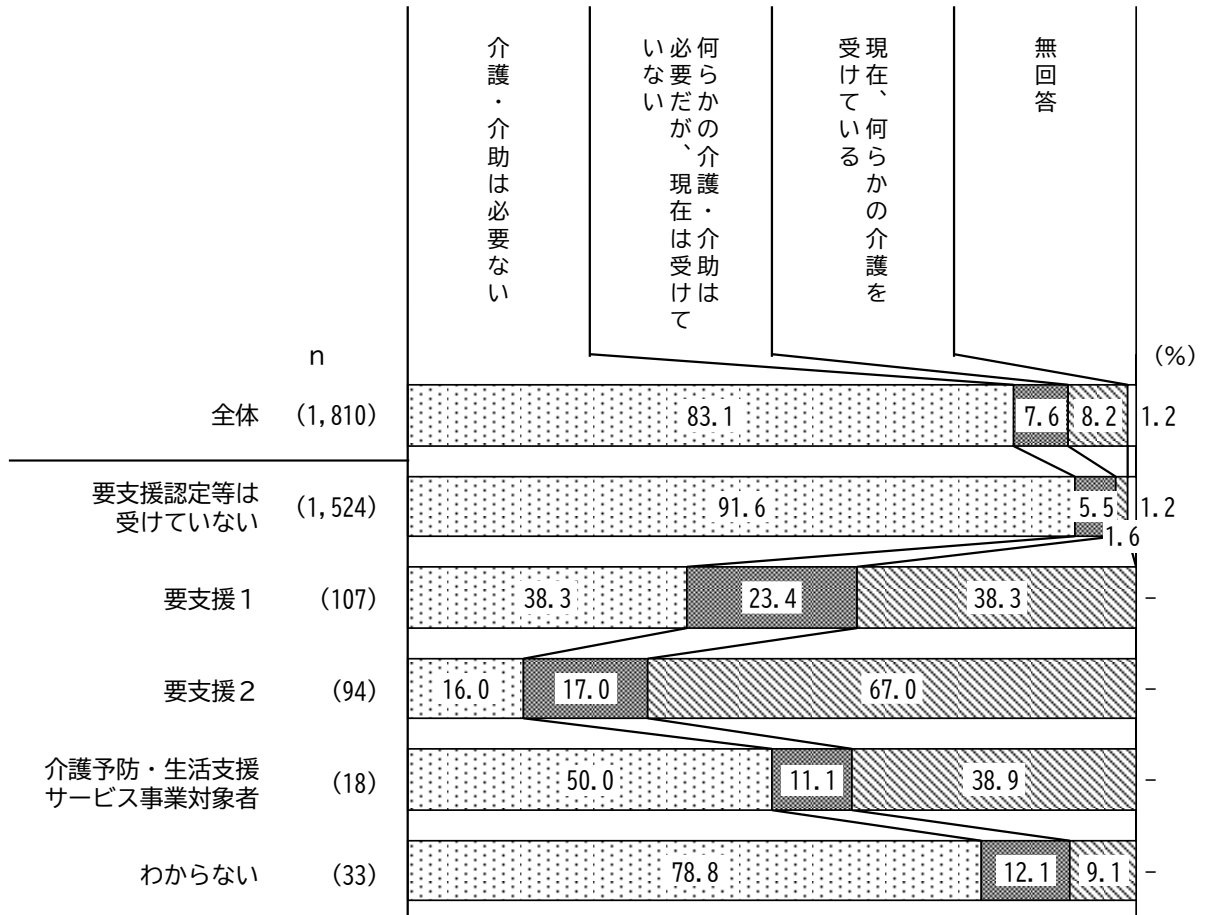
1.5. 家族構成



1.6. 要支援認定

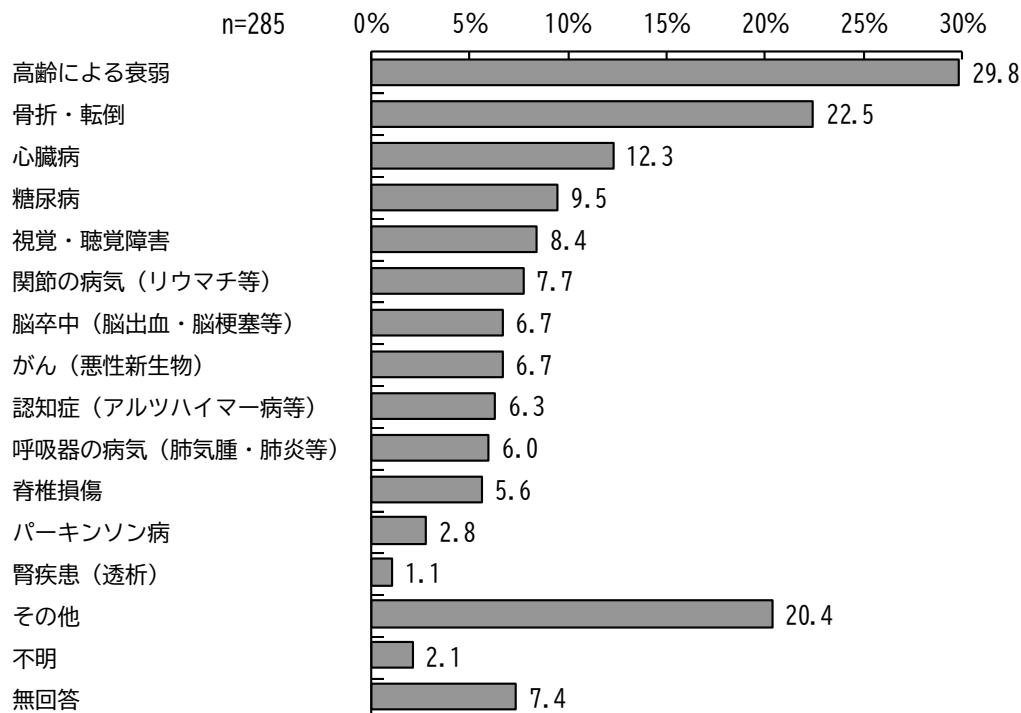


1.6.1. 介護・介助の必要性



1.6.2. 介護・介助が必要になった主な原因

(※「1.6.1. 介護・介助の必要性」において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方)



【状態別】介護・介助が必要になった主な原因

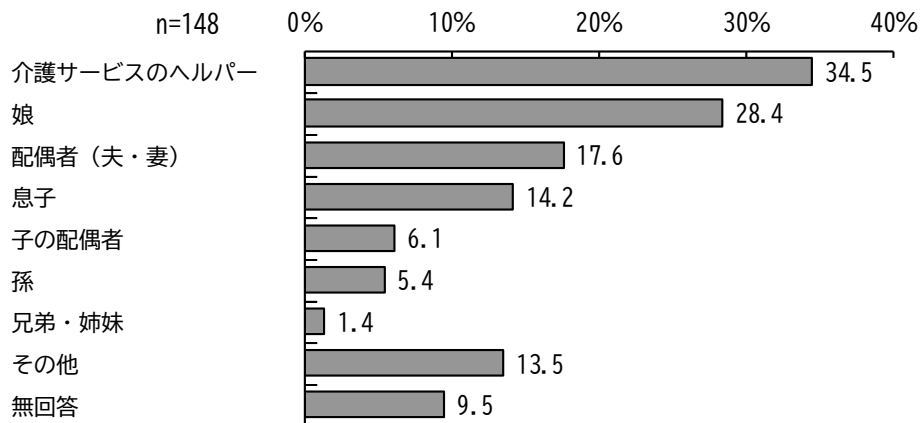
単位：%

	有効回答数 (件)	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	糖尿病	視覚・聴覚障害	関節の病気 (リウマチ等)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	がん (悪性新生物)
全体	285	29.8	22.5	12.3	9.5	8.4	7.7	6.7	6.7
要支援認定等は受けていない	109	22.9	12.8	11.0	9.2	11.0	6.4	6.4	6.4
要支援1	66	36.4	21.2	15.2	13.6	4.5	3.0	9.1	6.1
要支援2	79	32.9	38.0	12.7	6.3	7.6	11.4	5.1	3.8
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	-	33.3
わからない	7	57.1	14.3	14.3	-	28.6	14.3	-	-

	有効回答数 (件)	認知症 (アルツハイマー病等)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	脊椎損傷	パーキンソン病	腎疾患 (透析)	その他	不明	無回答
全体	285	6.3	6.0	5.6	2.8	1.1	20.4	2.1	7.4
要支援認定等は受けていない	109	9.2	8.3	3.7	0.9	-	22.0	1.8	11.9
要支援1	66	1.5	7.6	7.6	3.0	-	21.2	1.5	4.5
要支援2	79	5.1	3.8	8.9	3.8	1.3	20.3	1.3	3.8
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	11.1	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	-
わからない	7	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3

1.6.3. 介護、介助を行っている人

(※「1.6.1. 介護・介助の必要性」において、「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方)

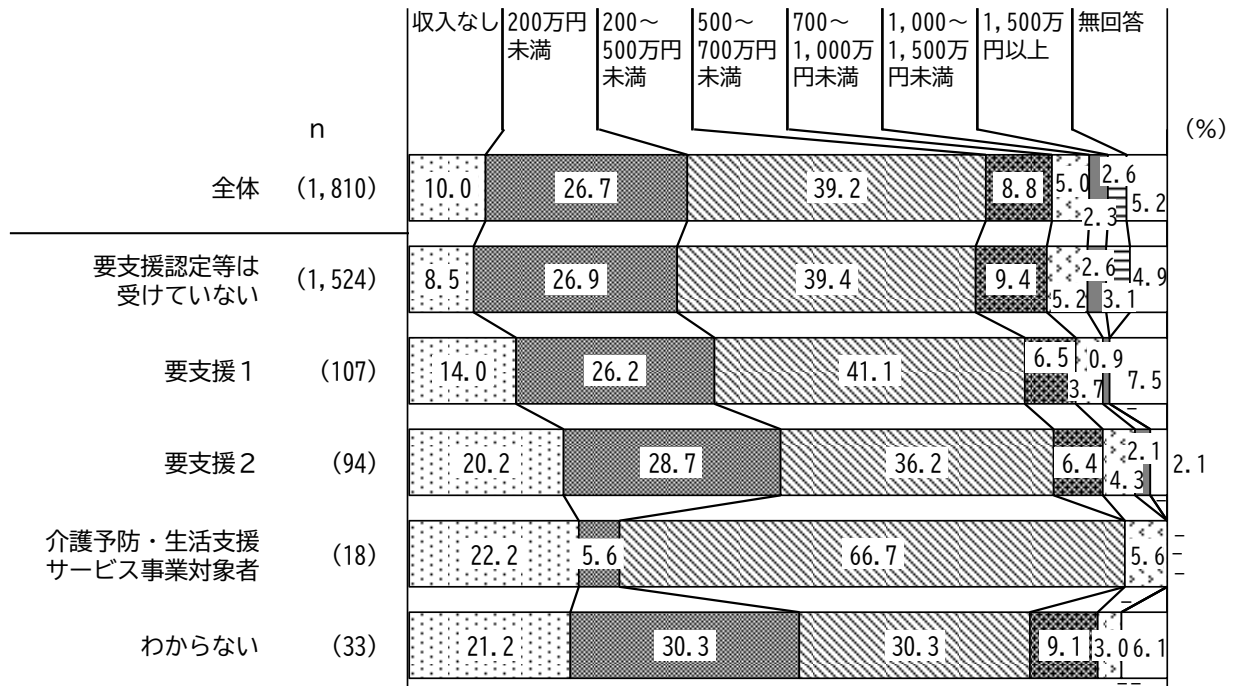


【状態別】介護、介助を行っている人

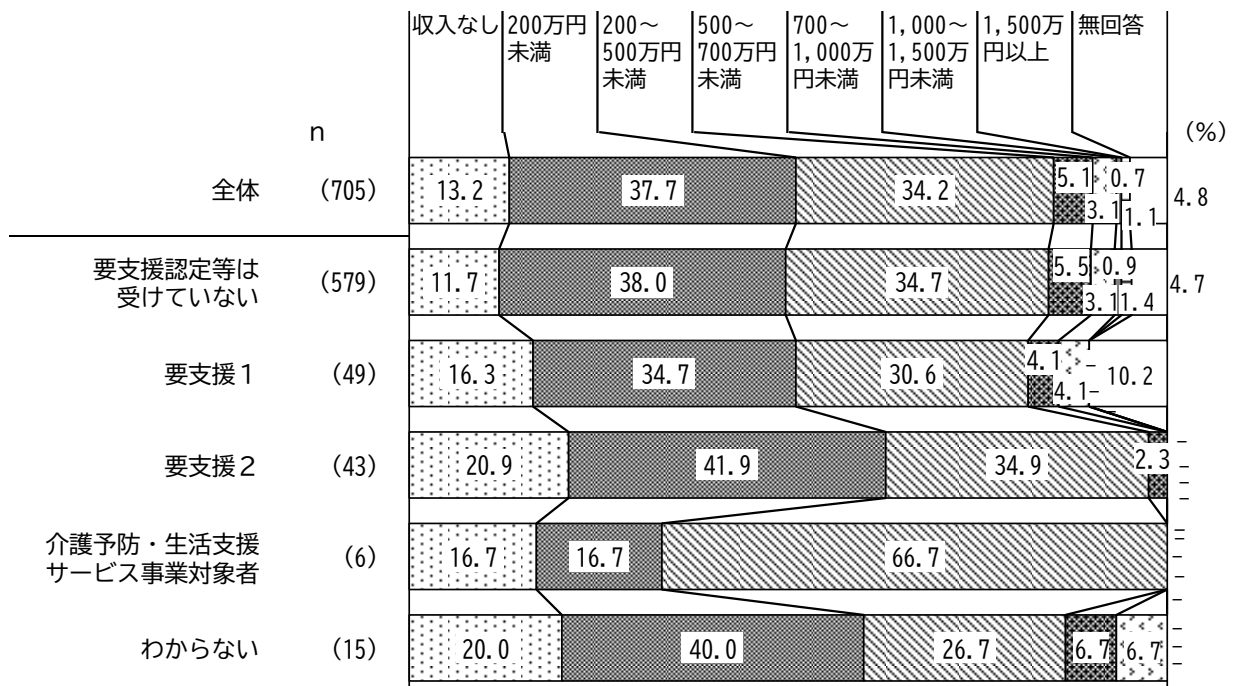
単位：%

	有効回答数(件)	介護サービスのヘルパー	娘	配偶者(夫・妻)	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	148	34.5	28.4	17.6	14.2	6.1	5.4	1.4	13.5	9.5
要支援認定等は受けていない	25	4.0	28.0	36.0	16.0	12.0	8.0	-	12.0	8.0
要支援1	41	36.6	46.3	9.8	12.2	4.9	7.3	-	12.2	4.9
要支援2	63	46.0	23.8	17.5	12.7	3.2	4.8	-	11.1	14.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	7	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	42.9	-
わからない	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-

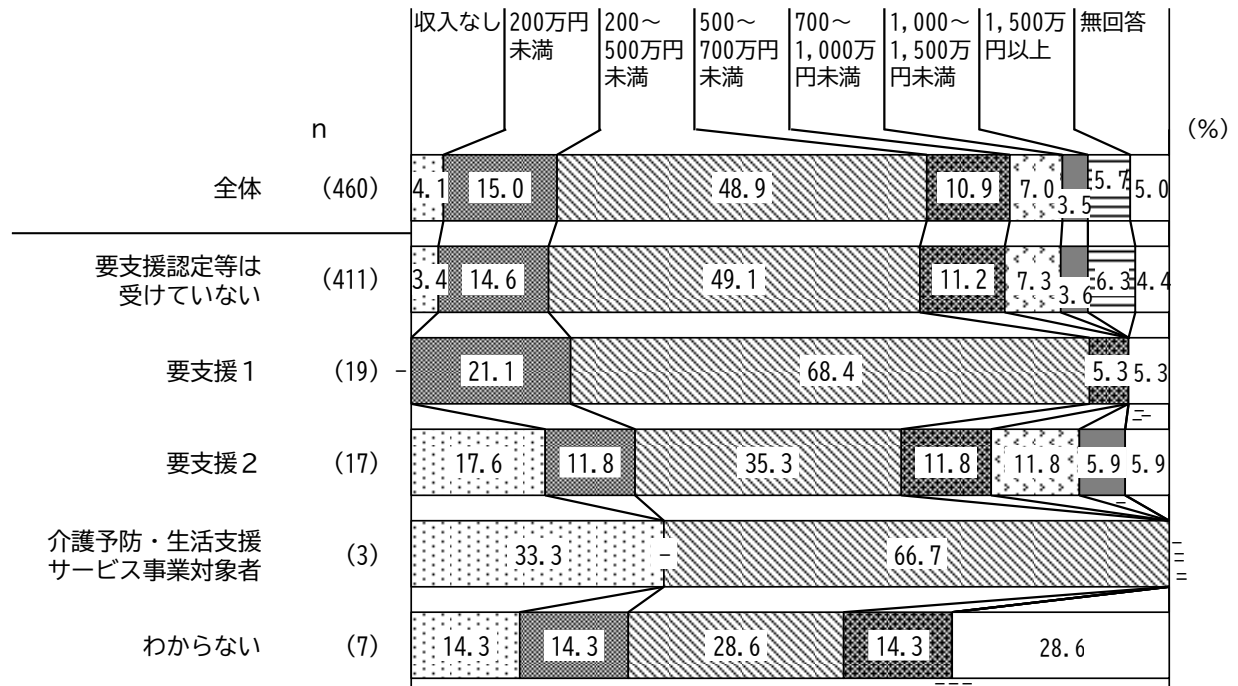
1.7. 世帯の昨年の合計収入



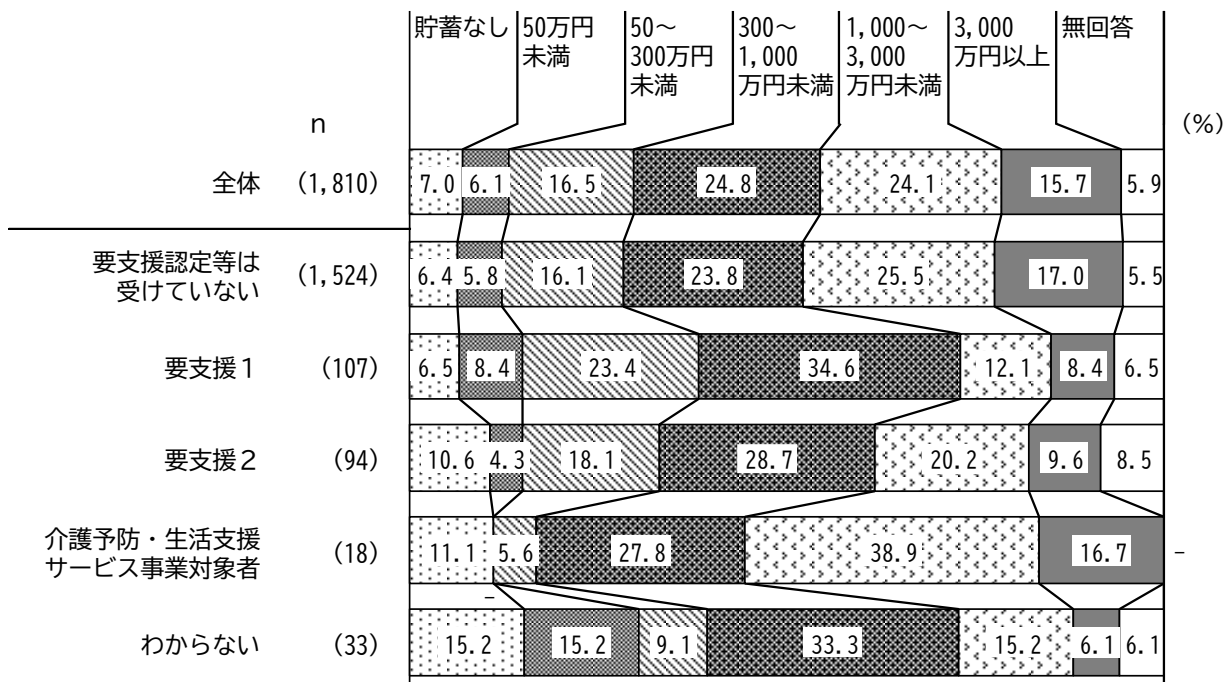
【状態別（1人暮らし）】世帯の昨年の合計収入



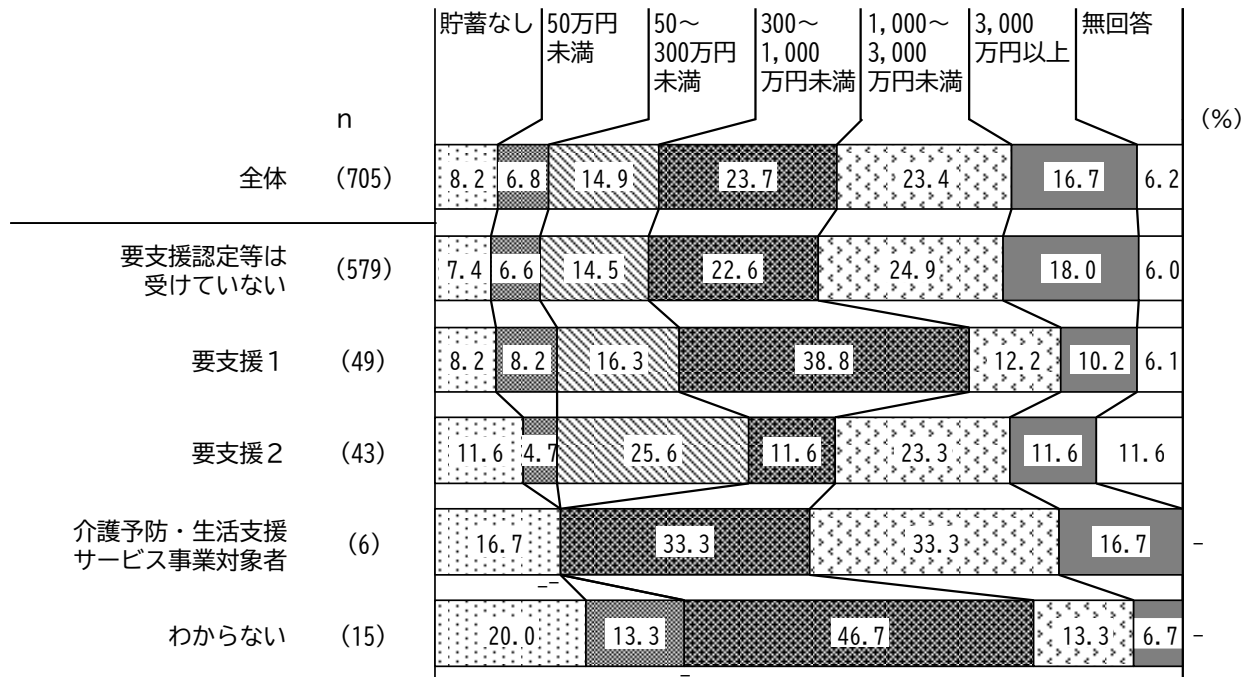
【状態別（夫婦2人暮らし）】世帯の昨年の合計収入



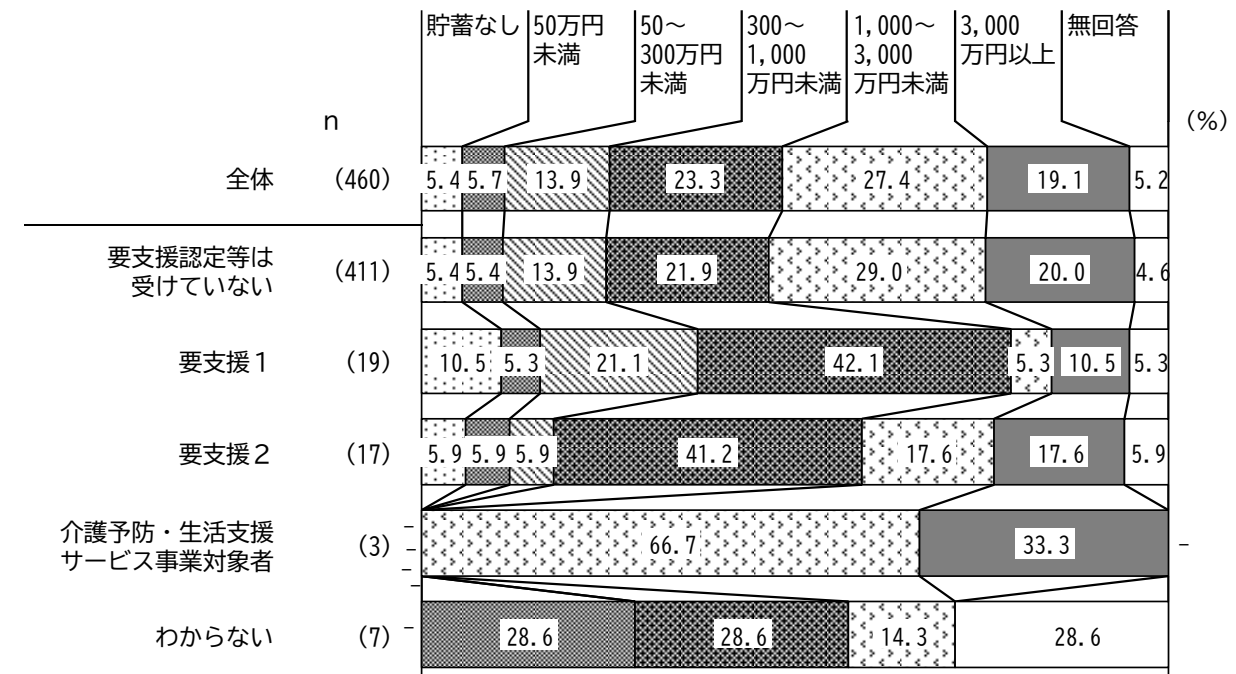
1.7.1. 現在の預貯金額



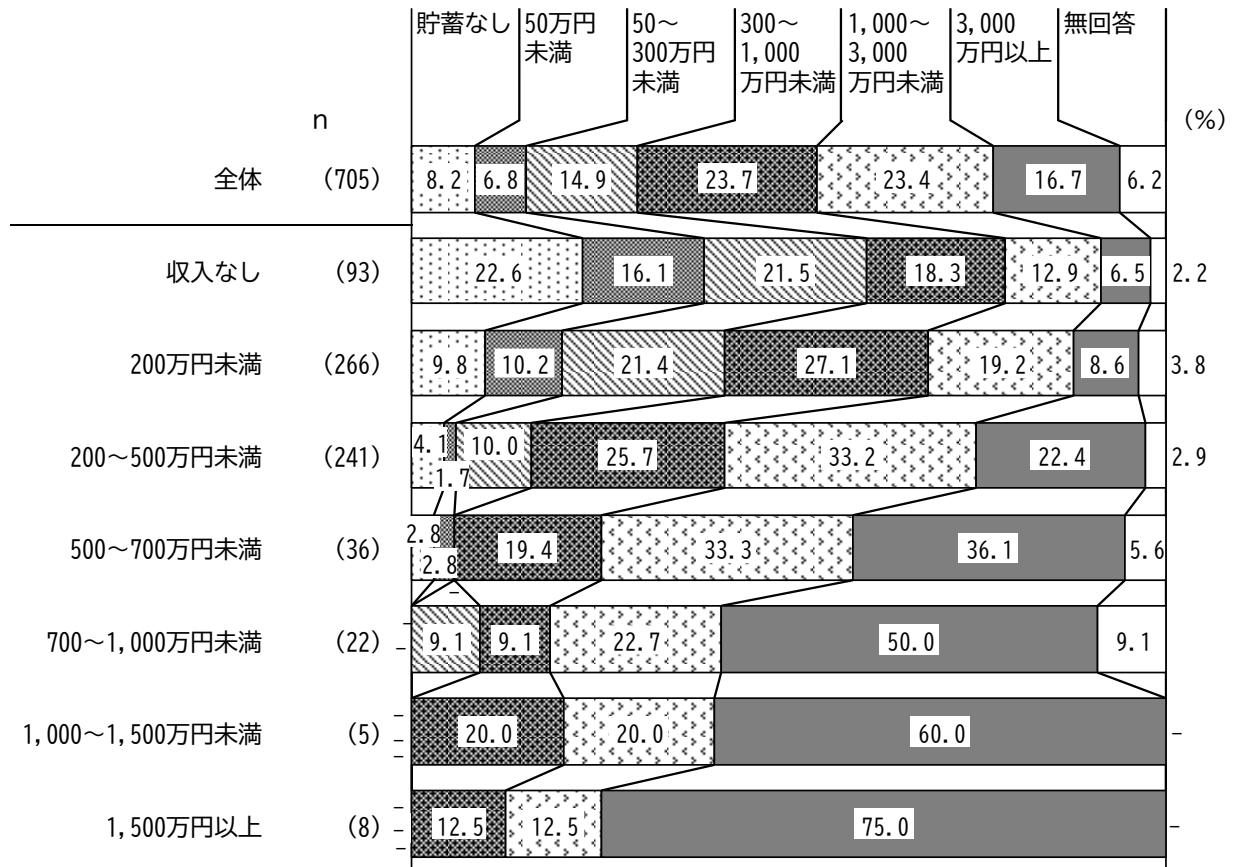
【状態別（1人暮らし）】現在の預貯金額



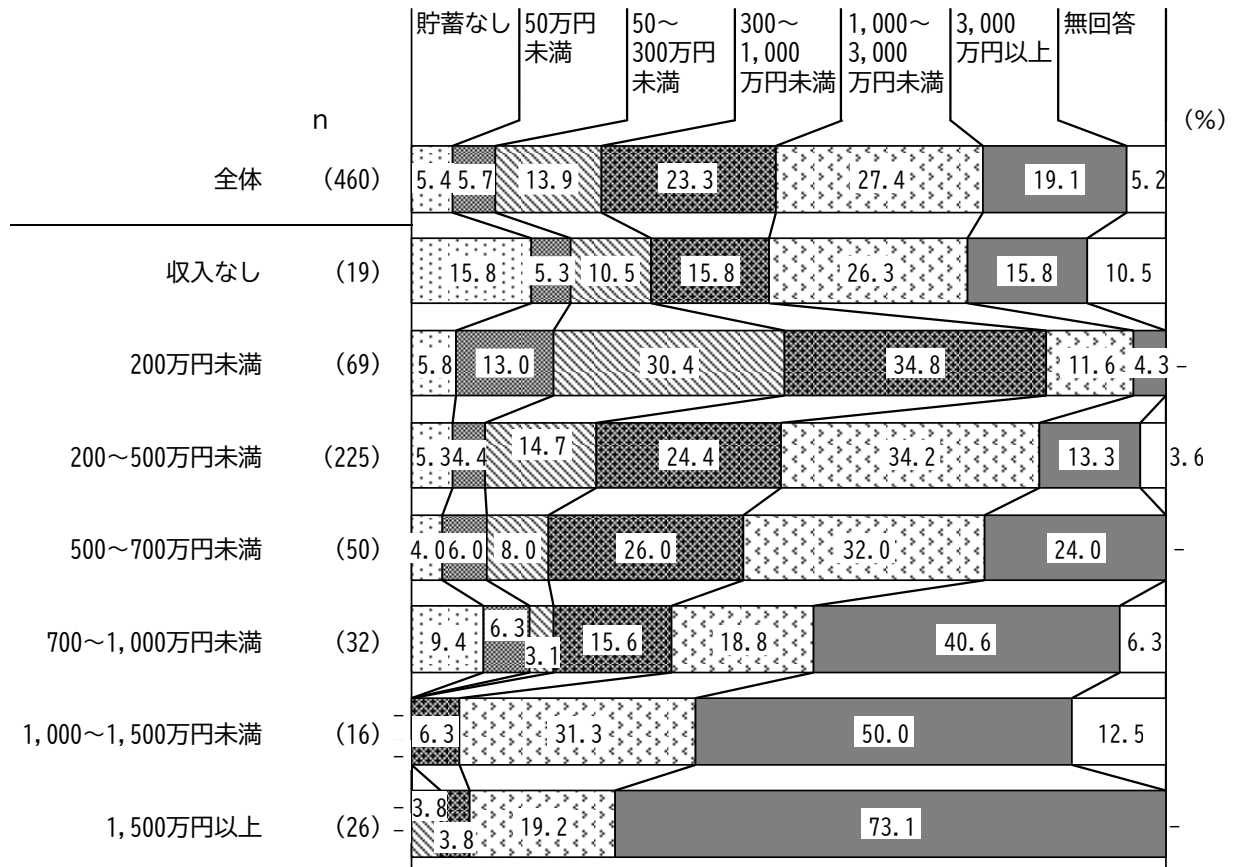
【状態別（夫婦2人暮らし）】現在の預貯金額



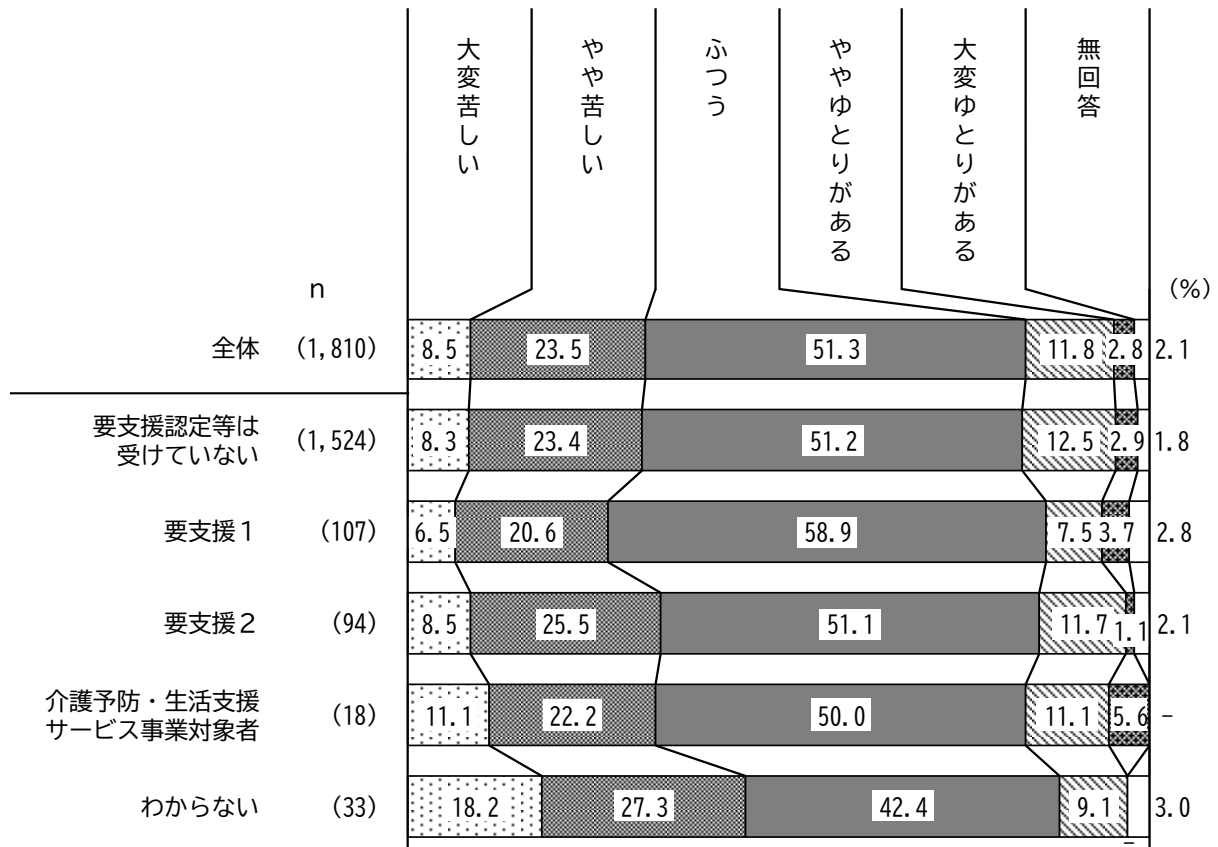
【収入別（1人暮らし）】現在の預貯金額



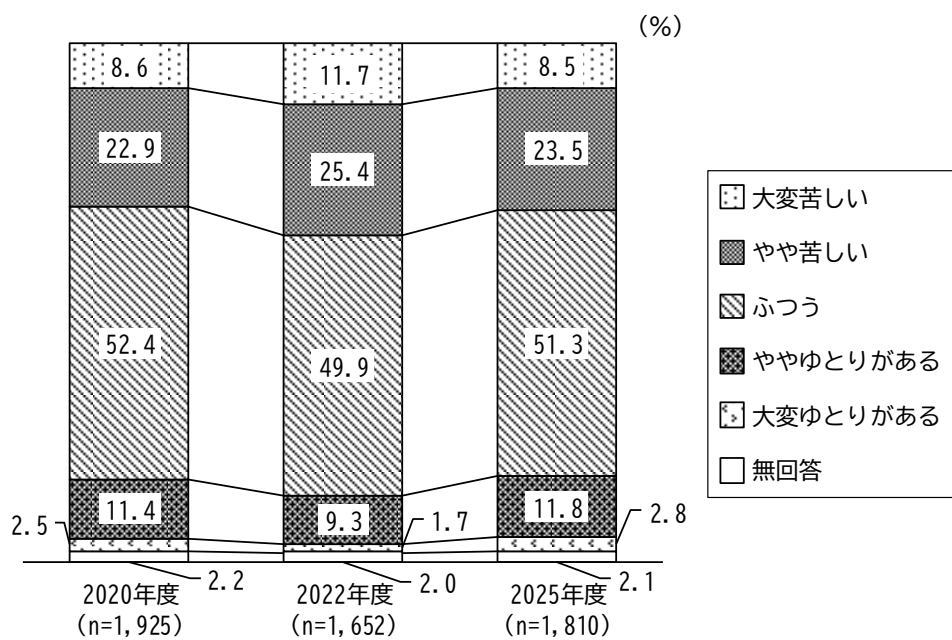
【収入別（夫婦2人暮らし）】現在の預貯金額



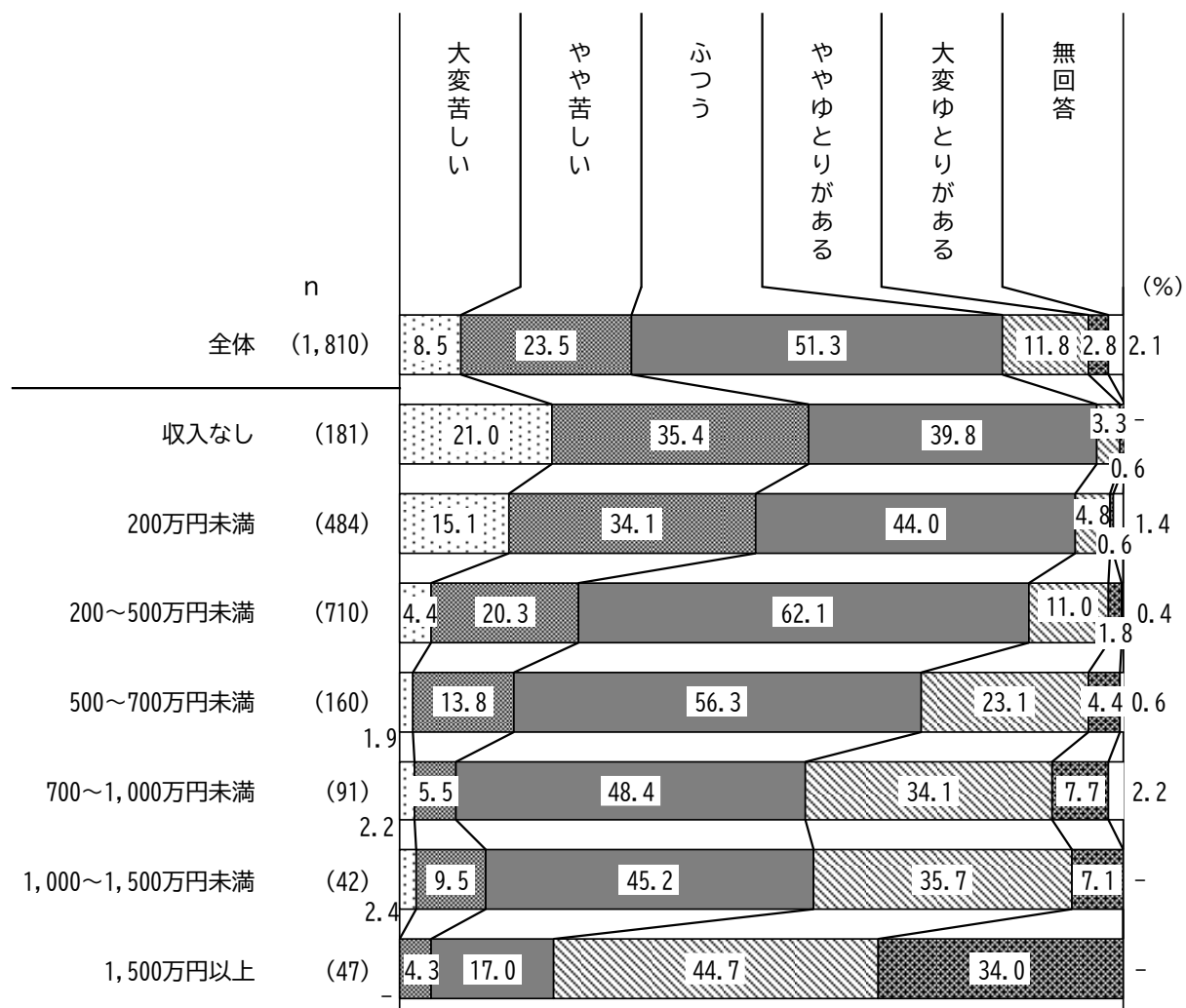
1.7.2. 暮らしの状況



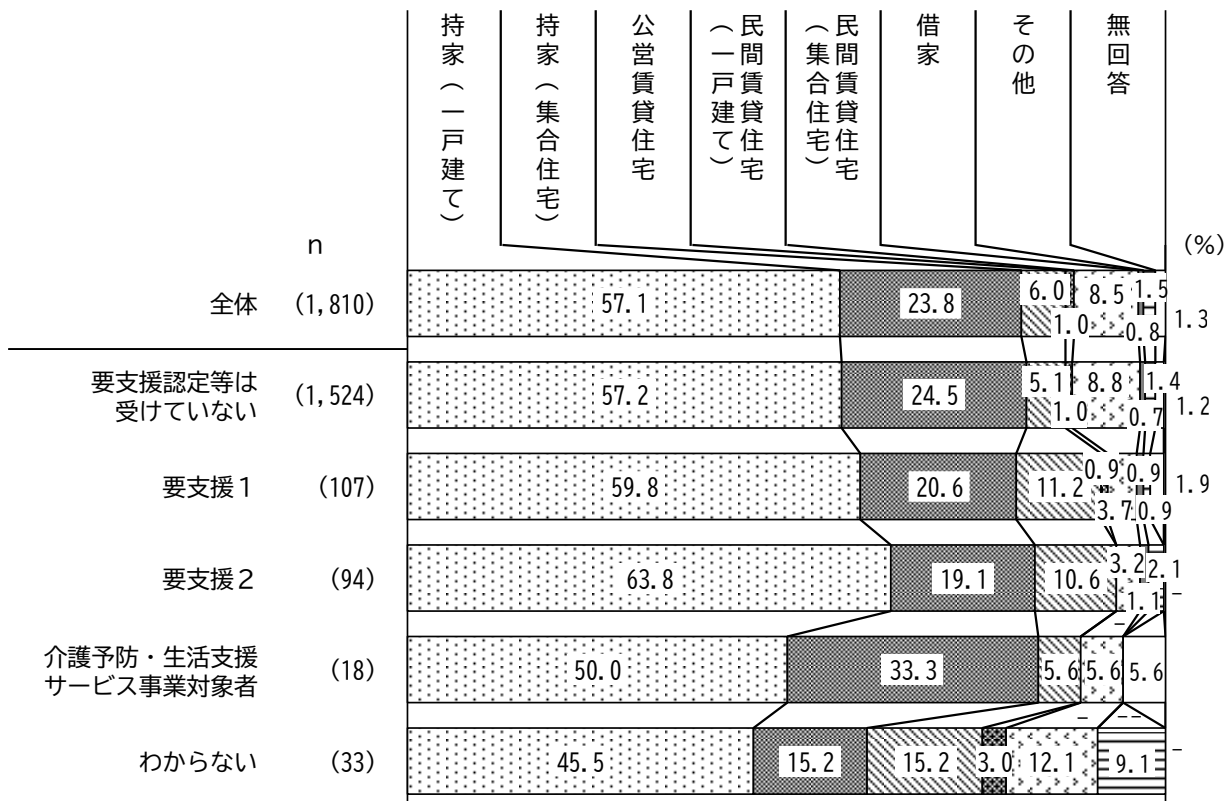
【経年比較】暮らしの状況



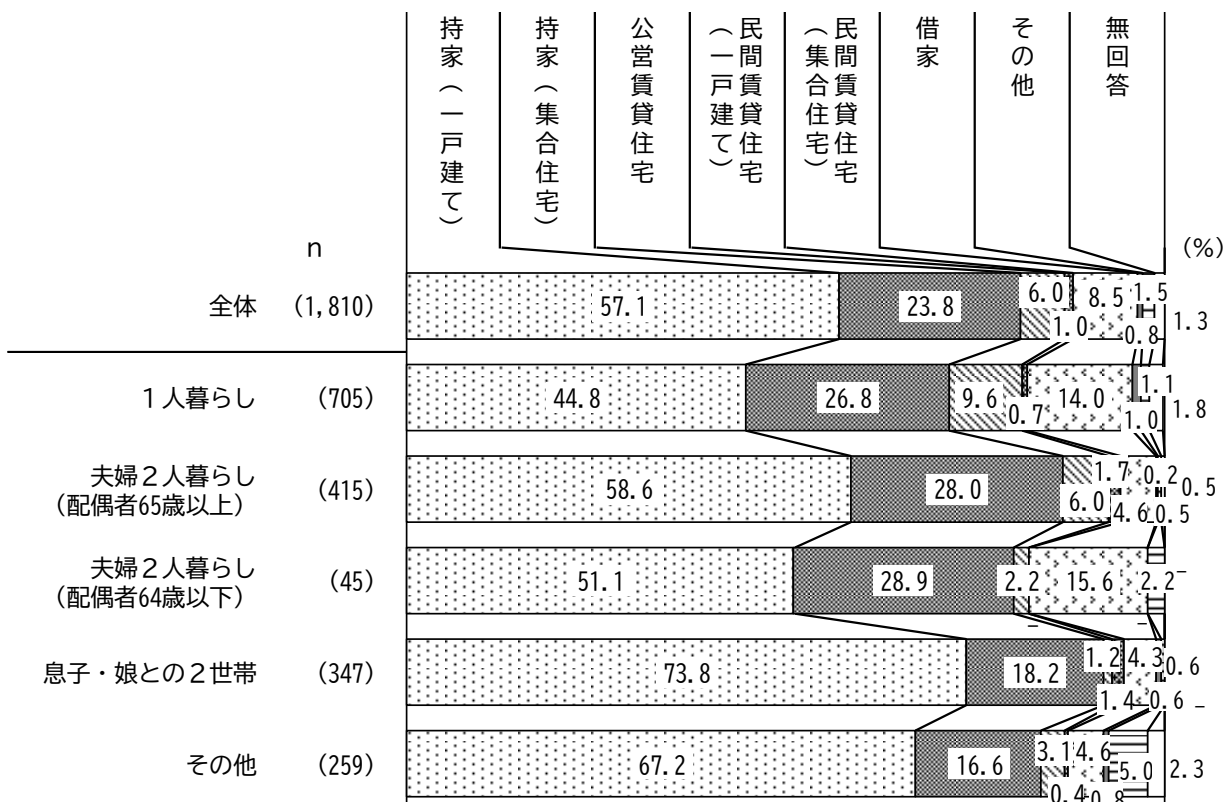
【収入別】暮らしの状況



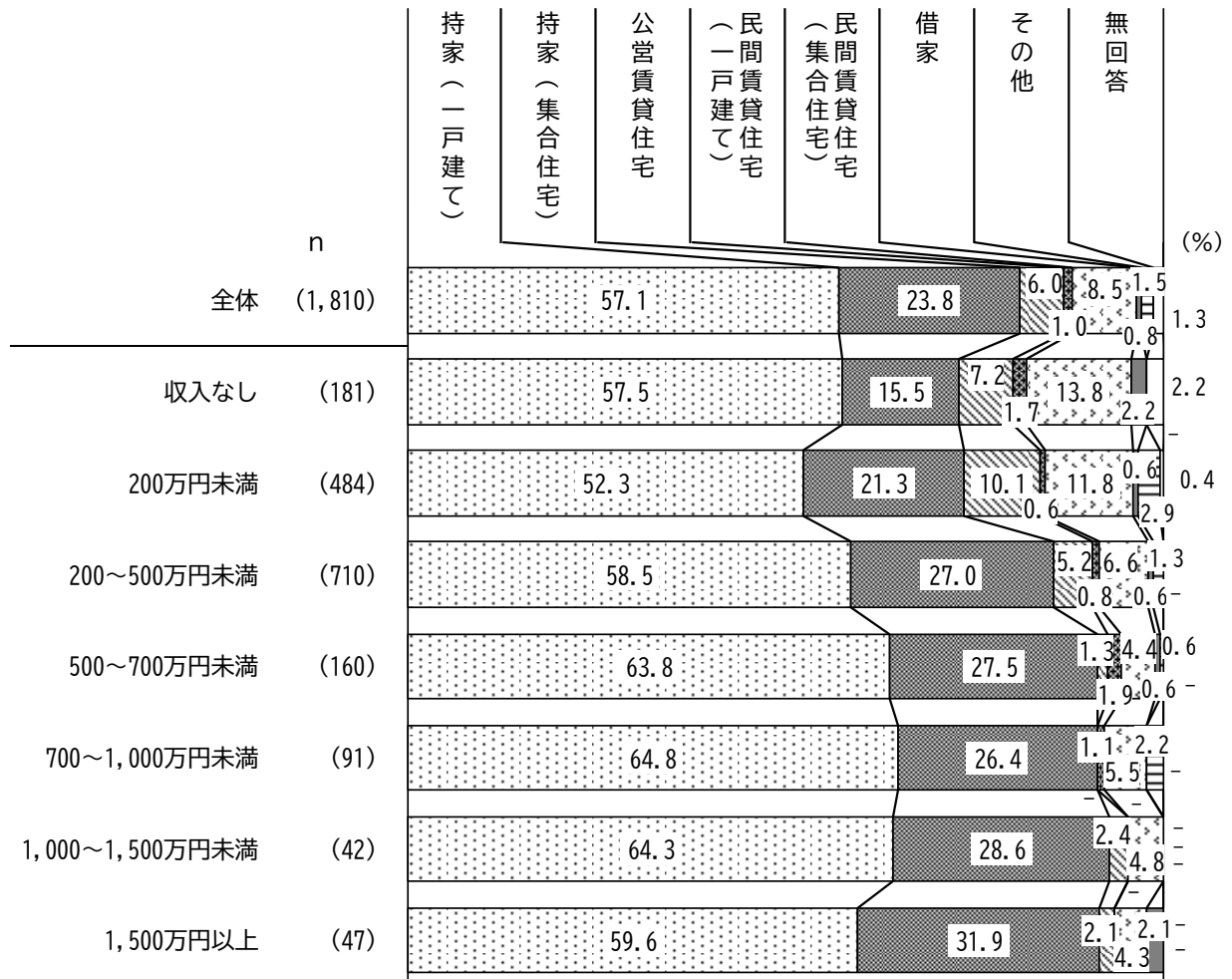
1.8. 居住形態



【家族構成別】居住形態



【収入別】居住形態



2. からだを動かすことについて

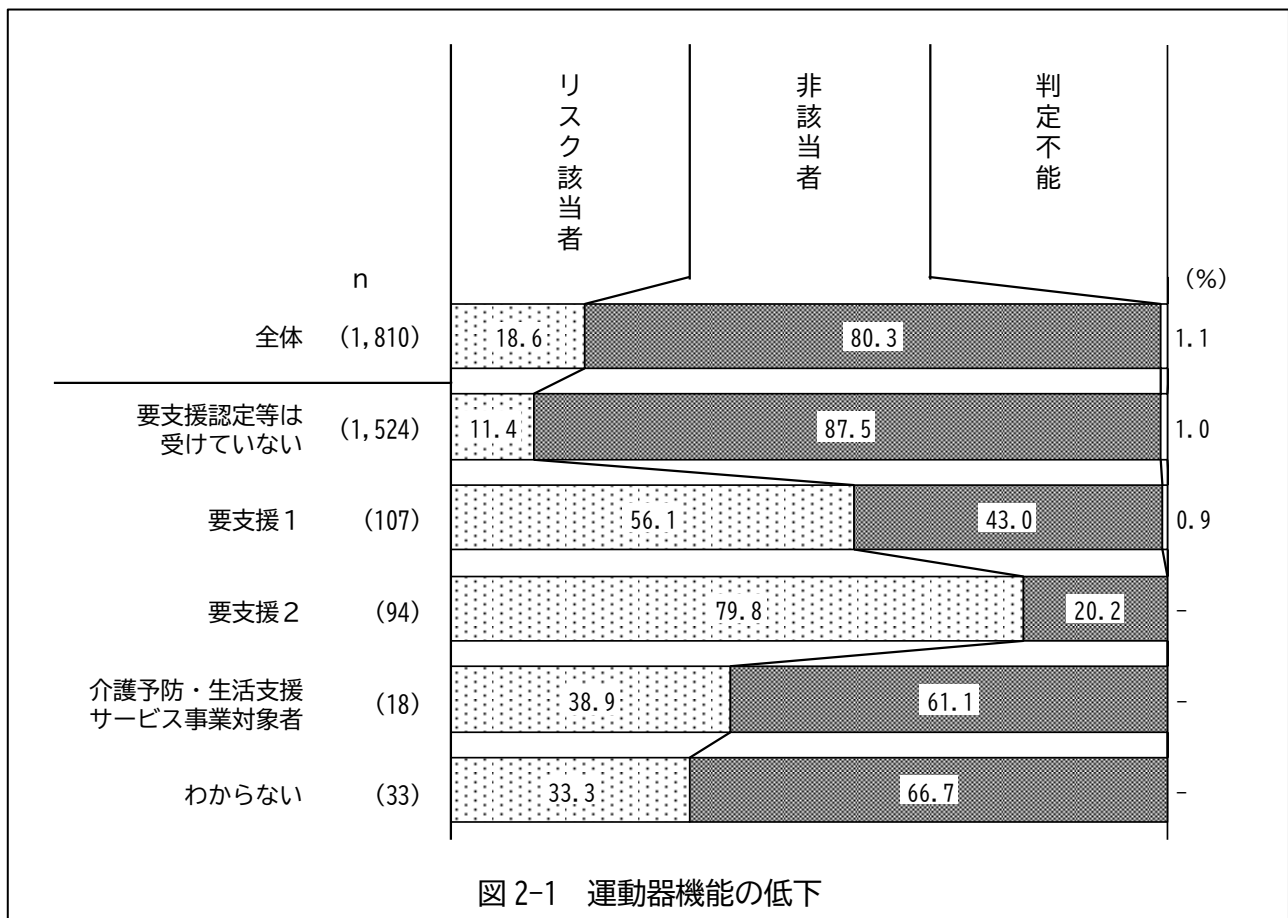
2.1. 機能評価

2.1.1. 運動器機能

◇以下の設問を抽出し、5 項目のうち 3 項目以上に該当する人を運動器の機能低下リスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問 12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 13	15 分位続けて歩いていますか	3. できない
問 14	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある
問 15	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

◆ 運動器機能の低下リスク該当者は 1 割台後半



全体では、運動器機能低下のリスク該当者は 1 割台後半となっている。

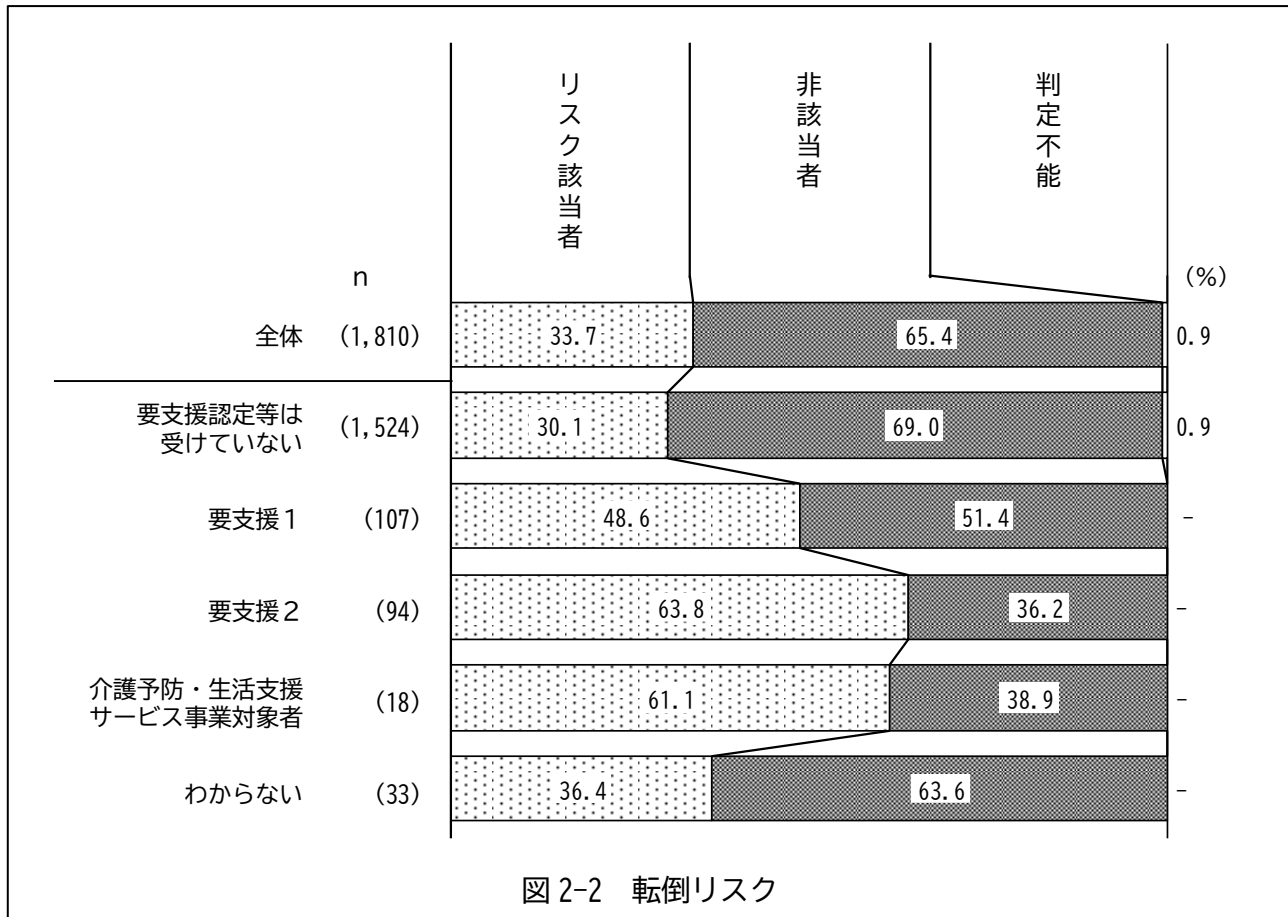
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援 2 に向かって、段階的に高くなっている。

2.1.2. 転倒リスク

◇以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 14	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある

◆ 転倒リスク該当者は 3 割台前半



全体では、転倒リスクの該当者は 3 割台前半となっている。

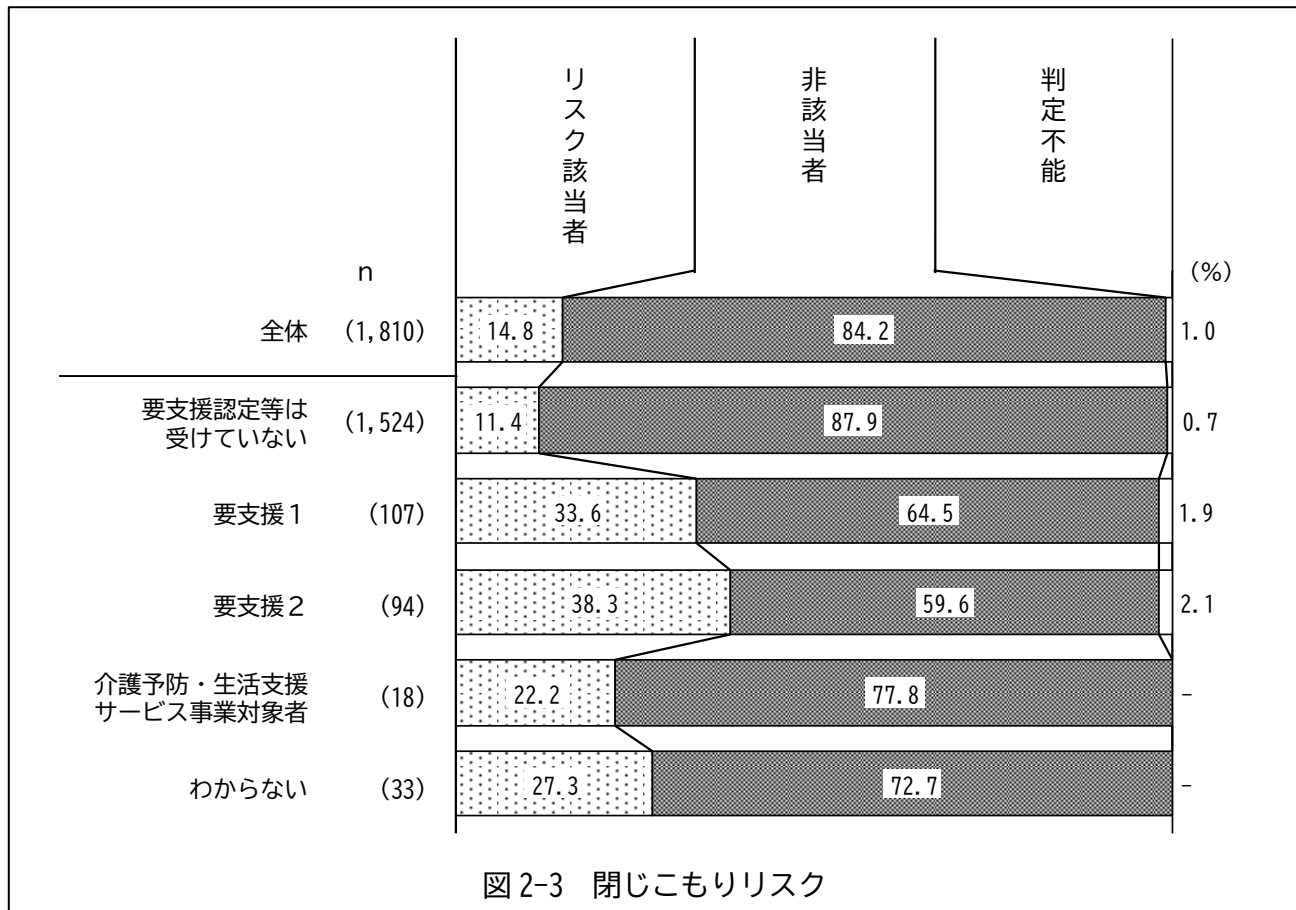
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援 2 が 6 割台前半、介護予防・生活支援サービス事業対象者が約 6 割で高くなっている。

2.1.3. 閉じこもり傾向

◇以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 16	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

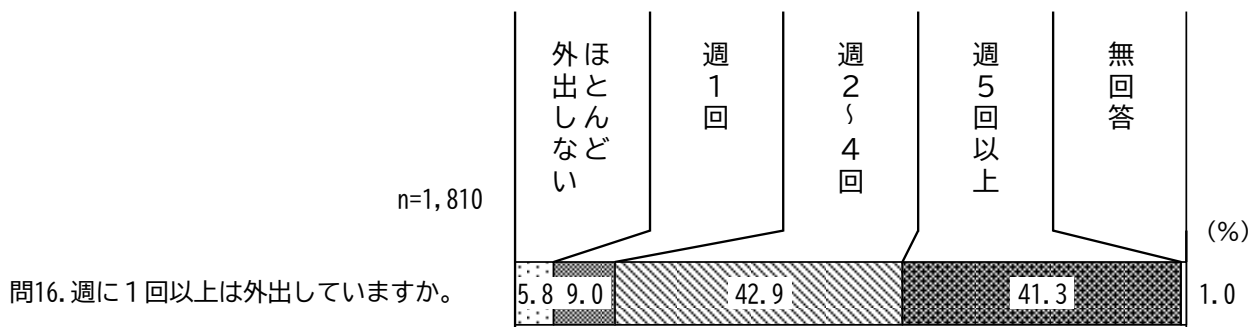
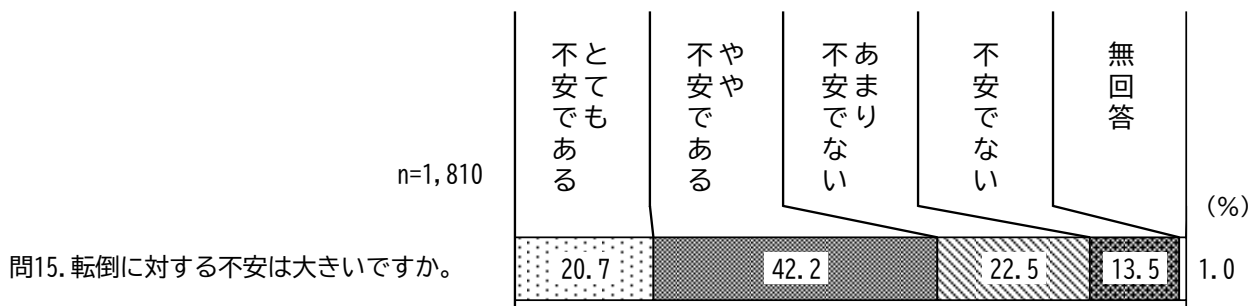
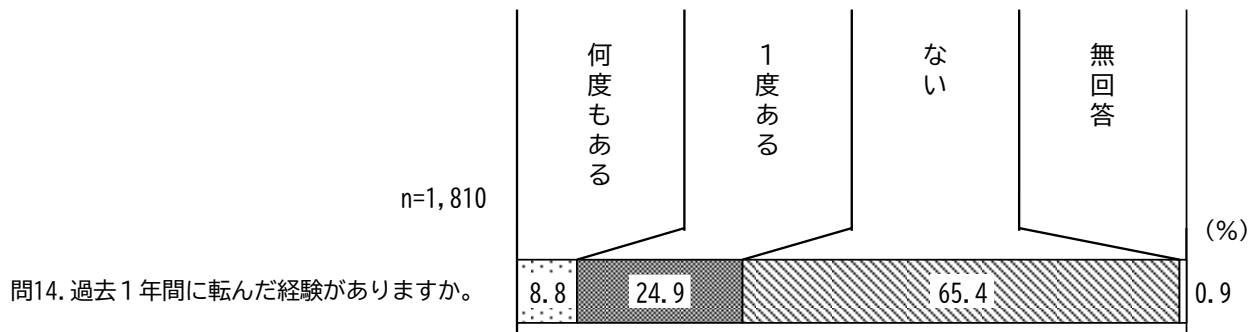
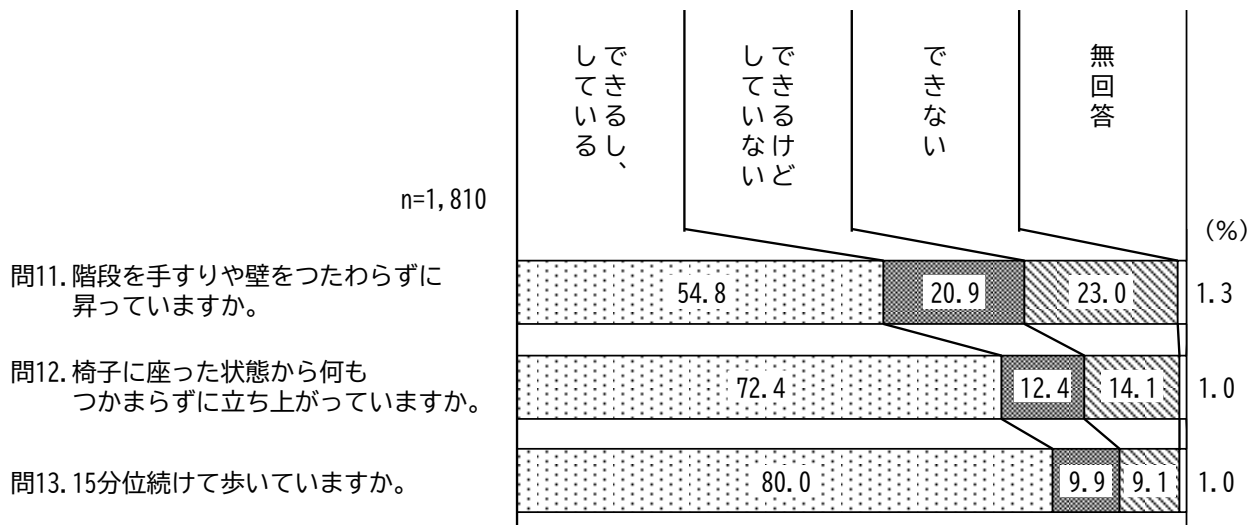
◆ 閉じこもりのリスク該当者は1割台半ば



全体では、閉じこもりリスクの該当者は1割台半ばとなっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

※問 11～16 設問ごとの結果
(全員の方に)

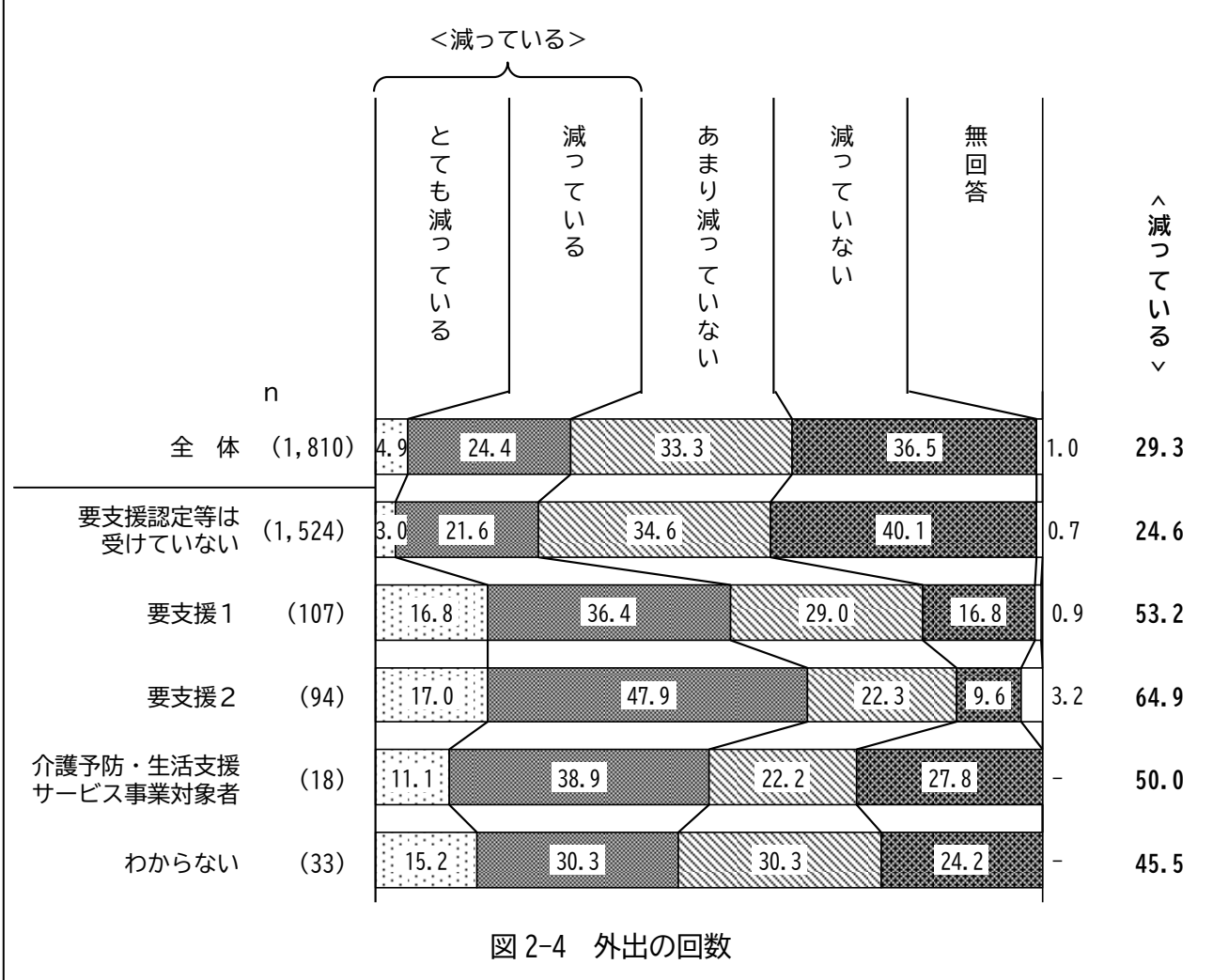


2.2. 外出の回数

◆ <減っている>が約3割

(全員の方に)

問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



要支援認定等を受けていない人は「減っていない」が約4割で最も高くなっている。

一方、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者では「減っている」が最も高く、「とても減っている」と合わせると、いずれも半数以上を占めている。

2.2.1. 外出が減っている理由

◆ 「足腰などの痛み」が約5割

(問17で「とても減っている」「減っている」に○をつけた方に)
問17-1 外出が減っている理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

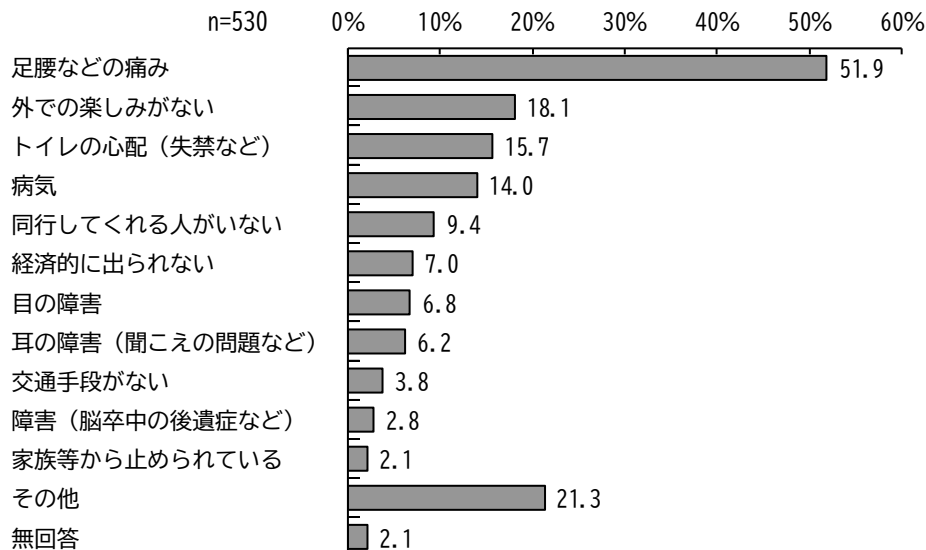


図2-5 外出が減っている理由

「足腰などの痛み」が約5割で最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「気が向かない」や「気候のため (熱中症)」などが挙げられている。

【状態別】外出が減っている理由

単位：%

	有効回答数 (件)	足腰などの痛み	外での楽しみがない	トイレの心配 (失禁など)	病気	同行してくれる人がいない	経済的に出られない	目の障害
全体	530	51.9	18.1	15.7	14.0	9.4	7.0	6.8
要支援認定等は受けていない	375	47.2	19.2	13.3	13.3	4.8	8.0	5.3
要支援1	57	61.4	15.8	31.6	12.3	19.3	1.8	7.0
要支援2	61	67.2	11.5	19.7	11.5	29.5	4.9	13.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	55.6	22.2	-	44.4	-	22.2	11.1
わからない	15	53.3	26.7	13.3	13.3	13.3	6.7	20.0

	有効回答数 (件)	耳の障害 (聞こえの問題など)	交通手段がない	障害 (脳卒中の後遺症など)	家族等から止められている	その他	無回答
全体	530	6.2	3.8	2.8	2.1	21.3	2.1
要支援認定等は受けていない	375	5.6	1.9	2.9	1.9	23.5	1.9
要支援1	57	5.3	8.8	1.8	1.8	19.3	1.8
要支援2	61	9.8	8.2	3.3	4.9	18.0	1.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	11.1	-	-	-	-	-
わからない	15	13.3	13.3	-	-	20.0	6.7

2.3. 外出する際の移動手段

◆ 「徒歩」が8割台前半

(全員の方に)

問 18 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

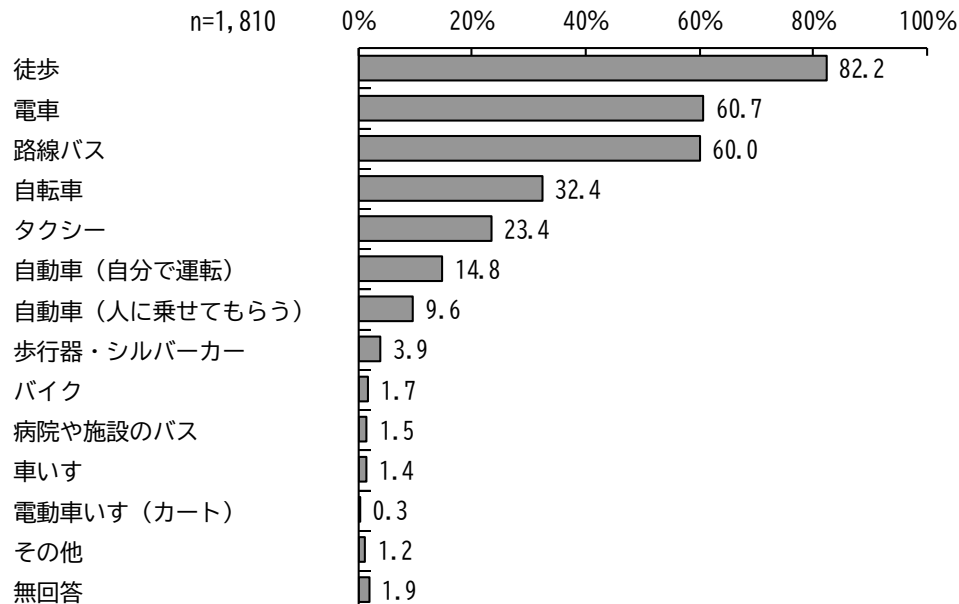


図 2-6 外出する際の移動手段

「徒歩」が8割台前半と最も高くなっている。

【状態別】外出する際の移動手段

単位：%

	有効回答数(件)	徒歩	電車	路線バス	自転車	タクシー	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)
全体	1,810	82.2	60.7	60.0	32.4	23.4	14.8	9.6
要支援認定等は受けていない	1,524	85.8	66.0	62.7	36.7	20.0	17.3	8.5
要支援1	107	72.9	39.3	55.1	7.5	46.7	1.9	11.2
要支援2	94	44.7	17.0	30.9	3.2	43.6	-	20.2
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	72.2	27.8	55.6	11.1	38.9	-	16.7
わからない	33	78.8	54.5	60.6	18.2	36.4	6.1	15.2

	有効回答数(件)	歩行器・シルバーカー	バイク	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体	1,810	3.9	1.7	1.5	1.4	0.3	1.2	1.9
要支援認定等は受けていない	1,524	1.3	1.8	0.5	0.2	0.1	0.6	1.6
要支援1	107	15.9	0.9	8.4	2.8	0.9	3.7	1.9
要支援2	94	34.0	-	9.6	14.9	4.3	5.3	3.2
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	5.6	5.6	-	16.7	-	5.6	-
わからない	33	-	-	3.0	-	-	3.0	3.0

3. 食べるについて

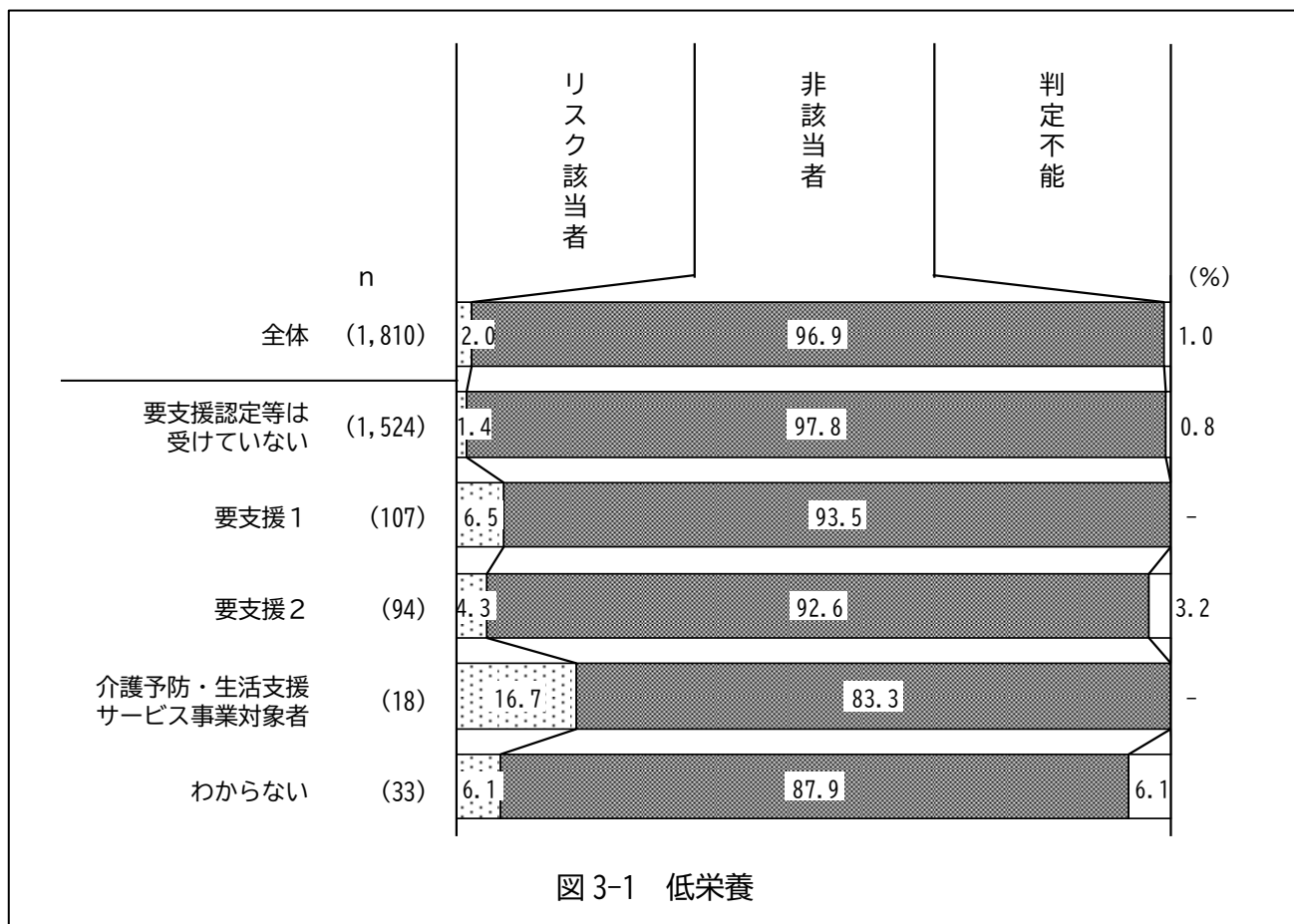
3.1. 機能評価

3.1.1. 低栄養

◇以下の設問を抽出し、2 項目の両方に該当する人を低栄養のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する状態・選択肢
問 19	身長・体重	BMI 18.5 未満
問 25	6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい

◆ 低栄養のリスク該当者は 2%



全体では、低栄養のリスク該当者は 2%となっている。

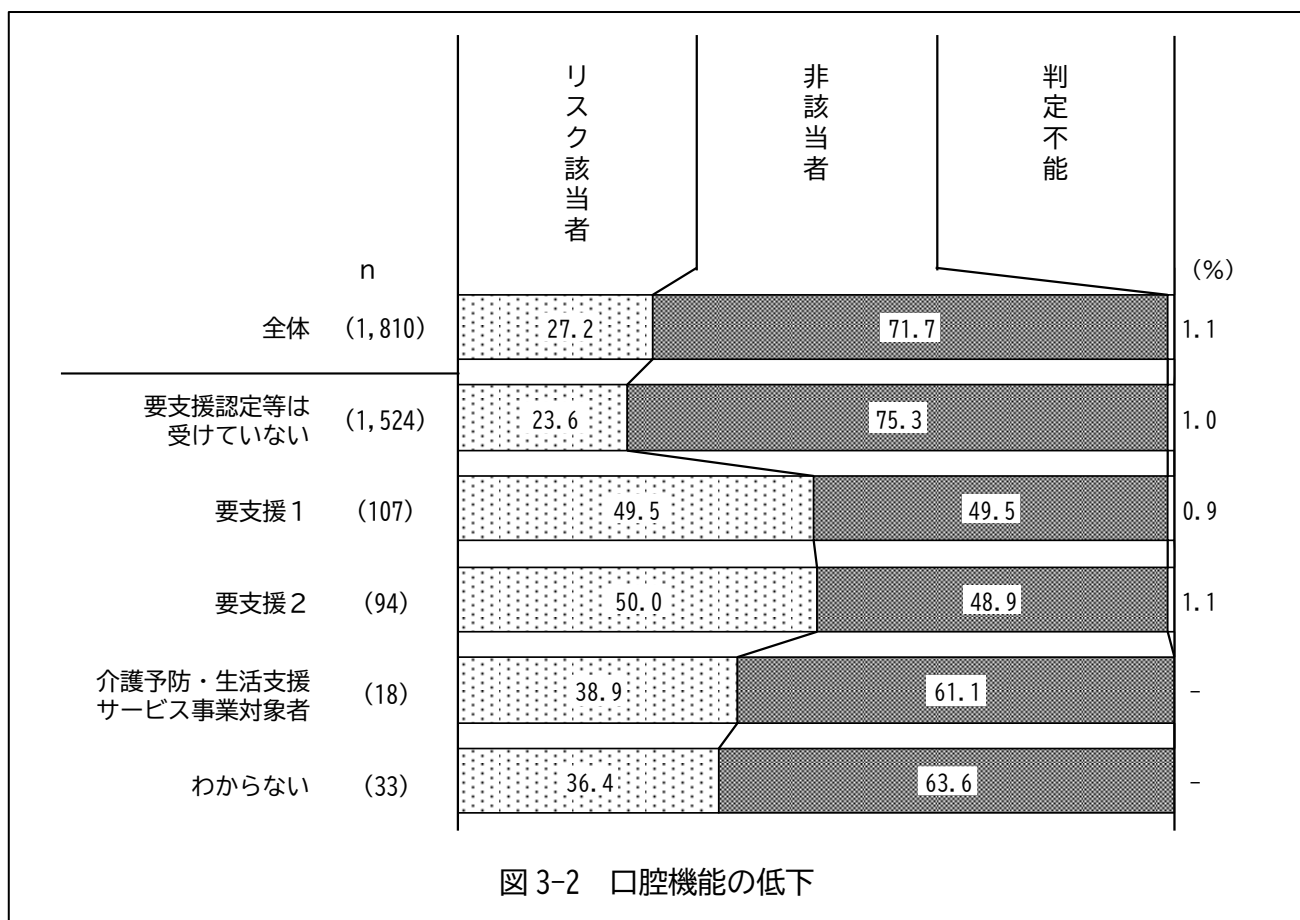
状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者でやや高く、1 割台半ばとなっている。

3.1.2. 口腔機能

◇以下の設問を抽出し、3 項目のうち 2 項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 20	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 21	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 22	口の渇きが気になりますか	1. はい

◆ 口腔機能の低下リスク該当者は 2 割台後半

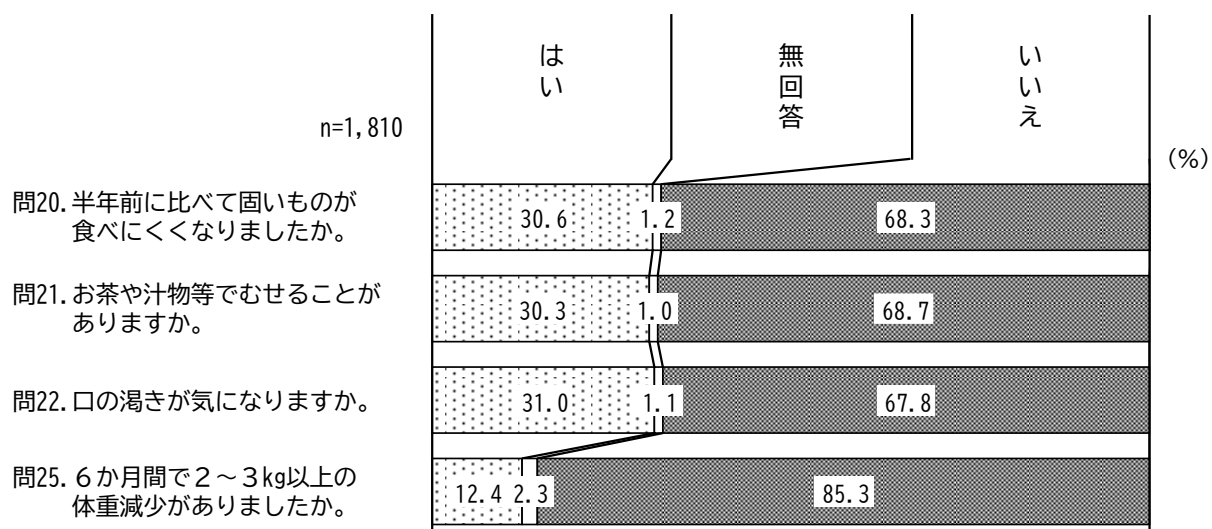
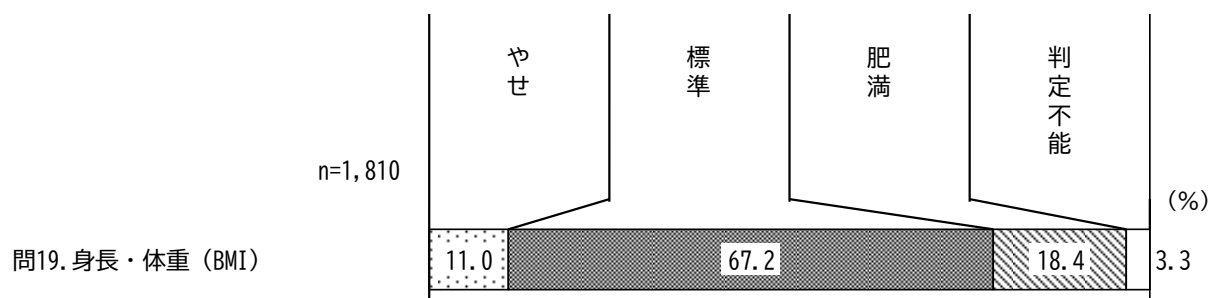


全体では、口腔機能低下のリスク該当者は 2 割台後半となっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援 2 に向かって、段階的に高くなっている。

また、要支援 1・2 はともに 5 割程度を占めている。

※問 19～問 22、問 25 設問ごとの結果
(全員の方に)



3.2. 歯磨きの状況

◆ 「はい」が9割台前半

(全員の方に)

問 23 歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日していますか。（○は1つ）

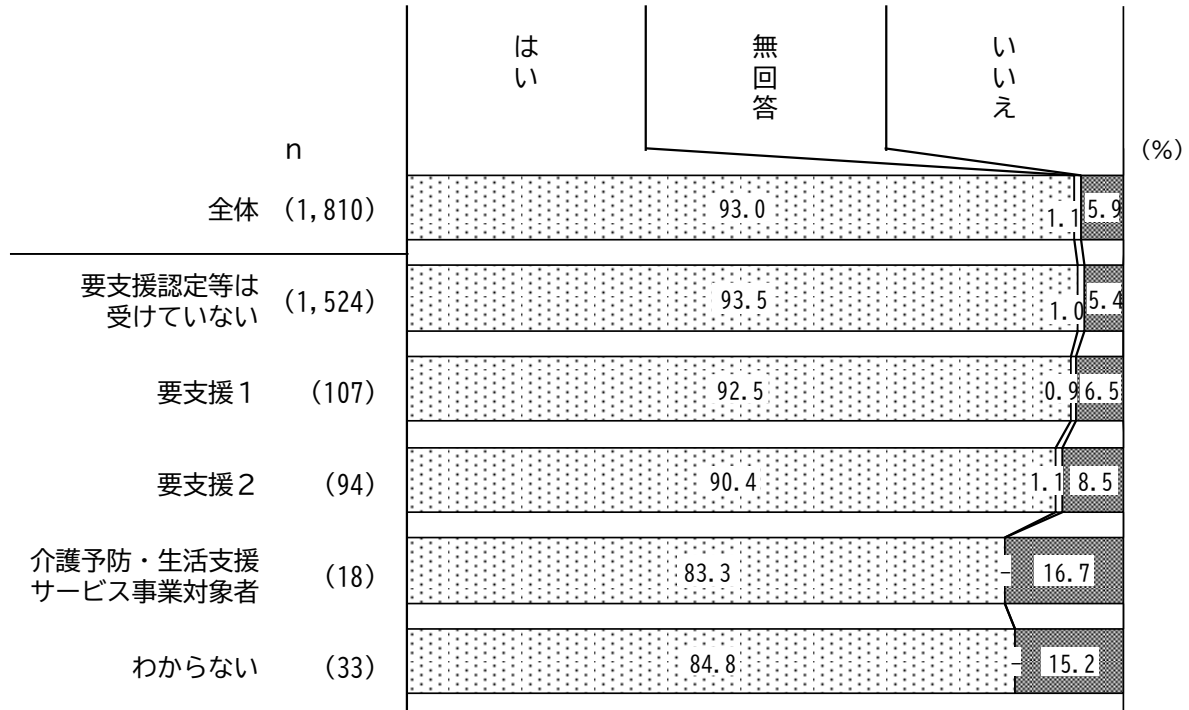


図 3-3 歯磨きの状況

「はい」が9割台前半となっている。

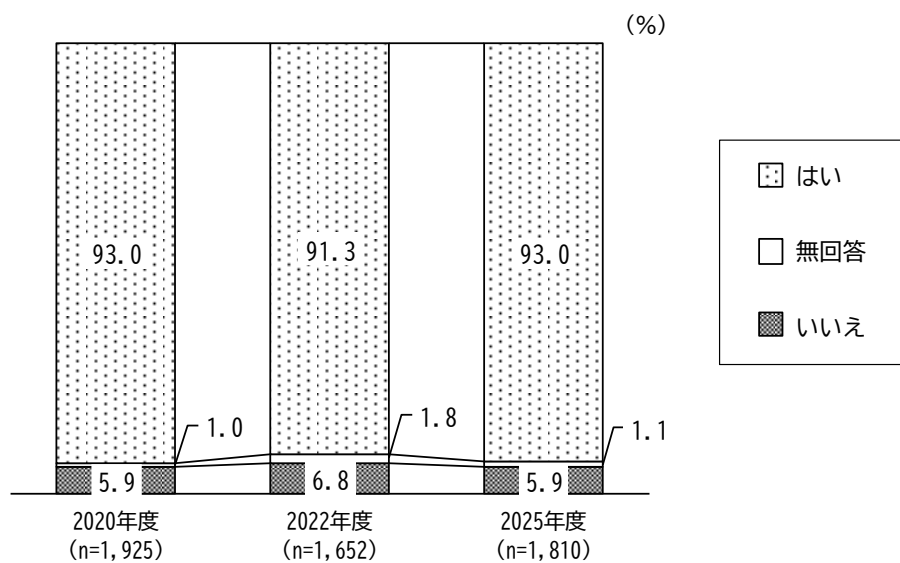


図 3-4 【経年比較】歯磨きの状況

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況

◆ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 3 割台後半

(全員の方に)

問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は 1 つ)

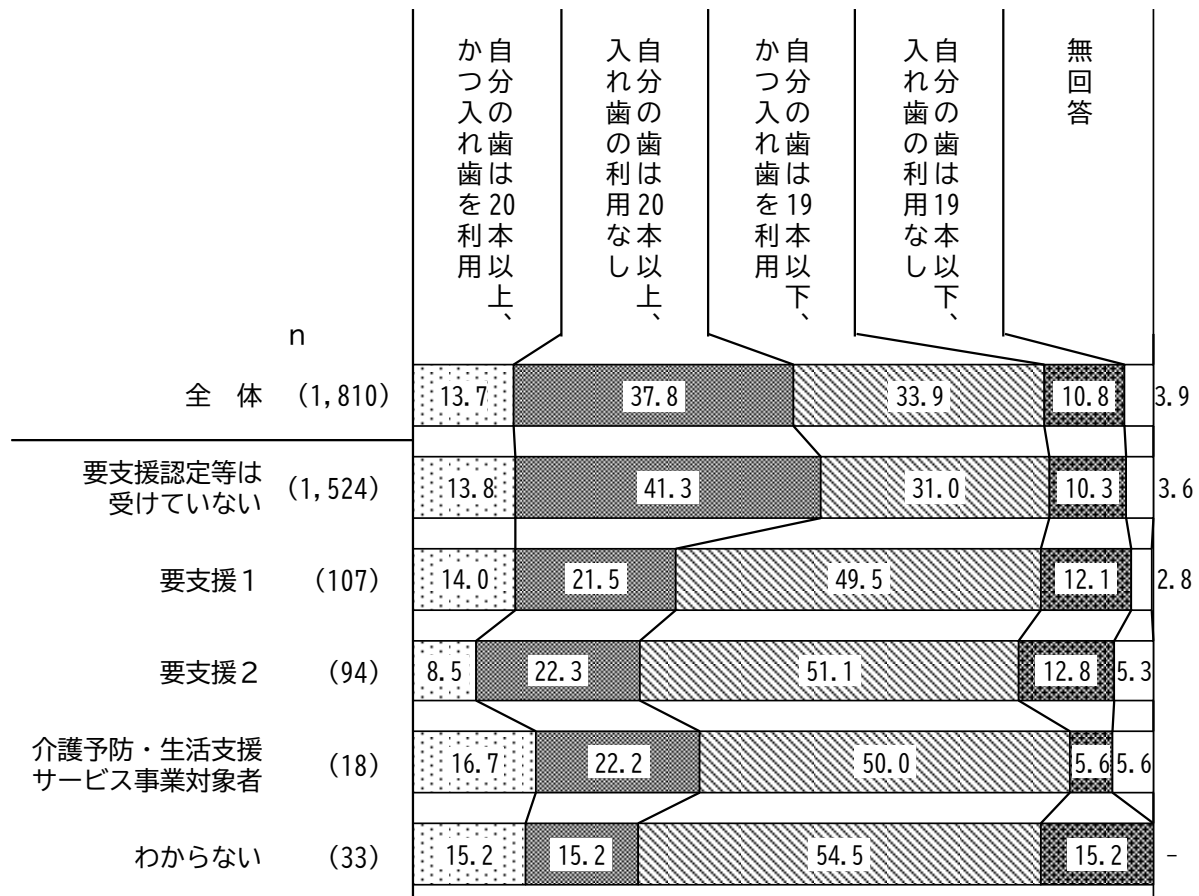


図 3-5 歯の数と入れ歯の利用状況

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 3 割台後半で最も高くなっている。

状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が約 5 割を占めている。

3.3.1. 噛み合わせの状況

◆ 「はい」が約7割

(全員の方に)

問 24-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

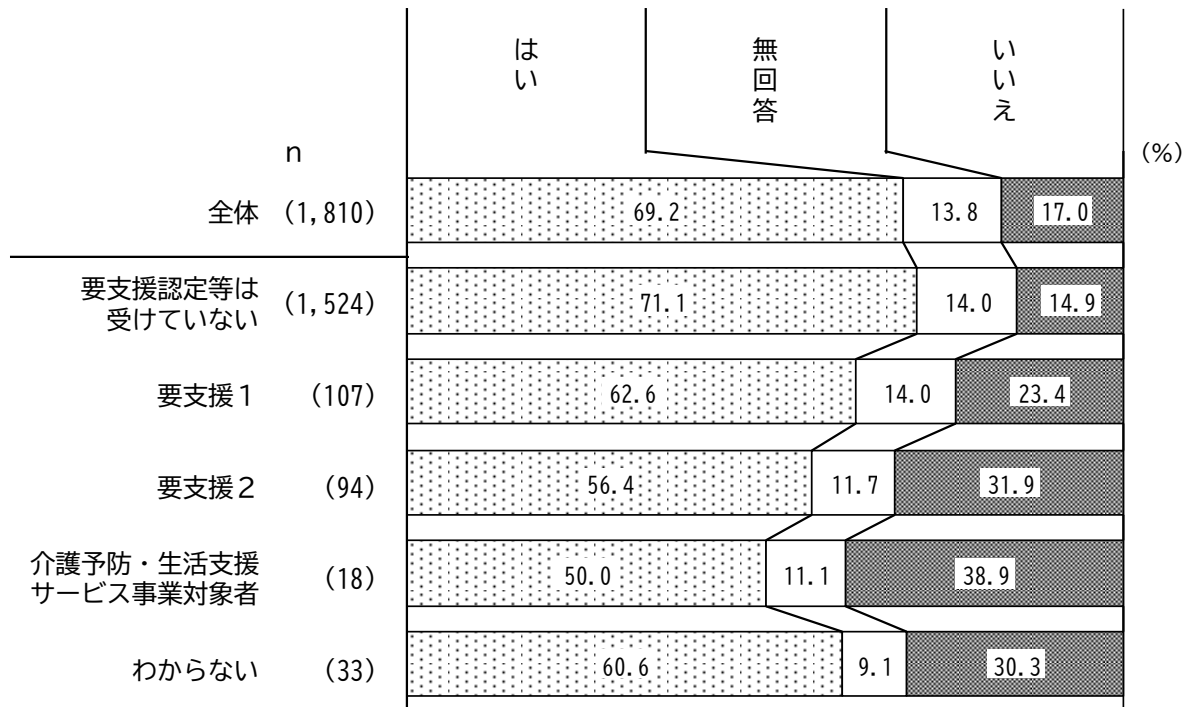


図 3-6 噛み合わせの状況

全体では、「はい」が約7割を占めている。

状態別では、「いいえ」は介護予防・生活支援サービス事業対象者で3割台後半、要支援2で約3割と高くなっている。

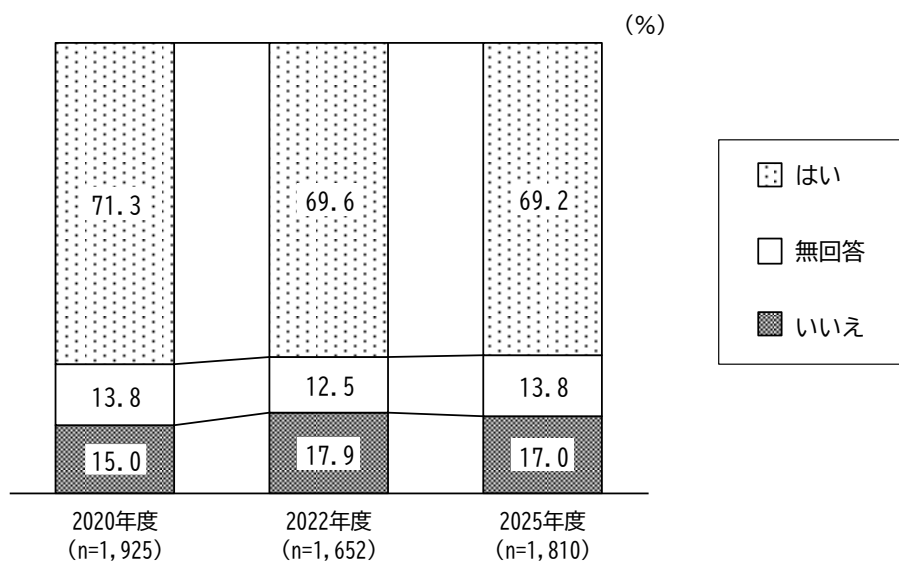


図 3-7 【経年比較】噛み合わせの状況

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか

◆ 「はい」が約9割

(問 24 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」に○をつけた方に)

問 24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

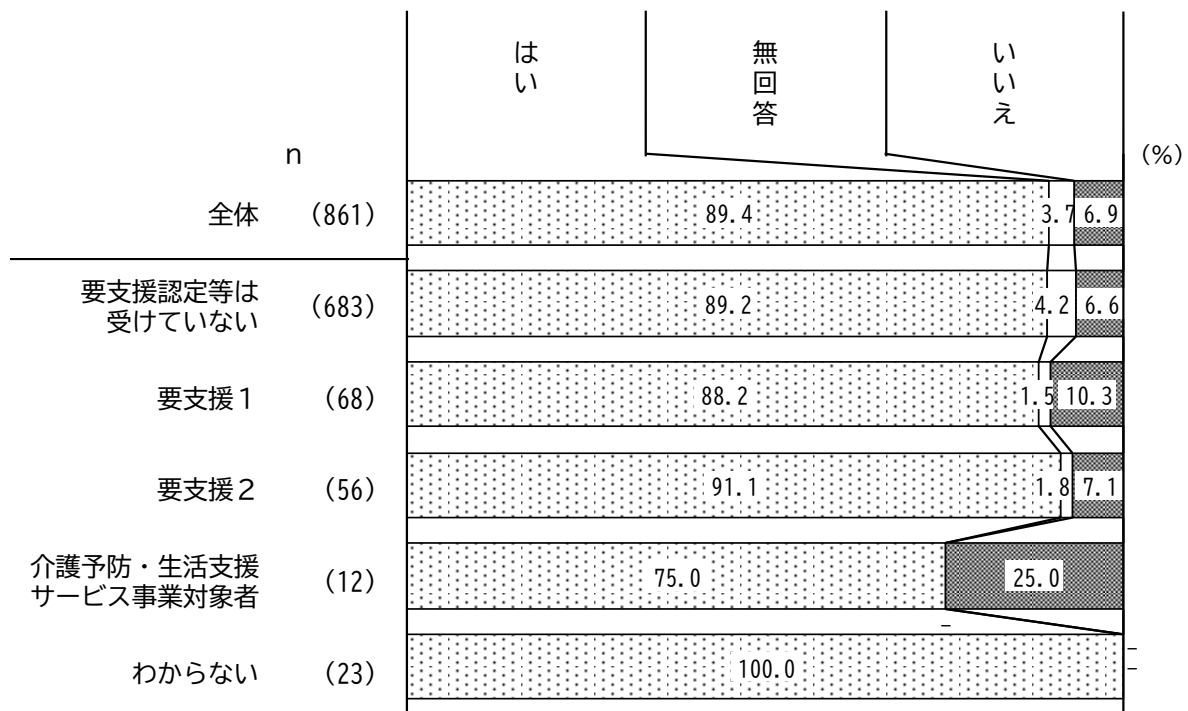


図 3-8 毎日入れ歯の手入れをしているか

全体では、「はい」が約9割を占めている。

状態別では、要支援1で「いいえ」が約1割を占めている。

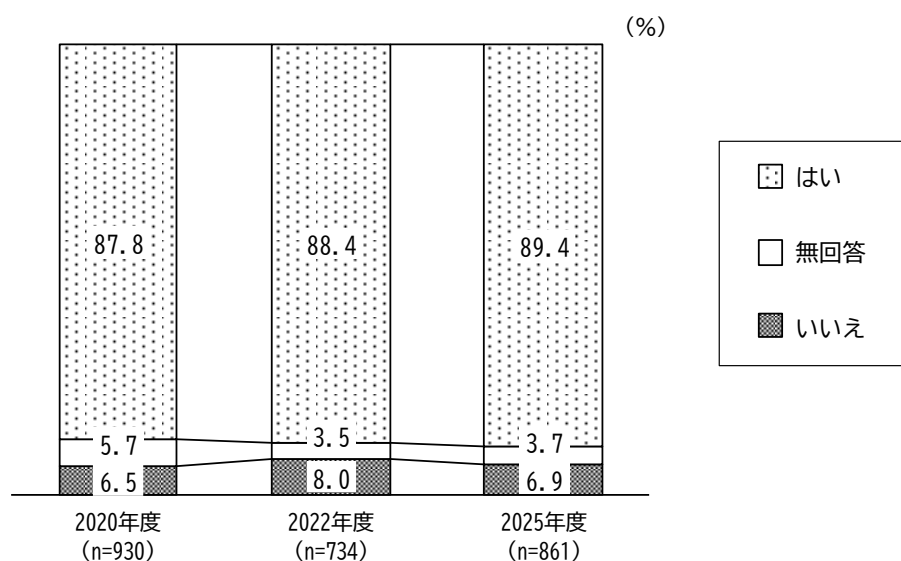


図 3-9 【経年比較】毎日入れ歯の手入れをしているか

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.4. 食事をともしずる機会

◆ 「毎日ある」が4割台前半

(全員の方に)

問 26 どなたかと食事をともしずる機会がありますか。(○は1つ)

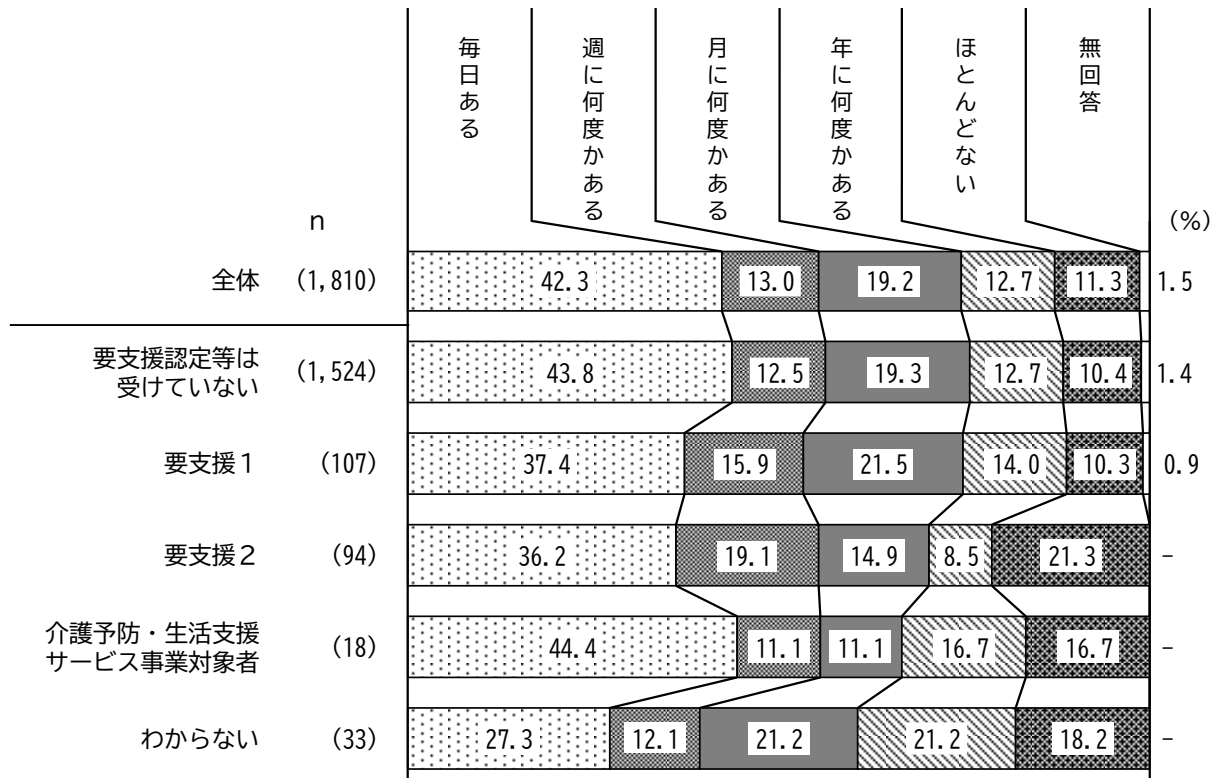


図 3-10 食事をともしずる機会

全体では、「毎日ある」が4割台前半で最も高くなっている。
状態別では、要支援2は「ほとんどない」が約2割を占めている。

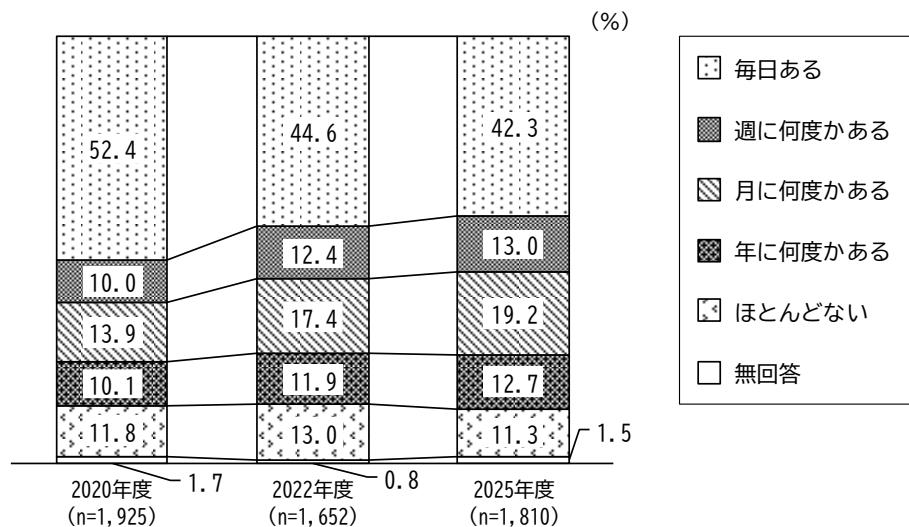
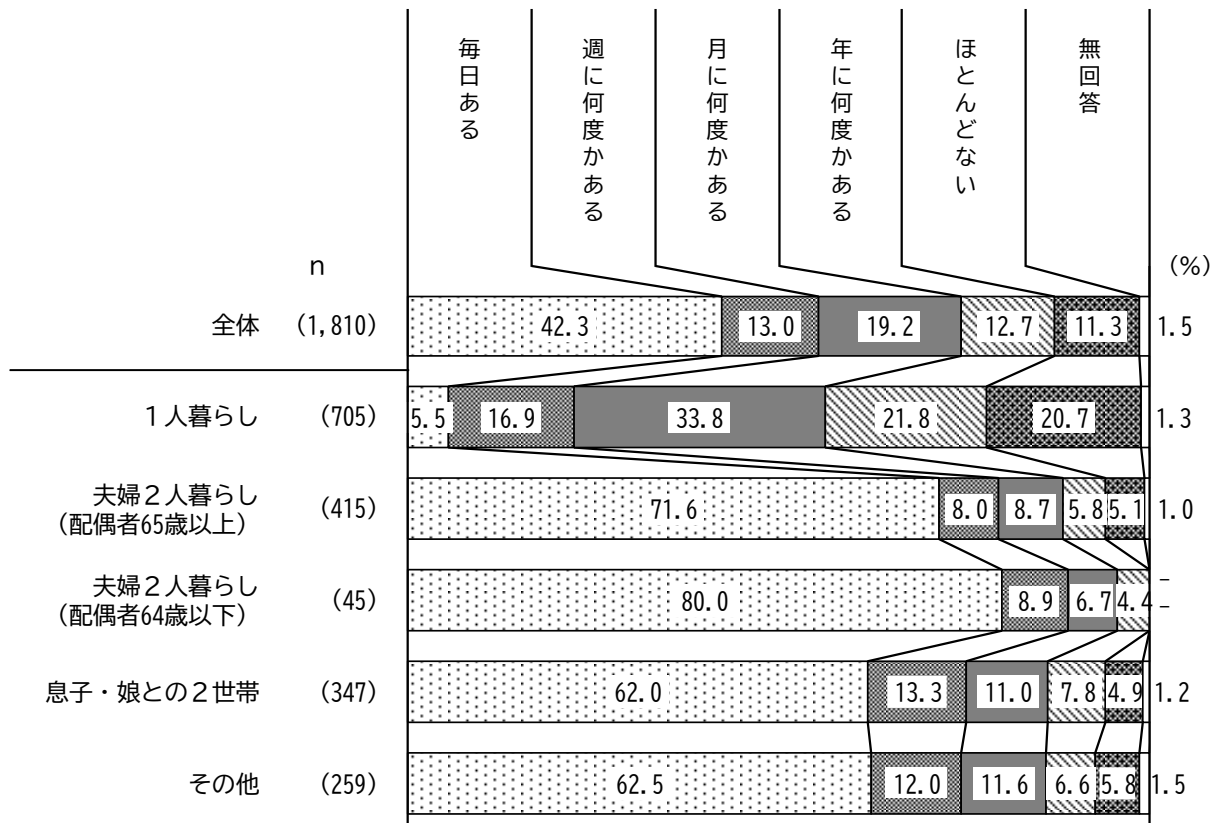


図 3-11 【経年比較】食事をともしずる機会

経年比較では、2022年度と比べて「毎日ある」が2.3ポイント減少している。

【家族構成別】食事をともしめる機会



家族構成別では、1人暮らし以外では「毎日ある」が6割を超えている。一方、1人暮らしでは「月に何度かある」が3割台前半、「年に何度かある」と「ほとんどない」が約2割で他より高くなっている。

4. 毎日の生活について

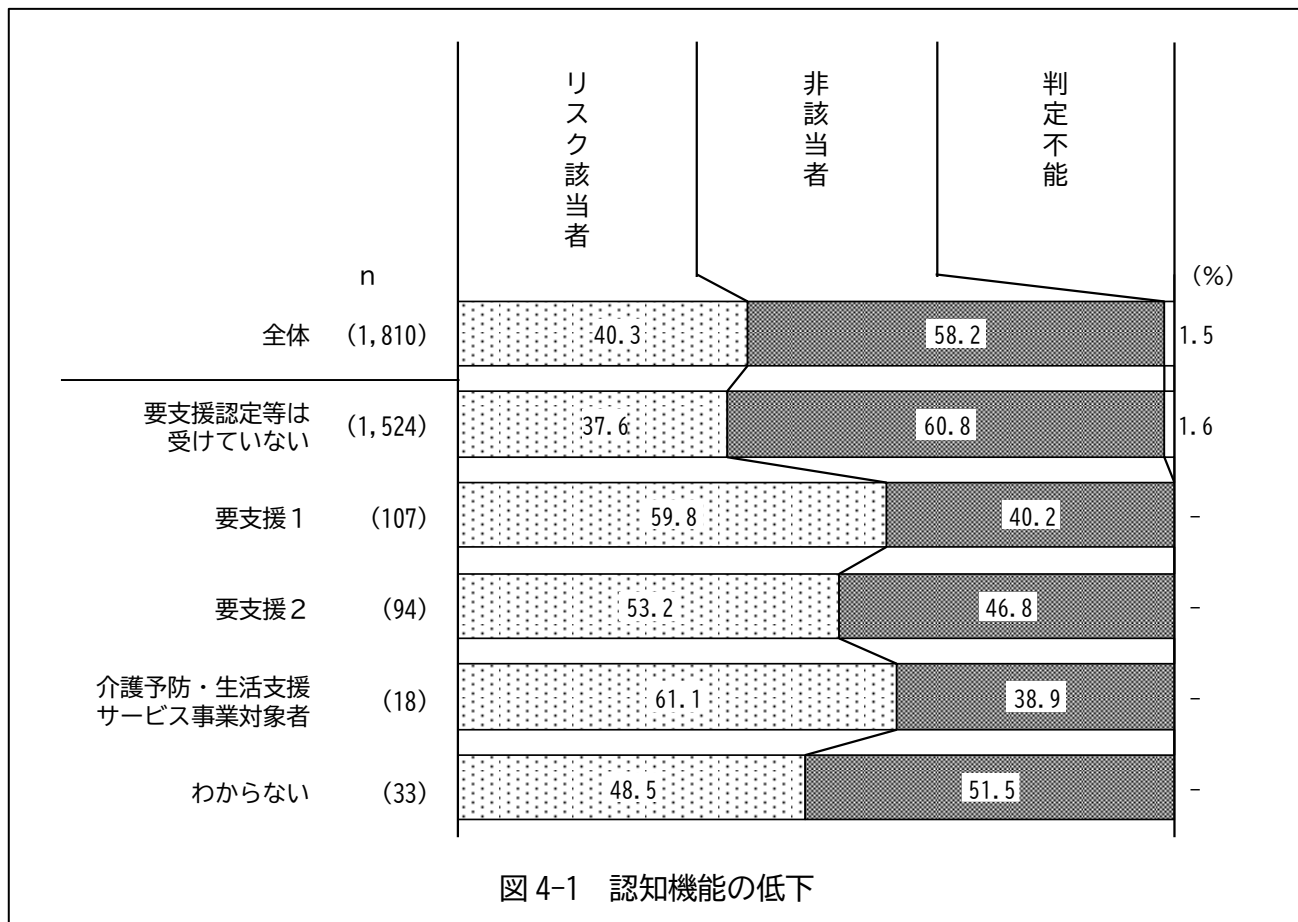
4.1. 機能評価

4.1.1. 認知機能

◇以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 27	物忘れが多いと感じますか	1. はい

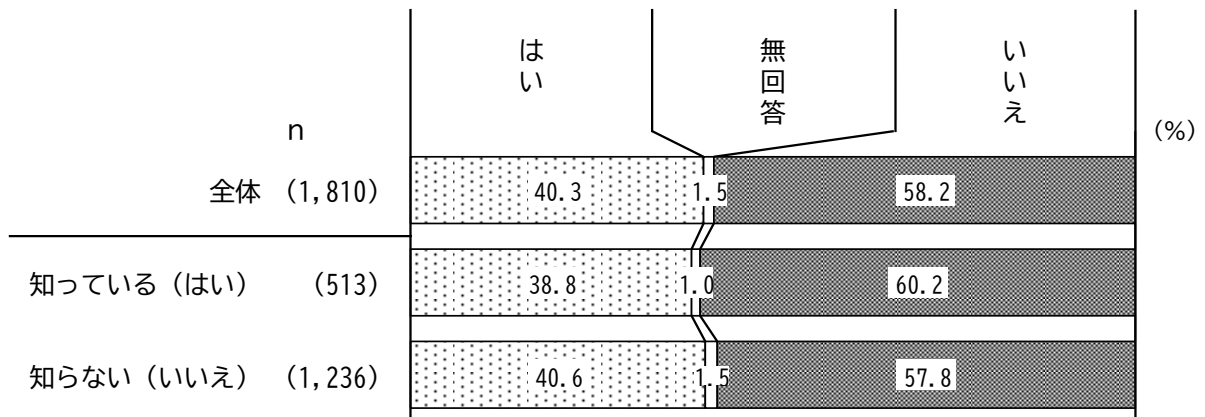
◆ 認知機能低下のリスク該当者は約 4 割



全体では、認知機能低下のリスク該当者は約 4 割となっている。

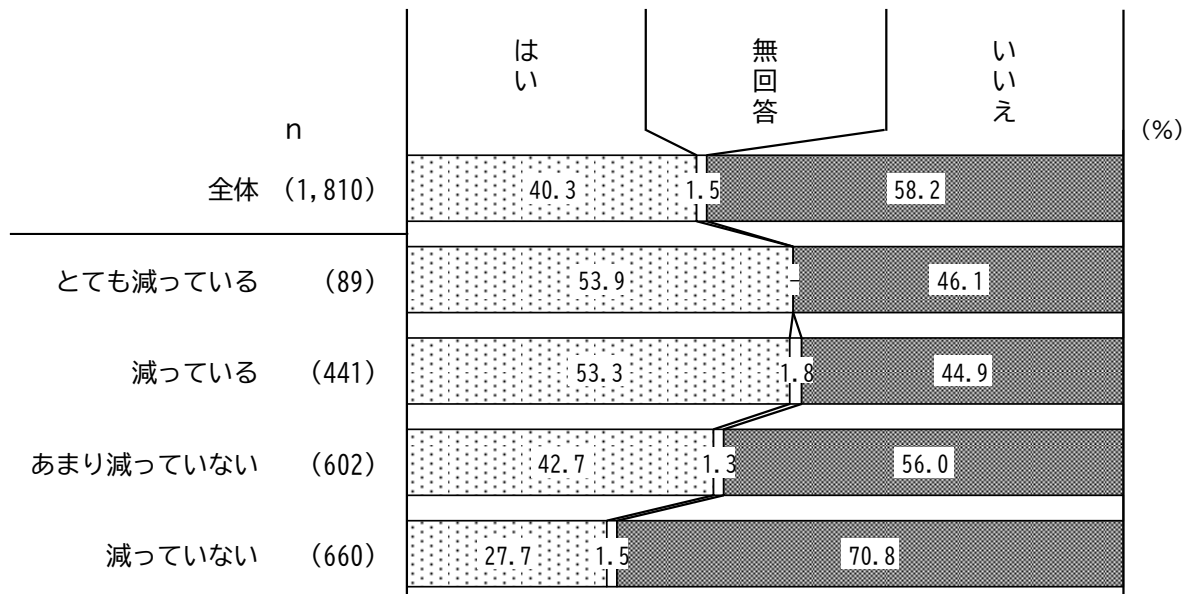
状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者ではリスク該当者が過半数を占めている。

【認知症の窓口の認知度別】物忘れが多いか



認知症の窓口の認知度別では、認知症の窓口を知っているか知らないかでは、大きな差異はみられない。

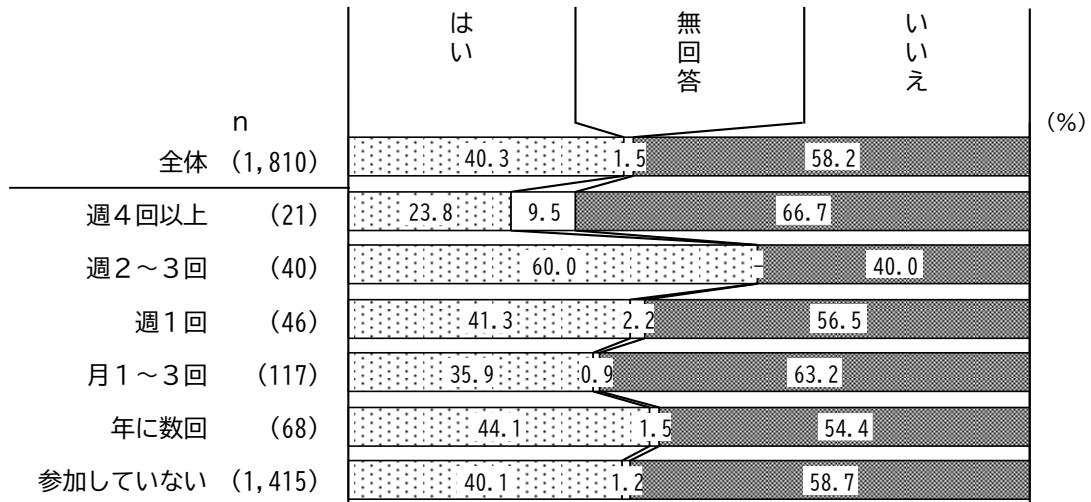
【外出の回数状況別】物忘れが多いか



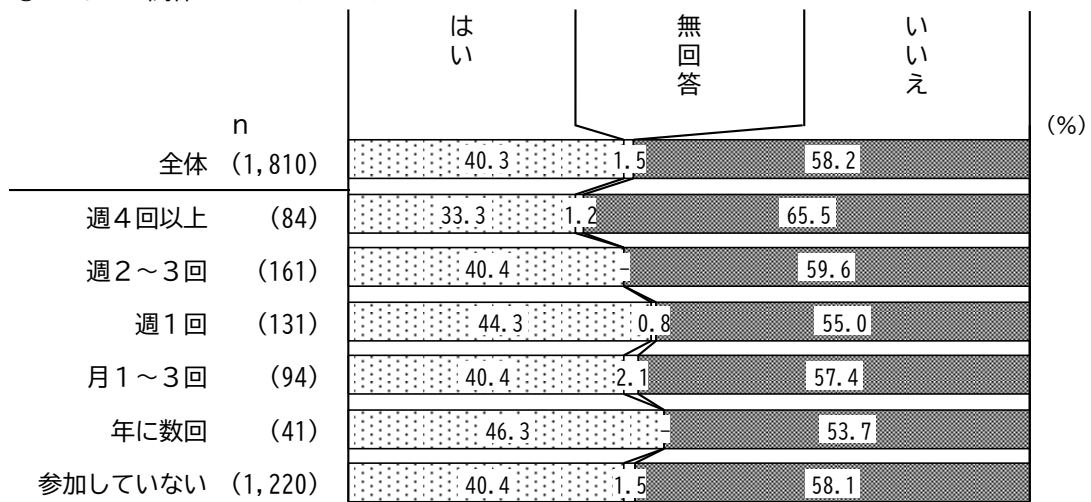
外出の状況別では、外出の回数が「とても減っている」「減っている」とともに物忘れが多い割合が5割前半となっている。

【会・グループ等への参加頻度別】物忘れが多いか

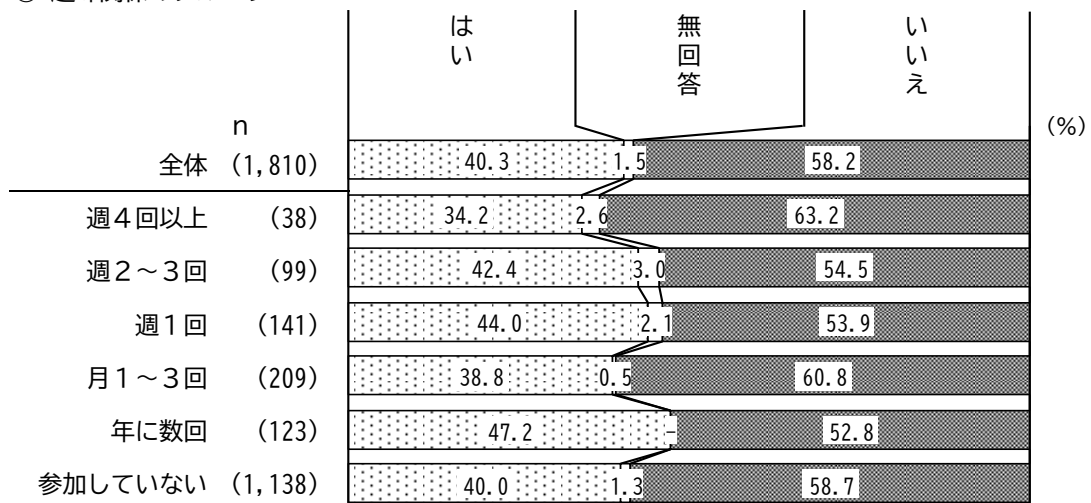
① ボランティアのグループ



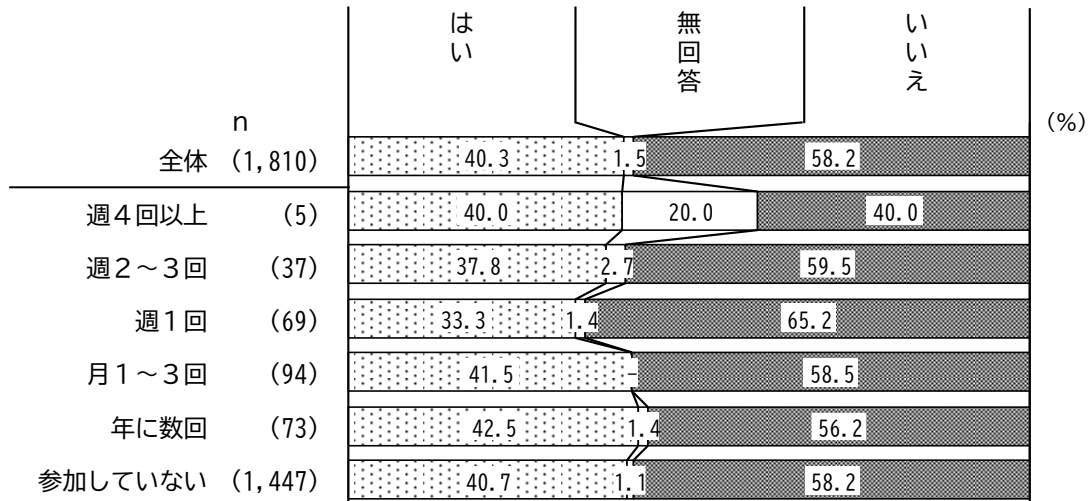
② スポーツ関係のグループやクラブ



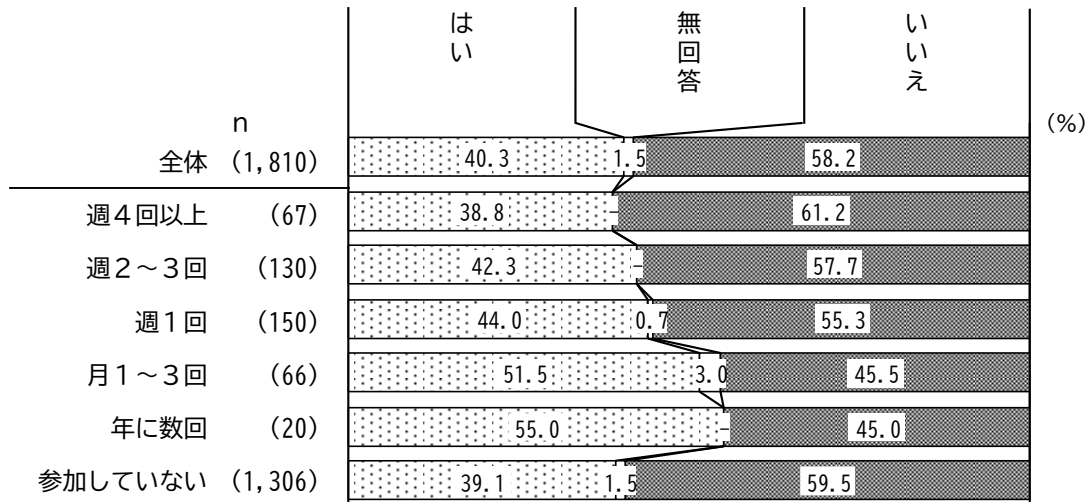
③ 趣味関係のグループ



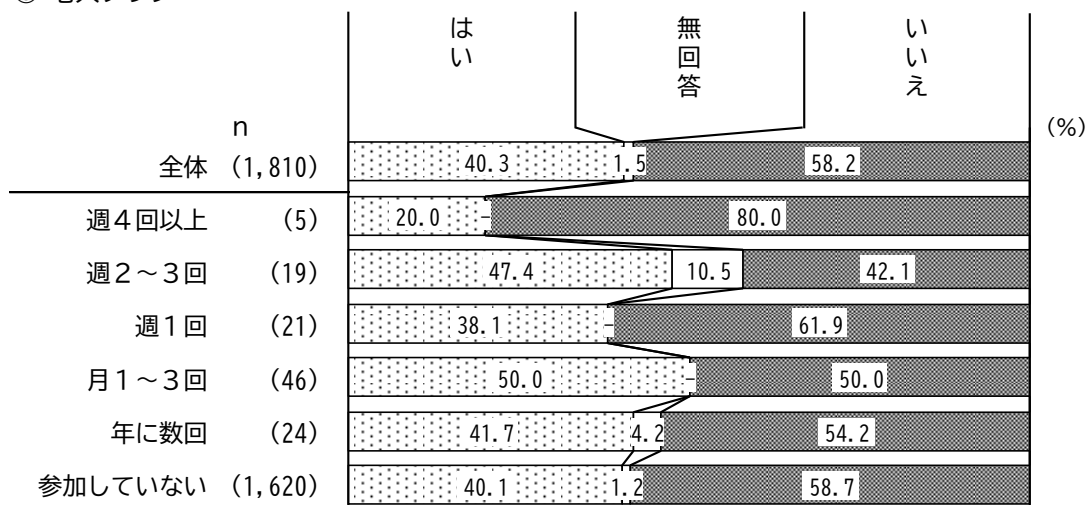
④ 学習・教養サークル



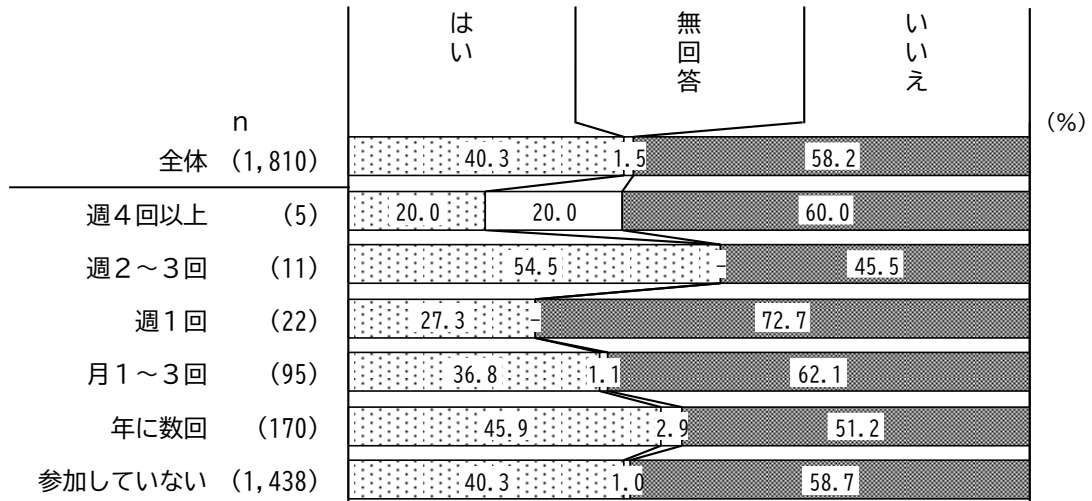
⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場



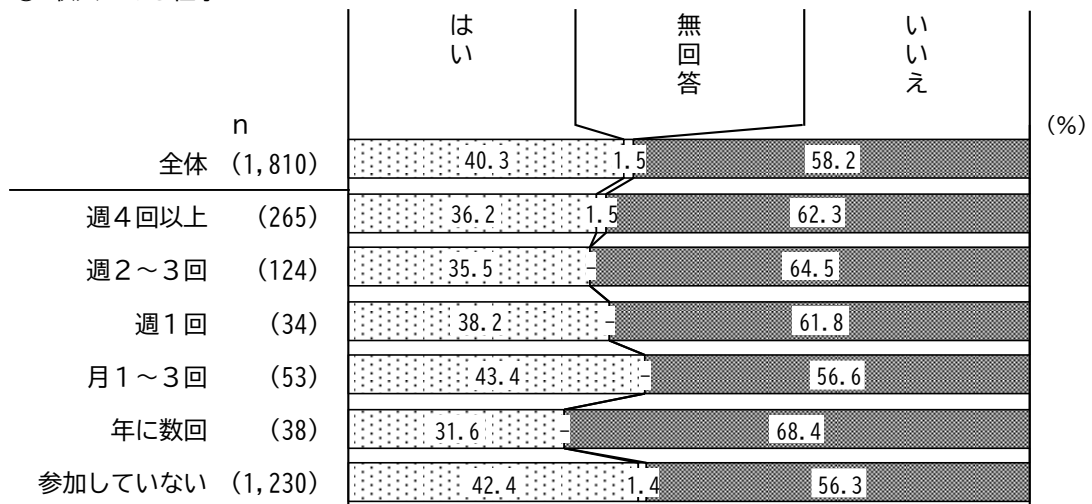
⑥ 老人クラブ



⑦ 町内会・自治会

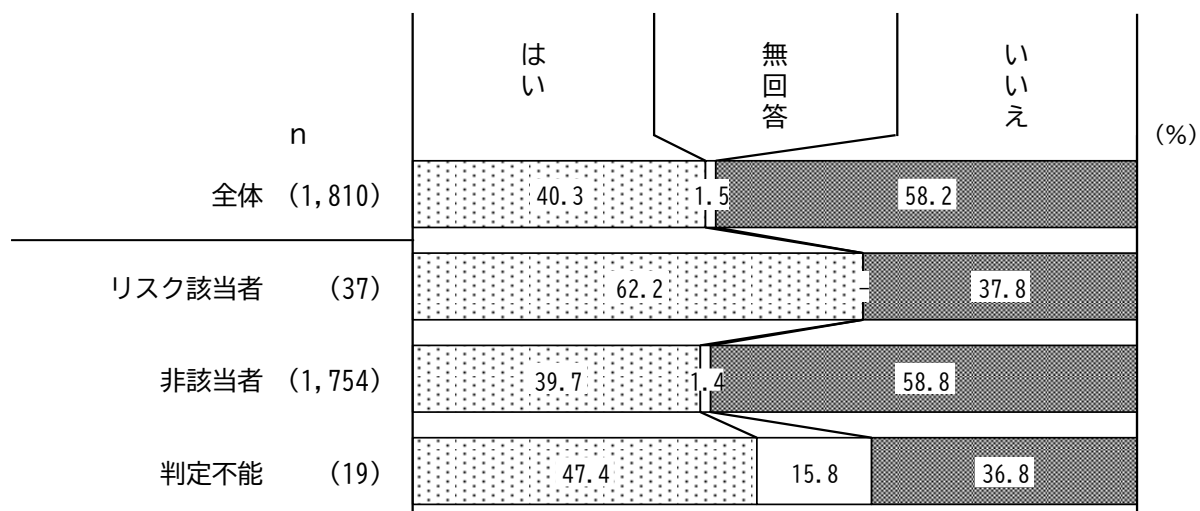


⑧ 収入のある仕事



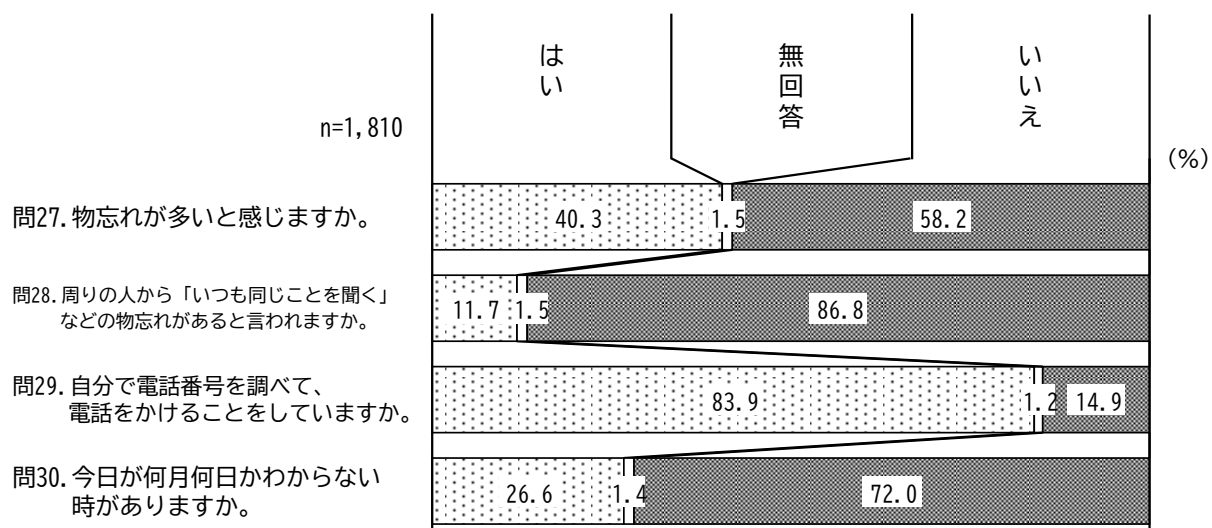
会・グループ等への参加頻度別では、体操や軽運動など介護予防のための通いの場の参加頻度が高いほど、物忘れが多い割合が低くなる傾向となっている。

【低栄養のリスク該当別】物忘れが多いか



機能評価の低栄養のリスク該当別では、低栄養のリスク該当者では、物忘れが多い割合が6割台前半となっている。

※問27 及び関連する設問（問28～問30）の結果
（全員の方に）



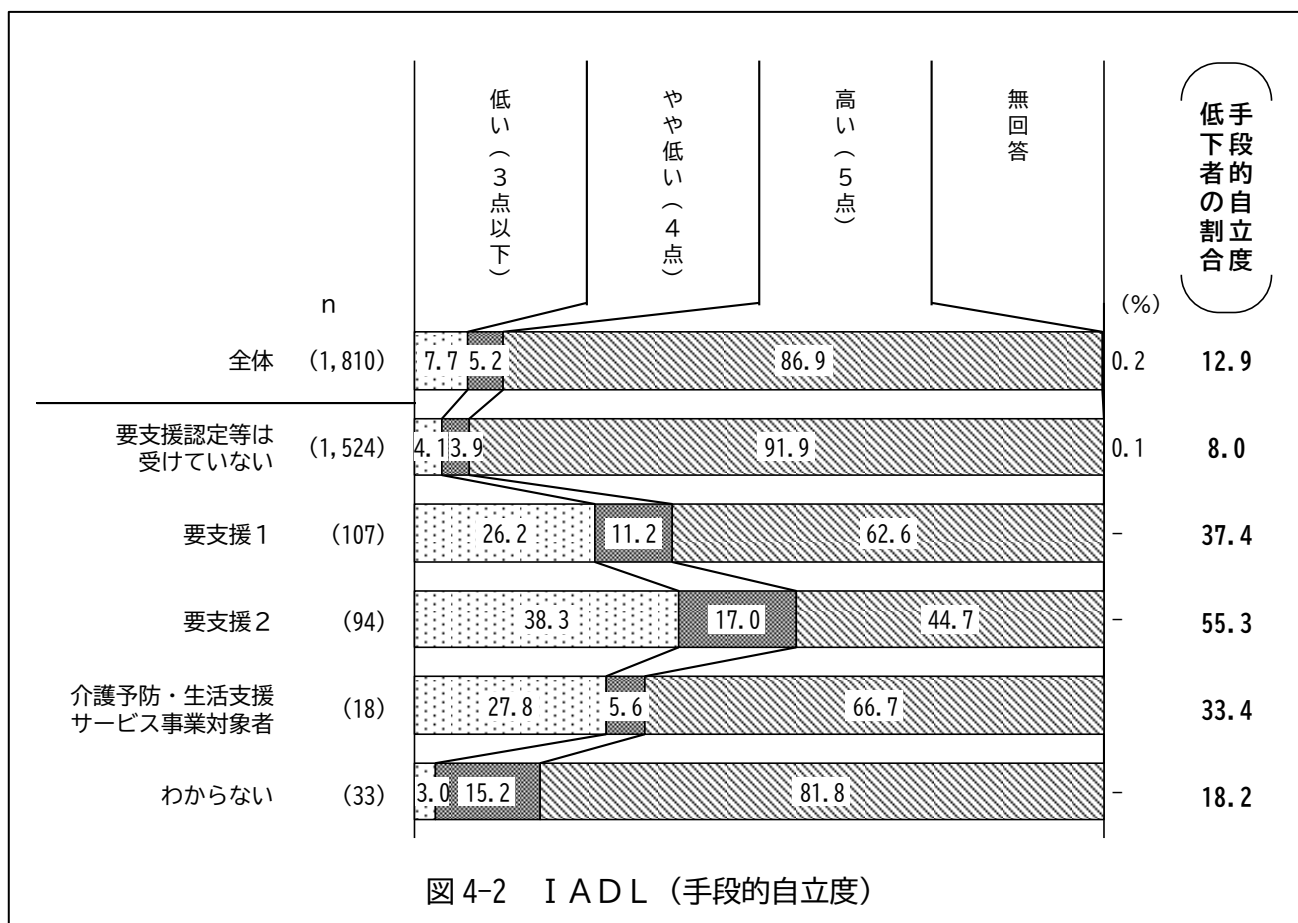
4.1.2. IADL（手段的自立度）

◇「IADL（手段的自立度）※」について、以下の各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価した。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を算出した。

※「手段的自立度（Instrumental Activities of Daily Living:IADL）」とは、買い物、電話、薬の管理など、比較的高度な日常生活上の動作を行える自立度の程度を示す指標。

問番号	設問	該当する選択肢
問 31	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 32	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 33	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 34	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 35	自分で預貯金のおし入れをしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」

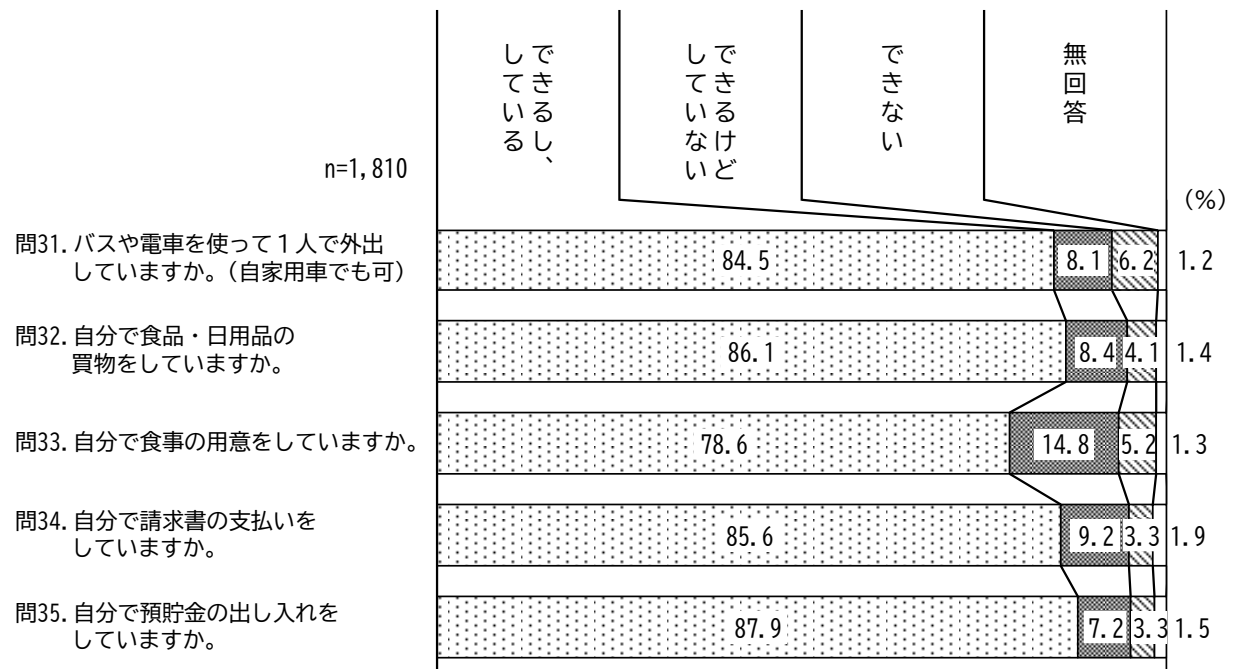
◆ IADL（手段的自立度）の低下者は1割台前半



全体では、IADL（手段的自立度）の低下者は1割台前半となっている。

状態別では、要支援2でIADL（手段的自立度）の低下者の割合が高く、5割台半ばとなっている。

※問 31～問 35 設問ごとの結果
(全員の方に)

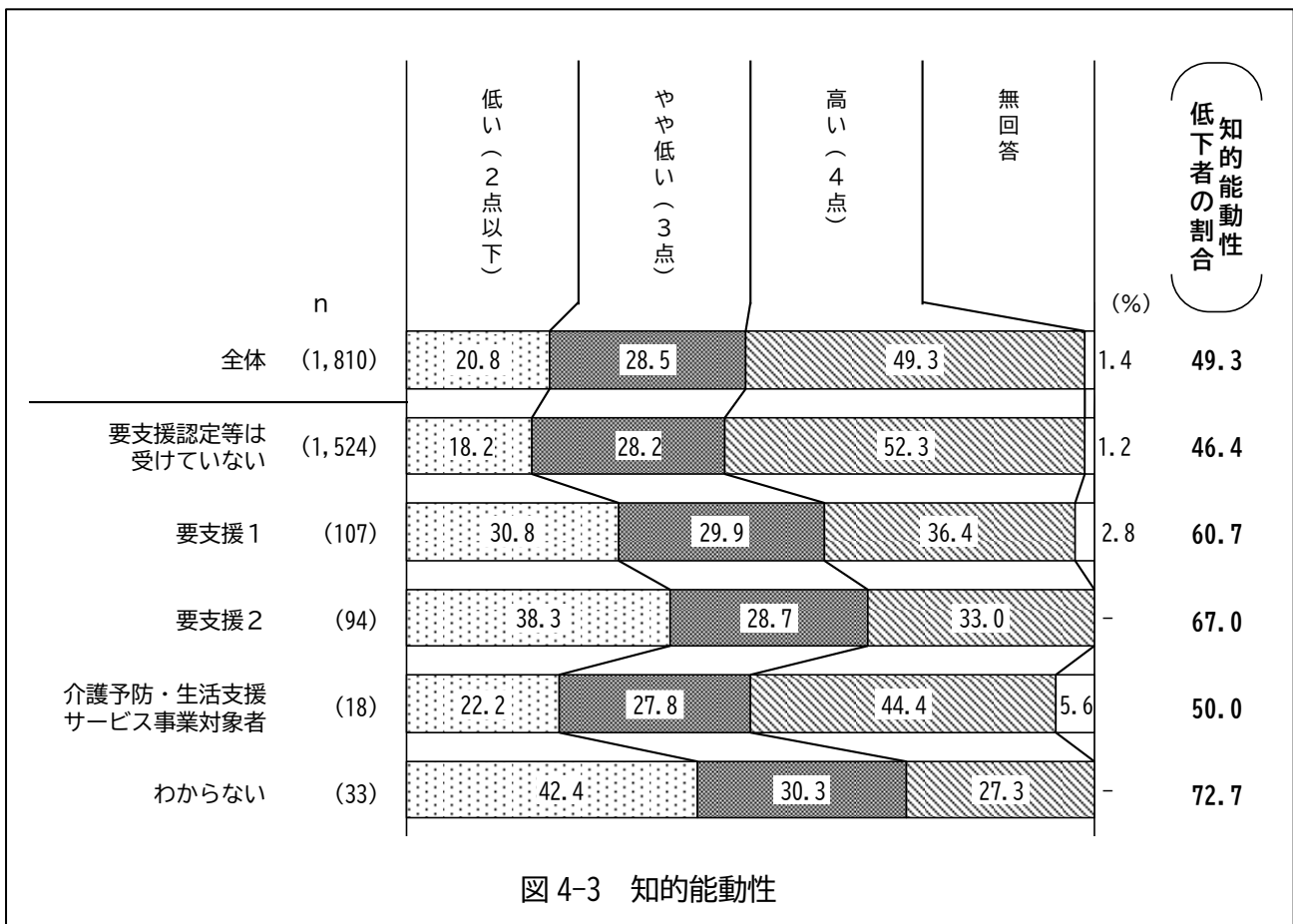


4.1.3. 知的能動性

◇「知的能動性」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を算出した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 36	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい
問 37	新聞を読んでいますか	1. はい
問 38	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問 39	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい

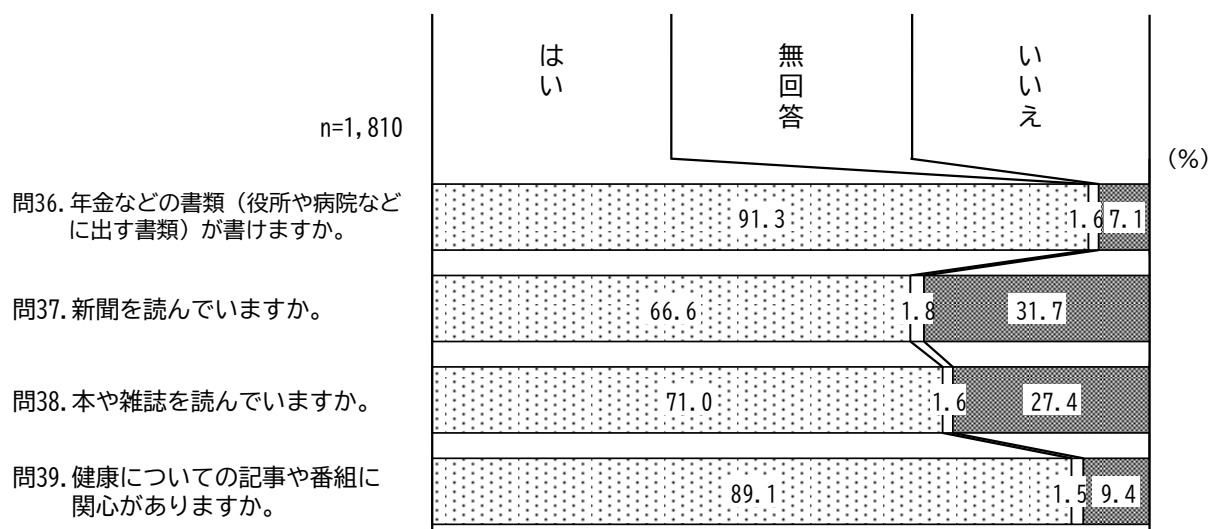
◆ 知的能動性の低下者は約 5 割



全体では、知的能動性の低下者は約 5 割を占めている。

状態別では、知的能動性の低下者の割合が要支援認定等を受けていない人から要支援 2 に向かって、段階的に高くなっており、要支援 2 で 6 割台後半となっている。

※問 36～問 39 設問ごとの結果
(全員の方に)

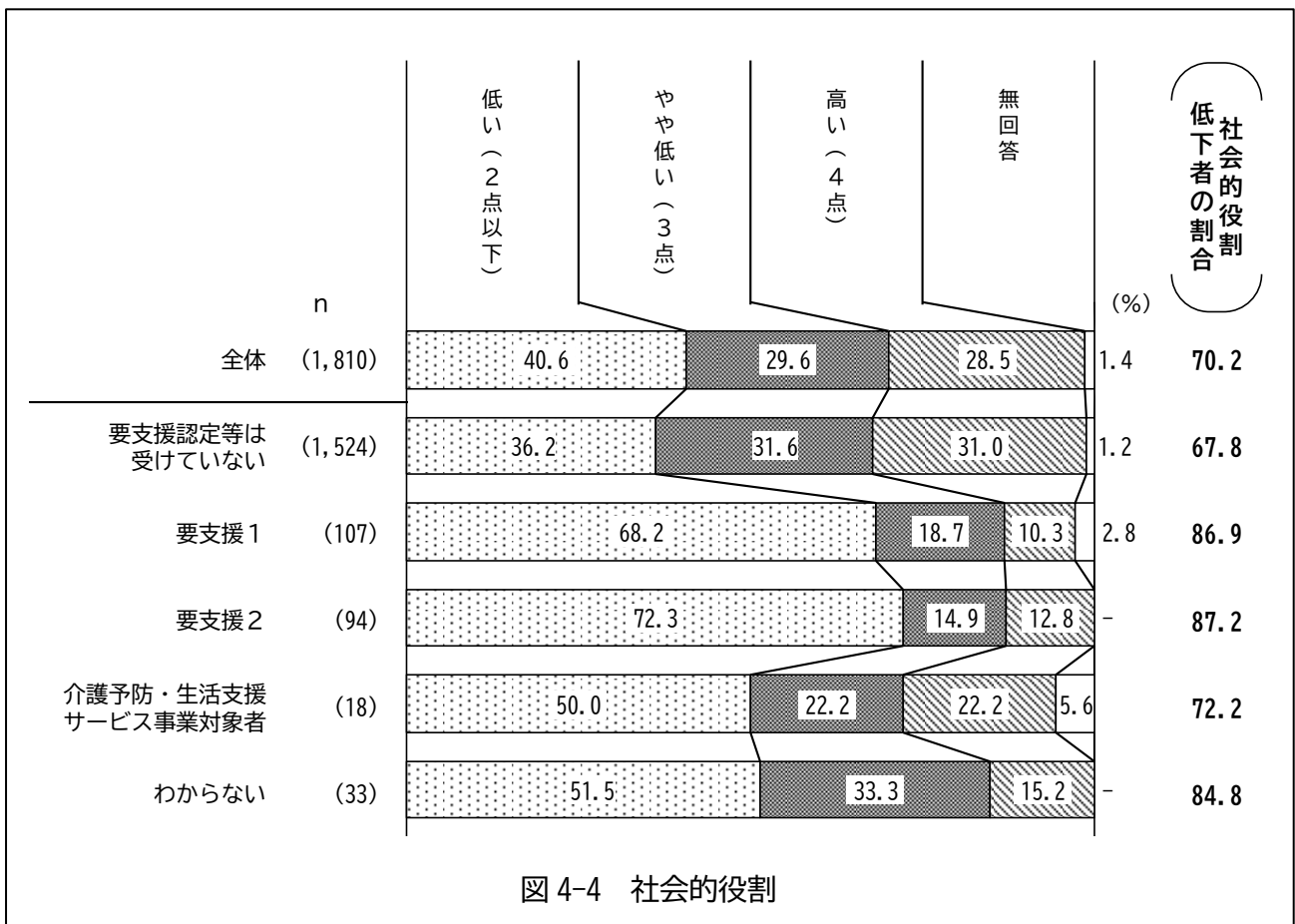


4.1.4. 社会的役割

◇「社会的役割」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を算出した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 40	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問 41	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問 42	病人を見舞うことができますか	1. はい
問 43	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

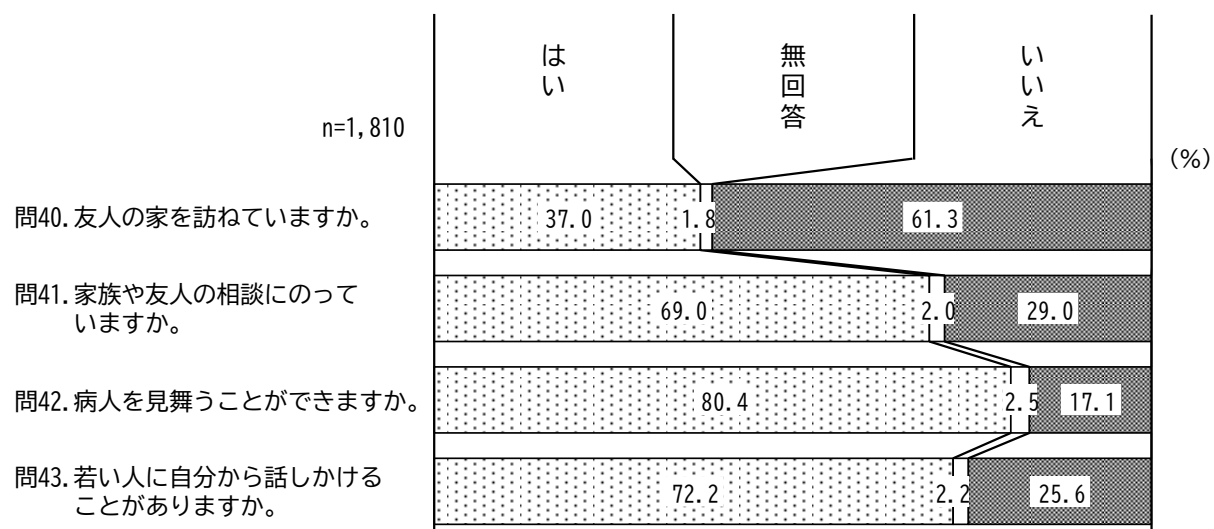
◆ 社会的役割の低下者は約7割



全体では、社会的役割の低下者は約7割を占めている。

状態別では、要支援1・2で低下者の割合が高く、8割台半ばから後半を占めている。

※問 40～問 43 設問ごとの結果
(全員の方に)



4.2. 趣味の有無

◆ 「趣味あり」が7割台半ば

(全員の方に)

問 44 趣味はありますか。(○は1つ)

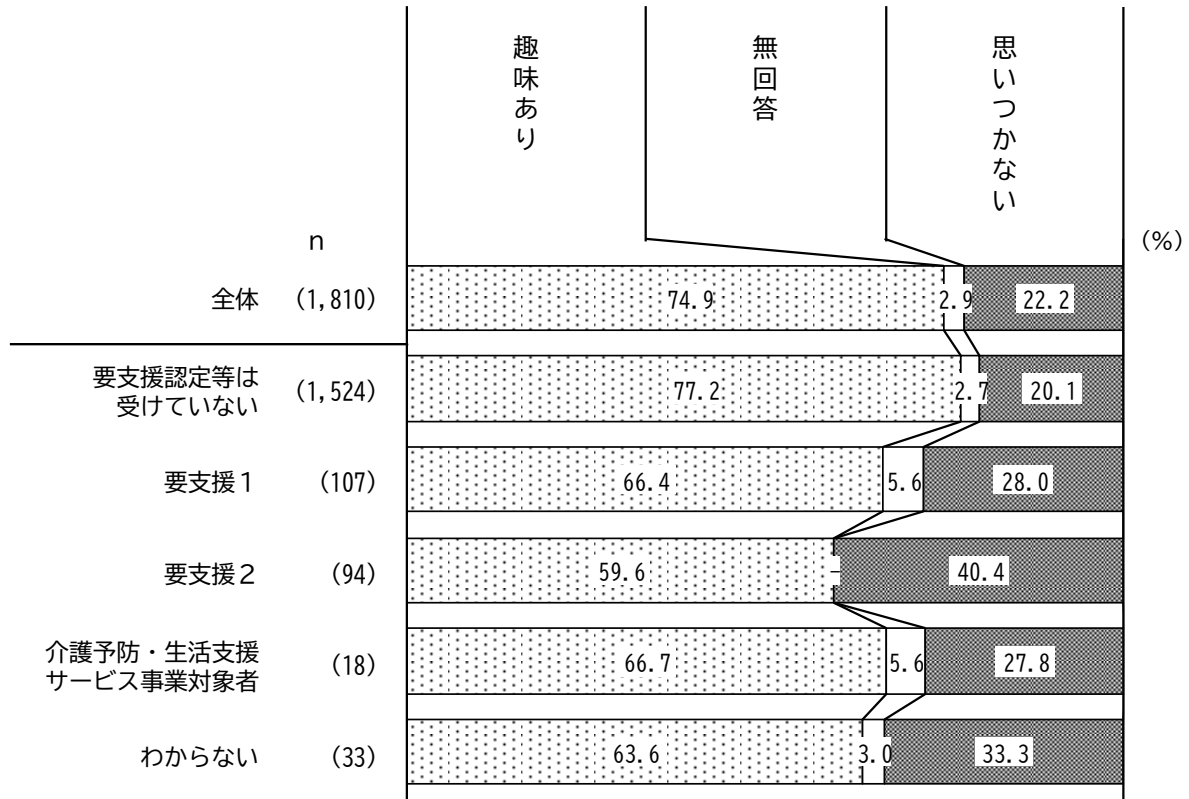


図 4-5 趣味の有無

全体では、「趣味あり」が7割台半ばを占めている。

状態別では、要支援2で「思いつかない」が約4割を占めている。

4.3. 生きがいの有無

◆ 「生きがいあり」が6割台前半

(全員の方に)
問 45 生きがいがありますか。(○は1つ)

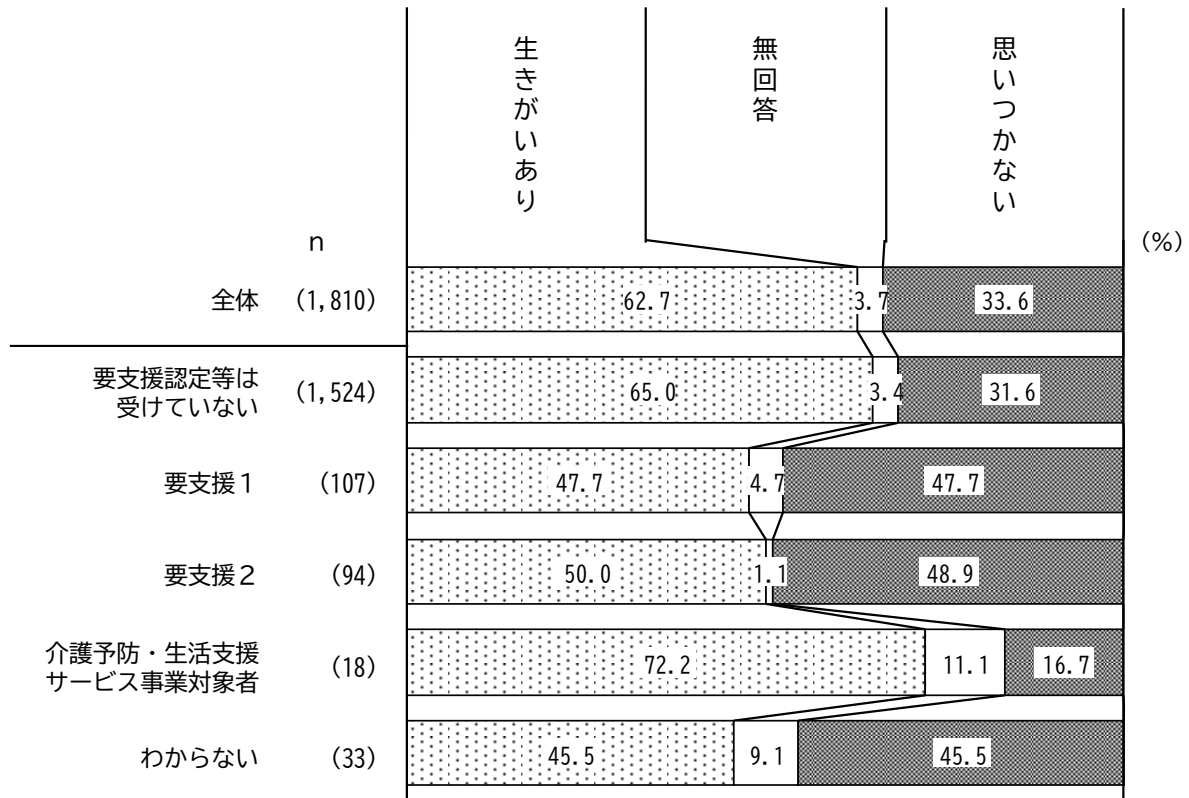


図 4-6 生きがいの有無

全体では、「生きがいあり」が6割台前半を占めている。

状態別では、要支援1・2で「思いつかない」が4割台後半となっている。

5. 地域での活動について

5.1. 会・グループ等への参加頻度

- ◆ ③趣味関係のグループで「月1～3回」が約1割、⑧収入のある仕事で「週4回以上」が1割台半ば

(全員の方に)

問46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

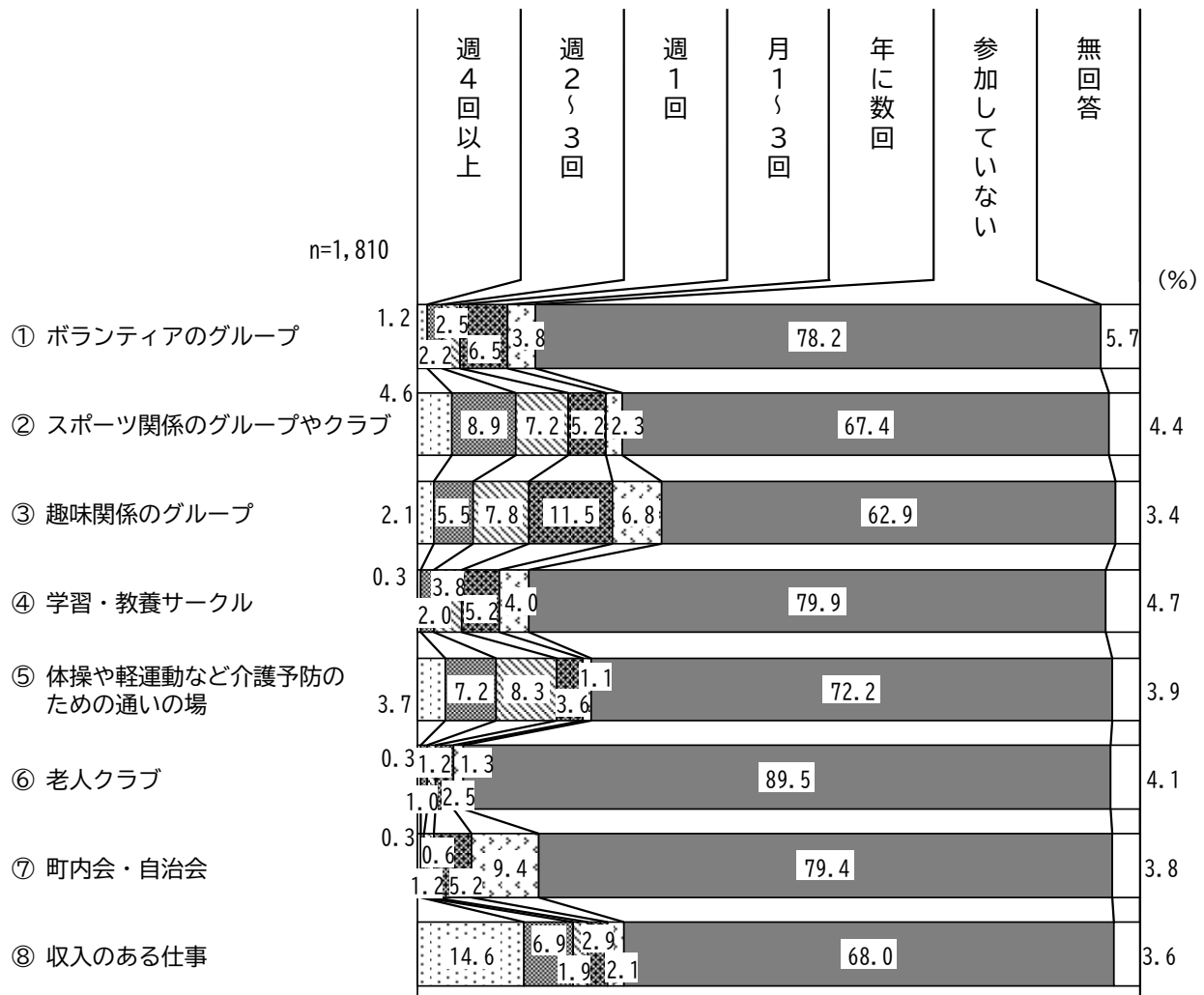


図 5-1 会・グループ等への参加頻度

会・グループ等への参加頻度は、いずれも「参加していない」が6割を超えている。

参加している人の頻度は、③趣味関係のグループで「月1～3回」が約1割、⑧収入のある仕事で「週4回以上」が1割台半ばで比較的高くなっている。

5.1.1. 地域活動に参加していない理由

◆ 「知り合いがいないので」「近所での活動には参加したくないため」が約2割

(問46①～⑧でひとつでも「参加していない」に○をつけた方に)
問46-1 地域での活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

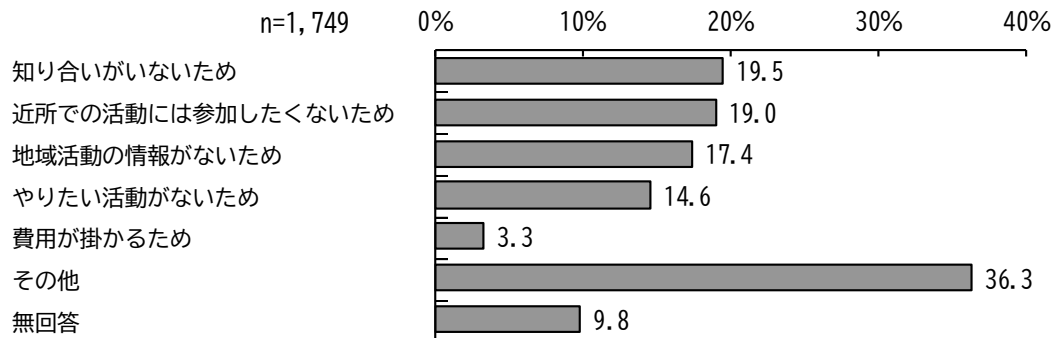


図5-2 地域活動に参加していない理由

「知り合いがいないので」と「近所での活動には参加したくないため」が約2割で高く、次いで「地域活動の情報がないため」が1割台後半となっている。

「その他」の内容としては、現在仕事をしていることや時間の余裕がないこと、病気や老化等による健康面の理由、介護していることが多く挙げられている。

【状態別】地域活動に参加していない理由

単位：％

	有効回答数(件)	知り合いがいないため	近所での活動には参加したくないため	地域活動の情報がないため	やりたい活動がないため	費用が掛かるため	その他	無回答
全体	1,749	19.5	19.0	17.4	14.6	3.3	36.3	9.8
要支援認定等は受けていない	1,476	19.7	19.3	17.5	14.8	3.4	36.0	9.7
要支援1	101	17.8	15.8	18.8	16.8	2.0	40.6	9.9
要支援2	91	15.4	17.6	18.7	9.9	3.3	44.0	6.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	17	29.4	5.9	-	5.9	5.9	58.8	11.8
わからない	33	33.3	27.3	15.2	21.2	6.1	18.2	6.1

5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

◆ 「参加してもよい」が4割台後半

(全員の方に)

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

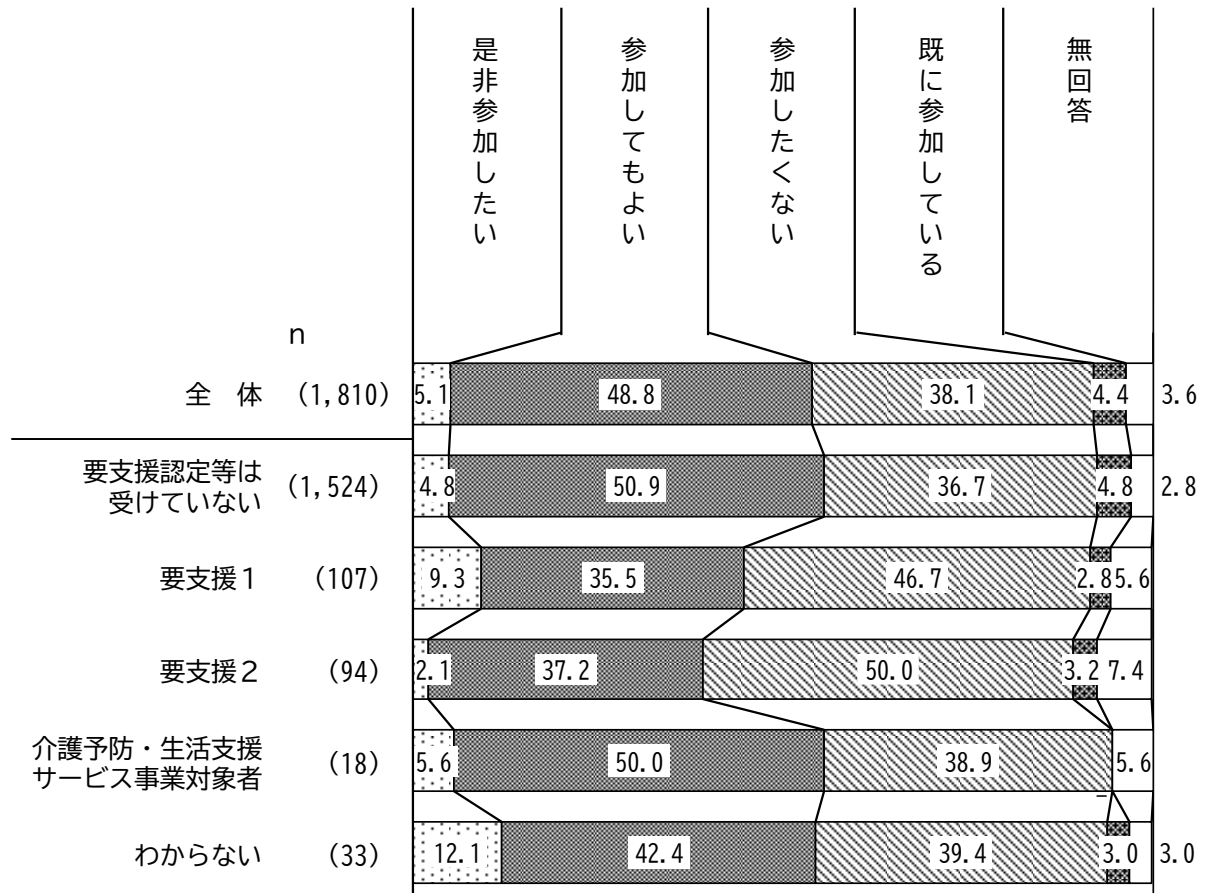


図 5-3 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

全体では、「参加してもよい」が4割台後半で最も高くなっている。
状態別では、要支援2で「参加したくない」が5割を占めている。

5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

◆ 「参加したくない」が約6割

（全員の方に）

問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

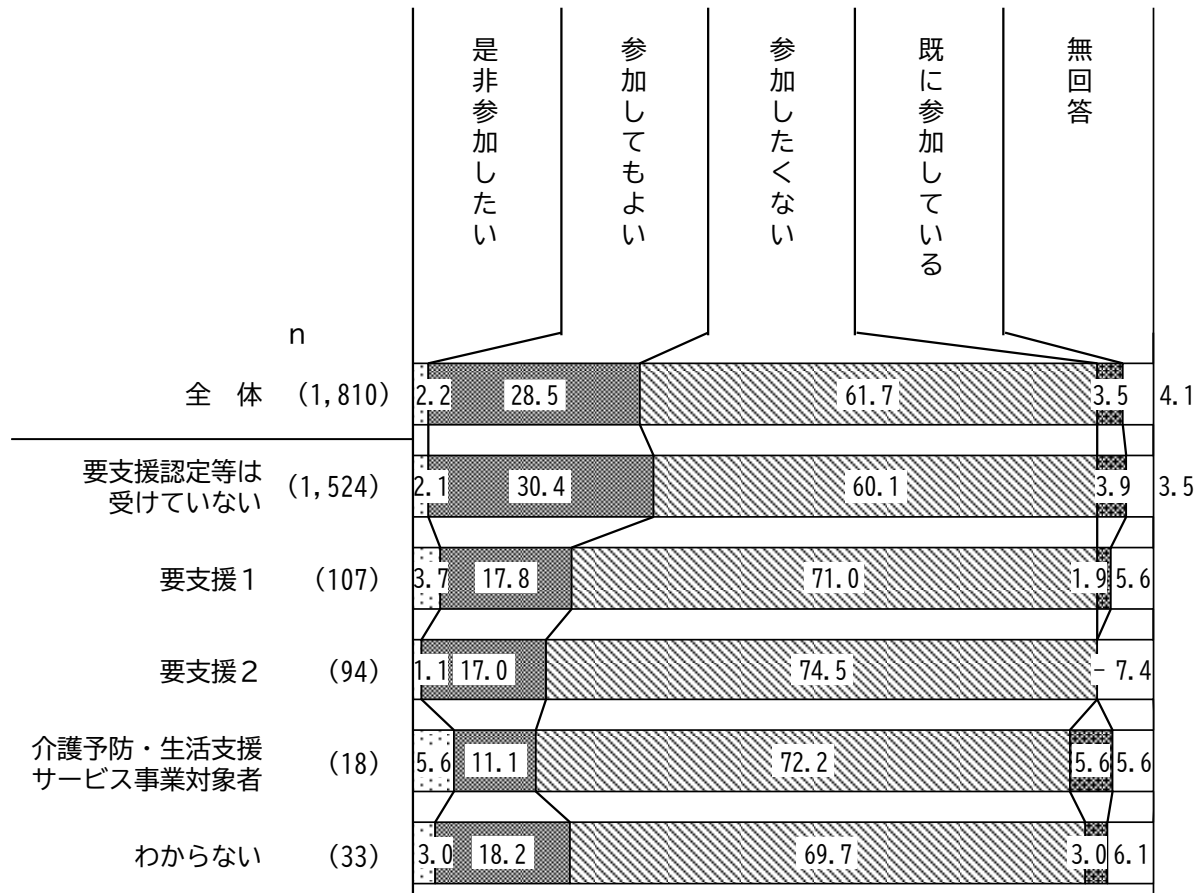


図 5-4 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

全体では、「参加したくない」が約6割を占めている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「参加したくない」が7割台となっている。

5.4. 地域のひとから頼りにされているか

◆ 「全くそう思わない」が3割台後半

(全員の方に)

問 49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど) (○は1つ)

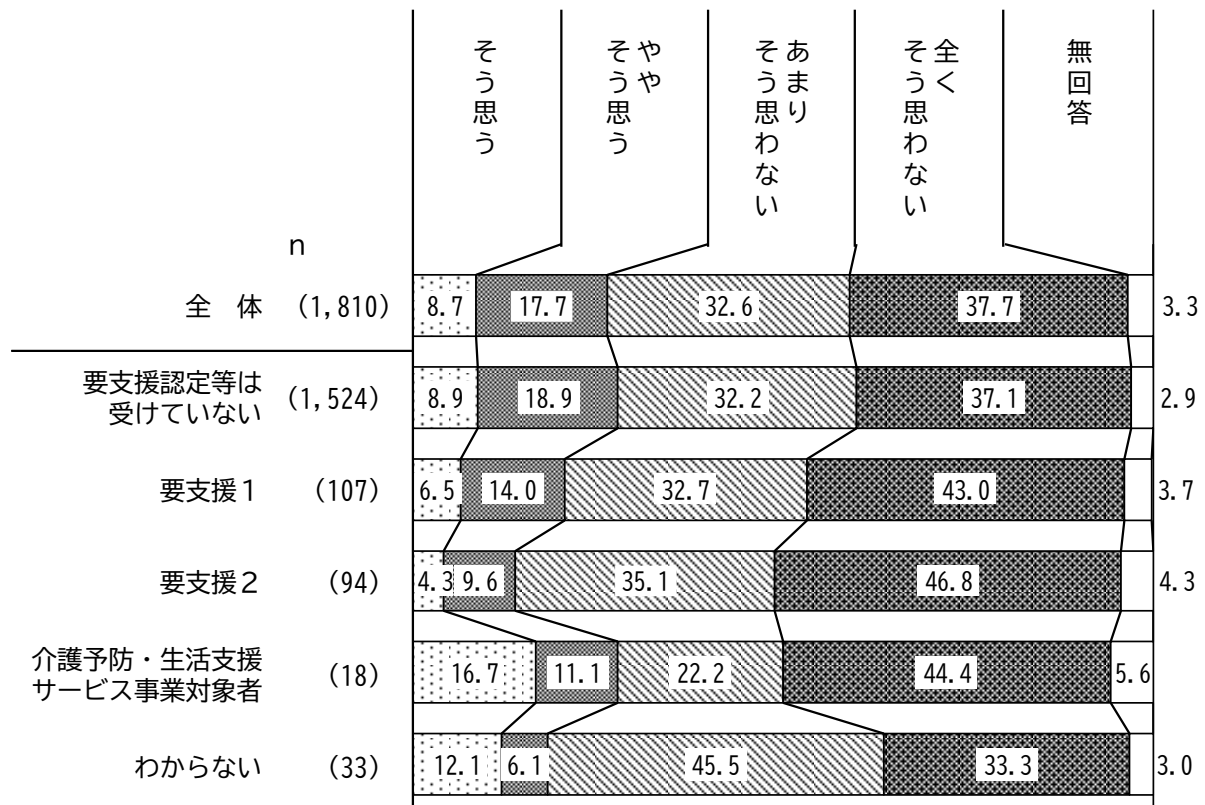


図 5-5 地域のひとから頼りにされているか

全体では、「全くそう思わない」が3割台後半で最も高くなっている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「全くそう思わない」が4割台となっている。

5.5. 現在の就労状態

◆ 「引退した」が約5割

(全員の方に)

問 50 現在のあなたの就労状態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

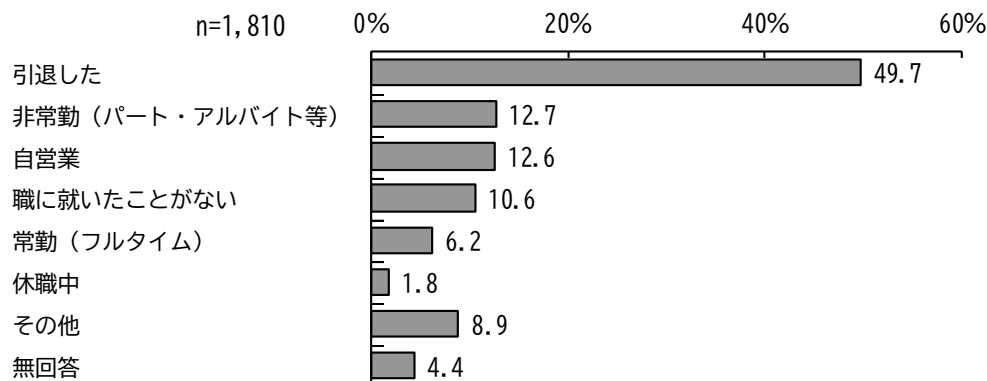


図 5-6 現在の就労状態

「引退した」が約5割で最も高く、次いで「非常勤 (パート・アルバイト等)」と「自営業」が1割台前半となっている。

【状態別】現在の就労状態

単位：%

	有効回答数 (件)	引退した	非常勤 (パート・アルバイト等)	自営業	職に就いたことがない	常勤 (フルタイム)	休職中	その他	無回答
全体	1,810	49.7	12.7	12.6	10.6	6.2	1.8	8.9	4.4
要支援認定等は受けていない	1,524	48.4	14.1	13.8	9.3	7.1	1.9	8.5	3.9
要支援 1	107	55.1	6.5	8.4	18.7	-	0.9	10.3	4.7
要支援 2	94	52.1	2.1	5.3	20.2	1.1	1.1	12.8	6.4
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	72.2	5.6	5.6	11.1	-	-	5.6	5.6
わからない	33	57.6	9.1	-	12.1	9.1	3.0	6.1	9.1

状態別では、すべての状態で「引退した」が最も高くなっている。

6. たすけあいについて

6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人

◆ 「友人」が4割台後半

(全員の方に)

問 51 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

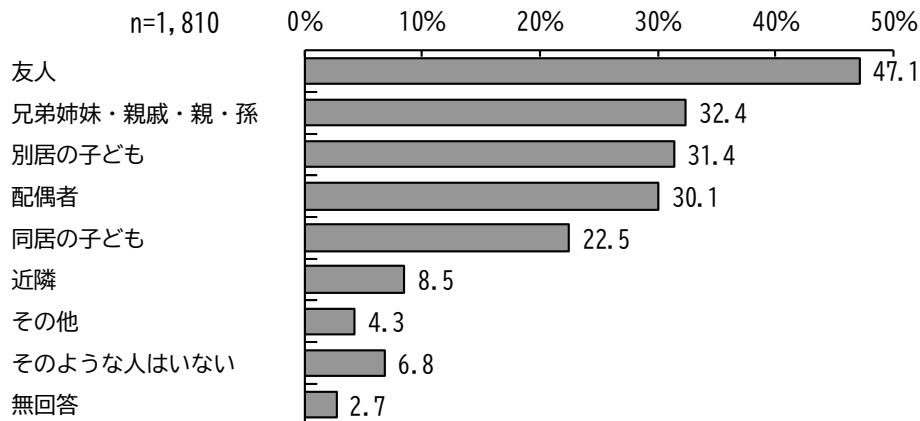


図 6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人

全体では、「友人」が4割台後半で最も高くなっている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてくれる人

単位：%

	有効回答数(件)	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	配偶者	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	47.1	32.4	31.4	30.1	22.5	8.5	4.3	6.8	2.7
要支援認定等は受けていない	1,524	49.5	32.7	31.1	32.3	21.9	8.3	3.7	7.2	2.6
要支援1	107	28.0	27.1	37.4	15.0	25.2	11.2	9.3	5.6	2.8
要支援2	94	33.0	28.7	35.1	20.2	28.7	6.4	8.5	4.3	4.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	33.3	38.9	50.0	33.3	27.8	5.6	5.6	-	-
わからない	33	51.5	45.5	24.2	12.1	18.2	18.2	3.0	6.1	-

状態別では、要支援1・2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「別居の子ども」が最も高くなっている。

6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人

◆ 「友人」が4割台後半

(全員の方に)

問 52 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

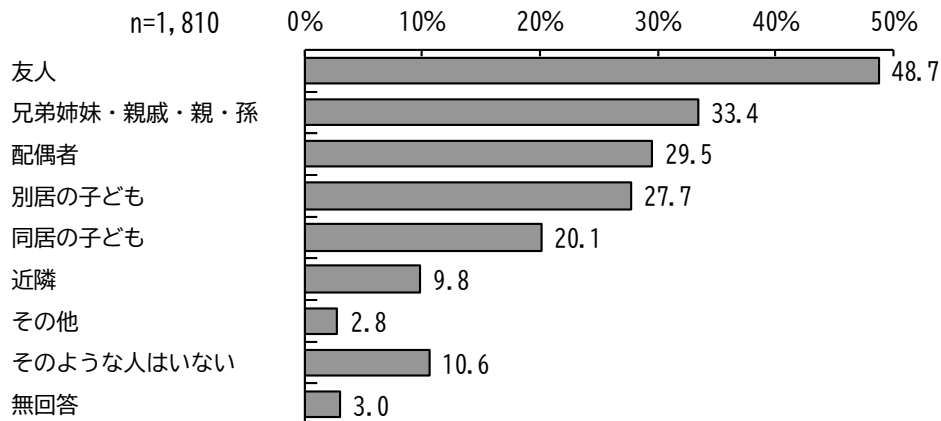


図 6-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人

全体では、「友人」が4割台後半で最も高くなっている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてあげる人

単位：%

	有効回答数(件)	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	48.7	33.4	29.5	27.7	20.1	9.8	2.8	10.6	3.0
要支援認定等は受けていない	1,524	50.8	34.4	32.0	28.8	20.3	9.4	2.8	9.3	3.0
要支援1	107	32.7	24.3	12.1	24.3	17.8	11.2	1.9	17.8	4.7
要支援2	94	37.2	28.7	18.1	22.3	21.3	8.5	2.1	21.3	1.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	33.3	33.3	27.8	27.8	22.2	11.1	5.6	22.2	-
わからない	33	51.5	36.4	15.2	12.1	12.1	27.3	-	12.1	-

状態別では、いずれも友人が最も高くなっている。また、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」も最も高くなっている。

6.3. 看病や世話をしてくれる人

◆ 「配偶者」「別居の子ども」が約 3 割

(全員の方に)

問 53 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(あてはまるものすべてに○)

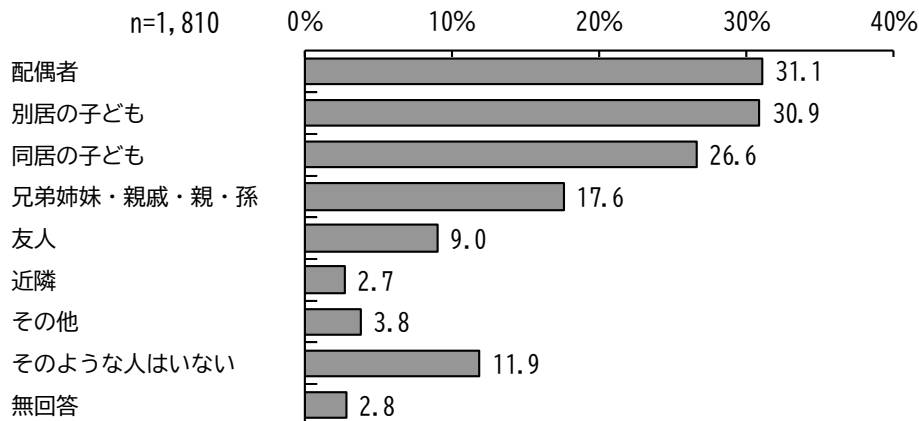


図 6-3 看病や世話をしてくれる人

全体では、「配偶者」と「別居の子ども」が約 3 割となっている。

【状態別】看病や世話をしてくれる人

単位：％

	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	31.1	30.9	26.6	17.6	9.0	2.7	3.8	11.9	2.8
要支援認定等は受けていない	1,524	33.3	30.3	26.2	18.2	9.3	2.4	2.8	12.3	2.8
要支援 1	107	19.6	40.2	33.6	8.4	5.6	4.7	9.3	6.5	4.7
要支援 2	94	19.1	36.2	28.7	12.8	5.3	4.3	11.7	11.7	1.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	22.2	38.9	22.2	16.7	5.6	-	5.6	5.6	-
わからない	33	21.2	27.3	15.2	24.2	12.1	3.0	12.1	12.1	3.0

状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「別居の子ども」が最も高くなっている。

6.4. 看病や世話をしあける人

◆ 「配偶者」が3割台半ば

(全員の方に)

問 54 反対に、あなたが看病や世話をしあける人 (あてはまるものすべてに○)

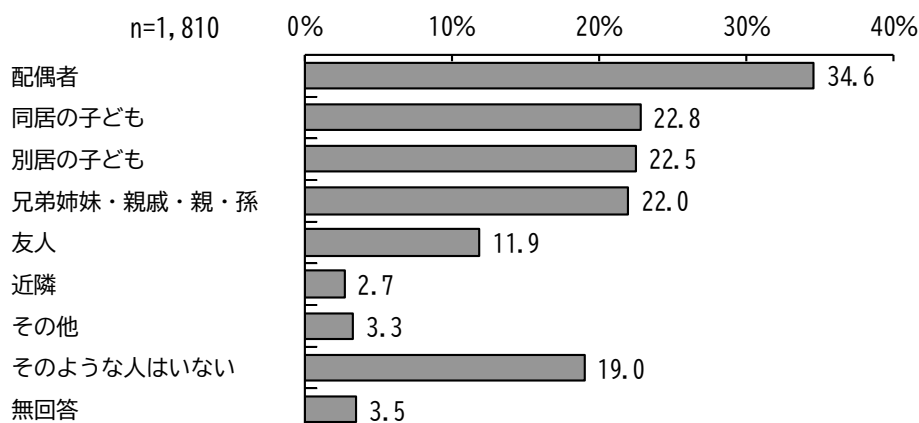


図 6-4 看病や世話をしあける人

全体では、「配偶者」が3割台半ばで最も高くなっている。

【状態別】看病や世話をしあける人

単位：%

	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	34.6	22.8	22.5	22.0	11.9	2.7	3.3	19.0	3.5
要支援認定等は受けていない	1,524	37.2	23.4	24.3	23.7	12.5	2.8	2.4	16.8	3.1
要支援1	107	18.7	21.5	15.0	10.3	5.6	3.7	11.2	27.1	6.5
要支援2	94	25.5	20.2	10.6	10.6	6.4	1.1	5.3	41.5	4.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	27.8	11.1	27.8	16.7	5.6	-	5.6	16.7	-
わからない	33	18.2	18.2	6.1	18.2	18.2	3.0	9.1	24.2	6.1

状態別では、要支援1・2及で「そのような人はいない」が最も高くなっている。

6.5. 何かあったときに相談する相手

◆ 「そのような人はいない」が約4割

(全員の方に)

問 55 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

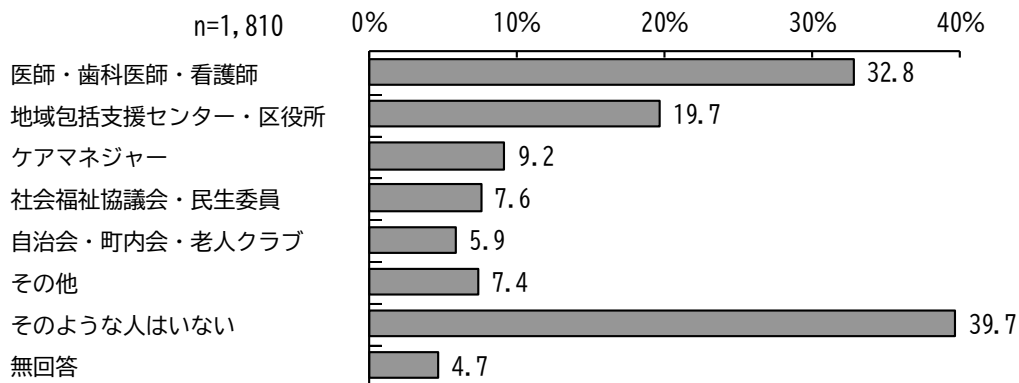


図 6-5 何かあったときに相談する相手

「そのような人はいない」が約4割を占めている。

【状態別】何かあったときに相談する相手

単位：%

	有効回答数 (件)	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域 包括 支援 セン ター・ 区役 所	ケ ア マ ネ ジ ャー	社 会 福 祉 協 議 会・ 民 生 委 員	自 治 会・ 町 内 会・ 老 人 ク ラ ブ	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体	1,810	32.8	19.7	9.2	7.6	5.9	7.4	39.7	4.7
要支援認定等を受けていない	1,524	32.9	17.7	4.2	7.6	6.4	7.3	42.8	4.6
要支援1	107	32.7	34.6	28.0	7.5	3.7	9.3	23.4	7.5
要支援2	94	29.8	22.3	57.4	4.3	1.1	7.4	19.1	2.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	33.3	38.9	33.3	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6
わからない	33	45.5	33.3	9.1	6.1	6.1	9.1	30.3	3.0

状態別では、要支援1と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「地域包括支援センター・区役所」が最も高く、要支援2では「ケアマネジャー」が最も高くなっている。

【家族構成別】何かあったときに相談する相手

単位：％

	有効回答数 (件)	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域包 括支援セ ンター・ 区役所	ケア マネジャ ー	社会福 祉協議会 ・民生委 員	自治会・ 町内会・ 老人クラ ブ	その他	その ような人 はいない	無回 答
全体	1,810	32.8	19.7	9.2	7.6	5.9	7.4	39.7	4.7
1人暮らし	705	29.6	19.6	9.6	9.8	5.4	7.8	40.4	4.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	415	38.1	15.9	10.1	6.0	5.1	6.3	39.8	5.3
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	45	26.7	24.4	2.2	11.1	6.7	6.7	55.6	2.2
息子・娘との2世帯	347	37.5	21.9	7.8	6.6	8.4	6.1	37.2	3.7
その他	259	29.7	21.2	10.4	4.6	5.4	10.0	39.4	5.4

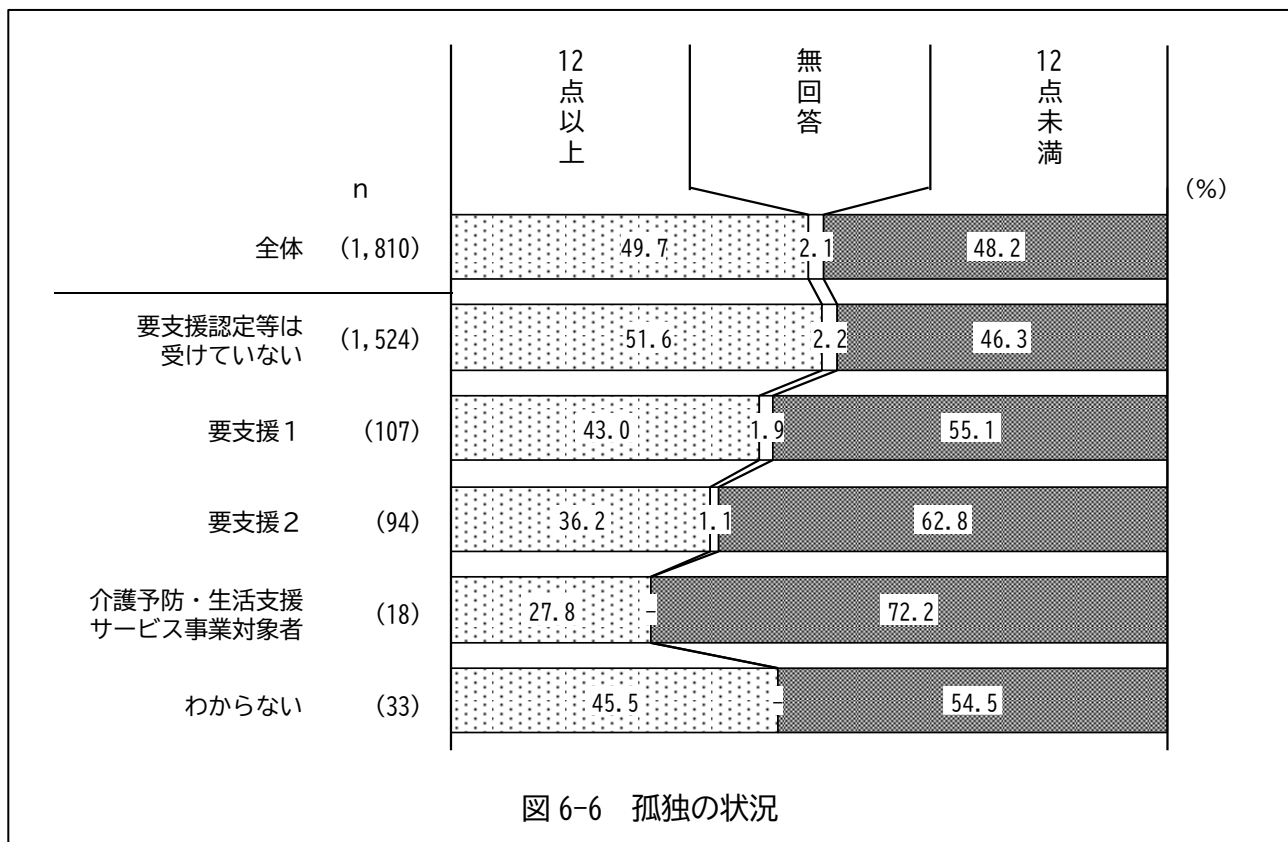
家族構成別では、息子・娘との2世帯では「医師・歯科医師・看護師」が最も高く、それ以外の家族構成では「そのような人はいない」が最も高くなっている。

6.6. 孤独の状況

◇以下の設問を抽出し、各選択肢に点数を割り振って回答を点数化し、合計点数が 12 点未満であった人を社会的孤立傾向と判断した。

問番号	設問	選択肢（点数）
問 56	少なくとも月に 1 回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか	1. いない（0 点） 2. 1 人（1 点） 3. 2 人（2 点） 4. 3～4 人（3 点） 5. 5～8 人（4 点） 6. 9 人以上（5 点）
問 57	あなたが個人的な事でも話すことができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか	
問 58	あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか。	
問 59	少なくとも月に 1 回、会ったり話をしたりする友人は何人いますか。	
問 60	あなたが個人的な事でも話すことができるくらい気楽に感じられる友人は何人いますか。	
問 61	あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人は何人いますか。	

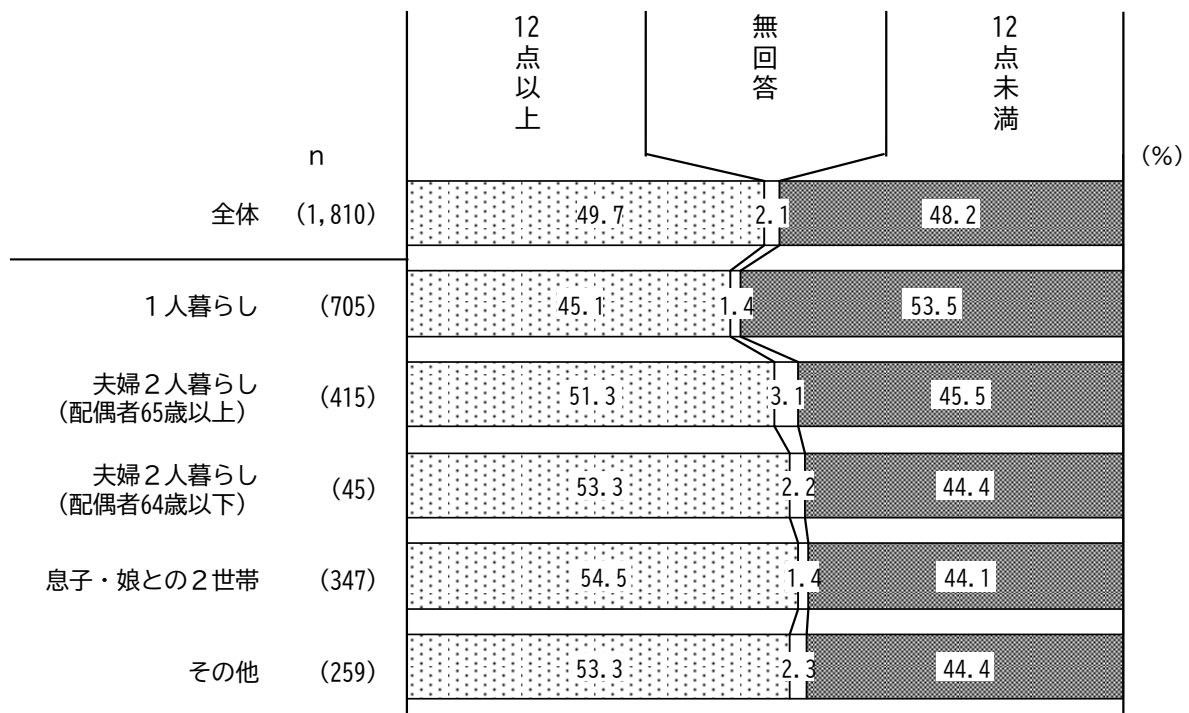
◆ 12 点未満は 4 割台後半



全体では、12 点以上と 12 点未満で拮抗しており、12 点未満は 4 割台後半を占めている。

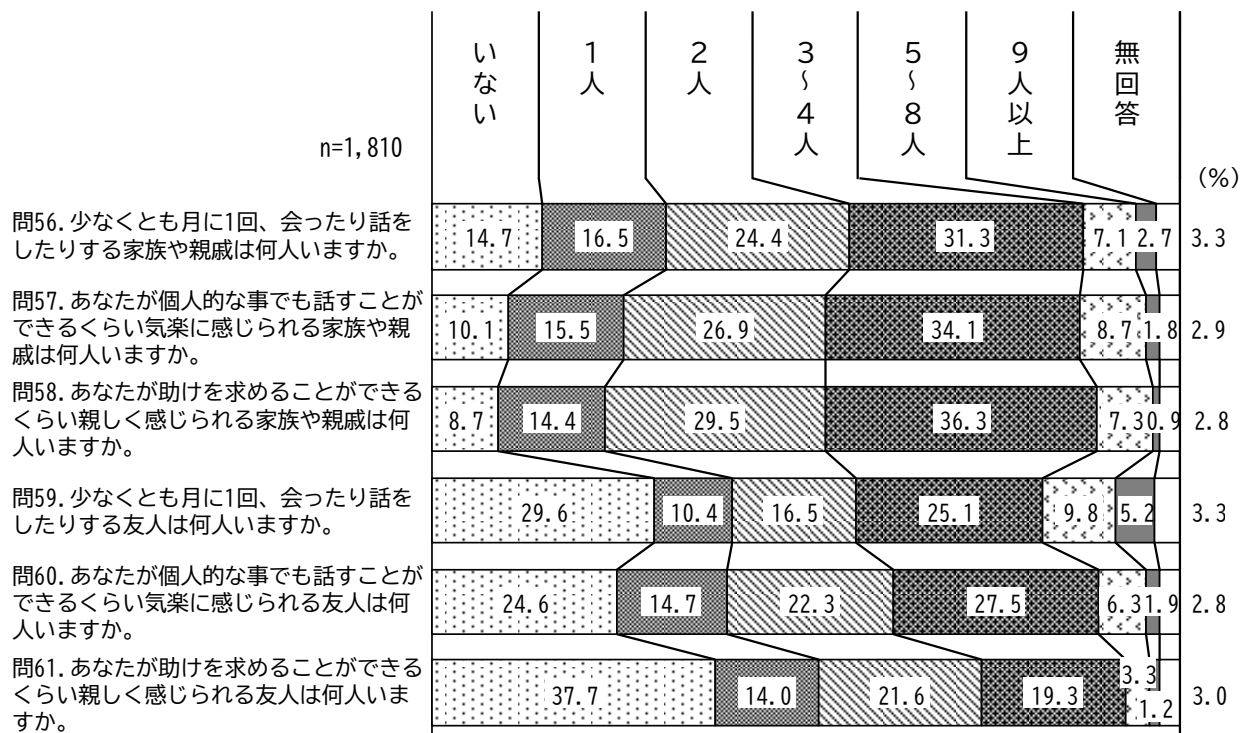
状態別では、12 点未満の割合は、介護予防・生活支援サービス事業対象者で 7 割台前半、要支援 2 で 6 割台前半と、要介護認定を受けている人ほど、社会参加機会やソーシャルサポートが不足している事が推測される。

【家族構成別】友人・知人と会う頻度



家族構成別では、1人暮らしで12点未満が過半数を占めている。

※問56～問61)の結果
(全員の方に)



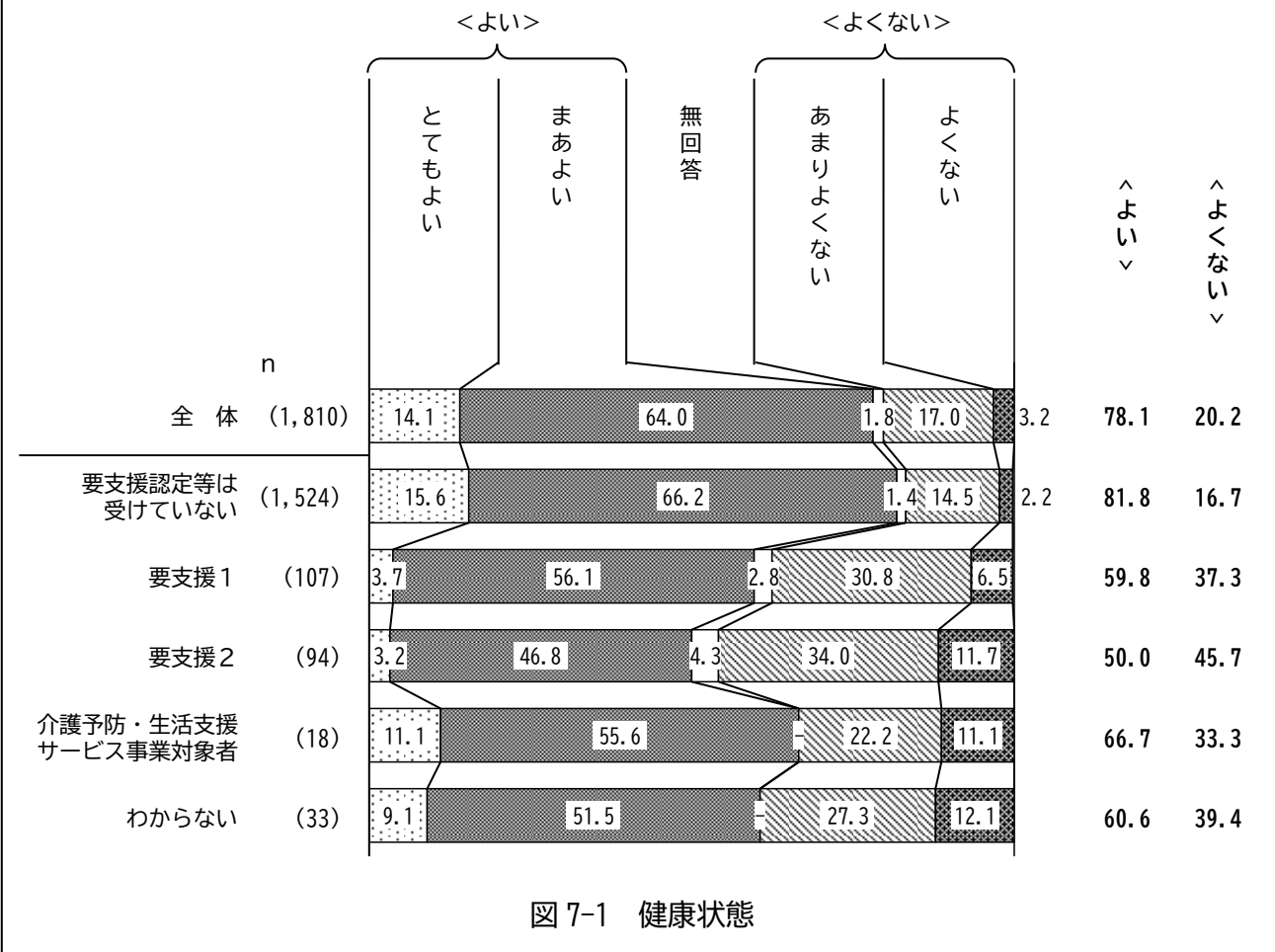
7. 健康について

7.1. 健康状態

◆ <よい>が7割台後半

(全員の方に)

問 62 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



全体では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた<よい>が7割台後半を占めている。

状態別では、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた<よくない>は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっており、要支援2で4割台半ばを占めている。

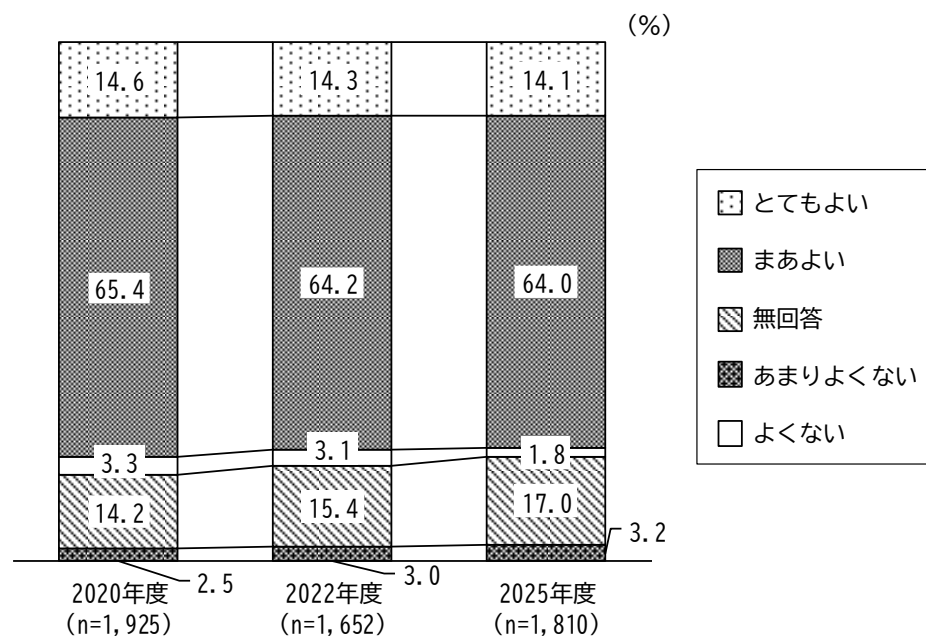


図 7-2 【経年比較】健康状態

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.2. 幸福度

◆ 「8点」が約2割

(全員の方に)

問 63 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

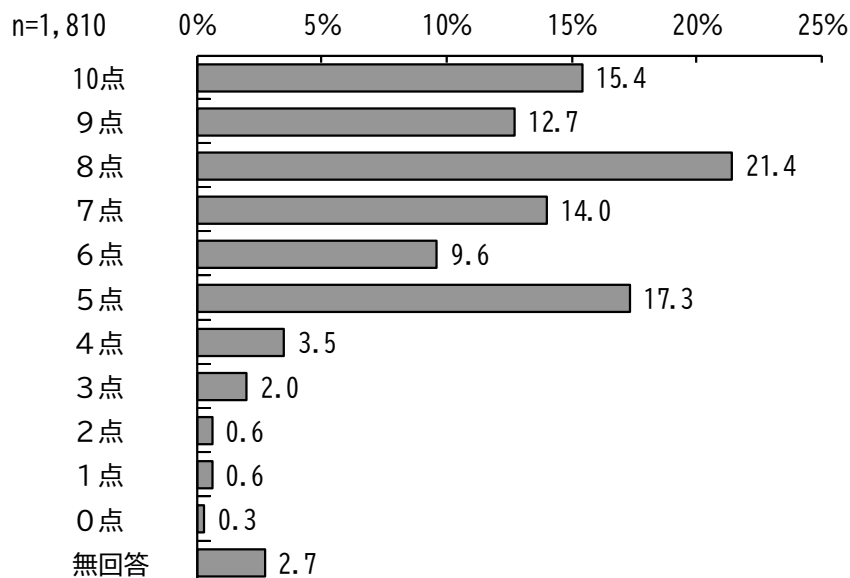


図 7-3 幸福度

全体では、「8点」が約2割で最も高くなっている。なお、平均点（無回答除く）は7.22点となっている。

【状態別】幸福度

単位：%

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
要支援認定等は受けていない	1,524	0.3	0.5	0.5	1.7	3.3	16.2	9.5	14.0	22.4	13.7	15.7	2.2
要支援1	107	-	0.9	0.9	4.7	2.8	21.5	9.3	17.8	15.9	7.5	15.0	3.7
要支援2	94	-	2.1	1.1	3.2	4.3	25.5	13.8	9.6	18.1	5.3	11.7	5.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	5.6	-	-	-	11.1	27.8	5.6	11.1	11.1	16.7	11.1	-
わからない	33	-	-	-	6.1	9.1	33.3	6.1	12.1	12.1	6.1	15.2	-

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「5点」が最も高くなっている。なお、平均点（無回答除く）は、要支援認定等は受けていない人では7.32点、要支援1では6.85点、要支援2では6.53点、介護予防・生活支援サービス事業対象者では6.44点となっている。

【家族構成別】幸福度

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
1人暮らし	705	0.1	0.9	0.9	3.1	4.5	20.9	10.9	12.9	19.7	12.6	11.5	2.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	415	0.2	-	-	1.4	2.7	15.4	7.2	16.6	23.9	11.8	17.3	3.4
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	45	-	-	4.4	2.2	4.4	15.6	4.4	6.7	31.1	20.0	8.9	2.2
息子・娘との2世帯	347	0.9	0.3	-	0.6	3.5	15.6	8.9	13.3	21.9	12.7	19.3	3.2
その他	259	-	1.2	0.8	2.3	1.9	13.9	12.7	15.1	20.1	13.5	16.6	1.9

家族構成別では、1人暮らしで5点が約2割を占めて最も高く、それ以外の家族構成では8点が2割以上で最も高くなっている。

【食事をとともにする機会別】幸福度

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
毎日ある	765	0.1	0.4	0.1	1.0	2.4	13.3	7.3	14.8	23.3	14.2	20.5	2.5
週に何度かある	236	0.4	0.4	0.8	0.4	3.0	16.5	8.9	13.6	26.3	15.7	12.7	1.3
月に何度かある	348	-	-	0.3	1.1	1.1	15.8	10.3	16.1	23.0	15.5	14.4	2.3
年に何度かある	230	-	0.9	-	3.0	4.8	21.7	14.8	13.0	21.3	8.3	9.6	2.6
ほとんどない	204	2.0	2.0	2.5	6.9	10.8	30.9	12.3	10.8	5.9	4.4	7.8	3.9

食事をとともにする機会別では、年に何度かあるとほとんどないは5点が最も高く、それ以外は8点が最も高くなっている。

【会・グループ等への参加頻度別】幸福度

① ボランティアのグループ

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	21	-	-	-	-	-	4.8	4.8	-	38.1	28.6	19.0	4.8
週2～3回	40	-	-	-	2.5	2.5	7.5	7.5	12.5	32.5	12.5	17.5	5.0
週1回	46	-	-	-	2.2	-	17.4	6.5	19.6	23.9	15.2	15.2	-
月1～3回	117	-	-	-	0.9	-	12.8	7.7	14.5	27.4	17.1	16.2	3.4
年に数回	68	-	-	-	-	4.4	17.6	5.9	10.3	23.5	13.2	23.5	1.5
参加していない	1,415	0.4	0.7	0.6	2.1	3.9	18.2	10.4	14.2	20.6	12.2	14.4	2.2

② スポーツ関係のグループやクラブ

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	84	-	-	-	-	2.4	13.1	10.7	10.7	21.4	21.4	16.7	3.6
週2～3回	161	-	-	-	0.6	2.5	8.7	11.8	10.6	24.2	18.0	23.0	0.6
週1回	131	-	-	-	-	1.5	15.3	4.6	19.8	25.2	17.6	14.5	1.5
月1～3回	94	-	-	-	1.1	-	16.0	7.4	13.8	25.5	10.6	22.3	3.2
年に数回	41	-	-	2.4	2.4	-	31.7	9.8	2.4	17.1	17.1	17.1	-
参加していない	1,220	0.5	0.8	0.7	2.6	4.5	18.8	10.2	14.4	20.7	10.9	13.4	2.5

③ 趣味関係のグループ

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	38	-	-	-	-	-	15.8	2.6	10.5	34.2	18.4	13.2	5.3
週2～3回	99	-	-	-	-	-	16.2	8.1	13.1	24.2	20.2	17.2	1.0
週1回	141	-	-	-	0.7	1.4	12.8	7.1	17.7	19.9	12.8	25.5	2.1
月1～3回	209	-	0.5	-	1.4	1.4	13.4	6.2	12.9	24.9	19.6	18.7	1.0
年に数回	123	-	-	-	2.4	0.8	17.9	12.2	12.2	29.3	8.1	16.3	0.8
参加していない	1,138	0.5	0.8	0.8	2.5	5.0	19.3	10.7	14.1	19.6	11.0	13.0	2.7

④ 学習・教養サークル

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	40.0	-
週2～3回	37	-	-	-	-	2.7	5.4	2.7	8.1	24.3	18.9	37.8	-
週1回	69	-	-	-	-	-	15.9	10.1	11.6	23.2	14.5	21.7	2.9
月1～3回	94	-	-	-	1.1	1.1	12.8	4.3	6.4	31.9	24.5	14.9	3.2
年に数回	73	-	-	-	-	-	15.1	9.6	19.2	23.3	16.4	13.7	2.7
参加していない	1,447	0.4	0.7	0.6	2.3	4.0	18.0	10.2	14.8	20.7	11.8	14.2	2.3

⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	67	-	-	-	3.0	1.5	7.5	9.0	16.4	23.9	16.4	17.9	4.5
週2～3回	130	0.8	-	-	0.8	4.6	7.7	8.5	14.6	28.5	13.1	20.0	1.5
週1回	150	-	-	-	1.3	2.0	23.3	12.0	14.7	17.3	13.3	14.7	1.3
月1～3回	66	-	-	-	1.5	-	15.2	4.5	18.2	22.7	21.2	12.1	4.5
年に数回	20	-	-	5.0	-	-	15.0	5.0	15.0	45.0	5.0	10.0	-
参加していない	1,306	0.4	0.8	0.6	2.3	4.0	18.2	9.8	13.9	20.7	12.4	14.6	2.4

⑥ 老人クラブ

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	5	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-	-
週2～3回	19	-	-	-	-	5.3	26.3	5.3	15.8	21.1	15.8	5.3	5.3
週1回	21	-	-	-	-	4.8	23.8	9.5	14.3	28.6	4.8	9.5	4.8
月1～3回	46	-	-	-	-	2.2	13.0	-	17.4	21.7	17.4	26.1	2.2
年に数回	24	-	-	-	-	-	12.5	12.5	8.3	29.2	25.0	12.5	-
参加していない	1,620	0.4	0.6	0.6	2.2	3.6	17.2	10.0	14.1	21.2	12.8	14.9	2.4

⑦ 町内会・自治会

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	5	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	60.0	-	-
週2～3回	11	-	-	-	-	-	-	18.2	9.1	36.4	27.3	9.1	-
週1回	22	-	-	-	4.5	-	9.1	4.5	13.6	27.3	22.7	18.2	-
月1～3回	95	-	-	-	-	1.1	10.5	9.5	13.7	28.4	15.8	16.8	4.2
年に数回	170	-	-	-	1.2	5.9	17.6	7.1	14.7	25.9	11.2	14.7	1.8
参加していない	1,438	0.4	0.7	0.6	2.2	3.6	17.9	9.9	14.2	20.2	12.7	15.2	2.4

⑧ 収入のある仕事

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	265	-	0.4	0.8	0.4	1.9	16.2	9.4	14.7	23.4	12.8	17.4	2.6
週2～3回	124	-	-	0.8	0.8	2.4	16.1	12.1	10.5	29.8	12.1	13.7	1.6
週1回	34	-	-	-	-	2.9	29.4	8.8	5.9	17.6	26.5	8.8	-
月1～3回	53	-	-	-	1.9	1.9	7.5	3.8	18.9	37.7	13.2	13.2	1.9
年に数回	38	-	-	-	2.6	-	10.5	13.2	13.2	28.9	13.2	15.8	2.6
参加していない	1,230	0.5	0.7	0.5	2.4	4.2	17.8	9.7	14.6	19.4	12.7	15.0	2.4

会・グループ等への参加頻度別では、会・グループ等によって違いはあるが、参加頻度にかかわらず8点の回答が高くなっている。

7.3. 毎日の生活に充実感がない

◆ 「いいえ」が7割台半ば

(全員の方に)

問 64 ここ2週間、毎日の生活に充実感がない気がしましたか。(○は1つ)

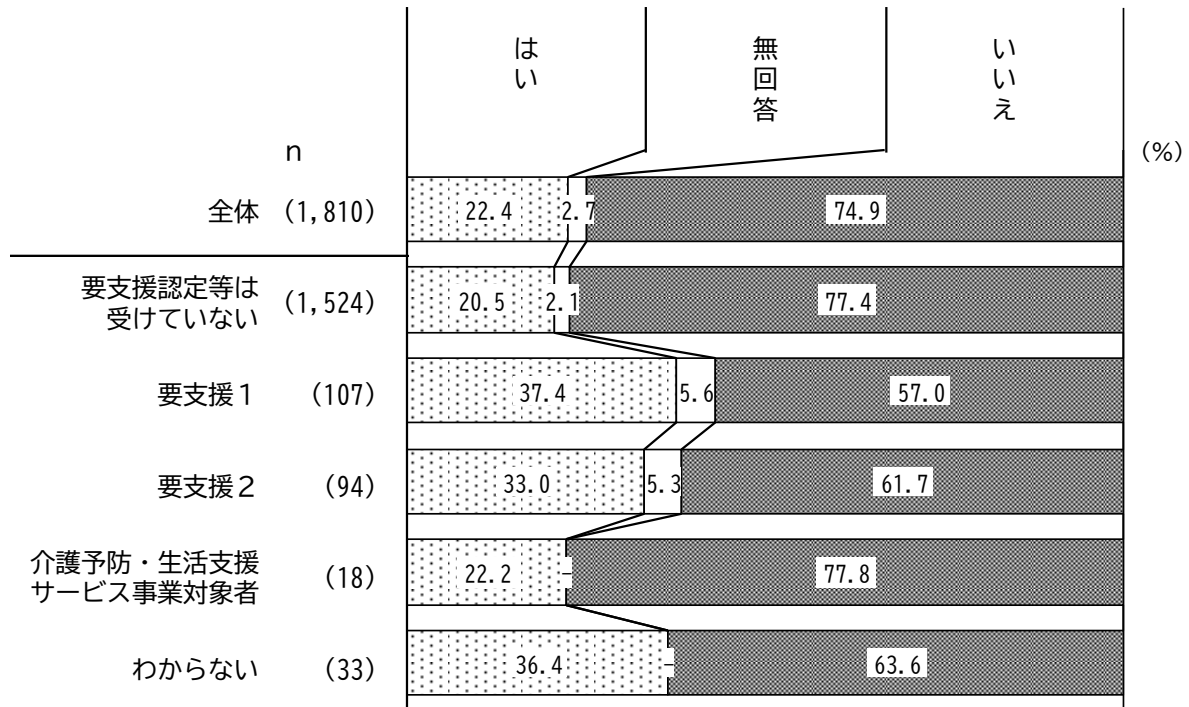


図 7-4 毎日の生活に充実感がない

全体では、「いいえ」が7割台半ばを占めている。

状態別では、要支援1・2で「はい」が3割台となっている。

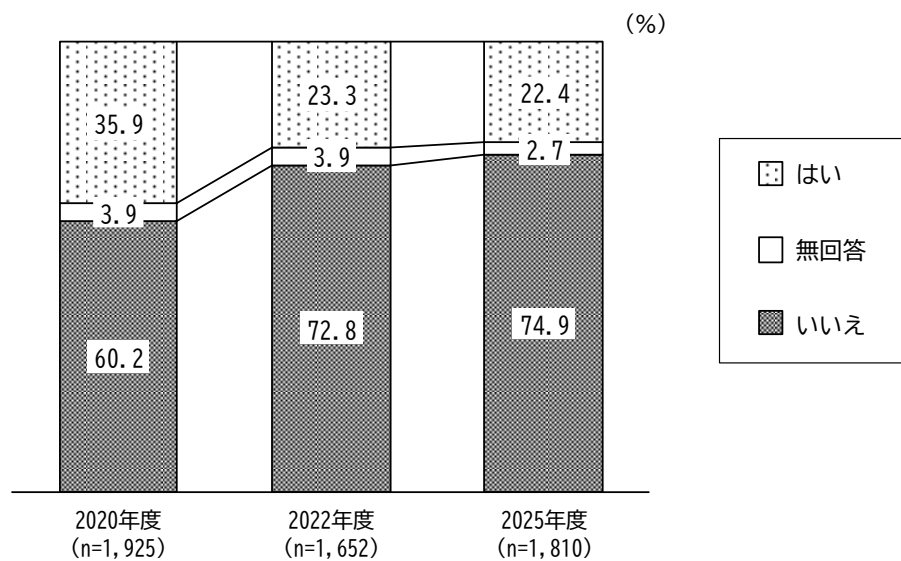


図 7-5 【経年比較】毎日の生活に充実感がない

経年比較では、新型コロナウイルス感染症の流行による影響がみられた2020年度以外は、大きな差異はみられない。

7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

◆ 「いいえ」が7割台後半

(全員の方に)

問 65 ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしましたか。(○は1つ)

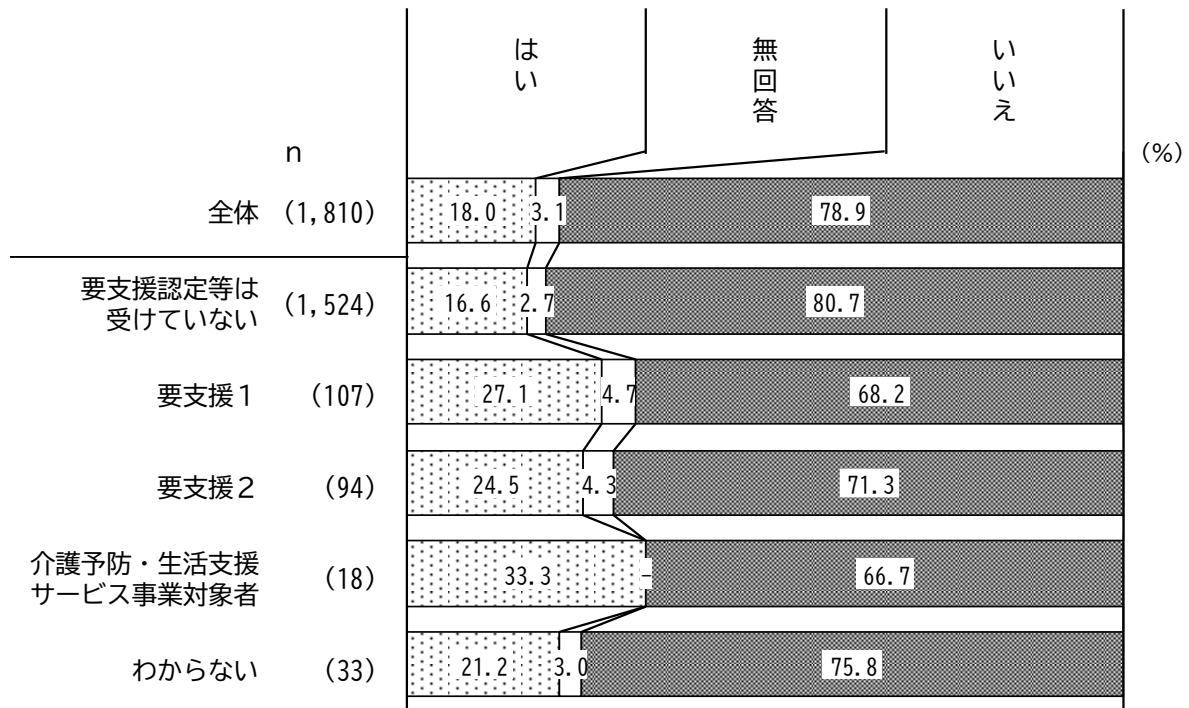


図 7-6 これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

全体では、「いいえ」が7割台後半を占めている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が3割台前半と高くなっている。

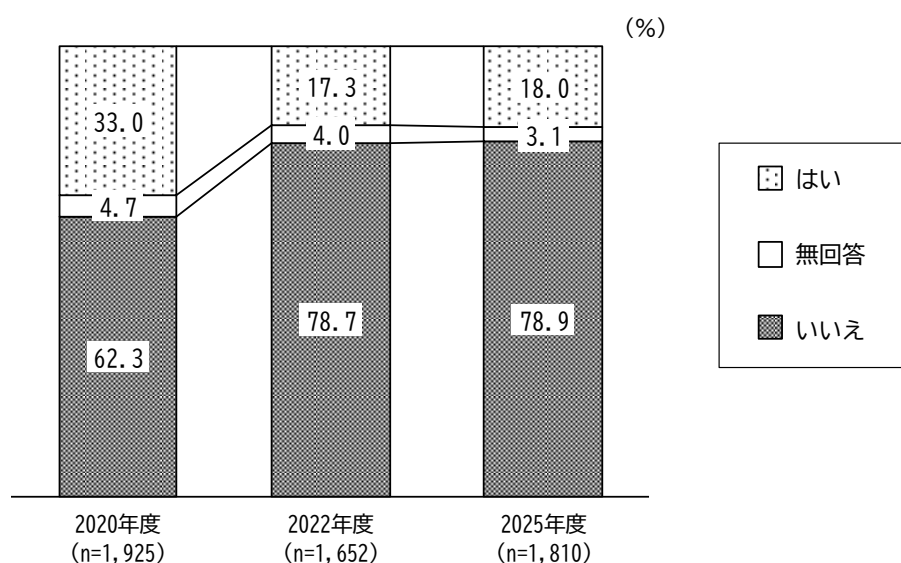


図 7-7 【経年比較】これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

経年比較では、新型コロナウイルス感染症の流行による影響がみられた 2020 年度以外は、大きな差異はみられない。

7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

◆ 「いいえ」が6割台前半

(全員の方に)

問 66 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

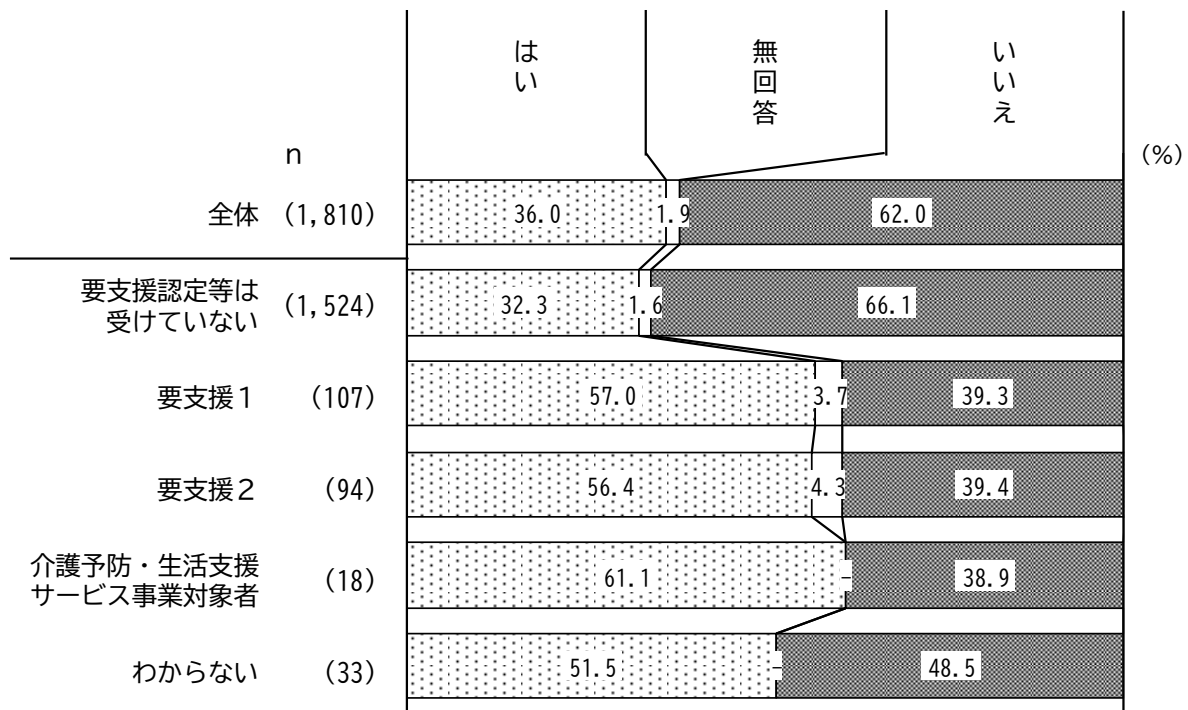


図 7-8 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

全体では、「いいえ」が6割台前半を占めている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が過半数を占めている。

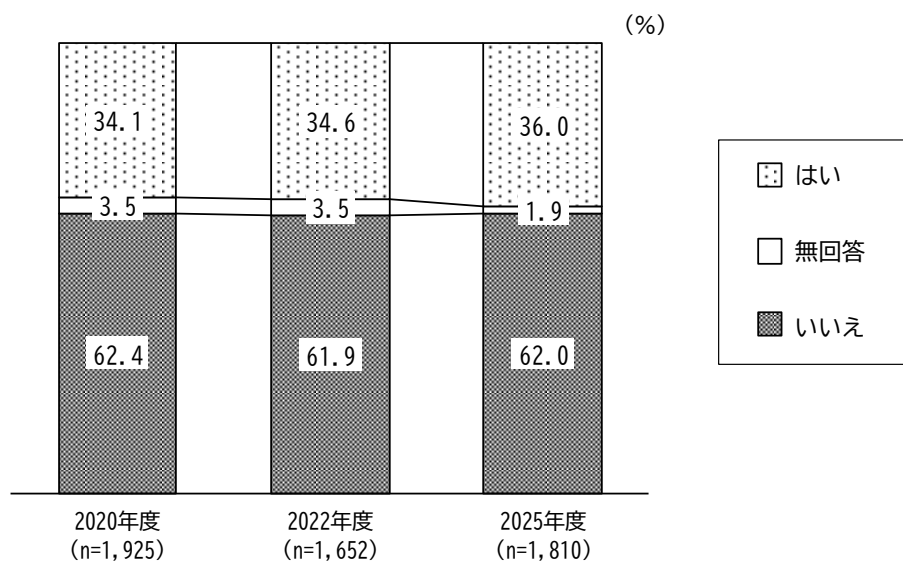


図 7-9 【経年比較】 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない

◆ 「いいえ」が7割台後半

(全員の方に)

問 67 ここ2週間、自分が役に立つ人間だとは思えない気がしましたか。(○は1つ)

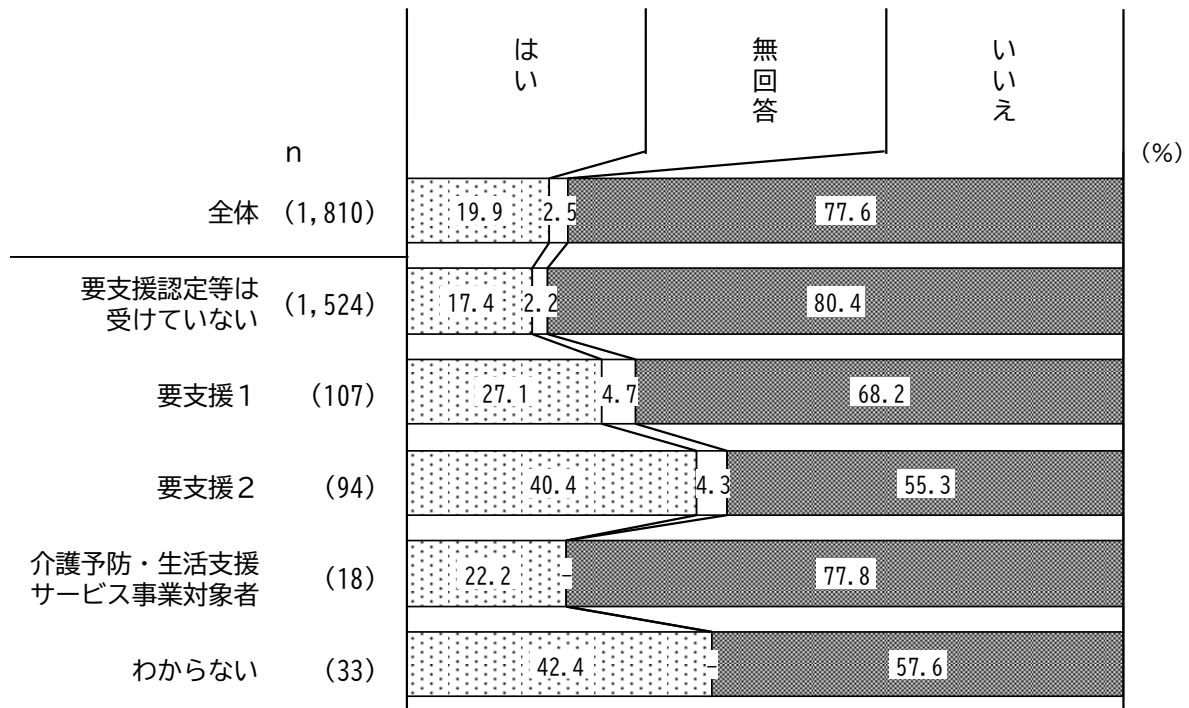


図 7-10 自分が役に立つ人間だとは思えない

全体では、「いいえ」が7割台後半を占めている。

状態別では、要支援2で「はい」が約4割を占めている。

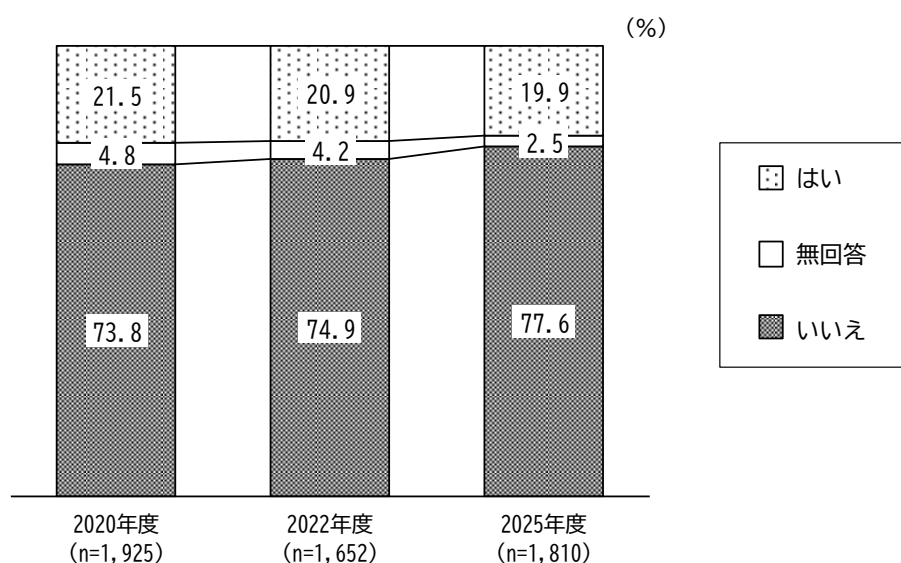


図 7-11 【経年比較】自分が役に立つ人間だとは思えない

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.7. わけもなく疲れたような感じがする

◆ 「いいえ」が6割台後半

(全員の方に)

問 68 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

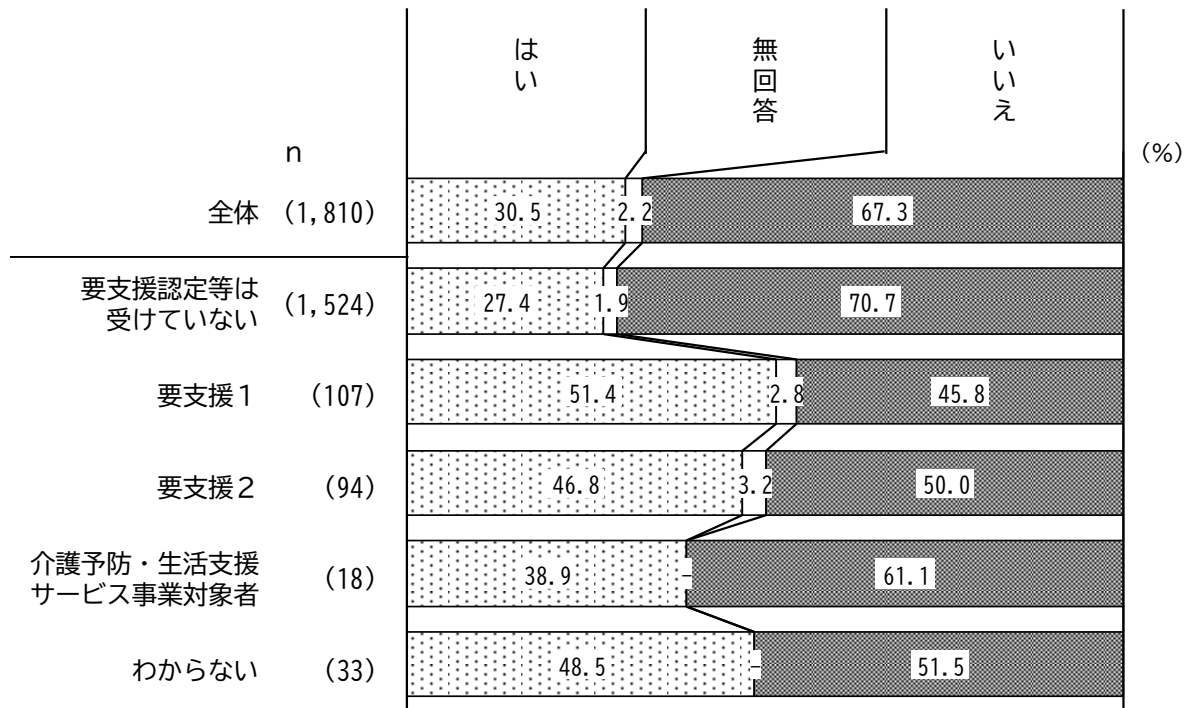


図 7-12 わけもなく疲れたような感じがする

全体では、「いいえ」が6割台後半を占めている。

状態別では、「はい」は、要支援1で約5割、要支援2で4割台半ばを占めている。

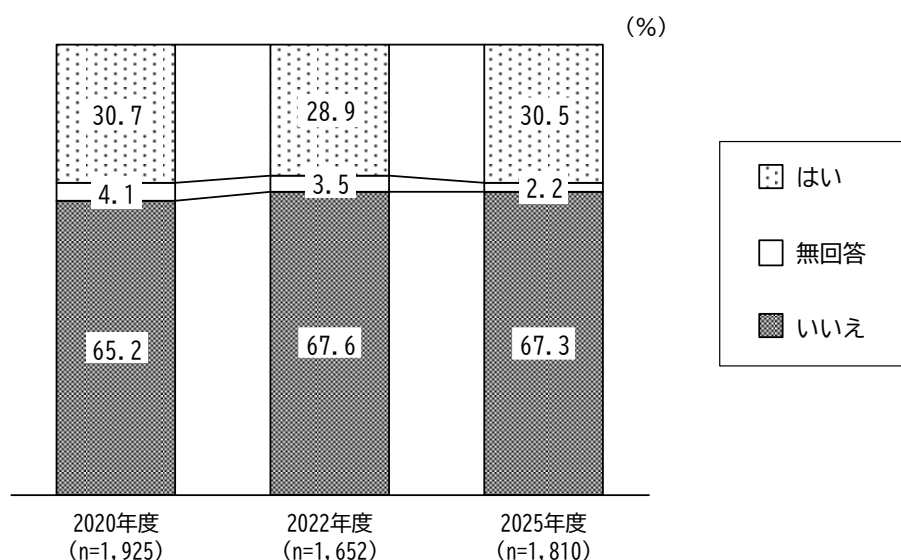


図 7-13 【経年比較】わけもなく疲れたような感じがする

経年比較では、大きな差異はみられない。

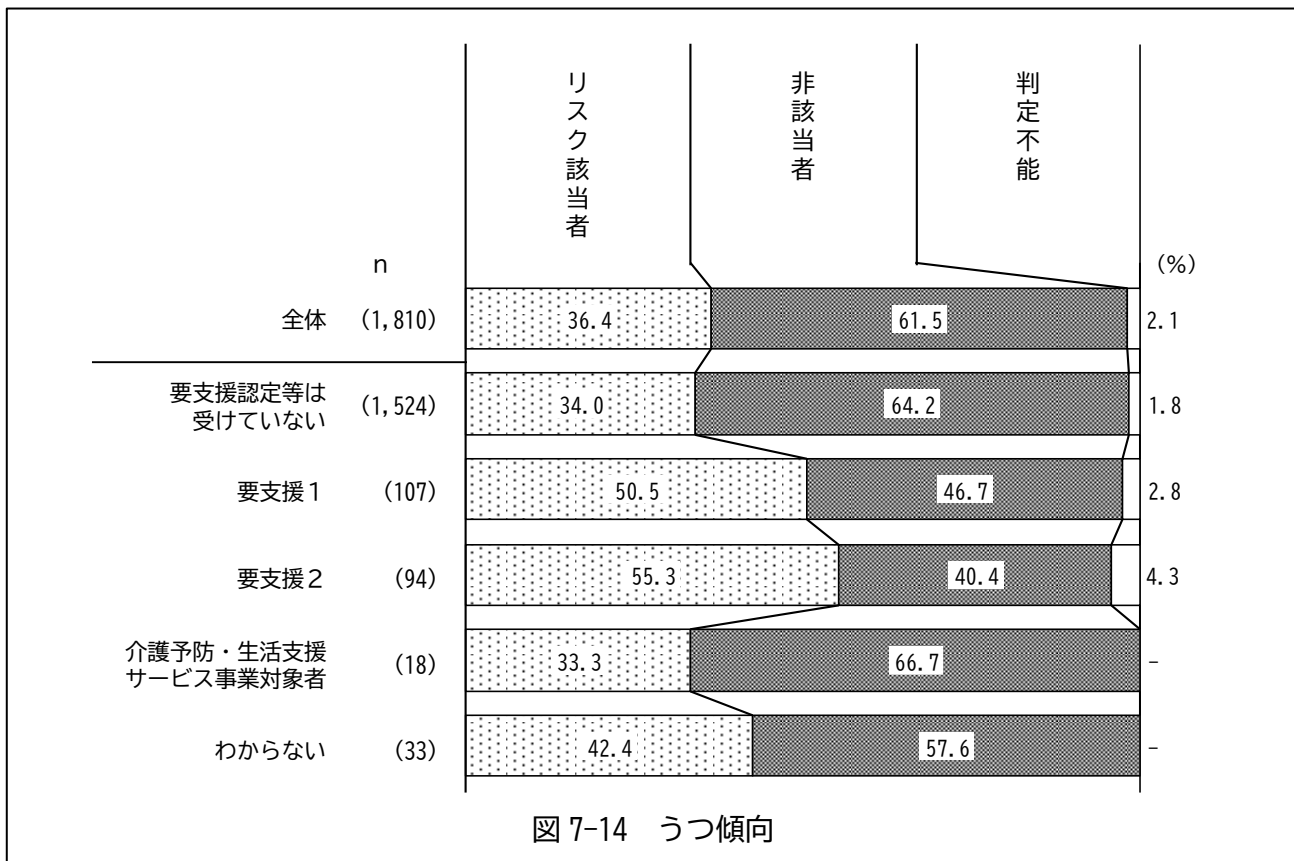
7.8. 機能評価

7.8.1. うつ傾向

◇以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 69	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 70	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

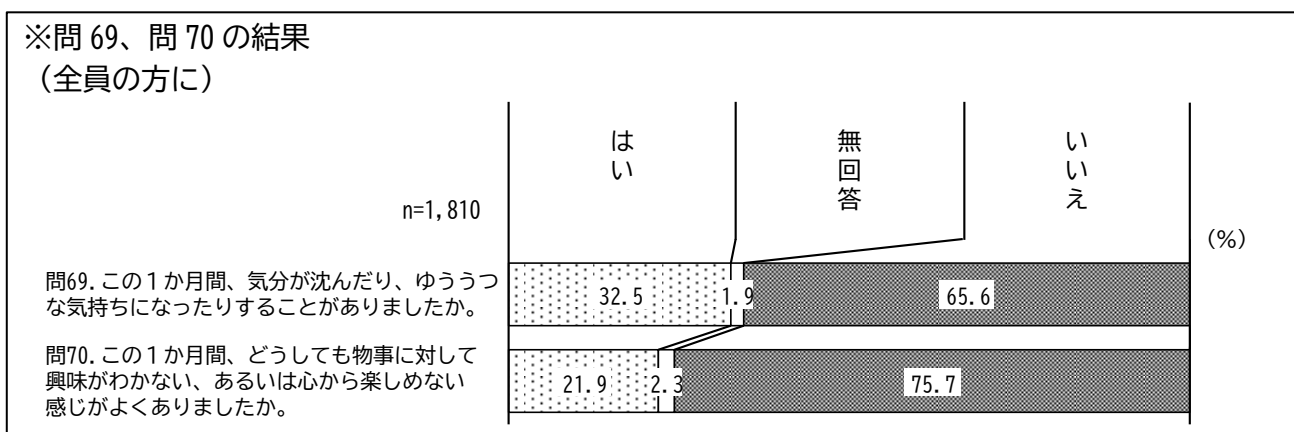
◆ うつ傾向のリスク該当者は3割台半ば



全体では、うつ傾向のリスク該当者は3割台半ばとなっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援1で約5割、要支援2で5割台半ばとなっている。

※問 69、問 70 の結果 (全員の方に)



7.9. 飲酒の状況

◆ 「もともと飲まない」が約3割

(全員の方に)

問 71 お酒は飲みますか。(○は1つ)

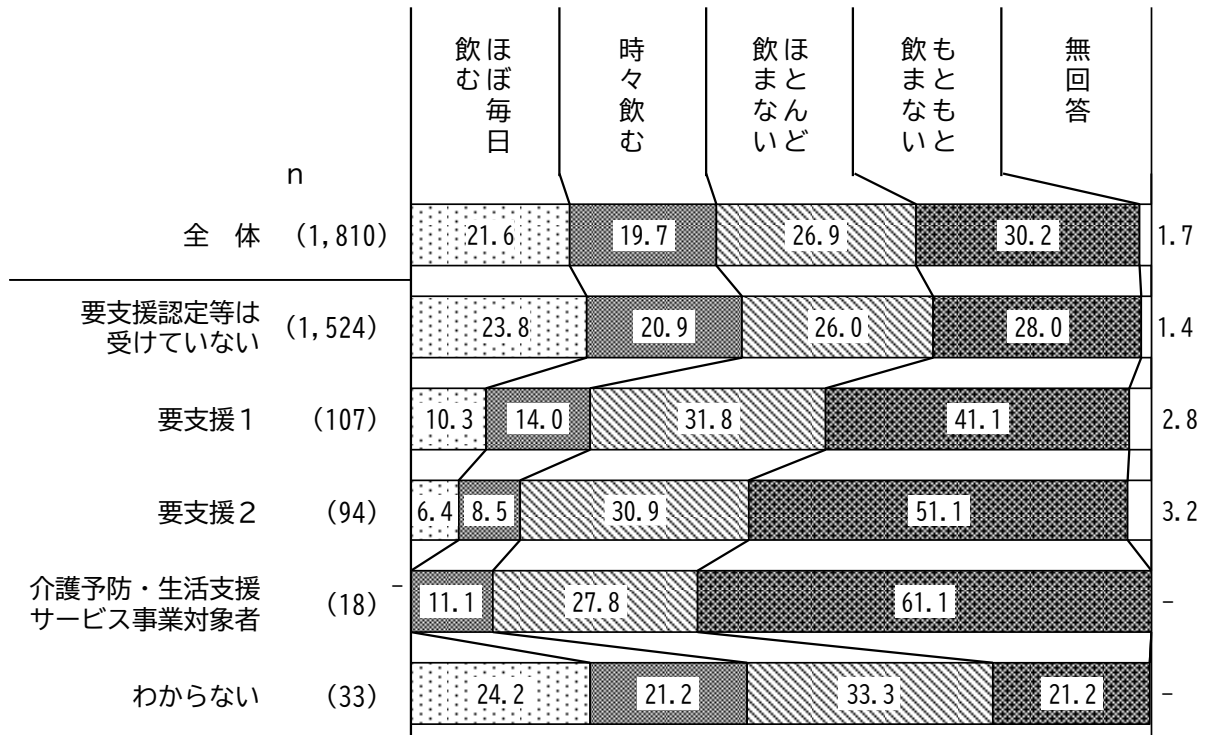


図 7-15 飲酒の状況

飲酒の頻度は、「もともと飲まない」が約3割で最も高くなっている。

状態別では、「もともと飲まない」は介護予防・生活支援サービス事業対象者で約6割、要支援2で約5割を占めています。

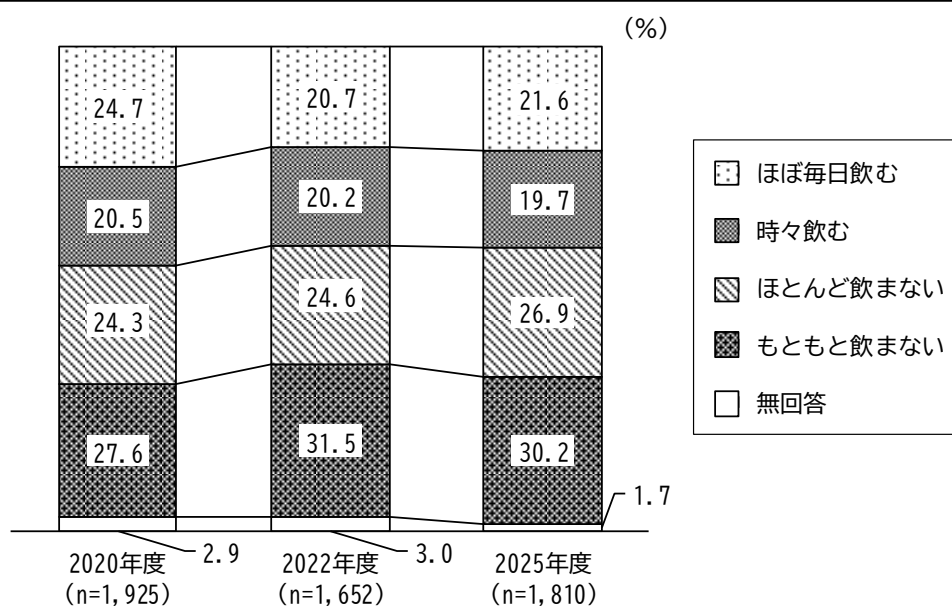


図 7-16 【経年比較】飲酒の状況

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.10. 喫煙の状況

◆ 「もともと吸っていない」が約6割

(全員の方に)

問 72 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

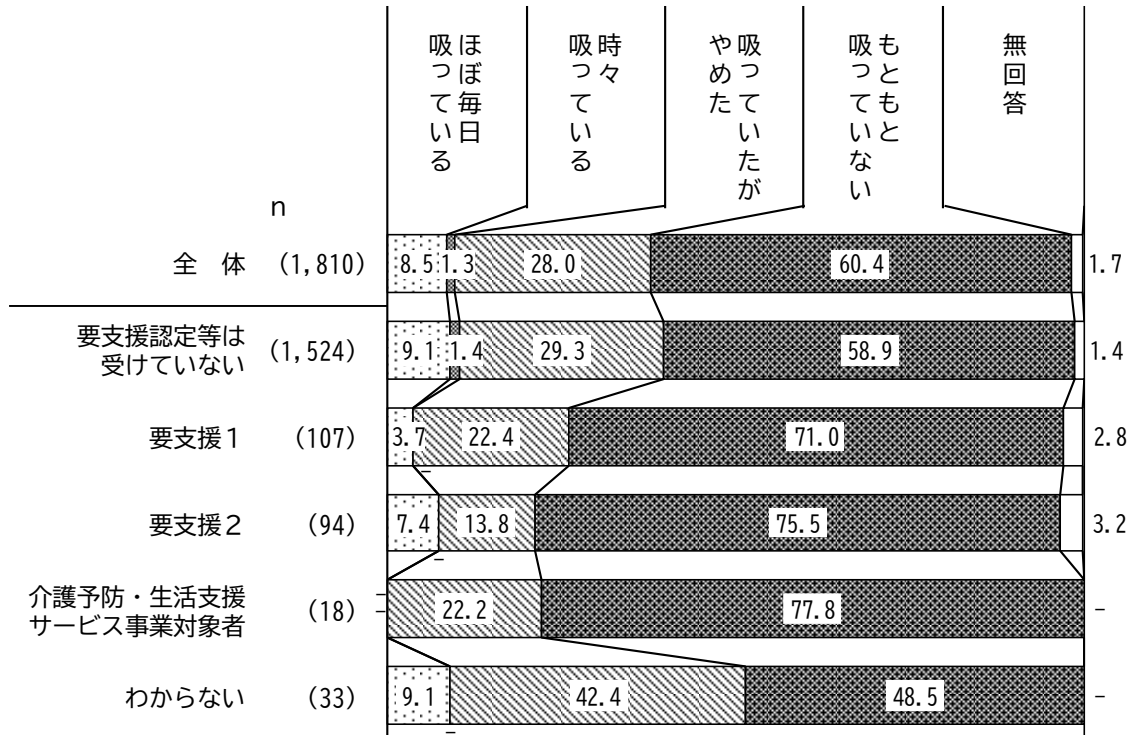


図 7-17 喫煙の状況

喫煙の頻度は、「もともと吸っていない」が約6割を占めている。

状態別では、「もともと吸っていない」が要支援1・2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で7割台となっている。

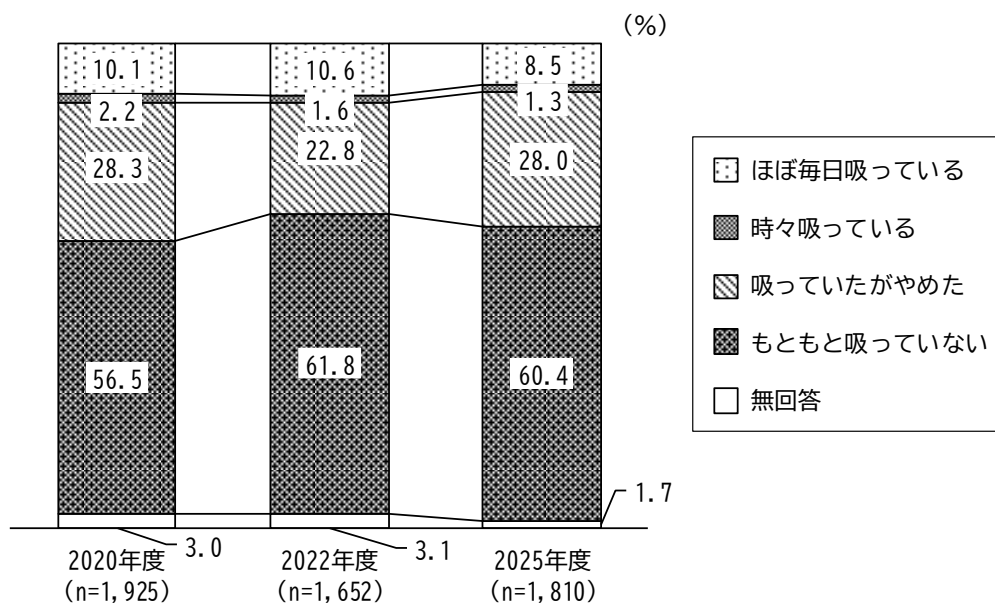


図 7-18 【経年比較】喫煙の状況

経年比較では、2022年度と比べて「吸っていたがやめた」が5.2ポイント増加している。

7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気

◆ 「高血圧」が約4割

(全員の方に)

問 73 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

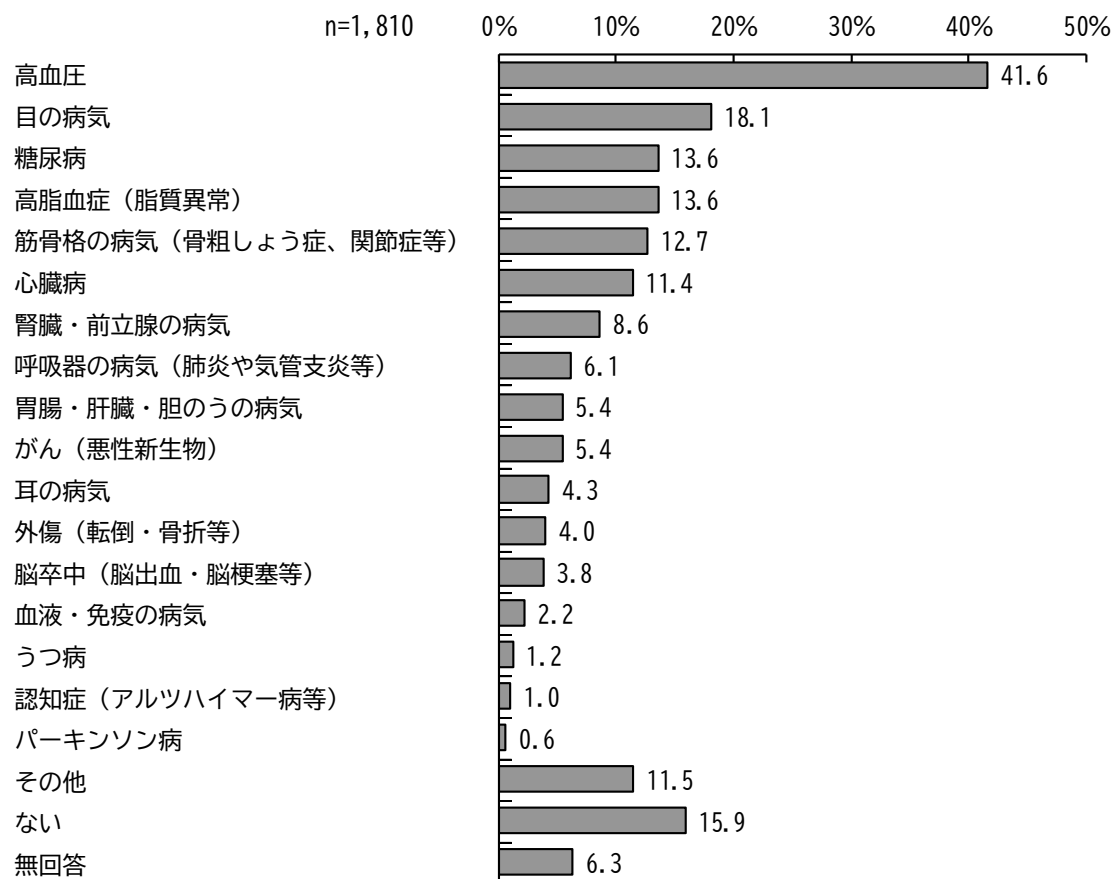


図 7-19 現在治療中、または後遺症のある病気

全体では、「高血圧」が約4割で最も高くなっている。

【状態別】現在治療中、または後遺症のある病気

単位：％

	有効回答数（件）	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん（悪性新生物）
全体	1,810	41.6	18.1	13.6	13.6	12.7	11.4	8.6	6.1	5.4	5.4
要支援認定等は受けていない	1,524	41.6	17.5	13.4	14.3	10.6	10.1	8.5	5.6	5.3	5.4
要支援1	107	43.0	29.0	15.0	13.1	25.2	18.7	14.0	14.0	7.5	4.7
要支援2	94	44.7	20.2	13.8	12.8	26.6	21.3	5.3	5.3	5.3	2.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	55.6	27.8	11.1	-	38.9	22.2	11.1	11.1	-	16.7
わからない	33	33.3	9.1	21.2	9.1	3.0	15.2	9.1	9.1	6.1	6.1

	有効回答数（件）	耳の病気	外傷（転倒・骨折等）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	その他	ない	無回答
全体	1,810	4.3	4.0	3.8	2.2	1.2	1.0	0.6	11.5	15.9	6.3
要支援認定等は受けていない	1,524	3.9	2.8	3.4	2.2	0.7	0.6	0.2	10.7	17.6	5.9
要支援1	107	4.7	9.3	5.6	1.9	3.7	3.7	0.9	14.0	5.6	5.6
要支援2	94	5.3	12.8	8.5	2.1	3.2	4.3	3.2	21.3	6.4	5.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	16.7	16.7	-	-	-	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1
わからない	33	9.1	6.1	-	3.0	12.1	3.0	3.0	18.2	9.1	3.0

状態別では、いずれも「高血圧」が最も高くなっている。

また、介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援1・2で「目の病気」と「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が2割以上、介護予防・生活支援サービス事業対象者と要支援2で「心臓病」が2割以上と高くなっています。

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無

◆ 「いいえ」が8割台半ば

(全員の方に)

問 74 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

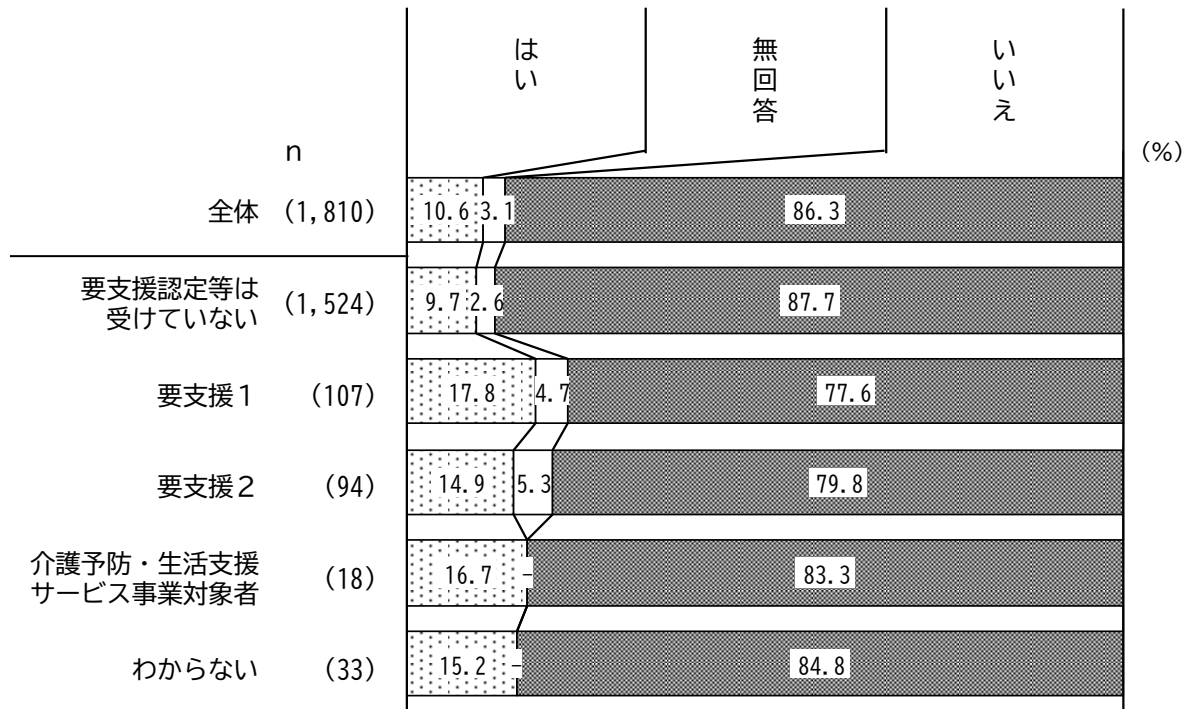


図 8-1 家族を含めた認知症の症状の有無

全体では、「いいえ」が8割台半ばを占めている。

状態別では、要支援1・2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が1割台半ばから1割台後半を占めている。

8.2. 認知症の相談窓口を知っているか

◆ 「いいえ」が6割台後半

(全員の方に)

問 75 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

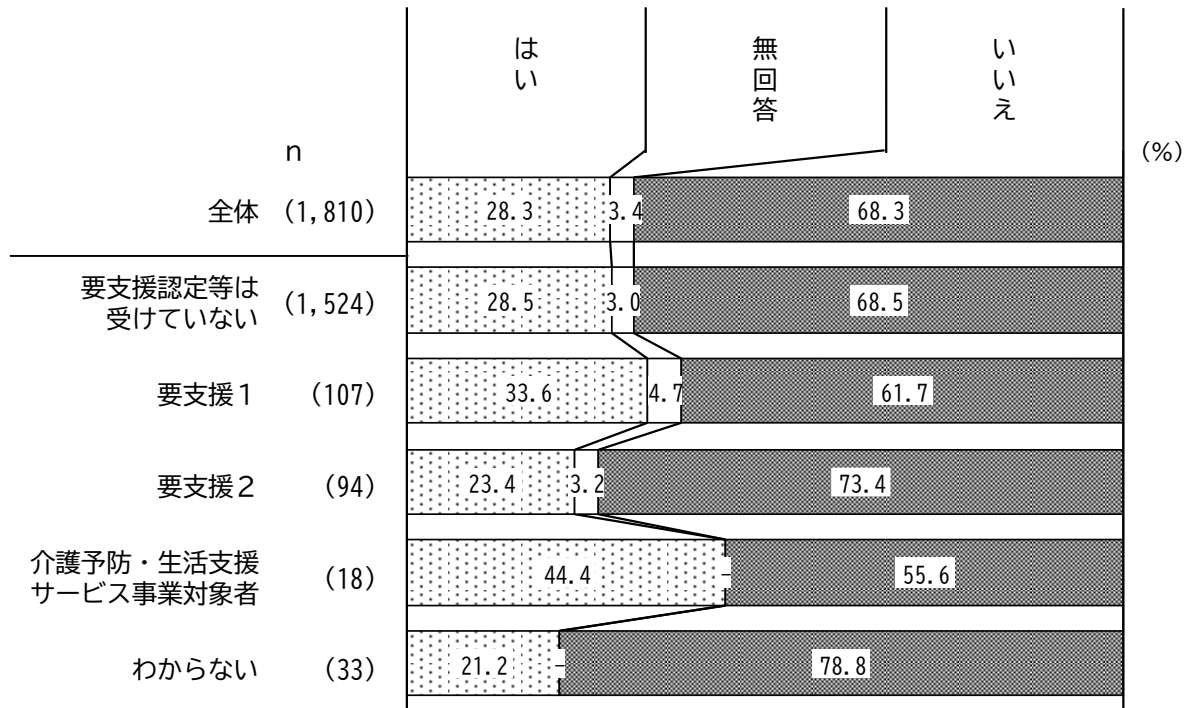
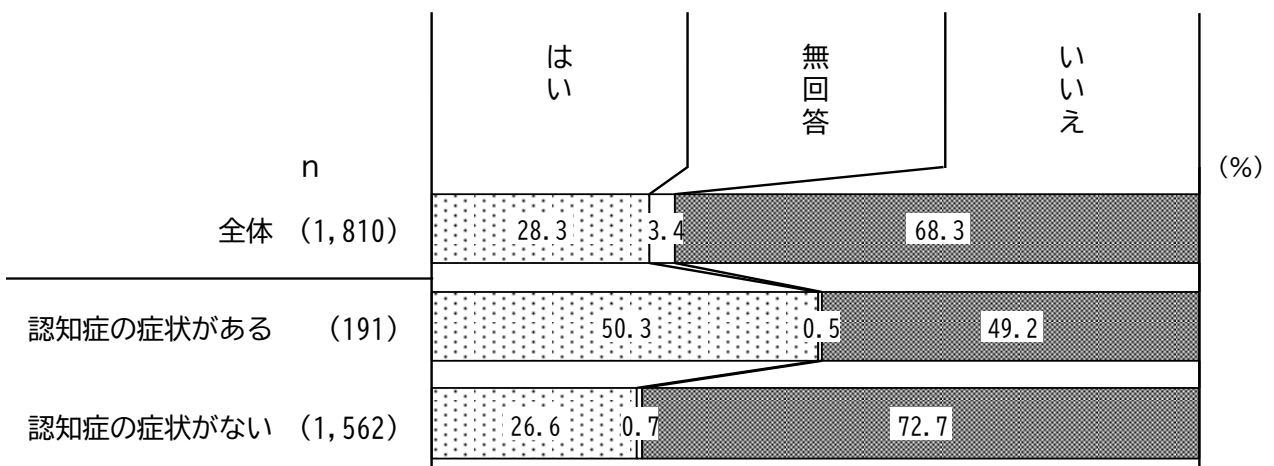


図 8-2 認知症の相談窓口を知っているか

全体では、「いいえ」が6割台後半を占めている。

状態別では、要支援2で「はい」が低く、2割台前半となっている。

【認知症の症状の有無別】認知症の相談窓口を知っているか



認知症の症状の有無別では、認知症の症状がある人で「はい」が約5割を占めている

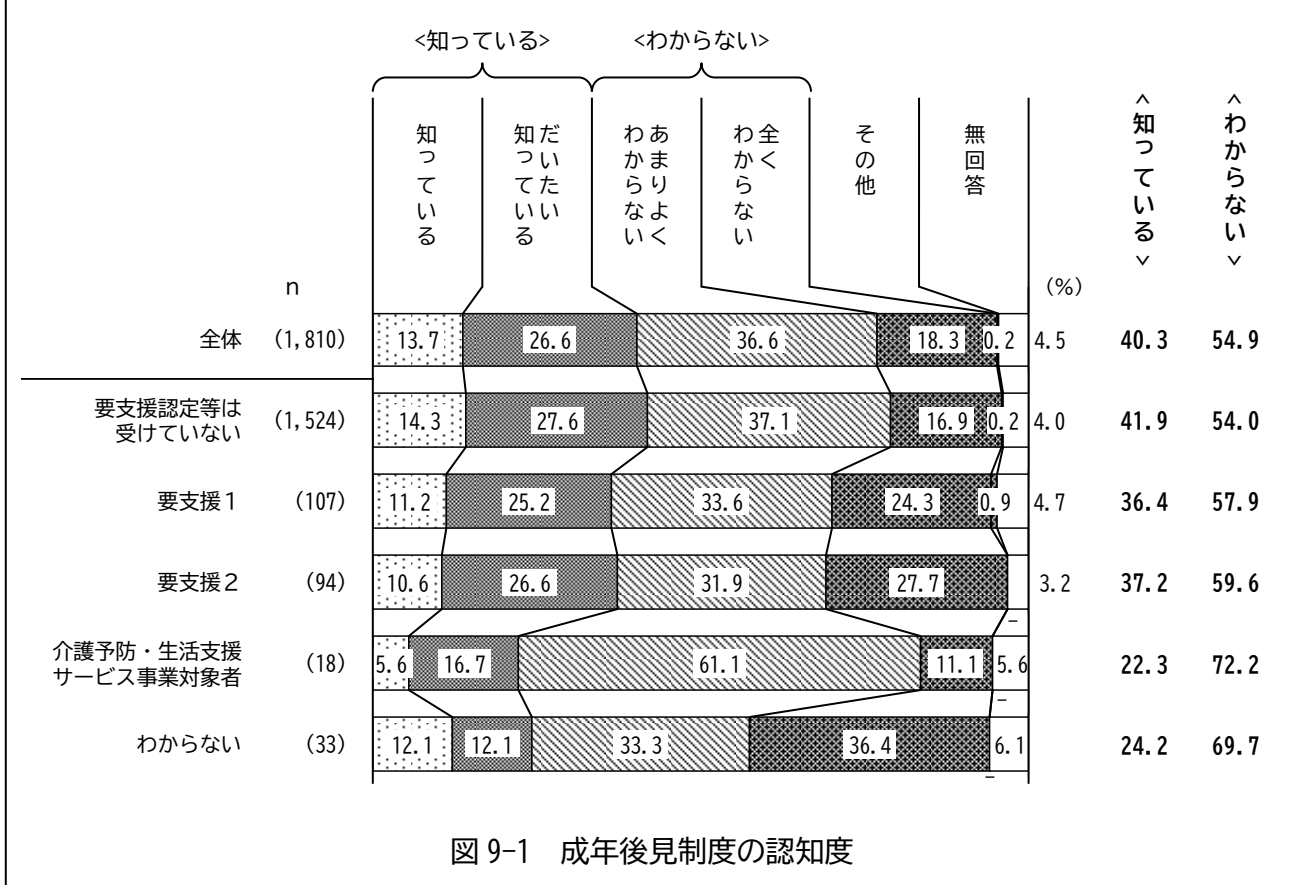
9. 成年後見制度について

9.1. 成年後見制度の認知度

◆ <わからない>が5割台半ば

(全員の方に)

問 76 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)



全体では、「全くわからない」と「あまりよくわからない」を合わせた<わからない>が5割台半ばを占めている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で<わからない>が7割台前半となっている。

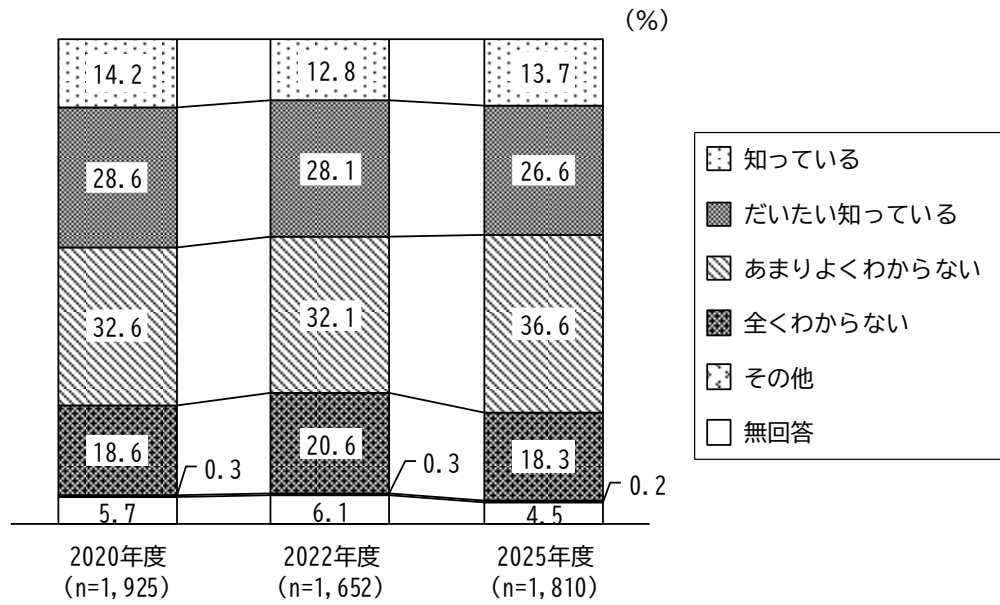


図 9-2 【経年比較】成年後見制度の認知度

経年比較では、＜わからない＞が年々増加している。

9.1.1. 成年後見制度の利用意向

◆ 「したくない」が8割台半ば

(問 76 で「知っている」「だいたい知っている」に○をつけた方に)
問 76-1 今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

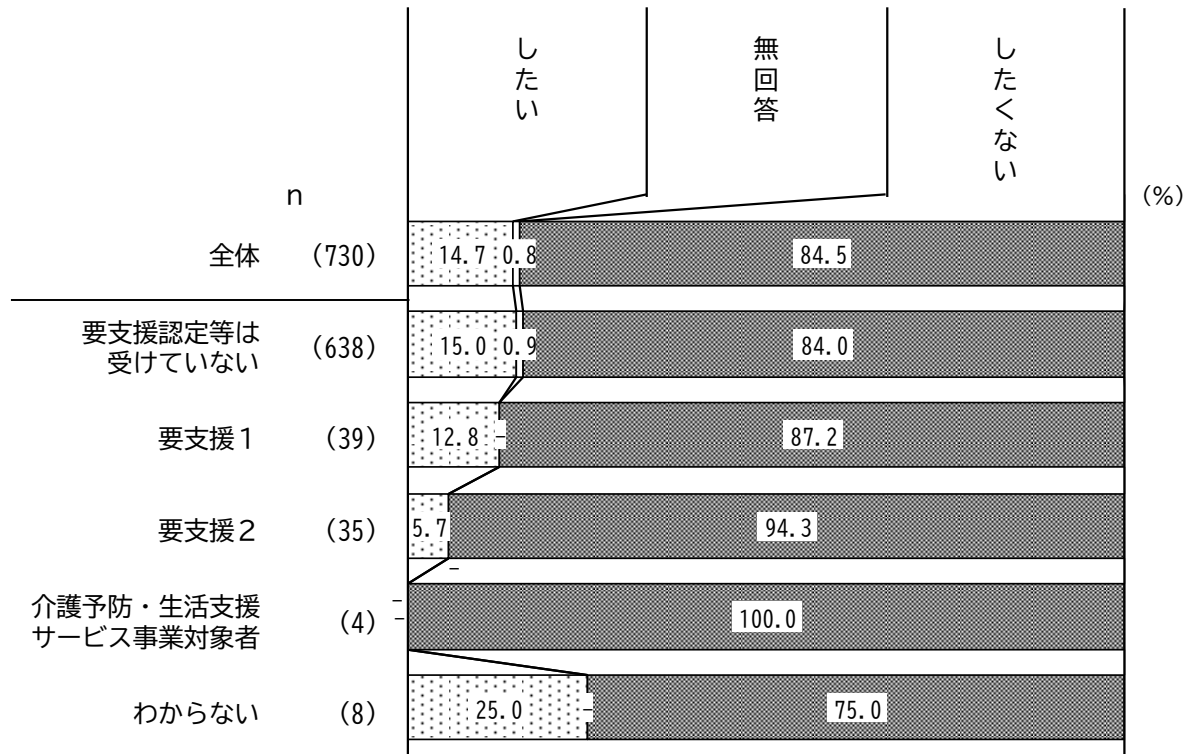
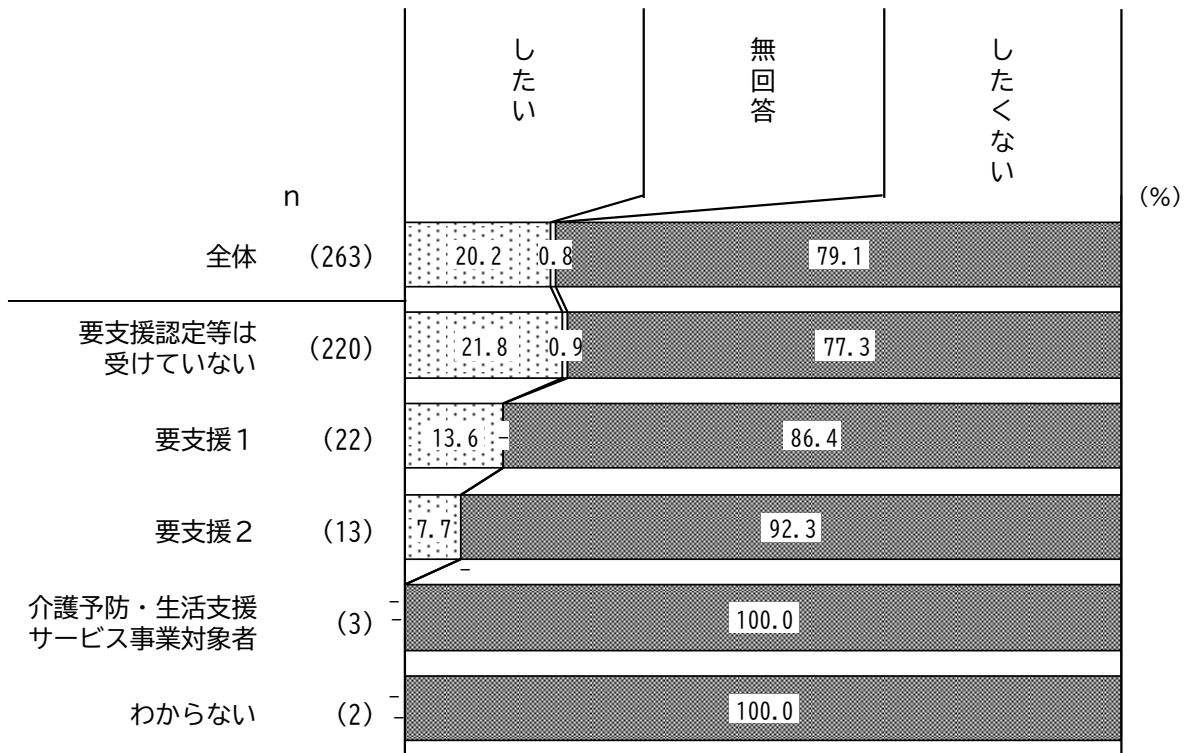


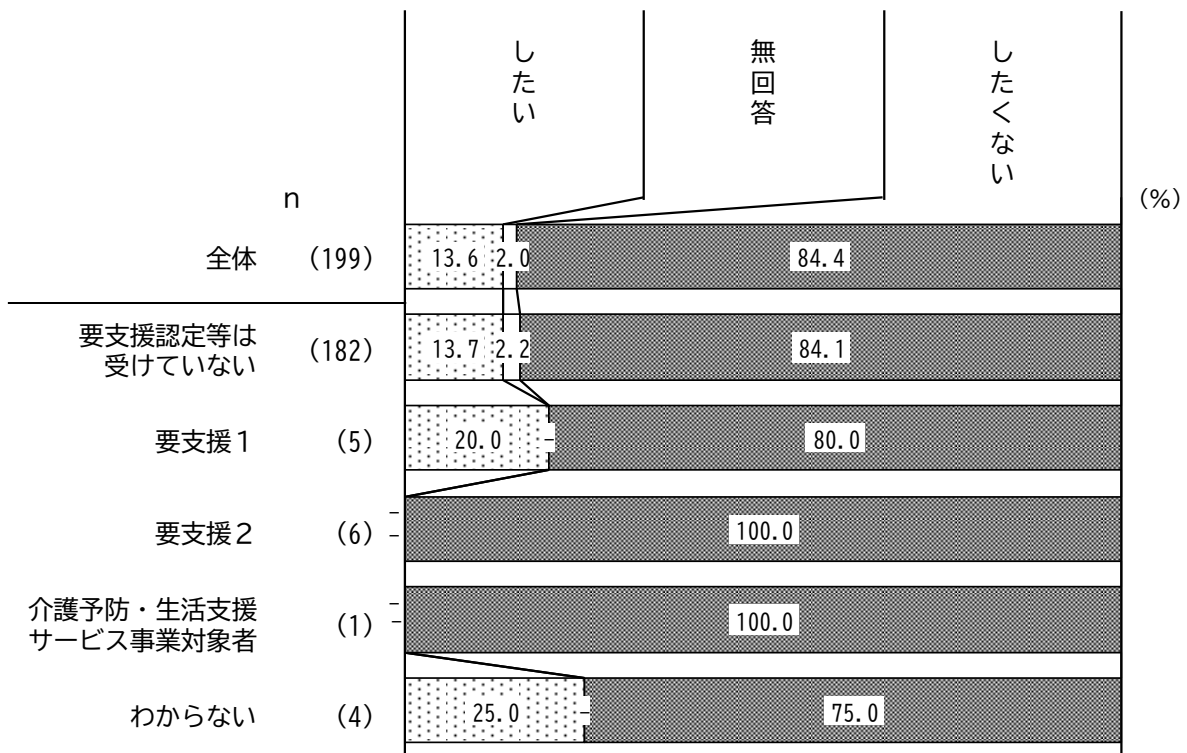
図 9-3 成年後見制度の利用意向

全体では、「したくない」が8割台半ばを占めている。
状態別では、いずれも「したくない」が大半を占めている。

【状態別（1人暮らし）】成年後見制度の利用意向



【状態別（夫婦2人暮らし）】成年後見制度の利用意向



9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由

◆ 「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半

(問 76-1 で「したくない」に○をつけた方に)
問 76-2 利用したくない理由をおしえてください。(○は2つ)

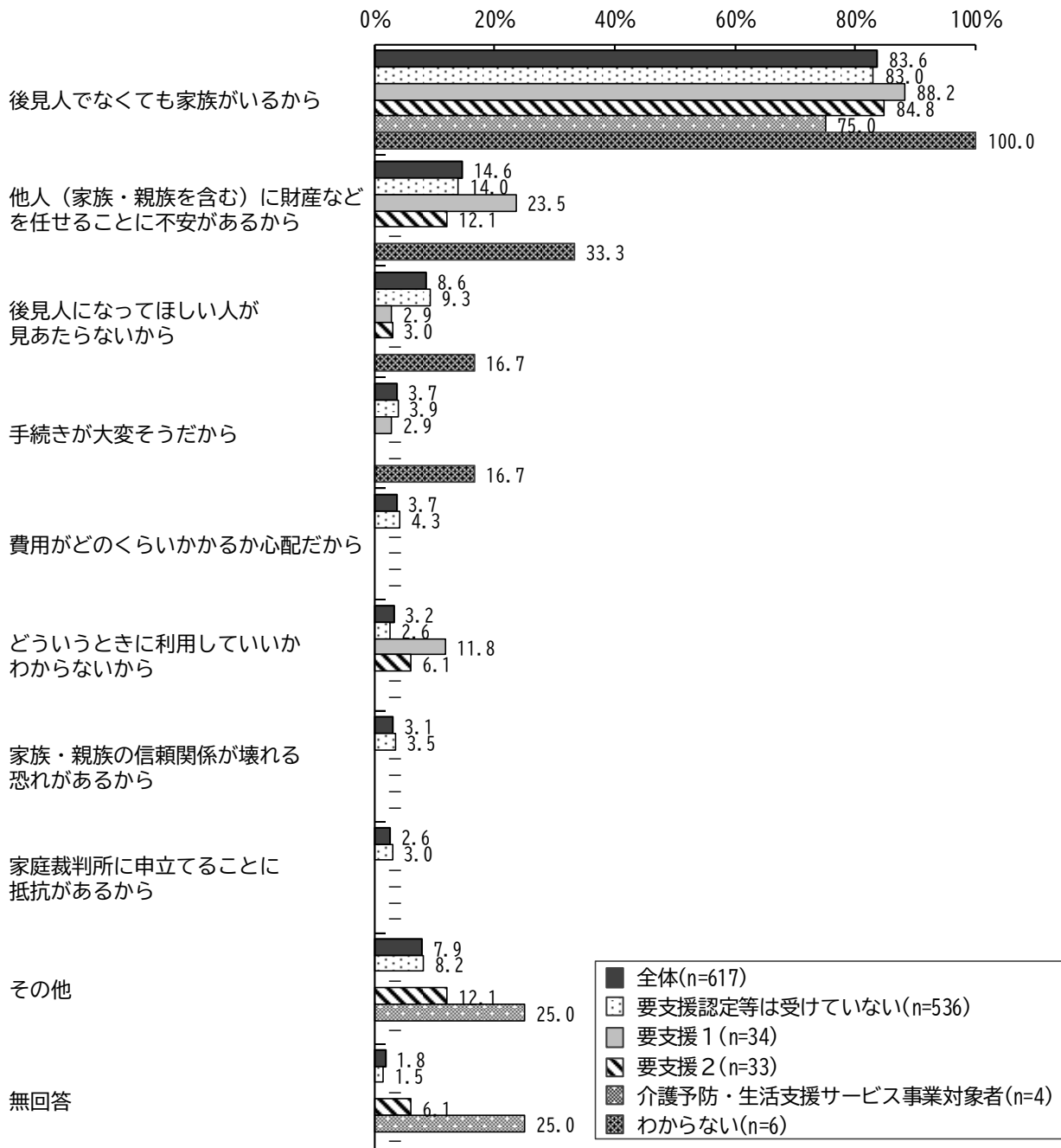
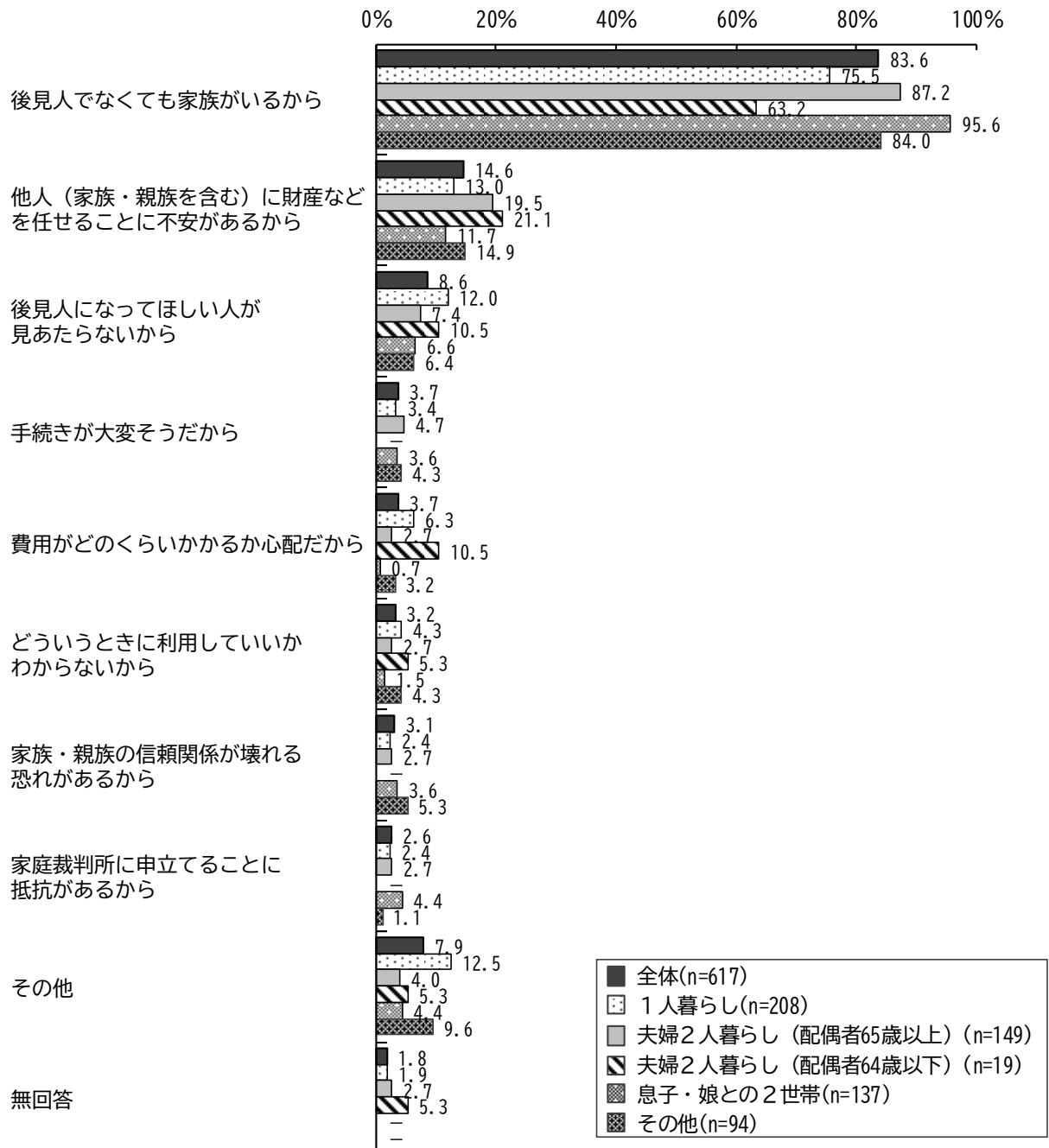


図 9-4 成年後見制度を利用したくない理由

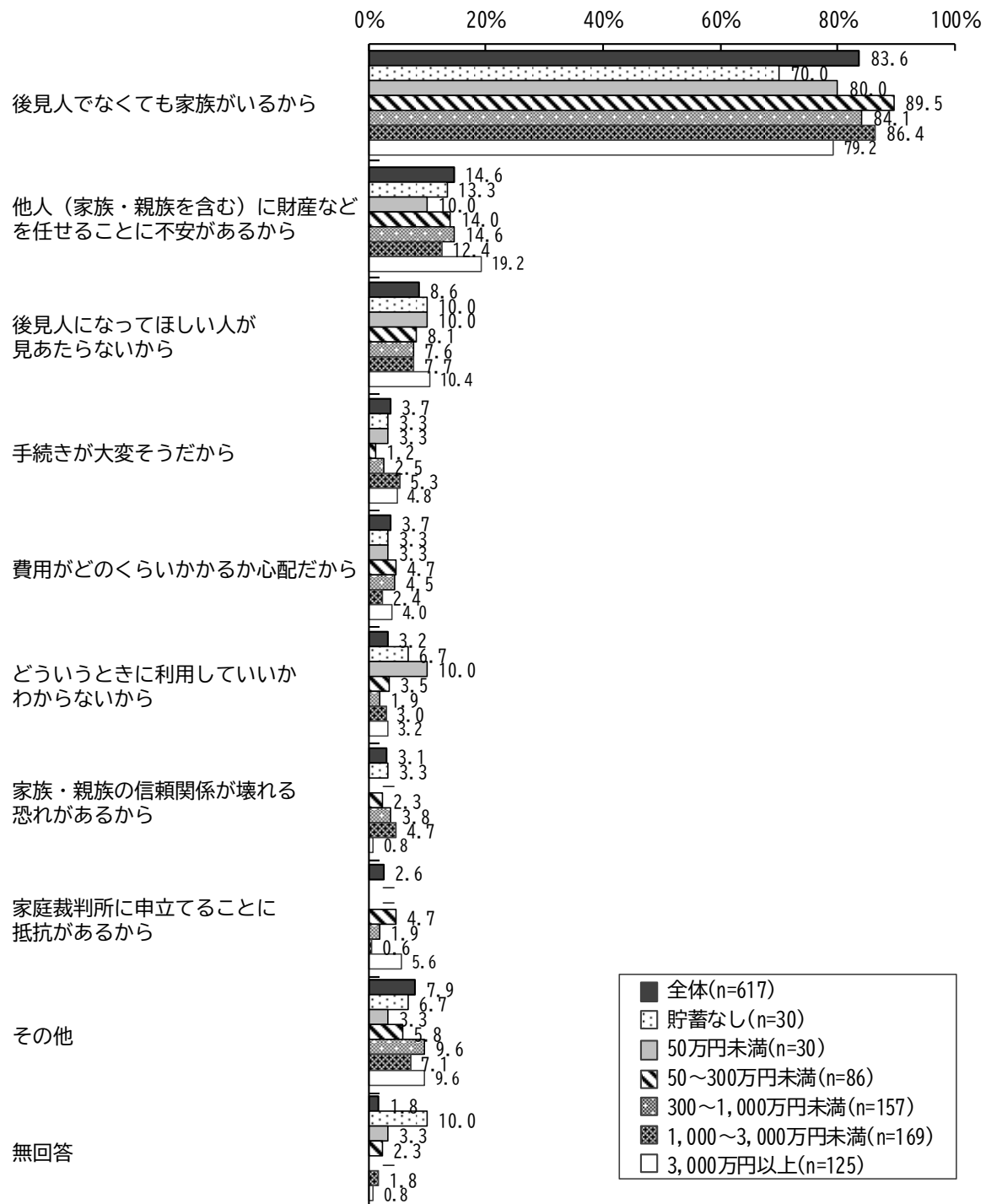
全体では、「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半で最も高くなっている。
状態別では、要支援1で「後見人でなくても家族がいるから」が8割台後半となっている。

【家族構成別】成年後見制度を利用したくない理由



家族構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)は「後見人でなくても家族がいるから」が6割台前半で他よりも低くなっている。

【預貯金額別】成年後見制度を利用したくない理由



預貯金額別では、貯蓄なしの層で「後見人でなくても家族がいるから」が7割と他より低くなっている。

10. その他

10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）

（全員の方に）

問 77 健康福祉行政全体について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体への意見・要望について、328 件の回答があった。その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

介護保険制度について 54 件

- 亡くなった母と夫の介護申請に時間かかりすぎている。夫の障害者手帳申請、後期高齢者保険も手続きにかなりの時間がかかった。福祉行政といっても実際には、積極的に行政がかかわっていく姿勢があまりないように思う。窓口の対応は、以前より高圧的ではなくなっているが。（65～69 歳）
- 介護保険を利用して、介護器具を入れたり、訪問リハビリを受けたりしています。要支援 2 なので、リハビリは週 3 回中 2 回しかできず、1 回は自己負担です。必要な回数だけであればありがたいのですが、それが残念です。訪問リハビリはとても意味があり、ありがたいと思っています。（65～69 歳）
- 介護保険制度について、高額な保険料を強制的に徴収しておきながら、必要な時に介護が受けられない（更に負担を強いられる）ケースをよく聞く。老々介護のあげくの悲劇も珍しく無いニュースになっている。制度自体の信憑性に疑問を抱かざるを得ない現状で、公私の責任分担を含め抜本的な見直し（廃止含む）を望む。健康福祉行政を唱い強制的に保険料徴収するのであれば、介護を産業などとせず、公の事業（施設・人員も）として配置し、要介護者全てに見合った介護を手当すべき。（70～74 歳）
- 介護認定の話しに行った時、認定を決める期間を短縮してほしい。こちらの面接の希望日を聞き取り日程をスピーディーに、そして話し内容を解り易くスムーズに進めてほしい。（75～79 歳）
- 若い人たちにとって社会保険料（介護保険料を含む）の負担が増えていて生活を圧迫していることは理解しているが、介護保険制度は現在現役の人にとっても将来の自分たちのことと考えて欲しいし、支援が打ち切られることになれば自分が親の介護を担うことになるかもしれないことを考えて欲しいと思う。一方で、余裕のある高齢者の自己負担を増やすことは検討すべき（75～79 歳）
- 介護保険や健康保険が高すぎる。年金生活の中でもっていかれる分が高くて生活はやっていけない。（80～84 歳）
- 「人生百年時代」自助、共助、公助ですが自助は高齢になると気力、体力、経済力もなくなるので、共助型老人ホームや特別養護老人ホームの増設を要望いたします。認知症や転倒を防ぐためにも「介護予防」のような本があれば配付していただきたいです。（90～94 歳）

健康福祉行政全般について 38 件

- 65 歳以上になって対策するのは遅過ぎます。心身共に固くなっている為、気休めです。若年層、小・中・高校生のうちから心身の基礎を学校教育において、育成して欲しい。特に体育を重視して下さい。65 歳以上は、これからは自己責任で各自の健康に努め、税金の無駄使いせぬ様、意識したい。（65～69 歳）
- 健康に関してはともかく、福祉事業の法律やルールを決めている方々は現場の現実をわかっていないと思います。例えば、介護施設ではいろいろな問題が複合的に起こっており、そこで働く人間を苦しめています。単に給料のことだけではありませんよ。（70～74 歳）

- あまり福祉行政に頼り過ぎる傾向には反対。してもらふことよりも、自分がしてあげることや、自分のことは自分でできることを大切にしたい。(70～74 歳)
- 長生き社会を支えるのは、1 人 1 人が自覚をもって自立することだと思いますが、介護保険制度も老人が増えてみなおさないと…やっていけなくなる様な感じがします…1 人 1 人自分の老後をしつかりみすえなければと思います。行政よろしくお願いします。(80～84 歳)
- 高齢福祉、介護保険サービス等の手厚い恩恵の支援に支えられて、私の時代の老人はとても幸せなめぐり合せと感謝しています。これからは老人各自がどう生活していくべきか等々意識を深めて人間本来の自然にそって生きて行くことも大事かと存じます。(人の教育) (85～89 歳)
- 介護制度と障がい者（視覚）福祉サービスの連携が進むとよいと思う。(90～94 歳)

健康づくり・医療・介護予防について 35 件

- 現在、親の介護が優先で、なかなか自分のことを中心に生活できないが、区で開催してる体操がイベントに参加していきたいと思っています。(65～69 歳)
- 毎年、区民検診ですべての項目を検査できるよう希望。70 歳以降は胃カメラ、大腸カメラを毎年又は 2 年に 1 度無料で受診できるよう助成してほしい。腫瘍マーカーを全項目、無料になるよう助成してほしい。若しくは線虫検査を取り入れてほしい。(65～69 歳)
- 「なかの元気アップ体操ひろば」に参加してます。大変、楽しく、ありがたく思っています。募集の時は、来年 3 月までとなっておりましたが、次年度も是非お願い致します。(70～74 歳)
- 最近記憶しているはずの固有名詞が出てこないことが有ります。認知症の進行状態は自分では判断できないと思います。年に 1 回位認知症の状態を診断してくれるサポートが有るとありがたいです。(70～74 歳)
- 空きスペースの学校があり、高齢者が気楽に通える場に利用出来ると良いと思う。区民活動センターで行なっている高齢者向きの活動が分かりにくく、参加しにくい。(70～74 歳)
- シルバー世代が参加できる催しなどが他区に比べて少ない気がします。趣味のサークルや食事会、文化祭的なものなど。外出の機会が増えれば、より元気に過ごせると思います。(75～79 歳)
- 中野区内で様々な取組があることは広報などで承知しています。ただ江原町は区の端なので様々なイベントへの参加が難しく残念です。江古田地域活動センターの「カラオケげんき体操」への参加を楽しみにしています。介護予防事業が近所でもう少しあると、要支援要介護の認定を受けずもっと自立して長く生活出来ると思います。江古田地域活動センターには感謝しております。(90～94 歳)

区への要望について 31 件

- 気楽に腰かけたりできるベンチが道端等にあるといい。(65～69 歳)
- 福祉に関する職業に従事する人々の地位向上、待遇改善を望んでいる。(65～69 歳)
- 死後事務委任契約等を自治体主導でやって欲しい。(65～69 歳)
- バリア・フリーの街づくりをお願いします。(70～74 歳)
- 近場の沼袋小学校の廃校を利用して地域活動の項目に有るような事が出来れば幸いです。(80～84 歳)
- 高齢者のコーラスグループ。いけ花教室、手芸クラブなど参加したい方はかなりいらっしゃいます。月 2 回くらいであまりしぼりがなく、元気な時だけでも参加できるような会を区の主宰で開いていただきたいと思います。(85～89 歳)

情報提供・広報について 26 件

- 高齢者が利用できるサービスのリストがあればよいと思います。(65～69 歳)

- 社協、民生委員、アウトリーチ部隊、包括支援センター等の情報共有を進められたい（65～69 歳）
- 股関節変形症で仕事を退所した時に、地域包括支援センターの方に大変お世話になりました。手術をうけて現在は健康ですが、皆にもっと公共の支援とかを知ってもらいたい。（70～74 歳）
- 必要としている人が適切に福祉サービスを受けられるように、情報を更に提示して欲しい。（70～74 歳）
- 将来に備え、老人ホームを調べておきたいので、近辺のホームの比較ができるような資料が見られるといいと思っています。（80～84 歳）
- 利用出来る制度などは郵便などで案内してくれると参考になります。（90～94 歳）

健康福祉の相談窓口について 25 件

- ひとり身高齢者の最期や死後のことについていろいろ相談できるところが欲しい。入院や高齢者施設への入所時の保証人の問題、財産管理、死後の様々な対処など今からしっかりしておきたいが、何をどうしたらいいのか、どのくらい費用がかかりそうなのかわからない。（65～69 歳）
- ちょっとした健康相談、話せる出来る場所、人を紹介してほしい。出来れば、中部すこやかセンターにあると良いと思っています。（70～74 歳）
- 認知症、成年後見人についての相談窓口がどこにあるのか知りたいです。（90～94 歳）

将来の不安について 11 件

- 将来収入がなくても安心して暮らせる生活がしたい（年金だけでも）。（65～69 歳）
- 歩行が困難ですので、病院に行かなくなったらと心配してます（90～94 歳）
- 老々介護の状況がいつまで可能か心配です。（90～94 歳）

地域活動・コミュニティについて 11 件

- 高齢者が元気で日々過すには“栄養運動・地域のコミュニティ”が必要です。老人会等世話役の人がいないため会の継続がむずかしいとも聞きます。何とかしてあげてほしいです。よろしくお願いします。（75～79 歳）
- 取りまくコミュニティの人々と声がけ等出来るだけ最低限の接触は心がけております。（80～84 歳）
- シニアの地域活動の“場所”が、もっと気楽に確保できるように区の行政で取り計らってもらいたい。抽選で会場を取るのに苦労することが多い（85～89 歳）

経済的な生活の不安について 8 件

- 物価高なのに年金から介護保険料と健康保険料を引かれてたいへん苦しい。（70～74 歳）
- 今はまだ働いているので、気持ち&健康面でしっかりしているが、会社を辞めたら、今 1 人で頑張っていることができなくなり、人の支援に頼ることになるかと思います。その見極めをいつと見るかが、今後のテーマ、課題です。その節はよろしくお願いします。（75～79 歳）
- 物価が高くて年金だけの生活は大変苦しいです。生活援助金がほしいです。（85～89 歳）

訪問や見守りについて 4 件

- 75 才過ぎて 1 人ぐらしをしている人を定期的に 1 年に 1 回訪問して状態を聞き、励ます事。例えば重い荷物を持てなくなった人、又、足が弱くなった人を重点に。（75～79 歳）
- 核家族化進行に伴う「孤独死」の心配有り。現在、友人と「独居老人生存確認」として、朝夕電話連絡。（80～84 歳）

住まい・住宅の整備について 2 件

- マンション高級施設が次々建設されていますが、万人が入れる施設を増やしていただきたいものです。(80～84歳)

本調査について 26 件

- LINE や Facebook を使ったりオンラインでミーティングをしたりもしています。実際に会わなくてもそんなコミュニケーションを取っている人は多いのではないのでしょうか？ そんな質問も入れるべきと思いました。(70～74 歳)
- 役所の書類等の文字が小さいと思っていましたが、今回の調査の文字が大きくてわかりやすいのでとても良かったです。(マイナンバーの更新に行った時はとても読みづらかったので…)(75～79 歳)
- 高齢者について把握しようとしてくださりありがとうございます。回答しながら自分の希望や足りないことに自分で気づくこともあり、おもしろかったです。(75～79 歳)
- 本人が会話もままならない認知症のため、娘が代理で記入。そのため、予測でしかない回答もあり。判断力のなくなった本人の代理で記入する人向けの質問用紙が別にあると良いのでは？(80～84 歳)
- 質問内容を見たら、自分の内面、外面の健康状態を改めて再確認する機会に会えた事に感謝いたします。(85～89 歳)
- 自分に知識がないと、その問題はどこにどなたに尋ねればよいか、質問が出来ずお願いすることも困難だと思いました。(85～89 歳)
- 解答する者にとって質問の意味が良くない。質問する項目にもっと勉強する事、希望する。(90～94 歳)

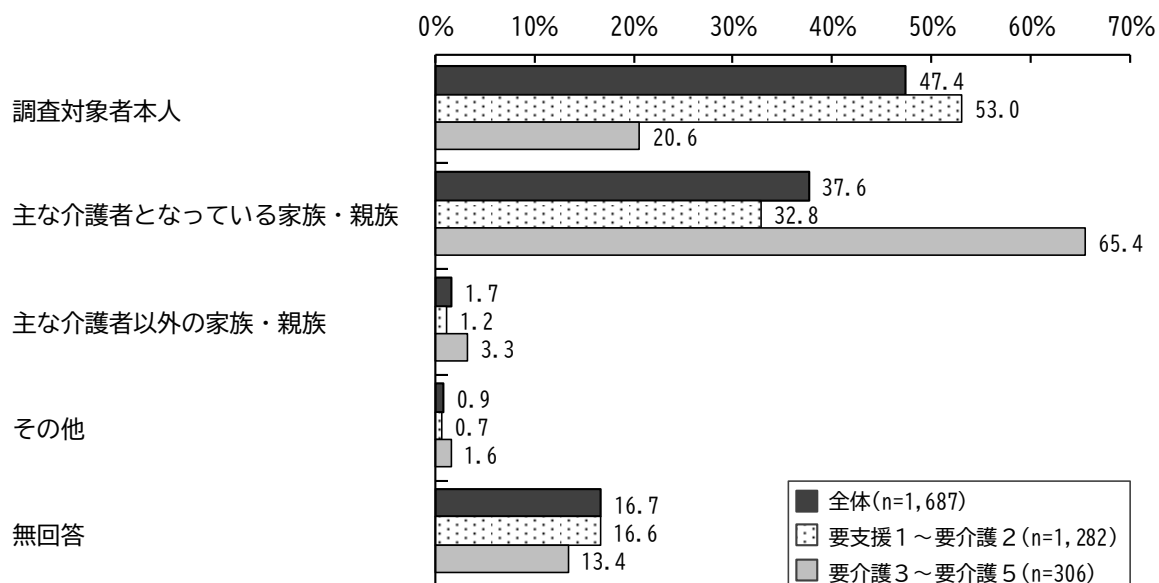
その他 57 件

- 自分は「意見がない」程の程度の困り感だったのかな…と思いました。これを機会にもう少し調べてみようと思います。目下家族と自分の世話ばかりに関心が集中していましたので…。(65～69 歳)
- 家族皆な健康のため、福祉行政のご厄介になっていません。地域の福祉についても知識不足です。遠からず福祉にお世話になると考えています。機会があれば福祉行政の知識を身につけたいと思っています。(80～84 歳)
- 高期高齢者がストレスを感じない世の中であってほしい。(85～89 歳)

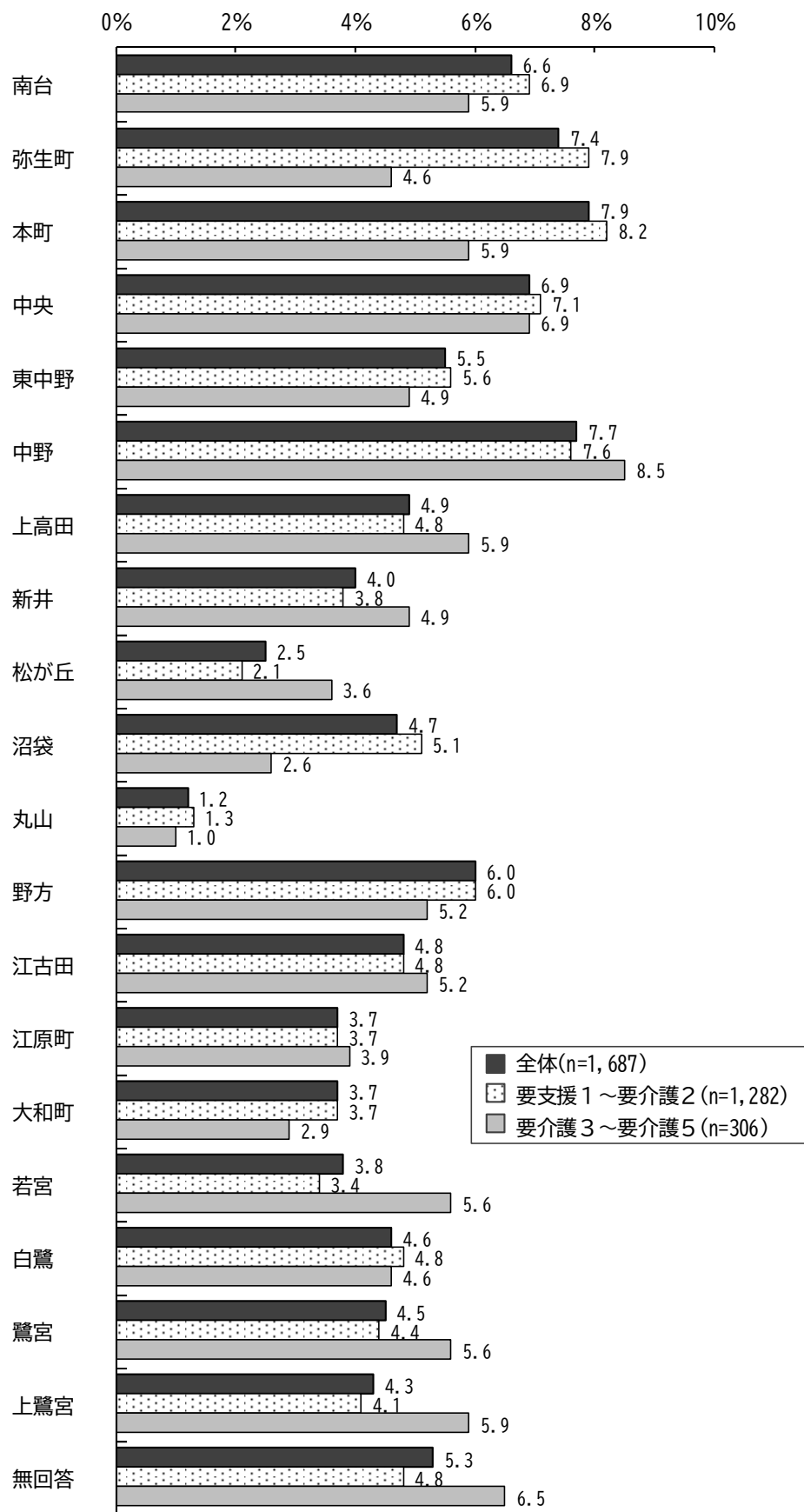
介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について

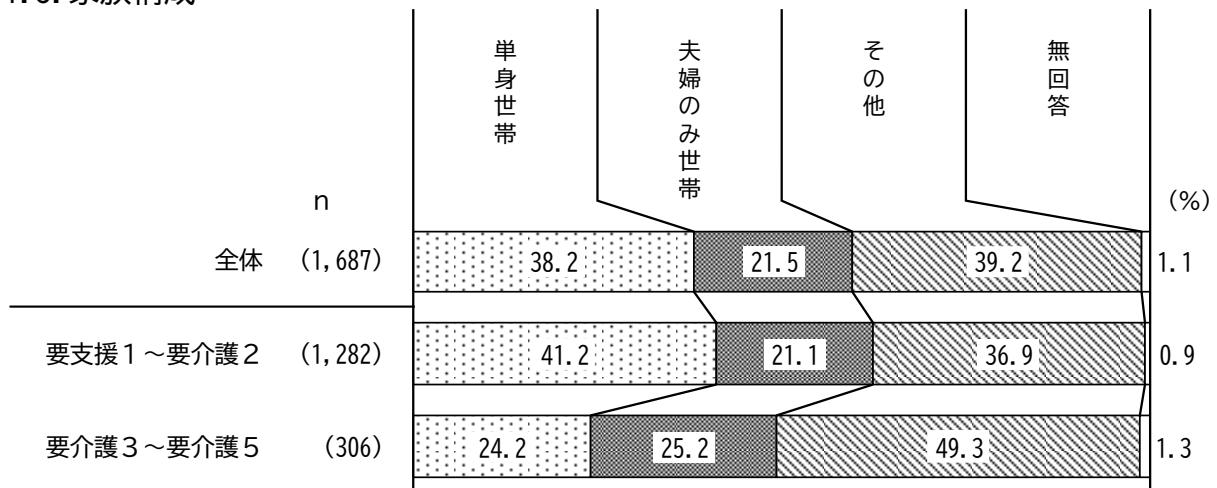
1.1. アンケートの回答者



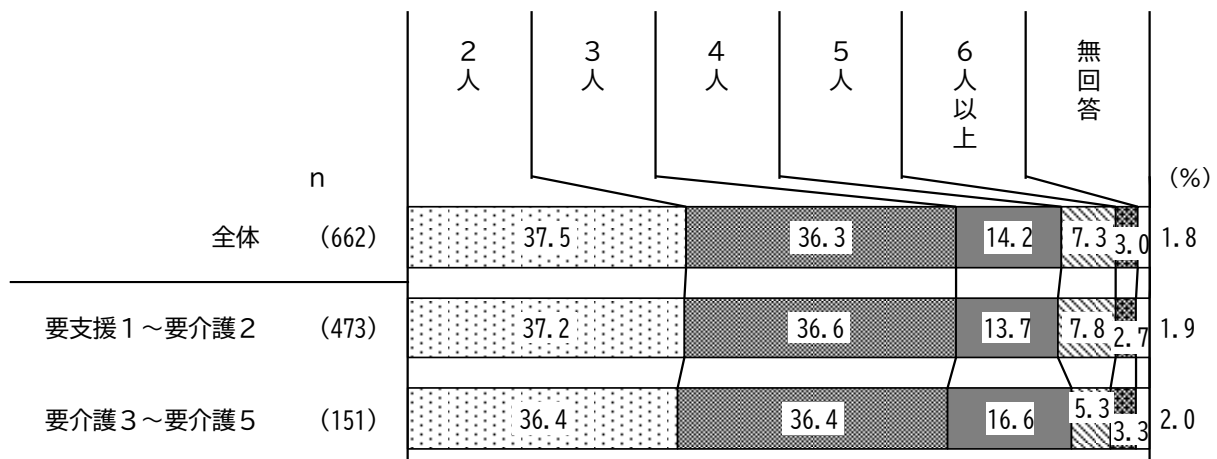
1.2. 居住地域



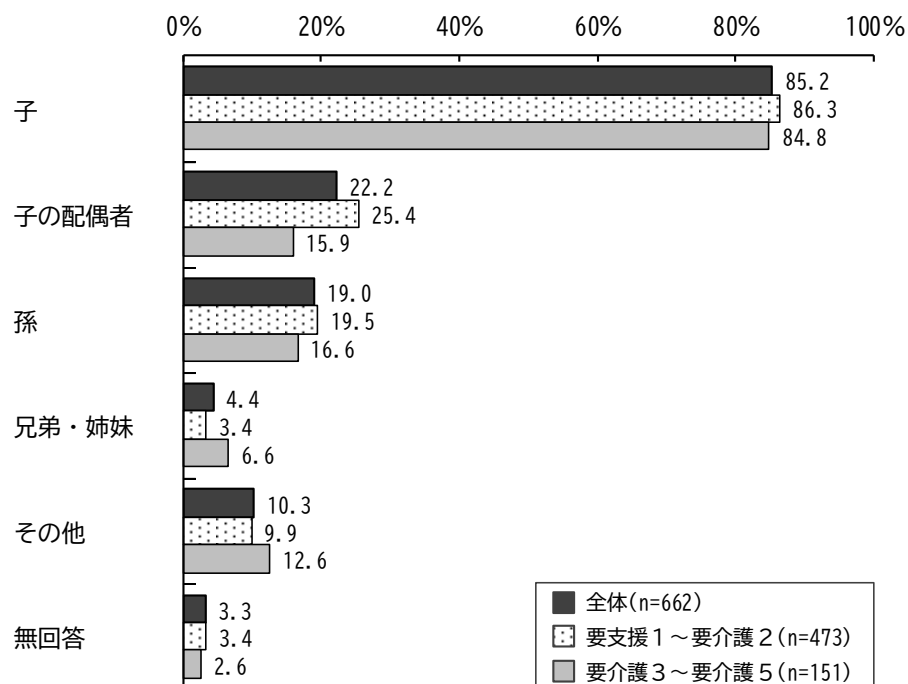
1.3. 家族構成



1.3.1. 家族の人数 (※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方)

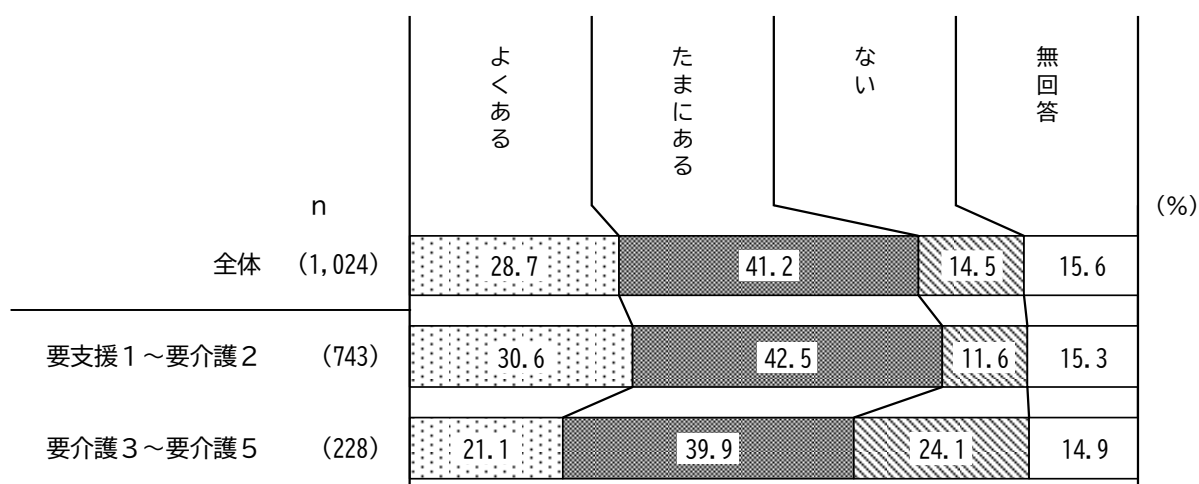


1.3.2. 同居家族の内訳 (※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方)



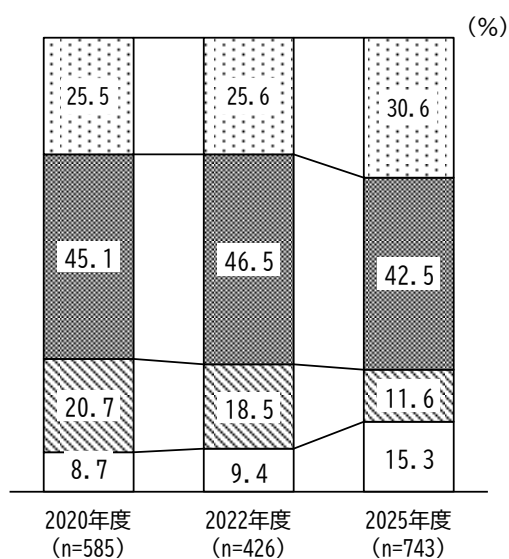
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無

(※「1.3. 家族構成」において、「夫婦のみ世帯」または「その他」とお答えの方)

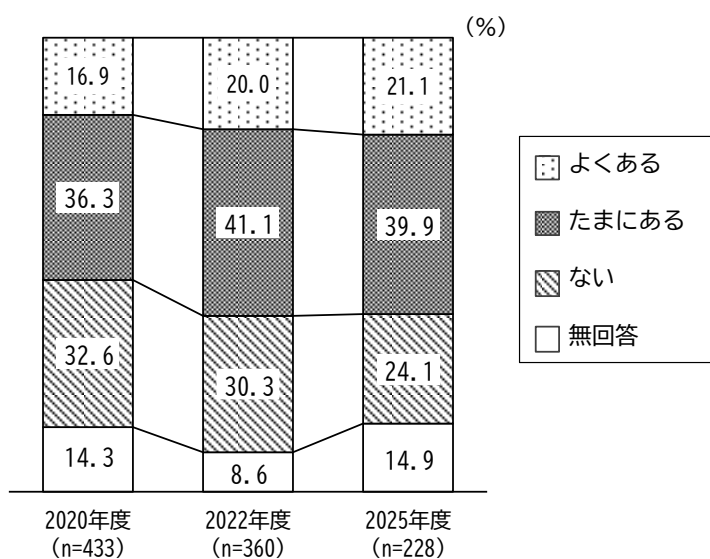


【経年比較】日中、ひとりになることの有無

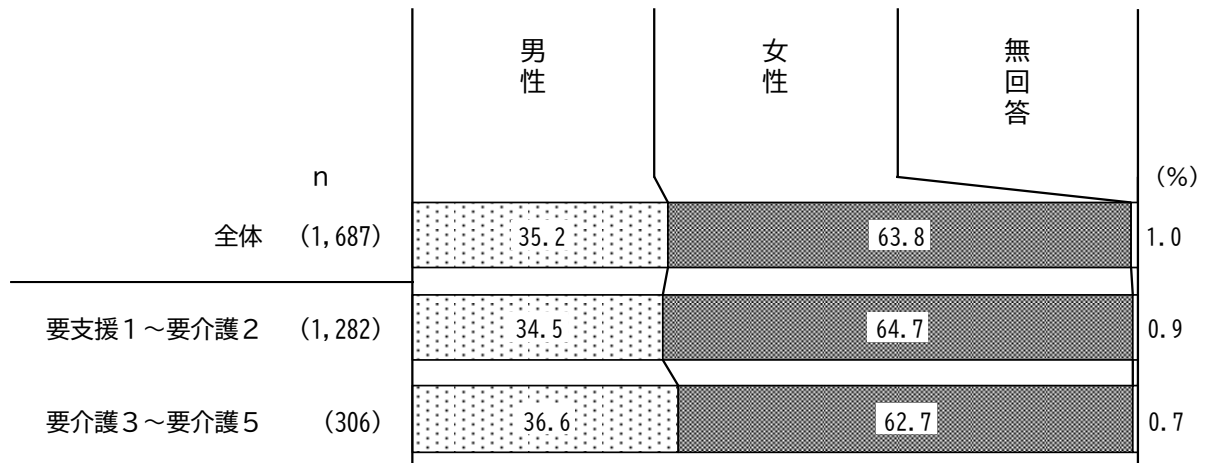
【要支援1～要介護2】



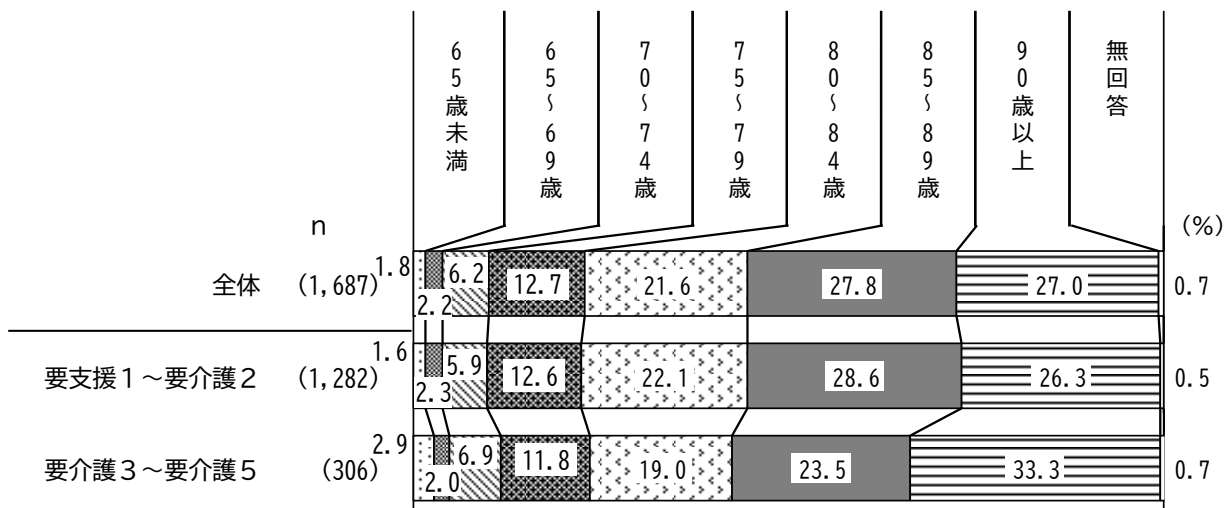
【要介護3～要介護5】



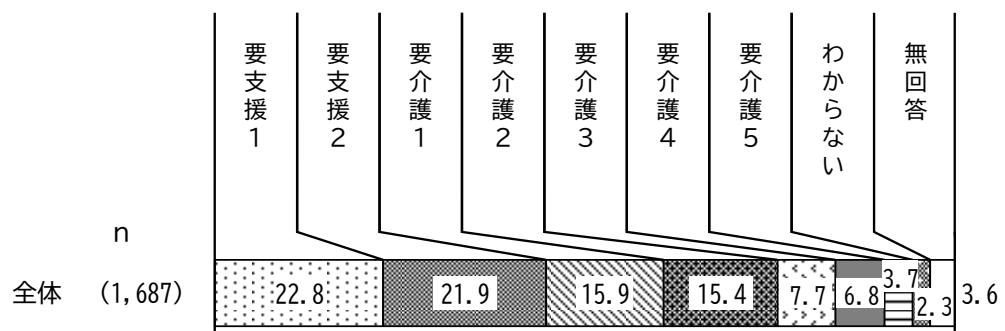
1.4. 性別



1.5. 年齢



1.6. 要介護度



1.6.1. 介護・介助が必要になった原因

◆ 「骨折・転倒」「認知症（アルツハイマー病等）」が2割台半ば

（問6で「要介護3」「要介護4」「要介護5」と回答した方に）

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。（複数選択可）

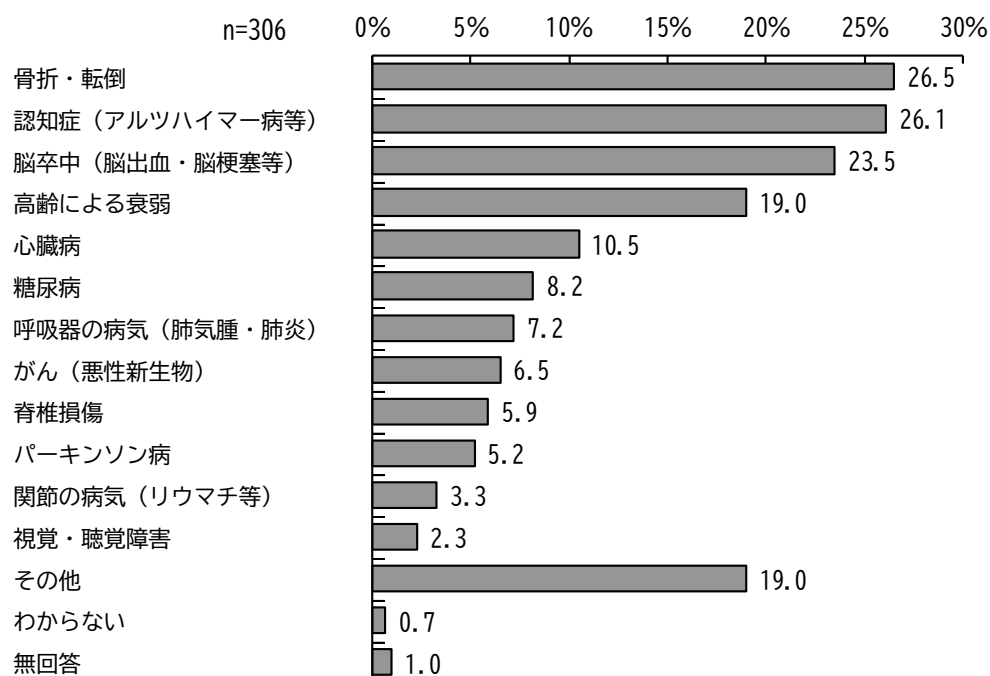


図 1-1 介護・介助が必要になった原因

全体では、「骨折・転倒」「認知症（アルツハイマー病等）」が2割台半ばで高くなっている。

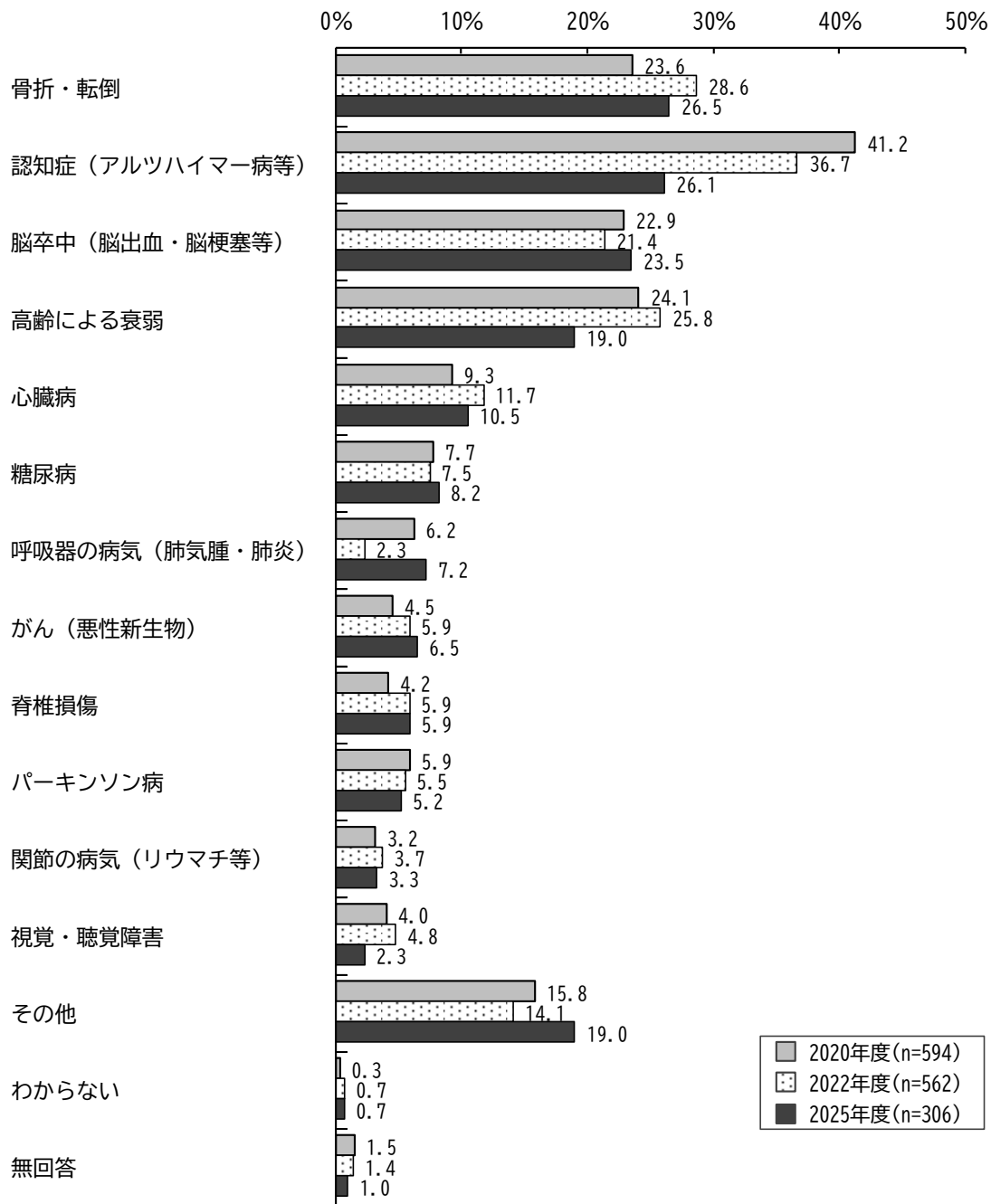


図 1-2 【経年比較】介護・介助が必要になった原因

経年比較では、2022 年度と比べて「認知症（アルツハイマー病等）」は 10.6 ポイント、「高齢による衰弱」が 6.8 ポイント減少しており、一方、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎）」は 4.9 ポイント増加している。

1.7. 住まいの種類

◆ 「持ち家（一戸建て）」が5割台前半

（全員の方に）

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。（1つを選択）

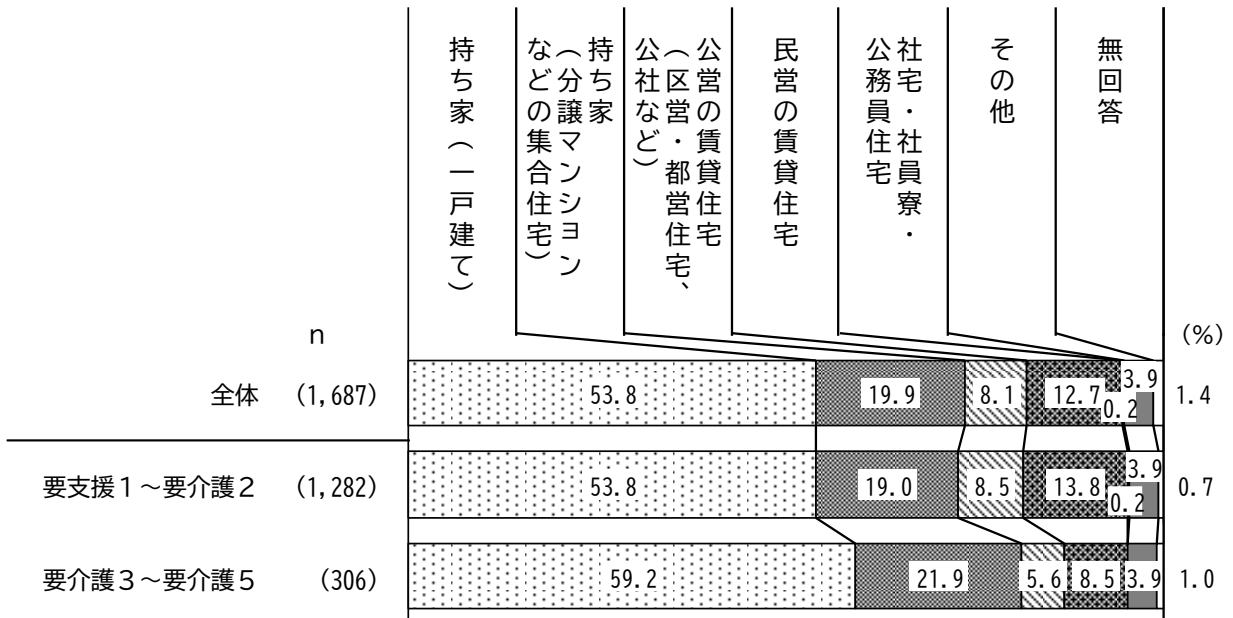


図1-3 住まいの種類

全体では、「持ち家（一戸建て）」が5割台前半を占めている。

要介護度では、要介護3～要介護5で「持ち家（一戸建て）」が約6割を占めている。

【要支援1～要介護2】

【要介護3～要介護5】

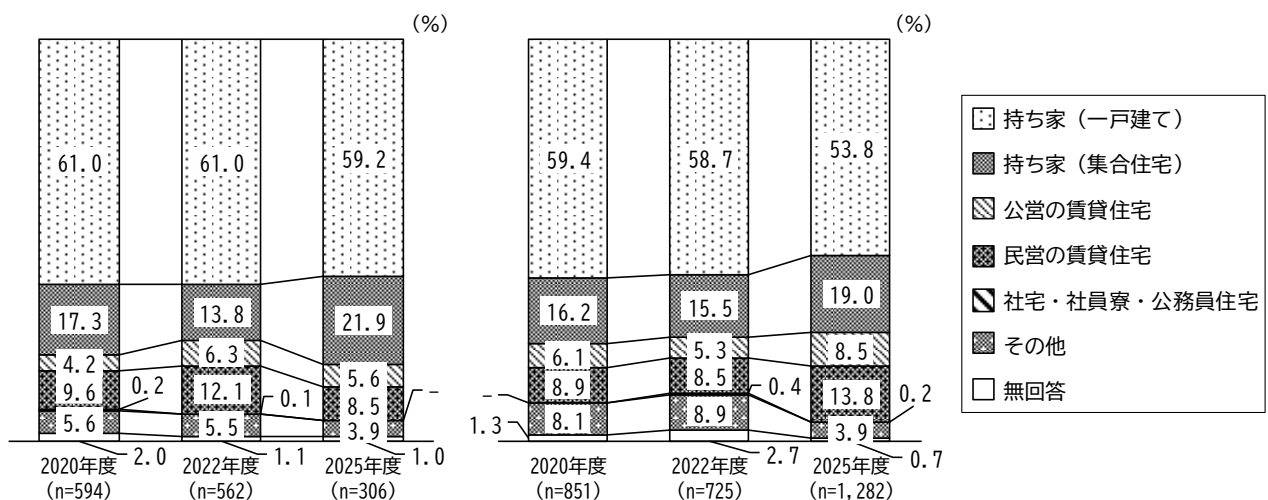
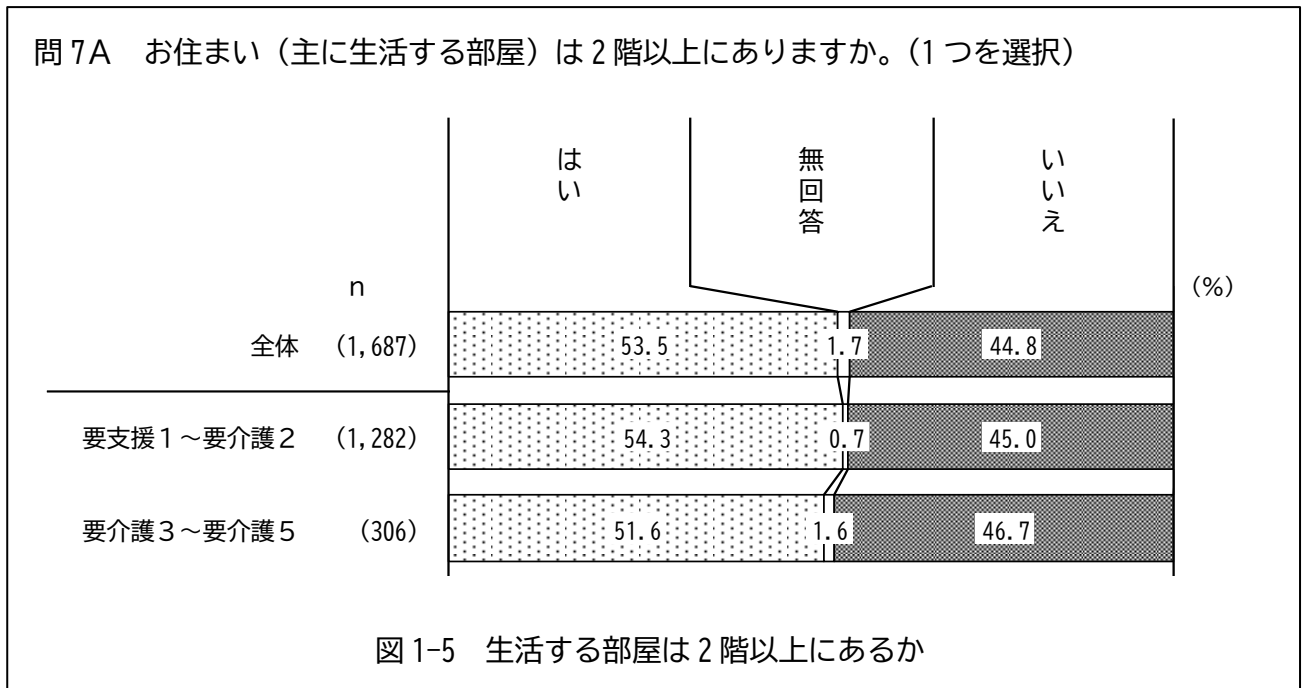


図1-4 【経年比較】住まいの種類

経年比較では、2022年度と比べて、いずれも「持ち家（集合住宅）」が増加している。

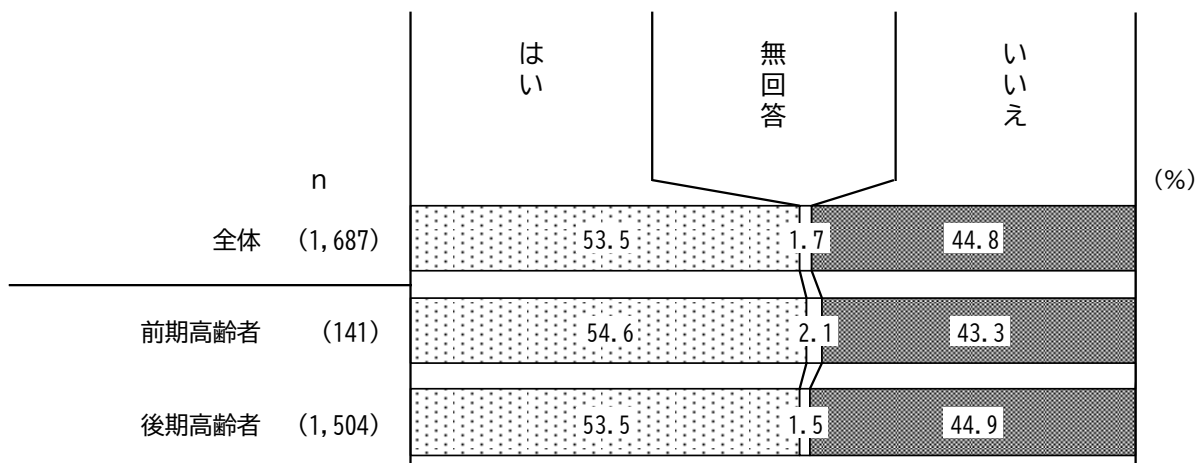
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか

◆ 「はい」が5割台前半



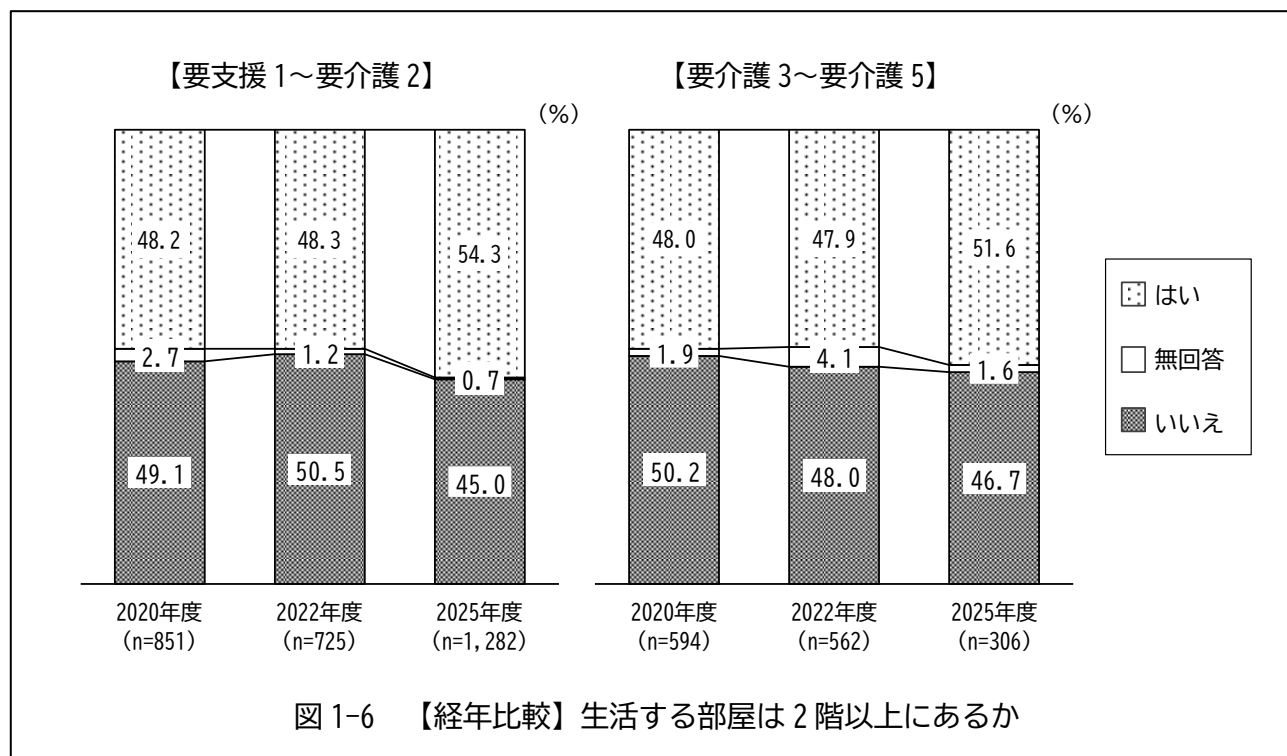
全体では、「はい」が5割台前半を占めている。
要介護度別では、大きな差異はみられない。

【前期・後期高齢者別】生活する部屋は2階以上にあるか



※65歳以上75歳未満の方を前期高齢者、75歳以上の方を後期高齢者に区分する。

前期・後期高齢者別では、「はい」は前期高齢者で5割台半ば、後期高齢者で5割台前半を占めている。



経年比較では、2022 年度と比べて、いずれも「はい」が増加している。

1.7.2. エレベーターの設置

◆ 「いいえ」が5割台半ば

(問7Aで「はい」と回答した方に)
問7B お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか。(1つを選択)

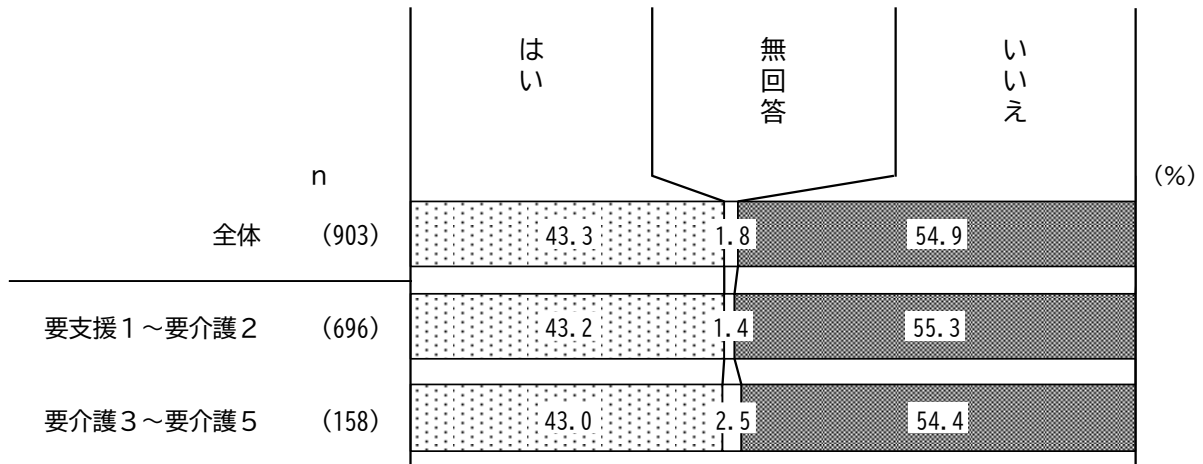


図1-7 エレベーターの設置

全体では、「いいえ」が5割台半ばを占めている。
要介護度別では、大きな差異はみられない。

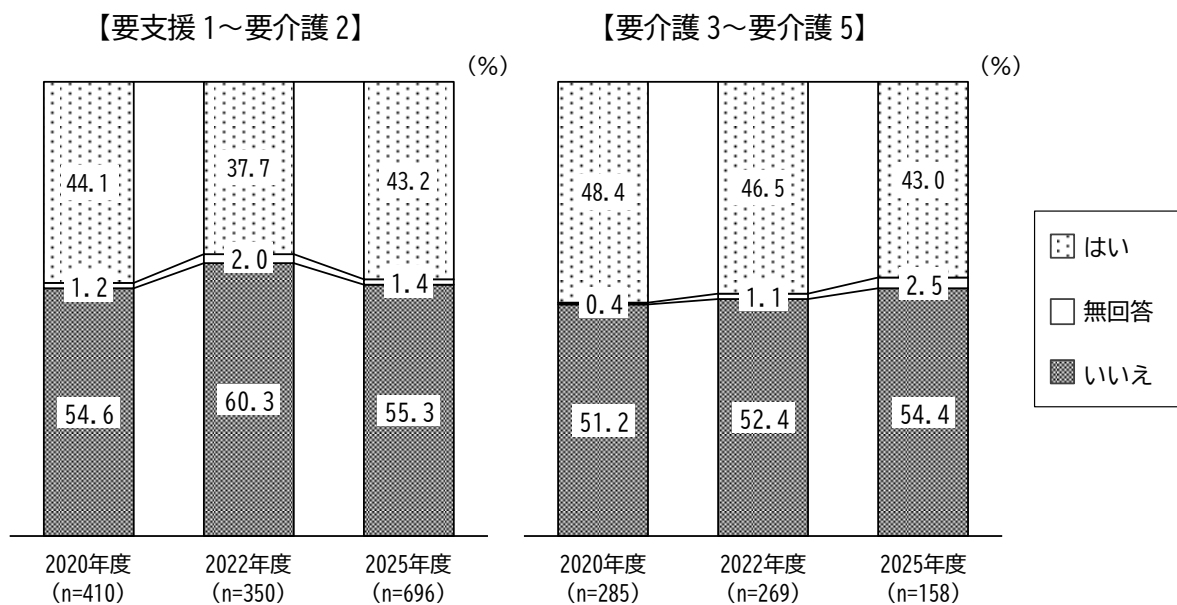


図1-8 【経年比較】エレベーターの設置

経年比較では、2022年度と比べて、要支援1～要介護2で「はい」が5.5ポイント増加している。

1.8. 介護を受けたい場所

◆ 「自宅」が6割台後半

(全員の方に)

問8 ご本人はどこで介護を受けたいと思っていますか。(1つを選択)

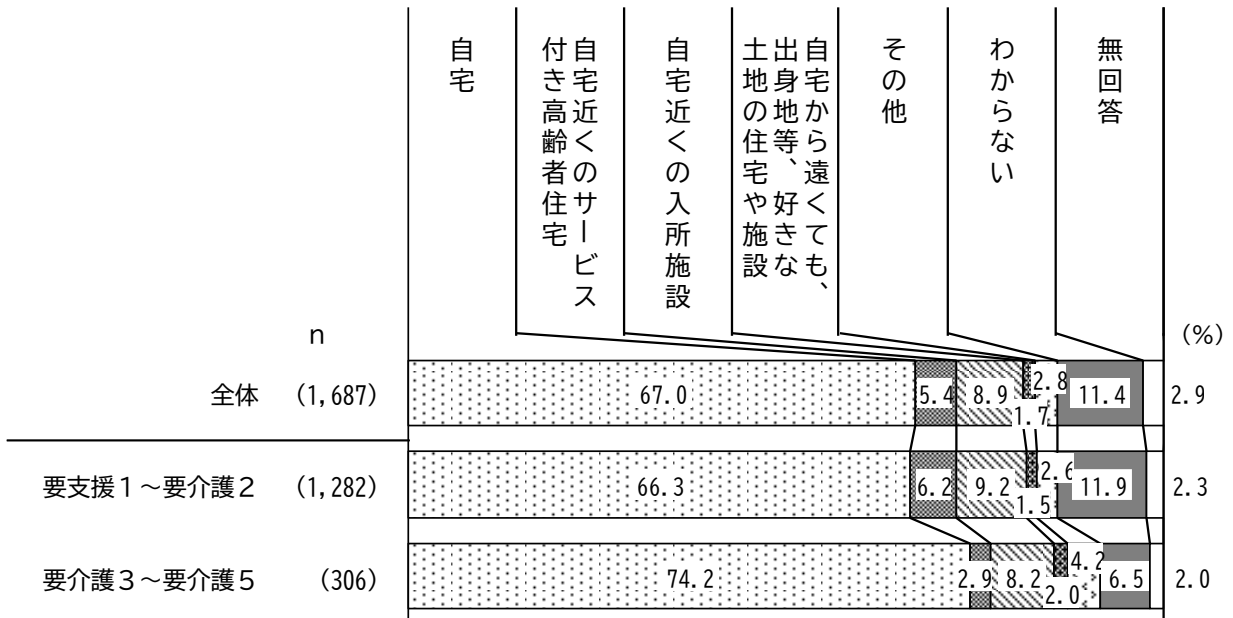
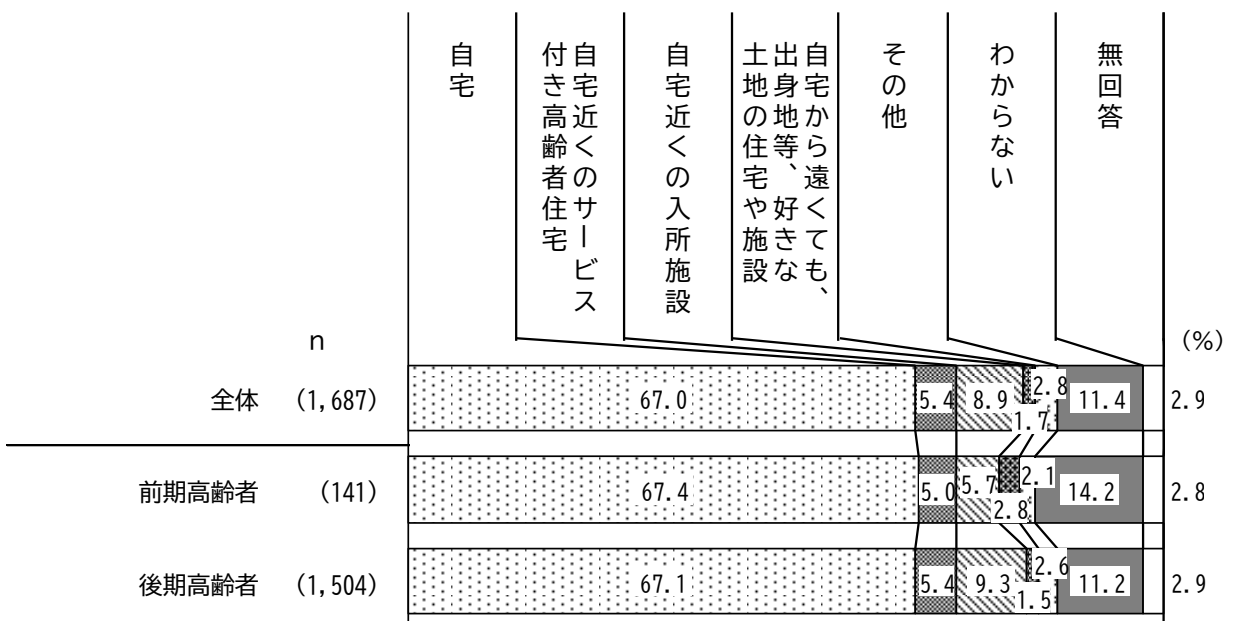


図1-9 介護を受けたい場所

全体では、「自宅」が6割台後半を占めている。

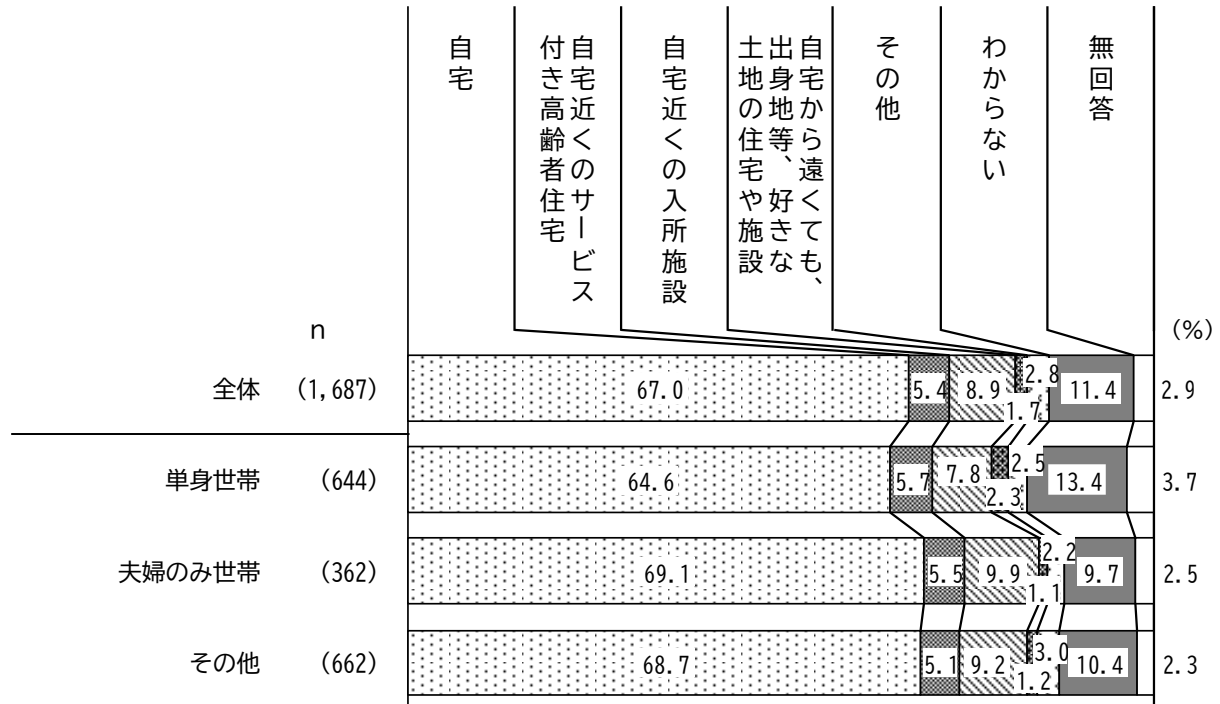
要介護度別では、要介護3～要介護5で「自宅」が7割台半ばを占めている。

【前期・後期高齢者別】介護を受けたい場所



前期・後期高齢者別では、いずれも「自宅」が6割台後半を占めている。

【家族構成別】介護を受けたい場所



家族構成別では、いずれも「自宅」が最も高く、夫婦のみ世帯では約7割を占めている。

【要介護3～要介護5】

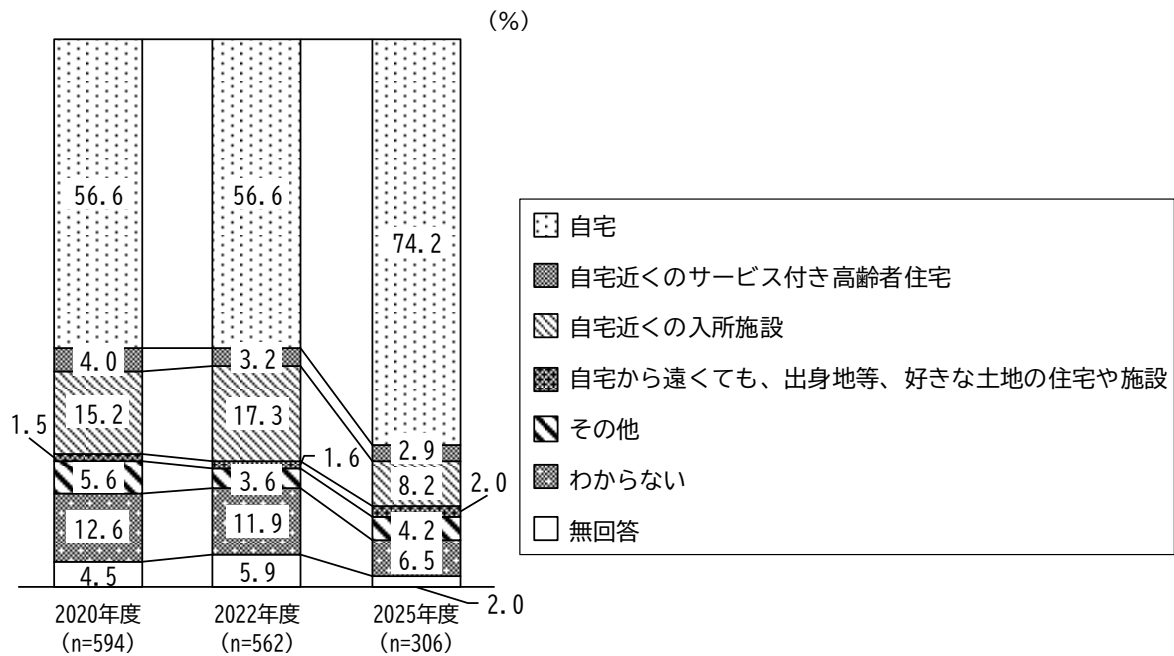


図 1-10 【経年比較】介護を受けたい場所

経年比較では、2022年度と比べて、「自宅」が17.6ポイント増加している。

1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況

◆ 「施設等への入所・入居は検討していない」が7割台前半

(全員の方に)

問 8A 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1 つを選択)

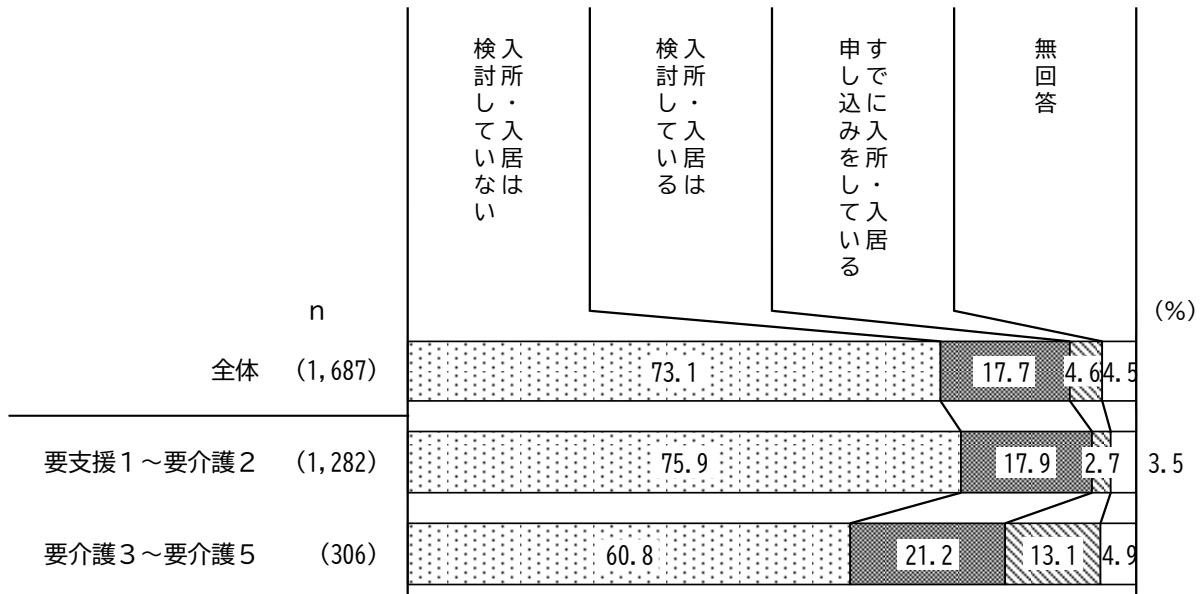
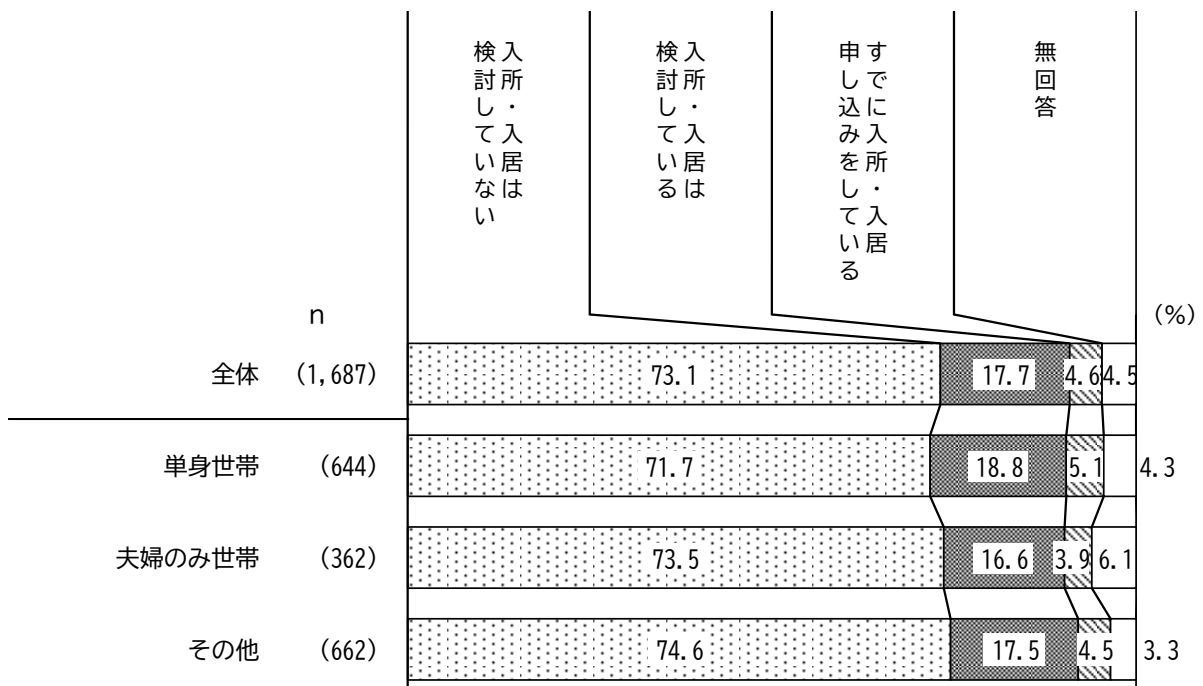


図 1-11 施設等への入所・入居の検討状況

全体では「入所・入居は検討していない」が7割台前半を占めている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で「入所・入居は検討していない」が7割台半ばを占めている。

【家族構成別】施設等への入所・入居の検討状況



家族構成別では、大きな差異はみられない。

1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由

◆ 「介護する家族の心身の負担が大きい」が6割台前半

(問8Aで「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答した方に)

問8B 施設等への入所・入居を検討した理由は何ですか。(複数選択可)

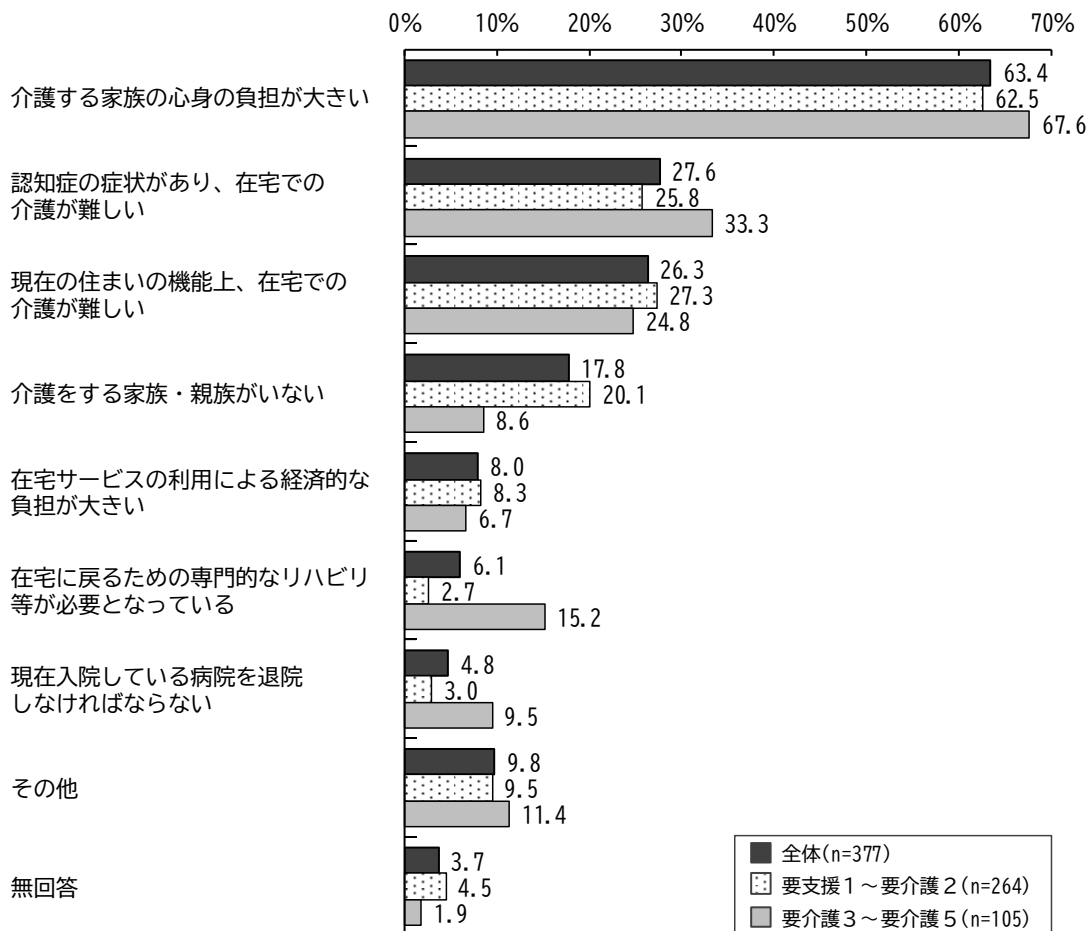


図 1-12 施設等への入所・入居を検討した理由

全体では、「介護をする家族の心身の負担が大きい」が6割台前半となっている。

要介護度別では、いずれも「介護をする家族の心身の負担が大きい」が最も高くなっている。

1.9. 現在抱えている傷病

◆ 「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「認知症」が2割

（全員の方に）

問9 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

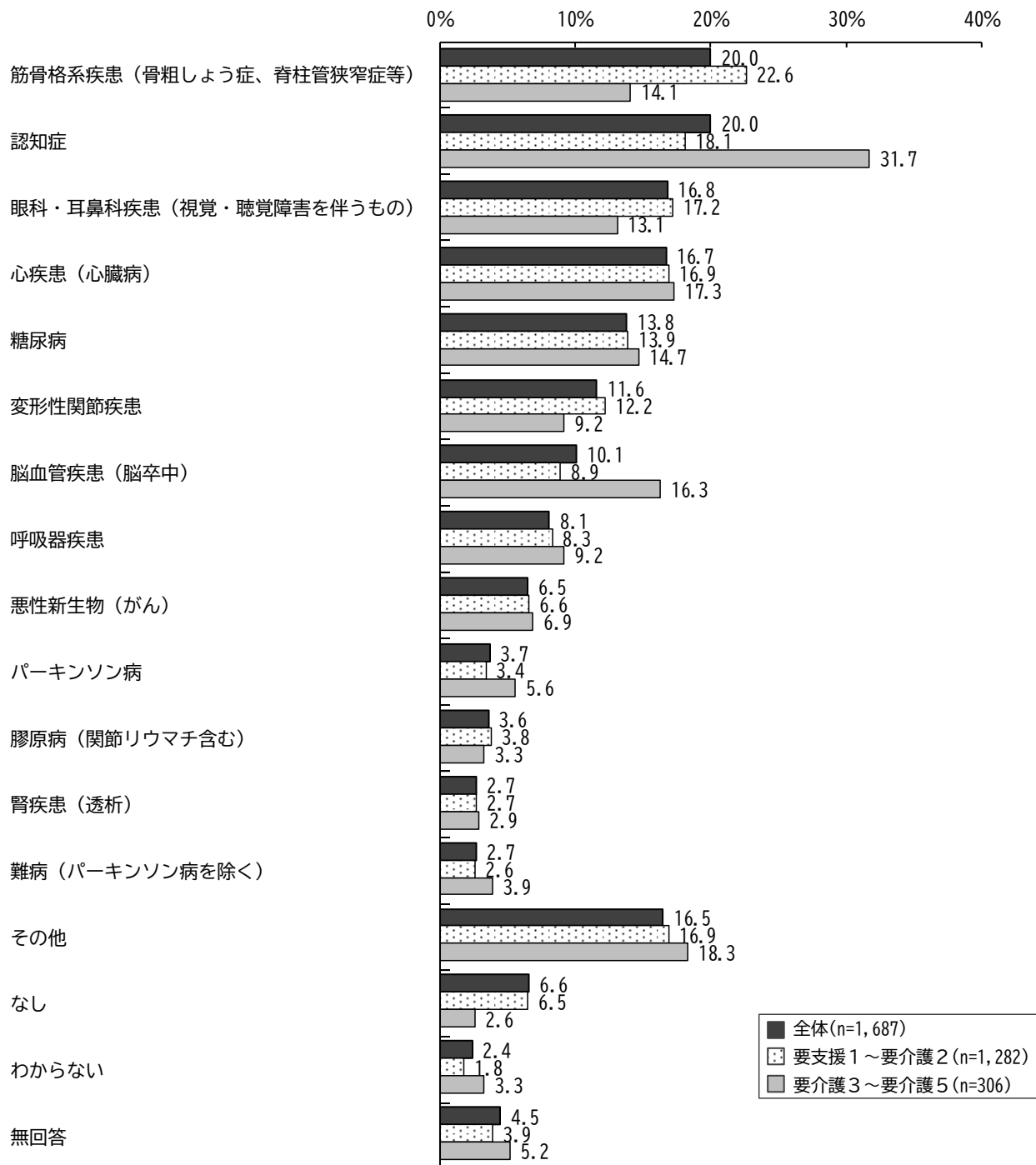


図1-13 現在抱えている傷病

全体では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「認知症」が2割で最も高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「認知症」が約3割で最も高くなっている。

【要介護度別】現在抱えている傷病

単位：％

	有効回答数（件）	筋骨格系疾患 （骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等）	認知症	眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を伴うもの）	心疾患（心臓病）	糖尿病	変形性関節疾患	脳血管疾患（脳卒中）	呼吸器疾患	悪性新生物（がん）
全体	1,687	20.0	20.0	16.8	16.7	13.8	11.6	10.1	8.1	6.5
要支援1	384	22.1	4.4	20.8	16.9	14.6	15.9	7.0	9.9	5.2
要支援2	370	28.6	4.6	17.3	18.9	12.7	13.8	8.9	8.4	6.2
要介護1	269	13.4	44.2	14.9	11.9	13.8	8.9	10.8	6.3	5.2
要介護2	259	24.3	30.5	14.3	19.3	14.7	8.1	9.7	7.7	10.8
要介護3	130	12.3	33.8	10.8	20.0	16.2	9.2	14.6	6.9	6.9
要介護4	114	16.7	31.6	14.0	14.9	14.9	12.3	20.2	9.6	4.4
要介護5	62	12.9	27.4	16.1	16.1	11.3	3.2	12.9	12.9	11.3
わからない	39	2.6	7.7	25.6	17.9	12.8	10.3	5.1	5.1	10.3

	有効回答数（件）	パーキンソン病	膠原病（関節リウマチ含む）	腎疾患（透析）	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体	1,687	3.7	3.6	2.7	2.7	16.5	6.6	2.4	4.5
要支援1	384	2.1	5.7	1.3	2.3	16.1	9.4	1.6	3.4
要支援2	370	3.0	3.2	4.1	2.2	17.0	7.6	1.4	5.4
要介護1	269	4.1	1.9	1.5	3.3	14.9	5.6	3.0	3.7
要介護2	259	5.4	3.9	4.2	2.7	20.1	1.5	1.5	2.7
要介護3	130	4.6	5.4	2.3	2.3	18.5	4.6	3.1	3.8
要介護4	114	5.3	1.8	3.5	3.5	17.5	0.9	1.8	6.1
要介護5	62	8.1	1.6	3.2	8.1	19.4	1.6	6.5	6.5
わからない	39	-	-	2.6	2.6	10.3	25.6	5.1	2.6

要介護度別では、要支援1～2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、要介護1～要介護5では「認知症」が最も高くなっている。

1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

◆ 「看護小規模多機能型居宅介護」「小規模多機能型居宅介護」が3割台半ば

(全員の方に)

問 10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

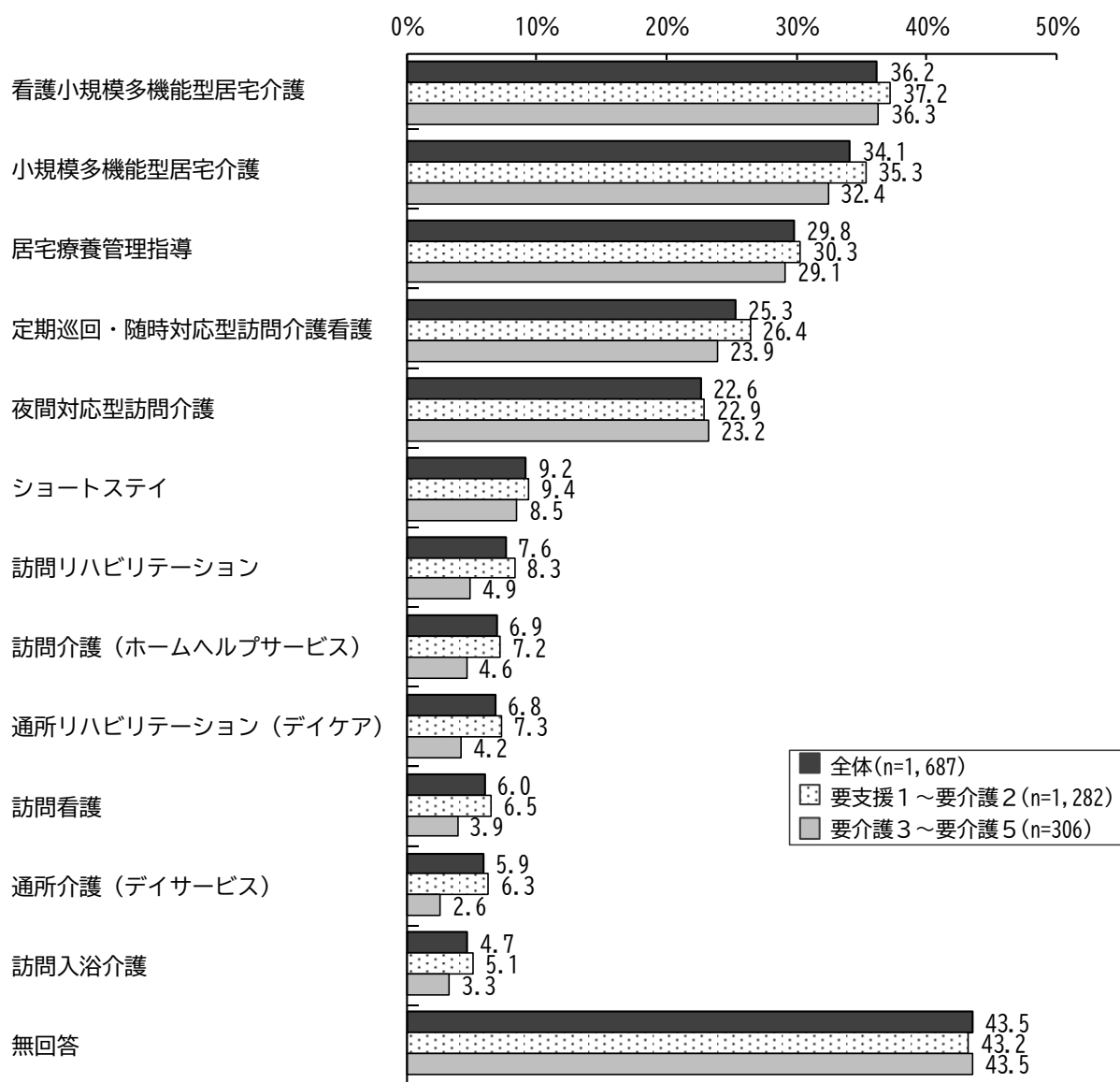


図 1-14 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

全体では、「看護小規模多機能型居宅介護」と「小規模多機能型居宅介護」が3割台半ばで高く、次いで「居宅療養管理指導」が約3割となっている。

要介護度別では、「夜間対応型訪問介護」以外、要介護3～要介護5で各サービスの認知度が低くなっている。

1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）

◆ 「利用した」が6割台半ば

（全員の方に）

問11 令和7年10月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1つを選択）

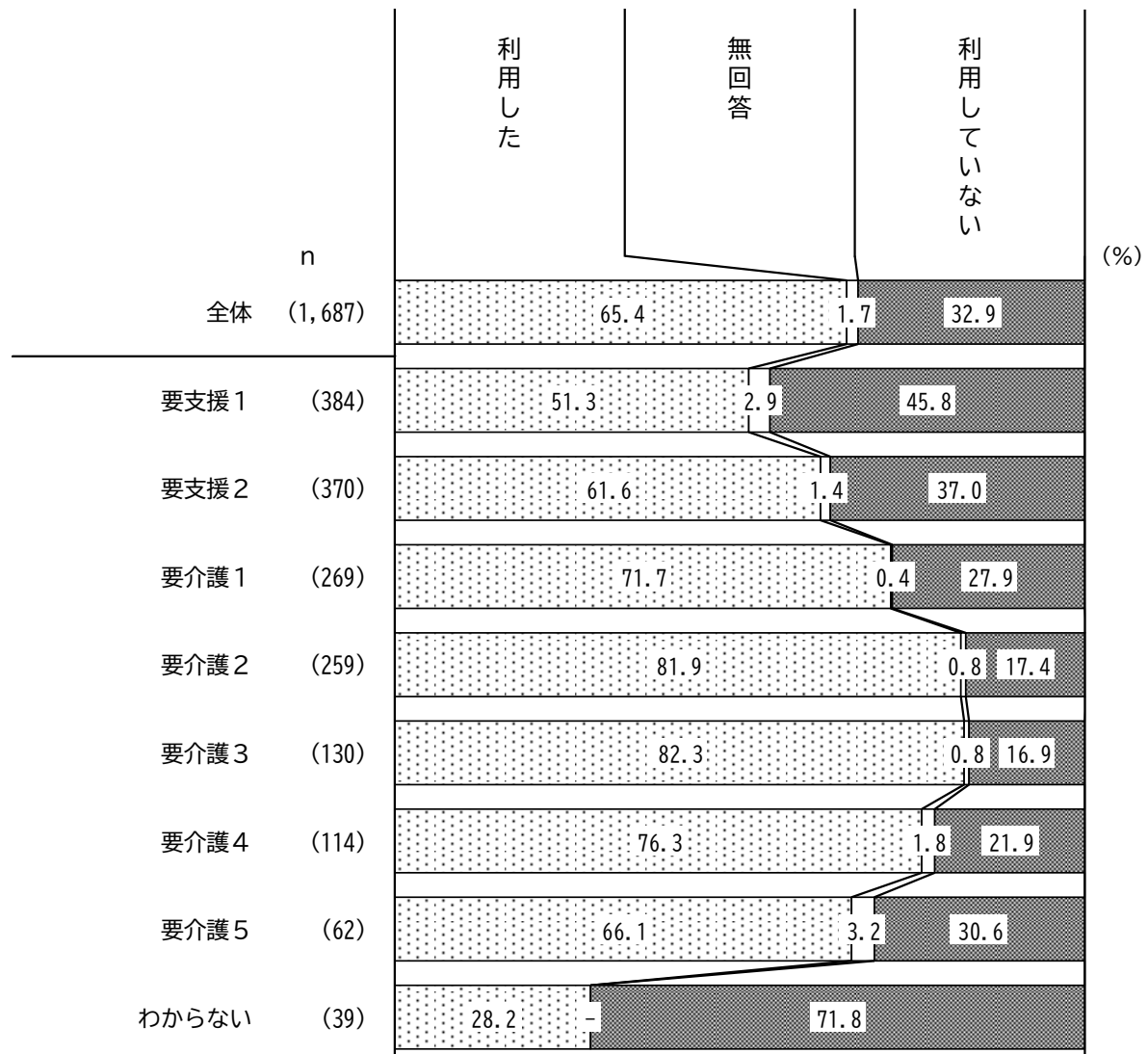
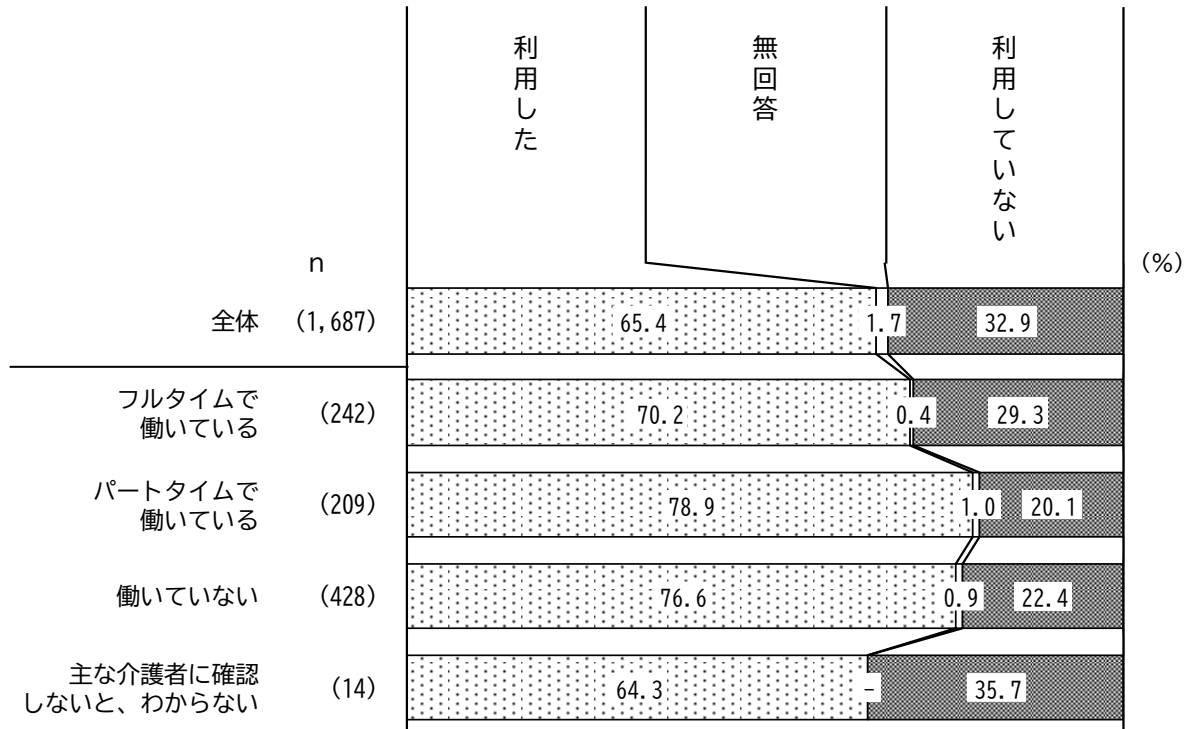


図1-15 介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）

全体では、「利用した」が6割台半ばとなっている。

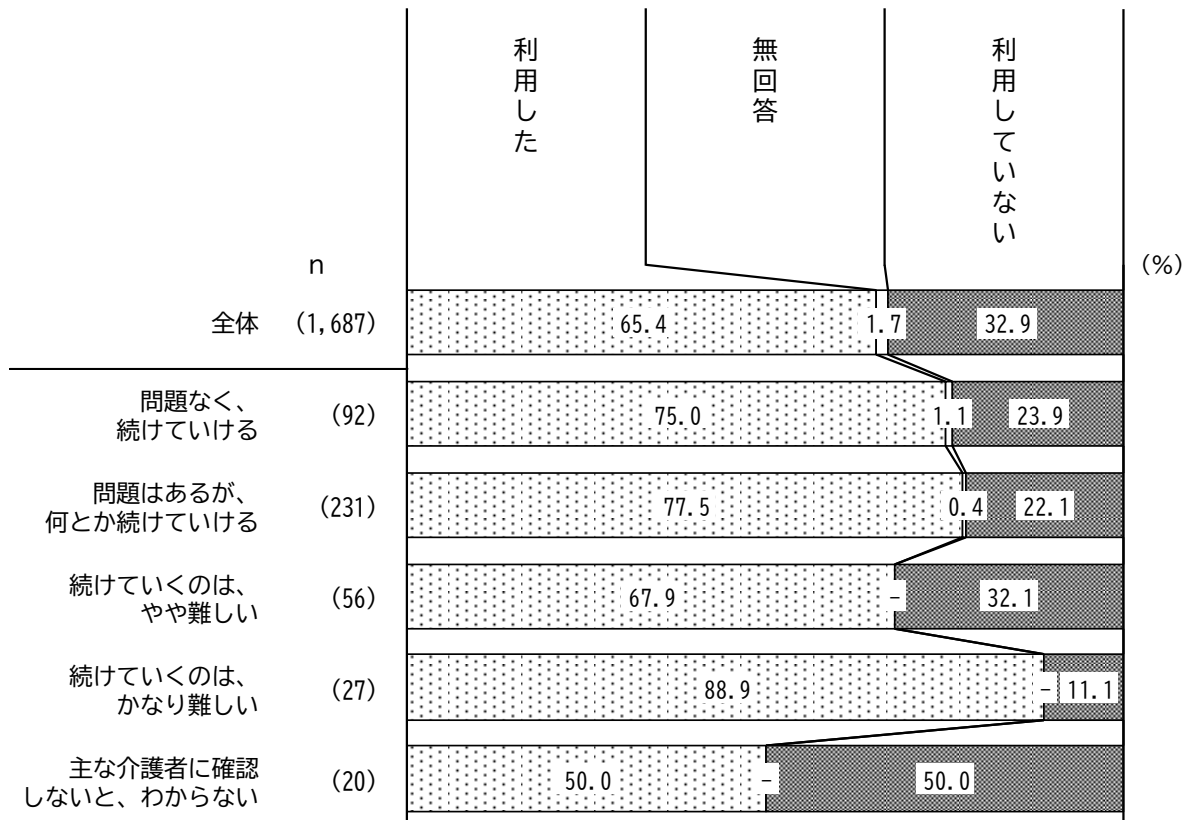
要介護別では、「利用した」が要介護2では約8割、要介護3では8割台前半を占めている。

【介護者の就労形態別】介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）



介護者の就労形態別では、フルタイムで働いているは「利用していない」が約3割を占めている。

【就労している介護者の今後の介護の見通し別】介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）



就労している介護者の今後の介護の見通し別では、続けていくのは、かなり難しいと回答した人では「利用した」が8割台後半を占めている。

1.12. 介護保険サービス

1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和7年10月）

◆ 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、ショートステイで、「利用していない」が約6割

（問11で「利用した」と回答した方に）

問12A 以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つを選択）

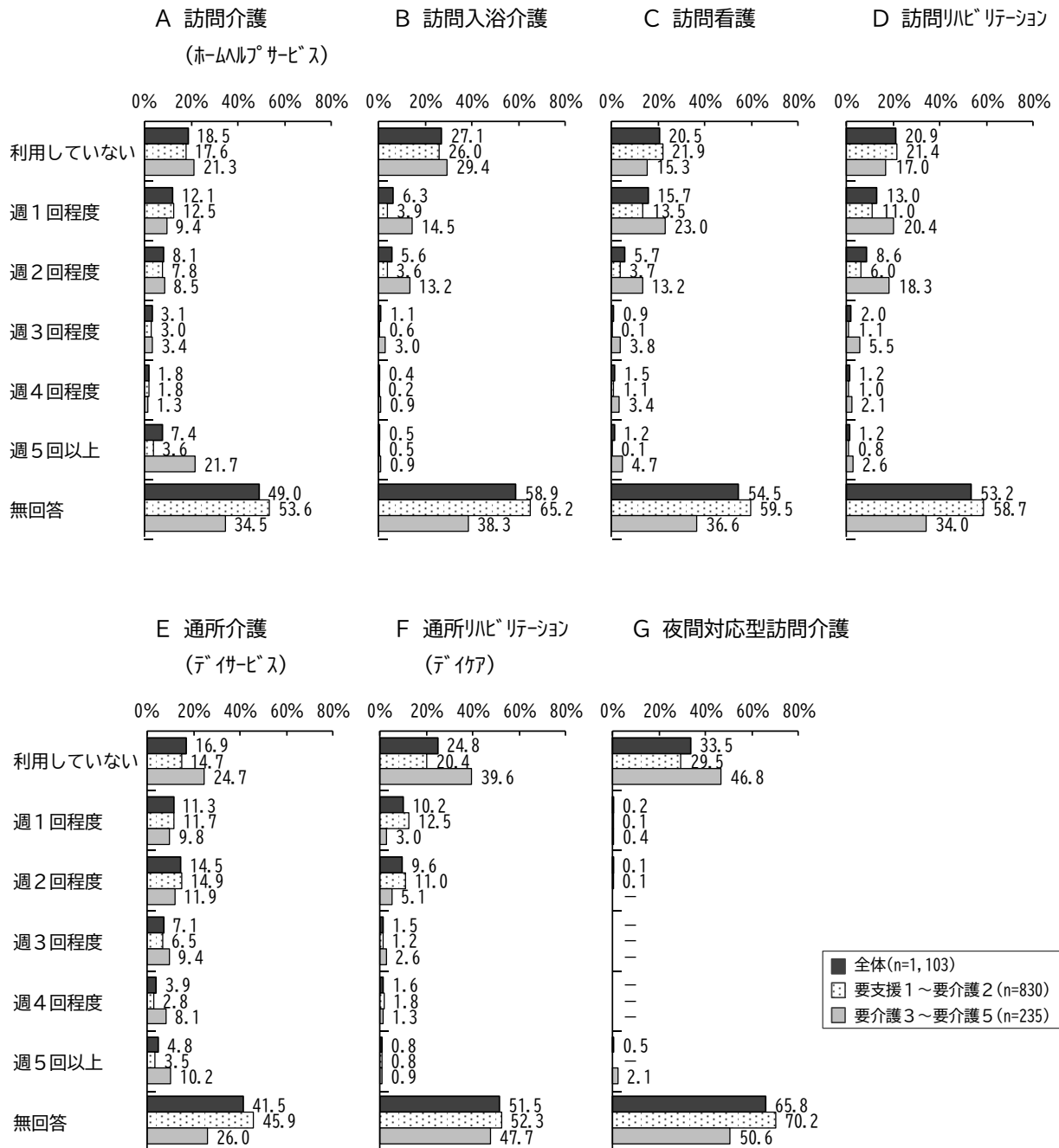


図1-16 介護保険サービスの利用状況（令和7年10月）

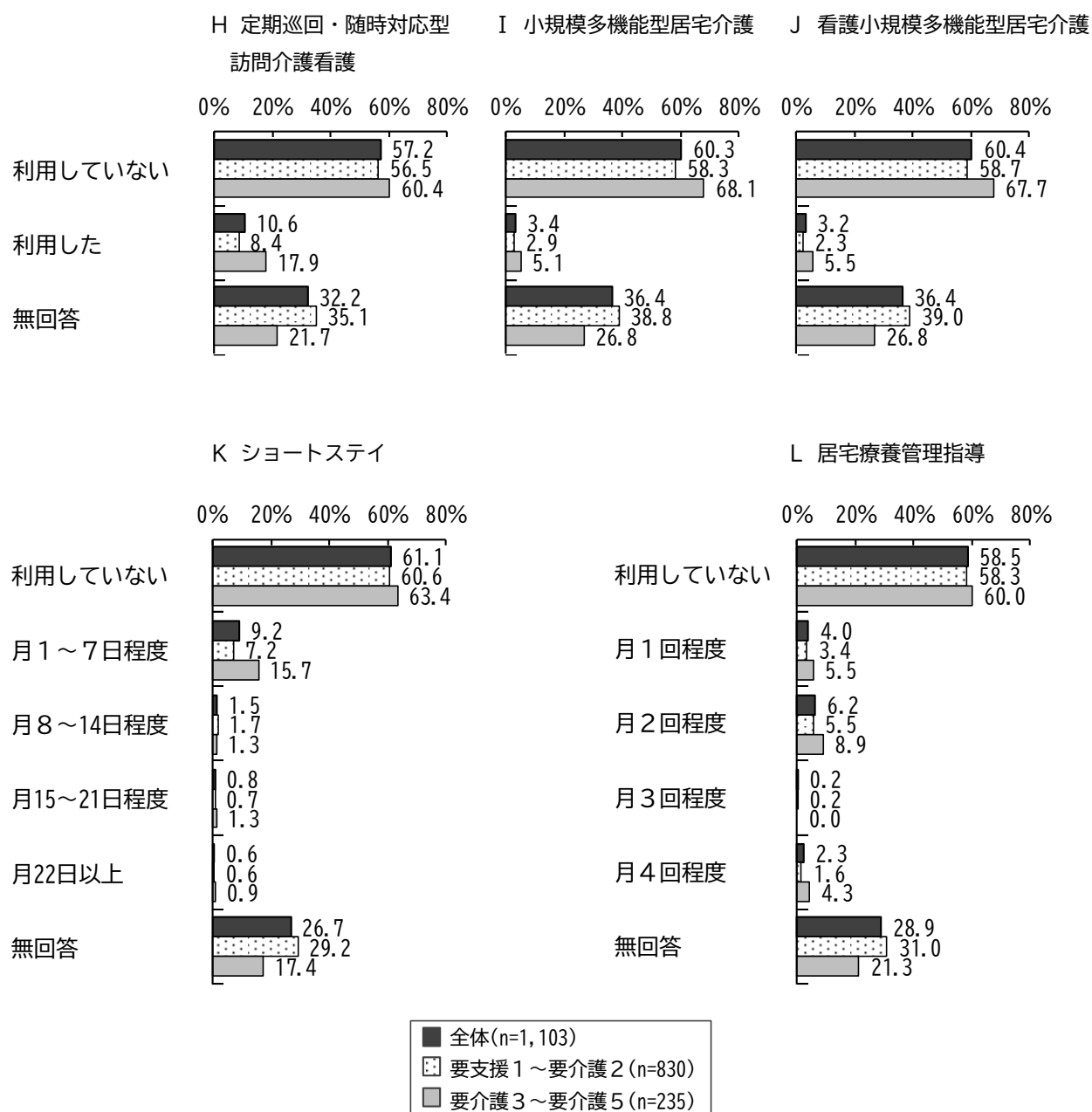


図 1-16 介護保険サービスの利用状況（令和 7 年 10 月）（続き）

全体では、いずれのサービスも「利用していない」が最も高くなっている。

利用のあるサービスでは、通所介護、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションなどが高くなっている。

1.12.2. ケアプランへの不満

◆ 「不満な点はない」が約5割

(問11で「利用した」と回答した方に)

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。
(複数選択可)

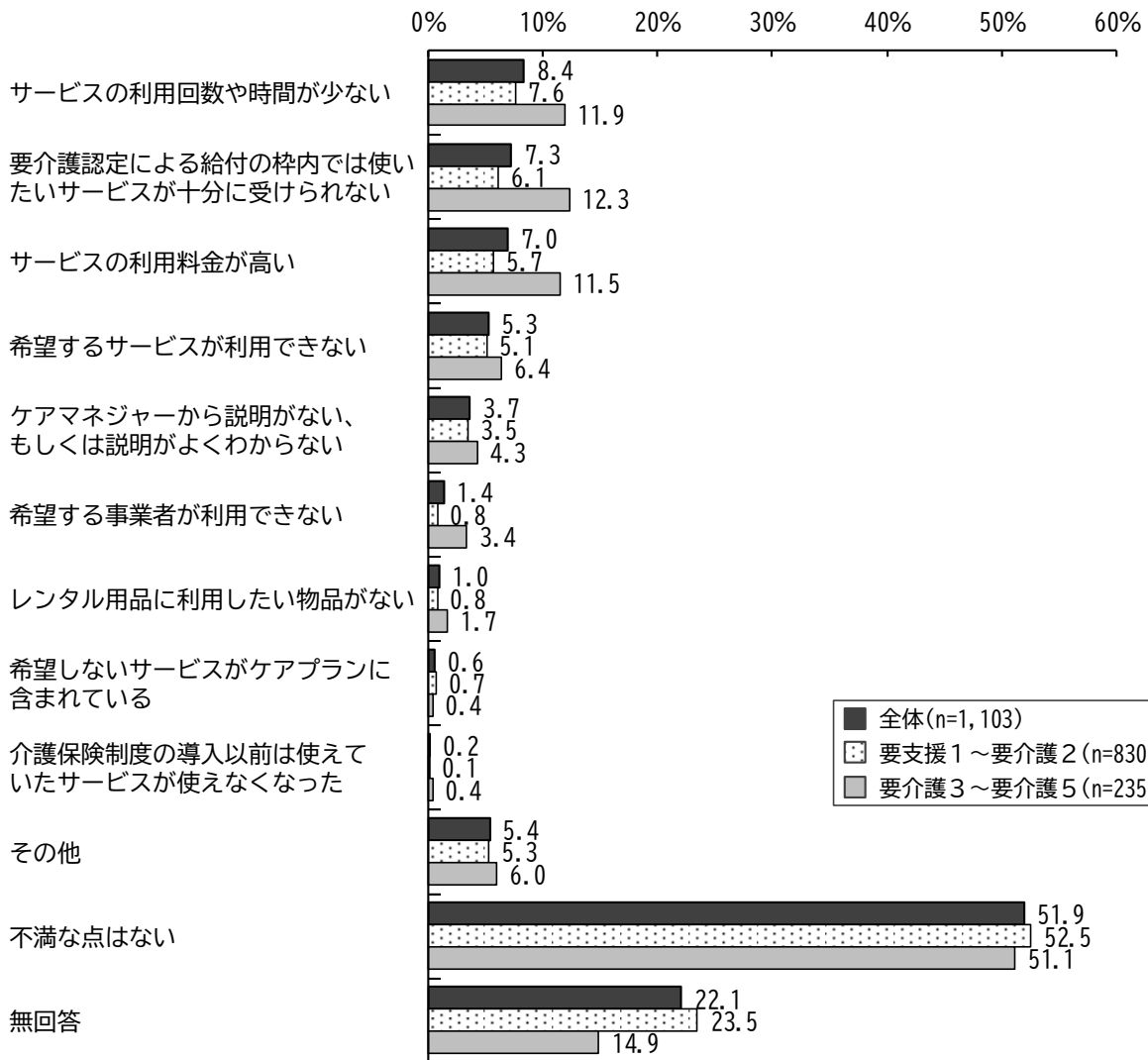
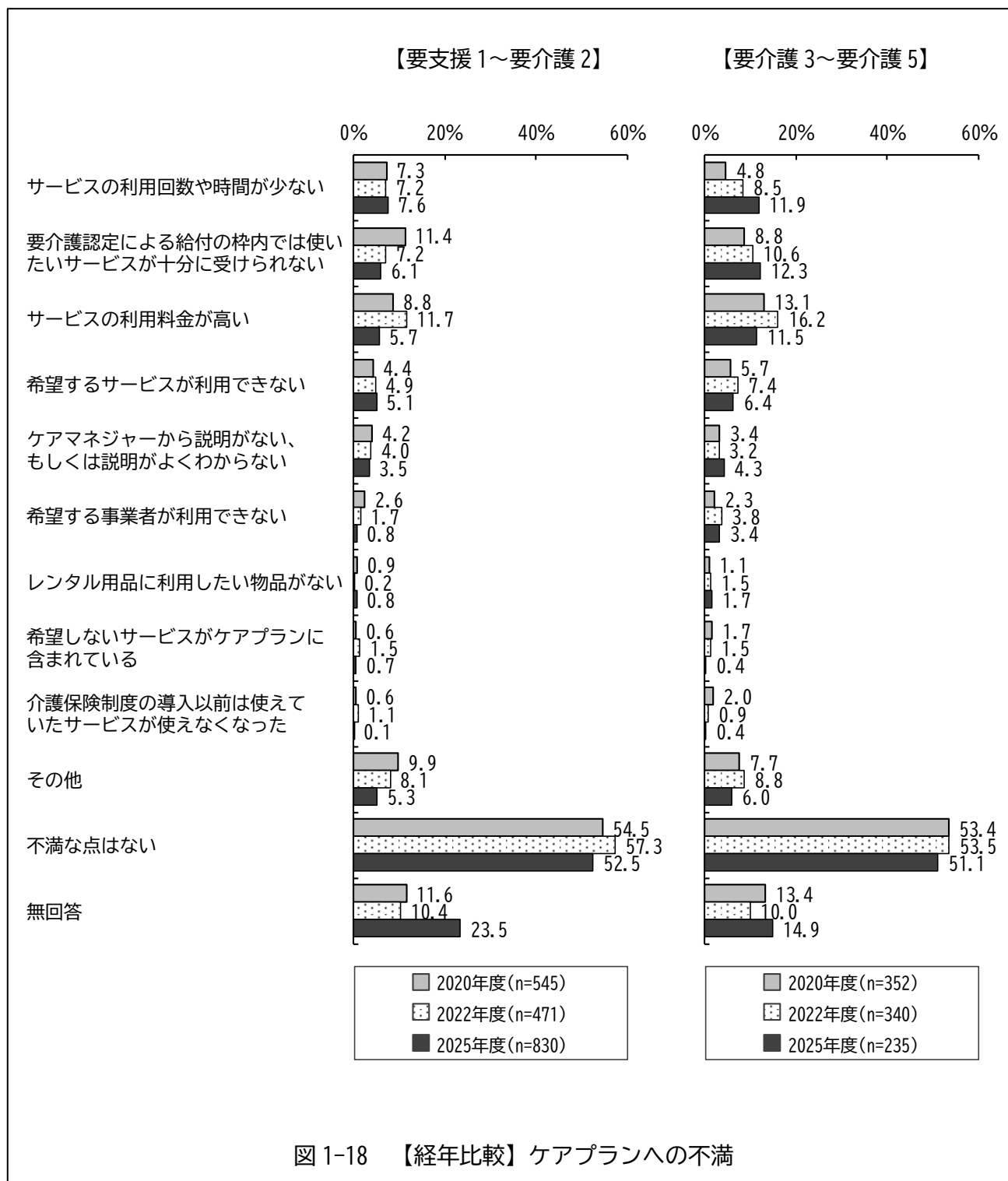


図1-17 ケアプランへの不満

全体では、「不満な点はない」が約5割を占めている。

不満と思うことは、「サービスの利用回数や時間が少ない」が最も多く、次いで「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」となっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で上位3項目が1割を超えて高くなっている。



経年比較では、要支援 1～要介護 2 と要介護 3～要介護 5 とともに、いずれの年度も「不満な点はない」が 5 割台となっている。

一方、要介護 3～要介護 5 で「サービスの利用回数や時間が少ない」と「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」が年々増加している。

1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由

◆ 「まだ必要でない」が3割台後半

(問11で「利用していない」と回答した方に)

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

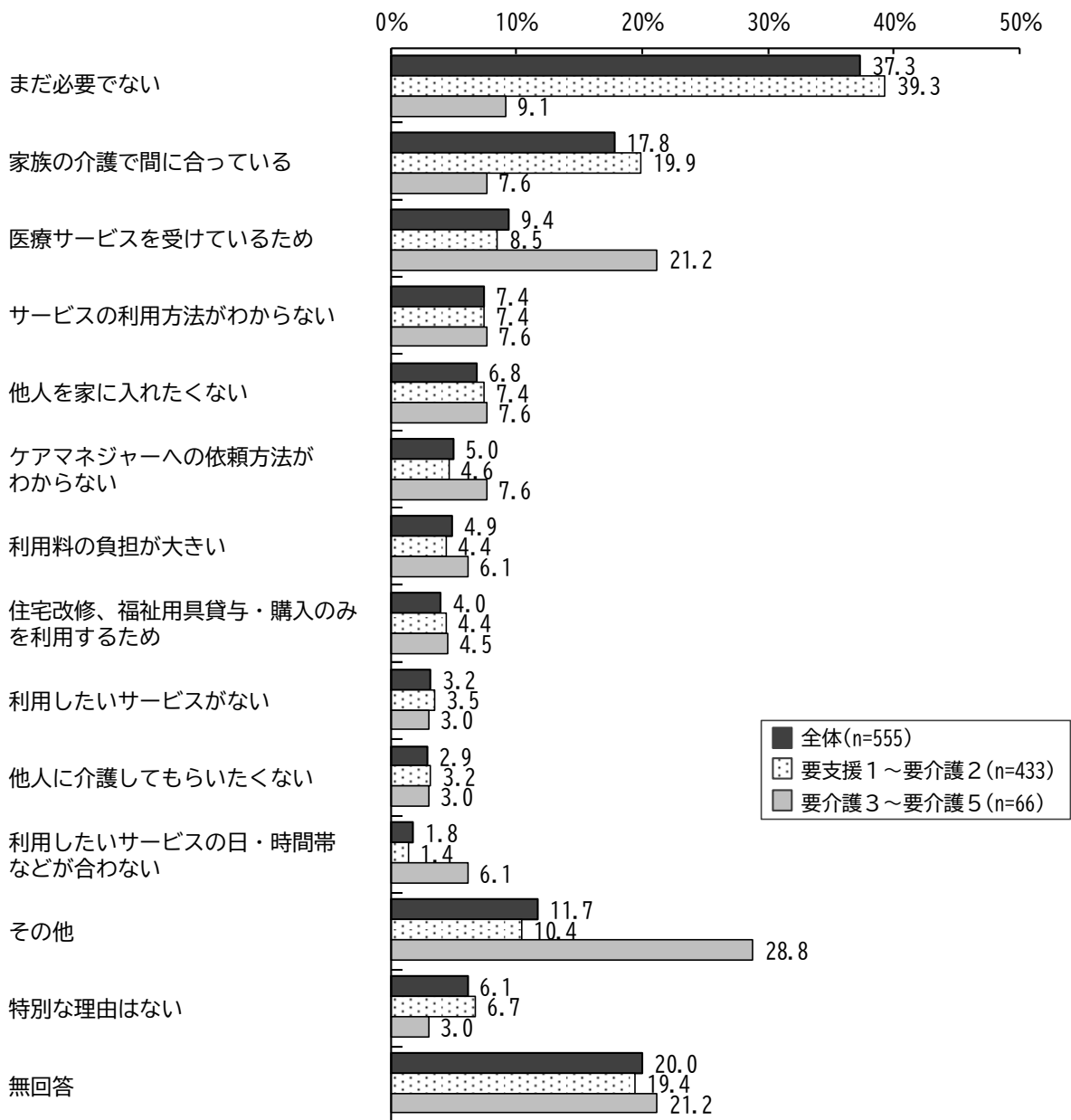
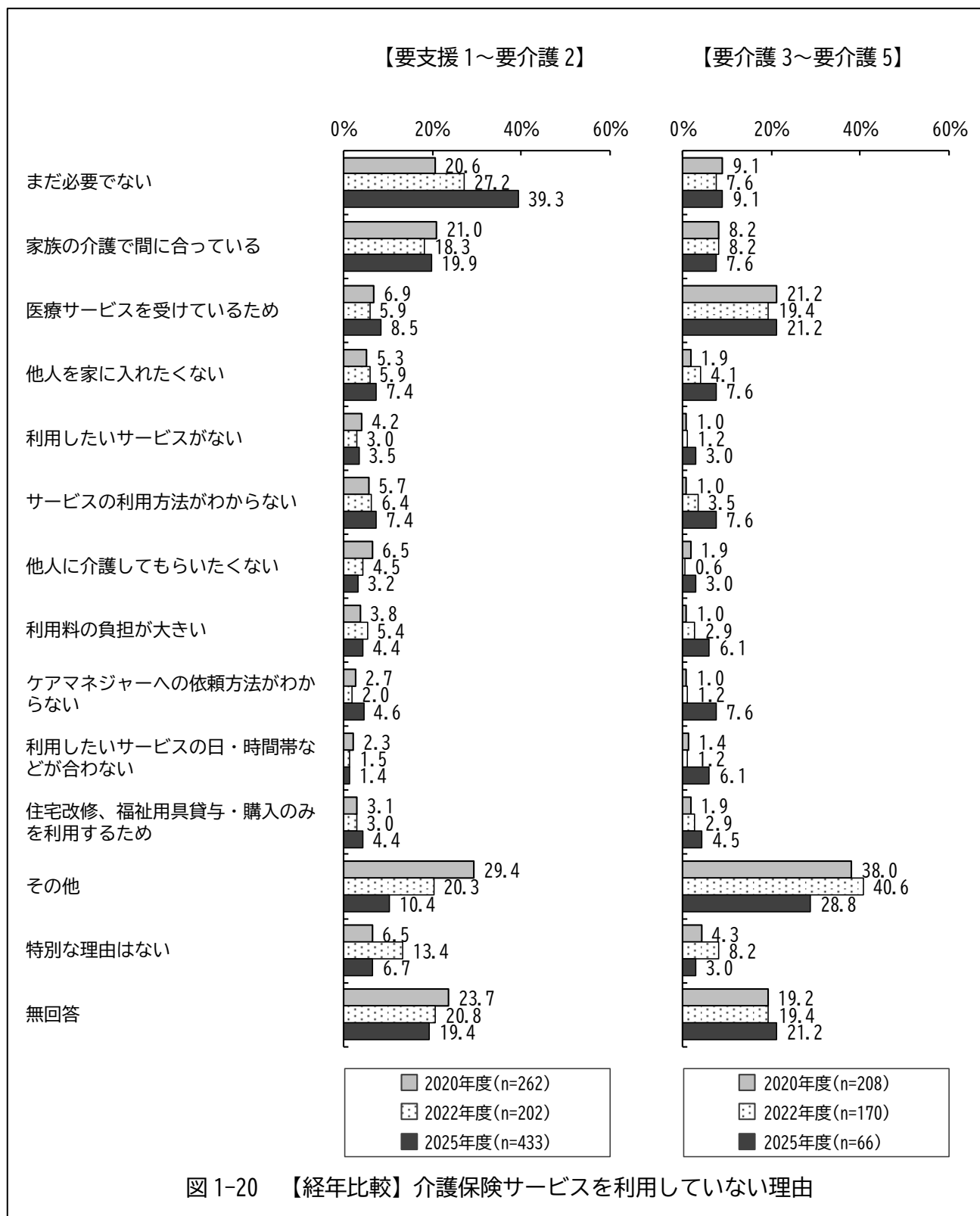


図 1-19 介護保険サービスを利用していない理由

全体では、「まだ必要ではない」が3割台後半で最も高くなっている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で「まだ必要でない」が最も高く、要介護3～要介護5で「医療サービスを受けているため」が最も高くなっている。



経年比較では、2022 年度に比べ、要支援 1～要介護 2 で「まだ必要でない」が 12.1 ポイント増加している。

1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

◆ 「利用していない」が5割台後半

(全員の方に)

問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

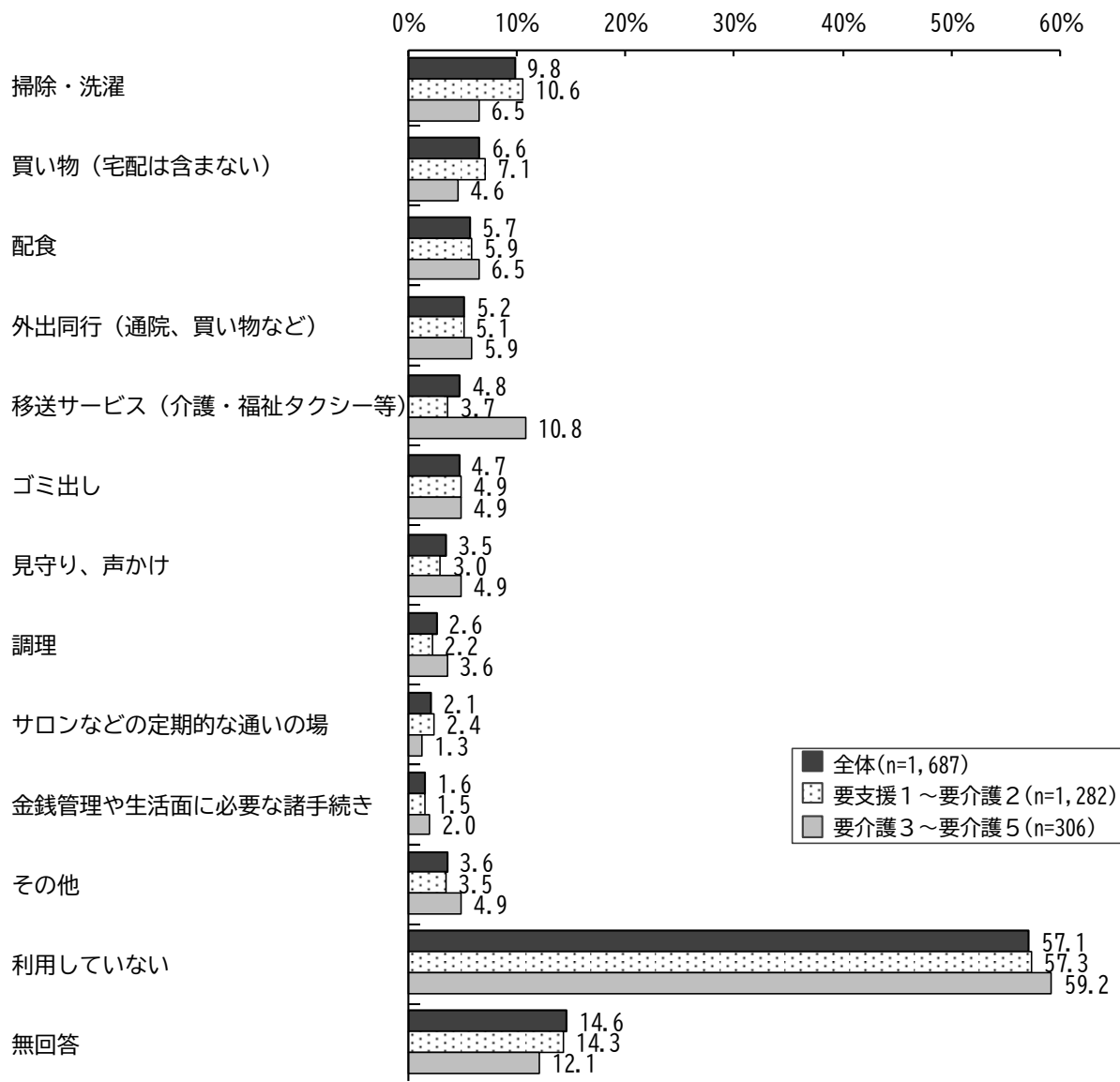


図 1-21 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

全体では、「利用していない」が5割台後半を占めている。

利用している内容について、要介護度別では、要支援1～要介護2は「掃除・洗濯」が最も高く、要介護3～要介護5は「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も高くなっている。

【要介護度別】現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

単位：％

	有効回答数（件）	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	配食	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	ゴミ出し	見守り、声かけ	調理	サロンなどの定期的な通いの場	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	利用していない	無回答
全体	1,687	9.8	6.6	5.7	5.2	4.8	4.7	3.5	2.6	2.1	1.6	3.6	57.1	14.6
要支援1	384	11.2	4.7	3.4	3.9	3.1	3.4	2.6	1.8	4.4	1.0	3.6	56.8	16.4
要支援2	370	11.4	8.6	6.5	6.5	3.2	5.4	3.0	2.7	1.4	0.8	3.5	54.3	14.1
要介護1	269	7.1	6.7	4.1	4.1	2.6	5.2	2.6	0.4	1.1	2.6	1.9	65.1	13.8
要介護2	259	12.4	8.9	10.4	6.2	6.2	6.2	4.2	3.9	2.3	1.9	5.0	54.1	12.0
要介護3	130	8.5	10.0	7.7	8.5	9.2	8.5	5.4	5.4	1.5	4.6	4.6	56.9	10.8
要介護4	114	6.1	0.9	5.3	4.4	9.6	3.5	4.4	2.6	0.9	-	4.4	61.4	12.3
要介護5	62	3.2	-	6.5	3.2	16.1	-	4.8	1.6	1.6	-	6.5	59.7	14.5
わからない	39	7.7	5.1	2.6	-	2.6	-	2.6	5.1	-	5.1	-	59.0	15.4

要介護度別では、いずれの区分でも「利用していない」が最も高くなっている。

利用している内容について、最も高い項目は、要支援1～2と要介護1～2では「掃除・洗濯」、要介護3では「買い物（宅配は含まない）」、要介護4と5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」となっている。

1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

◆ 「移送サービス」が約2割、「掃除・洗濯」「外出同行」が1割台後半

(全員の方に)

問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

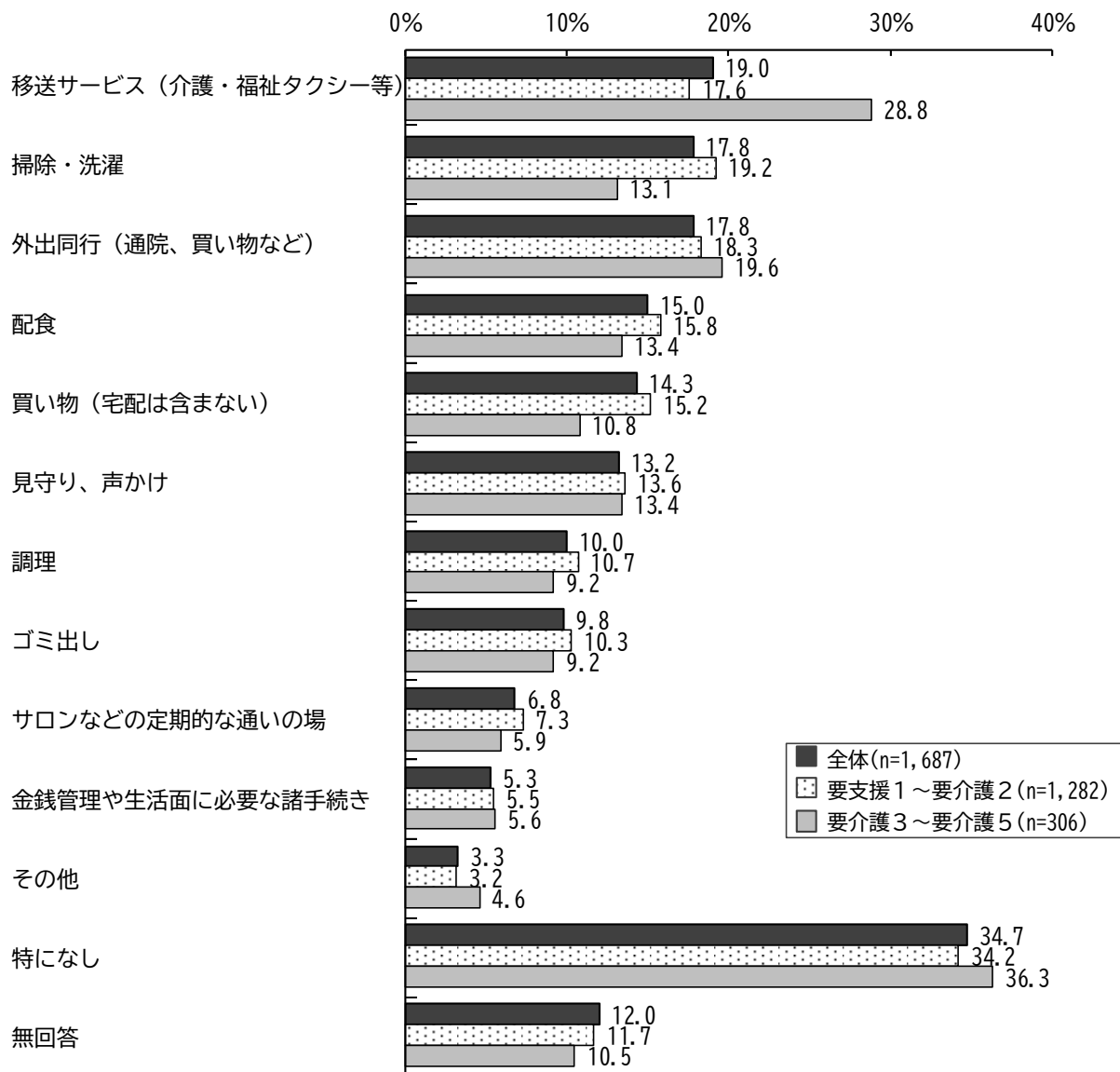


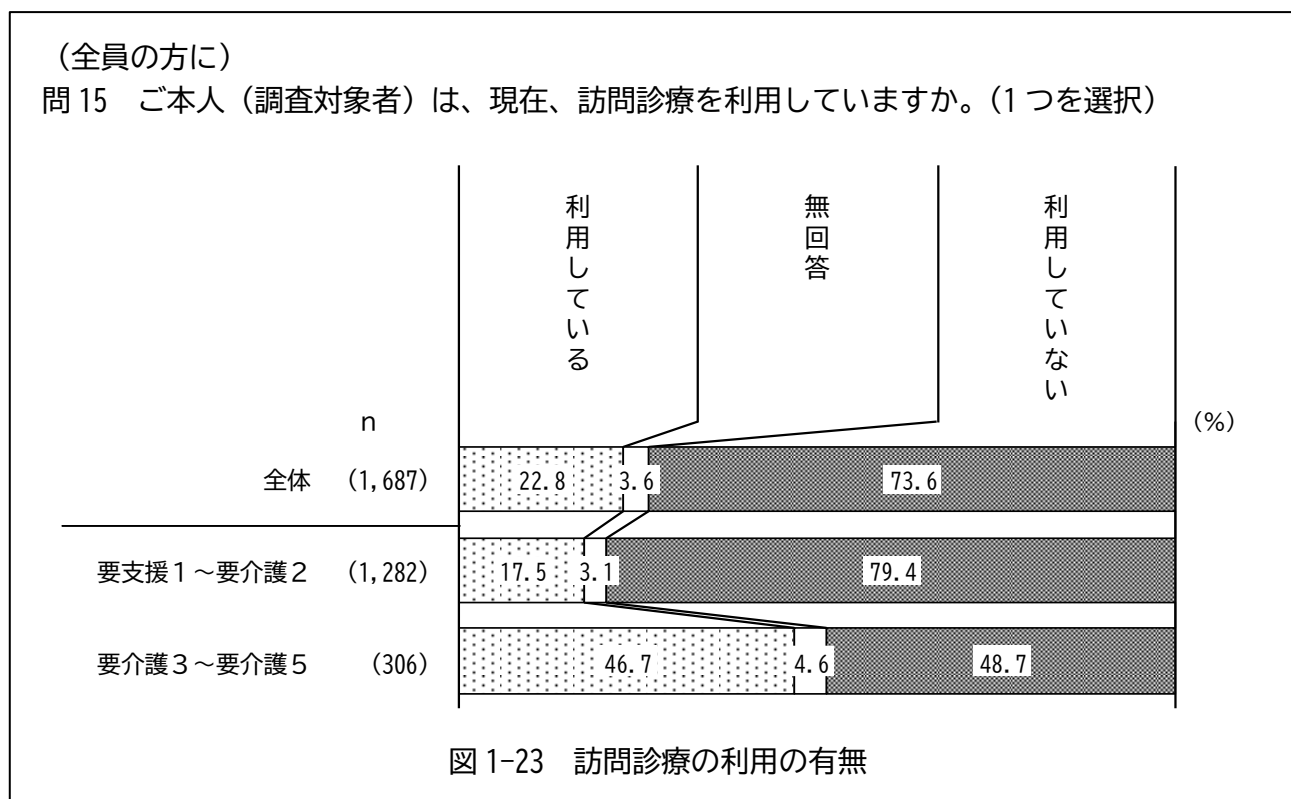
図1-22 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

全体では、「特になし」が3割台半ばとなっている。

必要としている内容について、要支援1～要介護2では「掃除・洗濯」が最も高く、要介護3～要介護5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっている。

1.15. 訪問診療の利用の有無

◆ 「利用していない」が7割台前半



全体では、「利用していない」が7割台前半を占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「利用している」が4割台半ばで、要支援1～要介護2より高くなっている。

1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無

◆ 「利用していない」が約8割

(全員の方に)

問16 ご本人(調査対象者)は、現在、その他の訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

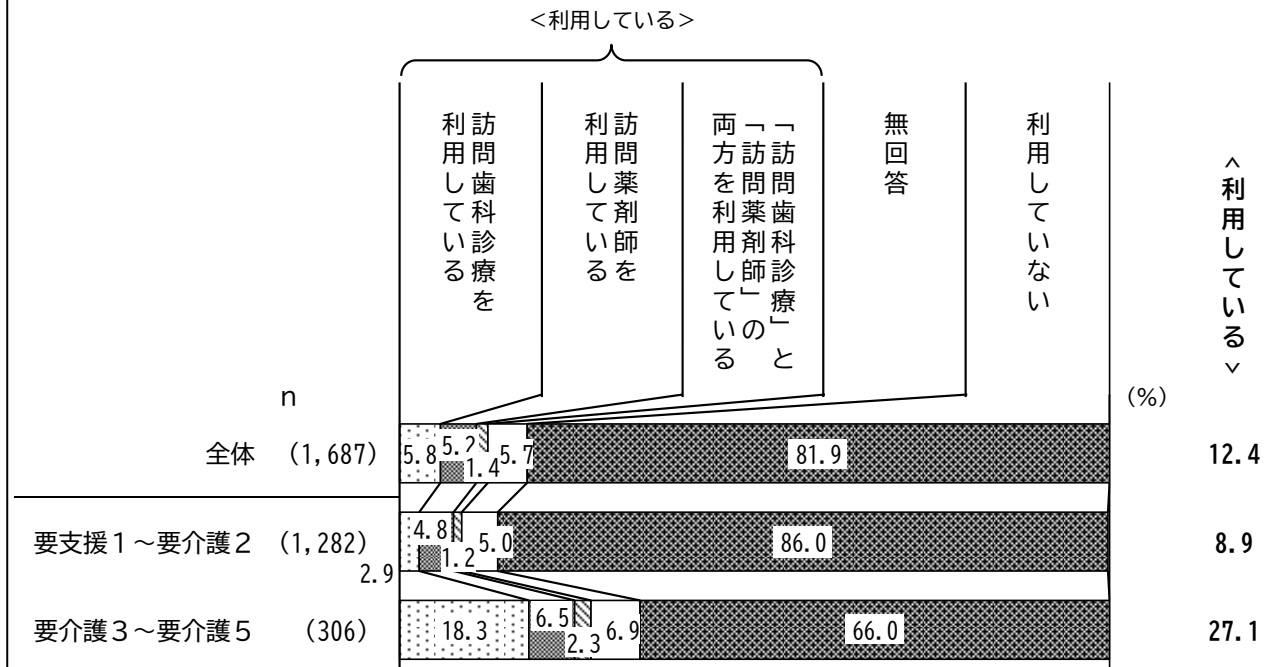


図1-24 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無

全体では、「利用していない」が約8割を占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「訪問歯科診療を利用している」が1割台後半で、要支援1～要介護2より高くなっている。

1.17. 地域包括支援センターへの相談の有無

◆ 「相談したことがある」が約6割

(全員の方に)

問 17 地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

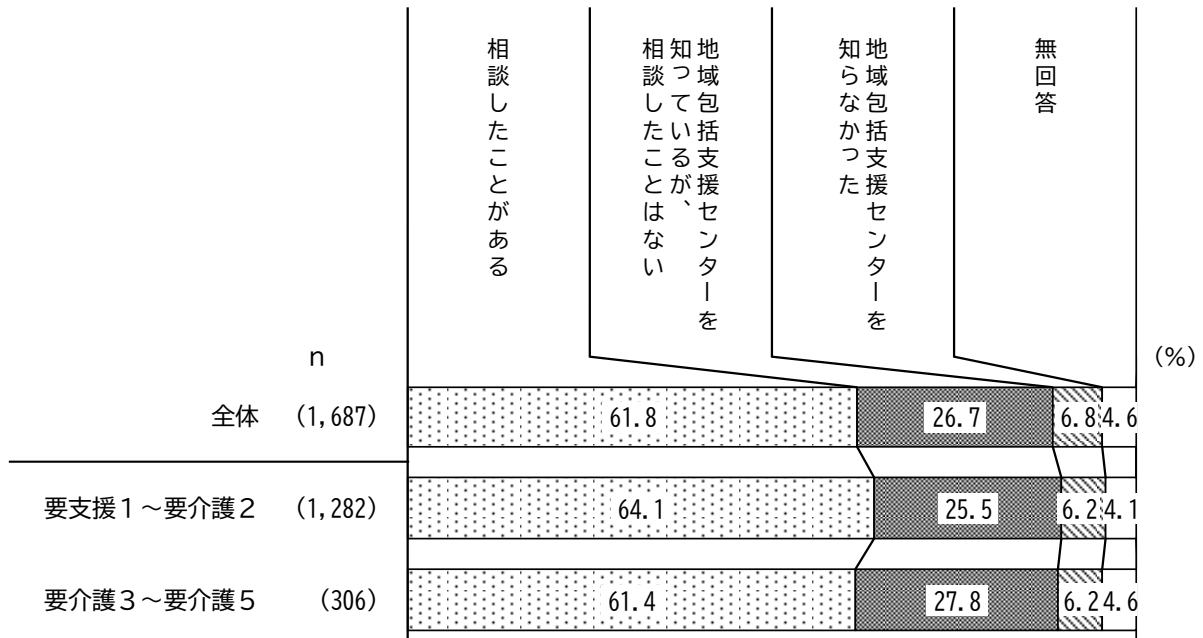


図 1-25 地域包括支援センターへの相談の有無

全体では、「相談したことがある」が約6割を占めている。

要介護度別では、大きな差異はみられない。

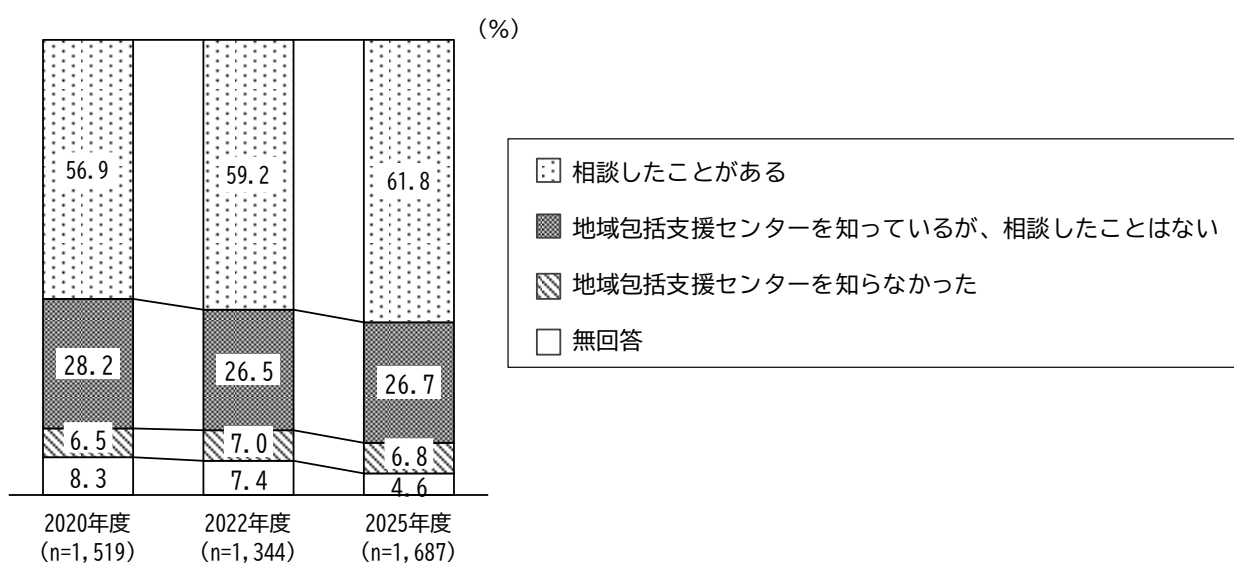


図 1-26 【経年比較】地域包括支援センターへの相談の有無

経年比較では、「相談したことがある」が年々増加している。

1.18. 家族・親族からの介護の頻度

◆ 「ほぼ毎日ある」が3割台半ば

問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

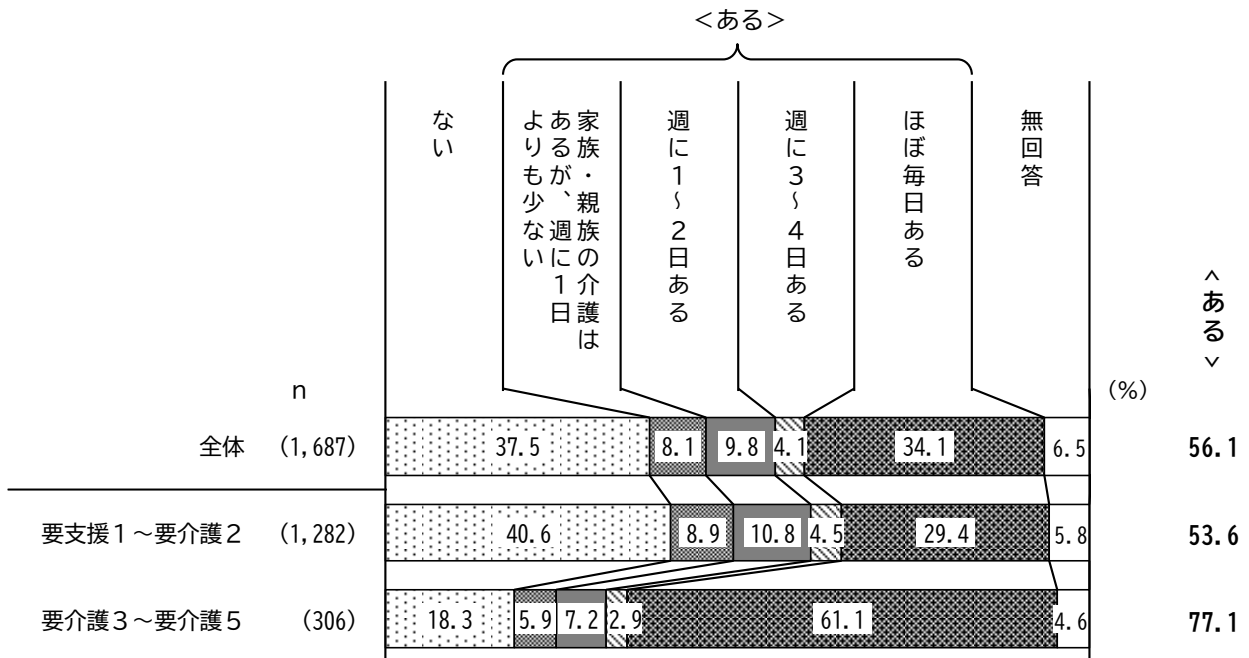
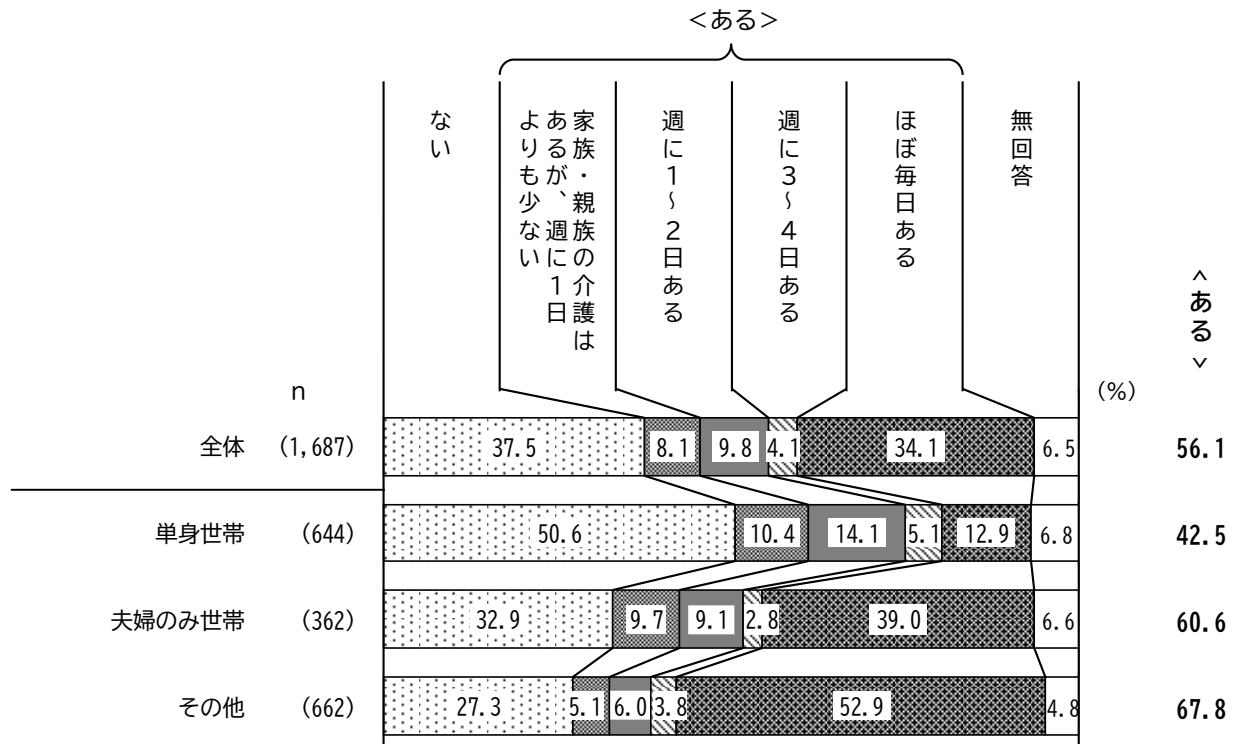


図 1-27 家族・親族からの介護の頻度

全体では、「ほぼ毎日ある」が3割台半ばを占めており、頻度に関わらず<ある>との回答は5割台半ばを占めている。

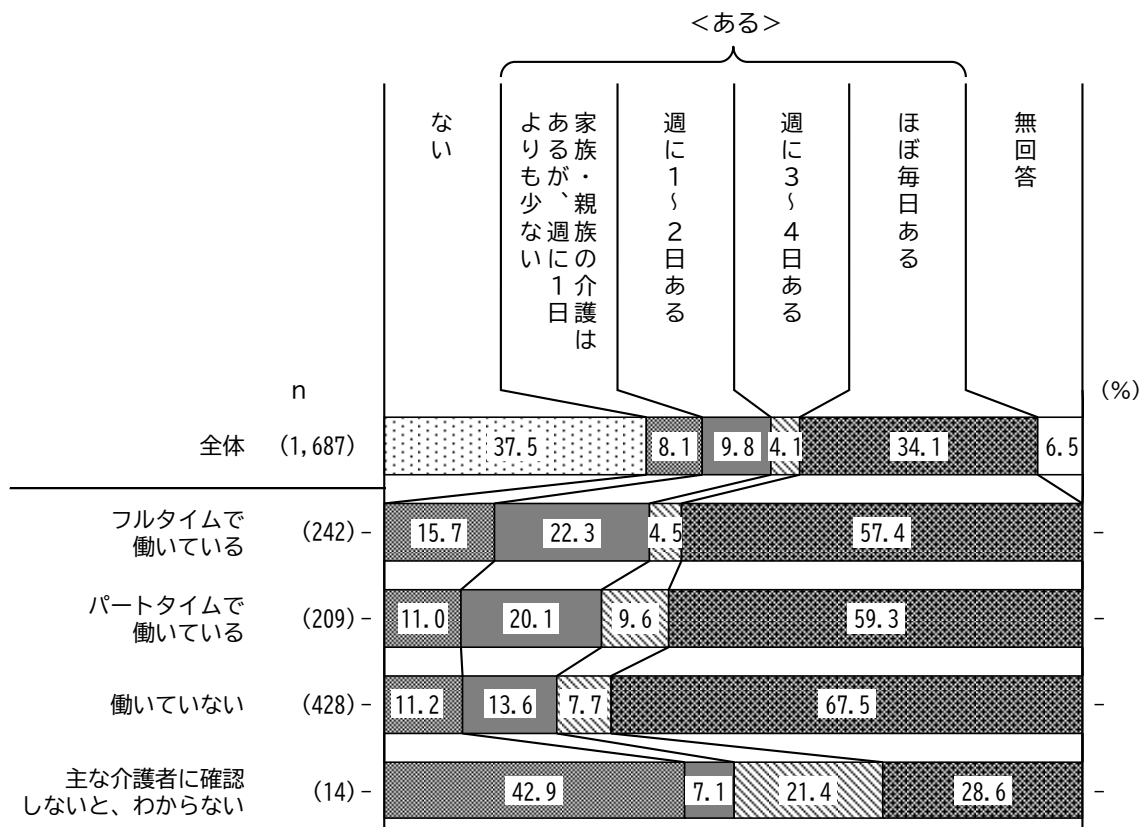
要介護度別では、要介護3～要介護5で<ある>が7割台後半を占めており、要支援1～要介護2より高くなっている。

【家族構成別】家族・親族からの介護の頻度



家族構成別では、単身世帯で「ない」が約5割で、他の世帯より高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】家族・親族からの介護の頻度



主な介護者の就労形態別では、働いていない世帯で「ほぼ毎日ある」が6割台後半を占めている。

2. 主な介護者について

(※「1.18. 家族・親族からの介護の頻度」において、〈ある〉とお答えの方)

2.1. 主な介護者

問1 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

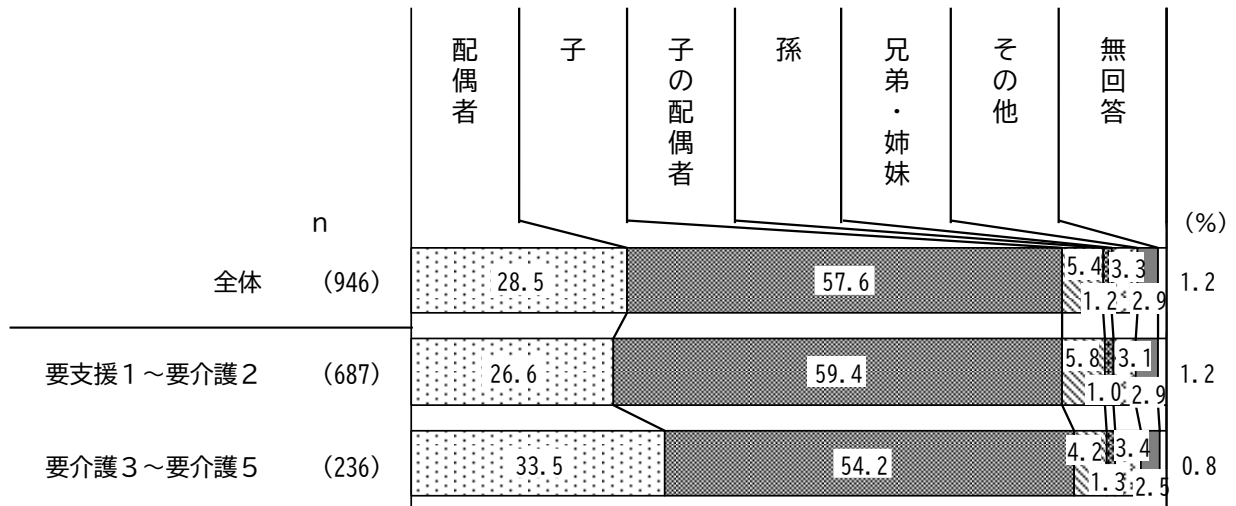


図 2-1 主な介護者

2.2. 主な介護者の性別

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

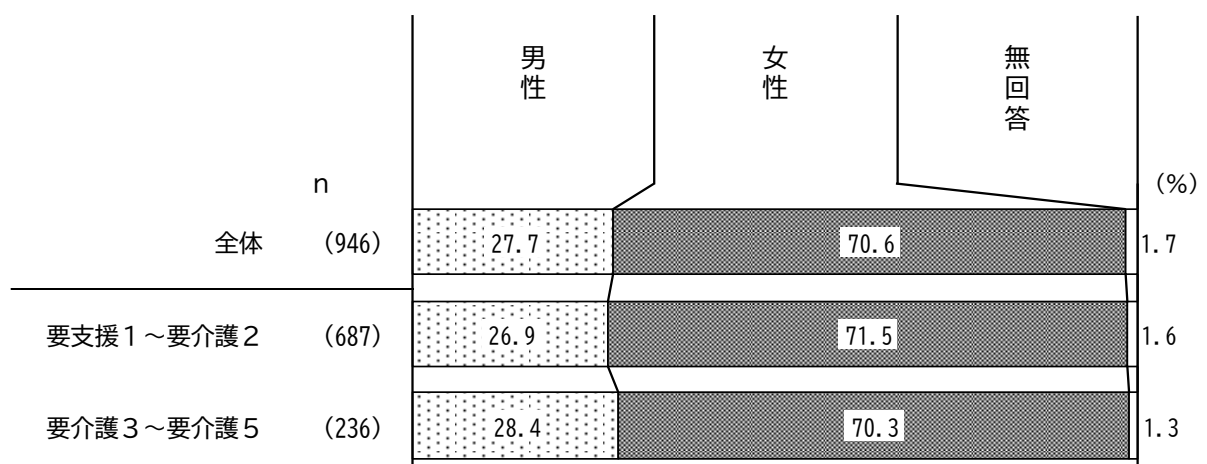


図 2-2 主な介護者の性別

2.3. 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

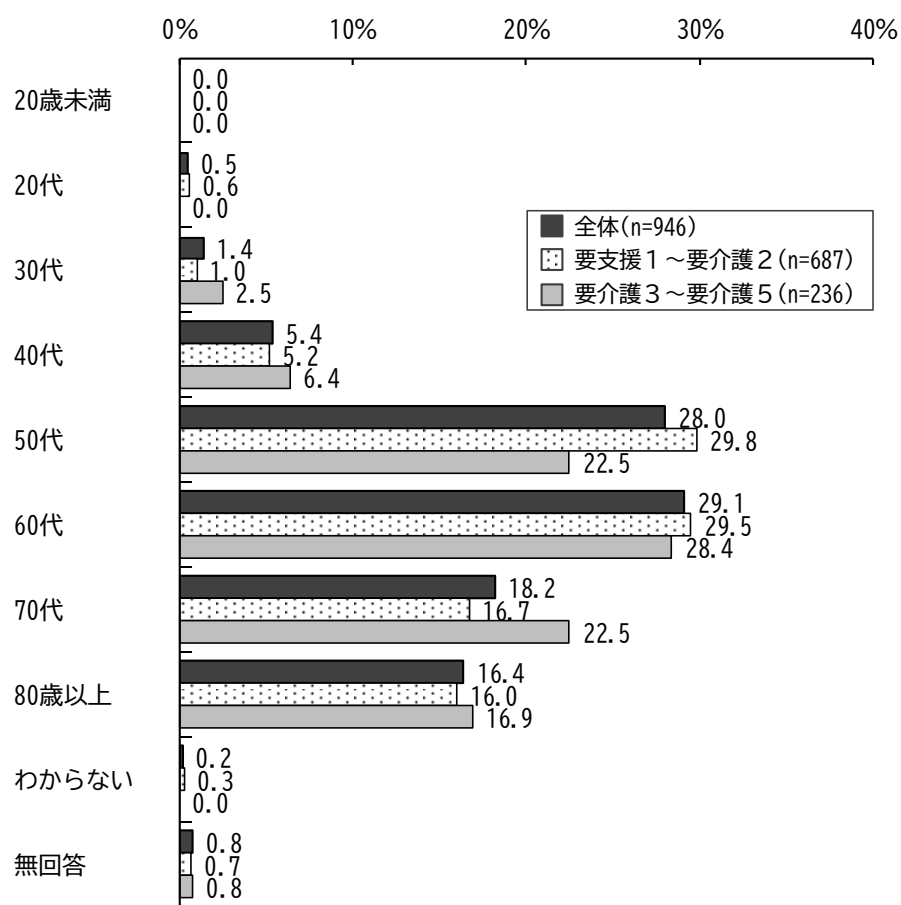


図2-3 主な介護者の年齢

2.4. 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

◆ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約7割

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

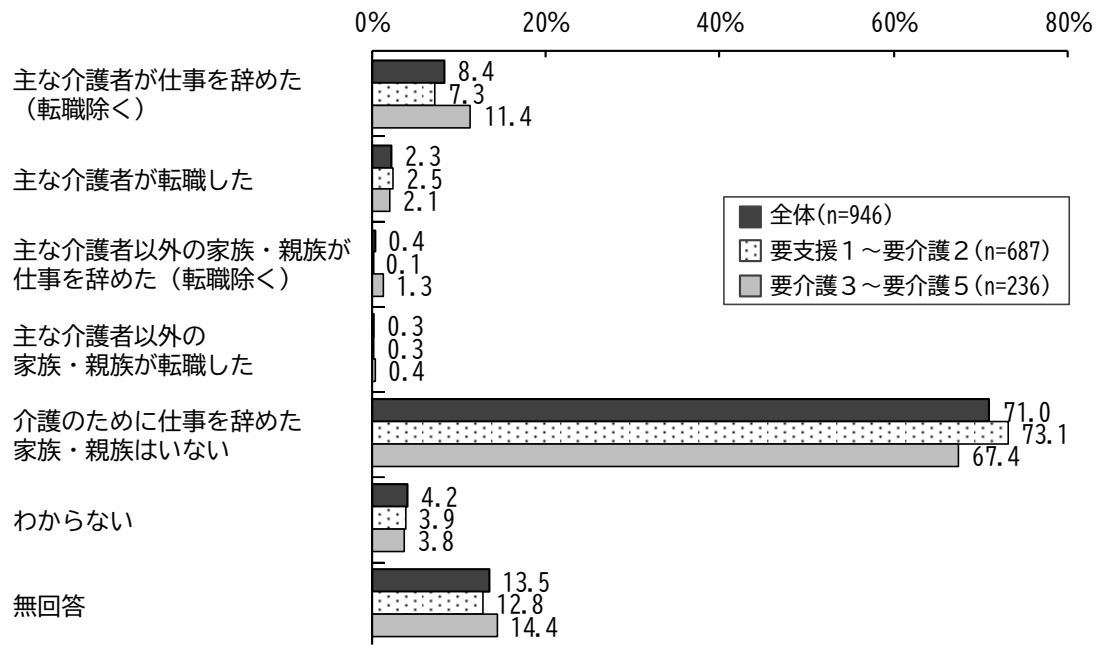


図2-4 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が約7割を占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5は「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が要支援1～要介護2より低くなっている。

2.5. 主な介護者が行っている介護

◆ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7割台後半

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

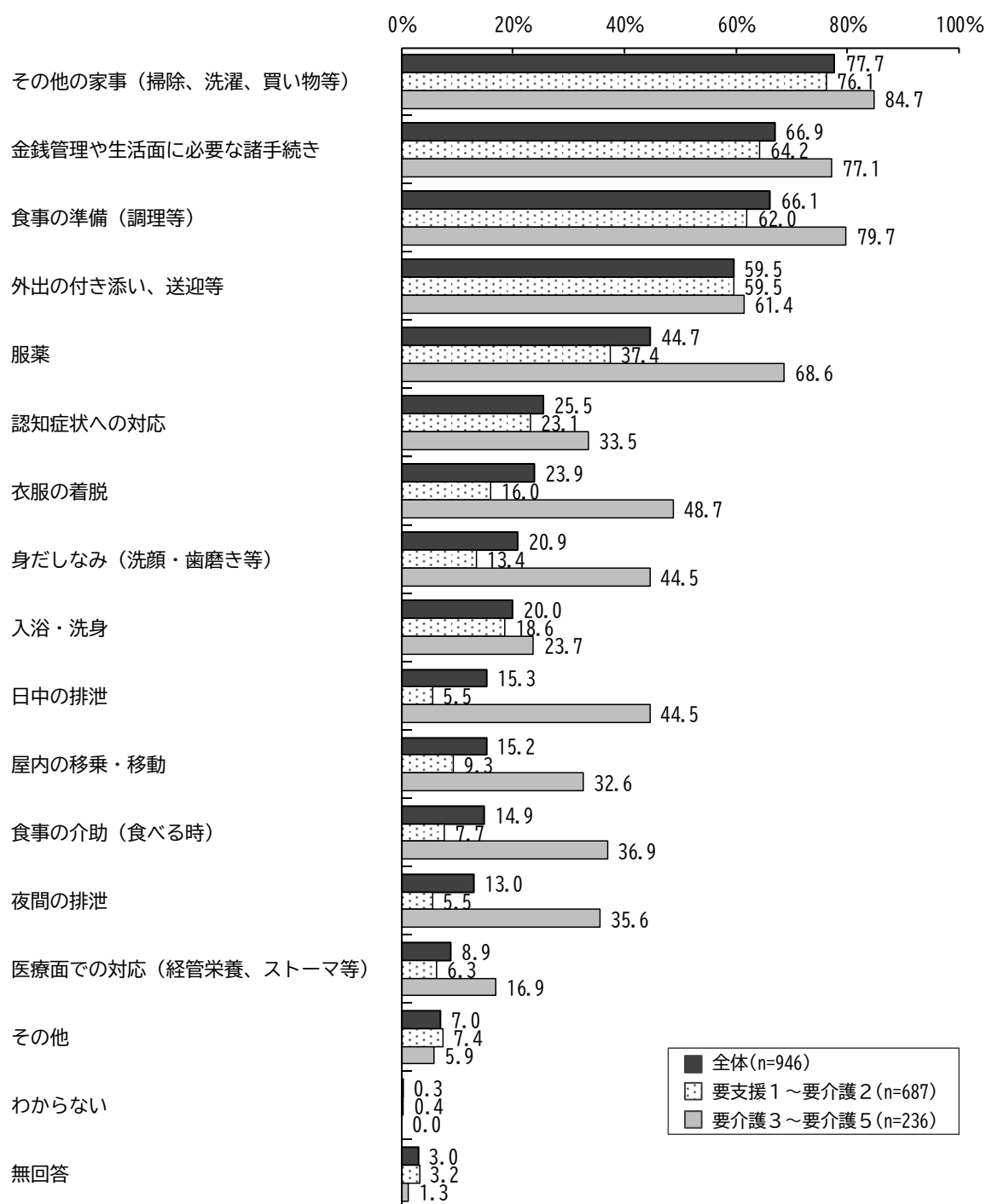


図2-5 主な介護者が行っている介護

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7割台後半となっており、上位4項目まではいずれも過半数を占めている。

要介護度別では、「その他」「わからない」を除く全ての項目で要介護3～要介護5の方が高くなっている。また、「服薬」「衣服の着脱」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「日中の排泄」「夜間の排泄」で要介護度別の差が30ポイント以上となっている。

【要介護度別】主な介護者が行っている介護

単位：％

	有効回答数（件）	その他の家事 （掃除、洗濯、 買い物等）	金銭管理や生活 面に 必要な諸手 続き	食事の準備（調 理等）	外出の付き添 い、送迎等	服薬	認知症状への 対応	衣服の着脱	身だしなみ（洗 顔・歯磨き等）	入浴・洗身
全体	946	77.7	66.9	66.1	59.5	44.7	25.5	23.9	20.9	20.0
要支援1	141	71.6	44.0	44.7	44.7	14.2	4.3	5.7	3.5	9.2
要支援2	152	69.1	57.2	55.3	57.9	17.1	7.2	9.9	5.9	11.8
要介護1	202	78.2	77.2	69.3	64.9	57.4	41.1	15.8	16.8	18.3
要介護2	192	82.8	70.8	72.4	66.1	49.5	30.7	28.6	22.9	31.3
要介護3	104	82.7	76.9	76.9	63.5	66.3	37.5	40.4	37.5	16.3
要介護4	88	87.5	78.4	84.1	64.8	63.6	34.1	55.7	47.7	29.5
要介護5	44	84.1	75.0	77.3	50.0	84.1	22.7	54.5	54.5	29.5
わからない	11	45.5	36.4	45.5	45.5	18.2	9.1	9.1	-	36.4

	有効回答数（件）	日中の排泄	屋内の移乗・移動	食事の介助（食 べる時）	夜間の排泄	医療面での対応 （経管栄養、ス トーマ等）	その他	わからない	無回答
全体	946	15.3	15.2	14.9	13.0	8.9	7.0	0.3	3.0
要支援1	141	0.7	5.7	4.3	1.4	2.8	9.2	1.4	7.1
要支援2	152	2.0	4.6	3.9	2.0	5.9	5.3	0.7	2.0
要介護1	202	5.0	10.4	8.9	5.4	6.9	5.4	-	1.5
要介護2	192	12.5	14.6	12.0	11.5	8.3	9.9	-	3.1
要介護3	104	28.8	19.2	24.0	21.2	10.6	8.7	-	1.9
要介護4	88	52.3	39.8	40.9	39.8	18.2	2.3	-	1.1
要介護5	44	65.9	50.0	59.1	61.4	29.5	6.8	-	-
わからない	11	-	9.1	9.1	-	-	9.1	-	9.1

要介護度別では、要支援1～要介護度5まで、いずれも「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高くなっている。また、要介護5は「服薬」も最も高くなっている。

すべての要介護度が高くなるほど各項目の割合が高くなる傾向がある。

2.6. 主な介護者が不安に感じる介護

◆ 「認知症状への対応」が3割台前半

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

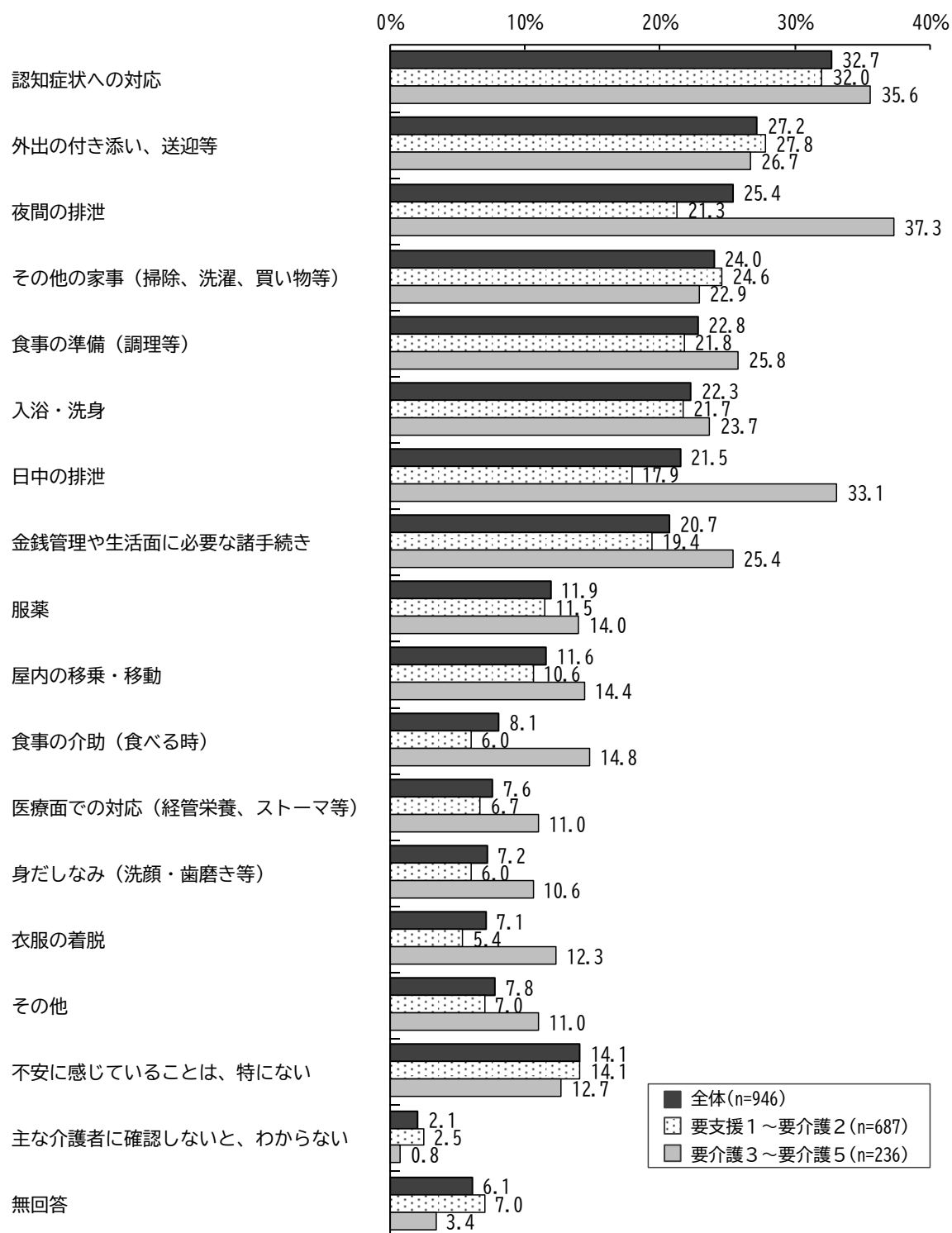


図2-6 主な介護者が不安に感じる介護

全体では、「認知症状への対応」が3割台前半で最も高くなっている。

要介護度別では、「日中の排泄」「夜間の排泄」で要介護3～要介護5の方が要支援1～要介護2より15ポイント以上高くなっている。

2.7. 主な介護者の現在の勤務形態

◆ 「働いていない」が4割台半ば

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

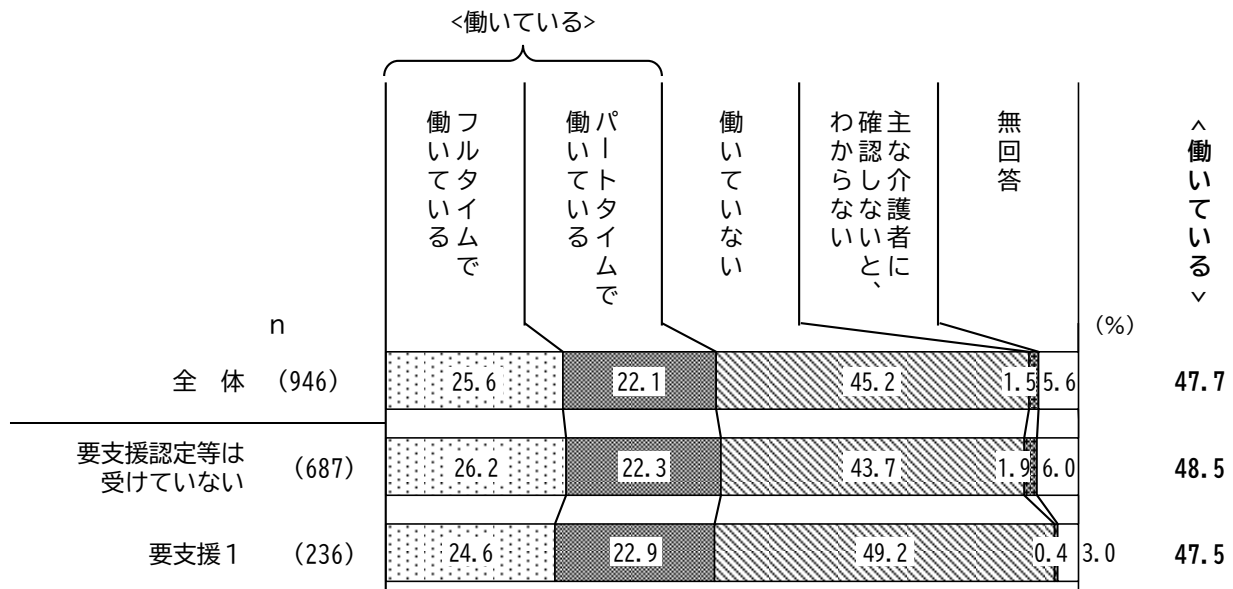
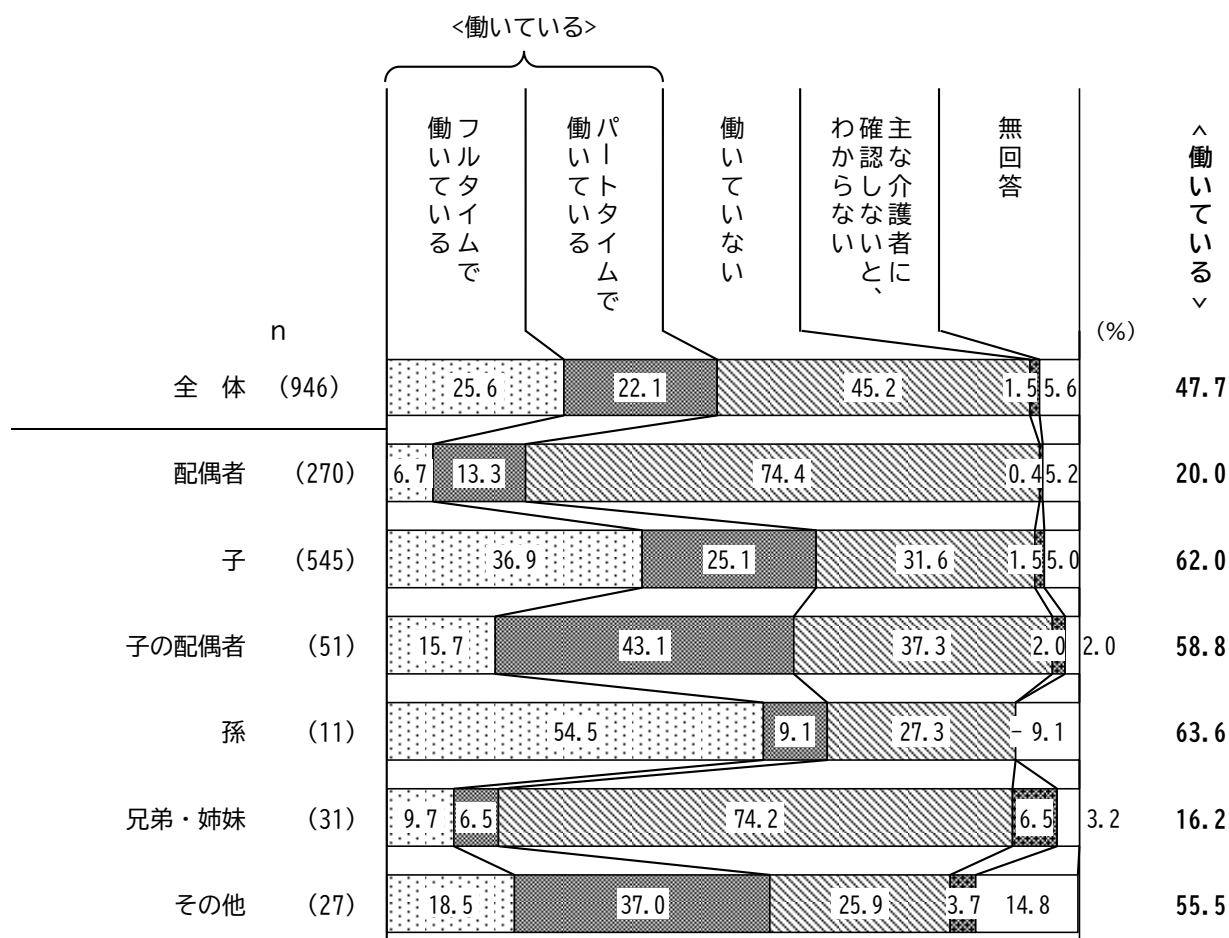


図 2-7 主な介護者の現在の勤務形態

全体では、「働いていない」が4割台半ばで最も高くなっている。「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた<働いている>は4割台後半となっている。

要介護度別では、いずれも「働いてない」が最も高くなっており、要介護3～要介護5では約5割を占めている。一方、<働いている>は要介護度別で大きな差異はみられない。

【主な介護者別】主な介護者の現在の勤務形態



主な介護者別では、配偶者と兄弟・姉妹で「働いてない」が高くなっており、いずれも7割台半ばとなっている。

2.8. 主な介護者の就労形態の調整

◆ 「介護のために、①労働時間を調整しながら、働いている」が3割台後半

(問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に)

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

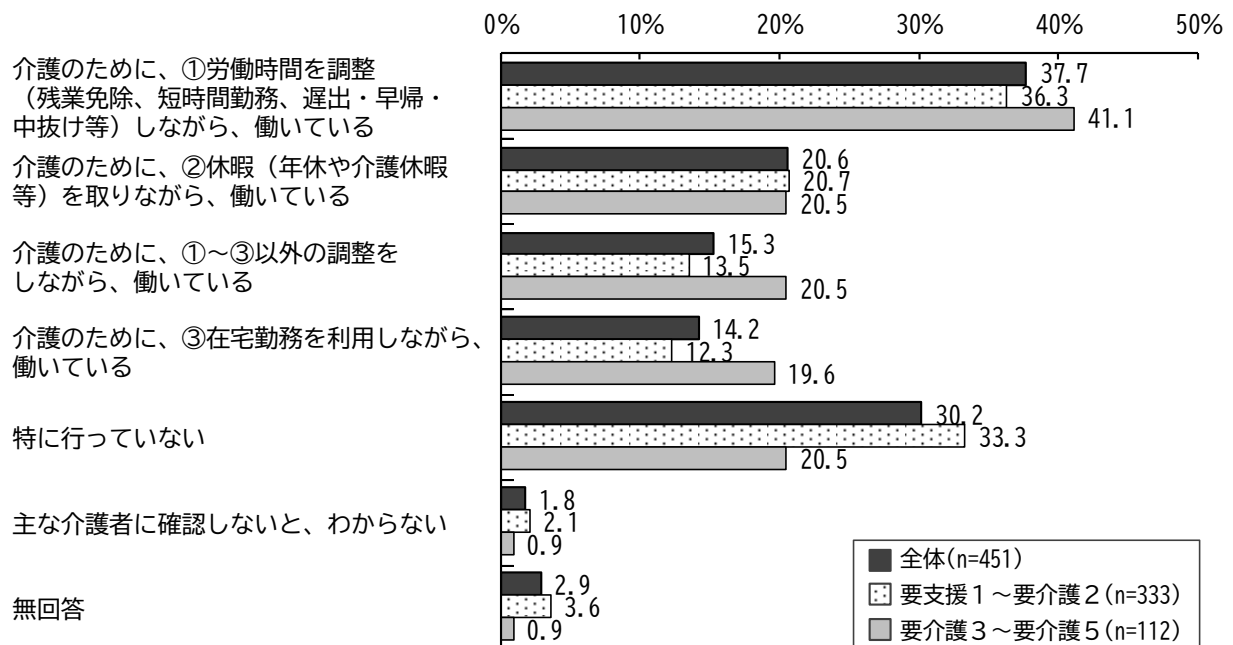


図2-8 主な介護者の就労形態の調整

全体では、「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が3割台後半で最も高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が約4割と高くなっている。

【要介護度別】主な介護者の就労形態の調整

単位：％

	有効回答数（件）	介護のために、①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている	介護のために、②休暇（年休、介護休暇等）を取りながら働く	介護のために、③①②以外の調整をしながら、働いている	介護のために、③在宅勤務を利用しながら、働いている	特に行っていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	451	37.7	20.6	15.3	14.2	30.2	1.8	2.9
要支援1	62	16.1	12.9	12.9	8.1	50.0	3.2	4.8
要支援2	81	37.0	22.2	4.9	7.4	42.0	2.5	3.7
要介護1	95	44.2	24.2	16.8	12.6	25.3	1.1	2.1
要介護2	95	41.1	21.1	17.9	18.9	23.2	2.1	4.2
要介護3	53	47.2	20.8	20.8	17.0	18.9	-	1.9
要介護4	42	35.7	23.8	26.2	21.4	21.4	-	-
要介護5	17	35.3	11.8	5.9	23.5	23.5	5.9	-
わからない	2	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-

要介護度別では、要介護1以上で「介護のために、①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】主な介護者の就労形態の調整

単位：％

	有効回答数（件）	介護のために、①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている	介護のために、②休暇（年休、介護休暇等）を取りながら働く	介護のために、③①②以外の調整をしながら、働いている	介護のために、③在宅勤務を利用しながら、働いている	特に行っていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	451	37.7	20.6	15.3	14.2	30.2	1.8	2.9
フルタイム	242	35.1	26.4	11.6	20.2	33.1	0.8	2.5
パートタイム	209	40.7	13.9	19.6	7.2	26.8	2.9	3.3

主な介護者の就労形態別では、いずれも「介護のために、①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が最も高く、パートタイムで働いている世帯では約4割を占めている。

2.9. 仕事と介護の両立に効果がある支援

◆ 「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」と「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割台後半

（問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に）

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

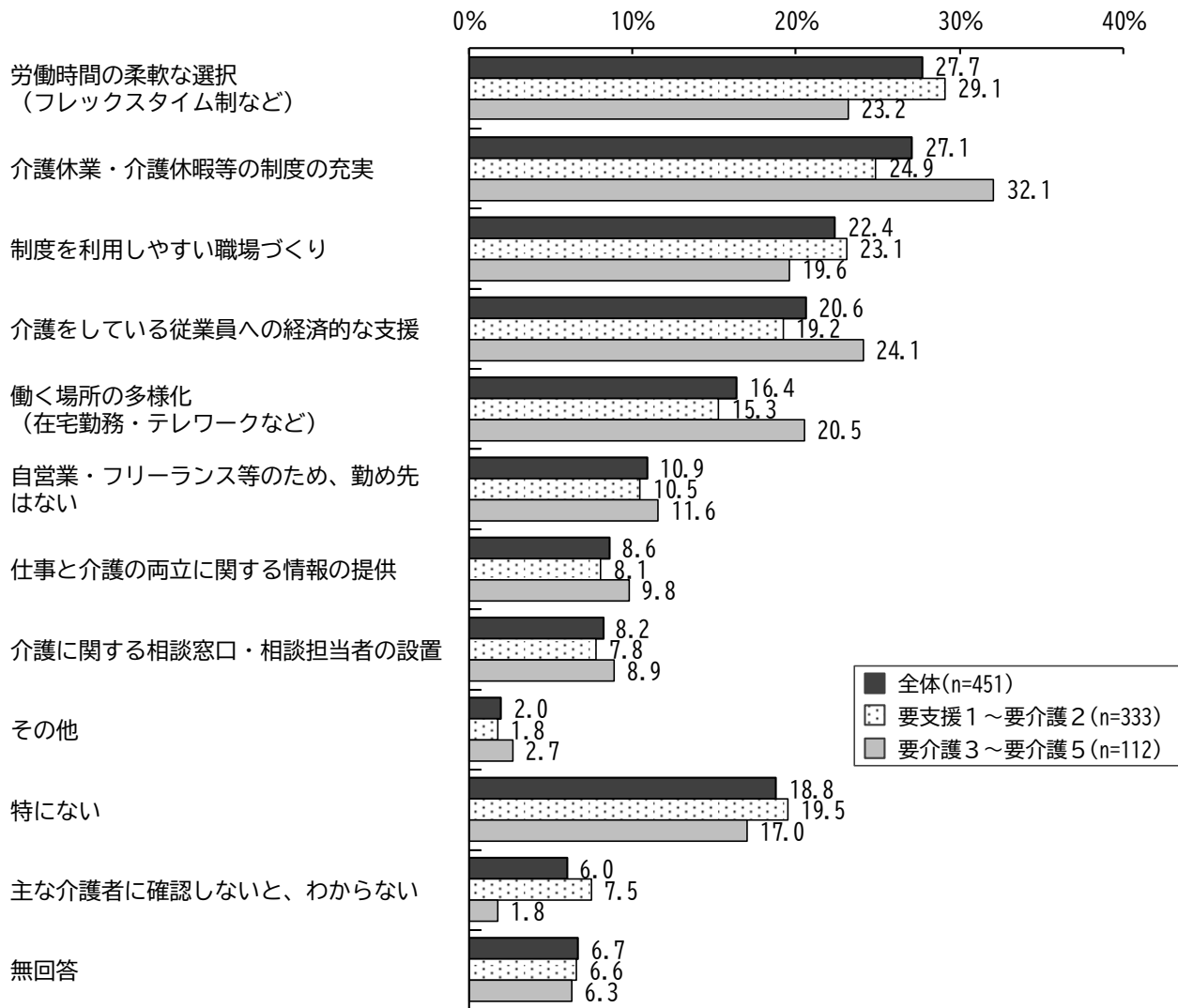


図 2-9 仕事と介護の両立に効果がある支援

全体では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」と「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割台後半で高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」となっている。

【要介護度別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数（件）	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	451	27.7	27.1	22.4	20.6	16.4	10.9	8.6	8.2	2.0	18.8	6.0	6.7
要支援1	62	22.6	22.6	16.1	16.1	9.7	14.5	3.2	6.5	1.6	17.7	9.7	11.3
要支援2	81	33.3	25.9	24.7	23.5	19.8	2.5	7.4	9.9	1.2	21.0	7.4	4.9
要介護1	95	31.6	26.3	27.4	16.8	17.9	11.6	13.7	7.4	2.1	14.7	6.3	5.3
要介護2	95	27.4	24.2	22.1	20.0	12.6	13.7	6.3	7.4	2.1	24.2	7.4	6.3
要介護3	53	26.4	30.2	22.6	20.8	20.8	7.5	13.2	9.4	1.9	18.9	3.8	7.5
要介護4	42	23.8	31.0	21.4	28.6	26.2	9.5	7.1	9.5	2.4	16.7	-	7.1
要介護5	17	11.8	41.2	5.9	23.5	5.9	29.4	5.9	5.9	5.9	11.8	-	-
わからない	2	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-

要介護度別では、要支援1～要介護2で「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高く、要介護3～要介護5で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数（件）	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	451	27.7	27.1	22.4	20.6	16.4	10.9	8.6	8.2	2.0	18.8	6.0	6.7
フルタイム	242	28.9	34.3	27.7	24.0	23.1	12.4	8.7	7.4	1.7	12.8	4.5	5.4
パートタイム	209	26.3	18.7	16.3	16.7	8.6	9.1	8.6	9.1	2.4	25.8	7.7	8.1

主な介護者の就労形態別では、フルタイムで働いている世帯で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、パートタイムで働いている世帯で「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高くなっている。

【就労している主な介護者の今後の介護の見通し別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数 (件)	労働時間の柔軟な選択など (フレックスタイトム制など)	介護休業・介護休暇等の 制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への 経済的な支援	働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)	自営業・フリーランス等のため、 勤め先はない	仕事と介護の両立に関する 情報の提供	相談に関する相談窓口・ 相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
全体	451	27.7	27.1	22.4	20.6	16.4	10.9	8.6	8.2	2.0	18.8	6.0	6.7
問題なく、続けていける	92	25.0	21.7	23.9	6.5	12.0	9.8	4.3	3.3	-	31.5	5.4	7.6
問題はあるが、何とか続けていける	231	31.6	29.4	23.4	23.8	19.0	10.0	10.4	9.5	2.2	16.0	3.9	3.9
続けていくのは、やや難しい	56	28.6	33.9	23.2	37.5	25.0	12.5	16.1	19.6	1.8	10.7	5.4	1.8
続けていくのは、かなり難しい	27	25.9	37.0	22.2	29.6	14.8	25.9	3.7	3.7	3.7	14.8	-	7.4
主な介護者に確認しないと、わからない	20	15.0	15.0	15.0	10.0	5.0	10.0	-	-	-	10.0	45.0	10.0

就労している主な介護者の今後の介護の見通し別では、続けていくのは、かなり難しいと回答した世帯で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、続けていくのは、やや難しいと回答した世帯で「介護をしている従業員への経済的な支援」が最も高くなっている。

2.10. 今後の介護の見通し

◆ 「問題はあるが、何とか続けていける」が約5割

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

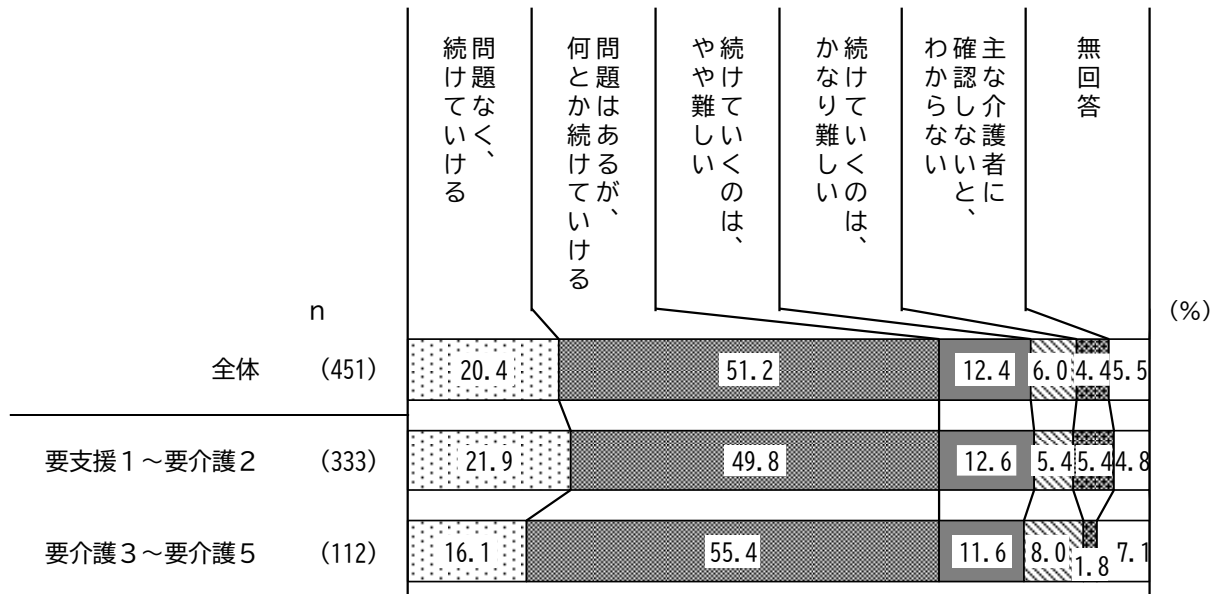
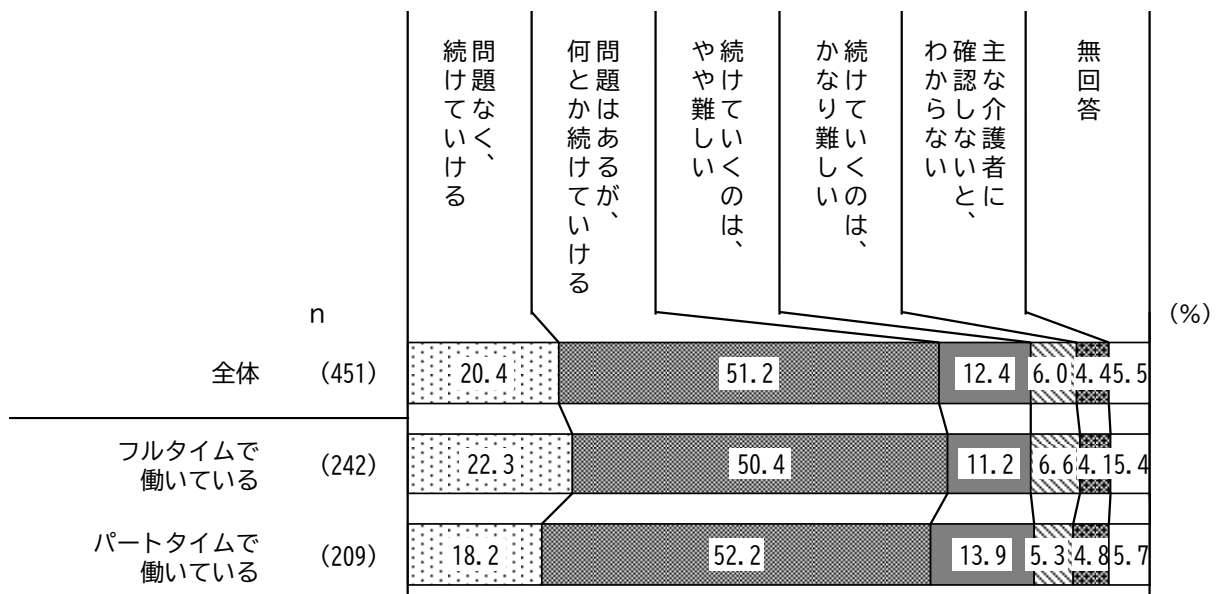


図2-10 今後の介護の見通し

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が約5割を占めている。

要介護度別では、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】今後の介護の見通し



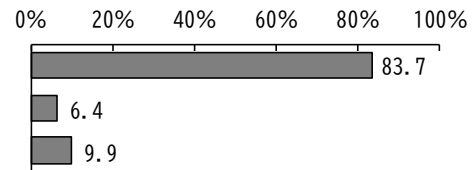
主な介護者の就労形態別では、「問題なく続けていける」が、パートタイムで働いている世帯ではやや低くなっている。

ケアマネジャー調査

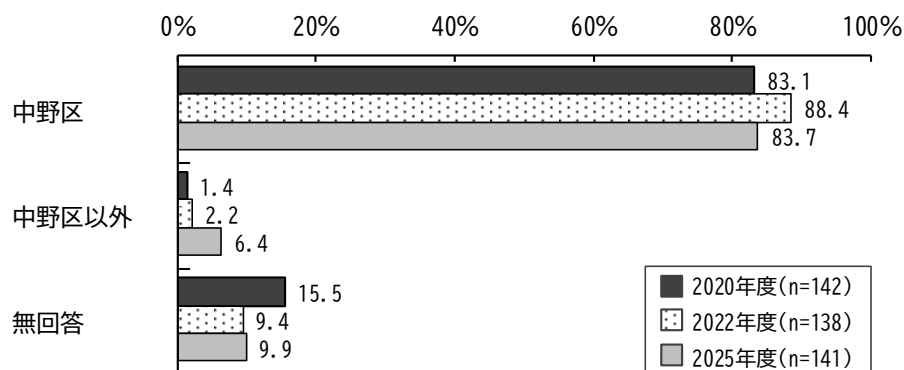
1. 回答者の属性

1.1. 所属する事業所の所在地

	基数	構成比 (%)
中野区	118	83.7
中野区以外	9	6.4
無回答	14	9.9
全体	141	100.0



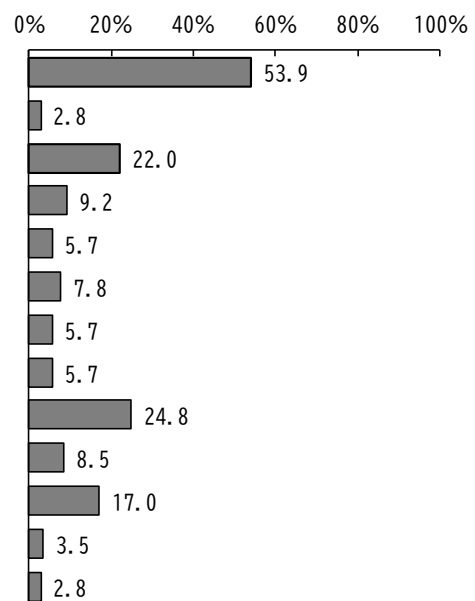
【経年比較】所属する事業所の所在地



1.2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）

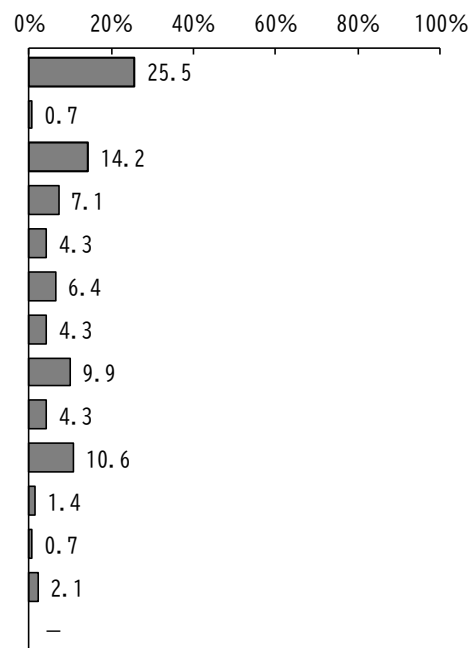
<介護（居宅）サービス>

	基数	構成比 (%)
訪問介護	76	53.9
訪問入浴介護	4	2.8
訪問看護	31	22.0
訪問リハビリテーション	13	9.2
居宅療養管理指導	8	5.7
福祉用具（貸与）	11	7.8
特定福祉用具（販売）	8	5.7
住宅改修	8	5.7
通所介護（小規模通所含む）	35	24.8
通所リハビリテーション	12	8.5
短期入所生活介護	24	17.0
短期入所療養介護	5	3.5
特定施設入居者生活介護	4	2.8
介護（居宅）サービス（計）	239	



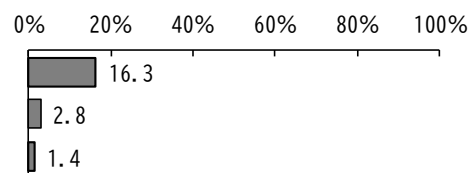
<介護予防サービス>

	基数	構成比 (%)
予防訪問サービス（旧予防訪問介護）	36	25.5
予防訪問入浴介護	1	0.7
予防訪問看護	20	14.2
予防訪問リハビリテーション	10	7.1
予防居宅療養管理指導	6	4.3
予防福祉用具（貸与）	9	6.4
予防特定福祉用具（販売）	6	4.3
予防通所サービス（旧予防通所介護）	14	9.9
予防通所リハビリテーション	6	4.3
予防短期入所生活介護	15	10.6
予防短期入所療養介護	2	1.4
予防特定施設入居者生活介護	1	0.7
生活援助サービス（緩和基準訪問サービス）	3	2.1
活動援助サービス（緩和基準通所サービス）	0	—
介護予防サービス（計）	129	



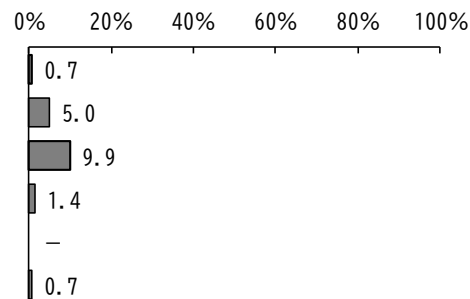
<施設サービス>

	基数	構成比 (%)
介護老人福祉施設	23	16.3
介護老人保健施設	4	2.8
介護医療院（介護療養型医療施設）	2	1.4
施設サービス（計）	29	



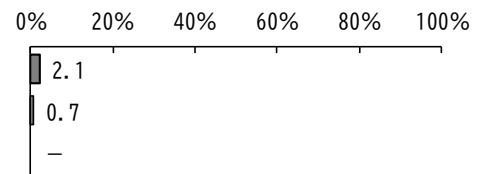
<地域密着型サービス>

	基数	構成比 (%)
夜間対応型訪問介護	1	0.7
小規模多機能型居宅介護	7	5.0
認知症対応型通所介護	14	9.9
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	2	1.4
看護小規模多機能型居宅介護	0	—
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.7
地域密着型サービス（計）	25	



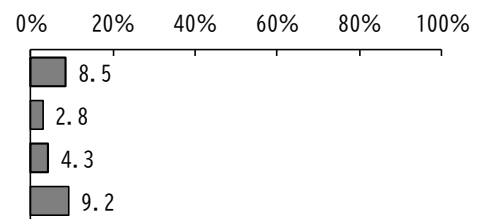
<介護予防（地域密着型）サービス>

	基数	構成比 (%)
予防小規模多機能型居宅介護	3	2.1
予防認知症対応型通所介護	1	0.7
予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0	—
介護予防（地域密着型）サービス（計）	4	



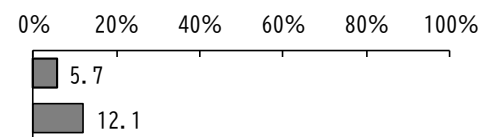
<その他のサービス>

	基数	構成比 (%)
病院・診療所	12	8.5
薬局	4	2.8
都市型軽費老人ホーム	6	4.3
その他のサービス	13	9.2
その他のサービス（計）	35	

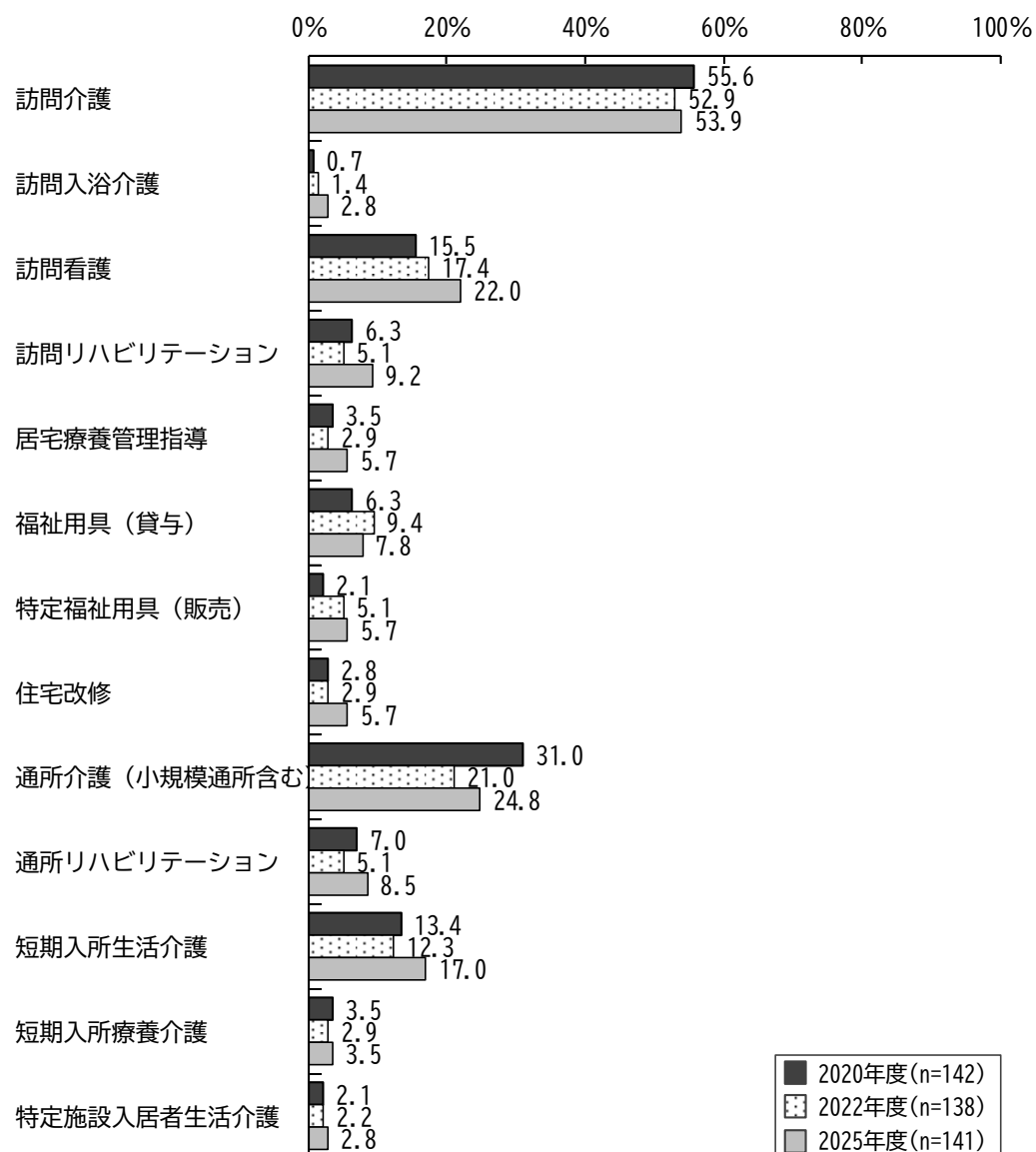


<その他>

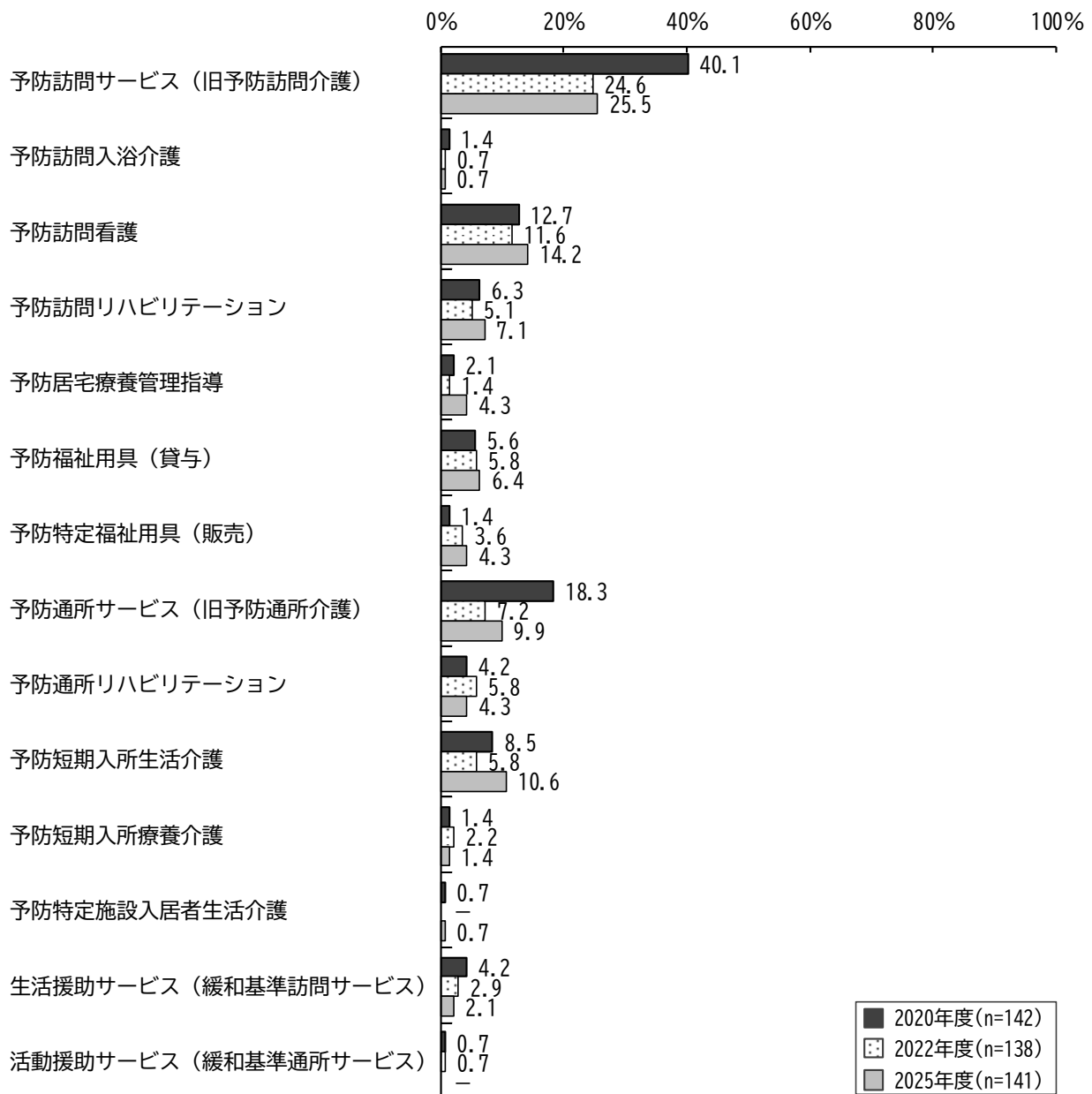
	基数	構成比 (%)
併設事業なし	8	5.7
無回答	17	12.1
全体	141	100.0



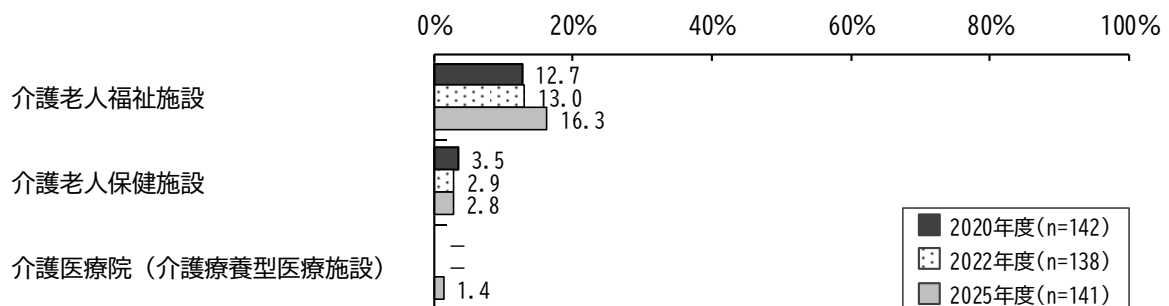
【経年比較】介護（居宅）サービス



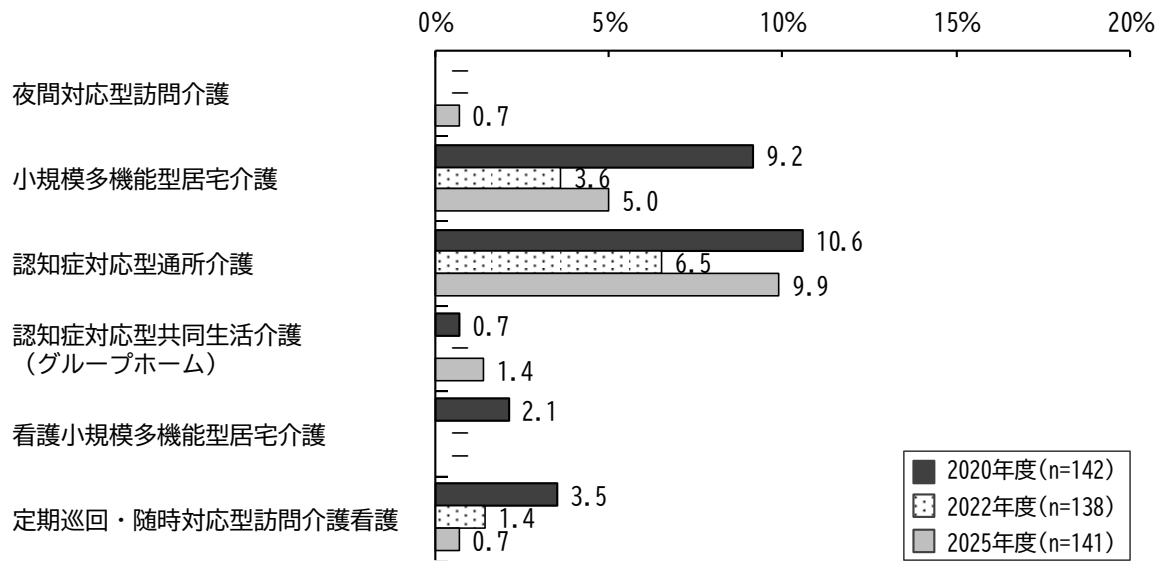
【経年比較】介護予防サービス



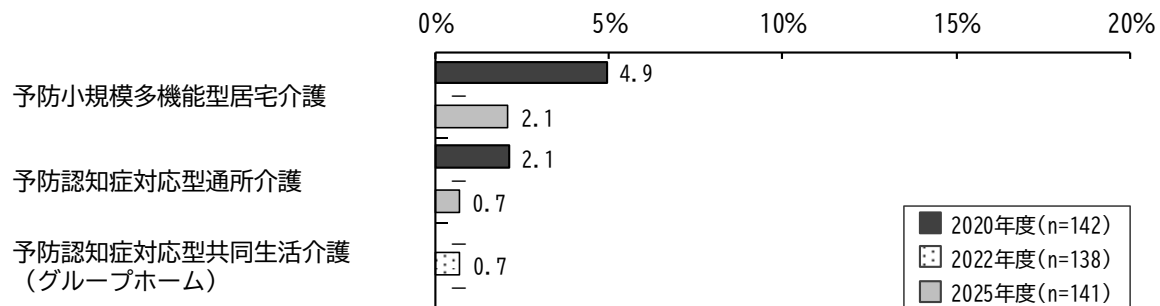
【経年比較】施設サービス



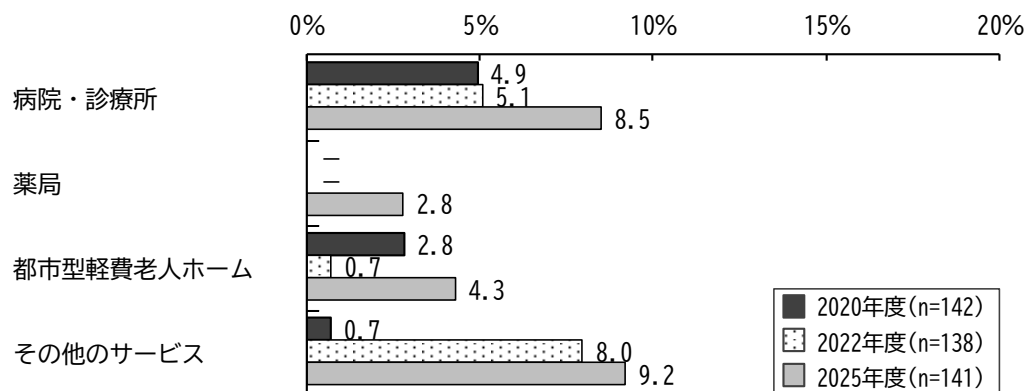
【経年比較】地域密着型サービス



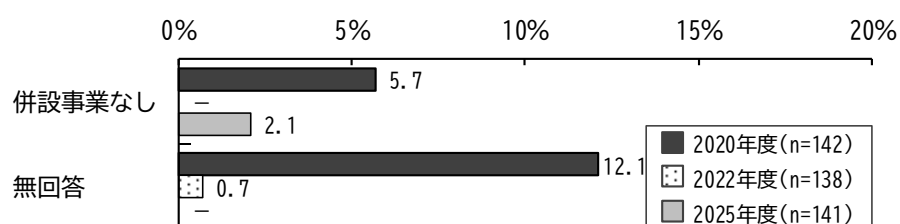
【経年比較】介護予防地域密着型サービス



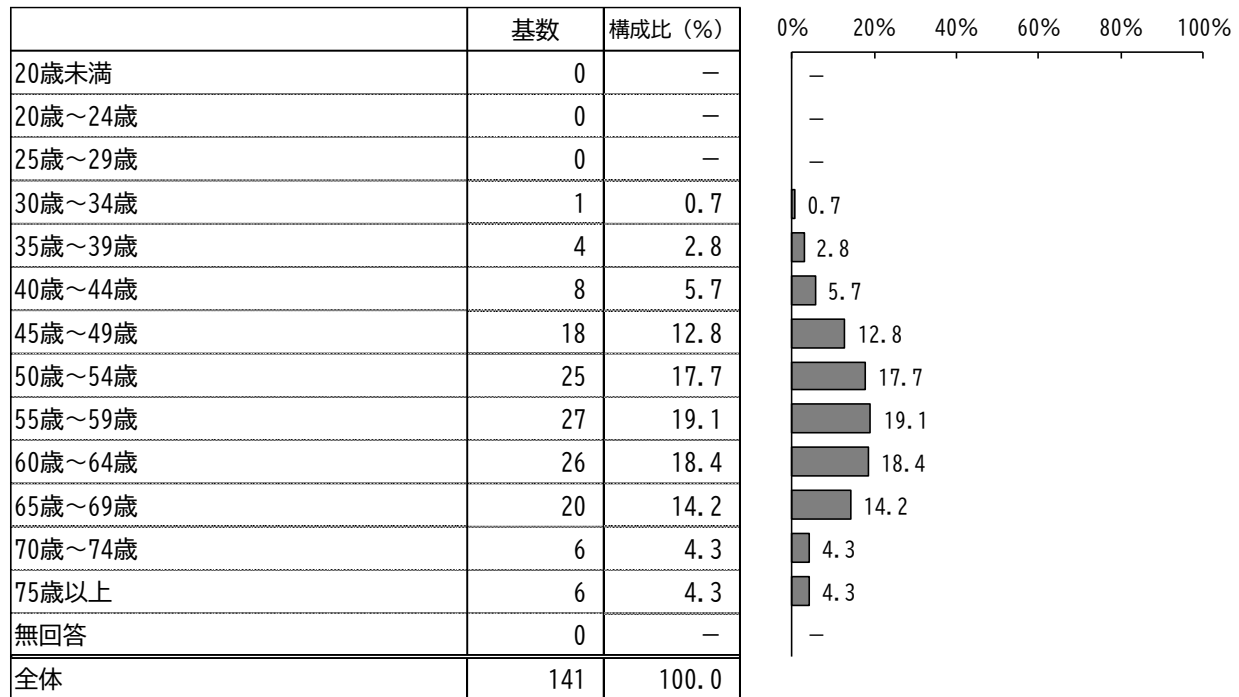
【経年比較】その他のサービス



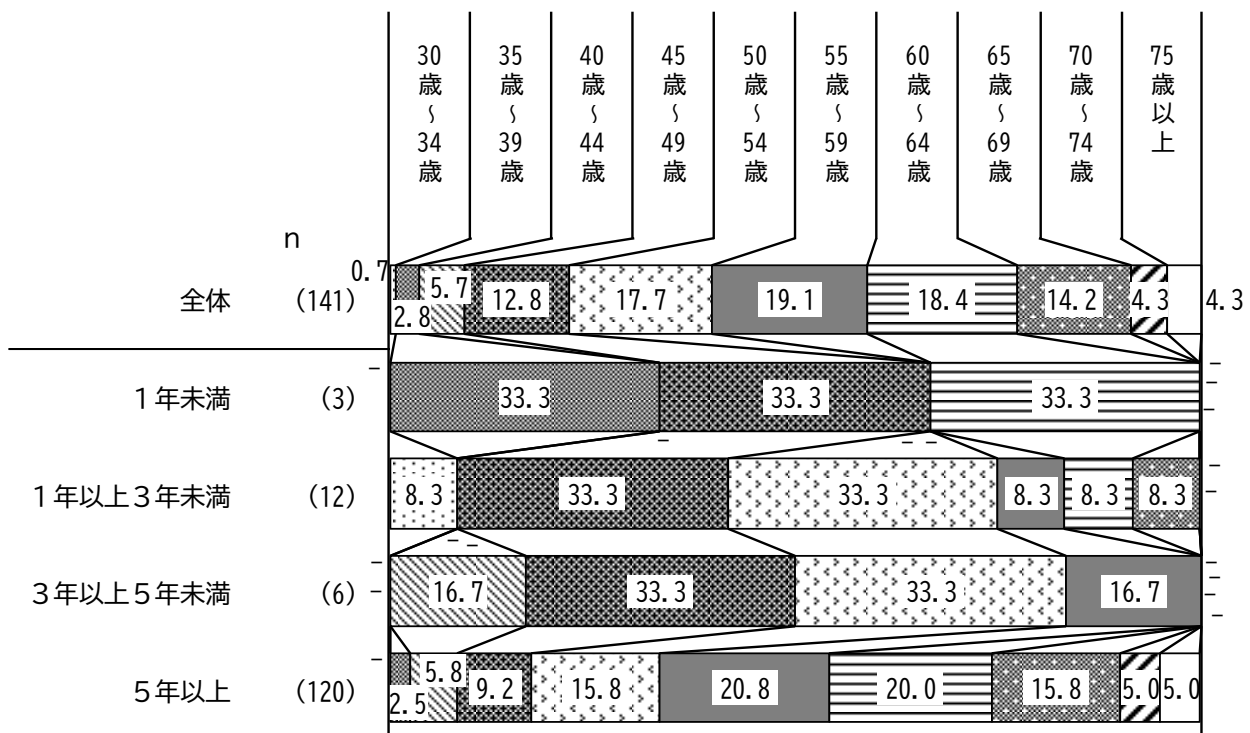
【経年比較】その他



1.3. 年代

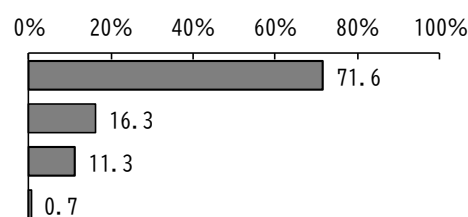


【従事年数】年代

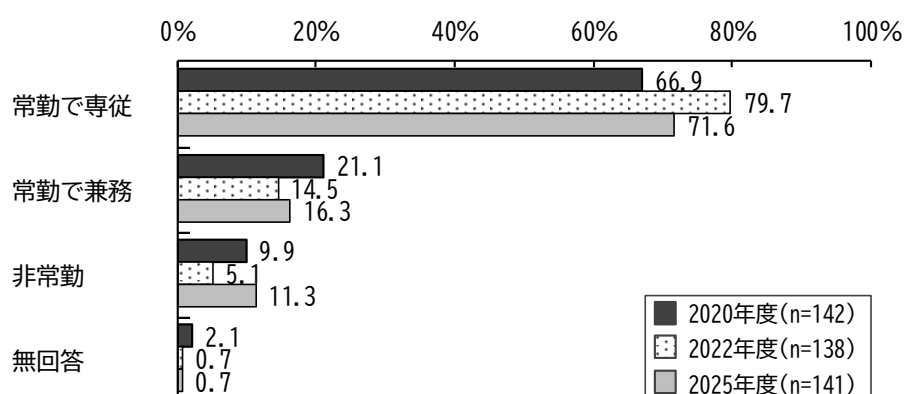


1.4. 勤務体系

	基数	構成比 (%)
常勤で専従	101	71.6
常勤で兼務	23	16.3
非常勤	16	11.3
無回答	1	0.7
全体	141	100.0

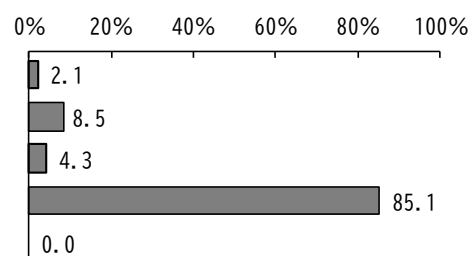


【経年比較】勤務体系

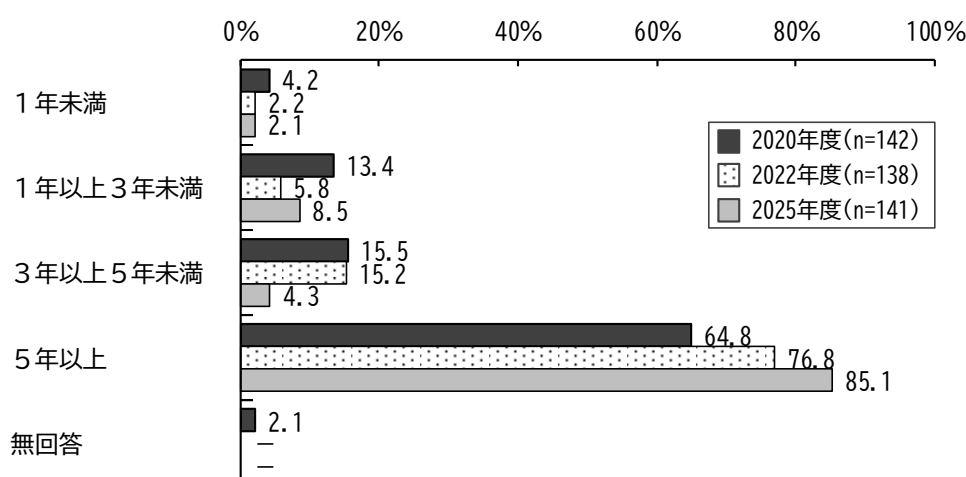


1.5. ケアマネジャーとしての従事期間

	基数	構成比 (%)
1年未満	3	2.1
1年以上3年未満	12	8.5
3年以上5年未満	6	4.3
5年以上	120	85.1
無回答	0	0.0
全体	141	100.0

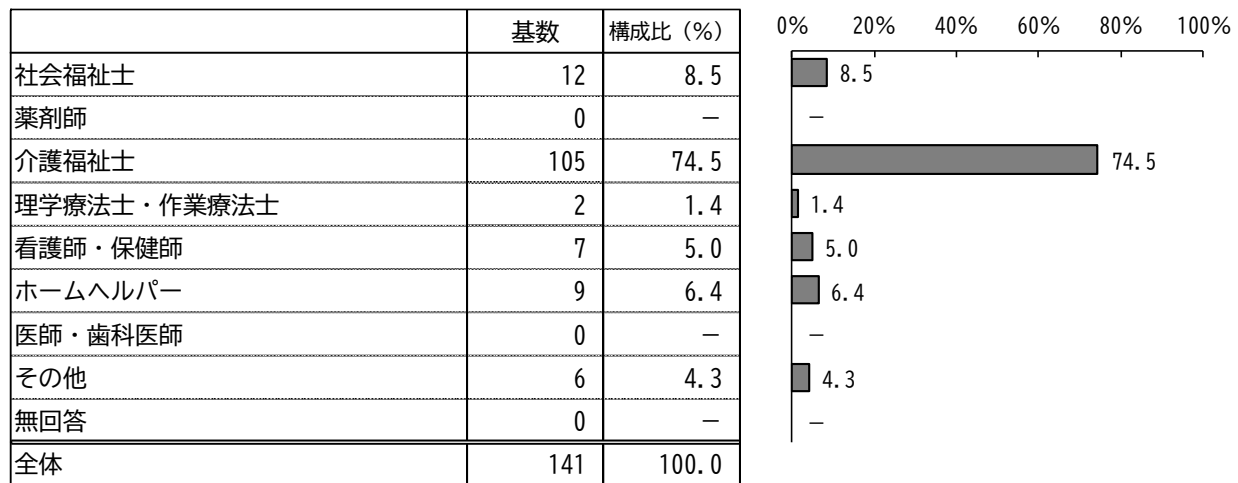


【経年比較】ケアマネジャーとしての従事期間

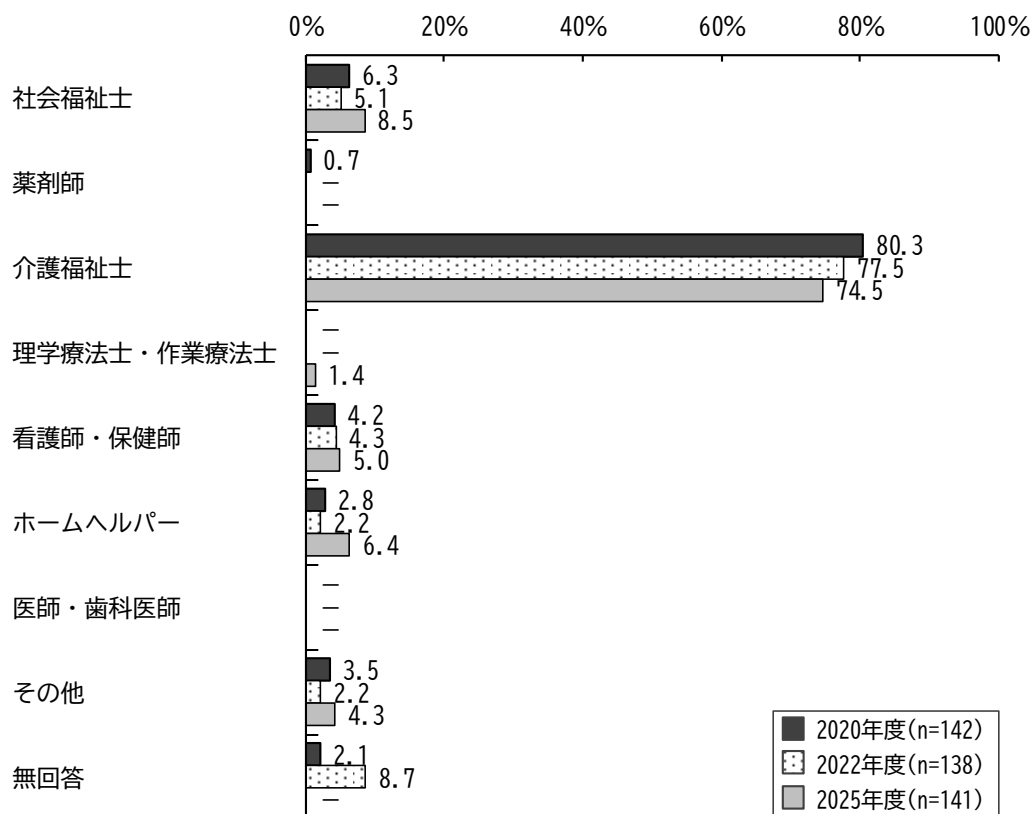


1.6. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数

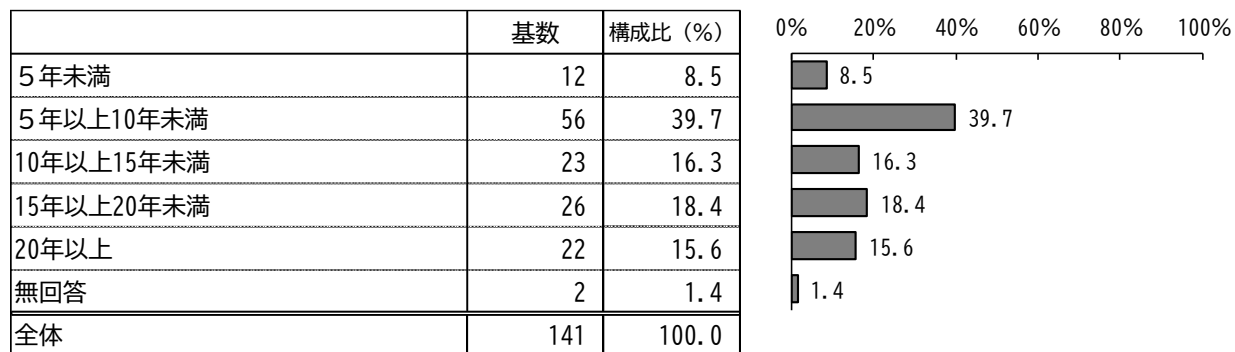
<受験資格>



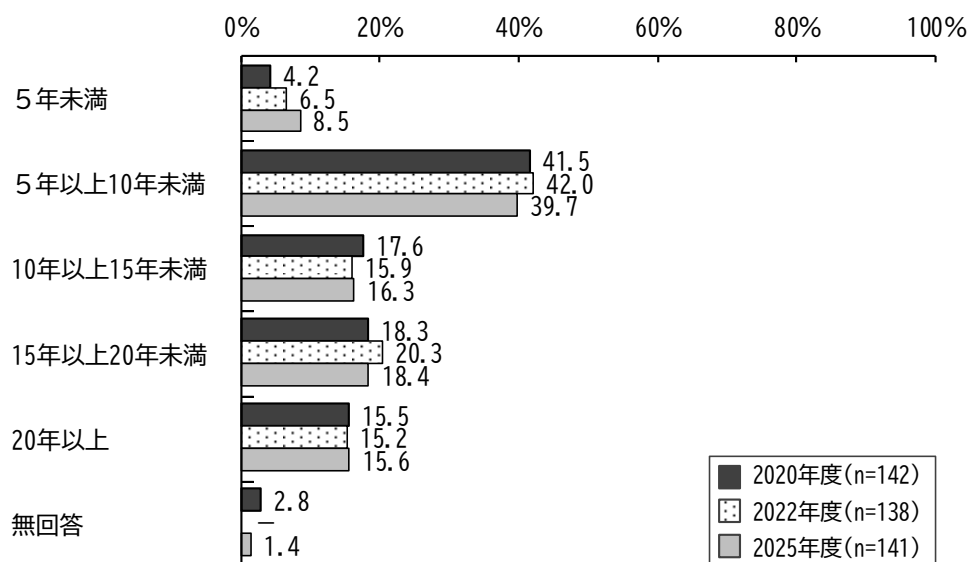
【経年比較】受験資格



<当該職種の従事年数>

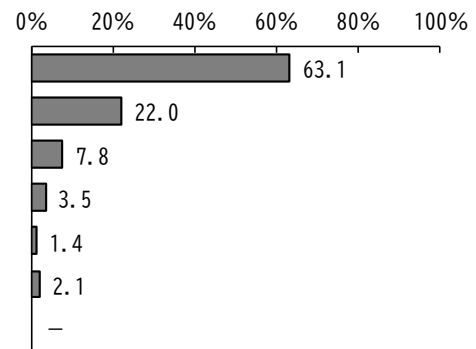


【経年比較】当該職種の従事年数

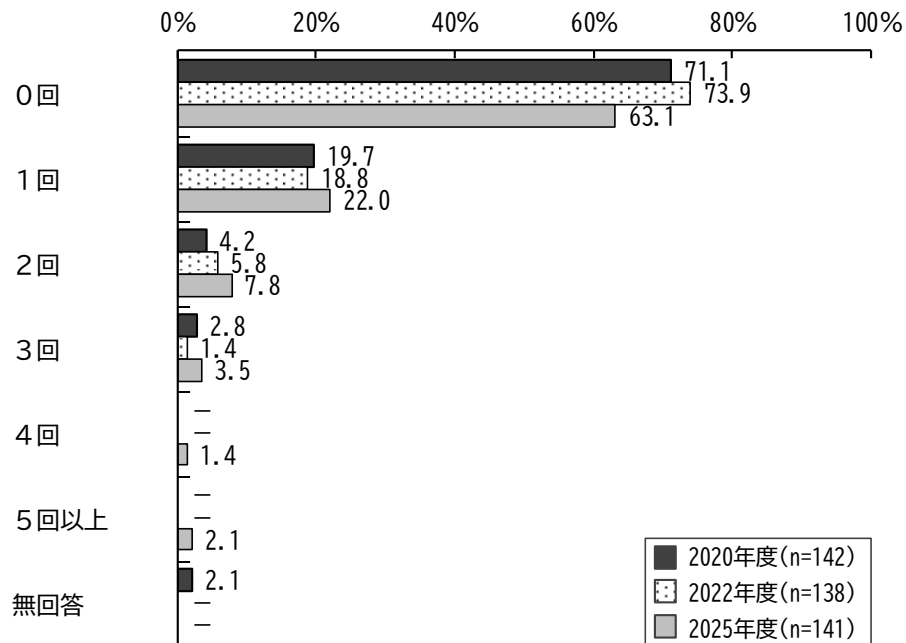


1.7. 過去3年間で、所属事業所を変った回数

	基数	構成比 (%)
0回	89	63.1
1回	31	22.0
2回	11	7.8
3回	5	3.5
4回	2	1.4
5回以上	3	2.1
無回答	0	—
全体	141	100.0

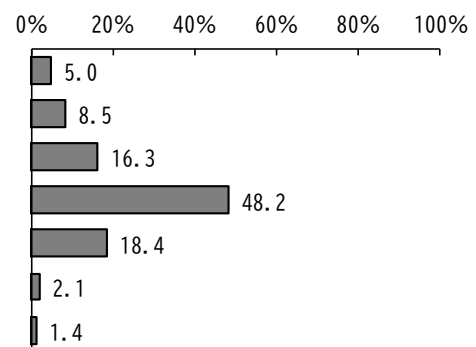


【経年比較】過去3年間で、所属事業所を変った回数

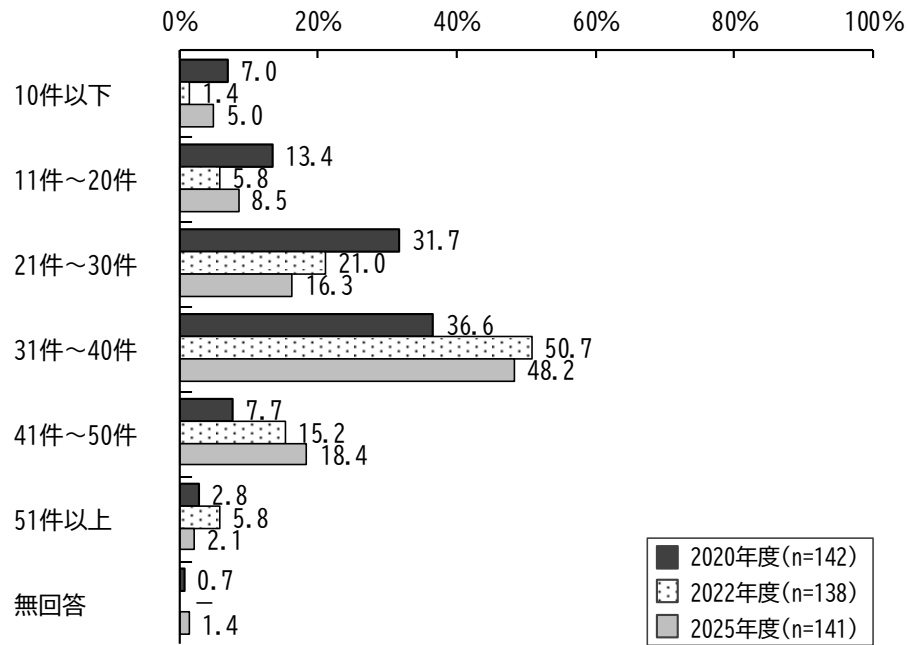


1.8. 給付管理件数

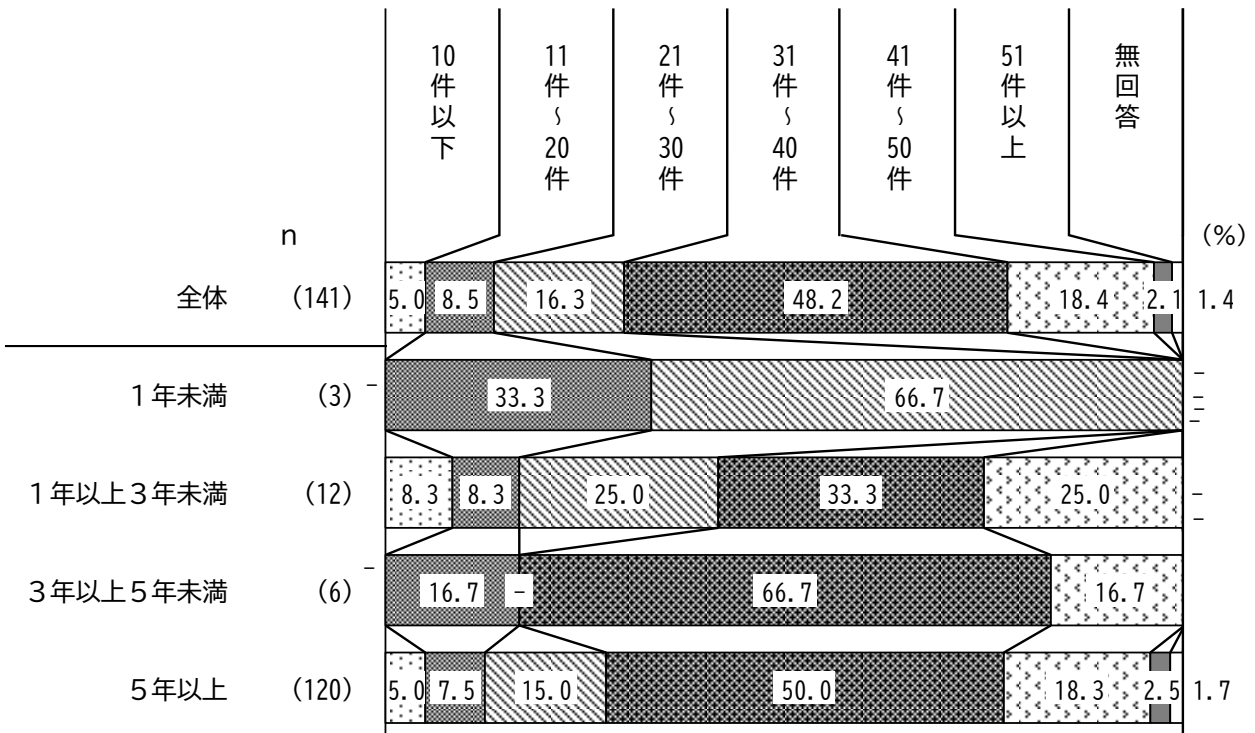
	基数	構成比 (%)
10件以下	7	5.0
11件～20件	12	8.5
21件～30件	23	16.3
31件～40件	68	48.2
41件～50件	26	18.4
51件以上	3	2.1
無回答	2	1.4
全体	141	100.0



【経年比較】給付管理件数

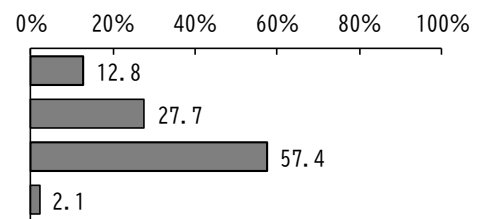


【従事年数】給付管理件数

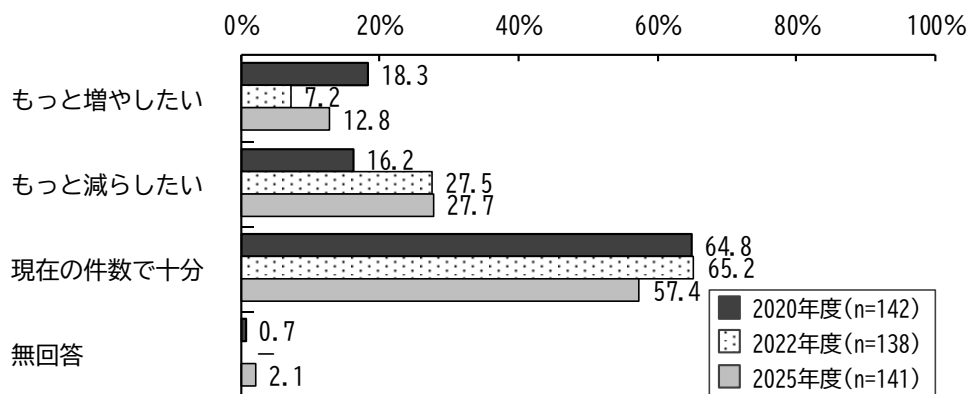


1.9. 作成する居宅サービス計画の件数

	基数	構成比 (%)
もっと増やしたい	18	12.8
もっと減らしたい	39	27.7
現在の件数で十分	81	57.4
無回答	3	2.1
全体	141	100.0

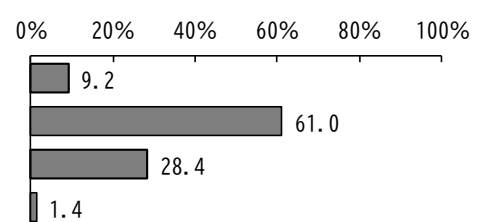


【経年比較】作成する居宅サービス計画の件数

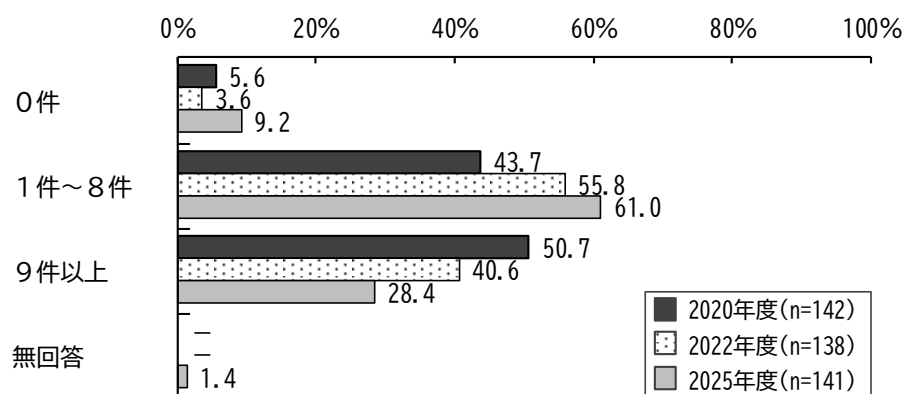


1.10. 介護予防サービス計画の受託または作成人数

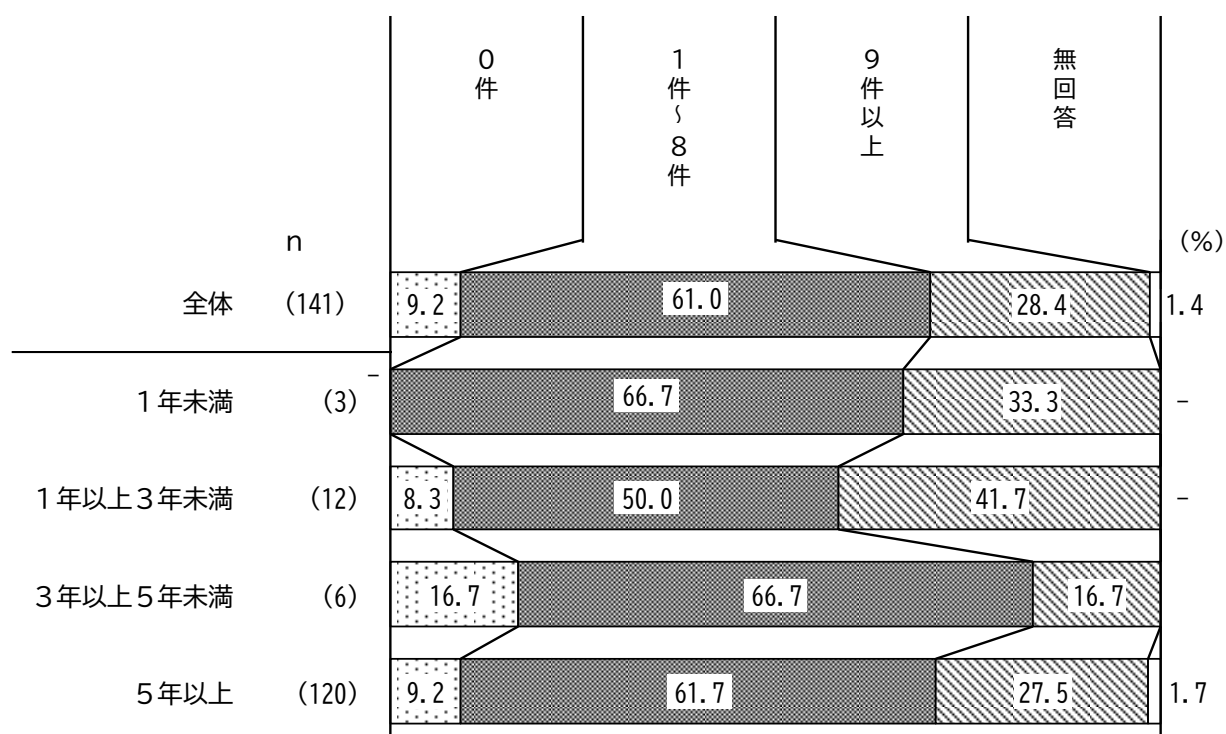
	基数	構成比 (%)
0件	13	9.2
1件～8件	86	61.0
9件以上	40	28.4
無回答	2	1.4
全体	141	100.0



【経年比較】介護予防サービス計画の受託または作成人数



【従事年数】介護予防サービス計画の受託または作成人数



2. ケアプラン・介護予防について

2.1. 作成するケアプランの件数について

◆ 「もっと減らしたい」が5割台半ば

(全員の方に)

問 11 受託または作成する介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。(○は1つ)

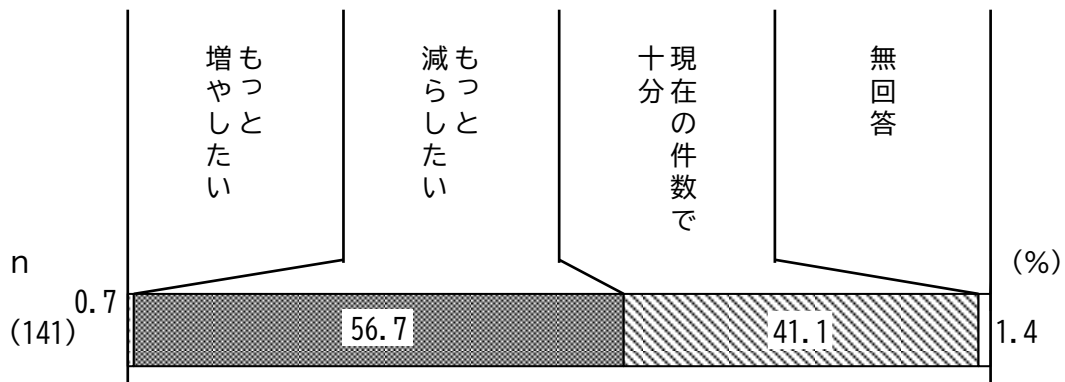


図 2-1 作成するケアプランの件数について

「もっと減らしたい」が5割台半ばを占めている。

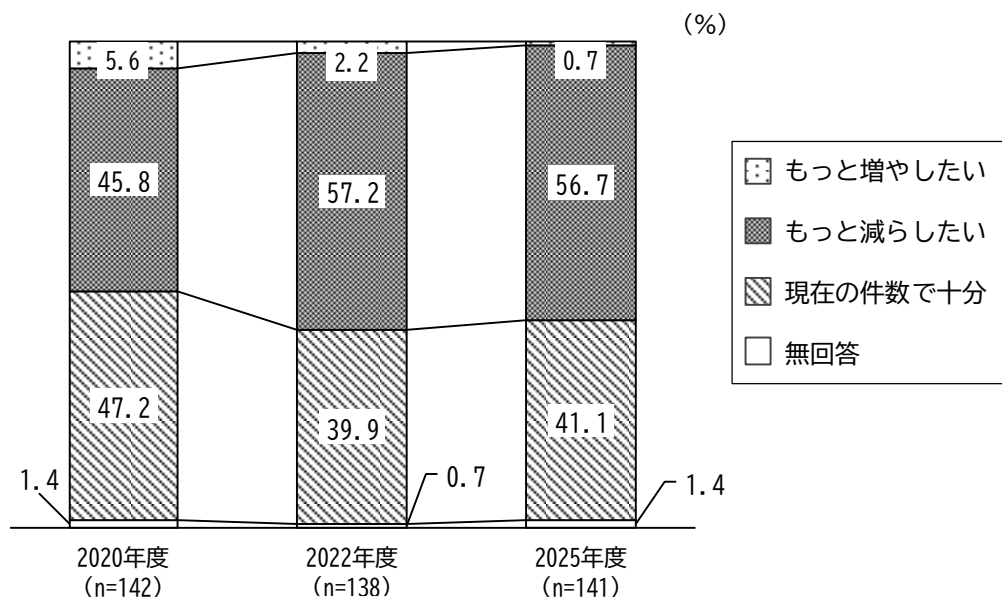


図 2-2 【経年比較】作成するケアプランの件数について

経年比較では、2022年度と比べて、大きな差異はみられない。

2.2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

◆ 「ある程度果たしている」が6割台後半

(全員の方に)

問 12 介護保険制度は要介護者等の自立支援を目的の一つとしていますが、現行の介護サービスはその役割を十分果たしていると思いますか。(〇は1つ)

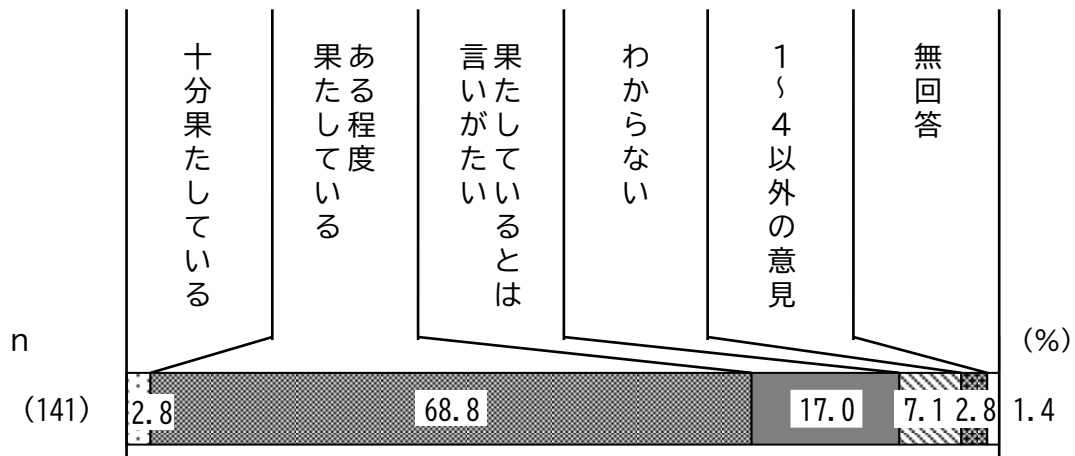


図 2-3 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

「ある程度果たしている」が6割台後半を占めている。

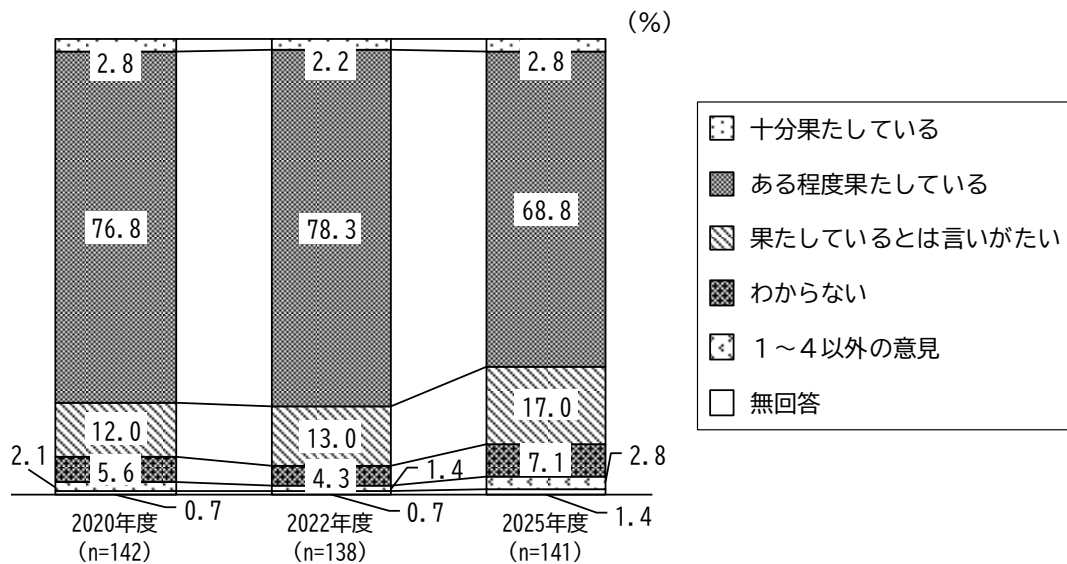


図 2-4 【経年比較】現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

経年比較では、2022年度と比べて、「ある程度果たしている」が9.5ポイント減少している。

2.3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか

◆ 「1～5」が6割台前半

(全員の方に)

問13 地域の自主グループをどのくらい知っていますか。(〇は1つ)

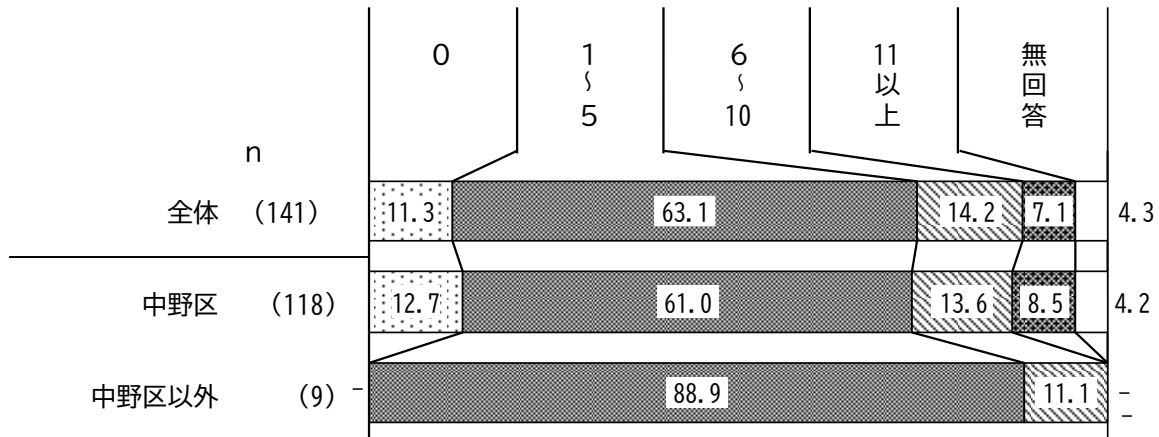
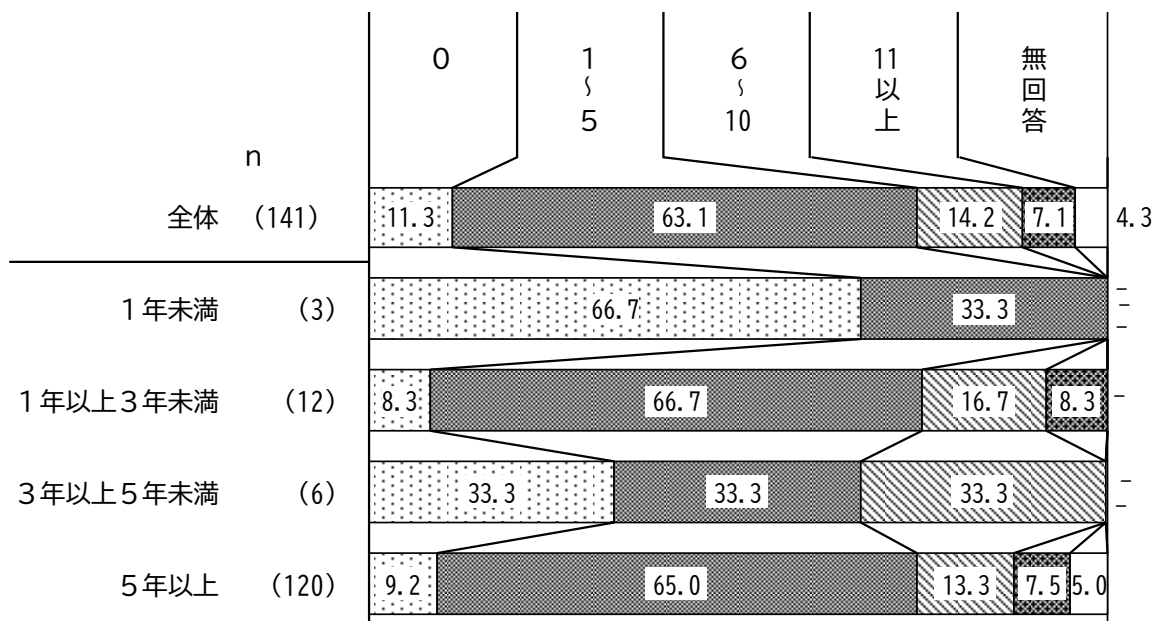


図2-5 地域の自主グループをどのくらい知っているか

「1～5」が6割台前半を占めている。

事業所の所在地別では、いずれも「1～5」が最も高くなっている。

【従事年数別】地域の自主グループをどのくらい知っているか



従事年数別では、1年以上3年未満と5年以上で「1～5」が6割台半ばを占めている。

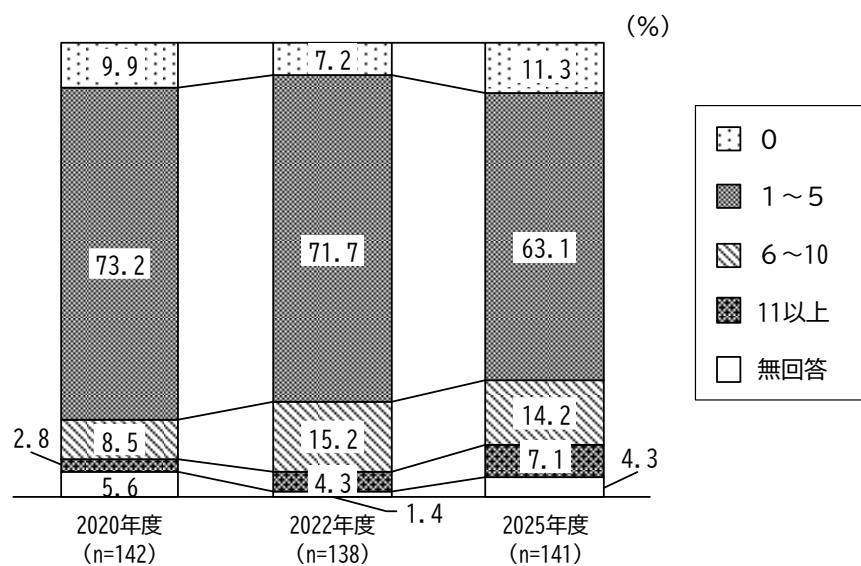


図 2-6 【経年比較】地域の自主グループをどのくらい知っているか

経年比較では、2022 年度と比べて、「1~5」が 8.6 ポイント減少している。

2.4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

◆ 「はい」が8割台後半

(全員の方に)

問 14 ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。(○は1つ)

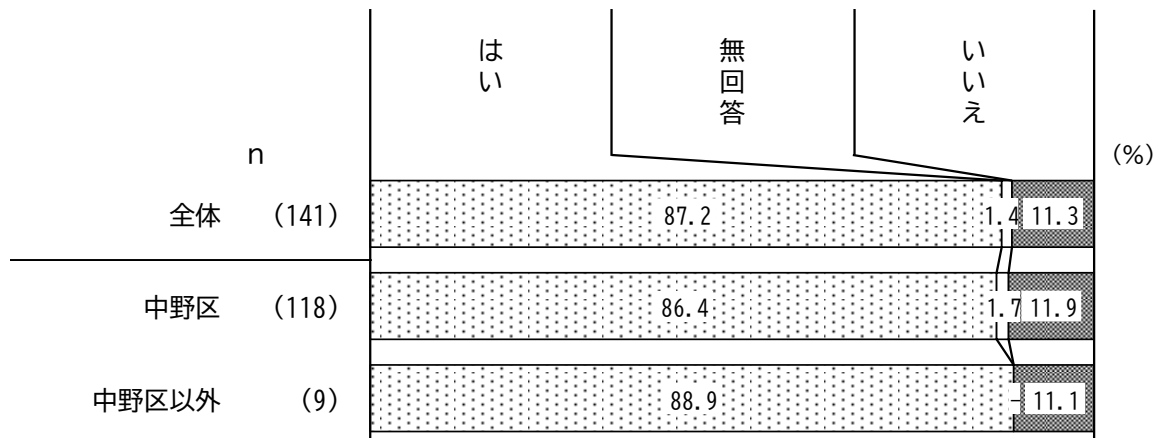
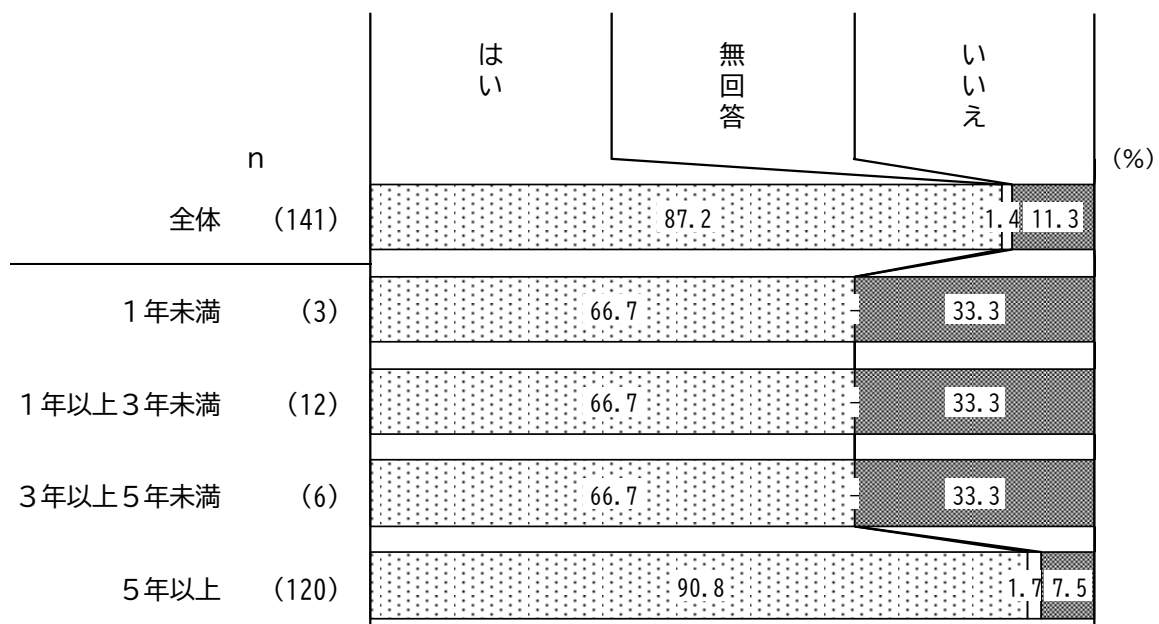


図 2-7 ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

「はい」が8割台後半を占めている。

事業所の所在地別では、中野区で「はい」が8割台半ばを占めている。

【従事年数別】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか



従事年数別では、5年以上で「はい」が約9割を占めている。

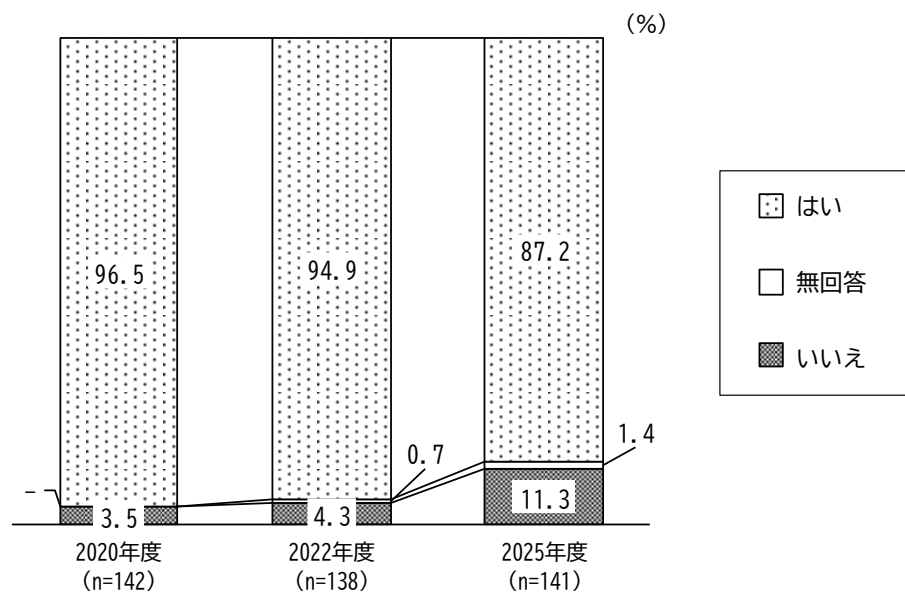


図 2-8 【経年比較】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

経年比較では、2022 年度と比べて、「いいえ」が 7.0 ポイント増加している。

2.5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源

◆ 「民間の配食サービス」が9割台前半

(問14で「はい」と回答した方に)

問14A 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

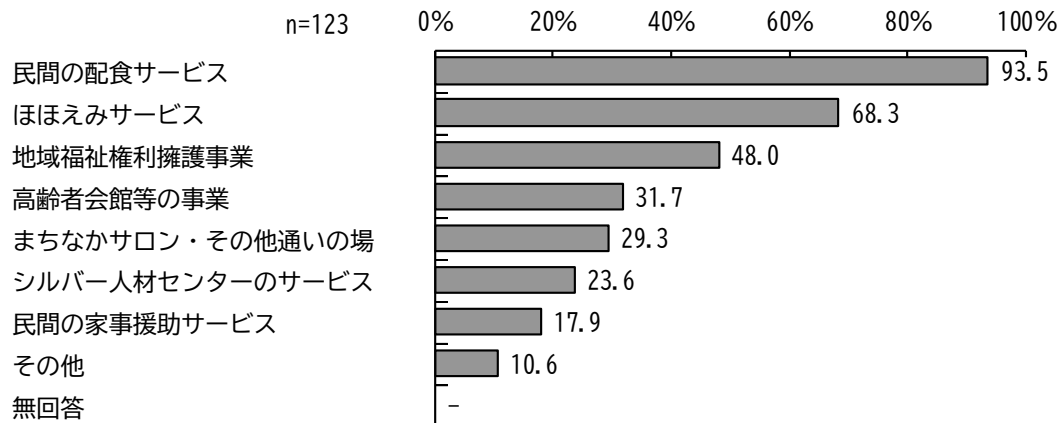


図2-9 ケアプランに盛り込んでいる地域資源

「民間の配食サービス」が9割台前半で最も高く、次いで「ほほえみサービス」が6割台後半となっており、ともに高い割合を占めている。

【事業所の所在地別】ケアプランに盛り込んでいる地域資源

単位：％

	有効回答数(件)	民間の配食サービス	ほほえみサービス	地域福祉権利擁護事業	高齢者会館等の事業	まちなかサロン・その他通いの場	のシルバー人材センター	民間の家事援助サービス	その他	無回答
全体	123	93.5	68.3	48.0	31.7	29.3	23.6	17.9	10.6	-
中野区	102	95.1	71.6	47.1	31.4	30.4	22.5	16.7	10.8	-
中野区以外	8	87.5	25.0	62.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-

【従事年数別】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

単位：％

	有効回答数（件）	民間の配食サービス	ほほえみサービス	地域福祉権利擁護事業	高齢者会館等の事業	まちなかサロン・その他通いの場	シルバー人材センターのサービス	民間の家事援助サービス	その他	無回答
全体	123	93.5	68.3	48.0	31.7	29.3	23.6	17.9	10.6	-
1年未満	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
1年以上3年未満	8	100.0	75.0	25.0	50.0	37.5	37.5	12.5	-	-
3年以上5年未満	4	75.0	25.0	75.0	-	50.0	-	-	50.0	-
5年以上	109	93.6	69.7	48.6	32.1	28.4	23.9	19.3	9.2	-

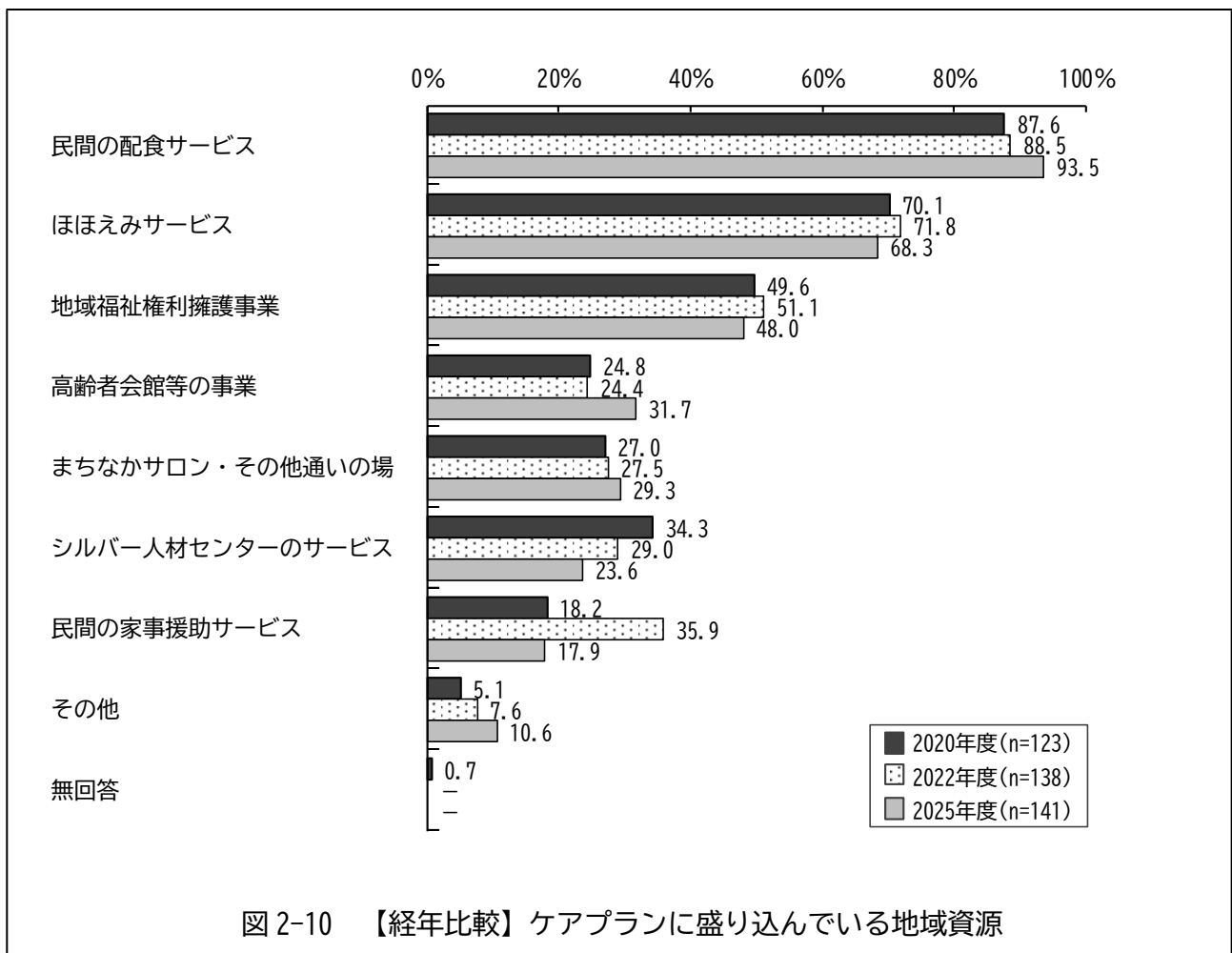


図 2-10 【経年比較】ケアプランに盛り込んでいる地域資源

経年比較では、2022 年度と比べて、「民間の家事援助サービス」が 18.0 ポイント減少しており、反対に「高齢者会館等の事業」が 7.3 ポイント増加している。

2.6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）

（全員の方に）

問 15 ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思われますか。ご自由にお書きください。

ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題について、85 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 全ての方にマッチする地域資源がなかなかないこと。
- 独居、見守り支援。独居の人でも、認知症になったとしても、地域で自分らしく幸せに暮らせること。
- 利用までの手続に時間がかかる。認知低下があると利用に結びつけられない。key パーソン不在だと、ケアマネが契約や支払の支援を行う事になる。
- 独居で身寄りがなく、知人もいない、収入の低い方は盛り込みづらい。
- 通いの場まで 1 人行けない方もいる、担い手がない
- 限られた時間内でのケアプラン作成に盛り込んでいくのが大変かもしれません。特に新規の方については細かく説明する必要があるからです。
- サービス利用までに時間を要する。利用要件や種類が限定されてしまう（特に費用面）
- 地域資源のモニタリングまでしなければならないのが負担です。
- ケアプランに記載する以上は、担当者会議召集、声かけすべきと思うが、なかなか実現できない
- ほほえみサービスや民間の家支援、シルバー人材、といった人がいないとサービスに結びつかない。いずれも人手が減っているのが課題と感じる。
- 通いの場合、往復の移動見守り支援ができるインフォーマルSVが無い。生保の場合、自費発生するものは位置づけし辛い。配食がどこも値上がりしている
- 要介護者が受けられる地域資源の少なさ。支援の方でも、外出に介助を要す。出かけるには移動サービスが必要。訪問には、手伝う側の心の余裕。ボランティア的な善意に頼る時代ではないと思う。何らか対価なのか、ポイントなのか活動に見あった何かがなければ、インフォーマルでも成り立たないのでは。
- 知られていない地域資源がある。行きたい地域資源があっても利用者自身がたどりつけない→遠い、迎えが来れば家から出る等
- 地域資源が足りない。地域資源を作り出す為の話し合いをどのように相談していけばいいかわからない。そもそも現在の仕事量では話し合いの時間を作ることも難しい。
- 権利擁護事業はなかなかご理解いただけないことが多い。
- 地域資源側と個人情報どこまで共有するか
- ケアマネ自ら知識を取り入れて頻繁に利用していくべき。それを続けていく事で、必要なサービスや、不要のサービスが分かって来る。
- ケアマネジメントの域を越えてソーシャルワークになっているので、逆に介護サービスを利用しなくても報酬を出せる仕組みが必要だと思う。
- 利用していれば盛り込む上での課題はないが、地域のケアマネジャーがどれだけ地域資源を知っていて利用者に提案できるかが課題。
- 沢山の地域資源を入れ込むと、連携が取りにくい。

2.7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

◆「介護老人保健施設」が3割台半ば

(全員の方に)

問16 ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない(しにくい)サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

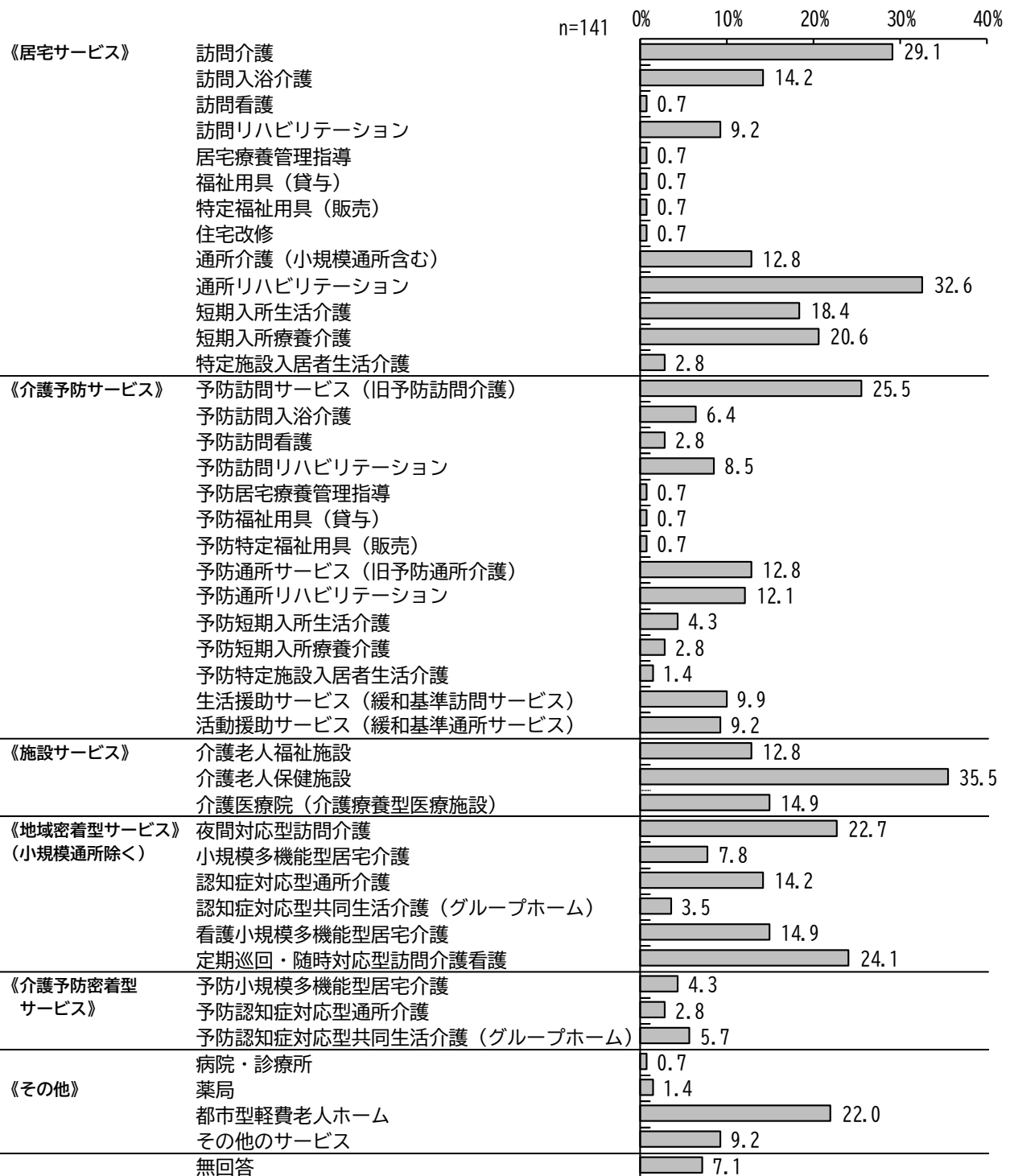


図 2-11 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

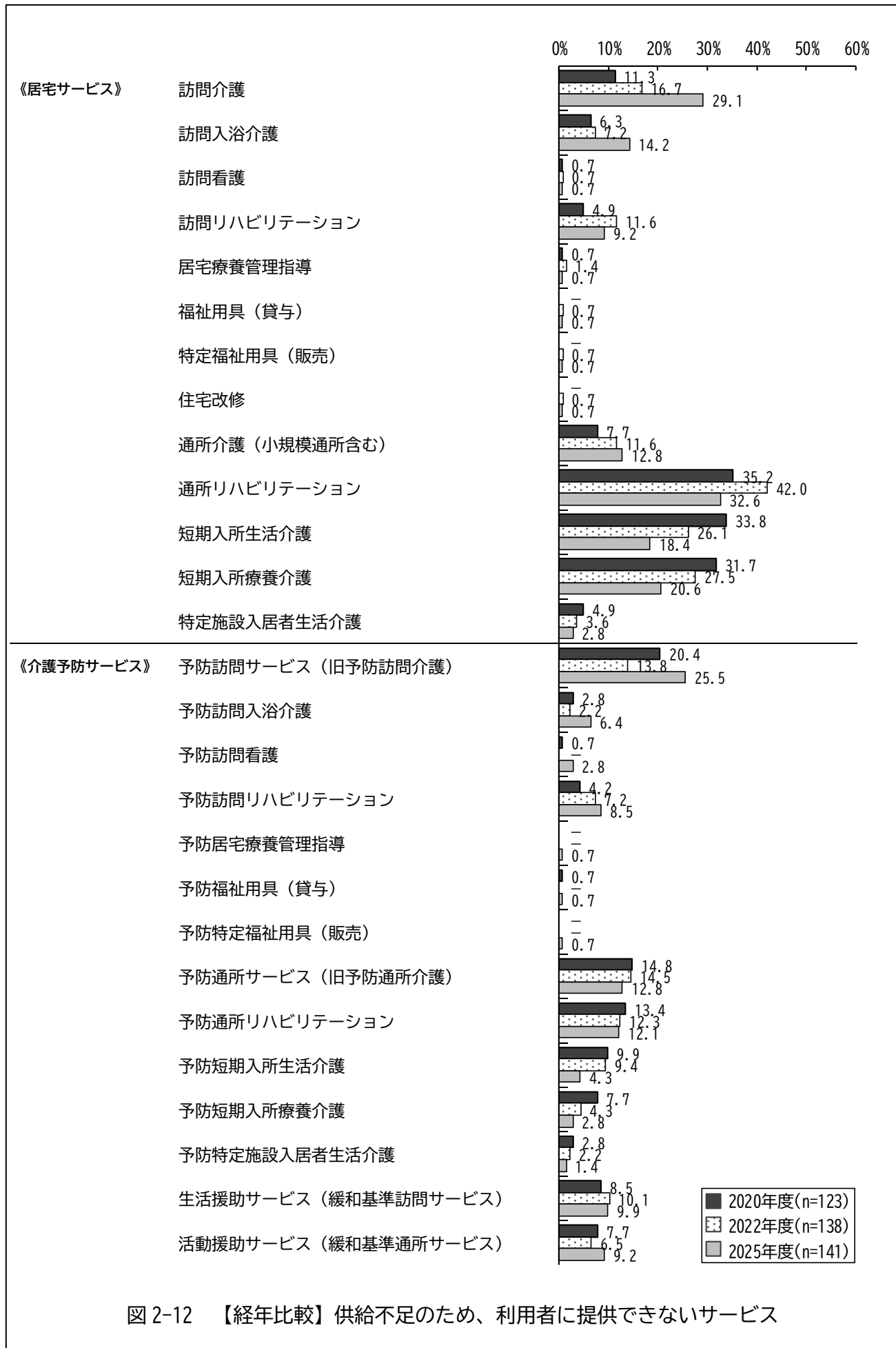
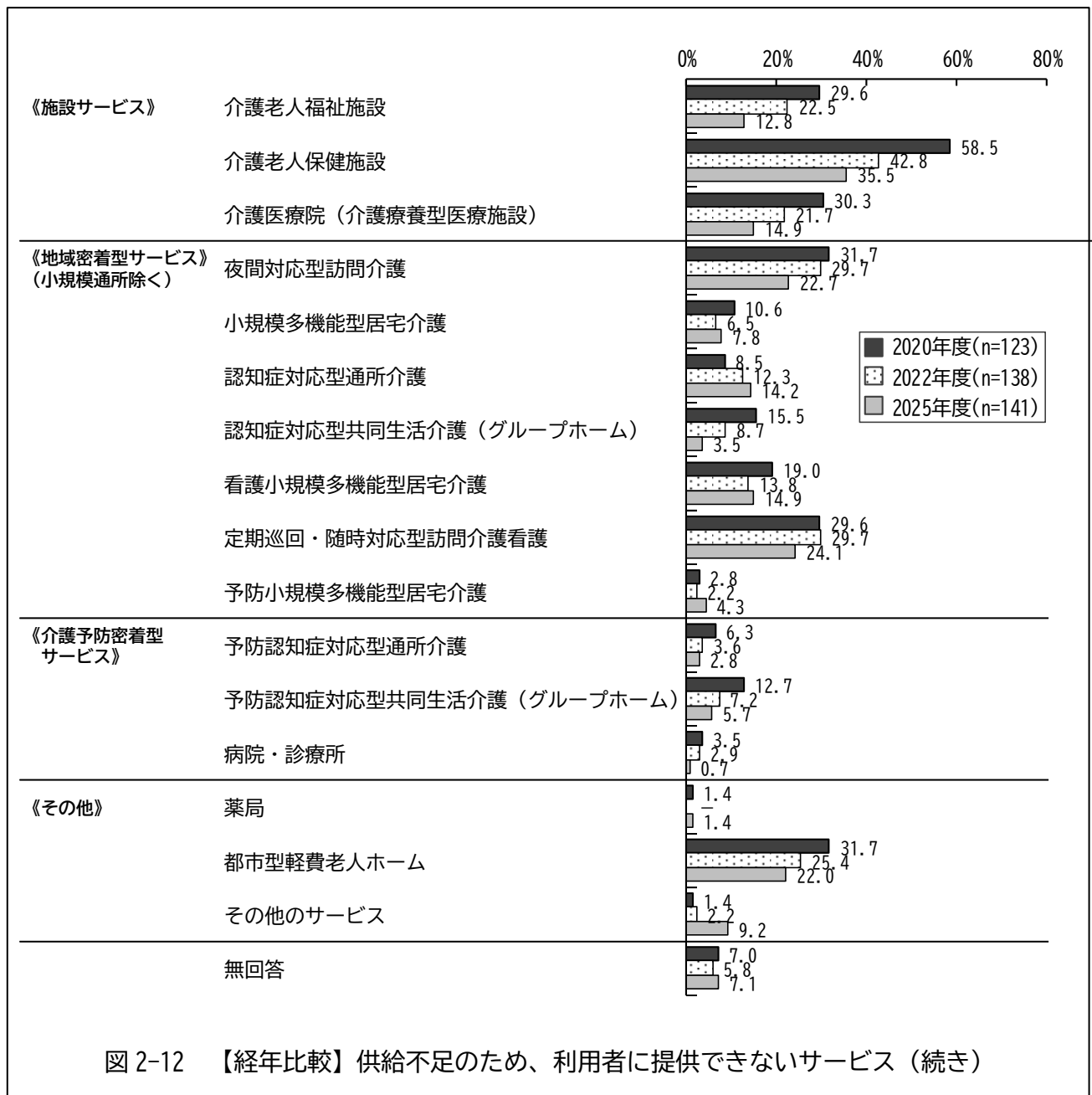


図 2-12 【経年比較】供給不足のため、利用者に提供できないサービス



ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない（しにくい）サービスは、「介護老人保健施設」が35.5%で最も高く、以下「通所リハビリテーション」、「訪問介護」、「予防訪問サービス（旧予防訪問介護）」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などとなっている。

経年比較では、2022年度と比べ、「訪問介護」「予防訪問サービス（旧予防訪問介護）」は10ポイント以上の増加となっている。一方、「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」「予防短期入所生活介護」は5ポイント以上の減少となっている。

2.8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

◆ 「経済的事情により費用負担が困難」が4割台半ば

(全員の方に)

問 17 供給不足以外に必要なサービスが提供（調整）出来ないのはどのような場合ですか。
(○は1つ)

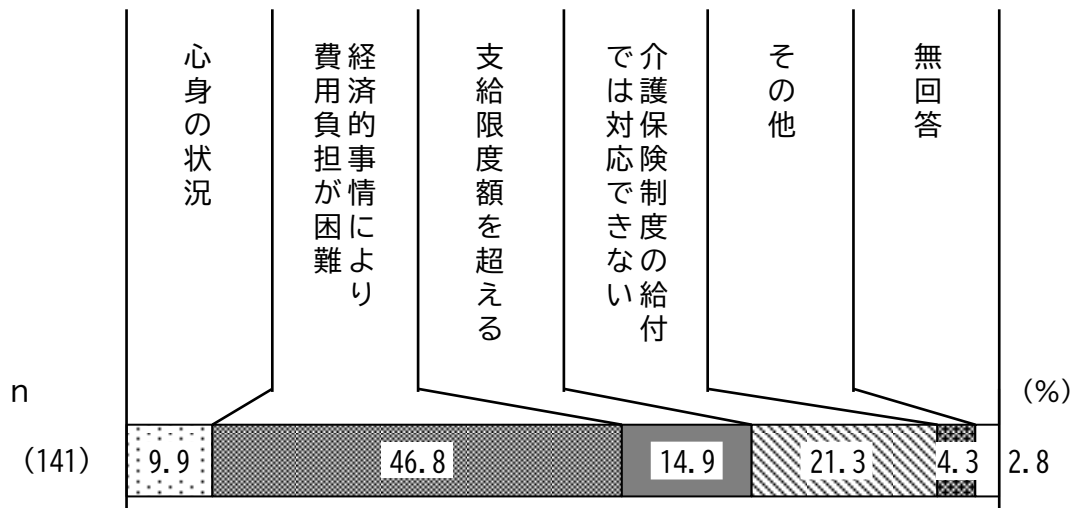


図 2-13 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

「経済的事情により費用負担が困難」が4割台半ばで最も高くなっている。

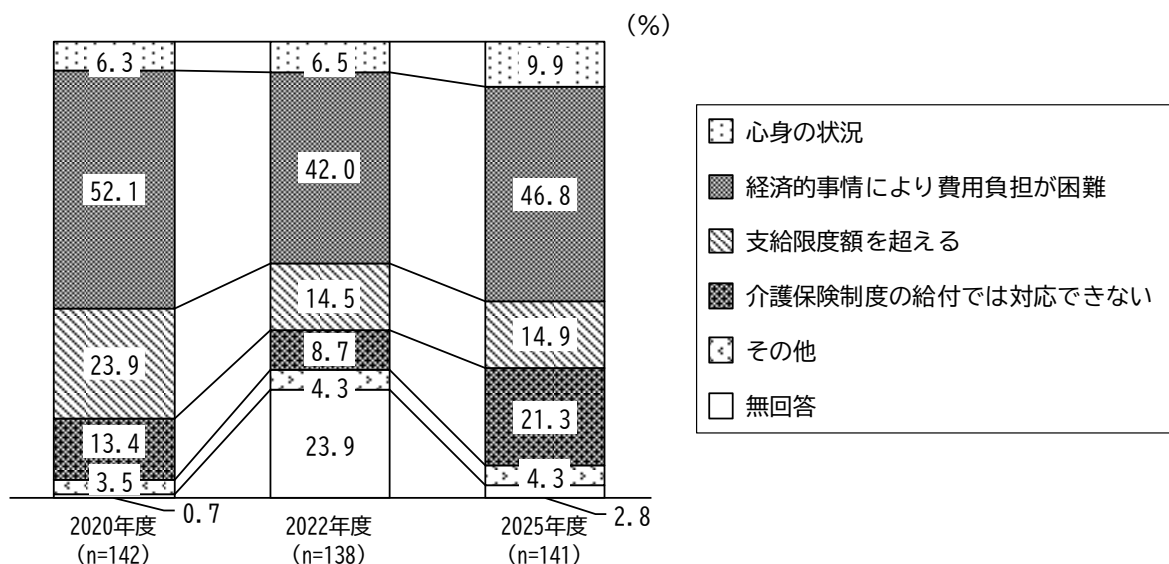


図 2-14 【経年比較】供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

経年比較では、2022 年度と比べて、「介護保険制度の給付では対応できない」が12.6 ポイント増加している。

2.9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

◆ 「ある程度つながっている」が7割台後半

(全員の方に)

問 18 介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。(○は1つ)

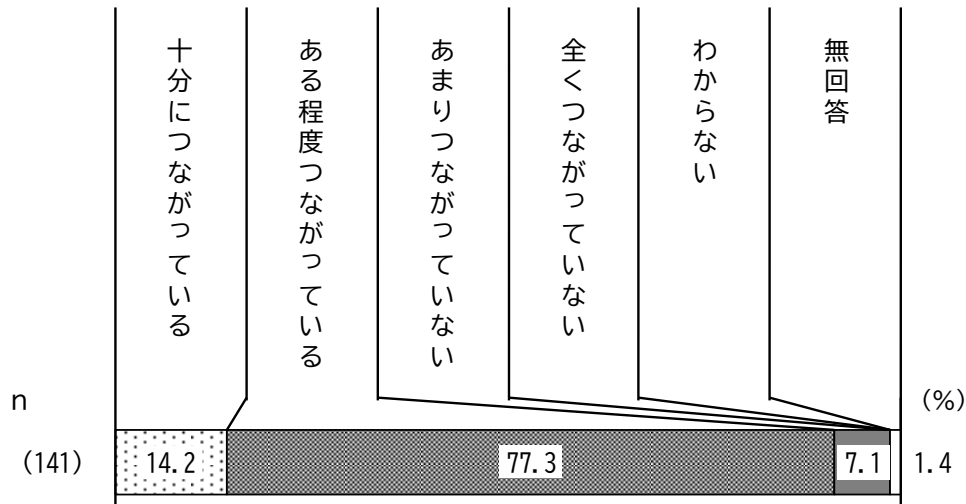
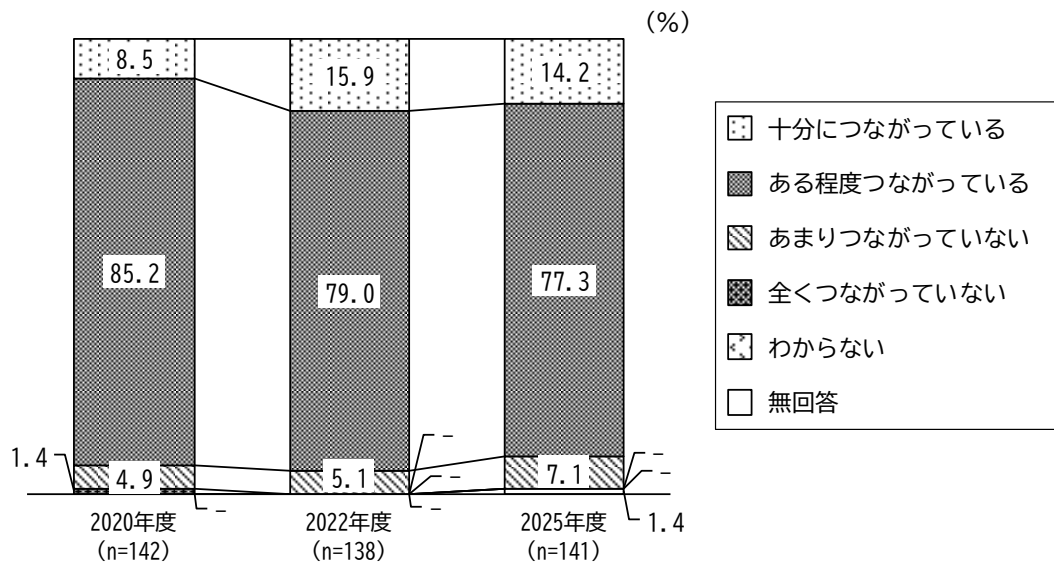


図 2-15 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

「ある程度つながっている」が7割台後半を占めている。



※2020 年度は、「あまり繋がっていない」は「さほどでもない」、「全く繋がっていない」は「負担軽減には繋がっていない」として選択肢を作成している

図 2-16 【経年比較】介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

経年比較では、大きな差異はみられない。

2.10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

◆ 「買い物」「通院」が7割台半ば

(全員の方に)

問 19 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

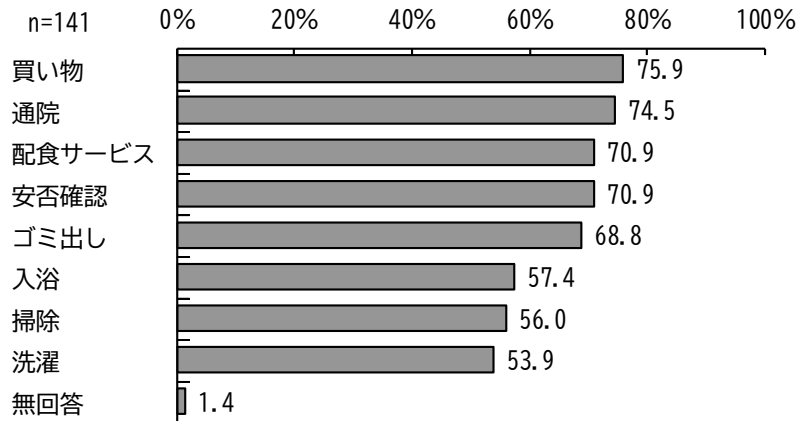


図 2-17 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

「買い物」と「通院」が7割台半ばで高く、次いで「配食サービス」、「安否確認」が約7割となっている。

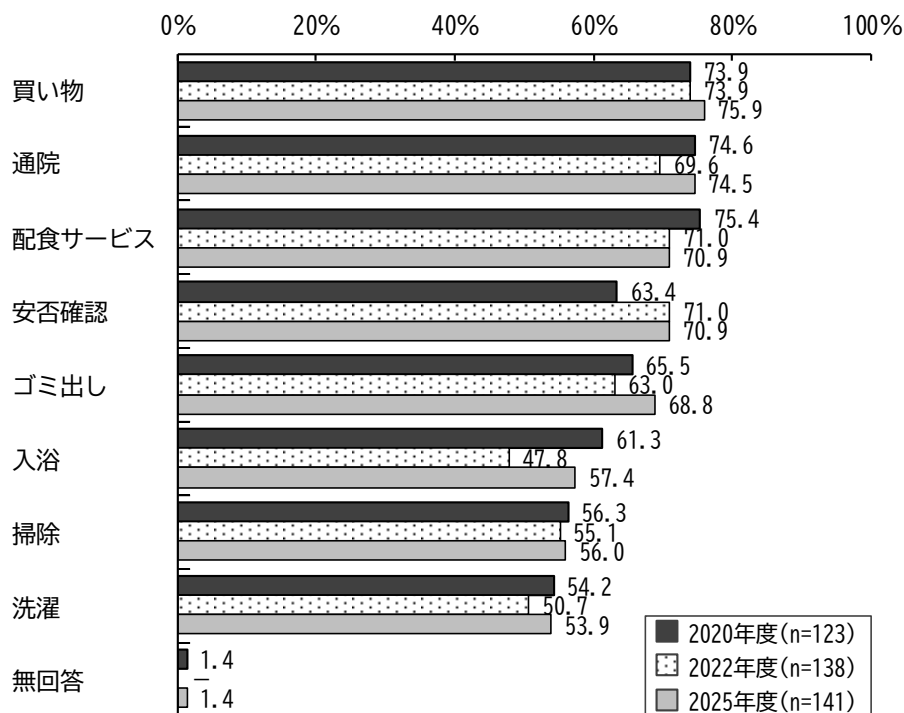


図 2-18 【経年比較】 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

経年比較では、2022年度と比べて、「入浴」が9.6ポイント増加している。

2.11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

◆ 「趣味関係の活動」が7割台後半

(全員の方に)

問 20 生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

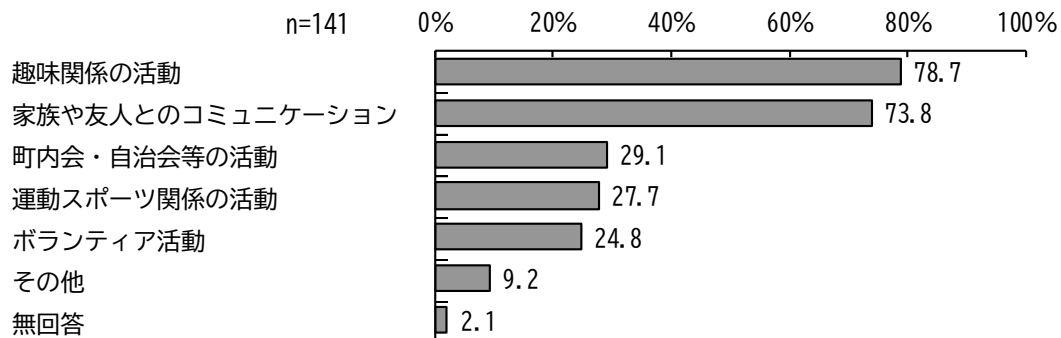


図 2-19 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

「趣味関係の活動」が7割台後半で最も高く、次いで「家族や友人とのコミュニケーション」が7割台前半となっており、ともに高い割合を占めている。

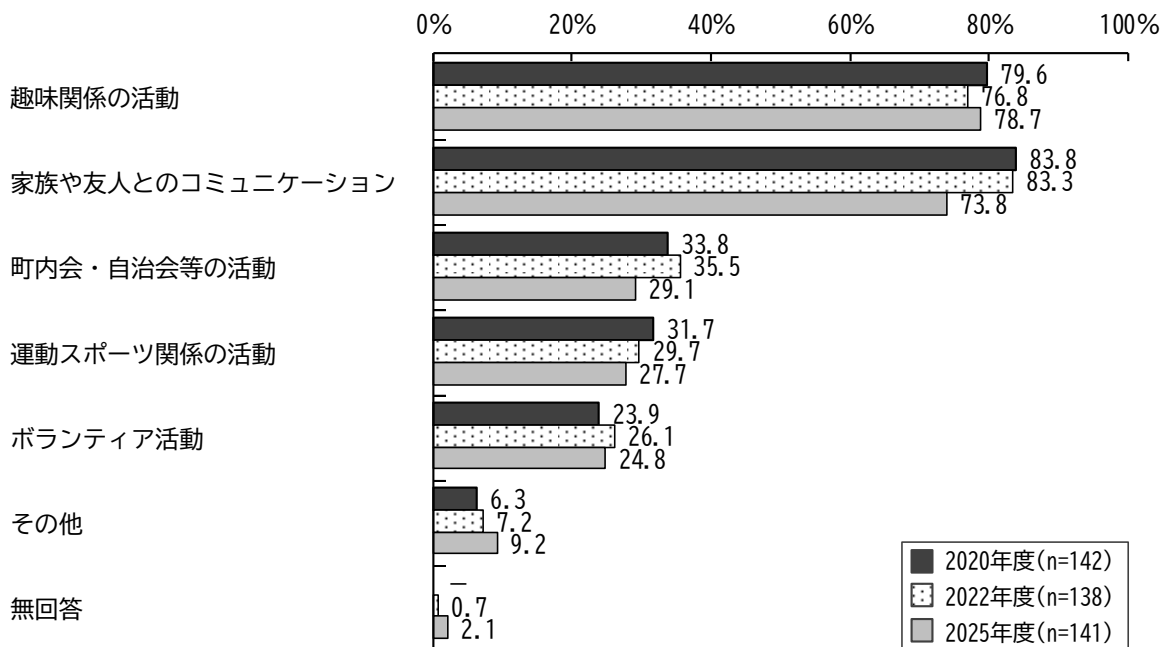


図 2-20 【経年比較】生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

経年比較では、「趣味関係の活動」と「家族や友人とのコミュニケーション」とが継続して高い割合を占めている。

また、2022年度と比べて「家族や友人とのコミュニケーション」が9.5ポイント減少している。

2.12. ケアマネジメントを行う際に工夫していること（自由回答）

（全員の方に）

問21 ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

ケアマネジメントを行う際に工夫していることについて、68件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 本人にとって一番大事にしている人物や物事をまず確認し、その部分によりそうこと。又、サービス拒否などある方などは大事に思っている人物も同席して頂くなど一緒に考えてもらうようにしている。
- 家族の介護負担により、虐待になっていないか、等を見極めつつ、本人の尊厳が守られ幸せを感じられるようなプランに努めています。
- 認知症や難聴のある利用者に対しても家族だけでなく、本人とも話をするようにしている。主治医との連携のため、こちらから積極的に連絡するようにしている。
- ケガや今悩んでいる病気が治ったらしてみたい事は何か聞き、プランニーズに入れている。
- できることが多い料用者は、それを活かして生活が継続できるように支援する。本人の意向と家族の負担軽減のバランス。
- ご本人のストロングポイントを高め、生活意欲を高めていただける様、支援をしています
- 業務効率、ケアマネは残業やシャドーワークがあたりまえを解消したい。
- 他の利用者から聞きとった「評判の良いサービス」を別の人にもお勧めして、良い事業所を優先して利用している
- 本人のモチベーションを上げるような目標設定、本人の好きなことに対応できる施設の選定、提案、本人、家族の自立支援に必要な提案、本人、家族が自分で行動できるようにアドバイス
- 利用者の今までの生活、こだわりや習慣を把握し、利用者が前向きに生活出来る様なケアプラン作成を心掛けている。家族、本人の役割もケアプランに載せて受け身では無い、自身のプランの意識を持っていただく様にしている
- シャドーワークはしない。書類に時間かけない。しかし、 이슈ーにはしっかり向き合う。ケアマネは運営指導やケアプラン点検のためにケアプランや支援経過を作成しているわけではない。意味不明な指導やローカルルール等々、利用者に直接メリットにならないことには時間をかけない。
- 様々な社会資源を紹介して、出来るだけ孤立しない事。本人だけでなく家族にも目を向けて、あなた達の事はいつも気にかけていると思わせるように働きかける。
- 傾聴。雑談の中から困りごとや家族の関係性などを聞き出しています。
- 介護保険サービス以外で、本人の生き甲斐や生活の改善に繋がることを組み込むこと。
- 短期目標は実現可能な難しくないものにして、達成感を味わってもらう。

2.13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

◆ 「認知症高齢者の見守り」と「話し相手」が7割台後半

(全員の方に)

問 22 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

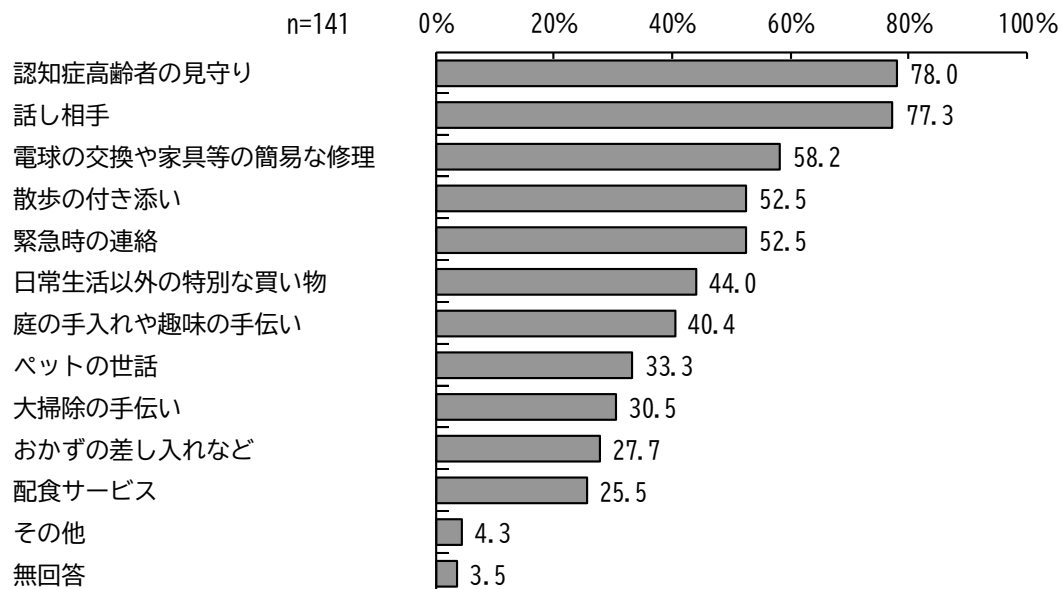


図 2-21 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

「認知症高齢者の見守り」と「話し相手」が7割台後半と高くなっている。

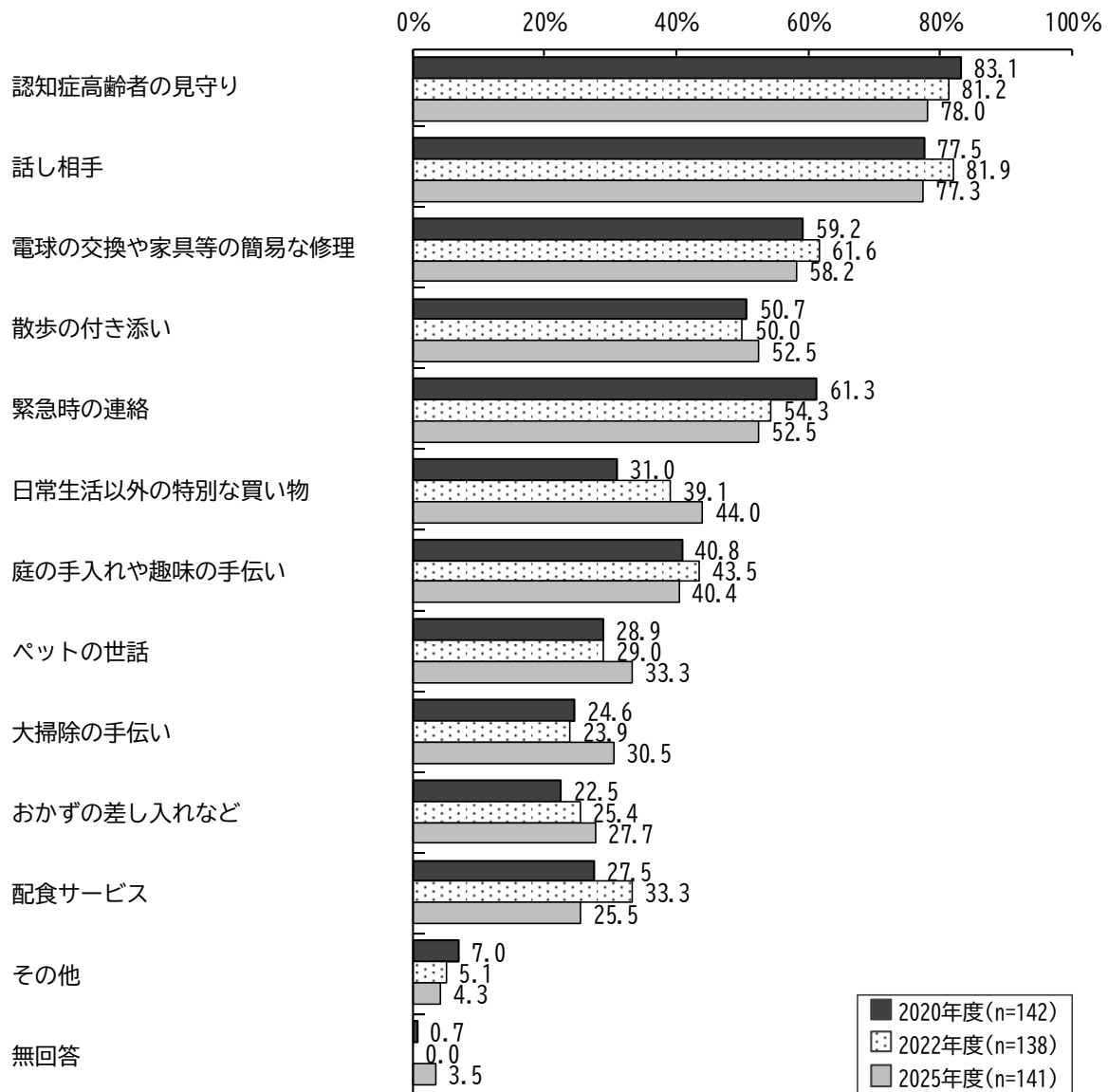


図 2-22 【経年比較】要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

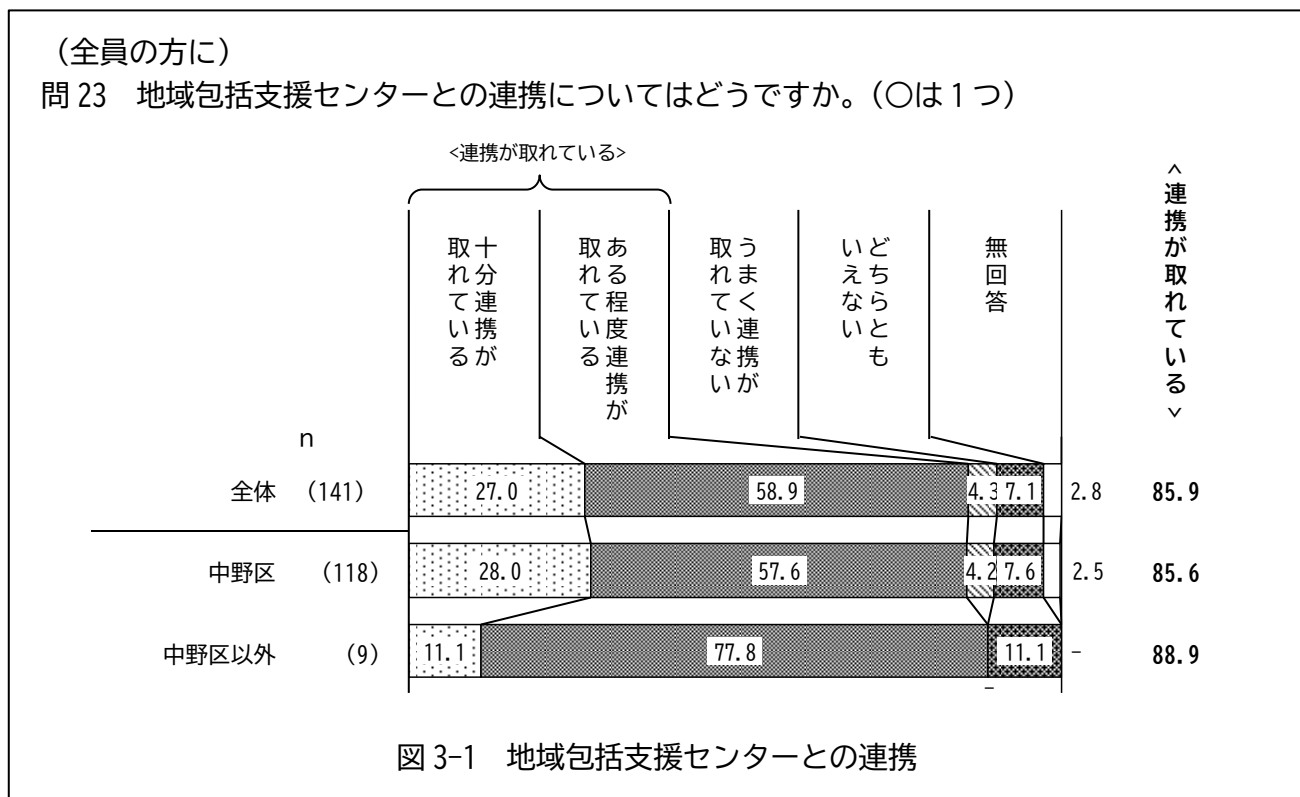
経年比較では、「認知症高齢者の見守り」と「話し相手」が継続して高い割合を占めている。

また、2022年度と比べて「大掃除の手伝い」が6.6ポイント増加しているが、反対に「配食サービス」が7.8ポイント減少している。

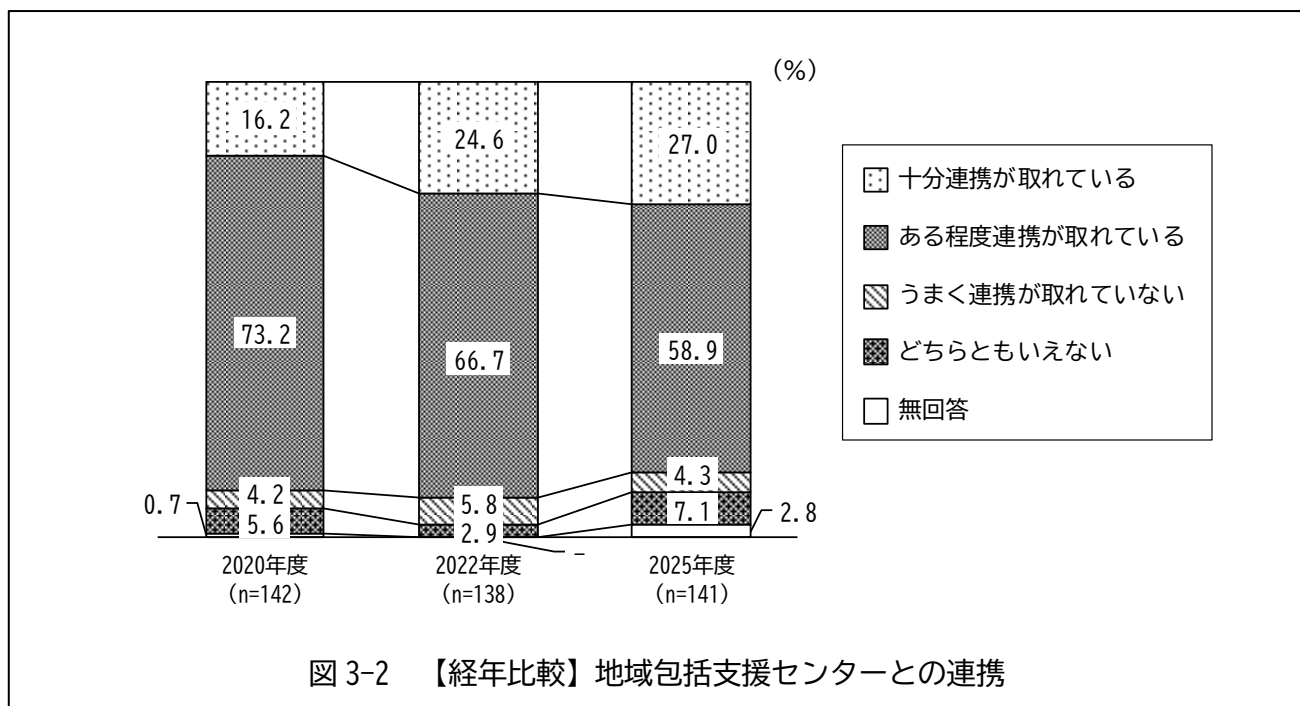
3. 連携について

3.1. 地域包括支援センターとの連携

◆ 「ある程度連携が取れている」が5割台後半



「ある程度連携が取れている」が5割台後半、「十分連携が取れている」が2割台後半で、合わせた<連携が取れている>は8割台半ばとなっている。



経年比較では、2022年度と比べて「ある程度連携が取れている」が7.8ポイント減少している。

3.2. 信頼できる地域包括支援センターの有無

◆ 「ある」が6割台後半

(全員の方に)

問 24 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ)

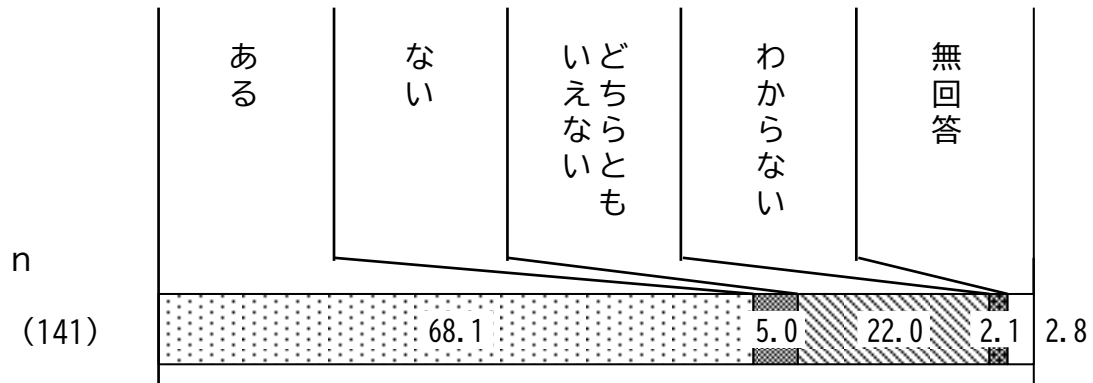


図 3-3 信頼できる地域包括支援センターの有無

「ある」が6割台後半を占めている。

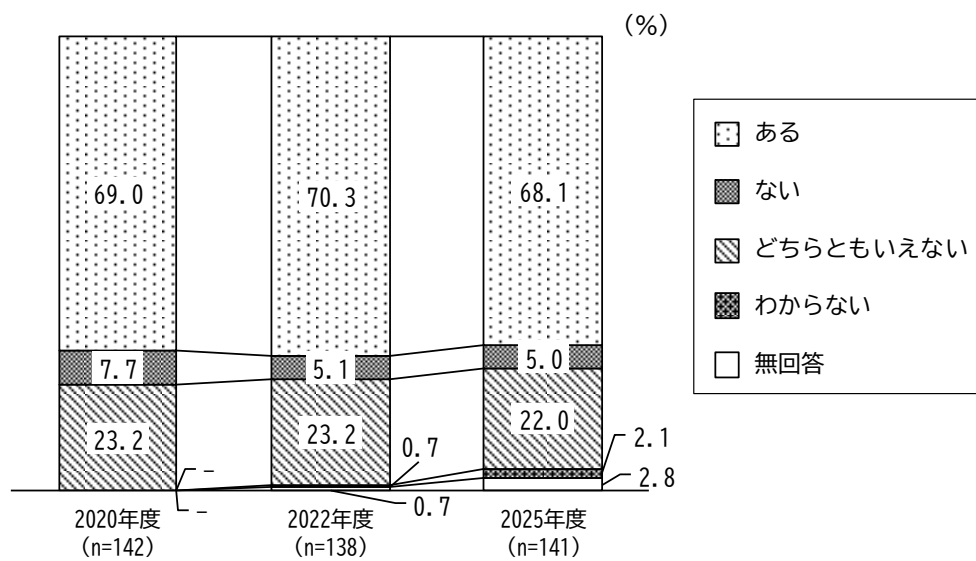
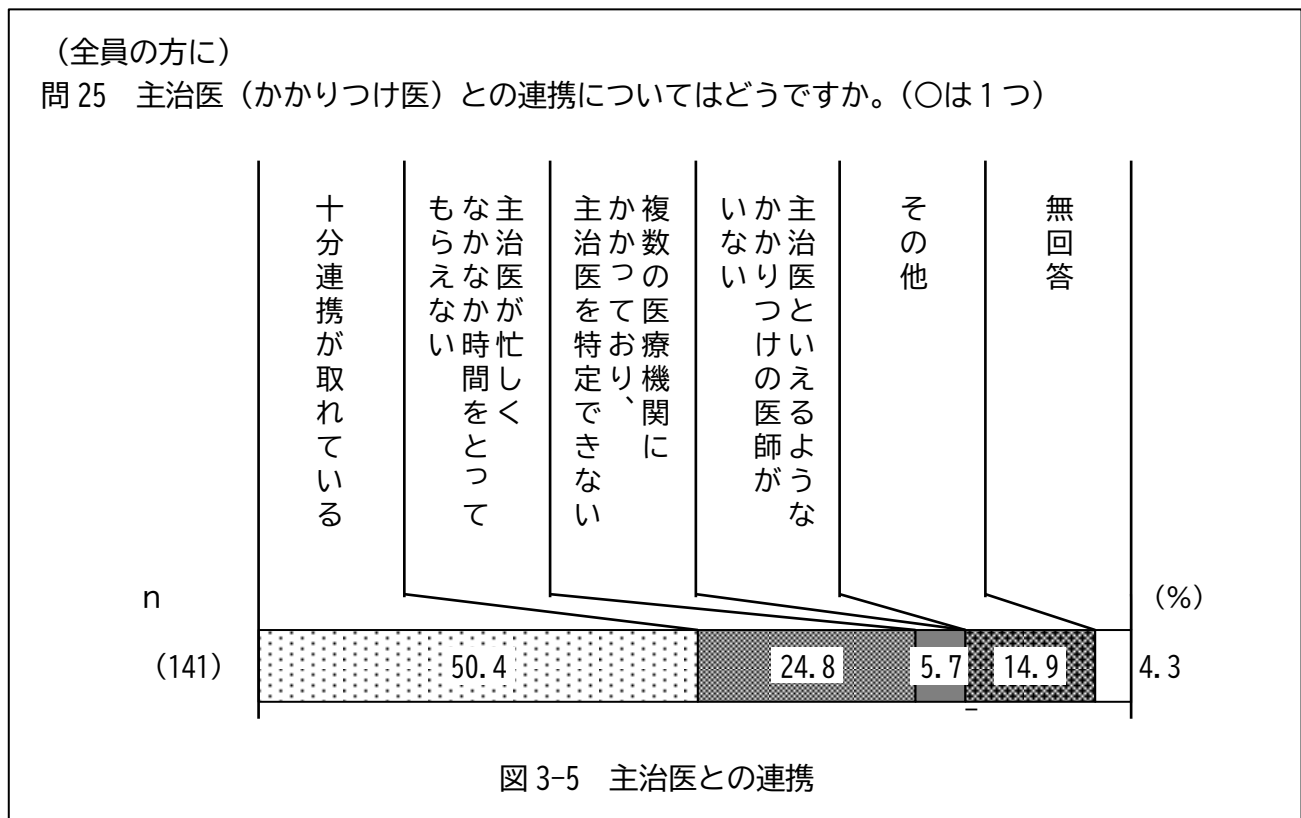


図 3-4 【経年比較】 信頼できる地域包括支援センターの有無

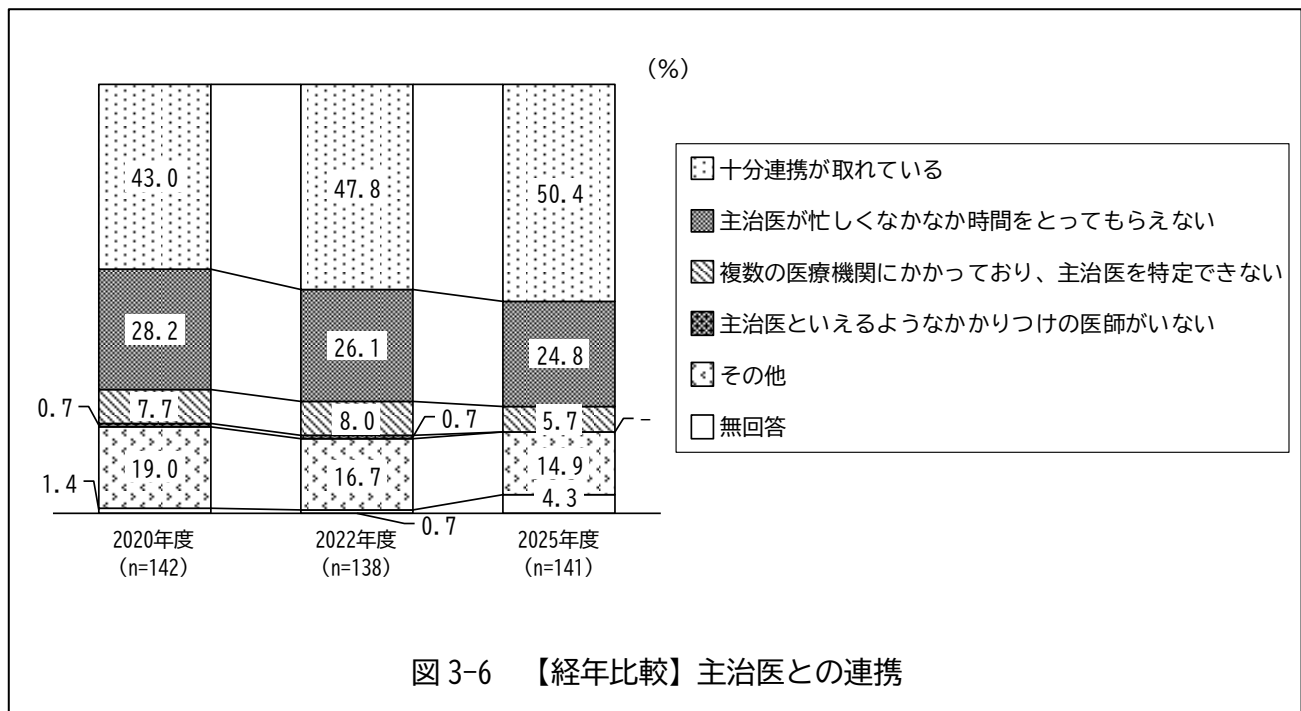
経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3. 主治医との連携

◆ 「十分連携が取れている」が約5割



「十分連携が取れている」が約5割で最も高く、次いで「主治医が忙しゅうなかな時間をとってもらえない」が2割台半ばとなっている。



経年比較では、2022年度と比べて大きな差異はみられない。

3.4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

◆ 「訪問リハビリ」が2割台半ば

(全員の方に)

問 26 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源はなんですか。(複数選択可)

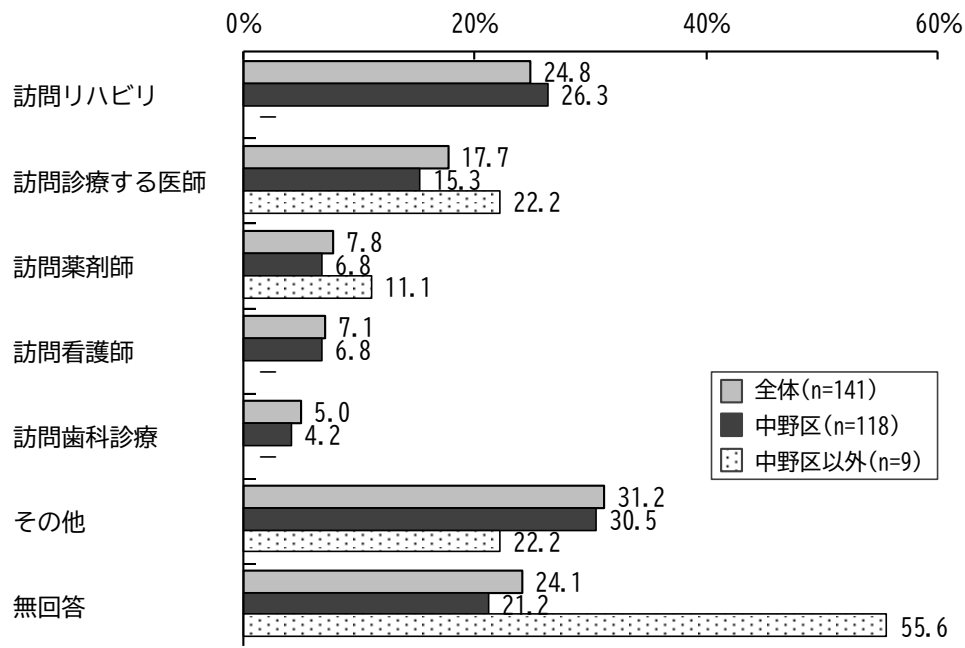


図 3-7 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

「訪問リハビリ」が2割台半ばで最も高く、次いで「訪問診療する医師」が1割台後半となっている。

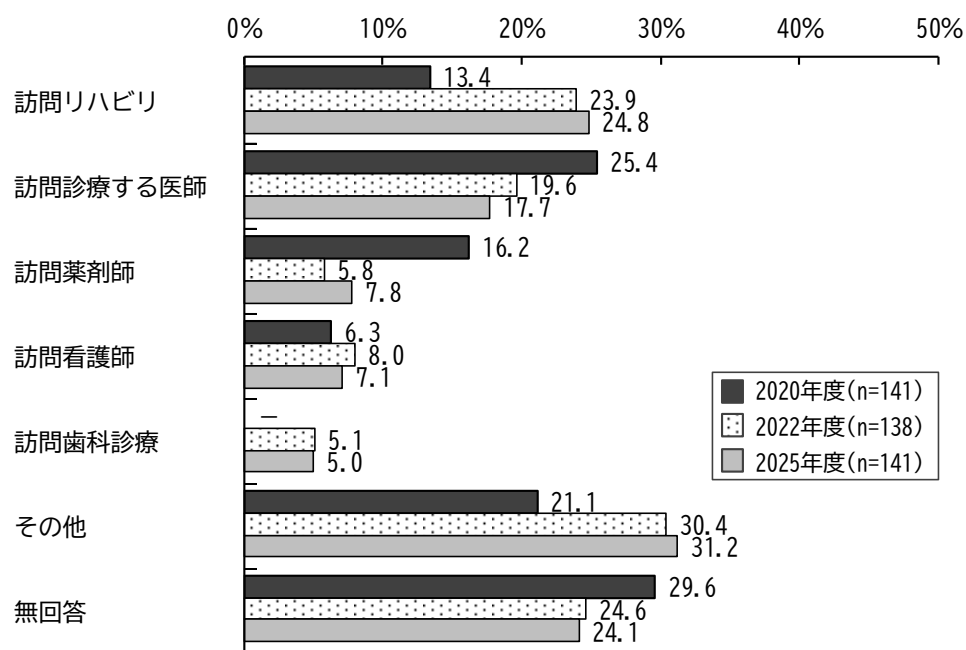


図 3-8 【経年比較】在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

経年比較では、2022 年度と比べて大きな差異はみられない。

3.5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

◆ 連携が＜取れている＞は約４割

(全員の方に)

問 27 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ)

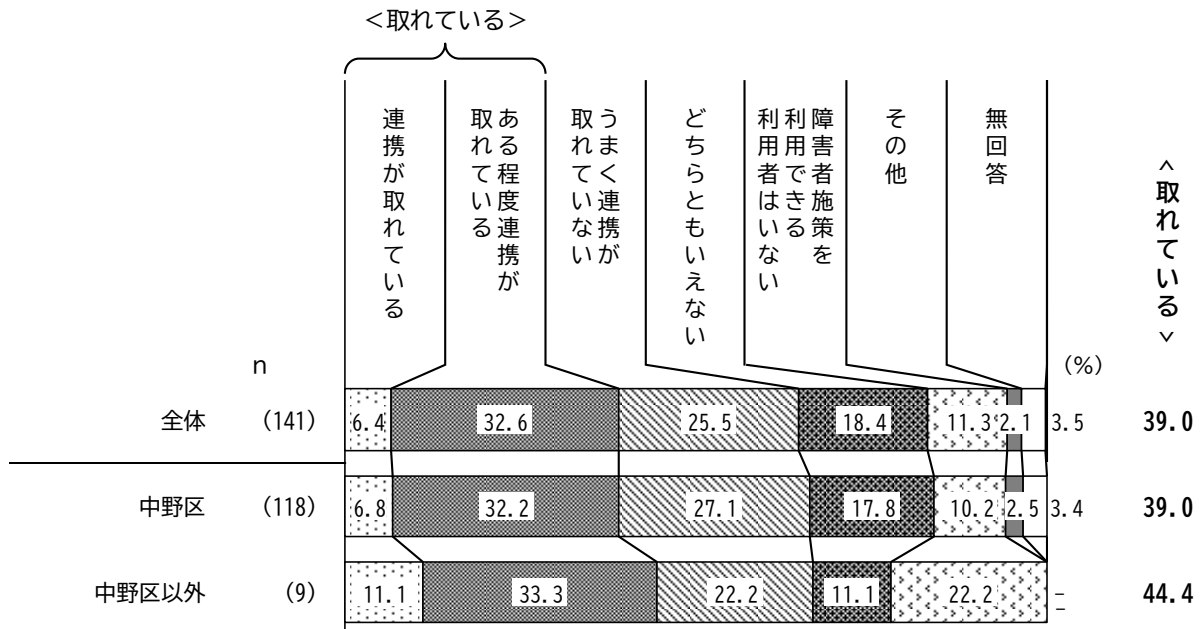


図 3-9 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

「連携が取れている」と「ある程度連携が取れている」を合わせた＜取れている＞は約４割となっている。

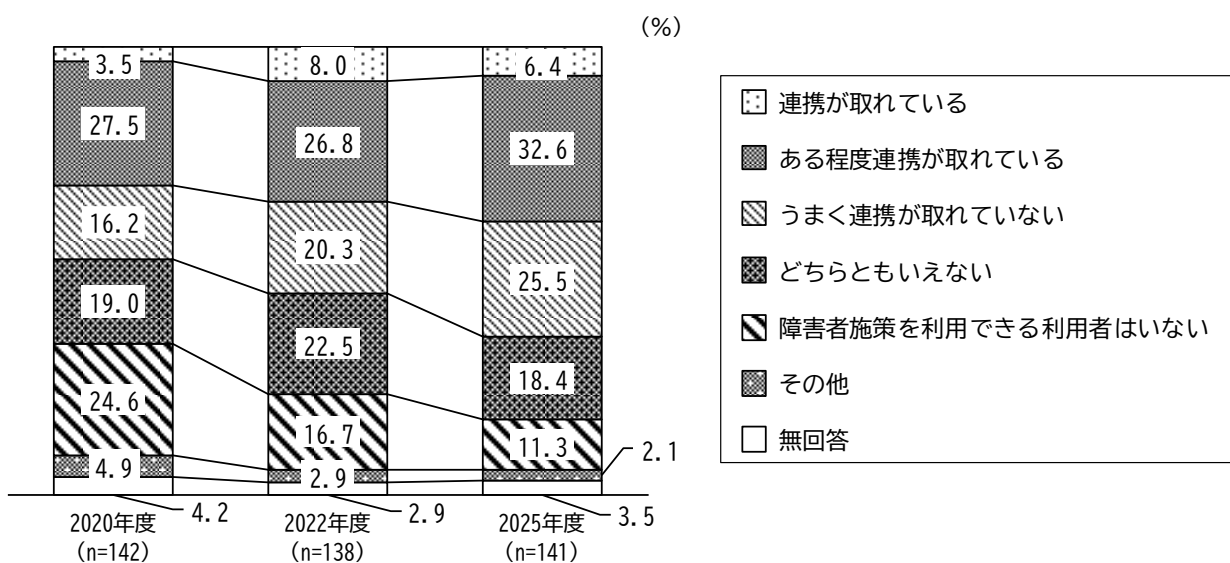


図 3-10 【経年比較】 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

経年比較では、2022 年度と比べて、「ある程度連携が取れている」が 5.8 ポイント増加しているが、「うまく連携が取れない」も 5.2 ポイント増加している。

3.6. サービス担当者会議を開催する上での問題点

◆ 「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が約7割

(全員の方に)

問 28 サービス担当者会議を開催する上での問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

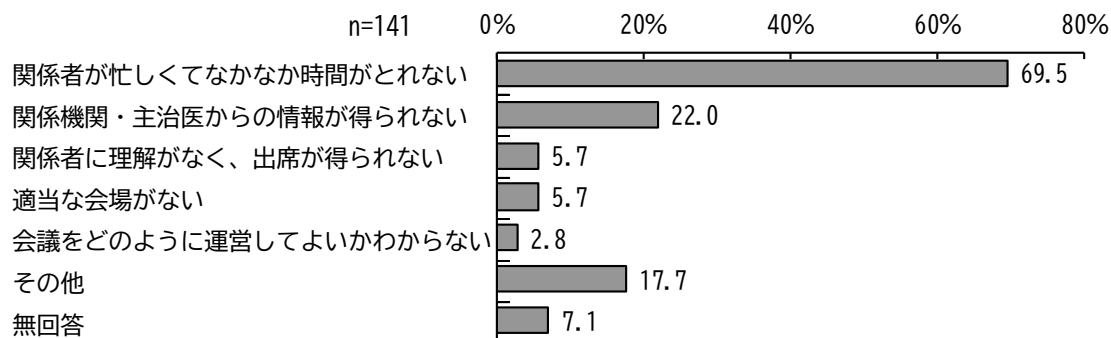


図 3-11 サービス担当者会議を開催する上での問題点

「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が約7割と最も高くなっている。

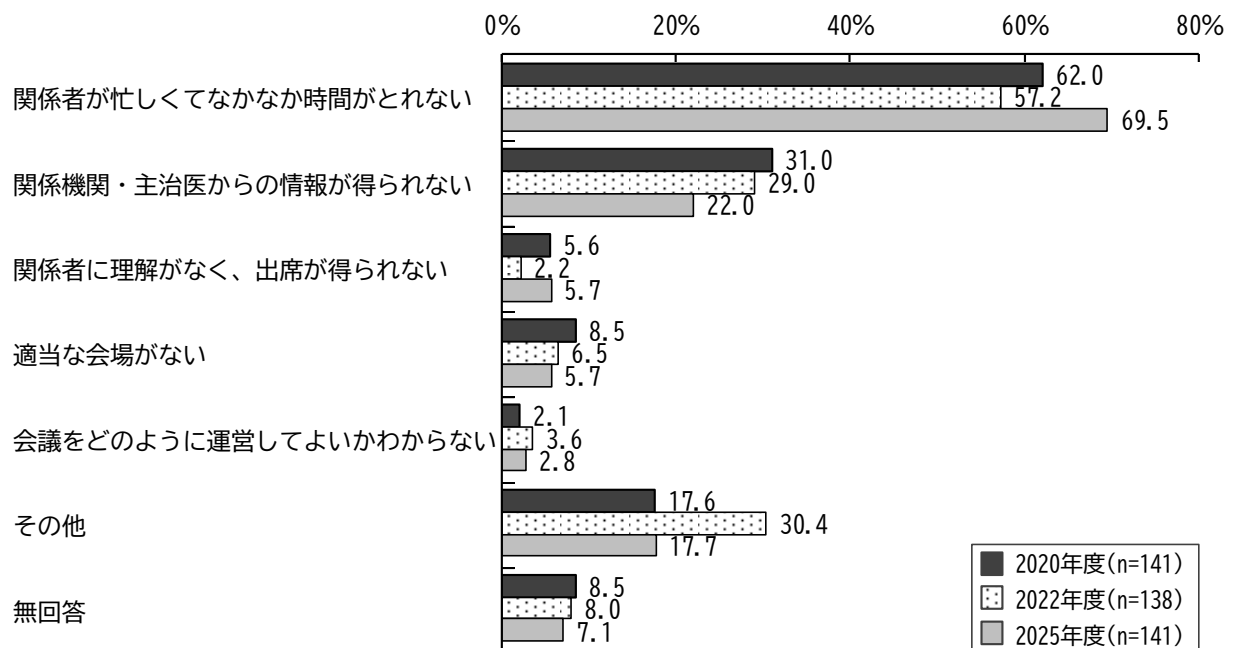


図 3-12 【経年比較】 サービス担当者会議を開催する上での問題点

経年比較では、継続して「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が過半数となっている。

また、2022年度と比べ、「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が12.3ポイント増加しており、反対に「関係機関・主治医からの情報が得られない」が7.0ポイント減少している。

4. 困難な事例への対応について

4.1. ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

◆ 「身寄りがいない」が7割台後半

(全員の方に)

問 29 ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。
(あてはまるものすべてに○)

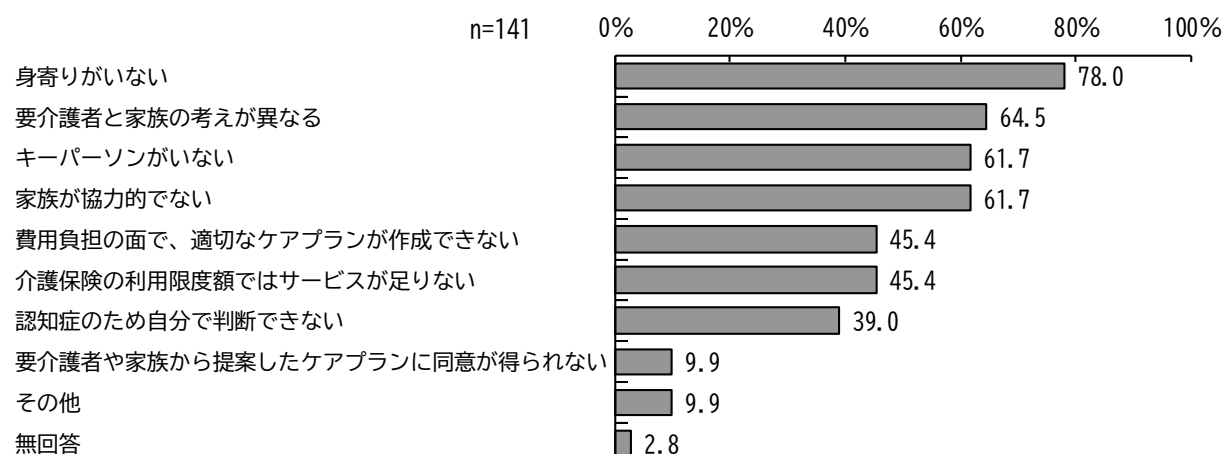


図 4-1 ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

「身寄りがいない」が7割台後半で最も高く、次いで「要介護者と家族の考えが異なる」、「キーパーソンがいない」、「家族が協力的でない」が6割台となっている。

【年代別】ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

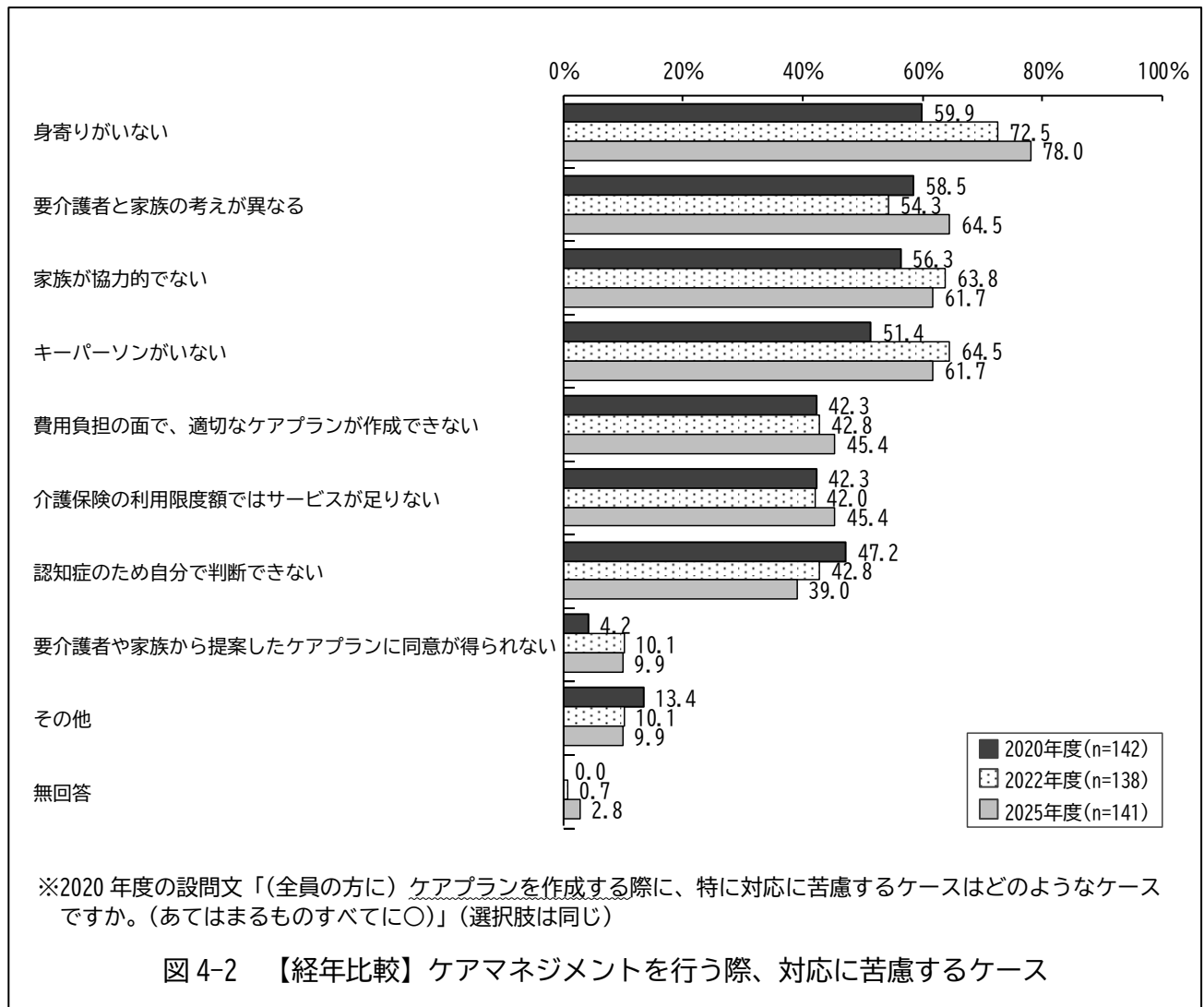
単位：%

	有効回答数(件)	身寄りがいない	要介護者と家族の考えが異なる	キーパーソンがいない	家族が協力的でない	作成できないケアプランが	適切な費用負担の面で、サービスが足りない	介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	自分で判断できない	認知症のため自分で判断できない	提案したケアプランに同意が得られない	要介護者や家族から	その他	無回答
全体	141	78.0	64.5	61.7	61.7	45.4	45.4	39.0	9.9	9.9	2.8			
30歳～34歳	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	4	75.0	100.0	50.0	25.0	50.0	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-
40歳～44歳	8	87.5	62.5	62.5	75.0	87.5	50.0	50.0	12.5	5.6	5.6	11.1	-	-
45歳～49歳	18	83.3	83.3	44.4	66.7	55.6	55.6	33.3	5.6	5.6	11.1	-	-	-
50歳～54歳	25	88.0	80.0	80.0	68.0	48.0	32.0	36.0	12.0	8.0	-	-	-	-
55歳～59歳	27	74.1	51.9	63.0	55.6	51.9	44.4	48.1	22.2	18.5	-	-	-	-
60歳～64歳	26	65.4	61.5	61.5	50.0	26.9	46.2	38.5	3.8	7.7	7.7	-	-	-
65歳～69歳	20	75.0	55.0	55.0	70.0	35.0	55.0	30.0	5.0	10.0	-	-	-	-
70歳～74歳	6	100.0	83.3	83.3	66.7	33.3	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
75歳以上	6	66.7	-	50.0	66.7	33.3	33.3	50.0	-	-	-	-	-	-

【従事年数別】ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

単位：％

	有効回答数（件）	身寄りがいない	要介護者と家族の考えが異なる	キーパーソンがいない	家族が協力的でない	適切なケアプランが作成できない	費用負担の面で、サービスが足りない	介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	認知症のため自分で判断できない	要介護者や家族から提案したケアプランに同意が得られない	その他	無回答
全体	141	78.0	64.5	61.7	61.7	45.4	45.4	39.0	9.9	9.9	2.8	
1年未満	3	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	-	-	-	
1年以上3年未満	12	100.0	83.3	58.3	91.7	66.7	66.7	50.0	8.3	-	-	
3年以上5年未満	6	100.0	66.7	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7	16.7	-	-	
5年以上	120	74.2	62.5	60.8	59.2	41.7	42.5	36.7	10.0	11.7	3.3	



経年比較では、2022 年度と比べて「要介護者と家族の考えが異なる」が 10.2 ポイント、「身寄りがいない」が 5.5 ポイント増加している。

4.2. 要介護者や家族からの相談への対応

◆ 「ある程度対応できている」が6割台後半

(全員の方に)

問 30 あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。(○は1つ)

<対応できている>

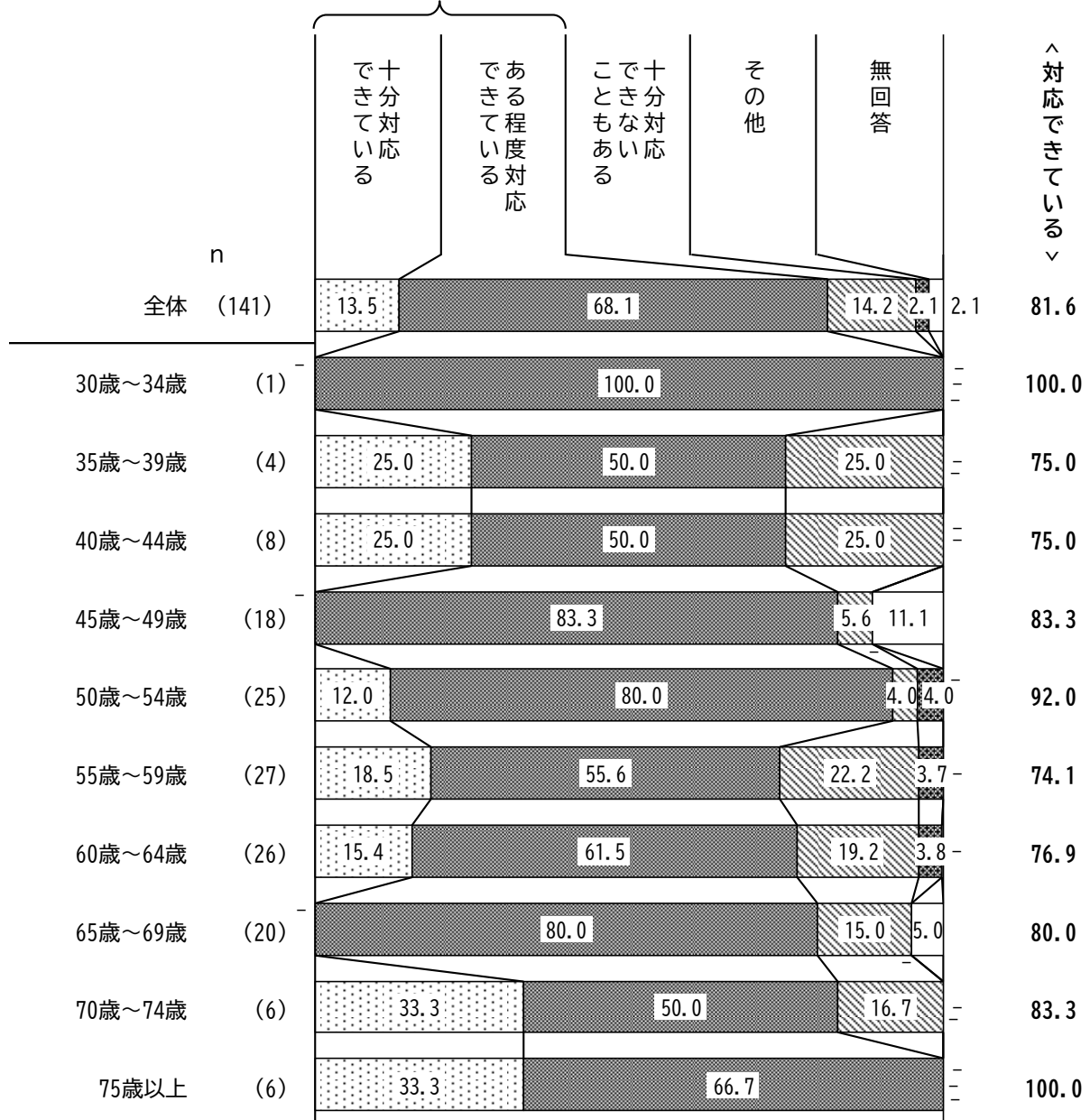


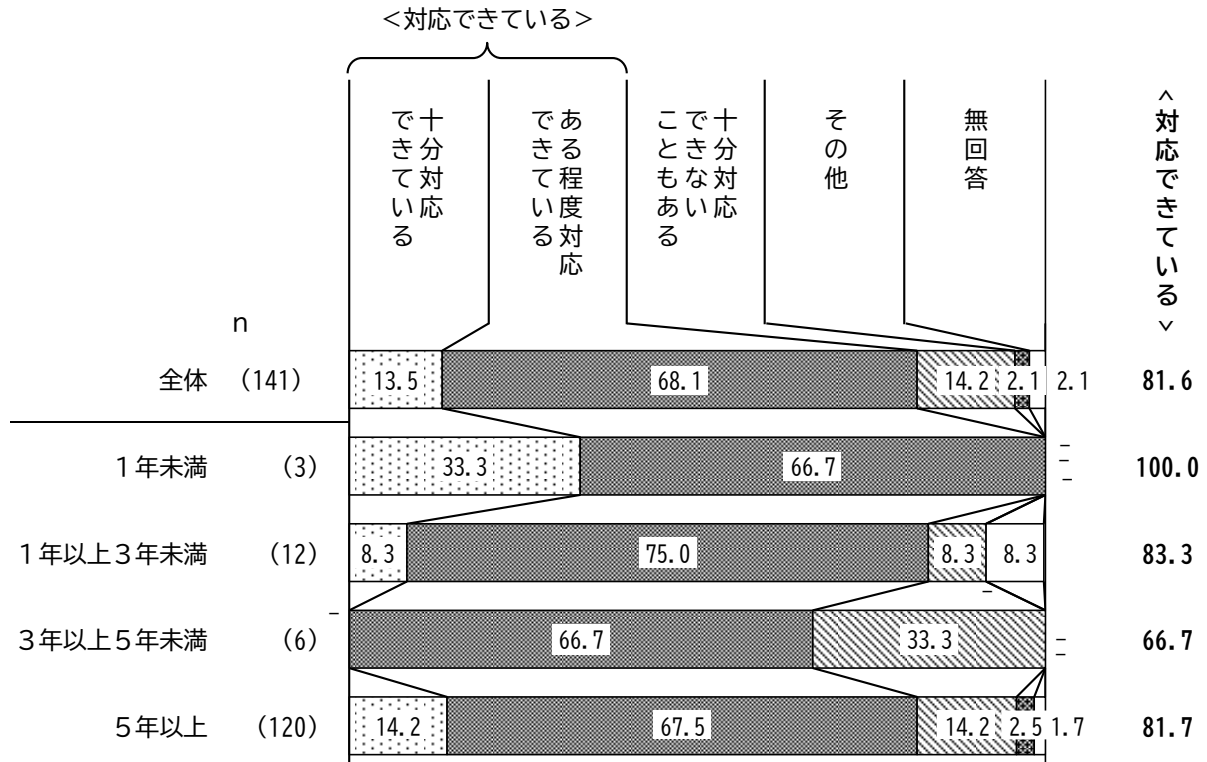
図 4-3 要介護者や家族からの相談への対応

「十分対応できている」「ある程度対応できている」を合わせた<対応できている>は、約 8 割となっている。

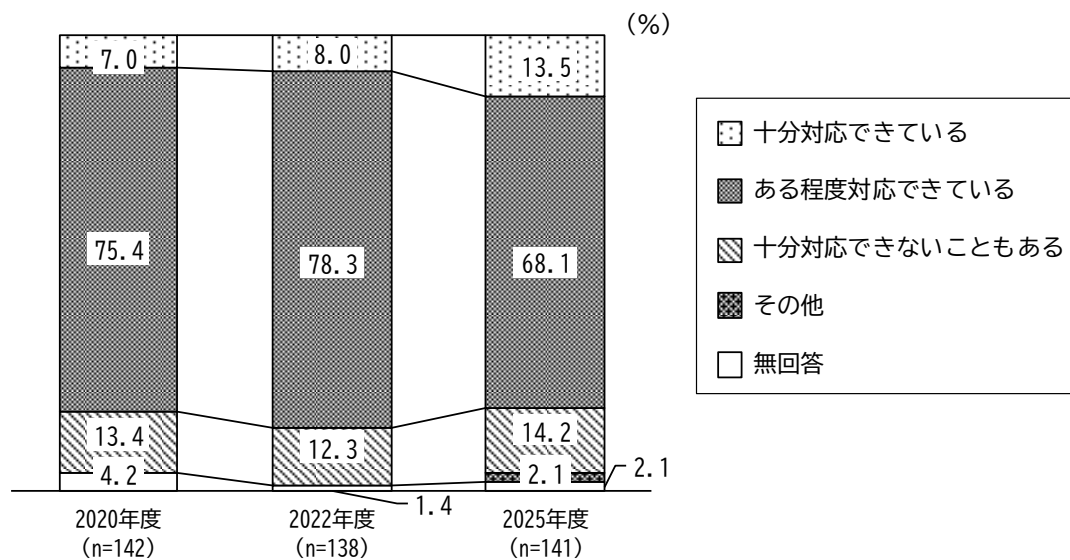
【対応できない具体的な理由（「十分対応できないこともある」と回答した方）】

- ・ケアマネの仕事以外の仕事を頼む人が多い。
- ・必要な支援を助言するが、本人・受けいれないことがある。
- ・希望するサービス内容がコロコロ変わる。
- ・利用者の状態に合わないサービス内容を、家族が希望する。 など

【従事年数別】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか



従事年数別では、すべての従事年数で「ある程度対応できている」が最も高くなっている。



※2022年度以前の選択肢に「その他」はない

図 4-4 【経年比較】要介護者や家族からの相談への対応

経年比較では、2022年度と比べ「ある程度対応できている」が10.2ポイント減少している。

4.3. 相談への対応に苦慮した時の相談先

◆ 「同僚や上司」が7割台半ば

(全員の方に)

問 31 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

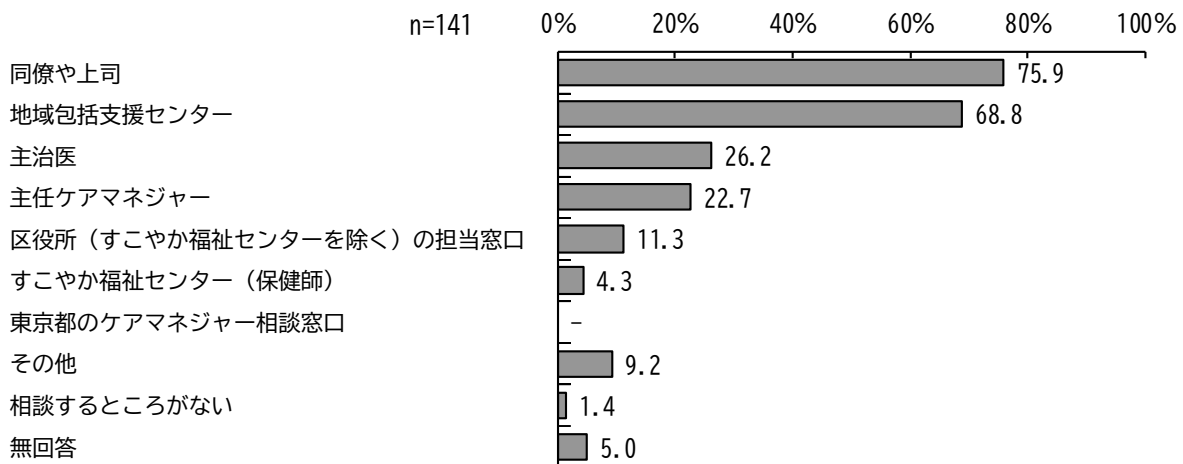


図 4-5 相談への対応に苦慮した時の相談先

「同僚や上司」が7割台半ば、「地域包括支援センター」が6割台後半と高くなっている。

【年代別】相談への対応に苦慮した時の相談先

単位：％

	有効回答数(件)	同僚や上司	地域包括支援センター	主治医	主任ケアマネジャー	区役所(すこやか福祉センターを除く)の担当窓口	その他	すこやか福祉センター(保健師)	東京都のケアマネジャー相談窓口	相談するところがない	無回答
全体	141	75.9	68.8	26.2	22.7	11.3	9.2	4.3	-	1.4	5.0
30歳～34歳	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	4	100.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-
40歳～44歳	8	62.5	62.5	-	62.5	-	-	12.5	-	-	-
45歳～49歳	18	72.2	66.7	22.2	27.8	11.1	5.6	-	-	-	16.7
50歳～54歳	25	88.0	80.0	16.0	36.0	8.0	4.0	4.0	-	-	8.0
55歳～59歳	27	81.5	59.3	29.6	11.1	22.2	22.2	-	-	-	3.7
60歳～64歳	26	84.6	73.1	30.8	11.5	7.7	11.5	15.4	-	3.8	-
65歳～69歳	20	65.0	55.0	20.0	25.0	-	-	-	-	5.0	-
70歳～74歳	6	33.3	83.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	16.7
75歳以上	6	50.0	83.3	83.3	-	33.3	-	-	-	-	-

【従事年数別】相談への対応に苦慮した時の相談先

単位：％

	有効回答数 (件)	同僚や上司	地域包括支援センター	主治医	主任ケアマネジャー	区役所（すこやか福祉センターを除く）の担当窓口	その他	すこやか福祉センター（保健師）	東京都のケアマネジャー相談窓口	相談するところがない	無回答
全体	141	75.9	68.8	26.2	22.7	11.3	9.2	4.3	-	1.4	5.0
1年未満	3	100.0	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
1年以上3年未満	12	91.7	66.7	25.0	33.3	33.3	-	8.3	-	-	8.3
3年以上5年未満	6	100.0	66.7	66.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-
5年以上	120	72.5	70.8	25.0	21.7	10.0	9.2	4.2	-	1.7	5.0

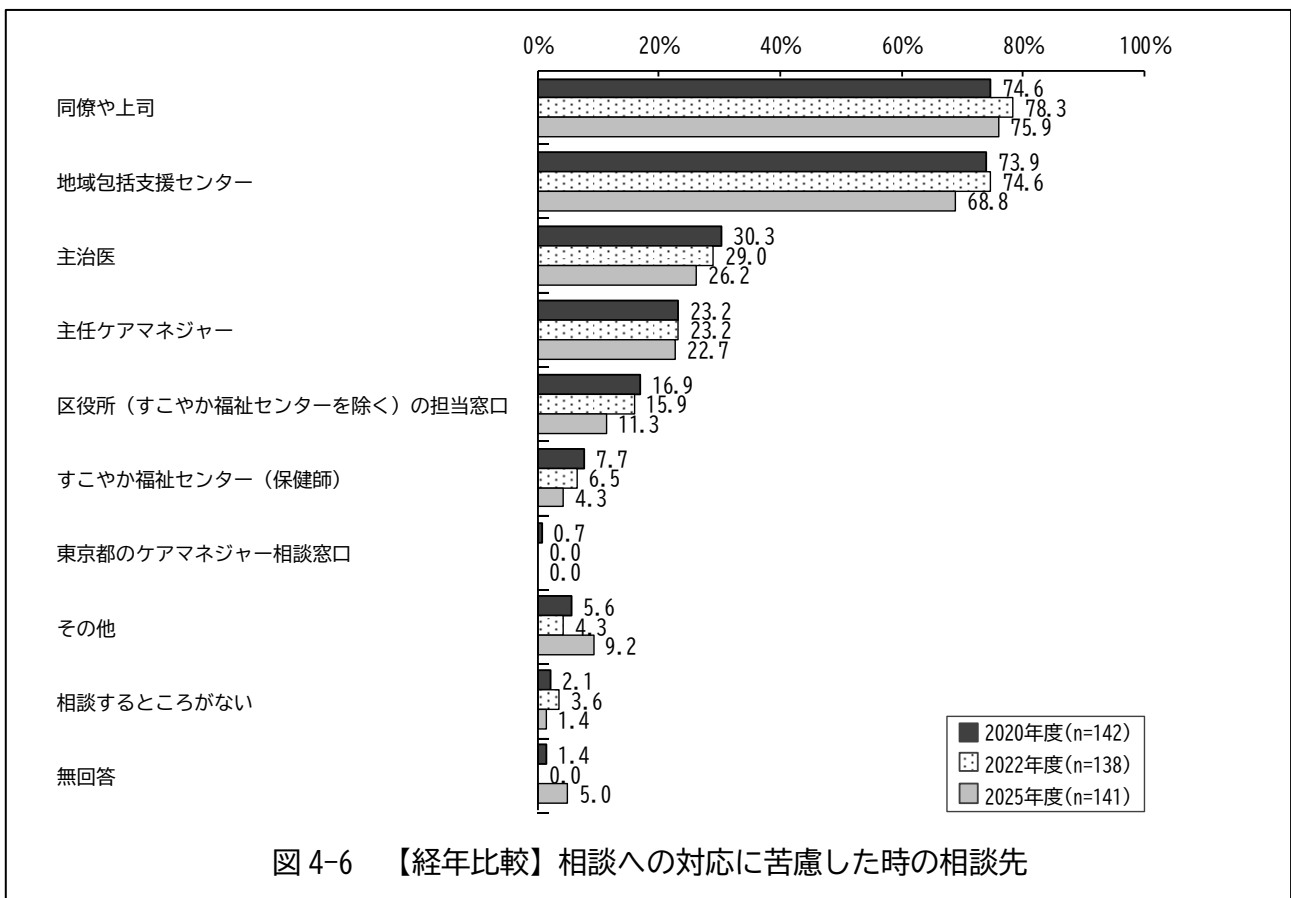


図 4-6 【経年比較】相談への対応に苦慮した時の相談先

経年比較では、「同僚や上司」と「地域包括支援センター」が継続して高い割合を占めている。

4.4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

◆ 「1件～9件」が約8割

(全員の方に)

問 32 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(〇は1つ)

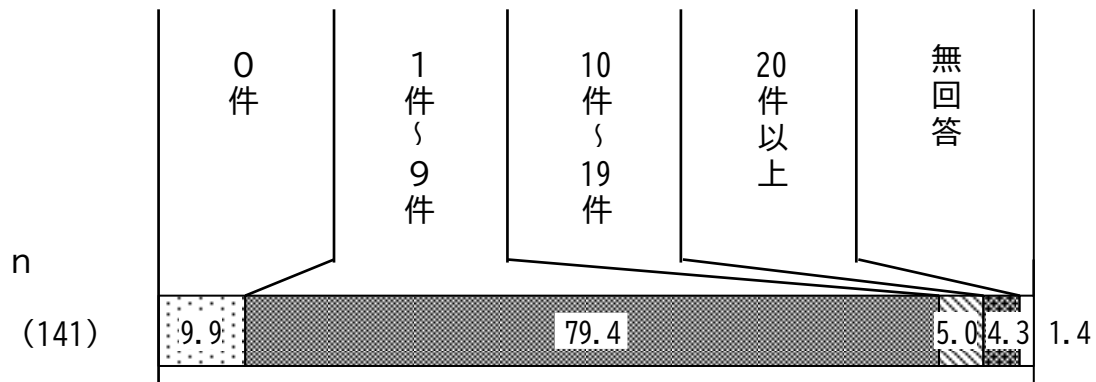


図 4-7 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

「1件～9件」が約8割を占めている。

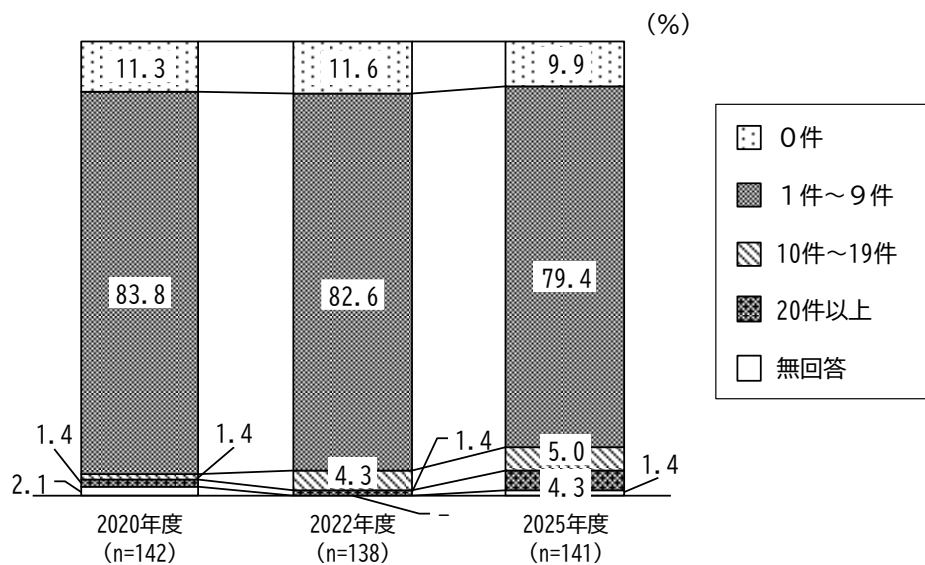


図 4-8 【経年比較】 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

経年比較では、大きな差異はみられない。

4.5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと

◆ 「地域包括支援センターとの連携」が約7割

(全員の方に)

問33 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

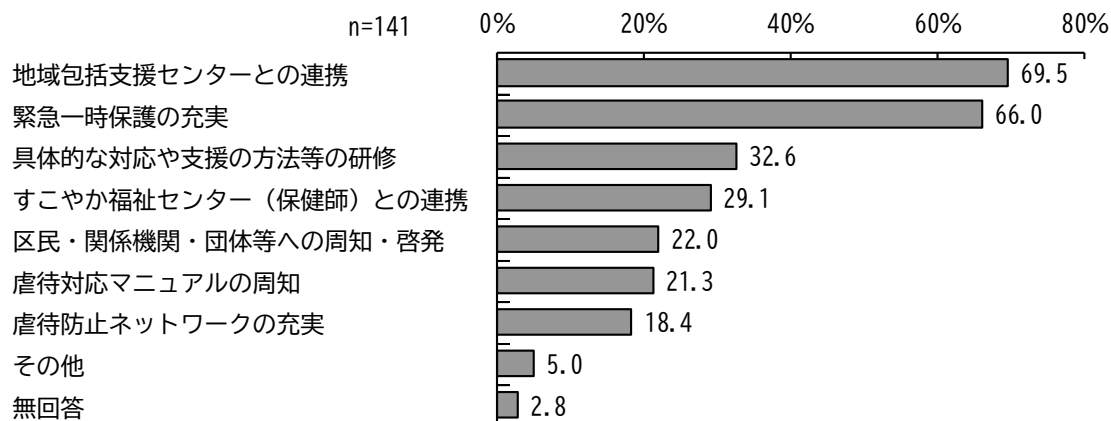


図4-9 高齢者虐待対応について強化すべきこと

「地域包括支援センターとの連携」が約7割で最も高く、次いで「緊急一時保護の充実」が6割台半ばと高くなっている。

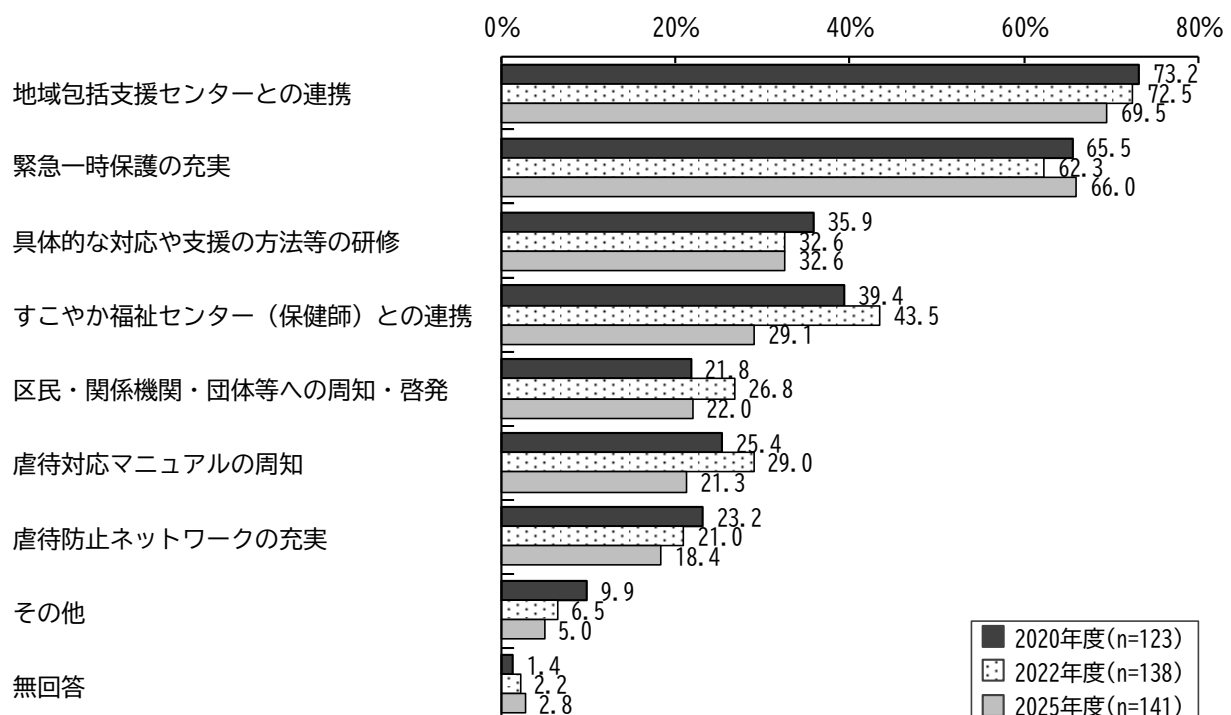


図4-10 【経年比較】 高齢者虐待対応について強化すべきこと

経年比較では、「地域包括支援センターとの連携」と「緊急一時保護の充実」が継続して高い割合を占めている。

また、2022年度と比較すると「すこやか福祉センター（保健師）との連携」が14.4ポイント減少している。

5. 介護予防について

5.1. 充実すべき区の介護予防事業

◆「高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業」「転倒予防教室」が5割台半ば

(全員の方に)

問 34 区は介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

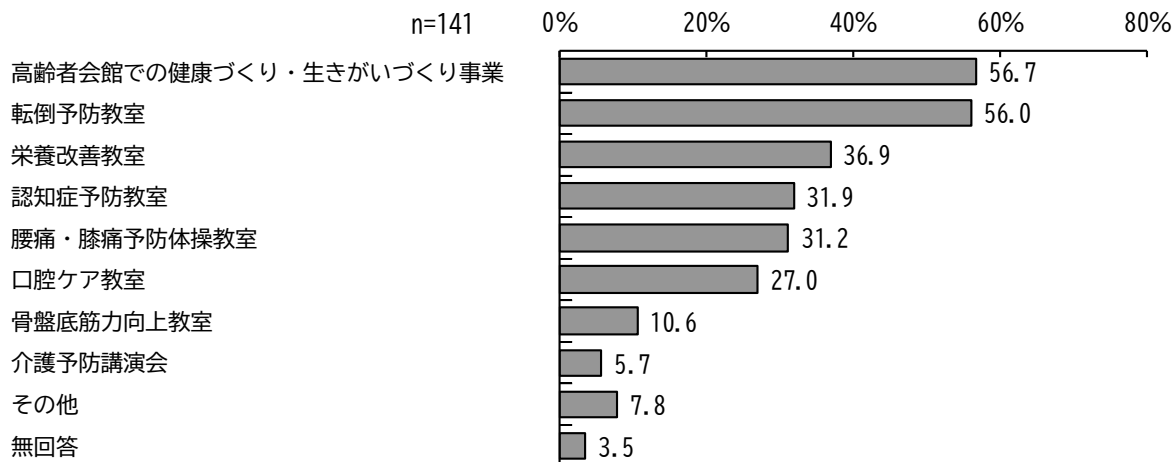


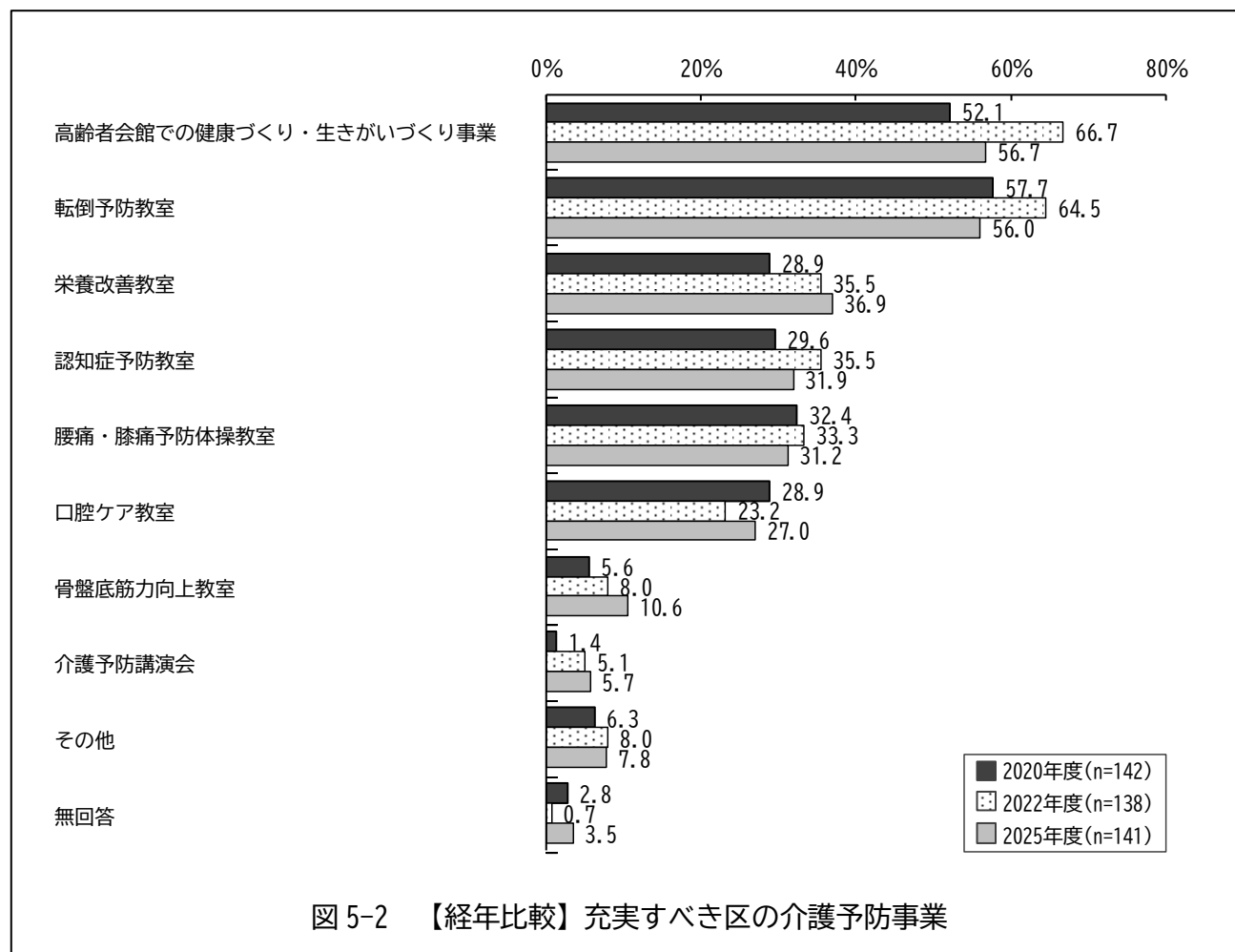
図 5-1 充実すべき区の介護予防事業

「高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業」と「転倒予防教室」が5割台半ばを占めている。

【区内外の別】充実すべき区の介護予防事業

単位：％

	有効回答数(件)	高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業	転倒予防教室	栄養改善教室	認知症予防教室	腰痛・膝痛予防体操教室	口腔ケア教室	骨盤底筋力向上教室	介護予防講演会	その他	無回答
全体	141	56.7	56.0	36.9	31.9	31.2	27.0	10.6	5.7	7.8	3.5
中野区	118	56.8	54.2	35.6	32.2	31.4	23.7	10.2	4.2	7.6	3.4
中野区以外	9	33.3	77.8	55.6	11.1	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	-



経年比較では、2022 年度と比べて「高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業」が 10.0 ポイント、「転倒予防教室」が 8.5 ポイント減少している。

6. 成年後見制度について

6.1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

◆ 「0名」が約3割

(全員の方に)

問 35 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

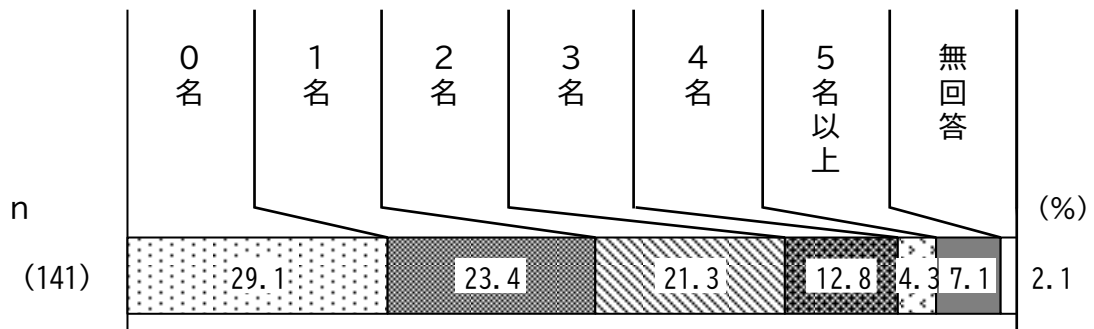


図 6-1 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

「0名」が約3割で最も高くなっている。

6.2. 成年後見制度を活用する上での課題

◆ 「制度が使いにくい」が3割台前半

(全員の方に)

問 36 成年後見制度を活用する上での課題は何だと思いますか。(○は1つ)

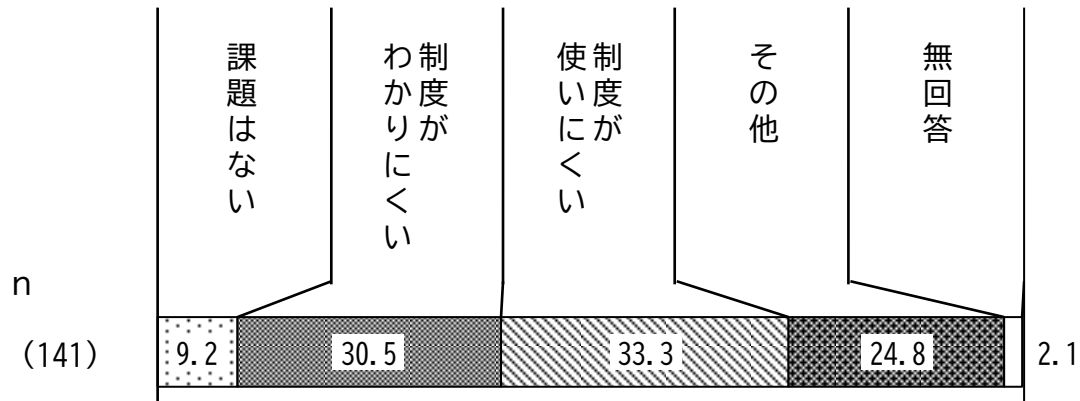


図 6-2 成年後見制度を活用する上での課題

「制度が使いにくい」が3割台前半で最も高く、次いで「制度がわかりにくい」が約3割となっている。

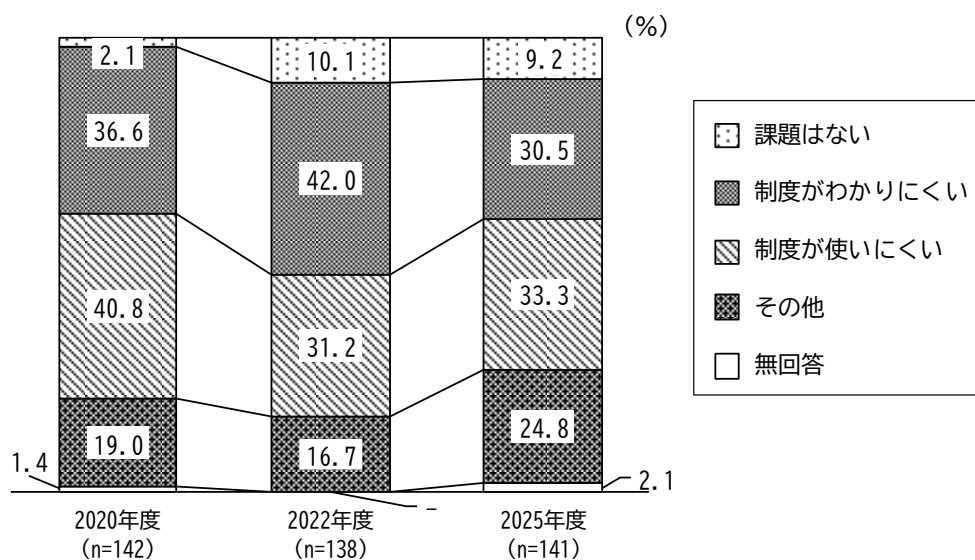


図 6-3 【経年比較】成年後見制度を活用する上での課題

経年比較では、2022年度と比べて「制度がわかりにくい」が11.5ポイント減少している。

7. 認知症に関する課題について

7.1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

◆ 「すすめたことがある」が約6割

(全員の方に)

問 37 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(○は1つ)

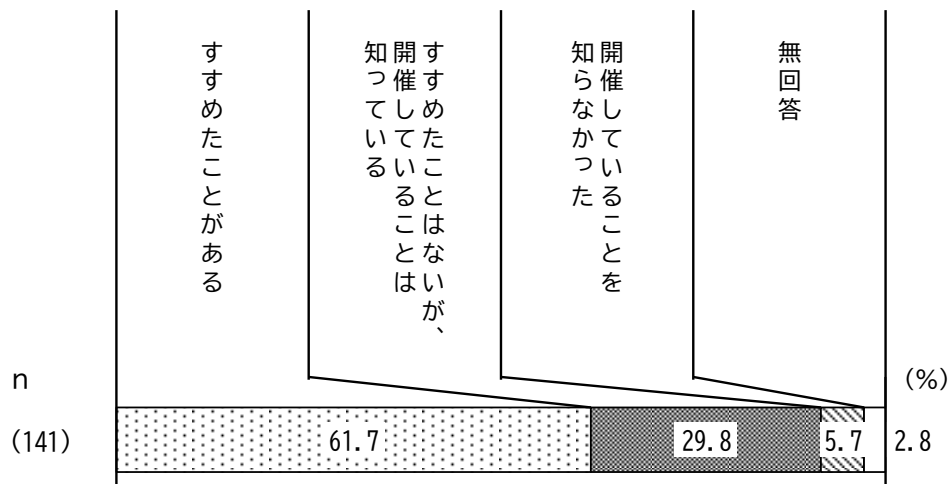


図 7-1 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

「すすめたことがある」が約6割を占めている。

【広く周知するための具体的な方法（「開催していることを知らなかった」と回答した方に）】

- ・区のケアマネ研修や、オレンジカフェなどで宣伝する

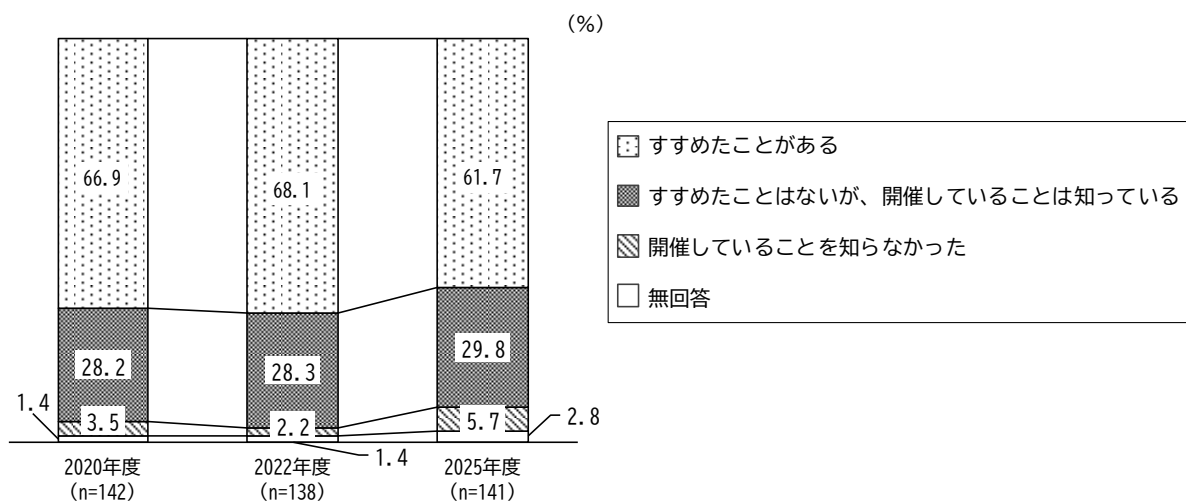


図 7-2 【経年比較】「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

経年比較では、2022年度と比べ「すすめたことがある」が6.4ポイント減少している。

7.2. 認知症高齢者に関して必要な施策

◆ 「地域での見守りネットワークの整備」が約6割

(全員の方に)

問 38 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。

(○は主なもの3つまで)

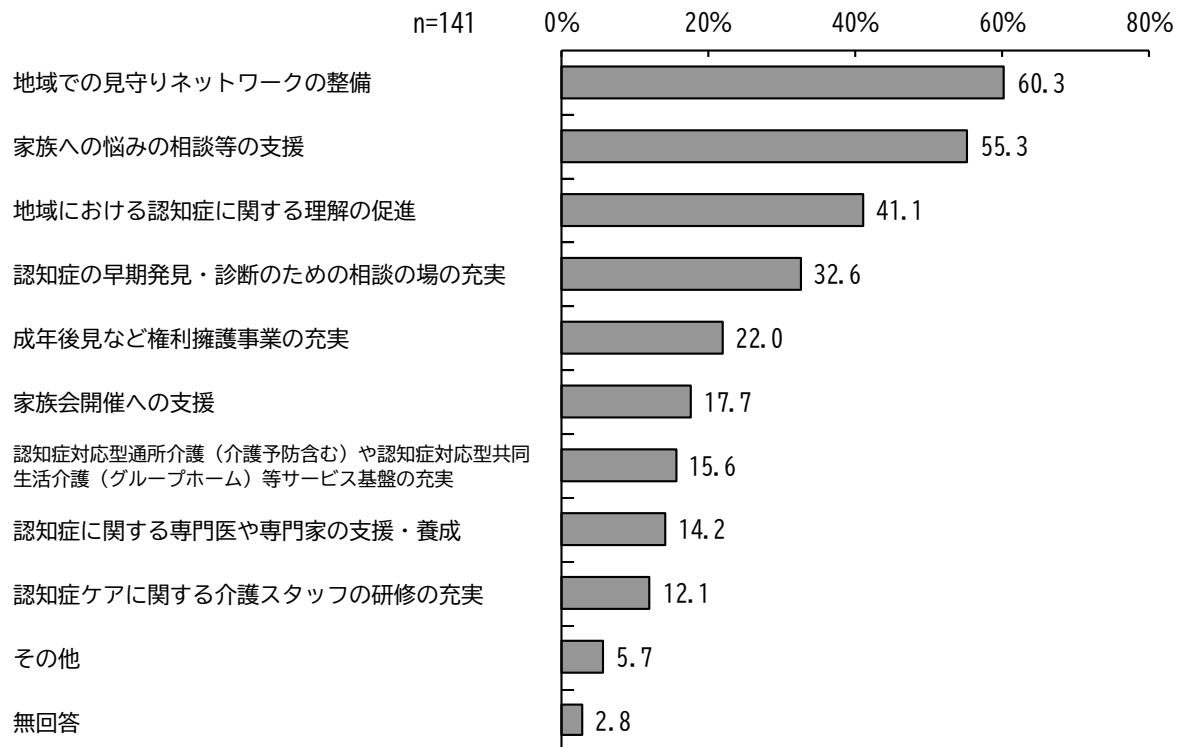
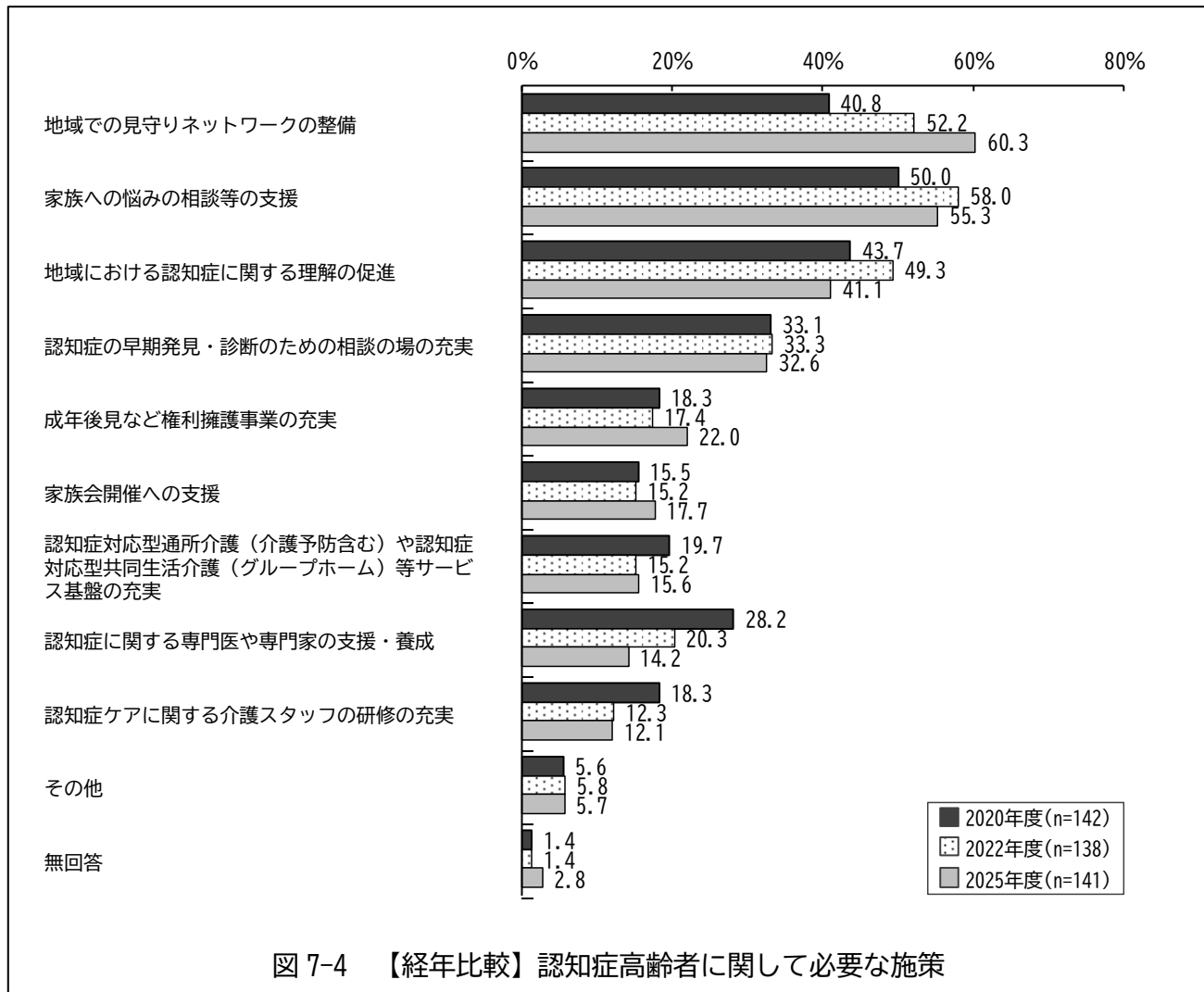


図 7-3 認知症高齢者に関して必要な施策

「地域での見守りネットワークの整備」が約6割で最も高く、次いで「家族への悩みの相談等の支援」が5割台半ば、「地域における認知症に関する理解の促進」が約4割となっている。



経年比較では、2022 年度と比べて「地域での見守りネットワークの整備」が 8.1 ポイント増加しており、反対に「地域における認知症に関する理解の促進」が 8.2 ポイント、「認知症に関する専門医や専門家の支援・養成」が 6.1 ポイント減少している。

8. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について

8.1. 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか

◆ 「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が8割台後半

（全員の方に）

問 39 あなたはこれまでに見たり聞いたりして、「人生会議（ACP）」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

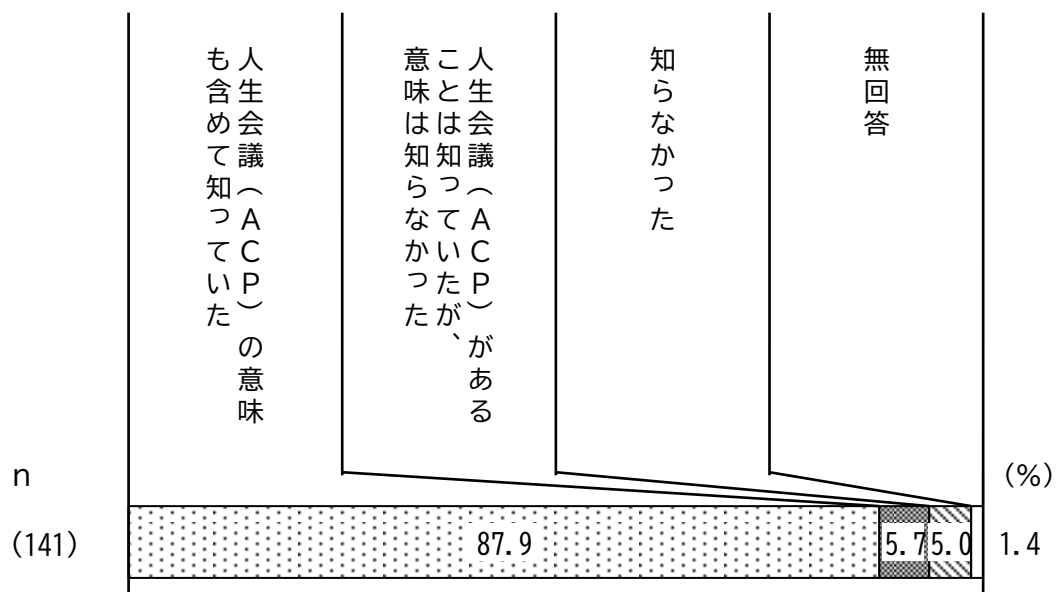


図 8-1 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか

「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が8割台後半を占めている。

8.2. 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無

◆ 「支援したことがある」が4割台後半

（問 39 において「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」「人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった」に○をつけた方に）

問 40 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験がありますか。（○は1つ）

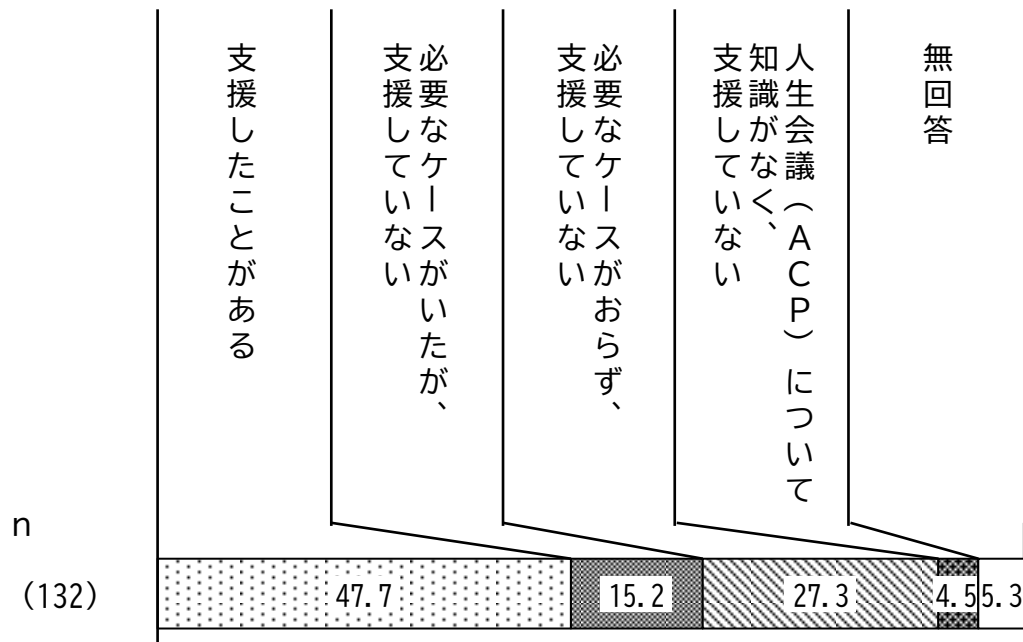


図 8-2 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無

「支援したことがある」が4割台後半で最も高く、次いで「必要なケースがおらず、支援していない」が2割台後半となっている。

8.3. 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点

◆ 「本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している」が6割台半ば

（問 39 において「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」「人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった」に○をつけた方に）
 問 41 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

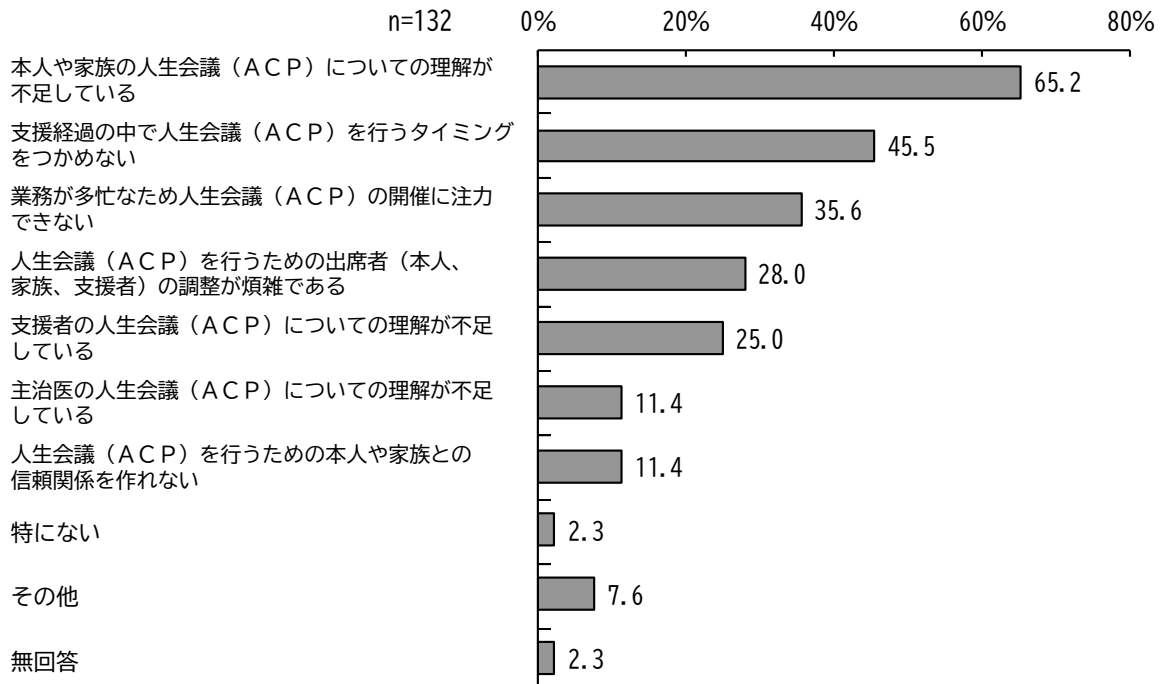


図 8-3 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点

「本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している」が6割半ばで最も高くなっている。

9. 在宅介護の可能性の拡大について

9.1. 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

◆ 「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が6割台後半

(全員の方に)

問 42 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活が続けることができますか。(あてはまるものすべてに○)

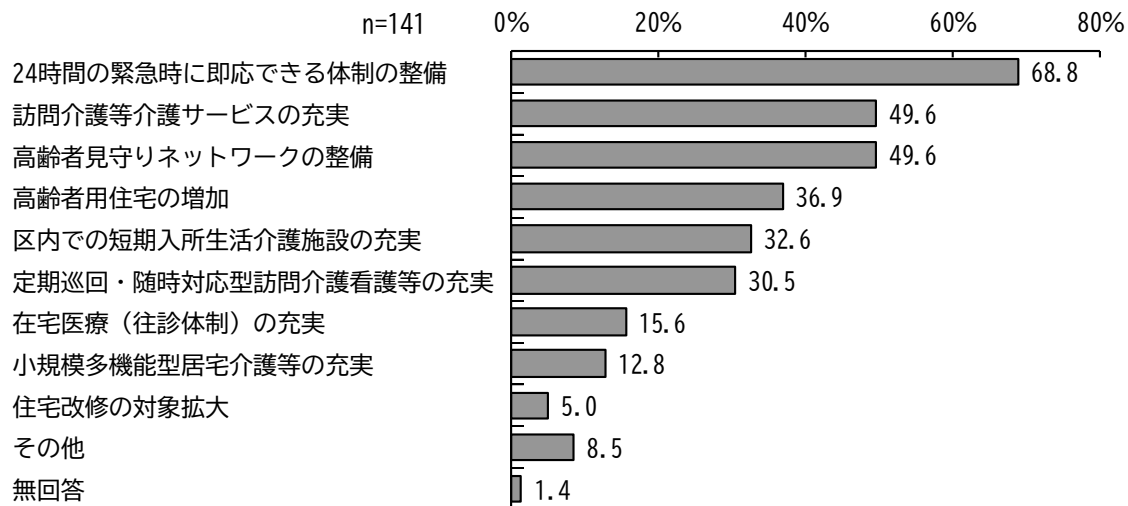


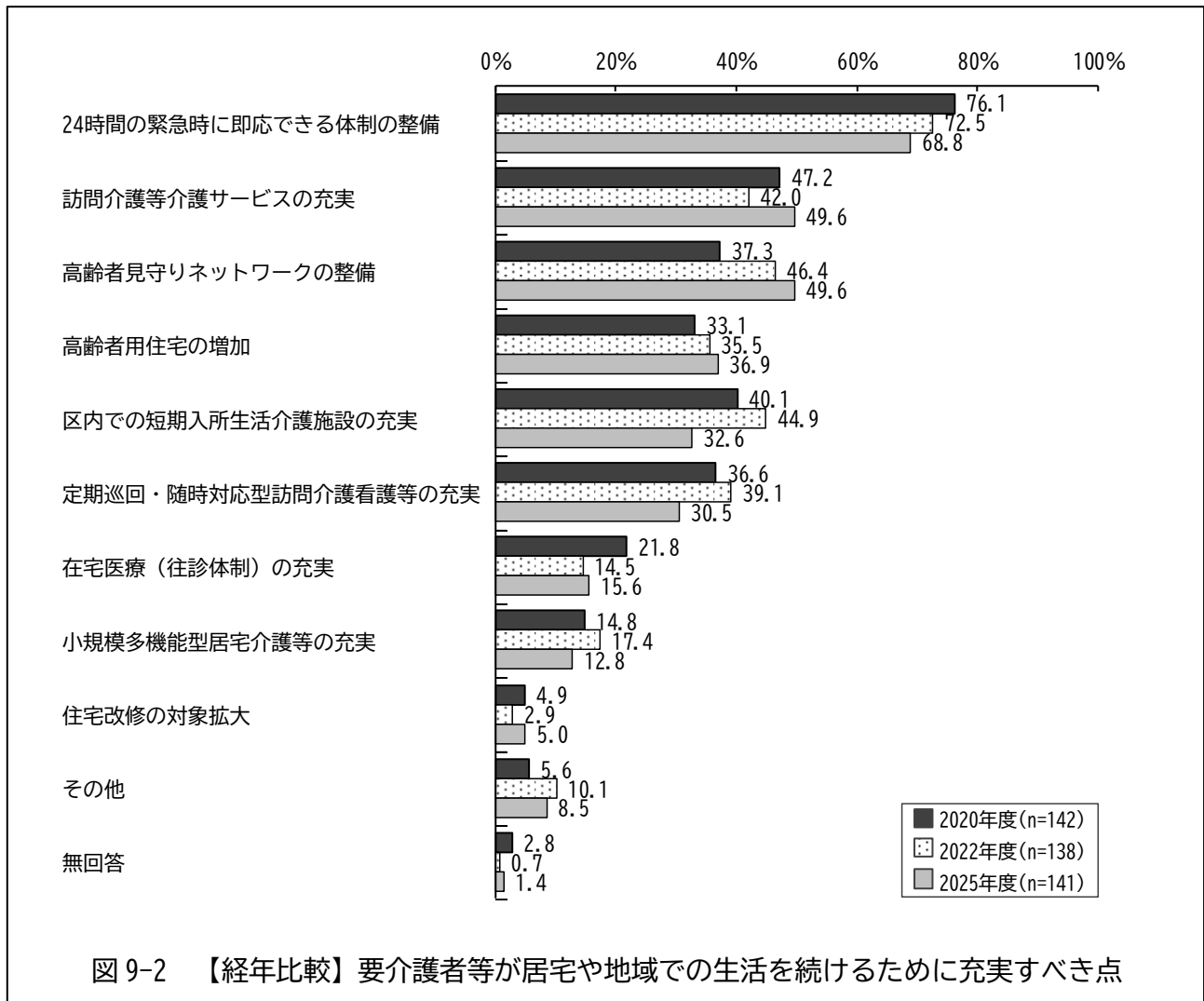
図 9-1 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が6割台後半で最も高くなっている。

【区内外の別】要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

単位：％

	有効回答数（件）	即24時間の緊急時に備	訪問介護等介護サービスの充実	高齢者見守りネットワークの整備	高齢者用住宅の増加	区内での短期入所生活介護施設の充実	定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実	在宅医療（往診体制）の充実	小規模多機能型居宅介護等の充実	住宅改修の対象拡大	その他	無回答
全体	141	68.8	49.6	49.6	36.9	32.6	30.5	15.6	12.8	5.0	8.5	1.4
中野区	118	70.3	48.3	50.0	36.4	32.2	32.2	16.1	12.7	5.9	8.5	1.7
中野区以外	9	88.9	44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	-	11.1	-



経年比較では、「24 時間の緊急時に即応できる体制の整備」が継続して最も高くなっているが、割合は年々減少している。

また、2022 年度と比べ「区内での短期入所生活介護施設の充実」が 12.3 ポイント、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実」が 8.6 ポイントの減少している。反対に、「訪問介護等介護サービスの充実」は 7.6 ポイント増加している。

10. 業務遂行上の問題について

10.1. 業務遂行上の問題について

◆ 「文書の作成等事務処理に追われる」が6割台後半

(全員の方に)

問 43 業務遂行上、困っていることはどのようなことですか。(○は主なもの3つまで)

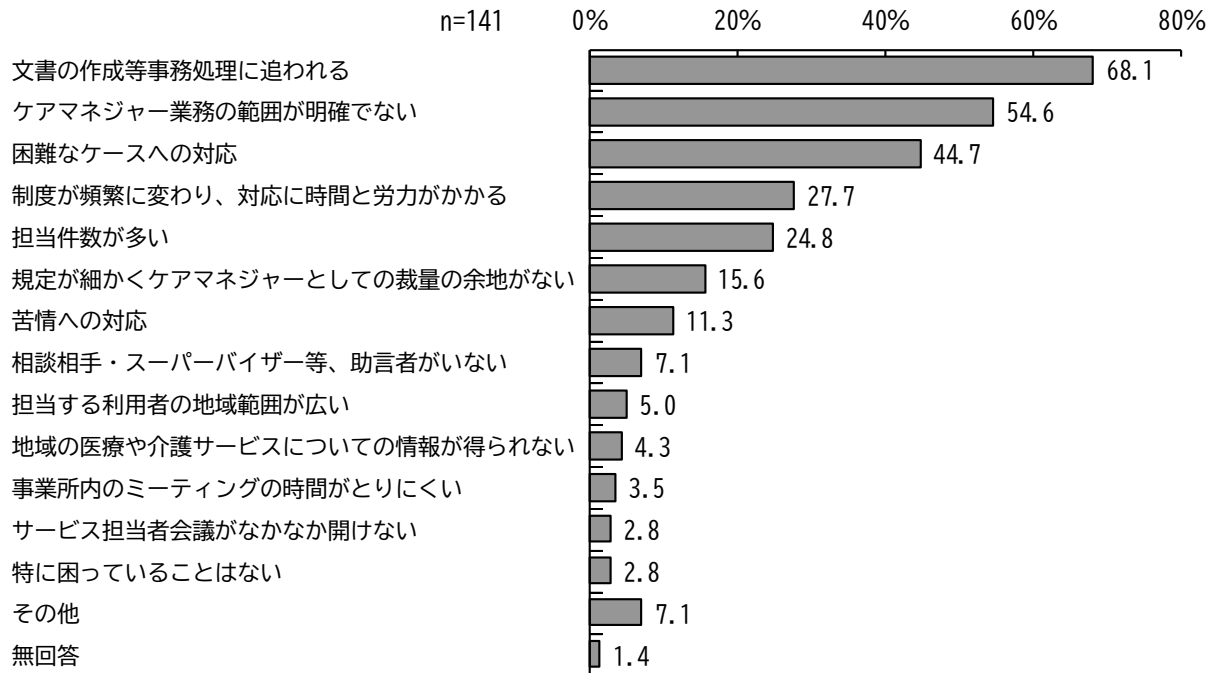


図 10-1 業務遂行上の問題について

「文書の作成等事務処理に追われる」が6割台後半で最も高くなっている。

【従事年数別】相談への対応に苦慮した時の相談先

単位：％

	有効回答数（件）	文書の作成等事務処理に追われる	ケアマネジャー業務の範囲が明確でない	困難なケースへの対応	制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる	担当件数が多い	規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない	苦情への対応	相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない
全体	141	68.1	54.6	44.7	27.7	24.8	15.6	11.3	7.1
1年未満	3	66.7	33.3	66.7	-	-	-	-	-
1年以上3年未満	12	58.3	66.7	75.0	25.0	16.7	25.0	8.3	8.3
3年以上5年未満	6	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	-
5年以上	120	69.2	51.7	41.7	28.3	25.8	14.2	11.7	7.5

	有効回答数（件）	担当する利用者の地域範囲が広い	地域の医療や介護サービスについての情報が得られない	事業所内のミーティングの時間がとりにくい	サービス担当者会議がなかなか開けない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	141	5.0	4.3	3.5	2.8	2.8	7.1	1.4
1年未満	3	-	33.3	-	-	-	-	-
1年以上3年未満	12	-	-	-	-	-	33.3	-
3年以上5年未満	6	-	-	-	-	-	-	-
5年以上	120	5.8	4.2	4.2	3.3	3.3	5.0	1.7

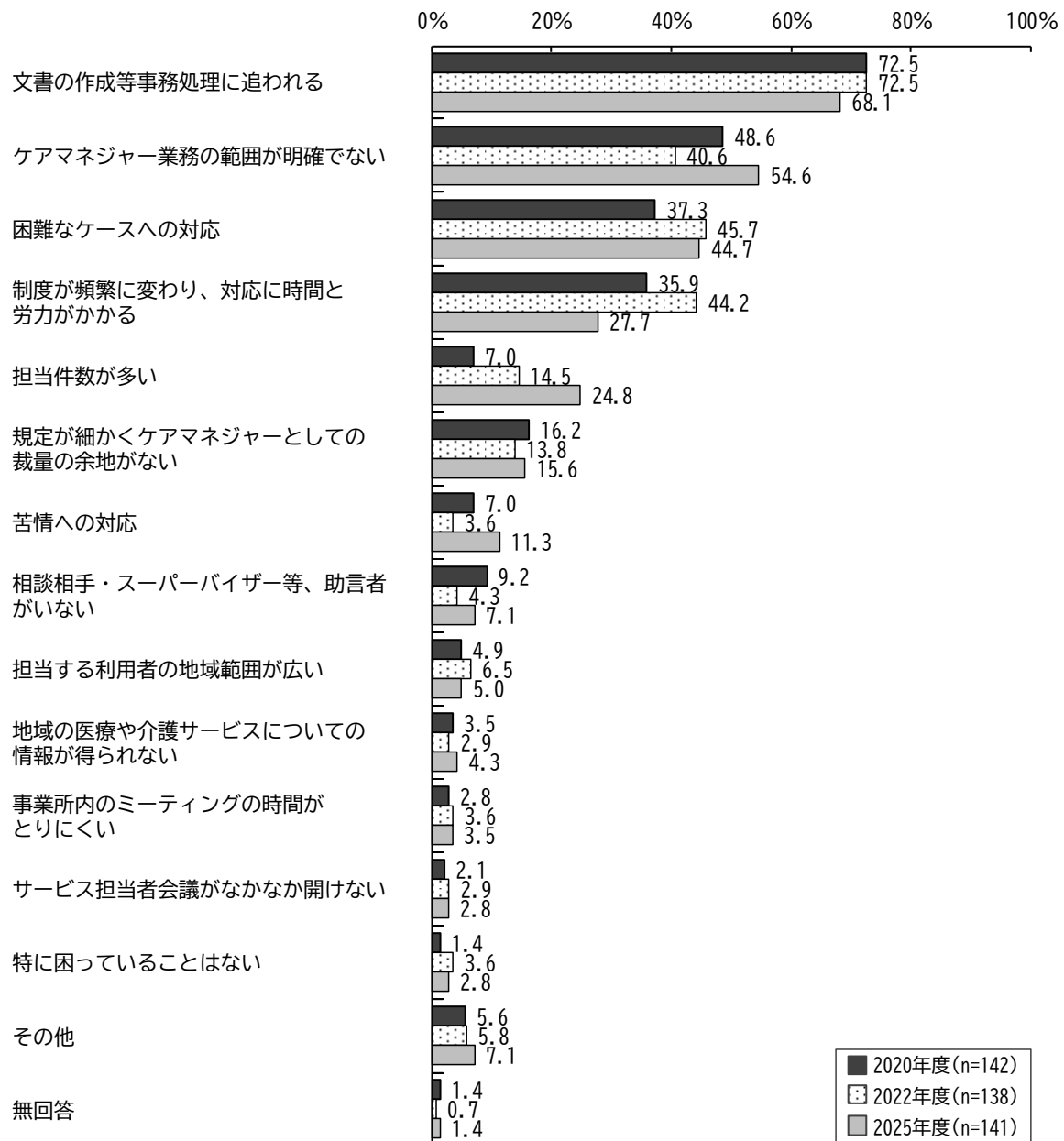


図 10-2 【経年比較】業務遂行上の問題について

経年比較では、「文書の作成等事務処理に追われる」が継続して最も高くなっている。

2022年度と比べて「ケアマネジャー業務の範囲が明確でない」が14.0ポイント増加している。また、「担当件数が多い」も10.3ポイント増加しており、割合は年々増加している。反対に「制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる」が16.5ポイントの減少している。

10.2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

◆ 「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が5割台前半

(全員の方に)

問 44 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

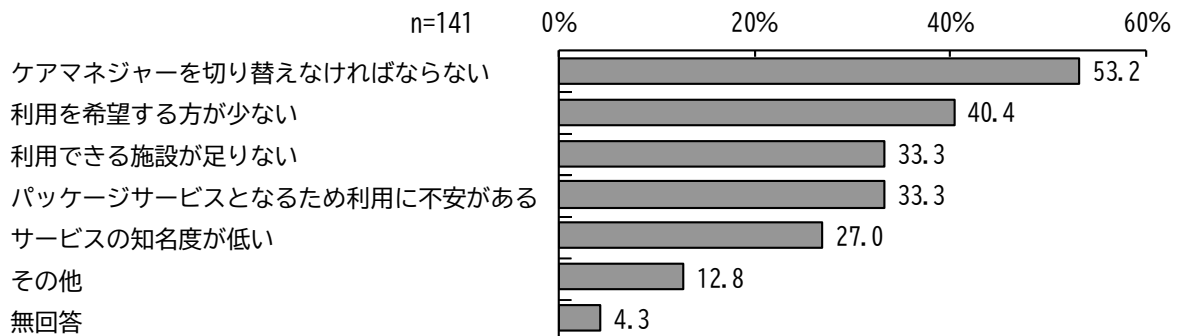


図 10-3 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が5割台前半と最も高くなっている。

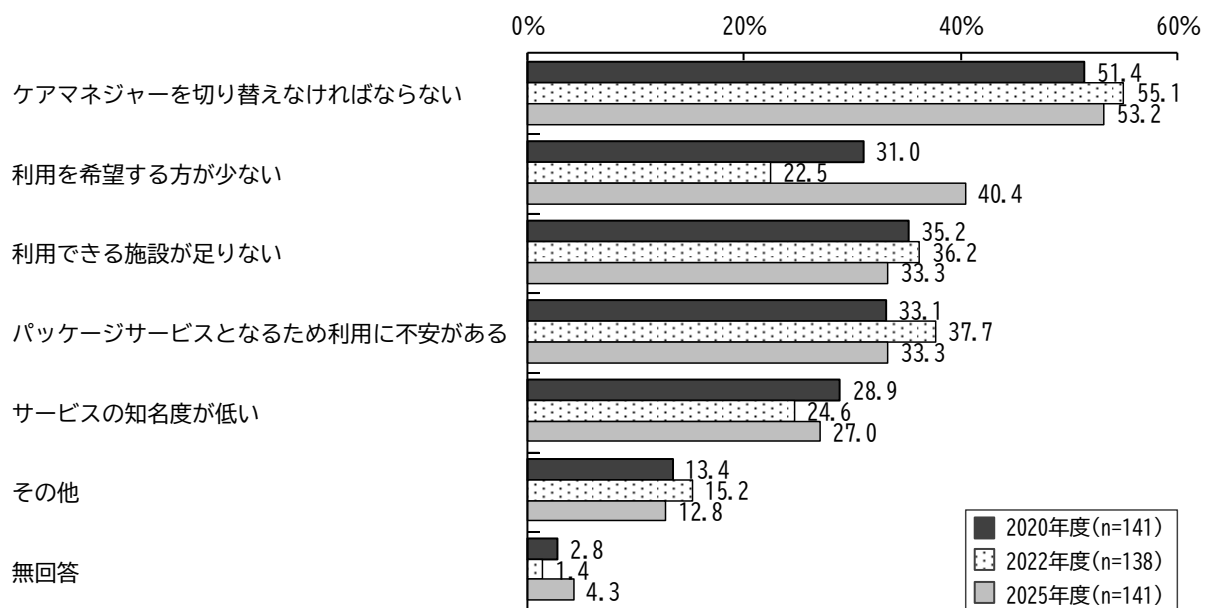


図 10-4 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

経年比較では、2022 年度と比べて「利用を希望する方が少ない」が 17.9 ポイント増加している。

11. その他

11.1. 介護保険制度に関する意見（自由回答）

（全員の方に）

問 45 ケアマネジャー制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険制度に関する意見について、68 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

制度上の課題・サービス範囲の不足について 27 件

- 制度に関しては、特に不満や利用し辛いという事は、この都市部では今のところ感じませんが、やはり今後、ヘルパーさんの数が減っていったり、ケアマネ資格を更新しない人も増え、そういった面で、制度がきちんと機能しなくなるのではという懸念はあります。
- ケアマネジャーのケアプラン料は利用者負担にするべきでない。訪問介護事業所の経営が悪化しているので、基本報酬を上げるか、区でも補助してほしい。ケアマネジャーにも処置改善加算等必要
- ルールが細かすぎる（裁量しにくい）、行政の対応に時間がかかる、保険料が高額、紙が多すぎる、事務が多すぎる
- ケアマネジャーの業務範囲の明確化が必要。（シャドーワークが多すぎる）ケアマネ不足が進むと思います。
- ケアプラン有料化について反対。ケアマネジメントの利用が抑制され利用者への不利益へつながる。・訪問介護従事者の不足により、質の低下が顕著に感じられている。退職の懸念から事業所側がきちんと指導が行えていない印象がある。
- やりがいのある仕事の割に、制度がころころ変わり、その都度学び、そして研修があり、大変な事が多くなってきており、特にこれから学んで職務につこうと思う人材は少ないのではないのでしょうか。何故国家資格にしないのか、しないのであれば、やはり更新研修をなくすかもっとやりがいにつながる研修にした方がよい。
- 障害支援サービスと比べると制限が多く、障害から介護保険に移行して来た方や、難病で障害支援と介護保険を併用している方のサービス利用に関して、介護保険サービスについての理解が得にくい。利用者家族が生活が不自由になったと感じている面がある。利用者の状態は加齢により悪化する為、柔軟な利用が出来ると良いと考える。
- 老々世帯、認知症世帯が増えており、主介護者として支援内容等の決定のため相談できる方がいないケースが増えている。
- 要支援と要介護を行ったり来たりする利用者が多い。その度に包括とのやり取りや、プランの書式変更が必要で大変。せめて同じ書式にできないか。
- その人それぞれの生活があり、訪問介護の内容がもう少し広い範囲で、利用出来る事で、自立支援に繋がると思います。今後。独居で、身寄りがない方が増えていくと思います。そういう方の対応が出来るサービスが増えると良い。

ケアマネジャーの処遇改善・現場の負担について 24 件

- ケアマネにも処遇改善の分配が好ましい。介護職（現場）の賃上げを行ってもケアマネいなければ介護保険での介入ができない。
- ケアマネジャーの処遇の改善が必要だと思います。人材不足は深刻です。給与面や働く環境の改善が急務です。

- ケアマネジャーの給料が低すぎる。仕事内容に苦痛を伴う為、若手に人気のない仕事となっている。シャドーワークが多すぎる。カスハラの対象になり、精神面で病む人が多く出ている。心身の健康を守るための制度の充実、何より報酬の低さは大問題である。ヘルパーのサビ責の方が注目されやすく報酬が高いのはケアマネの仕事内容が軽んじられているとしか思えない。又、プラン料の設定が「杖一本のみのレンタル」でも「沢山の調整をしたプラン」であっても同じであるのはおかしい。又、プランをさんざん調整したあげく、本人の拒否でプランが発生しなかった場合報酬が『ゼロ』というのはどう考えてもおかしい。
- 保険外のサービス依頼が多い事、書類関係が多い事、少しでも変化等や変更時の担当者会議が負担に感じている事、結果的に負担は変わらない。これでは離職が増えるばかりと思う。更新内容自体も毎回同じで質は同じ、割には研修費用は高い。厚いテキストが同じ物が2冊あります。更新の為、仕方なく受けているが、何かが変わりレベルアップしたと思えない。次の更新はしない方向でいる。(魅力や達成感がないと思うような職業と感じてしまう)
- ケアマネジャーのシャドーワークが多い。何でもケアマネジャーにふられる。介護認定決定が遅く、暫定で動くにも費用やオーバーを考えると必要なサービスを取り入れることができない。
- ケアマネありきの制度設計なのに対し、ケアマネ不足がどんどん進行している。更新制の廃止はもちろんだが、強制的な研修は廃止。処遇改善、わけのわからない指導、文書削減、ICT 推進、ペーパーレス等働きやすい仕事にしないと増加は見込めない
- 利用者に分かりやすく説明するが理解できない人が多い。運営基準で必要とされる書類や決まりが膨れ上がり、余程慣れている人でないとやりきれない。新規でケアマネジャーの仕事をトライしているが、介護職員よりも給与が低く、いずれモチベーションを保てなくなるのではと感じている。

手続きや事務作業の簡素化・改善について

7 件

- 書類作成が多すぎる。運営指導などがあると日々の仕事と書類チェックで大変です。
- 介護、予防ケアプランを同じ様式にして頂きたいです。変更するための事務効率が悪いと感じ、負担が大きいと感じます。
- 書類作成に追われ、本来利用者の声をもっと聞きたいのに時間がさけない。記録などの簡素化をすることにより、よりよいサービスにつながる。ケアマネはシャドーワークが多すぎる。区は、もっと1人をケアマネジメントするには何が必要か足りないのかを把握する必要がある。そして足りない資源を自治体で作り上げていくことが大切。

区への要望・苦情

5 件

- 迅速に対応できる知識を有した職員の相談窓口がありましたら、助かります。
- 後期高齢者が増えているのをひしひしと感じます。法令遵守や運営基準を守ること必要ですが、高齢や障害のある方の支援となります。文書や決まりに縛られるあまり、支援が小さくなるのが心配です。

介護認定について

4 件

- 要介護認定結果が想定より軽く出ることが多く、必要な人に必要な支援が行き渡っていないことを実感します

その他

1 件

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 高齢者調査

れい わ ねん ど ねん ど
令和7年度（2025年度）
 こうれい ふく し か い ご ほ け ん い こう ち ょ う さ
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
 こうれい しゃ ち ょ う さ
《高齢者調査》

ち ょ う さ き に ゅ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書きいただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入してください。
7. 回答方法

ゆう そう かい どう
【郵送による回答】

ほん ち ょ う さ ひ ょ う どう ふ う へん しん よ う ふ う どう き ッ テ フ ヨ う い ゆう そう
 本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

かい どう
【インターネットによる回答】

み ぎ に じ げ ん よ と かい どう よ う に ゆ う り よ く
 右の二次元コードを読み取るか、回答用URLを入力して、
 さい し ょ が め ん に ゆ う り よ く
 最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインして
 ください。

に じ げ ん よ と じ どう て き に ゆ う り よ く
 ※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

かい どう よ う
 ※回答用URL: <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanokrs.php>

かい どう き げ ん ゆう そう き ょ う つ う
【回答期限（郵送・インターネット共通）】

れい わ ねん ねん が つ に ち きん よ う び
令和7年（2025年）12月5日（金曜日）

8. 調査報告書は、令和8年7月から図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記まで
 とい あ わ
 お問い合わせください。

な か の く ち い き さ さ す い し ん ぶ か い ご ほ け ん か か ん り が か り
中野区 地域支えあい推進部 介護保険課 管理 係
 TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-5620
 E-mail kaigohoken@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（全員の方に）＜回答者数：1,810＞

問1 記入日

れいわ ねん 令和7年		がつ 月		にち 日
----------------	--	---------	--	---------

（全員の方に）＜回答者数：1,810＞

問2 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。（○は1つ）

1. あて名のご本人が記入(85.7%)
 2. ご家族が記入(6.6%)
 3. その他(0.1%)
- 無回答(7.6%)

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。
- ・ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

1 あなた自身のことについておたずねします

（令和7年10月1日現在の状況をお答えください。）

（全員の方に）＜回答者数：1,810＞

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 南台(6.7%) | 2. 弥生町(6.7%) | 3. 本町(8.6%) | 4. 中央(7.8%) |
| 5. 東中野(4.8%) | 6. 中野(7.3%) | 7. 上高田(5.9%) | 8. 新井(6.0%) |
| 9. 松が丘(1.6%) | 10. 沼袋(5.0%) | 11. 丸山(1.8%) | 12. 野方(6.6%) |
| 13. 江古田(3.5%) | 14. 江原町(2.7%) | 15. 大和町(4.5%) | 16. 若宮(4.3%) |
| 17. 白鷺(4.8%) | 18. 鷺宮(5.2%) | 19. 上鷺宮(3.8%) | 無回答(2.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問4 丁目を記入してください

() 丁目

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問5 あなたの性別はどちらですか。

1. 男 (42.8%)

2. 女 (56.5%)

無回答(0.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問6 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

1. 65～69歳(11.8%) 2. 70～74歳(16.9%) 3. 75～79歳(25.0%)

4. 80～84歳(21.3%) 5. 85～89歳(15.1%) 6. 90～94歳(7.3%)

7. 95～99歳(1.8%) 8. 100歳以上(0.3%) 無回答(0.5%)

2 あなたのご家族や生活状況について

(令和7年10月1日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問7 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. 1人暮らし(39.0%)

2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(22.9%)

3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(2.5%)

4. 息子・娘との2世帯(19.2%)

5. その他(14.3%)

無回答(2.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問8 あなたは要支援認定等を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援認定等を受けていない(84.2%)

2. 要支援1(5.9%)

3. 要支援2(5.2%)

4. 介護予防・生活支援サービス事業対象者(1.0%)

5. わからない(1.8%)

無回答(1.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問8-1 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 介護・介助は必要ない(83.1%) | |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(7.6%) | |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている(8.2%) | |
| (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | 無回答(1.2%) |

(問8-1において「2」「3」に○をつけた方に) <回答者数：285>

問8-2 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)(6.7%) | 2. 心臓病(12.3%) |
| 3. がん(悪性新生物)(6.7%) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)(6.0%) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等)(7.7%) | 6. 認知症(アルツハイマー病等)(6.3%) |
| 7. パーキンソン病(2.8%) | 8. 糖尿病(9.5%) |
| 9. 腎疾患(透析)(1.1%) | 10. 視覚・聴覚障害(8.4%) |
| 11. 骨折・転倒(22.5%) | 12. 脊椎損傷(5.6%) |
| 13. 高齢による衰弱(29.8%) | 14. その他(20.4%) |
| 15. 不明(2.1%) | 無回答(7.4%) |

(問8-1において「3」に○をつけた方に) <回答者数：148>

問8-3 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------|---------------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻)(17.6%) | 2. 息子(14.2%) | 3. 娘(28.4%) |
| 4. 子の配偶者(6.1%) | 5. 孫(5.4%) | 6. 兄弟・姉妹(1.4%) |
| 7. 介護サービスのヘルパー(34.5%) | 8. その他(13.5%) | 無回答(9.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問9 あなたの世帯の昨年の合計収入はいくらですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 収入なし(10.0%) | 2. 200万円未満(26.7%) |
| 3. 200～500万円未満(39.2%) | 4. 500～700万円未満(8.8%) |
| 5. 700～1,000万円未満(5.0%) | 6. 1,000～1,500万円未満(2.3%) |
| 7. 1,500万円以上(2.6%) | 無回答(5.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問9-1 あなたの現在の預貯金はいくらですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 貯蓄なし(7.0%) | 2. 50万円未満(6.1%) |
| 3. 50～300万円未満(16.5%) | 4. 300～1,000万円未満(24.8%) |
| 5. 1,000～3,000万円未満(24.1%) | 6. 3,000万円以上(15.7%) 無回答(5.9%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問9-2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|---------------|
| 1. 大変苦しい(8.5%) | 2. やや苦しい(23.5%) | 3. ふつう(51.3%) |
| 4. ややゆとりがある(11.8%) | 5. 大変ゆとりがある(2.8%) | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問10 お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 持家(戸建て)(57.1%) | 2. 持家(集合住宅)(23.8%) |
| 3. 公営賃貸住宅(6.0%) | 4. 民間賃貸住宅(戸建て)(1.0%) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)(8.5%) | 6. 借家(0.8%) |
| 7. その他(1.5%) | 無回答(1.3%) |

3 からだを動かすことについて(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|
| 1. できるし、している(54.8%) | 2. できるけどしていない(20.9%) | 3. できない(23.0%) | 無回答(1.3%) |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|
| 1. できるし、している(72.4%) | 2. できるけどしていない(12.4%) | 3. できない(14.1%) | 無回答(1.0%) |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問13 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------|-----------|
| 1. できるし、している(80.0%) | 2. できるけどしていない(9.9%) | 3. できない(9.1%) | 無回答(1.0%) |
|---------------------|---------------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|--------------|-----------|
| 1. 何度もある(8.8%) | 2. 1度ある(24.9%) | 3. ない(65.4%) | 無回答(0.9%) |
|----------------|----------------|--------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|-----------|
| 1. とても不安である(20.7%) | 2. やや不安である(42.2%) | |
| 3. あまり不安でない(22.5%) | 4. 不安でない(13.5%) | 無回答(1.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問16 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------|
| 1. ほとんど外出しない(5.8%) | 2. 週1回(9.0%) | |
| 3. 週2～4回(42.9%) | 4. 週5回以上(41.3%) | 無回答(1.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|------------------|-----------|
| 1. とても減っている(4.9%) | 2. 減っている(24.4%) | |
| 3. あまり減っていない(33.3%) | 4. 減っていない(36.5%) | 無回答(1.0%) |

(問17で「1」「2」に○をつけた方に) <回答者数：530>

問17-1 外出が減っている理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 病気(14.0%) | 2. 障害(脳卒中の後遺症など)(2.8%) |
| 3. 足腰などの痛み(51.9%) | 4. トイレの心配(失禁など)(15.7%) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など)(6.2%) | 6. 目の障害(6.8%) |
| 7. 外での楽しみがない(18.1%) | 8. 経済的に出られない(7.0%) |
| 9. 交通手段がない(3.8%) | 10. 同行してくれる人がいない(9.4%) |
| 11. 家族等から止められている(2.1%) | 12. その他(21.3%) |
| | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問18 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 徒歩(82.2%) | 2. 自転車(32.4%) |
| 3. バイク(1.7%) | 4. 自動車(自分で運転)(14.8%) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう)(9.6%) | 6. 電車(60.7%) |
| 7. 路線バス(60.0%) | 8. 病院や施設のバス(1.5%) |
| 9. 車いす(1.4%) | 10. 電動車いす(カート)(0.3%) |
| 11. 歩行器・シルバーカー(3.9%) | 12. タクシー(23.4%) |
| 13. その他(1.2%) | 無回答(1.9%) |

4 食べることについて

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問19 身長・体重

身長 () c m	②体重 () k g
1. やせ(11.0%) 2. 標準(67.2%)	3. 肥満(18.4%) 無回答(3.3%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい(30.6%)	2. いいえ(68.3%)	無回答(1.2%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい(30.3%)	2. いいえ(68.7%)	無回答(1.0%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問22 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい(31.0%)	2. いいえ(67.8%)	無回答(1.1%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問23 歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日していますか。(○は1つ)

1. はい(93.0%)	2. いいえ(5.9%)	無回答(1.1%)
--------------	--------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用(13.7%)

2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし(37.8%)

3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用(33.9%)

4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし(10.8%)

無回答(3.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問24-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

1. はい(69.2%)

2. いいえ(17.0%)

無回答(13.8%)

(問24で「1」「3」に○をつけた方に) <回答者数：861>

問24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

1. はい(89.4%)

2. いいえ(6.9%)

無回答(3.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問25 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい(12.4%)

2. いいえ(85.3%)

無回答(2.3%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問26 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある(42.3%)

2. 週に何度かある(13.0%)

3. 月に何度かある(19.2%)

4. 年に何度かある(12.7%)

5. ほとんどない(11.3%)

無回答(1.5%)

5 毎日の生活について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問27 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい(40.3%) 2. いいえ(58.2%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問28 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか。(○は1つ)

1. はい(11.7%) 2. いいえ(86.8%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問29 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

1. はい(83.9%) 2. いいえ(14.9%) 無回答(1.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問30 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

1. はい(26.6%) 2. いいえ(72.0%) 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問31 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

1. できるし、している(84.5%) 2. できるけどしていない(8.1%) 3. できない(6.2%) 無回答(1.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問32 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(86.1%) 2. できるけどしていない(8.4%) 3. できない(4.1%) 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問33 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(78.6%) 2. できるけどしていない(14.8%) 3. できない(5.2%) 無回答(1.3%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問34 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(85.6%) 2. できるけどしていない(9.2%) 3. できない(3.3%) 無回答(1.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問35 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(87.9%) 2. できるけどしていない(7.2%) 3. できない(3.3%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問36 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

1. はい(91.3%) 2. いいえ(7.1%) 無回答(1.6%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問37 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい(66.6%) 2. いいえ(31.7%) 無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問38 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい(71.0%) 2. いいえ(27.4%) 無回答(1.6%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問39 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

1. はい(89.1%) 2. いいえ(9.4%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問40 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

1. はい(37.0%) 2. いいえ(61.3%) 無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問41 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

1. はい(69.0%) 2. いいえ(29.0%) 無回答(2.0%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問42 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

1. はい(80.4%) 2. いいえ(17.1%) 無回答(2.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問43 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

1. はい(72.2%) 2. いいえ(25.6%) 無回答(2.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問44 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり(74.9%) 2. 思いつかない(22.2%) 無回答(2.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問45 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり(62.7%) 2. 思いつかない(33.6%) 無回答(3.7%)

6 地域での活動について(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～③それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

① ボランティアのグループ

1. 週4回以上(1.2%) 2. 週2～3回(2.2%) 3. 週1回(2.5%)
4. 月1～3回(6.5%) 5. 年に数回(3.8%) 6. 参加していない(78.2%) 無回答(5.7%)

② スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上(4.6%) 2. 週2～3回(8.9%) 3. 週1回(7.2%)
4. 月1～3回(5.2%) 5. 年に数回(2.3%) 6. 参加していない(67.4%) 無回答(4.4%)

③ 趣味関係のグループ

1. 週4回以上(2.1%) 2. 週2～3回(5.5%) 3. 週1回(7.8%)
4. 月1～3回(11.5%) 5. 年に数回(6.8%) 6. 参加していない(62.9%) 無回答(3.4%)

④ 学習・教養サークル

1. 週 4 回以上(0.3%) 2. 週 2～3 回(2.0%) 3. 週 1 回(3.8%)
4. 月 1～3 回(5.2%) 5. 年に数回(4.0%) 6. 参加していない(79.9%) 無回答(4.7%)

⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場

1. 週 4 回以上(3.7%) 2. 週 2～3 回(7.2%) 3. 週 1 回(8.3%)
4. 月 1～3 回(3.6%) 5. 年に数回(1.1%) 6. 参加していない(72.2%) 無回答(3.9%)

⑥ 老人クラブ

1. 週 4 回以上(0.3%) 2. 週 2～3 回(1.0%) 3. 週 1 回(1.2%)
4. 月 1～3 回(2.5%) 5. 年に数回(1.3%) 6. 参加していない(89.5%) 無回答(4.1%)

⑦ 町内会・自治会

1. 週 4 回以上(0.3%) 2. 週 2～3 回(0.6%) 3. 週 1 回(1.2%)
4. 月 1～3 回(5.2%) 5. 年に数回(9.4%) 6. 参加していない(79.4%) 無回答(3.8%)

⑧ 収入のある仕事

1. 週 4 回以上(14.6%) 2. 週 2～3 回(6.9%) 3. 週 1 回(1.9%)
4. 月 1～3 回(2.9%) 5. 年に数回(2.1%) 6. 参加していない(68.0%) 無回答(3.6%)

(問46①～⑧でひとつでも「6」に○をつけた方に) <回答者数：1,749>

問46-1 地域での活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域活動の情報がないため(17.4%) 2. 知り合いがいないため(19.5%)
3. やりたい活動がないため(14.6%)
4. 費用が掛かるため(3.3%)
5. 近所での活動には参加したくないため(19.0%)
6. その他(36.3%) 無回答(9.8%)

(全員の方に) <回答者数：1,810>

問47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい(5.1%) 2. 参加してもよい(48.8%)
3. 参加したくない(38.1%) 4. 既に参加している(4.4%) 無回答(3.6%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------|
| 1. 是非参加したい(2.2%) | 2. 参加してもよい(28.5%) | |
| 3. 参加したくない(61.7%) | 4. 既に参加している(3.5%) | 無回答(4.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(〇は1つ)

- | | | |
|---------------------|--------------------|-----------|
| 1. そう思う(8.7%) | 2. ややそう思う(17.7%) | |
| 3. あまりそう思わない(32.6%) | 4. 全くそう思わない(37.7%) | 無回答(3.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問50 現在のあなたの就労状態はどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|----------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 職に就いたことがない(10.6%) | 2. 引退した(49.7%) | → 問50-1へ |
| 3. 常勤(フルタイム)(6.2%) | 4. 非常勤(パート・アルバイト等)(12.7%) | |
| 5. 自営業(12.6%) | 6. 休職中(1.8%) | |
| 7. その他(8.9%) | | 無回答(4.4%) |

(問50で「2」に〇をつけた方に) <回答者数：899>

問50-1 あなたはいつ引退しましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|--|--|-----------|
| 1. 昭和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年(11.1%) | 2. 平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年(57.3%) | |
| 3. 令和 <input type="text"/> 年(25.9%) | | 無回答(5.7%) |

7 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問51 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 配偶者(30.1%) | 2. 同居の子ども(22.5%) |
| 3. 別居の子ども(31.4%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(32.4%) |
| 5. 近隣(8.5%) | 6. 友人(47.1%) |
| 7. その他(4.3%) | 8. そのような人はいない(6.8%) 無回答(2.7%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問52 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(29.5%) | 2. 同居の子ども(20.1%) |
| 3. 別居の子ども(27.7%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(33.4%) |
| 5. 近隣(9.8%) | 6. 友人(48.7%) |
| 7. その他(2.8%) | 8. そのような人はいない(10.6%) 無回答(3.0%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問53 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(31.1%) | 2. 同居の子ども(26.6%) |
| 3. 別居の子ども(30.9%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(17.6%) |
| 5. 近隣(2.7%) | 6. 友人(9.0%) |
| 7. その他(3.8%) | 8. そのような人はいない(11.9%) 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問54 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(34.6%) | 2. 同居の子ども(22.8%) |
| 3. 別居の子ども(22.5%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(22.0%) |
| 5. 近隣(2.7%) | 6. 友人(11.9%) |
| 7. その他(3.3%) | 8. そのような人はいない(19.0%) 無回答(3.5%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問55 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ(5.9%) | 2. 社会福祉協議会・民生委員(7.6%) |
| 3. ケアマネジャー(9.2%) | 4. 医師・歯科医師・看護師(32.8%) |
| 5. 地域包括支援センター・区役所(19.7%) | 6. その他(7.4%) |
| 7. そのような人はいない(39.7%) | 無回答(4.7%) |

問56～問58 では、家族や親戚などについて伺います。

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問56 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(14.7%) | 2. 1人(16.5%) | 3. 2人(24.4%) |
| 4. 3～4人(31.3%) | 5. 5～8人(7.1%) | 6. 9人以上(2.7%) 無回答(3.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問57 あなたが個人的な事でも話することができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(10.1%) | 2. 1人(15.5%) | 3. 2人(26.9%) |
| 4. 3～4人(34.1%) | 5. 5～8人(8.7%) | 6. 9人以上(1.8%) 無回答(2.9%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問58 あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(8.7%) | 2. 1人(14.4%) | 3. 2人(29.5%) |
| 4. 3～4人(36.3%) | 5. 5～8人(7.3%) | 6. 9人以上(0.9%) 無回答(2.8%) |

問59～問61 では、近くに住んでいる人を含むあなたの友人全体について伺います。

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問59 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(29.6%) | 2. 1人(10.4%) | 3. 2人(16.5%) |
| 4. 3～4人(25.1%) | 5. 5～8人(9.8%) | 6. 9人以上(5.2%) 無回答(3.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問60 あなたが個人的な事でも話することができるくらい気楽に感じられる友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(24.6%) | 2. 1人(14.7%) | 3. 2人(22.3%) |
| 4. 3～4人(27.5%) | 5. 5～8人(6.3%) | 6. 9人以上(1.9%) 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問61 あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(37.7%) | 2. 1人(14.0%) | 3. 2人(21.6%) |
| 4. 3～4人(19.3%) | 5. 5～8人(3.3%) | 6. 9人以上(1.2%) 無回答(3.0%) |

8 健康について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問62 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------|
| 1. とてもよい(14.1%) | 2. まあよい(64.0%) | |
| 3. あまりよくない(17.0%) | 4. よくない(3.2%) | 無回答(1.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問63 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- | <div> <div>とても不幸 ←</div> <div>→ とても幸せ</div> </div> | | | | | |
|--|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 0点(0.3%) | 1点(0.6%) | 2点(0.6%) | 3点(2.0%) | 4点(3.5%) | 5点(17.3%) |
| 6点(9.6%) | 7点(14.0%) | 8点(21.4%) | 9点(12.7%) | 10点(15.4%) | 無回答(2.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問64 ここ2週間、毎日の生活に充実感がない気がしましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(22.4%) | 2. いいえ(74.9%) | 無回答(2.7%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問65 ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(18.0%) | 2. いいえ(78.9%) | 無回答(3.1%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問66 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(36.0%) | 2. いいえ(62.0%) | 無回答(1.9%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問67 ここ2週間、自分が役に立つ人間だとは思えない気がしましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(19.9%) | 2. いいえ(77.6%) | 無回答(2.5%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問68 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

1. はい(30.5%)	2. いいえ(67.3%)	無回答(2.2%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問69 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

1. はい(32.5%)	2. いいえ(65.6%)	無回答(1.9%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問70 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい(21.9%)	2. いいえ(75.7%)	無回答(2.3%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問71 お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む(21.6%)	2. 時々飲む(19.7%)	
3. ほとんど飲まない(26.9%)	4. もともと飲まない(30.2%)	無回答(1.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問72 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている(8.5%)	2. 時々吸っている(1.3%)	
3. 吸っていたがやめた(28.0%)	4. もともと吸っていない(60.4%)	無回答(1.7%)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問73 現在治療中^{げんざいちりょうちゅう}、または後遺症^{こういしょう}のある病気^{びょうき}はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. ない(15.9%) | 2. 高血圧 ^{こうけつあつ} (41.6%) |
| 3. 脳卒中 ^{のうそっちゅう} (脳出血 ^{のうしゅつけつ} ・脳梗塞 ^{のうこうそくとう} 等)(3.8%) | 4. 心臓病 ^{しんぞうびょう} (11.4%) |
| 5. 糖尿病 ^{とうりょうびょう} (13.6%) | 6. 高脂血症 ^{こうしけっしょう} (脂質異常 ^{ししつじょう})(13.6%) |
| 7. 呼吸器 ^{こきゅうき} の病気 ^{びょうき} (肺炎 ^{はいえん} や気管支炎 ^{きかんしえんとう} 等)(6.1%) | 8. 胃腸 ^{いちょう} ・肝臓 ^{かんぞう} ・胆 ^{たん} のうの病気 ^{びょうき} (5.4%) |
| 9. 腎臓 ^{じんぞう} ・前立腺 ^{ぜんりつせん} の病気 ^{びょうき} (8.6%) | |
| 10. 筋骨格 ^{きんこつかく} の病気 ^{びょうき} (骨粗しょう症 ^{こつそ} 、関節症 ^{かんせつしょうとう} 等)(12.7%) | |
| 11. 外傷 ^{がいしょう} (転倒 ^{てんとう} ・骨折 ^{こっせつとう} 等)(4.0%) | 12. がん ^{あくせいしんせいぶつ} (悪性新生物)(5.4%) |
| 13. 血液 ^{けつえき} ・免疫 ^{めんえき} の病気 ^{びょうき} (2.2%) | 14. うつ病 ^{びょう} (1.2%) |
| 15. 認知症 ^{にんちしょう} (アルツハイマー病 ^{びょうとう} 等)(1.0%) | 16. パーキンソン病 ^{びょう} (0.6%) |
| 17. 目の病気 ^{め びょうき} (18.1%) | 18. 耳 ^{みみ} の病気 ^{びょうき} (4.3%) |
| 19. その他 ^た (11.5%) | 無回答(6.3%) |

9 認知症^{にんちしょう}にかかる相談窓口^{そうだんまどぐち}の把握^{はあく}について (記入日現在の^{き にゅうびげんざい}状^{じょうきよう}を^{こた}お答えください。)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問74 認知症^{にんちしょう}の症^{しょう}状^{じょう}がある、又は家族^{また かぞく}に認知症^{にんちしょう}の症^{しょう}状^{じょう}がある人^{ひと}がいますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(10.6%) | 2. いいえ(86.3%) | 無回答(3.1%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問75 認知症^{にんちしょう}に関する相談窓口^{かん そうだんまどぐち}を知^しっていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(28.3%) | 2. いいえ(68.3%) | 無回答(3.4%) |
|--------------|---------------|-----------|

10 成年後見制度について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問76 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている(13.7%)

2. だいたい知っている(26.6%)

3. あまりよくわからない(36.6%)

4. 全く^{まった}わからない(18.3%)5. その他^た(0.2%)

無回答(4.5%)

(問76で「1」「2」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：730>問76-1 今後、成年後見制度を利用^{りよう}したい^{おも}いますか。(○は1つ)

1. したい(14.7%)

2. したくない(84.5%)

無回答(0.8%)

(問76-1で「2」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：617>問76-2 利用^{りよう}したくない理由^{りゆう}をおしえてください。(○は2つ)1. 後見人^{こうけんじん}でなくても家族^{かぞく}がいるから(83.6%)2. 他人^{たにん}(家族^{かぞく}・親族^{しんぞく}を含む)に財産^{ざいさん}などを任せ^{まか}ることに不安^{ふあん}があるから(14.6%)3. 後見人^{こうけんじん}になってほしい人^{ひと}が見あたら^みないから(8.6%)4. 家族^{かぞく}・親族^{しんぞく}の信頼^{しんらい}関係^{かんけい}が壊^{こわ}れる恐れ^{おそ}があるから(3.1%)5. 手続き^{てつづ}が大変^{たいへん}そうだから(3.7%)6. 費用^{ひよう}がどのくらいかかるか心配^{しんぱい}だから(3.7%)7. 家庭裁判所^{かていさいばんしょ}に申立^{もうした}てることに抵抗^{ていこう}があるから(2.6%)8. どういうときに利用^{りよう}していいかわからないから(3.2%)9. その他^た(7.9%)

無回答(1.8%)

《その他》

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問77 ^{けんこうふくしきぎょうせいぜんたい}健康福祉行政全体について、^{ようぼう}ご要望や^{いけんとう}ご意見等ありましたら、^{じゆう}ご自由^かにお書きください。

^{きょうりよく}
ご協力ありがとうございました

2. 介護サービス利用調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度（2025年度）

こうれいふくし かいごほけん いこうちょうさ
高齡福祉・介護保険サービス意向調査
かいご りょうちょうさ
《介護サービス利用調査》

ちょう さ き にゅう ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えになれない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入してください。
7. 回答方法

ゆうそう かいとう
【郵送による回答】

ほんちようさひよう どうふう へんしんようふうとう きつてふよう い ゆうそう
本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

【インターネットによる^{かいとう}回答】

右の二次元コードを読み取るか、^{かいとうよう}回答用URLを^{にゅうりよく}入力して、
最初の画面で^{さいしょ}IDと^{がめん}パスワードを^{にゅうりよく}入力し、ログインして
ください。

※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

※^{かいとうよう}回答用URL:<https://www.cz-wee.com/if/r7nakanoser.php>

【^{かいとうきげん}回答期限（^{ゆうそう}郵送・インターネット^{きょうつう}共通）】

令和7年（2025年）12月5日（金曜日）

8. 調査報告書は、令和8年7月から図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記まで
お問い合わせください。

なかのく ちいきささ すいしんぱ かいごほけん か かんりがかり
中野区 地域支援あい推進部 介護保険課 管理係
TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-5620
E-mail kaigohoken@city.tokyo-nakano.lg.jp

こじんじょうほう と あつか
【個人情報の取り扱いについて】

こじんじょうほう ほ ごおよ かつようもくてき い か
個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

ほんちようきひょう へんそう か き どうい
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

こじんじょうほう ほ ごおよ かつようもくてき
【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために 行 うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

しつもん うえ ぜんいん かた きさい ぜんいん かた かた
質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（問1 から6は、令和7年10月1日時点の状況を教えてください。）

（全員の方に）＜回答者数：1,687＞

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数選択可）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 調査対象者本人(47.4%) | 2. 主な介護者となっている家族・親族(37.6%) |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族(1.7%) | 4. その他(0.9%) |
| | 無回答(16.7%) |

ひょう A 票 ほんにん うかが
ご本人について、お伺いします

（全員の方に）＜回答者数：1,687＞

問2 あなたがお住まいの地域はどこですか。（1つを選択）

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 南台(6.6%) | 2. 弥生町(7.4%) | 3. 本町(7.9%) | 4. 中央(6.9%) |
| 5. 東中野(5.5%) | 6. 中野(7.7%) | 7. 上高田(4.9%) | 8. 新井(4.0%) |
| 9. 松が丘(2.5%) | 10. 沼袋(4.7%) | 11. 丸山(1.2%) | 12. 野方(6.0%) |
| 13. 江古田(4.8%) | 14. 江原町(3.7%) | 15. 大和町(3.7%) | 16. 若宮(3.8%) |
| 17. 白鷺(4.6%) | 18. 鷺宮(4.5%) | 19. 上鷺宮(4.3%) | 無回答(5.3%) |

《 丁目を記入してください》

() 丁目

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問3 家族構成について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 単身世帯(38.2%) | 2. 夫婦のみ世帯(21.5%) | → 問3 Cへ |
| 3. その他(39.2%) | → 問3 ABCへ | 無回答(1.1%) |

(問3で「3」と回答したの方に) <回答者数：662>

問3 A ご本人を含めて何人で暮らしていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 2人(37.5%) | 2. 3人(36.3%) | 3. 4人(14.2%) |
| 4. 5人(7.3%) | 5. 6人以上(3.0%) | 無回答(1.8%) |

問3 B 同居されている方はどなたですか。(複数選択可)

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------|
| 1. 子(85.2%) | 2. 子の配偶者(22.2%) | 3. 孫(19.0%) |
| 4. 兄弟・姉妹(4.4%) | 5. その他(10.3%) | 無回答(3.3%) |

(問3で「2」「3」と回答した方に) <回答者数：1,024>

問3 C 日中ひとりになることがありますか。(1つを選択)

- | | | | |
|----------------|-----------------|--------------|------------|
| 1. よくある(28.7%) | 2. たまにある(41.2%) | 3. ない(14.5%) | 無回答(15.6%) |
|----------------|-----------------|--------------|------------|

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問4 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 男性(35.2%) | 2. 女性(63.8%) | 無回答(1.0%) |
|--------------|--------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. 65歳未満(1.8%) | 2. 65～69歳(2.2%) | 3. 70～74歳(6.2%) | |
| 4. 75～79歳(12.7%) | 5. 80～84歳(21.6%) | 6. 85～89歳(27.8%) | |
| 7. 90～94歳(20.4%) | 8. 95～99歳(5.4%) | 9. 100歳以上(1.2%) | 無回答(0.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 要支援 1 (22.8%) | 2. 要支援 2 (21.9%) | 3. 要介護 1 (15.9%) |
| 4. 要介護 2 (15.4%) | 5. 要介護 3 (7.7%) | 6. 要介護 4 (6.8%) |
| 7. 要介護 5 (3.7%) | 8. わからない (2.3%) | 無回答 (3.6%) |

(問6で「5」「6」「7」と回答した方に) <回答者数：1,687>

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) (23.5%) | 2. 心臓病 (10.5%) |
| 3. がん (悪性新生物) (6.5%) | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎) (7.2%) |
| 5. 糖尿病 (8.2%) | 6. パーキンソン病 (5.2%) |
| 7. 関節の病気 (リウマチ等) (3.3%) | 8. 骨折・転倒 (26.5%) |
| 9. 視覚・聴覚障害 (2.3%) | 10. 認知症 (アルツハイマー病等) (26.1%) |
| 11. 脊椎損傷 (5.9%) | 12. 高齢による衰弱 (19.0%) |
| 13. その他 (19.0%) | 14. わからない (0.7%) |
| | 無回答 (1.0%) |

(問7以降は、記入日現在の状況を教えてください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。(1つを選択)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) (53.8%) |
| 2. 持ち家 (分譲マンションなどの集合住宅) (19.9%) |
| 3. 公営の賃貸住宅 (区営・都営住宅、公社など) (8.1%) |
| 4. 民営の賃貸住宅 (12.7%) |
| 5. 社宅・社員寮・公務員住宅 (0.2%) |
| 6. その他 (3.9%) |
| 無回答 (1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問7 A お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。（1つを選択）

1. はい(53.5%)

2. いいえ(44.8%)

無回答(1.7%)

(問7 Aで「1」と回答した方に) <回答者数：903>

問7 B お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか。（1つを選択）

1. はい(43.3%)

2. いいえ(54.9%)

無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問8 ご本人はどこで介護を受けたいと思っていますか。（1つを選択）

1. 自宅(67.0%)

2. 自宅近くのサービス付き高齢者住宅(5.4%)

3. 自宅近くの入所施設(8.9%)

4. 自宅から遠くても、出身地等、好きな土地の住宅や施設(1.7%)

5. その他(2.8%)

6. わからない(11.4%)

無回答(2.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問8 A 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居は検討していない(73.1%)

2. 入所・入居は検討している(17.7%)

3. すでに入所・入居申し込みをしている(4.6%)

無回答(4.5%)

(問8 Aで「2」「3」と回答した方に) <回答者数：377>

問8 B 施設等への入所・入居を検討した理由は何ですか。（複数選択可）

1. 介護する家族の心身の負担が大きい(63.4%)

2. 介護をする家族・親族がいない(17.8%)

3. 在宅に戻るための専門的なリハビリ等が必要となっている(6.1%)

4. 現在入院している病院を退院しなければならない(4.8%)

5. 認知症の症状があり、在宅での介護が難しい(27.6%)

6. 在宅サービスの利用による経済的な負担が大きい(8.0%)

7. 現在の住まいの機能上、在宅での介護が難しい(26.3%)

8. その他(9.8%)

無回答(3.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問9 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)(10.1%) | 2. 心疾患(心臓病)(16.7%) |
| 3. 悪性新生物(がん)(6.5%) | 4. 呼吸器疾患(8.1%) |
| 5. 腎疾患(透析)(2.7%) | |
| 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)(20.0%) | |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)(3.6%) | 8. 変形性関節疾患(11.6%) |
| 9. 認知症(20.0%) | 10. パーキンソン病(3.7%) |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)(2.7%) | 12. 糖尿病(13.8%) |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)(16.8%) | |
| 14. その他(16.5%) | 15. なし(6.6%) |
| 16. わからない(2.4%) | 無回答(4.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)(6.9%) | 2. 訪問入浴介護(4.7%) |
| 3. 訪問看護(6.0%) | 4. 訪問リハビリテーション(7.6%) |
| 5. 通所介護(デイサービス)(5.9%) | |
| 6. 通所リハビリテーション(デイケア)(6.8%) | |
| 7. 夜間対応型訪問介護※(22.6%) | |
| 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護※(25.3%) | |
| 9. 小規模多機能型居宅介護※(34.1%) | |
| 10. 看護小規模多機能型居宅介護※(36.2%) | |
| 11. ショートステイ(9.2%) | |
| 12. 居宅療養管理指導※(29.8%) | 無回答(43.5%) |

※7 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

※8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※9 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※10 看護小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

※12 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問11 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

1. 利用した(65.4%)

問12ABへ

2. 利用していない(32.9%)

問12Cへ

無回答(1.7%)

(問11で「1」と回答した方に) <回答者数：1,103>

問12A 以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない、0日)」を選択してください。(それぞれ1つを選択)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)						無回答
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
A 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	(18.5%)	(12.1%)	(8.1%)	(3.1%)	(1.8%)	(7.4%)	(49.0%)
B 訪問入浴介護	(27.1%)	(6.3%)	(5.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(0.5%)	(58.9%)
C 訪問看護	(20.5%)	(15.7%)	(5.7%)	(0.9%)	(1.5%)	(1.2%)	(54.5%)
D 訪問リハビリテーション	(20.9%)	(13.0%)	(8.6%)	(2.0%)	(1.2%)	(1.2%)	(53.2%)
E 通所介護 (デイサービス)	(16.9%)	(11.3%)	(14.5%)	(7.1%)	(3.9%)	(4.8%)	(41.5%)
F 通所リハビリテーション (デイケア)	(24.8%)	(10.2%)	(9.6%)	(1.5%)	(1.6%)	(0.8%)	(51.5%)
G やかんたいおうがたほうもんかいご 夜間対応型訪問介護 ※ (訪問のあった回数を回答)	(33.5%)	(0.2%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.5%)	(65.8%)

※G やかんたいおうがたほうもんかいご やかん 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

	利用の有無（それぞれ1つに○）		無回答
H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護※	1. 利用していない(57.2%)	2. 利用した(10.6%)	(32.2%)
I 小規模多機能型居宅介護※	1. 利用していない(60.3%)	2. 利用した(3.4%)	(36.4%)
J 看護小規模多機能型居宅介護※	1. 利用していない(60.4%)	2. 利用した(3.2%)	(36.4%)

※H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※I 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※J 看護小規模多機能型居宅介護：上記I. 小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

	1か月あたりの利用日数（1つに○）					無回答
	利用していない	つき1～7日 程度	つき8～14日 程度	つき15～21日 程度	つき22日 以上	
K ショートステイ	(61.1%)	(9.2%)	(1.5%)	(0.8%)	(0.6%)	(26.7%)

	1か月あたりの利用日数（1つに○）					無回答
	利用していない	つき1回 程度	つき2回 程度	つき3回 程度	つき4回 程度	
L 居宅療養管理指導※	(58.5%)	(4.0%)	(6.2%)	(0.2%)	(2.3%)	(28.9%)

※L 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

（問11で「1」と回答した方に）＜回答者数：1,103＞

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。（複数選択可）

1. 希望するサービスが利用できない(5.3%)	
2. 希望しないサービスがケアプランに含まれている(0.6%)	
3. 希望する事業者が利用できない(1.4%)	
4. サービスの利用回数や時間が少ない(8.4%)	
5. サービスの利用料金が安い(7.0%)	
6. 要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない(7.3%)	
7. 介護保険制度の導入以前は使えていたサービスが使えなくなった(0.2%)	
8. レンタル用品に利用したい物品がない(1.0%)	
9. ケアマネジャーから説明がない、もしくは説明がよくわからない(3.7%)	
10. その他(5.4%)	11. 不満な点はない(51.9%)
	無回答(22.1%)

(問11で「2」と回答した方に) <回答者数: 555>

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. まだ必要でない(37.3%) | 2. 家族の介護で間に合っている(17.8%) |
| 3. 医療サービスを受けているため(9.4%) | 4. 他人を家に入れたくない(6.8%) |
| 5. 利用したいサービスがない(3.2%) | 6. サービスの利用方法がわからない(7.4%) |
| 7. 他人に介護してもらいたくない(2.9%) | 8. 利用料の負担が大きい(4.9%) |
| 9. ケアマネジャーへの依頼方法がわからない(5.0%) | |
| 10. 利用したいサービスの日・時間帯などが合わない(1.8%) | |
| 11. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため(4.0%) | |
| 12. その他(11.7%) | 13. 特別な理由はない(6.1%) |
- 無回答(20.0%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,687>

問13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、
ご回答ください。(複数選択可)

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 配食(5.7%) | 2. 調理(2.6%) |
| 3. 掃除・洗濯(9.8%) | 4. 買い物(宅配は含まない)(6.6%) |
| 5. ゴミ出し(4.7%) | 6. 外出同行(通院、買い物など)(5.2%) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)(4.8%) | |
| 8. 見守り、声かけ(3.5%) | 9. サロンなどの定期的な通いの場(2.1%) |
| 10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(1.6%) | |
| 11. その他(3.6%) | 12. 利用していない(57.1%) |
- 無回答(14.6%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,687>

問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる
充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 配食(15.0%) | 2. 調理(10.0%) |
| 3. 掃除・洗濯(17.8%) | 4. 買い物(宅配は含まない)(14.3%) |
| 5. ゴミ出し(9.8%) | 6. 外出同行(通院、買い物など)(17.8%) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)(19.0%) | |
| 8. 見守り、声かけ(13.2%) | 9. サロンなどの定期的な通いの場(6.8%) |
| 10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(5.3%) | |
| 11. その他(3.3%) | 12. 特になし(34.7%) |
- 無回答(12.0%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問15 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------|
| 1. 利用している(22.8%) | 2. 利用していない(73.6%) | 無回答(3.6%) |
|------------------|-------------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問16 ご本人(調査対象者)は、現在、その他の訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 訪問歯科診療を利用している(5.8%) | 2. 訪問薬剤師を利用している(5.2%) |
| 3. 「1」と「2」の両方を利用している(1.4%) | |
| 4. 利用していない(81.9%) | 無回答(5.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問17 地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 相談したことがある(61.8%) | |
| 2. 地域包括支援センターを知っているが、相談したことはない(26.7%) | |
| 3. 地域包括支援センターを知らなかった(6.8%) | 無回答(4.6%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1. ない(37.5%) | → アンケートは終了です。 |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない(8.1%) | |
| 3. 週に1～2日ある(9.8%) | |
| 4. 週に3～4日ある(4.1%) | |
| 5. ほぼ毎日ある(34.1%) | |
- B票(次のページ)に進みください。
- 無回答(6.5%)

(A 票 問18で「2～5」を回答した方に) <回答者数：946>

B 票 主な介護者の方について、お伺いします

(問1から3は、令和7年10月1日時点の状況をお答えください。)

問1 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

- | | | |
|---------------|----------------|------------------------|
| 1. 配偶者(28.5%) | 2. 子(57.6%) | 3. 子の配偶者(5.4%) |
| 4. 孫(1.2%) | 5. 兄弟・姉妹(3.3%) | 6. その他(2.9%) 無回答(1.2%) |

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 男性(27.7%) | 2. 女性(70.6%) | 無回答(1.7%) |
|--------------|--------------|-----------|

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 20歳未満(0.0%) | 2. 20代(0.5%) | 3. 30代(1.4%) |
| 4. 40代(5.4%) | 5. 50代(28.0%) | 6. 60代(29.1%) |
| 7. 70代(18.2%) | 8. 80歳以上(16.4%) | 9. わからない(0.2%) 無回答(0.8%) |

(問4以降は、記入日時点の状況をお答えください。)

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(8.4%) |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)(0.4%) |
| 3. 主な介護者が転職した(2.3%) |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した(0.3%) |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない(71.0%) |
| 6. わからない(4.2%) 無回答(13.5%) |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

《身体介護》

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 日中の排泄(15.3%) | 2. 夜間の排泄(13.0%) |
| 3. 食事の介助(食べる時)(14.9%) | 4. 入浴・洗身(20.0%) |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)(20.9%) | 6. 衣服の着脱(23.9%) |
| 7. 屋内の移乗・移動(15.2%) | 8. 外出の付き添い、送迎等(59.5%) |
| 9. 服薬(44.7%) | 10. 認知症状への対応(25.5%) |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)(8.9%) | |

《生活援助》

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)(66.1%) | 13. その他の家事(77.7%) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(66.9%) | (掃除、洗濯、買い物等) |

《その他》

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------|
| 15. その他(7.0%) | 16. わからない(0.3%) | 無回答(3.0%) |
|---------------|-----------------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

《身体介護》

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 日中の排泄(21.5%) | 2. 夜間の排泄(25.4%) |
| 3. 食事の介助(食べる時)(8.1%) | 4. 入浴・洗身(22.3%) |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)(7.2%) | 6. 衣服の着脱(7.1%) |
| 7. 屋内の移乗・移動(11.6%) | 8. 外出の付き添い、送迎等(27.2%) |
| 9. 服薬(11.9%) | 10. 認知症状への対応(32.7%) |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)(7.6%) | |

《生活援助》

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)(22.8%) | 13. その他の家事(24.0%) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(20.7%) | (掃除、洗濯、買い物等) |

《その他》

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 15. その他(7.8%) | 16. 不安に感じていることは、特にない(14.1%) |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない(2.1%) | 無回答(6.1%) |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている(25.6%)

2. パートタイムで働いている(22.1%)

3. 働いていない(45.2%)

4. 主な介護者に確認しないと、わからない(1.5%)

問8～問10へ

アンケートは終了です。

無回答(5.6%)

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：451>

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていすか。(複数選択可)

1. 特に行っていない(30.2%)

2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている(37.7%)

3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている(20.6%)

4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている(14.2%)

5. 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている(15.3%)

6. 主な介護者に確認しないと、わからない(1.8%)

無回答(2.9%)

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：451>

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない(10.9%)

2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実(27.1%)

3. 制度を利用しやすい職場づくり(22.4%)

4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)(27.7%)

5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)(16.4%)

6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供(8.6%)

7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置(8.2%)

8. 介護をしている従業員への経済的な支援(20.6%)

9. その他(2.0%)

10. 特にない(18.8%)

11. 主な介護者に確認しないと、わからない(6.0%)

無回答(6.7%)

(B 票 問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：451>

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける(20.4%)
2. 問題はあるが、何とか続けていける(51.2%)
3. 続けていくのは、やや難しい(12.4%)
4. 続けていくのは、かなり難しい(6.0%)
5. 主な介護者に確認しないと、わからない(4.4%)

無回答(5.5%)

ご協力ありがとうございました

3. ケアマネジャー調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度（2025年度）
 こう れ い ふ く し か い ご ほ け ん い こ う ち ょ う さ
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
 ち ょ う さ
《ケアマネジャー調査》

ち ょ う さ き に ゆ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
2. 令和7年10月1日現在の状況でお答えください。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
7. 回答方法

ゆうそう かいとう
【郵送による回答】

ほんちょうきひょう どうふう へんしんようふうとう きってふよう い ゆうそう
 本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

かいとう
【インターネットによる回答】

みぎ にじげん よ と かいとうよう にゅうりよく
 右の二次元コードを読み取るか、回答用URLを入力して、
 さいしよ がめん にゅうりよく
 最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインして
 ください。

※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

※回答用URL: <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanocam.php>

かいとうきげん ゆうそう きょうつう
【回答期限（郵送・インターネット共通）】

れ い わ ね ん ね ん が つ に ち き ん よ う び
令和7年（2025年）12月5日（金曜日）

8. 調査報告書は、令和8年7月から図書館、区ホームページ
 などでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記まで
 といあわ
 お問い合わせください。

な か の く ち い き さ さ す い し ん が か い ご ほ け ん か か ん り が か り
中野区 地域支援あい推進部 介護保険課 管理係
 TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-5620
 E-mail kaigohoken@city.tokyo-nakano.lg.jp

《基本的事項について》

(全員の^{ぜんいん}に^{かた}) <回答者数：141>

問1 あなたの所属する事業所の所在地は次のどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. 中野区(83.7%) | 2. 中野区以外(6.4%) | 無回答(9.9%) |
|---------------|----------------|-----------|

(全員の^{ぜんいん}に^{かた}) <回答者数：141>

問2 あなたの所属する事業所はどのような介護サービス等を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

《居宅サービス》

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 訪問介護(53.9%) | 2. 訪問入浴介護(2.8%) |
| 3. 訪問看護(22.0%) | 4. 訪問リハビリテーション(9.2%) |
| 5. 居宅療養管理指導(5.7%) | 6. 福祉用具(貸与)(7.8%) |
| 7. 特定福祉用具(販売)(5.7%) | 8. 住宅改修(5.7%) |
| 9. 通所介護(小規模通所含む)(24.8%) | 10. 通所リハビリテーション(8.5%) |
| 11. 短期入所生活介護(17.0%) | 12. 短期入所療養介護(3.5%) |
| 13. 特定施設入居者生活介護(2.8%) | |

《介護予防サービス》

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 14. 予防訪問サービス(旧予防訪問介護)(25.5%) | 15. 予防訪問入浴介護(0.7%) |
| 16. 予防訪問看護(14.2%) | 17. 予防訪問リハビリテーション(7.1%) |
| 18. 予防居宅療養管理指導(4.3%) | 19. 予防福祉用具(貸与)(6.4%) |
| 20. 予防特定福祉用具(販売)(4.3%) | 21. 予防通所サービス(旧予防通所介護)(9.9%) |
| 22. 予防通所リハビリテーション(4.3%) | 23. 予防短期入所生活介護(10.6%) |
| 24. 予防短期入所療養介護(1.4%) | 25. 予防特定施設入居者生活介護(0.7%) |
| 26. 生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)(2.1%) | |
| 27. 活動援助サービス(緩和基準通所サービス)(0.0%) | |

《施設サービス》

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 28. 介護老人福祉施設(16.3%) | 29. 介護老人保健施設(2.8%) |
| 30. 介護医療院(介護療養型医療施設)(1.4%) | |

《地域密着型サービス(小規模通所除く)》

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 31. 夜間対応型訪問介護(0.7%) | 32. 小規模多機能型居宅介護(5.0%) |
| 33. 認知症対応型通所介護(9.9%) | 34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(1.4%) |
| 35. 看護小規模多機能型居宅介護(0.0%) | 36. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(0.7%) |

《介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 37. 予防小規模多機能型居宅介護(2.1%) | 38. 予防認知症対応型通所介護(0.7%) |
| 39. 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(0.0%) | |

《その他のサービス》

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 40. 病院・診療所(8.5%) | 41. 薬局(2.8%) |
| 42. 都市型軽費老人ホーム(4.3%) | 43. その他のサービス(9.2%) |
| 44. 併設事業なし(5.7%) | 無回答(12.1%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問3 あなたの年代を次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 20歳未満(0.0%) | 2. 20歳～24歳(0.0%) | 3. 25歳～29歳(0.0%) |
| 4. 30歳～34歳(0.7%) | 5. 35歳～39歳(2.8%) | 6. 40歳～44歳(5.7%) |
| 7. 45歳～49歳(12.8%) | 8. 50歳～54歳(17.7%) | 9. 55歳～59歳(19.1%) |
| 10. 60歳～64歳(18.4%) | 11. 65歳～69歳(14.2%) | 12. 70歳～74歳(4.3%) |
| 13. 75歳以上(4.3%) | 無回答(0.0%) | |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問4 あなたの現在の勤務体系を次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 常勤で専従(71.6%) | 2. 常勤で兼務(16.3%) |
| 3. 非常勤(11.3%) | 無回答(0.7%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問5 あなたはケアマネジャーとして、何年間従事していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1年未満(2.1%) | 2. 1年以上3年未満(8.5%) |
| 3. 3年以上5年未満(4.3%) | 4. 5年以上(85.1%) |
| 無回答(0.0%) | |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問6 あなたのケアマネジャー受験資格と当該職種に従事期間を教えてください。

(1) 受験資格 (○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 社会福祉士(8.5%) | 2. 薬剤師(0.0%) |
| 3. 介護福祉士(74.5%) | 4. 理学療法士・作業療法士(1.4%) |
| 5. 看護師・保健師(5.0%) | 6. ホームヘルパー(6.4%) |
| 7. 医師・歯科医師(0.0%) | 8. その他(4.3%) |
| 無回答(0.0%) | |

(2) 従事期間(ケアマネジャーになる前の従事期間で複数の受験資格を持つ場合は通算してください) (○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 5年未満(8.5%) | 2. 5年以上10年未満(39.7%) |
| 3. 10年以上15年(16.3%) | 4. 15年以上20年未満(18.4%) |
| 5. 20年以上(15.6%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問7 過去3年間で、所属事業所を変った回数は何回ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 0回(63.1%) | 2. 1回(22.0%) | 3. 2回(7.8%) |
| 4. 3回(3.5%) | 5. 4回(1.4%) | 6. 5回以上(2.1%) |
| 無回答(0.0%) | | |

《ケアプラン・介護予防について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問8 あなたの^{きゅうふかんりけんすう}給付管理件数は何件ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. 10件以下(5.0%) | 2. 11件～20件(8.5%) | 3. 21件～30件(16.3%) |
| 4. 31件～40件(48.2%) | 5. 41件～50件(18.4%) | 6. 51件以上(2.1%) 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問9 作成する^{きょたく}居宅サービス計画の件数について、次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. もっと増やしたい(12.8%) | 2. もっと減らしたい(27.7%) |
| 3. 現在の件数で十分(57.4%) | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問10 あなたは現在、何件の^{かいごよぼう}介護予防サービス計画の受託または作成をしていますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|-----------|
| 1. 0件(9.2%) | 2. 1件～8件(61.0%) | 3. 9件以上(28.4%) | 無回答(1.4%) |
|-------------|-----------------|----------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：141>

問11 受託または作成する^{かいごよぼう}介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. もっと増やしたい(0.7%) | 2. もっと減らしたい(56.7%) |
| 3. 現在の件数で十分(41.1%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問12 ^{かいごほけんせいど}介護保険制度は^{ようかいごしやとう}要介護者等の^{じりつしえん}自立支援を目的の一つとしていますが、^{げんこう}現行の^{かいご}介護サービスはその^{やくわり}役割を^{じゅうぶん}十分果たしていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 十分果たしている(2.8%) | 2. ある程度果たしている(68.8%) |
| 3. 果たしているとは言いがたい(17.0%) | |
| 4. わからない(7.1%) | |
| 5. 1～4以外の意見(2.8%) | 無回答(1.4%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数: 141>

問13 ^{ちいき}地域の^{じしゅ}自主グループをどのくらい^し知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|-----------|
| 1. 0 (11.3%) | 2. 1～5 (63.1%) | 無回答(4.3%) |
| 3. 6～10 (14.2%) | 4. 11以上 ^{いじょう} (7.1%) | |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数: 141>

問14 ケアプランに^{かいごほけんがい}介護保険外のボランティアや^{ちいきかつどうとう}地域活動等の^{ちいきしげん}地域資源を^も盛り込んでいますか。
(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(87.2%) | 2. いいえ(11.3%) | 無回答(1.4%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問14で「1. はい」と回答した^{かた}の方に) <回答者数: 123>

問14A ^{ぐたいてき}具体的にケアプランに^も盛り込んでいる^{ちいきしげん}地域資源はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. ほほえみサービス(68.3%) | 2. ^{ちいきふくしけんりようごじぎょう} 地域福祉権利擁護事業(48.0%) |
| 3. ^{じんざい} シルバー人材センターのサービス(23.6%) | 4. ^{みんかん はいしょく} 民間の配食サービス(93.5%) |
| 5. ^{みんかん かじえんじょ} 民間の家事援助サービス(17.9%) | 6. ^{こうれいしやかいかんとう} 高齢者会館等の事業(31.7%) |
| 7. まちなかサロン・その他 ^{たかよ} 通いの場 ^ば (29.3%) | 8. その他 ^た (10.6%) 無回答(0.0%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問15 ケアプランに^{ちいきしげん}地域資源を^も盛り込む上での^{うえ}課題は^{かだい}何だ^{なん}と思いますか。^{おも}ご自由^{じゆう}にお書き^かください。

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数：141>

問16 ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス^{さくせい} 供^{さい} 給^{なかのくない} が不足しているため、利用者^{きようきゆう} に^{ふそく} 提供^{りようしゃ} できない(しにくい)サービスは何^{なん}ですか。(あてはまるものすべてに○)

《^{きやたく}居宅サービス》

- | | |
|--|---|
| 1. ^{ほうもんかいご} 訪問介護(29.1%) | 2. ^{ほうもんにゆうよくかいご} 訪問入浴介護(14.2%) |
| 3. ^{ほうもんかんご} 訪問看護(0.7%) | 4. ^{ほうもん} 訪問リハビリテーション(9.2%) |
| 5. ^{きやたくりようようかんりしどう} 居宅療養管理指導(0.7%) | 6. ^{ふくしょうぐ} 福祉用具(貸与)(0.7%) |
| 7. ^{とくていふくしょうぐ} 特定福祉用具(販売)(0.7%) | 8. ^{じゅうたくかいしゅう} 住宅改修(0.7%) |
| 9. ^{つうしょかいご} 通所介護(小規模通所含む)(12.8%) | 10. ^{つうしょ} 通所リハビリテーション(32.6%) |
| 11. ^{たんきにゆうしよせいかつかいご} 短期入所生活介護(18.4%) | 12. ^{たんきにゆうしよりようようかいご} 短期入所療養介護(20.6%) |
| 13. ^{とくていしせつにゆうきよしやせいかつかいご} 特定施設入居者生活介護(2.8%) | |

《^{かいごよぼう}介護予防サービス》

- | | |
|--|---|
| 14. ^{よぼうほうもん} 予防訪問サービス(旧 ^{きゅうよぼうほうもんかいご} 予防訪問介護)(25.5%) | 15. ^{よぼうほうもんにゆうよくかいご} 予防訪問入浴介護(6.4%) |
| 16. ^{よぼうほうもんかんご} 予防訪問看護(2.8%) | 17. ^{よぼうほうもん} 予防訪問リハビリテーション(8.5%) |
| 18. ^{よぼうきやたくりようようかんりしどう} 予防居宅療養管理指導(0.7%) | 19. ^{よぼうふくしょうぐ} 予防福祉用具(貸与)(0.7%) |
| 20. ^{よぼうとくていふくしょうぐ} 予防特定福祉用具(販売)(0.7%) | 21. ^{よぼうつうしょ} 予防通所サービス(旧 ^{きゅうよぼうつうしょかいご} 予防通所介護)(12.8%) |
| 22. ^{よぼうつうしょ} 予防通所リハビリテーション(12.1%) | 23. ^{よぼうたんきにゆうしよせいかつかいご} 予防短期入所生活介護(4.3%) |
| 24. ^{よぼうたんきにゆうしよりようようかいご} 予防短期入所療養介護(2.8%) | 25. ^{よぼうとくていしせつにゆうきよしやせいかつかいご} 予防特定施設入居者生活介護(1.4%) |
| 26. ^{せいかつえんじょ} 生活援助サービス(緩和基準 ^{かんわきじゆんほうもん} 訪問サービス)(9.9%) | |
| 27. ^{かつどうえんじょ} 活動援助サービス(緩和基準 ^{かんわきじゆんつうしょ} 通所サービス)(9.2%) | |

《^{しせつ}施設サービス》

- | | |
|--|--|
| 28. ^{かいごろうじんふくししせつ} 介護老人福祉施設(12.8%) | 29. ^{かいごろうじんほけんしせつ} 介護老人保健施設(35.5%) |
| 30. ^{かいごいりょういん} 介護医療院(介護療養型 ^{かいごりようがたいりょうしせつ} 医療施設)(14.9%) | |

《^{ちいきみつちやくがた}地域密着型サービス(小規模^{しょうきぼつうしよのぞ}通所除く)》

- | | |
|---|---|
| 31. ^{やかんたいおうがたほうもんかいご} 夜間対応型訪問介護(22.7%) | 32. ^{しょうきぼたきのうがたきやたくかいご} 小規模多機能型居宅介護(7.8%) |
| 33. ^{にんちしょうたいおうがたつうしょかいご} 認知症対応型通所介護(14.2%) | 34. ^{にんちしょうたいおうがたきょうどうせいかつかいご} 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(3.5%) |
| 35. ^{かんごしょうきぼたきのうがたきやたくかいご} 看護小規模多機能型居宅介護(14.9%) | 36. ^{ていきじゆんかい} 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24.1%) |

《^{かいごよぼうちいきみつちやくがた}介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|--|--|
| 37. ^{よぼうしょうきぼたきのうがたきやたくかいご} 予防小規模多機能型居宅介護(4.3%) | 38. ^{よぼうにんちしょうたいおうがたつうしょかいご} 予防認知症対応型通所介護(2.8%) |
| 39. ^{よぼうにんちしょうたいおうがたきょうどうせいかつかいご} 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(5.7%) | |

《^たその他のサービス》

- | | |
|--|---|
| 40. ^{びょういん} 病院・診療所(0.7%) | 41. ^{やつきよく} 薬局(1.4%) |
| 42. ^{としがたけいひろうじん} 都市型軽費老人ホーム(22.0%) | 43. ^た その他のサービス(9.2%) 無回答(7.1%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問17 供給不足以外に必要なサービスが提供(調整)出来ないのはどのような場合ですか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 心身の状況(9.9%) | 2. 経済的事情により費用負担が困難(46.8%) |
| 3. 支給限度額を超える(14.9%) | 4. 介護保険制度の給付では対応できない(21.3%) |
| 5. その他(4.3%) | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問18 介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 十分につながっている(14.2%) | 2. ある程度つながっている(77.3%) |
| 3. あまりつながっていない(7.1%) | 4. 全くつながっていない(0.0%) |
| 5. わからない(0.0%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問19 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|---------------|----------------|
| 1. 配食サービス(70.9%) | 2. 買い物(75.9%) | 3. 通院(74.5%) |
| 4. 掃除(56.0%) | 5. 洗濯(53.9%) | 6. ゴミ出し(68.8%) |
| 7. 安否確認(70.9%) | 8. 入浴(57.4%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問20 生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 町内会・自治会等の活動(29.1%) | 2. ボランティア活動(24.8%) |
| 3. 運動スポーツ関係の活動(27.7%) | 4. 趣味関係の活動(78.7%) |
| 5. 家族や友人とのコミュニケーション(73.8%) | 6. その他(9.2%) |
| | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に)

問21 ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

(全員のの方に) <回答者数：141>

問22 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 話し相手(77.3%) | 2. 認知症高齢者の見守り(78.0%) |
| 3. 散歩の付き添い(52.5%) | 4. 電球の交換や家具等の簡易な修理(58.2%) |
| 5. 日常生活以外の特別な買い物(44.0%) | 6. 大掃除の手伝い(30.5%) |
| 7. ペットの世話(33.3%) | 8. 緊急時の連絡(52.5%) |
| 9. 庭の手入れや趣味の手伝い(40.4%) | 10. おかずの差し入れなど(27.7%) |
| 11. 配食サービス(25.5%) | 12. その他(4.3%) |
| | 無回答(3.5%) |

《連携について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問23 地域包括支援センターとの連携は取れていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 十分連携が取れている(27.0%) | 2. ある程度連携が取れている(58.9%) |
| 3. うまく連携が取れていない(4.3%) | 4. どちらともいえない(7.1%) |
| | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問24 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. ある(68.1%) | 2. ない(5.0%) |
| 3. どちらともいえない(22.0%) | 4. わからない(2.1%) |
| | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問25 主治医(かかりつけ医)との連携は取れていますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 十分連携が取れている(50.4%) |
| 2. 主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない(24.8%) |
| 3. 複数の医療機関にかかっており、主治医を特定できない(5.7%) |
| 4. 主治医といえるようなかかりつけの医師がいない(0.0%) |
| 5. その他(14.9%) |
| 無回答(4.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問26 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|----------------|------------|
| 1. 訪問診療する医師(17.7%) | 2. 訪問看護師(7.1%) | |
| 3. 訪問歯科診療(5.0%) | 4. 訪問薬剤師(7.8%) | |
| 5. 訪問リハビリ(24.8%) | 6. その他(31.2%) | 無回答(24.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問27 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------------------|------------------------|-----------|
| 1. 連携が取れている(6.4%) | 2. ある程度連携が取れている(32.6%) | |
| 3. うまく連携が取れていない(25.5%) | 4. どちらともいえない(18.4%) | |
| 5. 障害者施策を利用できる利用者はいない(11.3%) | 6. その他(2.1%) | 無回答(3.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問28 サービス担当者会議を開催する上での問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. 関係者が忙しくてなかなか時間がとれない(69.5%) | |
| 2. 関係機関・主治医からの情報が得られない(22.0%) | |
| 3. 関係者に理解がなく、出席が得られない(5.7%) | |
| 4. 会議をどのように運営してよいかわからない(2.8%) | |
| 5. 適当な会場がない(5.7%) | 6. その他(17.7%) |
| | 無回答(7.1%) |

《困難な事例への対応について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問29 ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. 身寄りがいない(78.0%) | 2. キーパーソンがいない(61.7%) |
| 3. 家族が協力的でない(61.7%) | 4. 認知症のため自分で判断できない(39.0%) |
| 5. 要介護者と家族の考えが異なる(64.5%) | |
| 6. 要介護者や家族から提案したケアプランに同意が得られない(9.9%) | |
| 7. 費用負担の面で、適切なケアプランが作成できない(45.4%) | |
| 8. 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない(45.4%) | |
| 9. その他(9.9%) | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問30 あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 十分対応できている(13.5%) | 2. ある程度対応できている(68.1%) |
| 3. 十分対応できないこともある(14.2%) | 4. その他(2.1%) 無回答(2.1%) |

【3に○をつけた方に】対応できない具体的な内容をあげてください。

()

(全員のの方に) <回答者数：141>

問31 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 同僚や上司(75.9%) | 2. 主任ケアマネジャー(22.7%) |
| 3. 地域包括支援センター(68.8%) | 4. すこやか福祉センター(保健師)(4.3%) |
| 5. 主治医(26.2%) | 6. 東京都のケアマネジャー相談窓口(0.0%) |
| 7. 区役所(すこやか福祉センターを除く)の担当窓口(11.3%) | |
| 8. その他(9.2%) | |
| 9. 相談するところがない(1.4%) | 無回答(5.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問32 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 0件(9.9%) | 2. 1件～9件(79.4%) |
| 3. 10件～19件(5.0%) | 4. 20件以上(4.3%) 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問33 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 地域包括支援センターとの連携(69.5%) | |
| 2. すこやか福祉センター(保健師)との連携(29.1%) | |
| 3. 緊急一時保護の充実(66.0%) | 4. 虐待防止ネットワークの充実(18.4%) |
| 5. 虐待対応マニュアルの周知(21.3%) | 6. 具体的な対応や支援の方法等の研修(32.6%) |
| 7. 区民・関係機関・団体等への周知・啓発(22.0%) | |
| 8. その他(5.0%) | 無回答(2.8%) |

《介護予防について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問34 区が介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 転倒予防教室 (56.0%) | 2. 口腔ケア教室 (27.0%) |
| 3. 腰痛・膝痛予防体操教室 (31.2%) | 4. 骨盤底筋力向上教室 (10.6%) |
| 5. 栄養改善教室 (36.9%) | |
| 6. 高齢者会館での健康づくり・生きがいづくり事業 (56.7%) | |
| 7. 介護予防講演会 (5.7%) | |
| 8. 認知症予防教室 (31.9%) | |
| 9. その他 (7.8%) | 無回答 (3.5%) |

《成年後見制度について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問35 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 0名 (29.1%) | 2. 1名 (23.4%) | 3. 2名 (21.3%) |
| 4. 3名 (12.8%) | 5. 4名 (4.3%) | 6. 5名以上 (7.1%) |
| 無回答 (2.1%) | | |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問36 成年後見制度を活用する上での課題は何だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 課題はない (9.2%) | 2. 制度がわかりにくい (30.5%) |
| 3. 制度が使いにくい (33.3%) | 4. その他 (24.8%) |
| 無回答 (2.1%) | |

《認知症に関する課題について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問37 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(○は1つ)

1. すすすめたことがある(61.7%)
2. すすすめたことはないが、開催していることは知っている(29.8%)
3. 開催していることを知らなかった(5.7%)

無回答(2.8%)

↓
【3に○をつけた方に】広く周知されるには、どのような方法が必要だと思えますか。
()

(全員のの方に) <回答者数：141>

問38 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。
(○は主なもの3つまで)

1. 地域における認知症に関する理解の促進(41.1%)
2. 地域での見守りネットワークの整備(60.3%)
3. 家族への悩みの相談等の支援(55.3%)
4. 家族会開催への支援(17.7%)
5. 認知症ケアに関する介護スタッフの研修の充実(12.1%)
6. 認知症の早期発見・診断のための相談の場の充実(32.6%)
7. 認知症に関する専門医や専門家の支援・養成(14.2%)
8. 成年後見など権利擁護事業の充実(22.0%)
9. 認知症対応型通所介護(介護予防含む)や認知症対応型共同生活介護
(グループホーム)等サービス基盤の充実(15.6%)
10. その他(5.7%)

無回答(2.8%)

《人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について》

※人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、要介護者等の将来の変化に備えて、これまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、要介護者等および家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合い、要介護者等の決定をサポートするプロセスです。平成30年度、厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。

（全員の方向に）＜回答者数：141＞

問39 あなたはこれまでに見たり聞いたりして、「人生会議（ACP）」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

- | | |
|--|-----------|
| 1. 人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた(87.9%) | |
| 2. 人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった(5.7%) | |
| 3. 知らなかった(5.0%) | 無回答(1.4%) |

（問39において「1」「2」に○をつけた方に）＜回答者数：132＞

問40 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験がありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 支援したことがある(47.7%) | |
| 2. 必要なケースがいたが、支援していない(15.2%) | |
| 3. 必要なケースがおらず、支援していない(27.3%) | |
| 4. 人生会議（ACP）について知識がなく、支援していない(4.5%) | 無回答(5.3%) |

（問39において「1」「2」に○をつけた方に）＜回答者数：132＞

問41 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|--------------|
| 1. 本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している(65.2%) | |
| 2. 支援者の人生会議（ACP）についての理解が不足している(25.0%) | |
| 3. 主治医の人生会議（ACP）についての理解が不足している(11.4%) | |
| 4. 支援経過の中で人生会議（ACP）を行うタイミングをつかめない(45.5%) | |
| 5. 人生会議（ACP）を行うための本人や家族との信頼関係を作れない(11.4%) | |
| 6. 業務が多忙なため人生会議（ACP）の開催に注力できない(35.6%) | |
| 7. 人生会議（ACP）を行うための出席者（本人、家族、支援者）の調整が煩雑である(28.0%) | |
| 8. 特にない(2.3%) | 9. その他(7.6%) |
| | 無回答(2.3%) |

《その他》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問42 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活を続けることができるとおもいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護等介護サービスの充実(49.6%)
 2. 24時間の緊急時に即応できる体制の整備(68.8%)
 3. 区内での短期入所生活介護施設の充実(32.6%)
 4. 高齢者見守りネットワークの整備(49.6%)
 5. 住宅改修の対象拡大(5.0%)
 6. 高齢者用住宅の増加(36.9%)
 7. 在宅医療(往診体制)の充実(15.6%)
 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実(30.5%)
 9. 小規模多機能型居宅介護等の充実(12.8%)
 10. その他(8.5%)
- 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：141>

問43 業務遂行上、困っていることはどのようなことですか。(○は主なもの3つまで)

1. 担当件数が多い(24.8%)
 2. 担当する利用者の地域範囲が広い(5.0%)
 3. 困難なケースへの対応(44.7%)
 4. 苦情への対応(11.3%)
 5. 相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない(7.1%)
 6. 事業所内のミーティングの時間がとりにくい(3.5%)
 7. サービス担当者会議がなかなか開けない(2.8%)
 8. 制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる(27.7%)
 9. 地域の医療や介護サービスについての情報が得られない(4.3%)
 10. ケアマネジャー業務の範囲が明確でない(54.6%)
 11. 文書の作成等事務処理に追われる(68.1%)
 12. 規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない(15.6%)
 13. 特に困っていることはない(2.8%)
 14. その他(7.1%)
- 無回答(1.4%)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：141>

問44 小規模^{しょうきぼ}多機能^{たきんごう}型^{がた}居宅^{いきたく}介護^{かいご}サービスの活用^{かつよう}しづらさはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------|
| 1. ケアマネジャーを切り替 ^き えなければならない(53.2%) | |
| 2. サービスの知 ^ち 名 ^{めい} 度 ^ど が低 ^{ひく} い(27.0%) | |
| 3. 利用 ^{りよう} できる施 ^し 設 ^{せつ} が足 ^た りない(33.3%) | |
| 4. パッケージサービスとなるため利用 ^{りよう} に不 ^ふ 安 ^{あん} がある(33.3%) | |
| 5. 利用 ^{りよう} を希 ^き 望 ^{ぼう} する方 ^{かた} が少 ^{すく} ない(40.4%) | |
| 6. その他 ^た (12.8%) | 無回答(4.3%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた})

問45 介護^{かいご}保^ほ険^{けん}制^{せい}度^どに關^{かん}してご意^い見^{けん}等^{とう}ありましたら、ご自^じ由^{ゆう}にお書^かきください。

ご協^{きょう}力^{りよく}ありがとうございました

令和7年度（2025年度）
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
報告書

発行日／令和8年（2026年）3月

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係
中野区地域支えあい推進部 介護保険課 管理係
〒164-8501

東京都中野区中野 4-11-19

電話 03-3228-5629（直通）

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1 富澤ビル7F

電話 03-3357-7181（代表）

令和7年度（2025年度）
障害福祉サービス意向調査
報 告 書

令和8年（2026年）3月
中 野 区

は じ め に

本調査は、令和6年3月に策定した中野区障害者計画、第7期中野区障害福祉計画及び第3期中野区障害児福祉計画が改定時期を迎え、令和8年度に次期計画を策定するにあたり、障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向等を把握するために実施したものです。

この調査結果は計画改定の基礎資料として、また、区の障害福祉施策を改善・充実させるための検討材料として活用させていただきます。

ここに、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和8年（2026年）3月
中野区健康福祉部

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 報告書を読む際の留意点.....	4

II 調査結果の分析

障害者調査

1. 調査回答者の属性.....	9
1.1. アンケートの回答者.....	9
1.2. 性別	9
1.3. 年齢	10
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	11
1.5. 愛の手帳の度数.....	11
1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級.....	11
1.7. 障害支援区分認定.....	12
1.8. 要支援・要介護認定.....	13
1.9. 家族構成	13
1.10. 所持手帳別アンケート回答者.....	14
1.11. 所持手帳別年齢.....	15
2. 住まいについて	16
2.1. 住居形態	16
2.2. 住宅で困っていることの有無.....	18
2.2.1. 住宅で困っていること.....	19
2.3. 将来、生活したいところ.....	21
2.4. 災害への不安の有無.....	23
2.4.1. 災害に関して不安を感じていること.....	24
2.5. 防災訓練への参加の有無.....	26
2.6. 参加したい防災訓練.....	27
2.7. 災害時個別避難計画書の共有の仕組みの認知状況.....	28
3. 日常生活の介助や支援について.....	29
3.1. 日常生活での介助の必要性の有無.....	29
3.1.1. 日常生活で介助を必要とすること.....	30

3. 1. 2. 主な介助者.....	32
3. 1. 3. 主な介助者を除く日常的な介助者.....	34
3. 2. 主な介助者が介助困難になった場合の対処.....	35
3. 3. 平日の日中の過ごし方.....	37
4. 外出状況について.....	39
4. 1. 外出の頻度	39
4. 2. 外出の主な目的.....	41
4. 3. 外出する上での妨げの有無.....	43
4. 3. 1. 外出する上で妨げになっていること.....	44
4. 4. 外出の際の主な交通手段.....	46
5. 働くことについて.....	48
5. 1. 就労による定期的な収入の有無.....	48
5. 1. 1. 現在の就労形態.....	50
5. 1. 2. 仕事を見つけた方法.....	52
5. 1. 3. 仕事や職場への不安や不満の有無.....	54
5. 1. 3. 1. 仕事や職場への不安や不満.....	57
5. 2. 希望する働き方.....	60
5. 3. 障害者が働くための環境整備.....	63
6. 健康福祉サービスについて.....	65
6. 1. 相談サービスの利用有無.....	65
6. 1. 1. 利用した相談サービス.....	66
6. 1. 2. 相談サービスの満足度.....	68
6. 1. 2. 1. 相談サービスの満足の理由.....	69
6. 1. 2. 2. 相談サービスの不満の理由.....	71
6. 2. 障害福祉サービス.....	73
6. 2. 1. 障害福祉サービスの利用状況.....	73
6. 2. 2. 障害福祉サービスの利用意向.....	75
6. 2. 3. サービス等利用計画について不満に思うこと.....	77
6. 2. 4. 障害福祉サービスを利用していない理由.....	79
6. 3. 障害福祉に関する情報入手元.....	81
6. 4. 障害者に対する理解.....	83
6. 5. ヘルプマークの認知度.....	85
6. 6. 充実して欲しい施策.....	87
6. 7. 障害者差別解消法の認知度.....	89
6. 8. 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと.....	90
6. 9. 障害への配慮で特に嬉しいと感じたこと.....	92

7. 自由回答	95
7.1. 日常生活で困っていること.....	95
7.2. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	98
施設入所者調査	
1. 調査回答者の属性.....	103
1.1. アンケートの回答者.....	103
1.2. 性別	103
1.3. 年齢	103
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	104
1.5. 愛の手帳の度数.....	104
1.6. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）	104
1.7. 障害支援区分.....	105
1.8. 入所施設の種類.....	105
2. 入所について	106
2.1. 入所年数	106
2.2. 入所理由	107
2.3. 施設の場所	108
3. 今後の生活について.....	109
3.1. 生活したい場所.....	109
3.1.1. 施設退所後の生活.....	111
3.1.2. 施設退所後に住みたい場所.....	113
4. 自由回答	115
4.1. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	115
発達支援等調査	
1. 調査回答者の属性.....	119
1.1. アンケートの回答者.....	119
1.2. 性別	119
1.3. 年齢	119
1.4. 家族構成（複数回答）	119
1.5. 兄弟姉妹の人数.....	120
1.6. 子どもの在籍.....	120
1.7. 子どもの発育や発達が気になった時期.....	120
1.8. 身体障害者手帳の等級.....	121
1.9. 愛の手帳の度数.....	121
1.10. 精神障害者保健福祉手帳の等級.....	121
1.11. 所持手帳別年齢.....	121

2. 療育相談について.....	122
2.1. 療育相談の利用状況.....	122
2.1.1. 療育相談の満足度.....	124
2.1.2. 療育相談に満足した理由.....	126
2.1.3. 療育相談に満足しなかった理由.....	127
3. 福祉サービス等について.....	128
3.1. サービス等の利用状況.....	128
3.1.1. これまで利用できなかったサービス等の有無.....	131
3.1.2. 利用できなかったサービス等.....	132
3.2. サービス等利用計画の作成状況.....	134
3.2.1. サービス等利用計画作成についての意見・要望.....	136
4. 児童福祉法のサービスについて.....	137
4.1. 児童発達支援の利用状況.....	137
4.1.1. 利用している児童発達支援事業所数.....	139
4.1.2. 児童発達支援事業所に通う日数.....	141
4.1.3. 児童発達支援の希望利用日数.....	143
4.1.4. 児童発達支援の利用日数増加希望.....	145
4.1.5. 児童発達支援に求める支援.....	147
4.1.6. 児童発達支援の利用意向.....	150
4.1.6.1. 児童発達支援を利用したくない理由.....	152
4.2. 放課後等デイサービスの利用状況.....	153
4.2.1. 利用している放課後等デイサービス事業所数.....	155
4.2.2. 放課後等デイサービス事業所に通う日数.....	157
4.2.3. 放課後等デイサービスの希望利用日数.....	159
4.2.4. 放課後等デイサービスの利用日数増加希望.....	161
4.2.5. 放課後等デイサービスに求める支援.....	163
4.2.6. 放課後等デイサービスの利用意向.....	166
4.2.6.1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由.....	168
4.3. 区外の事業所を利用している理由.....	169
4.4. 保育所等訪問支援の利用状況.....	170
4.4.1. 保育所等訪問支援の利用頻度.....	172
4.4.2. 保育所等訪問支援を利用していない理由.....	174
4.4.3. 保育所等訪問支援の利用意向.....	176
4.4.3.1. 保育所等訪問支援の希望利用頻度.....	178
4.5. 居宅訪問型児童発達支援の利用状況.....	180
4.5.1. 居宅訪問型児童発達支援の利用頻度.....	181

4. 6. 障害児に対する地域の理解.....	182
4. 7. 充実してほしい施策・サービス.....	184
5. 自由回答	186
5. 1. 日常生活で困っていること.....	186
5. 2. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	189

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 障害者調査	195
2. 施設入所者調査	215
3. 発達支援等調査	219

I 調査の概要

1. 調査の目的

障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握することを目的とする。

2. 調査の項目

① 障害者調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 住まいについて
- (3) 日常生活の介助や支援について
- (4) 外出状況について
- (5) 働くことについて
- (6) 健康福祉サービスについて
- (7) 自由回答

② 施設入所者調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 入所について
- (3) 今後の生活について
- (4) 自由回答

③ 発達支援等調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 療育相談について
- (3) 福祉サービス等について
- (4) 児童福祉法のサービスについて
- (5) 自由回答

3. 調査の設計

調査は、以下の①～③について、郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収の方法で行った。

① 障害者調査

- ・調査対象：基準日（令和7年8月1日）時点で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している区民、難病等により障害福祉サービスを利用する区民。ただし、施設入所支援の利用者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：1,500人
- ・有効回収数：682人（回収率45.5%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年9月19日～10月10日

② 施設入所者調査

- ・調査対象：身体障害者手帳、愛の手帳を所持している障害者のうち、基準日（令和7年8月1日）時点で、施設入所支援を利用している中野区の給付対象者。
- ・調査地域：日本全域
- ・調査標本数：170人
- ・有効回収数：135人（回収率79.4%）
- ・調査期間：令和7年9月19日～10月10日

③ 発達支援等調査

- ・調査対象：基準日（令和7年8月1日）時点で、0歳から18歳までの発達支援の対象児童、および身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している児童。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：650人
- ・有効回収数：355人（回収率54.6%）
- ・調査期間：令和7年9月19日～10月10日

4. 報告書を読む際の留意点

- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- クロス集計の表の中で、上段の数字は回答者数（単位：人）を、下段の数字は割合（単位：%）を表す。
- 所持手帳別の集計には、複数の手帳所持者も含まれている。
- 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

表記	約4割 (4割)	4割台前半	4割半ば	4割台後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

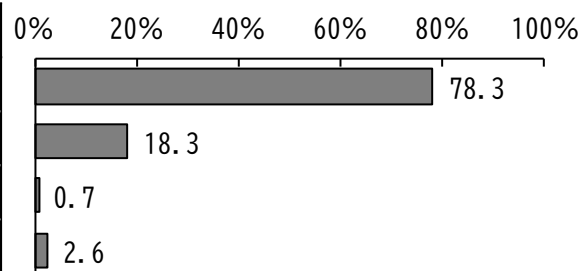
Ⅱ 調査結果の分析

障害者調査

1. 調査回答者の属性

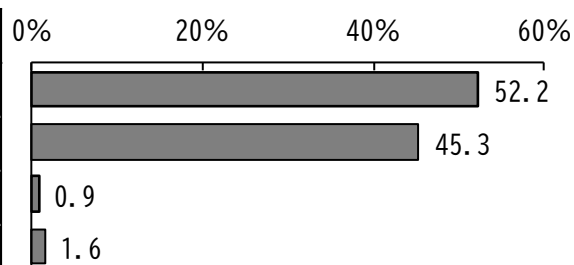
1.1. アンケートの回答者

	基数	構成比 (%)
本人（代筆を含む）	534	78.3
家族	125	18.3
その他の人	5	0.7
無回答	18	2.6
全 体	682	100.0

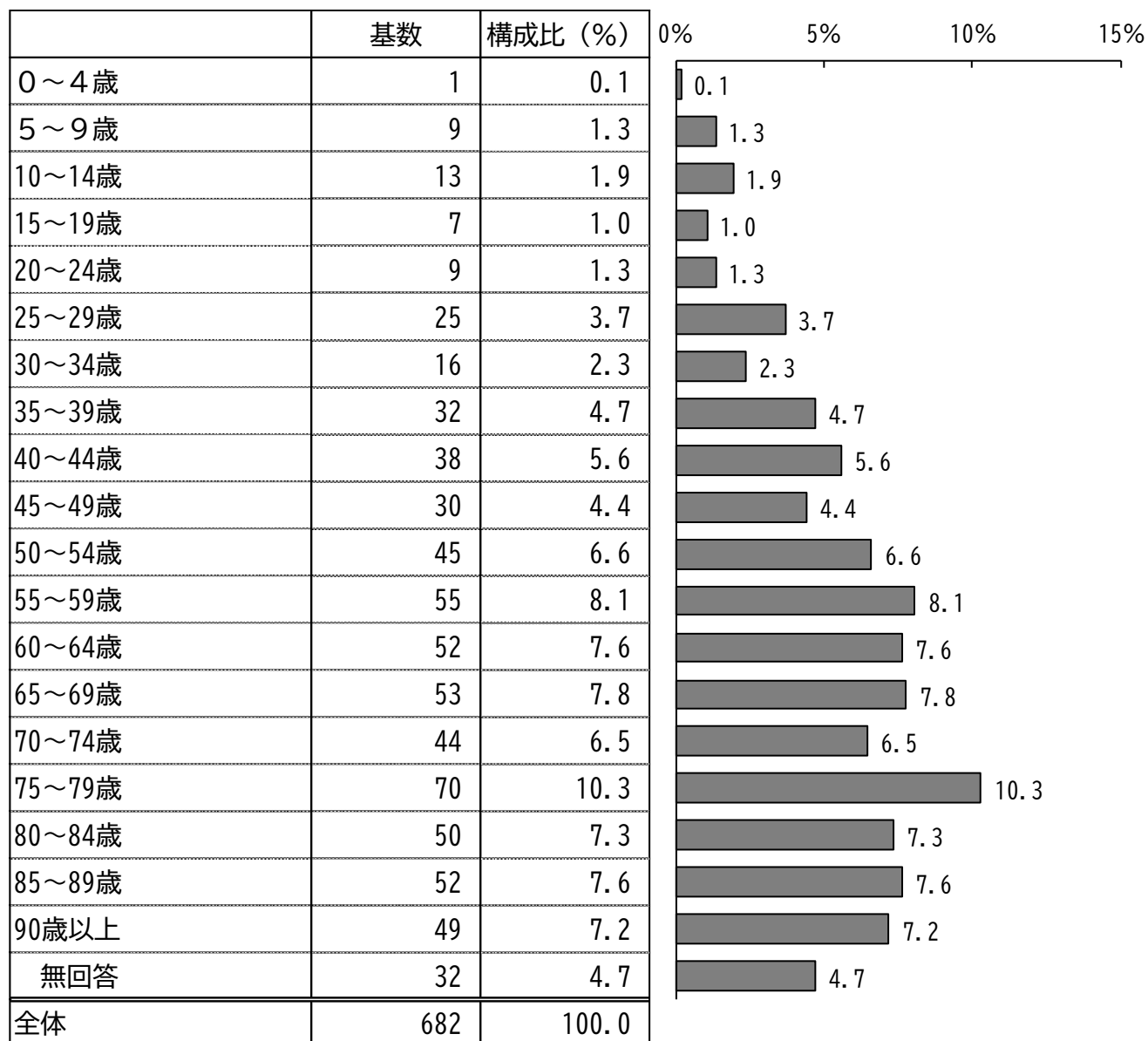


1.2. 性別

	基数	構成比 (%)
男性	356	52.2
女性	309	45.3
その他	6	0.9
無回答	11	1.6
全 体	682	100.0

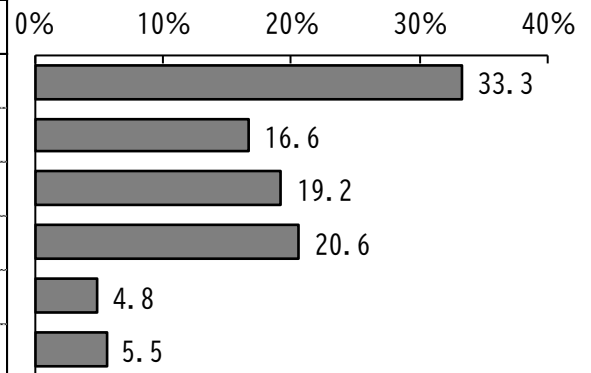


1.3. 年齢



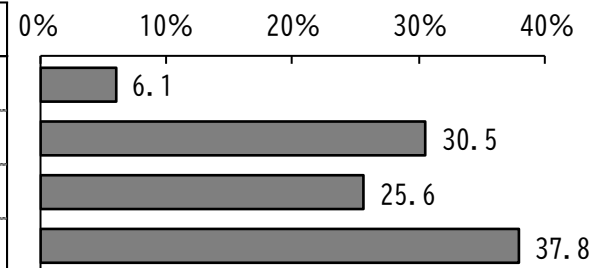
1.4. 身体障害者手帳の等級

	基数	構成比 (%)
1 級	144	33.3
2 級	72	16.6
3 級	83	19.2
4 級	89	20.6
5 級	21	4.8
6 級	24	5.5
全 体	433	100.0



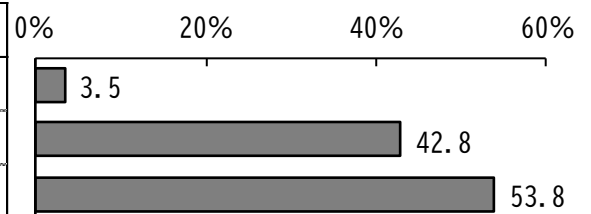
1.5. 愛の手帳の度数

	基数	構成比 (%)
1 度	5	6.1
2 度	25	30.5
3 度	21	25.6
4 度	31	37.8
全 体	82	100.0



1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級

	基数	構成比 (%)
1 級	6	3.5
2 級	74	42.8
3 級	93	53.8
全 体	173	100.0



1.7. 障害支援区分認定

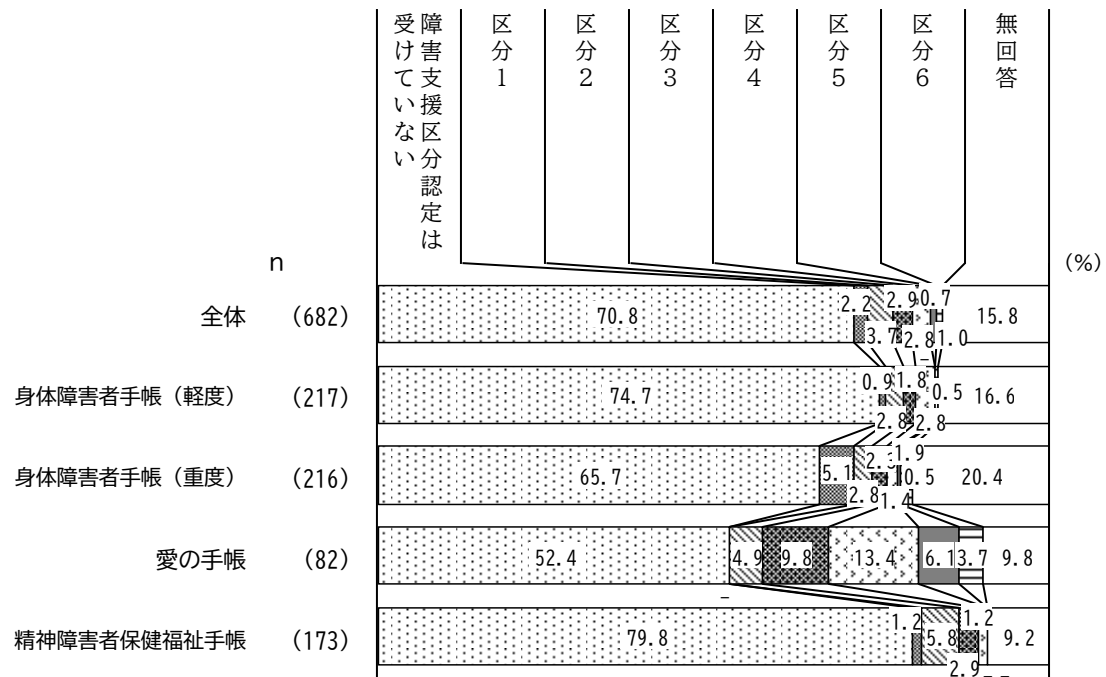
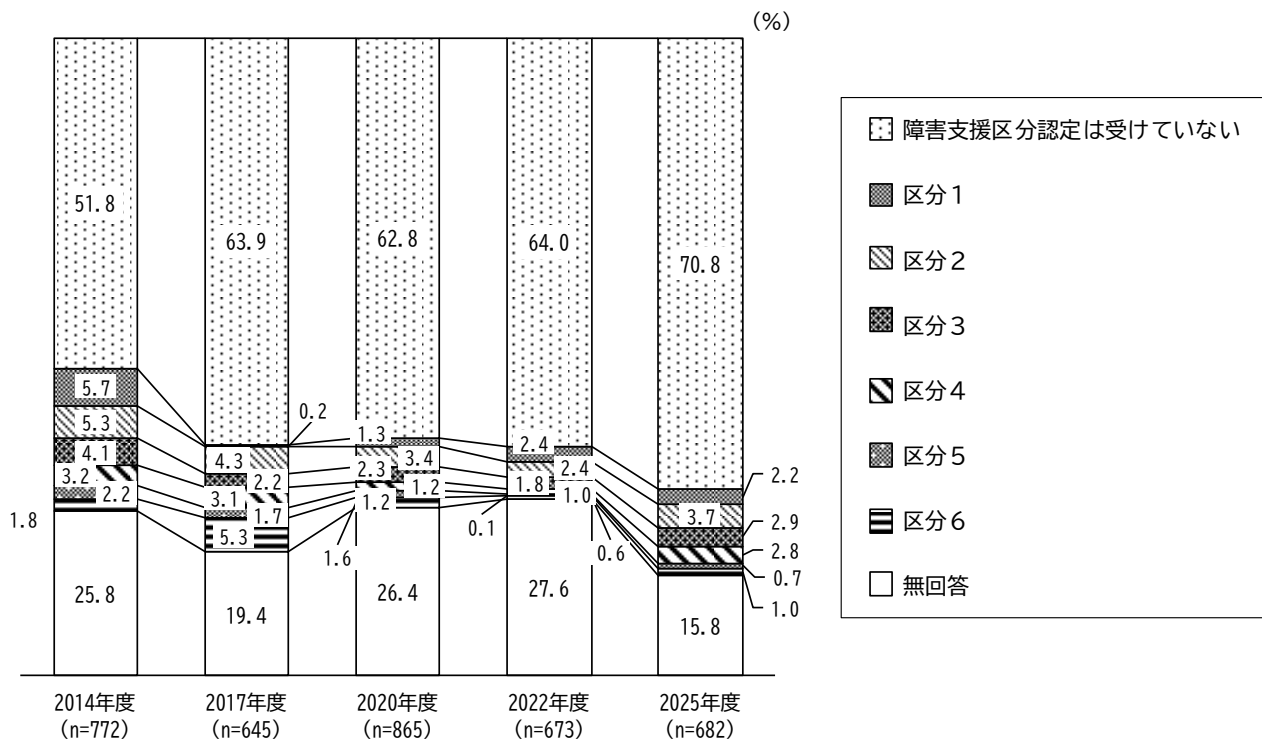
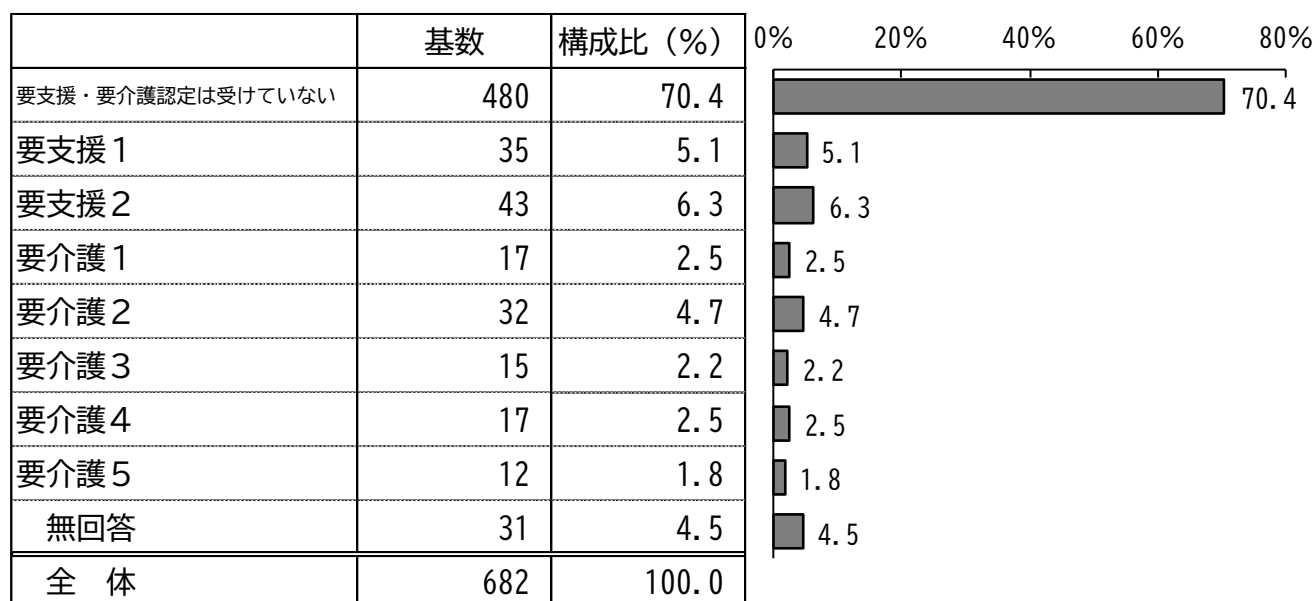


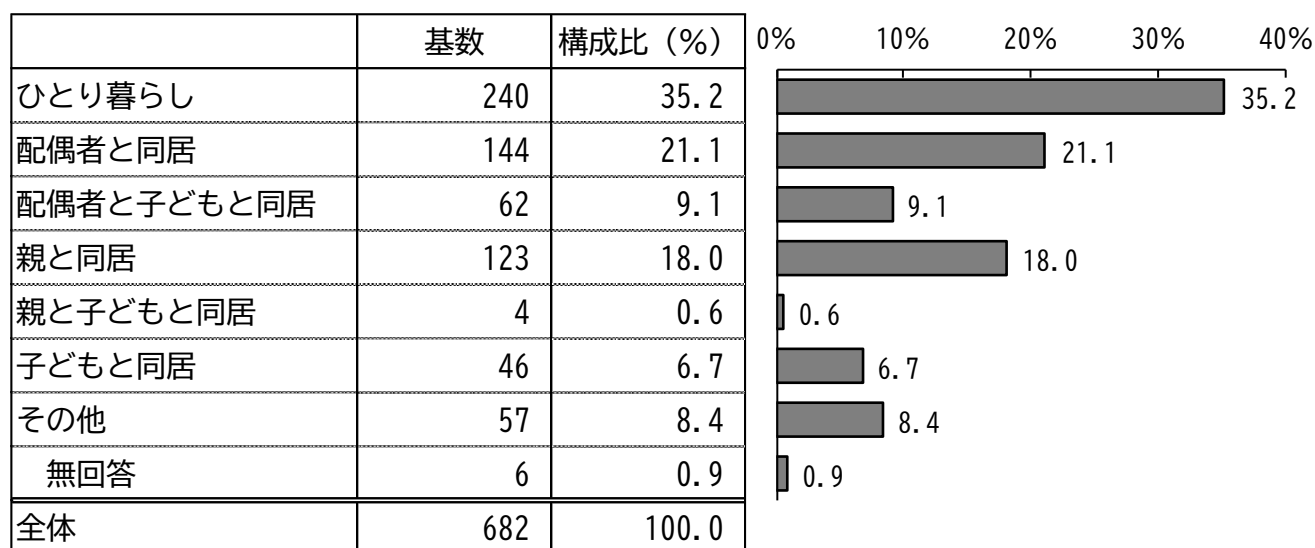
図1 【経年比較】障害支援区分認定



1.8. 要支援・要介護認定



1.9. 家族構成



1.10.所持手帳別アンケート回答者

①身体障害者手帳の等級別

	全 体	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
全体	433	144	72	83	89	21	24
本人（代筆を含む）	357	108	57	76	78	18	20
家族	66	32	14	7	9	1	3
その他の人	3	1	0	0	1	0	1

②愛の手帳の度数別

	全 体	1 度	2 度	3 度	4 度
全体	82	5	25	21	31
本人（代筆を含む）	23	2	0	8	13
家族	57	3	24	12	18
その他の人	2	0	1	1	0

③精神障害者保健福祉手帳の等級別

	全 体	1 級	2 級	3 級
全体	173	6	74	93
本人（代筆を含む）	162	3	69	90
家族	8	2	4	2
その他の人	1	0	1	0

1.11.所持手帳別年齢

上段：(人) 下段：(%)

	全体	0 5 歳	6 9 歳	10 14 歳	15 19 歳	20 24 歳	25 29 歳	30 34 歳	35 39 歳	40 44 歳	45 49 歳	50 54 歳
全体	682	1	9	13	7	9	25	16	32	38	30	45
	100.0	0.1	1.3	1.9	1.0	1.3	3.7	2.3	4.7	5.6	4.4	6.6
身体（軽度）	217	0	1	1	1	0	1	1	5	8	9	5
	100.0	-	0.5	0.5	0.5	-	0.5	0.5	2.3	3.7	4.1	2.3
身体（重度）	216	0	2	1	2	1	4	5	7	3	4	11
	100.0	-	0.9	0.5	0.9	0.5	1.9	2.3	3.2	1.4	1.9	5.1
愛の手帳	82	1	6	11	4	5	11	5	7	7	6	5
	100.0	1.2	7.3	13.4	4.9	6.1	13.4	6.1	8.5	8.5	7.3	6.1
精神障害者保健福祉手帳	173	0	0	1	1	5	11	6	15	21	11	25
	100.0	-	-	0.6	0.6	2.9	6.4	3.5	8.7	12.1	6.4	14.5

	全体	55 59 歳	60 64 歳	65 69 歳	70 74 歳	75 79 歳	80 84 歳	85 89 歳	90 歳 以上	無 回 答	(生 産 5 5 歳 未 満 人口)
全体	682	55	52	53	44	70	50	52	49	32	309
	100.0	8.1	7.6	7.8	6.5	10.3	7.3	7.6	7.2	4.7	45.3
身体（軽度）	217	12	16	17	19	30	21	27	38	5	58
	100.0	5.5	7.4	7.8	8.8	13.8	9.7	12.4	17.5	2.3	26.7
身体（重度）	216	17	21	23	19	30	23	23	9	11	75
	100.0	7.9	9.7	10.6	8.8	13.9	10.6	10.6	4.2	5.1	34.7
愛の手帳	82	1	2	1	5	2	0	1	0	2	53
	100.0	1.2	2.4	1.2	6.1	2.4	-	1.2	-	2.4	64.6
精神障害者保健福祉手帳	173	25	15	13	5	8	1	0	1	9	135
	100.0	14.5	8.7	7.5	2.9	4.6	0.6	-	0.6	5.2	78.0

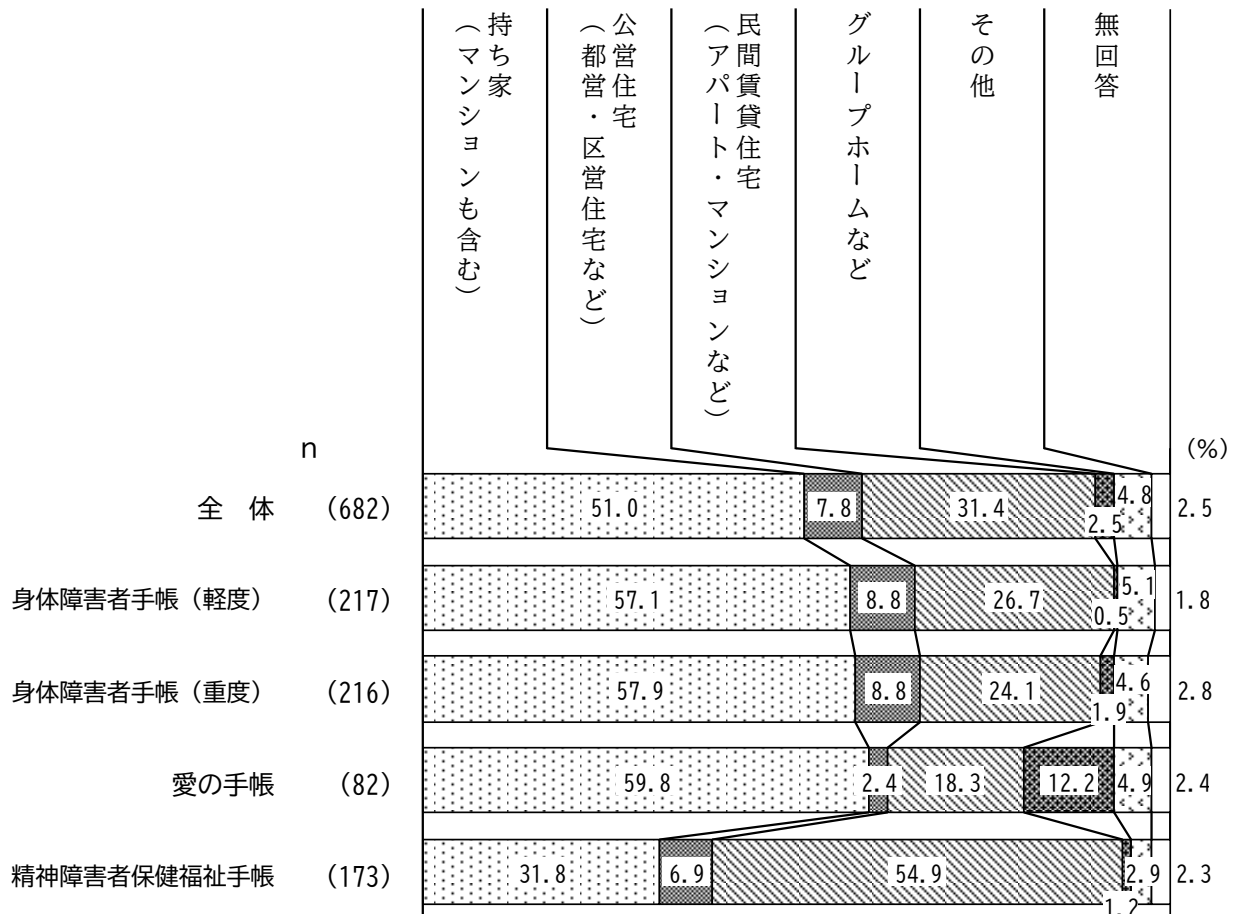
2. 住まいについて

2.1. 住居形態

◆住居形態は「持ち家」が約5割

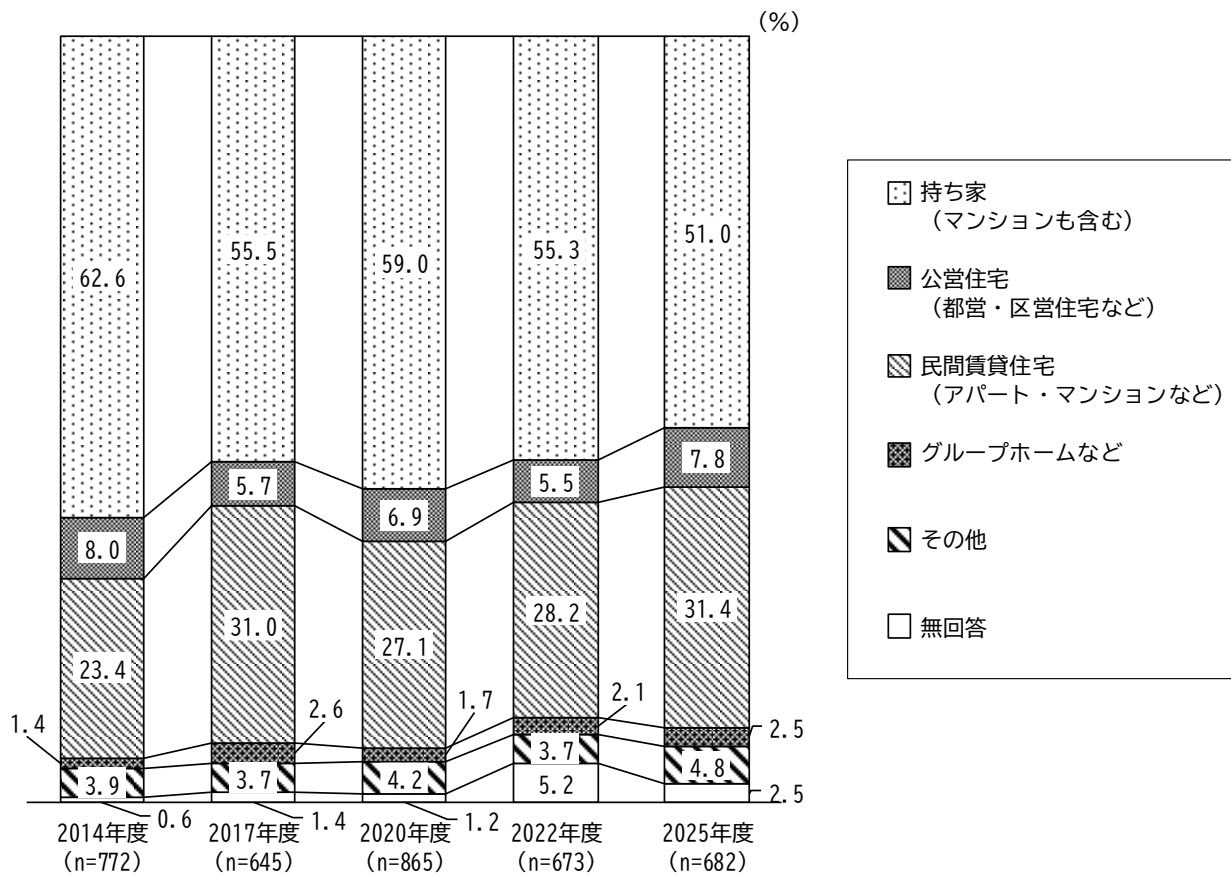
問7. あなた（あて名の方ご本人）のお住まいは次のどれにあたりますか。（○は1つ）

図2-1 【所持手帳別】住居形態



住居形態は、全体では「持ち家（マンションも含む）」が約5割となっている。所持手帳別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）」が5割半ばで高くなっている。また、「グループホームなど」を住居としている人は愛の手帳所持者が12.2%と、他の手帳所持者と比べ高くなっている。

図 2-2 【経年比較】住居形態



住居形態を経年比較でみると、2020 年度から「持ち家」が減少傾向にある。

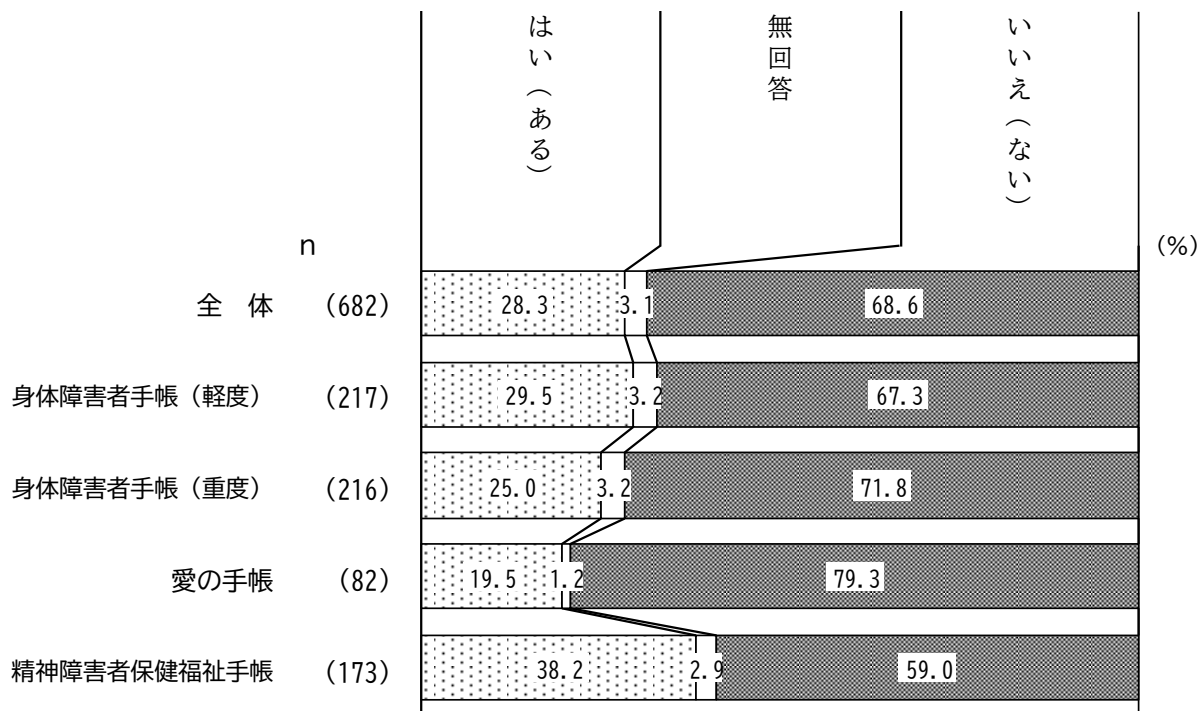
2.2. 住宅で困っていることの有無

◆住宅で困っていることが「ある」方は全体の2割台後半

(全員の方に)

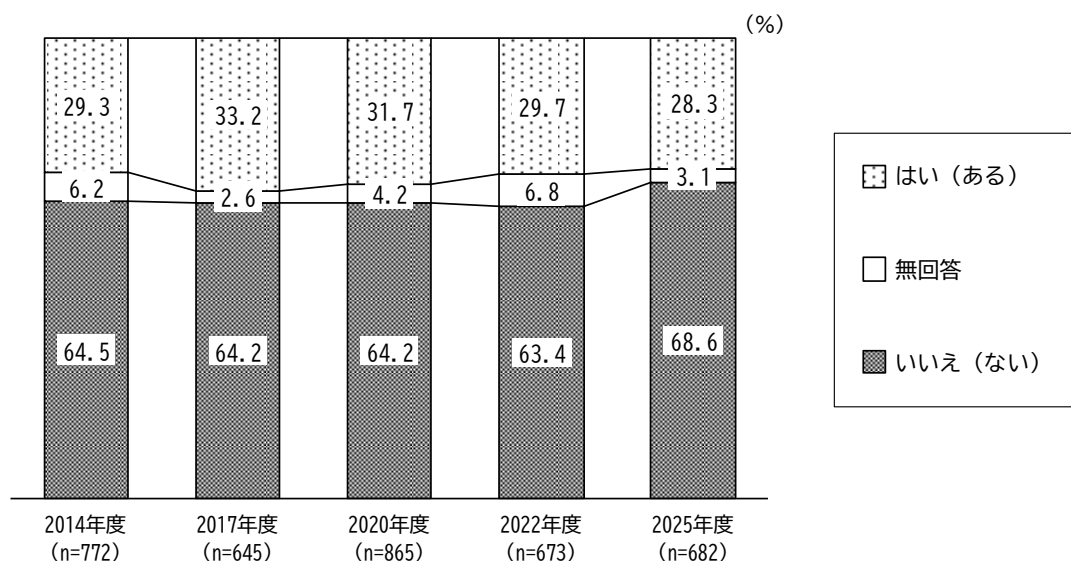
問 8. あなた（あて名の方ご本人）の住宅で困っていることはありますか。（○は1つ）

図 2-3 【所持手帳別】住宅で困っていることの有無



住宅について困っていることの有無で、「はい（ある）」が、全体で2割台後半となっている。

図 2-4 【経年比較】住宅で困っていることの有無



住宅で困っていることの有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、「いいえ（ない）」が約5ポイント増加している。

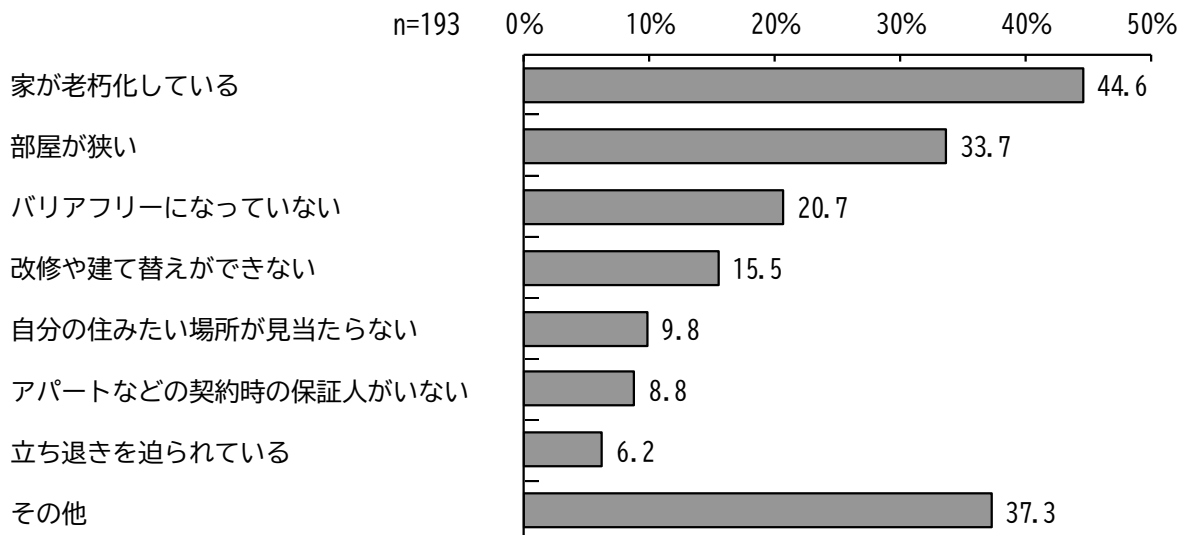
2.2.1. 住宅で困っていること

◆住宅で困っていることは「家が老朽化している」が4割半ば

(問8で「1. はい」とお答えの方に)

問8-1. 住宅で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-5 住宅で困っていること



住宅で困っていることがあると回答した方に、困っている内容をきいたところ、「家が老朽化している」が最も高くなっており、次いで「部屋が狭い」「バリアフリーになっていない」となっている。

図2-6 【所持手帳別】上位5項目 住宅で困っていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=64	家が老朽化している 45.3	部屋が狭い 25.0	バリアフリーになっていない 23.4	改修や建て替えができない 18.8	自分の住みたい場所が見当たらない 6.3
身体障害者手帳（重度） n=54	家が老朽化している 40.7	部屋が狭い／バリアフリーになっていない 31.5	改修や建て替えができない 14.8	自分の住みたい場所が見当たらない 13.0	
愛の手帳 n=16	家が老朽化している 50.0	部屋が狭い 37.5	バリアフリーになっていない 18.8	改修や建て替えができない 12.5	立ち退きを迫られている／自分の住みたい場所が見当たらない 6.3
精神障害者保健福祉手帳 n=66	家が老朽化している 43.9	部屋が狭い 40.9	アパートなどの契約時の保証人がいない 16.7	バリアフリーになっていない／自分の住みたい場所が見当たらない 12.1	

すべての手帳所持者で「家が老朽化している」が第1位となっている。

図 2-7 【経年比較】上位 5 項目 住宅で困っていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=193	家が老朽化している 44.6	部屋が狭い 33.7	バリアフリーになっていない 20.7	改修や建て替えができない 15.5	自分の住みたい場所が見当たらない 9.8
2022年度 n=200	家が老朽化している 42.0	部屋が狭い 35.5	バリアフリーになっていない 25.0	アパートなどの契約時の保証人がいない 14.5	改修や建て替えができない 14.0
2020年度 n=274	バリアフリーになっていない 41.6	部屋が狭い 39.4	家が老朽化している 31.0	改修や建て替えができない 22.3	アパートなどの契約時の保証人がいない 5.8
2017年度 n=214	部屋が狭い 41.1	家が老朽化している 34.6	バリアフリーになっていない 29.9	改修や建て替えができない 13.1	アパートなどの契約時の保証人がいない 11.7
2014年度 n=226	家が老朽化している 40.3	部屋が狭い 31.9	バリアフリーになっていない 31.0	改修や建て替えができない 15.5	アパートなどの契約時の保証人がいない 11.5

住宅で困っていることを経年比較でみると、「家が老朽化している」「部屋が狭い」「バリアフリーになっていない」はいずれの年度でも上位 3 位以内に入っている。

2.3. 将来、生活したいところ

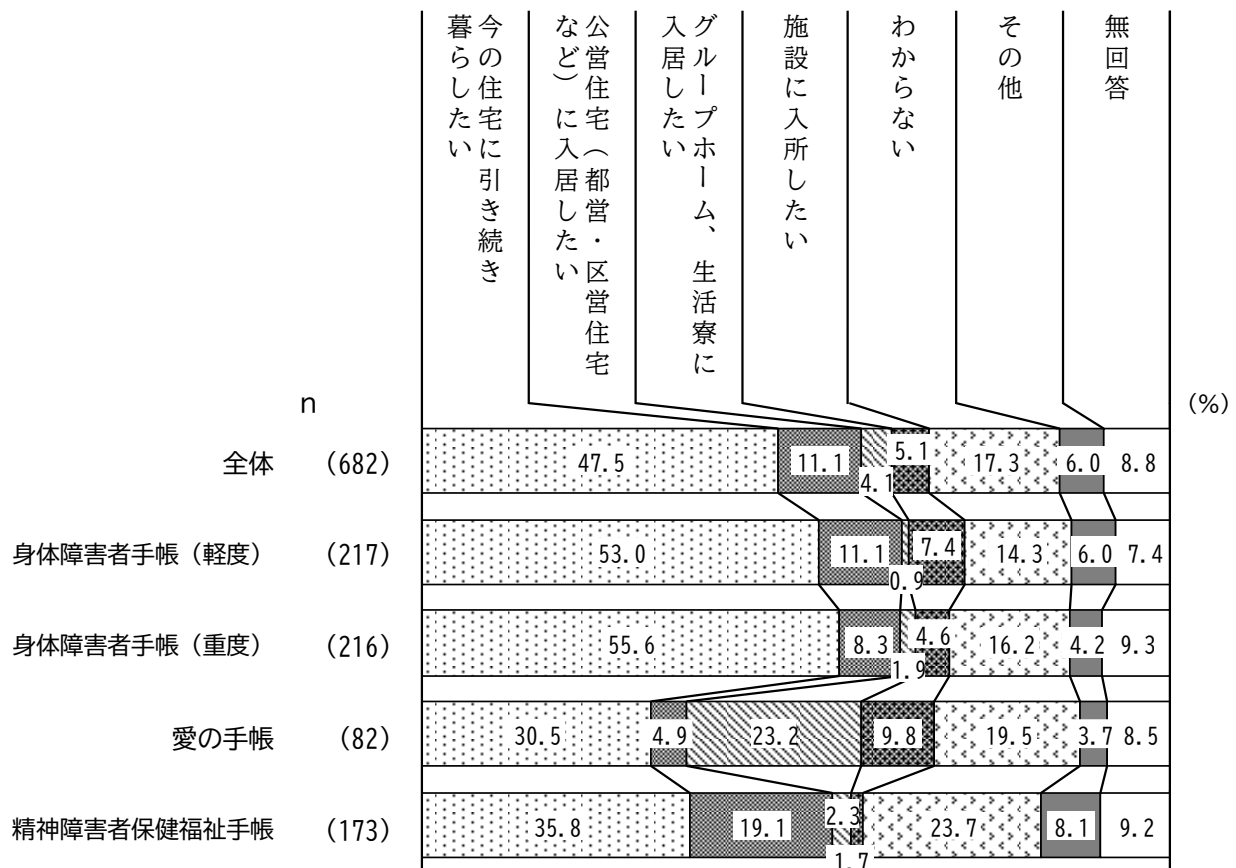
◆将来も「今の住宅に引き続き暮らしたい」はいずれの手帳所持者においても最も高い

(全員の方に)

問9. あなた(あて名の方ご本人)は、将来はどのようなところで生活したいと思いますか。

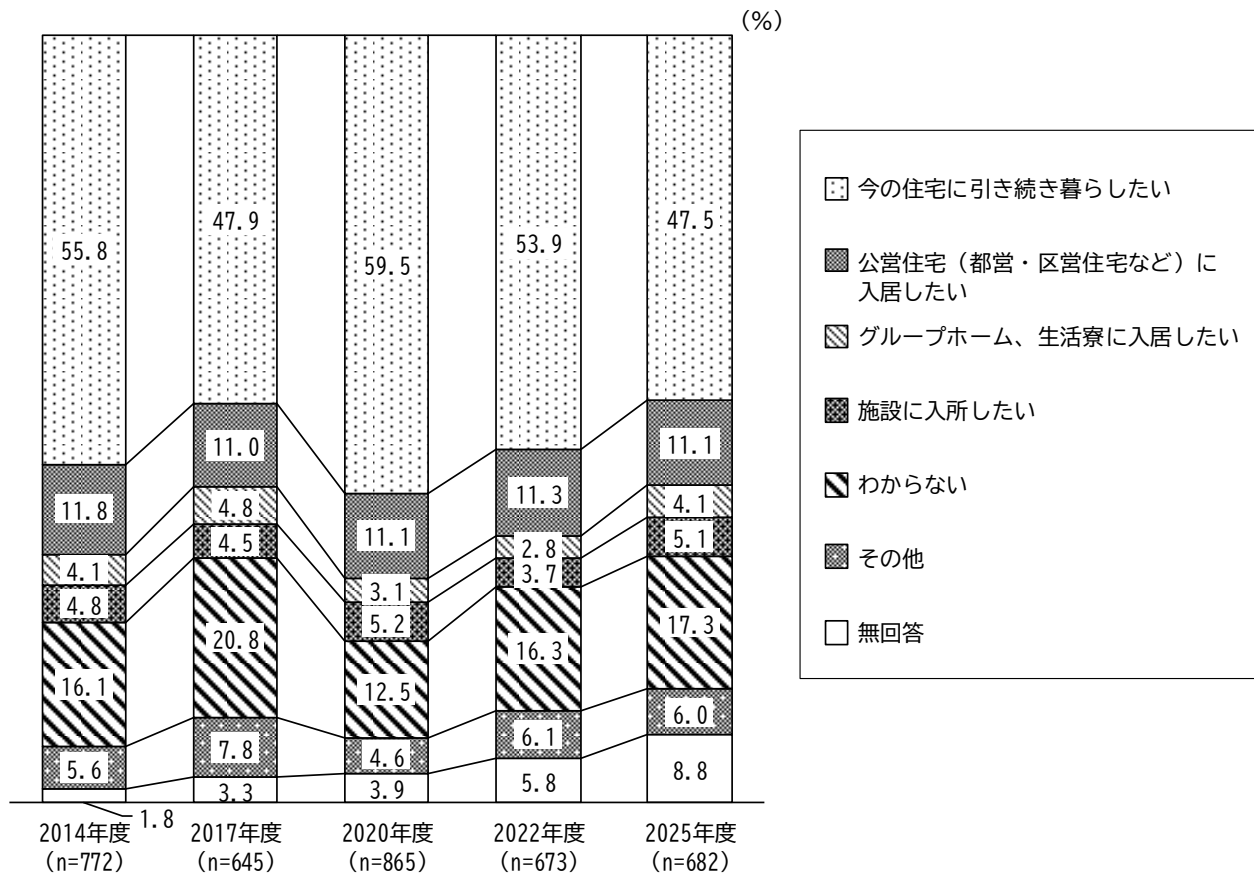
(○は1つ)

図2-8 【所持手帳別】将来、生活したいところ



将来、生活したいところは、いずれの手帳所持者においても「今の住宅に引き続き暮らしたい」が最も高くなっているが、愛の手帳所持者では「グループホーム、生活寮に入居したい」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「公営住宅(都営・区営住宅など)に入居したい」も、他の手帳所持者に比べ高くなっている。

図 2-9 【経年比較】将来、生活したいところ



将来、生活したいところを経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「今の住宅に引き続き暮らしたい」が6.4ポイント減少しており、2020年度から減少傾向にある。

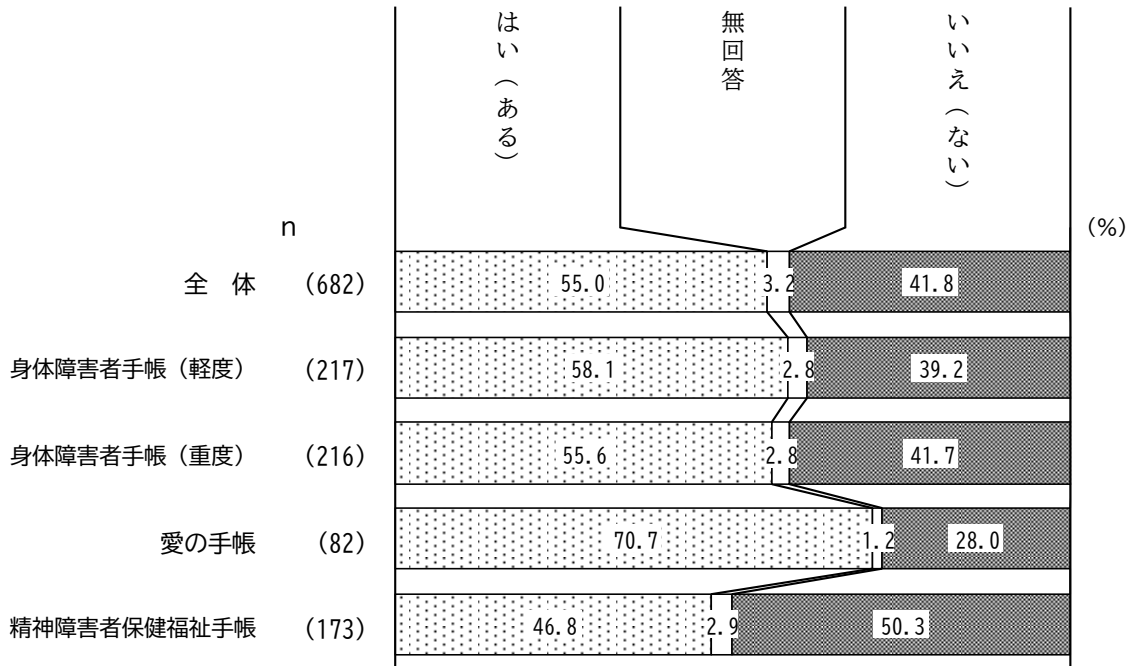
2.4. 災害への不安の有無

◆災害への不安が「ある」方は愛の手帳所持者で約7割

(全員の方に)

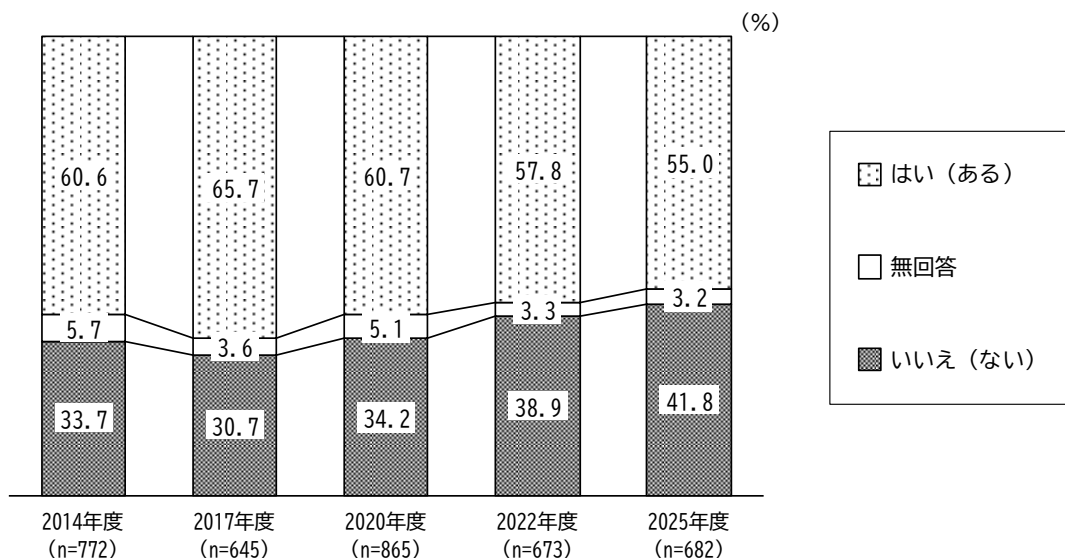
問 10. 火事や地震などの災害に関して、障害があるためにあなた(あて名の方ご本人)が不安を感じていることはありますか。(○は1つ)

図 2-10 【所持手帳別】災害への不安の有無



火事や地震などの災害への不安の有無は、「はい (ある)」が愛の手帳所持者で約7割と他に比べ高くなっている。

図 2-11 【経年比較】災害への不安の有無



災害への不安の有無を経年比較でみると、「はい (ある)」は減少傾向にあるが、依然5割半ばと高くなっている。

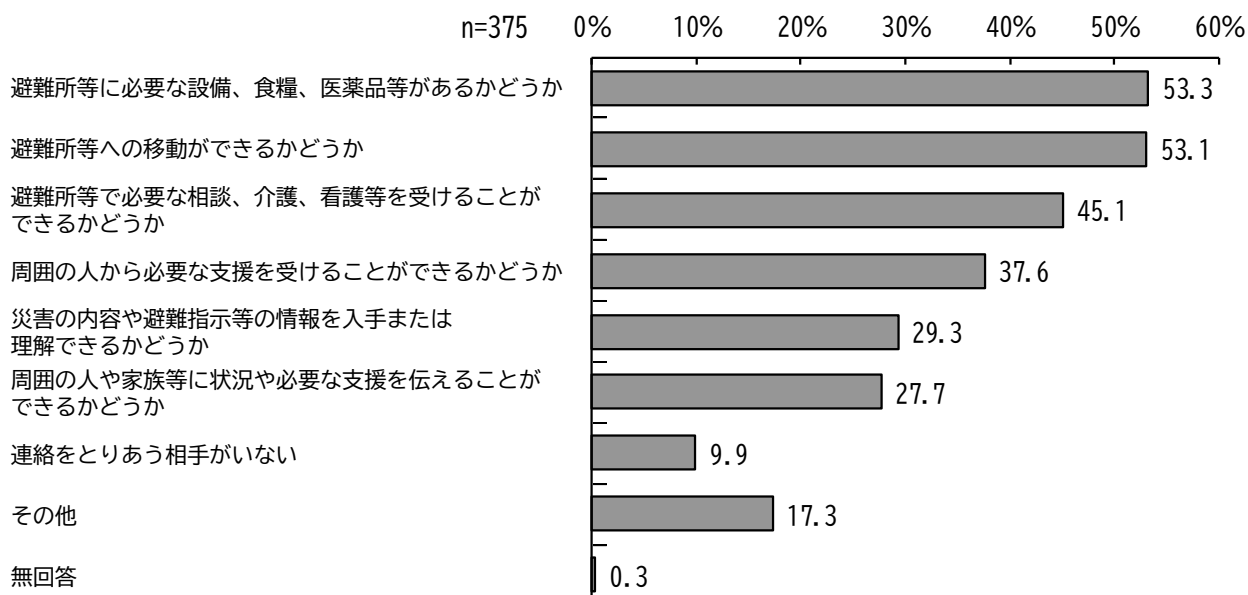
2.4.1. 災害に関して不安を感じていること

◆災害時の不安は「避難所等に必要な設備、食糧、医薬品等があるかどうか」と「避難所等への移動ができるかどうか」が5割前半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-1. 不安を感じていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-12 災害に関して不安を感じていること



災害への不安があると回答した方に、不安を感じている内容をきいたところ、「避難所等に必要な設備、食糧、医薬品等があるかどうか」が最も高くなっており、次いで「避難所等への移動ができるかどうか」「避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか」となっている。

図 2-13 【所持手帳別】上位 5 項目 災害に関して不安を感じていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=126	避難所等への移動 ができるかどうか 57.9	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 53.2	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 41.3	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 28.6	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 26.2
身体障害者手帳（重度） n=120	避難所等への移動 ができるかどうか 63.3	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 55.8	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 50.8	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 33.3	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 25.0
愛の手帳 n=58	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 62.1	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 56.9	避難所等への移動 ができるかどうか 50.0	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 48.3	周囲の人や家族等 に状況や必要な支 援を伝えることが できるかどうか 43.1
精神障害者保健福祉手帳 n=81	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 61.7	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 48.1	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 40.7	避難所等への移動 ができるかどうか 38.3	周囲の人や家族等 に状況や必要な支 援を伝えることが できるかどうか 30.9

災害に関して不安を感じていることを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「避難所等への移動ができるかどうか」、愛の手帳所持者では「避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「避難所等に必要な設備、食糧、医薬品等があるかどうか」の割合が最も高くなっている。

図 2-14 【経年比較】上位 5 項目 災害に関して不安を感じていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=375	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 53.3	避難所等への移動 ができるかどうか 53.1	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 45.1	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 37.6	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 29.3
2022年度 n=389	避難所等への移動 ができるかどうか 54.5	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 50.4	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 40.4	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 35.7	周囲の人や家族等 に状況や必要な支 援を伝えることが できるかどうか 30.3
2020年度 n=525	避難所等への移動 ができるかどうか 56.8	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 50.3	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 46.9	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 34.9	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 33.7
2017年度 n=424	避難所等への移動 ができるかどうか 56.6	避難所等に必要な 設備、食料、医薬 品等があるかどう か 55.4	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 46.9	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 45.3	震災の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 35.8
2014年度 n=468	避難所等への移動 ができるかどうか 62.4	避難所等に必要な 設備、食料、医薬 品等があるかどう か 51.7	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 44.2	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 43.6	震災の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 39.3

災害に関して不安を感じていることを経年比較でみると、2014 年度以降は上位の項目に大きな変化はみられない。

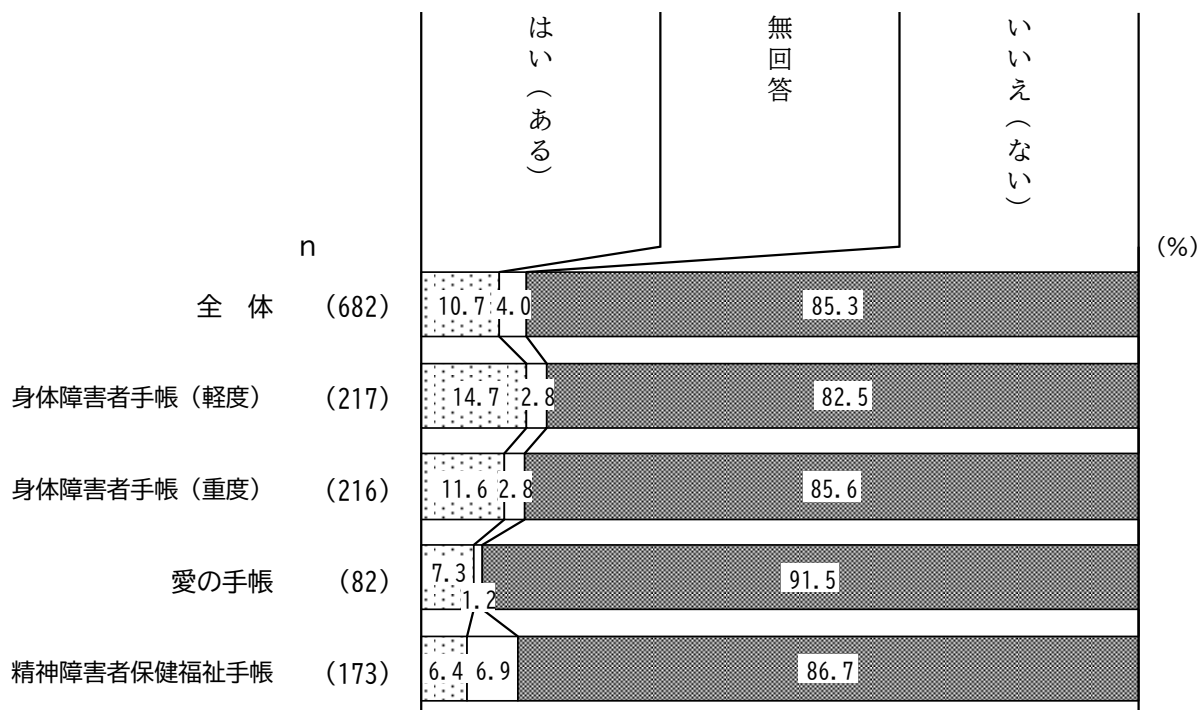
2.5. 防災訓練への参加の有無

◆防災訓練に参加したことが「ある」方は身体障害者手帳所持者で1割台

(全員の方に)

問11. あなた(あて名の方ご本人)は、町会や自治会などの防災訓練に参加したことはありますか。
(○は1つ)

図 2-15 【所持手帳別】防災訓練への参加の有無



町会や自治会などの防災訓練への参加の有無は、「はい (ある)」が身体障害者手帳所持者の軽度・重度ともに1割を超えている。「いいえ (ない)」は、愛の手帳所持者で約9割と他の手帳所持者に比べ高くなっている。

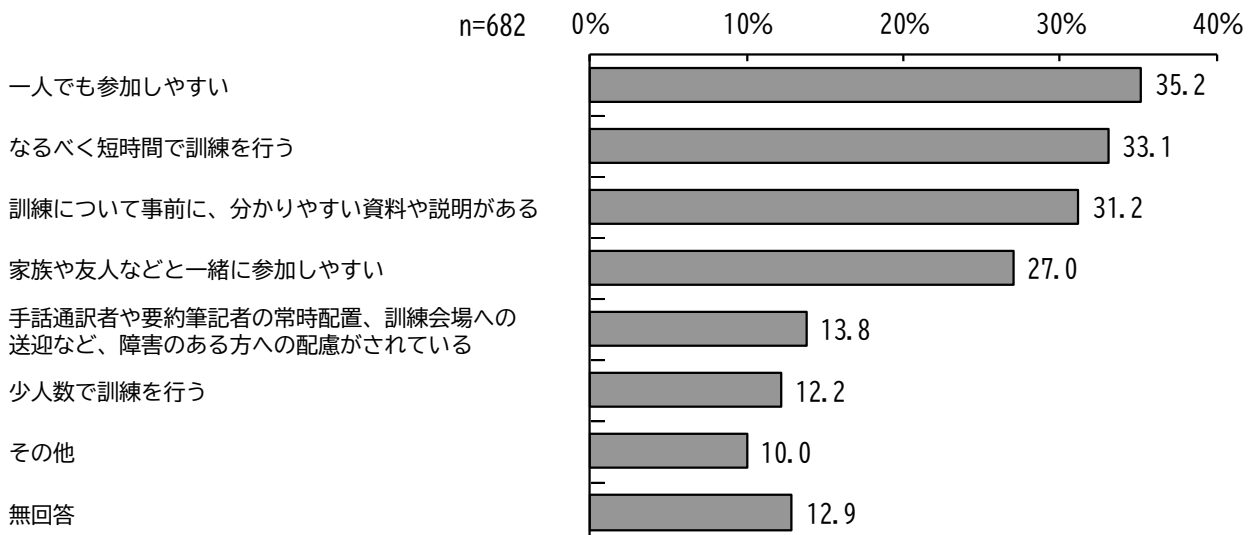
2.6. 参加したい防災訓練

◆参加したい防災訓練は「一人でも参加しやすい」が3割半ば

(全員の方に)

問 12. あなた(あて名の方ご本人)が防災訓練に参加する場合、どのような訓練だったら参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図 2-16 参加したい防災訓練



防災訓練に参加する場合に、参加したいと思う防災訓練は、「一人でも参加しやすい」が最も高くなっており、次いで「なるべく短時間で訓練を行う」「訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある」となっている。

図 2-17 【所持手帳別】上位 5 項目 参加したい防災訓練

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=217	一人でも参加しやすい 37.8	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 34.6	なるべく短時間で訓練を行う 29.5	家族や友人などと一緒に参加しやすい 24.9	手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている 13.4
身体障害者手帳(重度) n=216	一人でも参加しやすい／なるべく短時間で訓練を行う 29.6	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 28.7	家族や友人などと一緒に参加しやすい 24.1	手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている 18.5	
愛の手帳 n=82	家族や友人などと一緒に参加しやすい 50.0	なるべく短時間で訓練を行う 34.1	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 31.7	手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている 20.7	一人でも参加しやすい 18.3
精神障害者保健福祉手帳 n=173	一人でも参加しやすい 43.9	なるべく短時間で訓練を行う 41.6	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 32.4	家族や友人などと一緒に参加しやすい 23.7	少人数で訓練を行う 16.8

参加したいと思う防災訓練を所持手帳別でみると、愛の手帳所持者では「家族や友人などと一緒に参加しやすい」が第1位となっている。

2.7. 災害時個別避難計画書の共有の仕組みの認知状況

◆災害時個別避難計画書の共有の仕組みを「知っていた」方は約4割

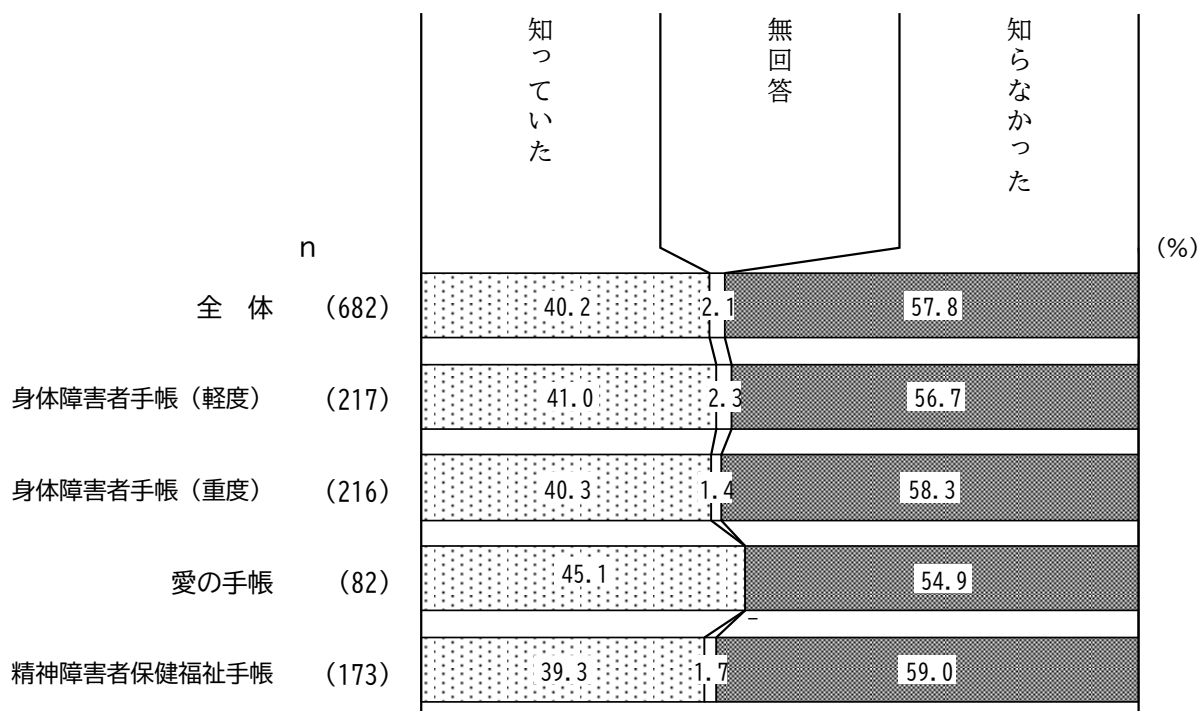
(全員の方に)

問 13. 中野区では、災害時に一人では避難が難しい方の情報を掲載した「災害時避難行動要支援者名簿」をもとに、「災害時個別避難計画書※」を作成し、町会や自治会、民生児童委員などに共有しています。

あなた（あて名の方ご本人）は、この仕組みについて知っていましたか。（○は1つ）

※「災害時個別避難計画書」には、氏名、住所、年齢、性別、避難に必要なもの、支援者の有無が記載されています。

図 2-18 【所持手帳別】災害時個別避難計画書の共有の仕組みの認知状況



「災害時個別避難計画書」を作成し、町会や自治会、民生児童委員などに共有していることを、「知っていた」はいずれの手帳所持者でも4割前後となっており、愛の手帳所持者で4割半ばと他の手帳所持者に比べ高くなっている。

3. 日常生活の介助や支援について

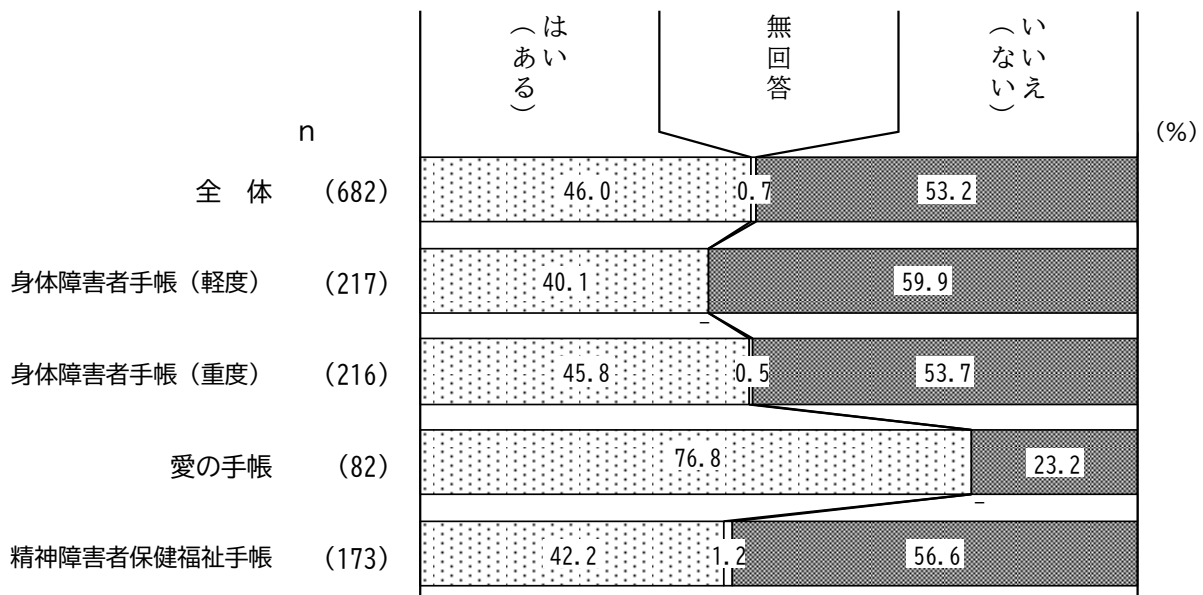
3.1. 日常生活での介助の必要性の有無

◆介助が必要な方は愛の手帳所持者で7割半ば

(全員の方に)

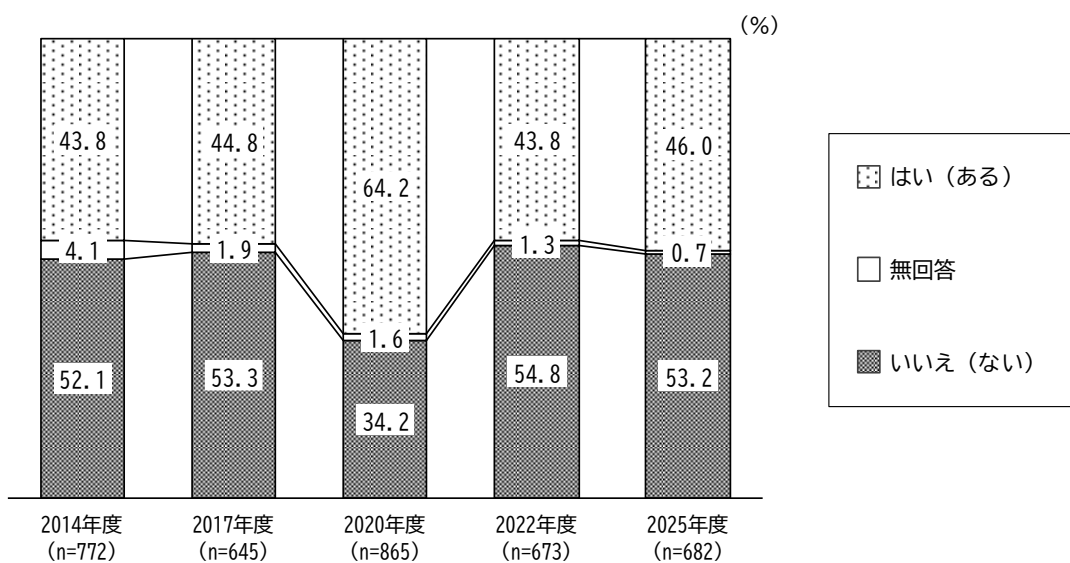
問 14. あなた(あて名の方ご本人)の日常生活で介助を必要とすることはありますか。(○は1つ)

図 3-1 【所持手帳別】日常生活での介助の必要性の有無



日常生活での介助の必要性の有無は、「はい(ある)」が愛の手帳所持者で7割半ばとなっており最も高くなっている。

図 3-2 【経年比較】日常生活での介助の必要性の有無



日常生活での介助の必要性の有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、大きな変化はみられない。

3.1.1. 日常生活で介助を必要とすること

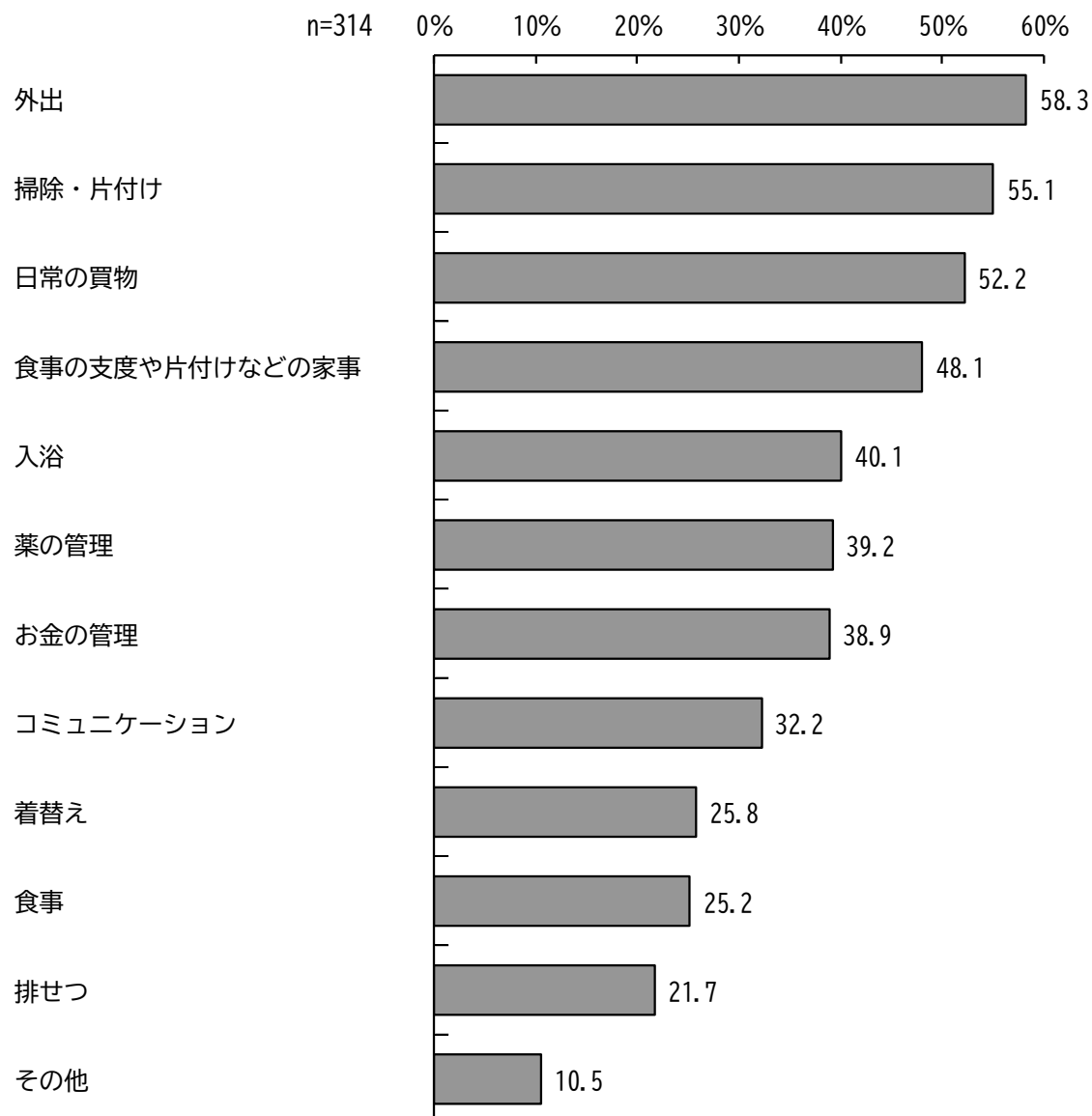
◆日常生活で介助が必要なことは「外出」「掃除・片付け」「日常の買物」が5割を超えている

(問14で「1. はい」とお答えの方に)

問14-1. 日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-3 日常生活で介助を必要とすること



日常生活において介助の必要性があると回答した方に、必要な介助の内容をきいたところ、「外出」が最も高くなっており、次いで「掃除・片付け」「日常の買物」「食事の支度や片付けなどの家事」となっている。

図 3-4 【所持手帳別】上位 5 項目 日常生活で介助を必要とすること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=87	外出 59.8	掃除・片付け 56.3	日常の買物 51.7	入浴 42.5	食事の支度や片付けなどの家事 41.4
身体障害者手帳（重度） n=99	外出 70.7	日常の買物 62.6	掃除・片付け 57.6	入浴 53.5	食事の支度や片付けなどの家事 45.5
愛の手帳 n=63	お金の管理 82.5	外出 73.0	食事の支度や片付けなどの家事 69.8	日常の買物 69.8	コミュニケーション 68.3
精神障害者保健福祉手帳 n=73	掃除・片付け 54.8	食事の支度や片付けなどの家事 43.8	外出 34.2	コミュニケーション 32.9	日常の買物 31.5

日常生活で介助を必要とすることを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）では「外出」が、愛の手帳所持者では「お金の管理」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「掃除・片付け」が最も高くなっている。

図 3-5 【経年比較】上位 5 項目 日常生活で介助を必要とすること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=314	外出 58.3	掃除・片付け 55.1	日常の買物 52.2	食事の支度や片付けなどの家事 48.1	入浴 40.1
2022年度 n=295	掃除・片付け 53.6	外出 52.5	日常の買物 49.2	食事の支度や片付けなどの家事 48.5	薬の管理／お金の管理 36.3
2020年度 n=555	掃除・片付け 43.8	食事の支度や片付け 40.7	日常の買物 40.2	外出 38.0	入浴 30.1
2017年度 n=289	日常の買物 61.9	掃除・片付け／外出 60.9		食事の支度や片付け／お金の管理 59.2	
2014年度 n=338	掃除・片付け 63.6	食事の支度や片付け 56.5	日常の買物 54.7	外出 52.1	お金の管理 48.2

日常生活で介助を必要とすることを経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度以前に比べ「外出」の順位が高くなっている。

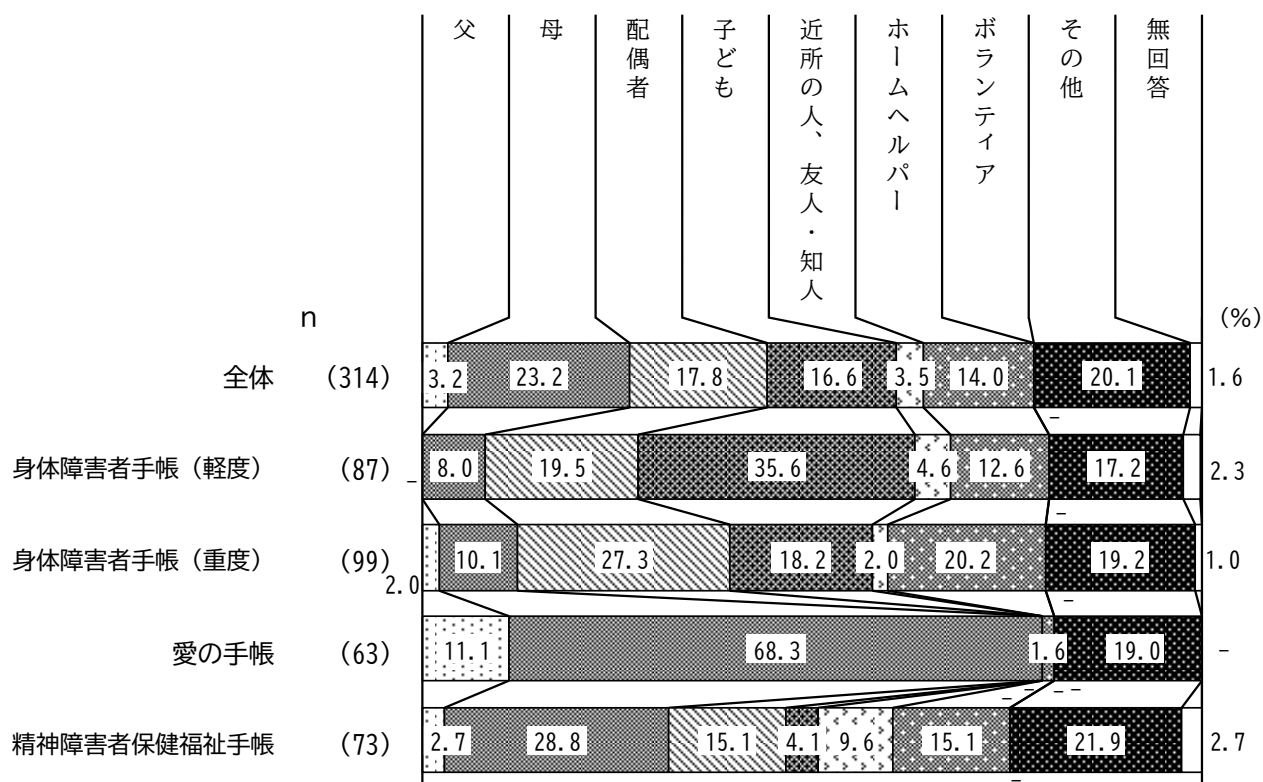
3.1.2. 主な介助者

◆主な介助者は家族（「父」「母」「配偶者」「子ども」）が約6割

（問14で「1. はい」とお答えの方に）

問14-2. あなた（あて名の方ご本人）の主な介助者はどなたですか。（○は1つ）

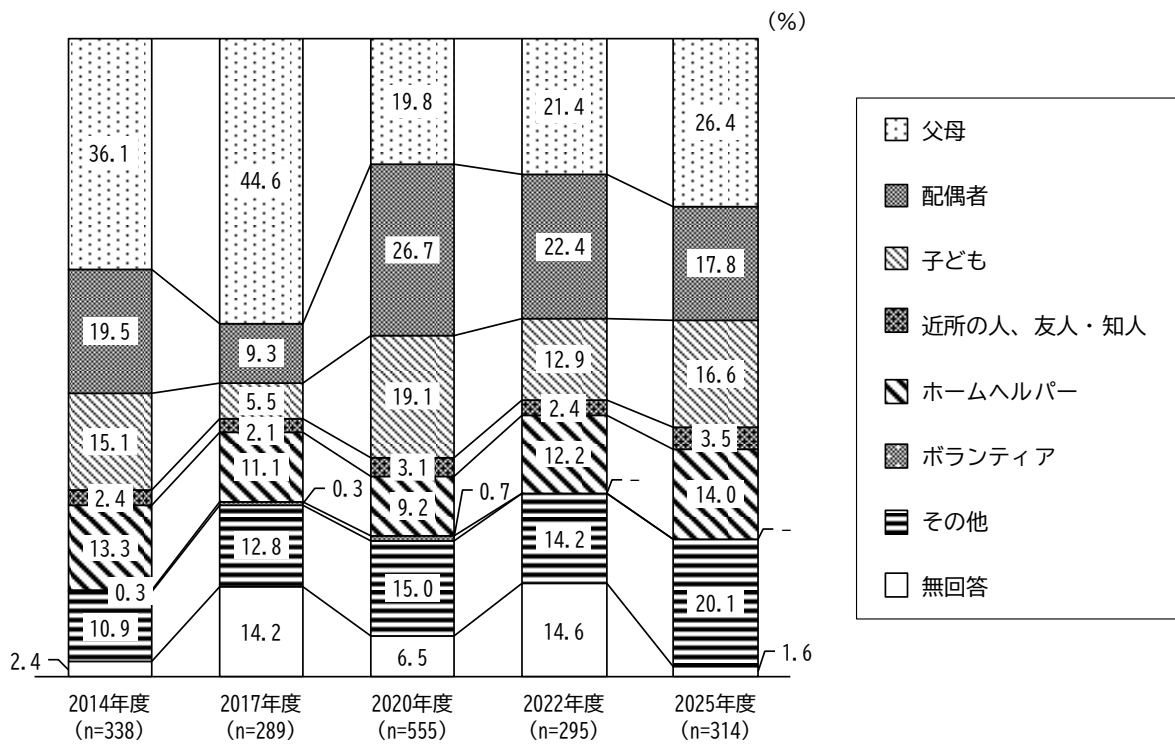
図3-6 【所持手帳別】主な介助者



日常生活において介助の必要性があると回答した方に、主な介助者をきいたところ、全体で「父」「母」「配偶者」「子ども」といった家族が約6割となっている。

所持手帳別では、身体障害者手帳所持者（軽度）では「子ども」が、身体障害者手帳所持者（重度）では「配偶者」が、愛の手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「母」が最も高くなっている。特に、愛の手帳所持者では「母」が6割台後半と、他の手帳所持者に比べて高くなっている。

図 3-7 【経年比較】主な介助者



※2014年度は「父母」としてまとめて調査しているため、2017年度以降も「父母」とまとめている。

主な介助者を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「父母」が5ポイント増加し、「配偶者」が4.6ポイント減少している。

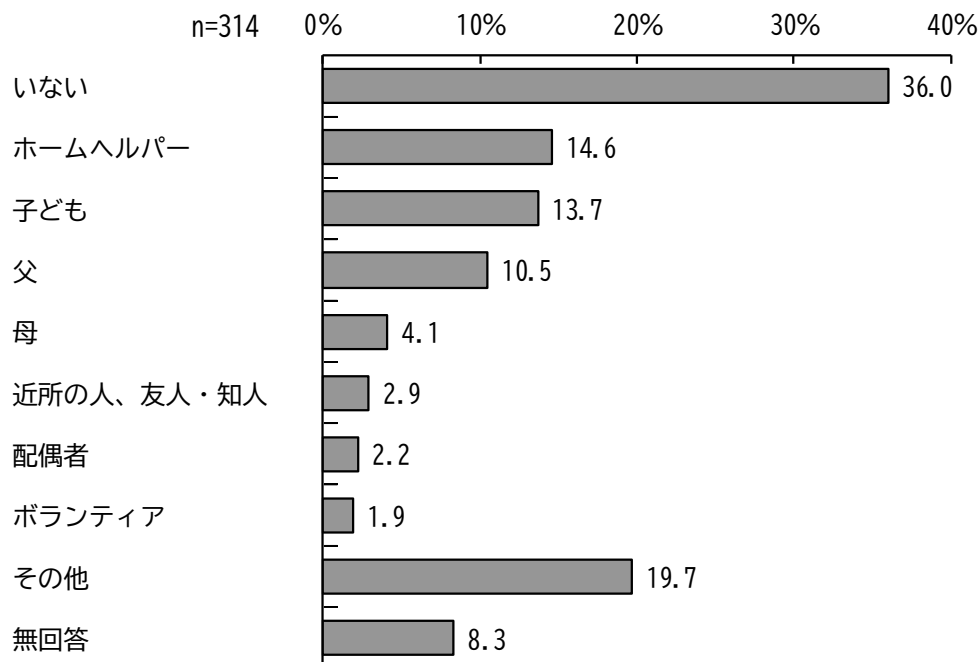
3.1.3. 主な介助者を除く日常的な介助者

◆主な介助者のほかに、日常的に介助できる方は「いない」が3割半ば

(問14で「1. はい」とお答えの方に)

問14-3. 主な介助者のほかに、あなた(あて名の方ご本人)を日常的に介助できる方はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

図3-8 主な介助者のほかに日常的に介助できる方



主な介助者のほかに日常的に介助できる方は、「いない」が3割半ばと最も高くなっており、次いで「ホームヘルパー」「子ども」「父」となっている。

図3-9 【所持手帳別】上位5項目 主な介助者のほかに日常的に介助できる方

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=87	いない 36.8	子ども 24.1	ホームヘルパー 14.9	配偶者 3.4	近所の人、友人・知人／ボランティア 2.3
身体障害者手帳(重度) n=99	いない 38.4	ホームヘルパー 25.3	子ども 17.2	配偶者 3.0	父／近所の人、友人・知人／ボランティア 2.0
愛の手帳 n=63	父 42.9	いない 15.9	母 12.7	ホームヘルパー 9.5	配偶者／近所の人、友人・知人 1.6
精神障害者保健福祉手帳 n=73	いない 47.9	ホームヘルパー 8.2	父／母 6.8		近所の人、友人・知人 5.5

主な介助者のほかに日常的に介助できる方は、愛の手帳所持者では「父」が最も高く、それ以外の手帳所持者では「いない」が最も高い。

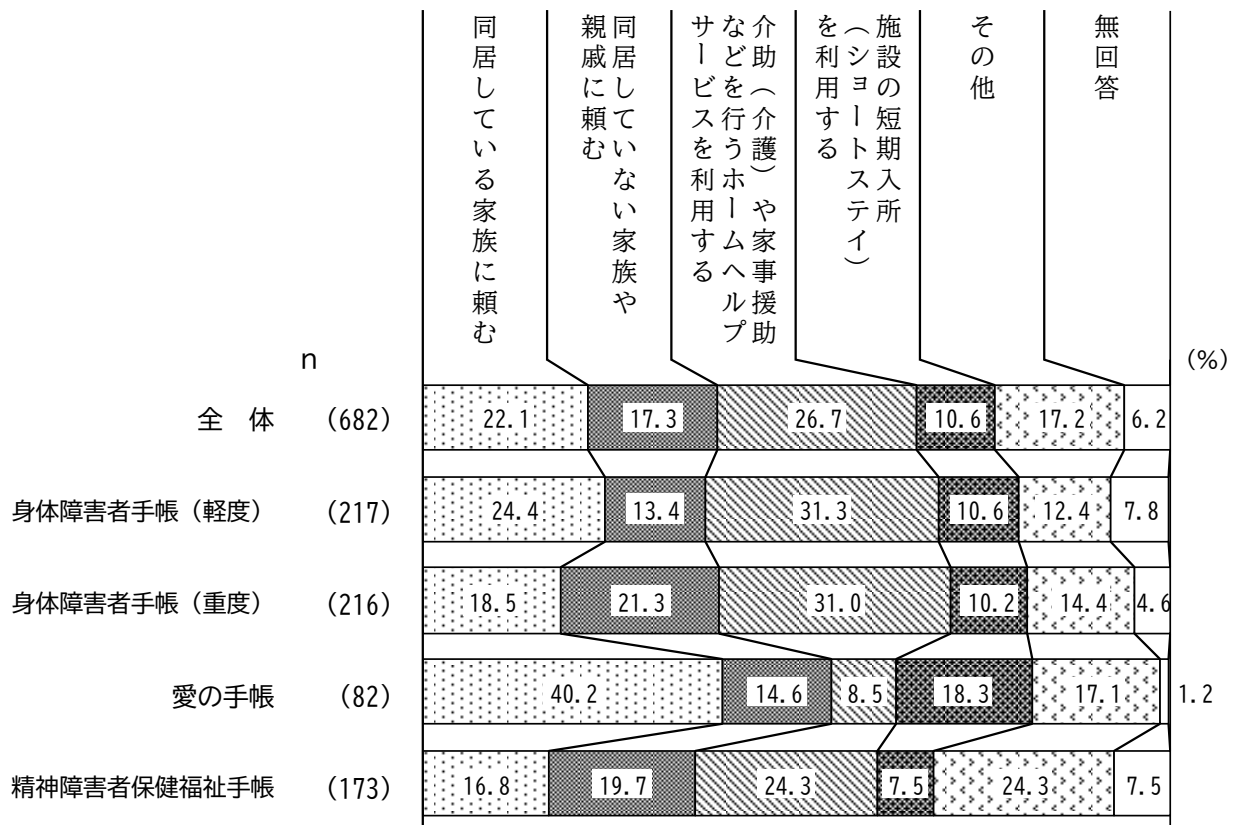
3.2. 主な介助者が介助困難になった場合の対処

◆主な介助者が介助困難になった場合の対処は「介助（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が2割半ば

（全員の方に）

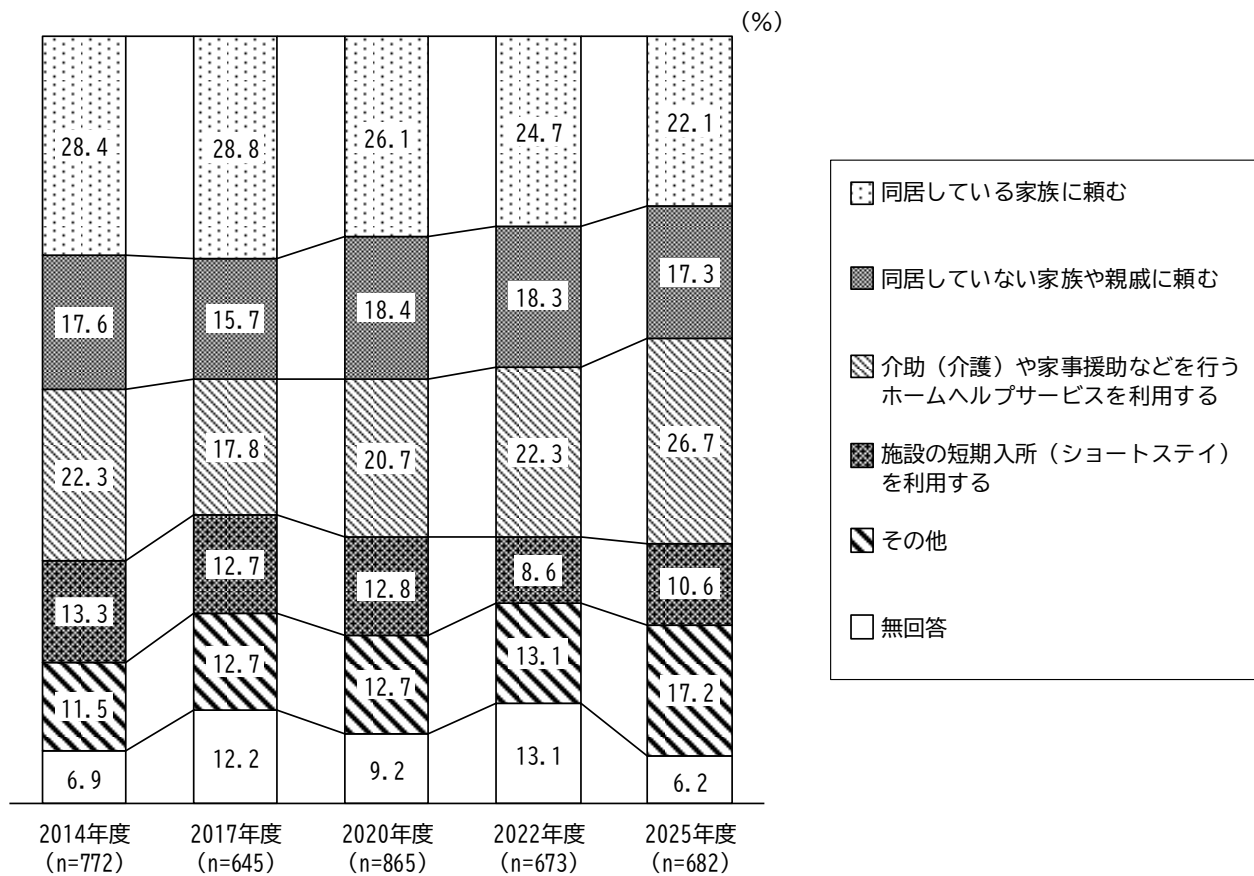
問 15. あなた（あて名の方ご本人）の主な介助者が急病・事故などで介助が困難になった場合、どのようにしたいですか。（○は1つ）

図 3-10 【所持手帳別】主な介助者が介助困難になった場合の対処



主な介助者が介助の継続が困難になった場合の対処としては、愛の手帳所持者では「同居している家族に頼む」が約4割で最も高くなっており、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）、精神障害者保健福祉手帳所持者では「介助（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が最も高くなっている。

図 3-11 【経年比較】主な介助者が介助困難になった場合の対処



主な介助者が介助困難になった場合の対処を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、「介助（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が4.4ポイント増加している。

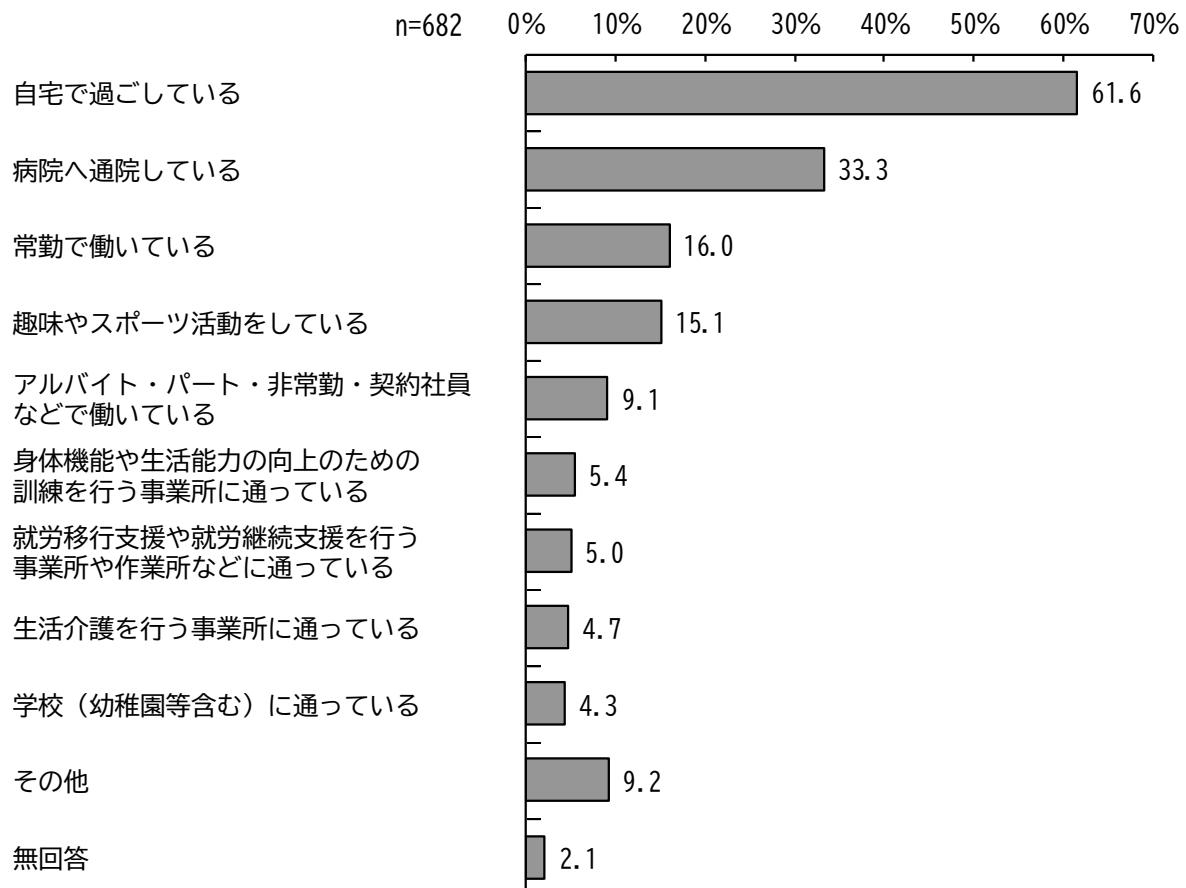
3.3. 平日の日中の過ごし方

◆平日の日中の主な過ごし方は「自宅で過ごしている」が最も高い

(全員の方に)

問 16. あなた（あて名の方ご本人）は、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

図 3-12 平日の日中の過ごし方



平日の日中の主な過ごし方は、「自宅で過ごしている」が約6割と最も高くなっており、次いで「病院へ通院している」「常勤で働いている」「趣味やスポーツ活動をしている」となっている。

図 3-13 【所持手帳別】上位 5 項目 平日の日中の過ごし方

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	自宅で過ごしている 66.8	病院へ通院している 33.2	趣味やスポーツ活動をしている 16.1	常勤で働いている 15.7	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 7.4
身体障害者手帳（重度） n=216	自宅で過ごしている 64.8	病院へ通院している 33.3	常勤で働いている 16.7	趣味やスポーツ活動をしている 15.7	身体機能や生活能力の向上のための訓練を行う事業所に通っている 10.2
愛の手帳 n=82	自宅で過ごしている 25.6	学校（幼稚園等含む）に通っている 23.2	生活介護を行う事業所に通っている 19.5	常勤で働いている／就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などに通っている 14.6	
精神障害者保健福祉手帳 n=173	自宅で過ごしている 67.1	病院へ通院している 42.2	常勤で働いている／趣味やスポーツ活動をしている 15.6		アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 14.5

平日の日中の過ごし方を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「自宅で過ごしている」が最も高くなっている。

図 3-14 【経年比較】上位 5 項目 平日の日中の過ごし方

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	自宅で過ごしている 61.6	病院へ通院している 33.3	常勤で働いている 16.0	趣味やスポーツ活動をしている 15.1	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2022年度 n=673	自宅で過ごしている 62.0	病院へ通院している 29.3	常勤で働いている 15.2	趣味やスポーツ活動をしている 13.1	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2020年度 n=865	自宅で過ごしている 63.1	病院へ通院している 32.8	常勤で働いている 13.2	趣味やスポーツ活動をしている 12.3	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2017年度 n=645	自宅で過ごしている 42.5	病院へ通院している 25.0	常勤で働いている 19.4	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 13.3	趣味やスポーツ活動をしている 11.6
2014年度 n=772	自宅で過ごしている 57.9	病院へ通院している 36.0	趣味やスポーツ活動をしている 15.2	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 11.9	常勤で働いている 9.8

平日の日中の過ごし方を経年比較でみると、いずれの年度においても「自宅で過ごしている」が最も高くなっている。

4. 外出状況について

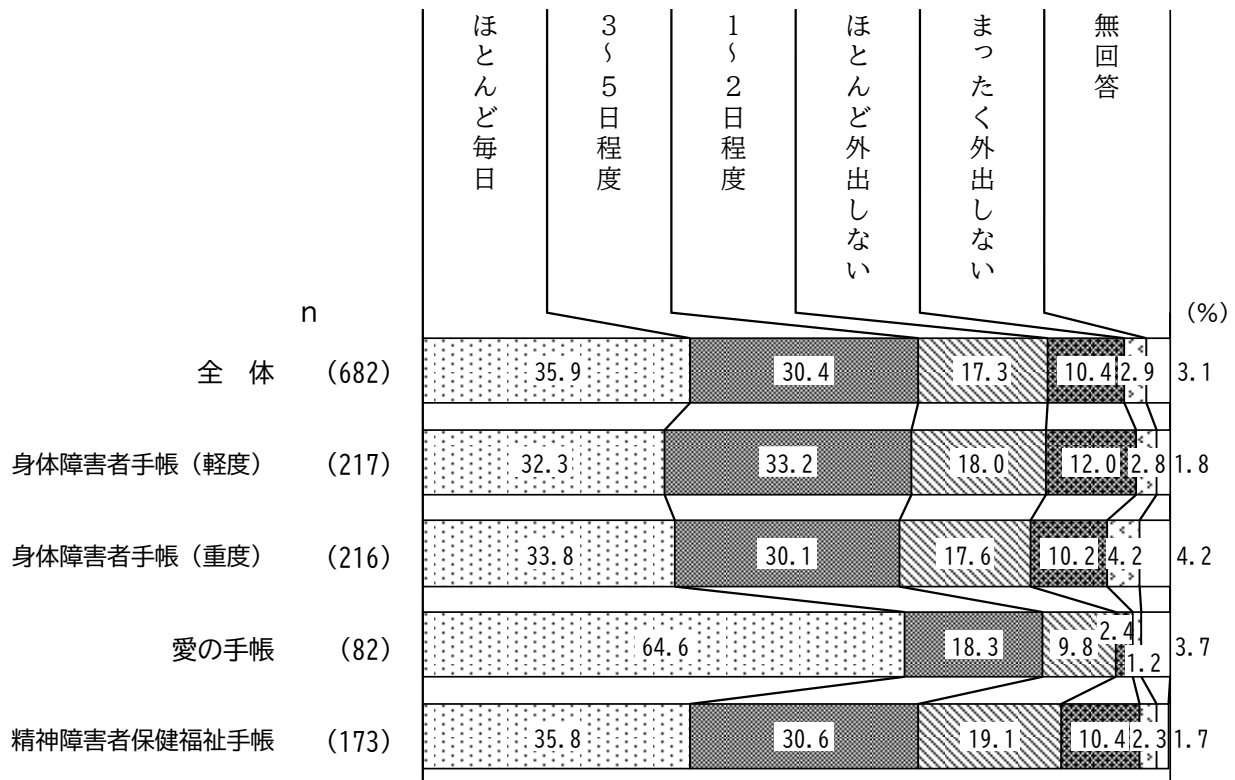
4.1. 外出の頻度

◆外出の頻度は「ほとんど毎日」が愛の手帳所持者で6割半ばと特に高い

(全員の方に)

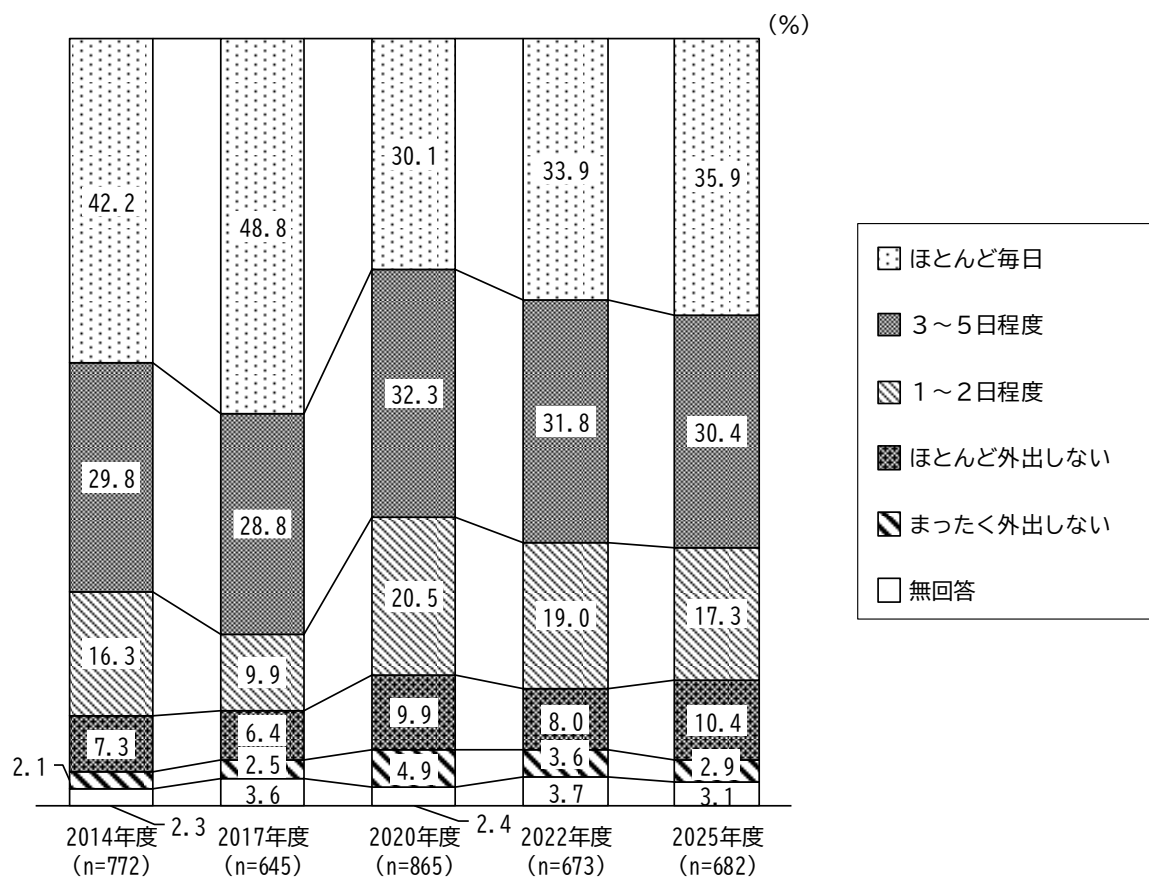
問17. あなた(あて名の方ご本人)は、一週間に、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

図4-1 【所持手帳別】外出の頻度



一週間の外出の頻度は、「ほとんど毎日」が愛の手帳所持者では6割半ばと、他の手帳所持者と比べて特に高くなっている。

図 4-2 【経年比較】外出の頻度



一週間の外出の頻度を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ大きな変化はみられない。

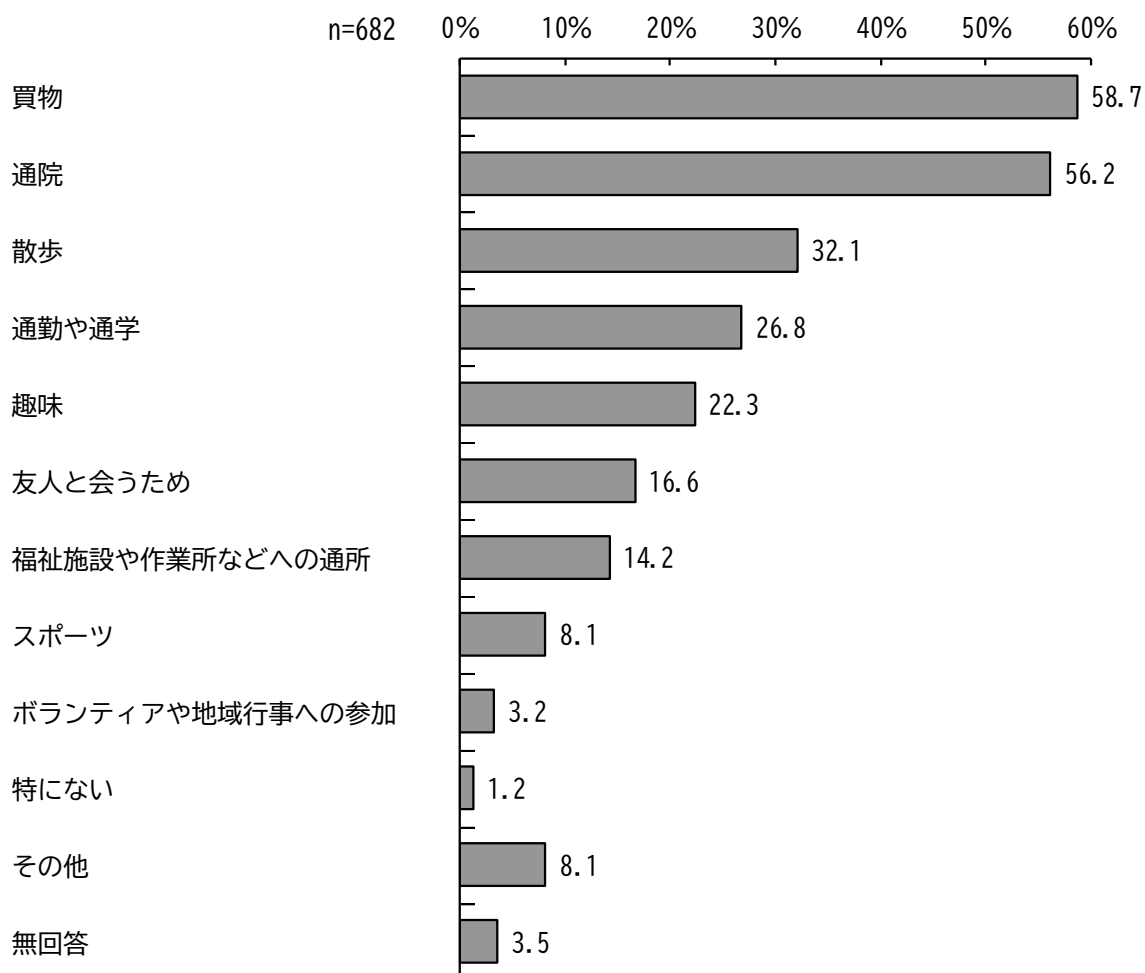
4.2. 外出の主な目的

◆外出の主な目的は「買物」「通院」が5割台

(全員の方に)

問 18. あなた（あて名の方ご本人）の外出の主な目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 4-3 外出の主な目的



外出の主な目的は、「買物」が最も高く、次いで「通院」「散歩」「通勤や通学」となっている。

図 4-4 【所持手帳別】上位 5 項目 外出の主な目的

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	買物 66.8	通院 58.1	散歩 32.3	通勤や通学 22.1	趣味 19.8
身体障害者手帳（重度） n=216	通院 56.9	買物 51.9	散歩 33.3	趣味 24.1	通勤や通学 21.3
愛の手帳 n=82	通勤や通学 48.8	福祉施設や作業 所などへの通所 40.2	買物 39.0	散歩 37.8	通院 29.3
精神障害者保健福祉手帳 n=173	通院 67.6	買物 64.7	通勤や通学 30.6	散歩 28.9	趣味／友人と会 うため 22.0

外出の主な目的を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（軽度）では「買物」が、愛の手帳所持者では「通勤や通学」が、身体障害者手帳所持者（重度）と精神障害者保健福祉手帳所持者では「通院」が最も高くなっている。

図 4-5 【経年比較】上位 5 項目 外出の主な目的

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	買物 58.7	通院 56.2	散歩 32.1	通勤や通学 26.8	趣味 22.3
2022年度 n=673	買物 63.9	通院 55.3	散歩 39.1	通勤や通学 26.0	趣味 21.1
2020年度 n=865	買物 56.8	通院 54.2	散歩 39.0	通勤や通学 22.4	趣味・スポーツ など 19.7
2017年度 n=645	買物 51.5	通院 46.2	通勤や通学 37.7	散歩 30.9	趣味・スポーツ など 27.1
2014年度 n=772	買物 58.2	通院 56.3	散歩 41.1	趣味・スポーツ など 24.1	通勤や通学 23.1

※2022 年度からは「趣味」と「スポーツ」の選択肢を分けて調査。
(2014～2020 年度の選択肢は「趣味・スポーツなど」)

外出の主な目的を経年比較でみると、いずれの年度においても「買物」が第 1 位、「通院」が第 2 位となっている。

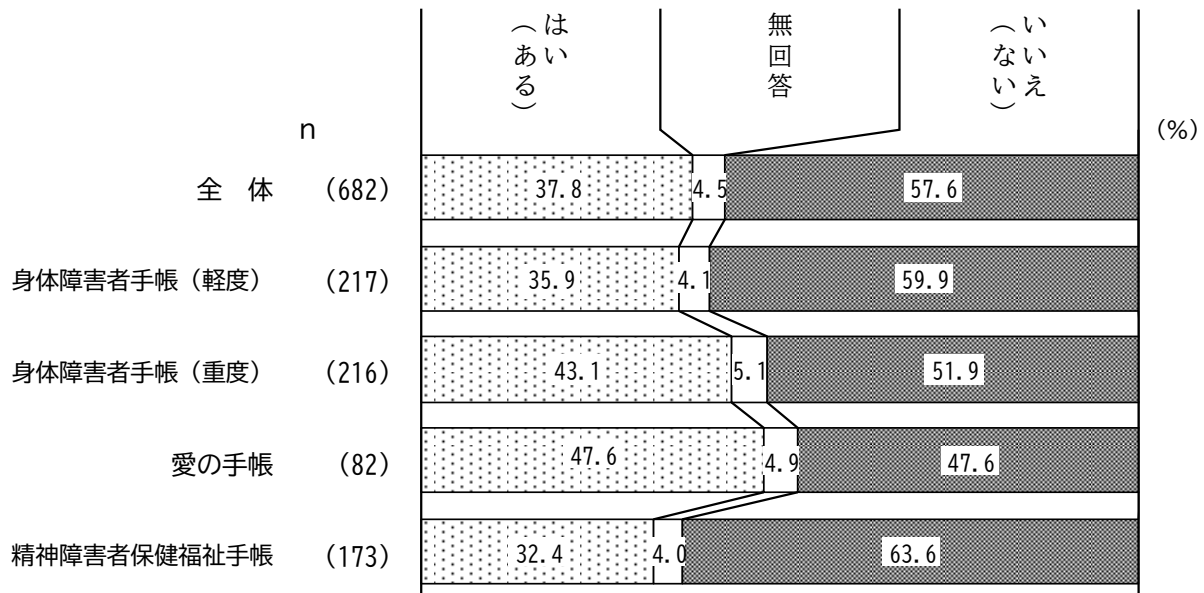
4.3. 外出する上での妨げの有無

◆外出する上での妨げは「ある」が3割台後半

(全員の方に)

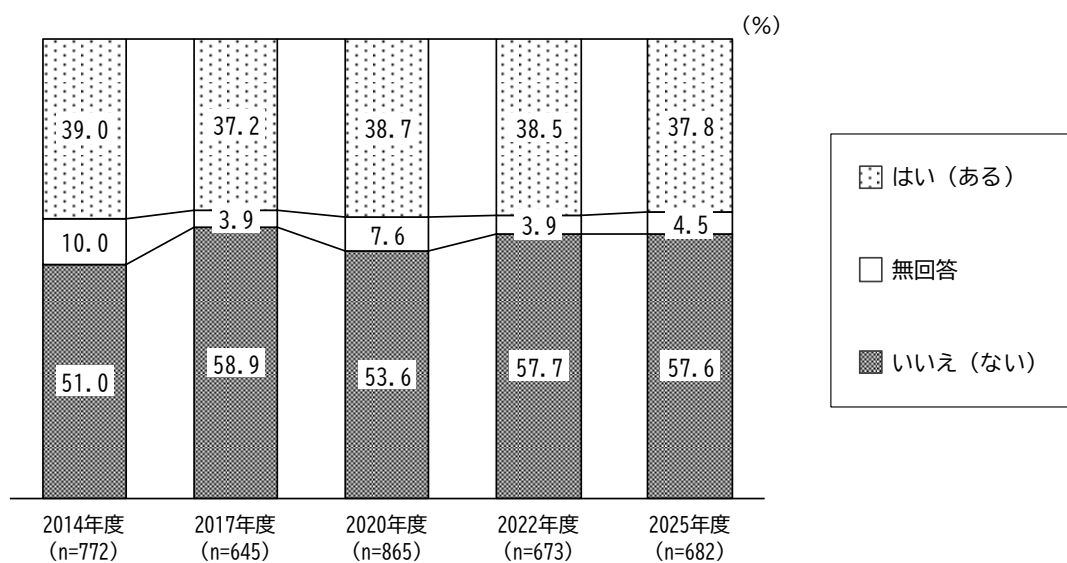
問19. あなた(あて名の方ご本人)が外出する上で妨げになっていることはありますか。(○は1つ)

図4-6 【所持手帳別】外出する上で妨げの有無



外出する上での妨げの有無は、愛の手帳所持者で「はい(ある)」と「いいえ(ない)」が同じ割合となっているが、他の手帳所持者は「いいえ(ない)」が「はい(ある)」を上回っている。

図4-7 【経年比較】外出する上で妨げの有無



外出する上での妨げの有無を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

4.3.1. 外出する上で妨げになっていること

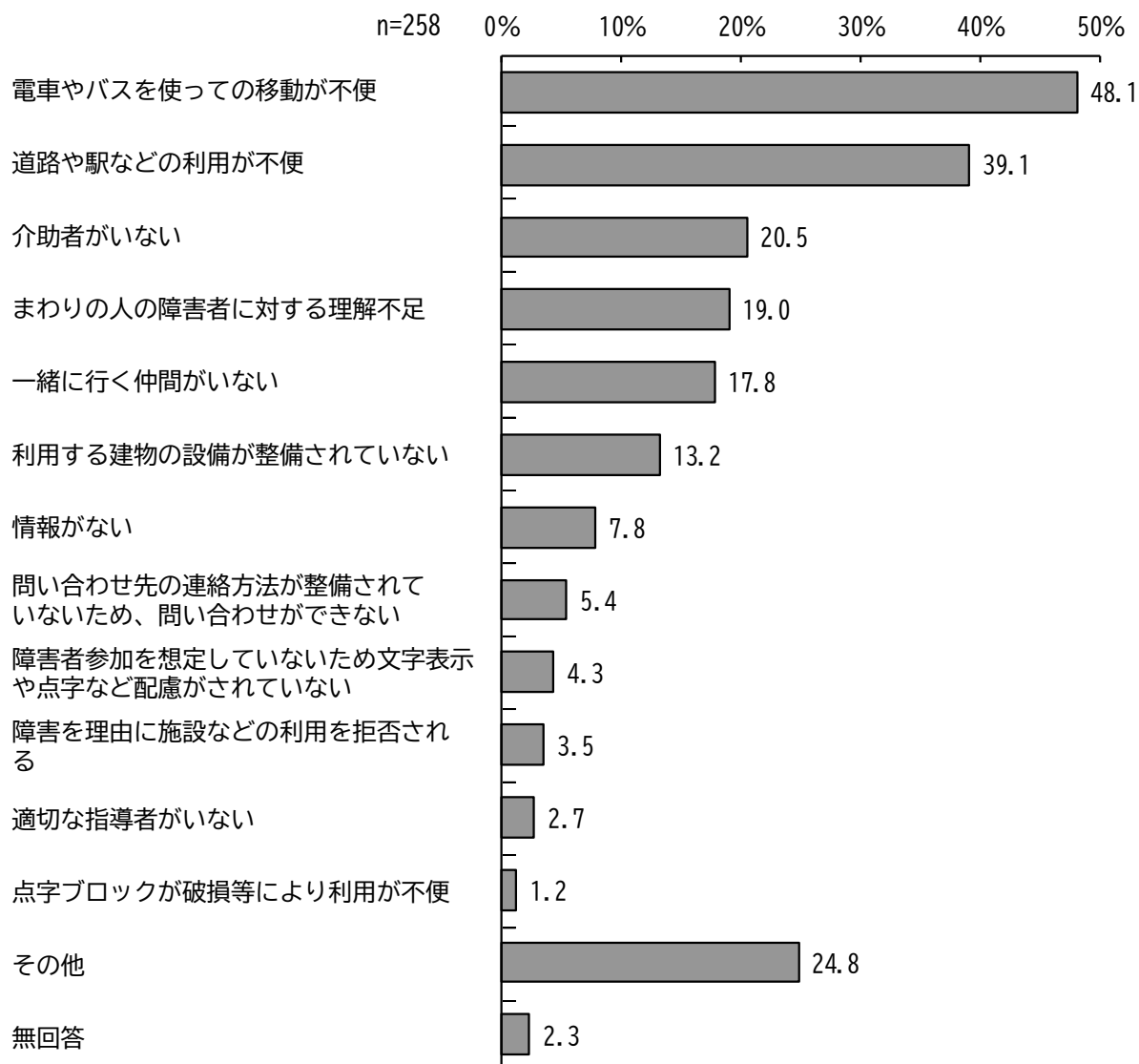
◆外出する上で妨げになっていることは「電車やバスを使っでの移動が不便」が4割台後半、「道路や駅などの利用が不便」が約4割

(問19で「1. はい」とお答えの方に)

問19-1. 外出する上で妨げになっていることは具体的にどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-8 外出する上で妨げになっていること



外出する上での妨げになっていることの内容をきいたところ、「電車やバスを使っでの移動が不便」が最も高くなっており、次いで「道路や駅などの利用が不便」「介助者がいない」「まわりの人の障害者に対する理解不足」となっている。

図 4-9 【所持手帳別】上位 5 項目 外出する上で妨げになっていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=78	電車やバスを 使った移動が 不便 51.3	道路や駅などの 利用が不便 43.6	介助者がいない 20.5	利用する建物の 設備が整備され ていない 19.2	まわりの人の障害 者に対する理解不 足／一緒に行く仲 間がいらない 16.7
身体障害者手帳（重度） n=93	電車やバスを 使った移動が 不便 51.6	道路や駅などの 利用が不便 47.3	介助者がいない 23.7	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 15.1	利用する建物の 設備が整備され ていない 14.0
愛の手帳 n=39	介助者がいない 41.0	電車やバスを 使った移動が 不便 38.5	一緒に行く仲間 がいらない 30.8	道路や駅などの利用が不便／ まわりの人の障害者に対する理解 不足 25.6	
精神障害者保健福祉手帳 n=56	電車やバスを 使った移動が 不便 44.6	道路や駅などの利用が不便／ まわりの人の障害者に対する理解 不足 26.8	一緒に行く仲間 がいらない 17.9	情報がいない 12.5	

外出する上で妨げになっていることを所持手帳別でみると、愛の手帳所持者では「介助者がいない」が最も高く、他の手帳所持者では「電車やバスを使った移動が不便」が最も高くなっている。

図 4-10 【経年比較】上位 5 項目 外出する上で妨げになっていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=258	電車やバスを 使った移動が 不便 48.1	道路や駅などの 利用が不便 39.1	介助者がいない 20.5	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 19.0	一緒に行く仲間 がいらない 17.8
2022年度 n=259	電車やバスを 使った移動が 不便 42.1	道路や駅などの 利用が不便 34.7	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 19.3	介助者がいない 17.4	一緒に行く仲間 がいらない 16.6
2020年度 n=335	電車やバスを 使った移動が 不便 46.3	道路や駅などの 利用が不便 40.0	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 21.2	介助者がいない 17.3	一緒に行く仲間 がいらない 15.5
2017年度 n=240	電車やバスを 使った移動が 不便 46.3	道路や駅などの 利用が不便 43.3	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 27.5	利用する建物の 設備が整備され ていない 20.8	一緒に行く仲間 がいらない 15.4
2014年度 n=301	電車やバスを 使った移動が 不便 35.9	道路や駅などの 利用が不便 32.6	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 28.2	一緒に行く仲間 がいらない 22.3	情報がいない 17.9

外出する上で妨げになっていることを経年比較でみると、いずれの年度においても「電車やバスを使った移動が不便」が第 1 位、「道路や駅などの利用が不便」が第 2 位となっている。

4.4. 外出の際の主な交通手段

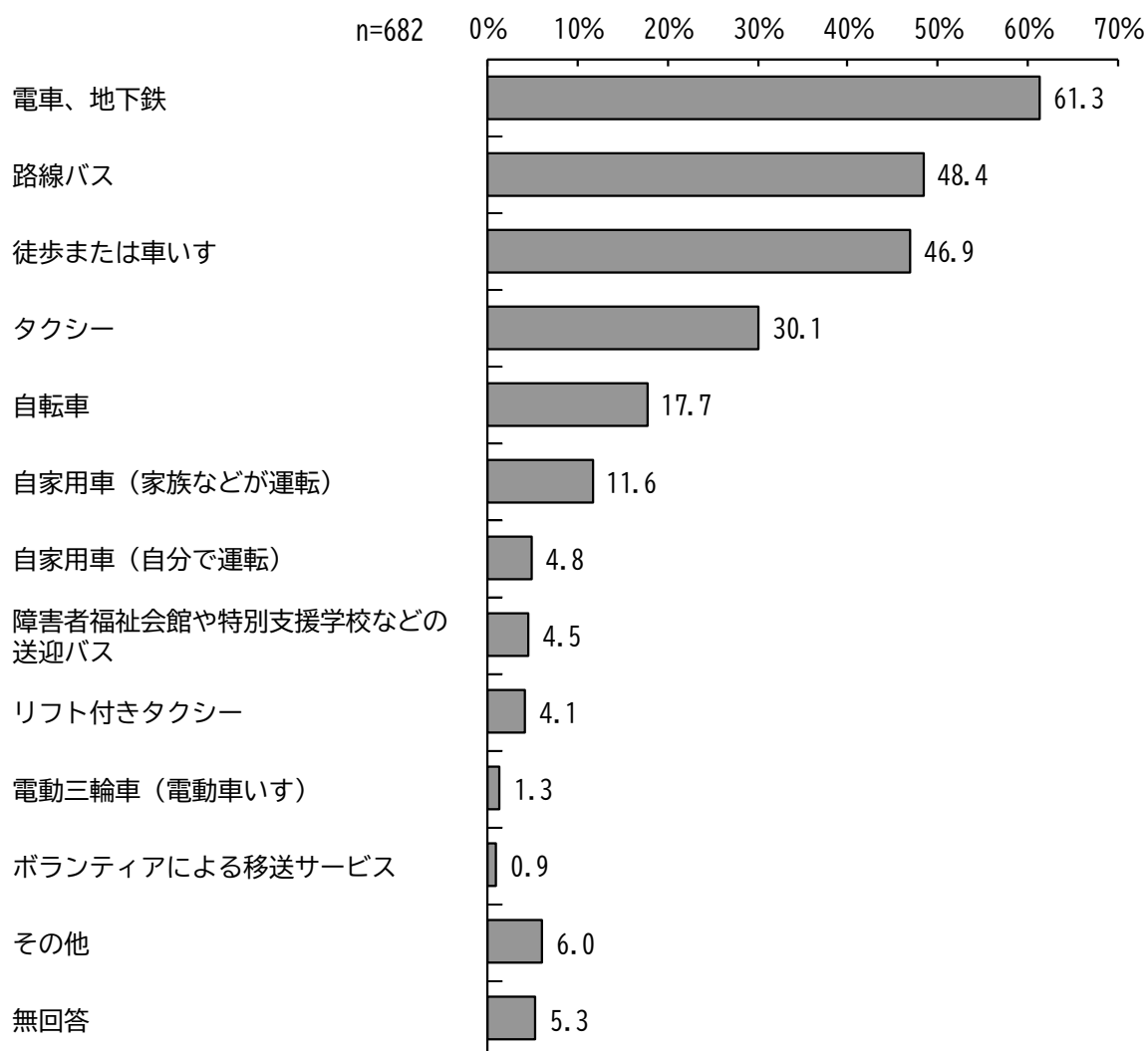
◆外出の際の主な交通手段は「電車・地下鉄」が最も高い

(全員の方に)

問 20. あなた（あて名の方ご本人）が、外出に利用する主な交通手段は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-11 外出の際の主な交通手段



外出する際の主な交通手段をきいたところ、「電車、地下鉄」が最も高く、次いで「路線バス」「徒歩または車いす」「タクシー」となっている。

図 4-12 【所持手帳別】上位 5 項目 外出の際の主な交通手段

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	電車、地下鉄 60.4	路線バス 53.5	徒歩または車いす 38.7	タクシー 32.3	自転車 16.1
身体障害者手帳（重度） n=216	電車、地下鉄 53.2	徒歩または車いす 48.6	タクシー 45.4	路線バス 42.1	自転車 13.0
愛の手帳 n=82	電車、地下鉄 63.4	徒歩または車いす 56.1	路線バス 51.2	自家用車（家族などが運転） 25.6	タクシー 22.0
精神障害者保健福祉手帳 n=173	電車、地下鉄 74.0	路線バス 50.9	徒歩または車いす 49.7	自転車 24.3	タクシー 16.2

外出の際の主な交通手段を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「電車、地下鉄」が最も高くなっている。愛の手帳所持者では「自家用車（家族などが運転）」が他の手帳所持者と比べ高くなっている。

図 4-13 【経年比較】上位 5 項目 外出の際の主な交通手段

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	電車、地下鉄 61.3	路線バス 48.4	徒歩または車いす 46.9	タクシー 30.1	自転車 17.7
2022年度 n=673	電車、地下鉄 60.6	路線バス 52.5	徒歩または車いす 45.0	タクシー 36.3	自転車 18.7
2020年度 n=865	電車、地下鉄 57.0	路線バス 50.4	徒歩または車いす 40.9	タクシー 35.3	自転車 19.2
2017年度 n=645	電車、地下鉄 73.0	路線バス 51.8	徒歩または車いす 46.0	タクシー 28.2	自転車 22.0
2014年度 n=772	電車、地下鉄 68.1	路線バス 58.5	徒歩または車いす 37.8	タクシー 37.2	自転車 20.5

外出の際の主な交通手段を経年比較でみると、いずれの年度でも上位 5 位は同じ順位となっている。

5. 働くことについて

5.1. 就労による定期的な収入の有無

◆就労による定期的な収入がある方は、生産年齢人口でみると5割半ば

(全員の方に)

問 21. あなた(あて名の方ご本人)は、給料など就労による定期的な収入はありますか。(○は1つ)

図 5-1 【所持手帳別】収入の有無

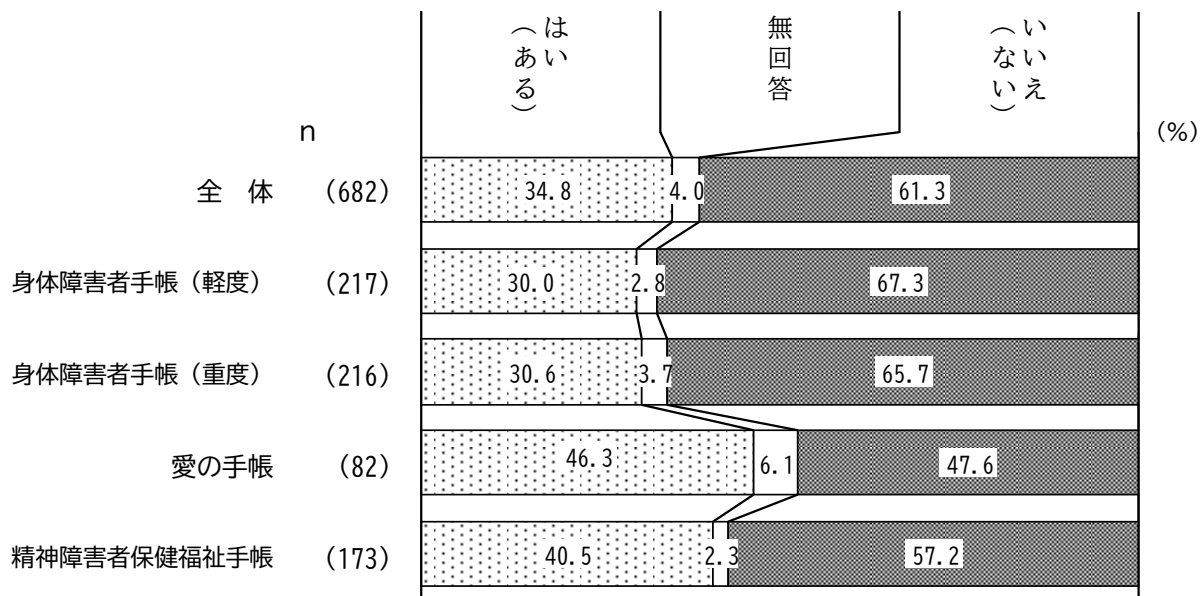
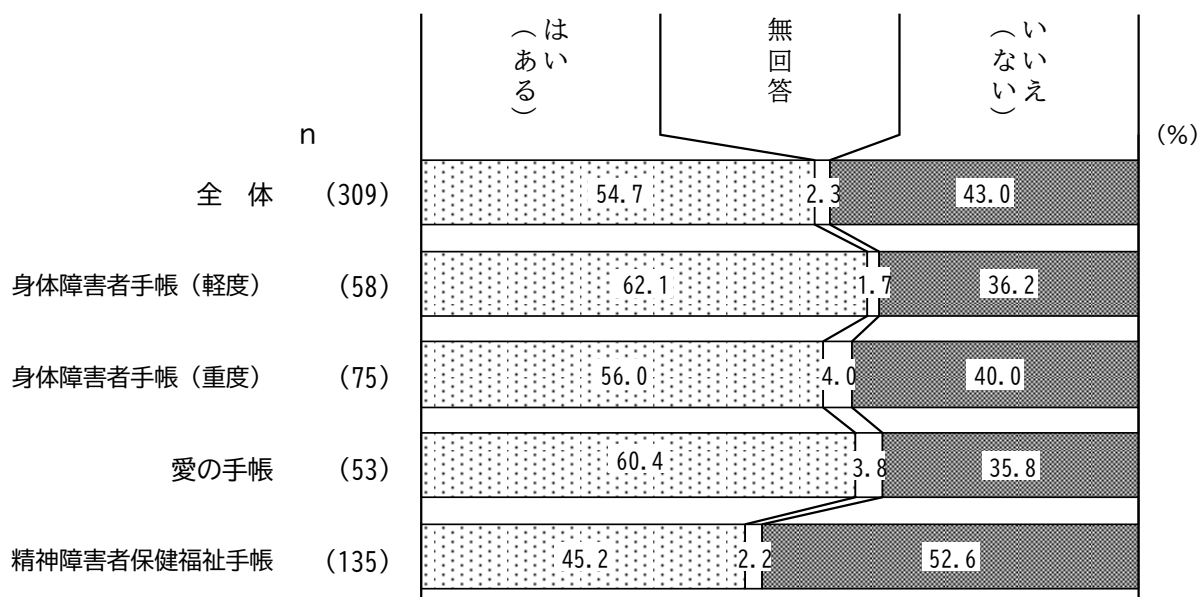
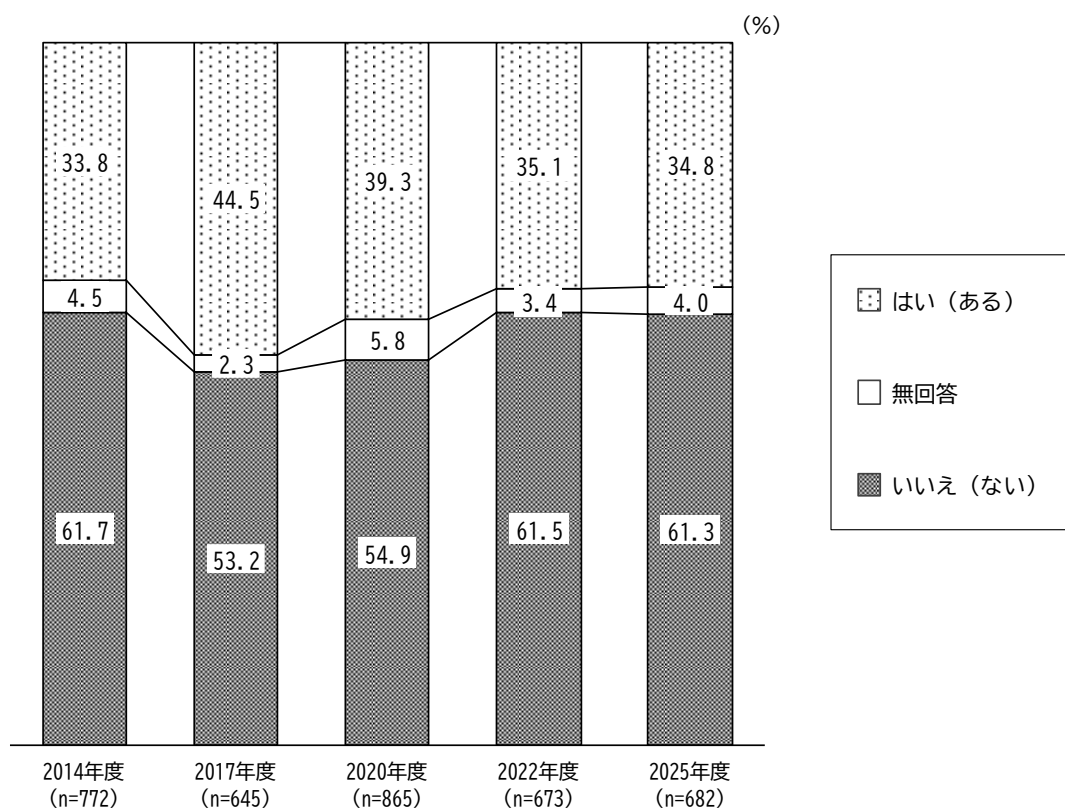


図 5-2 【所持手帳別】生産年齢人口(15歳以上65歳未満)における収入の有無



生産年齢人口(15歳以上65歳未満)における収入の有無は、全体では「はい(ある)」が5割半ばとなっている。精神障害者保健福祉手帳所持者では「いいえ(ない)」が他の手帳所持者に比べて高くなっている。

図 5-3 【経年比較】就労による定期的な収入の有無



就労による定期的な収入の有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ大きな変化はみられない。

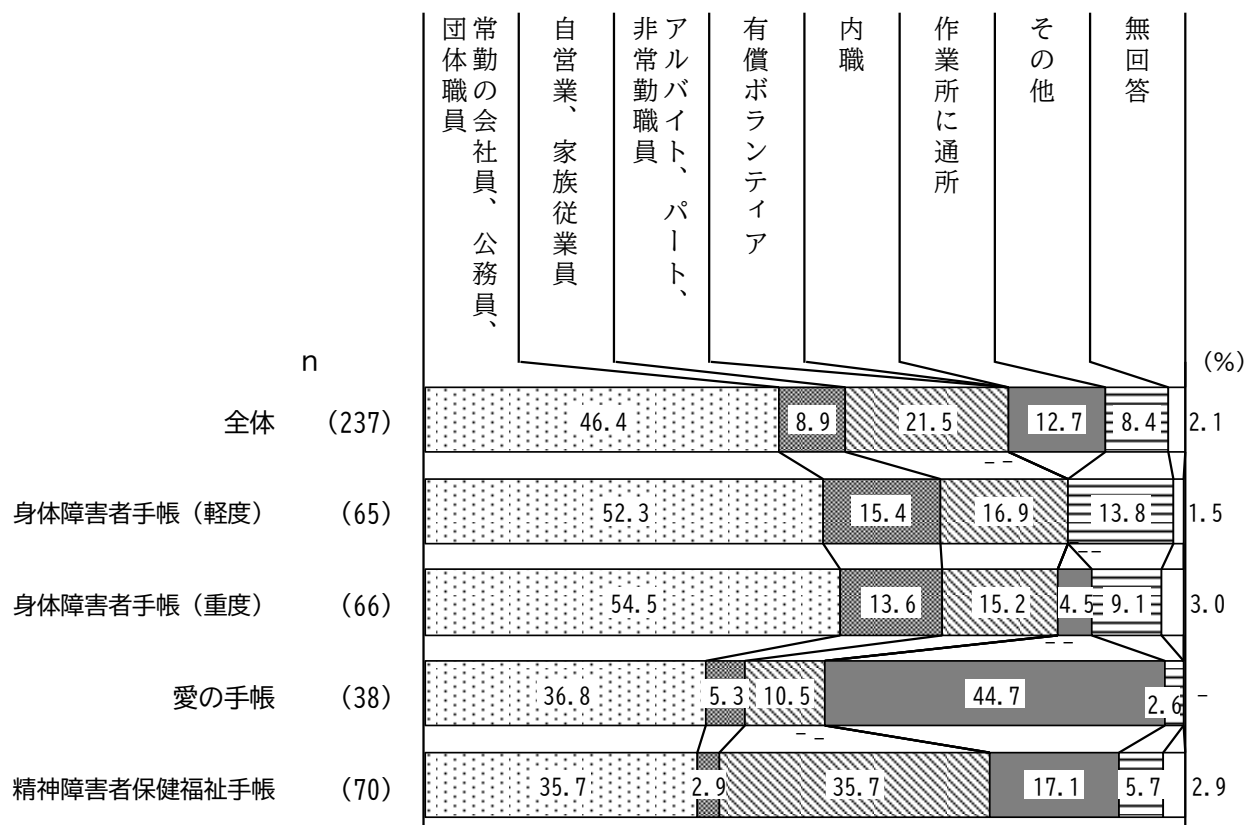
5.1.1. 現在の就労形態

◆就労形態は所持手帳により違いがみられる

(問21で「1. はい」とお答えの方に)

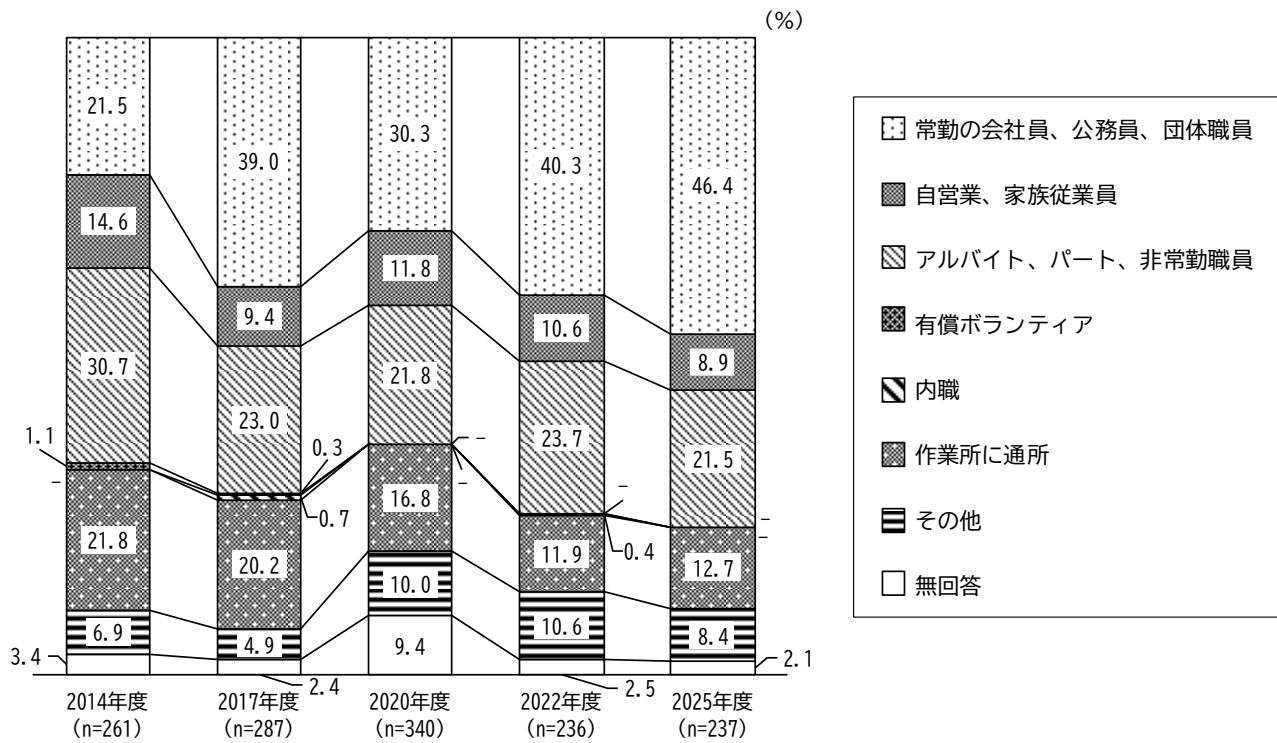
問21-1. あなた(あて名の方ご本人)の現在の就労形態をお答えください。(○は1つ)

図5-4 【所持手帳別】現在の就労形態



定期的な収入があると回答された方に、就労形態をきいたところ、身体障害者手帳所持者では「常勤の会社員、公務員、団体職員」が、愛の手帳所持者では「作業所に通所」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「常勤の会社員、公務員、団体職員」と「アルバイト、パート、非常勤職員」が最も高くなっている。

図 5-5 【経年比較】現在の就労形態



現在の就労形態を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ「常勤の会社員、公務員、団体職員」が約 6 ポイント増加している。

5.1.2. 仕事を見つけた方法

◆仕事を見つけた方法は愛の手帳所持者では「学校の紹介」が最も高い

(問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-2. あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事をどのような方法で見つけましたか。

(○は1つ)

図5-6 【所持手帳別】仕事を見つけた方法

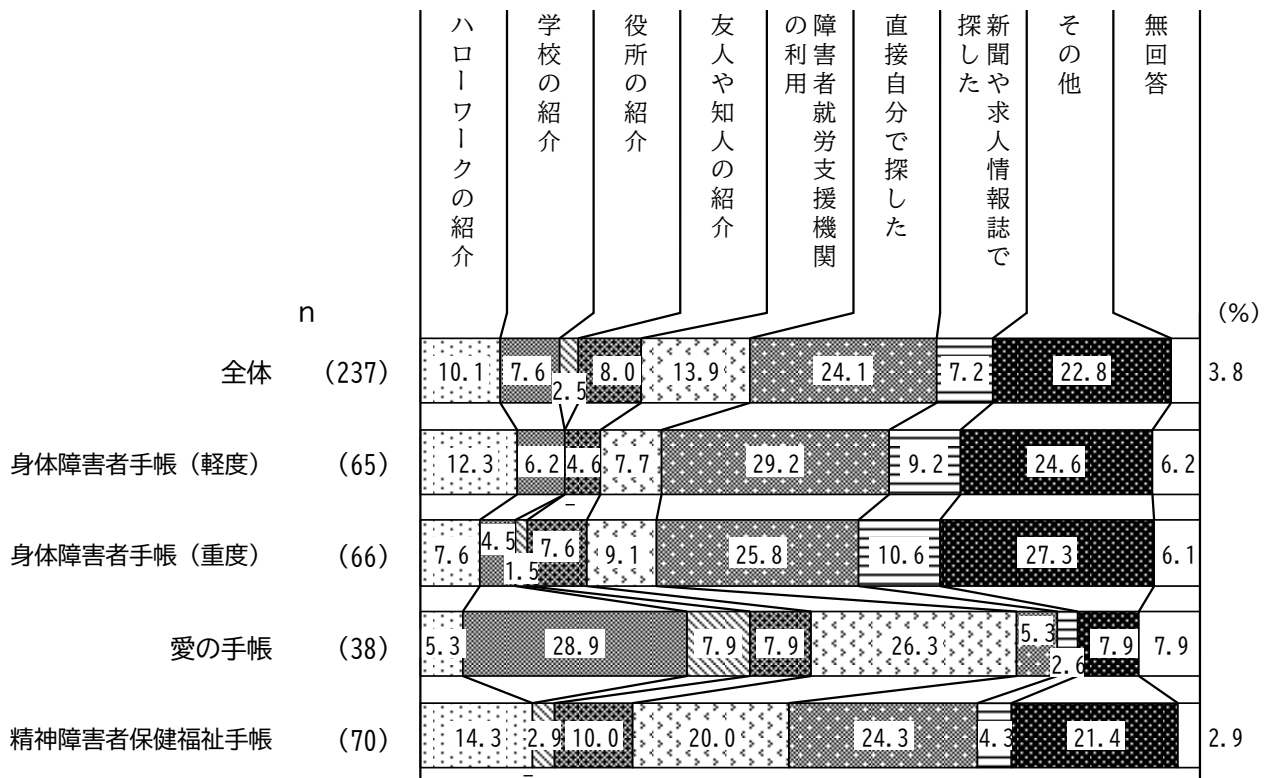


図5-7 【所持手帳別】上位5項目 仕事を見つけた方法

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=65	直接自分で探した 29.2	ハローワークの紹介 12.3	新聞や求人情報誌で探した 9.2	障害者就労支援機関の利用 7.7	学校の紹介 6.2
身体障害者手帳(重度) n=66	直接自分で探した 25.8	新聞や求人情報誌で探した 10.6	障害者就労支援機関の利用 9.1	ハローワークの紹介／友人や知人の紹介 7.6	
愛の手帳 n=38	学校の紹介 28.9	障害者就労支援機関の利用 26.3	役所の紹介／友人や知人の紹介 7.9	ハローワークの紹介／直接自分で探した 5.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=70	直接自分で探した 24.3	障害者就労支援機関の利用 20.0	ハローワークの紹介 14.3	友人や知人の紹介 10.0	新聞や求人情報誌で探した 4.3

現在、就労されている方に仕事を見つけた方法をきいたところ、愛の手帳所持者では「学校の紹介」、他の手帳所持者では「直接自分で探した」が最も高くなっている。

図 5-8 【経年比較】上位 5 項目 仕事を見つけた方法

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=237	直接自分で探した 24.1	障害者就労支援 機関の利用 13.9	ハローワークの 紹介 10.1	友人や知人の紹 介 8.0	学校の紹介 7.6
2022年度 n=236	直接自分で探した 21.2	障害者就労支援 機関の利用 15.3	ハローワークの 紹介 11.4	学校の紹介 9.7	友人や知人の紹 介 5.9
2020年度 n=340	直接自分で探した 18.5	障害者就労支援 機関の利用 16.5	学校の紹介 8.8	友人や知人の紹 介 7.9	ハローワークの 紹介 6.8
2017年度 n=287	直接自分で探した 20.9	障害者就労支援 機関の利用 15.7	学校の紹介 13.6	ハローワークの 紹介 10.1	友人や知人の紹 介 8.7
2014年度 n=261	直接自分で探した 14.2	学校の紹介 13.8	障害者就労支援 機関の利用 13.4	ハローワークの 紹介 11.5	友人や知人の紹 介 7.3

仕事を見つけた方法を経年比較でみると、いずれの年度においても「直接自分で探した」が最も高くなっている。

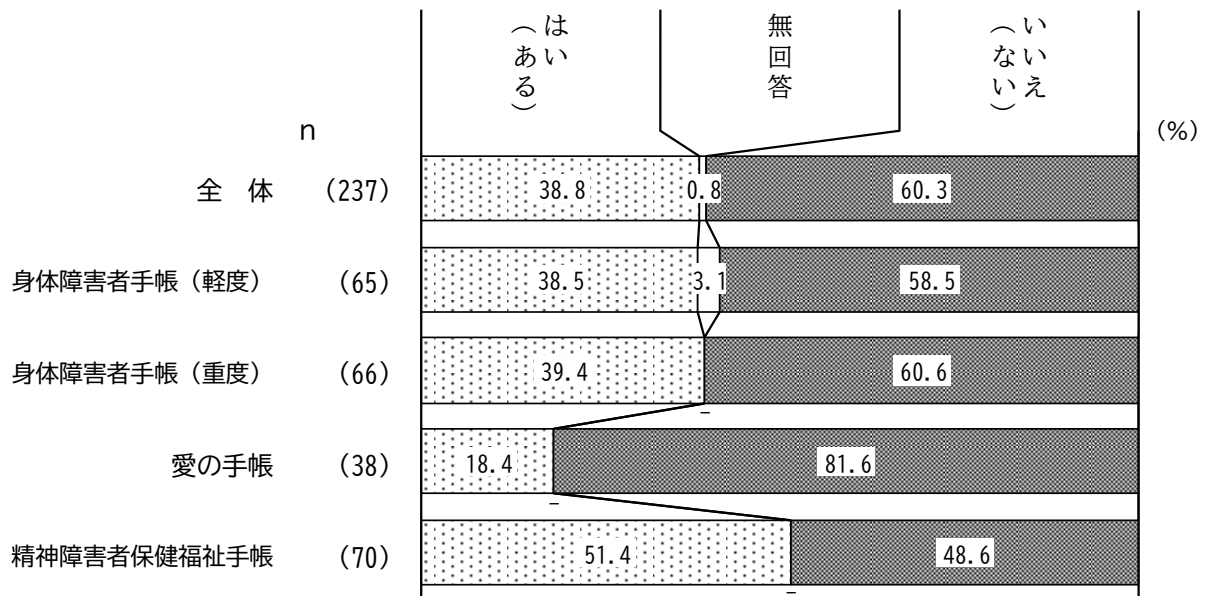
5.1.3. 仕事や職場への不安や不満の有無

◆仕事や職場への不安や不満は「いいえ（ない）」が約6割

（問21で「1. はい」とお答えの方に）

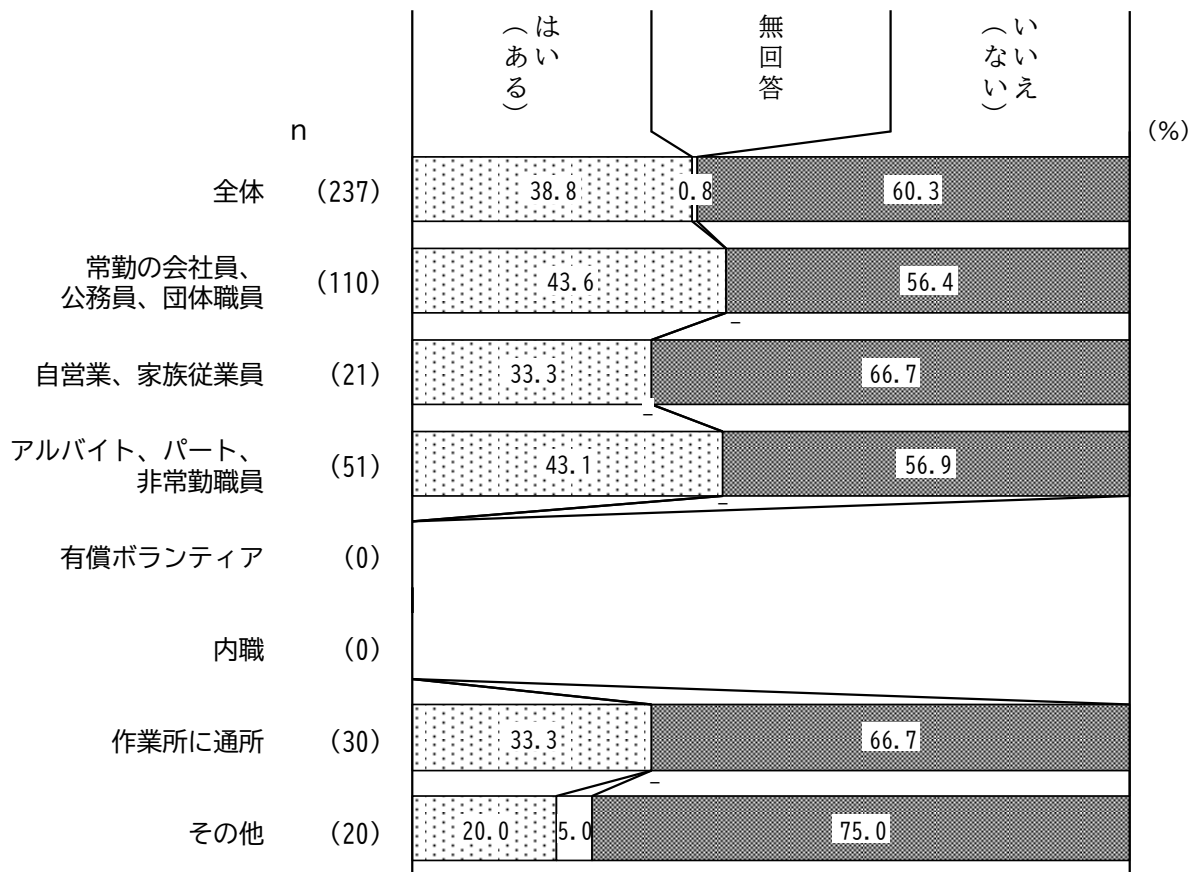
問21-3. あなた（あて名の方ご本人）は、現在の仕事に関して不安や不満はありますか。（○は1つ）

図5-9 【所持手帳別】仕事や職場への不安や不満の有無



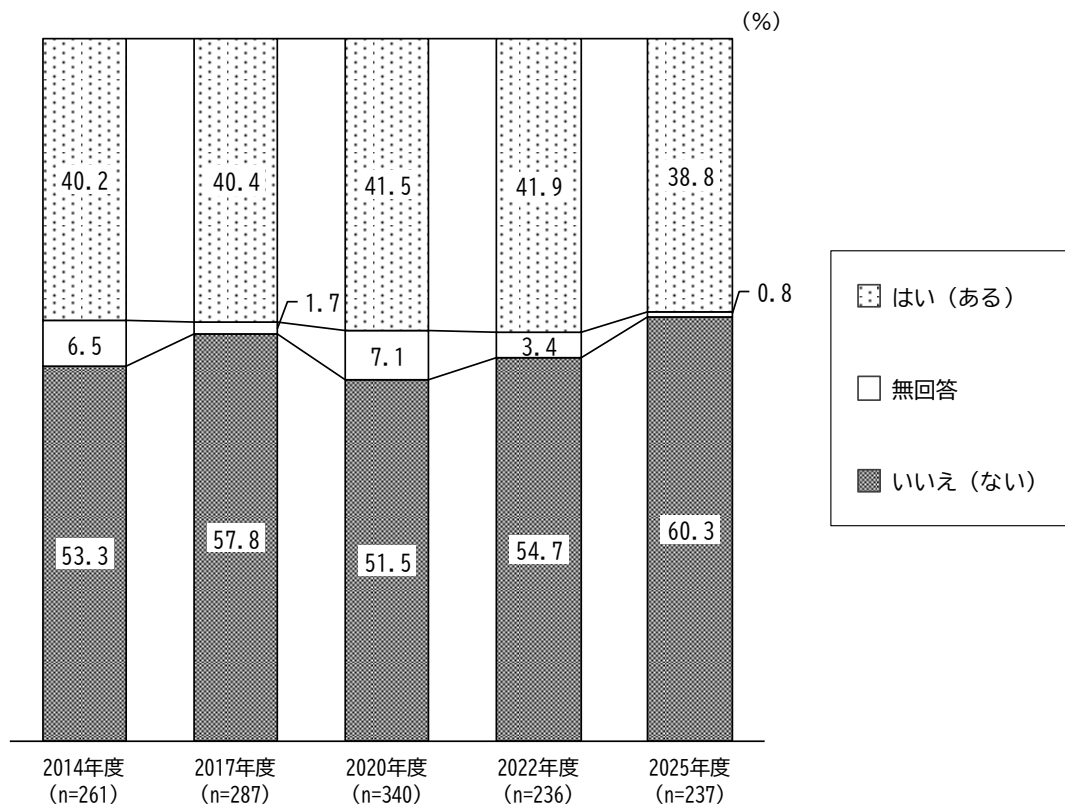
現在、就労されている方に仕事の不安や不満の有無をきいたところ、全体としては「いいえ（ない）」が約6割となっているが、精神障害者保健福祉手帳所持者で「はい（ある）」が約5割と高くなっており、「いいえ（ない）」を上回っている。

図 5-10 【就労形態別】仕事や職場への不安や不満の有無



仕事の不安や不満の有無を就労形態別でみると、「常勤の会社員、公務員、団体職員」と「アルバイト、パート、非常勤職員」で「はい（ある）」が4割台前半となっている。

図 5-11 【経年比較】仕事や職場への不安や不満の有無



仕事や職場への不安や不満の有無を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ、「いいえ（ない）」が 5.6 ポイント増加している。

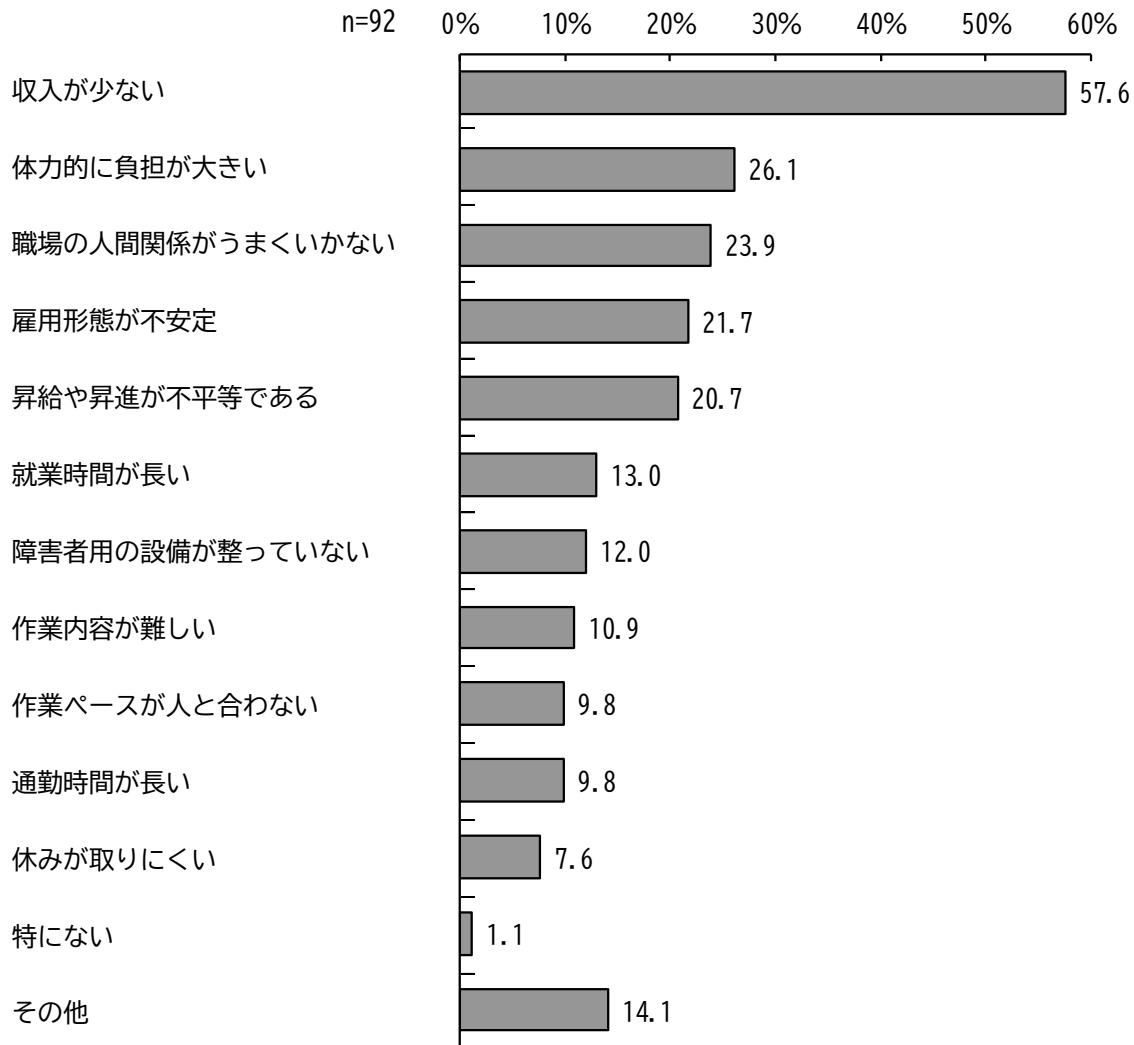
5.1.3.1. 仕事や職場への不安や不満

◆仕事や職場への不安や不満は「収入が少ない」が最も高い

(問 21-3 で「1. はい」とお答えの方に)

問 21-3-1. あなた（あて名の方ご本人）は、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 5-12 仕事や職場への不安や不満



仕事や職場への不安や不満があると回答した方に、その内容をきいたところ、「収入が少ない」が最も高くなっており、次いで「体力的に負担が大きい」「職場の人間関係がうまくいかない」「雇用形態が不安定」となっている。

図 5-13 【所持手帳別】上位 5 項目 仕事や職場への不安や不満

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=25	収入が少ない 56.0	昇給や昇進が不 平等である 28.0	体力的に負担が 大きい 24.0	職場の人間関係がうまくいかない ／障害者用の設備が整っていない	20.0
身体障害者手帳（重度） n=26	収入が少ない 50.0	体力的に負担が大きい／ 昇給や昇進が不平等である 23.1	休みが取りにくい／ 障害者用の設備が整っていない	19.2	
愛の手帳 n=7	収入が少ない 71.4	雇用形態が不安 定 28.6	作業内容が難しい／職場の人間関係がうまくいかない ／障害者用の設備が整っていない	14.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=36	収入が少ない 66.7	体力的に負担が 大きい 30.6	職場の人間関係がうまくいかない ／雇用形態が不安定 27.8	作業ペースが人 と合わない 22.2	

仕事や職場への不安や不満の内容を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「収入が少ない」の割合が最も高くなっている。

図 5-14 【経年比較】上位 5 項目 仕事や職場への不安や不満

<身体障害者手帳>

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度（軽度） n=25	収入が少ない 56.0	昇給や昇進が不 平等である 28.0	体力的に負担が 大きい 24.0	職場の人間関係がうまくいかない ／障害者用の設備が整っていない	20.0
2025年度（重度） n=26	収入が少ない 50.0	体力的に負担が大きい／ 昇給や昇進が不平等である 23.1	休みが取りにくい／ 障害者用の設備が整っていない	19.2	
2022年度（軽度） n=36	収入が少ない 63.9	体力的に負担が 大きい 30.6	就業時間が長い 25.0	昇給や昇進が不 平等である 19.4	雇用形態が不安 定 16.7
2022年度（重度） n=26	収入が少ない 42.3	職場の人間関係がうまくいかない ／体力的に負担が大きい 23.1	就業時間が長い 19.2	作業内容が難しい ／休みが取りにく い／作業ペースが 人と合わない／昇 給や昇進が不平等 である 11.5	
2020年度（軽度） n=42	収入が少ない 47.6	体力的に負担が 大きい 16.7	休みが取りにく い 14.3	昇給や昇進が不 平等である 11.9	雇用形態が不安 定 9.5
2020年度（重度） n=41	収入が少ない 43.9	体力的に負担が 大きい 26.8	職場の人間関係 がうまくいかな い 14.6	昇給や昇進が不 平等である 12.2	雇用形態が不安 定 9.8
2017年度（軽度） n=48	収入が少ない 43.8	体力的に負担が 大きい 33.3	休みが取りにくい／昇給や昇進が 不平等である 22.9	就業時間が長い 20.8	
2017年度（重度） n=37	収入が少ない 56.8	昇給や昇進が不 平等である 32.4	休みが取りにく い 29.7	雇用形態が不安 定 24.3	体力的に負担が 大きい 21.6
2014年度（軽度） n=29	収入が少ない 69.0	体力的に負担が 大きい 31.0	昇給や昇進が不 平等である 27.6	休みが取りにく い 24.1	就業時間が長い／ 雇用形態が不安定 20.7
2014年度（重度） n=21	収入が少ない 57.1	体力的に負担が大きい／雇用形態 が不安定 14.3	休みが取りにくい／就業時間が長い ／職場の人間関係がうまくいかない ／通勤時間が長い 9.5		

<愛の手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2025年度 n=7	収入が少ない 71.4	雇用形態が不安定 28.6	作業内容が難しい／職場の人間関係がうまくいかない／障害者用の設備が整っていない		14.3
2022年度 n=12	収入が少ない 66.7	作業内容が難しい／就業時間が長い 16.7	休みが取りにくい／体力的に負担が大きい／障害者用の設備が整っていない／昇給や昇進が不平等である		8.3
2020年度 n=26	収入が少ない 46.2	体力的に負担が大きい 11.5	作業内容が難しい／作業ペースが人と合わない／雇用形態が不安定／昇給や昇進が不平等である／通勤時間が長い		7.7
2017年度 n=18	収入が少ない 55.6	体力的に負担が大きい 22.2	休みが取りにくい／職場の人間関係がうまくいかない 16.7	通勤時間が長い 11.1	
2014年度 n=28	収入が少ない 46.4	職場の人間関係がうまくいかない 32.1	作業ペースが人と合わない／障害者用の設備が整っていない／通勤時間が長い		17.9

<精神障害者保健福祉手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2025年度 n=36	収入が少ない 66.7	体力的に負担が大きい 30.6	職場の人間関係がうまくいかない／雇用形態が不安定 27.8	作業ペースが人と合わない	22.2
2022年度 n=33	収入が少ない 54.5	体力的に負担が大きい 39.4	職場の人間関係がうまくいかない 33.3	就業時間が長い 27.3	休みが取りにくい 24.2
2020年度 n=38	収入が少ない 60.5	職場の人間関係がうまくいかない 31.6	体力的に負担が大きい 21.1	雇用形態が不安定／昇給や昇進が不平等である	18.4
2017年度 n=21	収入が少ない 76.2	体力的に負担が大きい 42.9	休みが取りにくい／職場の人間関係がうまくいかない 38.1	雇用形態が不安定	23.8
2014年度 n=34	収入が少ない 76.5	雇用形態が不安定 47.1	体力的に負担が大きい 29.4	職場の人間関係がうまくいかない 23.5	休みが取りにくい／就業時間が長い 20.6

仕事や職場への不安や不満の内容を経年比較でみると、すべての手帳所持者においていずれの年度も「収入が少ない」が最も高くなっている。

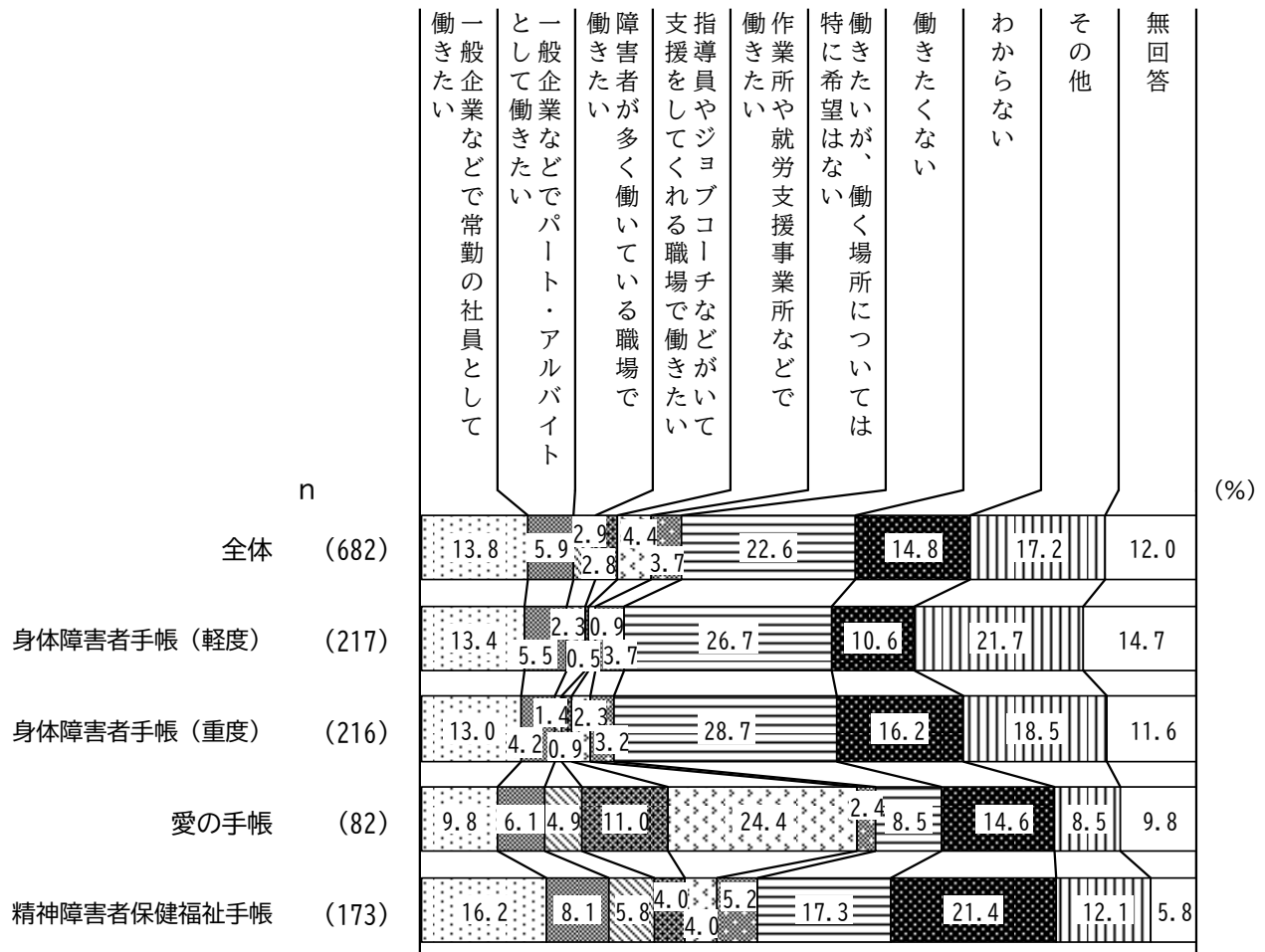
5.2. 希望する働き方

◆希望する働き方は、「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が1割台前半

(全員の方に)

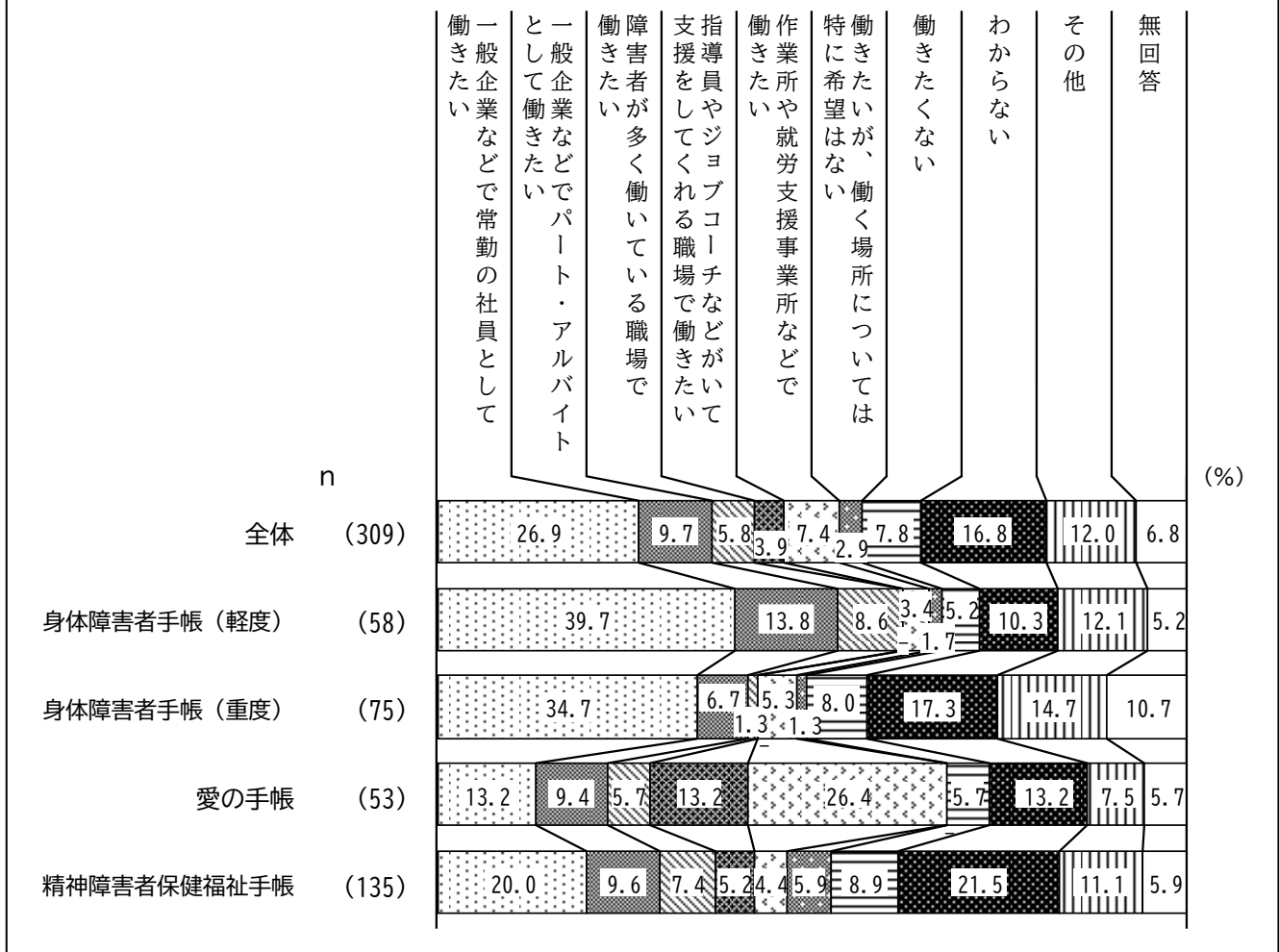
問 22. あなた（あて名の方のご本人）は、今後、どのように働きたいと思いますか。（○は1つ）

図 5-15 【所持手帳別】希望する働き方



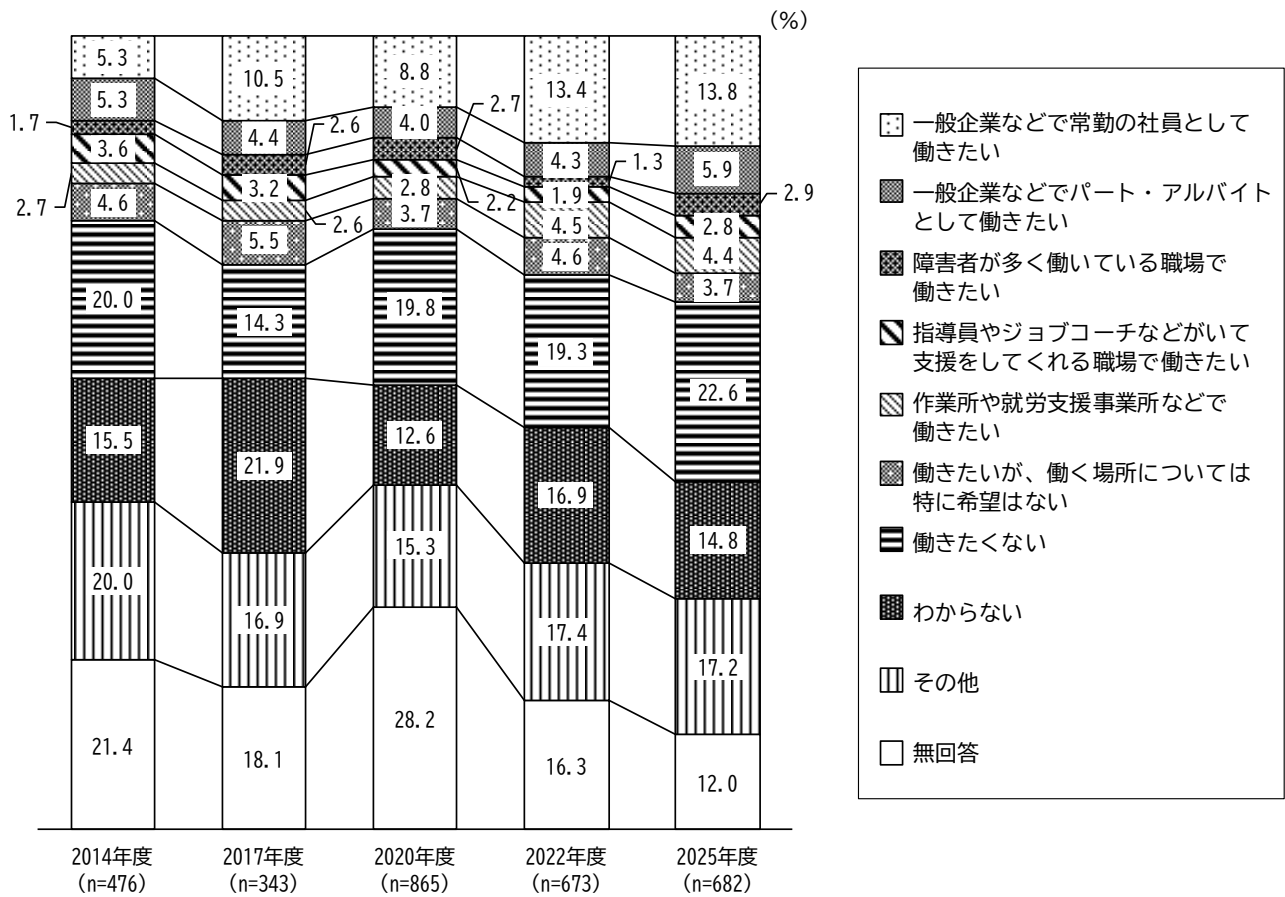
現在、就労されていない方に希望する働き方をきいたところ、全体では「働きたくない」が2割台前半で最も高く、「働きたい」の中では、「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が1割台前半と最も高くなっている。所持手帳別では、愛の手帳所持者で「作業所や就労支援事業所などで働きたい」が2割半ばで最も高くなっている。

図 5-16 【所持手帳別】生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満）の希望する働き方



生産年齢人口の希望する働き方をきいたところ、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）では「一般企業などで常勤の社員として働きたい」、愛の手帳所持者では「作業所や就労支援事業所などで働きたい」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「わからない」が最も高くなっている。

図 5-17 【経年比較】希望する働き方



希望する働き方を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ大きな変化はみられない。

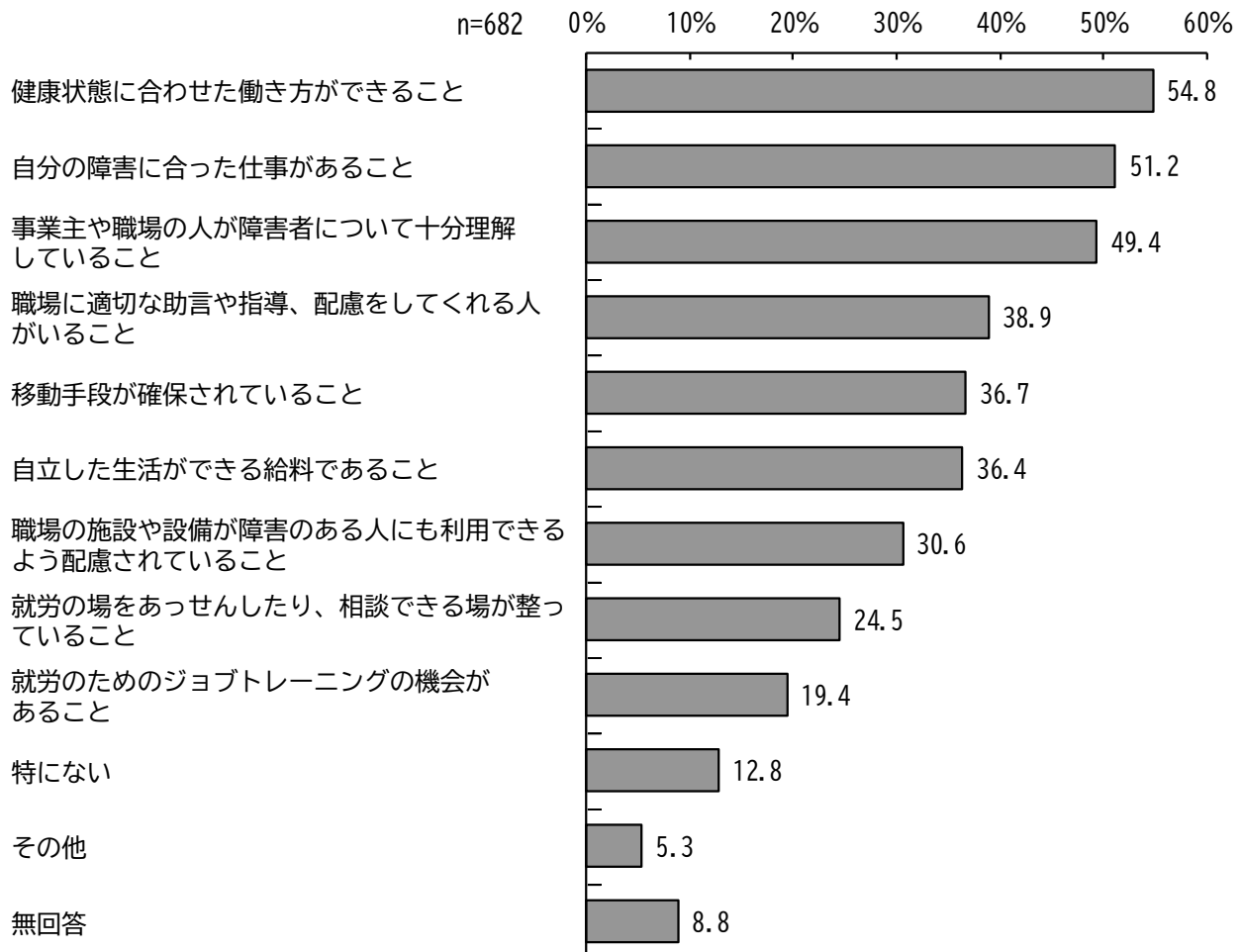
5.3. 障害者が働くための環境整備

◆働く環境として大切なことは「健康状態に合わせた働き方ができること」が最も高い

(全員の方に)

問 23. あなた（あて名の方ご本人）は、障害者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図 5-18 障害者が働くための環境整備



障害者が働くために大切な環境整備は、「健康状態に合わせた働き方ができること」が最も高くなっており、次いで「自分の障害に合った仕事があること」「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」「職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること」となっている。

図 5-19 【所持手帳別】上位 5 項目 障害者が働くための環境整備

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	健康状態に合わせた働き方ができること 54.8	自分の障害に合った仕事があること 47.5	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 43.8	移動手段が確保されていること 38.2	自立した生活ができる給料であること 34.6
身体障害者手帳（重度） n=216	健康状態に合わせた働き方ができること 48.6	自分の障害に合った仕事があること 44.4	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 43.5	移動手段が確保されていること 39.4	職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるような配慮されていること 30.1
愛の手帳 n=82	自分の障害に合った仕事があること 64.6	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 63.4	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 57.3	健康状態に合わせた働き方ができること 46.3	移動手段が確保されていること 45.1
精神障害者保健福祉手帳 n=173	健康状態に合わせた働き方ができること 70.5	自分の障害に合った仕事があること 63.0	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 58.4	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 53.8	自立した生活ができる給料であること 53.2

障害者が働くための環境整備を所持手帳別に見ると、身体障害者手帳所持者や精神障害者保健福祉手帳所持者では「健康状態に合わせた働き方ができること」が、愛の手帳所持者では「自分の障害に合った仕事があること」が最も高くなっている。

図 5-20 【経年比較】上位 5 項目 障害者が働くための環境整備

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	健康状態に合わせた働き方ができること 54.8	自分の障害に合った仕事があること 51.2	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 49.4	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 38.9	移動手段が確保されていること 36.7
2022年度 n=673	健康状態に合わせた働き方ができること 50.7	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 48.7	自分の障害に合った仕事があること 44.6	自立した生活ができる給料であること 37.7	移動手段が確保されていること 34.5
2020年度 n=865	健康状態に合わせた働き方ができること 50.2	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 48.2	自分の障害に合った仕事があること 44.6	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 36.1	自立した生活ができる給料であること 34.7
2017年度 n=645	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 58.0	健康状態に合わせた働き方ができること 55.3	自分の障害に合った仕事があること 50.7	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 43.4	自立した生活ができる給料であること 41.6
2014年度 n=772	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 51.0	健康状態に合わせた働き方ができること 48.3	自分の障害に合った仕事があること 47.8	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 40.2	自立した生活ができる給料であること 37.7

障害者が働くための環境整備を経年比較で見ると、いずれの年度においても、「健康状態に合わせた働き方ができること」「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」「自分の障害に合った仕事があること」が上位 3 位にあげられている。

6. 健康福祉サービスについて

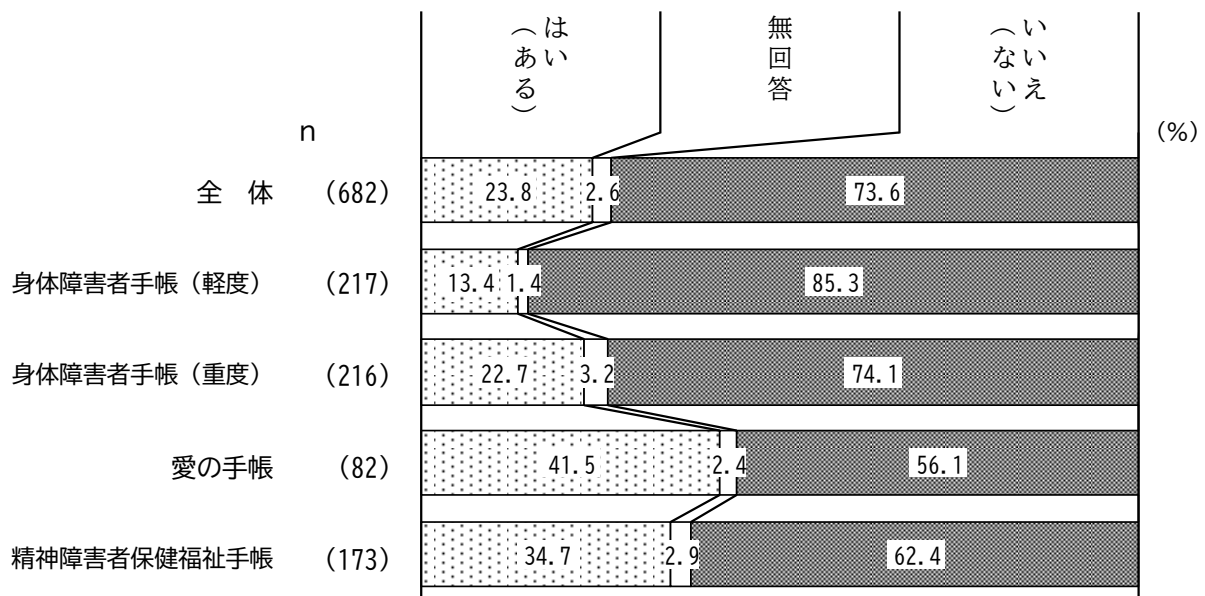
6.1. 相談サービスの利用有無

◆相談サービスの利用は愛の手帳所持者では「ある」が約4割

(全員の方に)

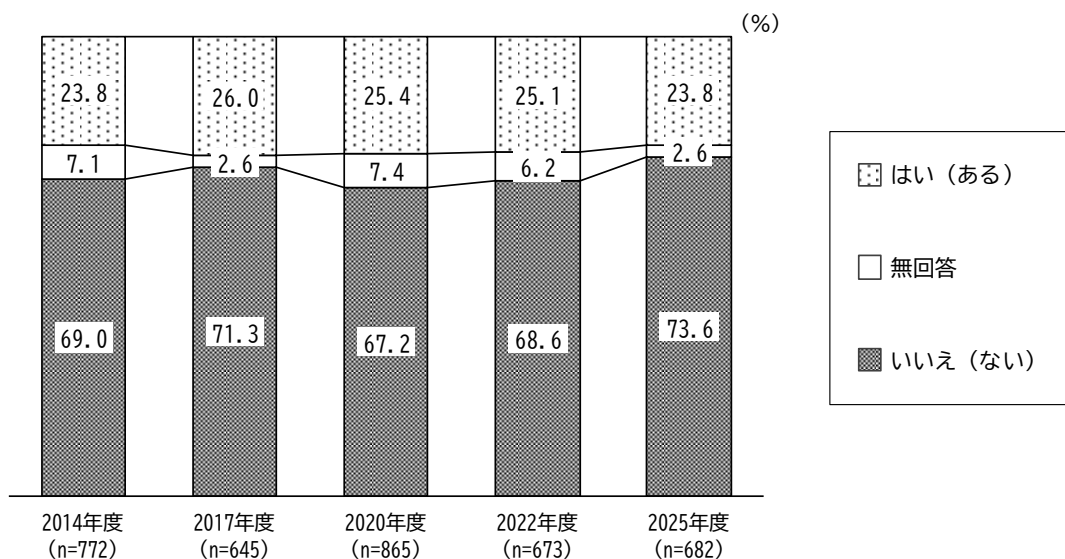
問 24. あなた(あて名の方ご本人)は、過去1年の間に、相談サービスを利用したことがありますか。
(○は1つ)

図 6-1 【所持手帳別】相談サービスの利用有無



過去1年間の相談サービスの利用の有無は、「はい(ある)」が愛の手帳所持者で約4割となっている。

図 6-2 【経年比較】相談サービスの利用有無



過去1年間の相談サービスの利用の有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「いいえ(ない)」が5ポイント増加している。

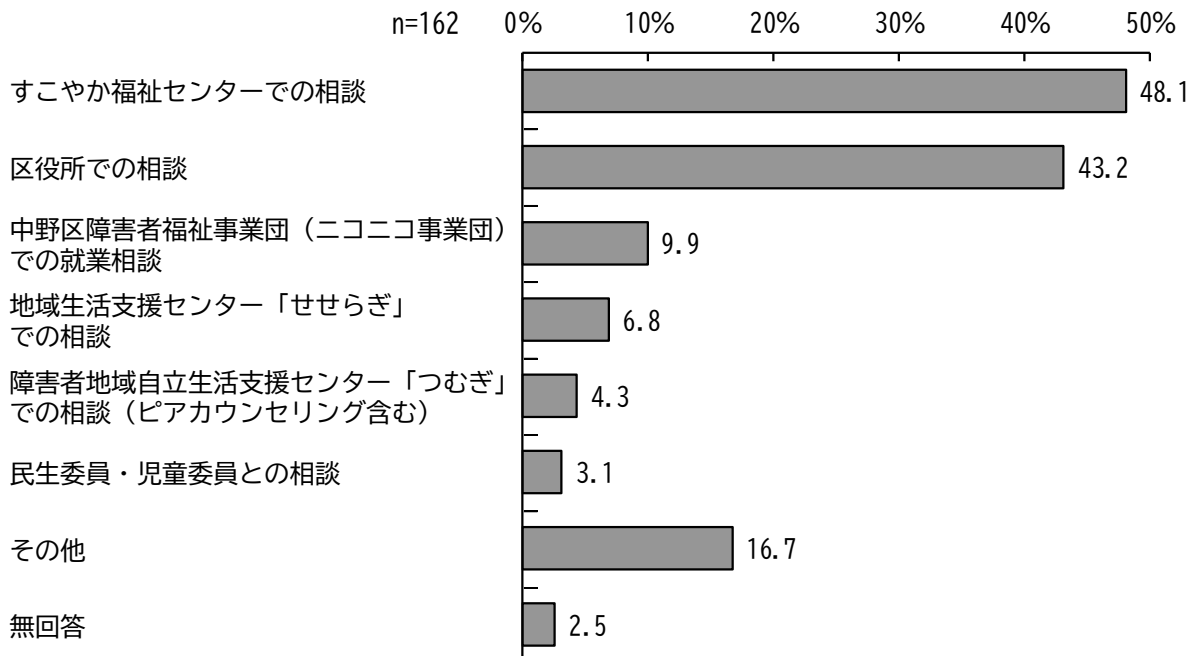
6.1.1. 利用した相談サービス

◆利用した相談サービスは「すこやか福祉センターでの相談」が4割台後半

(問 24 で「1. はい」とお答えの方に)

問 24-1. 利用した相談サービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 6-3 利用した相談サービス



相談サービスを利用したと回答した方に、利用したサービスをきいたところ、「すこやか福祉センターでの相談」と「区役所での相談」が4割台で高くなっており、次いで「中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談」「地域生活支援センター『せせらぎ』での相談」となっている。

図 6-4 【所持手帳別】上位 5 項目 利用した相談サービス

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=29	区役所での相談 72.4	すこやか福祉センターでの相談 34.5	民生委員・児童委員との相談 6.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 3.4	
身体障害者手帳（重度） n=49	区役所での相談 46.9	すこやか福祉センターでの相談 44.9	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 10.2	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む）／地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／民生委員・児童委員との相談 4.1	
愛の手帳 n=34	すこやか福祉センターでの相談 61.8	区役所での相談 20.6	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む）／中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 5.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／民生委員・児童委員との相談 2.9	
精神障害者保健福祉手帳 n=60	すこやか福祉センターでの相談 46.7	区役所での相談 38.3	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 15.0	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 3.3	

利用した相談サービスを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「区役所での相談」が、他の手帳所持者では「すこやか福祉センターでの相談」が最も高くなっている。

図 6-5 【経年比較】上位 5 項目 利用した相談サービス

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=162	すこやか福祉センターでの相談 48.1	区役所での相談 43.2	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 9.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 6.8	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 4.3
2022年度 n=169	すこやか福祉センターでの相談 53.3	区役所での相談 44.4	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 10.1	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 9.5	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 3.0
2020年度 n=220	すこやか福祉センターでの相談 52.7	区役所での相談 38.2	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 11.4	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 8.6	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 2.7
2017年度 n=168	区役所での相談 51.8	すこやか福祉センターでの相談 48.8	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 13.7	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 7.7	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 4.8
2014年度 n=184	区役所での相談 49.5	すこやか福祉センターでの相談 39.7	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 17.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 11.4	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 3.8

利用した相談サービスを経年比較でみると、上位 5 位のサービスに変化はないが、2020 年度以降は「すこやか福祉センターでの相談」が第 1 位となっている。

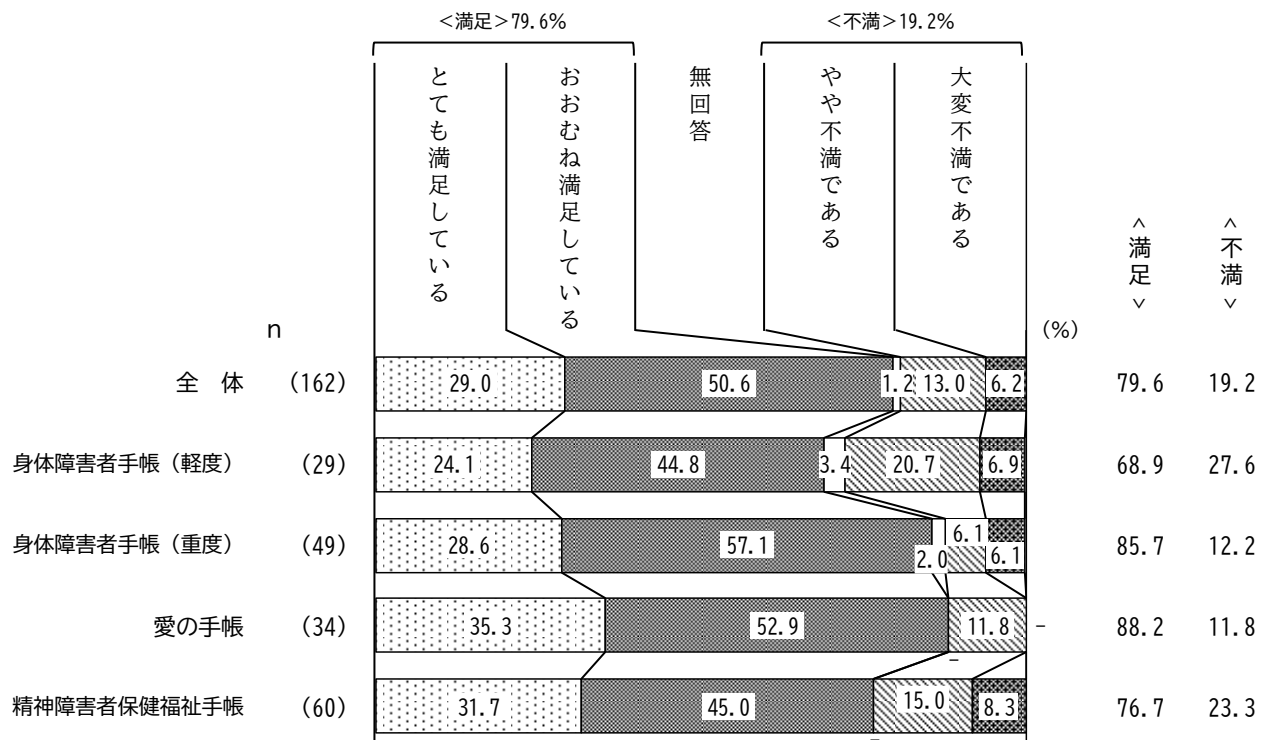
6.1.2. 相談サービスの満足度

◆利用した相談サービスの満足度は＜満足＞が約8割

(問 24 で「1. はい」とお答えの方に)

問 24-2. 利用した相談サービスについて満足していますか。(○は1つ)

図 6-6 【所持手帳別】相談サービスの満足度



利用した相談サービスの満足度は、＜満足＞が約8割で、特に愛の手帳所持者では8割台後半と高くなっている。

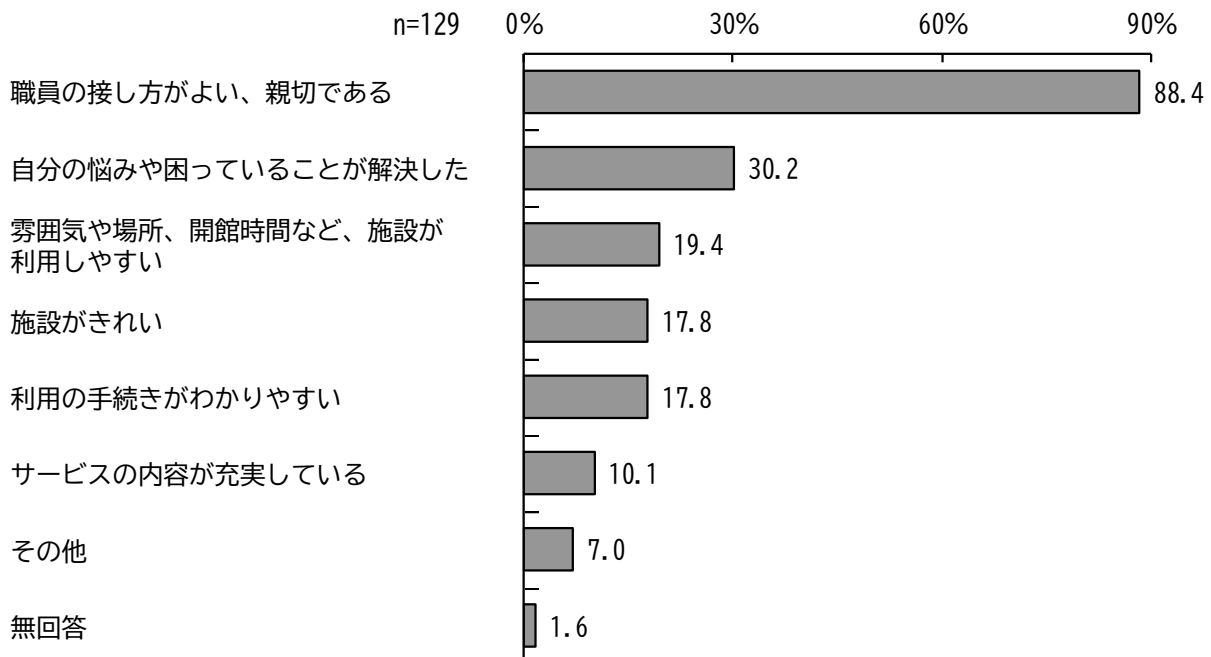
6.1.2.1. 相談サービスの満足の理由

◆相談サービスの満足の理由は「職員の接し方がよい、親切である」が8割台後半

(問 24-2 で「1. とても満足している」または「2. おおむね満足している」とお答えの方に)
問 24-2-1. 理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

図 6-7 相談サービスの満足の理由



相談サービスに＜満足＞と回答した方に、その理由をきいたところ、「職員の接し方がよい、親切である」が8割台後半と最も高くなっており、次いで「自分の悩みや困っていることが解決した」「雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しやすい」「施設がきれい」となっている。

図 6-8 【所持手帳別】上位 5 項目 相談サービスの満足の理由

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=20	職員の接し方が よい、親切である 100.0	自分の悩みや 困っていること が解決した 35.0	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しやすい ／施設がきれい／利用の手続きがわかりやすい 20.0		
身体障害者手帳（重度） n=42	職員の接し方が よい、親切である 90.5	自分の悩みや 困っていること が解決した 31.0	施設がきれい 14.3	利用の手続きが わかりやすい 11.9	雰囲気や場所、 開館時間など、 施設が利用しや すい 7.1
愛の手帳 n=30	職員の接し方が よい、親切である 80.0	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しやすい／自分の悩みや困っていることが解決した 20.0	利用の手続きが わかりやすい 16.7	施設がきれい／ サービスの内容 が充実している 13.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=46	職員の接し方が よい、親切である 87.0	自分の悩みや 困っていること が解決した 34.8	雰囲気や場所、 開館時間など、 施設が利用しや すい 26.1	施設がきれい／ 利用の手続きがわかりやすい 21.7	

利用した相談サービスの満足の理由を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者でも「職員の接し方がよい、親切である」が最も高くなっている。

6.1.2.2. 相談サービスの不満の理由

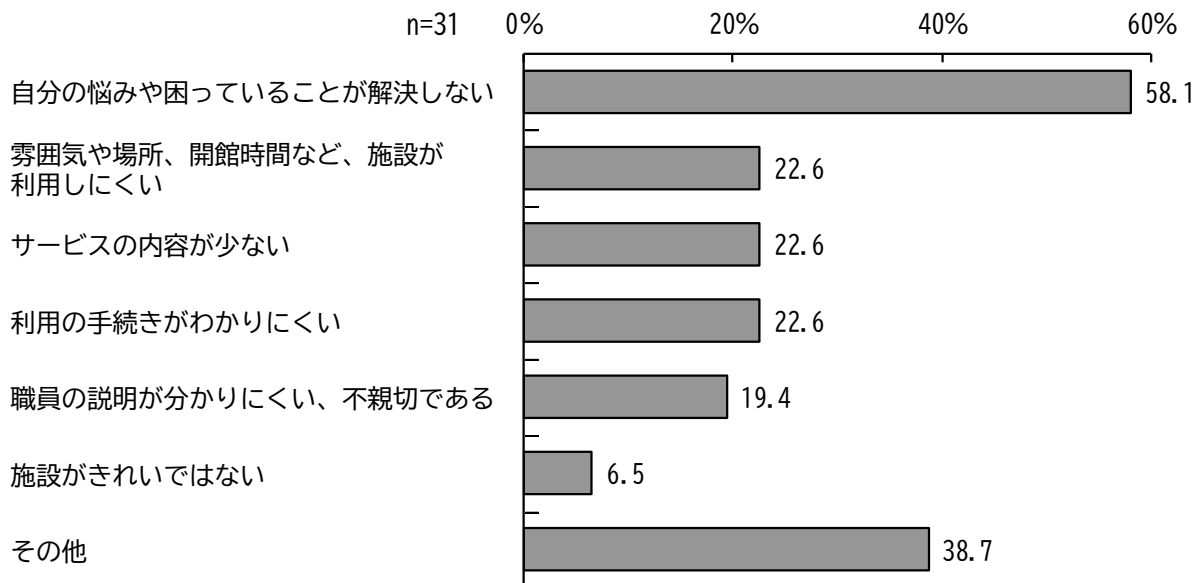
◆相談サービスの不満の理由は「自分の悩みや困っていることが解決しない」が5割台後半

(問 24-2 で「3. やや不満である」または「4. 大変不満である」とお答えの方に)

問 24-2-2. 理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

図 6-9 相談サービスの不満の理由



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 6-10 【所持手帳別】上位 5 項目 相談サービスの不満の理由

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=8	自分の悩みや困っていることが解決しない 37.5	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい／利用の手続きがわかりにくい	サービスの内容が少ない 25.0	職員の説明が分かりにくい、不親切である／施設がきれいではない	—
身体障害者手帳（重度） n=6	自分の悩みや困っていることが解決しない／利用の手続きがわかりにくい 50.0	サービスの内容が少ない 33.3	職員の説明が分かりにくい、不親切である／雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい	16.7	—
愛の手帳 n=4	自分の悩みや困っていることが解決しない 75.0	サービスの内容が少ない／利用の手続きがわかりにくい 25.0	職員の説明が分かりにくい、不親切である／雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい／施設がきれいではない	—	—
精神障害者保健福祉手帳 n=14	自分の悩みや困っていることが解決しない 64.3	職員の説明が分かりにくい、不親切である 35.7	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい／利用の手続きがわかりにくい 21.4	サービスの内容が少ない 14.3	—

基数が少ないため、図は参考として掲載する。

6.2. 障害福祉サービス

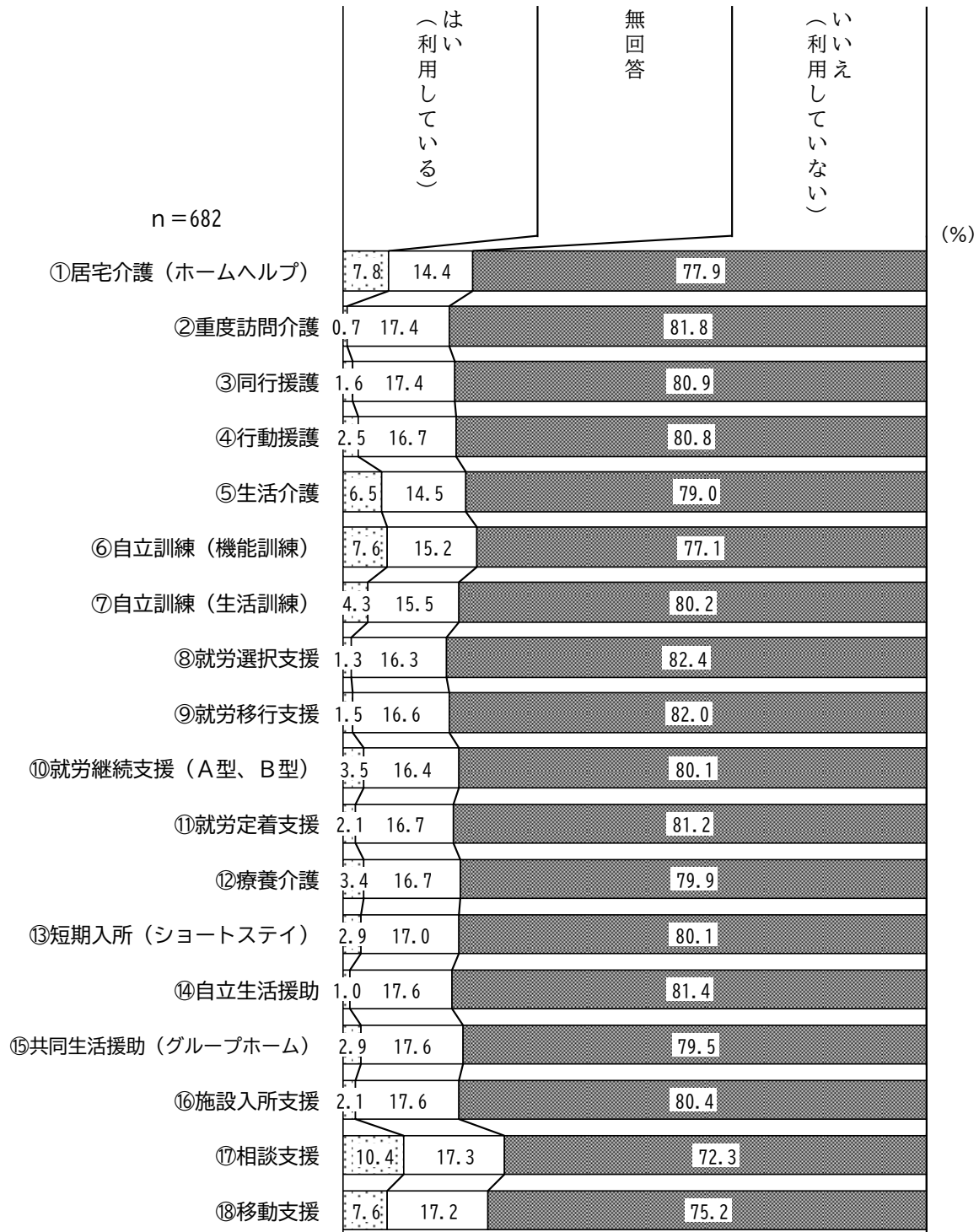
6.2.1. 障害福祉サービスの利用状況

◆障害福祉サービスの利用は「相談支援」が多い

(全員の方に)

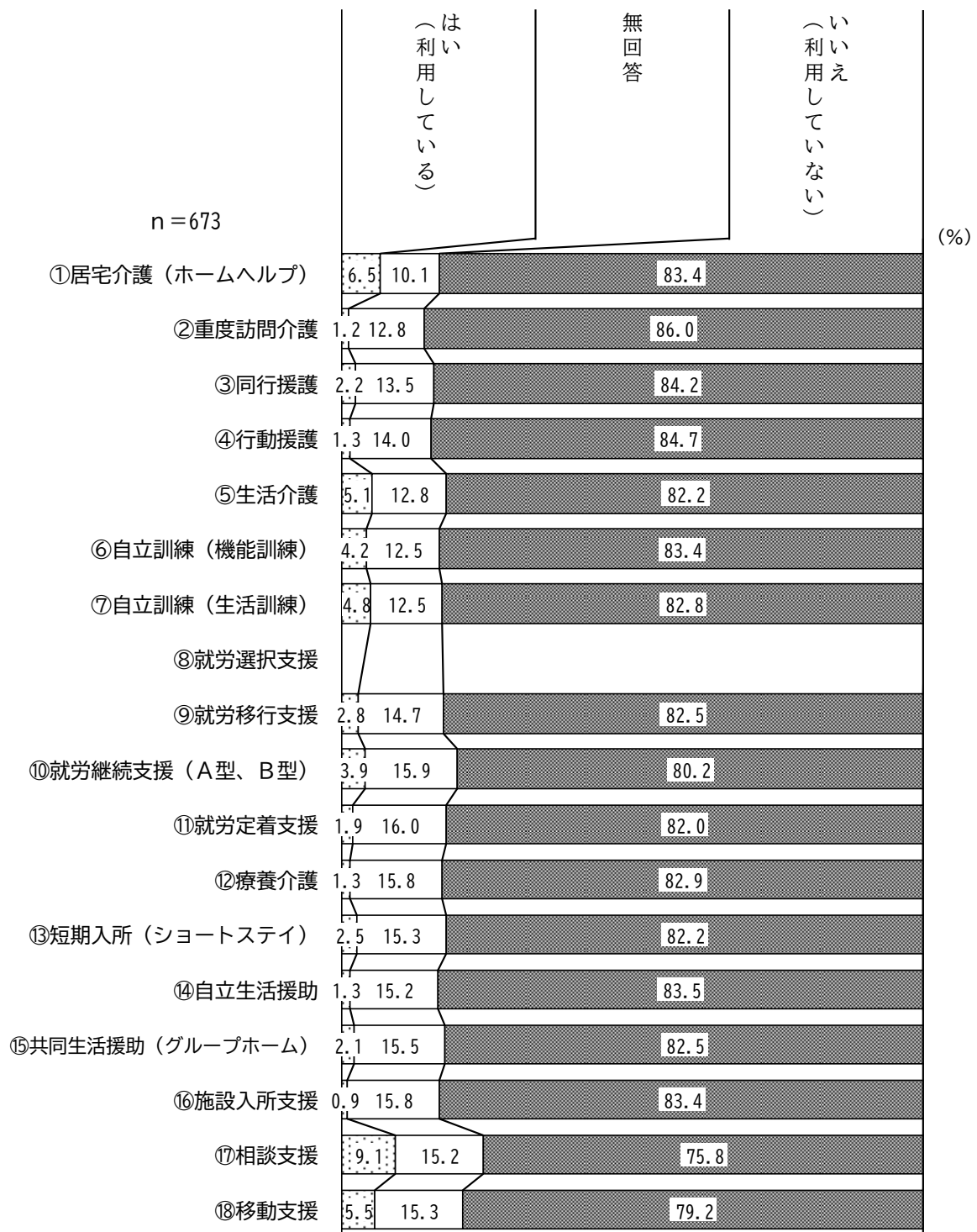
問 25. あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを利用していますか。(それぞれ○は1つ)

図 6-11 障害福祉サービスの利用状況 (2025 年度)



障害福祉サービスの利用状況は、全体として利用は少ないが、多いものから「相談支援」「居宅介護 (ホームヘルプ)」「自立訓練 (機能訓練)」「移動支援」の順となっている。

図 6-12 障害福祉サービスの利用状況（2022 年度）



※⑧就労選択支援は 2025 年度から追加

障害福祉サービスの利用状況は、2025 年度は 2022 年度と比べてサービスごとに増減はあるが、大きな変化はみられない。

6.2.2. 障害福祉サービスの利用意向

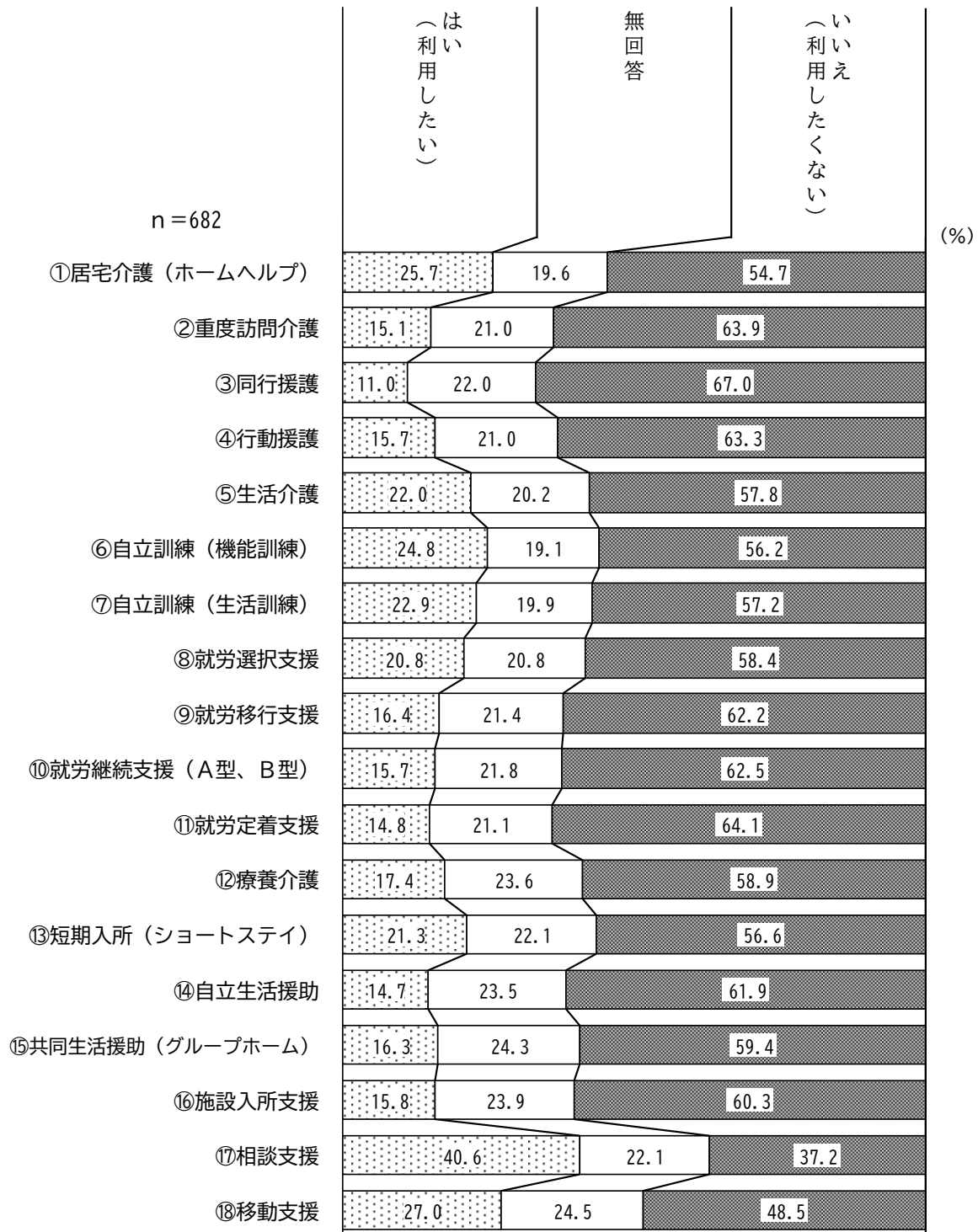
◆今後利用したい障害福祉サービスは「相談支援」が約4割

(全員の方に)

問 25. あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを今後利用したいと考えますか。

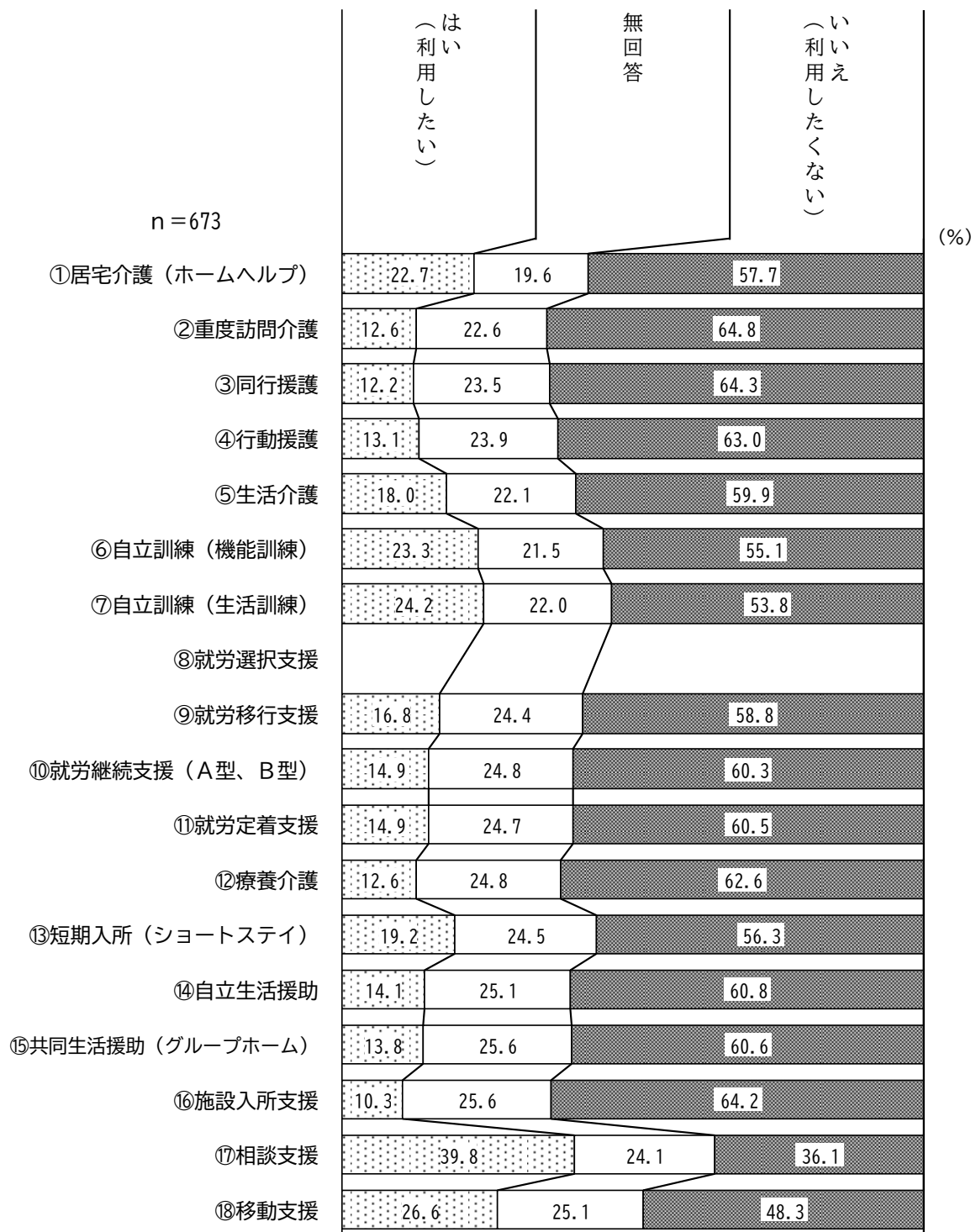
(それぞれ○は1つ)

図 6-13 障害福祉サービスの利用意向 (2025 年度)



今後利用したいサービスとしては、「相談支援」が約4割と最も高くなっている。

図 6-14 障害福祉サービスの利用意向（2022 年度）



※⑧就労選択支援は 2025 年度から追加

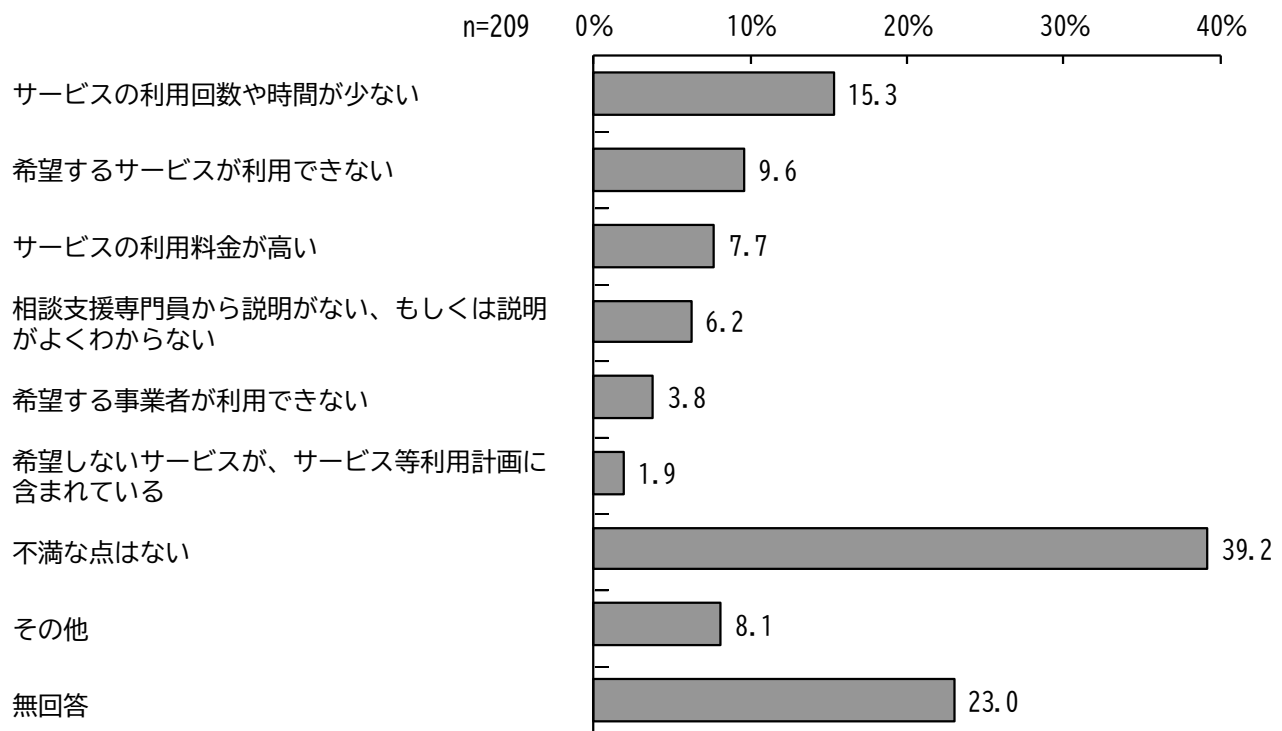
今後利用したいサービスは、2025 年度は 2022 年度に比べ、「施設入所支援」が 5.5 ポイント、「療養介護」が約 5 ポイント、「生活介護」が 4 ポイントの増加となっている。

6.2.3. サービス等利用計画について不満に思うこと

◆サービス等利用計画について、不満に思うことは「サービスの利用回数や時間が少ない」が1割半ば

（問25の「現在利用していますか」の設問で、1つ以上「1. はい」とお答えの方に）
 問25-1. あなた（あて名の方ご本人）がサービス等利用計画について、不満に思うことを次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに○）

図 6-15 サービス等利用計画について不満に思うこと



サービス等利用計画については「不満な点はない」が最も高いが、不満に思う点の中では、「サービスの利用回数や時間が少ない」が1割半ばとなっており、次いで「希望するサービスが利用できない」「サービスの利用料金が低い」となっている。

図 6-16 【所持手帳別】上位 5 項目 サービス等利用計画について不満に思うこと (%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=44	不満な点はない 20.5	サービスの利用回数や時間が少ない／サービスの利用料金が低い 18.2	希望するサービスが利用できない 11.4	希望するサービスが利用できない 11.4	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 6.8
身体障害者手帳（重度） n=78	不満な点はない 41.0	サービスの利用回数や時間が少ない 19.2	サービスの利用料金が低い 9.0	希望するサービスが利用できない 7.7	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 3.8
愛の手帳 n=46	不満な点はない 32.6	サービスの利用回数や時間が少ない 23.9	希望するサービスが利用できない 19.6	希望する事業者が利用できない 10.9	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 4.3
精神障害者保健福祉手帳 n=49	不満な点はない 53.1	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 16.3	サービスの利用回数や時間が少ない 8.2	希望するサービスが利用できない 4.1	希望する事業者が利用できない 2.0

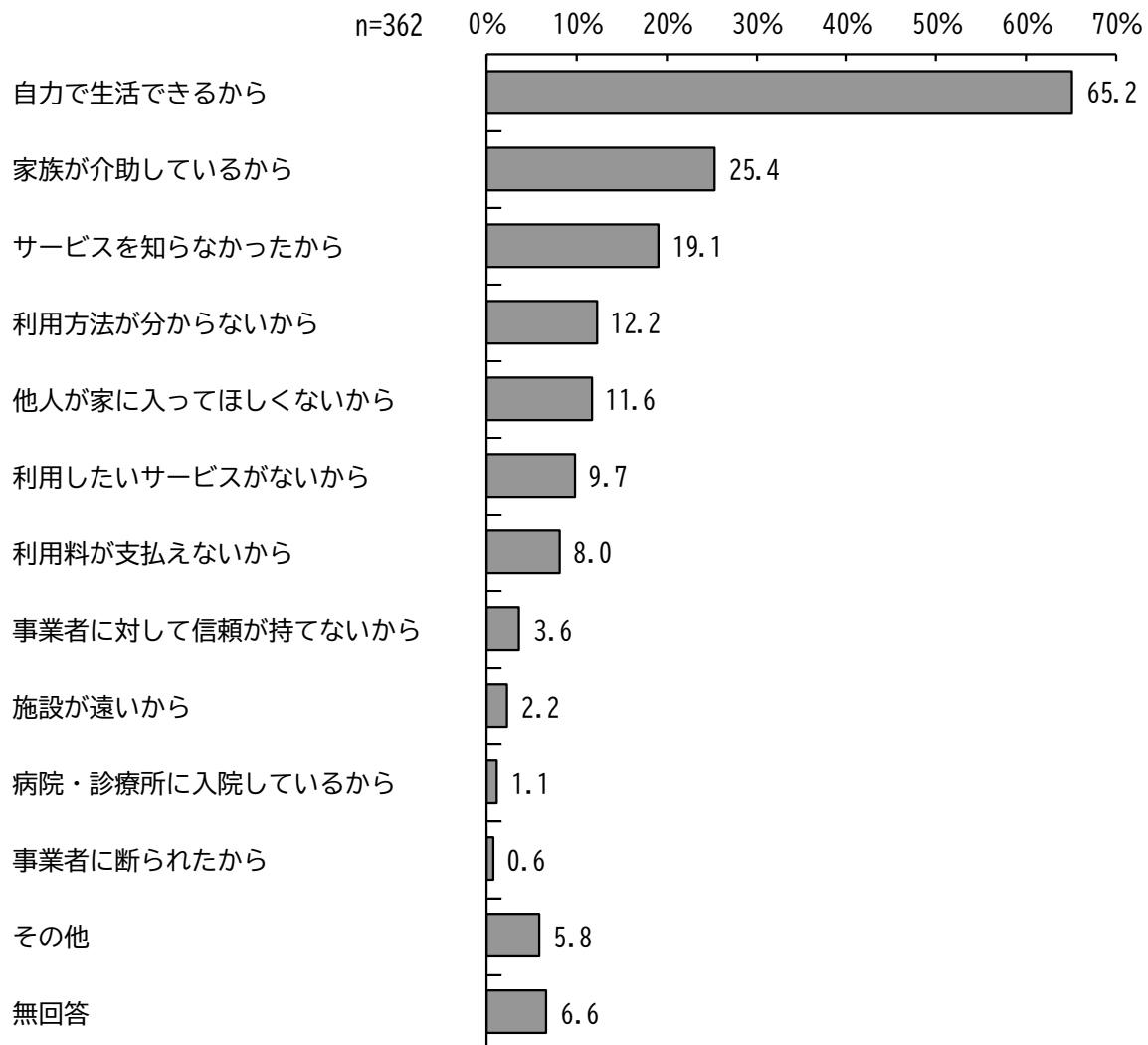
サービス等利用計画について不満に思うことを所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「不満な点はない」が最も高いが、不満に思うことの中では、身体障害者手帳所持者（軽度）では「サービスの利用回数や時間が少ない／サービスの利用料金が低い」、身体障害者手帳所持者（重度）や愛の手帳所持者では「サービスの利用回数や時間が少ない」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない」が最も高くなっている。

6.2.4. 障害福祉サービスを利用していない理由

◆障害福祉サービスを利用していない理由は、「自力で生活できるから」が最も高い

(問 25 の「現在利用していますか」の設問で、全てに「2. いいえ」とお答えの方に)
問 25-2. 障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 6-17 障害福祉サービスを利用していない理由



障害福祉サービスを利用していない理由は、「自力で生活できるから」が6割半ばと最も高くなっている。

図 6-18 【所持手帳別】上位 5 項目 障害福祉サービスを利用していない理由

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=132	自力で生活できるから 75.0	家族が介助しているから／サービス を知らなかったから 16.7		利用方法が分から ないから 11.4	他人が家に入っ てほしくないから 9.1
身体障害者手帳（重度） n=106	自力で生活できるから 73.6	家族が介助して いるから 31.1	サービスを知ら なかったから 9.4	利用したいサー ビスがないから 8.5	他人が家に入っ てほしくないから 7.5
愛の手帳 n=25	家族が介助して いるから 68.0	自力で生活でき るから 32.0	利用方法が分か らないから 8.0	他人が家に入ってほしくないから／ 利用したいサービスがないから／利 用料が支払えないから／サービスを 知らなかったから 4.0	
精神障害者保健福祉手帳 n=101	自力で生活できるから 49.5	サービスを知ら なかったから 38.6	家族が介助しているから／ 利用方法が分からないから 22.8		他人が家に入っ てほしくないから 20.8

障害福祉サービスを利用していない理由を所持手帳別でみると、愛の手帳所持者では「家族が介助しているから」が最も高く、他の手帳所持者で「自力で生活できるから」が最も高くなっている。

図 6-19 【経年比較】上位 5 項目 障害福祉サービスを利用していない理由

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=362	自力で生活できるから 65.2	家族が介助して いるから 25.4	サービスを知ら なかったから 19.1	利用方法が分か らないから 12.2	他人が家に入っ てほしくないから 11.6
2022年度 n=416	自力で生活できるから 61.5	家族が介助して いるから 25.5	サービスを知ら なかったから 16.8	利用方法が分か らないから 13.9	他人が家に入っ てほしくないから 9.9
2020年度 n=408	自力で生活できるから 65.7	家族が介助して いるから 26.7	利用方法が分か らないから 11.3	利用したいサー ビスがないから 10.3	サービスを知ら なかったから 9.8
2017年度 n=354	自力で生活できるから 58.8	家族が介助して いるから 25.7	サービスを知ら なかったから 14.7	利用したいサー ビスがないから 11.9	利用方法が分か らないから 11.3
2014年度 n=627	自力で生活できるから 37.5	家族が介助して いるから 27.6	利用方法が分か らないから 9.7	他人が家に入っ てほしくないから 9.3	サービスを知ら なかったから 8.8

障害福祉サービスを利用していない理由を経年比較でみると、いずれの年度においても「自力で生活できるから」が第 1 位、「家族が介助しているから」が第 2 位となっている。

6.3. 障害福祉に関する情報入手元

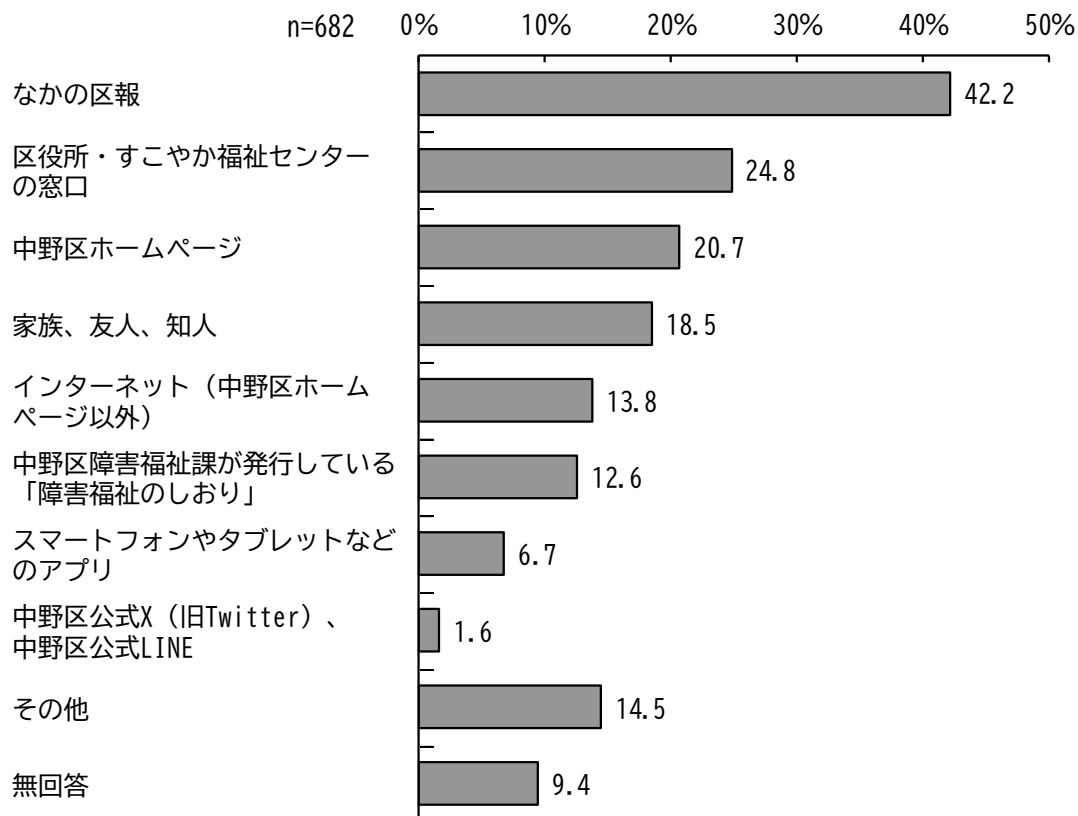
◆障害福祉に関する情報入手元は「なかの区報」が最も高い

(全員の方に)

問 26. あなた（あて名の方ご本人）は、障害福祉に関する情報をどこで知りますか。

(あてはまるものすべてに○)

図 6-20 障害福祉に関する情報入手元



障害福祉に関する情報入手元をきいたところ、「なかの区報」が最も高く、次いで「区役所・すこやか福祉センターの窓口」「中野区ホームページ」「家族、友人、知人」となっている。

図 6-21 【所持手帳別】上位 5 項目 障害福祉に関する情報入手元

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	なかの区報 57.1	中野区ホーム ページ 22.1	区役所・すこ やか福祉セン ターの窓口 17.1	中野区障害福祉 課が発行してい る「障害福祉の しおり」 14.3	家族、友人、 知人 12.9
身体障害者手帳（重度） n=216	なかの区報 39.8	中野区ホームページ／区役所・す こやか福祉センターの窓口 23.1	家族、友人、 知人 18.5	インターネット （中野区ホーム ページ以外） 13.9	
愛の手帳 n=82	家族、友人、 知人 42.7	区役所・すこ やか福祉セン ターの窓口 32.9	なかの区報 29.3	中野区障害福祉 課が発行してい る「障害福祉の しおり」 20.7	インターネット （中野区ホーム ページ以外） 12.2
精神障害者保健福祉手帳 n=173	区役所・すこ やか福祉セン ターの窓口 38.7	なかの区報 32.9	中野区ホーム ページ 20.2	インターネット（中野区ホーム ページ以外）／家族、友人、 知人 17.3	

障害福祉に関する情報入手元を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「なかの区報」が、愛の手帳所持者では「家族、友人、知人」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「区役所・すこやか福祉センターの窓口」が最も高くなっている。

6.4. 障害者に対する理解

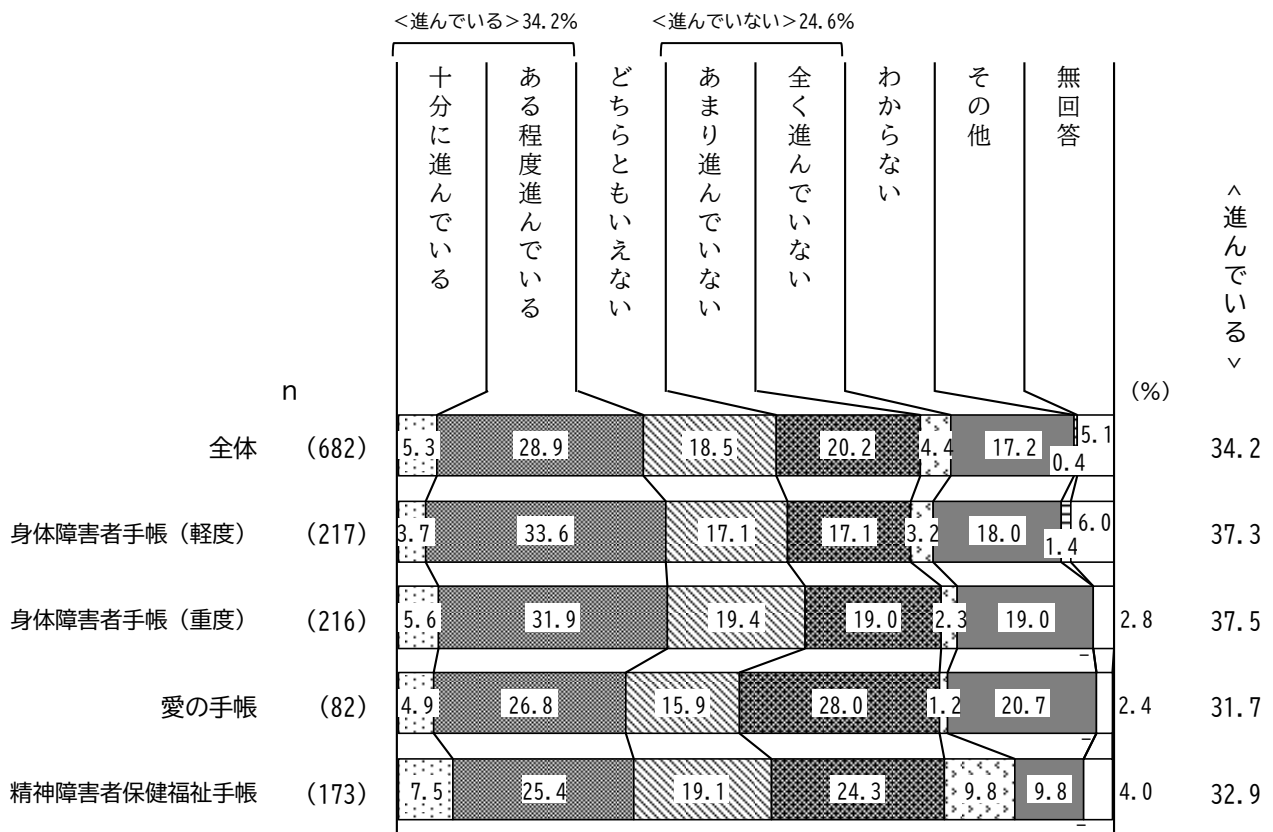
◆障害者に対する理解は<進んでいる>が3割半ば

(全員の方に)

問 27. あなた(あて名の方ご本人)は、障害者に対する理解はどの程度進んでいると思いますか。

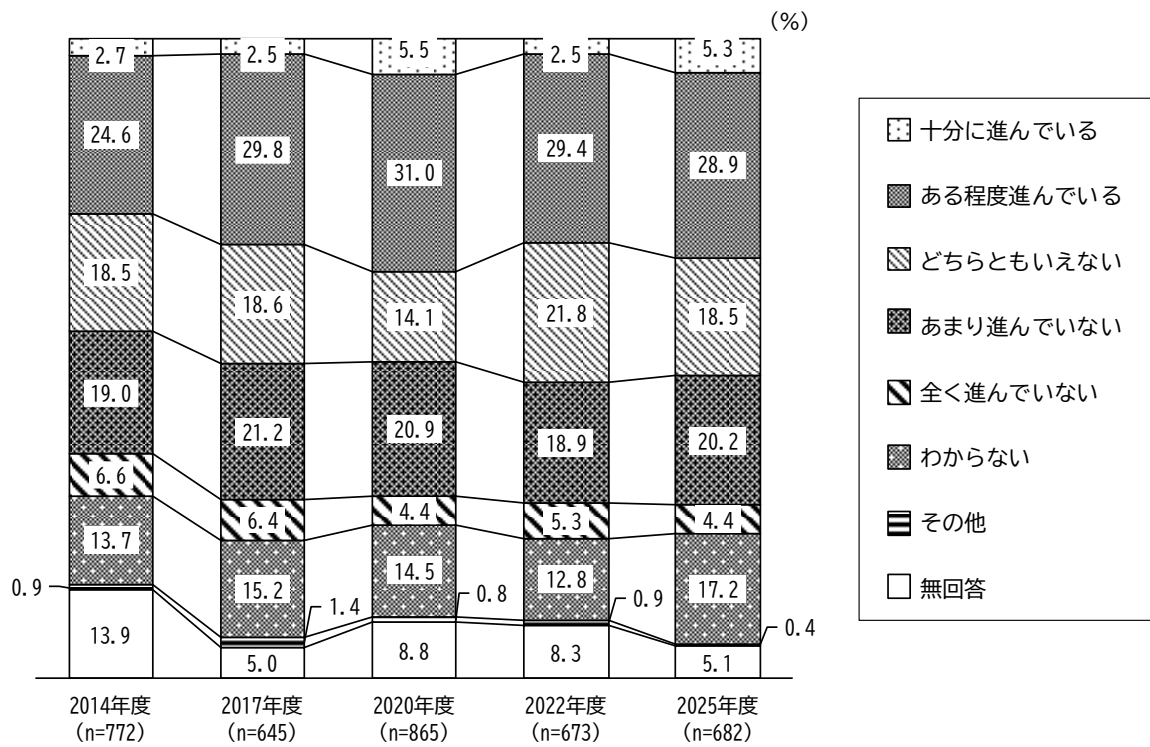
(○は1つ)

図 6-22 【所持手帳別】障害者に対する理解



障害者に対する理解は、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」を合わせた<進んでいる>が3割半ばとなっている。

図 6-23 【経年比較】障害者に対する理解



障害者に対する理解を経年比較でみると、2025年度は2022年度に比べ「わからない」が4.4ポイント増加している。

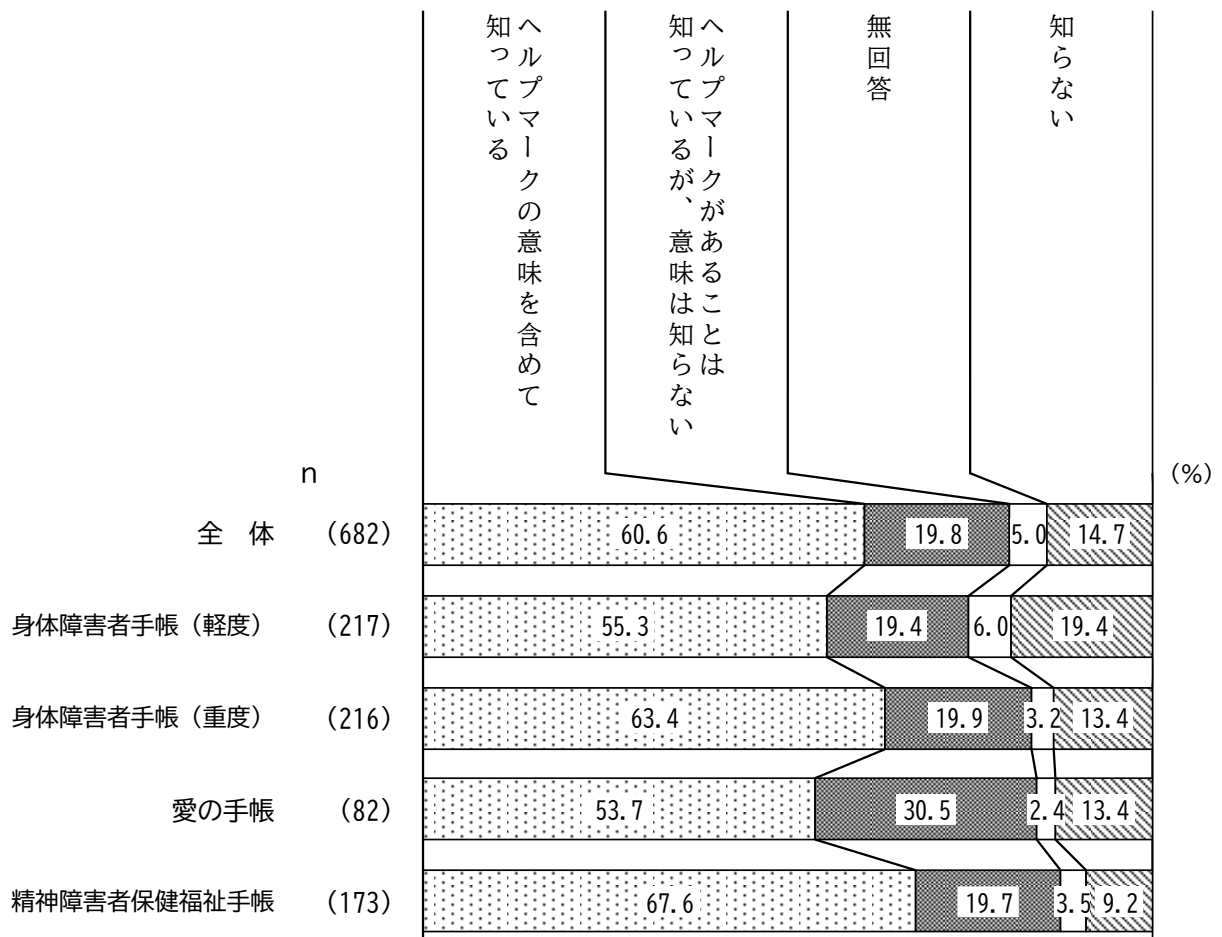
6.5. ヘルプマークの認知度

◆ヘルプマークの意味を含めて知っているのは全体の約6割

(全員の方に)

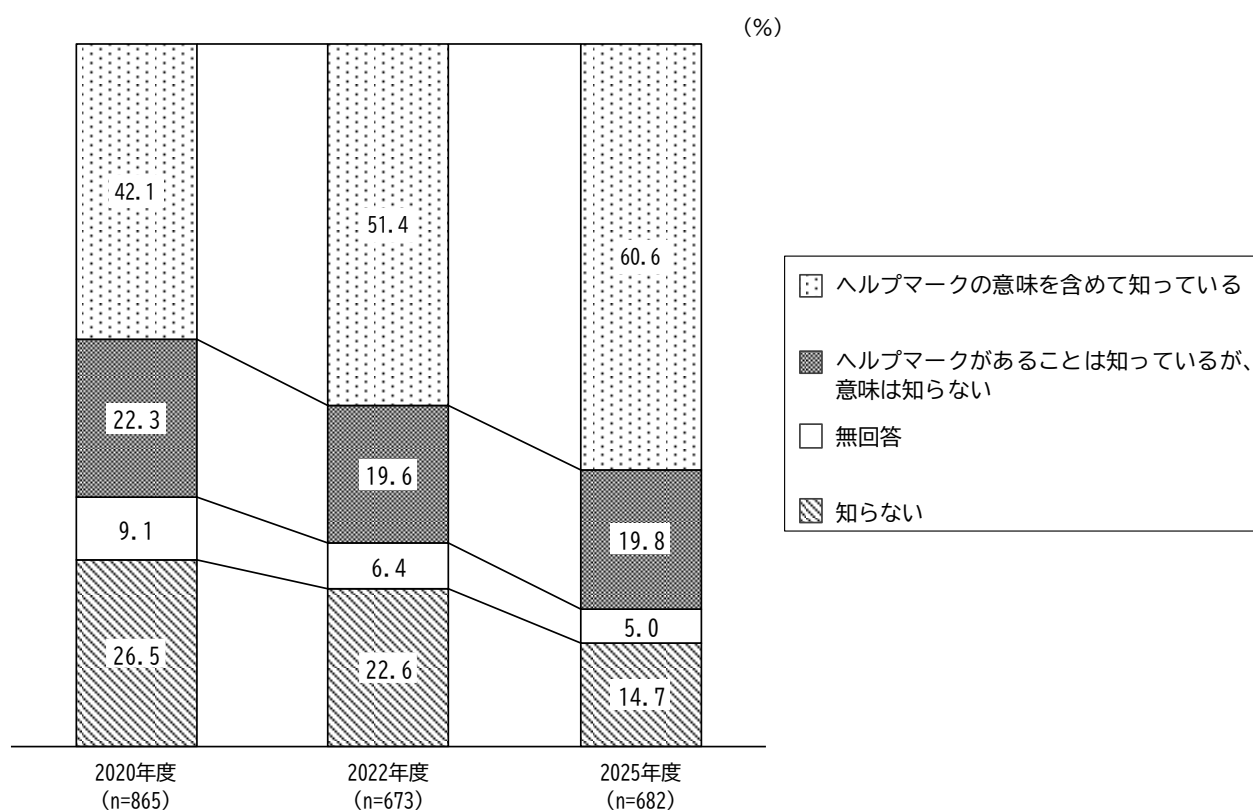
問 28. あなた（あて名の方ご本人）はヘルプマークを知っていますか。（○は1つ）

図 6-24 【所持手帳別】 ヘルプマークの認知度



ヘルプマークの認知度は、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」がいずれの手帳所持者でも5割を超えて最も高く、特に精神障害者保健福祉手帳所持者では6割台後半となっている。

図 6-25 【経年比較】ヘルプマークの認知度



ヘルプマークの認知度を経年比較でみると、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」は2020年度から2025年度にかけて、調査実施ごとに約9ポイントずつ増加している。

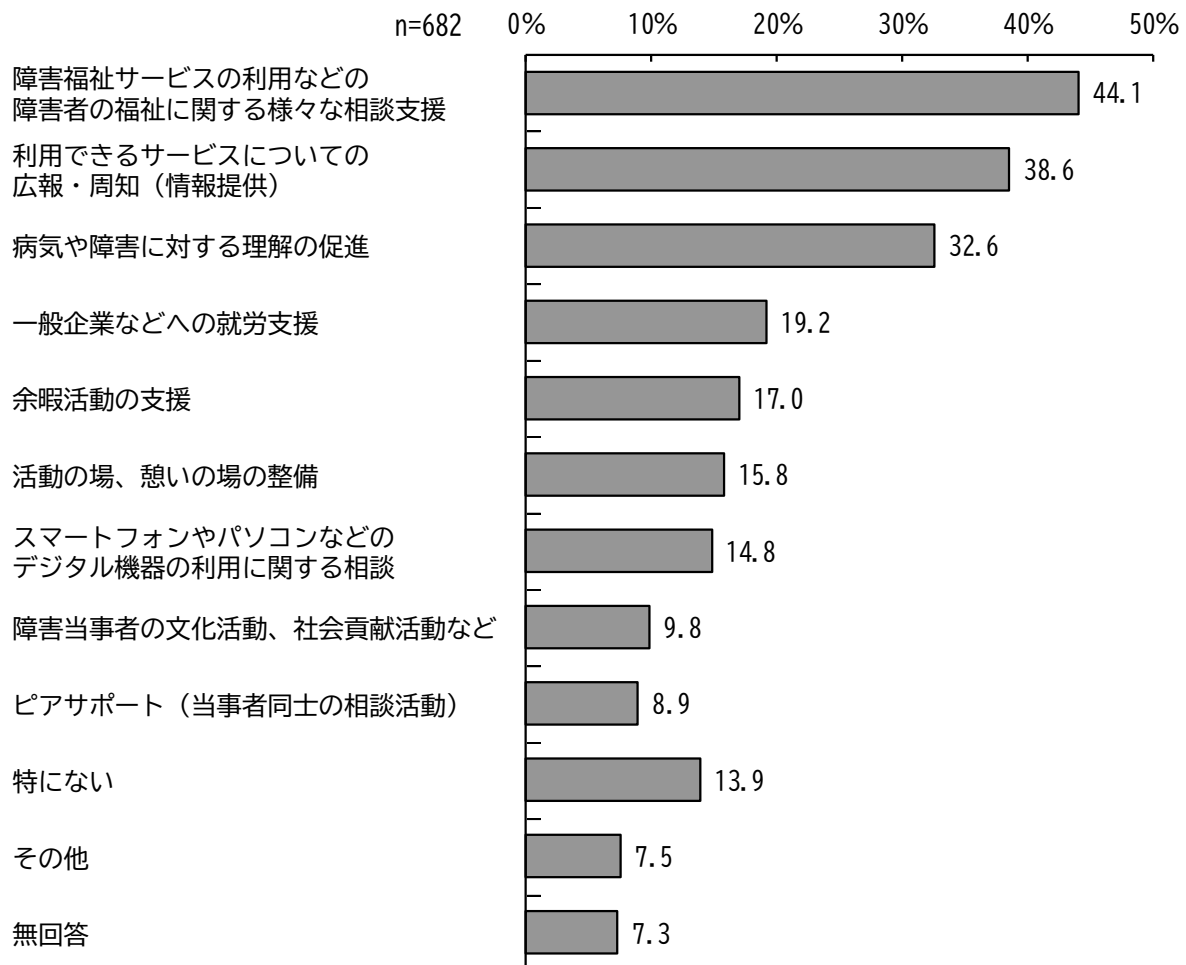
6.6. 充実して欲しい施策

◆充実してほしい施策は「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が4割半ば

(全員の方に)

問29. あなた(あて名の方ご本人)は次の施策のうち、特に充実してほしいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図 6-26 充実してほしい施策



充実してほしい施策は、「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が4割半ばと最も高く、次いで「利用できるサービスについての広報・周知(情報提供)」「病気や障害に対する理解の促進」「一般企業などへの就労支援」となっている。

図 6-27 【所持手帳別】上位 5 項目 充実してほしい施策

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 47.5	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 44.2	病気や障害に対する理解の促進 26.3	スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器の利用に関する相談 17.5	一般企業などへの就労支援 15.2
身体障害者手帳（重度） n=216	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 44.0	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 36.1	病気や障害に対する理解の促進 26.4	余暇活動の支援 15.7	活動の場、憩いの場の整備／スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器の利用に関する相談 12.5
愛の手帳 n=82	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 48.8	余暇活動の支援 43.9	活動の場、憩いの場の整備 32.9	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）／病気や障害に対する理解の促進 29.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=173	病気や障害に対する理解の促進 50.3	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 45.1	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 38.2	一般企業などへの就労支援 32.4	余暇活動の支援 18.5

充実してほしい施策を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（軽度）では「利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）」が、身体障害者手帳所持者（重度）と愛の手帳所持者では「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「病気や障害に対する理解の促進」が最も高くなっている。

図 6-28 【経年比較】上位 5 項目 充実してほしい施策

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 44.1	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 38.6	病気や障害に対する理解の促進 32.6	一般企業などへの就労支援 19.2	余暇活動の支援 17.0
2022年度 n=673	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.0	病気や障害に対する理解の促進 36.3	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 34.5	一般企業などへの就労支援 21.2	活動の場、憩いの場の整備 17.4
2020年度 n=865	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 37.5	病気や障害に対する理解の促進 35.3	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 31.1	一般企業などへの就労支援 17.7	活動の場、憩いの場の整備 14.9
2017年度 n=645	病気や障害に対する理解の促進 42.6	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 39.5	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 34.6	一般企業などへの就労支援 24.3	余暇活動の支援 20.6
2014年度 n=772	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.3	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 37.3	病気や障害に対する理解の促進 36.1	一般企業などへの就労支援 20.3	活動の場、憩いの場の整備 18.5

充実して欲しい施策を経年比較でみると、いずれの年度でも「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」「利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）」「病気や障害に対する理解の促進」「一般企業などへの就労支援」が上位 4 位以内に入っている。

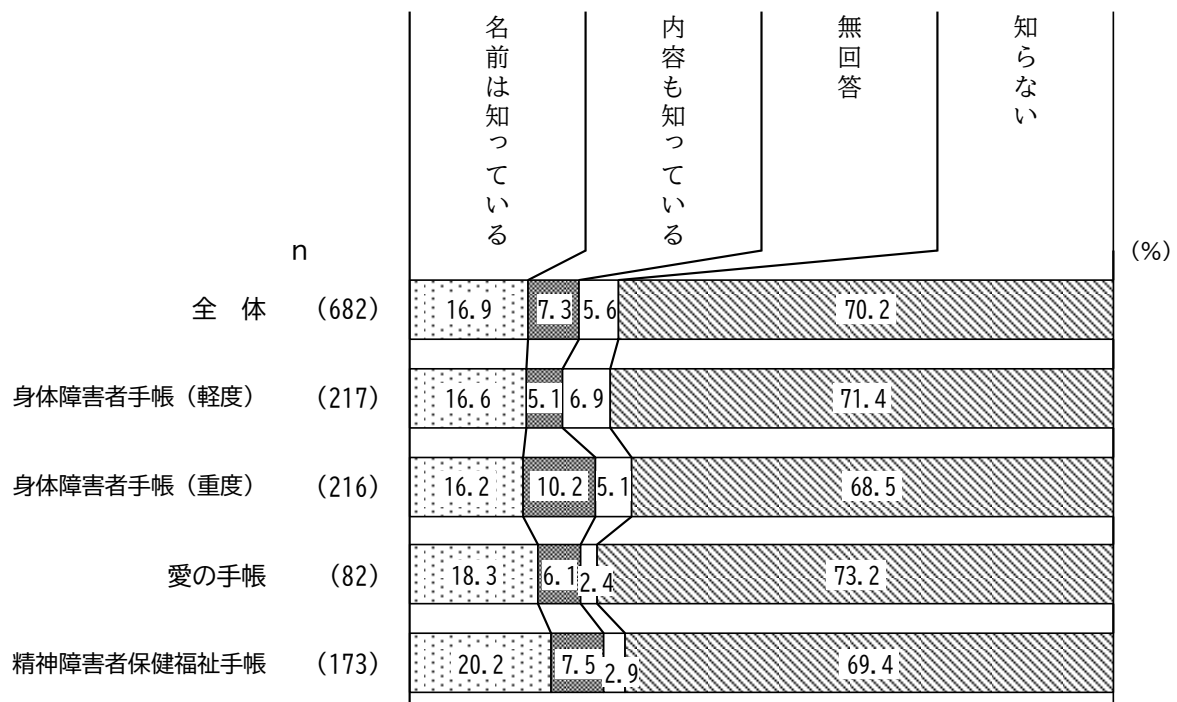
6.7. 障害者差別解消法の認知度

◆障害者差別解消法の認知度は、「知らない」が約7割

(全員の方に)

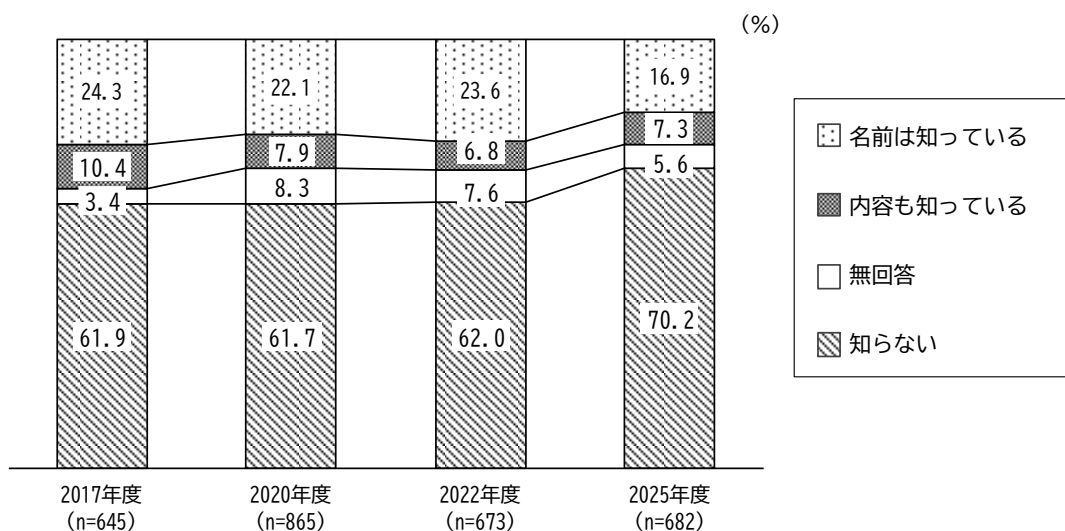
問 30. 障害のある人への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、あなた（あて名の方ご本人）はこのことを知っていますか。
(○は1つ)

図 6-29 障害者差別解消法の認知度



障害者差別解消法の認知度は、全体では「知らない」が約7割となっている。

図 6-30 【経年比較】障害者差別解消法の認知度



障害者差別解消法の認知度を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ「名前を知っている」が約7ポイント減少し、「知らない」が約8ポイント増加している。

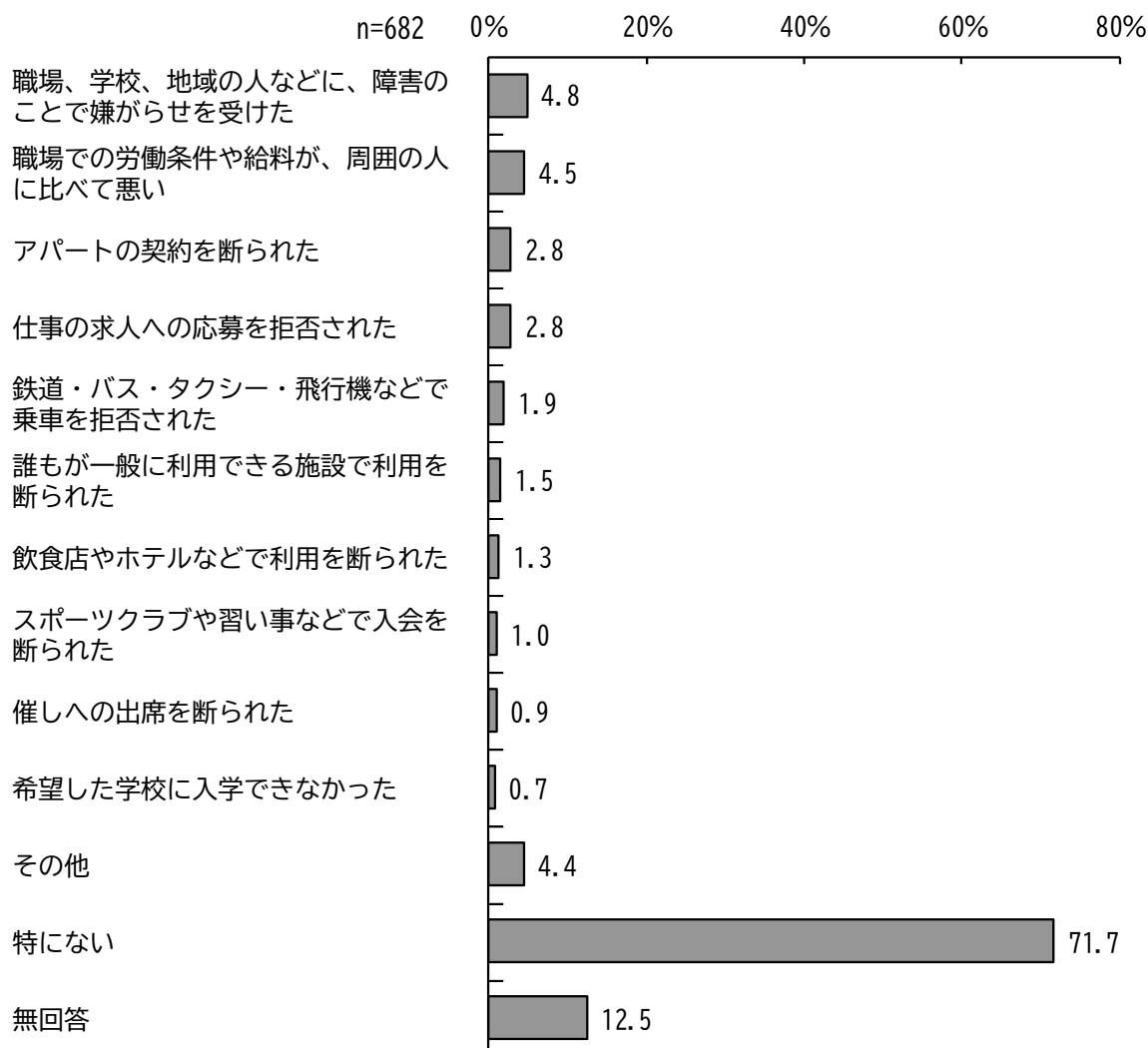
6.8. 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと

◆障害を理由に、差別的な対応を受けたことについて「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」が最も高い

(全員の方に)

問 31. あなた（あて名の方ご本人）は過去3年間の間に、日常生活の中で、障害を理由に、差別的な対応を受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 6-31 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと



障害を理由に、差別的な対応を受けたことは「特になし」が最も多いが、差別的な対応を受けた点の中では、「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」が最も高く、次いで「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」「アパートの契約を断られた」「仕事の求人への応募を拒否された」となっている。

図 6-32 【所持手帳別】上位5項目 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=217	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 3.7	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 2.8	鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された／仕事の求人への応募を拒否された 1.8		アパートの契約を断られた 1.4
身体障害者手帳（重度） n=216	鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された 3.2	飲食店やホテルなどで利用を断られた 2.8	アパートの契約を断られた／職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い／職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 2.3		
愛の手帳 n=82	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 9.8	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた 6.1	スポーツクラブや習い事などで入会を断られた／職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 3.7		飲食店やホテルなどで利用を断られた／催しへの出席を断られた 2.4
精神障害者保健福祉手帳 n=173	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 9.8	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 9.2	アパートの契約を断られた 6.4	仕事の求人への応募を拒否された 5.8	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた 1.7

障害を理由に、差別的な対応を受けたことを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（重度）では「鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された」が、身体障害者手帳所持者（軽度）と精神障害者保健福祉手帳所持者では「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」が、愛の手帳所持者では「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」が最も高くなっている。

6.9. 障害への配慮で特に嬉しいと感じたこと

(全員の方に)

問 32. あなた(あて名の方ご本人)が日常生活の中で、周りの方から受けた障害への配慮で特に嬉しいと感じたことがありましたら、ご自由にお書きください。

障害への配慮で特に嬉しいと感じたことを自由に記入していただいたところ、185 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

公共交通について 45 件

- ヘルプマークを見て電車の席をゆずってくれた。(10～14 歳)
- 東京都が都営交通の無料化政策を実施してくださったことに感謝している(25～29 歳)
- 電車に乗ってる時に、若い子(10 代後半から 20 代、見た目はチャライ子)からヘルプマークを見て席を譲ってもらえたこと。1 人ではなく複数人から同じことをされて嬉しかった。同年代の人間よりも若い子の方がしっかりしてると思いました。(40～44 歳)
- 車イス対応のタクシードライバーが増え親切なタクシードライバーが多い。(85～89 歳)
- バスの乗降時にシルバーカーを乗せる手伝いをしてくれた乗客、たまに運転手の方もありがたい。(90 歳以上)

外出時の手助けについて 21 件

- 交通安全週間のときに、横断歩道のところで見守り隊が歩行者と車両の誘導をちゃんとやったり、車椅子で通るときに段差のところでサポートしたりしてくれたのは助かりました。障害があると安全に移動するのもやたら大変なので…。(40～44 歳)
- 歩道を電動車椅子で走行していて、段差が大きくて上がれない時に助けてくれること。(55～59 歳)
- エレベーターに乗るときにボタンを押してくれたり、順番を譲ってくれたり、電車で場所を開けて乗せてくれたりしたことです。(60～64 歳)
- 駅の階段ののぼりおりの時、「なにか手伝うことはありますか」などと聞かれた時。ゴミ出しをかわりにやってくれた時(75～79 歳)
- 杖を落としてしまった時に、私が腰をしゃがめて取りに行く前に、横にいる方がさっと拾ってくれるのが何度もあったこと。(80～84 歳)
- 車椅子に気付いて場所を空けてくれる等の配慮を頂くこと等。(90 歳以上)

コミュニケーションについて 21 件

- 会話が聞き取りづらかった時に何も言わなくても筆談してくれた時。(35～39 歳)
- 根気強く話を聞いてくれること(40～44 歳)
- ゆっくり落ち着いた声で話しかけられたこと。会話を始める前に、「これくらいの声で聞こえますか?」と聞いてくれたこと(55～59 歳)
- 週 2 回入浴介助をお願いして(長女)いますが、コミュニケーション不足を解消の為「ノート」を用意、気がついた点を担当の方がこまめに記載。大変ありがたく、助かっています。(60～64 歳)
- 聞き取れない内容を根気よく伝えようとしてくれた事。(60～64 歳)
- 障害を理解し、やさしい言葉をかけていただいた時は、本人も喜んでいきます。(70～74 歳)

仕事・職場について 10 件

- 自分の病気を理解してくれて、無理せず職務に付けるように配慮していただいているところ。(25～29 歳)
- 勤めている会社でやるべき仕事がマニュアル化され分かりやすく、社内もきちんと構造化されており、動きやすい。上司の声掛けや配慮がうれしい。セキュリティもしっかりしており安心して働ける環境。(30～34 歳)
- 一般の職場にいる同僚が皆と同じ態度で接してくれること。社会の一員としてダメならきちんと注意され、同じ基準で評価を受けること。(40～44 歳)
- 今の職場に入社する際、自分が障がい者であることを隠さなくて結構ですと伝えていたこともあり、職場での仕事の進め方について、私が居るみんなの前で合理的配慮について自分の苦手について周知してくださったのがとてもありがたかった。以降、現在までとても仕事がしやすい。(55～59 歳)
- 仕事をていねいに教えてくれること。(65～69 歳)

店舗について 10 件

- 外食することが困難で、食事は必ず自宅もしくは学校でとっていますが、「食べやすさ配慮食」という取り組みをされているレストランを見つけ、家族で外食することができました。(5～9 歳)
- レジで注文して準備が出来たら品物をカウンターまで取りに行くスタイルのカフェで、品物を席まで届けてくれた。杖について重いトレイを片手で持つのは大変なのでありがたかった。(45～49 歳)
- 耳が不自由である事を敢えて指摘せずにホテルの受付で(ホテルマン)筆談に切り替えていただいた時。(60～64 歳)
- ふだんは杖について外出しているため、スーパーでの買い物時に、レジの係員が台まで買い物かごを運んでくれることがある。(70～74 歳)

友人・知人について 8 件

- 障害を持っていることを忘れてくれること。カミングアウトの前後で全く態度を変えずにいてくれたこと。(20～24 歳)
- ご近所さんで支えてくれる方が沢山いることが嬉しい。(45～49 歳)
- 遊びに行くときは、必ず友人が付き添ってくれることが、有難いです(60～64 歳)
- 友人は、病気にふれないように話をしてくれる。(65～69 歳)

経済的支援について 7 件

- タクシーや、公園などの割引が多くて助かっている。(40～44 歳)
- 新型コロナのワクチンを優先して受けさせてもらった。美術展などの催しを無料で観覧させてもらった。(60～64 歳)
- 行政からのお金の支援。(65～69 歳)

家族について 4 件

- 家族からの声かけ。(20～24 歳)
- 家族からの支援 (35～39 歳)

医療機関について 4 件

- 病院の看護師さんや薬局の人からの説明が聞こえないので何時も手書きで説明してもらう。とても助かり嬉しく思う。(85～89 歳)

学校について 2 件

- 利用している保育園では、本人に状態に合わせて活動などもしてくださり、健常児の子どもとも楽しく過ごすことができている、とてもありがたいです。中野区の就学支援でもいろいろと話を聞いてくださり、丁寧に、対応していただいていると感じました。(5～9 歳)

その他 47 件

- 見た目では障害者であることが分かりやすいので、みなさん温かい目を向けてくださいます。(5～9 歳)
- 周りの生徒や保護者は優しく接してくれます。(5～9 歳)
- 病気について過剰に触れないようにしてくれるが、体調に気を遣ってくれる。(35～39 歳)
- 精神障害の具体的な話をするとほとんどの方が理解を示して下さいます。(45～49 歳)
- 障害の種類と程度を相手に伝えたところ、迅速に適切な対応をしてくれたこと。(60～64 歳)
- 両手杖をついて歩いているが親切に声をかけていただいています。ありがたいです。(70～74 歳)
- 職員の方々があらゆる場面で日常生活を援助して下さること。(75～79 歳)
- 在宅介護の充実したサービスが利用できている。(80～84 歳)

7. 自由回答

7.1. 日常生活で困っていること

(全員の方に)

問 33. 日常生活で困っていることがありましたら、ご自由にお書きください。

日常生活で困っていることを自由に記入していただいたところ、211 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

福祉サービスについて 35 件

- 18 歳以降の居場所がない。障害者の居場所としてでなく、社会の中でどう生きていくか、という、視点でかんがえていただきたい。これまで、小、中、高、利用できる施設、娯楽、あらゆる点で分けられてきました。分けて取り扱うのではなく、健常な 18 歳以降の大人が暮らす場所で、どうやったら障害者が一緒に暮らしていけるか、という視点で仕組み、居場所をかんがえていただきたいです。(5～9 歳)
- 日常生活で困っていることはないが、最近の物価高において人工内耳の価格が著しく高騰しており(特に保険)、人工内耳のケアもかなり費用が嵩むため、何か支援していただけると助かります。(20～24 歳)
- 障害福祉サービスを利用しているので、特別に困った事はありませんが、移動支援の時間が足りない事やヘルパーさん不足。職員不足とを感じる事があります。(40～44 歳)
- 移動支援のヘルパー不足で余暇を楽しむ外出の機会が少ない(50～54 歳)
- タクシー補助券が不足してしまう。通院の度に利用するのでできれば増やして頂きたいです。(65～69 歳)

相談について 4 件

- 障害者福祉と高齢者介護と生活困窮と一緒に相談できる場所がどこにもない(50～54 歳)

経済問題について 17 件

- ギリギリ働けている状態ですが、障害年金が降りず生活が苦しいです。(25～29 歳)
- 医療費の負担額が大きく困っている。昨年、障害者手帳と同時期に審査を受けた難病の医療費助成のほうは軽症という部類に入り、受けることができなくなったため、福祉手当でも対象外となり、医療費の負担が増えた。(40～44 歳)

公共交通について 16 件

- 建物がバリアフリーといいつつ、スロープに傾斜があったり、又、中央線のグリーン車に車イスでも使えるようなスペースがあったり、手が挙がらない時は、もう少し低めにタッチする機械があったら良い。(45～49 歳)
- 交通機関の理解度が低い事。杖や車いすは理解度が高いのですがなぜか？ 歩行器(医療用)だと大きいので、いわゆるシルバーカーだと思われています。一般に知られていないのが問題なのかなぁ？と感じます。シルバーカーはおとしよりが使うと言う考えが広まっていると思います。(50～54 歳)

住まいについて 10 件

- なかなか賃貸住居が見つからないこと。年齢で断われたことがある。(55～59 歳)
- 親が障害者（高齢・要介護）であるため、不動産の契約更新時の保証人として認められないため、保証会社を使用しなければならないこと。(75～79 歳)

施設について 5 件

- 施設を申込みましたが 14 ヶ所位出しましたがどこにも返事がありませんでした。困って埼玉をさがしましたがすぐに入居出来ました。この点何とかしてもらえないでしょうか。(90 歳以上)

医療機関について 1 件

- 病院まで遠くてなかなか通院が上手くいかない。(30～34 歳)

障害への理解・配慮について 20 件

- 言葉のコミュニケーションが難しいが、理解してもらえない。見た目は普通の成人男性なので、言葉が出ないことで誤解されることが多々ある。(15～19 歳)
- 通院とか美術館に行ったりして、エレベーターに乗ろうとすると、まず普通の人がどんどん乗り込んだ後、最後に「どうぞ」と言われること。次男の車椅子はストレッチャー並みに大きいので、最後に乗ろうとすると切り返しがうまく行かなくて乗れないのだが、他の人には理解できないらしい。車椅子の人を最初に乗せてほしい。(30～34 歳)
- 精神障害で目に見えるものではないので、周囲からの配慮が全く得られずに困る。(55～59 歳)
- 自分の難聴の状況が周囲になかなか理解されない。後天性の感音性難聴のため周囲の音が過剰に大きく聞こえ肝心の相手の言葉は聞き取れないのだが、発話が普通にできるために聞こえるのだと誤解され、どんどん早口で話しかけられたりするのがつらい。(55～59 歳)
- 重度の失語症は、日常生活のすべての面で欠かせないコミュニケーションに影響するので、何をやるにしても困難がつきまとう。経験で予想できることしかできない。障害が知られておらず、説明もできないので、常にストレスがある。(60～64 歳)
- メンタル的な要因が高く、中々周囲の者（家族を含む）に病気の辛さを理解してもらえない。(65～69 歳)

一人の時や緊急・災害時の対応について 3 件

- 呼吸には人工呼吸器との併用が必要。災害時などの停電対応が心配。(35～39 歳)
- 災害時の避難についての情報がない。(50～54 歳)

障害・病気・年齢・体調について 39 件

- 一見、知的障害がわからないので、公園などで知らない子と遊んだ時に相手が戸惑うシーンがある。(5～9 歳)
- 重度知的障害なので全てに困っている (10～14 歳)。
- 行動時にわくやる気が、別のやりたいことによってなくなってしまうことがある。(20～24 歳)
- 一人暮らしについては、以前から続けていることなので日常生活は可能だが、片手不自由のためどうしてもそれぞれの動作に時間がかかる。常に「どうすれば効率的にできるか」を考えている。(50～54 歳)
- アパートの階段の昇り降りが 年齢と共に辛く成って来ました。(65～69 歳)
- 視覚障害で障害の度合いが進み、日常生活が不自由に成りつつある。(70～74 歳)

交流の機会について 2件

- これからの健康作りのために、ぜひ障害者で楽しめるスポーツサークルのようなものを作ってほしいです。(45～49 歳)

就労について 7件

- 障害者雇用枠が少ないので、仕事がない。あっても給与が低く生活ができない。(45～49 歳)
- ストレスがかかりすぎると、具合が悪くなり仕事に支障が出て来ます。会社では障害の事は隠している為、健常者の皆さんと同じ条件で働いていますが、病気の事を知られたらと思うと不安になります。(45～49 歳)
- 精神障害の症状がいつ起こるのか不確定。就労に対しての不安がある。(55～59 歳)

区内の環境整備について 9件

- 町に休憩用のいす、ベンチが少ない。障害者、高齢者が多くなる中、増やしてほしい。(75～79 歳)
- 車椅子のまま利用できるトイレをもっと増やしてほしい。また、多目的トイレを休憩や寒さ(暑さ)しのぎのために健常者が専有し、利用できないことが多々あるので管理方法を見直してほしい。(75～79 歳)

将来・親(家族) 亡き後への不安 8件

- 今は何とか生活が出来ているが、介助者である両親がいなくなった時は、ほぼすべての日常生活で困ることになる。(35～39 歳)
- ひとまず、自立して生活しているが、一年一年出来ないこと、少し無理を強いてやらないといけないうことが増えていて5年後、10 年後の自分の体を想像すると不安は尽きない。どの時点で、いつ、どこで、どんな風に福祉サービスにアプローチしたらよいのかは、よくわからない。頭の働きも気力も年々少しずつ低下していくので、どこかで一度、サービスにつながるきっかけがあると有難いかもしれません。(60～64 歳)

家族への支援について 2件

- 親類が乏しく、高齢の母と二人暮らしのため、私に何かあった時の母の世話。(55～59 歳)

その他 33件

- 家族の面倒と自分の療養の両立ができていないと感じることがある。(35～39 歳)
- 困っていることは多々ありますが、その殆どは自分の努力で解消すべきと心得ているつもりです！なるべく人の世話にならない様頑張ります。(85～89 歳)

7.2. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 34. 健康福祉行政に関することや今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政に関することや今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、155 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

福祉サービスについて 43 件

- 18 歳以上になると生活介護に移行するが、どこもいっぱい利用出来ない。また、入浴設備はあるのに動いていない為入浴出来ない。入浴介助だけでも働ける方はいるのにもったいないです。ショートステイを増やして欲しい。(5～9 歳)
- 本人の場合はまだ親のサポート下での生活のため、特段の大きな困りごとは起きていないかと感じています。障害者の申請、更新手続き等、当人だけでなく保護者の負担軽減のためのサポートを今後もっと充実していただけると幸いです。(5～9 歳)
- 一番必要なのは、通学や外出時に一緒に動いてくれる方。今後必要なのは、親(代理回答者)が亡くなったあとの生活確保です。(10～14 歳)
- 就労移行支援については、時代に合った IT リテラシーや DX を学べる環境を整え、精神面・生活面・対人面でも総合的に的確な支援を行う職員の育成に力を入れてほしいです。とはいえ、中野区の相談支援員の男性(サービス等利用計画の担当の方)がはつらつとしていて頼りになる方でした。ハローワーク新宿(障害者支援担当)の女性も、指示やアドバイスが的確な方でお世話になりました。(35～39 歳)
- 使えるサービスが限定的で、使いづらい。もっと使える幅が広いと良い。(70～74 歳)
- バス券はとてめありがたく利用している。(両側ひざ関節術後)(変形性膝関節症)(85～89 歳)

本調査について 42 件

- 年に 1 回は行ってほしいです。(35～39 歳)
- 重度の知的障害者にとって、この調査もそうですが、サービスや制度の内容を理解することが難しいので、親や支援者が代弁していることが多く、本人不在になってしまっている様に感じます。視覚的にも分かり易く工夫や配慮をしていただければと思います。(35～39 歳)
- 中野区は障害福祉に対してまじめに取り組もうとしているのかもしれない。と好印象を受けた。郵送で対応してくれるのも助かる。パソコン持ってないし、スマホ長時間見るのツライから、紙で OK なのが嬉しかった。(40～44 歳)
- この様な調査は素晴らしい試みだと思います。是非ともここで得られたデータ、生の声を、実際の政策や運用の現場に活用して頂きたい、強く御願い申し上げます。データは活用しないと死データです。(50～54 歳)
- 調査結果の分析、対策、具体的な実施方法・時期等を明確にフィードバックして欲しい。アンケート取りっぱなしで終り、仕事し終わったと思ってもらうとやはり区政への不満につながると思う。(70～74 歳)

情報提供について 9件

- いろいろなサービスをいろいろな人に聞かないとわからないことが多いと感じています。ホームページ等で調べてもよくわからないことも多いなと思うことが多々あり、結局、電話でお問合せさせていただいています。しかし、電話の受付も平日でしかできないこともあるため、チャットなどで気軽に簡単な内容であれば問い合わせできたらありがたいと思います。(5～9歳)
- 手帳や障害年金の事を、病院の先生は何も教えてくれなかった。医師からも、これらの情報を提供するように行政から指導してほしい。(55～59歳)
- 障害者手帳の更新のタイミングを知らせてほしい。(55～59歳)

障害への理解・配慮について 8件

- 学校教育で、障害を扱うべきだと思う。特に発達障害。学校にいと、たまに「お前 ADHD やん」とか、悪口的な意味での ADHD が聞こえてきます。これは、明らかに発達障害に対する理解度が低いからであると思っている。学校教育でもなんでも、発達障害について周知させるべきだと考える。(10～14歳)
- もっと障害のある人達への理解を深めて欲しい(25～29歳)
- 行政に個々の困りごとを伝えても、まったく配慮をしていただけない、本当に障害理解をしていていないと感じる。他区とくらべても、配慮対処を考えてくれない。(25～29歳)
- 障害者といってもそれぞれ個性、多様性があるのでそのあたりを理解してほしい。(75～79歳)

施設について 7件

- すこやか窓口（北部）を普段利用しているが、自宅から近く、区役所より混むことはなく、職員の方々も皆さん親切、ていねいに対応して下さるので、いつも感謝している。区役所に行かずに済むので（区役所は混むとの話なので）助かっている。(50～54歳)

今後の不安について 5件

- 先々のことが心配です。まっしろキャンパスさんに相談はしていますが、10年、20年先の親亡きあとのことも考えていかないといけないので不安です。(10～14歳)
- 身体障害者になったばかりで、今後どのような状況になるかわかりません。1年後の病状について不安です。但し年齢と病状を考えると仕事をしようとは思っていません。(70～74歳)

相談について 4件

- 全て「決まり」にてらして「できない」とするのではなく、特殊なケースに個別に対応して実行力や発言力のある第三の非定形事例対応のための相談窓口が欲しい。(40～44歳)

その他 37件

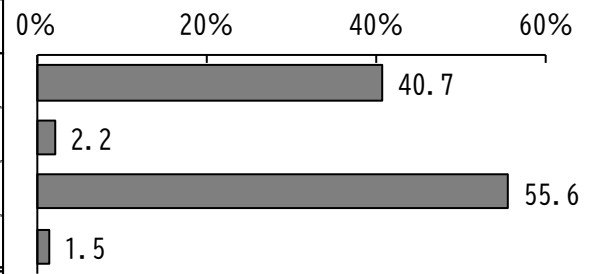
- 障害者への「差別」に注目するのではなく「障害者」を雇いたい、手伝いたいと周りが思ってくれるような社会を作してほしい。その方が社会として明るいと思います。(35～39歳)
- 私は、すでに高齢で、十分お世話になっていますが、若い方、働き盛りの方など、思いがけないWEBでの攻撃や差別があるようです。行政の寄り添いがとても必要だと思います。(85～89歳)

施設入所者調査

1. 調査回答者の属性

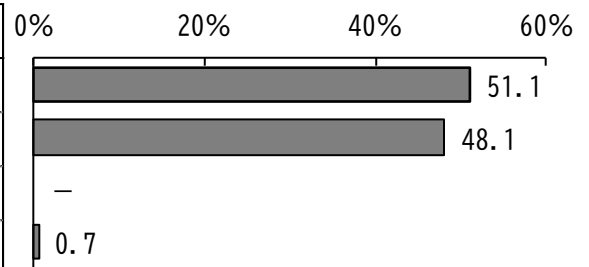
1.1. アンケートの回答者

	基数	構成比 (%)
本人（代筆を含む）	55	40.7
家族	3	2.2
その他の人	75	55.6
無回答	2	1.5
全 体	135	100.0



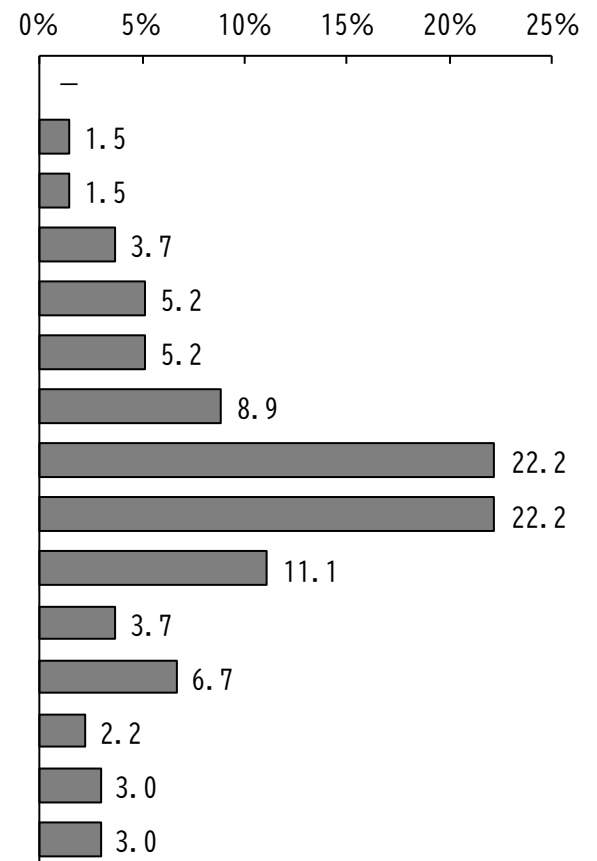
1.2. 性別

	基数	構成比 (%)
男性	69	51.1
女性	65	48.1
その他	—	—
無回答	1	0.7
全 体	135	100.0

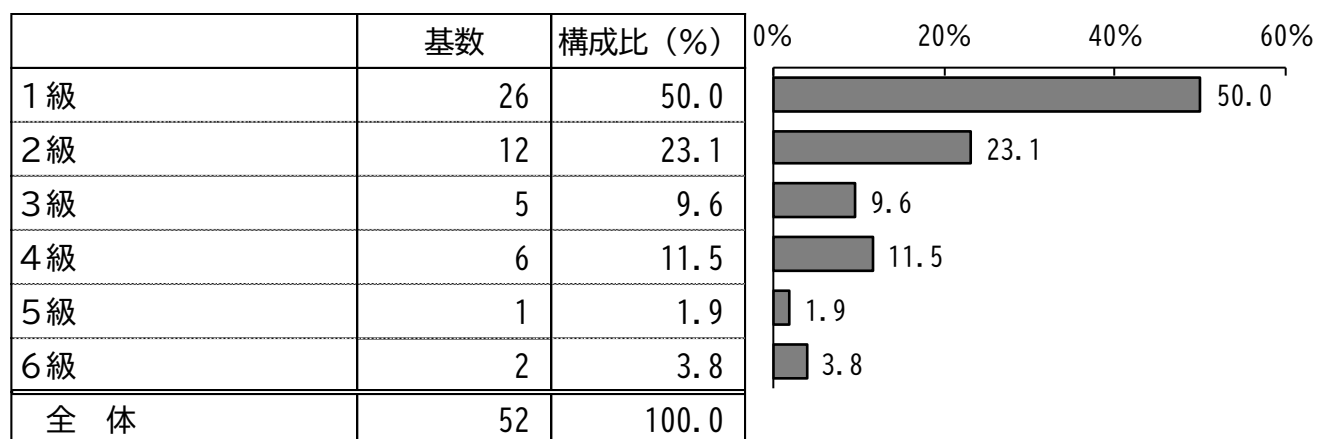


1.3. 年齢

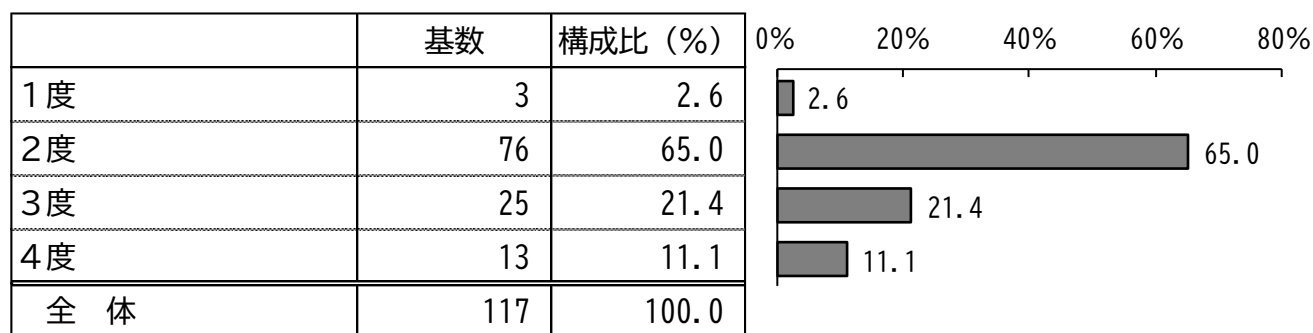
	基数	構成比 (%)
20歳未満	—	—
20～24歳	2	1.5
25～29歳	2	1.5
30～34歳	5	3.7
35～39歳	7	5.2
40～44歳	7	5.2
45～49歳	12	8.9
50～54歳	30	22.2
55～59歳	30	22.2
60～64歳	15	11.1
65～69歳	5	3.7
70～74歳	9	6.7
75～79歳	3	2.2
80歳以上	4	3.0
無回答	4	3.0
全体	135	100.0



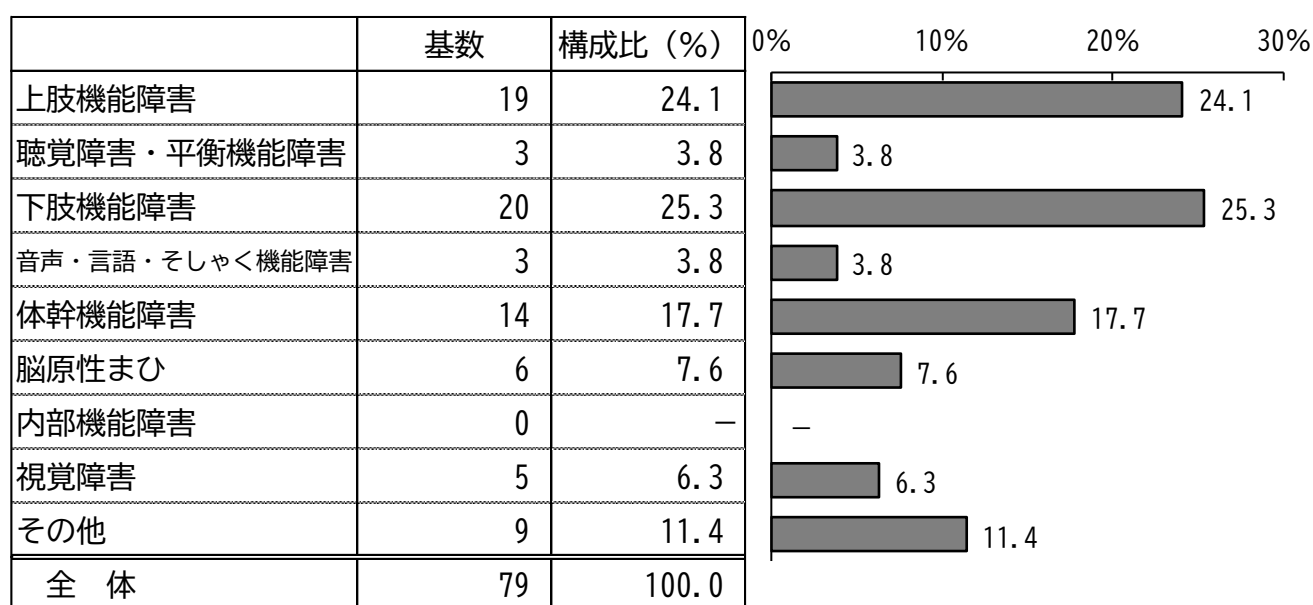
1.4. 身体障害者手帳の等級



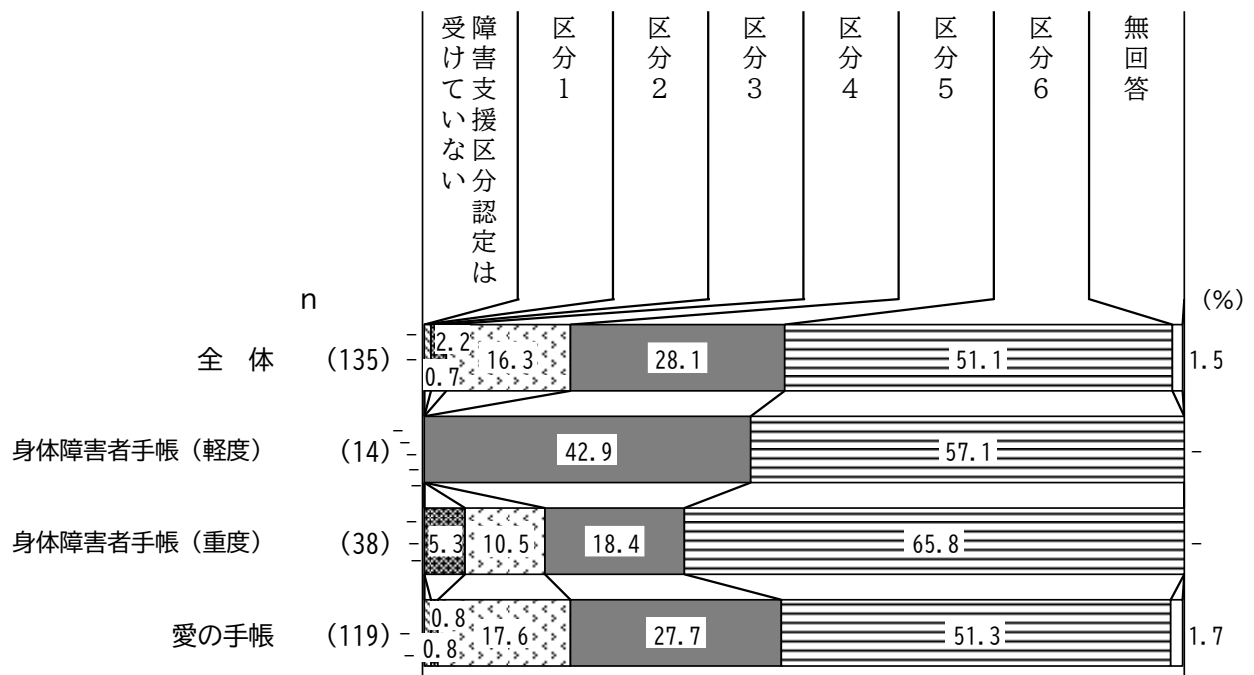
1.5. 愛の手帳の度数



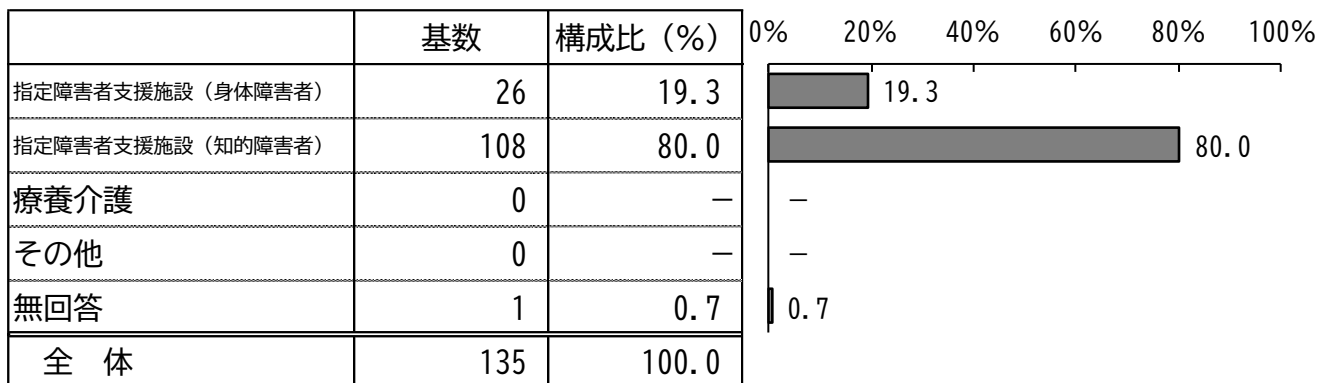
1.6. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）



1.7. 障害支援区分



1.8. 入所施設の種類の



2. 入所について

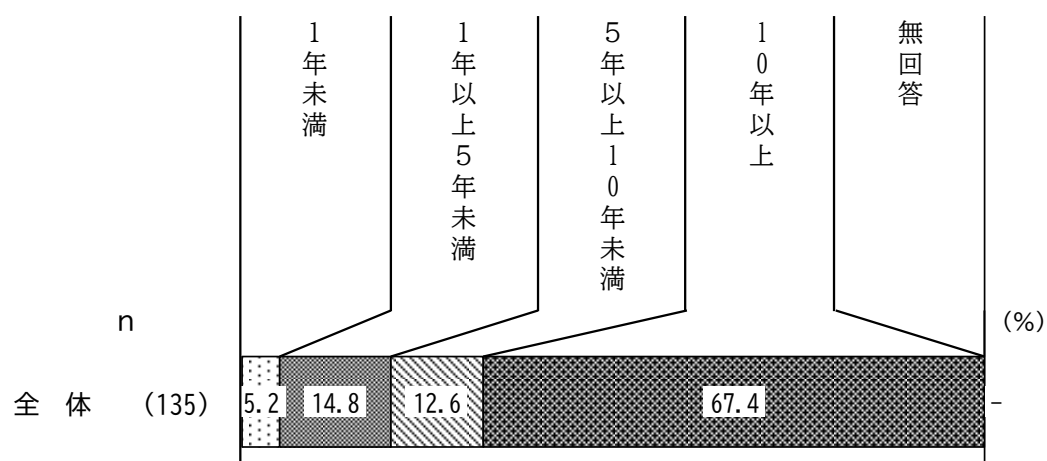
2.1. 入所年数

◆入所年数は「10 年以上」が6 割台後半

(全員の方に)

問 6. 現在の施設に入所して何年になりますか。(○は1つ)

図 2-1 入所年数



入所年数は「10 年以上」が6 割台後半と最も高くなっている。

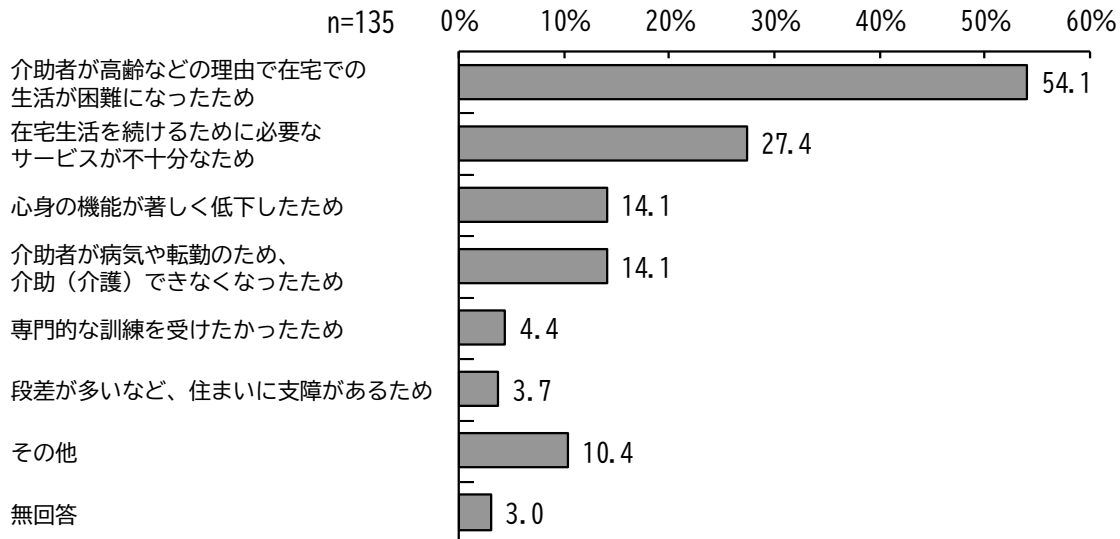
2.2. 入所理由

◆施設への入所理由は「介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため」が5割半ばで最も高い

(全員の方に)

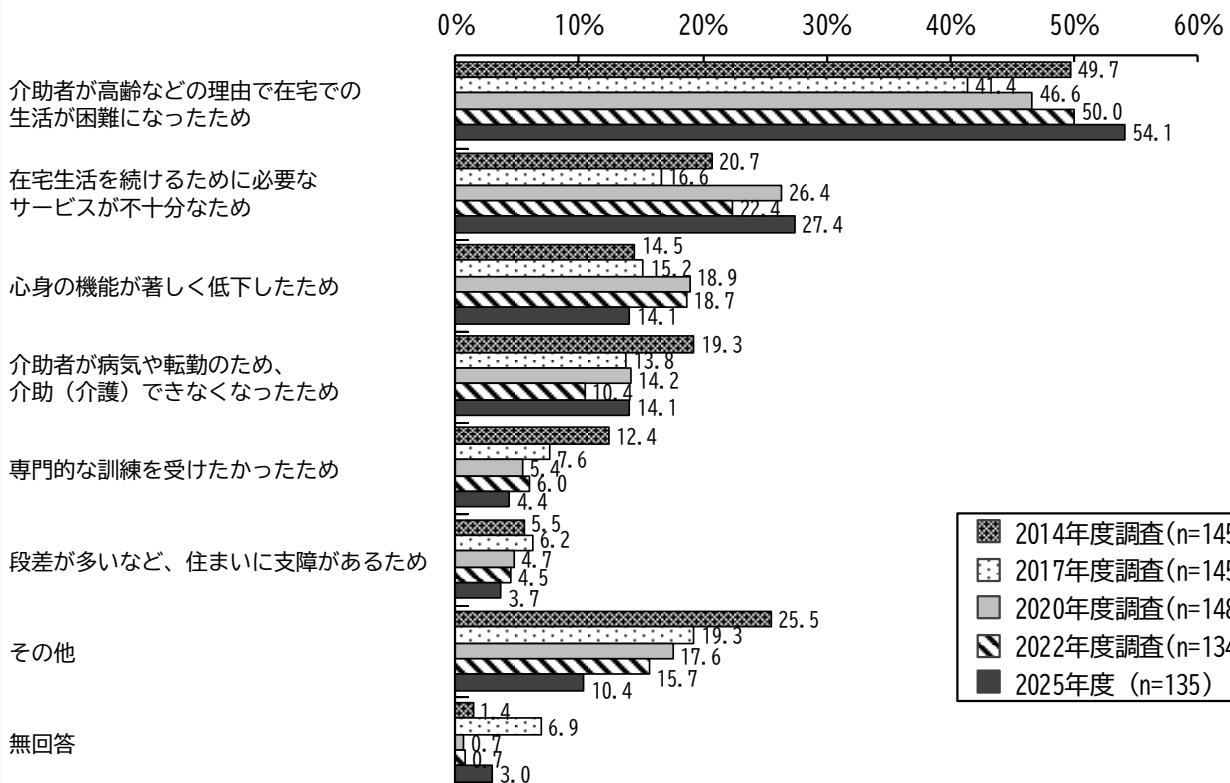
問7. 現在の施設に入所することになった理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-2 入所理由



現在の施設に入所することになった理由は「介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため」が最も高く、次いで「在宅生活を続けるために必要なサービスが不十分なため」「心身の機能が著しく低下したため」「介助者が病気や転勤のため、介助（介護）できなくなったため」となっている。

図2-3 【経年比較】入所理由



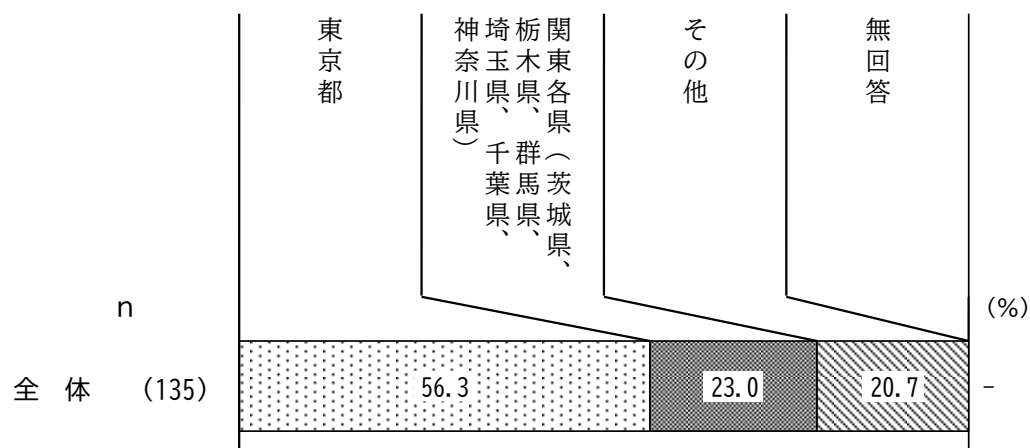
2.3. 施設の場所

◆施設の場所は、「東京都」が最も高い

(全員の方に)

問 8. 施設のある場所は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

図 2-4 施設のある場所



現在の施設の場所は「東京都」が最も高くなっている。

3. 今後の生活について

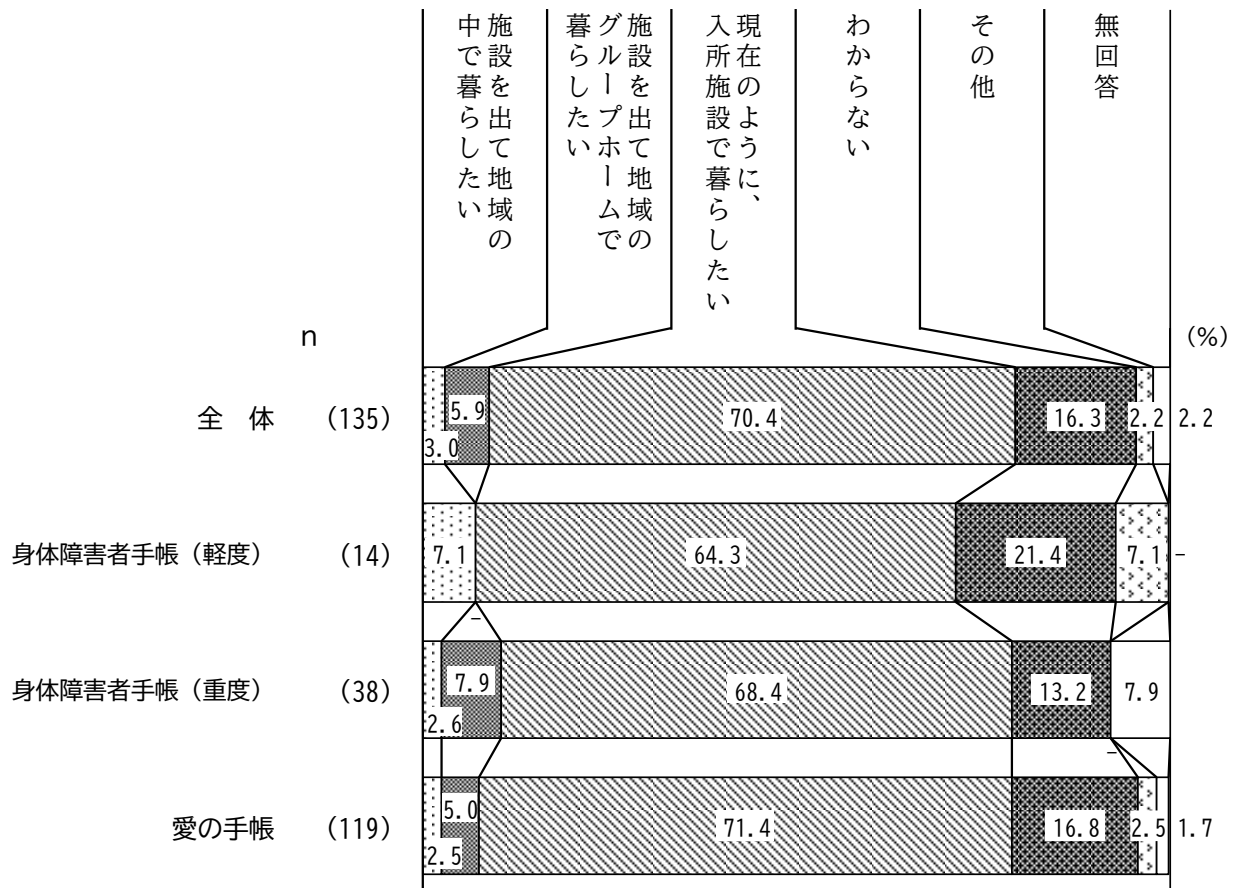
3.1. 生活したい場所

◆今後、生活したい場所は「現在のように、入所施設で暮らしたい」が約7割

(全員の方に)

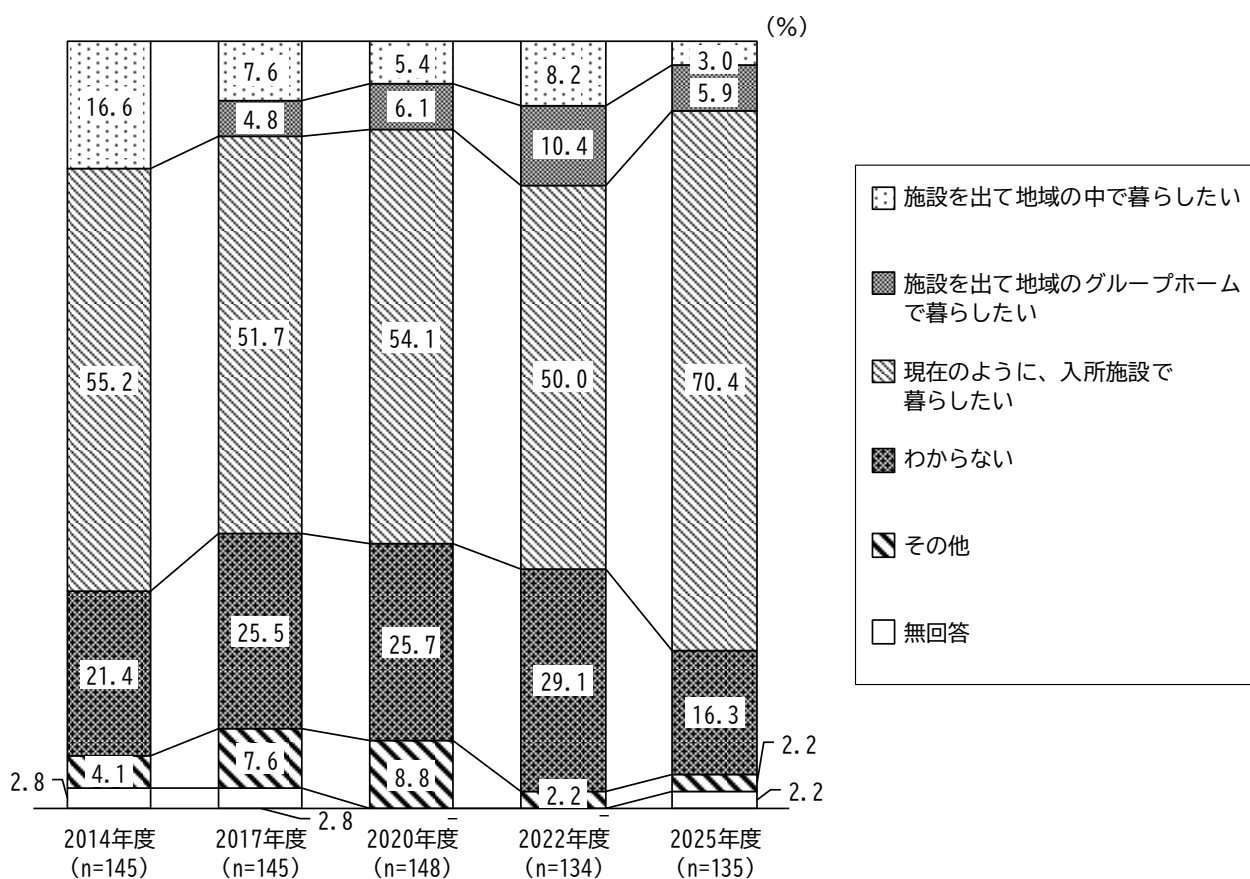
問9. 今後、どこで生活したいですか。(○は1つ)

図3-1 【所持手帳別】生活したい場所



今後、生活したい場所は、「現在のように、入所施設で暮らしたい」が最も高くなっている。

図 3-2 【経年比較】生活したい場所



※2014年度は「施設を出て地域のグループホームで暮らしたい」の選択肢はなし。

今後生活したい場所を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「現在のように、入所施設で暮らしたい」が20.4ポイント増加している。

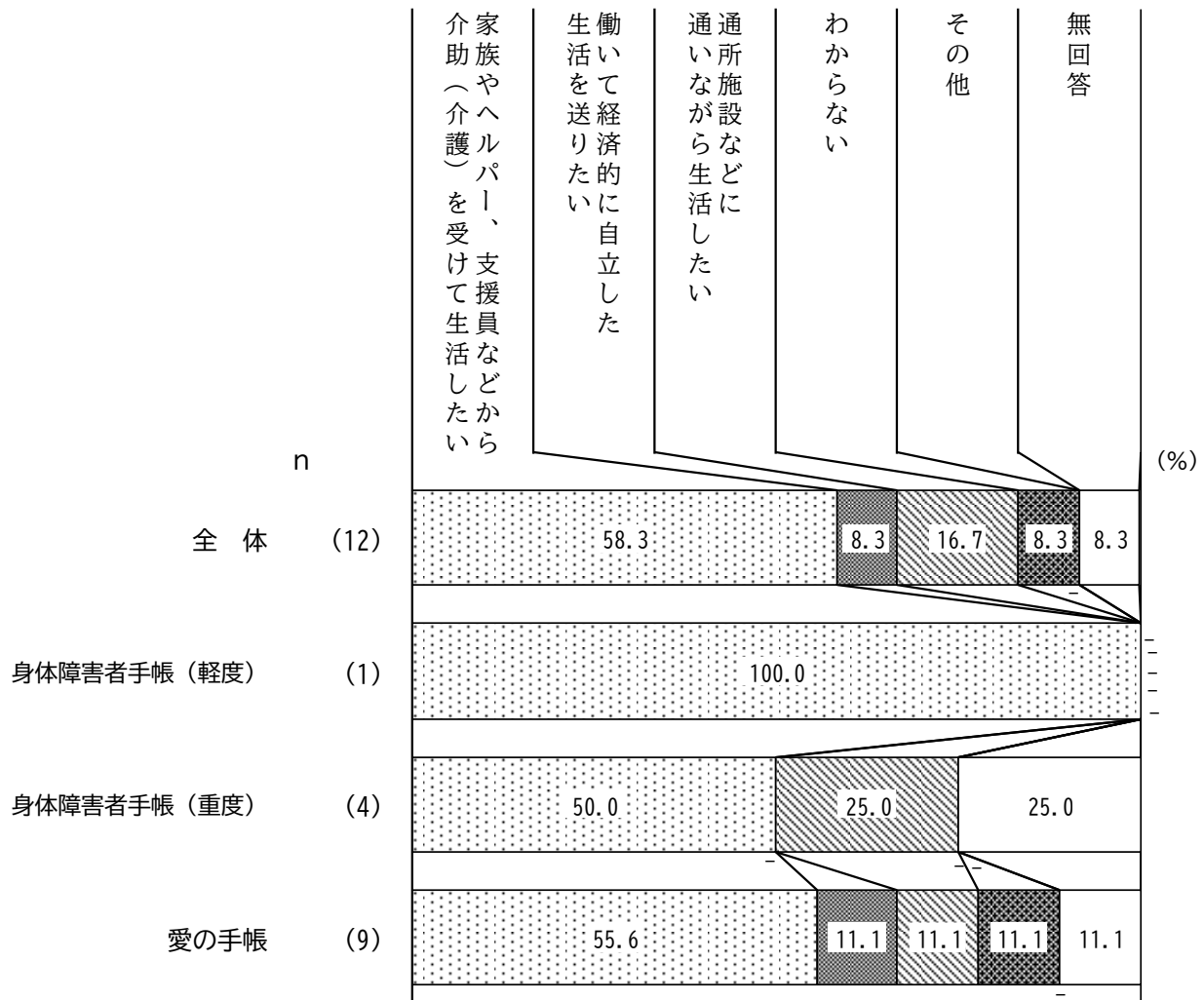
3.1.1. 施設退所後の生活

◆施設退所後の生活は「家族やヘルパー、支援員などから介助（介護）を受けて生活したい」が5割台後半

（問9で「1」または「2」に○をつけた方に）

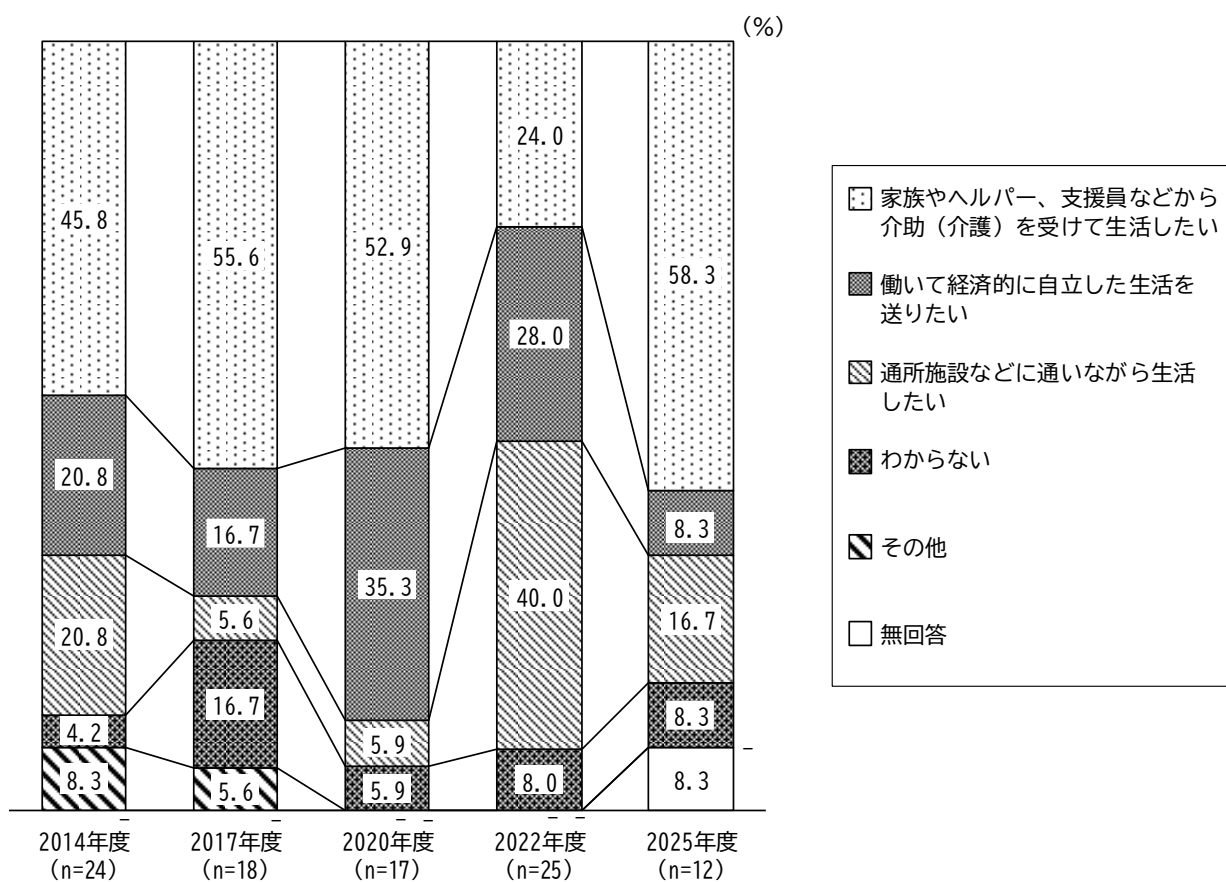
問9-1. 仮に施設を退所するとしたら、どのような生活を送りたいですか。（○は1つ）

図 3-3 【所持手帳別】施設退所後の生活



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 3-4 【経年比較】施設退所後の生活



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

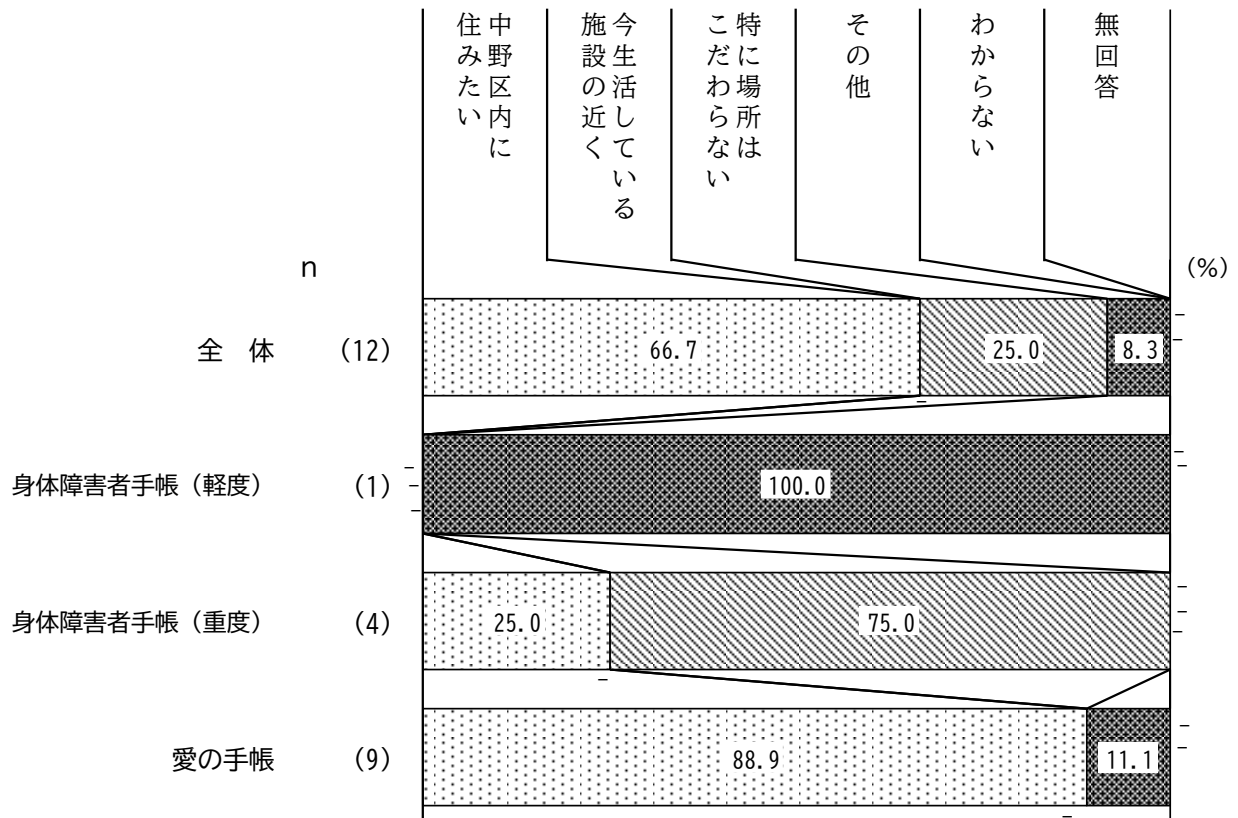
3.1.2. 施設退所後に住みたい場所

◆施設退所後は「中野区内に住みたい」が6割半ば

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に)

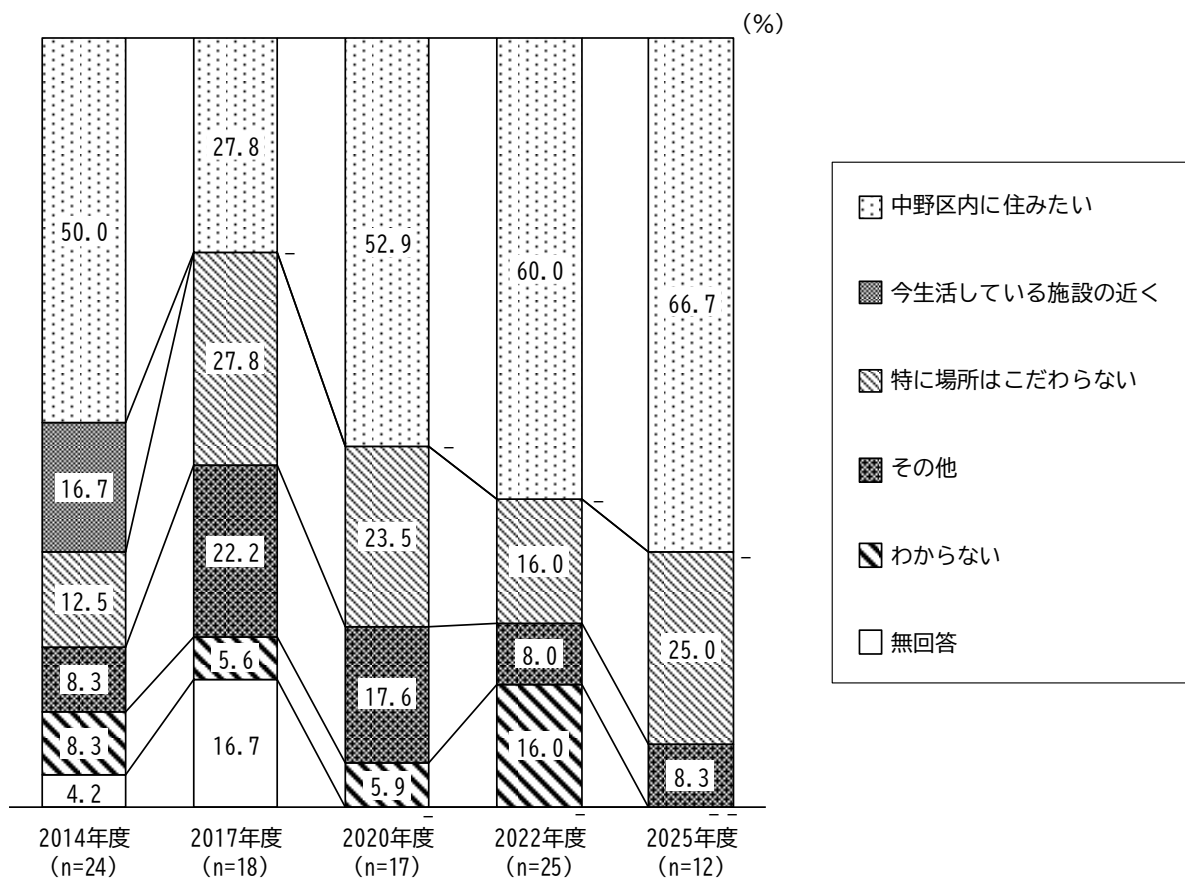
問9-2. 施設を退所したら、どこに住みたいです。(○は1つ)

図 3-5 【所持手帳別】施設退所後にどこに住みたいか



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 3-6 【経年比較】施設退所後に住みたい場所



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

4. 自由回答

4.1. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 10. 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体や今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、3人の方から回答があった。ここではその意見を掲載する。

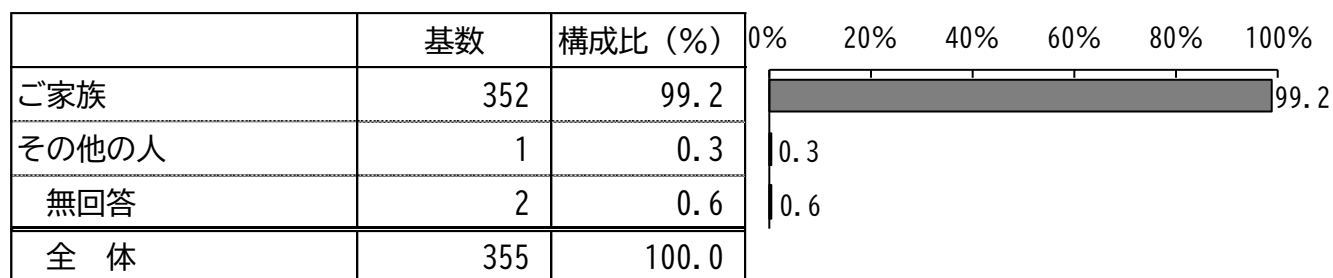
なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 日常的（支援、給食、虐待）などの調査を取り入れて欲しい。(25～29 歳)
- 中野区の方、また会いに来て下さい。(55～59 歳)
- 慣れた場所で暮らしたい。(70～74 歳)

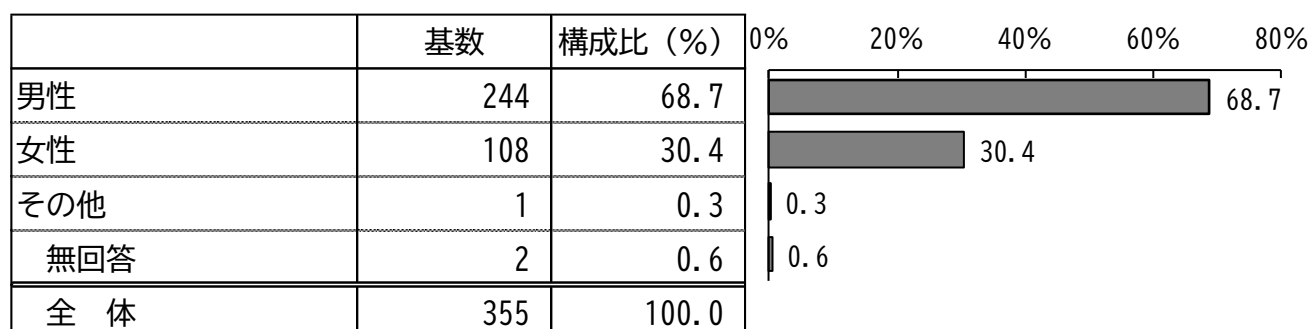
発達支援等調査

1. 調査回答者の属性

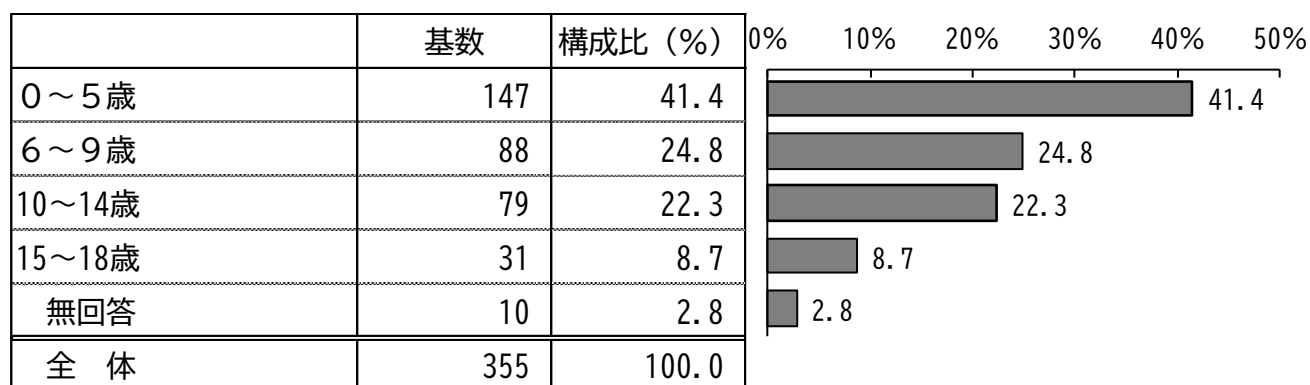
1.1. アンケートの回答者



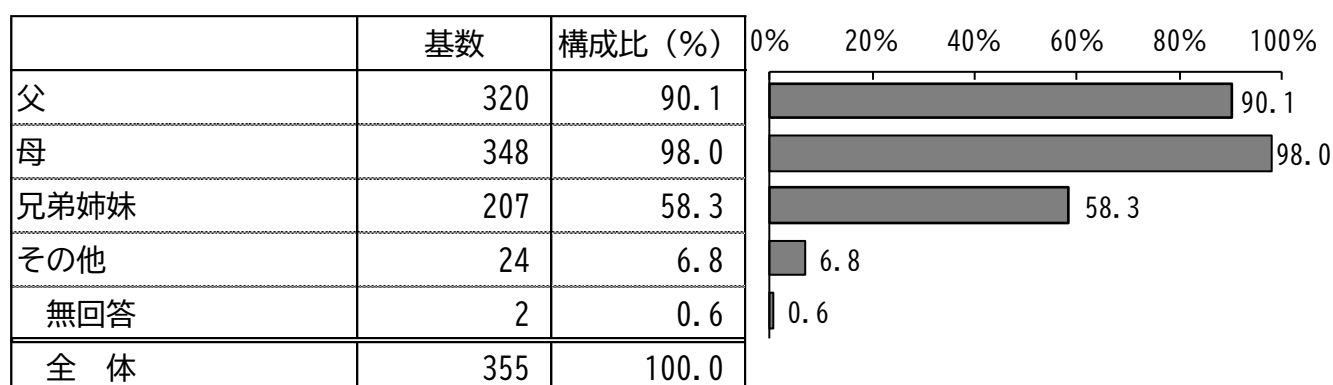
1.2. 性別



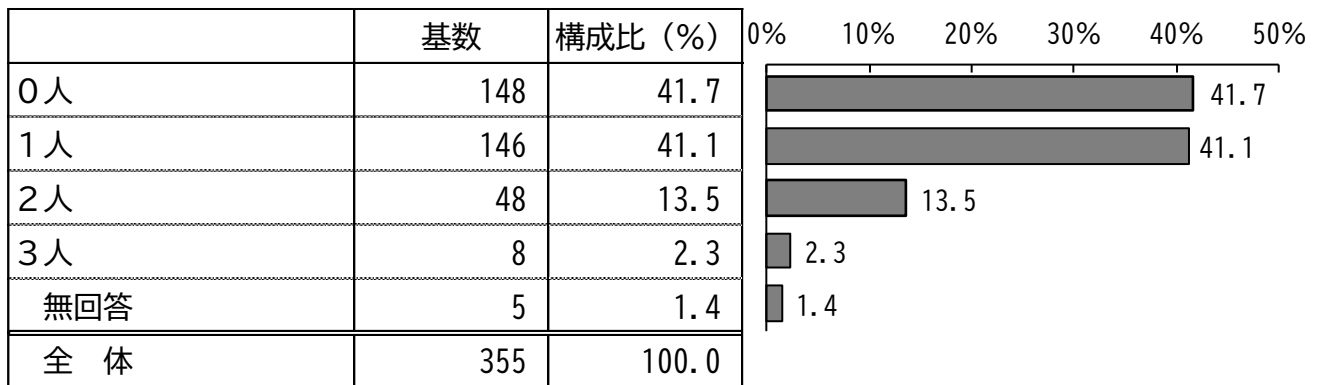
1.3. 年齢



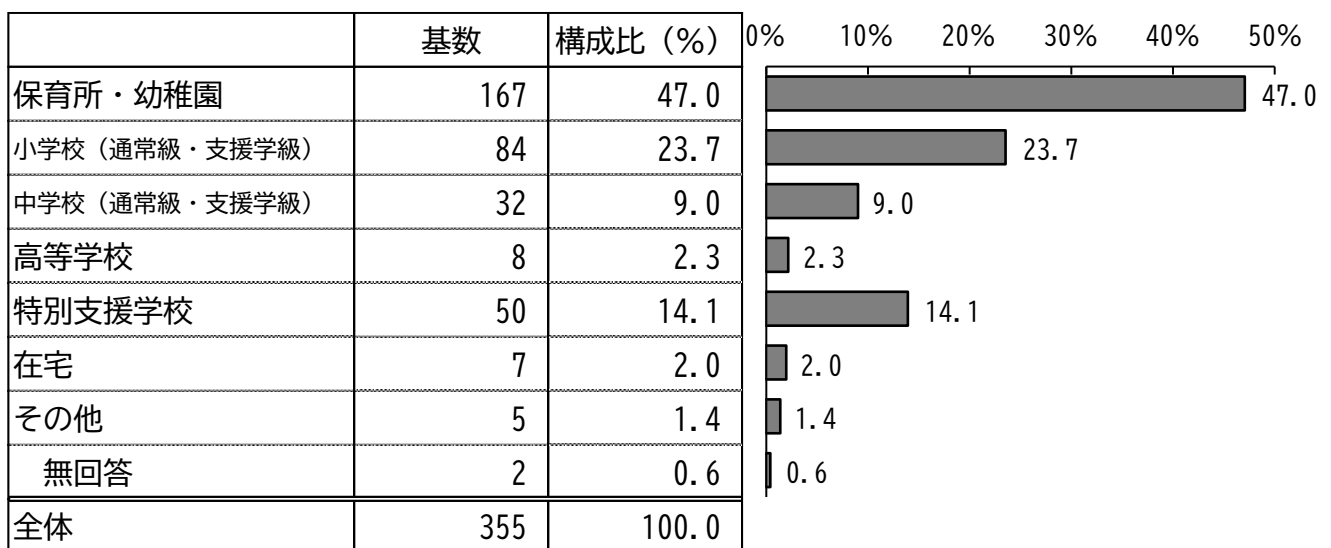
1.4. 家族構成（複数回答）



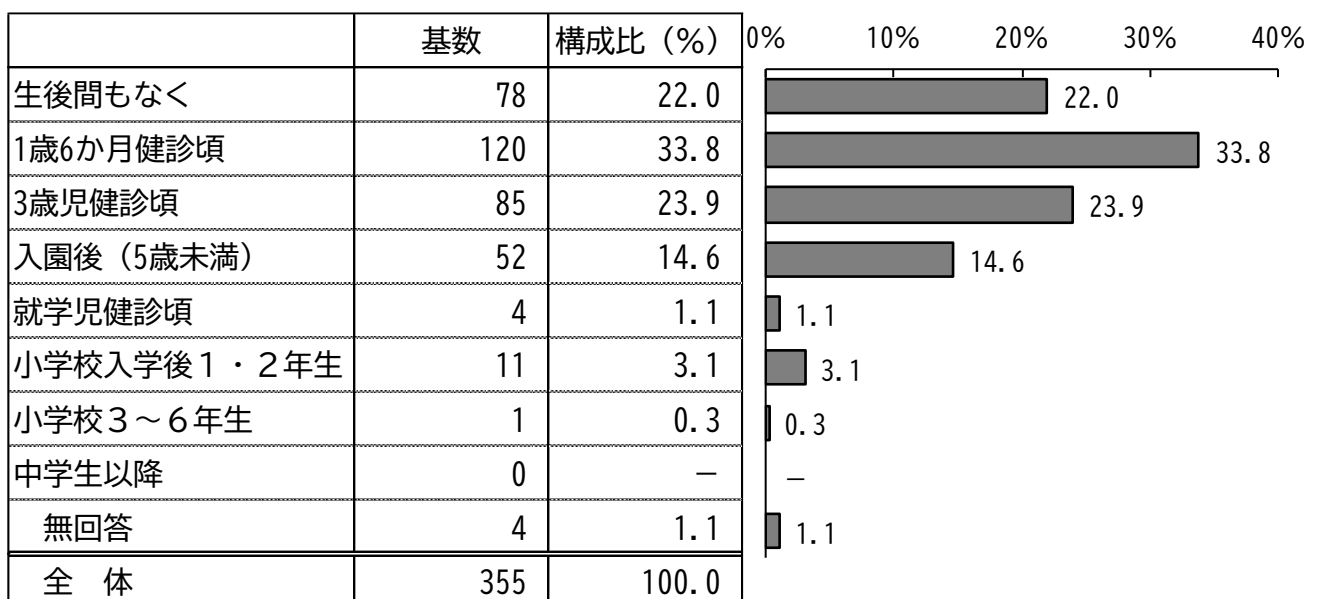
1.5. 兄弟姉妹の人数



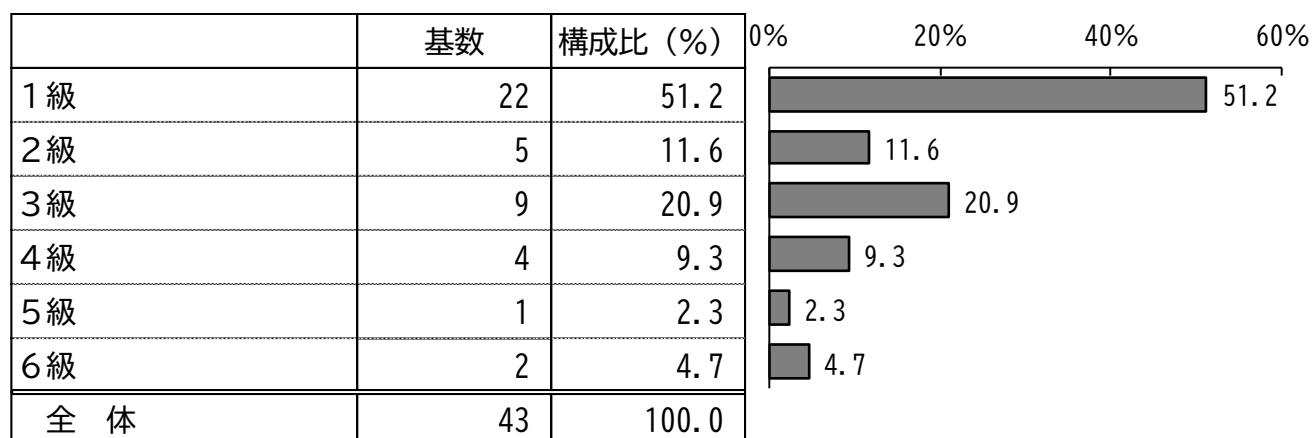
1.6. 子どもの在籍



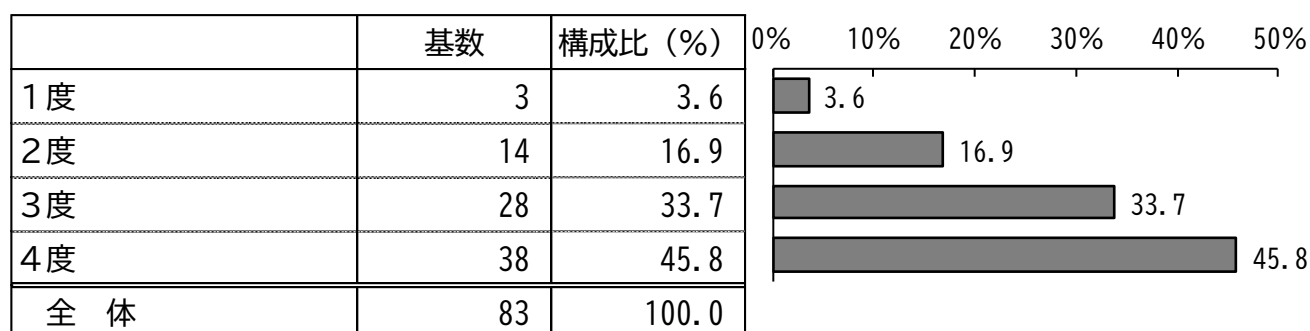
1.7. 子どもの発育や発達が気になった時期



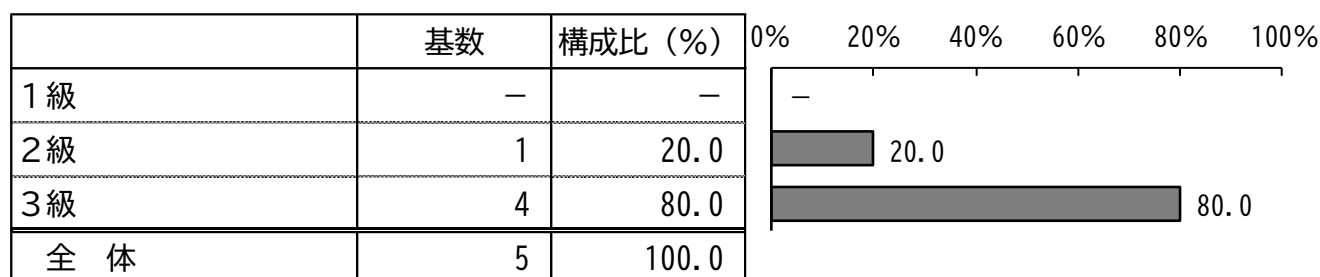
1.8. 身体障害者手帳の等級



1.9. 愛の手帳の度数



1.10. 精神障害者保健福祉手帳の等級



1.11. 所持手帳別年齢

	全 体	上段：(人) 下段：(%)					無 回 答
		0 ～ 5 歳	6 ～ 9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 18 歳		
全体	355	147	88	79	31	10	
	100.0	41.4	24.8	22.3	8.7	2.8	
手帳未所持者	236	126	71	29	3	7	
	100.0	53.4	30.1	12.3	1.3	3.0	
身体（軽度）	16	4	0	9	2	1	
	100.0	25.0	0.0	56.3	12.5	6.3	
身体（重度）	27	8	4	10	3	2	
	100.0	29.6	14.8	37.0	11.1	7.4	
愛の手帳	83	11	12	36	24	0	
	100.0	13.3	14.5	43.4	28.9	0.0	
精神障害者保健福祉手帳	5	0	3	1	1	0	
	100.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	

2. 療育相談について

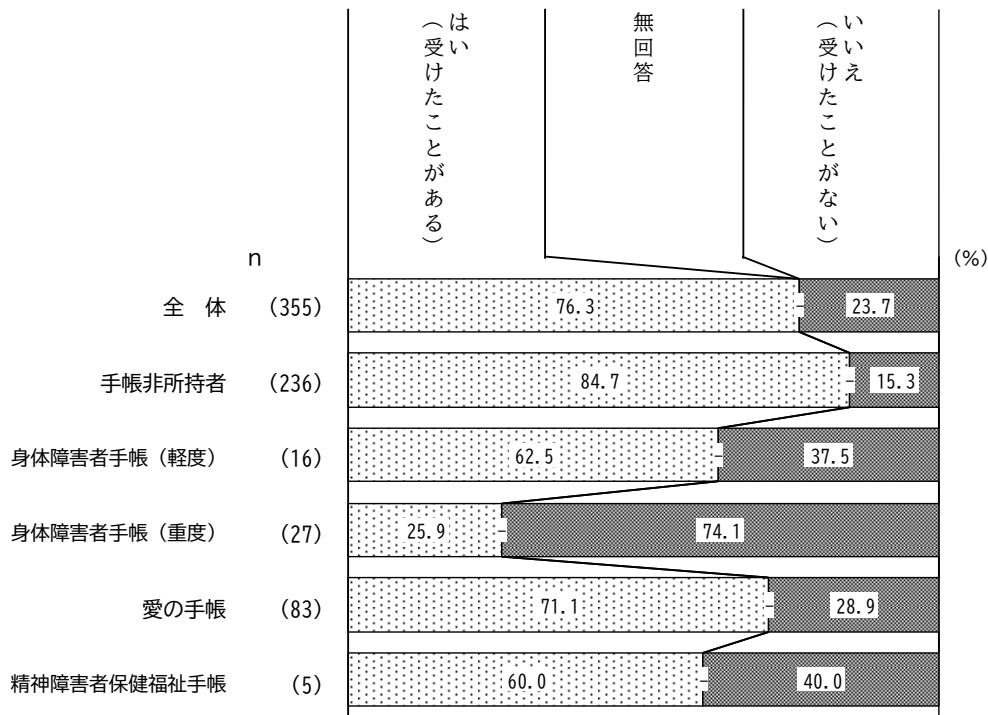
2.1. 療育相談の利用状況

◆療育相談を「受けたことがある」方は7割半ば

(全員の方に)

問6. 療育センターアポロ園又は療育センターゆめなりあで行っている「療育相談」を受けたことはありますか。(○は1つ)

図 2-1 【所持手帳別】療育相談の利用状況



療育相談を受けたことがあるかについて、「はい (受けたことがある)」が7割半ばとなっている。

図 2-2 【年齢別】療育相談の利用状況

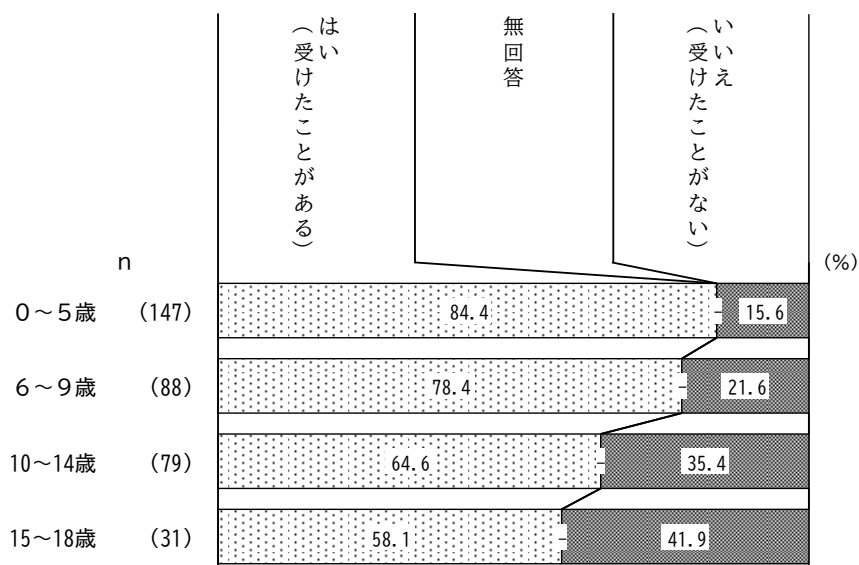


図 2-3 【在籍別】療育相談の利用状況

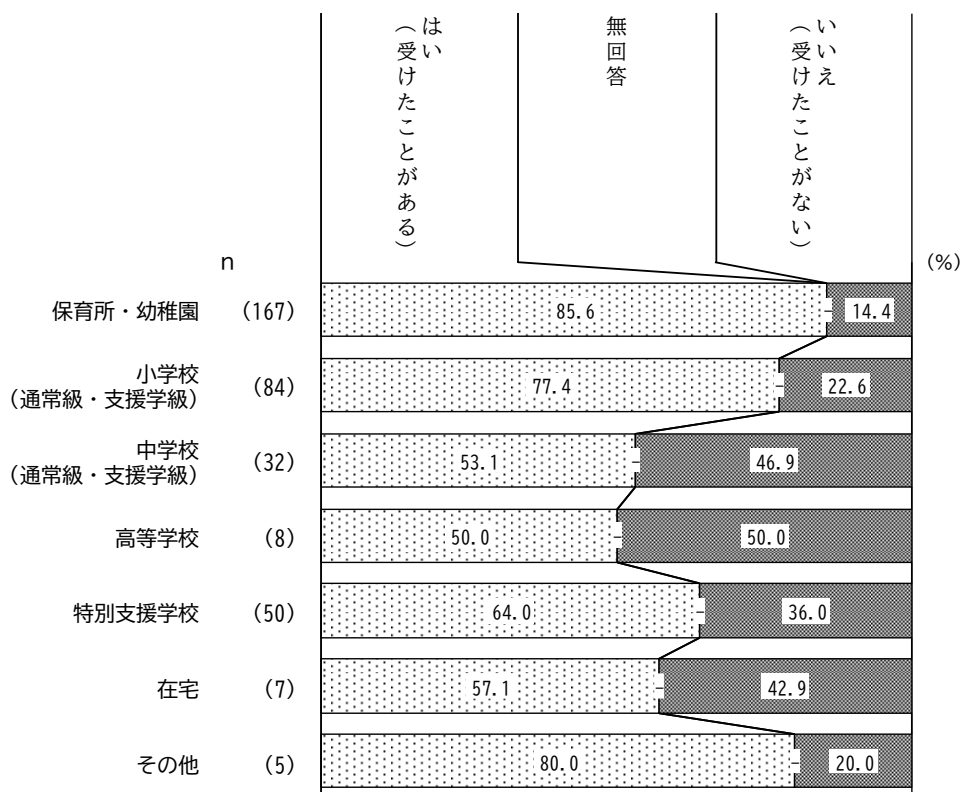
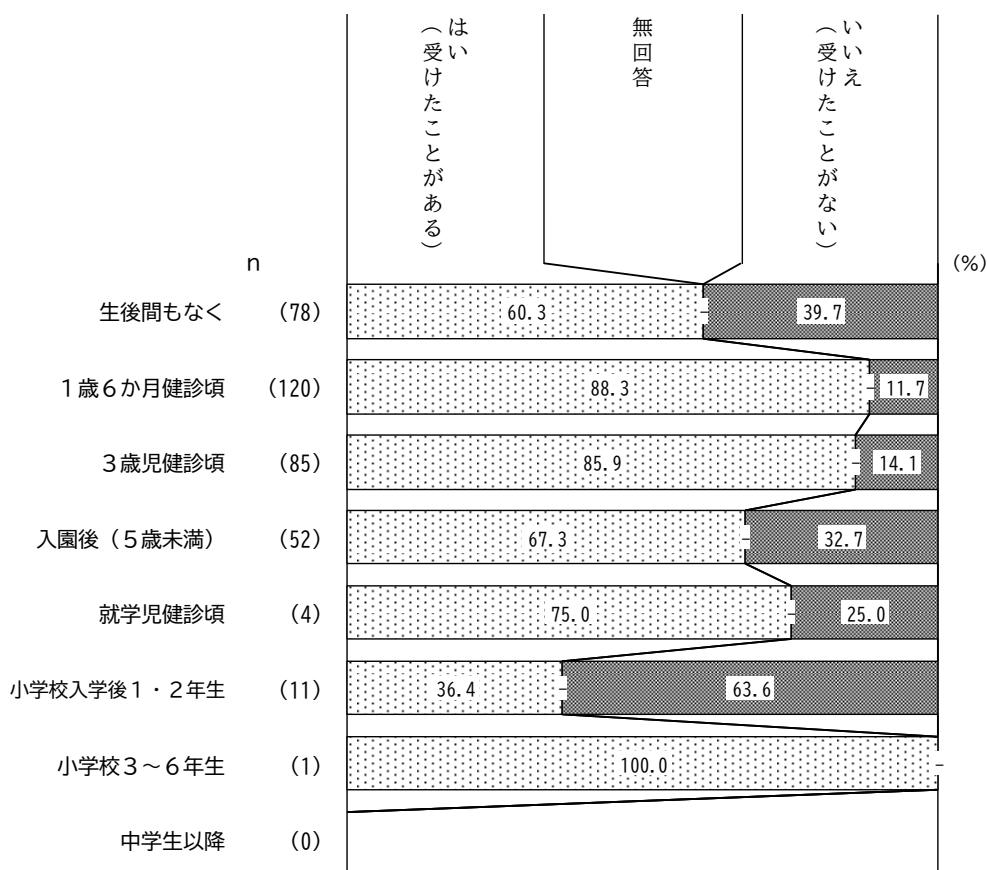


図 2-4 【気になった時期別】療育相談の利用状況



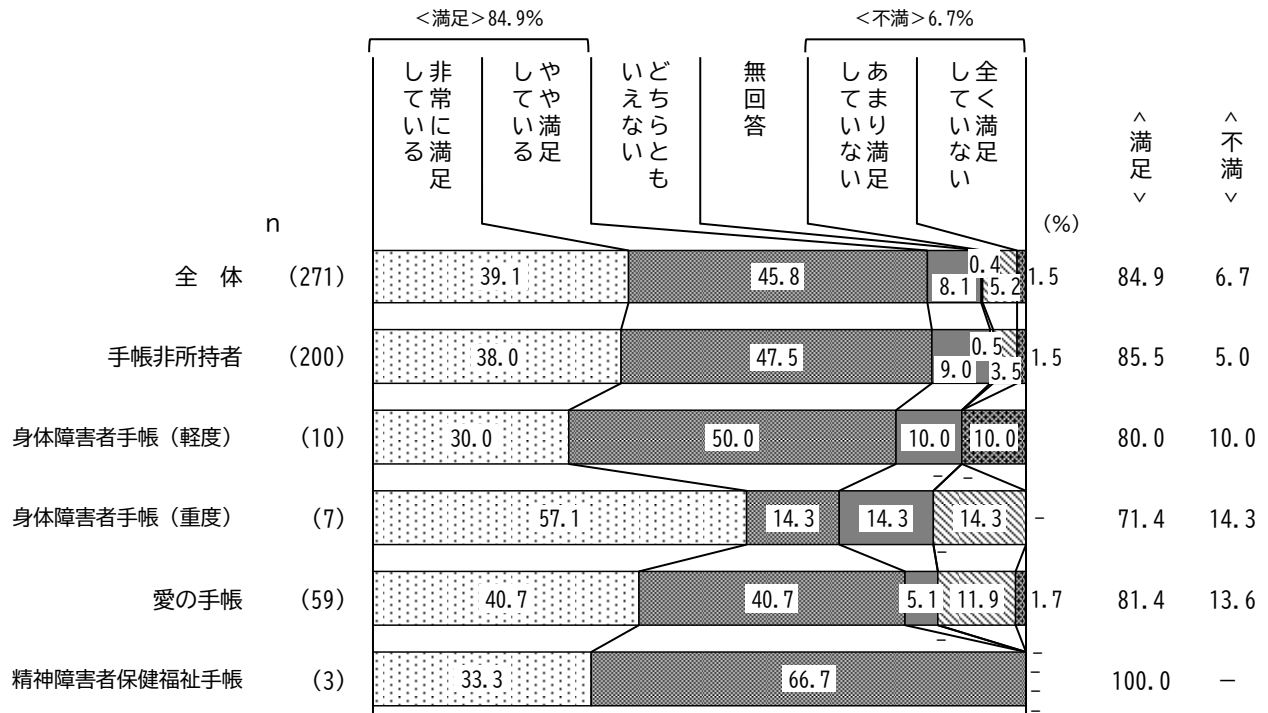
2.1.1.療育相談の満足度

◆療育相談を受けて<満足>は8割半ば

(問6で「1. はい」とお答えの方に)

問6-1. 療育相談について、どの程度満足しましたか。(○は1つ)

図 2-5 【所持手帳別】療育相談の満足度



療育相談の満足度は、<満足>が8割半ばとなっている。

図 2-6 【年齢別】療育相談の満足度

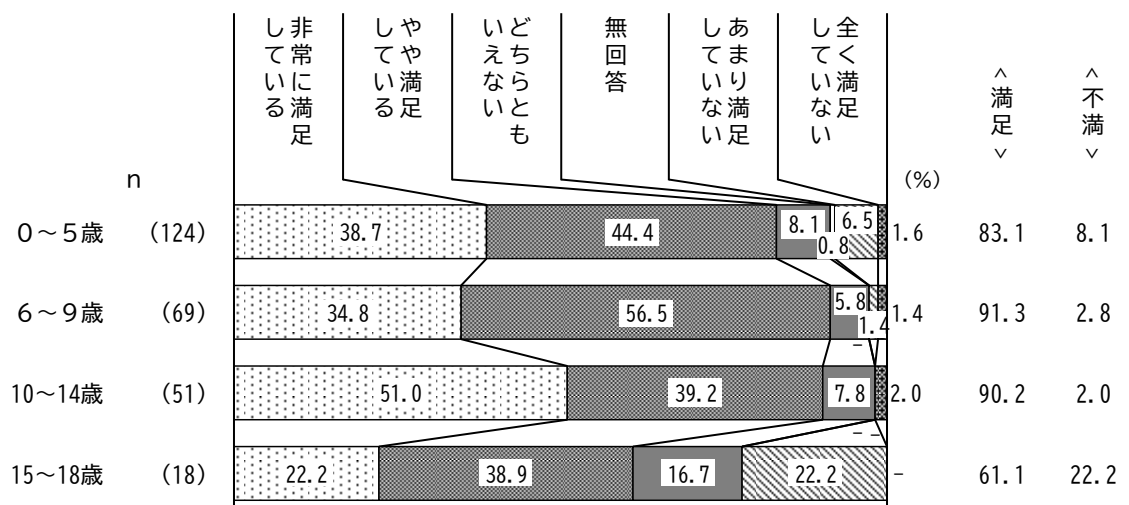
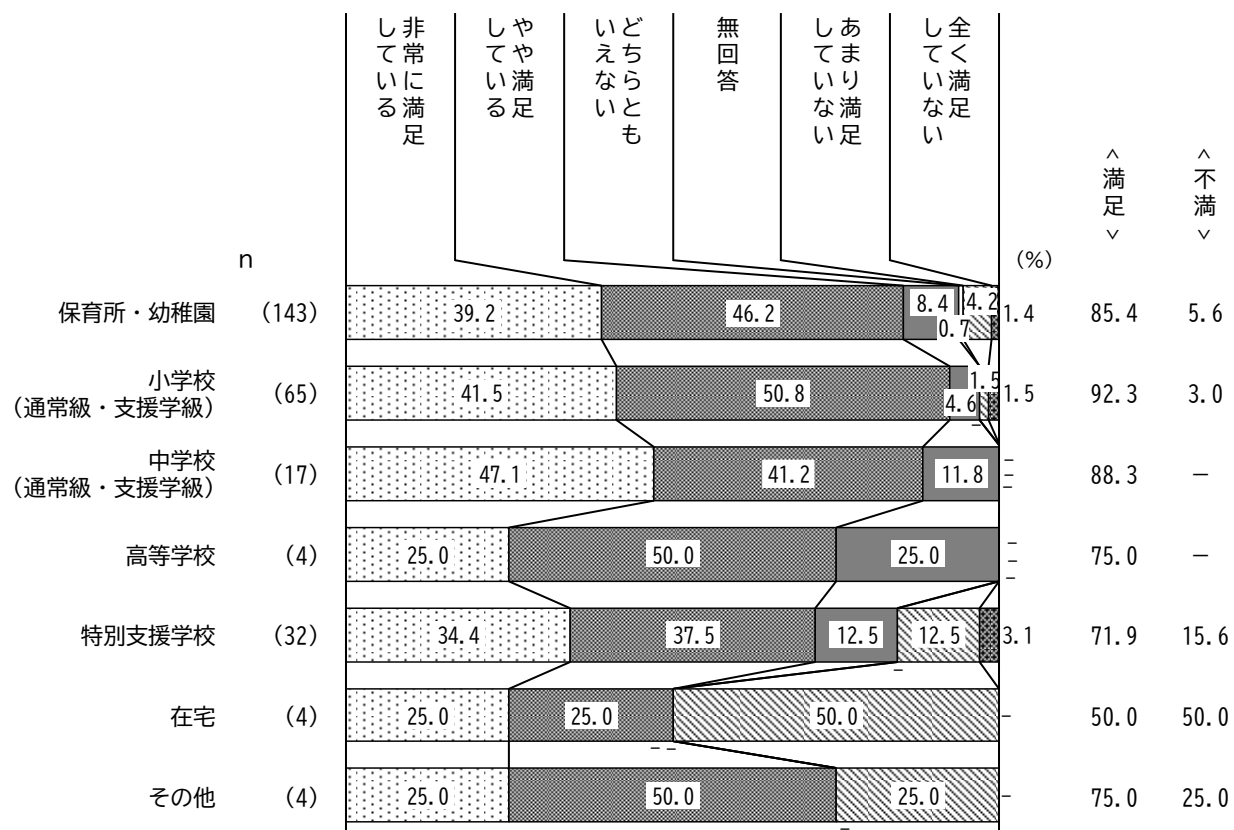


図 2-7 【在籍別】療育相談の満足度

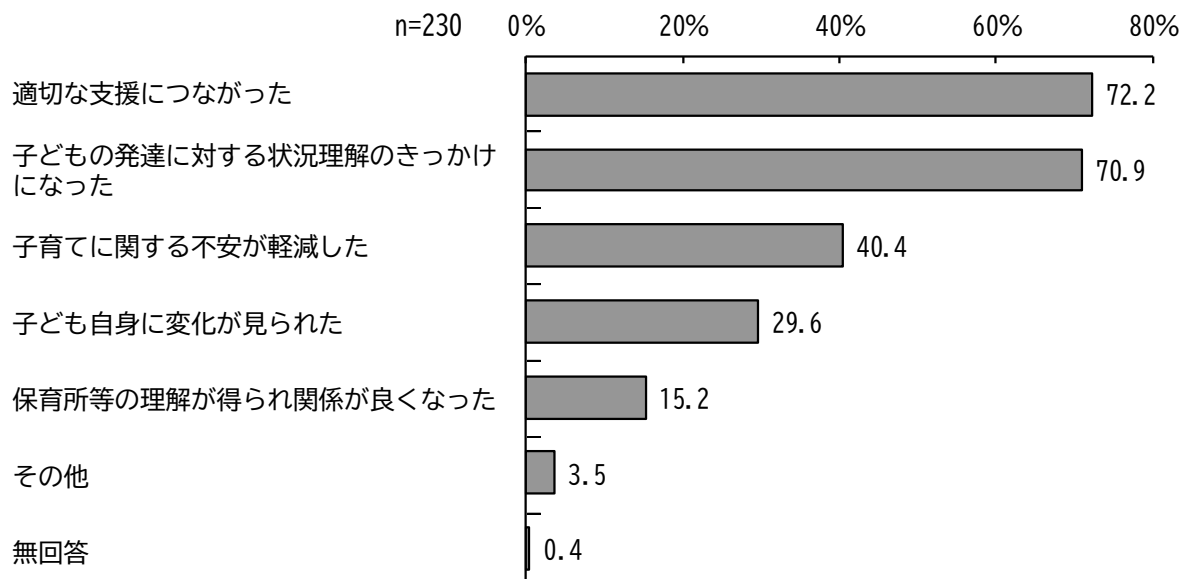


2.1.2. 療育相談に満足した理由

◆療育相談に満足した理由は「適切な支援につながった」「子どもの発達に対する状況理解のきっかけになった」が7割台

(問6-1で「1. 非常に満足している」または「2. やや満足している」とお答えの方に)
問6-1-1. 満足した理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 2-8 療育相談に満足した理由



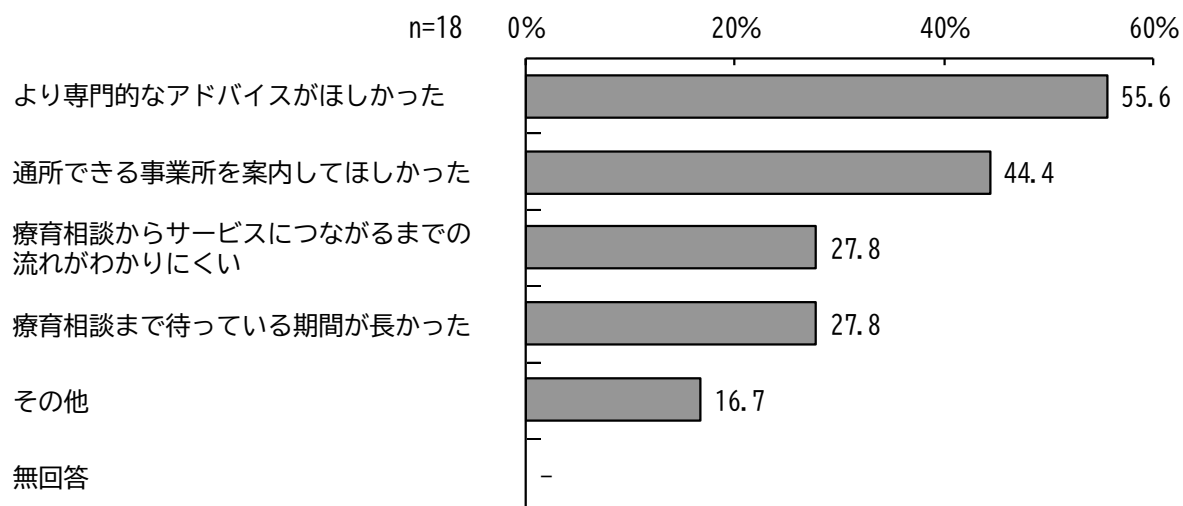
療育相談に＜満足＞と回答した方に、その理由をきいたところ、「適切な支援につながった」が7割台前半、「子どもの発達に対する状況理解のきっかけになった」が約7割で高くなっている。

2.1.3. 療育相談に満足しなかった理由

◆療育相談に満足しなかった理由は「より専門的なアドバイスがほしかった」が最も高い

(問 6-1 で「4. あまり満足していない」または「5. 全く満足していない」とお答えの方に)
問 6-1-2. 満足しなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 2-9 療育相談に満足しなかった理由



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

3. 福祉サービス等について

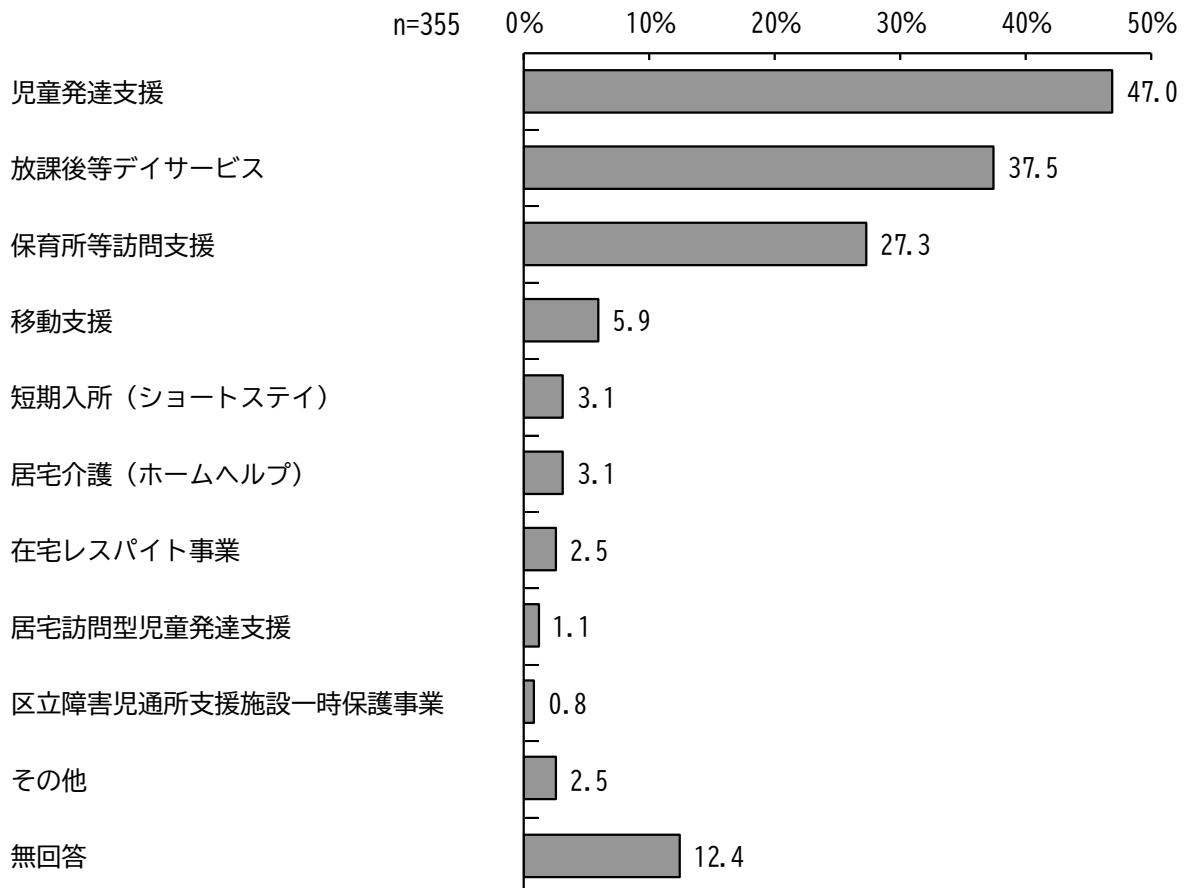
3.1. サービス等の利用状況

◆サービス等の利用状況は「児童発達支援」が4割台後半

(全員の方に)

問7. 次のサービス等を現在、利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

図3-1 サービス等の利用状況



サービス等の利用状況は、「児童発達支援」が最も高く、次いで「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」となっている。

図 3-2 【経年比較】上位 5 項目 サービス等の利用状況

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2025年度 n=355	児童発達支援 47.0	放課後等デイサービス 37.5	保育所等訪問支援 27.3	移動支援 5.9	短期入所（ショートステイ）／居宅介護（ホームヘルプ） 3.1
2022年度 n=341	児童発達支援 67.4	アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援 45.7	放課後等デイサービス 35.5	保育所 24.3	専門医 20.5
2020年度 n=337	放課後等デイサービス 44.2	専門医 28.8	児童発達支援 16.3	相談支援事業所 11.6	アポロ園及びゆめなりあの保育園等巡回訪問支援 11.3
2017年度 n=287	児童発達支援 34.1	専門医 31.4	放課後等デイサービス 30.3	幼稚園 12.9	移動支援 11.1

2022 年度までと選択肢数が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

図 3-3 【年齢別】サービス等の利用状況

区分	有効回答数（件）	児童発達支援	放課後等 デイサービス	居宅訪問型 児童発達支援	保育所等訪問支援	区立障害児通所支援 施設一時保護事業	短期入所 （ショートステイ）	移動支援	居宅介護 （ホームヘルプ）	在宅レスパイト事業	その他	無回答
全体	355	47.0	37.5	1.1	27.3	0.8	3.1	5.9	3.1	2.5	2.5	12.4
0～5歳	147	89.8	—	2.7	48.3	0.7	0.7	—	0.7	2.7	2.0	7.5
6～9歳	88	26.1	59.1	—	23.9	2.3	—	8.0	1.1	2.3	—	10.2
10～14歳	79	2.5	69.6	—	1.3	—	6.3	8.9	5.1	1.3	6.3	22.8
15～18歳	31	9.7	77.4	—	—	—	12.9	19.4	6.5	—	3.2	19.4

図 3-4 【所持手帳別】サービス等の利用状況

区分	有効回答数 (件)	児童発達支援	放課後等 デイサービス	児童発達訪問型 居宅支援	保育所等訪問支援	施設一時保護事業 区立障害児通所支援	短期入所 (シヨートステイ)	移動支援	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅レスパイト事業	その他	無回答
全体	355	47.0	37.5	1.1	27.3	0.8	3.1	5.9	3.1	2.5	2.5	12.4
手帳非所持者	236	61.4	28.0	0.4	36.9	—	—	0.4	—	—	1.7	8.1
身体障害者手帳（軽度）	16	12.5	12.5	—	12.5	6.3	—	6.3	6.3	6.3	6.3	62.5
身体障害者手帳（重度）	27	25.9	44.4	7.4	7.4	7.4	29.6	22.2	37.0	25.9	7.4	22.2
愛の手帳	83	18.1	66.3	2.4	8.4	2.4	6.0	19.3	3.6	2.4	3.6	14.5
精神障害者保健福祉手帳	5	—	80.0	—	20.0	—	20.0	20.0	—	—	—	—

図 3-5 【在籍別】サービス等の利用状況

区分	有効回答数 (件)	児童発達支援	放課後等 デイサービス	児童発達訪問型 居宅支援	保育所等訪問支援	施設一時保護事業 区立障害児通所支援	短期入所 (シヨートステイ)	移動支援	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅レスパイト事業	その他	無回答
全体	355	47.0	37.5	1.1	27.3	0.8	3.1	5.9	3.1	2.5	2.5	12.4
保育所・幼稚園	167	89.2	—	1.2	55.7	—	0.6	—	1.2	1.2	0.6	7.2
小学校 (通常級・支援学級)	84	3.6	79.8	—	1.2	—	—	2.4	—	—	3.6	14.3
中学校 (通常級・支援学級)	32	3.1	62.5	—	—	—	—	6.3	—	—	6.3	31.3
高等学校	8	—	62.5	—	—	—	12.5	12.5	12.5	—	—	25.0
特別支援学校	50	6.0	80.0	—	—	4.0	16.0	30.0	14.0	6.0	2.0	16.0
在宅	7	71.4	—	14.3	—	—	—	—	—	42.9	14.3	—
その他	5	100.0	—	20.0	40.0	20.0	—	—	—	—	20.0	—

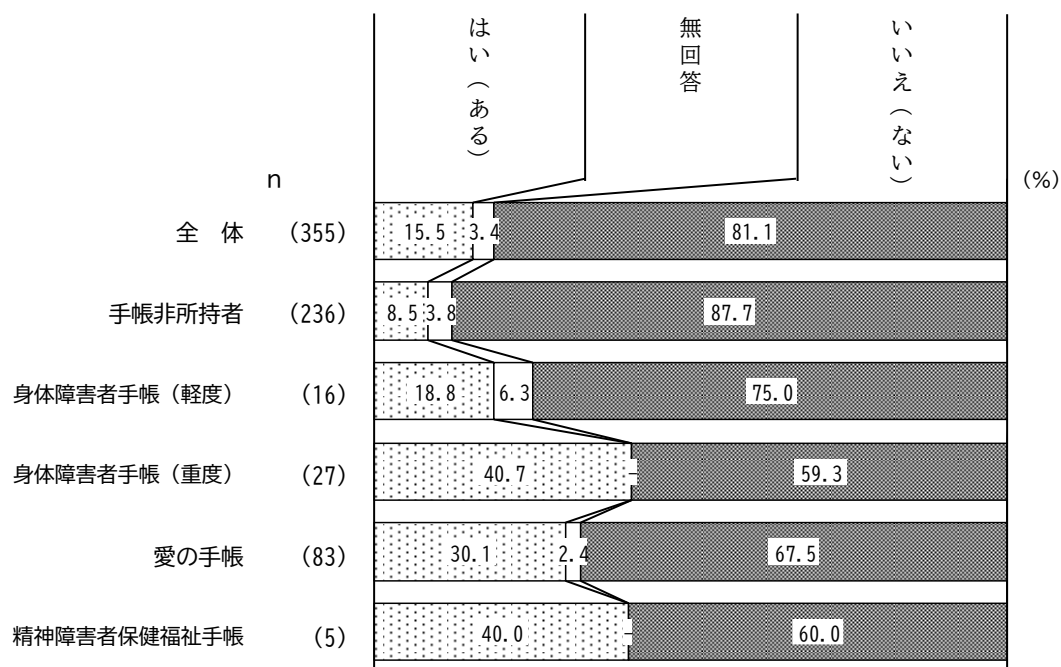
3.1.1. これまで利用できなかったサービス等の有無

◆これまで利用できなかったサービス等は「ない」が約8割

(全員の方に)

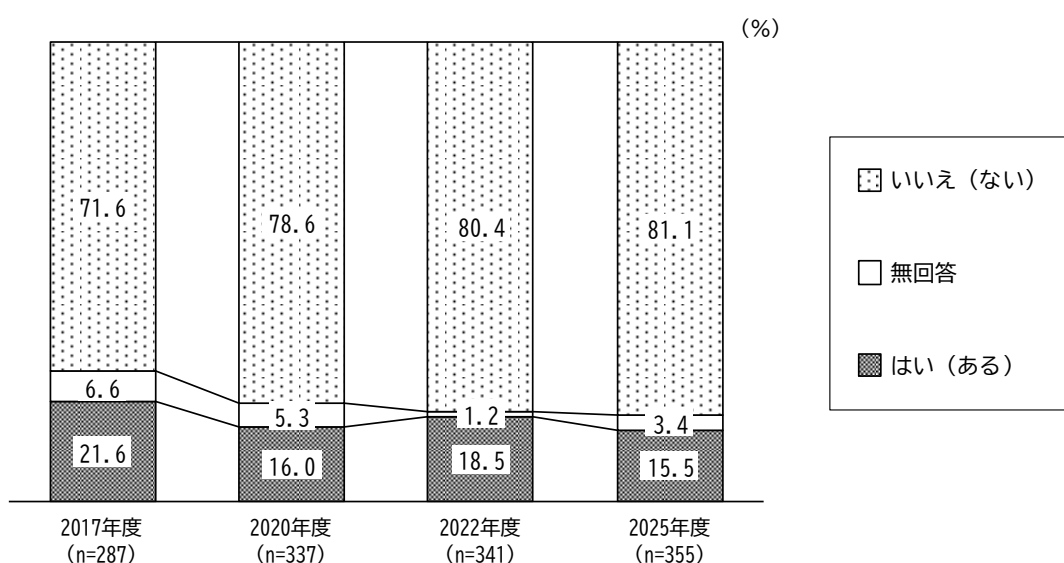
問 7-1. これまで利用できなかったサービス等がありますか。(○は1つ)

図 3-6 【所持手帳別】これまで利用できなかったサービス等の有無



これまで利用できなかったサービス等の有無は、他と比べて身体障害者手帳所持者 (重度) と精神障害者保健福祉手帳所持者で「はい (ある)」の割合が高くなっている。

図 3-7 【経年比較】これまで利用できなかったサービス等の有無



これまで利用できなかったサービス等の有無について、2025 年度は 2022 年度と比べ大きな変化はみられない。

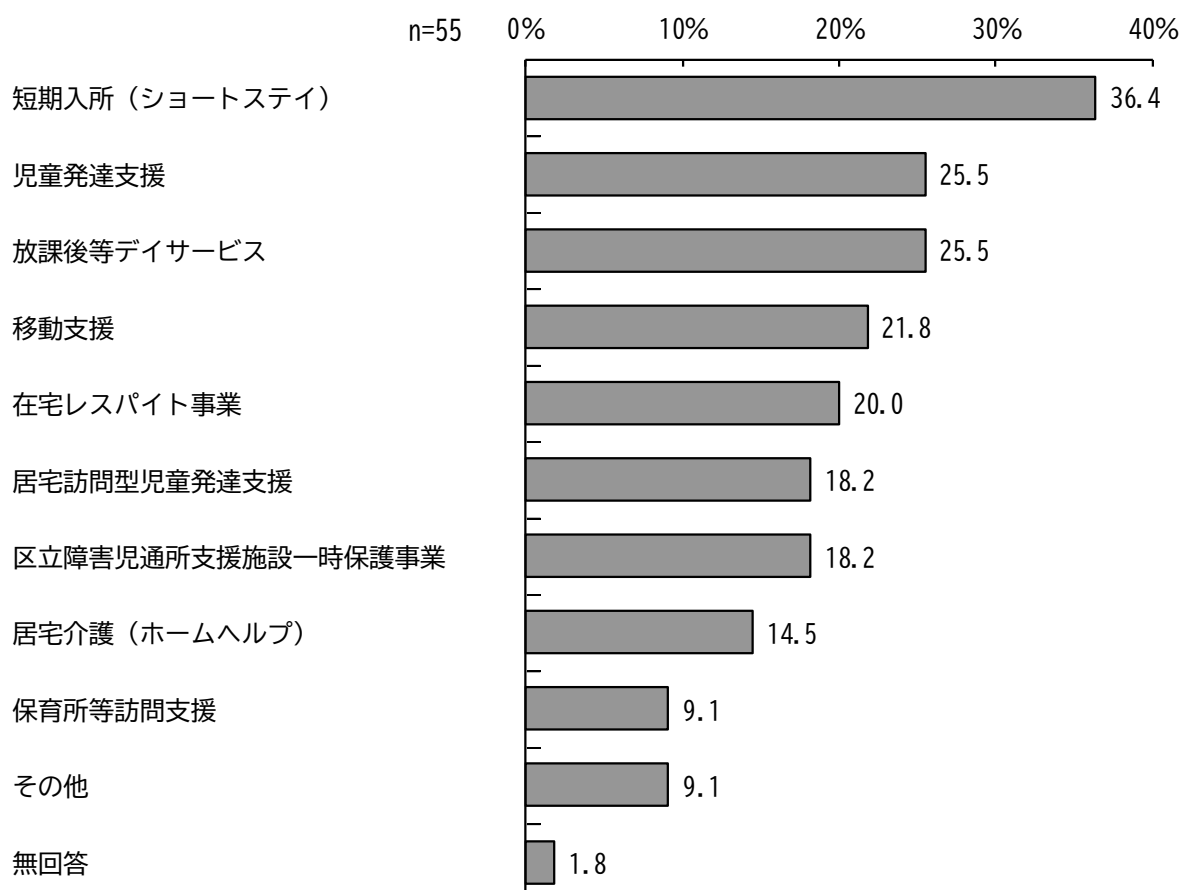
3.1.2. 利用できなかったサービス等

◆サービス等の利用状況は「短期入所（ショートステイ）」が3割半ば

（問7で「1. はい」とお答えの方に）

問7-1-1. 利用できなかったサービス等は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 3-8 利用できなかったサービス等



利用できなかったサービス等は、「短期入所（ショートステイ）」が最も高く、次いで「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」となっている。

図 3-9 【経年比較】上位 5 項目 利用できなかったサービス等

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=55	短期入所 (ショートステイ) 36.4	児童発達支援／ 放課後等デイサービス 25.5		移動支援 21.8	在宅レスパイト 事業 20.0
2022年度 n=63	保育所 22.2	児童発達支援／ 放課後等デイサービス 12.7		専門医／幼稚園 9.5	
2020年度 n=54	短期入所 (ショートステイ) / 幼稚園 18.5	保育所 16.7		放課後等デイサービス/ 学童クラブ 14.8	
2017年度 n=62	幼稚園 25.8	保育所 24.2	児童発達支援 19.4	短期入所 11.3	移動支援 9.7

2022 年度までと選択肢数が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

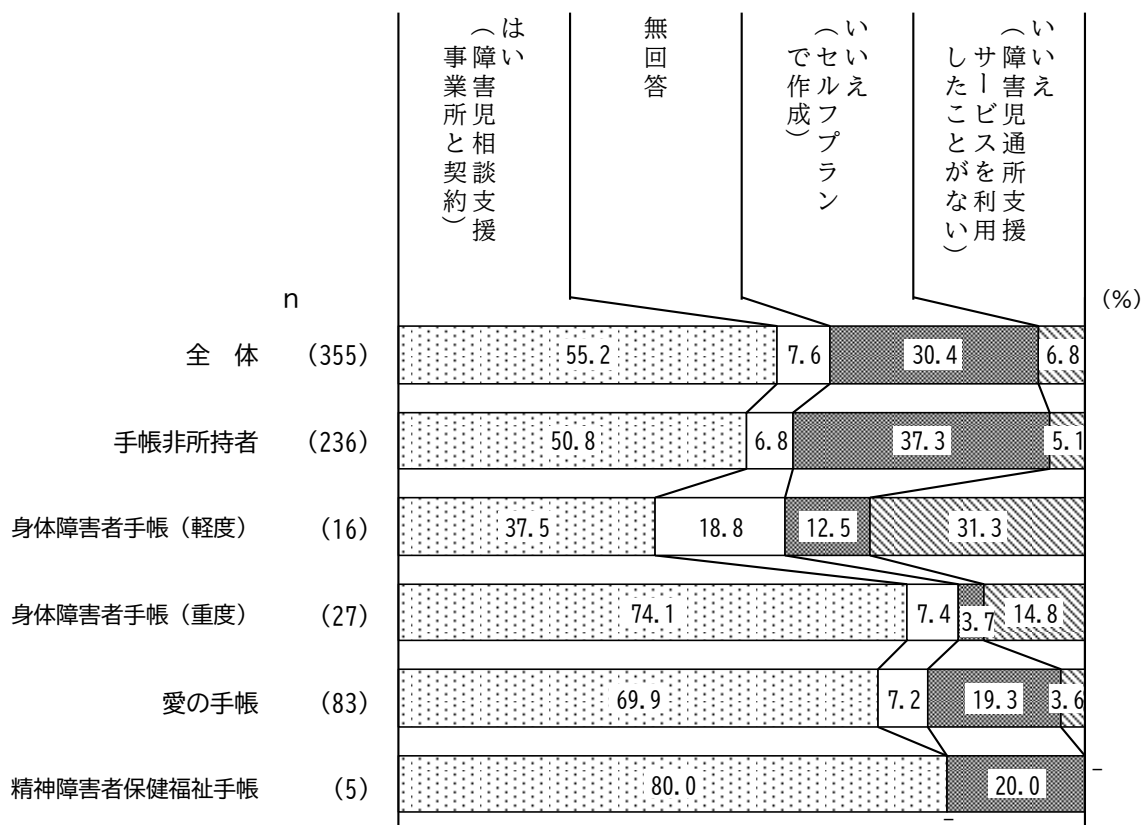
3.2. サービス等利用計画の作成状況

◆サービス等利用計画作成の際に「障害児相談支援事業所と契約」が5割半ば

(全員の方に)

問 8. 障害児通所支援サービスを利用するにあたり、サービス等利用計画の作成について、障害児相談支援事業所と契約をしましたか。(○は1つ)

図 3-10 【所持手帳別】サービス等利用計画の作成状況



サービス等利用計画の作成状況について、「はい (障害児相談支援事業所と契約)」が5割半ば、「いいえ (セルフプランで作成)」が約3割となっている。

図 3-11 【年齢別】サービス等利用計画の作成状況

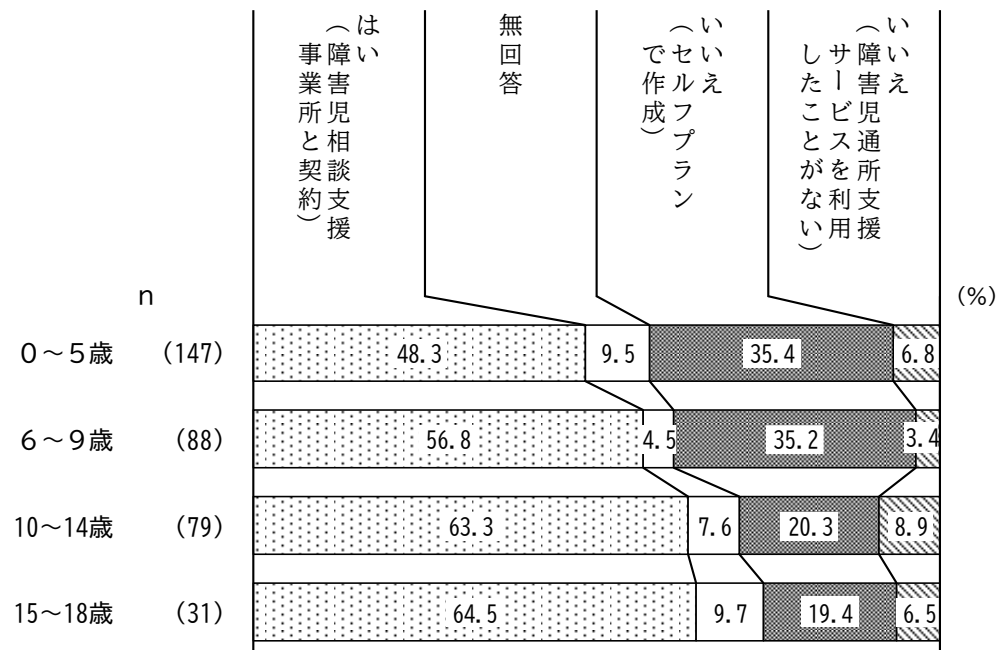
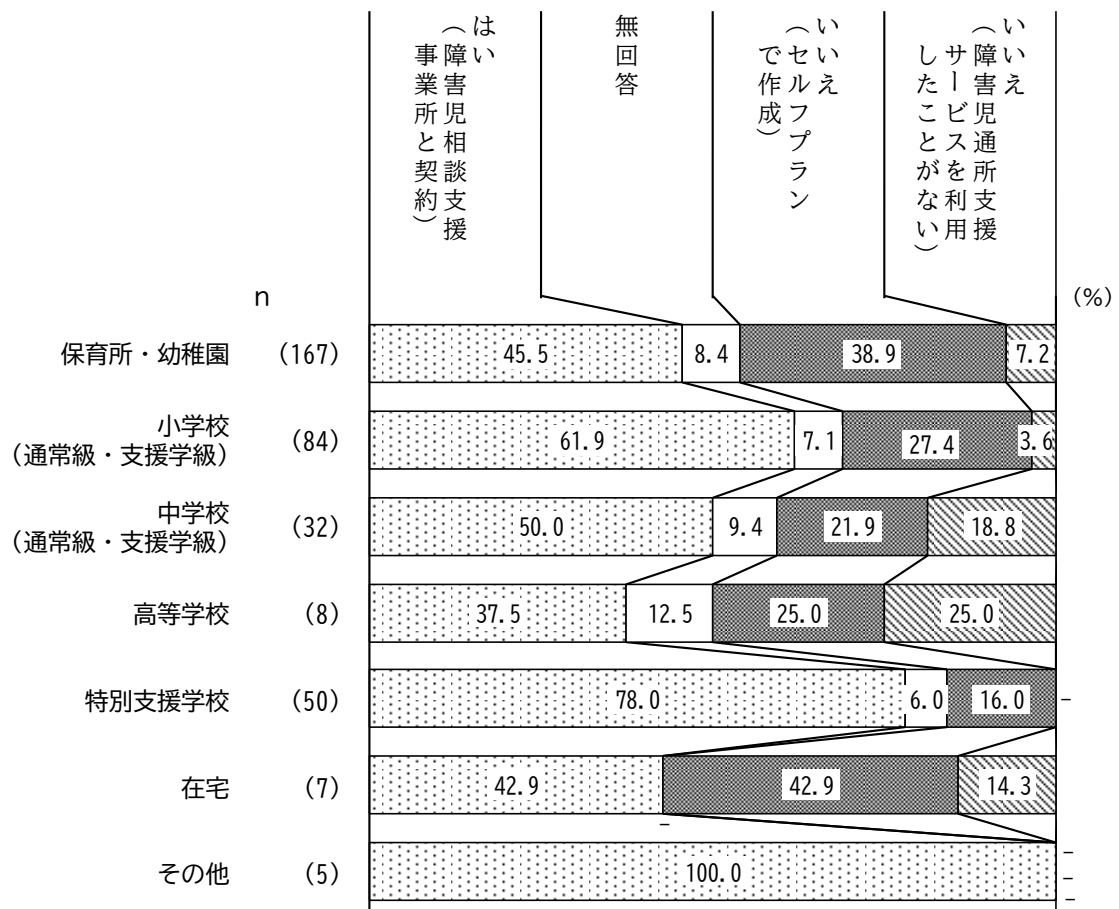


図 3-12 【在籍別】サービス等利用計画の作成状況



3.2.1. サービス等利用計画作成についての意見・要望

(全員の方に)

問 8-1. サービス等利用計画作成についてご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

サービス等利用計画作成について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、57 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

制度について 22 件

- サービス利用の流れがよく理解できず、説明されるがまま、相談支援事業所と契約することになった。(空きがあるところが少なく、こちらなら契約できますよ、と教えて頂いた) 実際いろんなサービスを利用していく中で、契約する、しない(セルフプラン)とはどういうことだったのか理解しました。結果契約することができて満足していますが、最初はやる事がたくさんあり、戸惑うことも多く、もっと分かりやすければ…と思います。(0～5 歳)
- セルフプラン利用中です。更新の案内が届いてから提出期限が1ヶ月弱と短いため、もう少し早めにいただけると助かります。また、今後スマホ1つで作成、提出できたら助かります。電子化希望です。(0～5 歳)
- 制度が非常にわかりにくい。(0～5 歳)
- 紙ではなく、データを頂き、それをメールで提出できるようにして欲しい。(6～9 歳)
- 継続利用については、より簡易的な更新にいただけると有難い。(無回答)

事業所の対応について 21 件

- 当初作成方法がわからなかったのですが、事業所の方に話を聞いたり参考になりました。(0～5 歳)
- 障害者相談支援事業所に計画作成の空きがなく、複数の事業所から「面談までに3か月～半年以上かかる」と回答されました。本人を連れて面談に行くため近場が良いという希望もあり、対応できる事業所や職員さんが増えると助かります。(0～5 歳)
- 働きながらだったので問い合わせる先が多く負担に感じた。福祉センターで取りまとめて実施していただけると良いと感じた。また、説明される方によって回答が異なった。(0～5 歳)
- 事業所が混んでおり申し込みに時間がかかったので人手を増やしてほしい(6～9 歳)
- 土曜日でも面談日に設定して下さり助かります。(10～14 歳)
- 子供の今の状態や今後どうしていこうかと相談しながら計画できて満足しています。(10～14 歳)

事業所の対応について 6 件

- セルフプラン作成にあたって記載方法(見本)があると良かった。(0～5 歳)
- セルフプランの作成方法を教えて頂いたので、スムーズに作成することができました。(0～5 歳)
- 福祉センターの方々は忙しく、人手不足を感じるため、セルフプランにしたい所だが、1人で作成するには不安がある。(0～5 歳)

事業所の対応について 8 件

- 作成されたサービス等利用計画が区役所でどのように使用されているのか知りたい。(0～5 歳)

4. 児童福祉法のサービスについて

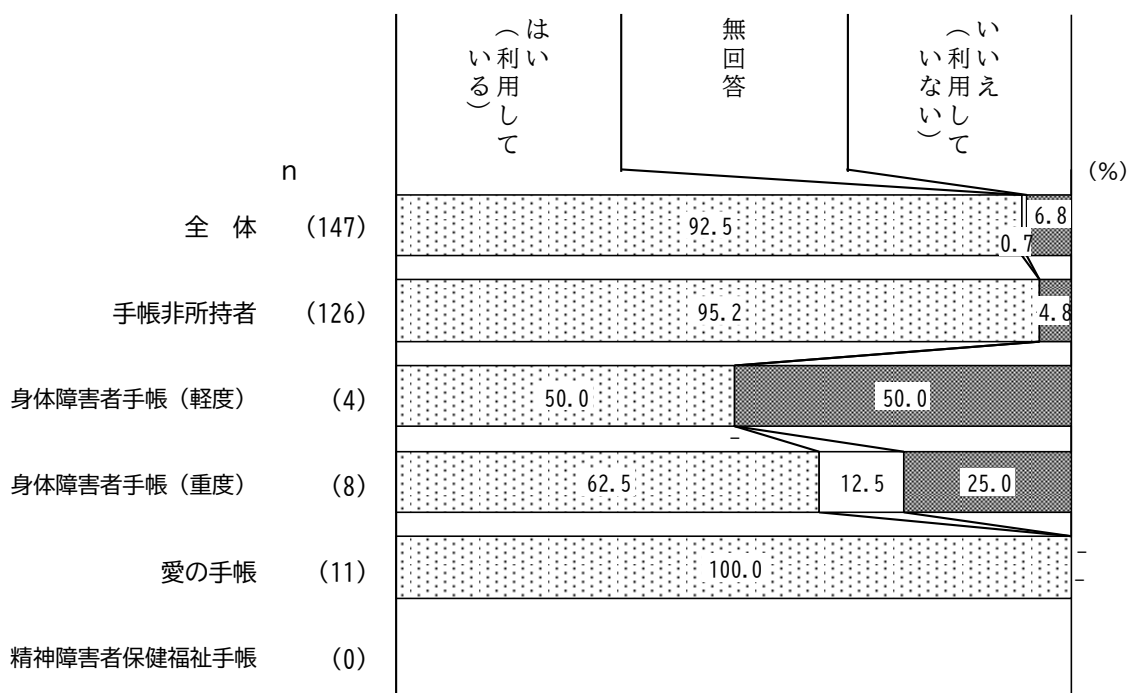
4.1. 児童発達支援の利用状況

◆児童発達支援を「利用している」方は9割台前半

(全員の方に)

問 10. 児童発達支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

図 4-1 【所持手帳別】児童発達支援の利用状況 (5歳以下)



児童発達支援の利用状況は、5歳以下の全体で「はい (利用している)」の割合が9割台前半となっている。

図 4-2 【年齢別】児童発達支援の利用状況 (5歳以下)

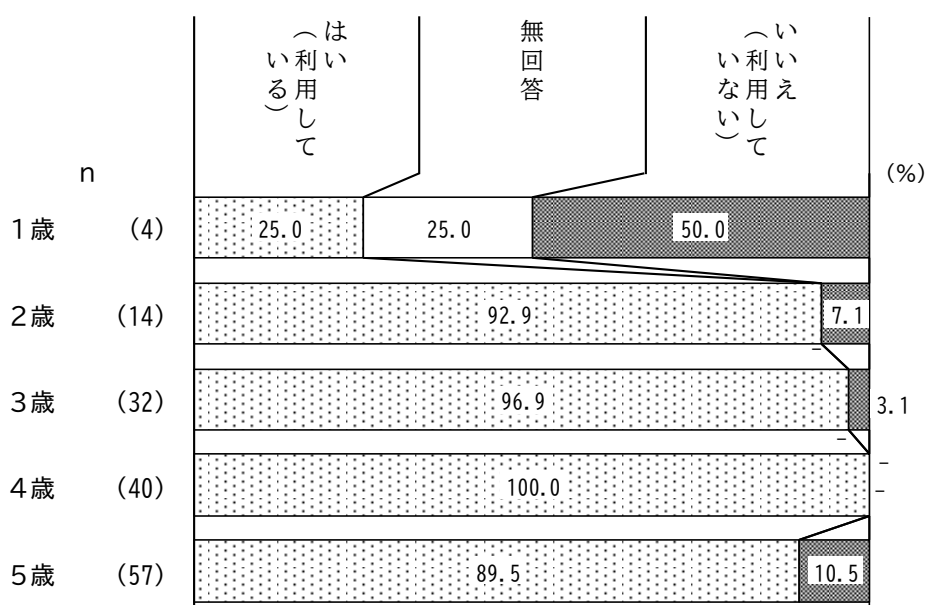


図 4-3 【在籍別】児童発達支援の利用状況（5歳以下）

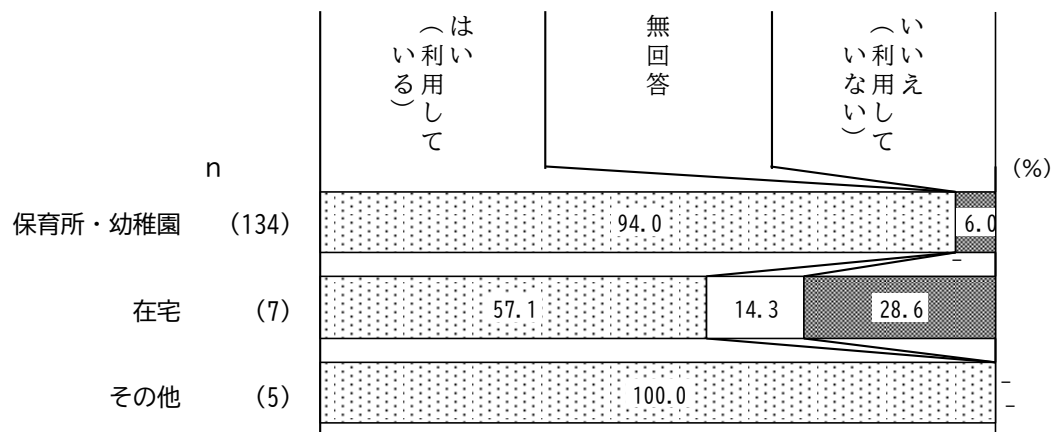
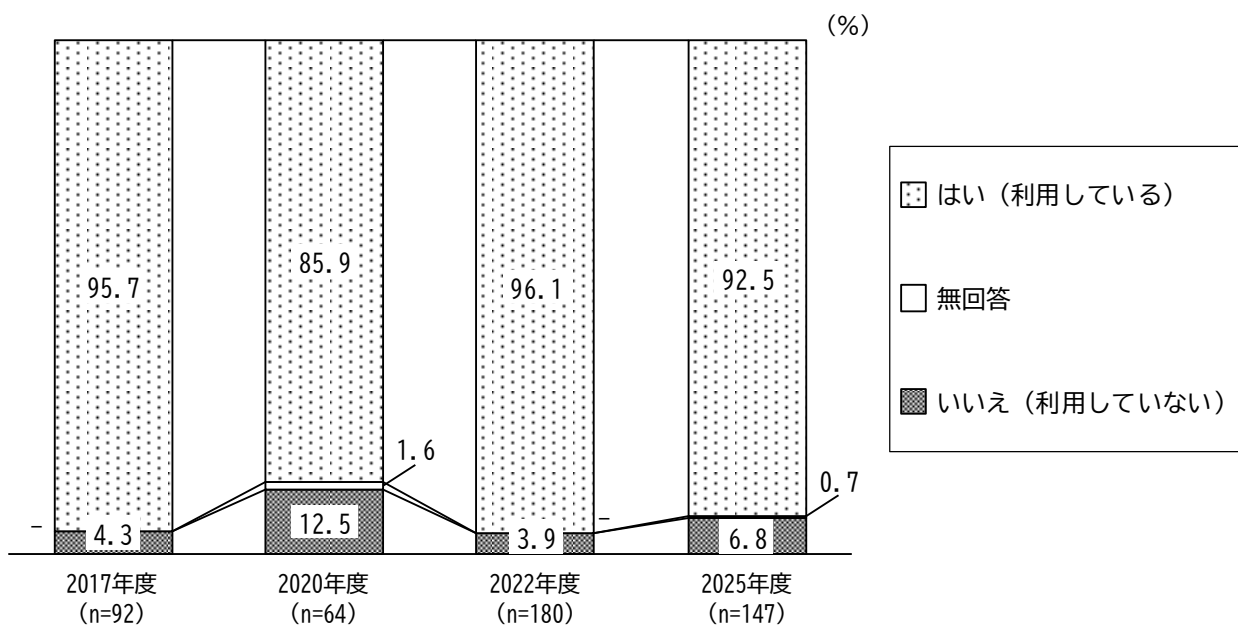


図 4-4 【経年比較】児童発達支援の利用状況（5歳以下）



児童発達支援の利用状況を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ大きな変化はみられない。

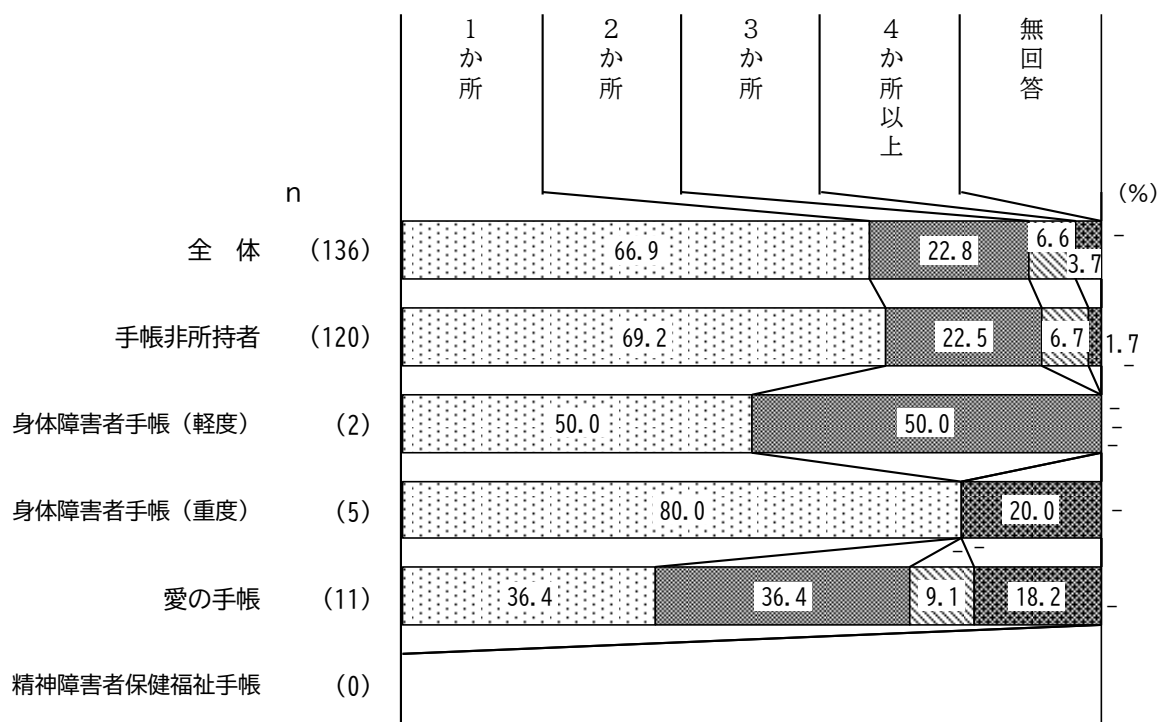
4.1.1. 利用している児童発達支援事業所数

◆利用している児童発達支援事業所は「1か所」の利用が6割半ば

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-1. 現在、利用している児童発達支援事業所は何か所ですか。(○は1つ)

図4-5 【所持手帳別】利用している児童発達支援事業所(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所は、5歳以下の全体で「1か所」が6割半ば、「2か所」が2割台前半となっている。

図4-6 【年齢別】利用している児童発達支援事業所数(5歳以下)

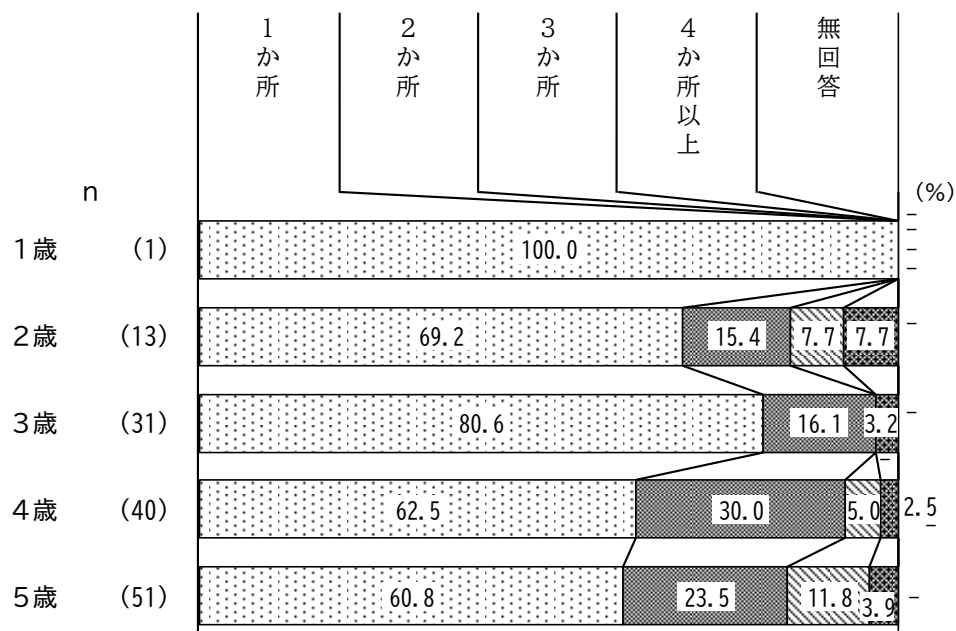


図 4-7 【在籍別】利用している児童発達支援事業所数（5歳以下）

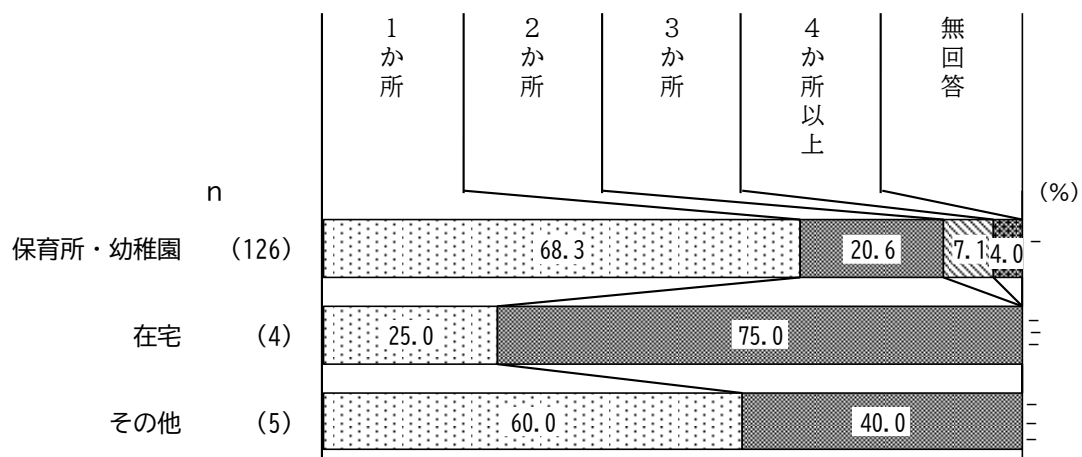
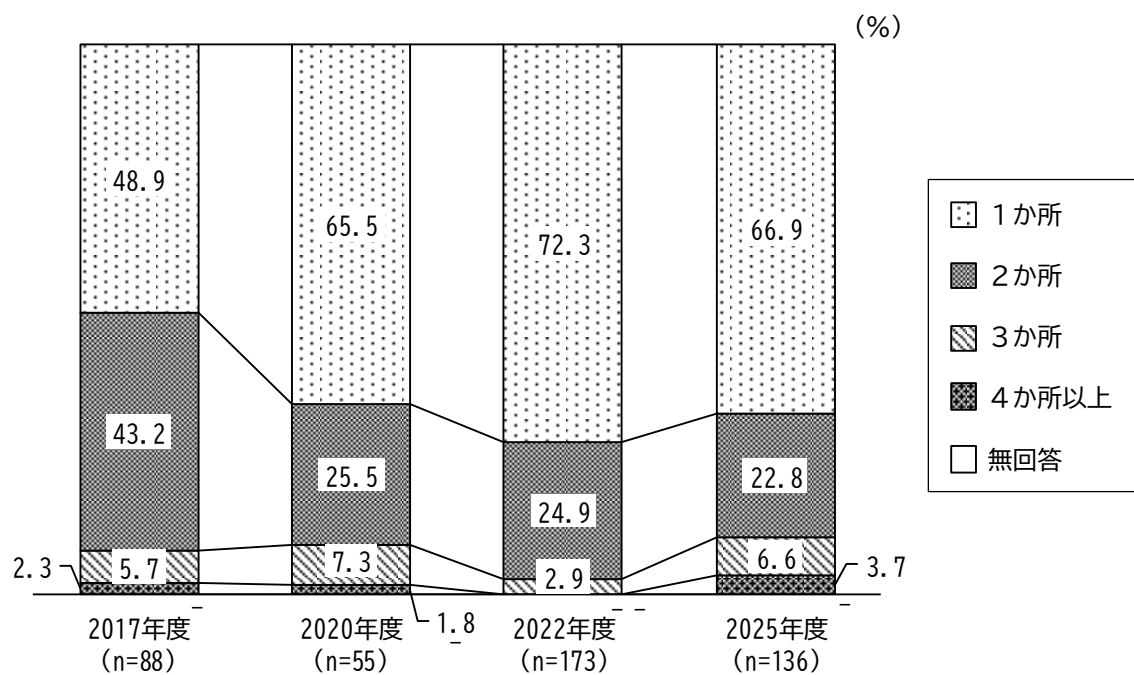


図 4-8 【経年比較】利用している児童発達支援事業所数（5歳以下）



利用している児童発達支援事業所を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「1か所」と「2か所」が減少し、「3か所」と「4か所以上」が増加している。

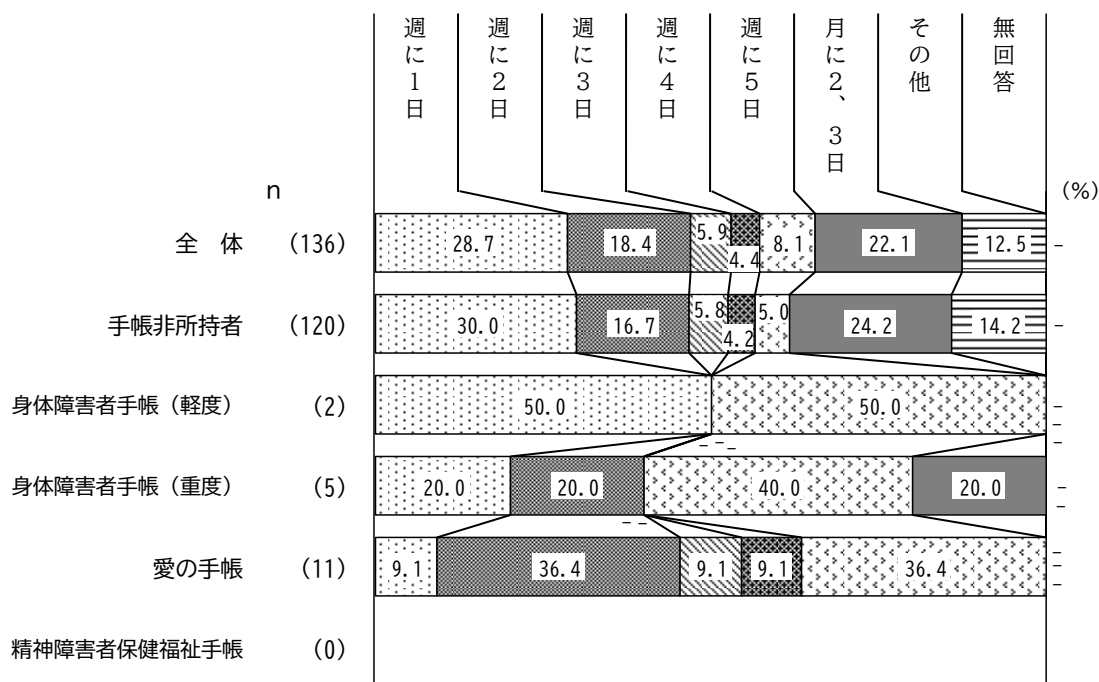
4.1.2. 児童発達支援事業所に通う日数

◆児童発達支援事業所に通う日数は「週1日」が2割台後半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-2. 現在、利用している児童発達支援事業所には、週にどの程度通われていますか。複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

図4-9 【所持手帳別】児童発達支援事業所に通う日数(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所に通う日数は、「週に1日」と「月に2、3日」が2割台となっている。

図4-10 【年齢別】児童発達支援事業所に通う日数(5歳以下)

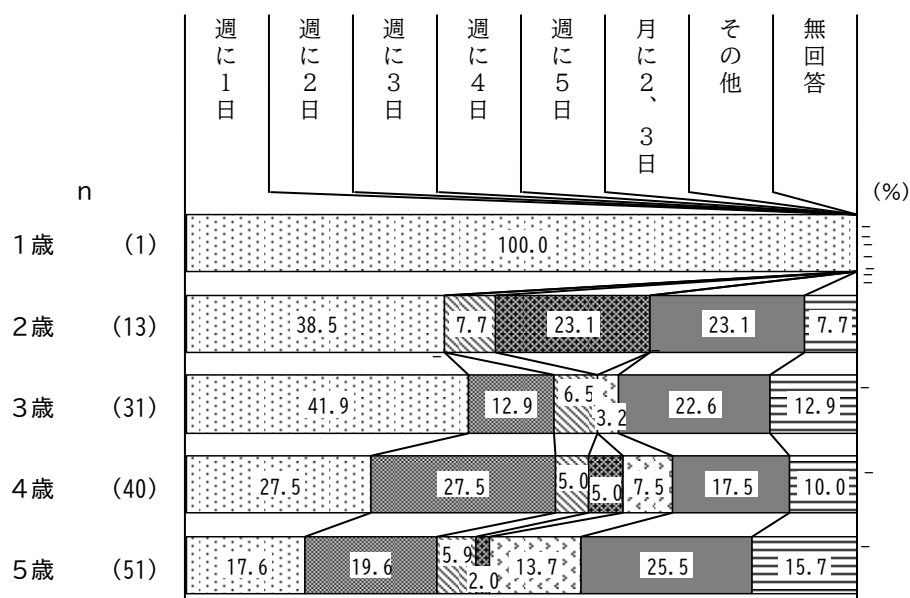
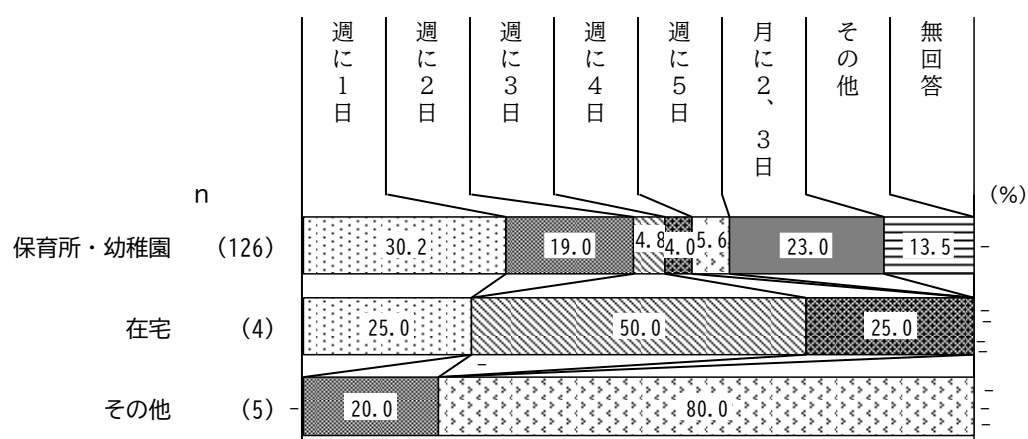


図 4-11 【在籍別】児童発達支援事業所に通う日数（5歳以下）



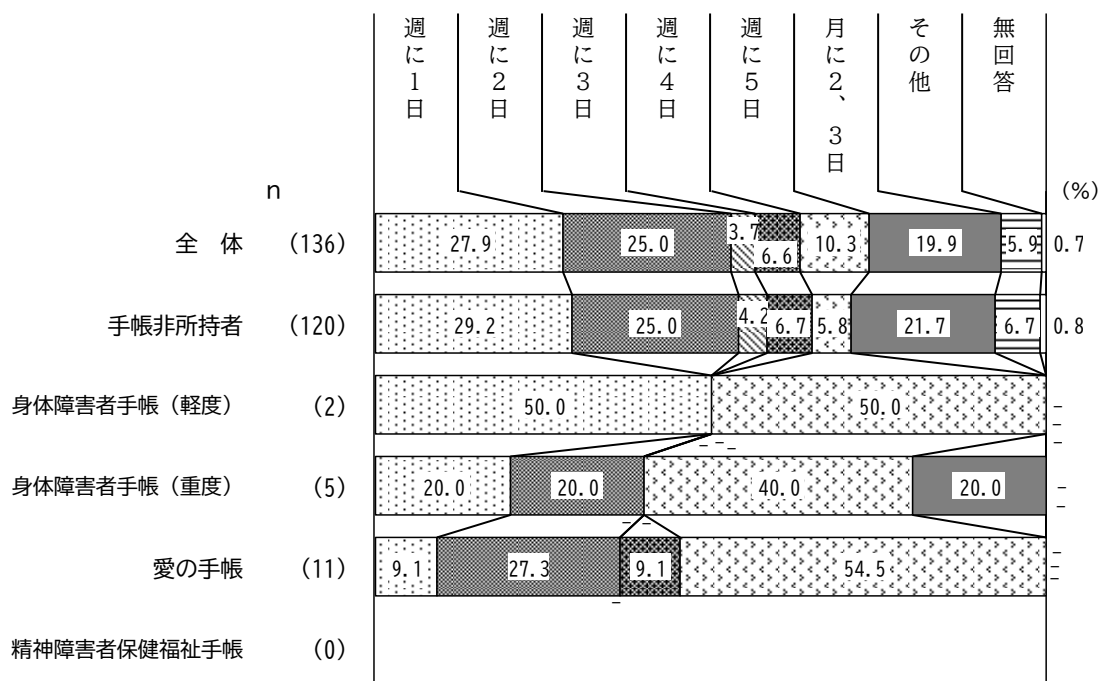
4.1.3. 児童発達支援の希望利用日数

◆児童発達支援を希望する利用日数は「週に1日」が2割台後半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-3. 児童発達支援について、希望する利用日数はどの程度ですか。(○は1つ)

図4-12 【所持手帳別】児童発達支援の希望利用日数(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所で希望する利用日数は、「週に1日」と「週に2日」が2割台となっている。

図4-13 【年齢別】児童発達支援の希望利用日数(5歳以下)

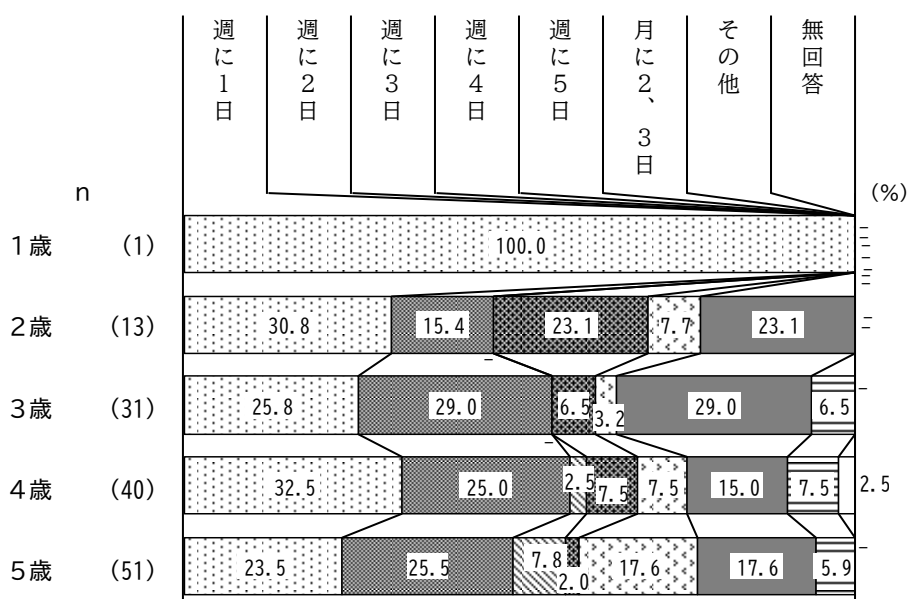
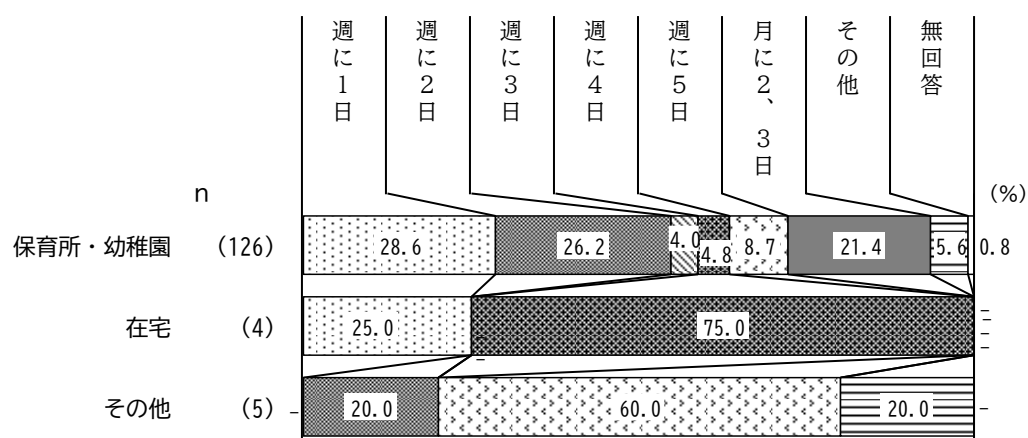


図 4-14 【在籍別】児童発達支援の希望利用日数（5歳以下）



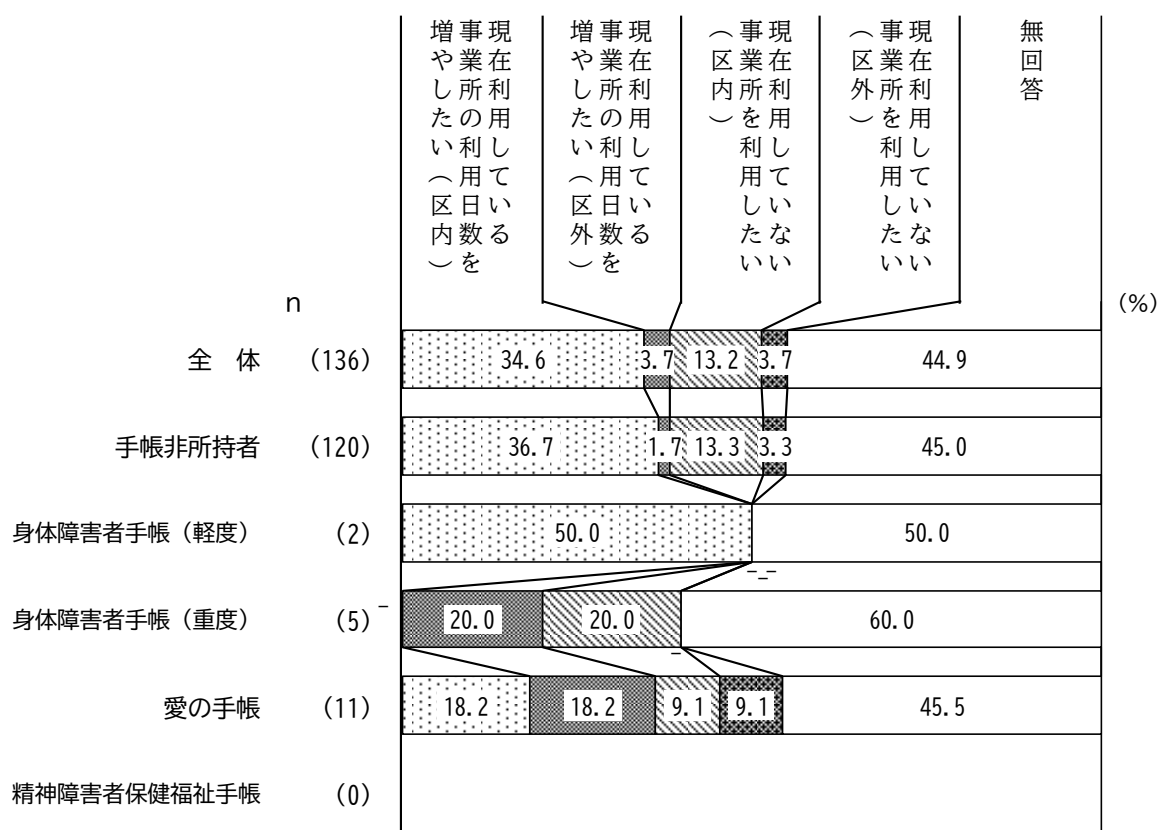
4.1.4. 児童発達支援の利用日数増加希望

◆児童発達支援の希望する利用日数の増加は「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい(区内)」が3割半ば

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-4. 児童発達支援の利用日数を増やしたい場合、当てはまるものを次から選択してください。
(○は1つ)

図4-15 【所持手帳別】児童発達支援の利用日数増加希望(5歳以下)



児童発達支援の希望する利用日数の増加は、「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい(区内)」が3割半ばとなっている。

図 4-16 【年齢別】児童発達支援の利用日数増加希望（5歳以下）

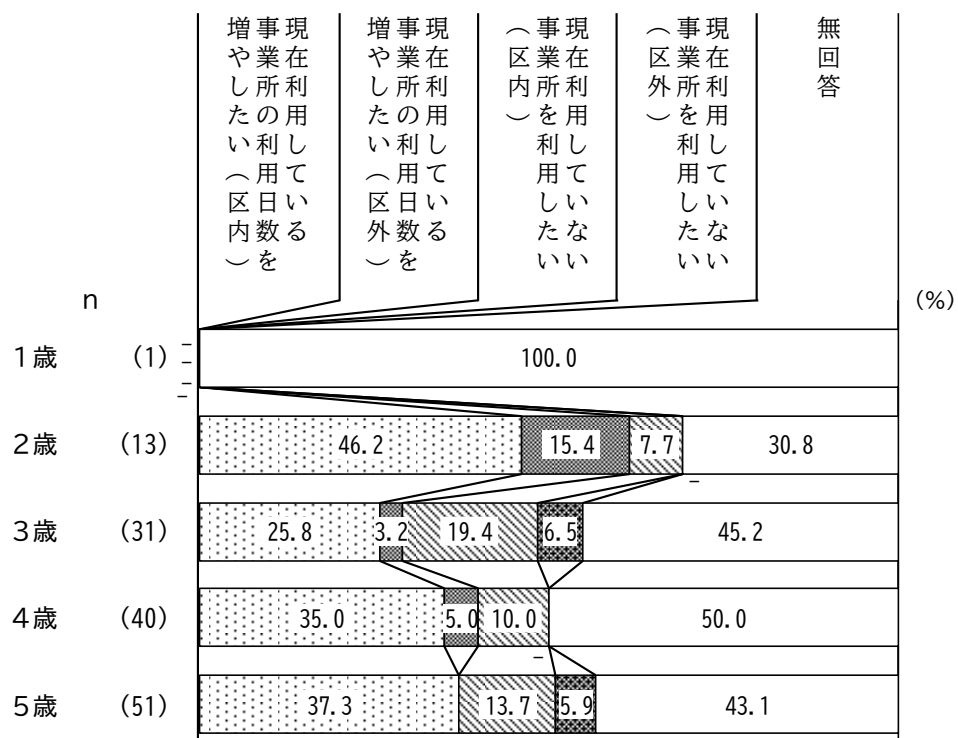
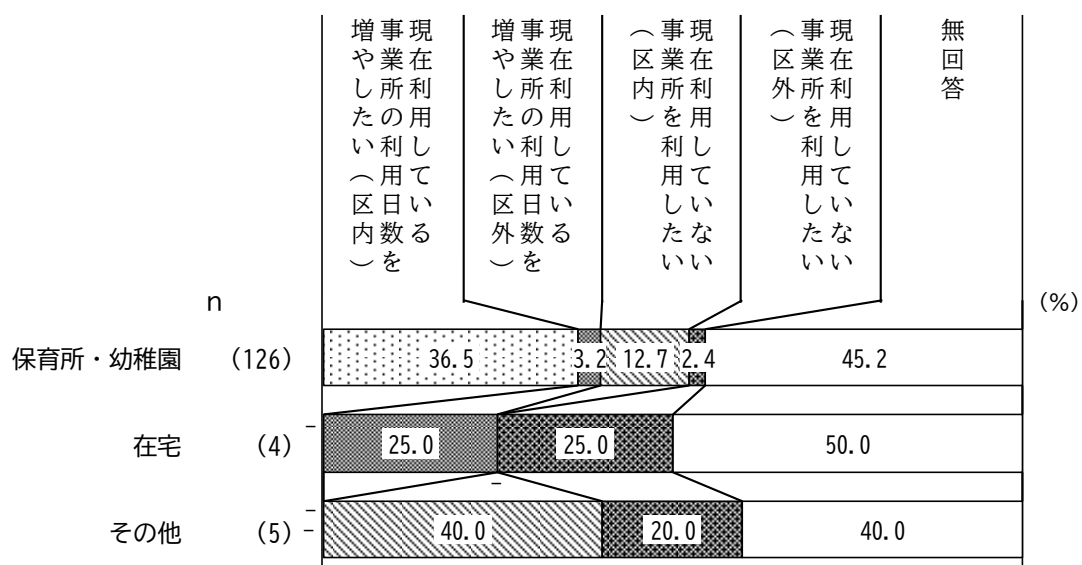


図 4-17 【在籍別】児童発達支援の利用日数増加希望（5歳以下）



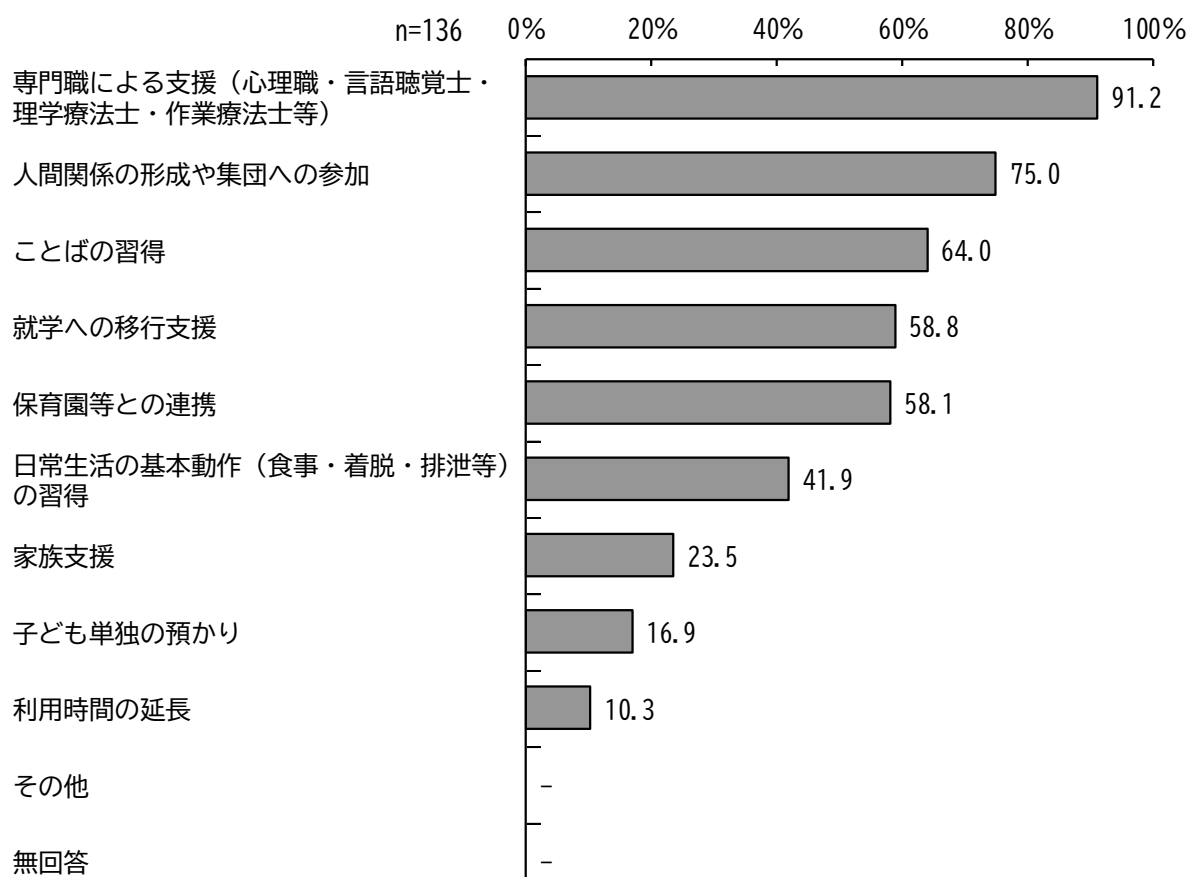
4.1.5. 児童発達支援に求める支援

◆児童発達支援に求める支援は「専門職による支援（心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等）」が約9割

（問10で「1. はい」とお答えの方に）

問10-5. 児童発達支援にもとめる支援はどのようなことですか。当てはまるものを次から選択してください。（当てはまるものすべてに○）

図4-18 児童発達支援に求める支援（5歳以下）



児童発達支援を利用していると回答した方に、児童発達支援に求める支援をきいたところ、「専門職による支援（心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等）」が約9割と最も高くなっており、次いで「人間関係の形成や集団への参加」「ことばの習得」「就学への移行支援」となっている。

図 4-19 【所持手帳別】児童発達支援に求める支援（5歳以下）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作 の習得 （食事・着脱・排泄等）	ことばの習得	人間関係の形成や 集団への参加	子ども単独の預かり	家族支援	就学への移行支援	保育園等との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	136	91.2	41.9	64.0	75.0	16.9	23.5	58.8	58.1	10.3	—	—
手帳非所持者	120	91.7	38.3	62.5	74.2	15.0	20.0	57.5	60.0	8.3	—	—
身体障害者手帳（軽度）	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	—	—
身体障害者手帳（重度）	5	80.0	40.0	40.0	80.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	—	—
愛の手帳	11	90.9	81.8	100.0	90.9	36.4	54.5	81.8	45.5	27.3	—	—
精神障害者保健福祉手帳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

図 4-20 【年齢別】児童発達支援に求める支援（5歳以下）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作 の習得 （食事・着脱・排泄等）	ことばの習得	人間関係の形成や 集団への参加	子ども単独の預かり	家族支援	就学への移行支援	保育園等との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	136	91.2	41.9	64.0	75.0	16.9	23.5	58.8	58.1	10.3	—	—
1歳	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—
2歳	13	92.3	69.2	92.3	53.8	23.1	7.7	38.5	30.8	—	—	—
3歳	31	87.1	41.9	64.5	77.4	9.7	3.2	38.7	51.6	3.2	—	—
4歳	40	87.5	35.0	65.0	82.5	17.5	30.0	65.0	65.0	12.5	—	—
5歳	51	96.1	39.2	54.9	72.5	19.6	35.3	70.6	62.7	15.7	—	—

図 4-21 【在籍別】児童発達支援に求める支援（5歳以下）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作 の習得 （食事・着脱・排泄等）	ことばの習得	人間関係の形成や 集団への参加	子ども単独の預かり	家族支援	就学への移行支援	保育園等との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	136	91.2	41.9	64.0	75.0	16.9	23.5	58.8	58.1	10.3	—	—
保育所・幼稚園	126	92.1	40.5	62.7	73.8	15.9	22.2	59.5	60.3	8.7	—	—
小学校 （通常級・支援学級）	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—
特別支援学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
在宅	4	75.0	50.0	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	—
その他	5	80.0	80.0	80.0	100.0	40.0	60.0	80.0	40.0	40.0	—	—

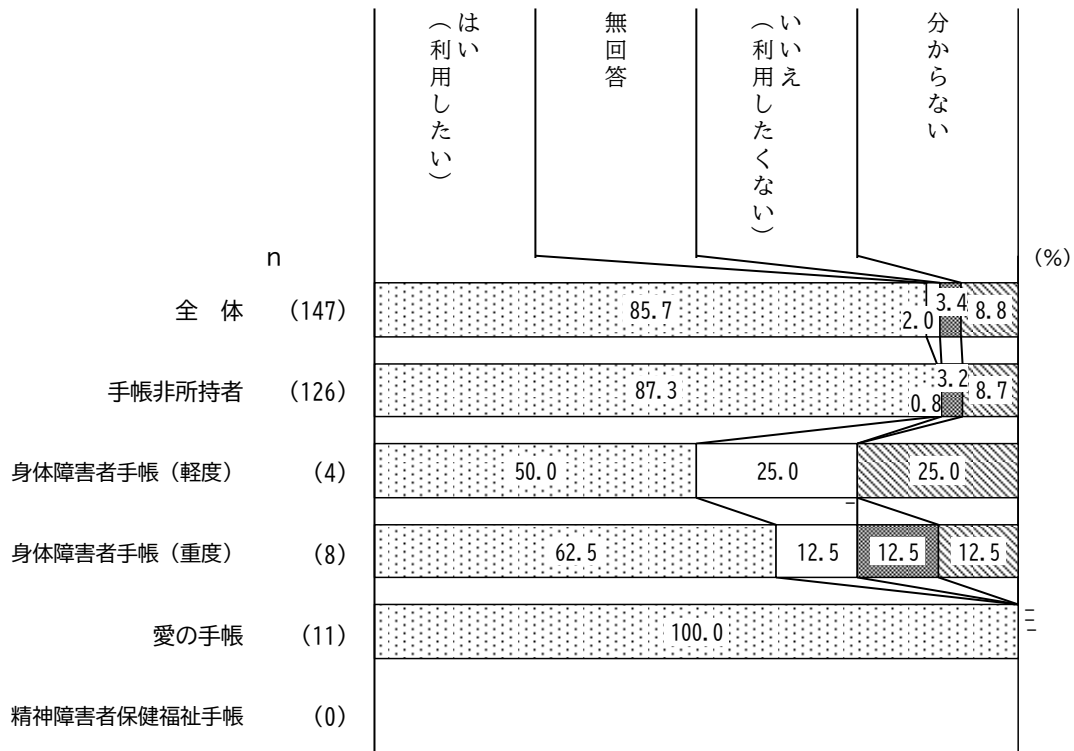
4.1.6. 児童発達支援の利用意向

◆児童発達支援を今後「利用したい」方は8割半ば

(全員の方に)

問 10-6. 児童発達支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

図 4-22 【所持手帳別】児童発達支援の利用意向 (5歳以下)



児童発達支援の利用意向は、5歳以下の全体で「はい (利用したい)」が8割半ばとなっている。

図 4-23 【年齢別】児童発達支援の利用意向 (5歳以下)

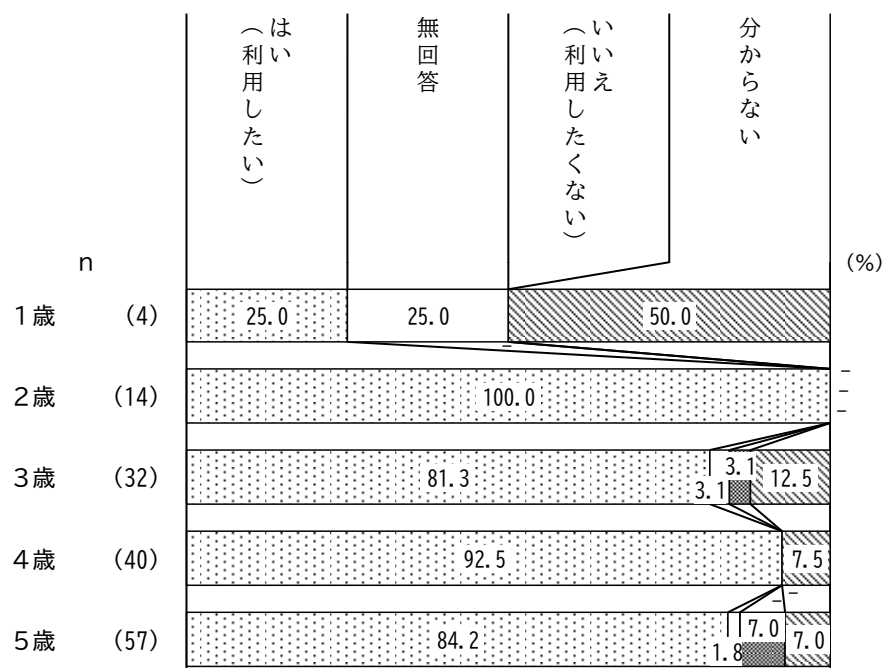


図 4-24 【在籍別】児童発達支援の利用意向（5歳以下）

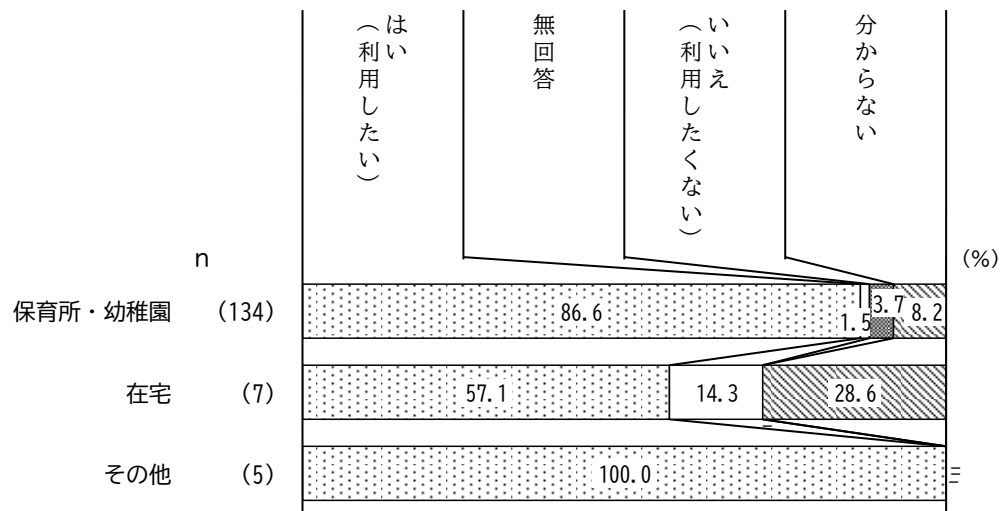
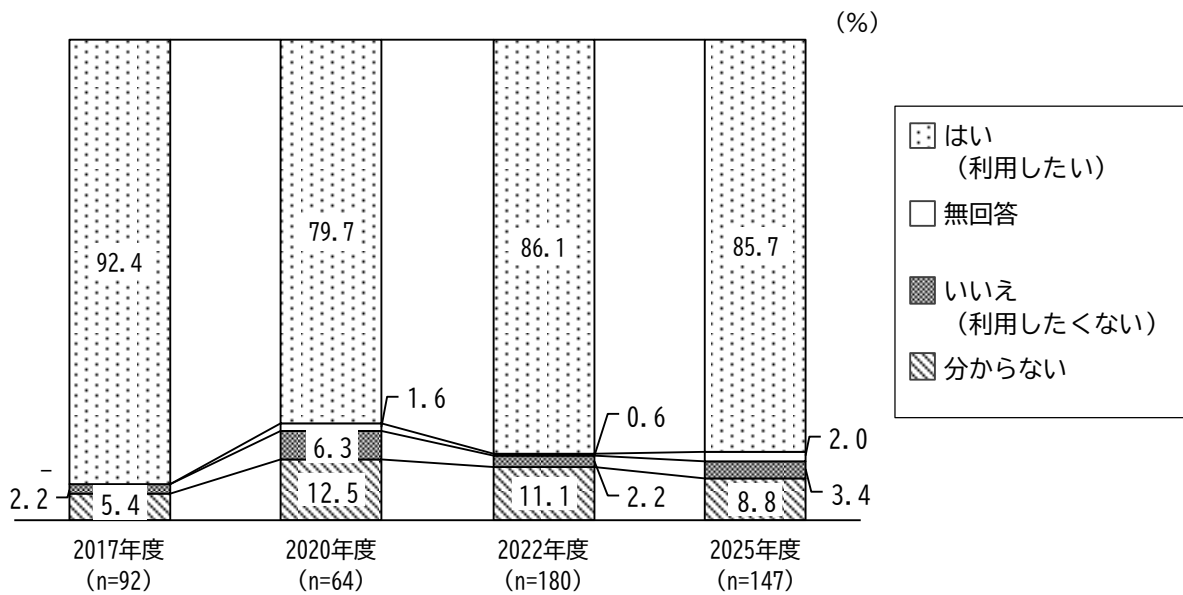


図 4-25 【経年比較】児童発達支援の利用意向（5歳以下）



児童発達支援の利用意向を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、大きな変化はみられない。

4.1.6.1. 児童発達支援を利用したくない理由

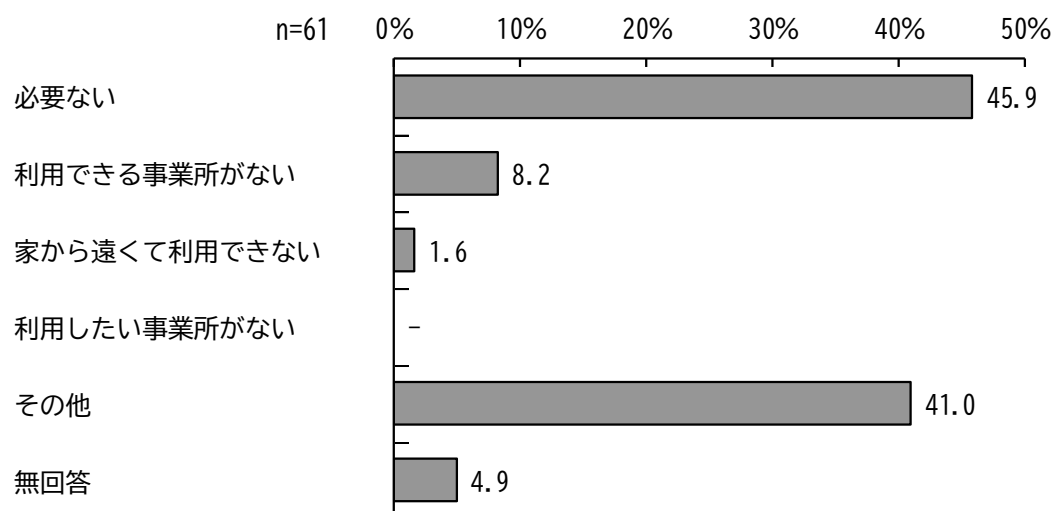
◆児童発達支援を利用したくない理由は「必要ない」が4割半ば

(問 10-6 で「2. いいえ」とお答えの方に)

問 10-6-1. 児童発達支援を利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-26 児童発達支援を利用したくない理由（5歳以下）



児童発達支援を利用したくないと回答した方に、児童発達支援を利用したくない理由をきいたところ、「必要ない」が4割半ばで最も高い。

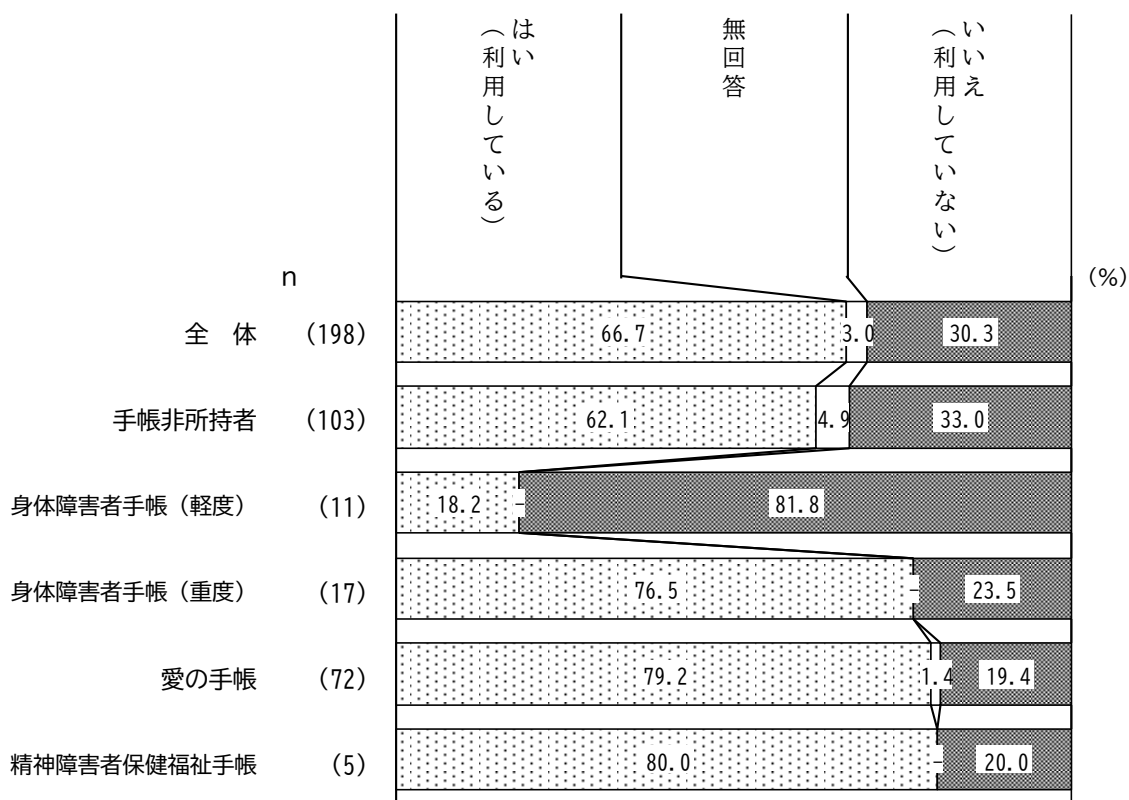
4.2. 放課後等デイサービスの利用状況

◆放課後等デイサービスを「利用している」方は6割半ば

(全員の方に)

問11. 放課後等デイサービスを現在、利用していますか。(○は1つ)

図4-27 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用状況(6歳以上)



放課後等デイサービスの利用状況は、6歳以上の全体で「はい(利用している)」の割合が6割半ばとなっている。

図4-28 【年齢別】放課後等デイサービスの利用状況(6歳以上)

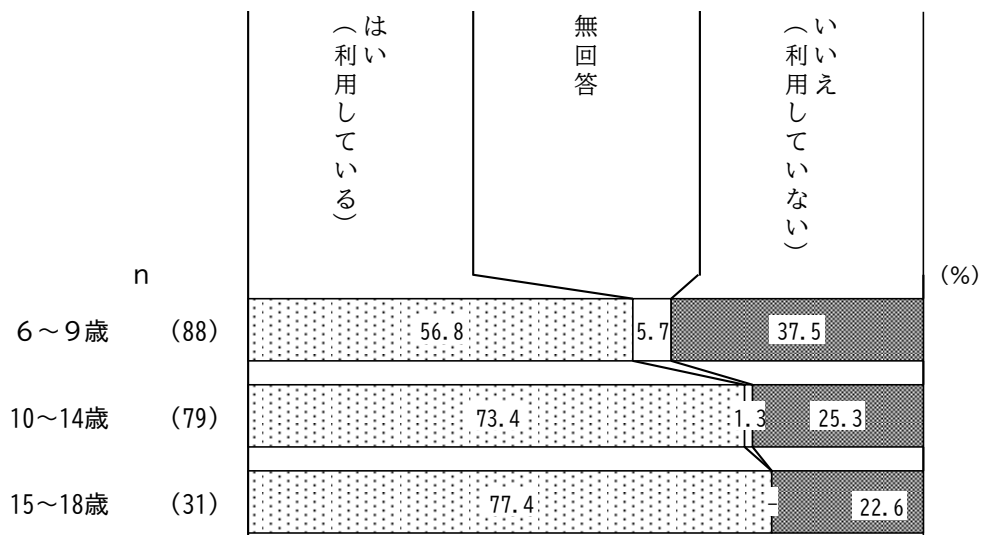
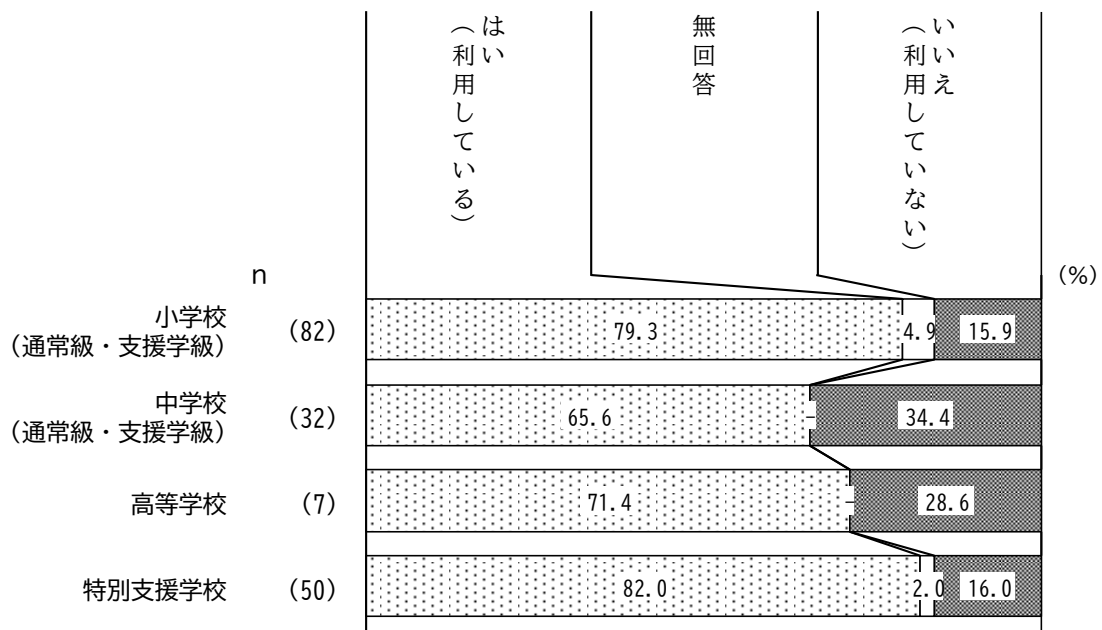
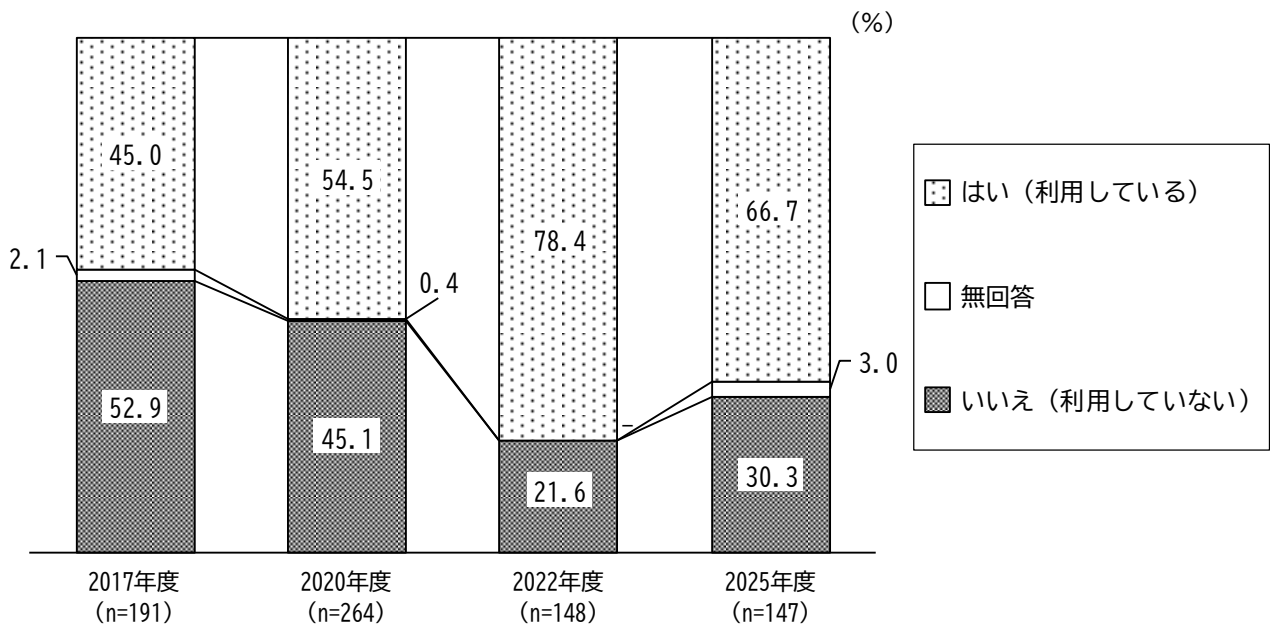


図 4-29 【在籍別】放課後等デイサービスの利用状況（６歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-30 【経年比較】放課後等デイサービスの利用状況（６歳以上）



放課後等デイサービスの利用状況を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「はい（利用している）」が約12ポイント減少し、「いいえ（利用していない）」が約9ポイント増加している。

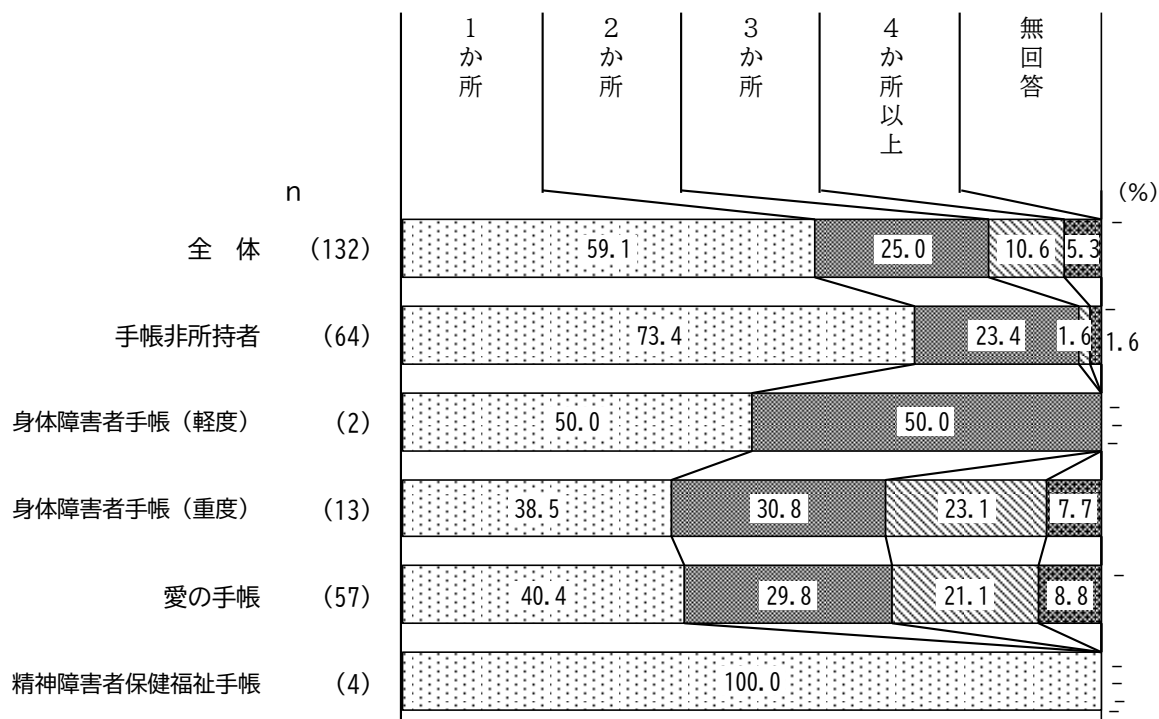
4.2.1. 利用している放課後等デイサービス事業所数

◆利用している放課後等デイサービス事業所は「1か所」の利用が約6割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-1. 現在、利用している放課後等デイサービス事業所は何か所ですか。(〇は1つ)

図4-31 【所持手帳別】利用している放課後等デイサービス事業所(6歳以上)



現在、利用している放課後等デイサービス事業所は、6歳以上の全体で「1か所」が約6割、「2か所」が2割半ばとなっている。

図4-32 【年齢別】利用している放課後等デイサービス事業所数(6歳以上)

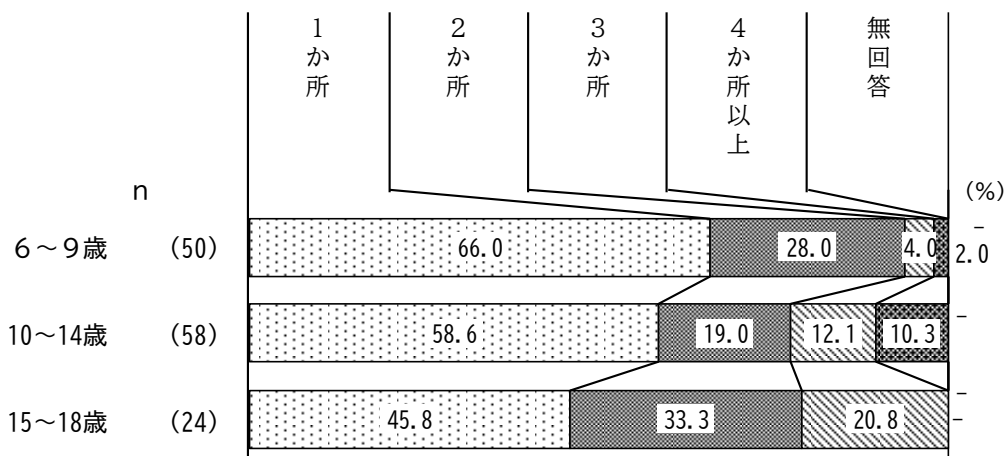
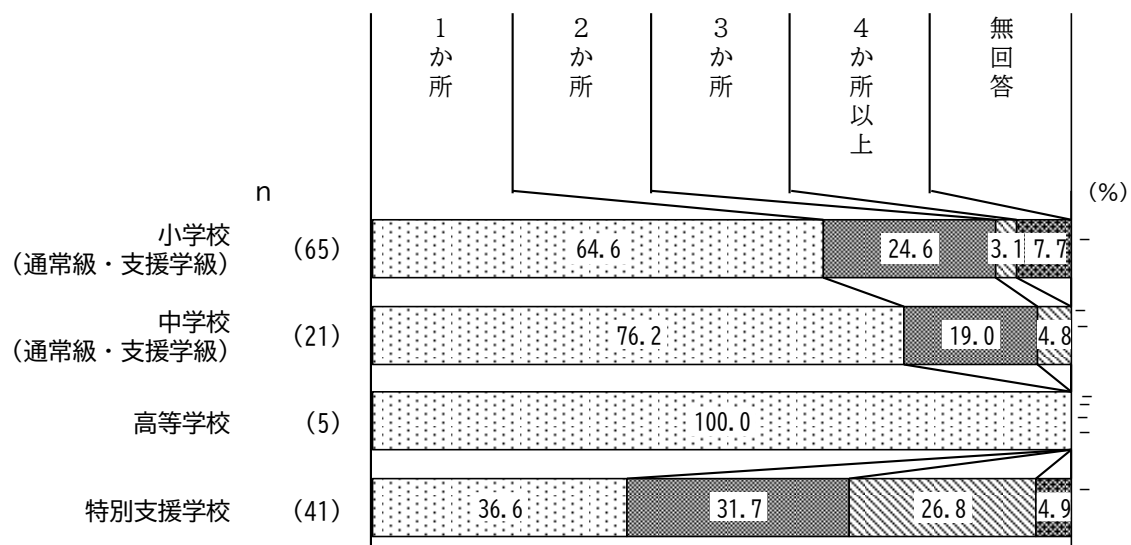
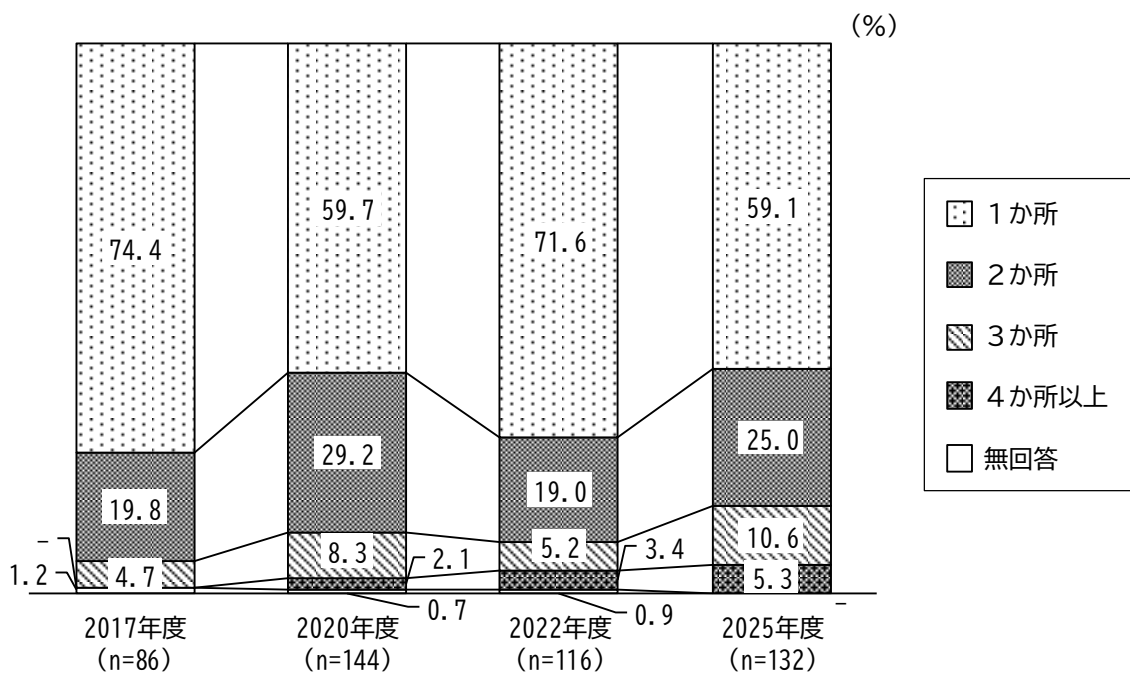


図 4-33 【在籍別】利用している放課後等デイサービス事業所数（6歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-34 【経年比較】利用している放課後等デイサービス事業所数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービス事業所を経年比較でみると、2025年度は2025年度と比べ「1か所」が12.5ポイント減少している。

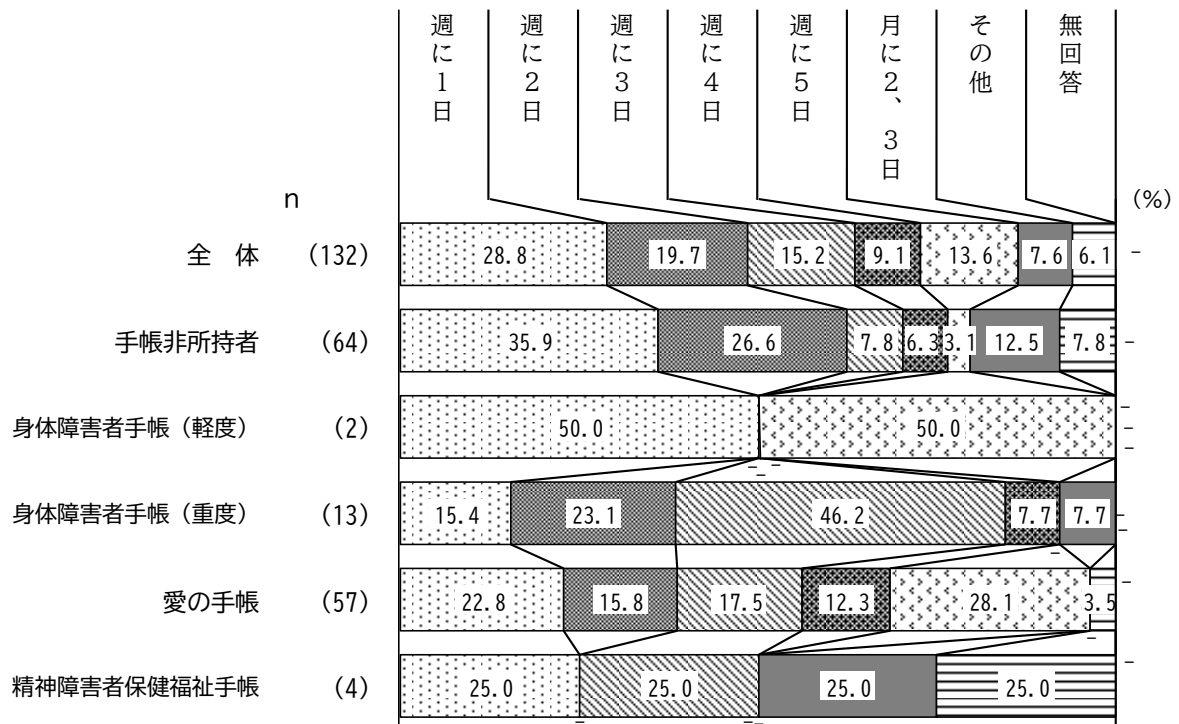
4.2.2. 放課後等デイサービス事業所に通う日数

◆放課後等デイサービス事業所に通う日数は「週に1日」「週に2日」を合わせて4割台後半

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-2. 現在、利用している放課後等デイサービス事業所には、週にどの程度通われていますか。
複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

図4-35 【所持手帳別】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）



現在、利用している放課後等デイサービス事業所に通う日数は、6歳以上の全体で「週に1日」と「週に2日」を合わせて4割台後半となっている。

図4-36 【年齢別】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）

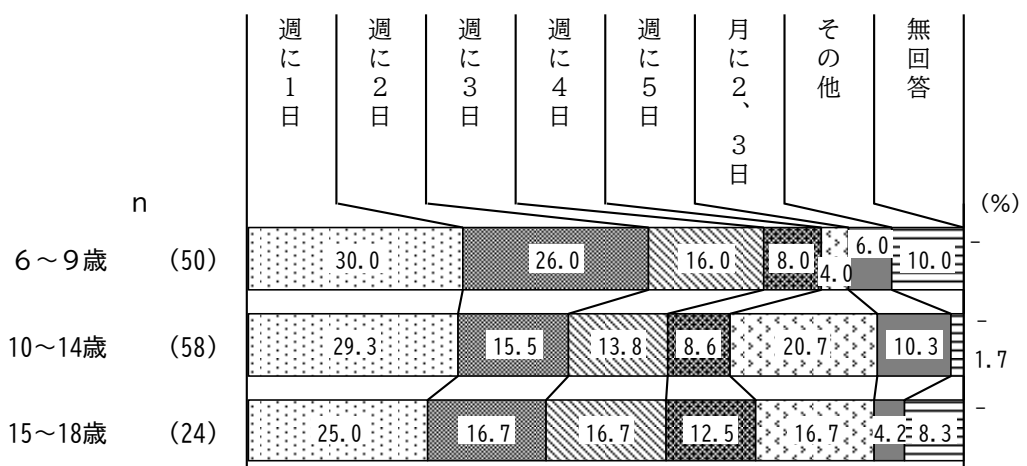
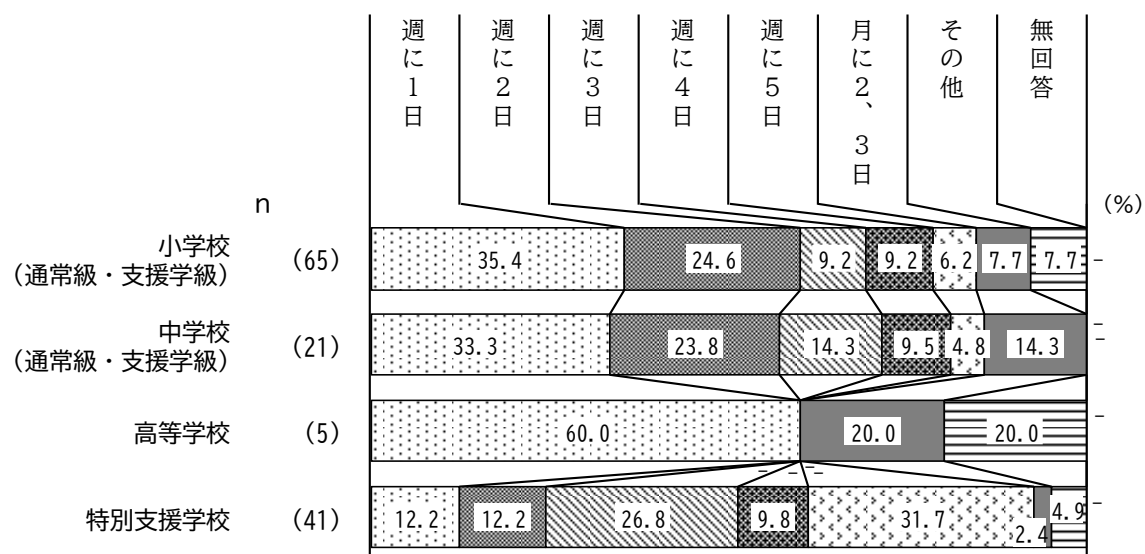
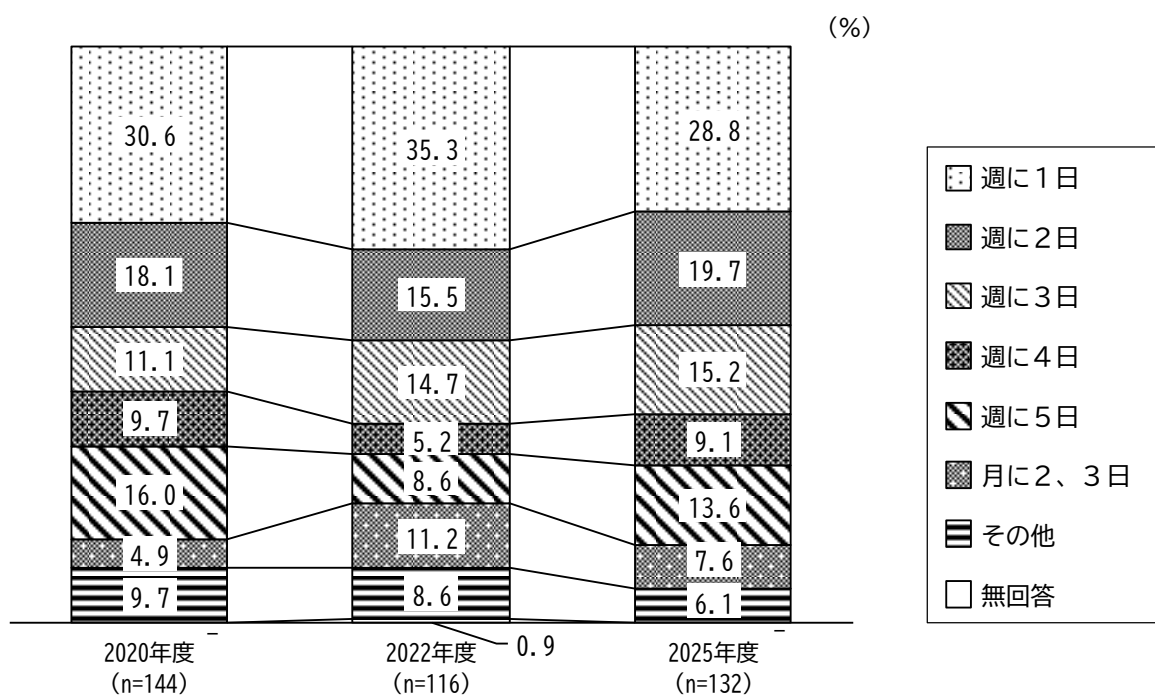


図 4-37 【在籍別】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-38 【経年比較】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービス事業所に通う日数を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「週に1日」が6.6ポイント減少し、「週に2日」が約4ポイント、「週に5日」が5ポイント増加している。

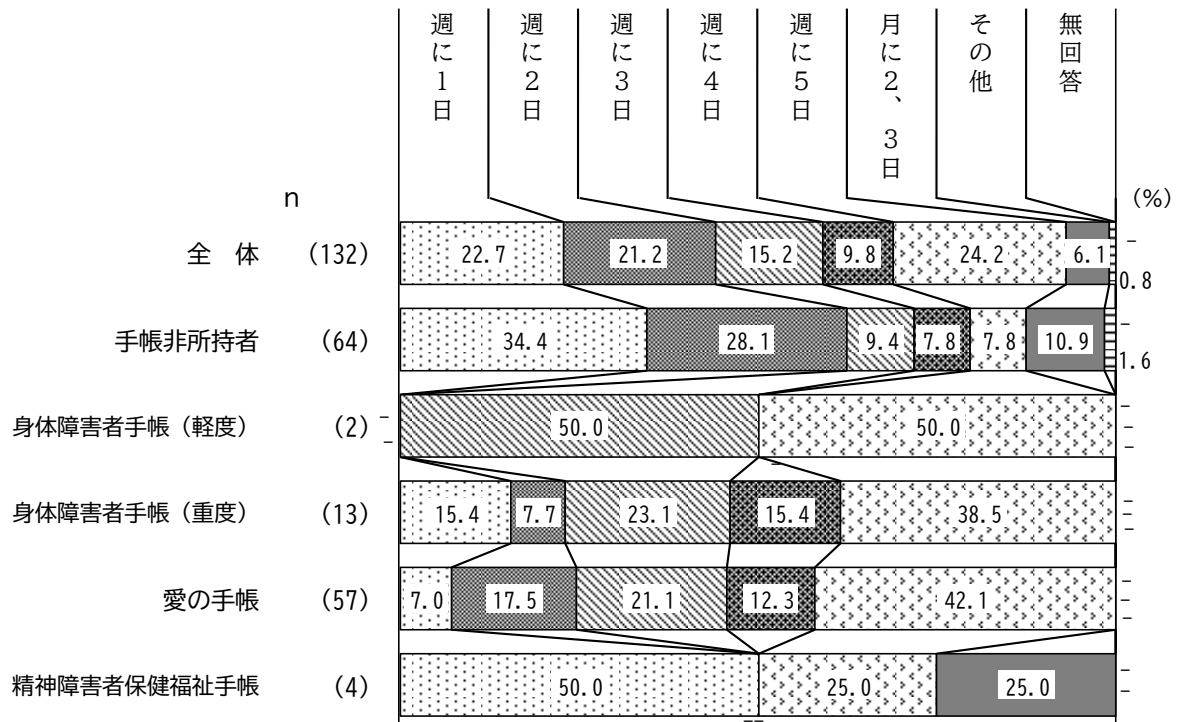
4.2.3. 放課後等デイサービスの希望利用日数

◆放課後等デイサービスを希望する利用日数は「週に1日」と「週に2日」が2割台

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-3. 放課後等デイサービスについて、希望する利用日数はどの程度ですか。(○は1つ)

図4-39 【所持手帳別】放課後等デイサービスの希望利用日数(6歳以上)



現在、放課後等デイサービスで希望する利用日数は、6歳以上の全体で「週に1日」と「週に2日」が2割台となっている。

図4-40 【年齢別】放課後等デイサービスの希望利用日数(6歳以上)

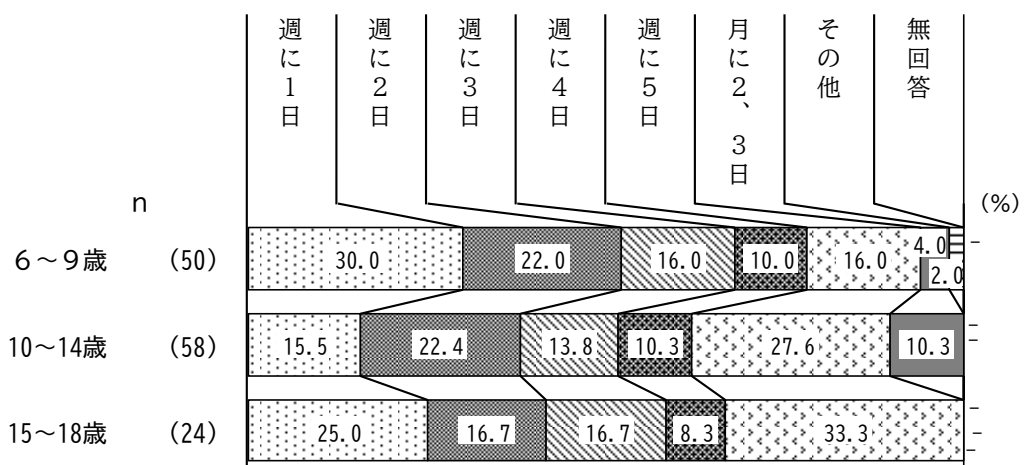
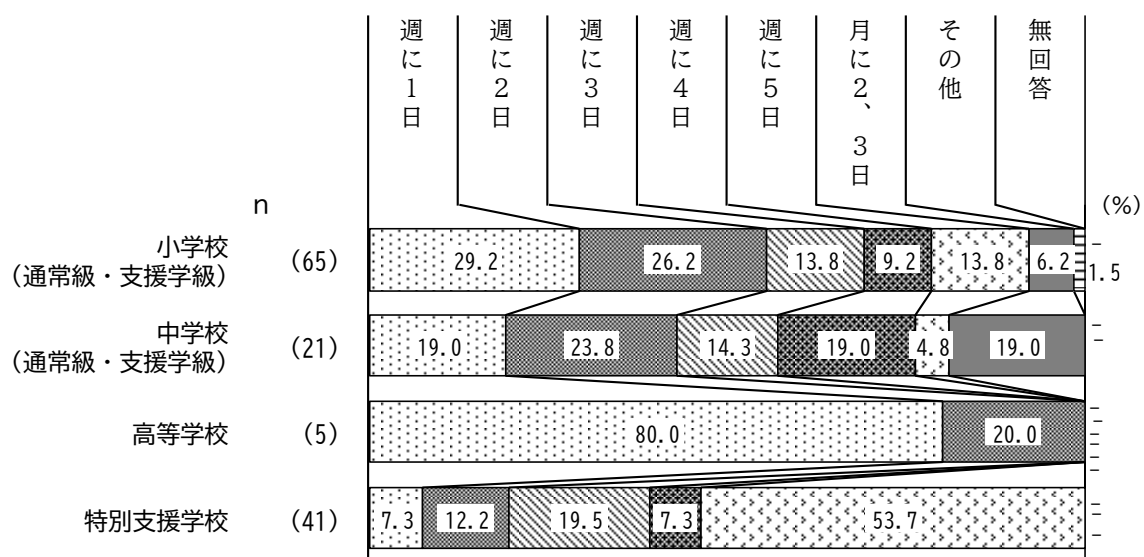
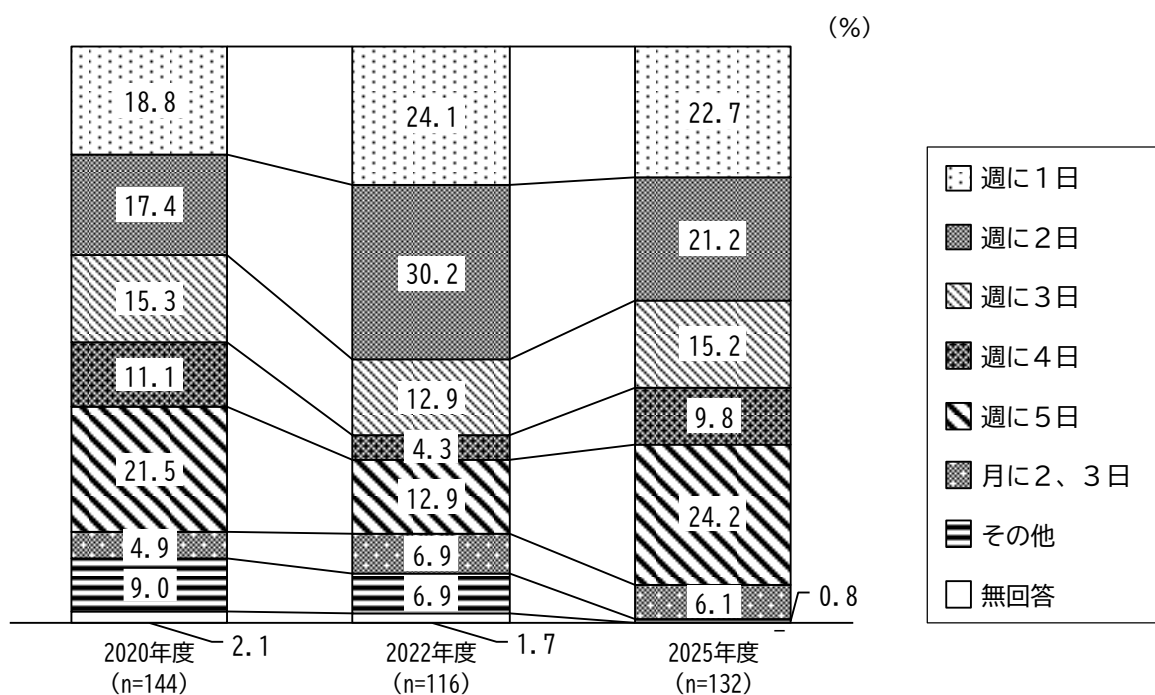


図 4-41 【在籍別】放課後等デイサービスの希望利用日数（6歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-42 【経年比較】放課後等デイサービスの希望利用日数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービスで希望する利用日数を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「週に2日」が9ポイント減少し、「週に4日」が5.5ポイント、「週に5日」が約11ポイント増加している。

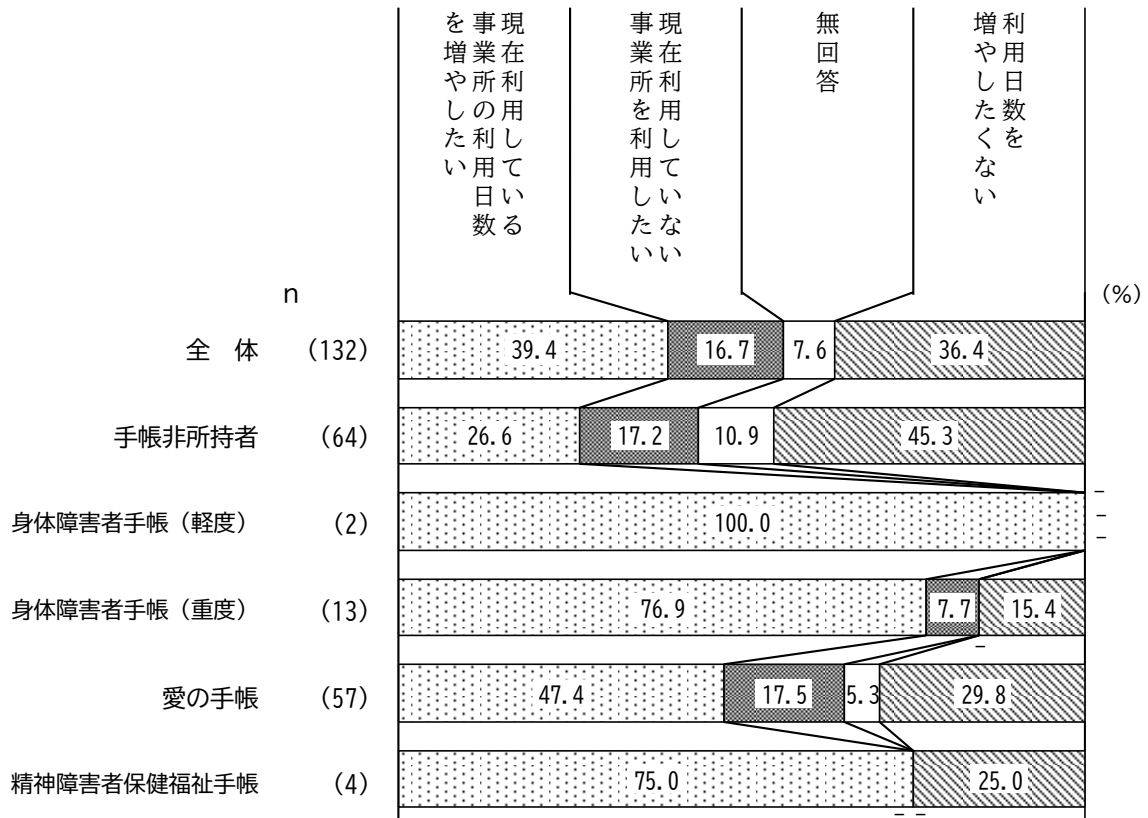
4.2.4. 放課後等デイサービスの利用日数増加希望

◆放課後等デイサービスの希望する利用日数の増加は「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい」が約4割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-4. 放課後等デイサービスの利用日数を増やしたい場合、当てはまるものを次から選択してください。(○は1つ)

図4-43 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用日数増加希望（6歳以上）



放課後等デイサービスの希望する利用日数の増加は、「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい」が約4割、「利用日数を増やしたくない」が3割半ばとなっている。

図 4-44 【年齢別】放課後等デイサービスの利用日数増加希望（6歳以上）

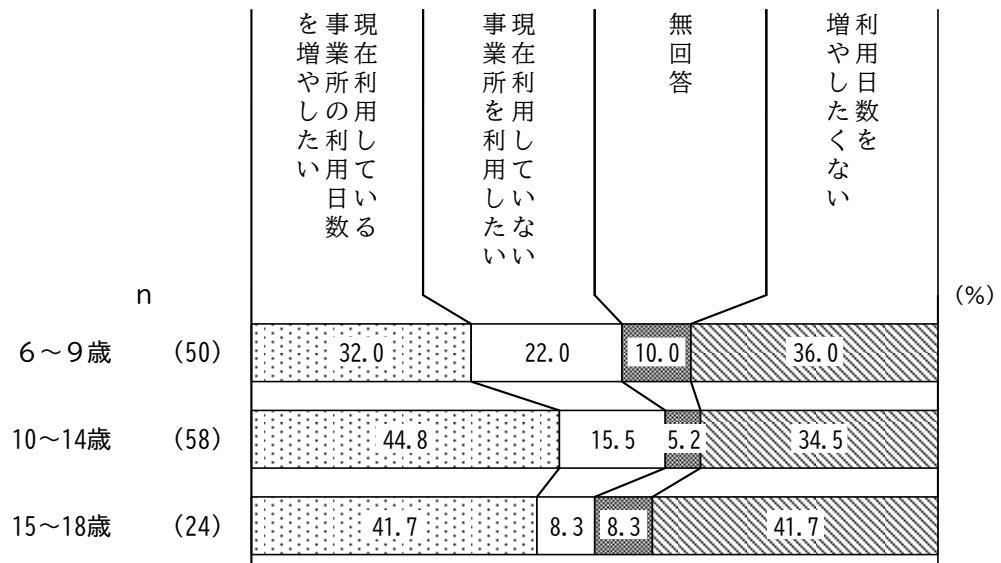
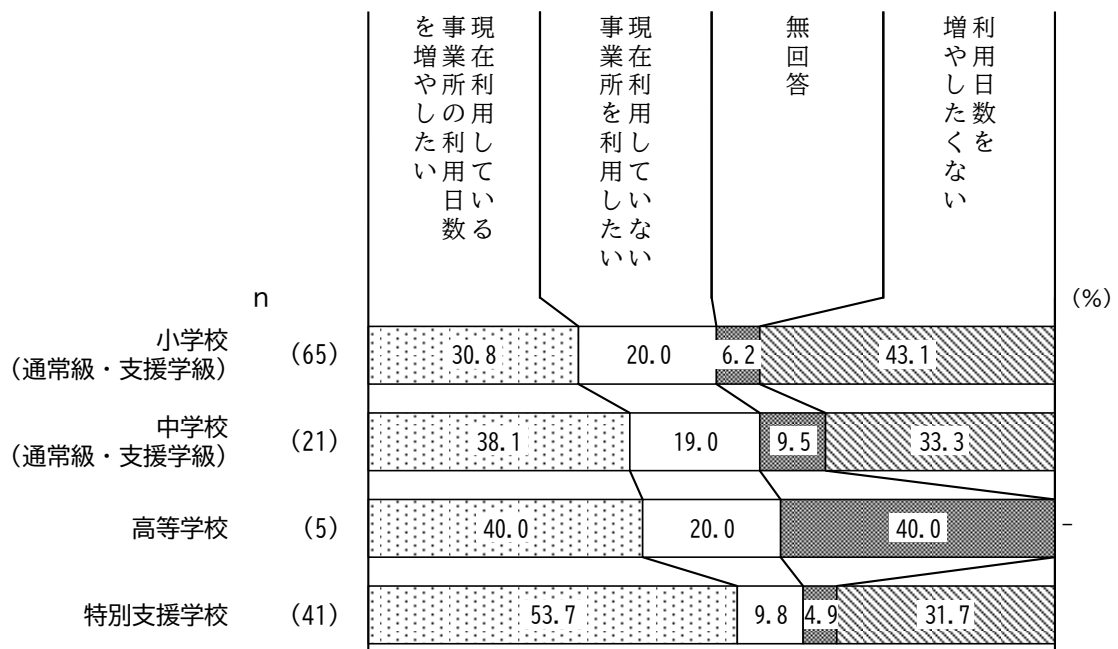


図 4-45 【在籍別】放課後等デイサービスの利用日数増加希望（6歳以上）



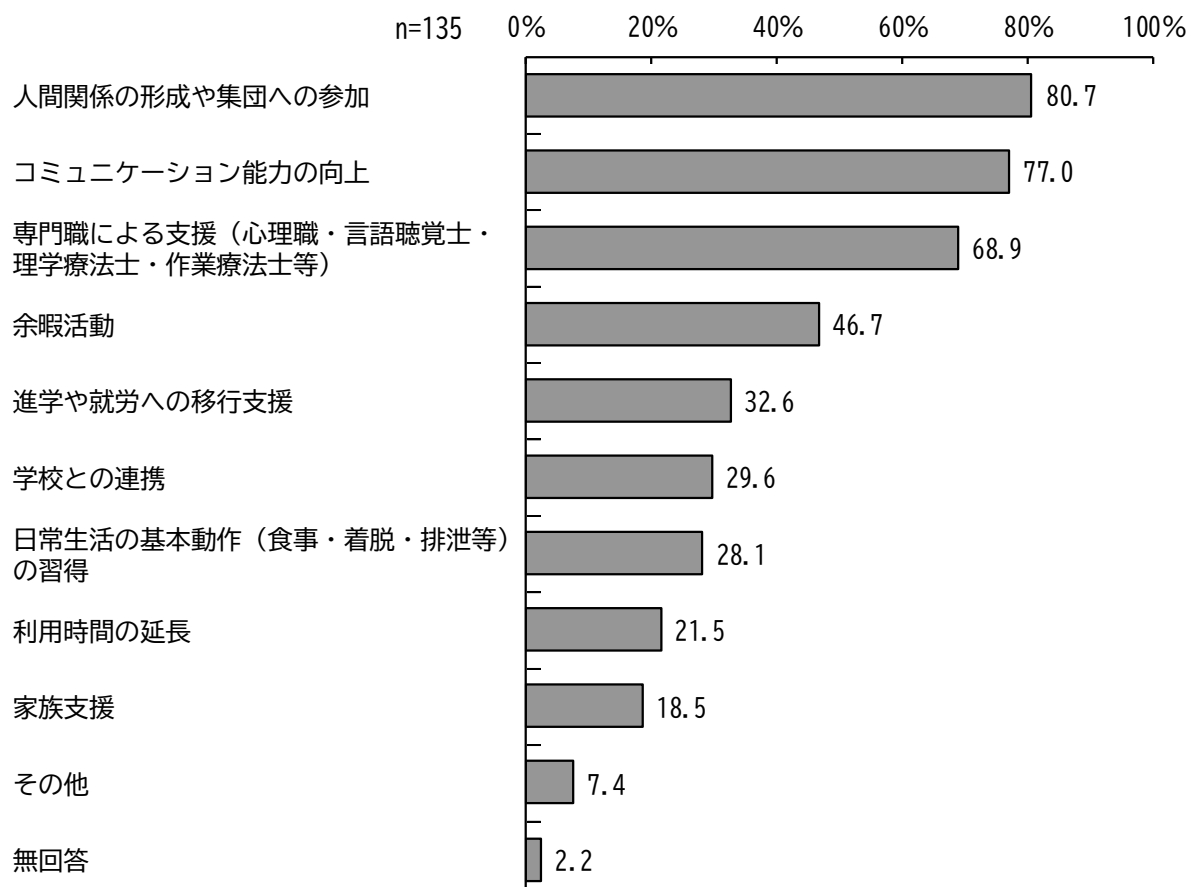
4.2.5. 放課後等デイサービスに求める支援

◆放課後等デイサービスに求める支援は「人間関係の形成や集団への参加」が約8割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-5. 放課後等デイサービスにもとめる支援はどのようなことですか。当てはまるものを次から選択してください。(あてはまるものすべてに○)

図4-46 放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）



放課後等デイサービスを利用していると回答した方に、放課後等デイサービスに求める支援をきいたところ、「人間関係の形成や集団への参加」が約8割と最も高くなっており、次いで「コミュニケーション能力の向上」「専門職による支援（心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等）」「余暇活動」となっている。

図 4-47 【所持手帳別】放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作（食事・ 着脱・排泄等）の習得	コミュニケーション能力の 向上	人間関係の形成や 集団への参加	余暇活動	家族支援	進学や就労への移行支援	学校との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	135	68.9	28.1	77.0	80.7	46.7	18.5	32.6	29.6	21.5	7.4	2.2
手帳非所持者	64	67.2	12.5	75.0	81.3	26.6	17.2	34.4	29.7	6.3	6.3	3.1
身体障害者手帳（軽度）	2	50.0	—	50.0	100.0	100.0	—	—	50.0	—	—	—
身体障害者手帳（重度）	13	84.6	76.9	84.6	84.6	84.6	38.5	23.1	46.2	46.2	23.1	—
愛の手帳	57	68.4	42.1	80.7	78.9	66.7	14.0	31.6	22.8	35.1	5.3	1.8
精神障害者保健福祉手帳	4	75.0	25.0	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	—

図 4-48 【年齢別】放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作（食事・ 着脱・排泄等）の習得	コミュニケーション能力の 向上	人間関係の形成や 集団への参加	余暇活動	家族支援	進学や就労への移行支援	学校との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	135	68.9	28.1	77.0	80.7	46.7	18.5	32.6	29.6	21.5	7.4	2.2
6～9歳	50	74.0	26.0	76.0	82.0	32.0	16.0	28.0	28.0	12.0	6.0	4.0
10～14歳	58	67.2	32.8	75.9	81.0	50.0	20.7	37.9	32.8	22.4	12.1	1.7
15～18歳	24	62.5	25.0	79.2	79.2	70.8	20.8	33.3	25.0	41.7	—	—

図 4-49 【在籍別】放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作（食事・ 着脱・排泄等）の習得	コミュニケーション能力の 向上	人間関係の形成や 集団への参加	余暇活動	家族支援	進学や就労への移行支援	学校との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	132	68.9	28.8	76.5	81.1	47.0	18.9	33.3	29.5	22.0	7.6	2.3
小学校 （通常級・支援学級）	65	70.8	20.0	75.4	83.1	32.3	18.5	33.8	29.2	9.2	7.7	3.1
中学校 （通常級・支援学級）	21	52.4	14.3	71.4	81.0	38.1	9.5	38.1	19.0	14.3	4.8	4.8
高等学校	5	80.0	—	60.0	100.0	40.0	40.0	60.0	40.0	20.0	—	—
特別支援学校	41	73.2	53.7	82.9	75.6	75.6	22.0	26.8	34.1	46.3	9.8	—
在宅	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

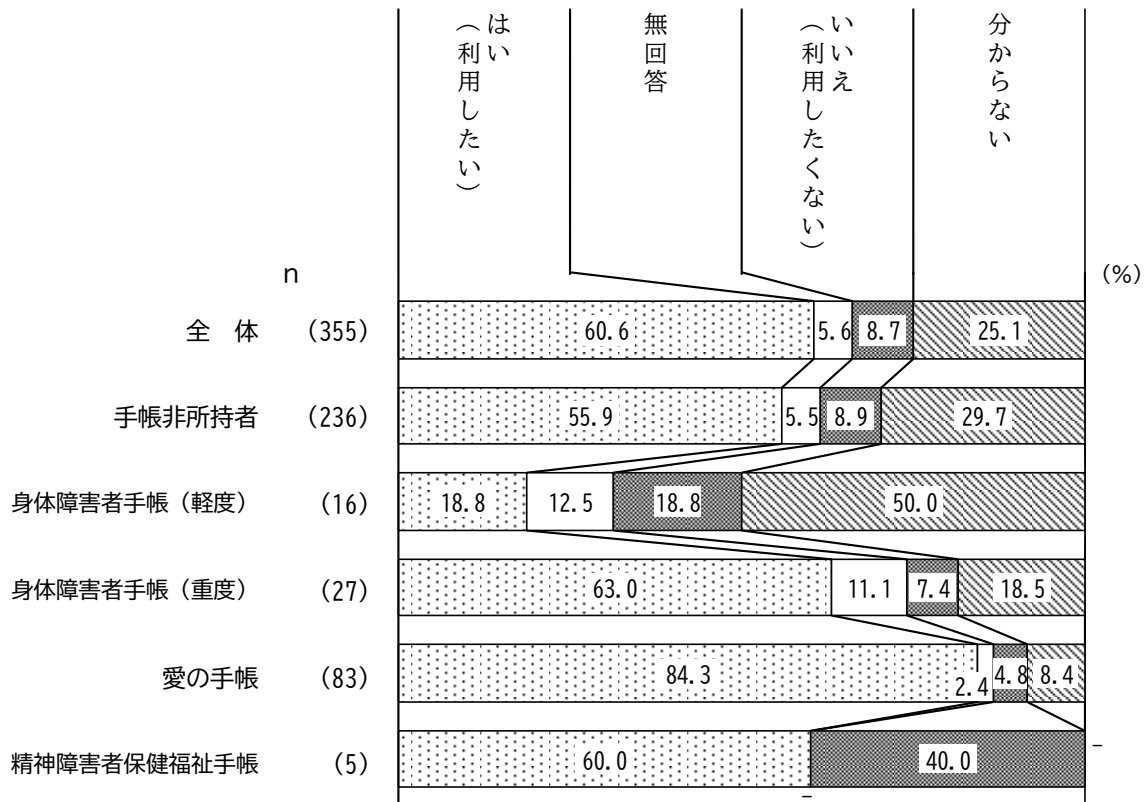
4.2.6. 放課後等デイサービスの利用意向

◆放課後等デイサービスを今後「利用したい」方は約6割

(全員の方に)

問11-6. 放課後等デイサービスを今後、利用したいですか。(○は1つ)

図4-50 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用意向



放課後等デイサービスの利用意向は、「はい (利用したい)」が約6割となっている。

図4-51 【年齢別】放課後等デイサービスの利用意向

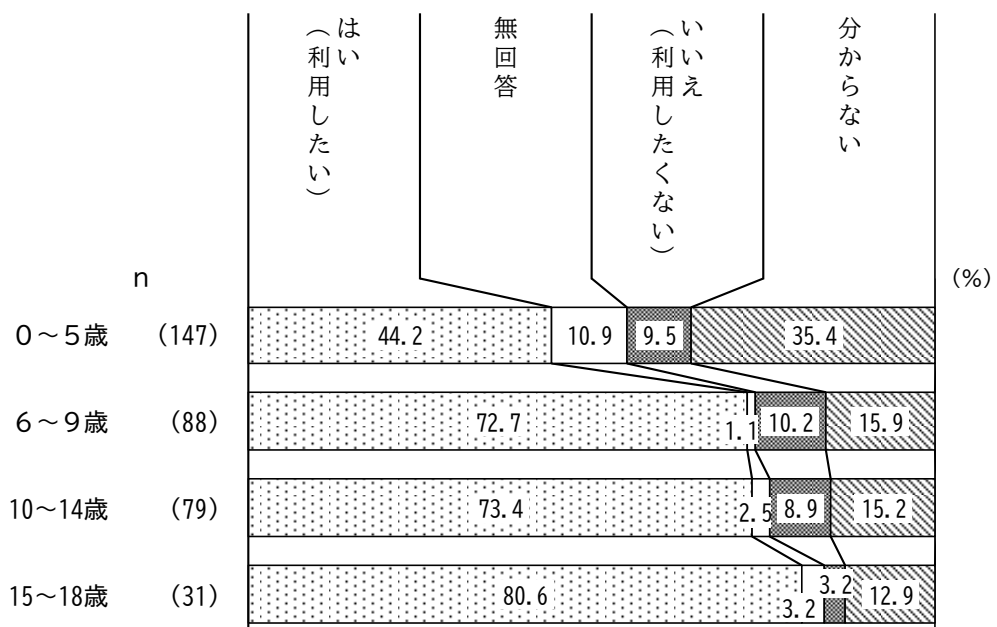


図 4-52 【在籍別】放課後等デイサービスの利用意向

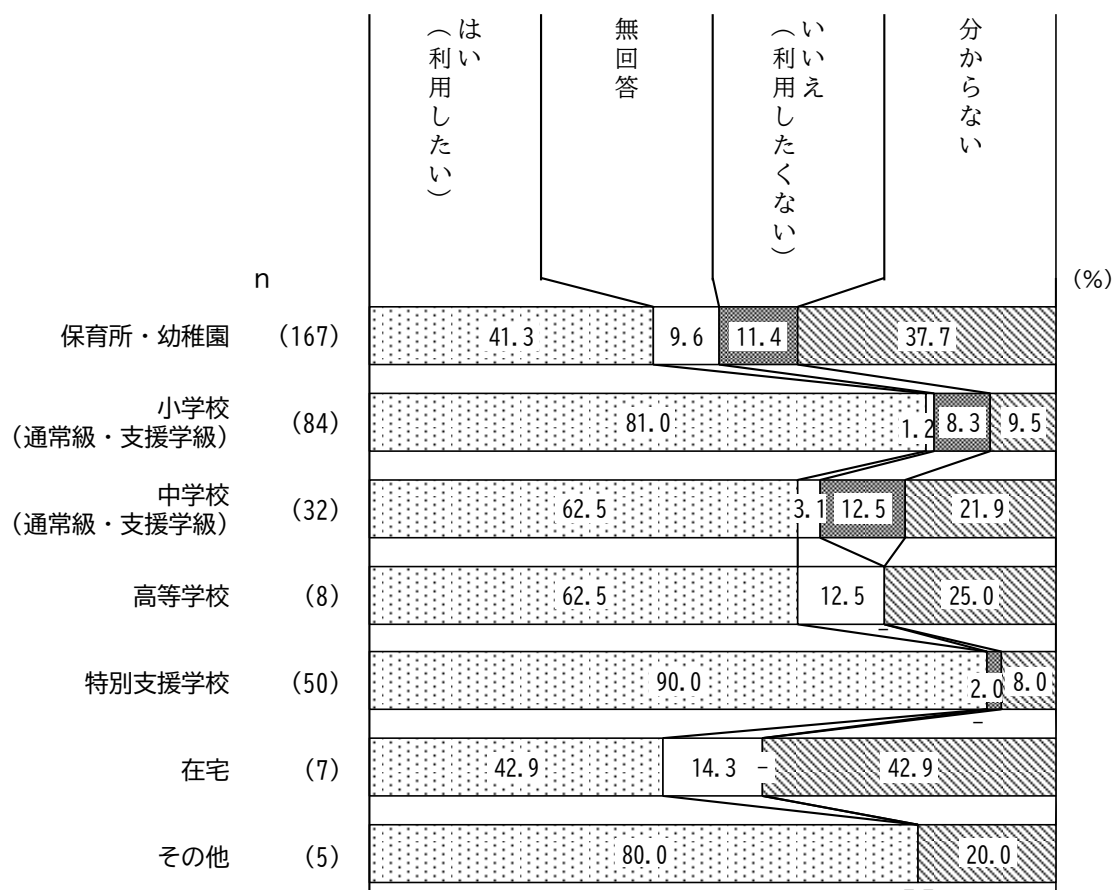
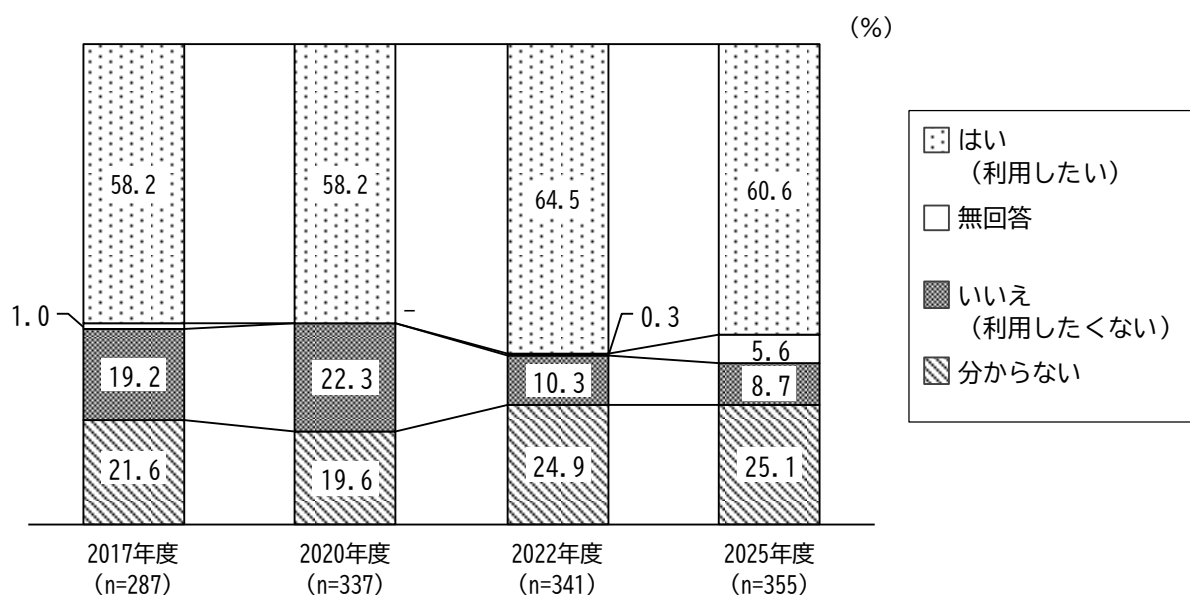


図 4-53 【経年比較】放課後等デイサービスの利用意向



放課後等デイサービスの利用意向を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ大きな変化はみられない。

4.2.6.1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由

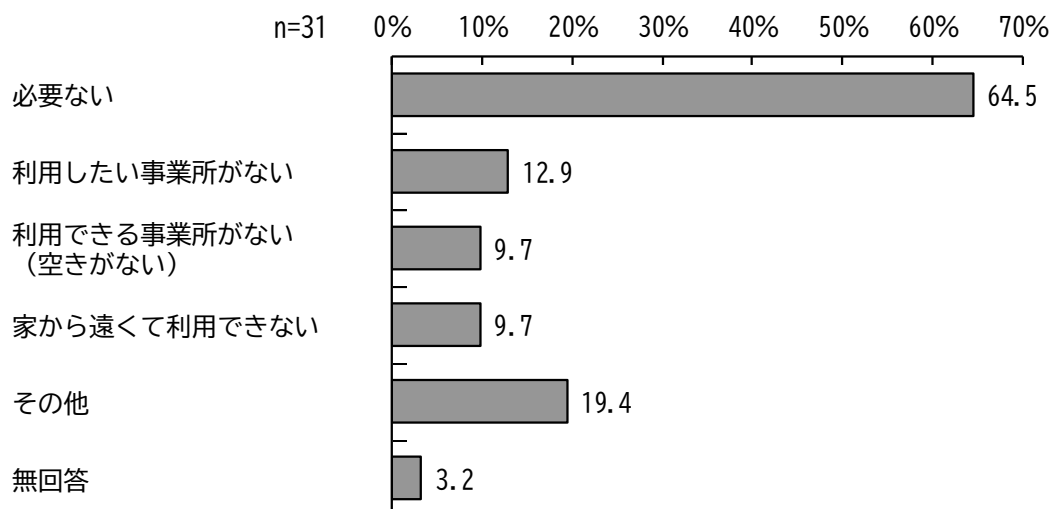
◆放課後等デイサービスを利用したくない理由は「必要ない」が6割半ば

(問11-6で「2. いいえ」とお答えの方に)

問11-6-1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-54 放課後等デイサービスを利用したくない理由



放課後等デイサービスを利用したくないと回答した方に、放課後等デイサービスを利用したくない理由をきいたところ、「必要ない」が6割半ばで最も高い。

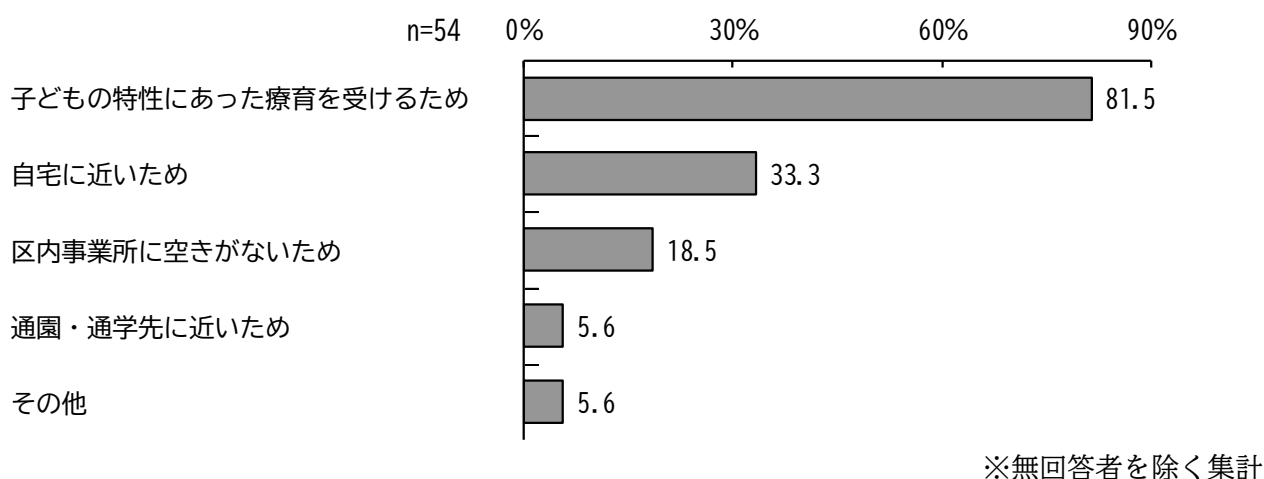
4.3. 区外の事業所を利用している理由

◆区外の事業所を利用している理由は「子どもの特性にあった療育を受けるため」が約8割

(区外の児童発達支援や放課後等デイサービス事業所を利用している方に)

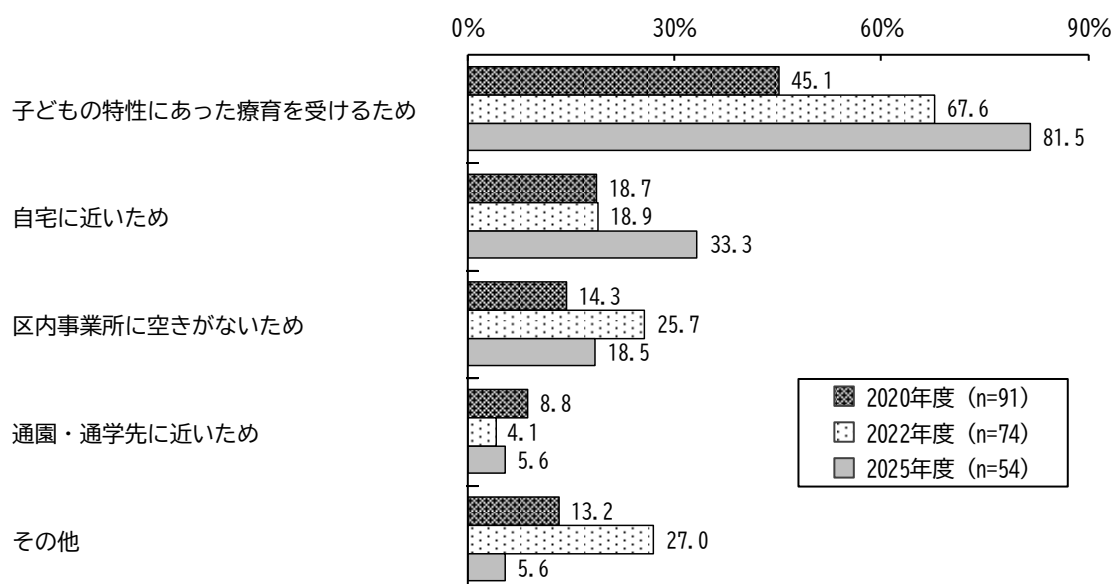
問 12 区外の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所を利用している方にお尋ねします。
区外の事業所を利用している理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-55 区外の事業所を利用している理由



区外の事業所を利用している理由は、「子どもの特性にあった療育を受けるため」が最も高く、次いで「自宅に近いため」「区内事業所に空きがないため」となっている。

図 4-56 【経年比較】区外の事業所を利用している理由



※「子どもの特性にあった療育を受けるため」は、2022 年度以前は「障害の特性にあった療育を受けるため」

※「通園・通学先に近いため」は、2022 年度以前は「通学先に近いため」

選択肢の文言が異なるため、グラフは参考として掲載する。

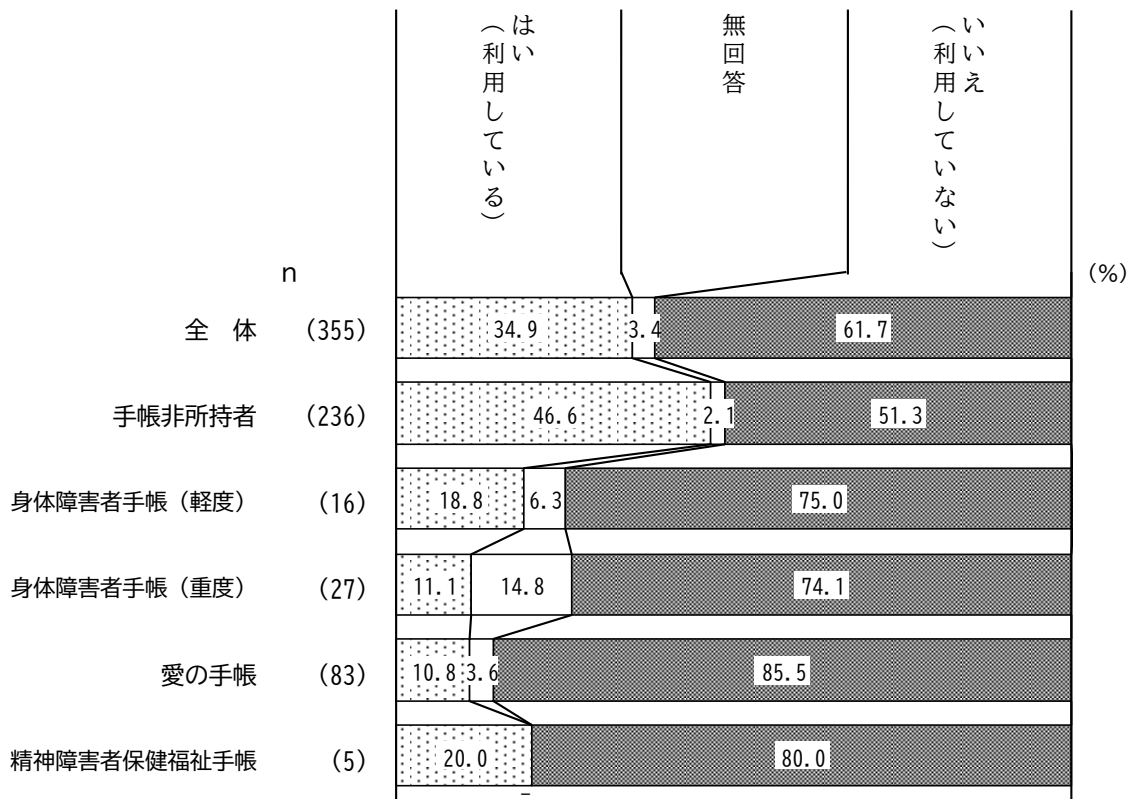
4.4. 保育所等訪問支援の利用状況

◆保育所等訪問支援を「利用している」方は3割半ば

(全員の方に)

問13. 保育所等訪問支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

図4-57 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用状況



保育所等訪問支援の利用状況は、「はい (利用している)」の割合が3割半ばとなっている。

図 4-58 【年齢別】保育所等訪問支援の利用状況

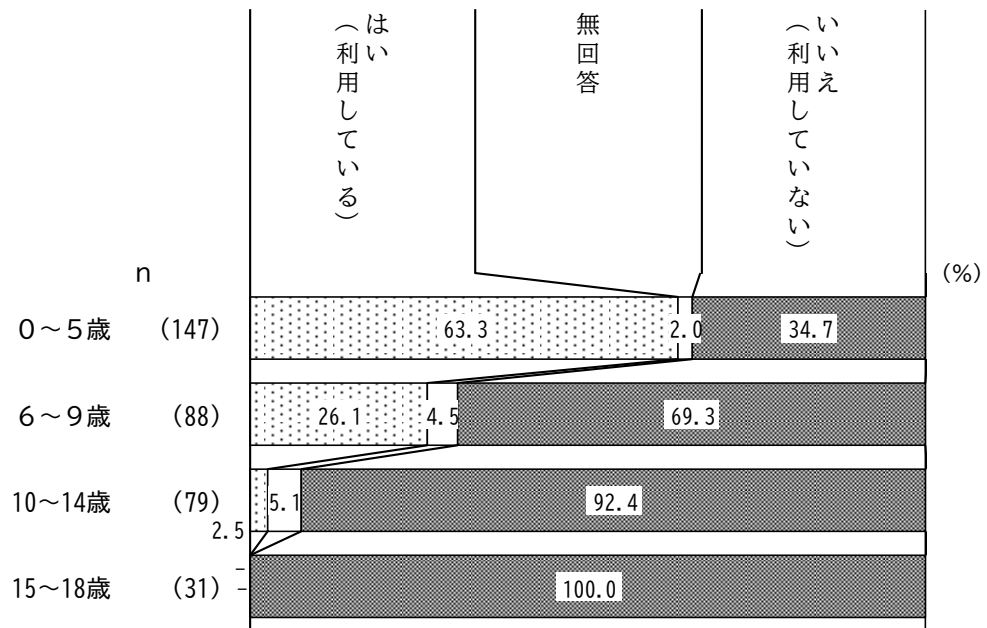
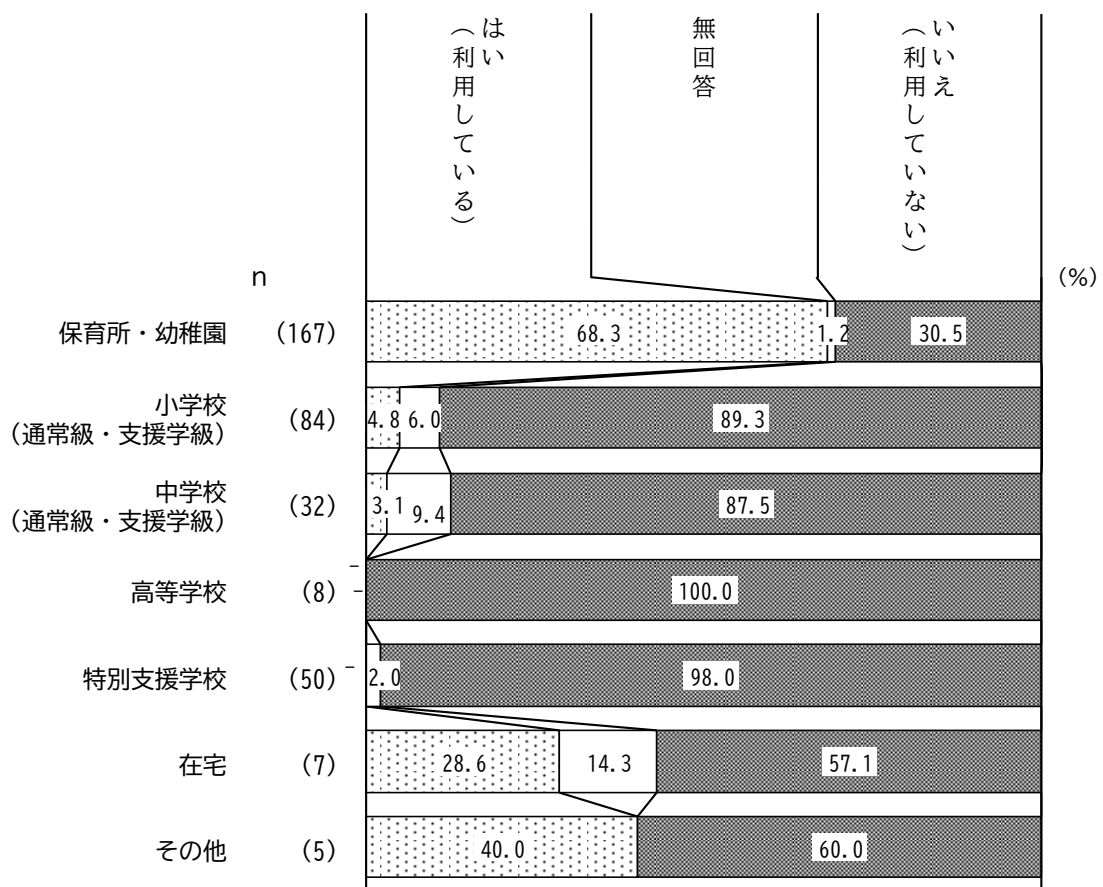


図 4-59 【在籍別】保育所等訪問支援の利用状況



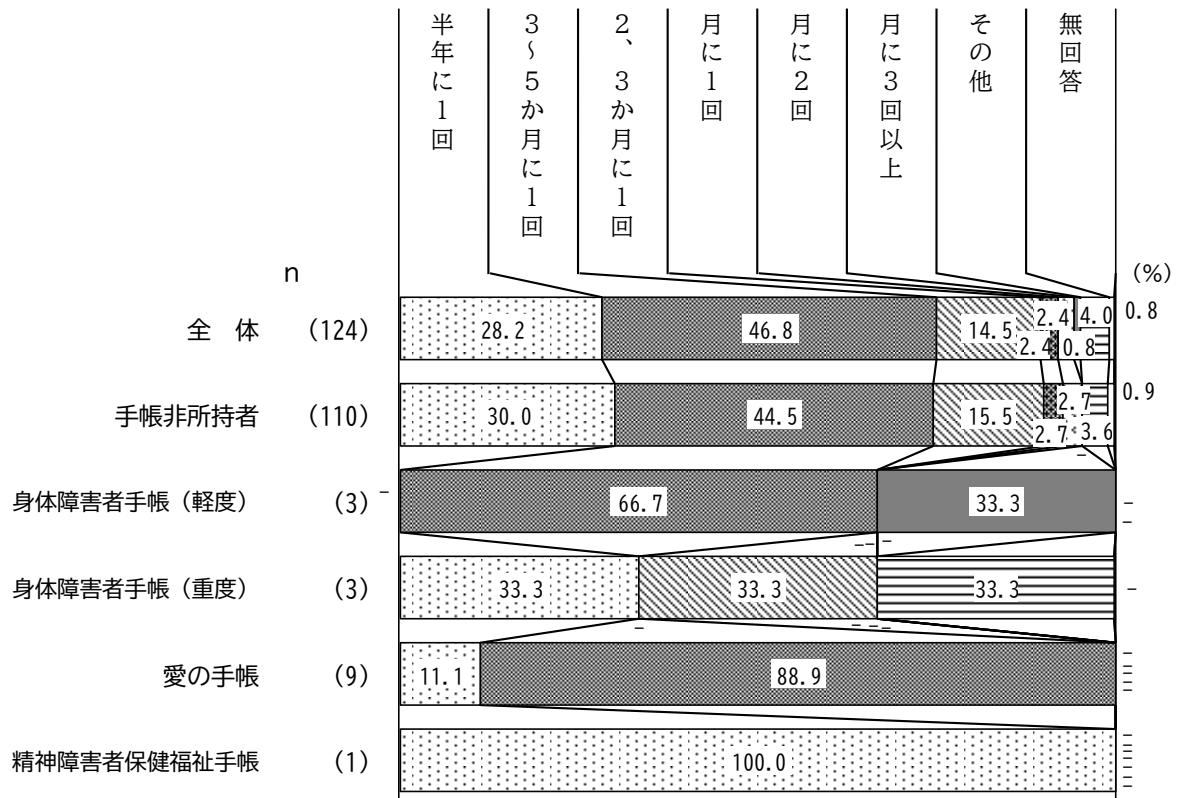
4.4.1. 保育所等訪問支援の利用頻度

◆保育所等訪問支援の利用頻度は「3～5か月に1回」が4割半ば

(問13で「1. はい」とお答えの方に)

問13-1. 現在、保育所等訪問支援の利用頻度はどのくらいですか。(○は1つ)
複数事業所を利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。

図4-60 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用頻度



保育所等訪問支援の利用頻度は、「3～5か月に1回」が4割半ばとなっている。

図 4-61 【年齢別】 保育所等訪問支援の利用頻度

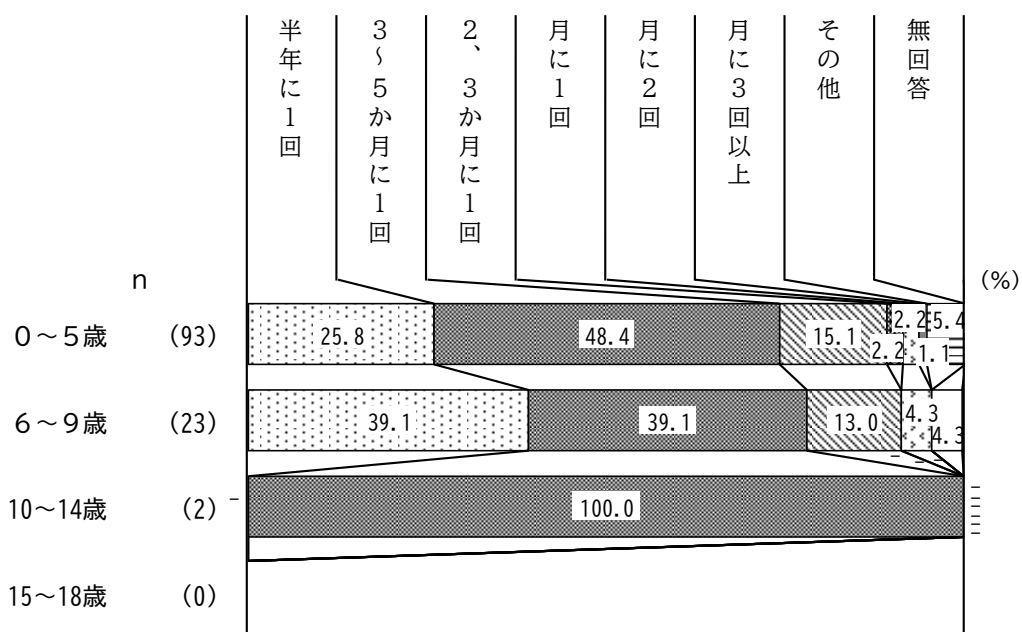
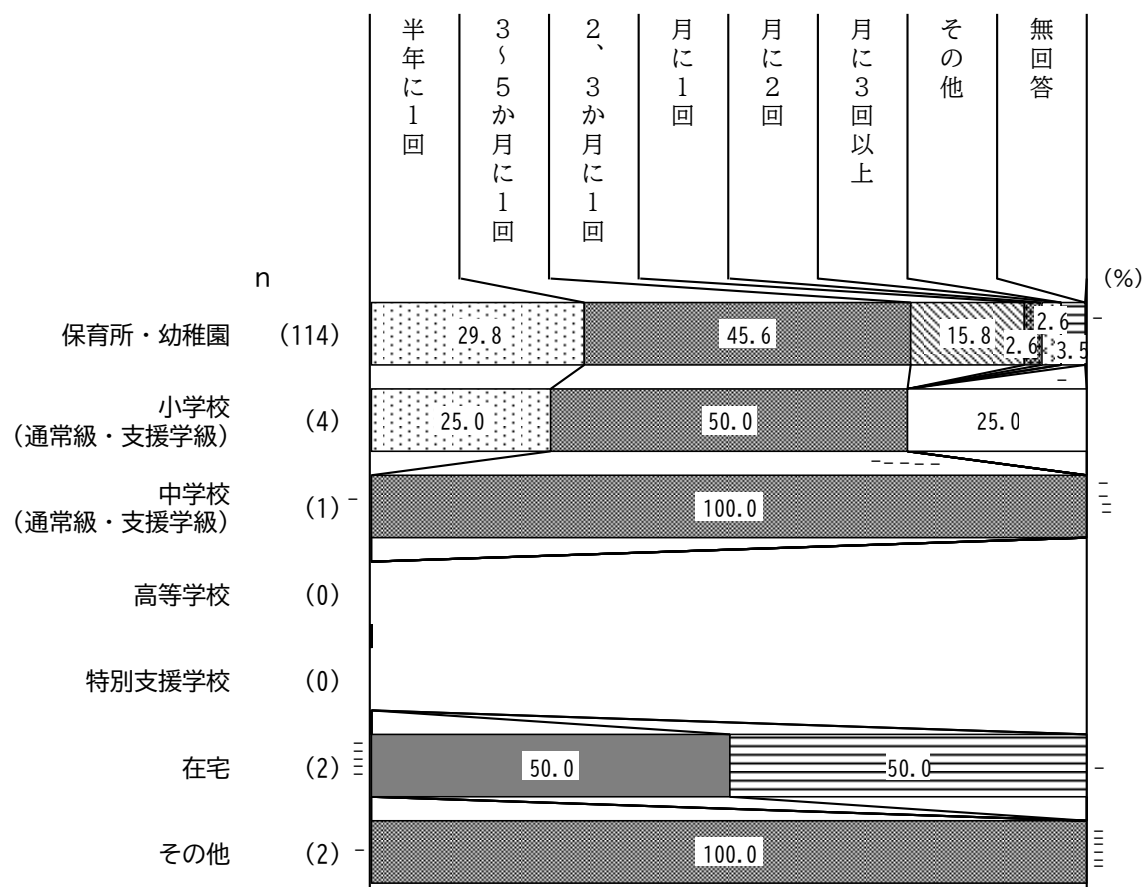


図 4-62 【在籍別】 保育所等訪問支援の利用頻度



4.4.2. 保育所等訪問支援を利用していない理由

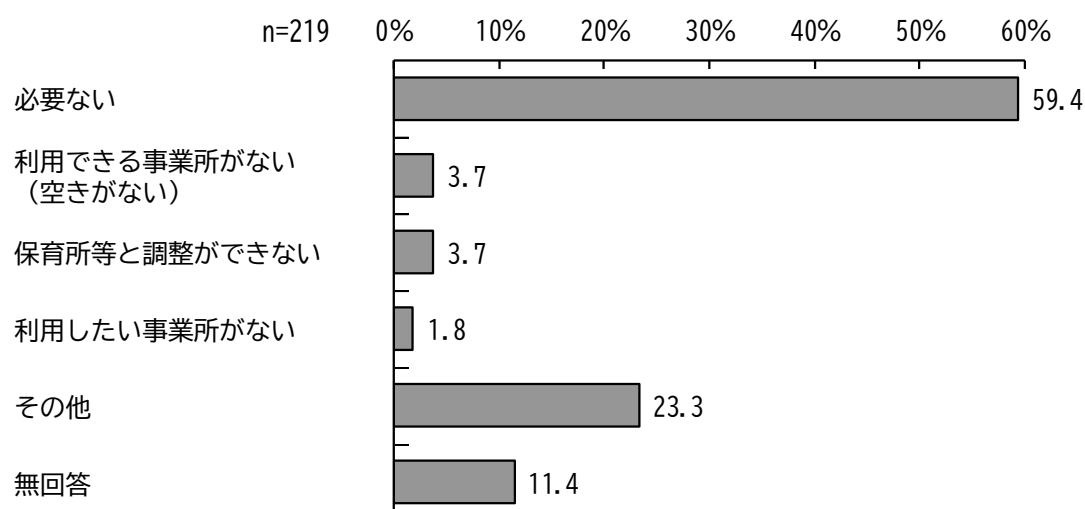
◆保育所等訪問支援を利用していない理由は「必要ない」が約6割

(問13で「2. いいえ」とお答えの方に)

問13-2. 保育所等訪問支援を利用していない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-63 保育所等訪問支援を利用していない理由



保育所等訪問支援を利用していないと回答した方に、保育所等訪問支援を利用していない理由をきいたところ、「必要ない」が約6割と最も高くなっている。

図4-64 【所持手帳別】保育所等訪問支援を利用していない理由

区分	有効回答数 (件)	利用したい事業所がない	利用できる事業所がない (空きがない)	保育所等と調整ができない	必要ない	その他	無回答
全体	219	1.8	3.7	3.7	59.4	23.3	11.4
手帳非所持者	121	0.8	4.1	5.8	58.7	21.5	11.6
身体障害者手帳 (軽度)	12	—	—	—	50.0	16.7	33.3
身体障害者手帳 (重度)	20	—	5.0	5.0	55.0	30.0	10.0
愛の手帳	71	4.2	4.2	—	60.6	26.8	8.5
精神障害者保健福祉手帳	4	—	—	—	25.0	50.0	25.0

図 4-65 【年齢別】 保育所等訪問支援を利用していない理由

区分	有効回答数（件）	利用したい事業所がない	利用できる事業所がない（空きがない）	保育所等と調整がでない	必要ない	その他	無回答
全体	219	1.8	3.7	3.7	59.4	23.3	11.4
0～5歳	51	—	3.9	11.8	54.9	23.5	7.8
6～9歳	61	—	1.6	—	57.4	27.9	13.1
10～14歳	73	5.5	6.8	1.4	57.5	20.5	12.3
15～18歳	31	—	—	—	80.6	19.4	6.5

図 4-66 【在籍別】 保育所等訪問支援を利用していない理由

区分	有効回答数（件）	利用したい事業所がない	利用できる事業所がない（空きがない）	保育所等と調整がでない	必要ない	その他	無回答
全体	219	1.8	3.7	3.7	59.4	23.3	11.4
保育所・幼稚園	51	—	3.9	13.7	56.9	25.5	3.9
小学校 （通常級・支援学級）	75	2.7	4.0	1.3	57.3	21.3	16.0
中学校 （通常級・支援学級）	28	3.6	3.6	—	64.3	21.4	10.7
高等学校	8	—	—	—	62.5	25.0	12.5
特別支援学校	49	2.0	4.1	—	63.3	26.5	8.2
在宅	4	—	—	—	50.0	—	50.0
その他	3	—	—	—	66.7	33.3	—

4.4.3. 保育所等訪問支援の利用意向

◆保育所等訪問支援を今後「利用したい」方は5歳以下において約7割

(全員の方に)

問 13-3. 保育所等訪問支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

図 4-67 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用意向

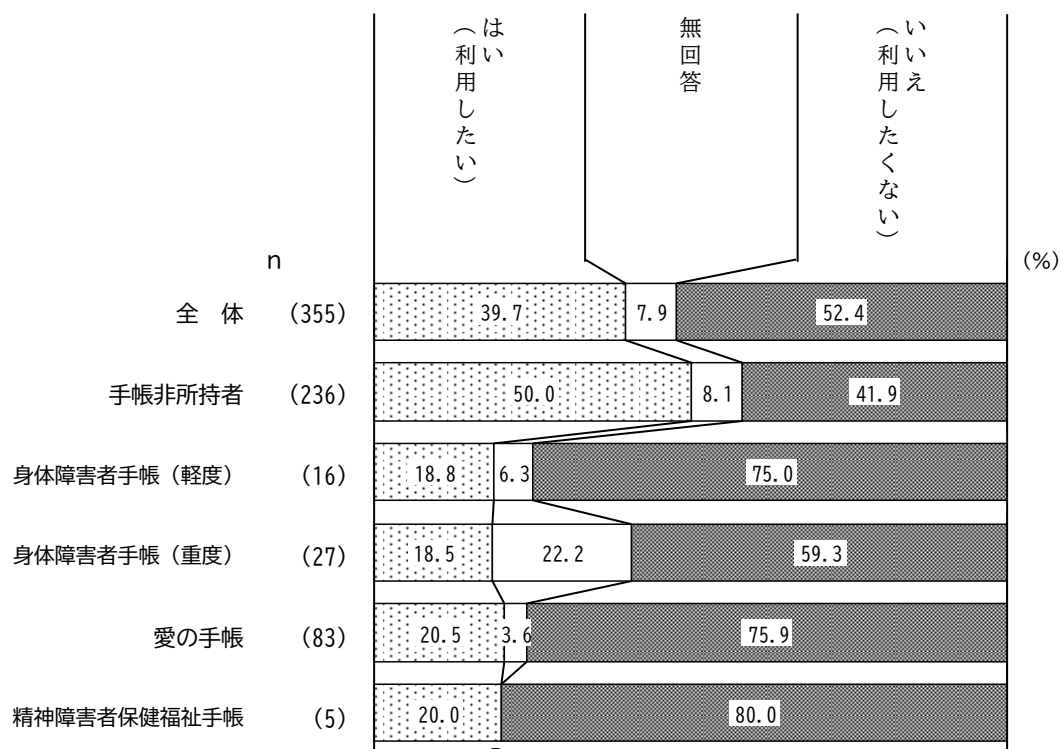
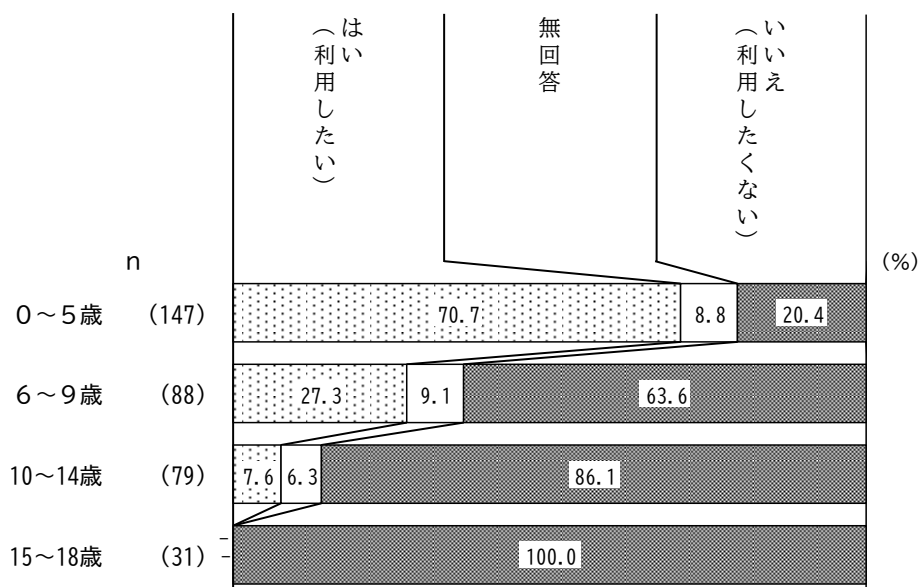


図 4-68 【年齢別】保育所等訪問支援の利用意向



保育所等訪問支援の利用意向は、5歳以下では「はい（利用したい）」が約7割と高くなっている。

図 4-69 【在籍別】保育所等訪問支援の利用意向

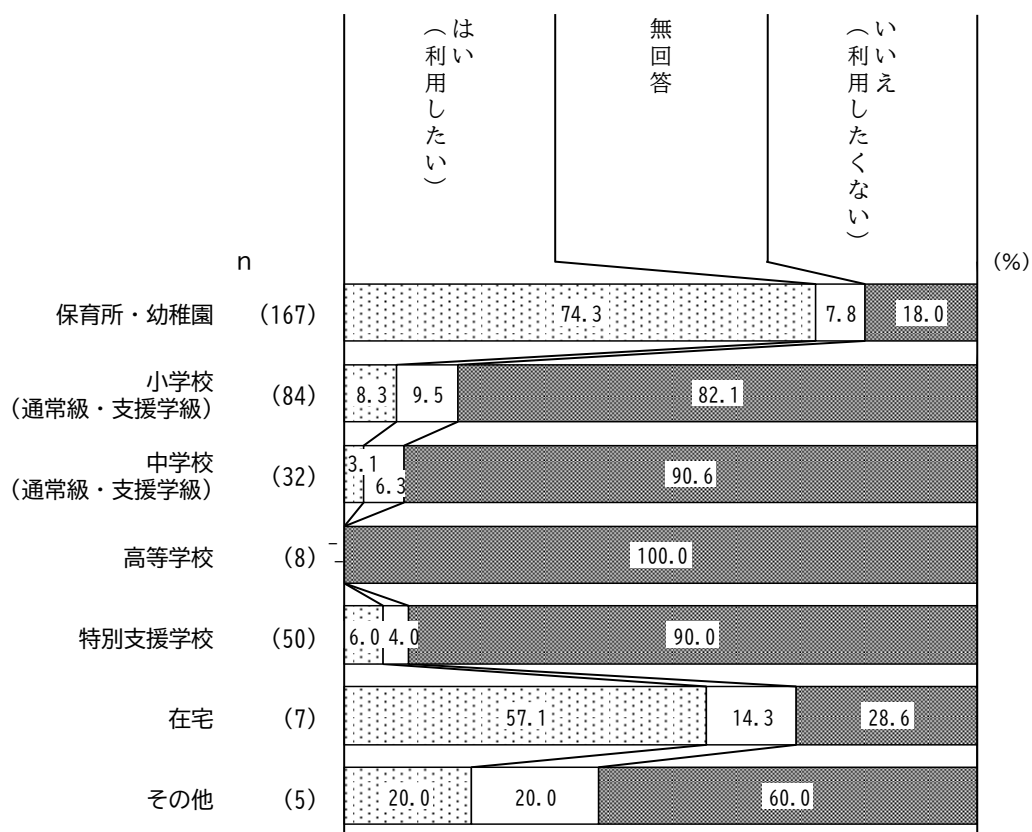
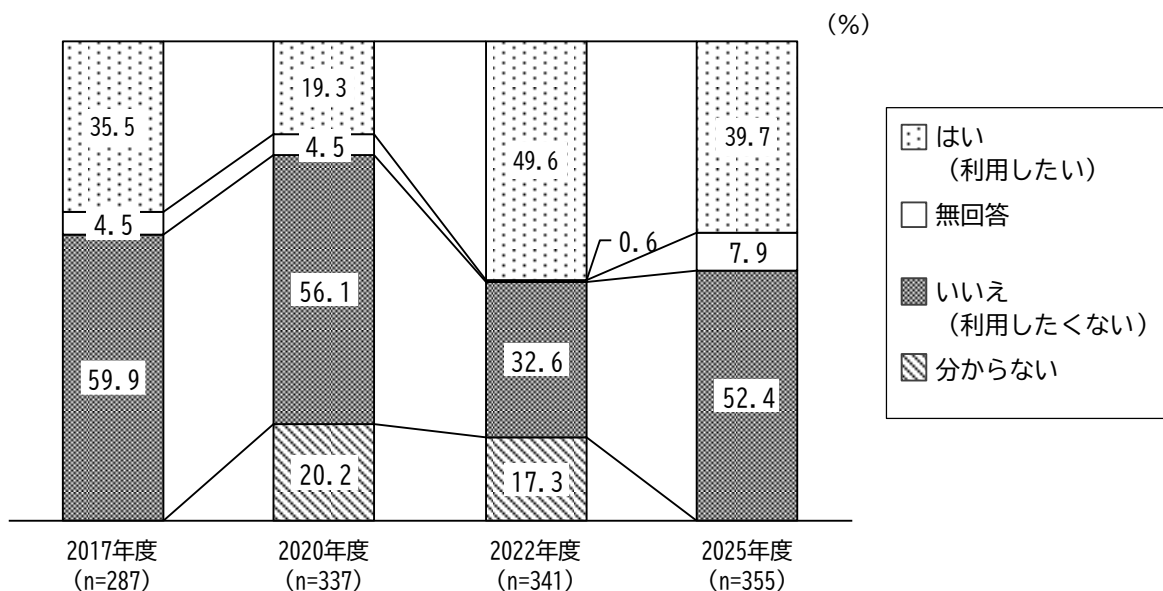


図 4-70 【経年比較】保育所等訪問支援の利用意向



※2020 年度・2022 年度は「分からない」の選択肢あり

選択肢の数が異なるため、グラフは参考として掲載する。

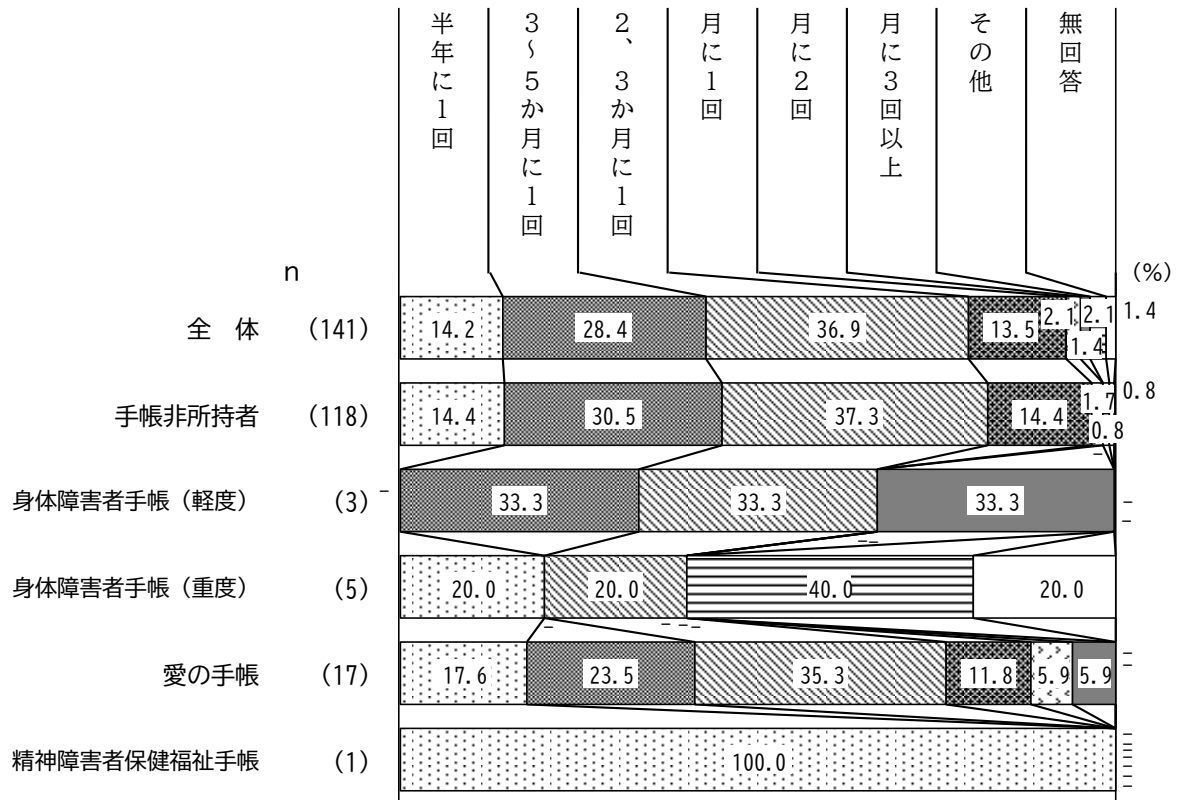
4.4.3.1. 保育所等訪問支援の希望利用頻度

◆保育所等訪問支援の希望する利用頻度は「2、3か月に1回」が3割半ば

(問13-3で「1. はい」とお答えの方に)

問13-3-1. 保育所等訪問支援を、どの程度利用したいですか。(○は1つ)

図4-71 【所持手帳別】保育所等訪問支援の希望利用頻度



保育所等訪問支援を利用したいと回答した方に、保育所等訪問支援の希望する利用頻度をきいたところ、「2、3か月に1回」が4割半ば、「3～5か月に1回」が2割台後半となっている。

図 4-72 【年齢別】 保育所等訪問支援の希望利用頻度

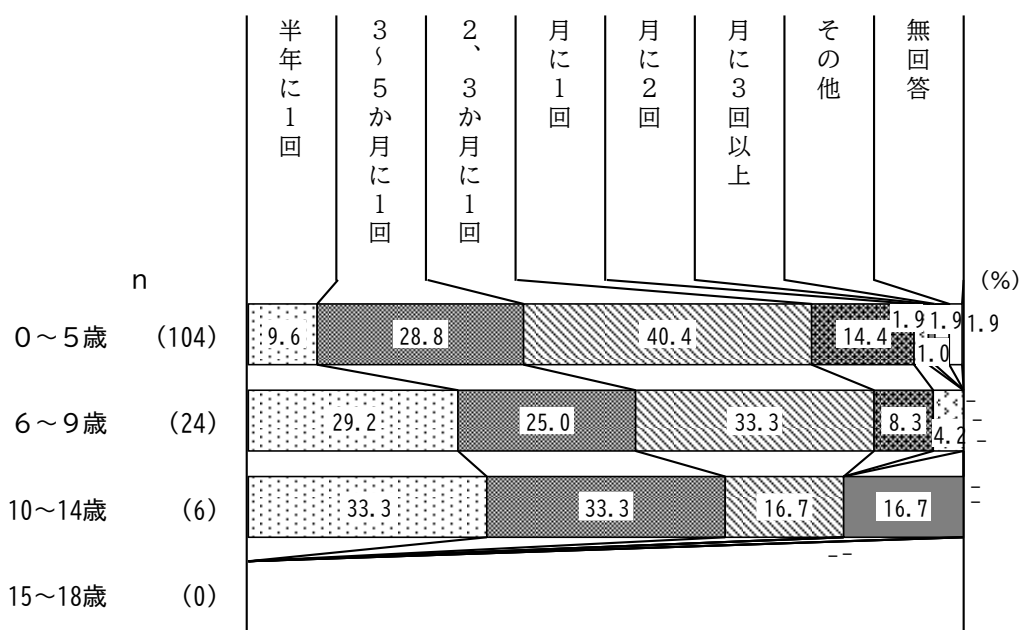
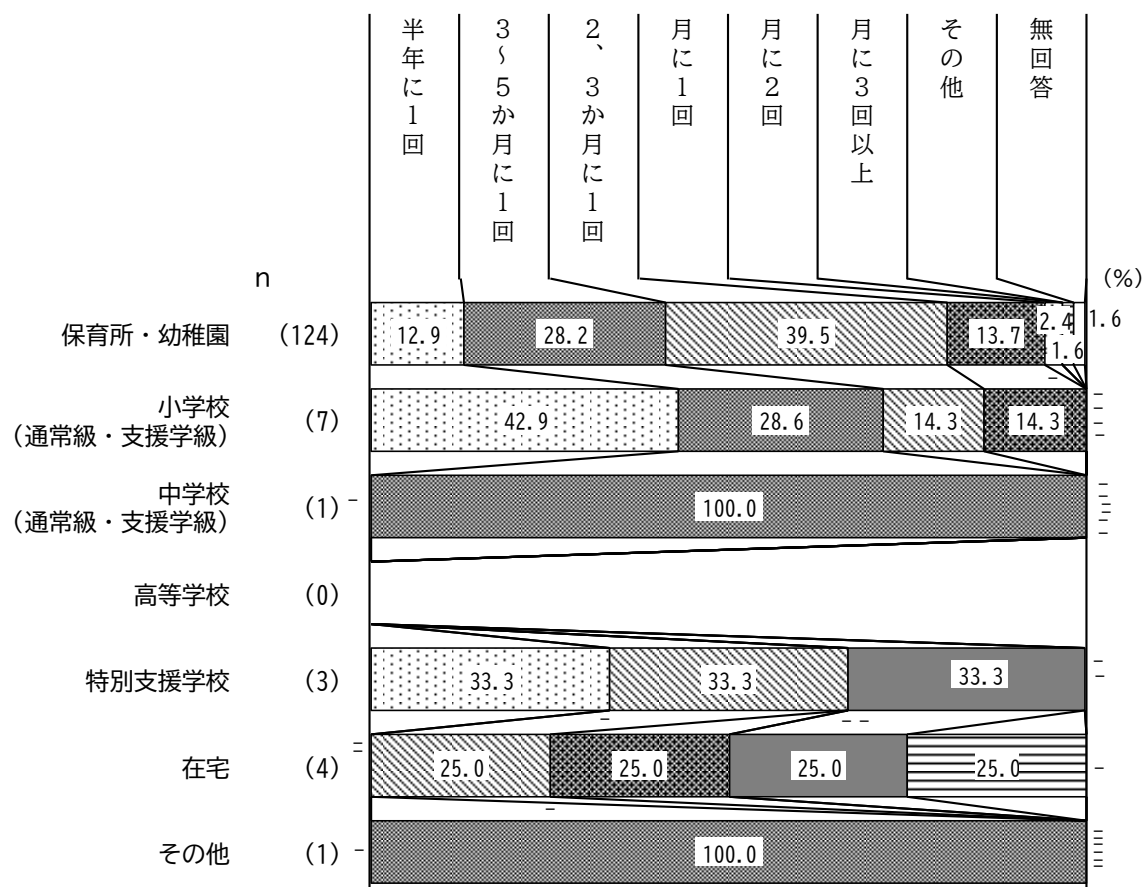


図 4-73 【在籍別】 保育所等訪問支援の希望利用頻度



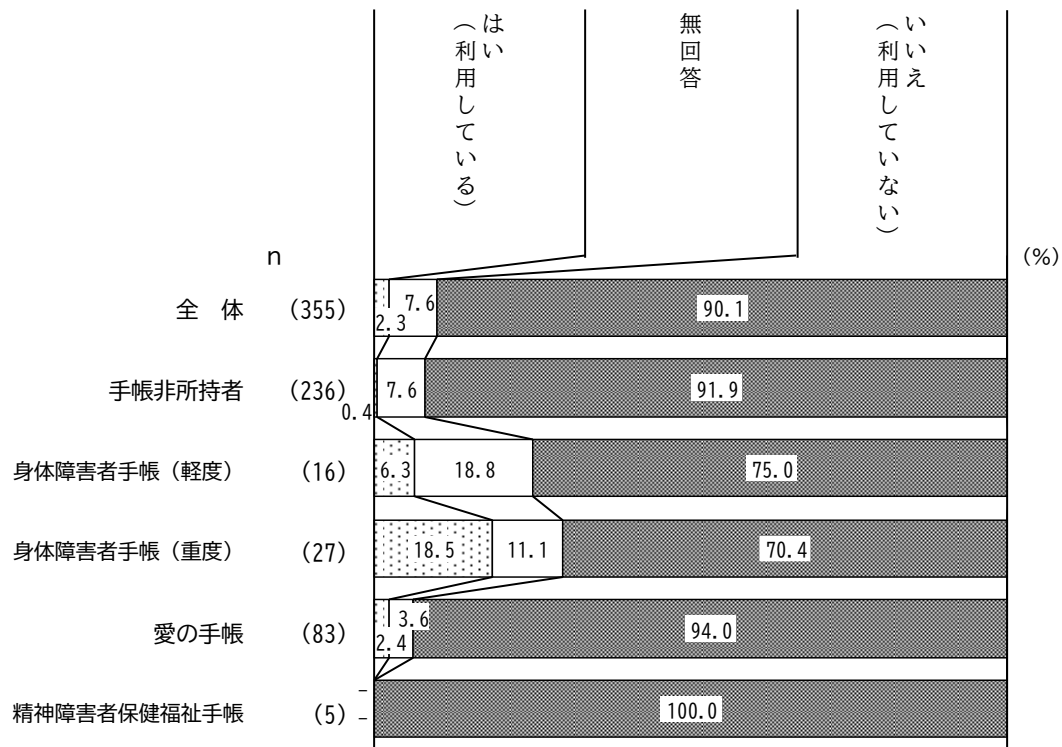
4.5. 居宅訪問型児童発達支援の利用状況

◆保育所等訪問支援を「利用している」方は身体障害者手帳所持者（重度）で1割台後半

（全員の方に）

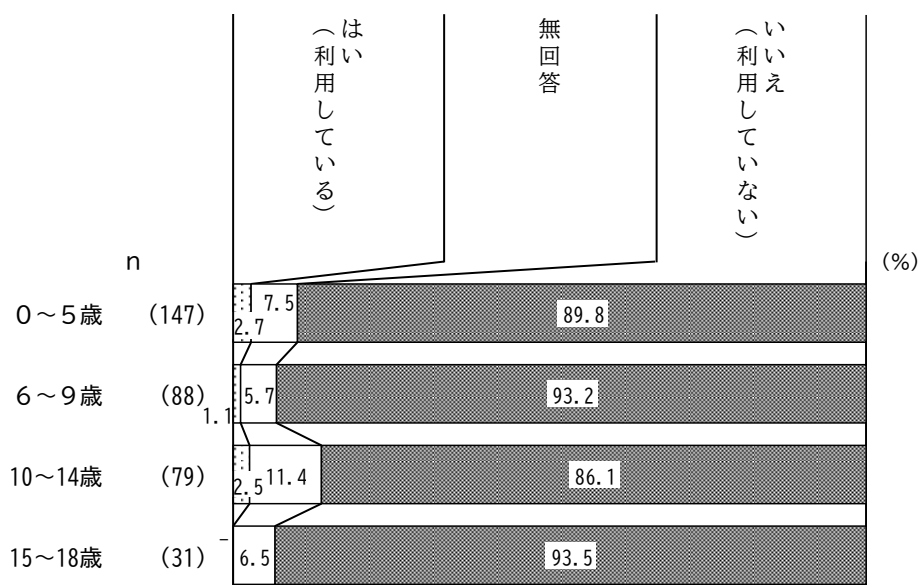
問 14. 居宅訪問型児童発達支援を現在、利用していますか。（○は1つ）

図 4-74 【所持手帳別】居宅訪問型児童発達支援の利用状況



居宅訪問型児童発達支援の利用状況は、身体障害者手帳所持者（重度）で「はい（利用している）」のが1割台後半となっている。

図 4-75 【年齢別】居宅訪問型児童発達支援の利用状況



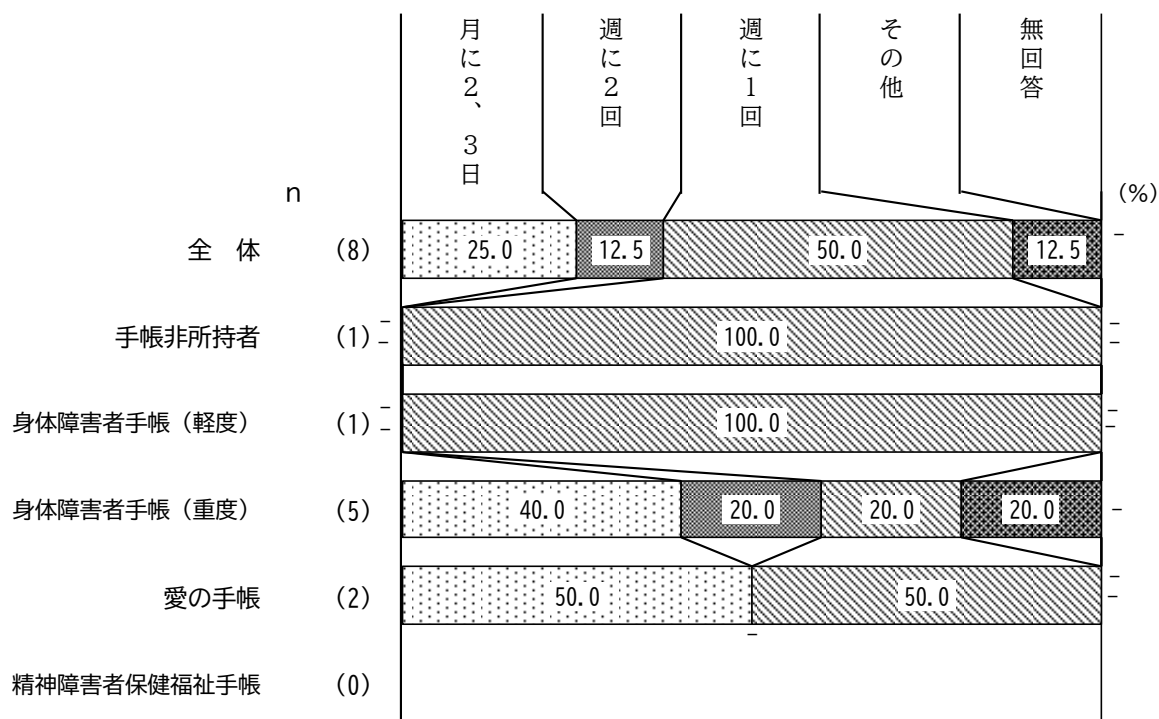
4.5.1. 居宅訪問型児童発達支援の利用頻度

◆利用したい日数は「週に1日」が5割

(問14で「1. はい」とお答えの方に)

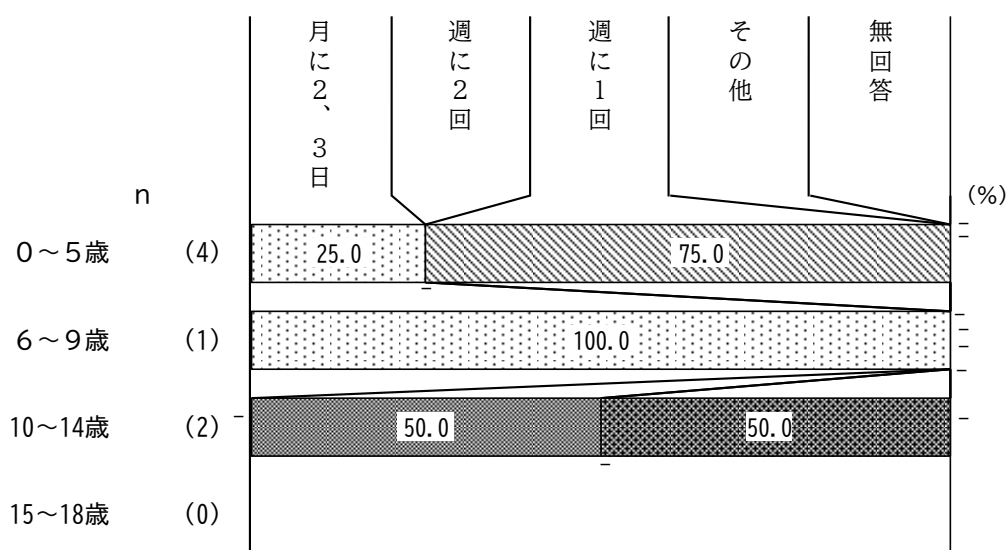
問14-1. 居宅訪問型児童発達支援の利用頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

図4-76 【所持手帳別】居宅訪問型児童発達支援の利用頻度



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図4-77 【年齢別】居宅訪問型児童発達支援の利用頻度



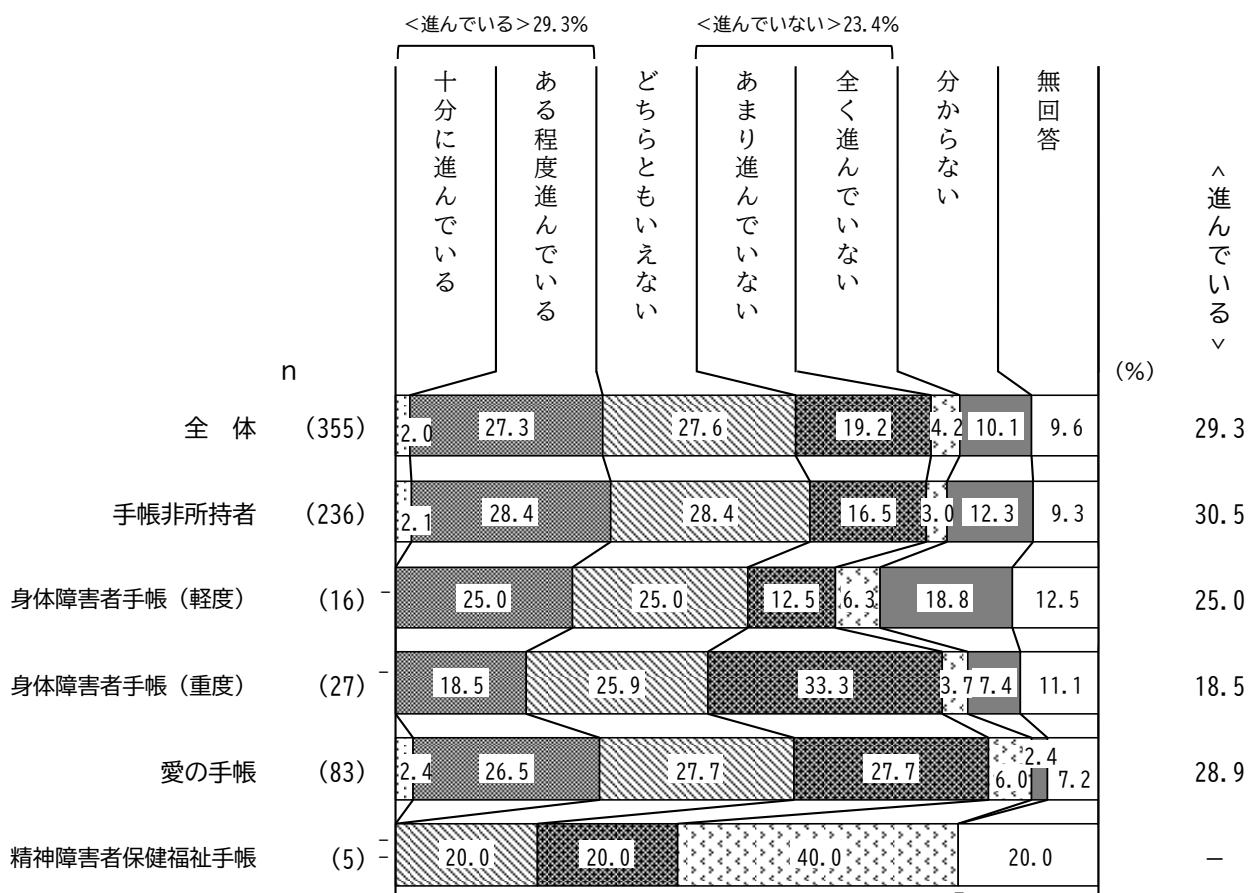
4.6. 障害児に対する地域の理解

◆障害児に対する地域の理解は、＜進んでいる＞が約３割

（全員の方に）

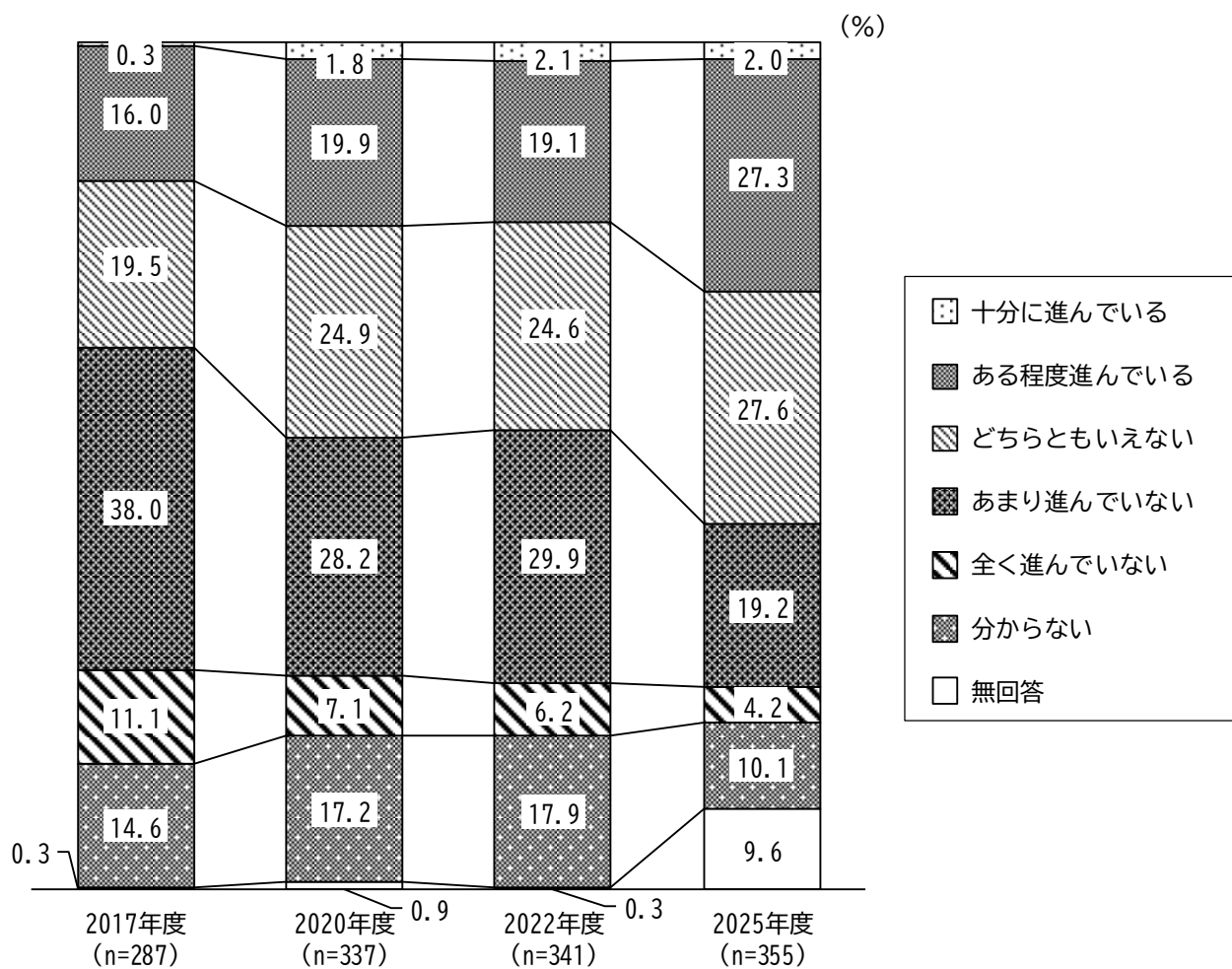
問 15. 障害や発達に特性のある子どもに対する地域の理解はどの程度進んでいると思いますか。
（○は１つ）

図 4-78 【所持手帳別】障害児に対する地域の理解



障害児に対する理解は、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」を合わせた＜進んでいる＞が約３割となっている。

図 4-79 【経年比較】障害児に対する地域の理解



障害児に対する地域の理解を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度に比べて「ある程度進んでいる」が約 8 ポイント増加し、「あまり進んでいない」が約 11 ポイント減少している。

4.7. 充実してほしい施策・サービス

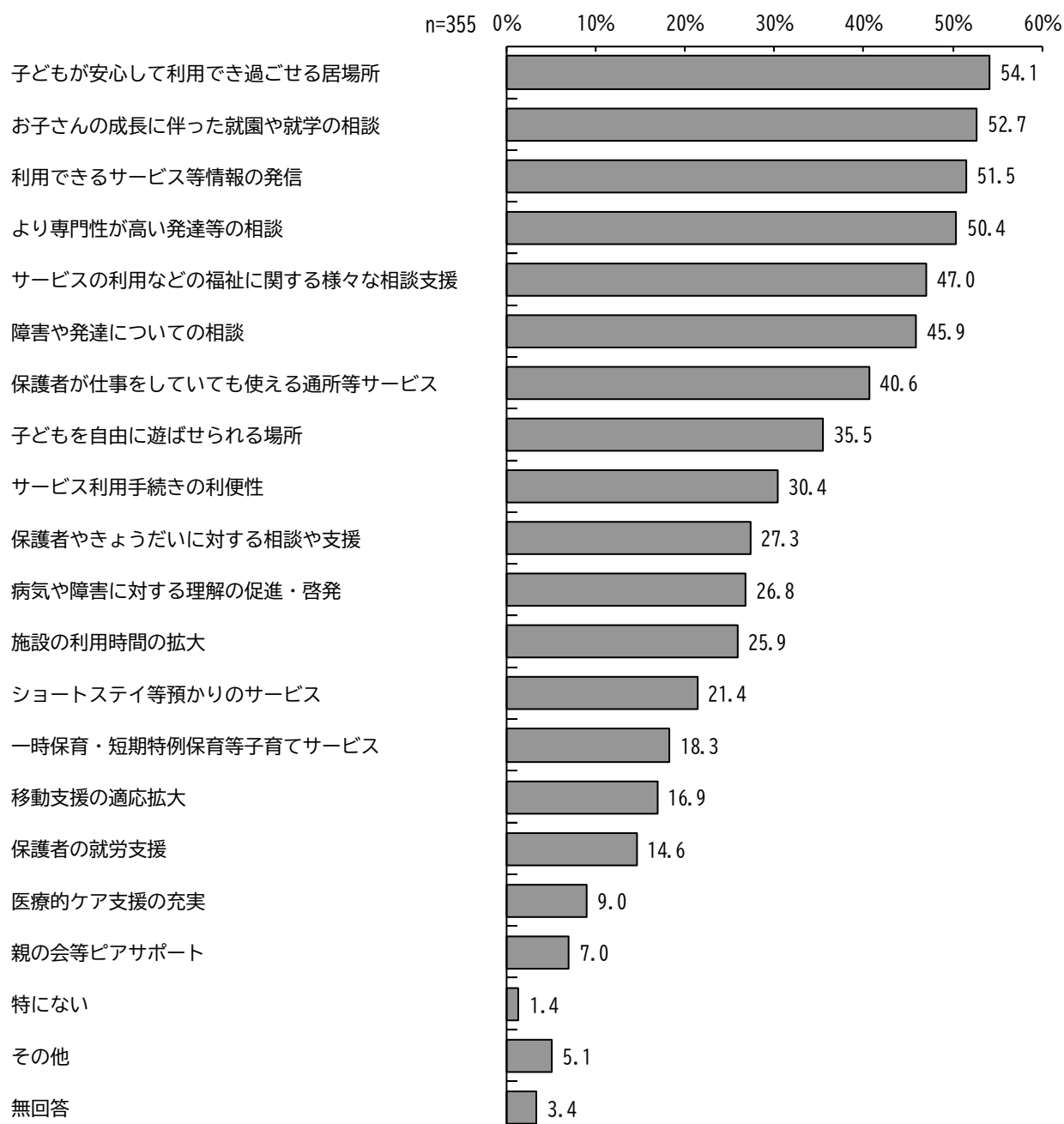
◆充実してほしい施策は「子どもが安心して利用でき過ごせる居場所」「お子さんの成長に伴った就園や就学の相談」「利用できるサービス等情報の発信」「より専門性が高い発達等の相談」が5割台

(全員の方に)

問 16. 次の施策・サービス等、特に充実してほしいと思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-80 充実してほしい施策・サービス



充実してほしい施策は、「子どもが安心して利用でき過ごせる居場所」が最も高くなっており、次いで「お子さんの成長に伴った就園や就学の相談」「利用できるサービス等情報の発信」「より専門性が高い発達等の相談」が5割台となっている。

図 4-81 【所持手帳別】上位 5 項目 充実してほしい施策・サービス

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=355	子どもが安心して 利用でき過ご せる居場所 54.1	お子さんの成長 に伴った就園や 就学の相談 52.7	利用できるサー ビス等情報の発 信 51.5	より専門性が高 い発達等の相談 50.4	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 47.0
2022年度 n=341	ペアレントト レーニング等の 保護者支援 55.1	利用できるサー ビスについての 広報・周知 54.8	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 50.7	病気や障害に対 する理解の促進 39.9	活動の場、憩い の場の整備 39.3
2020年度 n=337	利用できるサー ビスについての 広報・周知 51.3	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 46.3	ペアレントトレ ーニング等の保護 者支援/病気や障害に対する理解 の促進 42.7	活動の場、憩い の場の整備 35.0	
2017年度 n=287	利用できるサー ビスについての 広報・周知 55.7	ペアレントト レーニング等の 保護者支援 54.0	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 52.6	病気や障害に対 する理解の促進 50.9	活動の場、憩い の場の整備 38.3

2022 年度までと選択肢数が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

5. 自由回答

5.1. 日常生活で困っていること

(全員の方に)

問 17. 家族が就労等の生活環境を変えずに、お子さんの子育てをするために必要なサービスや支援等がありましたら、ご自由にお書きください。

家族が就労等の生活環境を変えずに、子育てをするために必要なサービスや支援等について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、138 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

送迎サービス 31 件

- 療育施設をはじめ、放デイに通わせたいと思っている家庭はたくさんあると思いますが、送迎が困難であると同時に空きも少ないです。送迎してくれる施設がもっとふえてくれると通わせやすいし利用しやすいです。(0～5 歳)
- 児童発達支援や放課後デイサービスの送迎サービスを充実させてほしい。移動支援を放課後デイへの送迎に利用できるようにしてほしい。(6～9 歳)
- 全ての事業所で送迎サービスを完備する。(10～14 歳)

放課後等デイサービスについて 19 件

- 現在、放課後デイを利用させて頂いておりますが、利用料金の上限がぎりぎり 37,200 円に該当してしまい家計を圧迫しています。むすこにとって必要なサービスなので継続しますが、子どもに関するサービスの所得制限額の見直しや撤廃をしてほしいです。所得が多くても、家族に療養中の人がいたり、介護で帰省しないといけなかったり、個別に事情は様々です。全ての人が安心して子育てをできるように、子供に関するサービスの所得制限はなくすべきと思っています。(6～9 歳)
- 気軽にスポット的に利用できる放課後等デイサービスがあれば助かる。夏休み等の長期休暇中、預かってもらえる施設があると、就労等を検討できる。(6～9 歳)
- 現在利用している放課後等デイサービスは、長期休みは 9 時台前半から利用でき、仕事に行くことはできているが、遅刻して出勤する形となっている。夏休み、春休みは特に長いため、悩ましかった。8 時台から利用ができる場所が増えるとありがたいが、施設の側の負担を考えると難しいようにも感じる。(10～14 歳)
- 現在中学生で放課後等デイサービスを利用していますが、長期休暇中は利用時間が短く、午前中在宅勤務をして凌いでいます。学童クラブの様に早い時間から利用できると大変ありがたいです。または近所に安心して通える居場所が欲しいです。児童館は自己管理が基本で一人一人の状況はみてもらえないと思うので、午前中児童館で一人で過ごすことは現実的ではないです。(15～18 歳)

療育施設・通所施設について 10 件

- 保育園と同じくらい、長時間子供をあずかってもらえる療育園があると嬉しいです。働きながら、療育施設に週に複数回通所させるのはかなり厳しいと思います。(0～5 歳)
- 通所施設の利用年齢の拡大。幼稚園までしか利用できず、小学校入学と同時に諸施設も変更になると環境の変化についていけない。幼稚園～小学校低学年までという区切りにしてほしい。(6～9 歳)
- 保育園や幼稚園に療育施設をもっと作ってほしい。(無回答)

卒業後の居場所について 10 件

- 学童に非常に通いづらくなる 4 年生以降の放課後の居場所に課題を感じている。知能に遅れはないが発達に問題のある子へのフォローの学校での少なさが気になっている。(6～9 歳)
- 子どもの受入れ先の拡充。特に小学校卒業後の居場所がなく困っている。(10～14 歳)
- 高校卒業以降も利用できる放デイのような場所がほしい。(15～18 歳)
- 私のように障害者の親が 1 番不安に思っているのは、本人の就労等、高校卒業後、子がどのように社会と関わり、生活をしていくかということだと思うのですが、我が子があと 1 年で成年(18 才)となるにあたり、その後のビジョンが何も提示されていないことが 1 番の心配ごとです。個人的に問い合わせや相談はするつもりですが、どのような選択肢があり、どうするのが最善なのかを選びとれるようなモデルケースの紹介などがあると良いと思っています。(無回答)

学童やファミリーサポートセンターなどの預かり施設について 7 件

- 発達の遅れがある子に対する学童クラブの様な所があると助かります。保育園から支援学校に行き放課後等デイサービスに預ける流れは出来ませんが夏休みなどの長期休みは 10 時からしか預けられないので…。(0～5 歳)
- 療育中、未就学児のあずかりはあるが、小学生のあずかりがない。低学年くらいまでは過せる場所があると、ありがたい。送迎サービスがあるとうれしい。(0～5 歳)
- 障害児に理解ある人ファミサポのように低賃金で柔軟なサポートをしてくれる団体があればいいと思います。職場から帰宅するまでの間の 2 時間程度を自宅で見守りをしたり、一緒にゲームをして趣味を楽しんだりしてほしいです。(15～18 歳)

相談支援について 6 件

- 小学生にあがる前に、どのような選択肢があるのか等、早めにその子の特性に合わせた相談や面談ができるといいなと思います。(0～5 歳)
- 子どもについて長い眼で相談できる支援がほしい。(15～18 歳)
- 就学前の相談・児童の適応支援に関する情報、サービスを充実して欲しい。発達支援が必要な子が通いやすい保育園、幼稚園、小学校等の情報や相談先についてもっと知りたい。(無回答)

申請等の手続きについて 4 件

- 現在児発を利用しているが受給者証をもらうためのプロセスがあまりにも長く複雑であった。面談も数回あり日程を合わせるのも大変だったのでもっとわかりやすくもう少し簡単なプロセスにしてほしい。(0～5 歳)
- 紙での申請に不便さを感じる部分が多いので、オンライン手続きを更に拡充していただけると助かります。(0～5 歳)

医療的ケア児の受け入れについて 3 件

- 医療的ケア児の受け入れ施設の増設または増員。ケア内容によっては受け入れができない場合がありますとのことですが、可能な限り受け入れを行って欲しい。医療的ケア児の受け入れ保育施設の増員はとても感謝しますが、施設設備の問題で対応できないという理由があると、とても残念です。(区立保育園は幼児室が 2 F の為、呼吸器が付いていると対応できないという状況があると聞きました。)(0～5 歳)

児童発達支援について 2件

- 児童発達支援で月2回施設へ通所していますが、共働きのため、夫婦で月1回ずつ会社を休み平日利用しており、毎回仕事の調整が大変です。土曜日の枠は希望者が多く取りにくいということですが、土日の枠も拡大してもらえると助かります。（または、施設の増加など）（0～5歳）

移動支援について 2件

- 現在、放課後等デイサービスの送迎に移動支援は使えないが、他の区のように使えるようにしていただきたい。（10～14歳）

その他 44件

- 発達のレベルごとのクラス（施設）があれば助かります。同じ障害をもつ親同士、先生の専門的なお話が聞きたいです。また、区に限らず都でもそのような会があれば、情報共有をしてもらいたいです。（0～5歳）
- 児童発達支援の利用日数を増やしたいが、仕事を休むことになるため増やせずにいます。送迎サービスはありがたいですが、事故などの不安があり、保育所等訪問支援が拡充して利用しやすくなれば、一番利用してみたいです。（0～5歳）
- 誰でも気軽に日々の育児ストレスから解放されるためのショートステイ（特に夏休み中など）の利用ができるようにして欲しい。後は長期的な例えばホームステイ的なサービスを公費で受けれたら良いと思います。（6～9歳）
- 中野区は小学校併設のキッズ、学童があるのが良い。将来的な要望として、その建物に発達支援の民間事業者がいくつか入れれば、事業者の家賃負担、送迎問題などの問題の解決と財政的にも軽減できるのでは。（6～9歳）
- 発達障害があり学校の雰囲気になじめず、現在不登校中です。毎日のお昼ごはん代、フリースクール代など費用がかかり、経済的に厳しい状況です。平日学校以外の場所で子供が安心してお昼ごはんを食べられる場所（無料、または安価で）があると大変助かります。（10～14歳）
- 読み書き障害（ディスレクシア）専門の支援機関ができるとうれしいです。（10～14歳）
- 片親で、ずっと働いているとデイサービスのホームページを調べたり、面接などに行く時間が取れません。もう少し分かりやすく簡単に、デイサービスに繋げてくれるサービスが欲しかったです。（10～14歳）
- 親が仕事から帰るまでの3～4時間、兄弟児がヤングケアラーにならざるを得ない現状にとっても困っています。障がい児本人の安全の為、ひとりで留守番させたくありません。学校周辺、自宅周辺、デイサービスなどで安全に過ごせないかと毎日頭を悩ませています。都や区の経済を支えているはたらく世代が苦しんでいる待ったなしの課題と思って早急に支援、サービス拡充の実現をよろしくお願いします。（15～18歳）
- 障がいのある子を持って働くことは並大抵ではありません。しかし少しでも周りの理解と物理的なサポートがあれば、親子とも楽しく生活していくことが可能です。当事者の話を聞いていただき行政のサービスに生かしていただけると有り難く思います。（15～18歳）
- 自立をサポートするサービス。（15～18歳）

5.2. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 18. その他、日常生活の中で必要なサービスがありましたら、ご自由にお書きください。

その他日常生活の中で必要なサービスについて、要望や意見を自由に記入していただいたところ、100 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

子どもの預かりについて 19 件

- 子どもをあずかってもらえるサービス。色々ありますが、登録に時間を要したり、割高である。特に、1 人親に対するサービスとして充実すると思う。1 人で子どもをみている時間が長くて、イライラしてしまったり、気持ちの余裕がなくなる前に、気軽に利用できる所があると思う。(0～5 歳)
- 土曜日日曜日、保育園生、小学生の預かり場所、保育園生と小学生の兄弟と一緒に親無しで預けられる場所(0～5 歳)
- 現在、ゆめなりあの放デイを利用しているが(週 2 回)、この先学年が進むと減らされてしまう可能性がある。新たな民間施設を探す必要があり、親も子も負担が大きくなることが予想される。このまま利用日数を減らさず、利用し続ける様にしてほしい。現状の生活リズムが続けられることが、子の負担も小さい。(6～9 歳)
- 葬儀や親の入院など、いざという時に預けられるショートステイの充実を希望いたします。(10～14 歳)
- 余暇活動、ショートステイ、短期・宿泊等の利用がよりスムーズに、場所も増やしていただきたい。現状中野区内で新規受入れを可能としている施設はほとんどありません。契約にすら至りません。福祉サービスの拡充をぜひよろしくお願いいたします。(15～18 歳)

送迎や移動等サポートについて 9 件

- 共働きでも通所利用できるよう送迎、付き添いサポートの充実。(0～5 歳)
- 放デイまでの送迎サービス、支援がほしい。(現在利用している所は送迎なしの為)(6～9 歳)
- 移動支援を利用しやすくしてほしい(15～18 歳)

情報の取得について 8 件

- 親同士の情報交換できる機会があればと思いました。(ピアサポート?でしょうか?) 娘がアポロ園に通っていた際も親同士のつながりの機会がもてず、不安な点があり、先生に色々と伺っていたことが多かったです。(0～5 歳)
- サービスの利用や福祉に関する情報が少ないので知らなくて損をしたことがたくさんあります。また聞いても正しい返答が返ってこなかったりまちがえた情報を伝えられたこともあるため、不信感が拭えない状況が続いています。当事者意識が感じられないのも気になります。(0～5 歳)
- サービスを一元的に管理・利用できるようなインターネットサービスの拡充(0～5 歳)

子どもの居場所について 8 件

- 日曜日、祝日に幼児が優先的に遊べる室内の居場所(児童館等)(0～5 歳)
- 土日など学校が休みの時に居場所がほしい。例えば区役所の 1 F で、うたのイベントをやるとか、車イスでも、どんな人でも気軽に行ける場所がほしい。健康な人も、重心児者も、知的の人も集えるようなスペース、たまり場、みたいな空間をつくってほしいです(10～14 歳)

- 長期休暇の際の親が仕事中的子どもの居場所に頭を悩ませています。朝から夕方までの長時間の留守番が難しいので。(10～14歳)
- 高校卒業後の居場所を作ってほしいです。高校生までは、放課後デイサービス的な居場所があるといいなと思っています。(15～18歳)
- 子供がにぎやかでもよい食事どころ、遊び場(室内)がほしい。中野はまだまだ高齢者も多く、食事するところに困ります。フードコート、ファミリーレストランなどがあると助かります。(無回答)

カウンセリングや精神的ケアについて 7件

- きょうだいの心のケア(0～5歳)
- 親のカウンセリング(0～5歳)
- 中野区は区内に児童精神科がありません。発達のことで困ったときにまず、どの病院にいけばいいか皆さん困っていると思います。(行政の範囲外のことでありますが)中野区民の通いやすいところにクリニックが誘致されると助かる方が多いと思います。・最近、どの小学校も発達特性のある外国籍のお子さんがいます。言葉の問題もさることながら、“療育”“発達”というイメージすらない方もいて、区からのお手紙を渡すだけでは全く響かないと実感しています(そもそも読めない)。外国籍の、困り感の多いお子さんには、ソーシャルワーカーなどが積極的に働きかけていくべきだと思います(6～9歳)
- 区内に児童精神科医と心理カウンセラーが一体化したクリニックをつくってほしい。都バスのように障害者手帳で関東バスも無料にしてほしい。中野坂上だけでなく、区内に複数、不登校児向けのフリースクールを開設してほしい。(自習ルームではなく授業が受けられる場所)(10～14歳)

相談支援について 6件

- 支援計画の事業所が当初みつからず、セルフプランを作成したが大変だった。保護者として支援の勉強にはなったが、専門性が高いことでかなり壁を感じた。(0～5歳)
- 保育園でどう過ごすべきか、家庭でどう過ごすべきかのアドバイスと確認をしてほしい。居宅訪問型がそれにあたるのであればお願いしたい。(0～5歳)
- 中野区の教育センターでやっている教育相談に数回お世話になりましたが、相談員の専門性、経験、知識共にとぼしく、解決や支援にならないばかりか、他の行政のサービスにもつなげてもらえず徒労におわりました。子供に関する切羽詰まった状況の中で利用させていただくサービスと思うので、相談の窓口がふえるのはよいことですが、人材もそれに追いつくように教育や採用に力を注いでほしいと感じました。(6～9歳)
- 小学生になり、通級等もしていないので気軽に相談出来る機会がないので、定期的に相談できるところがあるといいなと思います。(6～9歳)

サービス手続きについて 6件

- 色々なサービスや助成がありますが、3歳双子(うち一人は障害児)を育てながら両親ともフルタイムで働いていると、サービスを利用するまでの手続きが大変であったり、そもそも、そのサービスを知るのも大変だったりします。メールやLineなどで、障害児用のサービスや助成などをお知らせしてもらったり、インターネット上で色々とし込みが済むと良いと思います。(0～5歳)
- 訪問看護、レスパイト事業などとても充実させていただいているので感謝しております。申請必要書類など、区役所の中で窓口が違い、申請する際に何度も区役所を行き来しなければならない場合が多々ある為、専属の方が付いていただけると大変嬉しいですよ。(0～5歳)

- どのような支援があるのか分かりづらく相談先によっても情報量、知識が雲泥の差である。また、親の行動力、コミュニケーション能力次第で受けられる情報、サービス量が変わる。そのため誰でもわかりやすくすると共に、申請時の煩雑な申込を簡略化してほしい（0～5歳）

特別支援学校・特別支援学級について 5件

- 来年から小学生ですが支援級を検討しています。本人には手厚い支援のある支援級の方が安心して通えると想定していますが、普通級とも交流のあるような情緒学級があると普通級の子供達からいい刺激をもらいながら成長できると思っています。（0～5歳）
- 特別支援学級のより柔軟なクラス分け。程度が子供毎にバラバラ、また症状（声をよく上げる、ある程度落ち着ける）も様々である為、一緒にたに一クラスにしまうと、却って症状の軽い子供の成長やQOLに悪影響を与えてしまう事があると感じますし、実際にその様な事象が発生していると思われます。宜しくお願い致します。（6～9歳）
- 小学校で情緒級というクラスを設置している地域があります。発達に遅れがある子の中に、授業中、動いてしまって目立つ子と、おとなしく座っていられる子とありますが、動いてしまう子ばかりに気を取られ、おとなしく座っていられる子が置いてきぼりになっている状況があります。豊島区、小平市、西東京市では増設されているそうで、やむなくそちらに引っ越す方もいます。中野区でも情緒級(固定級)の設置をしてもらいたいです。（6～9歳）

学習支援について 4件

- 学習支援の場がほしい。通常の塾では受入不可のため。（10～14歳）
- 学校へ行きづらく授業にほとんど参加をしていない中、家でも勉強をしないので、特性を理解した上で勉強をサポートしてくれる、時間にしばられずいける場所があると嬉しいです。放デイは低学年の子が多くざわざわしていて、預かり時間も放課後のみで短いので宿題もできず、プログラムもそこまで参加できず集団も苦手な我が子には合わなかったです。フリーステップルームのもう少し緩い、もしくは個別のものがあると嬉しいです。（10～14歳）
- 学校に行けない子供達が、それぞれの習熟度に合わせて学べる場所が欲しいです。（10～14歳）

学校でのサポートについて 4件

- 来年度から（普通級）小学校に入学します。保育園の小集団から集団に移行するのが不安です。サービスとは関係なく各教室に担任の先生とは別に支援員のような方がいると安心します。（0～5歳）
- 学校との連携を取って欲しい。また交流級を実施してくれず、通常級への転籍が認めづらいことの情報提供やアドバイスが欲しい。（6～9歳）

家事支援について 3件

- 日頃の家事をするのが大変です。（夫が仕事で忙しく、毎日ワンオペ育児のため）子どもが1才になるまで受けられる家事支援サービスをもっと長く受けられたらいいなと思います。（現在、4才と1才の子がいます）（0～5歳）
- 家事代行サービス、特に普段手が回らず滞りがちな家事（換気扇掃除やエアコン掃除や風呂場のかびとりなど）（10～14歳）

助成や補助について 3件

- 脱走防止や転落防止、迷子防止などのグッズや取り付けなどの補助などあれば有難い。(0～5歳)
- 合併症や病気のリスクが通常よりも高く、手帳の等級などに関わらず、助成やサポートしてもらえる制度があると助かる。(0～5歳)

レスパイトについて 2件

- レスパイトの手軽な利用(15～18歳)
- 在宅レスパイトの時間拡充、自己負担無償(15～18歳)

その他 16件

- 区内道路のバリアフリー化(できる限り段差をなくす)。スムーズに歩ける場所もちろんありますが、ベビーカーを使っていると信号や横断歩道などでガタガタすることが多い。(歩道と車道の境でどうしても段差が必要なのであれば仕方がないが…)。(0～5歳)
- 定期的に発達検査してほしい。検査してくれる人がいるのかわからない。区の担当者の園訪問などはないのか。(6～9歳)
- 学校帰宅後～例えば寝るまでの間の日常生活動作の確認や助言を本人とマンツーマンで行ってくれるサービス。(公費希望) 毎日、自分のことを自分でできない子供だと、親としてそのことがストレスになり、気持ちが病んでしまいそうになるため。(6～9歳)
- 親子が体調不良の時にすぐサポート、助けに来てくれるサービスが全くないので増やして欲しいです。体調不良(急病)の時に予約なんてしてられませんし、予約も取れなければ親子共々倒れてしまいます。料金なども民間だものすごく高いので、サポートを受けやすい料金にして頂けると尚有り難いと思います。(6～9歳)
- 保護者側の、子との関わり方(日常生活における会話、遊びかた、スケジュールや注意事項等)を学べる機会があったら有料でも利用したいです。(6～9歳)
- 学校よりWISC検査依頼の際は対応機関を設置していただきたい。各医療機関等を調べたり問い合わせをしなければならず、混雑しているため検査まで数ヶ月、結果に1ヶ月要するため学校対応が遅れてしまう。(10～14歳)
- 発達支援を受けている子だと、はたから見ても分からない子の場合、外出先でさわりだり暴れたりすると、ただの言うことを聞かないうるさい、わがままな子と見られてしまうため、妊婦さんや障害のある方などのようなマークを携帯したい人はつけられるようにしても良いのではないのでしょうか。日本はまだ福祉的な考え方が遅れており、あたたかい目で見守ってくれない人も中にはまだまだいるように感じます。(無回答)

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 障害者調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度(2025年度)

しょうがいふくし いこうちょうさ しょうがいしゃちょうさ
障害福祉サービス意向調査 《障害者調査》

ちょう さ ひょう
調 査 票

ちょうさ きにゅう ねが
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がお答えください。ご本人が答えることが難しい場合は、ご本人が答える支援をお願いします。ご本人が答えられない場合には、ご家族や介護されている方がご本人の意向を尊重してご記入ください。

2. 令和7年8月1日現在の状況でお答えください。

3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。

4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。

5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。

6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

7. 「その他(具体的に)」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。

8. 郵送で回答する場合、本調査票を三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。

9. インターネットで回答する場合、右の二次元コードを

読み取るか、URLを入力して、最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインしてください。

※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

回答用URL : <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanosf1.php>

【回答期限(郵送・インターネット共通)】

令和7年(2025年)10月10日(金曜日)

10. 調査報告書は、令和8年7月から、図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。

11. 調査の内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

なかのくけんこうふくし ぶしょうがいふくし かしょうがいしゃさくすいしんがかり
中野区健康福祉部 障害福祉課 障害者施策推進係

電話 03-3228-8832 FAX 03-3228-5662

E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員のの方に)と記載のあるものは全員のの方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

《あなた(あて名の方ご本人)の状況について、おうかがいします》

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|--|------------|
| 1. あなた(あて名の方ご本人)が自分で回答(聞き取りなどによる代筆を含む) (78.3%) | |
| 2. ご家族 (18.3%) | |
| 3. その他の人 (0.7%) | 無回答 (2.6%) |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問2 あなた(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。
(○は1つ、右づめで数字を記入)

- | | | | | |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|------------|
| ＜性別＞ | 1. 男性 (52.2%) | 2. 女性 (45.3%) | 3. その他 (0.9%) | 無回答 (1.6%) |
| ＜年齢＞ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 歳 |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問3 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、等級または度数をお答えください。複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの等級または度数についてお答えください。

(1)身体障害者手帳(○は1つ)＜回答者数：682＞

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 1. 1級 (21.1%) | 2. 2級 (10.6%) | 3. 3級 (12.2%) | |
| 4. 4級 (13.0%) | 5. 5級 (3.1%) | 6. 6級 (3.5%) | 無回答 (36.5%) |

(2)愛の手帳(○は1つ)＜回答者数：682＞

- | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 1度 (0.7%) | 2. 2度 (3.7%) | 3. 3度 (3.1%) | 4. 4度 (4.5%) | 無回答 (88.0%) |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|

(3)精神障害者保健福祉手帳(○は1つ)＜回答者数：682＞

- | | | | |
|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 1. 1級 (0.9%) | 2. 2級 (10.9%) | 3. 3級 (13.6%) | 無回答 (74.6%) |
|--------------|---------------|---------------|-------------|

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問4 あなた(あて名の方ご本人)は、障害支援区分認定を受けていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 障害支援区分認定は受けていない(70.8%) | | | |
| 2. 区分1(2.2%) | 3. 区分2(3.7%) | 4. 区分3(2.9%) | |
| 5. 区分4(2.8%) | 6. 区分5(0.7%) | 7. 区分6(1.0%) | 無回答(15.8%) |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問5 あなた(あて名の方ご本人)は介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 要支援・要介護認定は受けていない(70.4%) | 2. 要支援1(5.1%) |
| 3. 要支援2(6.3%) | 4. 要介護1(2.5%) |
| 5. 要介護2(4.7%) | 6. 要介護3(2.2%) |
| 7. 要介護4(2.5%) | 8. 要介護5(1.8%) |
| | 無回答(4.5%) |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問6 あなた(あて名の方ご本人)の家族構成をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし(35.2%) | 2. 配偶者と同居(21.1%) |
| 3. 配偶者と子どもと同居(9.1%) | 4. 親と同居(18.0%) |
| 5. 親と子どもと同居(0.6%) | 6. 子どもと同居(6.7%) |
| 7. その他(8.4%) | 無回答(0.9%) |

《あなた(あて名の方ご本人)のお住まいについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問7 あなた(あて名の方ご本人)のお住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 持ち家(マンションも含む)(51.0%) | 2. 公営住宅(都営・区営住宅など)(7.8%) |
| 3. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど)(31.4%) | 4. グループホームなど(2.5%) |
| 5. その他(4.8%) | 無回答(2.5%) |

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問8 あなた(あて名の方ご本人)の住宅で困っていることはありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(28.3%) | 2. いいえ(68.6%) | 無回答(3.1%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問8で「1. はい」とお答えの方^{こた}に) <回答者数: 193>

問8-1 住宅で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 部屋が狭い(33.7%) | 2. バリアフリーになっていない(20.7%) |
| 3. 家が老朽化している(44.6%) | 4. 改修や建て替えができない(15.5%) |
| 5. アパートなどの契約時の保証人がいない(8.8%) | |
| 6. 立ち退きを迫られている(6.2%) | 7. 自分の住みたい場所が見当たらない(9.8%) |
| 8. その他(37.3%) | 無回答(2.5%) |

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問9 あなた(あて名の方ご本人)は、将来はどのようなところで生活したいと思いますか。
(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 今の住宅に引き続き暮らしたい(47.5%) |
| 2. 公営住宅(都営・区営住宅など)に入居したい(11.1%) |
| 3. グループホーム、生活寮に入居したい(4.1%) |
| 4. 施設に入所したい(5.1%) |
| 5. わからない(17.3%) |
| 6. その他(6.0%) |
| 無回答(8.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問10 火事や地震などの災害に関して、障害があるためにあなた(あて名の方ご本人)が不安を感じていることはありますか。(○は1つ)

1. はい(55.0%)

2. いいえ(41.8%)

無回答(3.2%)

(問10で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：375>

問10-1 不安を感じていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 災害の内容や避難指示等の情報を入力または理解できるかどうか(29.3%)
2. 避難所等への移動ができるかどうか(53.1%)
3. 周囲の人や家族等に状況や必要な支援を伝えることができるかどうか(27.7%)
4. 周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか(37.6%)
5. 避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか(45.1%)
6. 避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか(53.3%)
7. 連絡をとりあう相手がいない(9.9%)
8. その他(17.3%)

無回答(0.3%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問11 あなた(あて名の方ご本人)は、町会や自治会などの防災訓練に参加したことはありますか。(○は1つ)

1. はい(10.7%)

2. いいえ(85.3%)

無回答(4.0%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問12 あなた(あて名の方ご本人)が防災訓練に参加する場合、どのような訓練だったら参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている(13.8%)
2. 家族や友人などと一緒に参加しやすい(27.0%)
3. 一人でも参加しやすい(35.2%)
4. 訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある(31.2%)
5. 少人数で訓練を行う(12.2%)
6. なるべく短時間で訓練を行う(33.1%)
7. その他(10.0%)

無回答(12.9%)

(全員の方に) <回答者数：682>

問13 中野区では、災害時に一人では避難が難しい方の情報を掲載した「災害時避難行動要支援者名簿」をもとに、「災害時個別避難計画書※」を作成し、町会や自治会、民生児童委員などに共有しています。

あなた(あて名の方ご本人)は、この仕組みについて知っていましたか。(○は1つ)

※「災害時個別避難計画書」には、氏名、住所、年齢、性別、避難に必要なもの、支援者の有無が記載されています。

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------|
| 1. 知っていた(40.2%) | 2. 知らなかった(57.8%) | 無回答(2.1%) |
|-----------------|------------------|-----------|

《あなた(あて名の方ご本人)の日常生活の介助や支援についておたずねします》

(全員の方に) <回答者数：682>

問14 あなた(あて名の方ご本人)の日常生活で介助を必要とすることはありますか。
(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(46.0%) | 2. いいえ(53.2%) | 無回答(0.7%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問14で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：314>

問14-1 日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 食事(25.2%) | 2. 食事の支度や片付けなどの家事(48.1%) |
| 3. 排せつ(21.7%) | 4. 入浴(40.1%) |
| 5. 着替え(25.8%) | 6. 薬の管理(39.2%) |
| 7. 掃除・片付け(55.1%) | 8. コミュニケーション(32.2%) |
| 9. 外出(58.3%) | 10. 日常の買物(52.2%) |
| 11. お金の管理(38.9%) | |
| 12. その他(10.5%) | 無回答(0.6%) |

問14-2 あなた(あて名の方ご本人)の主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 父(3.2%) | 2. 母(23.2%) |
| 3. 配偶者(17.8%) | 4. 子ども(16.6%) |
| 5. 近所の人、友人・知人(3.5%) | 6. ホームヘルパー(14.0%) |
| 7. ボランティア(0.0%) | 8. その他(20.1%) |
| | 無回答(1.6%) |

(問14で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：314>

問14-3 主な介助者のほかに、あなた(あて名の方ご本人)を日常的に介助できる方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-----------------|---------------------|-------------------|--------------|
| 1. いない(36.0%) | 2. 父(10.5%) | 3. 母(4.1%) | 4. 配偶者(2.2%) |
| 5. 子ども(13.7%) | 6. 近所の人、友人・知人(2.9%) | 7. ホームヘルパー(14.6%) | |
| 8. ボランティア(1.9%) | 9. その他(19.7%) | | 無回答(8.3%) |

(全員の方に) <回答者数：682>

問15 あなた(あて名の方ご本人)の主な介助者が急病・事故などで介助が困難になった場合、どのようにしたいですか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 同居している家族に頼む(22.1%) | |
| 2. 同居していない家族や親戚に頼む(17.3%) | |
| 3. 介助(介護)や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する(26.7%) | |
| 4. 施設の短期入所(ショートステイ)を利用する(10.6%) | |
| 5. その他(17.2%) | 無回答(6.2%) |

(全員の方に) <回答者数：682>

問16 あなた(あて名の方ご本人)は、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|-----------|
| 1. 自宅で過ごしている(61.6%) | |
| 2. 常勤で働いている(16.0%) | |
| 3. アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている(9.1%) | |
| 4. 就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などに通っている(5.0%) | |
| 5. 身体機能や生活能力の向上のための訓練を行う事業所に通っている(5.4%) | |
| 6. 生活介護を行う事業所に通っている(4.7%) | |
| 7. 病院へ通院している(33.3%) | |
| 8. 学校(幼稚園等含む)に通っている(4.3%) | |
| 9. 趣味やスポーツ活動をしている(15.1%) | |
| 10. その他(9.2%) | 無回答(2.1%) |

あなた(あて名の方ご本人)の外出状況についておたずねします

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた})<回答者数：682>

問17 あなた(あて名の方ご本人)は、一週間に、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. ほとんど毎日 ^{まいにち} (35.9%) | 2. 3～5日程度 ^{にちていど} (30.4%) | 3. 1～2日程度 ^{にちていど} (17.3%) |
| 4. ほとんど外出 ^{がいしゅつ} しない(10.4%) | 5. まったく外出 ^{がいしゅつ} しない(2.9%) | 無回答(3.1%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた})<回答者数：682>

問18 あなた(あて名の方ご本人)の外出の主な目的は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 通勤 ^{つうきん} や通学 ^{つうがく} (26.8%) | 2. 福祉施設 ^{ふくししせつ} や作業所 ^{さぎょうしょ} などへの通所 ^{つうしょ} (14.2%) |
| 3. 買物 ^{かいもの} (58.7%) | 4. 通院 ^{つういん} (56.2%) |
| 5. 趣味 ^{しゅみ} (22.3%) | 6. スポーツ(8.1%) |
| 7. ボランティアや地域 ^{ちいきぎょうじ} 行事 ^{さんか} への参加(3.2%) | 8. 友人 ^{ゆうじん} と会うため(16.6%) |
| 9. 散歩 ^{さんぽ} (32.1%) | 10. 特にない ^{とく} (1.2%) |
| 11. その他 ^た (8.1%) | 無回答(3.5%) |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問19 あなた(あて名の方ご本人)が外出する上で妨げになっていることはありますか。
(○は1つ)

1. はい(37.8%)

2. いいえ(57.6%)

無回答(4.5%)

(問19で「1. はい」とお答えの方に)＜回答者数：258＞

問19-1 外出する上で妨げになっていることは具体的にどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 道路や駅などの利用が不便(39.1%)

2. 電車やバスを使っの移動が不便(48.1%)

3. 利用する建物の設備が整備されていない(13.2%)

4. 点字ブロックが破損等により利用が不便(1.2%)

5. 介助者がいない(20.5%)

6. 情報が不在(7.8%)

7. 問い合わせ先の連絡方法が整備されていないため、問い合わせができない(5.4%)

8. まわりの人の障害者に対する理解不足(19.0%)

9. 障害を理由に施設などの利用を拒否される(3.5%)

10. 適切な指導者が不在(2.7%)

11. 一緒に行く仲間が不在(17.8%)

12. 障害者参加を想定していないため文字表示や点字など配慮がされていない(4.3%)

13. その他(24.8%)

無回答(2.3%)

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問20 あなた(あて名の方ご本人)が、外出に利用する主な交通手段は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 電車、地下鉄(61.3%)

2. 路線バス(48.4%)

3. 徒歩または車いす(46.9%)

4. 自転車(17.7%)

5. タクシー(30.1%)

6. リフト付きタクシー(4.1%)

7. 自家用車(家族などが運転)(11.6%)

8. 自家用車(自分で運転)(4.8%)

9. ボランティアによる移送サービス(0.9%)

10. 電動三輪車(電動車いす)(1.3%)

11. 障害者福祉会館や特別支援学校などの送迎バス(4.5%)

12. その他(6.0%)

無回答(5.3%)

《働くことについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：682>

問21 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、給^{きゅう}料^{りょう}など就^{しゅう}労^{ろう}による定期的な^{ていきてき}収^{しゅう}入^{にゅう}はありますか。
(○は1つ)

1. はい(34.8%)

2. いいえ(61.3%)

→ 問22 へ(次の^{つぎ}ページ)

無回答(4.0%)

(問21 で「1. はい」とお答え^{こた}の方^{かた}に) <回答者数：237>

問21-1 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})の現在の^{げんざい}就^{しゅう}労^{ろう}形態^{けいだい}をお答え^{こた}ください。(○は1つ)

1. 常^{じょう}勤^{きん}の会社^{かいしゃ}員^{いん}、公務^{こうむ}員^{いん}、団体^{だんたい}職^{しよく}員^{いん} (46.4%)

2. 自^じ営^{えい}業^{ぎょう}、家^か族^{そく}従^{じゅう}業^{ぎょう}員^{いん} (8.9%)

3. アルバイト、パート、非^ひ常^{じょう}勤^{きん}職^{しよく}員^{いん} (21.5%)

4. 有^{ゆう}償^{しょう}ボランテ^あィア^あ (0.0%)

5. 内^{ない}職^{しよく} (0.0%)

6. 作^{さく}業^{ぎょう}所^{しょ}に通^{つう}所^{しょ} (12.7%)

7. その他^た (8.4%)

無回答(2.1%)

問21-2 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、現在の^{げんざい}仕^し事^{ごと}をどのような^{ほうほう}方法^みで見^みつけましたか。
(○は1つ)

1. ハローワークの^{しょうかい}紹^{しょう}介^{かい} (10.1%)

2. 学^{がっこう}校^{しょうかい}の紹^{しょう}介^{かい} (7.6%)

3. 役^{やく}所^{しょ}の紹^{しょうかい}介^{かい} (2.5%)

4. 友^{ゆう}人^{じん}や知^ち人^{じん}の紹^{しょうかい}介^{かい} (8.0%)

5. 障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}就^{しゅう}労^{ろう}支^し援^{えん}機^き関^{かん}の利^り用^{りよう} (13.9%)

6. 直^{ちよく}接^{せつ}自^じ分^{ぶん}で探^{さが}した (24.1%)

7. 新^{しん}聞^{ぶん}や求^{きゅう}人^{じん}情^{じょう}報^{ほう}誌^しで探^{さが}した (7.2%)

8. その他^た (22.8%)

無回答(3.8%)

問21-3 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、現在の^{げんざい}仕^し事^{ごと}に關^{かん}して不^ふ安^{あん}や不^ふ満^{まん}はありますか。(○は1つ)

1. はい(38.8%)

2. いいえ(60.3%)

無回答(0.8%)

↓
問21-3-1 へ(次の^{つぎ}ページ)

(問21-3で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：92>

問21-3-1 あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 収入が少ない(57.6%) | 2. 作業内容が難しい(10.9%) |
| 3. 休みが取りにくい(7.6%) | 4. 就業時間が長い(13.0%) |
| 5. 作業ペースが人と合わない(9.8%) | 6. 職場の人間関係がうまくいかない(23.9%) |
| 7. 体力的に負担が大きい(26.1%) | 8. 雇用形態が不安定(21.7%) |
| 9. 障害者用の設備が整っていない(12.0%) | 10. 昇給や昇進が不平等である(20.7%) |
| 11. 通勤時間が長い(9.8%) | 12. 特にない(1.1%) |
| 13. その他(14.1%) | 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数：682>

問22 あなた(あて名の方ご本人)は、今後、どのように働きたいと思いますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 一般企業などで常勤の社員として働きたい(13.8%) |
| 2. 一般企業などでパート・アルバイトとして働きたい(5.9%) |
| 3. 障害者が多く働いている職場で働きたい(2.9%) |
| 4. 指導員やジョブコーチなどがいて支援をしてくれる職場で働きたい(2.8%) |
| 5. 作業所や就労支援事業所などで働きたい(4.4%) |
| 6. 働きたいが、働く場所については特に希望はない(3.7%) |
| 7. 働きたくない(22.6%) |
| 8. わからない(14.8%) |
| 9. その他(17.2%) |
| 無回答(12.0%) |

(^{ぜんいん}全員の方^{かた}に) <回答者数：682>

問23 あなた(^なあて名の方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、^{しょうがいしゃ}障害者が^{はたら}働くためには、どのような^{かんきょう}環境が^{ととの}整っていることが大切だ^{たいせつ}だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{いどうしゅだん}移動手段が^{かくほ}確保されていること(36.7%)
2. ^{けんこうじょうたい}健康状態に^あ合わせた^{はたら}働き方が^{かた}できること(54.8%)
3. ^{じぎょうぬし}事業主や^{しょくば}職場の人が^{しょうがいしゃ}障害者について^{じゅうぶんり}十分理解していること(49.4%)
4. ^{じりつ}自立した生活ができる^{せいかつ}給料^{きゅうりょう}であること(36.4%)
5. ^{しょくば}職場の^{しせつ}施設や^{せつび}設備が^{しょうがい}障害のある人にも^{ひと}利用できる^{りょう}よう^{はいりょ}配慮されていること(30.6%)
6. ^{しょくば}職場に^{てきせつ}適切な^{じょげん}助言や^{しどう}指導、^{はいりょ}配慮をしてくれる人^{ひと}がいること(38.9%)
7. ^{じぶん}自分の^{しょうがい}障害に^あ合った^{しごと}仕事があること(51.2%)
8. ^{しゅうろう}就労の^ば場を^{そうだん}あっせんしたり、^ば相談できる^{ととの}場が整っていること(24.5%)
9. ^{しゅうろう}就労のための^{きかい}ジョブトレーニングの^{きかい}機会があること(19.4%)
10. ^{とく}特^{とく}にない(12.8%)
11. ^たその他(5.3%)

無回答(8.8%)

《健康福祉サービスについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた})<回答者数：682>

問24 あなた(あて^な名の方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、過去^{かこ}1年^{ねん}の間に、相談^{あいだ}サービス^{そうだん}を利用^{りよう}したことがありますか。
(○は1つ)

1. はい(23.8%) 2. いいえ(73.6%) 無回答(2.6%)

(問24で「1. はい」とお答え^{こた}の方に)^{かた}<回答者数：162>

問24-1. 利用^{りよう}した相談^{そうだん}サービスをお答え^{こた}ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所^{くやくしょ}での相談^{そうだん}(43.2%)
2. すこやか福祉^{ふくし}センターでの相談^{そうだん}(48.1%)
3. 障害^{しょうがい}者^{しゃ}地域^{いち}自立^じ生活^{くわ}支援^{しえん}センター「つむぎ」での相談^{そうだん}(ピアカウンセリング^{ふく}含む)(4.3%)
4. 地域^{ちいき}生活^{せいかつ}支援^{しえん}センター「せせらぎ」での相談^{そうだん}(6.8%)
5. 民生^{みんせい}委員^{いいん}・児童^{じどう}委員^{いいん}との相談^{そうだん}(3.1%)
6. 中野^{なかの}区^く障害^{しょうがい}者^{しゃ}福祉^{ふくし}事業^{じぎょう}団(ニコニコ事業^{じぎょうだん}団)での就^{しゅう}業^{ぎょう}相談^{そうだん}(9.9%)
7. その他^た(16.7%) 無回答(2.5%)

問24-2 利用^{りよう}した相談^{そうだん}サービスについて満足^{まんぞく}していますか。(○は1つ)

1. とても満足^{まんぞく}している(29.0%) 2. おおむね満足^{まんぞく}している(50.6%)
3. やや不満^{ふまん}である(13.0%) 4. 大変^{たいへん}不満^{ふまん}である(6.2%) → 問24-2-2へ(次の^{つぎ}ページ)
- 無回答(1.2%)

(問24-2で「1. とても満足^{まんぞく}している」または「2. おおむね満足^{まんぞく}している」とお答え^{こた}の方に)^{かた}

<回答者数：129>

問24-2-1 理由^{りゆう}としてあてはまるものを、次^{つぎ}の中^{なか}から選^{えら}んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 職員^{しょくいん}の接^{せつ}し方がよい、親切^{しんせつ}である(88.4%)
2. 雰囲気^{ふんいき}や場所^{ばしょ}、開館^{かいかん}時間^{じかん}など、施設^{しせつ}が利用^{りよう}しやすい(19.4%)
3. 施設^{しせつ}がきれい(17.8%) 4. サービスの^{ないよう}内容^{じゅうじつ}が充^{くわ}実^{じつ}している(10.1%)
5. 自分^{じぶん}の悩^{なや}みや困^{こま}っていることが解^{かい}決^{けつ}した(30.2%) 6. 利用^{りよう}の手続^{てつづ}きが分^わかりやすい(17.8%)
7. その他^た(7.0%) 無回答(1.6%)

(問24-2で「3. やや不満である」または「4. 大変不満である」とお答えの方に) <回答者数: 31>

問24-2-2 理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の説明が分かりにくい、不親切である(19.4%)
 2. 雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい(22.6%)
 3. 施設がきれいではない(6.5%)
 4. サービスの内容が少ない(22.6%)
 5. 自分の悩みや困っていることが解決しない(58.1%)
 6. 利用の手続きが分かりにくい(22.6%)
 7. その他(38.7%)
 無回答(0.0%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)＜回答者数：682＞

問25 あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを利用していますか。また今後利用したいと
考えますか。(①から⑱のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」
の両方を回答(番号に○)してください)

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で食事や入浴、排せつなどの介助 を行うサービス	7.8%	77.9%	14.4%	25.7%	54.7%	19.6%
②重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な 方に、自宅で食事や入浴、排せつなど の介助や外出時の移動の補助を行う サービス	0.7%	81.8%	17.4%	15.1%	63.9%	21.0%
③同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な 方に、外出に必要な情報の提供や 移動の援護などを行うサービス	1.6%	80.9%	17.4%	11.0%	67.0%	22.0%
④行動援護 知的障害や精神障害により行動が 困難で常に介護が必要な方に、行動す るときに必要な介助や外出時の移動の 補助などを行うサービス	2.5%	80.8%	16.7%	15.7%	63.3%	21.0%

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
⑤生活介護 つね かいご ひつよう かた しせつ にゅうよく 常に介護が必要な方に、施設で入浴や はい しよくじ かいご そうさくてきかつどう 排せつ、食事の介護や創作的活動など きかい ていきよう の機会を提供するサービス	6.5%	79.0%	14.5%	22.0%	57.8%	20.2%
⑥自立訓練(機能訓練) じりつくねん きのうくねん じりつ にちじようせいかつ しゃかいせいかつ 自立した日常生活や社会生活ができる いってい きかん しんたいきのう よう、一定の期間における身体機能のた ひつよう くねん おこな めに必要な訓練を行うサービス	7.6%	77.1%	15.2%	24.8%	56.2%	19.1%
⑦自立訓練(生活訓練) じりつくねん せいかつくねん じりつ にちじようせいかつ しゃかいせいかつ 自立した日常生活や社会生活ができる いってい きかん せいかつのうりよく よう、一定の期間における生活能力 こうじよう ひつよう くねん おこな 向上のために必要な訓練を行うサー ビス	4.3%	80.2%	15.5%	22.9%	57.2%	19.9%
⑧就労選択支援 しゅうろうせんたくしえん しょうがいしゃ しゅうろうさき はたら かた 障害者が就労先・働き方についてよ せんたく きぼう てきせい あい い選択ができるよう、希望や適正に合っ せんたく しえん た選択を支援するサービス	1.3%	82.4%	16.3%	20.8%	58.4%	20.8%
⑨就労移行支援 しゅうろういこうしえん つうじよう じぎょうしょ はたら かた いってい 通常の事業所で働きたい方に、一定 きかん しゅうろう ひつよう ちしきおよ のうりよく の期間、就労に必要な知識及び能力 こうじよう ひつよう くねん おこな の向上のための訓練を行うサービス	1.5%	82.0%	16.6%	16.4%	62.2%	21.4%
⑩就労継続支援(A型、B型) しゅうろうけいぞくしえん がた がた つうじよう じぎょうしょ はたら こんなん かた 通常の事業所で働くことが困難な方 しゅうろう きかい ていきよう せいさんかつどう に、就労の機会の提供や生産活動そ た かつどう きかい ていきよう ちしき の他の活動の機会の提供、知識や のうりよく こうじよう くねん おこな 能力の向上のための訓練を行うサー ビス	3.5%	80.1%	16.4%	15.7%	62.5%	21.8%
⑪就労定着支援 しゅうろうていちゃくしえん しゅうろう ともな せいかつ かだい たいおう 就労に伴う生活の課題に対応できる じぎょうしょ ほうもん しえん おこな ように、事業所などを訪問し支援を行う サービス	2.1%	81.2%	16.7%	14.8%	64.1%	21.1%

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
⑫療養介護 いりよう ひつよう かた つね かいご ひつよう 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービス	3.4%	79.9%	16.7%	17.4%	58.9%	23.6%
⑬短期入所(ショートステイ) ざいたく しょうがいしゃ じ かいご 在宅の障害者(児)を介護する方が病気の場合などに、障害者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービス	2.9%	80.1%	17.0%	21.3%	56.6%	22.1%
⑭自立生活援助 しょうがいしゃしえんしせつ 障害者支援施設やグループホームから一人暮らしに移行した方を訪問し、生活について助言を行うサービス	1.0%	81.4%	17.6%	14.7%	61.9%	23.5%
⑮共同生活援助(グループホーム) やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきよ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービス	2.9%	79.5%	17.6%	16.3%	59.4%	24.3%
⑯施設入所支援 しせつにゆうしよしえん 主として夜間、施設に入所する障害者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービス	2.1%	80.4%	17.6%	15.8%	60.3%	23.9%
⑰相談支援 ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービス	10.4%	72.3%	17.3%	40.6%	37.2%	22.1%
⑱移動支援 いどうしえん 屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための支援を行うサービス	7.6%	75.2%	17.2%	27.0%	48.5%	24.5%

「現在利用しているか」について

①～⑱うち1つでも「1. はい」とお答えの方
問25-1へ(次のページ)

「現在利用しているか」について

①～⑱うちすべてに「2. いいえ」とお答えの方
問25-2へ(次のページ)

(問25の「現在、利用していますか」の設問で、1つ以上「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：209>

問25-1 あなた(あて名の方ご本人)がサービス等利用計画について、不満に思うことを次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望するサービスが利用できない(9.6%)
 2. 希望しないサービスが、サービス等利用計画に含まれている(1.9%)
 3. 希望する事業者が利用できない(3.8%)
 4. サービスの利用回数や時間が少ない(15.3%)
 5. サービスの利用料金が安い(7.7%)
 6. 相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよく分からない(6.2%)
 7. 不満な点はない(39.2%)
 8. その他(8.1%)
- 無回答(23.0%)

(問25の「現在、利用していますか」の設問で、全てに「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：362>

問25-2 障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 自力で生活できるから(65.2%) | 2. 家族が介助しているから(25.4%) |
| 3. 他人が家に入ってほしくないから(11.6%) | 4. 利用したいサービスがないから(9.7%) |
| 5. 事業者に対して信頼が持てないから(3.6%) | 6. 事業者に断られたから(0.6%) |
| 7. 施設が遠いから(2.2%) | 8. 利用料が支払えないから(8.0%) |
| 9. 利用方法が分からないから(12.2%) | 10. サービスを知らなかったから(19.1%) |
| 11. 病院・診療所に入院しているから(1.1%) | 12. その他(5.8%) |
- 無回答(6.6%)

(全員の方に) <回答者数：682>

問26 あなた(あて名の方ご本人)は、障害福祉に関する情報をどこで知りますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. なかの区報(42.2%)
 2. 中野区ホームページ(20.7%)
 3. インターネット(中野区ホームページ以外)(13.8%)
 4. 中野区公式X(旧Twitter)、中野区公式LINE(1.6%)
 5. 区役所・すこやか福祉センターの窓口(24.8%)
 6. 中野区障害福祉課が発行している「障害福祉のしおり」(12.6%)
 7. 家族、友人、知人(18.5%)
 8. スマートフォンやタブレットなどのアプリ(6.7%)
 9. その他(14.5%)
- 無回答(9.4%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：682>

問27 あなた(^なあて^{かた}名^{ほんにん}の方^ご本人)は、^{しょうがいしゃ}障害者^{たい}に対する^{りかい}理解^{ていど}はどの程度^{すす}進んでいる^{おも}と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. ^{じゅうぶん} 十分に ^{すす} 進んでいる(5.3%) | 2. ある程度 ^{すす} 進んでいる(28.9%) |
| 3. どちらともいえない(18.5%) | 4. あまり ^{すす} 進んでいない(20.2%) |
| 5. ^{まった} 全く ^{すす} 進んでいない(4.4%) | 6. わからない(17.2%) |
| 7. その他 ^た (0.4%) | 無回答(5.1%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：682>

問28 あなた(^なあて^{かた}名^{ほんにん}の方^ご本人)はヘルプマークを知っていますか。(○は1つ)

- ヘルプマークの^{いみ}意味^{ふく}を含めて知っている(60.6%)
- ヘルプマークがあることは知っているが、^{いみ}意味^しは知らない(19.8%)
- ^し知らない(14.7%)

無回答(5.0%)



(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：682>

問29 あなた(^なあて^{かた}名^{ほんにん}の方^ご本人)は次の^{つぎ}施策^{しさく}のうち、^{とく}特に^{じゅうじつ}充実^{おも}してほしいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- ^{しょうがいふくし}障害福祉サービスの利用などの^{しょうがいしゃ}障害者の^{ふくし}福祉^{かん}に関する^{さまざま}様々な^{そうだんしえん}相談支援(44.1%)
- ^{とうじしゃどうし}ピアサポート(当事者同士の相談活動)(8.9%)
- ^{しょうがいとうじしゃ}障害当事者の^{ぶん}文化活動^{しゃかいこうけんかつどう}、社会貢献活動など(9.8%)
- ^よ余暇活動^{しえん}の支援(17.0%)
- ^{かつどう}活動^ばの場^{いこ}、憩いの場^ばの^{せいび}整備(15.8%)
- ^{いっばんきぎょう}一般企業などへの^{しゅうろうしえん}就労支援(19.2%)
- ^{りよう}利用できるサービスについての^{こうほう}広報・^{しゅうち}周知^{じょうほうていきょう}(情報提供)(38.6%)
- ^{びょうき}病気や^{しょうがい}障害^{たい}に対する^{りかい}理解^{そくしん}の促進(32.6%)
- ^きスマートフォンや^きパソコンなどの^{りよう}デジタル機器^{かん}の利用^{そうだん}に関する相談(14.8%)
- ^{とく}特^たにない(13.9%)
- その他(7.5%)

無回答(7.3%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問30 障害のある人への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別
 解消法」が施行されましたが、あなた(あて名の方ご本人)はこのことを知っていますか。
 (○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|----------------|
| 1. 名前は知っている(16.9%) | 2. 内容も知っている(7.3%) | 3. 知らない(70.2%) |
| 無回答(5.6%) | | |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問31 あなた(あて名の方ご本人)は過去3年の間に、日常生活の中で、障害を理由に、差別的な
 対応を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた(1.5%) |
| 2. 飲食店やホテルなどで利用を断られた(1.3%) |
| 3. 鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された(1.9%) |
| 4. アパートの契約を断られた(2.8%) |
| 5. スポーツクラブや習い事などで入会を断られた(1.0%) |
| 6. 催しへの出席を断られた(0.9%) |
| 7. 仕事の求人への応募を拒否された(2.8%) |
| 8. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い(4.5%) |
| 9. 希望した学校に入学できなかった(0.7%) |
| 10. 職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた(4.8%) |
| 11. その他(具体的に:) |
| 12. 特にない(4.4%) |
| 無回答(71.7%) |

(全員のの方に)

問32 あなた(あて名の方ご本人)が日常生活の中で、周りの方から受けた障害への配慮で、
 特に嬉しいと感じたことがありましたら、ご自由にお書きください。

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問33 ^{とい}日常生活で^{にちじょうせいかつ}困^{こま}っていることがありましたら、ご^{じゆう}自由^かにお書きください。

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問34 ^{とい}健康福祉行政^{けんこうふくしぎょうせい}に関することや今回の調査^{こんかい ちょうさ}について、ご^{ようぼう}要望^{いけん}やご意見などありましたら、ご^{じゆう}自由^かにお書きください。

^{きょうりよく}
ご協力ありがとうございました

2. 施設入所者調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和4年度(2022年度)

しょうがいふ く し い こう ちょう さ
障害福祉サービス意向調査

し せ つ に ゆ う し ょ し ゃ ち ょ う さ
《施設入所者調査》

ち ょ う さ ひ ょ う
調 査 票

ち ょ う さ き に ゆ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がお答えください。ご本人が答えることが難しい場合は、ご本人が答える支援をお願いします。ご本人が答えられない場合には、ご家族や介護されている方がご本人の意向を尊重してご記入ください。
2. 令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆をお願いします。
5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
7. 「その他(具体的に)」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入ください。
8. ご記入いただきました調査票は、

れ い わ ね ん が つ に ち か よ う び
令和4年10月11日(火曜日)までに

み お う え どう ふ う へ ん し ん よ う ふ う と う き っ て ふ よ う い ゆ う そ う
三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。

9. 調査報告書は、令和5年7月から、図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
10. 調査の内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

な か の く け ん こ う ふ く し ば し ょ う が い ふ く し か し ょ う が い し ゃ し さ く す い し ん が か り
中野区健康福祉部障害福祉課障害者施策推進係

で ん わ
電話 03-3228-8832 FAX 03-3228-5660

E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

— Ⅲ 調査票と単純集計 —

質問の上に(全員の方に)と記載のあるものは全員の方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|--|------------|
| 1. あなた(あて名の方ご本人)が自分で回答(聞き取りなどによる代筆を含む) (45.5%) | |
| 2. ご家族 (1.5%) | |
| 3. その他の人 (53.0%) | 無回答 (0.0%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問2 あなた(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を記入)

- | | | | | |
|------|--|---------------|---------------|------------|
| ＜性別＞ | 1. 男性 (56.7%) | 2. 女性 (42.5%) | 3. その他 (0.0%) | 無回答 (0.7%) |
| ＜年齢＞ | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin-left: 5px;">歳</div> </div> | | | |

(全員の方に)

問3 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)の等級をお答えください。両方の手帳をお持ちの方は、それぞれについてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ)＜回答者数：48＞

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|------------|
| 1. 1級 (50.0%) | 2. 2級 (35.4%) | 3. 3級 (2.1%) | |
| 4. 4級 (8.3%) | 5. 5級 (2.1%) | 6. 6級 (2.1%) | 無回答 (0.0%) |

(2) 愛の手帳(○は1つ)＜回答者数：112＞

- | | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 1. 1度 (0.0%) | 2. 2度 (64.3%) | 3. 3度 (22.3%) | 4. 4度 (13.4%) | 無回答 (0.0%) |
|--------------|---------------|---------------|---------------|------------|

(身体障害者手帳をお持ちの方に)＜回答者数：48＞

問3-1 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳に記載された障害名をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 上肢機能障害 (33.3%) | 2. 聴覚障害・平衡機能障害 (8.3%) |
| 3. 下肢機能障害 (41.7%) | 4. 音声・言語・そしゃく機能障害 (16.7%) |
| 5. 体幹機能障害 (27.1%) | 6. 脳原性まひ (12.5%) |
| 7. 内部機能障害 (2.1%) | 8. 視覚障害 (4.2%) |
| 9. その他 (16.7%) | 無回答 (2.1%) |

(愛の手帳をお持ちの方に)

問3-2 差し支えがなければ、あなた(あて名の方ご本人)の診断名をお答えください。(直接記入)

()

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問4 あなた(あて名の方ご本人)の、障害支援区分をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 障害支援区分の認定を受けていない(1.5%) | 2. 区分Ⅰ(0.0%) |
| 3. 区分Ⅱ(0.7%) | 4. 区分Ⅲ(1.5%) |
| 5. 区分Ⅳ(13.4%) | |
| 6. 区分Ⅴ(28.4%) | 7. 区分Ⅵ(48.5%) |
| | 無回答(6.0%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問5 あなた(あて名の方ご本人)が現在入所している施設は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 指定障害者支援施設(身体障害者)(20.9%) | 2. 指定障害者支援施設(知的障害者)(74.6%) |
| 3. 療養介護(0.0%) | |
| 4. その他(2.2%) | 無回答(2.2%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問6 現在の施設に入所して何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 1年未満(6.0%) | 2. 1年以上5年未満(10.4%) |
| 3. 5年以上10年未満(19.4%) | 4. 10年以上(64.2%) |
| | 無回答(0.0%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問7 現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 心身の機能が著しく低下したため(18.7%) |
| 2. 介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため(50.0%) |
| 3. 介助者が病気や転勤のため、介助(介護)できなくなったため(10.4%) |
| 4. 段差が多いなど、住まいに支障があるため(4.5%) |
| 5. 在宅生活を続けるために必要なサービスが不十分のため(22.4%) |
| 6. 専門的な訓練を受けたかったため(6.0%) |
| 7. その他(15.7%) |
| 無回答(0.7%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問8 施設のある場所は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--|
| 1. 東京都(50.7%) | 2. 関東各県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)(26.1%) |
| 3. その他(22.4%) | 無回答(0.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：134>

問9 今後、どこで生活したいですか。(○は1つ)

1. 施設を出て地域の中で暮らしたい(8.2%)	→ 問9-1へ
2. 施設を出て地域のグループホームで暮らしたい(10.4%)	
3. 現在のように、入所施設で暮らしたい(50.0%)	
4. わからない(29.1%)	
5. その他(2.2%)	
無回答(0.0%)	

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に) <回答者数：25>

問9-1 仮に施設を退所するとしたら、どのような生活を送りたいですか。(○は1つ)

1. 家族やヘルパー、支援員などから介助(介護)を受けて生活したい(24.0%)
2. 働いて経済的に自立した生活を送りたい(28.0%)
3. 通所施設などに通いながら生活したい(40.0%)
4. わからない(8.0%)
5. その他(0.0%)
無回答(0.0%)

問9-2 施設を退所したら、どこに住みたいですか。(○は1つ)

1. 中野区内に住みたい(60.0%)	2. 今生活している施設の近く(0.0%)
3. 特に場所はこだわらない(16.0%)	4. その他(8.0%)
5. わからない(16.0%)	無回答(0.0%)

(全員のの方に)

問10 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました

3. 発達支援等調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度(2025年度)

は っ た つ し え ん と う ち ェ う さ
《発達支援等調査》

ち ェ う さ ひ ェ う
調 査 票

ち ェ う さ き に ェ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、ご家族の方がお答えください。
2. 令和7年8月1日現在の状況でお答えください。
3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
7. 「その他()」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入ください。
8. 郵送で回答する場合、本調査票を三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。
9. インターネットで回答する場合、右の二次元コードを
読み取るか、URLを入力して、最初の画面でIDと
パスワードを入力し、ログインしてください。
※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

かい ェ う よ う
回答用URL : <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanokdh.php>

かい ェ う き げ ん ェ う ち ェ う き ェ う つ う
【 回答期限 (郵送・インターネット共通) 】
れ い わ ね ん ね ん が つ に ち き ん よ う び
令和7年(2025年)10月10日(金曜日)

10. 調査報告書は、令和8年7月から、図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
11. 調査の内容や記入方法等について、ご不明な点がありましたら、下記までお問合せください。

な か の く け ん こ う ふ く し ば し ェ う が い ふ く し か こ は っ た つ し え ん が か り
中野区健康福祉部障害福祉課子ども発達支援係
TEL. 03-3228-5613 FAX. 03-3228-5505
E-mail hattatsushien@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員の方に)と記載のあるものは全員の方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

《お子さん(あて名の方ご本人)の状況について、お伺いします》

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. ご家族(99.2%) | 2. その他の人(0.3%) | 無回答(0.6%) |
|---------------|----------------|-----------|

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問2 お子さん(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を直接記入)

- | | | | | |
|------|----------------------|----------------------|--------------|-----------|
| 〈性別〉 | 1. 男性(68.7%) | 2. 女性(30.4%) | 3. その他(0.3%) | 無回答(0.6%) |
| 〈年齢〉 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 歳 | |

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問3 お子さん(あて名の方ご本人)と同居するご家族をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|--------------|-------------|----------------|-----------|
| 1. 父(90.1%) | 2. 母(98.0%) | 3. 兄弟姉妹(58.3%) | 無回答(0.6%) |
| 4. その他(6.8%) | | | |

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問4 お子さんの在籍はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 保育所・幼稚園(47.0%) | 2. 小学校(通常級・支援学級)(23.7%) |
| 3. 中学校(通常級・支援学級)(9.0%) | 4. 高等学校(2.3%) |
| 5. 特別支援学校(14.1%) | 6. 在宅(2.0%) |
| 7. その他(1.4%) | 無回答(0.6%) |

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問5 お子さんの発育や発達が気になった時期はいつ頃ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 生後間もなく(22.0%) | 2. 1歳6か月健診頃(33.8%) |
| 3. 3歳児健診頃(23.9%) | 4. 入園後(5歳未満)(14.6%) |
| 5. 就学児健診頃(1.1%) | 6. 小学校入学後1・2年生(3.1%) |
| 7. 小学校3～6年生(0.3%) | 8. 中学生以降(0.0%) |
| | 無回答(1.1%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた})＜回答者数：355＞

問6 療育^{りょういく}センターアポロ^{えんまた}園又は療育^{りょういく}センターゆめ^{おこな}なりあで行^{りょういく}っている「療育^{りょういく}相談^{そうだん}」を受^うけたことはありますか。(○は1つ)

1. はい(76.3%)

2. いいえ(23.7%)

無回答(0.0%)

(問6で「1. はい」とお答^{こた}えの方に)

問6-1 療育^{りょういく}相談^{そうだん}について、どの程度^{ていど}満足^{まんぞく}しましたか。(○は1つ)

1. 非常に^{ひじょう}満足^{まんぞく}している(39.1%)

2. やや満足^{まんぞく}している(45.8%)

3. どちらともいえない(8.1%)

4. あまり満足^{まんぞく}していない(5.2%)

5. 全く^{まった}満足^{まんぞく}していない(1.5%)

無回答(0.4%)

(問6-1で「1. 非常に^{ひじょう}満足^{まんぞく}している」または「2. やや満足^{まんぞく}している」とお答^{こた}えの方に)

＜回答者数：230＞

問6-1-1 満足^{まんぞく}した理由^{りゆう}をお答^{こた}えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 適切な^{てきせつ}支援^{しえん}につながった(72.2%)

2. 子どもの発達^{はったつ}に対する状^{たい}況^{じょうきょう}理解^{りかい}のきっかけになった(70.9%)

3. 子育て^{こそだ}に関する不安^{かん}が軽減^{ふあん}した(40.4%)

4. 子ども自身^こに変化^{じしん}が見^{へんか}られた(29.6%)

5. 保育所^{ほいくしょう}等の理解^{りかい}が得^えられ関係^{かんけい}が良^よくなった(15.2%)

6. その他^た(3.5%)

無回答(0.4%)

(問6-1で「4. あまり満足^{まんぞく}していない」または「5. 全く^{まった}満足^{まんぞく}していない」とお答^{こた}えの方に)

＜回答者数：18＞

問6-1-2 満足^{まんぞく}しなかった理由^{りゆう}をお答^{こた}えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 療育^{りょういく}相談^{そうだん}からサービスにつな^{なが}がるまでの流^{なが}れがわかりにくい(27.8%)

2. 療育^{りょういく}相談^{そうだん}まで待^まっている期^き間^{かん}が長^{なが}かった(27.8%)

3. より専門^{せんもん}的なア^{せんもんてき}ドバ^{せんもんてき}イスがほしか^{せんもんてき}った(55.6%)

4. 通所^{つうしょ}で^{じぎょう}きる事^{じぎょう}業^{しよ}所^{あんない}を案^{あんない}内^{あんない}してほしか^{あんない}った(44.4%)

5. その他^た(16.7%)

無回答(0.0%)

(^{ぜんいん}全員の方に) < ^{かた}回答者数 : 355 >

問7 次のサービス等を現在、利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 児童発達支援(47.0%) | 2. 放課後等デイサービス(37.5%) |
| 3. 居宅訪問型児童発達支援(1.1%) | 4. 保育所等訪問支援(27.3%) |
| 5. 区立障害児通所支援施設一時保護事業(0.8%) | 6. 短期入所(ショートステイ)(3.1%) |
| 7. 移動支援(5.9%) | 8. 居宅介護(ホームヘルプ)(3.1%) |
| 9. 在宅レスパイト事業(2.5%) | 10. その他(2.5%) 無回答(12.4%) |

(^{ぜんいん}全員の方に) < ^{かた}回答者数 : 355 >

問7-1 これまで利用できなかったサービス等がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(15.5%) | 2. いいえ(81.1%) | 無回答(3.4%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問7-1で「1. はい」とお答えの方に) < ^{かた}回答者数 : 55 >

問7-1-1 利用できなかったサービス等は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 児童発達支援(25.5%) | 2. 放課後等デイサービス(25.5%) |
| 3. 居宅訪問型児童発達支援(18.2%) | 4. 保育所等訪問支援(9.1%) |
| 5. 区立障害児通所支援施設一時保護事業(18.2%) | 6. 短期入所(ショートステイ)(36.4%) |
| 7. 移動支援(21.8%) | 8. 居宅介護(ホームヘルプ)(14.5%) |
| 9. 在宅レスパイト事業(20.0%) | 10. その他(9.1%) 無回答(1.8%) |

(^{ぜんいん}全員の方に) < ^{かた}回答者数 : 355 >

問8 障害児通所支援サービスを利用するにあたり、サービス等利用計画の作成について、
障害児相談支援事業所と契約をしましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. はい(55.2%) | |
| 2. いいえ(セルフプランで作成)(30.4%) | |
| 3. いいえ(障害児通所支援サービスを利用したことがない)(6.8%) | 無回答(7.6%) |

(^{ぜんいん}全員の方に)

問8-1 サービス等利用計画作成についてご要望やご意見などありましたら、
ご自由にお書きください。

(お子さん(あて名の方ご本人)が手帳をお持ちの方に)

問9 お子さん(あて名の方ご本人)が身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、等級または度数をお答えください。複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの等級または度数についてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：355>

1. Ⅰ級 (6.2%)	2. Ⅱ級 (1.4%)	3. Ⅲ級 (2.5%)	
4. Ⅳ級 (1.1%)	5. Ⅴ級 (0.3%)	6. Ⅵ級 (0.6%)	無回答(87.9%)

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：355>

1. Ⅰ度 (0.8%)	2. Ⅱ度 (3.9%)	3. Ⅲ度 (7.9%)	4. Ⅳ度 (10.7%)	無回答(76.6%)
--------------	--------------	--------------	---------------	------------

(3) 精神障害者保健福祉手帳(○は1つ) <回答者数：355>

1. Ⅰ級 (0.0%)	2. Ⅱ級 (0.3%)	3. Ⅲ級 (1.1%)	無回答(98.6%)
--------------	--------------	--------------	------------

《児童福祉法のサービスについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}方に)^{かた}<回答者数：355>

問10 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}を現在、利用^{りよう}していますか。(○は1つ)

1. はい(52.1%)

2. いいえ(47.3%)

無回答(0.6%)

(問10で「1. はい」とお答えの方に)^{こた}<回答者数：185>

問10-1 現在、利用^{りよう}している児童発達支援事業所^{じどうはつたつしえんじぎょうしょ}は何か所ですか。(○は1つ)

1. 1か所^{しよ}(69.2%) 2. 2か所^{しよ}(20.0%) 3. 3か所^{しよ}(7.6%) 4. 4か所以上^{しよいじょう}(3.2%) 無回答(0.0%)

問10-2 現在、利用^{りよう}している児童発達支援事業所^{じどうはつたつしえんじぎょうしょ}には、週^{しゅう}にどの程度通^{ていど}われていますか。

複数^{ふくすう}か所利用^{しりよう}している場合は、全部^{ぜんぶ}合わせた日数^あをお答えください。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(30.3%)

2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(17.8%)

3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(6.5%)

4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(4.9%)

5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(7.0%)

6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(22.7%)

7. その他^た(10.8%)

無回答(0.0%)

問10-3 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}について、希望^{きぼう}する利用日数^{りようにつう}はどの程度^{ていど}ですか。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(29.2%)

2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(22.7%)

3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(6.5%)

4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(6.5%)

5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(9.2%)

6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(19.5%)

7. その他^た(5.4%)

無回答(1.1%)

問10-4 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}の利用日数^{りようにつう}を増やしたい場合^ふ、当^あてはまるものを次^{つぎ}から選択^{せんたく}してください。

(○は1つ)

1. 現在利用^{げんざいりよう}している事業所^{じぎょうしょ}の利用日数^{りようにつう}を増やしたい(区内^ふ)(33.5%)

2. 現在利用^{げんざいりよう}している事業所^{じぎょうしょ}の利用日数^{りようにつう}を増やしたい(区外^ふ)(2.7%)

3. 現在利用^{げんざいりよう}していない事業所^{じぎょうしょ}を利用したい(区内^ふ)(10.3%)

4. 現在利用^{げんざいりよう}していない事業所^{じぎょうしょ}を利用したい(区外^ふ)(2.7%)

無回答(50.8%)

問10-5 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}にもとめる支援^{しえん}はどのようなことですか。当^あてはまるものを次^{つぎ}から選択^{せんたく}してください。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門職^{せんもんしよく}による支援^{しえん}(心理職^{しんりしよく}・言語聴覚士^{げんごちやうかくし}・理学療法士^{りがくりやうほうし}・作業療法士^{さぎやうりやうほうし}等)(86.5%)

2. 日常生活^{にちじやうせいかつ}の基本動作^{きほんどうさ}(食事^{しょくじ}・着脱^{ちゃくだつ}・排泄^{はいせつ}等)の習得^{しゅうとく}(35.1%)

3. ことばの習得^{しゅうとく}(55.7%)

4. 人間関係^{にんげんかんけい}の形成^{けいせい}や集団^{しゅうだん}への参加^{さんか}(72.4%)

5. 子ども単独^この預かり^{たんどく あず}(14.6%)

6. 家族支援^{かぞくしえん}(23.8%)

7. 就学^{しゅうがく}への移行支援^{いこうしえん}(54.6%)

8. 保育園^{ほいくえん}等との連携^{れんけい}(50.3%)

9. 利用時間^{りようじかん}の延長^{えんちやう}(9.2%)

10. その他^た(0.5%)

無回答(0.5%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問10-6 児童^{じどう}発達^{はったつしえん}支援^{こんご}を今後^{こんご}、利用^{りよう}したいですか。(○は1つ)

1. はい(55.5%) 2. いいえ(17.2%) 3. 分^わからない(18.3%) 無回答(9.0%)

(問10-6で「2. いいえ」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 61>

問10-6-1 児童^{じどう}発達^{はったつしえん}支援^{こんご}を利用^{りよう}したくない理由^{りゆう}はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 必要^{ひつよう}ない(45.9%) 2. 利用^{りよう}したい事業^{じぎょう}所^{しょ}がない(0.0%)
3. 利用^{りよう}できる事業^{じぎょう}所^{しょ}がない(8.2%) 4. 家^{いえ}から遠^{とお}くて利用^{りよう}できない(1.6%)
5. その他^た(41.0%) 無回答(4.9%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問11 放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{げんざい}を現在^{げんざい}、利用^{りよう}していますか。(○は1つ)

1. はい(38.0%) 2. いいえ(58.6%) 無回答(3.4%)

(問11で「1. はい」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 135>

問11-1 現在^{げんざい}、利用^{りよう}している放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{じぎょう}事業^{じぎょう}所^{しょ}は何^{なん}か所^{しょ}ですか。(○は1つ)

1. 1か所^{しよ}(57.8%) 2. 2か所^{しよ}(25.9%) 3. 3か所^{しよ}(11.1%) 4. 4か所^{しよ}以上^{いじょう}(5.2%) 無回答(0.0%)

問11-2 現在^{げんざい}、利用^{りよう}している放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{じぎょう}事業^{じぎょう}所^{しょ}には、週^{しゅう}にどの程度^{ていど}通^{かよ}われていますか。
複数^{ふくすう}か所^{しよ}利用^{りよう}している場合は、全部^{ぜんぶ}合^あわせた日数^{にっすう}をお答^{こた}えください。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(28.1%) 2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(20.0%) 3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(16.3%)
4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(8.9%) 5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(13.3%) 6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(7.4%)
7. その他^た(5.9%) 無回答(0.0%)

問11-3 放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{きぼう}について、希望^{きぼう}する利用^{りよう}日数^{にっすう}はどの程度^{ていど}ですか。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(22.2%) 2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(21.5%) 3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(15.6%)
4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(10.4%) 5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(23.7%) 6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(5.9%)
7. その他^た(0.7%) 無回答(0.0%)

問11-4へ(次^{つぎ}のページ)

(問11で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：135>

問11-4 放課後等デイサービスの利用日数を増やしたい場合、当てはまるものを次から選択してください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. 現在利用している事業所の利用日数を増やしたい(39.3%) | |
| 2. 現在利用していない事業所を利用したい(16.3%) | |
| 3. 利用日数を増やしたくない(36.3%) | 無回答(8.1%) |

問11-5 放課後等デイサービスにもとめる支援はどのようなことですか。当てはまるものを次から選択してください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 専門職による支援(心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等)(68.9%) | |
| 2. 日常生活の基本動作(食事・着脱・排泄等)の習得(28.1%) | |
| 3. コミュニケーション能力の向上(77.0%) | 4. 人間関係の形成や集団への参加(80.7%) |
| 5. 余暇活動(46.7%) | 6. 家族支援(18.5%) |
| 7. 進学や就労への移行支援(32.6%) | 8. 学校との連携(29.6%) |
| 9. 利用時間の延長(21.5%) | 10. その他(7.4%) |
| | 無回答(2.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：355>

問11-6 放課後等デイサービスを今後、利用したいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------|--------------|-----------------|-----------|
| 1. はい(60.6%) | 2. いいえ(8.7%) | 3. 分からない(25.1%) | 無回答(5.6%) |
|--------------|--------------|-----------------|-----------|

(問11-6で「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：31>

問11-6-1 放課後等デイサービスを利用したくない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 必要ない(64.5%) | 2. 利用したい事業所がない(12.9%) |
| 3. 利用できる事業所がない(空きがない)(9.7%) | 4. 家から遠くて利用できない(9.7%) |
| 5. その他(19.4%) | 無回答(3.2%) |

(区外の児童発達支援や放課後等デイサービス事業所を利用している方に) <回答者数：355>

問12 区外の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所を利用している方にお尋ねします。区外の事業所を利用している理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 子どもの特性にあった療育を受けるため(12.4%) | 2. 区内事業所に空きがないため(2.8%) |
| 3. 自宅に近い(5.1%) | 4. 通園・通学先に近い(0.8%) |
| 5. その他(0.8%) | 無回答(84.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：355>

問13 保育所等訪問支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

1. はい(34.9%)

2. いいえ(61.7%)

無回答(3.4%)

(問13で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：124>

問13-1 現在、保育所等訪問支援の利用頻度はどのくらいですか。

複数事業所を利用している場合は、全てを合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

1. 半年に1回(28.2%)

2. 3～5か月に1回(46.8%)

3. 2、3か月に1回(14.5%)

4. 月に1回(2.4%)

5. 月に2回(2.4%)

6. 月に3回以上(0.8%)

7. その他(4.0%)

無回答(0.8%)

(問13で「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：219>

問13-2 保育所等訪問支援を利用していない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用したい事業所がない(1.8%)

2. 利用できる事業所がない(空きがない)(3.7%)

3. 保育所等と調整ができない(3.7%)

4. 必要ない(59.4%)

5. その他(23.3%)

無回答(11.4%)

(全員のの方に) <回答者数：355>

問13-3 保育所等訪問支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

1. はい(39.7%)

2. いいえ(52.4%)

無回答(7.9%)

(問13-3で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：141>

問13-3-1 保育所等訪問支援を、どの程度利用したいですか。(○は1つ)

1. 半年に1回(14.2%)

2. 3～5か月に1回(28.4%)

3. 2、3か月に1回(36.9%)

4. 月に1回(13.5%)

5. 月に2回(2.1%)

6. 月に3回以上(1.4%)

7. その他(2.1%)

無回答(1.4%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：355>

問14 ^{きょたくほうもんがたじどうはったつしえん}居宅訪問型児童発達支援^{げんざい}を^{りよう}現在、利用^{して}していますか。(○は1つ)

1. はい(2.3%)

2. いいえ(90.1%)

無回答(7.6%)

(問14 で「1. はい」とお答え^{こた}の方に) <回答者数：8>

問14-1 ^{きょたくほうもんがたじどうはったつしえん}居宅訪問型児童発達支援^{りようひんど}の利用頻度^はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 月に2、3日(25.0%)

2. 週に2回(12.5%)

3. 週に1回(50.0%)

4. その他(12.5%)

無回答(0.0%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：355>

問15 ^{しょうがい}障害^{はったつ}や発達^{とくせい}に特性のある子ども^こに対する^{たい}地域^{ちいき}の理解^{りかい}はどの程度^{ていど}進んでいる^{すす}と思いますか。
(○は1つ)

1. 十分に進んでいる(2.0%)

2. ある程度進んでいる(27.3%)

3. どちらともいえない(27.6%)

4. あまり進んでいない(19.2%)

5. 全く進んでいない(4.2%)

6. 分からない(10.1%)

無回答(9.6%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問16 次の^{つぎ}施策^{しきく}・サービス等^{とう}、特に^{とく}充^{じゅう}実^{じつ}してほしいと思^{おも}うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービスの^{りよう}利用^{ふくし}などの福祉^{かん}に関する^{さまざま}様々な^{そうだんしえん}相談^{しえん}支援^{しえん} (47.0%)
2. 障^{しょう}害^{がい}や発^{はつ}達^{たつ}についての^{そうだん}相談^{だん} (45.9%)
3. より^{せんもんせい}専門^{たか}性^{はつたつ}が高い^{そうだん}発達^{だん}等^{そうだん}の^{そうだん}相談^{だん} (50.4%)
4. お子^こさんの^{せいちよう}成^{ともな}長^{しゅうえん}に^{しゅうがく}伴^{そうだん}った^{そうだん}就^{しゅう}園^{がく}や就^{しゅう}学^{がく}の^{そうだん}相談^{だん} (52.7%)
5. 保^ほ護^ご者^{しゃ}やき^{たい}ょう^{そうだん}だい^{しえん}に^{しえん}対^{しえん}する^{しえん}相^{しえん}談^{しえん}や支^{しえん}援^{しえん} (27.3%)
6. 利^り用^{りよう}で^{りよう}き^{りよう}る^{りよう}サ^{りよう}ー^{りよう}ビ^{りよう}ス^{りよう}等^{りよう}情^{りよう}報^{りよう}の^{はっしん}発^{はっしん}信^{はっしん} (51.5%)
7. 病^び気^きや障^{しょう}害^{がい}に^{たい}対^{たい}する^{りかい}理^{りかい}解^{りかい}の^{そくしん}促^{けいはつ}進^{けいはつ}・啓^{けいはつ}発^{けいはつ} (26.8%)
8. 一^{いち}時^じ保^ほ育^{いく}・短^{たん}期^き特^{とく}例^{れい}保^ほ育^{いく}等^{とう}子^こ育^{そだ}て^{そだ}サ^{そだ}ー^{そだ}ビ^{そだ}ス^{そだ} (18.3%)
9. ショ^{しゅ}ー^{しゅ}ト^{しゅ}ス^{しゅ}テ^{しゅ}イ^{しゅ}等^{しゅ}預^{しゅ}か^{しゅ}りの^{しゅ}サ^{しゅ}ー^{しゅ}ビ^{しゅ}ス^{しゅ} (21.4%)
10. 保^ほ護^ご者^{しゃ}が^{しごと}仕^し事^{ごと}を^{つか}し^{つか}て^{つか}い^{つか}て^{つか}も^{つか}使^{つか}え^{つか}る^{つか}通^{つう}所^{しやう}等^{しやう}サ^{しやう}ー^{しやう}ビ^{しやう}ス^{しやう} (40.6%)
11. 保^ほ護^ご者^{しゃ}の^{しゅうろうしえん}就^{しゅう}労^{ろう}支^し援^{えん} (14.6%)
12. 施^し設^{せつ}の^{りようじかん}利^{りよう}用^{じかん}時^{じかん}間^{じかん}の^{かくだい}拡^{かく}大^{だい} (25.9%)
13. 移^い動^{どう}支^し援^{えん}の^{てきおうかくだい}適^{てき}応^{おう}拡^{かく}大^{だい} (16.9%)
14. 医^い療^{りょう}的^{てき}ケ^かア^あ支^し援^{えん}の^{じゅうじつ}充^{じゅう}実^{じつ} (9.0%)
15. 親^{おや}の^{かいとう}会^{かい}等^{とう}ピ^ひア^あサ^さポ^ぽー^ぽト^と (7.0%)
16. サ^{りよう}ー^{りよう}ビ^{りよう}ス^{りよう}利^{りよう}用^{りよう}手^て続^{じつ}き^きの^{りべんせい}利^り便^{べん}性^{せい} (30.4%)
17. 子^こども^{じゅう}を^{あそ}自^じ由^{ゆう}に^{あそ}遊^ぼば^ぼせ^ぼら^ぼれ^ぼる^ぼ場^ば所^{しよ} (35.5%)
18. 子^こども^{あんしん}が^{あんしん}安^{あん}心^{しん}して^{りよう}利^{りよう}用^{りよう}で^すき^す過^いぎ^ばせ^ばる^ば居^い場^ば所^{しよ} (54.1%)
19. 特^{とく}に^{とく}な^{とく}い^{とく} (1.4%)
20. そ^たの^た他^た (5.1%)

無^む回^{かい}答^た (3.4%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問17 ^い家族が^か就^{しゅうろうとう}労等^{せいかつかんきょう}の生活環境^かを変えずに、^こお子さん^{こそだ}の子育て^{ひつよう}をするために必要なサービスや
^{しえんとう}支援等^{じゆう}がありましたら、ご自由^かにお書きください。

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問18 ^いその他、^た日常生活^{にちじょうせいかつ}の中で^{なか}必要なサービス^{ひつよう}がありましたら、ご自由^{じゆう}にお書き^かください。

ご協^{きょうりよく}力^{りよく}ありがとうございました

令和7年度（2025年度）
障害福祉サービス意向調査
報告書

発行日／令和8年（2026年）3月

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係
中野区健康福祉部 障害福祉課 障害者施策推進係
子ども発達支援係

〒164-8501

東京都中野区中野 4-11-19

電話 03-3228-8832 / 03-3228-5613

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1 富澤ビル 7F

電話 03-3357-7181（代表）